# 取扱説明書

# FOMA® F904i

’08.11

# ドコモ　W-CDMA 方式

**このたびは、「FOMA F904i」をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。**
ご利用の前に、あるいはご利用中に、この取扱説明書および電池パックなど機器に添付の個別取扱説明書をよくお読みいただき、正しくお使いください。取扱説明書に不明な点がございましたら、裏面のお問い合わせ先にご連絡ください。
FOMA F904iは、あなたの有能なパートナーです。大切にお取り扱いの上、末長くご愛用ください。

## FOMA端末のご使用にあたって

- FOMA端末は無線を利用しているため、トンネル・地下・建物の中などで電波の届かない所、屋外でも電波の弱い所およびFOMAサービスエリア外ではご使用になれません。また、高層ビル・マンションなどの高層階で見晴らしのよい所であってもご使用になれない場合があります。なお、電波が強くアンテナアイコンが3本表示されている状態で、移動せずに使用している場合でも通話が切れることがありますので、ご了承ください。
- 公共の場所、人の多い所や静かな所などでは、まわりの方の迷惑にならないようにご使用ください。
- FOMA端末は電波を利用している関係上、第三者により通話を傍受されるケースもないとはいえません。しかし、W-CDMA方式では秘話機能をすべての通話について自動的にサポートしますので、第三者が受信機で傍受したとしても、ただの雑音としか聞き取れません。
- FOMA端末は、音声をデジタル信号に変換して無線による通信を行っていることから、電波状態の悪い所へ移動するなど、送信されてきたデジタル信号を正確に復元できない場合には、実際の音声と異なって聞こえる場合があります。
- お客様ご自身でFOMA端末に登録された情報内容は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いします。万一、登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- お客様はSSLをご自身の判断と責任においてご利用することを承諾するものとします。
  お客様によるSSLのご利用にあたり、ドコモおよび別掲の認証会社はお客様に対しSSLの安全性などに関し何ら保証を行うものではなく、万一何らかの損害が発生したとしても一切責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。
  認証会社：日本ベリサイン株式会社、サイバートラスト株式会社、グローバルサイン株式会社、RSAセキュリティ株式会社、セコムトラストシステムズ株式会社
- このFOMA端末は、FOMAプラスエリアに対応しております。
- このFOMA端末は、ドコモの提供するFOMAネットワークおよびドコモのローミングサービスエリア以外ではご使用になれません。
  The FOMA terminal can be used only via the FOMA network provided by DoCoMo and DoCoMo's roaming area.

## はじめてFOMA端末をお使いになる方へ

本FOMA端末が「はじめてのFOMA端末」という方は、まず、本書を以下の順序でお読みください。FOMA端末をお使いいただくための準備と基本的な操作を、ひととおりご理解いただくことができます。


1. 「安全上のご注意」を確認しましょう→P12
2. 電池パックをセットし、充電しましょう→P40
3. 電源を入れ初期設定を行い、自分の電話番号を確認しましょう→P44、P47
4. 本体のキーなどの役割を確認しましょう→P24
5. 画面に表示されるマーク（アイコン）の意味を確認しましょう→P28
6. メニューの操作方法を確認しましょう→P32
7. 電話のかけかた／受けかたを確認しましょう→P50、P66


本書についての最新情報は、ドコモのホームページよりダウンロードできます。
- 「取扱説明書（PDFファイル）」ダウンロード
http://www.nttdocomo.co.jp/support/trouble/manual/download/index.html
※ URLおよび掲載内容については、将来予告なしに変更することがあります。

# 本書の見かた／引きかた

知りたい機能をすぐに探すことができるように、本書は次の検索方法を用意しています。



- この『FOMA F904i取扱説明書』の本文中においては、「FOMA F904i」を「FOMA端末」と表記させていただいております。あらかじめご了承ください。
- 本書の中ではmicroSDメモリーカードを使用した機能の説明をしていますが、その機能のご利用にあたっては、別途microSDメモリーカードが必要です。
  microSDメモリーカードについて→P366
- 本書に掲載されている画面およびイラストはイメージです。実際の製品とは異なる場合があります。
- ディスプレイと背面ディスプレイに表示されるアイコンや画面は、FOMA端末にあらかじめ用意されている組み合わせの中から、FOMA端末のカラーに合わせてあらかじめ設定されています。
  本書では、主にコーディネイト／きせかえの設定が「ブランシェ」の場合で説明しています。→P130
- 本書では、「ICカード機能に対応したおサイフケータイ対応ｉアプリ」を「おサイフケータイ対応ｉアプリ」と記載しています。
- 本書内の「認証操作」という表記は、4～8桁の端末暗証番号を入力する操作、または指紋認証を行う操作を表しています。
  端末暗証番号→P152　指紋認証→P155
- 本書の内容を一部、または全部を無断転載することは、禁止されています。
- 本書の内容に関しては、将来予告なしに変更することがあります。

# 本書の見かた／引きかた

「伝言メモ」を例に記載ページを探す方法を説明します。

## かんたん検索から探すとき

よく使う機能や知っていると便利な機能が目的別に分類されています。

**電話に出られないとき**

すぐに電話に出られないときに保留にしたい……応答保留　72
通話を控える必要があることを伝えたい……公共モード（ドライブモード）　73
……公共モード（電源OFF）　75
相手の用件を録音／録画したい……伝言メモ　76

## メニュー一覧から探すとき

FOMA端末の画面に表示される言葉から探すことができます。

4 電話帳／履歴

| メニュー | | 参照先 |
|---|---|---|
| 1 電話帳検索 | | P105 |
| 2 電話帳登録 | | P101 |
| 3 FOMAカード（UIM）登録 | | P103 |
| 4 プッシュトーク電話帳 | | P92 |
| 5 着信履歴 | | P55 |
| 6 リダイヤル | | P55 |
| 7 伝言メモ／音声メモ（サイドキー［▲］１秒以上） | 1 伝言メモ設定 | P76 |
| | 2 伝言メモ一覧 | P78 |
| | 3 音声メモ録音 | P433 |
| | 4 音声メモ一覧 | P433 |
| | | P261 |

## 表紙インデックスから探すとき

表紙→章扉→機能の説明ページという順でインデックスを頼りに探すことができます。
章扉には詳しい目次も掲載されています。

**電話／テレビ電話**

※ ページはイメージです。本文中のページとは異なります。

## 操作手順とキーの表記

- 本書の操作の説明では、キーを押す動作をイラストで表現しています。なお、キーイラストは次のように省略して表記しています。

| 実際のキー | 本書での表記 |
|---|---|
| 1 | 1 |

本書で使用しているキーのイラスト→P24「各部の名称と機能」

- 操作手順の表記と意味は、次のとおりです。

| 表記の例 | 意　味 |
|---|---|
| [MENU]（1秒以上） | [MENU]を1秒以上押し続ける。 |
| [MENU] ▶ 8 1 7 ▶ 設定する項目を選択 ▶ 1 ～ 5 | 待受画面で[MENU]を押した後、8 1 7を順番に押す。続けて、設定する項目にカーソルを合わせて[●]を押し、設定したい番号に対応する1から5のいずれかのダイヤルキーを押す。 |

- 基本的な操作手順においてⓊⒹⓁⓇ（マルチカーソルキー）で項目にカーソルを合わせ、[●]（決定キー）を押して項目を選ぶ操作を「選択」と表記しています。また、画面の入力欄に文字を入力する操作においては、最後に[●]［確定］を押す操作を省略しています。

# かんたん検索

知りたい機能をわかりやすい言葉から調べたいときにご活用ください。

## 通話に便利な機能



## 電話に出られないとき



## 音・ランプ色・振動を変える



## 画面表示を変える



## メールを使いこなす

## カメラを使いこなす



## 安心して使うために



## テレビを使いこなしたい



## こんなこともできます



※１ 有料サービスです。
※２ お申し込みが必要な有料サービスです。

**● その他の機能の検索方法については、「本書の見かた／引きかた」を参照してください。→P1**

**● よく使う機能などの操作手順をクイックマニュアルとして案内しています。→P554**

# 目　次

# FOMA F904iの主な機能

**FOMAは、第三世代移動通信システム（IMT-2000）の世界標準規格の1つとして認定されたW-CDMA方式をベースとしたドコモのサービス名称です。**

## ｉモードだからスゴイ！

ｉモードは、ｉモード端末のディスプレイを利用して、ｉモードのサイト（番組）やｉモード対応のインターネットホームページから便利な情報を利用したり、手軽にメールをやりとりしたりできるオンラインサービスです。

## F904iの主な特徴

### ｉモードメール、デコメ絵文字

テキスト本文に加えて、合計2Mバイトまたは最大10個のファイル（画像、トルカ、PDFなど）を添付することができます。→P241
また、デコメールやデコメ絵文字にも対応しているので、メール本文の文字の色、大きさや背景色を変えたりすることができ、表現力豊かなメールを作成し、送信できます。→P236

### 着うたフル®／うた・ホーダイ

着うたフル®では音楽配信サイトから楽曲を1曲まるごと取得し、再生や着信音への設定ができます。→P408、P413
また、うた・ホーダイでは月額会員制の音楽配信サイトから1曲まるごとの楽曲を取得することができるなど、定額で好きな曲を好きなだけ楽しむことができます。

※「着うたフル」は株式会社ソニー・ミュージックエンタテインメントの登録商標です。

### おサイフケータイ／トルカ

おサイフケータイ対応ｉアプリをダウンロードすると、サイトからFOMA端末内のICカードに電子マネーを入金したり、残高や利用履歴を確認したりできるようになります。さらにドコモのクレジットサービス「DCMX」のｉアプリをプリインストールしているので、携帯電話が「おサイフケータイ」として実生活の中でますます便利な道具になります。また、機種変更などのFOMA端末お取り替え時でもICカード内データを簡単に移行できる「iCお引っこしサービス」にも対応しています。→P300
トルカは読み取り機やサイトなどから取得が可能な電子カードで、メールや赤外線通信を使って簡単に交換できます。→P302

### メガｉアプリ、ｉアプリDX

ｉアプリをサイトからダウンロードすると、ゲームを楽しんだり、自動的に株価や天気情報などを更新させたりできるようになります。大容量のメガｉアプリ対応なので、高精細3Dゲームや長編ロールプレイングゲームなども楽しむことができます。
さらにｉアプリDXでは、電話帳やメールなどFOMA端末内の情報と連動することで、ｉアプリの楽しみかたが広がります。→P280

### ビデオクリップ

圧縮効率の高いH.264フォーマットを使った10Mバイトまでのｉモーションに対応しているので、1曲まるごとのミュージッククリップや映画、アニメなどの高画質なビデオクリップを楽しむことができます。→P352

### 国際ローミング

日本国内でお使いのFOMA端末、電話番号、メールアドレスが海外でもそのまま使えます（3Gエリアのみ対応）。音声電話、テレビ電話、ｉモード、ｉモードメール、SMS、ネットワークサービスを利用できます。→P474

### GPS

GPS衛星から発信される電波を利用して、FOMA端末の位置情報を取得します。取得した位置情報を利用して、今いる場所の地図や周辺情報を探したり、自分の位置をメール添付して通知したり、目的地までのナビゲーションが可能です（ゼンリン地図＋ナビ Fが登録されています）。
→P312

## 豊富なネットワークサービス

- 留守番電話サービス（有料）→P456
- キャッチホン（有料）→P458
- 転送でんわサービス（無料）→P458
- デュアルネットワークサービス（有料）→P460
- マルチナンバー（有料）→P461
- 2in1（有料）→P462

※これらはすべてお申し込みが必要なサービスです。

# F904iの多彩な機能

## 3.1インチのワイド画面

3.1インチ、240×432ドットの液晶ディスプレイの搭載によって、メールやフルブラウザ操作などが快適になり、ワンセグや高画質ビデオクリップなども迫力ある映像で表示されます。ディスプレイを回転させたときには、画面の右半分でメールなどの機能を使いながら、左半分でワンセグを視聴することができます。→P332

## スイング表示（ヨコモーション）

ディスプレイを左右に90度回転させて、横画面でのワンセグ視聴、静止画・動画の撮影や再生、メールやフルブラウザの操作ができます。また、一部の機能やｉアプリは、横画面いっぱいに表示するワイド画面に対応しています。→P27
ディスプレイを回転させて機能を起動することもできます。→P430

## サイドキーへの機能割り当てと簡易ライト

FOMA端末を折り畳んだ状態でサイドキーを1秒以上押したときに、「ICカードロック設定／解除」「ｉモード問合せ」「マナーモード設定／解除」「簡易ライト」のいずれかの機能が起動するように設定できます（サイドキー長押し設定）。簡易ライトは、FOMA端末を折り畳んだままでランプを点灯させることで、FOMA端末を小型ライトとして使うことができる機能です。→P430

## フルブラウザ

パソコン向けに作成されたホームページをFOMA端末の画面で閲覧できます。普段パソコンで見ている掲示板やオークションサイトなどを、FOMA端末で楽しむことができます。→P336

## プライバシーモード

電話帳などの個人情報を利用するたびに認証操作が必要になるように設定したり、シークレット属性を設定した電話帳やスケジュール、シークレット属性を設定した人からの着信や送受信メールなどを表示しないように設定したりできます。また、シークレット属性を設定した相手からの新着情報を、自分にしか分からない方法で知らせるように設定することもできます。→P163

## 赤外線通信とiC通信

赤外線通信では、赤外線通信機能が搭載された他のFOMA端末や携帯電話、パソコンなどとデータの送受信ができます。また、iC通信では、送信側のFOMA端末と受信側のFOMA端末のFeliCaマーク（ ）を重ね合わせて、データの送受信ができます。→P387

## PDFデータ、Word、Excel、PowerPointファイルの閲覧

FOMA端末やmicroSDメモリーカードに保存したPDFデータ、Word、Excel、PowerPointファイルを表示することができます。→P395、P400

## コーディネイト／きせかえツール

画面を統一感のあるデザインに変更できるコーディネイト／きせかえでは、あらかじめ登録されている5種類に加え、オリジナルのコーディネイトを登録できます。サイトからきせかえツールのコンテンツをダウンロードすれば、待受画像、メニューアイコン、発着信画像、着信音などをまとめて変更できます。→P130

# あんしん設定

**大切な個人情報を守ったり、第三者によるFOMA端末の使用を防いだりする各種のロック機能を備えています。→P152**

## おまかせロック※

おまかせロックは、ご契約者本人からのお申し出によりFOMA端末にロックをかけるサービスです。ご契約者本人とFOMA端末を所持しているお客様が異なる場合でも、ご契約者本人からのお申し出がある場合は、おまかせロックがかかりますのでご了承ください。→P160

※ 有料サービスです。ただし、ご利用の一時中断と同時、もしくは一時中断中に申し込まれた場合は無料になります。お問い合わせは取扱説明書裏面をご覧ください。

## 指紋認証

FOMA端末を折り畳んだままでも指紋認証操作ができます。暗証番号の入力を許可しない「指紋のみ認証」を設定することで、より強固にFOMA端末の使用を制限できます。→P157

## 電話帳お預かりサービス※

FOMA端末に保存している電話帳やメール、静止画をお預かりセンターに保存し、紛失時などに保存したデータをFOMA端末に復元できるサービスです。さらに、お預かりセンターに保存したデータをパソコンで編集・管理ができ、編集したデータをFOMA端末に反映できます。→P173

※ お申し込みが必要な有料サービスです。
ご利用にあたっての注意事項およびご利用方法の詳細については『ご利用ガイドブック（ｉモード〈FOMA〉編）』、お問い合わせは取扱説明書裏面をご覧ください。

# FOMA F904iを使いこなす！

F904iの優れた機能を実際の画面やイラストで紹介します。

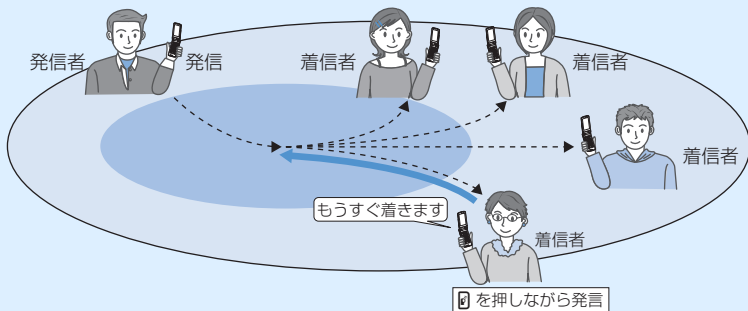
## テレビ電話

テレビ電話を使えば、離れた場所にいる人とお互いの顔を見ながら話せます。ビジネスではテレビ会議などに、プライベートでは買い物の相談などに、さまざまなシーンでテレビ電話は便利に活用いただけます。→P50

遠方からテレビ電話で会議に参加

外出先から買い物の相談

## プッシュトーク

プッシュトークキー（）を押してプッシュトーク電話帳を呼び出し、相手を選んで再びを押すだけのかんたん操作で、複数の人（自分を含めて最大5人）と通信することができます。→P88

## iチャネル

自分で操作することなく、ニュースや天気などのグラフィカルな情報を定期的に受信できます。チャネル一覧でチャネルを選択することにより、Flash（→P206）で作られたリッチな詳細情報を取得できます。→P228

未契約

契約後

※ お申し込みが必要な有料サービスです。

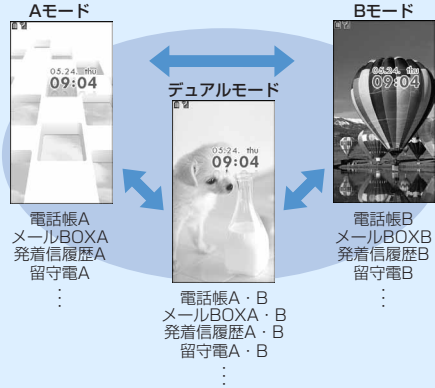
## 2in1

1つの携帯電話で2つの電話番号・メールアドレスが使え、専用のモード機能を利用することで、あたかも2つの携帯電話を使い分けるようにFOMA端末をご利用いただけるサービスです。電話帳やメールBOX、発信履歴、待受画面なども1台で「Aモード」「Bモード」に分けて別々に管理できるほか、AB両モードを同時に管理できる「デュアルモード」で利用することもできます。→P462

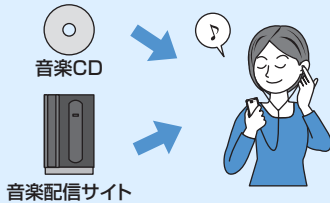
電話番号（A ナンバー）：090-AAAA-AAAA
メールアドレス（A アドレス）：XXA@docomo.ne.jp
電話帳：A モード用

B モード

電話番号（B ナンバー）：090-BBBB-BBBB
メールアドレス（B アドレス）：XXB@docomo.ne.jp
電話帳：B モード用

※ お申し込みが必要な有料サービスです。

## ミュージックプレイヤー

音楽配信サイトからダウンロードした着うたフル®（うた・ホーダイにも対応）や音楽CDなどからパソコンに取り込んだWindows Media® Audio（WMA）ファイルを、ステレオサウンドで再生できます。バックグラウンド再生にも対応し、音楽専用のミュージックキーによる操作やF904i付属のマイク付リモコンによるリモコン操作もできます。→P404

## 着もじ

電話をかけて相手を呼び出している間、相手の着信画面にメッセージを表示させることができます。着信側はメッセージを見て、用件や気持ちなどを事前に知ることができます。→P58

## テレビ

ワンセグは、移動体向け地上デジタルテレビ放送です。
FOMA端末で、映像音声とデータ放送が受信できます。テレビ放送事業者（放送局）などと双方向に情報のやりとりができるので、クイズ番組へ参加したり、テレビショッピングなどを気軽に楽しんだりすることができます。ワンセグ視聴は専用キー（TV）を押すだけで起動し、視聴予約やオフタイマー、大きな文字での字幕表示など、便利な機能も備えています。→P322

## 安全上のご注意（必ずお守りください）

- ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。また、お読みになった後は、大切に保管してください。
- ここに示した注意事項は、お使いになる人や、他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐための内容を記載していますので、必ずお守りください。

### ■ 次の表示の区分は、表示内容を守らず、誤った使用をした場合に生じる危害や損害の程度を説明しています。

| 表示 | 内容 |
|---|---|
| ⚠危険 | この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される」内容です。 |
| ⚠警告 | この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。 |
| ⚠注意 | この表示は、取り扱いを誤った場合、「傷害を負う可能性が想定される場合および物的損害のみの発生が想定される」内容です。 |

### ■ 次の絵表示の区分は、お守りいただく内容を説明しています。

| 絵表示 | 内容 |
|---|---|
| 禁止 | 禁止（してはいけないこと）を示します。 |
|  分解禁止 | 分解してはいけないことを示す記号です。 |
|  濡れ手禁止 | 濡れた手で扱ってはいけないことを示す記号です。 |
|  水濡れ禁止 | 水がかかる所で使用したり、水に濡らしたりしてはいけないことを示す記号です。 |
|  指示 | 指示に基づく行為に対する強制（必ず実行していただくこと）を示します。 |
|  電源プラグを抜く | 電源プラグをコンセントから抜いていただくことを示す記号です。 |

### ■「安全上のご注意」は次の6項目に分けて説明しています。



### ◆FOMA端末、電池パック、アダプタ（充電器含む）、FOMAカードの取り扱いについて（共通）

⚠危険
指示

**FOMA端末に使用する電池パックおよびアダプタ（充電器含む）は、ドコモグループ各社が指定したものを使用してください。**

指定品以外のものを使用した場合は、FOMA端末および電池パックやその他の機器を漏液、発熱、破裂、発火、故障させる原因となります。

電池パック　F10
卓上ホルダ　F17
FOMA ACアダプタ　01／02
FOMA DCアダプタ　01／02
FOMA 乾電池アダプタ　01
FOMA 充電機能付USB接続ケーブル　01
FOMA補助充電アダプタ　01
FOMA海外兼用ACアダプタ　01

※ その他互換性のある商品についてはドコモショップなど窓口までお問い合わせください。

分解禁止

**分解、改造をしないでください。また、ハンダ付けしないでください。**

火災、けが、感電などの事故または故障の原因となります。また、電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させる原因となります。

禁止

**火のそば、直射日光の当たる場所、炎天下の車内などの高温の場所で使用、放置しないでください。**

機器の変形、故障や、電池パックの漏液、発熱、破裂、発火、性能や寿命の低下の原因となります。また、ケースの一部が熱くなり、やけどの原因となることがあります。

水濡れ禁止

**濡らさないでください。**

水やペットの尿などの液体が入ると、発熱、感電、火災、故障、けがなどの原因となります。使用場所、取り扱いにご注意ください。

## ⚠警告

**ガソリンスタンドなど引火性ガスが発生する場所に立ち入る場合は必ず事前に携帯電話の電源をお切りください。**
**また充電もしないでください。ガスに引火する恐れがあります。**
ガソリンスタンド構内などでおサイフケータイをご利用になる際は必ず事前に電源を切った状態で使用してください。
（ICカードロックを設定されている場合にはロックを解除した上で電源をお切りください）

**電子レンジなどの加熱調理機器や高圧容器に、電池パック、FOMA端末やアダプタ（充電器含む）、FOMAカードを入れないでください。**
電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させたり、FOMA端末、アダプタ（充電器含む）、FOMAカードの発熱、発煙、発火や回路部品を破壊させる原因となります。

**強い衝撃を与えたり、投げ付けたりしないでください。**
電池パックの漏液、発熱、破裂、発火や機器の故障、火災の原因となります。

**充電端子や外部接続端子に導電性異物（金属片、鉛筆の芯など）が触れないようにしてください。また、内部に入れないようにしてください。**
ショートによる火災や故障の原因となります。

**使用中、充電中、保管時に異臭、発熱、変色、変形など、いままでと異なるときは、直ちに次の作業を行ってください。**
1. 電源プラグをコンセントやシガーライタソケットから抜く。
2. FOMA端末の電源を切る。
3. 電池パックをFOMA端末から取り外す。

そのまま使用すると発熱、破裂、発火または電池パックの漏液の原因となります。

## ⚠注意

**子供が使用する場合は、保護者が取り扱いの内容を教えてください。また、使用中においても、指示どおりに使用しているかをご注意ください。**
けがなどの原因となります。

**ぐらついた台の上や傾いた場所など、不安定な場所には置かないでください。**
落下して、けがや故障の原因となります。

**乳幼児の手の届かない場所に保管してください。**
誤って飲み込んだり、けがなどの原因となったりします。

**湿気やほこりの多い場所や高温になる場所には、保管しないでください。**
故障の原因となります。

**FOMA端末をアダプタ（充電器含む）に接続した状態で長時間連続使用される場合には特にご注意ください。**
**充電しながらｉアプリやテレビ電話、ワンセグの視聴などを長時間行うとFOMA端末や電池パック・アダプタ（充電器含む）の温度が高くなることがあります。**
温度の高い部分に直接長時間触れるとお客様の体質や体調によっては肌に赤みやかゆみ、かぶれなどが生じるおそれがあります。

### ◆FOMA端末の取り扱いについて

## ⚠警告

**航空機内や病院など、使用を禁止された区域では、FOMA端末の電源を切ってください。**
電子機器や医用電気機器に影響を与える場合があります。
また、自動的に電源が入る機能を設定している場合は、設定を解除してから電源を切ってください。
医療機関内における使用については各医療機関の指示に従ってください。また、航空機内での使用などの禁止行為をした場合、法令により罰せられることがあります。

**高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器の近くでは、FOMA端末の電源を切ってください。**
電子機器が誤動作するなどの影響を与える場合があります。
※ ご注意いただきたい電子機器の例
補聴器、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器、その他医用電気機器、火災報知器、自動ドア、その他の自動制御機器など。
植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器、その他医用電気機器をご使用される方は、当該の各医用電気機器メーカもしくは販売業者に電波による影響についてご確認ください。

**医用電気機器などを装着している場合は、胸ポケットや内ポケットへの装着はおやめください。**

FOMA端末を医用電気機器などの近くで使用すると、医用電気機器などの故障の原因となるおそれがあります。

**心臓の弱い方は、着信バイブレータ（振動）や着信音量の設定に注意してください。**

心臓に影響を与える可能性があります。

**自動車などを運転中に使用しないでください。**

2004年11月1日から、運転中の携帯電話の使用は罰則の対象となっております。ハンズフリーキットをご利用の場合でも、自動車を安全な場所に停車してからご利用ください。運転中は、公共モードまたは留守番電話サービスをご利用ください。

**赤外線ポートを目に向けて送信しないでください。**

目に影響を与える可能性があります。また、他の赤外線装置に向けて送信すると誤動作するなどの影響を与える場合があります。

**スピーカーホン機能を動作させて通話する場合は、必ずFOMA端末を耳から離してください。**

難聴になる可能性があります。

**エアバッグの近くのダッシュボードなど、エアバッグの展開による影響が予想される所にFOMA端末を置かないでください。**

エアバッグが展開した場合、FOMA端末が本人や他の人などに当たり、けがなどの事故や故障および破損の原因となります。

**屋外で使用中に、雷が鳴り出したら、アンテナを収納し、すぐに電源を切って安全な場所に移動してください。**

落雷、感電の原因となります。

## 注意

**アンテナ、ストラップなどを持ってFOMA端末を振り回さないでください。**

本人や他の人などに当たり、けがなどの事故や故障および破損の原因となります。

**お客様の体質や体調によっては、かゆみ、かぶれ、湿疹などが生じることがあります。異状が生じた場合は、直ちに使用をやめ、医師の診療を受けてください。**

下記の箇所に金属を使用しています。

| 使用箇所 | | 材質 | 表面処理 |
|---|---|---|---|
| 背面部の機種名パネル | | アルミニウム | 塗装（端末色：ブランシェ）<br>アルマイト処理（端末色：その他） |
| 指紋センサー | | ステンレス | 三価クロムメッキ |
| TVアンテナの金属部分 | 先端、中央部、ヒンジ下部 | 真鍮 | Niメッキ |
| | 収縮長軸 | ステンレス | なし |
| | ヒンジ上部 | ステンレス | Niメッキ、NiPdメッキ |
| 充電端子 | | 銅 | 金メッキ |

**FOMA端末内のFOMAカード挿入口に水などの液体や金属片、燃えやすいものなどの異物を入れないでください。**

火災、感電、故障の原因となります。

**自動車内で使用した場合、車種によっては、まれに車載電子機器に影響を与える場合があります。**

安全走行を損なうおそれがありますので、その場合は使用しないでください。

**磁気カードなどをFOMA端末に近づけたり、挟んだりしないでください。**

キャッシュカード、クレジットカード、テレホンカード、フロッピーディスクなどの磁気データが消えてしまうことがあります。

**人の多い場所では、使用しないでください。**

アンテナが他の人に当たり、けがの原因となります。

**アンテナが破損したまま使用しないでください。**

肌に触れるとけがなどの原因となります。

**FOMA端末を開閉する際は、指やストラップなどを挟まないようご注意ください。**

けがなどの事故や破損の原因となります。

**テレビを視聴するときは、十分明るい場所で、画面からある程度の距離を空けてご使用ください。**

視力低下につながる可能性があります。

指示

**FeliCaリーダー／ライター機能は日本国内で使用してください。**
FOMA端末のFeliCaリーダー／ライター機能は日本国内での無線規格に準拠しています。
海外でご使用になると罰せられることがあります。

指示

**誤ってディスプレイを破損し、液晶が漏れた場合には、液体を口にしたり、吸い込んだり、皮膚につけたりしないでください。**
**液晶が目や口に入った場合は、すぐにきれいな水で洗い流し、直ちに医師の診療を受けてください。**
**また、皮膚や衣類に付着した場合は、すぐにアルコールなどで拭き取り、石鹸で水洗いしてください。**
失明や皮膚に傷害を起こす原因となります。

指示

**誤ってディスプレイ、カメラのレンズを破損したときは、割れたガラスなどにご注意ください。**
けがの原因となります。
ディスプレイ、カメラのレンズの表面は、ガラス板上にプラスチックパネルを取り付け、ガラスが飛散しにくい構造になっていますが、万一、切断面などに触れますとけがをすることがあります。

禁止

**内蔵のカメラのレンズに太陽光などの強い光が進入する状態で長時間放置しないでください。**
レンズの集光作用により、火災が発生する原因となります。

## ◆電池パックの取り扱いについて

### ■ 電池パックのラベルに記載されている表示により、電池の種類をご確認ください。

| 表　示 | 電池の種類 |
| --- | --- |
| Li-ion | リチウムイオン電池 |

**危険**

指示

**電池パック内部の液体が目の中に入ったときは、こすらず、すぐにきれいな水で洗った後、直ちに医師の診療を受けてください。**
失明の原因となります。

禁止

**火の中に投下しないでください。**
電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させる原因となります。

禁止

**端子に針金などの金属類を接触させないでください。また、金属製ネックレスなどと一緒に持ち運んだり、保管しないでください。**
電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させる原因となります。

禁止

**釘を刺したり、ハンマーで叩いたり、踏みつけたりしないでください。**
電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させる原因となります。

禁止

**電池パックをFOMA端末に取り付けるときに、うまく取り付けできない場合は、無理に取り付けないでください。また、電池パックの向きを確かめてから取り付けてください。**
電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させる原因となります。

**警告**
指示

**電池パック内部の液体が皮膚や衣服に付着した場合は、直ちに使用をやめてきれいな水で十分に洗い流してください。**
皮膚に傷害を起こす原因となります。

指示

**所定の充電時間を超えても充電が完了しない場合は、充電をやめてください。**
電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させる原因となります。

指示

**電池パックが漏液したり、異臭がするときは、直ちに使用をやめて火気から遠ざけてください。**
漏液した液体に引火し、発火、破裂の原因となります。

**注意**
禁止

**一般のゴミと一緒に捨てないでください。**
発火、環境破壊の原因となります。不要となった電池パックは、端子にテープなどを貼り、絶縁してからドコモショップなど窓口にお持ちいただくか、回収を行っている市町村の指示に従ってください。

## ◆オプション品（ACアダプタ、DCアダプタ、卓上ホルダ、車内ホルダ）の取り扱いについて

 **警告** 

禁止
**コンセントやシガーライタソケットにつながれた状態で充電端子をショートさせないでください。**
**また、充電端子に手や指など、身体の一部を触れさせないでください。**
火災、故障、感電、傷害の原因となります。

濡れ手禁止
**濡れた手でアダプタ（充電器含む）のコード、コンセントに触れないでください。**
感電の原因となります。

禁止
**ACアダプタや卓上ホルダ（電池パック充電器）は、風呂場などの湿気の多い場所では使用しないでください。**
感電の原因となります。

電源プラグを抜く
**長時間使用しない場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。**
感電、火災、故障の原因となります。

禁止
**アダプタ（充電器含む）のコードや電源コードが傷んだら使用しないでください。**
感電、発熱、火災の原因となります。

電源プラグを抜く
**万が一、水などの液体が入った場合は、直ちにコンセントやシガーライタソケットから電源プラグを抜いてください。**
感電、発煙、火災の原因となります。

指示
**ACアダプタをコンセントに差し込むときは、金属製ストラップなどの金属類を触れさせないように注意し、確実に差し込んでください。**
感電、ショート、火災の原因となります。

指示
**指定の電源、電圧で使用してください。**
誤った電圧で使用すると火災や故障の原因となります。海外で使用する場合は、海外で利用可能なACアダプタを使用してください。
ACアダプタ：AC100V
DCアダプタ：DC12V・24V（マイナスアース車専用）
海外で利用可能なACアダプタ：AC100V～240V（家庭用交流コンセントのみに接続すること）

指示
**DCアダプタのヒューズが万一切れた場合は、必ず指定のヒューズを使用してください。**
指定外のヒューズを使用すると、火災、故障の原因となります。指定ヒューズに関しては、個別の取扱説明書でご確認ください。

禁止
**DCアダプタはマイナスアース車専用です。プラスアース車には使用しないでください。**
火災の原因となります。

指示
**電源プラグについたほこりは、拭き取ってください。**
火災の原因となります。

禁止
**充電中は、充電器および卓上ホルダを安定した場所に置いてください。**
**また、充電器および卓上ホルダを布や布団でおおったり、包んだりしないでください。**
FOMA端末が外れたり、熱がこもり、火災、故障の原因となります。

禁止
**雷が鳴り出したら、FOMA端末、アダプタ（充電器含む）には触れないでください。**
落雷、感電の原因となります。

禁止
**電源プラグがコンセントから抜けない場合、無理に抜かないでください。**
破損し、感電や故障の原因となります。

禁止
**コンセントや配線器具の定格を超えた使用はしないでください。**
タコ足配線などで定格を超えると、発熱、火災の原因となります。

指示
**車内ホルダは確実に取り付けてください。**
急ブレーキなどで機器が外れると、事故や故障の原因となります。

 **注意** 
電源プラグを抜く
**お手入れの際は、コンセントやシガーライタソケットから抜いて行ってください。**
感電の原因となります。

指示
**アダプタ（充電器含む）をコンセントやシガーライタソケットから抜く場合は、アダプタ（充電器含む）のコードや電源コードを引っ張らず、電源プラグを持って抜いてください。**
コードを引っ張るとコードが傷つき、感電、火災の原因となります。

**アダプタ（充電器含む）のコードや電源コードの上に重いものを載せたりしないでください。**
感電、火災の原因となります。

**濡れた電池パックを充電しないでください。**
電池パックを発熱、発火、破裂させる原因となります。

## ◆FOMAカードの取り扱いについて

 ⚠注意 

**FOMAカード（IC部分）を取り外す際は切断面などにご注意ください。**
手や指を傷つける可能性があります。

## ◆医用電気機器近くでの取り扱いについて

■ **本記載の内容は「医用電気機器への電波の影響を防止するための携帯電話端末等の使用に関する指針」（電波環境協議会）に準ずる。**

 ⚠警告 

**満員電車の中など混雑した場所では、付近に植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器を装着している方がいる可能性がありますので、FOMA端末の電源を切るようにしてください。**
電波により植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器の作動に影響を与える場合があります。

**医療機関の屋内では次のことを守って使用してください。**

- 手術室、集中治療室（ICU）、冠状動脈疾患監視病室（CCU）にはFOMA端末を持ち込まないでください。
- 病棟内では、FOMA端末の電源を切ってください。
- ロビーなどであっても付近に医用電気機器がある場合は、FOMA端末の電源を切ってください。
- 医療機関が個々に使用禁止、持ち込み禁止などの場所を定めている場合は、その医療機関の指示に従ってください。
- 自動的に電源が入る機能が設定されている場合は、設定を解除してから電源を切ってください。

**植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器を装着されている場合は、装着部からFOMA端末は22cm以上離して携行および使用してください。**
電波により植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器の作動に影響を与える場合があります。

**自宅療養などにより医療機関の外で、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器以外の医用電気機器を使用される場合には、電波による影響について個別に医用電気機器メーカなどにご確認ください。**
電波により医用電気機器の動作に影響を与える場合があります。

## 取扱上の注意について

### ◆共通のお願い

- 水をかけないでください。
  - FOMA端末、電池パック、アダプタ（充電器含む）、FOMAカードは防水仕様にはなっておりません。風呂場など、湿気の多い所でのご使用や、雨などがかかることはおやめください。また身につけている場合、汗による湿気により内部が腐食し、故障の原因となります。
    調査の結果、これらの水濡れによる故障と判明した場合、保証対象外となり修理できないことがありますので、あらかじめご了承願います。なお、保証対象外ですので修理を実施できる場合でも有償修理となります。
- お手入れは乾いた柔らかい布（めがね拭きなど）で拭いてください。
  - FOMA端末のディスプレイは、カラー液晶画面を見やすくするため、特殊コーティングを施してある場合があります。お手入れの際に、乾いた布などで強く擦ると、ディスプレイに傷がつく場合があります。お取り扱いには十分ご注意いただき、お手入れは乾いた柔らかい布（めがね拭きなど）で拭いてください。また、ディスプレイに水滴や汚れなどが付着したまま放置すると、シミになったり、コーティングがはがれたりすることがあります。
  - アルコール、シンナー、ベンジン、洗剤などで拭くと、印刷が消えたり、色があせたりすることがあります。
- 端子は時々乾いた綿棒で清掃してください。
  - 端子が汚れていると接触が悪くなり、電源が切れることがあります。また、充電不十分の原因となりますので、汚れたときは、端子を乾いた布、綿棒などで拭いてください。
- エアコンの吹き出し口の近くに置かないでください。
  - 急激な温度の変化により結露し、内部が腐食し故障の原因となります。
- FOMA端末に無理な力がかかるような所に置かないでください。
  - 多くの物がつまった荷物の中に入れたり、衣類のポケットに入れて座ると、液晶画面、内部基板などの破損、故障の原因となり、保証の対象外となります。
- FOMA端末、電池パック、アダプタ（充電器含む）、卓上ホルダに添付されている個別の取扱説明書をよくお読みください。

### ◆FOMA端末についてのお願い

- 極端な高温、低温は避けてください。
  - 温度は5℃～35℃、湿度は45%～85%の範囲でご使用ください。
- 一般の電話機やテレビ、ラジオなどをお使いになっている近くで使用すると、影響を与える場合がありますので、なるべく離れた所でご使用ください。
- お客様ご自身でFOMA端末に登録された情報内容は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いします。
  - 万一、登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- ズボンやスカートの後ろポケットにFOMA端末を入れたまま、椅子などに座らないでください。また、かばんの底など無理な力がかかるような所には入れないでください。
  - 故障の原因となります。
- ストラップなどを挟んだまま、FOMA端末を折り畳まないでください。
  - 故障、破損の原因となります。
- 使用中や充電中、FOMA端末は温かくなりますが、異常ではありません。そのままご使用ください。
- カメラを直射日光の当たる場所に放置しないでください。
  - 素子の退色・焼付きを起こす場合があります。
- FOMA端末を異物のある机上などに置かないでください。
  - 破損の原因となります。
- 通常はイヤホンマイク端子キャップ、外部接続端子キャップ、microSDメモリーカードスロットのカバーをはめた状態でご使用ください。
  - ほこり、水などが入り故障の原因となることがあります。
- ディスプレイは金属などでこすったり引っかいたりしないでください。
  - 傷つくことがあります。
- ディスプレイ面やダイヤルキーのある面に厚みのあるシールなどを貼らないでください。
  - 故障、破損の原因となります。
- FOMA端末を折り畳んだ状態でディスプレイを回転させないでください。
  - ディスプレイやキー周辺に傷がつくおそれがあります。
- 指紋センサーに強い衝撃を与えたり、表面に傷をつけたりしないでください。
  - 指紋センサーの故障の原因となるだけでなく、認証操作ができなくなる場合があります。
- 指紋センサーは時々乾いた柔らかい布で清掃してください。
  - 指紋センサーが汚れていたり表面に水分が付着していたりすると、指紋の読み取りができなくなり認証性能が低下したり、指が触れていない状態でも認証中として誤動作したりすることがあります。

## ◆電池パックについてのお願い

- 電池パックは消耗品です。
  - 使用状態などによって異なりますが、十分に充電しても使用時間が極端に短くなったときは電池パックの交換時期です。指定の新しい電池パックをお買い求めください。
- 充電は、適正な周囲温度（5℃～35℃）の場所で行ってください。
- 初めてお使いのときや、長時間ご使用にならなかったときは、ご使用前に必ず充電してください。
- 電池パックの使用時間は、使用環境や電池パックの劣化度により異なります。
- 電池パックの使用条件により、寿命が近づくにつれて電池パックが膨れる場合がありますが問題ありません。
- 直射日光が当たらず、風通しの良い涼しい場所に保管してください。
  - 長時間使用しないときは、使い切った状態でFOMA端末またはアダプタ（充電器含む）から外し、電池パックを包装しているビニール袋などに入れて保管してください。
- 落下による変形や傷など外部からの衝撃により電池パックに異常が見られた場合は、故障取扱窓口までご相談ください。
- 電池パックの金属部分（端子）が汚れると、端末との接触が悪くなり電源が切れたりすることがあります。汚れたら乾いた布や綿棒などで拭いてからご使用ください。
- 電池残量なしの状態で、電池パックを取り付けたままのFOMA端末を保管・放置しないでください。
  - FOMA端末を長時間放置する場合は、電池パックを外してください。
- 電池パックは、長期間使用しない場合でも6か月に1回は充電してください。
  - 電池パックの性能や寿命を低下させる原因となることがあります。

## ◆アダプタ（充電器含む）についてのお願い

- 充電は、適正な周囲温度（5℃～35℃）の場所で行ってください。
- 次のような場所では、充電しないでください。
  - 湿気、ほこり、振動の多い場所
  - 一般の電話機やテレビ、ラジオなどの近く
- 充電中、アダプタ（充電器含む）が温かくなることがありますが、異常ではありませんのでそのままご使用ください。
- DCアダプタを使用して充電する場合は、自動車のエンジンを切ったまま使用しないでください。
  - 自動車のバッテリーを消耗させる原因となります。
- 抜け防止機構のあるコンセントをご使用の場合、そのコンセントの取扱説明書に従ってください。
- 強い衝撃を与えないでください。また、充電端子を変形させないでください。
  - 故障の原因となります。

## ◆FOMAカードについてのお願い

- FOMAカードの取り付け／取り外しには、必要以上に力を入れないようにしてください。
- 使用中、FOMAカードが温かくなることがありますが、異常ではありませんのでそのままご使用ください。
- 他のICカードリーダー／ライター（外部装置）などにFOMAカードを挿入して使用した結果として故障した場合は、お客様の責任となりますので、ご注意ください。
- IC部分はいつもきれいな状態でご使用ください。
- お手入れは、乾いた柔らかい布（めがね拭きなど）で拭いてください。
- お客様ご自身でFOMAカードに登録された情報内容は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いします。
  - 万一、登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 環境保全のため、不要になったFOMAカードはドコモショップなどの窓口にお持ちください。
- 極端な高温や低温は避けてください。
- ICを傷つけたり、不用意に触れたり、ショートさせたりしないでください。
  - データの消失、故障の原因となります。
- FOMAカードを落としたり、衝撃を与えたりしないでください。
  - 故障の原因となります。
- FOMAカードを曲げたり、重いものを載せたりしないでください。
  - 故障の原因となります。

## ◆カメラについて

お客様がFOMA端末を利用して公衆に著しく迷惑をかける不良行為などを行う場合、法律、条例（迷惑防止条例など）に従い処罰されることがあります。

**カメラ付き携帯電話を利用して撮影や画像送信を行う際は、プライバシーなどにご配慮ください。**

## ◆FeliCaリーダー／ライターについて

- FOMA端末のFeliCaリーダー／ライター機能は、無線局の免許を要しない微弱電波を使用しています。
- 使用周波数は13.56MHz帯です。周囲に他のリーダー／ライターをご使用の場合、十分に離してお使いください。また、他の同一周波数帯を使用の無線局が近くにないことを確認してお使いください。

## 知的財産権について

### ◆著作権・肖像権について

お客様が本製品を利用して撮影またはインターネット上のホームページからのダウンロードなどにより取得した文章、画像、音楽、ソフトウェアなど第三者が著作権を有するコンテンツは、私的使用目的の複製や引用など著作権法上認められた場合を除き、著作権者に無断で複製、改変、公衆送信などはできません。
実演や興行、展示物などには、私的使用目的であっても撮影または録音を制限している場合がありますのでご注意ください。
また、お客様が本製品を利用して本人の同意なしに他人の肖像を撮影したり、撮影した他人の肖像を本人の同意なしにインターネット上のホームページに掲載するなどして不特定多数に公開することは、肖像権を侵害するおそれがありますのでお控えください。

### ◆商標について

本書に記載されている会社名や商品名は、各社の商標または登録商標です。

- 「FOMA」「mova」「ｉモーション」「ｉモード」「ｉアプリ」「ｉモーションメール」「ｉショット」「ｉメロディ」「DoPa」「mopera」「mopera U」「WORLD CALL」「WORLD WING」「ショートメール」「着モーション」「デコメール」「Vライブ」「ｉエリア」「おサイフケータイ」「キャラ電」「ｉアプリDX」「ｉチャネル」「デュアルネットワーク」「FirstPass」「sigmarion」「セキュリティスキャン」「musea」「公共モード」「プッシュトーク」「プッシュトークプラス」「トルカ」「メッセージF」「iD」「マルチナンバー」「2in1」「パケ・ホーダイ」「おまかせロック」「電話帳お預かりサービス」「着もじ」「DCMX」「イマドコサーチ」「ケータイお探しサービス」「iCお引っこしサービス」「きせかえツール」「ファミリーワイドリミット」「OFFICEED」「IMCS」「うた・ホーダイ」および「FOMA」ロゴ「ｉ-mode」ロゴ「ｉ-αppli」ロゴ「DCMX」ロゴ「iD」ロゴ「WORLD WING」ロゴはNTTドコモの商標または登録商標です。
- 「Microsoft」、「Windows」、「Windows Vista」、「Windows Media」、「PowerPoint」は、米国「Microsoft Corporation」の米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- Microsoft Excel、Microsoft Wordは、米国のMicrosoft Corporationの商品名称です。本書ではExcel、Wordのように表記している場合があります。
- JavaおよびJavaに関連するすべての商標は、米国およびその他の国において米国Sun Microsystems, Inc.の商標または登録商標です。
- 「Multitask／マルチタスク」は日本電気株式会社の商標です。
- 「キャッチホン」は日本電信電話株式会社の登録商標です。
- フリーダイヤルサービス名称とフリーダイヤルロゴマークはNTTコミュニケーションズ株式会社の登録商標です。
- 本製品はインターネット機能として、株式会社ACCESSのNetFrontを搭載しています。
  NetFrontは日本国およびその他の国における株式会社ACCESSの商標または登録商標です。
  Copyright© 1996-2007 ACCESS CO.,LTD.
- 本製品は、Adobe Systems IncorporatedのFlash®Lite™テクノロジーを搭載しています。
  Adobe、FlashおよびFlash LiteはAdobe Systems Incorporated（アドビ システムズ社）の米国ならびにその他の国における商標または登録商標です。
  Copyright© 1995-2007 Adobe Systems Incorporated. All rights reserved.
- QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。
- miniSD™および miniSDロゴはSDアソシエーションの商標です。
  (miniSD™メモリーカードをminiSDメモリーカードと表記しています。)
- microSDロゴは商標です。
- FeliCaは、ソニー株式会社の登録商標です。
- はフェリカネットワークス株式会社の登録商標です。
- Powered by JBlend™ Copyright 2002-2006 Aplix Corporation. All rights reserved.
  JBlendおよびJBlendに関連する商標は、日本およびその他の国における株式会社アプリックスの商標または登録商標です。
- Word、Excel、PowerPointのファイル表示技術は、Picsel Technologiesにより実現しています。
  Picsel、Picsel File ViewerおよびPicselキューブロゴは、Picsel Technologiesの商標または登録商標です。
- McAfee®、マカフィー®は米国法人McAfee, Inc.またはその関係会社の米国またはその他の国における登録商標です。
- Gガイド、G-GUIDE、Gガイドモバイル、G-GUIDE MOBILE、およびGガイド関連ロゴは、米Gemstar-TV Guide International,Inc.およびその関係会社の日本国内における登録商標です。
- QuickTimeは米国その他の国で登録された米国アップルコンピュータ社の登録商標です。
- 本製品は、日本語変換機能として、株式会社ジャストシステムのATOK＋APOTを搭載しています。「ATOK」「APOT(Advanced Prediction Optimization Technology)」は株式会社ジャストシステムの登録商標です。

- 本機には、Symbian Software Ltd ©1998-2007よりライセンス供与されたソフトウェアが含まれています。symbian およびSymbian OSはSymbian Ltd. の商標です。
- リュウミンは株式会社モリサワの登録商標です。
- 「プライバシーモード」は富士通株式会社の登録商標です。
- 「ナップスター」は、Napster,LLC.の米国内外における登録商標です。
- その他、本取扱説明書に記載されている会社名や商品名は、各社の商標または登録商標です。
- 本書では各OS（日本語版）を次のように略して表記しています。
  - Windows Vistaは、Windows Vista™（Home Basic、Home Premium、Business、Enterprise、Ultimate）の略です。
  - Windows XPは、Microsoft® Windows® XP Professional operating systemまたはMicrosoft® Windows® XP Home Edition operating systemの略です。
  - Windows 2000は、Microsoft® Windows® 2000 Professional operating systemの略です。

## ◆その他

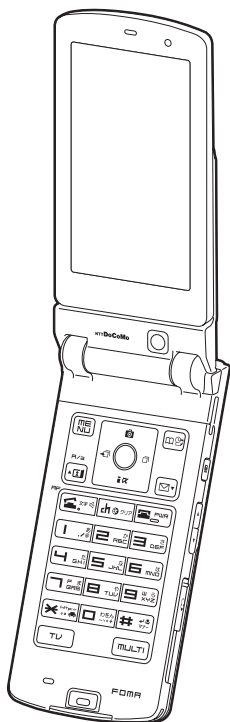
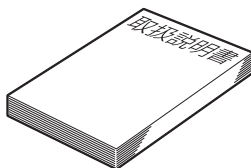
- FeliCaは、ソニー株式会社が開発した非接触ICカードの技術方式です。
- 本製品の一部にIndependent JPEG Groupが開発したモジュールが含まれています。
- 本製品はAdobe Systems Inc.のAdobe Readerを搭載しています。
  Copyright© 2007 Adobe Systems Incorporated.
  All rights reserved. Patents pending.
  Adobe, the Adobe logo and Reader are either registered trademarks or trademarks of Adobe Systems Incorporated.
  AdobeおよびAdobe ReaderはAdobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の米国ならびにその他の国における商標または登録商標です。
- 「明鏡モバイル国語辞典」「Gモバイル英和辞典」「Gモバイル和英辞典」は大修館書店編集の著作物です。
- 本製品は、MPEG-4 Visual Patent Portfolio Licenseに基づきライセンスされており、お客様が個人的かつ非営利目的において以下に記載する場合においてのみ使用することが認められています。
  - MPEG-4 Visualの規格に準拠する動画やｉモーション（以下、MPEG-4 Video）を記録する場合
  - 個人的かつ営利活動に従事していない消費者によって記録されたMPEG-4 Videoを再生する場合
  - MPEG-LAよりライセンスを受けた提供者により提供されたMPEG-4 Videoを再生する場合
  プロモーション、社内用、営利目的などその他の用途に使用する場合には、米国法人MPEG LA, LLCにお問い合わせください。
- 下記一件または複数の米国特許またはそれに対応する他国の特許権に基づき、QUALCOMM社よりライセンスされています。
  Licensed by QUALCOMM Incorporated under one or more of the following United States Patents and/or their counterparts in other nations;

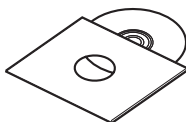
|  |  |  |
|---|---|---|
| 4,901,307 | 5,504,773 | 5,109,390 |
| 5,535,239 | 5,267,262 | 5,600,754 |
| 5,416,797 | 5,490,165 | 5,101,501 |
| 5,511,073 | 5,267,261 | 5,568,483 |
| 5,414,796 | 5,659,569 | 5,056,109 |
| 5,506,865 | 5,228,054 | 5,544,196 |
| 5,337,338 | 5,657,420 | 5,710,784 |
| 5,778,338 |  |  |

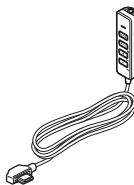
- コンテンツ所有者はWindows Mediaデジタル著作権管理テクノロジ（WMDRM）を使用して、著作権を含む自身の知的財産権を保護します。このデバイスはWMDRMソフトウェアを使用してWMDRM保護されたコンテンツにアクセスします。WMDRMソフトウェアがコンテンツの保護に支障を来たした場合、コンテンツ所有者はマイクロソフトに対して、保護されたコンテンツをソフトウェアがWMDRMを使用して再生、コピーするための許可を失効させるように要求することができます。失効しても、WMDRMで保護されていないコンテンツは影響を受けません。WMDRMで保護されたコンテンツのためのライセンスをダウンロードするときは、マイクロソフトがライセンスに“Revocation List”を含めることに同意したものと見なします。コンテンツ所有者は、コンテンツがアクセスされる時にWMDRMをアップグレードするよう要求することがあります。アップグレードを拒否すると、そのアップグレードを必要とするコンテンツにアクセスできなくなります。

# 本体付属品および主なオプション品について

〈本体付属品〉

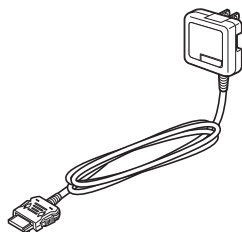
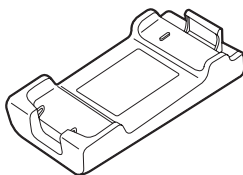
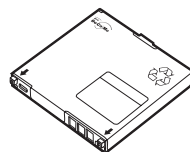
FOMA F904i
（リアカバーF19、保証書含む）

取扱説明書

※ P554にクイックマニュアルを記載しています。

FOMA F904i用CD-ROM

※ PDF版「データ通信マニュアル」および「区点コード一覧」を収録しています。

マイク付リモコン F01
（保証書、取扱説明書付き）

USBケーブル（試供品）
（取扱説明書付き）

- 本書で「FOMA USB接続ケーブル」または「FOMA 充電機能付USB接続ケーブル01」と記載されている箇所では、F904i付属の「USBケーブル」が使用できます。また、「イヤホンジャック変換アダプタ P001」と記載されている箇所では、F904i付属の「マイク付リモコン F01」が使用できます。

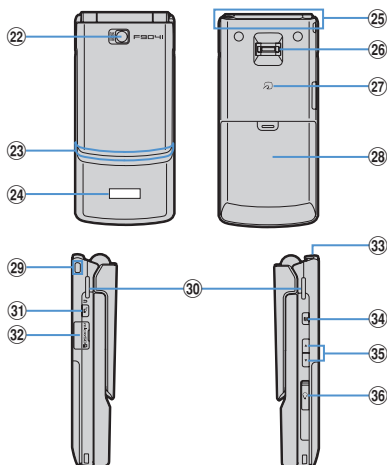
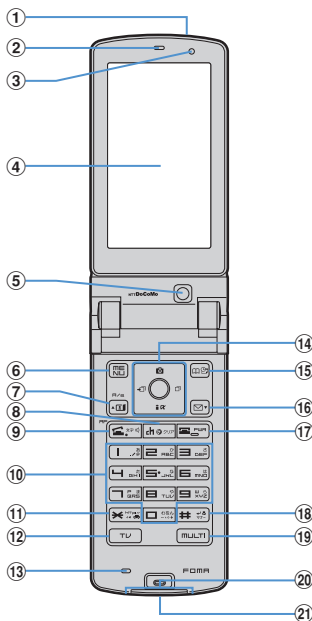
〈主なオプション品〉

FOMA ACアダプタ 01／02
（保証書、取扱説明書付き）

卓上ホルダ F17
（取扱説明書付き）

電池パック F10
（取扱説明書付き）

その他のオプション品→P520

# ご使用前の確認

# 各部の名称と機能

**ここではF904iの各部の名称と、キーに割り当てられている主な機能の説明をします。**

- 操作の説明では各キーをここで説明したイラストで表しています。

| サイズ（mm） | 高さ108×幅50×厚さ22（高さ、厚さは折り畳み時） |
|---|---|
| 質量（g） | 約138（電池パック装着時） |

① **赤外線ポート→P388**
赤外線でデータを送受信するときに使います。

② **受話口**
相手の声がここから聞こえます。

③ **光センサー**
画面の明るさを自動調整するために使います。
※ 光センサーをふさぐと、正しく自動調整されない場合があります。

④ **ディスプレイ→P28**

⑤ **インカメラ**
自分の映像を撮影したり、テレビ電話で自分の映像を送信したりするときに使います。

⑥ **MENU／左上ソフトキー**
メニューの表示、ガイド表示領域左上に表示される操作の実行に使います。
1秒以上押すと、HOLDの起動／解除ができます。

⑦ **テレビ電話開始／▲（スクロール）／A/a／左下ソフトキー**
テレビ電話をかける／受ける、メール画面やサイト、ホームページ表示中の上方向への1画面スクロール、大文字／小文字切り替え、ガイド表示領域左下に表示される操作の実行に使います。
1秒以上押すと、スピーカーホン機能でテレビ電話をかけられます。

⑧ **ch／α／クリアキー**
ｉチャネル一覧の表示、ｉアプリ待受画面とｉアプリ起動の切り替え、文字の消去や1つ前の画面に戻るときに使います。
1秒以上押すと、セルフモードの起動／解除ができます。

⑨ **音声電話開始／文字／スピーカーホン／AFキー**
音声電話をかける／受ける、文字入力モードの切り替え、スピーカーホン機能の通話切り替え、オートフォーカスの起動／解除に使います。
1秒以上押すと、スピーカーホン機能で音声電話をかけられます。

⑩ **ダイヤルキー**
電話番号や文字の入力、メニュー項目の実行に使います。
1秒以上押すと、次の機能を実行できます。
1～9：セレクトメニューに登録されている機能を実行できます。
0：国際電話をかけるとき、国際ダイヤルアシスト設定の自動変換機能設定を利用できます。

⑪ **＊／公共モード（ドライブモード）キー**
「＊」や「゛」「゜」などの入力、ワイド画面でのガイド表示領域の表示／非表示の切り替えに使います。
1秒以上押すと、公共モードの起動／解除ができます。

⑫ **TVキー**
ワンセグの視聴やマルチウインドウの切り替えに使います。

⑬ **送話口／マイク**
自分の声をここから伝えます。
※ 通話中や録音中に指でふさがないでください。

⑭ **マルチカーソルキー**
**決定キー**
操作の実行、フォーカスモードの実行に使います。
1秒以上押すと、ワンタッチｉアプリに登録したｉアプリを起動できます。
**カメラ／↑キー**
静止画撮影の起動、音量の調整、上方向へのカーソル移動に使います。
1秒以上押すと、動画撮影を起動できます。
**ｉモード／ｉアプリ／↓キー**
ｉモードメニューの表示、音量の調整、下方向へのカーソル移動に使います。
1秒以上押すと、ｉアプリフォルダ一覧を表示できます。
**着信履歴／←（前へ）キー**
着信履歴の表示、画面の切り替え、左方向へのカーソル移動に使います。
1秒以上押すと、プライバシーモード設定中にプライバシーモードの起動／解除ができます。
**リダイヤル／→（次へ）キー**
リダイヤルの表示、画面の切り替え、右方向へのカーソル移動に使います。
1秒以上押すと、ICカードロックの起動／解除ができます。
※ 次のように表記する場合があります。
：またはを押す
：またはを押す
：、、、のいずれかを押す

⑮ **電話帳／スケジュール／右上ソフトキー**
電話帳の表示、ガイド表示領域右上に表示される操作の実行に使います。
1秒以上押すと、スケジュール帳を表示できます。

⑯ **メール／▼（スクロール）／右下ソフトキー**
メールメニューの表示、メール画面やサイト、ホームページ表示中の下方向への1画面スクロール、ガイド表示領域右下に表示される操作の実行に使います。
1秒以上押すと、メール作成画面を表示できます。

⑰ **電源／終了キー**
応答保留、通話／操作中の機能の終了、待受カスタマイズの表示／非表示に使います。
2秒以上押すと、電源を入れる／切る操作ができます。

⑱ **#／改行／接写撮影／マナーモードキー**
「#」の入力、文字入力時の改行、アウトカメラ使用時の接写撮影の切り替えに使います。
1秒以上押すと、マナーモードの起動／解除ができます。

⑲ **マルチタスクキー**
通話中や操作中に別の機能を実行するときに使います（マルチアクセス／マルチタスク）。

⑳ **充電端子**

㉑ **外部接続端子**
各種オプション品の接続に使います。

㉒ **アウトカメラ**
静止画や動画を撮影したり、テレビ電話で映像を送信したりするときに使います。

㉓ **ランプ****→P145、P431**
開閉ロック起動時、静止画や動画の撮影時、ミュージックプレイヤーの操作中などに点灯または点滅します。
また、不在着信お知らせやイルミネーション設定の設定に従って動作したり、簡易ライトとして利用したりできます。

㉔ **背面ディスプレイ****→P31**

㉕ **FOMAアンテナ**
FOMAアンテナは本体に内蔵されています。よりよい条件で通話をするために、アンテナ部を手で覆わないようにしてお使いください。

㉖ **指紋センサー****→P155**
指紋の登録時や認証時に指をスライドさせます。

㉗ **FeliCaマーク****→P301、P388**
ICカードが搭載されていることを示しています。FeliCaマークを読み取り機にかざしておサイフケータイを利用したり、iC通信でデータを送受信したりするときに使います。なお、ICカードは取り外せません。

㉘ **リアカバー**

㉙ **ストラップ取付口**

㉚ **スピーカー**
着信音や、スピーカーホン機能利用中の相手の声などがここから聞こえます。

㉛ **プッシュトーク／キー**
背面ディスプレイのメニュー表示、プッシュトークの操作に使います。

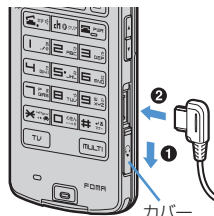
㉜ **microSDメモリーカードスロット****→P371**

㉝ **TVアンテナ****→P323**

㉞ **ミュージックキー**
背面ディスプレイのメニュー項目の実行、ミュージックプレイヤーの操作に使います。
1秒以上押すと、ミュージックプレイヤーを起動できます。

㉟ **サイドキー［▲▼］****→P26**

㊱ **イヤホンマイク端子****→P439**
カバーを❶の方向にスライドし、別売の平型スイッチ付イヤホンマイクなどを接続します（❷）。別売のイヤホンジャック変換アダプタ P001を利用して市販のイヤホンマイクも使えます。

**スイッチ付イヤホンマイクの接続方法**

※ プラグは確実に差し込んでください。
※ コードをFOMA端末に巻きつけたり、アンテナ部に近づけないでください。受信レベルが低下したり、ノイズが入る場合があります。

## ◆サイドキーでできる主な操作

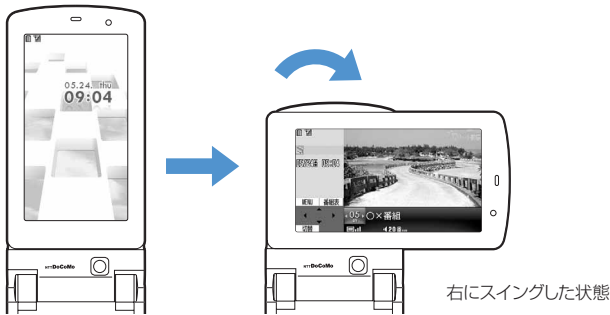
開：FOMA端末を開いた状態　閉：FOMA端末を折り畳んだ状態
開閉：FOMA端末を開いた状態または折り畳んだ状態

| 操　作 | 状態 | 機　能 | 操作できる主な状態 |
|---|---|---|---|
| **サイドキー［▲］** | 開 | 音量を大きくする | 伝言メモ・音声メモ・待受ｉモーション※1・動画／ｉモーション再生中、動画／ｉモーション編集中、各種音量設定中 |
| | | 撮影・録音・停止・保存 | 静止画・動画撮影中、撮影待機中、サウンドレコーダー録音中、録音待機中 |
| | | 前の画面に切り替え | フルブラウザでマルチウィンドウ表示中 |
| | 閉 | 背面ディスプレイの照明の点灯／表示切り替え／メニュー項目の選択 | 背面ディスプレイの照明の消灯中／新着情報表示中／メニュー表示中 |
| | 開閉 | 音量を大きくする | 通話中、通話中着信中、通話中音声メモ録音中、プッシュトーク通信中、ワンセグ視聴中、メロディ・アルバム再生中、動画／ｉモーション連続再生中、ミュージック再生中 |
| | | 音、バイブレータの停止 | 着信中、メール／メッセージ受信時、アラーム鳴動中 |
| **サイドキー［▲］（1秒以上）** | 開 | 伝言メモ／音声メモメニューの表示 | 待受画面表示中 |
| | | ウィンドウ一覧を表示 | フルブラウザ表示中 |
| | | 音量を連続して大きくする | ワンセグ視聴中 |
| | 閉 | マナーモードの起動／解除※2 | 待受中 |
| | | 音量を大きくする | ワンセグ視聴中 |
| | 開閉 | クイック伝言メモ起動 | 着信中 |
| | | 通話中音声メモ、動画メモの起動／停止 | 通話中 |
| | | 前のメロディ・動画／ｉモーションの再生、前の曲の再生 | メロディ・アルバム再生中、動画／ｉモーション連続再生中・プレイリスト再生中、ミュージック再生中・プレイリスト再生中 |
| **サイドキー［▼］** | 開 | 音量を小さくする | 音量を大きくする（状態が開のとき）と同様 |
| | | ガイドラインの表示／非表示 | 静止画撮影待機中 |
| | | 次の画面に切り替え | フルブラウザでマルチウィンドウ表示中 |
| | 閉 | 背面ディスプレイの照明の点灯／表示切り替え／メニュー項目の選択 | 背面ディスプレイの照明の消灯中／新着情報表示中／メニュー表示中 |
| | 開閉 | 音量を小さくする | 音量を大きくする（状態が開閉のとき）と同様 |
| **サイドキー［▼］（1秒以上）** | 開 | ウィンドウ一覧を表示 | フルブラウザ表示中 |
| | 開閉 | ｉモード問合せ※2 | 待受画面表示中 |
| | | 次のメロディ・動画／ｉモーションの再生、次の曲の再生 | メロディ・アルバム再生中、動画／ｉモーション連続再生中・プレイリスト再生中、ミュージック再生中・プレイリスト再生中 |
| | | 音量を消音にする | ワンセグ視聴中 |

※1 マナーモード中は操作できません。
※2 お買い上げ時の状態です。サイドキー長押し設定で、FOMA端末を折り畳んだ状態で動作する機能を設定できます。

# ディスプレイをスイングして表示する（ヨコモーション）

**FOMA端末を開いた状態で、ディスプレイを右または左に90度回転し、横画面を表示します。**

右にスイングした状態

- お買い上げ時は、待受画面表示中や文字入力中に横画面にすると、次の機能が起動します。起動する機能はスイング設定で変更できます。→P430

| 操作できる状態 | スイング（左） | スイング（右） |
|---|---|---|
| **待受画面表示中** | 静止画撮影 | ワンセグ |
| **文字入力中** | デコメピクチャの一覧※ | 顔文字種別の一覧※ |

※ 文字入力画面によっては動作しません。

### ■ ワイド画面

次の機能やデータは横432ドットのワイド画面で表示できます。

- フルブラウザ
- 横320ドットを超えるサイズのｉアプリ
- サイズがQVGA（240×320）のｉモーション、PDFデータ、Word、Excel、PowerPointファイル
- ワンセグ（マルチウインドウ含む）

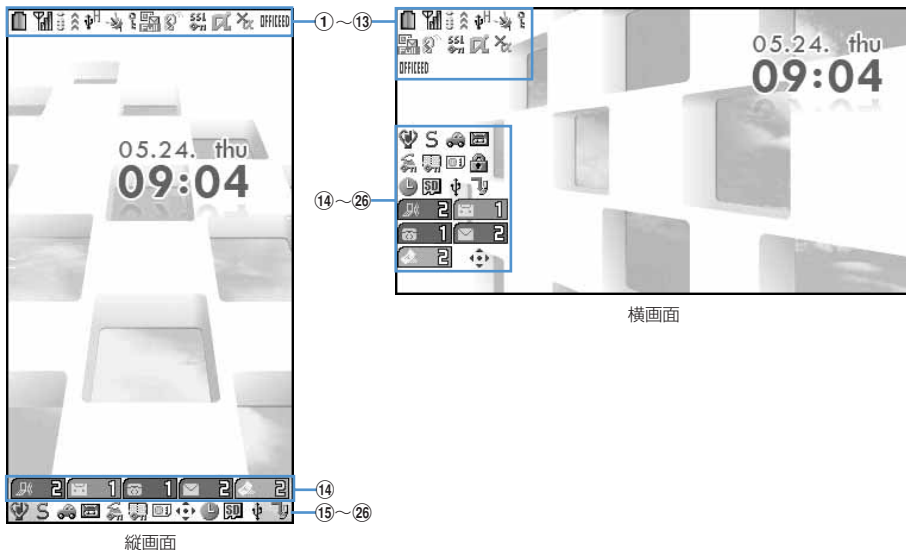
### ✔お知らせ

- FOMA端末を折り畳んだ状態でディスプレイを回転させないでください。ディスプレイやキー周辺に傷がつくおそれがあります。
- サブメニューや新規起動メニュー、画面切替メニューを表示中にディスプレイを回転させると、メニューは閉じます。

# ディスプレイの見かた

**ここではディスプレイに表示されるマーク（アイコン）の説明をします。**

縦画面

横画面

① ：電池アイコン→P43

② ：アンテナアイコン→P44
　圏外：圏外表示→P44
　Self：セルフモード中→P161
　：データ転送モード中→P167、P367、P387、P520

③ ／：ｉモード中（ｉモード接続中）／（パケット通信中）→P204

④ ：赤外線通信中→P387
　赤外線リモコン使用中→P392
　¥：積算通話料金が上限を超過→P435

※1
⑤ ：ハンズフリー対応機器で通信中→P66
　：スピーカーホン機能利用中→P53

※1
⑥ ：GPSで測位中→P312
　：GPSで位置提供設定中→P316

⑦ ：電話帳データ、スケジュールデータがシークレット属性→P113、P427

※1
⑧ 未読メール、メッセージR/F状態表示→P220、P244、P274
　：未読ｉモードメール、SMS満杯かつFOMAカードにSMS満杯
　：未読ｉモードメール、SMS満杯
　：FOMAカードにSMS満杯
　：未読ｉモードメールとSMSあり
　：未読ｉモードメールあり
　：未読SMSあり
　（赤）／（青）：未読メッセージR満杯／あり
　（赤）／（緑）：未読メッセージF満杯／あり

※1
⑨ プッシュトークの状態またはｉモードセンター蓄積状態表示→P88、P220、P244
　：ネットワーク上の電話帳ページ取得中
　：プッシュトーク通信中
　：ｉモードメールとメッセージR/F満杯、またはいずれかが満杯で未受信あり
　／／：ｉモードメールまたはメッセージR/F満杯
　：未受信のｉモードメールとメッセージR/Fあり
　／／：未受信のｉモードメール、メッセージR、メッセージFのいずれかがあり

※1
⑩ ：SSLページ表示中／ｉアプリでSSL通信中、SSLページからダウンロードしたｉアプリを使用中→P205
　SSL／TLSページ表示中→P336
　：圏内自動送信失敗メールあり→P242
　：圏内自動送信メールあり→P242

⑪ ｉアプリ／ｉアプリDX状態表示→P283、P293
　：ｉアプリ動作中
　（αがグレー）：ｉアプリ待受画面表示中
　（αがオレンジ）：ｉアプリ待受画面からｉアプリ起動中
　：ｉアプリDX動作中
　（dxがグレー）：ｉアプリDX待受画面表示中
　（dxがオレンジ）：ｉアプリDX待受画面からｉアプリ起動中

※2
⑫ ：ｉアプリ自動起動失敗→P292

※2
⑬ OFFICEED：OFFICEEDエリア内→P465
⑭ 2：新着情報→P35
⑮ ：マナーモード中→P127
　：オリジナルマナーモード中→P129
⑯ S：電話着信音量消音設定中→P71
　V：音声電話着信のバイブレータ設定中→P124
　SV：電話着信音量消音と音声電話着信のバイブレータを同時に設定中→P71、P124
⑰ ：公共モード（ドライブモード）中→P73
⑱ ／：伝言メモ設定中／満杯→P76
※1
⑲ ：ダイヤル発信制限中→P162
　：HOLD中→P168
⑳ ：パーソナルデータロック中→P161
※1
㉑ ：FOMAカード読み込み中→P37、P44
　：ICカードロック中→P308
　（背景が黄緑）：個別ICカードロック中→P309
㉒ ／●※3：フォーカスモード時の有効マルチカーソルキーの表示→P35
　：開閉ロック中→P168

㉓ ：目覚まし設定中→P420
　：スケジュールアラーム設定中→P423
　：目覚ましとスケジュールアラームを同時に設定中→P420、P423
㉔ USBモード設定とmicroSDメモリーカードの状態表示→P371、P380
　SD：通信モード中にmicroSDメモリーカードあり
　（青）／（グレー）：microSDモード中にmicroSDメモリーカードあり／なし
　（青）／（グレー）：MTPモード中にmicroSDメモリーカードあり／なし
㉕ ：USBケーブルで外部機器と接続中→P86、P381
※1
㉖ ：ソフトウェア更新予約中→P537
　：更新お知らせアイコン→P535
　：最新パターンデータの自動更新失敗→P538
　：最新パターンデータの自動更新成功→P538

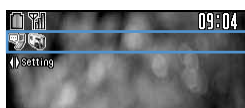
※1 現在優先度の高いものが1つ表示されます。優先度の高い順に上から掲載しています。
※2 縦画面で待受画面以外のときやワイド画面によっては、時刻が表示されます。
※3 横画面のときは、⑭新着情報の下に表示されます。

**✔お知らせ**

- ワイド画面のときは縦画面と同様にアイコンが表示されます。ただし、表示中の機能によっては一部またはすべてのアイコンが表示されない場合があります。

## ◆タスク表示領域の見かた

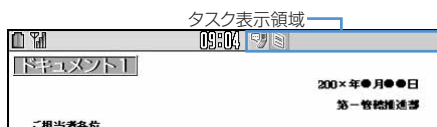
タスク表示領域には、動作中の機能（タスク）を示すアイコンが最大9個表示されます。マルチアクセス中、マルチタスク中に動作中の機能を確認できます。

〈例〉音声電話中に静止画撮影を起動したとき

縦画面

タスク表示領域

横画面

〈例〉音声電話中にWordファイルを表示したとき

※ ワイド画面でWord、Excel、PowerPointファイルの表示中は、縦画面同様にタスク表示領域が表示されます。

タスク表示領域

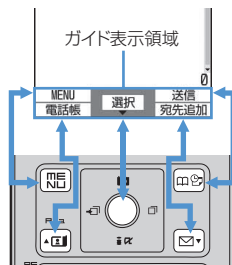
ワイド画面

### ❖タスク表示領域に表示されるアイコン一覧

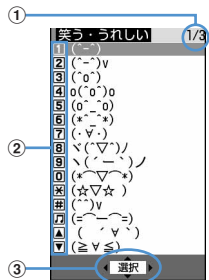
：音声電話
：リダイヤル
：着信履歴
：伝言メモ／音声メモ
：テレビ電話
：外部機器によるテレビ電話
：電話（切り替え中）
：電話（切断中）
：プッシュトーク
：電話帳
：プライバシーモードのシークレット反映
：きせかえツール
：静止画撮影
：動画撮影
：バーコードリーダー
：ｉモード
：ｉモードのBookmark／Internet／画面メモ
：メッセージR/F
：メール
：ｉモードメール受信中
：ｉモード／SMS問合せ中
／：メール送信履歴／受信履歴
：チャットメール
：SMS受信中
：ｉアプリ
：トルカ
：GPSの現在地確認
：GPSの位置提供
：GPSの現在地通知
：GPSの位置履歴
：フルブラウザ
：ワンセグ
：マイピクチャ
：動画／ｉモーション
：キャラ電
：メロディ
（青）／（グレー）：microSDメモリーカードへアクセス中／アクセス待機中
：ミュージックプレイヤー
：サウンドレコーダー
：マイドキュメント（PDFデータ）
：その他（Word、Excel、PowerPointファイル）
：マルチタスクで音量設定中
：お知らせタイマー
：目覚まし
：スケジュール帳
：スケジュールアラーム鳴動中
：プロフィール情報
：電卓
：メモ帳
：辞典
：お預かりセンターに接続中
：電話帳通信履歴表示中
：ネットワークサービス設定中
／：USB経由でパケット発信・通信中／送受信中
：64Kデータ通信中
：外部データ連携中
／：ソフトウェア更新中／更新の通知あり
：パターンデータ更新中／バージョン表示中
（青）／（グレー）：各機能の設定中／保留中

## ◆ガイド表示領域の見かた

ガイド表示領域には、、、、、を押して実行できる操作が表示されます。
表示位置とキーは、図のように対応しています。本書では、ガイド表示領域に表示される操作の説明を、対応するキー（）を使って説明しています。
ガイド表示領域に表示される操作は画面により異なります。

- ガイド表示領域のは、マルチカーソルキーのに対応しています（使用する機能や表示しているサイトやホームページの作りかたによっては異なる場合があります）。
- 横画面にしたときは画面の左側に表示されます。
- ワイド画面では、を押すとガイド表示領域が表示され、押すたびにガイド表示領域の表示／非表示が切り替えられます（ワンセグ視聴中を除く）。

## ◆一覧画面の見かた

①一覧が複数ページにわたる場合、表示中のページ番号と総ページ数が表示されます。
②表示されている数字に対応するダイヤルキー（1～9）を押すと、項目を選択できます。縦画面ではさらに表示されている次のキーを押しても項目を選択することができます。

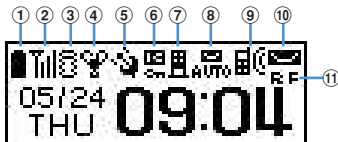
▲：サイドキー［▲］
▼：サイドキー［▼］

③ は、カーソル位置の項目の上下に選択項目があることを示しています。を押してカーソルを移動します。ページの最後の項目でを押すと次ページが、先頭の項目でを押すと前ページが表示されます。
は、選択項目が複数ページにわたっていることを示しています。を押してページを切り替えます。アイコンの選択画面など、画面によっては切り替えできません。

# 背面ディスプレイの見かた

**FOMA端末を折り畳んでいても、日付や新着情報、設定中の機能や使用中の機能など、さまざまな情報を確認できます。**

- 主な表示内容は次のとおりです。
  - 音声電話やテレビ電話（着もじ、センター留守電含む）、プッシュトーク、伝言メモの状態表示
  - ｉモードメールやSMS、メッセージR/Fの問合せ中・受信中
  - GPSの現在地確認、位置提供、現在地通知などの状態表示
  - ワンセグ視聴中、メロディ再生中、ミュージックプレイヤー起動中、microSDメモリーカードの利用中
  - 目覚ましやスケジュールアラーム、お知らせタイマーの鳴動中
  - パケット通信や64Kデータ通信、USB経由での通信、赤外線通信の状態表示
- オールロック、おまかせロック、HOLD中は、サイドキー［▲▼］や、を押すとロックが設定されている旨のメッセージが表示され、しばらくたつと日付・時刻表示画面に切り替わります。
- FOMA端末を折り畳むと、背面ディスプレイの照明が背面照明色設定で設定した色で点灯します。約15秒間何も操作しないでいると消灯しますが、サイドキー［▲▼］や、を押すと再び点灯します。
- 背面ディスプレイに情報が表示されているときにFOMA端末を開くと、表示は消えます。ただし、静止画・動画撮影中や撮影待機中、サウンドレコーダー録音待機中は、FOMA端末を開いているときのみ状態が表示されます。サウンドレコーダーで録音中は、FOMA端末の状態に関わらず表示されます。
- ワンセグ視聴中やミュージックプレイヤー起動中にを押すと、日付・時刻が表示できます。

### ❖背面ディスプレイに表示されるアイコン一覧

アイコンの意味は次のとおりです。

①：電池アイコン
②：アンテナアイコン
　：圏外表示
　：セルフモード中
　：データ転送モード中
③／：ｉモード中（ｉモード接続中）／（パケット通信中）
④：マナーモード中
　：オリジナルマナーモード中
　：音楽再生中
　：ワンセグ視聴中
⑤：GPSで位置提供設定中
⑥：ICカードロック中
⑦／：センターにｉモードメール、メッセージR/Fあり／満杯
⑧／：圏内自動送信メールあり／失敗メールあり
⑨：不在着信／伝言メモ／センター留守電あり
⑩／：未読ｉモードメール、SMSあり／満杯
⑪／：未読メッセージRあり／満杯
　／：未読メッセージFあり／満杯

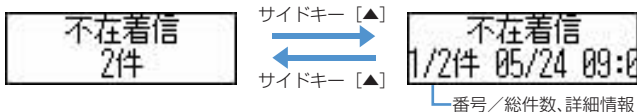
## ◆背面ディスプレイの表示を切り替える

不在着信や伝言メモ、未読メール、未読メッセージR/F、センター留守電がある場合は、背面ディスプレイの照明が点灯しているときにサイドキー［▼］を押すとこれらの件数が確認できます。件数確認中にサイドキー［▲］を押すと、詳細情報が確認できます（センター留守電を除く）。

- 詳細情報が複数件ある場合は、サイドキー［▼］を押すと次の詳細情報に切り替わります。ただし、10件を超える詳細情報は表示できません。FOMA端末を開いて確認してください。

**〈例〉不在着信の詳細情報に切り替えるとき**

不在着信の件数確認中にサイドキー［▲］を押すと、電話がかかってきた日時と電話をかけてきた相手の情報がスクロール表示されます。

番号／総件数、詳細情報

- 電話番号やメールアドレスが電話帳に登録されているときは、詳細情報に名前が表示されます。
- 詳細情報表示中に約5秒間操作をしないでいると、日付・時刻表示に戻ります。

# メニューから機能を選択する

**メニューには、お買い上げ時に表示されるノーマルメニューと、メニュー項目を自由に登録できるセレクトメニューがあります。**

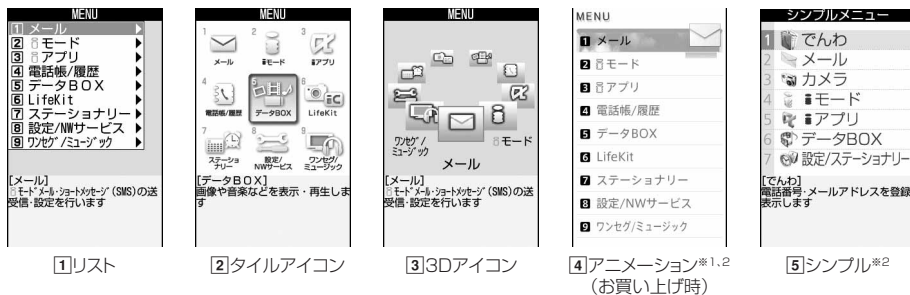
- メニューの表示形式は、待受画面で[MENU][i]を押すと表示されるメニュー設定で、ノーマル欄またはセレクト欄を選択して表示される次の5種類から選択できます。→P141

1リスト

2タイルアイコン

3 3Dアイコン

4アニメーション※1､2
（お買い上げ時）

5シンプル※2

※1 メニュー設定やコーディネイト／きせかえの設定により、アニメーションデザインは異なります。
※2 セレクトメニューでは選択できません。

## ◆機能を選択する

待受中に[MENU]を押し、表示されるメニューから各種機能を選択して実行します。
機能を実行するには、メニュー項目に対応したダイヤルキーを押す方法と、マルチカーソルキーでメニュー項目を選択する方法の2とおりがあります。

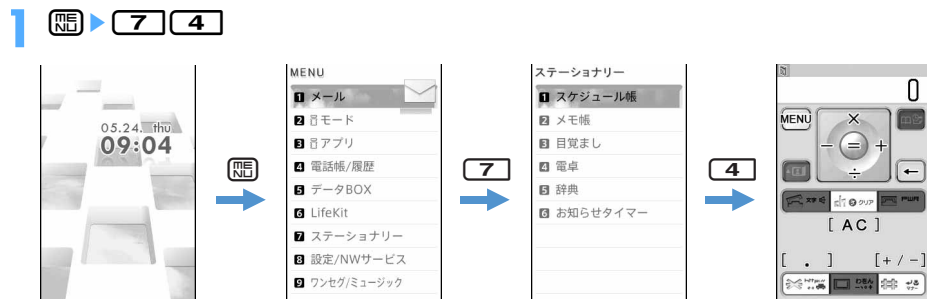
- 各種ロック機能やFOMAカード未挿入などの理由で機能が実行できない場合は、アイコンが🔒で表示されたり文字の色が変わったりして選択できません。ただし、アニメーションメニューの場合、表示は変わりません。機能を選択すると、実行できない理由などを表示します。
- 縦画面のときはカーソル位置のメニュー項目の機能説明が表示されます（アニメーションメニューを除く）。また、ノーマルメニューの場合はメニュー項目の設定内容も表示されます。

## ❖ダイヤルキーでメニューを選択する（ショートカット操作）

メニュー項目にはそれぞれ番号が割り当てられています（項目番号）。対応するダイヤルキー（0〜9）を押してメニュー項目を選択できます。本書は操作の方法を、項目番号によるショートカット操作で説明しています。ただし、メニュー設定でノーマルを「シンプル」に設定した場合には、項目番号が異なりますのでご注意ください。

- メニューの項目番号については、「メニュー一覧」をご覧ください。→P482

〈例〉「電卓」を選択するとき

**1**

## ❖マルチカーソルキーでメニューを選択する

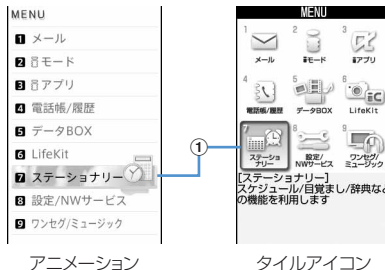
〈例〉「電卓」を選択するとき

**1** MENU▶「ステーショナリー」または「設定／ステーショナリー」にカーソルを合わせて●

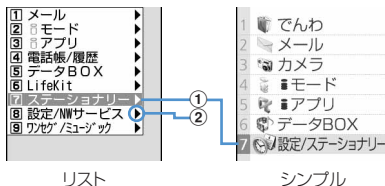
- 画面の見かたは次のとおりです。

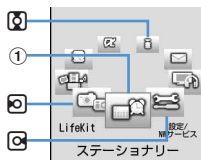
アニメーションまたはタイルアイコンのとき

①カーソル位置の色やデザインが変わります。
　で移動します。
　※ アニメーションデザインによってはでの移動はできません。

アニメーション　　タイルアイコン

リストまたはシンプルのとき

①カーソル位置の色が変わります。
　で移動します。
②次の階層のメニューがあることを示します。

リスト　　シンプル

3Dアイコンのとき

①カーソル位置は中央最前面に固定されています。
でメニュー項目をここに移動します。
移動するメニュー項目の位置と操作するキーは、図のように対応しています。

## 2「電卓」にカーソルを合わせて［選択］

- リストまたはシンプルの場合は、カーソルを合わせてを押してもメニューが選択できます。

### ❖待受画面や1つ前のメニューに戻すには

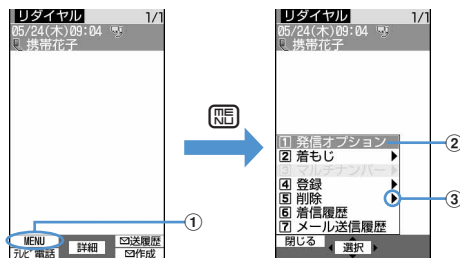
メニューを選択した後で待受画面や1つ前のメニューに戻すには、次のキーを押します。
：待受画面に戻ります。
：1つ前のメニューに戻ります。リストまたはシンプルの場合は、を押しても戻ります。

## ◆サブメニューの操作方法

ガイド表示領域の左上に「MENU」と表示される場合は、サブメニューを使ってさまざまな操作ができます。

〈例〉リダイヤルのサブメニューを表示するとき

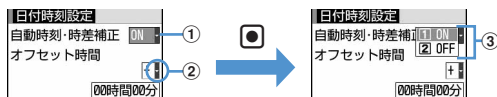
## 1 リダイヤル一覧画面で▶サブメニューの項目番号に対応するダイヤルキーを押す

- 画面の見かたは次のとおりです。
  ①サブメニューがあることを示します。
  ②カーソル位置の色が変わります。
  ③次の階層のメニューがあることを示します。
- 項目にカーソルを合わせてまたはを押しても選択できます。
- サブメニューの項目番号は、同じ機能でも操作する画面により異なる場合があります。
- またはを押すと、サブメニューが閉じます。

## ◆画面の各項目の操作方法

### ❖プルダウンメニューの操作方法

〈例〉日付時刻設定で自動時刻・時差補正を設定するとき

## 1 設定する項目にカーソルを合わせて▶プルダウンメニューの項目番号に対応するダイヤルキーを押す

- 画面の見かたは次のとおりです。
  ①カーソル位置の色が変わります。
  ②プルダウンメニューがあることを示します。
  ③プルダウンメニュー

- 項目にカーソルを合わせてを押しても選択できます。

### ❖チェックボックスの操作方法

〈例〉スケジュール登録で繰り返しの曜日選択をするとき

## 1 チェックボックスの項目番号に対応するダイヤルキーを押す

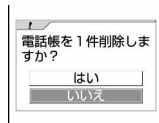
- 項目にカーソルを合わせて●を押しても選択できます。
- ダイヤルキーまたはカーソル位置で●を押すたびに、チェックボックスが☑（選択）と□（解除）に切り替わります。
- 機能によっては㊂を押すと、すべての項目を選択または解除できます。

### ❖確認画面の操作方法

登録内容の削除や設定などの操作中に、機能を実行するかどうかの確認画面が表示される場合があります。

〈例〉電話帳データを1件削除するとき

## 1 「はい」または「いいえ」にカーソルを合わせて● ［選択］

- 機能によっては、「はい」「いいえ」以外の項目が表示される場合があります。

## ◆情報をすばやく表示する〈フォーカスモード〉

待受画面で新着情報が表示されているときや、カレンダー／待受カスタマイズを設定して表示しているときは、待受画面で●を押すと、対応する情報をすばやく表示できるフォーカスモードになります。

- USBケーブルで外部機器と接続中（ ）、更新お知らせ（ ）、最新のパターンデータの自動更新の成功／失敗（ ／ ）のアイコン表示中も同様に操作できます。→P381、P535、P538

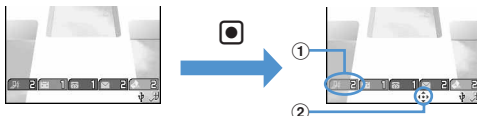
〈例〉新着情報を表示するとき

待受画面の下部に表示される5種類のアイコンから、新着情報を確認できます。アイコン内の数字は新着情報の件数を示します。

2（不在着信）：選択すると、着信履歴一覧が表示されます。
1（伝言メモ）：選択すると、伝言メモ一覧が表示されます。
1（留守番電話サービスの伝言メッセージ）：選択すると、メッセージ再生確認画面が表示されます。2in1がONでデュアルモードのとき、Bナンバーへの着信のみがある場合はB 1、Aナンバー、Bナンバーそれぞれの着信がある場合はAB 2を表示します。
2（未読メール）：選択すると、受信メールのフォルダ一覧が表示されます。
2（未読トルカ）：選択すると、最新の未読トルカが保存されているフォルダのトルカ一覧が表示されます。

## 1 ●▶アイコンにカーソルを合わせて●

- 画面の見かたは次のとおりです。
  ①カーソル位置のアイコンが赤い枠で囲まれます。
  ②マルチカーソルキーで移動可能な方向を示します。

フォーカスモードを解除する：ch クリア または

✔お知らせ

- 新着情報のアイコンにカーソルを合わせて[chクリア]を1秒以上押すと、アイコンは一時的に消えます。留守番電話サービスの伝言メッセージのアイコンの場合は、表示を消去するかどうかの確認画面が表示されます。「はい」を選択すると表示されなくなります。新たに情報が蓄積されたり、情報を閲覧して件数が変化したりすると再び表示されます。
- フォーカスモード中は、[MENU]を押してもメニューを表示できません。

## 背面ディスプレイのメニューから機能を選択する

- 利用できる機能は次のとおりです。
  - ミュージックプレイヤー（起動）／終了、ICカードロック設定／解除、マナーモード設定／解除、ｉモード問合せ、簡易ライト

〈例〉ｉモード問合せをするとき

**1 背面ディスプレイの照明が点灯中に[♪]▶サイドキー［▲▼］で「ｉモード問合せ」にカーソルを合わせて[♪]**

- メニュー表示中に[♪]を押すと、日付・時刻表示に戻ります。
- 「ICカードロック解除」を選択したときは、認証操作が必要です。

## FOMAカードを使う

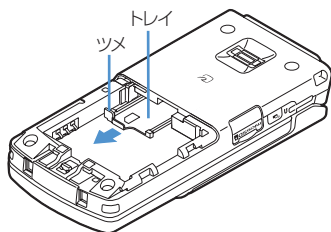
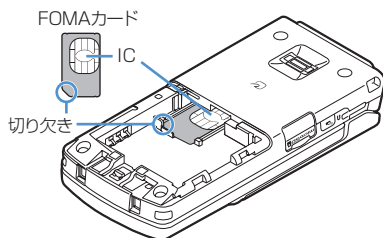
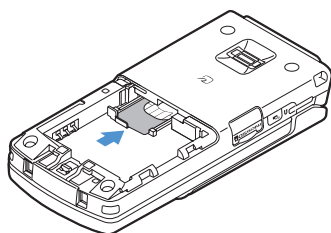
**FOMAカードとは、電話番号などのお客様情報を記録できるカードです。**

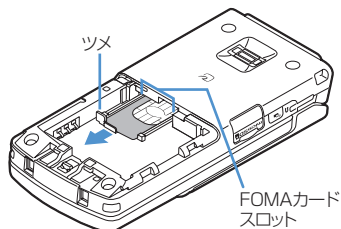
- FOMAカードを正しく取り付けていない場合や、FOMAカードに異常がある場合は、電話の発着信やメールの送受信などはできません。
- FOMAカードの取り扱いについての詳細は、FOMAカードの取扱説明書をご覧ください。

## ◆取り付けかた／取り外しかた

- 電源を切ってからFOMA端末を折り畳み、両手で持ったまま行ってください。
- IC部分に触れたり、傷をつけたりしないようにご注意ください。
- リアカバーと電池パックの取り付けかた／取り外しかた→P40

### ■ 取り付けかた

① ツメを引き、「カチッ」と音がするまでトレイを引き出します。

② IC面を上にして、図のような向きでFOMAカードをトレイに載せます。

③ トレイを奥まで押し込みます。

### ■ 取り外しかた

① ツメを引き、「カチッ」と音がするまでトレイを引き出し、FOMAカードを静かに取り外します。

**✔お知らせ**

- FOMAカードを無理に取り付けようとしたり、取り外そうとしたりすると、FOMAカードやトレイが壊れる場合があるため、ご注意ください。
- トレイを強く引き抜いて外れてしまった場合には、FOMAカードスロット内部のガイドレールに合わせてまっすぐに押し込んでください。このとき、FOMAカードは取り外した状態で行ってください。

## ◆FOMAカードの暗証番号について

FOMAカードには、「PIN1コード」「PIN2コード」という2つの暗証番号があります。
ご契約時はどちらも「0000」に設定されていますが、お客様ご自身で番号を変更できます。→P154

## ◆FOMAカード動作制限機能について

FOMA端末には、お客様のデータやファイルを保護したり、第三者が著作権を有するデータやファイルを保護したりするための機能として、FOMAカード動作制限機能が搭載されています。

- FOMA端末にお客様のFOMAカードを取り付けている状態で、サイトなどからファイルやデータをダウンロードしたり、メールに添付されたデータを取得したりすると、それらのデータやファイルにはFOMAカード動作制限機能が自動的に設定されます。
- 異なるFOMAカードに差し替えた場合やFOMAカードを差し込んでいない場合、FOMAカード動作制限機能が設定されたデータやファイルの表示や再生はできません。また、FOMAカード動作制限機能が設定されたｉアプリは、削除以外の操作ができません。
- FOMAカード動作制限機能が設定されたデータやファイルは、赤外線通信／iC通信やmicroSDメモリーカードへのコピーや移動ができません。
- 動作制限の対象となるデータは次のとおりです。
  - テレビ電話伝言メモ、動画メモ
  - ｉモードメールの添付ファイル（トルカを除く）、デコメールや署名に挿入されている画像、画像やメロディが添付されているメッセージR/F、動作制限の対象となるデータが含まれたメールテンプレート
  - 画面メモ
  - ｉアプリ（ｉアプリ待受画面を含む）
  - トルカ（詳細）の画像
  - 画像（GIFアニメーションやFlash画像、電話帳お預かりセンターからダウンロードした画像を含む）、ｉモーション、コンテンツ移行対応のデータ、メロディ、PDFデータ、キャラ電、Word、Excel、PowerPointファイル
  - きせかえツール
  - 着うた®・着うたフル®

※「着うた」は株式会社ソニー・ミュージックエンタテインメントの登録商標です。

### ✔お知らせ

- FOMAカード動作制限機能の対象になっているデータを、待受画面や発着信時の画像、着信音などに設定しているとき、異なるFOMAカードに差し替えて使用したり、FOMAカードを差し込まずに使用したりすると、音や画像の設定はお買い上げ時の状態に戻ります。その場合、設定されている音や画像と、実際に鳴る音や表示される画像が異なることがあります。データをダウンロードしたときに使用したFOMAカードを差し込むと、データの動作制限は解除され、設定は元の状態に戻ります（データをランダムイメージ設定に利用していたときは、設定が解除される場合があります）。
- 赤外線通信／iC通信、microSDメモリーカード、データリンクソフトを利用して入手したデータ、内蔵のカメラで撮影した静止画や動画などには、FOMAカード動作制限機能は設定されません。
- 次のメニューの設定項目にはFOMAカードに保存されるものがあります。FOMAカードを差し替えると、差し替えたFOMAカードに保存されている内容が表示されます。詳細は「メニュー一覧」をご覧ください。→P482
  - プロフィール情報
  - SMS設定
  - 証明書管理
  - バイリンガル、FOMAカード（UIM）、電話番号設定、優先ネットワーク設定

## ◆FOMAカードの機能差分について

FOMA端末でFOMAカード（青色）をご使用になる場合、FOMAカード（緑色／白色）とは次のような違いがありますので、ご注意ください。

| 項　目 | FOMAカード（青色） | FOMAカード（緑色／白色） | 参照先 |
|---|---|---|---|
| FOMAカード電話帳に登録できる電話番号の桁数 | 最大20桁 | 最大26桁 | P103 |
| FirstPassを利用するためのユーザ証明書操作 | 利用不可 | 利用可 | P224 |
| WORLD WINGサービスの利用 | 利用不可 | 利用可 | P474 |
| サービスダイヤル | 利用不可 | 利用可 | P460 |

### WORLD WING

WORLD WINGとは、FOMAカード（緑色／白色）とサービス対応のFOMA端末で、海外でも同じ携帯電話番号で発信や着信ができる、ドコモのFOMA国際ローミングサービスです。なお、F904iはドコモの3Gローミングサービスエリアでのみご利用いただけます。GSMサービスエリアでご利用される場合は、FOMAカード（緑色／白色）をGSM対応端末に差し替えることによりご利用いただけます。

※ 2005年9月1日以降にFOMAサービスをご契約いただいたお客様は、WORLD WINGのお申し込みは不要です。ただし、FOMAサービスご契約時に不要である旨お申し出いただいたお客様や途中でご解約されたお客様は、再度お申し込みが必要です。
※ 2005年8月31日以前にFOMAサービスをご契約でWORLD WINGをお申し込みいただいていないお客様は、お申し込みが必要です。
※ 一部ご利用になれない料金プランがあります。
※ 万一、海外でFOMAカード（緑色／白色）の紛失・盗難にあった場合などは、速やかにドコモへご連絡いただき、利用中断の手続きをお取りください。お問い合わせ先については、取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」をご覧ください。なお、紛失・盗難された後に発生した通話・通信料もお客様のご負担となりますのでご注意ください。

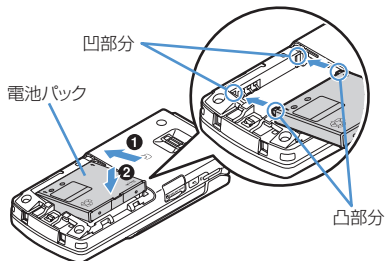
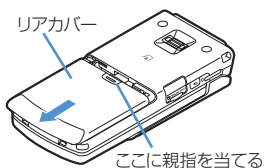
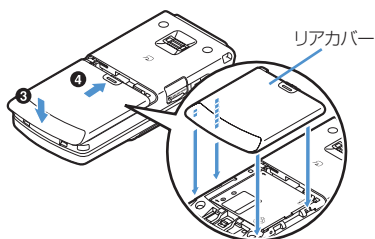
# 電池パックの取り付けかた／取り外しかた

- 電源を切ってからFOMA端末を折り畳み、手に持って行ってください。
- 電池パックを取り外すと、ソフトウェア更新の予約が解除される場合があります。また、日付時刻設定で自動時刻・時差補正を「OFF」にして日付・時刻を設定したときは、電池パックを取り外すと日付・時刻が消去される場合があります。

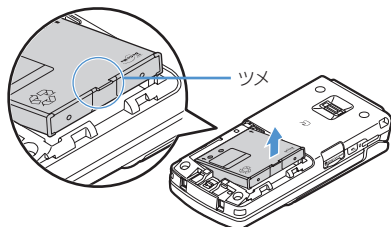
## ❖取り付けかた／取り外しかた

### ■ 取り付けかた

①親指でリアカバーを押し付けながら、矢印方向に約3mmスライドさせて外します。

②電池パックのラベル面を上にして、電池パックの凸部分をFOMA端末の凹部分に合わせて❶の方向に差し込み、❷の方向に押し付けてはめ込みます。

③リアカバーの4箇所のツメをFOMA端末のミゾに合わせます。FOMA端末とリアカバーにすき間が生じないように❸の方向に押さえながら、❹の方向にスライドさせて取り付けます。

### ■ 取り外しかた

①取り付けかたの操作①を行います。

②電池パックのツメをつまんで、矢印方向に持ち上げて取り外します。

### ✔お知らせ

- 電池パックを無理に取り付けようとするとFOMA端末の端子が壊れる場合があるため、ご注意ください。
- 上記以外の方法で取り付け／取り外しを行ったり、力を入れすぎたりすると、FOMA端末やリアカバーが破損するおそれがあります。

## ❖電池パックの上手な使いかた

- **電源を入れたままでの長時間（数日間）充電はおやめください。**
  FOMA端末の電源を入れた状態で充電が完了した後は、FOMA端末は電池パックから電源が供給されます。そのままの状態で長時間置くと、電池パックが消費され、短い時間しか使用できずに電池アラームが鳴ってしまう場合があります。その場合はFOMA端末をACアダプタや卓上ホルダ、DCアダプタから外して、もう一度セットして充電し直してください。
- **環境保全のため、不要になった電池はNTT DoCoMoまたは代理店、リサイクル協力店などにお持ちください。**

## 携帯電話を充電する

**お買い上げ時は、電池パックは十分に充電されていません。必ず専用のACアダプタまたはDCアダプタで充電してからお使いください。**

- F904iの性能を十分に発揮するために、必ず電池パック F10をご利用ください。
- 電池パック F10の取り扱いについては、電池パックの取扱説明書をご覧ください。

### ❖充電時間（目安）

F904iの電源を切って、電池パックを空の状態から充電したときの時間です。電源を入れたまま充電したり、低温時に充電したりすると、充電時間は長くなります。

| ACアダプタ | 約150分 | DCアダプタ | 約150分 |
|---|---|---|---|

### ❖十分に充電したときの使用時間（目安）

充電のしかたや使用環境によって、使用時間は変動します。

| 連続待受時間（静止時） | 約550時間 | 連続通話時間（音声電話時） | 約190分 |
|---|---|---|---|
| 連続待受時間（移動時） | 約400時間 | 連続通話時間（テレビ電話時） | 約100分 |
| ワンセグ視聴時間 | 約300分 | | |

- 連続通話時間は、電波を正常に送受信できる状態での目安です。
- 連続待受時間はF904iを折り畳んで電波を正常に受信できる状態での目安です。なお、電池パックの充電状態、機能設定状況、気温などの使用環境、利用場所の電波状態（電波が届かない、または弱い）などにより、通話や通信、待受の時間は約半分程度になる場合があります。ｉモード通信を行うと通話や通信、待受の時間は短くなります。また、通話やｉモード通信をしなくても、プッシュトーク通信、ｉモードメールの作成、ダウンロードしたｉアプリの起動やｉアプリ待受画面設定、データ通信、マルチアクセスの実行、カメラの使用、動画／ｉモーションの再生、ミュージックプレイヤーでの曲の再生、ワンセグの視聴などを行うと、通話や通信、待受の時間は短くなります。

### ❖電池パックの寿命について

- 電池パックは消耗品です。充電を繰り返すごとに、1回で使える時間が次第に短くなっていきます。
- 1回で使える時間がお買い上げ時に比べて半分程度になったら、電池パックの寿命が近づいていますので、早めに交換することをおすすめします。また、電池パックの使用条件により、寿命が近づくにつれて電池パックが膨れる場合がありますが問題ありません。
- 充電しながらｉアプリやテレビ電話、ワンセグの視聴などを長時間行うと、電池パックの寿命が短くなることがあります。

### ❖充電について

- 詳しくは、FOMA ACアダプタ 01／02（別売）、FOMA 海外兼用ACアダプタ 01（別売）、FOMA DCアダプタ 01／02（別売）の取扱説明書をご覧ください。
- FOMA ACアダプタ 01はAC100Vのみに対応しています。また、FOMA ACアダプタ 02はAC100Vから240Vまで対応しています。
- FOMA 海外兼用ACアダプタ 01はAC100Vから240Vまで対応していますが、ACアダプタのプラグ形状はAC100V用（国内仕様）です。海外で使用する場合は渡航先に適合した変換プラグアダプタが必要です。なお、海外旅行用の変圧器を使用しての充電は行わないでください。

#### ✔お知らせ

- ｉアプリによっては、FOMA端末を折り畳んでも常に動作状態となり、電力を消費し続ける場合があります。その場合、通話や通信、待受の時間が短くなることがあります。
- 通話中や通信中は充電が完了しない場合があります。また、動画／ｉモーション再生中やミュージック再生中、ｉアプリの動作中などに充電を開始すると充電が完了しないことがあります。充電を完了させるには、動作を終了してから充電することをおすすめします。

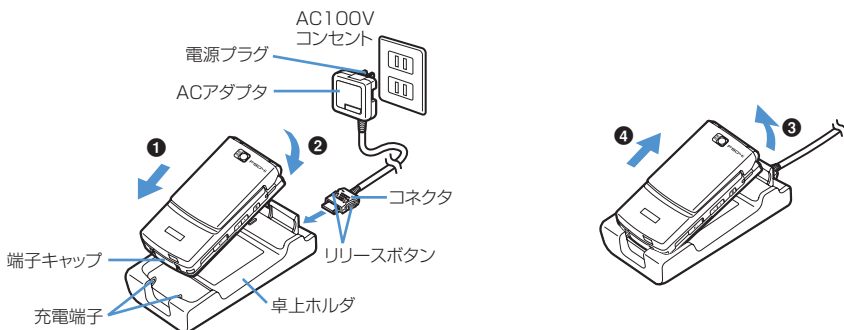
- 照明設定の点灯時間設定で通常時を「常時」に設定した状態でFOMA端末を開いたまま充電するなど、照明設定の設定や充電のしかたによっては、充電が完了しない場合があります。充電を完了させるには、FOMA端末を折り畳んで充電することをおすすめします。
- 充電中はFOMA端末や電池パック、卓上ホルダ、ACアダプタ、DCアダプタが温かくなる場合がありますが、異常ではありません。ただし、充電中にテレビ電話をかけたり、パケット通信や64Kデータ通信を行ったりすると、FOMA端末内部の温度が上昇し、充電が正常に終了しない場合があります。その場合は、FOMA端末の温度が下がるのを待って充電を行ってください。

## ◆充電する

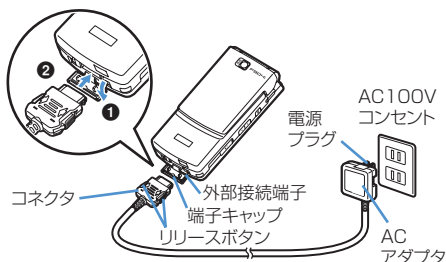
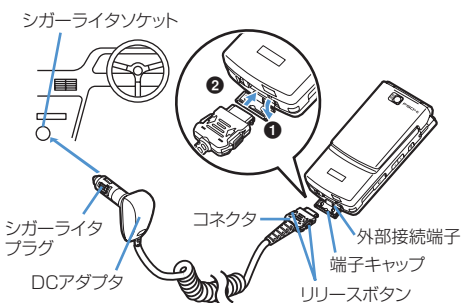
別売りのACアダプタやDCアダプタ、卓上ホルダを利用するときは、それぞれの取扱説明書もご覧ください。
- 電池パック単体での充電はできません。FOMA端末に電池パックを取り付けて充電します。

### ■ 卓上ホルダとACアダプタを使って充電する

①ACアダプタのコネクタを、矢印の表記面を上にして卓上ホルダへ水平に差し込みます。
②ACアダプタの電源プラグを起こし、AC100Vコンセントへ差し込みます。
③FOMA端末を卓上ホルダの充電端子に合わせ（❶）、矢印方向（❷）にカチッと音がするまで押し込みます。
- FOMA端末を折り畳み、端子キャップを閉じてから取り付けてください。

④充電が終わったら、卓上ホルダを押さえながらFOMA端末を持ち上げ（❸）、矢印方向（❹）に引き抜いて取り外します。

### ■ ACアダプタまたはDCアダプタで充電する

①FOMA端末の外部接続端子の端子キャップを開き（❶）、コネクタを矢印の表記面を上にして水平に差し込みます。（❷）
- 端子キャップが開きにくい場合は、FOMA端末を開いて行ってください。

②ACアダプタの場合は、電源プラグを起こし、AC100Vコンセントへ差し込みます。
DCアダプタの場合はシガーライタプラグを車のシガーライタソケットへ差し込みます。
③充電が終わったら、ACアダプタの場合は電源プラグをコンセントから、DCアダプタの場合はシガーライタプラグをシガーライタソケットから抜き、コネクタの両側のリリースボタンを押しながら、FOMA端末から水平に引き抜きます。

〈ACアダプタ〉　〈DCアダプタ〉

**✔お知らせ**

- ACアダプタやDCアダプタのコネクタを抜き差しする際は、コネクタ部分に無理な力がかからないようゆっくり確実に行ってください。取り外すときは、必ずリリースボタンを押しながら水平に引き抜いてください。無理に引き抜こうとすると故障の原因となります。
- FOMA端末を使用しないときや車から離れるときは、DCアダプタのシガーライタプラグをシガーライタソケットから外し、FOMA端末からDCアダプタのコネクタを抜いてください。
- DCアダプタのヒューズ（2A）は消耗品です。交換するときは、お近くのカー用品店などでお買い求めください。

### ❖充電中の動作と留意事項

充電が開始されると充電開始音が鳴り、背面ディスプレイの照明が点灯し、ディスプレイや背面ディスプレイの電池アイコンが点滅します。充電が終わると充電完了音が鳴り、背面ディスプレイの照明は消灯し、電池アイコンの点滅も止まります。

- 充電を開始すると背面ディスプレイの照明が赤色で点灯します。ただし、環境によっては充電開始時にすぐに点灯しない場合がありますが、故障ではありません。しばらくたっても点灯しない場合は、FOMA端末を一度ACアダプタや卓上ホルダ、DCアダプタから外して、もう一度セットし直してから充電を行ってください。充電開始後、しばらくたっても点灯しない場合は、ドコモショップなどの窓口にお問い合わせください。
- 充電中にメールを受信したり、撮影をしたりすると背面ディスプレイの照明は一時的に異なる色で点灯しますが、しばらくたつと赤色に点灯します。
  これらの理由以外で充電中に背面ディスプレイの照明が点滅する場合→P522「故障かな？と思ったら、まずチェック」
- 十分に充電されている電池パックをFOMA端末に取り付けてACアダプタや卓上ホルダ、DCアダプタに接続すると、背面ディスプレイの照明が一瞬点灯してすぐに消灯する場合がありますが、故障ではありません。
- 通話中や通信中、プッシュトーク通信中、マナーモード中、公共モード中、充電確認音を「OFF」に設定しているときは、充電開始時や完了時の確認音は鳴りません。

電池残量

# 電池残量の確認のしかた

**ディスプレイ上部に表示される電池アイコンで、電池残量の目安が確認できます。**

| アイコン | → | → |
|---|---|---|
| 電池残量 | | |
| 3（十分残っています） | 2（少なくなっています） | 1（電池残量がほとんどありません。充電してください） |

- 電池アイコンの変更方法→P130、P143、P145
- FOMA端末を折り畳んでいるときは、背面ディスプレイで電池残量を確認できます。

### ❖電池が切れそうになると

電池がない旨のメッセージが表示されます。●、ch クリア、のいずれかを押すとメッセージは一時的に消えます。しばらくするとスピーカーから電池アラームが鳴り、ディスプレイ上部のすべてのアイコンが点滅します。この約1分後に電源が切れます。充電を開始するとこれらの動作は止まりますが、すぐに電池アラームを止める場合はを押します。

- 通話中は、メッセージの表示とともに受話口から電池アラームが聞こえます。約20秒後に通話が切れ、スピーカーから電池アラームが鳴り、ディスプレイ上部のすべてのアイコンが点滅します。
- FOMA端末を折り畳んでいるときは、背面ディスプレイに「電池残量なし」と表示されます。

## ◆電池残量を音と表示で確認する〈電池レベル表示〉

**1** MENU ▶ 8 7 7 5

電池残量が表示され、残量に応じてキー操作音が鳴ります。しばらくたつとメニュー一覧表示に戻ります。

電源ON／OFF

# 電源を入れる／切る

### ❖電源を入れる

**1** （2秒以上）

ウェイクアップ画面が表示された後、待受画面が表示されます。FOMAカードの読み込み中はディスプレイ下部にが表示され、読み込みが終了すると消えます。

- ディスプレイ上部に表示されるアンテナアイコンで、電波の受信レベルの目安が確認できます。

| アイコン | | 圏外 |
|---|---|---|
| 受信レベル | 強 ⟷ 弱 | サービスエリア外や電波の届かない所 |

待受画面

- アンテナアイコンの変更方法→P130、P143、P145
- FOMA端末を折り畳んでいるときは、背面ディスプレイで受信レベルを確認できます。

### ❖電源を切る

**1** （2秒以上）

## ◆初めて電源を入れたときの設定を行う

文字の表示サイズの選択と初期設定を行います。設定した内容は後から変更できます。

- 文字を大きいサイズに変更するかどうかの確認画面で「はい」を選択すると、コーディネイト／きせかえの設定が「アドバンストモード」に設定されます。→P130
  ch クリアまたはを押して確認画面を消すと、次に電源を入れたときに、再びこの画面が表示されます。

### ❖初期設定を行う

MENU ▶ 8 7 7 8

【お買い上げ時】［日付時刻設定］自動時刻・時差補正：ON　［暗証番号設定］：0000　［指紋設定］：OFF　［キー確認音設定］：エレクトロニック　［プッシュトーク番号通知設定］：通知しない　［位置提供可否設定］：位置提供 OFF

- 暗証番号設定と位置提供可否設定は必ず設定してください。暗証番号設定と位置提供可否設定を設定せずに［📖］または［ch クリア］、［✉］を押すと、終了するかどうかの確認画面が表示されます。「はい」を選択して終了すると、次に電源を入れたときに、再びこの画面が表示されます。

**1 下記の各項目を選択して設定▶［📖］［終了］**

**日付時刻設定**：日付・時刻を設定します。→P45
**暗証番号設定**：認証操作を行った後、端末暗証番号を変更します。→P153
**指紋設定**：認証操作を行った後、認証に利用する指紋を登録します。→P157
**キー確認音設定**：キーを押したときの確認音を設定します。→P125
**プッシュトーク番号通知設定**：プッシュトーク中に電話番号を通知するかどうかを設定します。→P95
**位置提供可否設定**：認証操作を行った後、位置情報を提供するかどうかを設定します。指定した期間だけ位置提供を許可するように設定する場合は、位置提供可否設定の許可期間設定で設定してください。→P316

### ✔お知らせ

- FOMA端末の電源を入れるときは、待受画面が表示されるまで指紋センサーに指を触れないでください。
- FOMAカードを差し替えたとき（おまかせロック中を除く）は、電源を入れた後認証操作を行う必要があります。正しく認証されると待受画面が表示されます。誤った端末暗証番号を連続5回入力するか、指紋のみ認証設定を「ON」に設定しているときに連続5回認証に失敗すると、電源が切れます（ただし再び電源を入れることは可能です）。
- FOMA端末を開いたまま約5分間何も操作しないでいると、ディスプレイが自動的に表示されなくなります（省電力）。音声電話中も同様です。操作をしたり、電話の着信などがあると、ディスプレイは再び点灯します。

日付時刻設定

## 日付・時刻を合わせる

【お買い上げ時】自動時刻・時差補正：ON　オフセット時間：＋／00時間00分

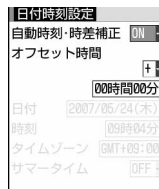
**時刻や時差を自動で補正するように設定するか、日付・時刻などを自分で入力します。自動で補正するように設定すると、国内ではドコモのネットワークからの時刻情報を、海外では利用中の通信事業者のネットワークからの時差補正情報を受信した場合に補正します。**

**1 MENU ▶ 8 7 2 1**

**2 下記の各項目を選択して設定▶［📖］［登録］**

**自動時刻・時差補正**：時刻や時差の補正を自動で行うかどうかを設定します。
- 「ON」に設定すると、オフセット時間が設定できます。
- 「OFF」に設定したときは、日付と時刻を設定します。タイムゾーン、サマータイムも設定できます。

**オフセット時間**：「＋」に設定すると、補正される時刻から、常に設定した時間進めて表示されます。「－」に設定すると、補正される時刻から、常に設定した時間遅らせて表示されます。
**日付**：2000年1月1日から2050年12月31日の間で日付を入力します。
**時刻**：24時間制で時刻を入力します。
**タイムゾーン**：時差のある場所に移動するとき、日付・時刻の設定を変更せずにタイムゾーンを設定します。
- 日付・時刻を設定したときのタイムゾーンから時差が計算され、表示されます。
- 国内では「GMT＋09：00」に設定します。

**サマータイム**：「ON」に設定すると、設定した時刻から1時間進めた時間が表示されます。

✔お知らせ

- 自動時刻・時差補正を「ON」に設定すると、電源を入れたときなどに時刻や時差の補正を行います。ただし、FOMAカードを取り付けていない場合や電波状態によっては、補正は行われません。また、ｉアプリによっては、動作中に補正できない場合があります。
- 自動時刻・時差補正を「ON」に設定していても、数秒程度の誤差が生じる場合があります。また、海外で利用中の通信事業者のネットワークによっては時差補正が行われない場合があります。
- 自動時刻・時差補正を「ON」に設定し、海外で時差補正が行われたときは、時差補正を行った旨のメッセージが表示されます。時差補正が行われた後は、発着信履歴やメール送受信などの表示時間は現地時間になります。
- 自動時刻・時差補正とデュアル時計設定を「ON」に設定すると、海外で利用中の通信事業者のネットワークによる時差補正情報を受信したときにデュアル時計が表示されます。
- 自動時刻・時差補正を「OFF」にして日付・時刻を設定したときは、電池パックを取り外したり、電池が切れたまま長い間充電しなかったりすると、日付・時刻が消去される場合があります。その場合は、もう一度日付・時刻の設定を行ってください。
- 一度も補正が行われず、日付･時刻が「--」や「？」などで表示されているときは、日付・時刻情報を利用する時計やFlash画像などが正しく表示されません。また、次の機能は利用できません。
  - SSL通信（認証）
  - ユーザ証明書の操作
  - メール検索（カレンダーでメール検索）
  - 著作権保護により再生制限が設定されている着うたフル®のダウンロードやｉモーションの取得および再生
  - ｉアプリDX、ｉアプリの自動起動
  - 著作権保護により再生制限が設定されているWMAファイルの再生
  - GPSの位置提供可否設定の許可期間設定
  - 目覚まし、スケジュール帳（データ送受信やスケジュールデータの表示含む）
  - ライフスタイル設定、ICカードロック解除予約、パターンデータ更新、自動電源ON設定、自動電源OFF設定、ソフトウェア更新
  - ワンセグ視聴予約、うた・ホーダイの再生、再生期限更新、着信音設定
- 一度も補正が行われず、日付･時刻が「--」や「？」などで表示されていると、次の機能で日時が記録されず、「----/--/--」「----------------」などと表示されます。さらに枝番（細分化するための番号）が付く場合もあります。
  - 送信メール、未送信メール、メール送信履歴の日時、作成したメールテンプレートの保存日時
  - ダウンロードしたデータやファイルの保存日時
  - ｉアプリのダウンロード日時
  - 着信履歴、リダイヤル、伝言メモ／音声メモ
  - 静止画や動画、音声ファイル、バーコードリーダーで読み取ったデータのファイル名の日時
  - トルカの受信日時、GPSの位置履歴
  - うた・ホーダイの詳細情報の再生期限

発信者番号通知設定

# 相手に自分の電話番号を通知する

**音声電話またはテレビ電話をかけたときに、相手の電話機に自分の電話番号（発信者番号）を表示させます。**

## ❖発信者番号の通知／非通知を一括して設定する

- 詳細は『ご利用ガイドブック（ネットワークサービス編）』をご覧ください。

**1** MENU ▶ 8 8 4 1 1

- 設定内容を確認するときはMENU 8 8 4 1 2を押し、「はい」を選択します。

**2** ネットワーク暗証番号を入力 ▶ 1 または 2

### ❖発信者番号通知の優先順位について

自分の電話番号を相手に通知／非通知にするには、次の方法もあります。これらを同時に設定したり操作したりした場合、次の優先順位で番号通知動作が行われます。このとき、ディスプレイの表示と実際の通知／非通知が異なる場合があります。

①発信時に発信オプションで番号通知方法を設定した場合→P62
②相手の電話番号の前に「186」または「184」を付けた場合→P60
③電話帳データの発番号設定→P112
④発信者番号通知設定

**✔お知らせ**

- 電話をかけたときに番号通知お願いガイダンスが聞こえたときや番号通知お願いの映像ガイダンスが表示されたときは、発信者番号を通知する設定にしてから かけ直してください。

プロフィール情報

## 自分の電話番号を確認する

MENU ▶ 4 9

【お買い上げ時】 あなたの名前、メールアドレス：－　自局電話番号：ご契約電話番号

**自局電話番号（ご契約電話番号）や登録した名前、メールアドレスなどを確認します。**

**1** MENU ▶ 0

通話中などに確認する：MULTI 0

**✔お知らせ**

- ｉモードのメールアドレスの確認方法→P233「メール設定を行う」
- 2in1がONでデュアルモードのときは、✉を押してAナンバーとBナンバーのプロフィール情報を切り替えられます。
- 2in1がONのとき、FOMAカードの差し替え（2in1契約者→2in1契約者）を行う場合は、正しいBナンバーを取得するために、2in1をOFFにしてから再度2in1をONにしてください。また、FOMAカードの差し替え（2in1契約者→2in1未契約者）を行う場合も、正しいプロフィール情報に更新するために、2in1をOFFにしてください。→P463

# 電話／テレビ電話

## 電話／テレビ電話のかけかた



## 電話／テレビ電話の受けかた



## 電話／テレビ電話に出られないとき／出られなかったとき



## テレビ電話の設定

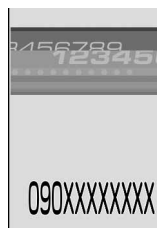
## テレビ電話について

**テレビ電話機能は、ドコモのテレビ電話に対応した端末どうしで利用できます。テレビ電話を利用すると、お互いの映像を見ながら通話できます。また、カメラ映像の代わりに静止画や代替画像、キャラ電なども表示できます。**

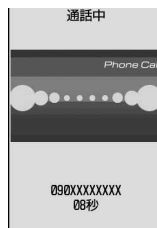
- テレビ電話は64kbpsでのみ通信できます。
- ドコモのテレビ電話は「国際標準の3GPP※1で標準化された、3G-324M※2」に準拠しています。異なる方式を利用しているテレビ電話とは接続できません。
  ※1 3GPP（3rd Generation Partnership Project）…第3世代移動通信システム（IMT-2000）に関する共通技術仕様開発のために設置された地域標準化団体
  ※2 3G-324M…第3世代携帯テレビ電話の国際規格

## 電話／テレビ電話をかける

### 1 電話番号を入力

- 一般電話にかけるときは、同じ市内への通話でも、必ず市外局番からダイヤルしてください。
- 電話番号は最大80桁入力できます。
- 電話番号を訂正するときは[ch クリア]を押します。
- [ch クリア]を1秒以上押すと、待受画面に戻ります。

### 2 発信方法を選択

**音声電話をかける:** [発信]**を押す**
「プップップッ」という発信音が聞こえます。相手が出たらお話しください。
ディスプレイに通話時間が表示されます。

- 相手が話し中のときは「ツーツー」という話中音が聞こえます。[終話]を押していったん発信を終了し、しばらくたってからおかけ直しください。
- 相手の携帯電話やPHSの電源が入っていないとき、または相手が電波の届かない所にいるときには、接続できない旨のガイダンスが流れます。
- 2in1がONでデュアルモードのときは、発信番号選択画面が表示されます。「Aナンバー」または「Bナンバー」を選択します。

テレビ電話をかける：

① [テレビ電話キー]を押す

テレビ電話接続中は、カメラ映像が表示されます。

- 相手が話し中のときは「ツーツー」という話中音が聞こえ、ディスプレイには「お話中です」または「接続できませんでした」のメッセージが表示されます。[終話キー]を押していったん発信を終了し、しばらくたってからおかけ直しください。
- マナーモード中のときは、スピーカーホン機能を利用した通話に切り替えるかどうかの確認画面が表示されます。「いいえ」を選択すると、受話口からの通話になります。
- 接続中に[テレビ電話キー]を押すと、テレビ電話画像選択で設定した代替画像が送信されます。代替画像にキャラ電を設定している場合、キャラ電が表示できないことがあります。このとき相手には代替画像設定の標準画像が送信されます。→P84
- 画面に「テレビ電話接続」と表示された時点から通話料金がかかります。
- 2in1がONでデュアルモードのときは、発信番号選択画面が表示されます。「Aナンバー」または「Bナンバー」を選択します。

② 画面に相手の映像が表示されたら、通話する

テレビ電話中の画面の見かた→P52

## 3 通話が終わったら[終話キー]

### ✔お知らせ

〈音声電話・テレビ電話共通〉

- [発信キー]または[テレビ電話キー]を押した後に電話番号を入力しても電話をかけられます。その場合、電話番号を入力した後、約5秒経過すると自動的に電話がかかります。
- 電話をかけたときに番号通知お願いガイダンスが聞こえた場合（テレビ電話の場合には、番号通知お願いの映像ガイダンスが表示された場合）は、発信者番号を通知する設定にしてからおかけ直しください。
- 条件を設定して電話をかけられます。→P62

〈テレビ電話のみ〉

- カメラ映像の代わりに代替画像を送信しても、通信料金は音声通話料ではなくデジタル通信料になります。
- テレビ電話がかからなかったときは、画面に次のメッセージが表示され、自動的に待受画面に戻ります。なお、通話する相手の電話機種別やネットワークサービスのご利用の有無により、実際の相手の状況とメッセージの表示が異なる場合があります。

| メッセージ | 説　明 |
|---|---|
| **番号をご確認の上おかけ直しください** | 使われていない電話番号です。 |
| **お話中です** | 相手が話し中です。※ |
| **電波の届かない所にいるか、電源が切れています** | 相手が電波の届かない所にいるか、電源が入っていません。 |
| **発信者番号通知をONにしてください** | 発信者番号非通知で接続した場合に表示されます（Vライブやビジュアルネットなどへの発信時）。 |
| **音声電話でおかけ直しください** | 相手が転送でんわサービスを設定していて転送先がテレビ電話非対応のFOMA端末の場合に表示されます。 |
| **パケット通信中です** | 相手がパケット通信中です。 |
| **ｉモードから接続してください** | IP（情報サービス提供者）が提供しているサイトに接続してから、テレビ電話発信してください。 |
| **上限額を超過しているため接続出来ません** | リミット機能付料金プラン（タイプリミット、ファミリーワイドリミット）の上限額を超過しています。 |
| **接続できませんでした** | 上記のいずれにも該当しない場合に表示されます。 |

※ 相手の端末によっては、パケット通信中の場合にも表示されることがあります。

- 音声自動再発信を「ON」に設定中に着もじメッセージを付加してテレビ電話を発信した場合は、再発信時も着もじメッセージが付加されます。
- 音声自動再発信を「ON」に設定中にFOMA端末から緊急通報（110番、119番、118番）へテレビ電話発信した場合は、自動的に音声電話発信となります。
- テレビ電話発信中や再発信中に着信があった場合、発信は中断され、着信音が鳴ることがあります。
- テレビ電話中に音声か映像、どちらかの通信が切れて[A]（音声のみ）または[V]（映像のみ）の表示になった場合でも、そのまま通話が継続されることがあります。

## ◆テレビ電話中の画面の見かた

①**親画面**
お買い上げ時は、相手側のカメラ映像を表示

②**テレビ電話アイコン**

③**スピーカーホン機能**
：ON　表示なし：OFF

④**子画面**
お買い上げ時は、自分側のカメラ映像を表示

⑤**ズーム**
：標準～：2倍（インカメラ）
：標準～：16倍（アウトカメラ）

⑥**状態**
：カメラ映像送信中　：カメラオフ画像送信中　：キャラ電中　：フレーム送信中　：静止画送信中　：通話保留中　：応答保留中　：伝言メモ録画中　：動画メモ録画中
**アクションモード**
：全体アクション　：パーツアクション

⑦**撮影モード**
：標準　：夕景　：逆光　：海・雪　：モノトーン　：セピア

⑧**ナイトモード**
表示なし：OFF　：ON（アウトカメラ）

⑨**送信画質**
表示なし：標準　：動き優先　：画質優先

⑩**音声・映像の送受信状態**
：音声送受信中　：映像送受信中　：音声・映像送受信中
**スピーカーホン音量／受話音量**
～：スピーカーホン音量／受話音量調整中

⑪**接写撮影**
表示なし：OFF　：ON（アウトカメラ）

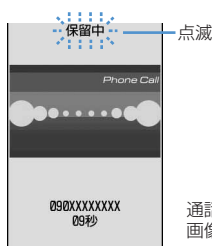
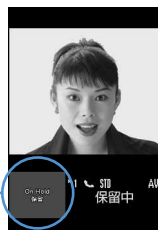
⑫**テレビ電話切替機能**
表示なし：切り替え不可　：切り替え可能

⑬**通話時間**
時:分:秒の形式で表示

## ◆通話中に保留にする〈通話中保留〉

通話中に自分の声を相手に聞こえないようにします。
- 保留中も、電話をかけた側に通話料金がかかります。

### 1 通話中に［保留］

通話が保留になり、ランプが緑色で点滅し、メロディが流れます。テレビ電話のときは、自分と相手にテレビ電話中保留画像が表示されます。
- 音声電話の保留を解除するときは、または を押します。
- テレビ電話の保留を解除するときは、次のいずれかの操作を行います。
  ：保留前に送信していた画像に戻ります。
  ／：カメラ映像が送信されます。
  ：代替画像が送信されます。

## ◆スピーカーホン機能を利用する

相手の声がスピーカーから聞こえる状態で電話をかけられます。

- テレビ電話をかける場合には、テレビ電話に接続されたときに自動的にスピーカーホン機能を利用した通話に切り替わります。自動的に切り替わらないようにするには、テレビ電話動作設定のスピーカーホン設定を変更します。

### 1 電話番号を入力▶[スピーカーキー]（1秒以上）または[テレビ電話キー]

- テレビ電話動作設定のスピーカーホン設定を「OFF」に設定しているときに、スピーカーホン機能を利用してテレビ電話をかける場合は、[テレビ電話キー]を1秒以上押します。
- 発信中、呼出中、通話中は、[スピーカーキー]を押すたびにスピーカーホン機能のON／OFFを切り替えられます。
- スピーカーホン機能利用中は、ディスプレイ上部に[スピーカーアイコン]が表示されます。
- 電話帳、リダイヤル、着信履歴、伝言メモ一覧、音声メモ一覧から操作する場合も同様です。

**✔お知らせ**

- スピーカーホン機能を利用した通話に切り替えると音量が急に大きくなります。FOMA端末を耳から離して使用してください。
- FOMA端末に向かって約50cm以内の距離でお話しください。周囲や相手側の雑音が大きく、スピーカーからの相手の声が聞き取りにくい場合は、スピーカーホン機能をOFFにしてください。
- マナーモード中でもスピーカーホン機能を利用できます。
- 平型スイッチ付イヤホンマイク（別売）や車載ハンズフリーキット01（別売）を接続しているときは、接続した機器を使って音声をやりとりします。

# 音声電話／テレビ電話を切り替える

**音声電話やテレビ電話をかけた側の端末からのみ、切り替え操作ができます。**

- 音声電話／テレビ電話切り替え対応機種どうしでご利用いただけます。
- 音声電話とテレビ電話の通話時間に応じて、通話料金がそれぞれ加算されます。
- 切り替え操作を行うには、相手がテレビ電話切替機能通知を開始している必要があります。→P85

## ❖音声電話中にテレビ電話へ切り替える

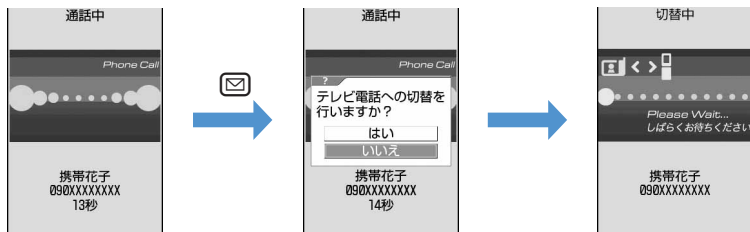
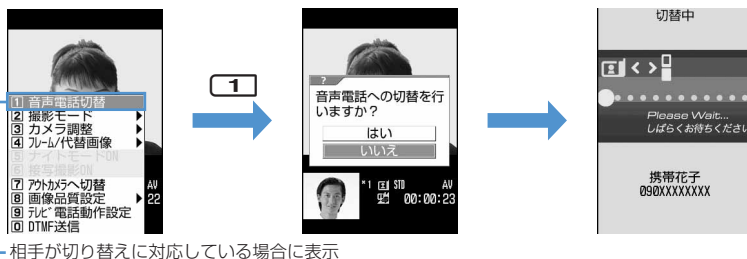
### 1 通話中に[メールキー]▶「はい」を選択

- 切り替え中は、電話を切り替える旨のガイダンスが流れます。
- 「いいえ」を選択すると音声電話中の画面に戻ります。

## 2 画面に相手の映像が表示されたら、通話する

- テレビ電話動作設定のスピーカーホン設定を「ON」に設定している場合は、テレビ電話に切り替わると、自動的にスピーカーホン機能を利用した通話になります。

### ❖テレビ電話中に音声電話へ切り替える

## 1 通話中に MENU ▶ 1 ▶「はい」を選択

相手が切り替えに対応している場合に表示

- 切り替え中は、電話を切り替える旨のガイダンスが流れます。
- 「いいえ」を選択するとテレビ電話中の画面に戻ります。

## 2 音声電話の通話中画面が表示されたら、通話する

- 音声電話に切り替えると、スピーカーホン機能は解除されます。

### ✔お知らせ

- 切り替えには5秒間程度かかります。電波状態によっては、切り替えに時間がかかる場合があります。
- 切替中画面が表示されている間は、料金は加算されません。
- 電波状態によっては切り替えができず、電話が切れる場合があります。
- 切り替えは繰り返し行えます。
- 音声電話中にパケット通信を行っている場合は、パケット通信を切断してテレビ電話に切り替えます。
- キャッチホンでの音声電話中は、テレビ電話に切り替えられません。
- テレビ電話に切り替えようとしたときに相手側がパケット通信中の場合は、切り替えができない旨のメッセージが表示され、音声電話が継続されます。
- カメラの切り替えやフレーム選択、代替画像の送信などテレビ電話中に行った設定は、音声電話とテレビ電話を切り替えるたびに解除されます。→P79

# リダイヤル／着信履歴を利用して電話をかける

MENU ▶ 4 6 / 4 5

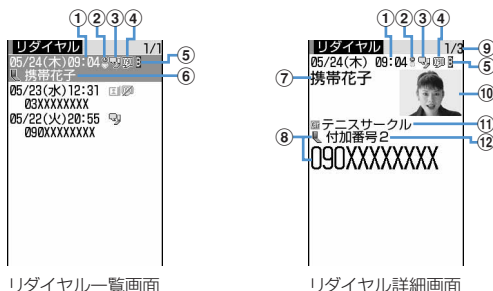
**音声電話、テレビ電話およびプッシュトークの発信履歴（リダイヤル）と着信履歴を記録しておく機能です。**

- リダイヤルと着信履歴はそれぞれ最大30件記録されます。30件を超えると、古いものから順に消去されます。
- 2in1がONのときは、リダイヤルと着信履歴はそれぞれAナンバー最大30件、Bナンバー最大30件の60件まで記録されます。AモードのときはAナンバーのリダイヤル／着信履歴のみ、BモードのときはBナンバーのリダイヤル／着信履歴のみ表示されます。デュアルモードのときはすべてのリダイヤル／着信履歴が表示されます。
- 同じ電話番号に音声電話やテレビ電話をかけた場合は、番号通知の「指定なし」「通知」「非通知」のそれぞれについて最新の1件のみがリダイヤルに記録されます。プッシュトークを発信した場合は、音声電話やテレビ電話とは別にリダイヤルに記録されます。
- 着信履歴には、電話に出られなかったとき（不在着信）の履歴、伝言メモに録音または録画されたときの履歴も記録されます。また、受信した着もじメッセージも記録されます。
- プッシュトークのリダイヤル／着信履歴→P90

## 1 （リダイヤル）または（着信履歴）▶かけ直す相手にカーソルを合わせる

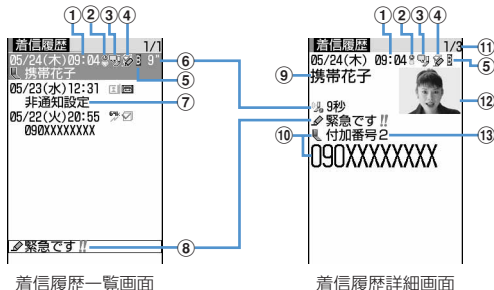
- かけ直す相手を選択すると詳細画面が表示されます。プッシュトーク発着信を選択した場合はメンバー一覧が表示されます。メンバー一覧で●を押し、メンバーを選択すると詳細画面が表示されます。

### リダイヤル画面の見かた

リダイヤル一覧画面　　リダイヤル詳細画面

① **発信日時（海外滞在時は滞在地の日時）**
② **海外滞在時（GMT＋09:00を除く）の発信**※1
③ **発信の種類**
　：音声電話　：国際音声電話　：テレビ電話　：国際テレビ電話
　：発信対象が1人のプッシュトーク　：発信対象が複数のプッシュトーク
　：発信対象が1人のプッシュトーク（プッシュトークプラス）→P88
　：発信対象が複数のプッシュトーク（プッシュトークプラス）→P88
④ **発信者番号の通知／非通知**
　：発信オプション、電話帳の発番号設定、プッシュトーク番号通知設定で番号通知に設定した場合
　：発信オプション、電話帳の発番号設定、プッシュトーク番号通知設定で番号非通知に設定した場合
⑤ **Bナンバーでの発信（2in1がONでデュアルモードの場合）**
⑥ **電話番号**※2**／電話帳の電話番号アイコン、名前（電話帳に登録している場合）**※3**／グループマーク、グループ名（プッシュトークでグループ発信した場合）**
⑦ **名前（電話帳に登録している場合）**
⑧ **電話帳の電話番号アイコン（電話帳に登録している場合）、電話番号**※2
⑨ **リダイヤル番号／件数**※4
⑩ **画像（電話帳に登録している場合）**※5
⑪ **グループマーク、グループ名（プッシュトークでグループ発信した場合）**
⑫ **発信したマルチナンバーの名称（マルチナンバーを利用している場合）**

※1 発信日時が記録されていないときなど、表示されない場合があります。
※2 国際電話の場合は、電話番号の前に「+」が表示されます。
※3 プッシュトークで複数のメンバーを選択して発信した場合は、メンバー一覧の先頭メンバーの電話番号アイコンと名前が表示されます。
※4 プッシュトークの場合は、メンバー番号／メンバー数が表示されます。
※5 画像／名前表示切替の設定に従って表示されます。

### 着信履歴画面の見かた

着信履歴一覧画面　　着信履歴詳細画面

**①着信日時（海外滞在時は滞在地の日時）**
**②海外滞在時（GMT＋09:00を除く）の着信※1**
**③着信の種類**
：音声電話　：国際音声電話　：テレビ電話
：国際テレビ電話　：64Kデータ通信　：国際64Kデータ通信
：着信対象が1人のプッシュトーク　：着信対象が複数のプッシュトーク
：着信対象が1人のプッシュトーク（プッシュトークプラス）→P88
：着信対象が複数のプッシュトーク（プッシュトークプラス）→P88
**④状態マーク**
：不在着信（未確認）　：不在着信（確認済み）　：伝言メモ　：伝言メモ（削除済み）
：着もじメッセージ　：着もじメッセージ付きの不在着信（未確認）
：着もじメッセージ付きの不在着信（確認済み）
：着もじメッセージ付きの伝言メモ　：着もじメッセージ付きの伝言メモ（削除済み）
**⑤Bナンバーへの着信（2in1がONでデュアルモードの場合）**
**⑥不在着信の呼出時間マーク（詳細画面のみ）※2、不在着信の呼出時間（一覧画面では100秒以上の場合「99"」と表示されます）※2**
**⑦電話番号※3／電話帳の電話番号アイコン、名前（電話帳に登録している場合）／発信者番号非通知理由**
**⑧着もじマーク、着もじメッセージ**
**⑨名前（電話帳に登録している場合）／発信者番号非通知理由**
**⑩電話帳の電話番号アイコン（電話帳に登録している場合）、電話番号※3**
**⑪着信履歴番号／件数※4**
**⑫画像（電話帳に登録している場合）※5**
**⑬着信したマルチナンバーの名称（マルチナンバーを利用している場合）**
※1 着信日時が記録されていないときなど、表示されない場合があります。
※2 プッシュトークの詳細画面では表示されません。
※3 国際電話の場合は、電話番号の前に「+」が表示されます。
※4 プッシュトークの場合は、メンバー番号／メンバー数が表示されます。
※5 画像／名前表示切替の設定に従って表示されます。

## 2 （音声電話）または（テレビ電話）

- 詳細画面でを押すと、選択しているリダイヤル／着信履歴の発着信方法と同じ方法で発信されます。
- 2in1がONでデュアルモードのときは、発着信時のナンバーに従って発信されます。

### ❖リダイヤル／着信履歴を利用する

電話帳に登録する：
① 登録する相手にカーソルを合わせて[MENU]▶[4]▶[1]または[2]
② [1]または[2]
• 登録済みの電話帳データに追加するときは、登録先の電話帳データを選択します。
③ 名前やメールアドレスなどを登録
電話帳登録→P101、P103

ｉモードメールを作成する：宛先にする相手にカーソルを合わせて[✉]

SMSを作成する：宛先にする相手にカーソルを合わせて[✉]（1秒以上）

リダイヤル一覧と着信履歴一覧を切り替える：[MENU]▶[6]

メール送信履歴／受信履歴を表示する：[📖]を押す

**✔お知らせ**
• 2in1がONのときは、Bナンバーのリダイヤル／着信履歴ではｉモードメールとSMSは作成できません。

### ❖詳細画面の表示を切り替える〈画像／名前表示切替〉

【お買い上げ時】 画像登録時のみ表示

**1** 詳細画面で[MENU]▶[8]▶[1]〜[3]

各設定項目→P109「詳細画面の表示を切り替える」

### ❖かかってきた電話に出られなかったとき〈不在着信〉

待受画面に[不在着信アイコン 2]（数字は件数）が表示され、着信履歴に不在着信として記録されます。
• 待受画面のアイコンを選択して着信履歴などをすばやく確認できます。→P35
• 覚えのない番号からの不在着信があった場合、呼出時間により、着信履歴を残すことだけを目的としたような迷惑電話（「ワン切り」など）かどうかを確認できます。

**✔お知らせ**
• 条件を設定して電話をかけられます。→P62
• 会社などでダイヤルインを利用している相手から着信した場合、相手のダイヤルイン番号と異なった番号が表示される場合があります（ダイヤルインとは、1本の回線で着信用の電話番号を複数持てるサービスです）。
• 通話中に音声電話とテレビ電話を切り替えた場合、着信履歴には着信時の種別（音声電話またはテレビ電話）が記録されます。
• 呼出動作開始時間設定で設定した呼出開始時間内の不在着信も含め、すべての着信履歴を表示する場合は、着信履歴一覧で[MENU][8][1]を押します。元の着信履歴に戻す場合は、[MENU][8][2]を押します。
• 音声電話中にリダイヤル／着信履歴を表示する場合は、[MENU]を押し「リダイヤル」または「着信履歴」を選択します。

## ◆リダイヤル／着信履歴を削除する〈リダイヤル／着信履歴削除〉

リダイヤルや着信履歴はそれぞれ1件ずつ、またはまとめて削除できます。

〈例〉1件削除するとき

**1** [発信]（リダイヤル）または[着信]（着信履歴）▶削除する相手にカーソルを合わせて[MENU]▶[5][1]

複数削除する：[発信]（リダイヤル）または[着信]（着信履歴）▶[MENU]▶[5][2]▶削除する相手を選択▶[📖]

全件削除する：[発信]（リダイヤル）または[着信]（着信履歴）▶[MENU]▶[5][3]▶認証操作

**2** 「はい」を選択

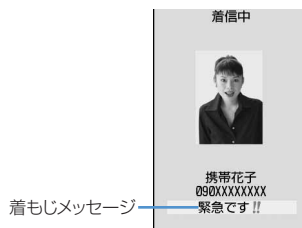
✔お知らせ

- 詳細画面から操作する場合は[MENU]を押し「削除」→「1件削除」または「全件削除」を選択します。
- プライバシーモード中（電話帳・履歴を「指定電話帳非表示」に設定した場合）に「全件削除」を選択した場合、非表示のリダイヤル／着信履歴も削除されます。

着もじ

# 着もじを利用する

**音声電話やテレビ電話をかける際に、呼出中に相手側へメッセージを送ることで、あらかじめ用件や緊急度を伝えることができます。**

- 対応機種：902iSシリーズ、SH902iSL、N902iX HIGH-SPEED、N902iL、903iシリーズ、904iシリーズ、702iSシリーズ（N702iS、M702iS、M702iG除く）、703iシリーズ、601iシリーズ（L601i除く）、D800iDS
- 送信側は料金がかかります。受信側は料金がかかりません。
- プッシュトークでは利用できません。

## ◆着もじメッセージを登録する

メッセージを作成したり修正したりします。

- 最大10件登録できます。

**1** [MENU]▶[8][8][3][1]

**2** 「〈新しいメッセージ〉」を選択

- 登録済みのメッセージを選択すると、メッセージを修正できます。

送信したメッセージを引用して作成する：[MENU]▶[1]▶引用するメッセージを選択

メッセージを削除する：削除するメッセージにカーソルを合わせて[MENU]▶[2]▶「はい」を選択

- 全件削除するときは[MENU][3]を押し、「はい」を選択します。

**3** メッセージを入力

- 全角・半角・絵文字・記号問わず最大10文字入力できます。

**4** [📖]［登録］を押す

登録済みのメッセージを修正したときは、メッセージを登録するかどうかの確認画面が表示されます。

## ◆着信時の着もじメッセージの表示について設定する〈メッセージ表示設定〉

【お買い上げ時】 番号通知ありのみ

**1** MENU ▶ 8 8 3 2 ▶ 1 ～ 4

**すべて表示**：すべてのメッセージを受信し表示します。
**表示しない**：すべてのメッセージを受信しません。
**電話帳登録番号のみ**：電話帳に登録している相手からのメッセージのみ受信し表示します。
**番号通知ありのみ**：電話番号を通知してきた相手からのメッセージのみ受信し表示します。

## ◆着もじメッセージをつけて電話をかける

メッセージを作成したり、登録したメッセージを選択したりできます。メッセージは相手の着信画面に表示されます。

- 送信した着もじメッセージは送信メッセージ履歴に最大10件保存されます。10件を超えると、古いものから順に消去されます。
- 2in1がONのときは、送信した着もじメッセージは送信メッセージ履歴にAナンバー最大10件、Bナンバー最大10件の20件まで保存されます。AモードのときはAナンバーで送信した着もじメッセージのみ、BモードのときはBナンバーで送信した着もじメッセージのみ表示されます。デュアルモードのときはすべての着もじメッセージが表示されます。

〈例〉メッセージを作成するとき

**1** **電話番号を入力 ▶ MENU ▶ 3**

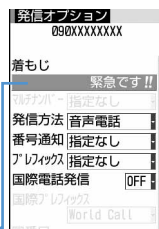
**2** **1 ▶ メッセージ内容の入力欄にメッセージを入力 ▶ 📖**

- 全角・半角・絵文字・記号問わず最大10文字入力できます。

登録したメッセージから選択する：2 ▶ **送信するメッセージを選択**

送信メッセージ履歴から選択する：3 ▶ **送信するメッセージを選択**

メッセージを送信しない：**発信オプション画面で着もじ欄を選択 ▶ 1**

作成したメッセージが表示されます。

発信オプション画面

**3** **MENU［発信］を押す**

着もじメッセージが相手の端末に届いた場合は、呼出中画面に「送信しました」と表示され、送信料金がかかります。
相手が非対応端末の場合やメッセージ表示設定などにより届かなかった場合、または海外に滞在している場合は、呼出中画面に「送信できませんでした」と表示され、送信料金はかかりません。

✔お知らせ

- 着信側が次の場合は着もじメッセージは送信できず、着信履歴にも記録されません。発信側には送信結果は表示されず、送信料金はかかりません。
  - 圏外にいるときや電源が入っていない場合
  - 伝言メモ応答時間設定を「0秒」に設定している場合
  - 公共モード（ドライブモード）中　など
- リダイヤル、着信履歴から操作する場合は、[MENU]を押し「着もじ」を選択します。
- 伝言メモ一覧、音声メモ一覧、スケジュールのメンバーリスト一覧画面から操作する場合は、[MENU]を押し「発信オプション」を選択します。
- FOMA端末電話帳またはFOMAカード電話帳の電話帳一覧から操作する場合は、[MENU]を押し「発信オプション／メール」→「発信オプション」を選択し、電話番号の詳細画面から操作する場合は、[MENU]を押し「着もじ／マルチナンバー」→「着もじ」を選択します。
- 相手が呼出動作開始時間設定を設定している場合、呼出開始時間内でも着もじメッセージは送信され、送信料金がかかります。
- 電波状態によって、相手の端末に着もじメッセージが届いても発信側に送信結果が表示されない場合があります。この場合でも送信料金はかかります。
- 海外での利用時には着もじを送受信することはできません。
- 2in1がONでデュアルモードのとき、Bナンバーで着もじメッセージをつけて発信した場合は、送信メッセージ履歴にBが表示されます。

186／184

## 1回の通話ごとに発信者番号を通知／非通知にする

**電話をかけるときに、電話番号の先頭に特定の番号を付加します。**

- 発信者番号はお客様の大切な情報です。発信者番号を通知する際には、十分にご注意ください。
- 相手の電話機がデジタル携帯電話など、発信者番号表示ができるときに表示されます。
- 番号通知方法の優先順位→P47

発信者番号を通知する：[1][8][6]▶電話番号を入力▶[発信]（音声電話）または[テレビ電話]（テレビ電話）

発信者番号を通知しない：[1][8][4]▶電話番号を入力▶[発信]（音声電話）または[テレビ電話]（テレビ電話）

✔お知らせ

- 国際電話では「186」を付けても、経由する電話会社などにより発信者番号が通知されない場合があります。
- 相手の電話番号に「186」または「184」を付けて発信した場合、リダイヤルにはその番号が付いた電話番号が記録されます。

# プッシュ信号（DTMF）を送出する

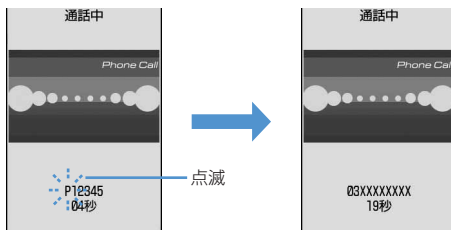
**FOMA端末からプッシュ信号（DTMF）を送出して、ご自宅の留守番電話の操作や各種のプッシュホンサービスなどを利用できます。また、音声電話をかけるときにポーズ（「P」）、タイマー（「T」）を入力することにより、番号を区切ってプッシュ信号（DTMF）を送出できます。**

- ポーズとタイマーは音声電話にのみ有効です。

## ❖ポーズ「P」を入力する

ご自宅の留守番電話の操作やチケットの予約などに利用します。ポーズ（「P」）が入力された箇所で電話番号を区切ってプッシュ信号（DTMF）を送出します。

### 1 電話番号を入力▶［＊］（1秒以上）▶送出する番号を入力▶［発信］

電話がつながった後に［●］を押すと、ポーズ（「P」）以降の番号が送出されます。

## ❖タイマー「T」を入力する

外線番号に続けて内線番号を入力するときなどに利用します。外線番号と内線番号の間にタイマー（「T」）を入力することによって、外線番号に続いて一定の秒数が経過した後に内線番号が発信されます。

### 1 電話番号を入力▶［＃］（1秒以上）▶内線番号を入力▶［発信］

- タイマー（「T」）は連続して入力できます。
- タイマー（「T」）1つにつき、約1秒の間隔をとります。

## ❖テレビ電話中にプッシュ信号（DTMF）を送出する

- テレビ電話中で［アイコン］(カメラ映像送信中)、［アイコン］(カメラオフ画像送信中)、［アイコン］(キャラ電中）の場合のみプッシュ信号（DTMF）の入力ができます。

### 1 通話中に［MENU］▶［0］▶送出する番号を入力

押した番号が画面に表示され、プッシュ信号（DTMF）が送出されます。

- プッシュ信号（DTMF）送出を解除するときは［ch クリア］を押します。
- カメラ映像送信中やカメラオフ画像送信中は［MENU］［0］を押さなくても、ダイヤルキーを押すだけでプッシュ信号（DTMF）が送出できます。
- プッシュ信号（DTMF）はダイヤルキーで送出するため、キャラ電送信中はダイヤルキーによるアクション操作はできません。

**✔お知らせ**

- プッシュ信号（DTMF）は、受信側の機器によっては受信できない場合があります。
- 音声電話中にスピーカーホン機能を利用してプッシュ信号（DTMF）を送出する場合は、スピーカーホンに切り替えてからプッシュ信号（DTMF）を入力してください。
- 通話を保留にして別の相手にポーズ（「P」）、タイマー（「T」）を入力して電話をかけることはできません。
- テレビ電話中にプッシュ信号（DTMF）を送出しようとすると、カメラ映像に設定したフレームや代替画像に設定した静止画は解除されます。

# 条件を設定して電話をかける

**音声電話やテレビ電話をかけるたびに、発信時の条件を設定します。**

- 条件を設定してプッシュトークを発信する→P90
- 番号通知方法の優先順位→P47

## 1 電話番号を入力▶MENU▶2

## 2 下記の各項目を選択して設定

**着もじ**：相手に送信するメッセージを作成したり選択したりします。→P58

**マルチナンバー**：発信番号を基本契約番号または付加番号1～2から選択します。「指定なし」を選択すると、通常発信番号設定に従って動作します。→P461

- 電話番号設定のマルチナンバー発信を「無効」に設定すると、発信番号を選択できません。
- 2in1がONでデュアルモードまたはBモードのときは「自局番号」が表示されます。

**自局番号**：2in1がONでデュアルモードのときは、「Aナンバー」または「Bナンバー」を選択します。→P462

**発信方法**：「音声電話」「テレビ電話」「プッシュトーク」のいずれかを選択します。

**番号通知**：発信者番号の通知／非通知を設定します。「指定なし」に設定すると、発信者番号通知設定に従って動作します。

**プレフィックス**：電話番号の前に付加する番号（プレフィックス）を選択します。

**国際電話発信**：国際電話をかけるかどうかを設定します。→P64

**国際プレフィックス**：国際電話をかけるときに、国際アクセス番号を選択します。

**国番号**：国際電話をかけるときに、国番号を選択します。

## 3 MENU［発信］を押す

設定した内容で電話がかかります。

- 発信方法で「テレビ電話」を選択した場合には、i を押すと通話中に表示するキャラ電を選択できます。

### ✔お知らせ

- 伝言メモ一覧、音声メモ一覧、リダイヤル、着信履歴、スケジュールのメンバーリスト一覧画面から操作する場合は、MENUを押し「発信オプション」を選択します。
- FOMA端末電話帳の電話帳一覧または電話番号の詳細画面、FOMAカード電話帳の電話帳一覧または電話番号の詳細画面から操作する場合は、MENUを押し「発信オプション／メール」→「発信オプション」を選択します。
- プロフィール情報の電話番号の詳細画面から操作する場合は、MENUを押し「発信オプション」を選択します。
- Phone To（AV Phone To）機能を利用する場合は、各項目を設定しMENUを押すと発信確認画面が表示されます。「元の番号で発信」を選択すると、「着もじ」と「発信方法」以外の設定内容が解除された状態で発信されます。
- 国際電話では番号通知で「通知」を選択しても、経由する電話会社などにより発信者番号が通知されない場合があります。

# 国際電話を利用する

- 海外利用についての詳細は「海外利用」をご覧ください。→P474
- 「WORLD CALL」はドコモの携帯電話からご利用いただける国際電話サービスです。
- 通話先は世界約240の国と地域です。
- 「WORLD CALL」の料金は毎月のFOMAサービスの通信料金と合わせてご請求します。
- 申込手数料は不要です。また、月額使用料は無料です。
  ※ FOMAサービスをご契約のお客様は、ご契約時にあわせて「WORLD CALL」もご契約いただいています（ただし、不要のお申し出をされた方を除きます）。
- 一部ご利用になれない料金プランがあります。
- 国際電話ダイヤル手順の変更について
  携帯電話などの移動体通信は、電話会社選択サービス「マイライン」のサービス対象外であるため、「WORLD CALL」についても「マイライン」をご利用いただけませんが、「マイライン」の導入に伴い携帯電話などから国際電話をご利用になる場合の入力手順が変更となりました。従来の入力手順（下記入力手順から「010」を除いたもの）ではご利用いただけませんので、ご注意ください。
- 「WORLD CALL」についての詳細は、取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。
  ※ ドコモ以外の国際電話サービス会社をご利用いただく場合は、各国際電話サービス会社に直接お問い合わせください。

海外の特定3G携帯端末をご利用のお客様に対し、下記ダイヤル方法の後にテレビ電話モードで発信すれば「国際テレビ電話」がご利用いただけます。
- 接続可能な国および通信事業者などの情報についてはドコモの『国際サービスホームページ』をご覧ください。
- 国際テレビ電話の接続先の端末により、FOMA端末に表示される相手側の画像が乱れたり、接続できない場合があります。

**1 [0][0][9][1][3][0]▶[0][1][0]▶国番号▶地域番号（市外局番）▶電話番号を入力▶[発信]**

- 地域番号（市外局番）が「0」で始まる場合には「0」を除いて入力してください。ただし、イタリアの一般電話などにおかけになる場合は「0」が必要です。
- 上記の電話番号をFOMA端末の電話帳に登録できます。

### ❖「+」を入力して国際電話をかける

国際ダイヤルアシスト設定がお買い上げ時のままであれば、「+」を入力すると国際アクセス番号「009130010（WORLD CALL）」に変換されます。
- 「+」の後に日本の国番号「81」を入力して発信した場合は、国際アクセス番号は変換されません。

**1 [0]（1秒以上）▶国番号▶地域番号（市外局番）▶電話番号を入力▶[発信]**

- [0]を1秒以上押すと「+」が入力されます。
- 地域番号（市外局番）が「0」で始まる場合には「0」を除いて入力してください。ただし、イタリアの一般電話などにおかけになる場合は「0」が必要です。

**2 「はい」を選択**

- 「元の番号で発信」を選択すると、「着もじ」と「発信方法」以外の設定内容が解除された状態で発信されます。

### ❖国際アクセス番号と国番号を選んで国際電話をかける

国際ダイヤルアシスト設定に登録している国際アクセス番号や国番号を選択します。

1 地域番号（市外局番）▶電話番号を入力▶MENU▶2

2 国際電話発信欄を選択▶2

3 国際プレフィックス欄を選択▶国際アクセス番号の名称を選択

4 国番号欄を選択▶国番号を選択▶MENU

5 「はい」を選択

- 「元の番号で発信」を選択すると、「着もじ」と「発信方法」以外の設定内容が解除された状態で発信されます。

国際ダイヤルアシスト設定

## 国際ダイヤルアシスト設定を変更する

### ◆自動変換機能を設定する〈自動変換機能設定〉

【お買い上げ時】 国番号変換：ON（国番号：81、国名称：日本） 国際プレフィックス変換：ON（名称：World Call、国際アクセス番号：009130010）

「+」を入力して国際アクセス番号を自動変換するかどうかを設定します。また、海外から電話をかけるときに国番号を付加するかどうかを設定します。

1 MENU▶8 9 2 1

2 下記の各項目を選択して設定▶📖［登録］

**国番号変換**：「ON」を選択し、国番号を選択します。
- 海外で電話をかけるときに有効です。

**国際プレフィックス変換**：「ON」を選択し、「+」を自動変換させる国際アクセス番号を選択します。

### ◆国番号を編集する〈国番号設定〉

海外から国際電話をかけるときに必要な国番号を最大22件登録できます。

1 MENU▶8 9 2 2

2 編集する国番号を選択

自動変換させる国番号を選択する：**自動変換させる国番号にカーソルを合わせて📖**
選択した番号の前に✓が表示されます。

国番号を削除する：**削除する国番号にカーソルを合わせてMENU▶3▶「はい」を選択**

3 下記の各項目を選択して設定▶📖［登録］

**国名称**：任意の名称を入力します。
- 全角で最大8文字、半角で最大16文字入力できます。

**国番号**：国番号を入力します。
- 最大5桁入力できます。

### ◆国際アクセス番号を登録する〈国際プレフィックス設定〉

国際電話をかけるときに電話番号の先頭に付加する国際アクセス番号を最大3件登録できます。

**1** MENU▶8 9 2 3

**2** 「〈未登録〉」を選択

自動変換させる国際アクセス番号を選択する：自動変換させる国際アクセス番号にカーソルを合わせて［本］

選択した名称の前に✓が表示されます。

国際アクセス番号を削除する：削除する国際アクセス番号にカーソルを合わせてMENU▶3▶「はい」を選択

**3** 下記の各項目を選択して設定▶［本］［登録］

**名称**：任意の名称を入力します。
- 全角で最大8文字、半角で最大16文字入力できます。

**国際アクセス番号**：国際アクセス番号を入力します。
- 最大10桁入力できます。

プレフィックス設定

## 電話番号の先頭に付加するプレフィックスを設定する

【お買い上げ時】 プレフィックス1：009130010

**国際アクセス番号など、電話番号の先頭に付加する番号（プレフィックス）をあらかじめ設定できます。**

- 最大3件登録できます。
- プレフィックスを選択して電話をかける→P62

**1** MENU▶8 5 6 2▶プレフィックスの入力欄に番号を入力▶［本］［登録］

- 1件につき最大10桁入力できます。
- 番号（プレフィックス）にポーズ（「P」）、タイマー（「T」）を含めてプレフィックスを設定すると、そのプレフィックスを付加して電話をかけることはできません。

サブアドレス設定

## サブアドレスを指定して電話をかける

【お買い上げ時】 ON

**サブアドレスを指定して特定の電話機や通信機器を呼び出すかどうかを設定します。**

- サブアドレスとは、同じ電話番号内にある複数の電話機や通信機器の中から、特定の機器を呼び出すときに使う番号です（ISDN回線で、サブアドレスが振られている機器を複数接続している場合など）。
また、映像配信サービス「Vライブ」でコンテンツを選択するときにも利用します。

**1** MENU▶8 5 6 3▶1または2

### ❖サブアドレスを指定して電話をかける

**1** 電話番号を入力▶［＊］▶サブアドレスを入力▶［発信］

- テレビ電話をかけるときは［テレビ電話］を押します。

**✓お知らせ**

- サブアドレス設定を「ON」に設定していても、ポーズ（「P」）やタイマー（「T」）を入力した後に「＊」を入力した場合は、サブアドレスの区切りとしては認識されず、「＊」を含んだプッシュ信号（DTMF）として送出されます。

ノイズキャンセラ設定

## 周囲の騒音を抑えて通話を明瞭にする

【お買い上げ時】 ON

**通話中の周囲の騒音を抑える機能（ノイズキャンセラ）を設定することにより、自分の声と相手の声を明瞭にして通話できます。**

- 通常は、「ON」に設定した状態で使用することをおすすめします。

**1** MENU ▶ 8 5 7 1 ▶ 1 または 2

車載ハンズフリー

## 車の中で手を使わずに話す

**FOMA端末を車載ハンズフリーキット01（別売）やカーナビなどのハンズフリー対応機器と接続することにより、ハンズフリー対応機器から音声電話の発着信などの操作ができます。**

- ハンズフリー対応機器の操作については、各ハンズフリー対応機器の取扱説明書をご覧ください。なお、車載ハンズフリーキット01（別売）をご利用時には、FOMA 車載ハンズフリー接続ケーブル01（別売）が必要です。

**✔お知らせ**

- ハンズフリー対応機器から音を鳴らす設定にしている場合、FOMA端末でのマナーモードや着信音の設定に関わらず、電話がかかってくるとハンズフリー対応機器から着信音が鳴ります。
- ハンズフリー対応機器から音を鳴らす設定にしている場合、通話中クローズ設定の設定に関わらず、FOMA端末を折り畳んでも通話は継続されます。
- 公共モード中の着信動作は、公共モードの設定に従います。
- 伝言メモ設定中の着信動作は、伝言メモの設定に従います。
- ハンズフリー対応機器からテレビ電話をかけたり受けたりした場合、相手には代替画像が送信されます。

## 電話／テレビ電話を受ける

- FOMA端末を開くだけでは電話を受けられません。

### 1 電話がかかってくる

着信音が鳴り、ランプが点灯または点滅します。ディスプレイには着信画面が表示されます。
着信画面の見かた→P67

### 2 着信方法を選択

音声電話を受ける：**[発信キー]を押す**
ディスプレイに通話時間が表示されます。

- ダイヤルキーなどを押しても電話を受けられます（エニーキーアンサー）。

テレビ電話を受ける：

① [キー]または[キー]

テレビ電話接続中は、カメラ映像が表示されます。

- エニーキーアンサーは無効です。
- マナーモード中のときは、スピーカーホン機能を利用した通話に切り替えるかどうかの確認画面が表示されます。「いいえ」を選択すると、受話口からの通話になります。
- [キー]または[キー]の代わりに[キー]を押すと、テレビ電話画像選択で設定した代替画像でテレビ電話を受けます。テレビ電話がつながったときから、相手に代替画像が送信されます。代替画像にキャラ電を設定している場合、キャラ電が表示できないことがあります。このとき相手には代替画像設定の標準画像が送信されます。→P84

② **画面に相手の映像が表示されたら、通話する**

テレビ電話中の画面の見かた→P52

## 3 通話が終わったら[キー]

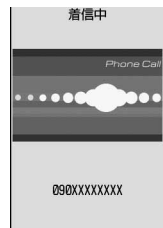
✔**お知らせ**

- 電話帳に登録していない相手からの着信に対して、着信を拒否したり、着信音やバイブレータなどでの呼出動作をすぐに開始しないように設定できます。→P172
- 電話帳に登録している相手に対して、着信拒否を設定できます。→P170
- ビル電話やPBXなど、ダイヤル市外通話のできない電話機からは、FOMA端末へ電話をかけられません。

## ◆着信画面の見かた

着信中の相手からの発信状況やFOMA端末の設定に従って、相手の電話番号や名前、画像、動画／ｉモーション、着もじメッセージなどがディスプレイに表示されます。

### 相手の電話番号が通知されたとき

相手の電話番号を電話帳に登録していない場合は、電話番号と電話着信設定またはテレビ電話着信設定で設定した画像が表示されます。

相手の電話番号を電話帳に登録している場合は、着信／受信時動作設定に従って名前や電話番号が表示されます。また、人物画像表示設定が「ON」のときは、電話帳に設定している画像または動画／ｉモーションが表示されます。着もじメッセージが付加された電話がかかってきた場合は、着もじのメッセージ表示設定に従ってメッセージが表示されます。電話に出ると、着もじメッセージは消えます。→P59

- 着もじメッセージは着信履歴に記録されます。

着もじメッセージ

### 相手の電話番号が通知されなかったとき

発信者番号非通知理由が表示されます。

| 非通知理由 | 理　由 |
|---|---|
| 非通知設定 | 発信者の意思により発信者番号を通知しないで発信した場合 |
| 公衆電話 | 公衆電話などから発信した場合 |
| 通知不可能 | 海外や一般電話から各種転送サービスを経由した場合など、発信者番号を通知できない状態で発信した場合（経由する電話会社によっては通知される場合もあります） |

**✔お知らせ**

- FOMA端末から転送された電話を着信したとき、転送元の電話番号を電話帳に登録していない場合は電話番号が、登録している場合は名前が、着信画面の左下に表示されます。ただし、転送元によっては、電話番号や名前が表示されない場合があります。
- 電話帳や電話着信設定などで電話着信時に動画／ｉモーションを設定していても、音声電話中に音声電話の着信があった場合は、動画／ｉモーションは再生されず、最初のコマが表示されます。
- 国際電話がかかってきた場合、発信者番号の先頭に「＋」が表示されます。

## ◆着信中のサブメニューからの操作

音声電話またはテレビ電話の着信中に、サブメニューから次の操作ができます。
通話中着信動作選択やプッシュトーク中着信設定を「通常着信」に設定しているときは、音声電話中やプッシュトーク通信中に別の音声電話がかかってきたときも同様に操作できます。

| サブメニュー | 説　明 |
|---|---|
| 1着信拒否 | 電話が切れます。相手側に通話料金はかかりません。 |
| 2留守番電話※1 | かかってきた電話を留守番電話サービスセンターに接続します。 |
| 3転送でんわ※2 | かかってきた電話を転送先へ転送します。 |

※1　留守番電話サービスをご利用いただいている場合に有効です。
※2　転送でんわサービスをご利用いただき、転送先が登録されている場合に有効です。

## ◆FOMA端末を折り畳んでいるときの動作

ランプの点灯または点滅と背面ディスプレイの表示、および着信音で、電話がかかってきたことをお知らせします。

- 発信者番号が通知された場合は、電話番号やFOMA端末電話帳に登録している名前などが背面ディスプレイに表示されます。発信者番号が通知されていない場合は、発信者番号非通知理由が表示されます。
- 背面相手表示設定で「相手情報表示なし」に設定すると、電話番号の通知／非通知に関わらず、相手の電話番号や名前などは表示されません。
- 着信中の画像は、背面画像設定で変更できます。

## ◆音声電話中に「ププ・・・ププ・・・」という音（通話中着信音）が聞こえたとき

留守番電話サービス、キャッチホン、転送でんわサービスのいずれかをご契約いただくと、音声電話中に別の音声電話がかかってきたときに「ププ…ププ…」という通話中着信音が聞こえ、次の動作ができます。

| ご契約の内容 | 動　作 |
|---|---|
| 留守番電話サービス※ | 留守番電話サービスセンターに接続します。 |
| キャッチホン | 通話中の音声電話を保留にし、かかってきた音声電話に応答します。 |
| 転送でんわサービス※ | 転送先へ転送します。 |

※ 通話中着信動作選択を「通常着信」に設定したときのみサブメニューから選択できます。

- キャッチホンを契約されていない場合は、通話中着信音が鳴っても電話は受けられません。

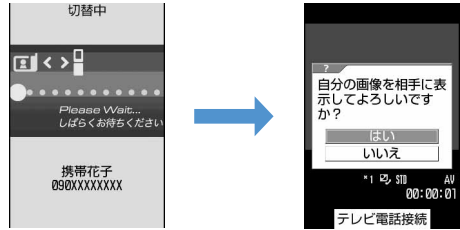
# 音声電話／テレビ電話を切り替えて電話を受ける

**音声電話をかけてきた相手がテレビ電話に切り替えたときや、テレビ電話をかけてきた相手が音声電話に切り替えたときには、対応する操作が必要です。**

- 切り替えは、電話をかけた側の端末からのみ操作できます。
- テレビ電話や音声電話への切り替えに応じるには、テレビ電話切替機能通知を開始しておく必要があります。→P85

## ❖テレビ電話への切り替えに応じる

### 1 音声電話中にテレビ電話への切り替え要求を受ける

- 切り替え中は、電話を切り替える旨のガイダンスが流れます。

### 2 「はい」を選択

テレビ電話に切り替わり、相手にカメラ映像が送信されます。

- 「いいえ」を選択すると標準画像（カメラオフ）が送信されます。

### 3 画面に相手の映像が表示されたら、通話する

画面には相手の設定により、相手の映像または標準画像（カメラオフ）が表示されます。

## ❖音声電話への切り替えに応じる

### 1 テレビ電話中に音声電話への切り替え要求を受ける

- かけた側から切り替え操作が行われると、切替中画面が表示され、電話を切り替える旨のガイダンスが流れます。

### 2 通話中画面が表示されたら、通話する

エニーキーアンサー設定
## ダイヤルキーなどを押して電話に出られるようにする

【お買い上げ時】ON

**電話がかかってきたとき、[開始]以外に[0]～[9]、[*]、[#]を押して電話に出られるようにするかどうかを設定します。**

- 音声電話とプッシュトークに有効です。
- 通話中の着信に対しては無効です。

**1** [MENU]▶[8][5][3]▶[1]または[2]

通話中クローズ設定
## FOMA端末を折り畳んで通話を切断／保留／継続するように設定する

【お買い上げ時】切断

- 64Kデータ通信中、パケット通信中は動作しません。
- プッシュトーク中クローズ設定→P96

**1** [MENU]▶[8][5][7][2]▶[1]～[3]

**切断**：通話を終了します。
**保留**：通話を保留し、相手には通話保留音が流れます。
**通話継続（マイクミュート）**：通話を終了せず、音声をミュート（消音）にします。ただし、スピーカーホン機能を利用している場合は、自分の声は相手には聞こえませんが、相手の声がスピーカーから聞こえます。

### ✔お知らせ

- 次の場合は、FOMA端末を折り畳んでも本設定に関わらず通話は継続されます。
  - 平型スイッチ付イヤホンマイク（別売）を接続中
  - ハンズフリー対応機器接続中で、接続中の機器から音を鳴らす設定にしているとき
  - 伝言メモ録音または録画中
- 「通話継続（マイクミュート）」に設定してテレビ電話中にFOMA端末を折り畳んだときは、相手には代替画像設定で設定した代替画像が送信されます。送信していたフレームは解除されます。
- 通話中音声メモ録音中または動画メモ録画中にFOMA端末を折り畳んだ場合は、本設定に従って動作します。「保留」に設定している場合、保留直前までに録音または録画していた内容が保存されます。
- 音声電話中に設定する場合は、[MENU]を押し「通話中クローズ設定」を選択します。

受話音量
## 通話中に相手の声の音量を調整する

【お買い上げ時】Level4

- Level1（最小）～Level6（最大）の6段階で調整できます。
- 伝言メモ、音声メモの再生音の音量にも反映されます。
- 通話中に変更した音量は、電源を切っても保持されます。
- 待受中の音量設定→P123

**1** **通話中にサイドキー［▲▼］または[↕]▶サイドキー［▲▼］または[✥]で音量調整**

[●]を押すか、キーの操作を止めてしばらくたつと、音量が設定されます。

- 音量を大きくするには[↑]、[←]またはサイドキー［▲］を押します。
- 音量を小さくするには[↓]、[→]またはサイドキー［▼］を押します。
- テレビ電話中は、サイドキーでのみ音量調整ができます。このとき、調整音量は画面右下に一時的に表示されます。

着信音量

## 着信中に着信音の音量を調整する

【お買い上げ時】 Level4

- Silent（消音）、Level1～Level6の7段階で調整できます。
- 着信中に変更した着信音量は、電話やプッシュトークを切断すると元に戻ります。
- 待受中の音量設定→P123

**1** 着信中に[◎]▶サイドキー［▲▼］または[◎]で音量調整

- 音量を大きくするには[◎]、[◎]またはサイドキー［▲］を押します。
- 音量を小さくするには[◎]、[◎]またはサイドキー［▼］を押します。

### ✔お知らせ

- 音声電話またはテレビ電話の着信中にサイドキー［▲］を押すと、着信音、バイブレータの動作が止まります。
- 音量設定の電話着信音量を「Steptone」に設定している場合、着信中に調整を行うと、Level6からの変更になります。

優先通信モード設定

## 通話中やパケット通信中の着信時に優先して表示する画面を設定する

【お買い上げ時】 設定なし

**音声電話中にパソコンとつないだパケット通信の着信があったときや、ｉモード中またはデータ放送サイト表示中に音声電話がかかってきたときに、どちらの画面を優先的に表示させるかを設定します。**

- 画面の表示が切り替わっても、通話やパケット通信は中断されません。
- 音声電話中にｉモードメールやメッセージR/Fを受信したときは、本設定に関わらず、音声電話中の画面が優先して表示されます。

**1** [MENU]▶[8][5][6][1]▶[1]～[3]

**設定なし**：表示の優先を決めずに後から着信した方の画面を表示します。ただし、音声電話中にパケット通信を着信したときは、音声電話中の画面を表示します。
**音声通話表示優先**：音声電話中の画面を表示します。
**パケット通信表示優先**：音声電話中はパケット通信中の画面を表示します。ｉモード中またはデータ放送サイト表示中は、それぞれの画面※を継続して表示します。
※ [MULTI]を押すと、画面切替メニューが表示され電話を受けられます。

応答保留

## すぐに電話に出られないときに保留にする

- 応答保留中でも相手側には通話料金がかかります。

### 1 着信中に[キー]

応答保留になります。相手には応答保留ガイダンスが流れます。
テレビ電話の場合は、自分と相手にテレビ電話応答保留画像が表示されます。

- 通話中イルミネーションを「ON」に設定している場合、イルミネーションカラーの設定に従ってランプが点滅します。

音声電話応答保留中

テレビ電話応答保留中

### 2 電話に出られる状態になったら[キー]

- テレビ電話の場合は[キー]を押しても電話に出ることができます。[キー]を押すと、相手には代替画像が送信されます。→P84
- 応答保留中に[キー]を押すか、相手が電話を切ると、通話が終了します。

応答保留ガイダンス設定

## 応答保留ガイダンスを設定する

【お買い上げ時】 保留音：内蔵音（ただいま電話に出ることができません。そのままお待ちになるか、しばらくたってからおかけ直しください。）

**自分の声を応答保留ガイダンスとして録音できます。**

- ガイダンスは1件、約10秒間録音できます。
- 音声電話、テレビ電話ともに、応答保留中はここで設定したガイダンスが流れます。

〈例〉録音データをガイダンスに設定するとき

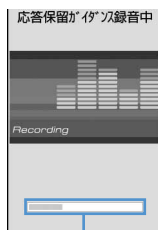
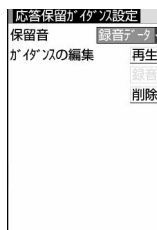
### 1 [MENU]▶[8][1][1][7][1]

### 2 保留音欄を選択▶[2]

- お買い上げ時のガイダンスに戻すときは[1]を押し、操作4に進みます。

### 3 ガイダンスの編集欄の「録音」を選択▶発信音の後に応答保留ガイダンスを録音する

メッセージが表示された後、録音が開始されます。

- 録音開始から約10秒後に終了音（ピーッ）が鳴ります。
- 録音を途中で停止するときは[●]を押します。
- ガイダンスを録音し直すときは「削除」を選択し、「はい」を選択して録音データを削除してから録音をしてください。
- 録音したガイダンスを削除すると、お買い上げ時のガイダンスに戻ります。
- 録音したガイダンスを確認するときは「再生」を選択します。

録音できる時間の目安

### 4 [キー]［登録］を押す

# 公共モード（ドライブモード）を利用する

**公共モードは、公共性の高い場所でのマナーを重視した自動応答サービスです。公共モードを設定すると、電話をかけてきた相手に運転中もしくは通話を控える必要のあるような場所（電車、バス、映画館など）にいるため、電話に出られない旨のガイダンスが流れ、切断されます。**

- 公共モードの設定や解除は、待受中のみできます。ディスプレイ上部に「圏外」が表示されているときでも可能です。
- 公共モード中でも、通常どおり電話をかけることができます。
- マナーモード中、伝言メモ設定中でも、公共モードが優先されます。
- 公共モード中に緊急通報（110番、119番、118番）を行うと、公共モードは解除されます。
- 本機能は、データ通信中は利用できません。

## ◆公共モード（ドライブモード）を起動する

**1** [✱]（1秒以上）

公共モードが設定され、待受画面に🚗が表示されます。
着信時に「ただいま運転中もしくは携帯電話の利用を控えなければならない場所にいるため、電話に出られません。のちほどおかけ直しください。」というガイダンスが流れます。

解除する：[✱]（1秒以上）

### ❖公共モード（ドライブモード）を起動すると

音声電話がかかってきたときは、相手に運転中もしくは携帯電話の利用を控えなければならない場所にいる旨のガイダンスが流れ、切断されます。テレビ電話がかかってきたときは、相手に公共モードの映像ガイダンスが表示され、切断されます。プッシュトークが着信したときは、相手に接続できなかった旨のメッセージが表示され、切断されます。グループ着信したときは、参加メンバーのディスプレイにお客様の状態を表す「運転中」が表示されます。どの場合も、お客様のFOMA端末は着信動作を行わず、待受画面には「2」（数字は件数）が表示され、着信履歴に不在着信として記録されます。

- 次の音が鳴りません。また、バイブレータやランプも動作しません。
  - 電話、プッシュトークおよび64Kデータ通信の着信音
  - メールやメッセージR/Fの着信音
  - お知らせタイマー、目覚ましおよびスケジュールアラームの音
  - ｉアプリのサウンド
  - 通話料金上限通知※
  - 電池アラーム音
  - 充電開始／完了音
  - GPS測位中の音

  ※ 通話料金上限通知を「ON」に設定し、アラームを設定している場合でも、メッセージは表示されません。
- FOMA端末を折り畳んでいるときに、電話の着信、メールやメッセージR/F を受信したときなどは、サイドキー［▼］を押すと背面ディスプレイで新着情報を確認できます。
- GPSの位置提供の要求があっても、サービスごとの利用設定を「毎回確認」に設定している場合は、位置情報を送信しません。
- セキュリティランプ設定と開閉ロックを「ON」に設定し、FOMA端末を折り畳んでも、開閉ロックの状態をランプではお知らせしません。
- ｉチャネルのテロップは表示されません。

### ❖ネットワークサービスと公共モード（ドライブモード）中の着信動作

| サービス名 | 音声電話を着信した場合 | テレビ電話を着信した場合 |
|---|---|---|
| **留守番電話サービス** | 相手に公共モードのガイダンスが流れた後、留守番電話サービスセンターに接続されます。※1 | 相手に公共モードの映像ガイダンスは表示されずに、留守番電話サービスセンターに接続されます。※2 |
| **転送でんわサービス** | 相手に公共モードのガイダンスが流れた後、転送先に転送されます。※1<br>相手に流れるガイダンスの有無は、転送でんわサービスの設定に従います。 | 相手に公共モードの映像ガイダンスは表示されずに、転送先に転送されます。※2<br>転送先がテレビ電話に対応していない電話機の場合は切断されます。 |
| **キャッチホン** | 相手に公共モードのガイダンスが流れた後、切断されます。 | 相手に公共モードの映像ガイダンスが表示された後、切断されます。 |
| **迷惑電話ストップサービス** | 相手を着信拒否に登録している場合、相手に着信拒否のガイダンスが流れた後、切断されます。※3 | 相手を着信拒否に登録している場合、相手に着信拒否の映像ガイダンスが表示された後、切断されます。※3 |
| **番号通知お願いサービス** | • 相手が電話番号を通知していない場合は、相手に番号通知お願いのガイダンスが流れた後、切断されます。※3<br>• 相手が電話番号を通知している場合は、相手に公共モードのガイダンスが流れた後、切断されます。 | • 相手が電話番号を通知していない場合は、相手に番号通知お願いの映像ガイダンスが表示された後、切断されます。※3<br>• 相手が電話番号を通知している場合は、公共モードの映像ガイダンスが表示された後、切断されます。 |

※1　留守番電話サービスまたは転送でんわサービスの呼出時間を「0秒」に設定している場合は、公共モードのガイダンスは流れず、着信履歴には記録されません。

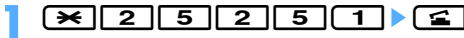
※2　留守番電話サービスまたは転送でんわサービスの呼出時間を「0秒」に設定している場合は、着信履歴には記録されません。

※3　着信履歴には記録されません。

# 公共モード（電源OFF）を利用する

公共モード（電源OFF）は、公共性の高い場所でのマナーを重視した自動応答サービスです。公共モード（電源OFF）を設定すると、電源を切っている間の着信時に、電話をかけてきた相手に電源を切る必要がある場所（病院、飛行機、電車の優先席付近など）にいるため電話に出られない旨のガイダンスが流れ、切断されます。

## ◆公共モード（電源OFF）を設定する

**1** [＊][2][5][2][5][1] ▶ [発信]

公共モード（電源OFF）が設定されます（待受画面上の変化はありません）。
公共モード（電源OFF）設定後、電源を切っている間の着信時に「ただいま携帯電話の電源を切る必要がある場所にいるため、電話に出られません。のちほどおかけ直しください。」というガイダンスが流れます。

公共モード（電源OFF）を解除する：[＊][2][5][2][5][0] ▶ [発信]

公共モード（電源OFF）の設定を確認する：[＊][2][5][2][5][9] ▶ [発信]

### ❖公共モード（電源OFF）を起動すると

音声電話がかかってきたときは、相手に電源を切る必要がある場所にいる旨のガイダンスが流れ、切断されます。テレビ電話がかかってきたときは、相手に公共モードの映像ガイダンスが表示され、切断されます。プッシュトークが着信したときは、相手に接続できなかった旨のメッセージが表示され、切断されます。グループ着信したときは、参加メンバーのディスプレイにお客様の状態を表す「※不参加」が表示されます。

- 「＊25250」をダイヤルして公共モード（電源OFF）を解除するまで設定は継続されます。電源を入れるだけでは設定は解除されません。
- サービスエリア外または電波が届かない所にいる場合も、公共モード（電源OFF）のガイダンスが流れます。

### ❖ネットワークサービスと公共モード（電源OFF）中の着信動作

| サービス名 | 音声電話を着信した場合 | テレビ電話を着信した場合 |
|---|---|---|
| **留守番電話サービス** | 相手に公共モード（電源OFF）のガイダンスが流れた後、留守番電話サービスセンターに接続されます。※ | 相手に公共モードの映像ガイダンスは表示されずに、留守番電話サービスセンターに接続されます。 |
| **転送でんわサービス** | 相手に公共モード（電源OFF）のガイダンスが流れた後、転送先に転送されます。※<br>相手に流れるガイダンスの有無は、転送でんわサービスの設定に従います。 | 相手に公共モードの映像ガイダンスは表示されずに、転送先に転送されます。<br>転送先がテレビ電話に対応していない電話機の場合は切断されます。 |
| **迷惑電話ストップサービス** | 相手を着信拒否に登録している場合、相手に着信拒否のガイダンスが流れた後、切断されます。 | 相手を着信拒否に登録している場合、相手に着信拒否の映像ガイダンスが表示された後、切断されます。 |
| **番号通知お願いサービス** | • 相手が電話番号を通知していない場合は、相手に番号通知お願いのガイダンスが流れた後、切断されます。<br>• 相手が電話番号を通知している場合は、相手に公共モード（電源OFF）のガイダンスが流れた後、切断されます。 | • 相手が電話番号を通知していない場合は、相手に番号通知お願いの映像ガイダンスが表示された後、切断されます。<br>• 相手が電話番号を通知している場合は、公共モード（電源OFF）の映像ガイダンスが表示された後、切断されます |

※ 留守番電話サービスまたは転送でんわサービスの呼出時間を「0秒」に設定している場合は、公共モード（電源OFF）のガイダンスは流れません。

# 電話に出られないときに用件を録音／録画する

**伝言メモを起動しておくと、電話に出られないときに応答ガイダンスが流れ、相手の用件が録音または録画されます。**

- 音声電話とテレビ電話を合わせて最大4件、1件につき約30秒間録音または録画できます。
- 2in1がONのときは、AナンバーとBナンバーに着信した伝言メモを合わせて最大4件録音または録画できます。AモードのときはAナンバーに着信した伝言メモのみ、BモードのときはBナンバーに着信した伝言メモのみ表示されます。デュアルモードのときはすべての伝言メモが表示されます。
- 伝言メモの内容は、別にメモを取るなどして保管してください。FOMA端末の故障や修理、電話機の変更やその他の取り扱いによって、録音や録画の内容が消失してしまう場合があります。万一、内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- プッシュトークの場合、伝言メモは動作しません。

## ◆伝言メモを起動する

MENU ▶ 4 7 1

【お買い上げ時】停止する

伝言メモを起動するかどうかを設定します。

- FOMA端末を開いている状態で操作してください。

**1** サイドキー［▲］（1秒以上）▶ 1 ▶ 1 または 2

伝言メモを起動すると、待受画面にが表示されます。

### ❖クイック伝言メモで対応する〈クイック伝言メモ〉

伝言メモを起動していなくても、着信中にサイドキー［▲］を1秒以上押すと、その着信に限り伝言メモを1回だけ動作させられます。この操作は、伝言メモを開始に設定する操作ではありません。

**✔お知らせ**

- 伝言メモが4件録音または録画されると、待受画面にが表示されます。この場合、伝言メモを解除してもアイコンは消えず、新たに伝言メモを起動することもできません。また、クイック伝言メモを動作させようとすると警告音（ピピッ）が鳴り、着信音が鳴り続けます。留守番電話サービスまたは転送でんわサービスを利用している場合は、各サービスが作動します。不要な伝言メモを削除してください。

## ◆伝言メモの起動中に電話がかかってくると

**1** 電話がかかってくる

伝言メモ応答時間設定で設定した応答時間が経過すると、伝言メモガイダンス中画面が表示されます。相手には伝言メモ応答ガイダンス設定に従って応答ガイダンスが流れます。

**2** 相手のメッセージが録音または録画される

- 録音または録画の開始時と終了時に相手には確認音（ピーッ）が鳴ります。また、録音または録画開始時から約25秒後に、終了予告音（ピピッ）が鳴ります。

音声電話伝言メモ録音中　テレビ電話伝言メモ録画中

**3** 録音または録画が終了すると、電話が切れる

✔お知らせ

- 応答ガイダンス中、伝言メモ録音または録画中でも電話に出ることができます。音声電話の場合は[通話]を押します。テレビ電話の場合は、[通話]または[テレビ電話]を押すと相手にカメラ映像を送信し、[メール]を押すと代替画像を送信します。このとき、電話を受けるまでの録音内容や録画内容は記録されません。
- FOMA端末が圏外にいるときや電源が入っていないときは、伝言メモは動作しません。留守番電話サービスをご利用ください。
- 伝言メモがすでに4件録音または録画されている場合は、伝言メモは動作せず、着信音が鳴り続けます。留守番電話サービスまたは転送でんわサービスを利用している場合は、各サービスが作動します。
- 電波の状態により、伝言メモの録音内容が途切れたり、録音画像が乱れたりする場合があります。

## ◆応答ガイダンスが始まるまでの時間を設定する〈伝言メモ応答時間設定〉

[MENU]▶[4][7][1][3]

電話がかかってきてから応答ガイダンスが流れるまでの時間を設定します。

- お買い上げ時は、13秒に設定されています。

**1 サイドキー［▲］（1秒以上）▶[1][3]▶応答時間を入力**

- [◀▶]を押してカーソルを移動し、0～120秒の範囲で入力します。
- [▲▼]を押しても数字を増減できます。

## ◆応答ガイダンスを設定する〈伝言メモ応答ガイダンス設定〉

[MENU]▶[4][7][1][4]

自分の声を応答ガイダンスとして録音できます。

- ガイダンスは1件、約10秒間録音できます。

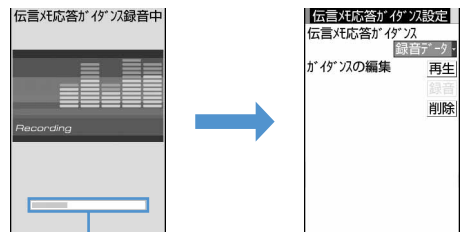
〈例〉録音データをガイダンスに設定するとき

**1 サイドキー［▲］（1秒以上）▶[1][4]**

**2 伝言メモ応答ガイダンス欄を選択▶[2]**

- お買い上げ時の応答ガイダンスに戻すときは[1]を押し、操作4に進みます。

**3 ガイダンスの編集欄の「録音」を選択▶発信音の後に応答ガイダンスを録音する**

メッセージが表示された後、録音が開始されます。
録音操作の補足説明→P72「応答保留ガイダンスを設定する」操作3

録音できる時間の目安

**4 [📖]［登録］を押す**

✔お知らせ

- 内蔵音には次のガイダンスが登録されています。
「ただいま、電話に出ることができません。ピーッという発信音の後に30秒以内でメッセージをお話しください。」

# 伝言メモを再生／削除する

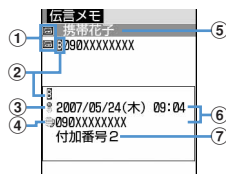
MENU ▶ 4 7 2

## ◆伝言メモを再生する

- 未再生の伝言メモがあるときは、待受画面からすばやく伝言メモを再生できます。→P35

### 1 サイドキー［▲］（1秒以上）▶ 2

- 画面の見かたは次のとおりです。
  ① **状態マーク**
  - ：音声電話伝言メモ（未再生）
  - ：音声電話伝言メモ（再生済み）
  - ：テレビ電話伝言メモ（未再生）
  - ：テレビ電話伝言メモ（再生済み）

  ② **Bナンバーへの着信（2in1がONでデュアルモードの場合）**
  ③ **海外滞在時（GMT＋09:00を除く）の着信※1**
  ④ **国際電話の着信**
  ⑤ **電話番号※2／名前（電話帳に登録している場合）／発信者番号非通知理由**
  ⑥ **カーソル位置の相手の録音または録画の日時（海外滞在時は滞在地の日時）、電話番号※2／発信者番号非通知理由**
  ⑦ **着信したマルチナンバーの名称（マルチナンバーを利用している場合）**
  ※1 着信日時が記録されていないときなど、表示されない場合があります。
  ※2 国際電話の場合は、電話番号の前に「+」が表示されます。

### 2 再生する伝言メモを選択

- 再生中は次の操作ができます。
  ／サイドキー［▲▼］：音量調整
  ：停止
  ：スピーカーホン機能ON／OFFの切り替え（音声電話伝言メモ再生中のみ）
- テレビ電話伝言メモ再生中はスピーカーホン機能がONに設定されて再生されます。スピーカーホン機能の切り替えはできません。
- マナーモード中にテレビ電話伝言メモを再生するときは、音声を再生するかどうかの確認画面が表示されます。「いいえ」を選択すると、消音で再生されます。

音声電話伝言メモ再生中　テレビ電話伝言メモ再生中

音声電話をかける：**電話をかける相手にカーソルを合わせて**
- テレビ電話をかけるときは電話をかける相手にカーソルを合わせて を押します。
- MENU 3 を押すと、条件を設定して電話をかけられます。ただし伝言メモからプッシュトークはかけられません。→P62
- 2in1がONのときは、発着信時のナンバーに従って発信されます。

電話帳に登録する：
① **登録する相手にカーソルを合わせて MENU ▶ 4 または 5**
② **1 または 2**
- 登録済みの電話帳データに追加するときは、登録先の電話帳データを選択します。

③ **名前やメールアドレスなどを登録**
電話帳登録→P101、P103

### 3 再生した伝言メモを削除するかどうかを選択

### ◆伝言メモを削除する

〈例〉伝言メモを1件削除するとき

**1** サイドキー［▲］（1秒以上）▶［2］

**2** 伝言メモにカーソルを合わせて［MENU］▶［2］［1］

全件削除する：［MENU］▶［2］［2］▶認証操作

**3** 「はい」を選択

**✔お知らせ**

- プライバシーモード中（電話帳・履歴を「指定電話帳非表示」に設定した場合）に「全件削除」を選択した場合、非表示の伝言メモも削除されます。

## キャラ電を利用する

**テレビ電話で通話するときに、カメラ映像の代わりにキャラクタを送信します。**

- キャラ電とは→P361

**1** 通話中に［MENU］▶［4］［2］［1］▶フォルダを選択▶キャラ電を選択

- 通話中に次の操作ができます。
  ［1］～［9］、［#］：アクション
  ［✉］：アクション一覧の表示
  ［0］：アクションの中止

キャラ電

## 通話中に相手側に送信する映像について設定する

### ◆映像を自画像／代替画像に切り替える

【お買い上げ時】 自画像

**1** 通話中に［📷］［代替画像］

- 押すたびにカメラ映像（［📷］）と代替画像（［🔲］または［🔲］）が切り替わります。
- 代替画像がキャラ電の場合、キャラ電が表示できないことがあります。このとき相手には代替画像設定の標準画像が送信されます。→P84

代替画像

## ◆映像にフレームを重ねる

- カメラ映像送信中の場合のみフレームを重ねられます。
- 表示サイズが176×144以下のフレームのみ選択できます。ただし、ダウンロードしたフレームは、表示サイズが176×144以下で、FOMA端末外への出力ができるフレームのみ選択できます。

### 1 通話中に[MENU]▶[4][1]▶フレームを選択

- インカメラを使用中は、ディスプレイに鏡像（左右逆向きの像）が表示され、相手には正像（正しい向きの像）が送信されます。アウトカメラを使用中は、ディスプレイの表示と同じ映像が相手にも送信されます。
- フレーム送信中に[●]を押すと、フレーム送信が解除されます。

お買い上げ時に登録されているフレーム→P496

## ◆静止画／カメラオフ画像を送信する

静止画、または「カメラオフ」という文字が表示されるカメラオフ画像を選択して送信します。

- フレーム送信中の場合、静止画またはカメラオフ画像は設定できません。
- 画像サイズが176×144以下で、FOMA端末外への出力ができる静止画のみ設定できます。
  FOMA端末外への出力が禁止されている画像→P385「表示項目と変更可否一覧」の「ファイル制限」

**〈例〉カメラオフ画像を送信するとき**

### 1 通話中に[MENU]▶[4][3]

- 「カメラオフ画像」に設定すると、テレビ電話画像選択で設定した代替画像が送信されます。ただし、設定した画像がキャラ電の場合は、標準画像（カメラオフ）が送信されます。

**静止画を送信する：**[MENU]▶[4][4]▶**フォルダを選択**▶**静止画を選択**

- 静止画にカーソルを合わせて[📖]を押すと、静止画が表示されます。
- 静止画像送信中に[●]を押すと、設定が解除されて元の画像が送信されます。

## ◆映像に特殊な効果をかける〈撮影モード〉

相手に送信する映像に次の効果をかけられます。カメラ映像送信中の場合のみ効果をかけられます。

### 1 通話中に[MENU]▶[2]▶[1]～[6]

**STD 標準**：標準的な映像を送信します。
**夕景**：夕焼けをバックにした被写体を撮影するときに使用します。
**逆光**：逆光になる被写体を撮影するときに使用します。
**海・雪**：海や雪面などの光の反射をより美しく撮影します。
**モノトーン**：白黒にするときに使用します。
**セピア**：セピア調にするときに使用します。

## ◆映像の明るさ／色の濃さ／ちらつきを調整する〈カメラ調整〉

【お買い上げ時】 明るさ：3段階目　色の濃さ：3段階目　ちらつき調整：自動

映像の明るさや濃さを調整できます。映像のちらつきが気になるときは、お使いの地域の電源周波数に合った設定に切り替えることにより、ちらつきが抑えられる場合があります。

- 明るさや色の濃さは5段階で調整できます。
- カメラ映像送信中の場合のみ調整できます。
- 通話終了後も設定内容は保持されます。

〈例〉明るさ／色の濃さを調整するとき

**1** 通話中に[MENU]▶[3][1]

ちらつきを調整する：[MENU]▶[3][2]▶[1]〜[3]

- ちらつき調整の設定はカメラ、バーコードリーダーのちらつき調整の設定にも反映されます。

**2** [上下]で明るさ／色の濃さのスライダにカーソルを移動▶[左右]で明るさ／色の濃さを調整▶[本]［登録］

- 調整後、しばらくの間何も操作しなかった場合、設定は変更されずに通話中の画面に戻ります。

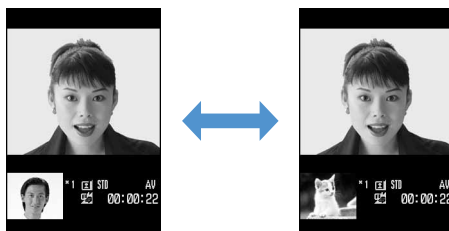
## ◆インカメラ／アウトカメラを切り替える

【お買い上げ時】 インカメラ

- カメラ映像送信中の場合のみ切り替えられます。

**1** 通話中に[メール]［カメラ切替］

切り替わったカメラからの映像が表示されます。

- 押すたびにインカメラとアウトカメラが切り替わります。

インカメラ選択時　　アウトカメラ選択時

**✔お知らせ**

- カメラを切り替えても、次の設定は保持されます。
  - フレーム、撮影モード、画像の明るさ／色の濃さ／ちらつき調整

## ◆接写撮影に切り替える

約8～11cmのごく近い距離の映像を送信するときは、接写撮影に切り替えて映像のピントを合わせます。
• アウトカメラ使用時のみ切り替えられます。

### 1 通話中に MENU ▶ 6

• 接写撮影を解除するときは、MENU 6 を押します。

## ◆送信／受信画像の品質を設定する

【お買い上げ時】 送信画質、受信画質：標準

画像品質と動きとのどちらを優先するかを選択できます。

〈例〉送信画質を設定するとき

### 1 通話中に MENU ▶ 8 1 ▶ 1～3

•「動き優先」に設定すると、映像の動きはなめらかになり、画質がやや粗くなります。
•「画質優先」に設定すると、映像は細やかになり、動きがやや鈍くなります。

受信画質を設定する：通話中に MENU ▶ 8 2 ▶ 1～3

**✔お知らせ**

• 通話中に を押しても送信画質を切り替えられます。

## ◆カメラ映像の表示倍率を切り替える〈ズーム〉

【お買い上げ時】 標準

• カメラ映像送信中の場合のみ切り替えられます。

### 1 通話中に

• を押すたびに次の順に切り替わります。を押すと逆の順になります。
インカメラ：標準（×1）→2倍（×2）
アウトカメラ：標準（×1）→2倍（×2）→4倍（×4）→6倍（×6）→8倍（×8）→10倍（×10）→12倍（×12）→16倍（×16）

**✔お知らせ**

• インカメラとアウトカメラを切り替えると、ズームは解除されます。

## ◆ナイトモードに切り替える

【お買い上げ時】 OFF

夜間など周囲が暗い場合、相手に明るい画像を送信できます。
• アウトカメラ使用時のみ切り替えられます。

### 1 通話中に （1秒以上）

• 押すたびに、ON（ ）／OFF（表示なし）が切り替わります。

**✔お知らせ**

• 通話中の設定操作などによって一時的にナイトモードが「OFF」に切り替わる場合があります。
• 通話中イルミネーションを「ON」に設定していても、ナイトモードに切り替えると、ランプは動作しません。

# テレビ電話中の画面表示について設定する

## ◆親子画面の表示を切り替える

【お買い上げ時】 親画面：相手画像　子画面：自画像

- 通話終了後も設定内容は保持されます。

**1 通話中に[メール]［画面切替］**

- 押すたびに交互に切り替わります。
  親画面：相手画像／子画面：自画像 ⟵⟶ 親画面：自画像／子画面：相手画像

## ◆親画面のサイズを変更する

【お買い上げ時】 大

- 通話終了後も設定内容は保持されます。

**1 通話中に[メール]（1秒以上）**

- 押すたびに大→中→小→大→…の順に切り替わります。

## ◆通話中の画面表示を設定する

- 通話終了後も設定内容は保持されます。

**1 通話中に[MENU]▶[9]▶各項目を選択して設定▶[メール]［登録］**

各設定項目→P83「テレビ電話の設定を変更する」

テレビ電話動作設定

# テレビ電話の設定を変更する

【お買い上げ時】 音声自動再発信：OFF　テレビ電話画面設定：両方　子画面表示：自画像　画面サイズ設定：大　受信画質設定：標準　照明設定：自動調整　スピーカーホン設定：ON

**テレビ電話がつながらなかったときの動作や、テレビ電話中の画面、スピーカーホンについて設定します。**

- 相手へのアクセスをより確実なものとするために、音声自動再発信があります。「ON」に設定すると、テレビ電話をかけた相手がテレビ電話に対応していない端末の場合や、デュアルネットワークサービスでmovaサービスを利用中の場合などでテレビ電話を受けられないときなどに、自動的に音声電話に切り替えて再発信します。ただし、ISDN同期64kbpsやPIAFSのアクセスポイント、3G-324Mに対応していないISDNのテレビ電話など（2007年6月現在）、間違い電話をした場合は、このような動作にならないことがあります。通話料金が発生する場合もあるためご注意ください。

**1 [MENU]▶[8][6][1][3]▶下記の各項目を選択して設定▶[メール]［登録］**

**音声自動再発信**：テレビ電話がつながらなかった場合、自動的に音声電話で再発信するかどうかを設定します。

**テレビ電話画面設定**：通話中に「自画像」または「相手画像」のどちらか一方を表示するか、「両方」を表示するかを設定します。

- 「自画像」または「相手画像」に設定すると、子画面表示は設定できません。

**子画面表示**：通話中の子画面に「自画像」と「相手画像」のどちらを表示するかを設定します。

**画面サイズ設定**：親画面の表示サイズを設定します。

**受信画質設定**：相手から受信する画像の画質を設定します。

**照明設定**：通話中のディスプレイの照明を設定します。

- 「端末設定に従う」に設定すると、ディスプレイの照明設定に従います。

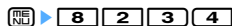
**スピーカーホン設定**：テレビ電話がつながると同時に、自動的にスピーカーホン機能を利用した通話になるようにするかどうかを設定します。

✔お知らせ

- 音声自動再発信を「ON」に設定している場合でも、相手やネットワークの状況によって再発信が行われないことがあります。
- 音声自動再発信を「ON」に設定している場合、パソコンとつないだパケット通信中にテレビ電話を発信すると、再発信が行われ音声電話に接続されます。音声電話中や64Kデータ通信中は、音声自動再発信を「ON」に設定していても、テレビ電話を発信できません。
- 音声自動再発信を「ON」に設定している場合、音声で再発信したときの通話料金はデジタル通信料ではなく音声通話料になります。

テレビ電話画像選択

# テレビ電話の代替画像や保留画像などを設定する

MENU ▶ 8 2 3 4

【お買い上げ時】［代替画像］イメージ表示：標準キャラ電　［伝言メモ画像、応答保留画像、通話中保留画像、動画メモ画像］イメージ表示：標準画像

**テレビ電話で相手に送信する代替画像、伝言メモ画像、応答保留画像、通話中保留画像、動画メモ画像を変更します。**

- 次の画像は設定できません。
  - サイズが176×144より大きい静止画
  - アニメーション、パラパラマンガ
  - JPEG形式、GIF形式以外の静止画
  - FOMA端末外への出力が禁止されている画像→P385「表示項目と変更可否一覧」の「ファイル制限」

## ◆代替画像を設定する

〈例〉標準キャラ電を設定するとき

**1** MENU ▶ 8 6 1 5 ▶ 1

**2** イメージ表示欄を選択

**3** 1 を押す

「標準キャラ電（Dimo）」が設定されます。

標準の静止画を設定する：2 を押す

その他のキャラ電を設定する：3 ▶ イメージ一覧欄を選択 ▶ フォルダを選択 ▶ キャラ電を選択

- 設定するキャラ電にカーソルを合わせて ◫ を押すと、キャラ電が表示されます。

その他の静止画を設定する：4 ▶ イメージ一覧欄を選択 ▶ フォルダを選択 ▶ 静止画を選択

- 設定する静止画にカーソルを合わせて ◫ を押すと、静止画が表示されます。
- 相手には、選択した静止画に文字メッセージが重なって表示されます。

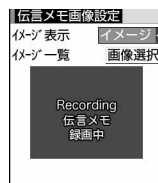
**4** ◫［登録］を押す

### ◆伝言メモ録画中／応答保留／通話中保留／動画メモ録画中の画像を変更する

**1** MENU ▶ 8 6 1 5 ▶ 2 ～ 5

〈例〉「伝言メモ画像」を選択したとき

**2** イメージ表示欄を選択 ▶ 1 または 2 ▶ [登録]

- 「標準画像」に設定すると、お買い上げ時の画像が表示されます。
- 「イメージ」を選択した場合は、イメージ一覧欄を選択し、画像を選択します。
- 相手には、選択した静止画に文字メッセージが重なって表示されます。

✔お知らせ

- 代替画像に設定したキャラ電を削除した場合、代替画像は標準のキャラ電に戻ります。静止画、標準キャラ電を削除した場合は標準画像（カメラオフ）になります。
- 伝言メモ画像、応答保留画像、通話中保留画像、動画メモ画像に設定した静止画を削除した場合は標準画像に戻ります。

テレビ電話切替機能通知

## 音声電話とテレビ電話の切り替えについて設定する

音声電話とテレビ電話を切り替えて通話するには、あらかじめテレビ電話切替機能通知を開始しておく必要があります。テレビ電話切替機能通知とは、自分の端末が音声電話とテレビ電話を切り替えられる端末であることをネットワークに通知しておく機能です。

- 音声電話中やテレビ電話中は、テレビ電話切替機能通知の設定を変更できません。
- 圏外では設定の操作はできません。電波状態のよい所で操作してください。
- お買い上げ時は、テレビ電話切替機能通知は開始に設定されています。

**1** MENU ▶ 8 6 1 7

**2** 1 または 2 ▶ 「はい」を選択

- 設定内容を確認するときは 3 を押し、「はい」を選択します。

パケット通信中着信設定

## パケット通信中着信設定を設定する

【お買い上げ時】 テレビ電話優先

ｉモード中またはデータ放送サイト表示中にテレビ電話がかかってきたときの応対方法を設定します。

**1** MENU ▶ 8 6 1 4 ▶ 1 ～ 4

**テレビ電話優先**：テレビ電話の着信画面が表示され、電話に出るとパケット通信またはデータ放送サイトの表示が終了します。
**パケット通信優先**：パケット通信またはデータ放送サイトの表示が継続され、着信履歴に記録されます。
**留守番電話**：留守番電話サービスセンターに接続します。
**転送でんわ**：転送先へ転送します。

✔お知らせ

- 留守番電話サービスや転送でんわサービスを契約していない場合は、「留守番電話」または「転送でんわ」を設定しても「パケット通信優先」の動作となります。
- 留守番電話サービスまたは転送でんわサービスを開始に設定し、呼出時間を「0秒」に設定している場合は、本設定に関わらず各サービスが作動します。着信履歴には記録されません。

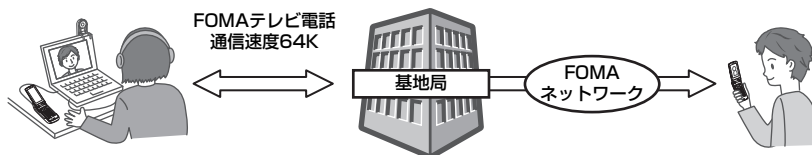
テレビ電話使用機器設定

## 外部機器と接続してテレビ電話を使用する

【お買い上げ時】 本体

**パソコンなどの外部機器とFOMA端末をFOMA USB接続ケーブル（別売）で接続することで、外部機器からテレビ電話の発着信操作ができます。**
**この機能を利用するためには、専用の外部機器、またはパソコンにテレビ電話アプリケーションをインストールし、さらにパソコン側にイヤホンマイクやUSB対応Webカメラなどの機器（市販品）を用意する必要があります。**

- FOMA端末が外部機器と接続されていないときは利用できません。
- テレビ電話アプリケーションの動作環境や設定、操作方法については、外部機器の取扱説明書などをご覧ください。

※ 本機能対応アプリケーションとして、「ドコモテレビ電話ソフト 2005」をご利用いただけます。
ドコモテレビ電話ソフト ホームページからダウンロードしてご利用ください。
（パソコンでのご利用環境など詳細については、サポートホームページでご確認ください。）
http://videophonesoft.nttdocomo.co.jp/

**1** MENU ▶ 8 6 1 6 ▶ 1 または 2

✔お知らせ

- 音声電話中は、外部機器からテレビ電話をかけられません。
- キャッチホンをご契約いただいていると、音声電話中に外部機器からのテレビ電話の着信があった場合、着信履歴には不在着信として記録されます。外部機器からのテレビ電話中に音声電話、テレビ電話、64Kデータ通信の着信があった場合も同様です。

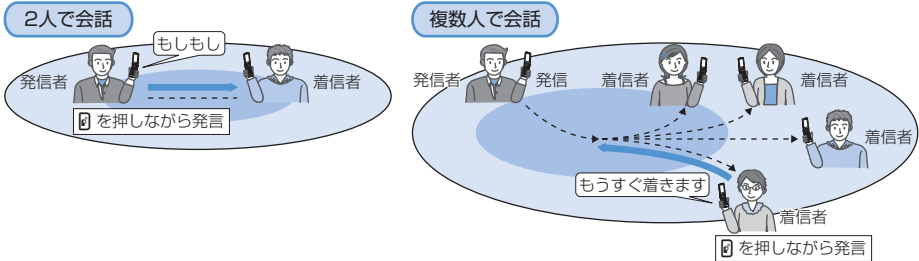
# プッシュトーク

# プッシュトークとは

**プッシュトークキー（[プッシュトークキー]）を押してプッシュトーク電話帳を呼び出し、相手を選んで再び[プッシュトークキー]を押すだけのかんたん操作で、複数の人（自分を含めて最大5人）と通信することができます。[プッシュトークキー]を押す（発言する）ごとにプッシュトーク通信料が課金されます。**
**[プッシュトークキー]を押し続けている間だけ発言することができ、発言者以外のメンバーはその間は聞くだけになります。また画面では、誰が発言しているかなどメンバーの状態が確認できます。グループ内での連絡や短い用件を同時に伝えるときなどに、便利にご利用いただけます。**

※ 対応機種：902iシリーズ、902iSシリーズ、SO902iWP+、SH902iSL、N902iX HIGH-SPEED、N902iL、903iシリーズ、904iシリーズ、P702i、P702iD、SH702iS、P703i、SH703i、SO703i

**なお、下記機種※では通信中にメンバーを追加したり、応答しなかったメンバーを再び呼び出したりすることができます。**

※ 903iシリーズ、904iシリーズ、P703i、SH703i、SO703i

## ❖プッシュトークプラス

プッシュトークプラスとは、あらかじめ登録されたネットワーク上の電話帳を利用し、自分も含め最大20人で通信できるサービスです。さらに、メンバーの状態を確認できるなど、プッシュトークをより便利にご利用いただけます。プッシュトークプラスをご利用いただくには別途ご契約が必要です。

※ プッシュトークプラスの操作方法などの詳細については、お申し込み時にお渡しするご案内をご覧ください。

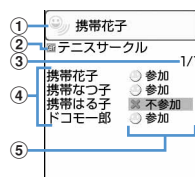
### ✔お知らせ

- 2in1を利用しているときは、Bナンバーではプッシュトークを利用できません。

# プッシュトーク発信する

## ❖プッシュトーク画面

①**発言者欄**
　表示なし：発言権が空き状態
　電話番号／名前※1／「非通知」／（発言者が特定できなかった場合）：メンバーが発言権を保持している
　「自分」：自分が発言している
②**グループマーク、グループ名**
　グループ発信した発信者の画面にのみ表示
③**参加メンバーリストのページ数**
④**参加メンバー**
　電話番号／名前※1／「非通知」
⑤**参加メンバーの応答の状況**
　呼出中※2：呼出中
　参加：呼出に応答し、プッシュトーク参加中
　不参加※2：応答がない／プッシュトークを終了／圏外にいるか電源が入っていない
　運転中※2：公共モード（ドライブモード）中

※1　電話帳に登録している場合に表示されます。着信した場合は着信／受信時動作設定に従います。
※2　3人以上で通信している場合に表示されます。

## ◆プッシュトークで会話する

電話番号を入力したりFOMA端末電話帳またはFOMAカード電話帳を利用したりして、2人でプッシュトーク通信します。

### 1 電話番号を入力

電話帳を利用する：▶**電話帳を検索**▶**発信するメンバーにカーソルを合わせる**

### 2 を押す

相手が応答すると信号音が鳴り、スピーカーホン機能を利用してプッシュトークが開始されます。
- マナーモード中のときは、プッシュトークスピーカーホン設定に関わらず受話口からの応答になります。
- プッシュトークスピーカーホン設定を「OFF」に設定しているときやマナーモード中に、スピーカーホン機能を利用して発信する場合は、を1秒以上押します。

### 3 発言者欄が空き状態であることを確認▶を押し続ける

発言権を取得すると発言権取得音が鳴り、発言者欄に「自分」と表示されます。
- 相手が発言権を取得している間は、を押しても発言権取得失敗音が鳴り、発言できません。
- 発信中、呼出中、通信中は、を押すたびにスピーカーホン機能のON／OFFを切り替えられます。
- 通信中にFOMA端末を折り畳むと、スピーカーホン機能は「ON」に切り替わります。背面ディスプレイには発言者が表示されます。
- 発言権取得音が鳴った時点から発言者にプッシュトーク通信料がかかります。

### 4 を押したまま発言する

### 5 発言が終わったらから手を離す

発言権開放音が鳴ります。

### 6 通信が終わったら

✔お知らせ

- プッシュトークの発信は、FOMA端末を開いている状態で行ってください。折り畳んでいる状態では発信できません。
- 1回の発言権を取得している時間には限りがあります。発言権を長く取得していると発言権開放予告音が鳴り、その後発言権が開放されます。
- プッシュトーク通信中に一定時間発言のやりとりが行われないと通信は切断され、待受画面に戻ります。
- プッシュトークでは、緊急通報（110番、119番、118番）はできません。
- FOMA端末電話帳のメモリ番号0～99の相手には、クイックダイヤルを利用してプッシュトークを発信できます。メモリ番号を入力してPを押すと、プッシュトーク電話帳に登録している場合はその電話番号に、プッシュトーク電話帳に登録していない場合は電話帳データの1件目の電話番号に、プッシュトークを発信します。
- ｉモード中にプッシュトーク発信すると、ｉモードは切断されます。
- 2in1がONのときに電話帳を利用する場合は、電話帳2in1設定で「B」に設定したメンバーにはプッシュトーク発信できません。

## ◆条件を設定してプッシュトークを発信する〈発信オプション〉

プッシュトークを発信するたびに、発信者番号の通知／非通知を設定できます。

**1 電話番号を入力▶MENU▶2**

**2 発信方法欄を選択▶3**

**3 番号通知欄を選択▶1～3**

発信者番号の通知／非通知を設定します。「指定なし」に設定すると、プッシュトーク番号通知設定に従って動作します。

**4 MENU［発信］を押す**

## ◆リダイヤルや着信履歴を利用する

- リダイヤル一覧画面、詳細画面→P55
- 着信履歴一覧画面、詳細画面→P56

〈例〉着信履歴一覧からプッシュトーク発信するとき

**1 ▶発信するメンバーにカーソルを合わせてP**

着信対象が複数のときは、複数のメンバーに一斉発信します。

- リダイヤルから発信するときは、を押して発信するメンバーにカーソルを合わせてPを押します。

グループ着信からメンバーを選択して発信する：

① ▶該当するグループ着信を選択

メンバー一覧が表示されます。

② ▶発信しないメンバーを選択▶Pまたは

プッシュトーク電話帳に登録する：▶登録するメンバーにカーソルを合わせてMENU▶43▶「はい」を選択

- FOMA端末電話帳に登録していないと、プッシュトーク電話帳に登録できません。

グループとして登録する：▶登録するグループ着信にカーソルを合わせてMENU▶44▶グループ名を入力▶

- プッシュトーク電話帳に登録していないと、グループ登録できません。

FOMA端末電話帳に登録する：

① ▶登録するメンバーにカーソルを合わせてMENU▶4▶1または2

② 名前やメールアドレスなどを登録

電話帳登録→P101

- 登録済みの電話帳データに追加するときは、登録先の電話帳データを選択します。
- 登録後、プッシュトーク電話帳に登録するかどうかの確認画面が表示されます。「はい」を選択すると、登録されます。

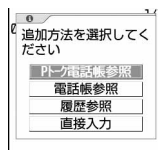
# プッシュトーク通信中にメンバーを追加する

**発信者はプッシュトーク通信中に参加メンバーを追加できます。**

- 発信するメンバーの合計が4人になるまで、メンバーは何度でも追加できます。すでに4人に発信している場合、参加していないメンバーを再度呼び出すことはできますが、新規メンバーは追加できません。

## 1 通信中に[電話帳]▶追加方法を選択

「Pトーク電話帳参照」を選択するとプッシュトーク電話帳のメンバー一覧が、「電話帳参照」を選択するとFOMA端末電話帳の電話帳一覧（全件表示）が、「履歴参照」を選択するとリダイヤル一覧が表示されます。

- 「履歴参照」を選択しリダイヤル一覧画面で[電話帳]を押すと、着信履歴一覧が表示されます。
- 「直接入力」を選択すると電話番号の入力画面が表示されます。電話番号を入力し[メール]を押すと発信されます。

## 2 追加するメンバーにカーソルを合わせて[メール]［発信］

相手が応答すると信号音が鳴ります。

- FOMA端末電話帳またはFOMAカード電話帳の電話帳一覧からメンバーを追加する場合は、追加するメンバーを選択します。
- リダイヤル一覧画面、または着信履歴一覧画面でプッシュトークのグループ発着信からメンバーを追加する場合は、該当するグループ発着信を選択し、メンバー一覧で[●]を押します。追加するメンバーを選択し、[メール]を押します。

**✔お知らせ**

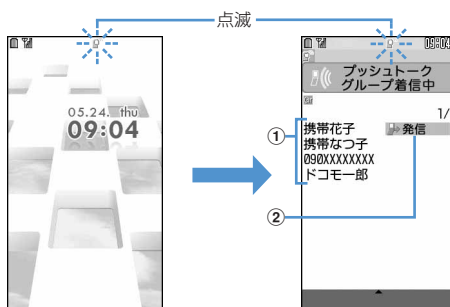
- リダイヤル一覧画面、または着信履歴一覧画面で追加するメンバーを選択すると、詳細画面が表示されます。プッシュトーク発着信を選択した場合は、メンバー一覧が表示されます。メンバー一覧で[●]を押し、追加するメンバーにカーソルを合わせて[電話帳]を押すと、詳細画面が表示されます。
- リダイヤルまたは着信履歴の詳細画面からメンバーを追加する場合は、[●]を押します。
- メンバー追加非対応機種のメンバーも追加できます。追加メンバーは参加メンバーの画面に表示されます。ただし、メンバー追加非対応機種を利用している参加メンバーには、追加メンバーは画面に表示されず、信号音も鳴りません。また、メンバー追加非対応機種では、発信者からのメンバーの追加はできません。
- 追加メンバーを選択中でも[P]を押して発言権を取得したり、開放したりできます。
- 追加メンバーはリダイヤルや着信履歴には記録されません。

# プッシュトーク着信する

- プッシュトークは応答保留できません。

## 1 プッシュトークが着信する

着信音が鳴り、ランプが点灯または点滅します。ディスプレイには、参加メンバーが一覧表示されます。

- 画面の見かたは次のとおりです。
  ①**参加メンバー**
  電話番号／名前※／「非通知」
  ②**発信者**
  ※ 電話帳に登録している場合は、着信／受信時動作設定に従って表示されます。

## 2 [P]を押す

信号音が鳴り、スピーカーホン機能を利用してプッシュトークが開始されます。
- [発信]またはダイヤルキーなどを押してもプッシュトークに応答できます（エニーキーアンサー）。
- [終話]を押した場合や、プッシュトーク呼出時間設定で設定した呼出時間内に応答しなかった場合は、着信を切断します。グループ着信の場合は、参加メンバーのディスプレイには 不参加 が表示され、着信を切断します。
- マナーモード中のときは、プッシュトークスピーカーホン設定に関わらず受話口からの応答になります。
- FOMA端末を折り畳んでいるときは、マナーモードの設定やプッシュトークスピーカーホン設定に関わらず、スピーカーからの応答になります。

## 3 プッシュトークで会話する

操作方法→P89「プッシュトークで会話する」操作3～5

## 4 通信が終わったら[終話]

信号音が鳴り、他の参加メンバーのディスプレイには 不参加 が表示されます。

**✔お知らせ**

- グループ発信に応答したプッシュトーク通信を切断したり、呼出時間内に応答しなかったりした場合でも、他の参加メンバーが通信を継続している間は、着信履歴からの発信によって参加できます。→P90

# プッシュトーク電話帳に登録する

[MENU]▶[4][4]

**プッシュトーク通信をするメンバーを登録します。グループに分けて登録することもできます。**
- プッシュトーク電話帳に登録するには、FOMA端末電話帳に電話番号を登録しておく必要があります。
- 2in1がONのときは、電話帳2in1設定で「B」に設定した電話帳データの電話番号はプッシュトーク電話帳に登録できません。
- 最大1000件登録できます（登録内容により、少なくなる場合があります）。

## 1 [P]▶[メール]

## 2 「電話帳参照」を選択

- FOMA端末電話帳に登録していない電話番号を登録する場合は、「直接入力」を選択します。

電話帳登録→P101

## 3 電話帳を検索▶登録する電話帳データを選択▶「はい」を選択

### ❖FOMA端末電話帳から登録する

## 1 [電話帳]▶電話帳を検索▶登録するメンバーにカーソルを合わせて[MENU]▶[3][3]▶「はい」を選択

- FOMA端末電話帳の詳細画面から登録する場合は、プッシュトーク電話帳に登録する電話番号を表示し、[MENU][4][3]を押して「はい」を選択します。

## ◆グループに登録する

プッシュトーク電話帳に登録したメンバーをグループに登録します。
- グループは最大30件登録できます。
- 1つのグループには、メンバーを最大19人登録できます。ただし、グループに5人以上のメンバーを登録するとグループ一斉発信はできません。グループ一斉発信するには、登録するメンバーを4人以下にしてください。

**1** ▶

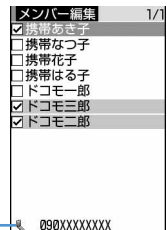
- 登録済みのグループにメンバーを登録するときは、操作3に進みます。

**2** ▶グループ名を入力▶

- 全角で最大10文字、半角で最大20文字入力できます。

グループ名を変更する：変更するグループにカーソルを合わせて ▶ 3 ▶グループ名を変更▶

**3** グループを選択▶

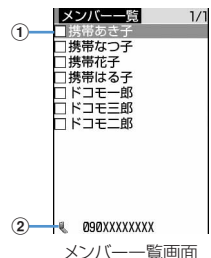
**4** 登録するメンバーを選択▶ ［登録］

# プッシュトーク電話帳を利用してプッシュトーク発信する

**プッシュトーク電話帳のメンバー一覧から選択したり、グループを利用したりして、複数の人でプッシュトーク通信します。**
- 発信するメンバーを4人まで選択できます。

## ◆メンバー一覧から発信する

**1** を押す

- 画面の見かたは次のとおりです。
  ①**FOMA端末電話帳に登録している名前**
  - メンバー一覧の電話帳データは次のフリガナ順に表示されます。
    50音順→アルファベット順→数字→空白で始まるもの→記号→フリガナなし
  - ダイヤルキー 0 ～ 9 、 # 、 * を押すと、それぞれのダイヤルキーに割り当てられている行の先頭のメンバーにカーソルが移動します。
    ダイヤルキーの割り当て→P106「50音順に全件表示する」操作1

  ②**カーソル位置のメンバーの電話番号**

メンバー一覧画面

**2** 発信するメンバーを選択

- 1 を押すと、発信するメンバーだけが一覧表示されます。

## 3 または

メンバーが1人でも応答すると信号音が鳴り、スピーカーホン機能を利用してプッシュトークが開始されます。

- マナーモード中のときは、プッシュトークスピーカーホン設定に関わらず受話口からの応答になります。
- プッシュトークスピーカーホン設定を「OFF」に設定しているときやマナーモード中に、スピーカーホン機能を利用して発信する場合は、またはを1秒以上押します。

## 4 プッシュトークで会話する

操作方法→P89「プッシュトークで会話する」操作3～5

## 5 通信が終わったら

信号音が鳴り、他の参加メンバーのディスプレイには 不参加 が表示されます。

# ◆グループから発信する

## 1 ▶ ▶ グループを選択

- グループ内の電話帳データは次のフリガナ順に表示されます。
  50音順→アルファベット順→数字→空白で始まるもの→記号→フリガナなし
- グループ一斉発信をするときは、発信するグループにカーソルを合わせて、操作3に進みます。

## 2 発信しないメンバーを選択

チェックボックスからチェックが外れます。

- 1を押すと、発信するメンバーだけが一覧表示されます。

## 3 または

メンバーが1人でも応答すると信号音が鳴り、スピーカーホン機能を利用してプッシュトークが開始されます。

- マナーモード中のときは、プッシュトークスピーカーホン設定に関わらず受話口からの応答になります。
- プッシュトークスピーカーホン設定を「OFF」に設定しているときやマナーモード中に、スピーカーホン機能を利用して発信する場合は、またはを1秒以上押します。
- 4を押すと、条件を設定してプッシュトークを発信できます。→P90

## 4 プッシュトークで会話する

操作方法→P89「プッシュトークで会話する」操作3～5

## 5 通信が終わったら

信号音が鳴り、他の参加メンバーのディスプレイには 不参加 が表示されます。

**✔お知らせ**

- グループ発信したプッシュトーク通信を切断した場合でも、他の参加メンバーが通信を継続している間は、リダイヤルからの発信によって参加できます。→P90
- プライバシーモード中（電話帳・履歴を「指定電話帳非表示」に設定した場合）は、シークレット属性を設定しているメンバーには発信できません。

# ◆プッシュトークプラスを利用してプッシュトーク発信する

- プッシュトークプラスをご利用いただくには、ご契約が必要です。→P88

## 1 ▶ ▶ 6

ネットワークに接続します。

## プッシュトーク電話帳を削除する

**1** ▶削除するメンバーにカーソルを合わせて MENU ▶ 3 ▶「はい」を選択

FOMA端末電話帳からも削除するかどうかの確認画面が表示されます。

### ❖グループを削除する

- グループを削除しても、登録しているメンバーはプッシュトーク電話帳やFOMA端末電話帳から削除されません。

**1** ▶ 📖 ▶削除するグループにカーソルを合わせて MENU ▶ 2 ▶「はい」を選択

### ❖グループからメンバーを削除する

- グループから削除しても、プッシュトーク電話帳やFOMA端末電話帳からは削除されません。

**1** ▶ 📖 ▶グループを選択▶削除するメンバーにカーソルを合わせて MENU ▶ 3 ▶「はい」を選択

## プッシュトークの発着信について設定する

### ◆自分やメンバーの電話番号を表示させる〈プッシュトーク番号通知設定〉

【お買い上げ時】 通知しない

プッシュトークの発信や、メンバーを追加したときに、メンバーのFOMA端末に自分や他の参加メンバーの電話番号を表示させるかどうかを設定します。

- 発信者番号はお客様の大切な情報です。発信者番号を通知する際には、十分にご注意ください。
- 着信中および通信中のメンバーのFOMA端末にメンバー全員の電話番号が表示されるかどうかは、発信者の設定に従います。発信者が電話番号を通知すると参加メンバー全員の電話番号が通知され、通知しないと全員が「非通知」となります。

**1** MENU ▶ 8 6 3 3 ▶ 1 または 2

✔**お知らせ**

- 発信者番号通知設定の設定に関わらず、本機能の設定に従ってメンバーの電話番号が通知されます。

### ❖番号通知の優先順位について

複数の番号通知方法を同時に設定した場合、次の優先順位で番号通知動作が行われます。
① 発信時に発信オプションで番号通知方法を設定した場合
② 電話帳データの発番号設定（1人に発信した場合）
③ プッシュトーク番号通知設定

### ◆着信音を鳴らす時間を設定する〈プッシュトーク呼出時間設定〉

【お買い上げ時】 呼出時間（秒）：30

プッシュトークの着信があったときに、着信音やバイブレータなどによる呼出動作を続ける時間を設定します。呼出時間内に応答しなかったときは、呼出が終了し、着信履歴に不在着信として記録されます。

- プッシュトーク自動応答設定を「自動応答あり」に設定していると、本機能は設定できません。

**1** MENU ▶ 8 6 3 2 ▶秒数を入力▶ 📖 ［登録］

- 1～60秒の範囲で設定します。

✔お知らせ

- 呼出動作開始時間設定の着信呼出動作を「ON」に設定しているときは、呼出開始時間が経過した後に本機能が動作します。

## ◆プッシュトークに自動的に応答する〈プッシュトーク自動応答設定〉

【お買い上げ時】 自動応答なし

キー操作なしに自動的にプッシュトークに参加するかどうかを設定します。
「自動応答あり」に設定すると、プッシュトークの着信とともに信号音が鳴って自動応答します。

**1** MENU ▶ 8 6 3 4 ▶ 1 または 2

✔お知らせ

- 「自動応答あり」に設定していても、マナーモード中は本機能は動作しません。プッシュトークに応答するにはPを押します。 またはダイヤルキーなどを押しても応答できます。
- 平型スイッチ付イヤホンマイク（別売）や車載ハンズフリーキット01（別売）を接続しているときは、Pを操作しながら接続した機器を使って音声をやりとりします。

## ◆プッシュトーク通信中に音声電話がかかってきたときの応対を設定する〈プッシュトーク中着信設定〉

【お買い上げ時】 通常着信

**1** MENU ▶ 8 6 3 5 ▶ 1 ～ 4

**通常着信**：音声電話を着信すると、音声着信画面が表示されます。 を押すとプッシュトークを切断して音声電話に応答します。 を押すとプッシュトークを切断し、音声着信画面の表示を継続します。
**着信拒否**：音声電話が切れます。
**留守番電話**：留守番電話サービスセンターに接続します。
**転送でんわ**：転送先へ転送します。

- 留守番電話サービスや転送でんわサービスを契約していない場合は、「留守番電話」または「転送でんわ」を設定しても「通常着信」の動作となります。

✔お知らせ

- プッシュトーク中着信設定がいずれの設定の場合でも、着信履歴に不在着信として記録されます。
- 留守番電話サービスまたは転送でんわサービスを開始に設定し、呼出時間を「0秒」に設定している場合は、本設定に関わらず各サービスが作動します。着信履歴には記録されません。
- プッシュトーク通信中に設定する場合は、MENUを押し「プッシュトーク中着信設定」を選択します。

## ◆FOMA端末を折り畳んでプッシュトークを終了／継続するように設定する〈プッシュトーク中クローズ設定〉

【お買い上げ時】 スピーカー通話

**1** MENU ▶ 8 6 3 6 ▶ 1 または 2

✔お知らせ

- 平型スイッチ付イヤホンマイク（別売）や車載ハンズフリーキット01（別売）を接続しているときは、FOMA端末を折り畳んでも本設定に関わらず通信を継続します。
- プッシュトーク通信中に設定する場合は、MENUを押し「プッシュトーク中クローズ設定」を選択します。

## ◆ｉモード中プッシュトーク着信を設定する〈ｉモード中プッシュトーク着信〉

MENU ▶ 2 8 4

【お買い上げ時】 プッシュトーク着信優先

ｉモード中またはデータ放送サイト表示中にプッシュトークが着信したときの応対方法を設定します。

**1** MENU ▶ 8 6 3 7 ▶ 1 または 2

**プッシュトーク着信優先**：ｉモード通信またはデータ放送サイトの表示が終了し、プッシュトークの着信画面が表示されます。プッシュトークを終了すると、ｉモードの画面またはデータ放送サイトの画面に戻ります。

**ｉモード優先**：ｉモード通信またはデータ放送サイトの表示が継続され、着信履歴にも記録されません。相手に接続できなかった旨のメッセージが表示されます。グループ着信したときは、参加メンバーのディスプレイには 不参加 が表示されます。

## ◆プッシュトークスピーカーホン機能を利用する〈プッシュトークスピーカーホン設定〉

【お買い上げ時】 ON

FOMA端末を開いている状態で、プッシュトーク発着信時に相手の声をスピーカーから聞こえるようにするかどうかを設定します。

**1** MENU ▶ 8 6 3 8 ▶ 1 または 2

**✔お知らせ**

- 本設定に関わらず、マナーモード中は受話口からの通信になります。
- 本設定に関わらず、プッシュトーク自動応答設定を「自動応答あり」に設定していて自動応答した場合は、スピーカーからの通信になります。

# 電話帳

# FOMA端末で使用できる電話帳について

**FOMA F904iでは、FOMA端末電話帳とFOMAカード電話帳を利用できます。これらの電話帳からは、音声電話やテレビ電話、プッシュトークの発信や、メール、SMSの送信などが行えます。**
**F904iには、この他プッシュトーク専用のプッシュトーク電話帳があります。**

- プッシュトーク電話帳→P92「プッシュトーク電話帳に登録する」
- FOMA端末電話帳とFOMAカード電話帳の登録内容は次のとおりです。

○：可　×：不可

| 項　目 | | FOMA端末電話帳 | FOMAカード電話帳 |
|---|---|---|---|
| 電話帳登録件数 | | 最大1000件※1 | 最大50件 |
| 登録内容 | メモリ番号 | ○ | × |
| | 名前 | 全角で16文字、半角で32文字 | 全角で10文字、半角で21文字 |
| | フリガナ | 半角で32文字 | 全角で12文字、半角で25文字 |
| | 画像・動画 | 1人につき1件 | × |
| | グループ | 「グループなし」および30グループ | 「グループなし」および10グループ |
| | 電話番号 | 1人につき5番号、電話帳全体で最大3005番号※1 | 1人につき1番号 |
| | 電話番号アイコン | ○ | × |
| | メールアドレス | 1人につき5アドレス、電話帳全体で最大3005アドレス※1 | 1人につき1アドレス |
| | メールアドレスアイコン | ○ | × |
| | その他の設定※2 | ○ | × |

※1　実際に登録できる件数は、各電話帳データの登録内容により少なくなる場合があります。
※2　設定できる項目は誕生日、テキストメモ、郵便番号／住所、位置情報、会社名、役職名、URLです。

- お客様のFOMAカードを他のFOMA端末に挿入しても、FOMAカード内の電話帳データを利用できます。

## ◆名前の表示について

FOMA端末電話帳、FOMAカード電話帳に登録した相手に電話発信を行うと、電話帳に登録している名前と電話番号が発信中、呼出中、通話中の画面に表示されます。着信した場合は、着信／受信時動作設定に従います。発着信情報を記録しているリダイヤルや着信履歴、電話帳を検索せずに電話番号やメールアドレスを直接入力した場合も、電話帳に登録している名前が、伝言メモ、受信メールの発信元、送信／未送信メールの宛先、セレクトメニューの人物などに表示されます。
2in1がONでAモードのときは、電話帳2in1設定で「B」に設定した電話帳データの名前は表示されません。また、Bモードのときは、電話帳2in1設定で「A」に設定した電話帳データの名前は表示されません。

- FOMA端末電話帳に同じ電話番号やメールアドレスで名前が異なる電話帳を登録している場合、最初に登録した電話帳の名前が表示されます。
- FOMA端末電話帳とFOMAカード電話帳に、同じ電話番号やメールアドレスで名前が異なる電話帳を登録している場合、FOMA端末電話帳に登録している名前が表示されます。
- メールを受信した際、発信元のメールアドレスと電話帳に登録しているメールアドレスが@以降のドメイン名も含めて完全に一致すると、電話帳に登録している名前が表示されます。ただし、発信元がｉモード端末の場合は、ドメイン名（@docomo.ne.jp）を省略してメールアドレスを電話帳に登録しても、電話帳に登録している名前が表示されます。メールアドレスが「携帯電話番号@docomo.ne.jp」の場合は、「@docomo.ne.jp」を省略して電話帳に登録してください。
- SMSを受信した際、電話帳に登録している電話番号が一致した場合は電話帳に登録している名前が表示されます。
- GPSの位置提供の要求を受けた場合、要求者IDが電話帳に登録している電話番号またはメールアドレスと一致した場合は、要求者名に電話帳に登録している名前が表示されます。

# FOMA端末電話帳に登録する

**電話番号やメールアドレスなどをFOMA端末電話帳に登録します。**

- 電話帳に登録した内容は、別にメモを取るなどして保管してください。パソコンをお持ちの場合は、データリンクソフトとFOMA USB接続ケーブル（別売）を利用して、パソコンに保管できます。また電話帳お預かりサービスをご契約の場合は、お預かりセンターへ保存できます。
- FOMA端末電話帳の電話帳データをmicroSDメモリーカードにバックアップできます。
- FOMA端末の故障や修理、電話機の変更やその他の取り扱いによって、登録内容が消失してしまう場合があります。万一、電話帳などに登録してある内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- ドコモショップなどの窓口で機種変更時など新機種へ登録内容をコピーする際は、仕様によってはFOMA端末にコピーできない場合もありますので、あらかじめご了承ください。
- 最大登録件数→P100

## 1 MENU ▶ 4 2

## 2 名前を入力

- 全角で最大16文字、半角で最大32文字入力できます。
- 名前を入力しないと、電話帳に登録できません。

名前入力
名前を
入力してください
携帯花子

## 3 📖を押す

名前とフリガナを確認します。

**名前を修正する：名前の入力欄を選択▶名前を修正▶📖**

**フリガナを修正する：フリガナの入力欄を選択▶フリガナを修正▶●**

- 半角で最大32文字入力できます。
- 名前を修正してもフリガナには反映されません。

## 4 下記の各項目を選択して設定▶📖［登録］

**メモリ番号（No.000～999）**：最も小さい空きメモリ番号が自動的に割り当てられます。

- メモリ番号に登録済みの番号を指定すると、登録時に上書きするかどうかの確認画面が表示されます。上書きしないときは「新規登録」を選択し、他のメモリ番号を指定してください。
- 100の位や10の位の頭の0は省略できます。

**画像選択・撮影**：発着信時、音声電話中、または電話帳データ確認時に表示する画像や動画／iモーションを設定します。着信時は、登録相手が電話番号を通知してきた場合に表示されます。

- お買い上げ時の状態に戻すときは 5 を押します。

**画像を設定する：1 ▶フォルダを選択▶画像を選択**

画像のフォルダや一覧の見かた→P344

- 縦横（または横縦）のサイズが640×480より大きい画像を選択すると、画像を縮小するかどうかの確認画面が表示されます。「はい」を選択して画像を設定すると、電話帳用のサイズに縮小した画像が保存されます。
- 電話発着信時や電話帳データ確認時には、アニメーションは再生中の画像、パラパラマンガは最初のコマが表示されます。

**カメラで静止画を撮影して設定する：2 ▶静止画を撮影▶●**

- 撮影する静止画のサイズは電話帳用（96×72）に自動的に設定されます。

**動画／ｉモーションを設定する：** 3 ▶ フォルダを選択 ▶ 動画／ｉモーションを選択
動画／ｉモーションのフォルダや一覧の見かた→P352
- 映像のみの動画／ｉモーションが設定できます。
- 電話発信時には、動画／ｉモーションの最初のコマが表示されます。

**カメラで動画を撮影して設定する：** 4 ▶ 動画を撮影 ▶ ●
- 撮影する動画のサイズはQCIF（176×144）に自動的に設定されます。また、音声は録音されません。

**グループ**：グループを選択します。新規登録時は「グループなし」に設定されています。✉を押すとグループを追加できます。
グループの追加→P104

**電話番号**：市外局番から入力し、アイコンを選択します。最大26桁入力できます。
- 1人につき最大5番号登録できます。1件目の電話番号を登録すると、追加登録する項目が表示されます。
- ポーズ（「P」）、タイマー（「T」）、「＋」、「＃」、サブアドレスの区切り（「＊」）を登録できます。

**メールアドレス**：メールアドレスを入力し、アイコンを選択します。半角で最大50文字入力できます。
- 1人につき最大5アドレス登録できます。1件目のメールアドレスを登録すると、追加登録する項目が表示されます。

相手がシークレットコードを登録しているときの電話帳の登録→P113

**誕生日**：誕生日設定を「ON」に設定して誕生日を入力します。
**テキストメモ**：全角で最大100文字、半角で最大200文字入力できます。
**郵便番号／住所**：郵便番号は最大7桁、住所は全角で最大100文字、半角で最大200文字入力できます。
**位置情報**：現在地や位置履歴などから位置情報を付加します。→P313
**会社名**：全角で最大50文字、半角で最大100文字入力できます。
**役職名**：全角で最大50文字、半角で最大100文字入力できます。
**URL**：半角で最大256文字入力できます。

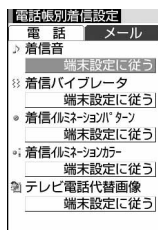
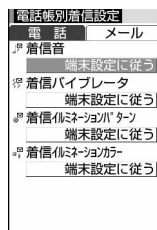
**✔お知らせ**
- 「186」または「184」を付けた電話番号を電話帳に登録すると、SMS作成時の宛先に選択しても送信できません。
- 発着信動作の優先順位について
  - 発信画像→P138
  - 着信画像→P139
- 2in1がONでデュアルモードまたはAモードのときに登録した電話帳データは電話帳2in1設定が「A」に、Bモードのときに登録した電話帳データは電話帳2in1設定が「B」に設定されます。

電話帳別着信設定

# 電話帳データごとに着信動作を設定する

**FOMA端末電話帳の電話帳データごとに音声電話とテレビ電話、またはメールの着信音やイルミネーションなどを設定できます。**

**1** 📖 ▶ 電話帳を検索 ▶ 設定する電話帳データにカーソルを合わせて MENU ▶ 3 2 ▶ 下記の各項目を選択して設定 ▶ 📖［登録］

- ✉で電話とメールの着信設定画面を切り替えます。
- 「グループなし」で登録すると、すべての項目は「端末設定に従う」に設定されています。グループを選択した場合、テレビ電話代替画像は「端末設定に従う」に、それ以外の項目は「グループ設定に従う」に設定されています。

電話着信設定画面　メール着信設定画面

／着信音：「着モーションを選択」、「メロディを選択」または「ミュージックを選択」を選択した場合は、着信音を選択します。
- 動画／ｉモーションとミュージックは詳細情報の着信音設定が「可」の場合のみ着信音に設定できます。
- 「端末設定に従う」に設定すると、電話着信音、テレビ電話着信音、またはメール着信音に従います。

ミュージックの設定→P121

／**着信バイブレータ**：「選択する」を選択した場合は、バイブレータの動作パターンを選択します。
- 「端末設定に従う」に設定すると、バイブレータ設定に従います。

／**着信イルミネーションパターン**：「選択する」を選択した場合は、ランプの点灯パターンを選択します。
- 「端末設定に従う」に設定すると、イルミネーション設定に従います。
- 「メロディ連動」に設定すると、着信イルミネーションカラーは設定できません。

メロディ連動→P146「電話／メールの着信やトルカ取得の点灯パターンと点灯色を設定する」操作2

／**着信イルミネーションカラー**：「選択する」を選択した場合は、ランプの点灯色を選択します。
- 「端末設定に従う」に設定すると、イルミネーション設定に従います。

**テレビ電話代替画像（電話着信設定画面のみ）**：「選択する」を選択した場合は、通話中に表示するキャラ電を選択します。
- 「端末設定に従う」に設定すると、テレビ電話画像選択の設定に従います。

**✔お知らせ**

- FOMA端末電話帳の詳細画面から操作する場合は、MENUを押し「編集／設定」→「電話帳別着信設定」を選択します。
- 着信動作の優先順位について
  - 着信音→P122
  - バイブレータ→P124
  - 着信イルミネーション→P146

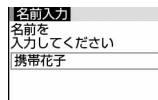
FOMAカード電話帳登録

# FOMAカード電話帳に登録する

- 最大登録件数→P100

## 1 MENU ▶ 4 3

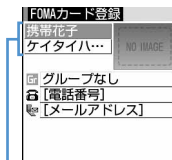
## 2 名前を入力

- 全角で最大10文字、半角で最大21文字入力できます。ただし、全角と半角が混在している場合や、半角カタカナが含まれている場合は、最大10文字しか登録できません。
- 名前を入力しないと、電話帳に登録できません。

名前入力
名前を
入力してください
携帯花子

## 3 電話帳ボタンを押す

名前とフリガナを確認します。

名前を修正する：**名前の入力欄を選択▶名前を修正▶電話帳ボタン**

フリガナを修正する：**フリガナの入力欄を選択▶フリガナを修正▶●**
- 全角で最大12文字、半角で最大25文字入力できます。ただし、全角と半角が混在している場合は、最大12文字しか登録できません。
- 名前を修正してもフリガナには反映されません。

名前、フリガナ

## 4 下記の各項目を選択して設定▶[📖]［登録］

- 電話帳データの各項目をすでに設定しているときは、その内容が表示されます。

**グループ**：グループを選択します。新規登録時は「グループなし」に設定されています。
グループ名の変更→P105

**電話番号**：市外局番から入力します。最大26桁（FOMAカードの種類によっては最大20桁）入力できます。→P39

- 1番号のみ登録できます。アイコンの設定はできません。
- ポーズ（「P」）、「+」、「#」、サブアドレスの区切り（「＊」）を登録できます。タイマー（「T」）は入力できますが、登録できません。

**メールアドレス**：メールアドレスを入力します。半角で最大50文字入力できます。

- 1アドレスのみ登録できます。アイコンの設定はできません。

グループ設定

# グループについて設定する

**FOMA端末電話帳ではグループを追加したり、グループごとの発着信動作を設定したりできます。また、グループの並び順の変更や、グループの削除もできます。FOMAカード電話帳ではグループ名のみ変更できます。**

- 「グループなし」の名前の変更や発着信動作の設定、削除はできません。

## ◆FOMA端末電話帳のグループについて設定する

### ❖グループを追加する

- 最大30グループ追加できます。

**1** [MENU]▶[4][1][2]

**2** [MENU]▶[2]

グループ名を変更する：**変更するグループにカーソルを合わせて[MENU]▶[4]**

グループの並び順を変更する：**順番を変更するグループにカーソルを合わせて[MENU]▶[6]または[7]**

**3** グループ名を入力▶[📖]［登録］

- 全角で最大10文字、半角で最大20文字入力できます。

### ❖グループを削除する

グループとそのグループ内のすべての電話帳データを削除します。同じ電話帳データをプッシュトーク電話帳にも登録しているときは、プッシュトーク電話帳からも削除されます。

- プライバシーモード中（電話帳・履歴を「指定電話帳非表示」に設定した場合）でも、シークレット属性を設定している電話帳データは削除されます。
- 「グループなし」ではグループ内の電話帳データのみ削除されます。

**1** [MENU]▶[4][1][2]▶削除するグループにカーソルを合わせて[MENU]▶[3]▶認証操作▶「はい」を選択

### ❖グループの発着信動作を設定する〈グループ別発着信設定〉

**1** [MENU]▶[4][1][2]▶設定するグループにカーソルを合わせて[MENU]▶[5]▶各項目を選択して設定▶[📖]［登録］

発着信画像の設定操作→P101「FOMA端末電話帳に登録する」操作4
その他の項目の設定操作→P102「電話帳データごとに着信動作を設定する」

## ◆FOMAカード電話帳のグループ名を変更する

**1** MENU▶4 1 2▶📖▶変更するグループにカーソルを合わせて MENU▶2▶グループ名を入力▶📖［登録］

- 全角で最大10文字、半角で最大21文字入力できます。ただし、全角と半角が混在している場合や、半角カタカナが含まれている場合は、最大10文字しか登録できません。

電話帳検索

# 電話帳から電話をかける

**電話をかける相手の電話帳データを、FOMA端末電話帳またはFOMAカード電話帳から呼び出し、簡単に電話をかけられます。**

- プッシュトーク電話帳やFOMA端末電話帳を使ってプッシュトーク発信する操作→P89、P93
- 電話帳データは、次の検索方法を指定して呼び出せます。
  - 全件表示（50音）、グループ検索、フリガナ検索、ランキング検索※、メモリ番号検索※、電話番号検索、ロケットサーチ、シークレット検索※

  ※ FOMAカード電話帳では利用できません。
- 電話帳データの検索結果は一覧表示されます（電話帳一覧）。
- プライバシーモード中（電話帳・履歴を「指定電話帳非表示」に設定した場合）は、シークレット属性を設定している電話帳データまたはグループは検索できません。また、クイックダイヤル、クイックメール、イヤホンスイッチ発信、メール検索も同様です。
- FOMAカード電話帳でも利用できる検索方法では、📖を押すたびにFOMA端末電話帳一覧とFOMAカード電話帳一覧が切り替わります。
- FOMAカード電話帳一覧では、名前の前に▣が表示されます。

**1** 📖▶電話帳を検索

お買い上げ時は全件表示（50音）の電話帳一覧が表示されるように設定されています。よく利用する検索方法の画面が表示されるように設定を変更できます。→P108

全件表示（50音）の場合

- 検索結果が複数ページあるときは、サイドキー［▲▼］でページを切り替えられます。全件表示（50音）とフリガナ検索以外の検索方法では🔘でも切り替えられます。
- 2in1がONでデュアルモードのときは、すべての電話帳データが表示されます。FOMA端末電話帳一覧には、名前の右側に電話帳2in1設定で設定したマークが表示されます。
- 画面の見かたは次のとおりです。

  **① 1件目の電話番号に設定しているアイコン**

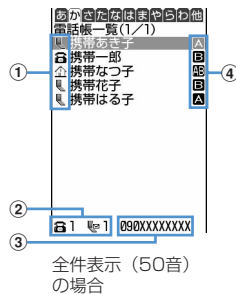
  **② カーソル位置の相手に登録されている電話番号およびメールアドレスの件数**

  **③ カーソル位置の相手の1件目の電話番号（表示しきれない部分は省略されます）**

  **④ 電話帳2in1設定で設定したマーク（2in1がONでデュアルモードの場合）**

  A：Aモードの電話帳データ

  B：Bモードの電話帳データ

  AB：A／B両モードの電話帳データ

**2** 電話をかける相手にカーソルを合わせて📞

- テレビ電話をかけるときは、テレビ電話をかける相手にカーソルを合わせて📹を押します。
- 詳細画面から操作する場合は、電話をかける電話番号を表示して📞または📹を押します。
- 2in1がONでデュアルモードのときは、電話帳2in1設定で「A」または「共通」に設定した相手にはAナンバーで、「B」に設定した相手にはBナンバーで発信されます。

**✔お知らせ**

- 条件を設定して電話をかけられます。→P62

## ❖電話帳を利用する

iモードメールを作成する：メールを送信する相手にカーソルを合わせて[✉]
- 詳細画面から操作する場合は、宛先にするメールアドレスを表示して[✉]または[●]を押します。

iモードメールの作成・送信方法→P234

SMSを作成する：SMSを送信する相手にカーソルを合わせて[✉]（1秒以上）
- 選択した相手の電話帳データに電話番号のみ登録している場合は、[✉]を押してもSMSを作成できます。
- 詳細画面から操作する場合は、宛先にする電話番号を表示して[✉]を押します。

SMSの作成・送信方法→P273

サイトを表示する：目的の相手を選択▶[◎]でURLの詳細画面を表示▶[●]▶「はい」を選択
- [●]を押した後に[i]を押すと、フルブラウザで表示されます。

位置情報を利用する：目的の相手を選択▶[◎]で位置情報の詳細画面を表示▶[●]
位置情報メニューが表示されます。→P313

電話帳データをメールに添付する：添付する電話帳データにカーソルを合わせて[MENU]▶[1][3]

iモードメールの作成・送信方法→P234

### ✔お知らせ
- 2in1がONでデュアルモードまたはAモードのときは、電話帳2in1設定の設定に関わらずAアドレスでiモードメールを、AナンバーでSMSを送信します。Bモードのときは、iモードメールとSMSは作成できません。

## ❖メールを検索する〈メール検索〉

**1** [📖]▶電話帳を検索▶メール検索する電話帳データにカーソルを合わせて[MENU]▶[1][6]▶[1]または[2]

受信／送信メール一覧の表示方法→P253
- FOMAカード電話帳の場合は、メール検索する電話帳データにカーソルを合わせて受信メールのときは[MENU][1][5][1]、送信メールのときは[MENU][1][5][2]を押します。

### ✔お知らせ
- 2in1がONでBモードのときは、送信メールの検索はできません。

## ❖50音順に全件表示する〈全件表示（50音）〉

電話帳データを50音順（あ行→か行→…→わ行）→他（アルファベット、数字、フリガナが空白で始まるもの、記号、フリガナなし順）の順に表示します。

**1** [MENU]▶[4][1][1]▶[◎]で表示する行を選択

- ダイヤルキー[0]～[9]、[#]、[*]を押すと、それぞれのキーに割り当てられている行が表示されます。

  [1]：あ行　[2]：か行　[3]：さ行　[4]：た行　[5]：な行　[6]：は行　[7]：ま行
  [8]：や行　[9]：ら行　[0]：わ行
  [*]／[#]：他（アルファベット、数字、フリガナが空白で始まるもの、記号、フリガナなし順）

## ❖グループで検索する〈グループ検索〉

グループに登録されている電話帳データを検索します。
- グループを設定せずに登録した電話帳データはグループなしに登録されています。

**1** [MENU]▶[4][1][2]▶検索するグループを選択

- 同じグループ内の電話帳データは次のフリガナ順に表示されます。
  50音順→アルファベット順→数字→空白で始まるもの→記号→フリガナなし

### ❖名前で検索する〈フリガナ検索〉

フリガナを入力して、その文字から始まる電話帳データを検索します。

**1** MENU▶4 1 3▶フリガナを入力▶📖［検索］

- フリガナは先頭の一部を入力することで検索できます。
- 何も入力せずに📖を押すと、全件表示の電話帳一覧が表示されます。

### ❖通話／メール回数の多い相手を検索する〈ランキング検索〉

FOMA端末電話帳には、電話帳データごとに累積通話回数、最終通話日時、累積メール回数、最終メール日時が記録されています。この情報を基にして、電話帳データを通話回数が多い順に表示したり（通話回数ランキング）、ｉモードメール送受信回数が多い順に表示したり（メール回数ランキング）できます。

- 通話回数、メール回数は最大9999回カウントされます。
- 電話帳に登録している電話番号、メールアドレスを直接入力した場合もカウントされます。
- プッシュトークの通信回数はカウントされません。

〈例〉通話回数ランキングを表示するとき

**1** MENU▶4 1 4 1

- メール回数ランキングを表示するときはMENU 4 1 4 2を押します。
- 累積通話回数、累積メール回数は、お買い上げ時または前回リセットしたときから現在までの電話発着信、メール送受信の回数です。電話帳データをFOMA端末電話帳に登録した後からの通話、ｉモードメールの送受信がカウントの対象です。
- 累積通話回数、累積メール回数が同じ場合は、次のフリガナ順に表示されます。
  50音順→アルファベット順→数字→空白で始まるもの→記号→フリガナなし

通話回数／メール回数をリセットする：📖▶電話帳を検索▶リセットする相手にカーソルを合わせて MENU▶9 3▶「はい」を選択
FOMA端末電話帳に記録されている累積通話回数、最終通話日時、累積メール回数、最終メール日時がお買い上げ時の状態に戻ります。

### ❖メモリ番号で検索する〈メモリ番号検索〉

FOMA端末電話帳から、メモリ番号を入力して検索します。

**1** MENU▶4 1 5▶メモリ番号を入力▶📖［検索］

- 100の位や10の位の頭の0は省略できます。
- 何も入力せずに📖を押すと、メモリ番号順の電話帳一覧が表示されます。

### ❖電話番号で検索する〈電話番号検索〉

電話番号の一部だけを入力して、その数字を含む電話番号を検索します。

**1** MENU▶4 1 6▶電話番号の一部を入力▶📖［検索］

- 電話番号検索で該当する電話帳データが複数ある場合、FOMA端末電話帳はメモリ番号順に表示されます。FOMAカード電話帳は次のフリガナ順に表示されます。
  50音順→アルファベット順→数字→空白で始まるもの→記号→フリガナなし
- 何も入力せずに📖を押すと、メモリ番号順の電話帳一覧が表示されます。

### ❖ロケットサーチで検索する

ダイヤルキー 0～9に割り当てられている文字から電話帳データを検索します。

- 前回使用した電話帳（FOMA端末電話帳またはFOMAカード電話帳）を検索します。

〈例〉「携帯花子」を検索するとき

**1** 2（か行）▶📖［📖検索］

- 検索結果画面では0～9、#、*、📷を押して行を切り替えられます。

## ◆優先する検索方法を設定する〈電話帳検索優先設定〉

【お買い上げ時】 全件表示（50音）

待受画面で[電話帳]を押して表示される検索方法を設定します。

**1** [MENU]▶[4][1]▶優先する検索方法にカーソルを合わせて[MENU]［優先設定］

- 設定した検索方法に✔が表示されます。

✔**お知らせ**

- ランキング検索またはメモリ番号検索を優先設定していても、前回FOMAカード電話帳を検索した場合には、待受画面で[電話帳]を押したときにFOMAカード電話帳の全件表示（50音）の電話帳一覧が表示されます。

## ◆電話帳の詳細を確認する

**1** [電話帳]▶電話帳を検索▶詳細表示する電話帳データを選択

- 電話帳データに着信許可／拒否設定や発番号設定、シークレットコードを設定している場合は、詳細画面上部に[!]が表示されます。
- 画面の見かたは次のとおりです。

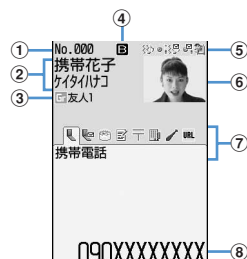
FOMA端末電話帳の詳細画面（電話番号）

①**メモリ番号**
②**名前、フリガナ**
③**グループマーク、グループ名**
④**電話帳2in1設定で設定したマーク（2in1がONでデュアルモードの場合）**
[A]：Aモードの電話帳データ
[B]：Bモードの電話帳データ
[AB]：A／B両モードの電話帳データ
⑤**着信音などの設定状態（電話／メール）**※1
[アイコン]／[アイコン]：着信音
[アイコン]／[アイコン]：着信バイブレータ
[アイコン]／[アイコン]：着信音と着信バイブレータ
[アイコン]／[アイコン]：着信イルミネーションパターン
[アイコン]／[アイコン]：着信イルミネーションカラー
[アイコン]／[アイコン]：着信イルミネーションパターンとカラー
[アイコン]：テレビ電話代替画像（電話のみ）
⑥**画像**※2
⑦**登録したアイコン、アイコン種別**
⑧**各登録項目**

※1 電話帳別着信設定で設定しているとアイコンが色付きで表示されます。
※2 画像／名前表示切替の設定に従って表示されます。

[上下]：前後の電話帳データの詳細画面の表示
[左右]：登録したその他の各項目の表示
[右]を押すたびに、電話番号→メールアドレス→誕生日→テキストメモ→郵便番号／住所→位置情報→会社名→役職名→URLの順に詳細画面が切り替わります。[左]を押すと逆の順に切り替わります。
- 電話番号やメールアドレスを複数登録している場合でも、[左右]を押して各項目を表示できます。

累積情報を確認する：**電話番号またはメールアドレスの詳細画面で[電話帳]**
累積通話回数または累積メール回数と、最終通話日時または最終メール日時が表示されます。
- 累積情報をリセットするときは累積情報画面で[電話帳]を押します。累積通話情報と累積メール情報がリセットされます。

基本情報を確認する：[MENU]▶[9][1]
電話帳に登録した画像、メモリ番号（FOMA端末電話帳のみ）、名前、フリガナ、グループ名、1件目の電話番号（アイコン種別と電話番号）、1件目のメールアドレス（アイコン種別とメールアドレス）が表示されます。
名前やフリガナは省略されずにすべて表示されます。

## ◆詳細画面の表示を切り替える〈画像／名前表示切替〉

【お買い上げ時】 画像登録時のみ表示

電話帳の詳細画面で画像を表示させるかどうかを設定します。設定内容はすべての電話帳データの詳細画面に反映されます。

- 本機能の設定は、リダイヤル、着信履歴、メール送受信履歴、プロフィール情報の画像／名前表示切替設定にも反映されます。

**1** 📖▶電話帳を検索▶電話帳データを選択▶MENU▶9 4▶1～3

- FOMAカード電話帳から操作する場合は、MENU 9 3を押して優先する表示を選択します。

**画像表示優先**：画像が表示されます。名前は全角で5文字、半角で11文字まで、フリガナは半角で11文字まで表示されます。

**名前表示優先**：画像が表示されません。名前は全角で9文字、半角で19文字まで、フリガナは半角で19文字まで表示されます。

**画像登録時のみ表示**：画像を登録しているときは「画像表示優先」の設定で表示され、登録していないときは「名前表示優先」の設定で表示されます。

電話帳修正

# 電話帳を修正する

**同じ電話帳データをプッシュトーク電話帳にも登録しているときは、プッシュトーク電話帳の電話帳データも修正されます。**

## ◆登録内容を修正する

**1** 📖▶電話帳を検索▶修正する電話帳データにカーソルを合わせて MENU▶3 1

**2** 電話帳データを修正

各設定項目→P101「FOMA端末電話帳に登録する」操作3～4、P103「FOMAカード電話帳に登録する」操作3～4

**3** 📖［登録］を押す

登録方法を選択する旨の確認画面が表示されます。上書き登録か新規登録を選択します。

- 上書き登録すると以前登録されていた電話帳データは破棄されます。
- プッシュトーク電話帳に登録している電話番号を削除した場合、上書き登録を選択すると、プッシュトーク電話帳から削除するかどうかの確認画面が表示されます。

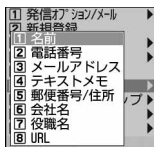
### ✔お知らせ

- FOMA端末電話帳の詳細画面から操作する場合は、MENUを押し「編集／設定」→「編集」を選択します。
- FOMAカード電話帳から操作する場合は、MENUを押し「編集」を選択します。
- FOMAカード電話帳の電話帳データの電話番号に「＊」が含まれている場合は、上書き登録ができないことがあります。その場合は新規登録するかどうかの確認画面が表示されます。
- 複数の電話番号やメールアドレスを登録している場合、1件目に登録している電話番号やメールアドレスを削除すると、2件目以降が繰り上げ登録されます。

## ◆登録内容をコピーする

コピーした内容は、メール作成画面や電話帳の登録画面などの入力欄に貼り付けられます。
- コピーした内容は電源を切るまで記録され、別の場所に何度でも貼り付けられます。ただし、記録できるのは1件のみで、新たにコピーすると内容は上書きされます。

**1** **[電話帳]▶電話帳を検索▶コピー元の電話帳データにカーソルを合わせて[MENU]▶[6]▶[1]～[8]**

該当項目のデータが一時的に記録されます。
- FOMAカード電話帳から操作する場合は、[MENU][6]を押し[1]～[3]を押します。
- 電話番号とメールアドレスは、1件目に登録している内容がコピーされます。
- 2件目以降に登録している電話番号、メールアドレスをコピーするときは、詳細画面でコピーする電話番号またはメールアドレスを表示して、[MENU][6]を押し、[2]または[3]を押します。

**2** **貼り付け先の文字入力画面を表示▶文字を貼り付ける**

文字の貼り付け方法→P450

## ◆電話番号やメールアドレスの順番を入れ替える

FOMA端末電話帳の電話帳データに複数の電話番号やメールアドレスを登録している場合に、電話番号やメールアドレスの順番を入れ替えます。

**〈例〉電話番号の順番を入れ替えるとき**

**1** **[電話帳]▶電話帳を検索▶目的の電話帳データにカーソルを合わせて[MENU]▶[3][4][1]**

- メールアドレスの順番を入れ替えるときは[MENU][3][4][2]を押します。

**2** **1件目にする電話番号を選択**

選択した電話番号と1件目の電話番号が入れ替わります。

**✔お知らせ**
- FOMA端末電話帳の詳細画面から操作する場合は、[MENU]を押し「編集／設定」→「入替え」→「電話番号入替え」または「メールアドレス入替え」を選択します。

## ◆メモリ番号を入れ替える

FOMA端末電話帳の2つの電話帳データのメモリ番号を入れ替えます。

**1** **[電話帳]▶電話帳を検索▶目的の電話帳データにカーソルを合わせて[MENU]▶[3][4][3]**

**2** **メモリ番号を入れ替える電話帳データを選択**

**✔お知らせ**
- FOMA端末電話帳の詳細画面から操作する場合は、[MENU]を押し「編集／設定」→「入替え」→「メモリ番号入替え」を選択します。

# 電話帳をコピーする

**FOMA端末電話帳をFOMAカード電話帳にコピーしたり、FOMAカード電話帳をFOMA端末電話帳にコピーしたりします。**

- FOMA端末電話帳をmicroSDメモリーカードへコピーすることもできます。→P372
- コピーする電話帳データのグループと同じ名前のグループがコピー先の電話帳にある場合は、そのグループにコピーされます。
- コピーされる電話帳データの項目と登録内容は次のとおりです。

| 項　目 | FOMA端末電話帳→FOMAカード電話帳 | FOMAカード電話帳→FOMA端末電話帳 |
|---|---|---|
| 名前 | 全角で最大10文字、半角で最大21文字コピーされます。ただし、全角と半角が混在している場合や、半角カタカナが含まれている場合は、最大10文字となります。※ | 登録内容がそのままコピーされます。 |
| フリガナ | 最大12文字コピーされます。半角カタカナは全角カタカナに置き換えられます。※ | 全角カタカナは半角カタカナに置き換えられます。 |
| 電話番号 | 1件目の電話番号がコピーされます（最大26桁。FOMAカードの種類によっては最大20桁となります→P39）。タイマー（「T」）を登録している場合は、タイマー（「T」）のみ削除されます。アイコンはすべて☎に置き換えられます。※ | アイコンはすべて☎に設定されます。 |
| メールアドレス | 1件目のメールアドレスがコピーされます（半角で最大50文字）。アイコンはすべて✉に置き換えられます。 | アイコンはすべて✉に設定されます。 |

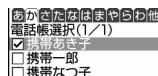
※ FOMAカード電話帳に保存できる最大文字数を超えた部分は削除されます。

## ◆FOMA端末とFOMAカードの間で電話帳をコピーする

〈例〉FOMA端末電話帳からFOMAカード電話帳へコピーするとき

**1** [電話帳] ▶ 電話帳を検索 ▶ [MENU] ▶ [7][1] ▶ コピー元の電話帳データを選択

- FOMAカード電話帳からFOMA端末電話帳へコピーする場合は、[MENU][7]を押してコピー元の電話帳データを選択します。

あかさたなはまやらわ他
電話帳選択(1/1)
☑携帯あき子
☐携帯一郎
☐携帯なつ子

**2** [電話帳]［確定］を押す

**✔お知らせ**

- 2in1がONでデュアルモードまたはAモードのときにFOMAカード電話帳からFOMA端末電話帳へコピーした電話帳データは電話帳2in1設定が「A」に、BモードのときにFOMAカード電話帳からFOMA端末電話帳へコピーした電話帳データは電話帳2in1設定が「B」に設定されます。

電話帳削除

## 電話帳を削除する

**同じ電話帳データをプッシュトーク電話帳にも登録しているときは、プッシュトーク電話帳からも削除されます。**

- 全件削除すると、作成したグループはすべて削除されます。
- 全件削除すると、プライバシーモード中（電話帳・履歴を「指定電話帳非表示」に設定した場合）でも、シークレット属性を設定している電話帳データは削除されます。
- FOMAカード電話帳の電話帳データは全件削除できません。

〈例〉FOMA端末電話帳の電話帳データを1件削除するとき

**1** [電話帳]▶電話帳を検索

**2** 削除する電話帳データにカーソルを合わせて[MENU]▶[4][1]

全件削除する：[MENU]▶[4][2]▶認証操作

FOMAカード電話帳から削除する：削除する相手にカーソルを合わせて[MENU]▶[4]

**3** 「はい」を選択

**✔お知らせ**

・FOMA端末電話帳またはFOMAカード電話帳の詳細画面から操作する場合は、[MENU]を押し「電話帳削除」を選択します。

電話帳お預かりサービス

## 電話帳をお預かりセンターに保存（復元・更新）する

**FOMA端末電話帳のすべての電話帳データをお預かりセンターに保存します。すでに電話帳データがお預かりセンターに保存されている場合は、差分のみ更新されます。**

- 本サービスはお申し込みが必要な有料サービスです。サービス未契約の場合は、お預かりセンターに接続しようとすると、その旨をお知らせする画面が表示されます。
- 自動更新や復元などの詳細は『ご利用ガイドブック（iモード〈FOMA〉編）』をご覧ください。
- FOMAカード電話帳に登録している電話帳データは保存できません。
- お預かりセンターに保存する際の注意事項→P115

**1** [電話帳]▶電話帳を検索▶[MENU]▶[7][4]▶「はい」を選択▶認証操作

お預かりセンターに接続され、保存が始まります。

- 保存を中止するときは[●]を押します。

**2** 通信結果を確認する

- 通信結果の表示は約5秒後に自動的に消えます。[●]を押しても表示を消すことができます。

## 電話帳に各種機能を設定する

- FOMAカード電話帳の電話帳データには設定できません。

### ◆電話番号ごとに発信者番号通知／非通知を設定する〈発番号設定〉

【お買い上げ時】 設定なし

- 番号通知方法の優先順位→P47

**1** [電話帳] ▶ 電話帳を検索 ▶ 設定する電話帳データにカーソルを合わせて [MENU] ▶ [3][5][2] ▶ 認証操作 ▶ 電話番号を選択 ▶ [1]～[3]

**✔お知らせ**

- FOMA端末電話帳の詳細画面から操作する場合は、[MENU]を押し「編集／設定」→「詳細設定」→「発番号設定」を選択します。
- 「設定なし」に設定すると、発信者番号通知設定に従って動作します。
- 発番号設定をした電話帳データの詳細画面上部に[!]が表示されます。

## ◆メールアドレスにシークレットコードを設定する〈シークレットコード設定〉

相手がメールアドレス（携帯電話番号@docomo.ne.jp）にシークレットコードを登録している場合は、そのシークレットコードを電話帳データのメールアドレスに設定しておくと、電話帳を検索してｉモードメールを作成するときに自動的にシークレットコードが付加されます。

**1** [電話帳] ▶ 電話帳を検索 ▶ 設定する電話帳データにカーソルを合わせて [MENU] ▶ [3][5][4] ▶ 認証操作 ▶ メールアドレスを選択

**2** 4桁のシークレットコードを入力

- 解除するときは[CLR]を1秒以上押してシークレットコードを消去し、[●]を押します。

**✔お知らせ**

- FOMA端末電話帳の詳細画面から操作する場合は、[MENU]を押し「編集／設定」→「詳細設定」→「シークレットコード設定」を選択します。
- 設定したシークレットコードは、電話帳データの詳細画面やｉモードメール作成時の宛先などには表示されません。シークレットコードの設定と同様の操作で確認できます。
- シークレットコードを設定した電話帳データの詳細画面上部に[!]が表示されます。
- メールアドレスを「携帯電話番号＋シークレットコード@docomo.ne.jp」として電話帳に登録している場合は、その相手にメールの返信ができません。

シークレット属性

# 他人に見られたくない電話帳を守る

**電話帳データまたはグループにシークレット属性を設定します。プライバシーモード中（電話帳・履歴を「指定電話帳非表示」に設定した場合）は、シークレット属性を設定した電話帳データまたはグループは表示されません。**

- プライバシーモード中（電話帳・履歴を「指定電話帳非表示」に設定した場合）は、シークレット属性の設定、シークレット属性を設定した電話帳データまたはグループの修正や検索はできません。
- プッシュトーク電話帳にも反映されます。
- FOMAカード電話帳の電話帳データまたはグループには設定できません。
- プライバシーモードの設定→P163

## ◆電話帳データにシークレット属性を設定する

**1** [電話帳] ▶ 電話帳を検索 ▶ 設定する電話帳データにカーソルを合わせて [MENU] ▶ [3][5][1]

- 解除するときはシークレット属性を設定している電話帳データにカーソルを合わせて[MENU][3][5][1]を押します。
- カーソル位置の電話帳データにシークレット属性を設定していると[鍵]が点滅します。

✔お知らせ

- FOMA端末電話帳の詳細画面から操作する場合は、[MENU]を押し「編集／設定」→「詳細設定」→「シークレット属性設定」を選択します。

### ◆グループにシークレット属性を設定する

- シークレット属性を設定したグループ内の電話帳データにはシークレット属性は設定されません。ただし、シークレット属性を設定した電話帳データと同様の動作をします。
- 「グループなし」には設定できません。

**1** [MENU]▶[4][1][2]▶グループにカーソルを合わせて[MENU]▶[8]

- 解除するときはシークレット属性を設定しているグループにカーソルを合わせて[MENU]▶[8]を押します。
- カーソル位置のグループにシークレット属性を設定していると🔑が点滅します。

### ◆シークレット属性を設定した電話帳を検索する〈シークレット検索〉

**1** [MENU]▶[4][1][7]

登録件数確認

## 電話帳の登録件数を確認する

**電話帳の登録件数やシークレット属性を設定している電話帳データの件数などを表示します。**

- プライバシーモード中（電話帳・履歴を「指定電話帳非表示」に設定した場合）は、シークレット属性を設定しているFOMA端末電話帳の電話帳データの件数は表示されません。

**1** [📖]▶電話帳を検索▶[MENU]▶[9][2]

クイックダイヤル

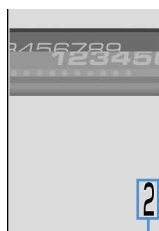
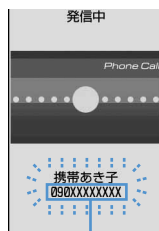
## 少ないキー操作で電話をかける

**FOMA端末電話帳のメモリ番号が0～99の相手には、簡単な操作で電話やプッシュトークを発信できます。**

- 電話帳データに複数の電話番号を登録している場合、1件目の電話番号が電話をかける対象になります。

〈例〉メモリ番号2の電話番号に音声電話をかけるとき

**1** メモリ番号（この場合は[2]）を入力▶[発信]

- テレビ電話をかけるときは[📺]、プッシュトーク発信するときは[P]を押します。

✔お知らせ

- 2in1がONのときは、電話帳2in1設定に従って発信されます。

# 電話帳お預かりサービスを利用する

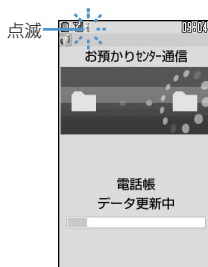
FOMA端末電話帳のすべての電話帳データをお預かりセンターに保存します。すでに電話帳データがお預かりセンターに保存されている場合は、差分のみ更新されます。万一紛失や水濡れなどでFOMA端末に保存したデータが消失しても、ｉモードで操作することにより、お預かりセンターに預けている保存データを新しいFOMA端末に復元できます。

- 本サービスはお申し込みが必要な有料サービスです。サービス未契約の場合は、お預かりセンターに接続しようとすると、その旨をお知らせする画面が表示されます。
- 自動更新や復元などの詳細は『ご利用ガイドブック（ｉモード〈FOMA〉編）』をご覧ください。
- FOMAカード電話帳に登録している電話帳データは保存できません。

## ◆電話帳を保存／更新する

**1** MENU▶6 8 1▶「はい」を選択▶認証操作

お预かりセンターに接続され、保存が始まります。

- 保存を中止するときは●を押します。

**2** 通信結果を確認する

- 通信結果の表示は約5秒後に自動的に消えます。●を押しても表示を消すことができます。

✔お知らせ

- 電話帳の自動更新時に他の機能を起動している場合は、自動更新されません。
- お預かりセンターに接続中に音声電話やテレビ電話、プッシュトークがかかってきたときの動作は次のとおりです。
  - 電話帳に登録している相手からの着信の場合でも、相手の名前や画像は表示されず電話番号のみ表示されます。また、電話帳に設定している着信音やバイブレータなどは動作せず、FOMA端末の設定に従います。
  - メモリ別着信拒否設定、メモリ登録外着信拒否、呼出動作開始時間設定は動作しません。
  - 着もじメッセージは受信しません。
  - プッシュトークの場合は、ｉモード中プッシュトーク着信を「プッシュトーク着信優先」に設定している場合のみ着信します。お預かりセンターとの通信は切断されます。
- 電話帳のグループの並び順は、復元しても保存したときの並び順に戻らない場合があります。

## ◆お預かりセンターを利用した履歴を確認する〈電話帳通信履歴表示〉

お預かりセンターとの通信履歴を確認できます。

- 通信履歴は最大30件記録されます。30件を超えると、古いものから順に消去されます。

**1** MENU▶6 8 2▶確認する履歴を選択

## ◆電話帳に登録した画像を送信するかどうかを設定する〈送信設定〉

【お買い上げ時】 電話帳内画像送信：なし

**1** MENU▶6 8 3▶電話帳内画像送信欄を選択▶1または2▶📖［登録］

# 音／画面／照明設定

# 着信時の動作をまとめて設定する

**音声電話やテレビ電話の着信時、メール、チャットメール、メッセージR/Fの受信時の着信動作を設定します。**

- 着信音（着信音選択）、イメージ表示、バイブレータ（バイブレータ設定）、イルミネーション（着信イルミネーション設定）の各項目の設定は、電話着信音、メール・メッセージ着信音、電話発着信画像設定の電話着信設定とテレビ電話着信設定、バイブレータ設定、イルミネーション設定にもそれぞれ反映されます。

## ◆音声電話着信時の動作を変更する〈電話着信設定〉

【お買い上げ時】 着信音：メロディ／着信音１　イメージ表示：標準画像　バイブレータ：OFF　イルミネーション：点滅／ライム

**1** MENU▶8 5 1 2▶下記の各項目を選択して設定▶📖［登録］

**着信音**：電話がかかってきたときの着信音を設定します。
- 「メロディ」「着モーション」または「ミュージック」を選択した場合は、着信音を選択します。「着モーション」に音声と映像のある動画／ｉモーションを設定すると、イメージ表示には「着信音連動」が設定され、画像は動画／ｉモーションの映像になります。
ミュージックの設定→P121
- 「きせかえツールに従う」が設定されていると、きせかえツールの着信音が鳴ります。

**イメージ表示**：着信したときに表示する画像を設定します。
- 「標準画像」を設定するとお買い上げ時の画像が表示されます。
- 「イメージ」や「ｉモーション」を選択した場合は、画像を選択します。
- 「きせかえツールに従う」が設定されていると、きせかえツールの画像が表示されます。

**バイブレータ**：バイブレータの動作パターンを設定します。

**イルミネーション**：ランプの点灯／点滅パターンと色を設定します。
- 「メロディ連動」に設定すると色は選択できません。
メロディ連動→P146「電話／メールの着信やトルカ取得の点灯パターンと点灯色を設定する」操作2

## ◆テレビ電話着信時の動作を変更する〈テレビ電話着信設定〉

【お買い上げ時】 着信音：メロディ／ハープ　イメージ表示：標準画像　バイブレータ：OFF　イルミネーション：点滅／ライム

**1** MENU▶8 6 1 2▶各項目を選択して設定▶📖［登録］

各設定項目→P118「音声電話着信時の動作を変更する」

## ◆プッシュトーク着信時の動作を変更する〈プッシュトーク着信設定〉

【お買い上げ時】 着信音：メロディ／着信音３　バイブレータ：OFF　着信イルミネーション：点滅／ライム

**1** MENU▶8 6 3 1▶下記の各項目を選択して設定▶📖［登録］

**着信音**：プッシュトークが着信したときの着信音を設定します。
- 「メロディ」「着モーション」または「ミュージック」を選択した場合は、着信音を選択します。「着モーション」には音声のみの動画／ｉモーション（歌手の歌声など映像のないｉモーション）を設定できます。
ミュージックの設定→P121
- 「きせかえツールに従う」が設定されていると、きせかえツールの着信音が鳴ります。

**バイブレータ／着信イルミネーション**：各設定項目→P118「音声電話着信時の動作を変更する」

## ◆メッセージR/F着信時の動作を変更する〈メッセージR着信設定／メッセージF着信設定〉

MENU▶2634・2635

【お買い上げ時】［メッセージR着信設定、メッセージF着信設定］着信音選択：メロディ／着信音2　着信イルミネーション設定：点滅／アクア　バイブレータ設定：OFF　鳴動時間（秒）：10

**1** ▶63▶4または5

**2** 下記の各項目を選択して設定▶［登録］

**着信音選択**：メッセージを受信したときの着信音を設定します。
- 「メロディ」「着モーション」または「ミュージック」を選択した場合は、着信音を選択します。
  ミュージックの設定→P121
- 「きせかえツールに従う」が設定されていると、きせかえツールの着信音が鳴ります。

**着信イルミネーション設定**：ランプの点灯／点滅パターンと色を設定します。
- 「メロディ連動」に設定すると色は選択できません。
  メロディ連動→P146「電話／メールの着信やトルカ取得の点灯パターンと点灯色を設定する」操作2

**バイブレータ設定**：バイブレータの動作パターンを設定します。
**鳴動時間（秒）**：着信音が鳴る時間を1～30秒の範囲で設定します。

## ◆メール着信時の動作を変更する〈メール着信設定〉

MENU▶191

【お買い上げ時】着信音選択：メロディ／着信音2　着信イルミネーション設定：点滅／アクア　バイブレータ設定：OFF　鳴動時間（秒）：10

ｉモードメール、SMSを受信したときの動作を設定します。

**1** ▶91▶各項目を選択して設定▶［登録］

各設定項目→P119「メッセージR/F着信時の動作を変更する」

## ◆チャットメール着信時の動作を変更する〈チャットメール着信設定〉

MENU▶192

【お買い上げ時】着信動作設定：メール着信動作に従う

- チャットメール起動中にFOMA端末を開いているときは、チャットメールやメール、メッセージR/Fを受信しても、着信音やバイブレータなどは動作しません。

**1** ▶92▶下記の各項目を選択して設定▶［登録］

**着信動作設定**：着信時の動作を設定するか、メールの着信動作に従うかを設定します。
- 「設定する」に設定すると、次の項目を設定できます。

**着信音選択／着信イルミネーション設定／バイブレータ設定／鳴動時間（秒）**：
各設定項目→P119「メッセージR/F着信時の動作を変更する」

### ✔お知らせ

- すでに「きせかえツールに従う」が設定されている場合に他の項目（「OFF」以外）を選択すると、きせかえツールを解除するかどうかの確認画面が表示されます。「はい」を選択すると、「きせかえツールに従う」は選択できなくなります。
- 電話着信設定、テレビ電話着信設定のイメージ表示の「イメージ」にパラパラマンガを設定すると、最初のコマが表示されます。
- 電話着信設定、テレビ電話着信設定で、ミュージックまたは音声のみの動画／ｉモーション（歌手の歌声など映像のないｉモーション）を着信音に設定しているときに、イメージ表示を映像のみの動画／ｉモーションまたはFlash画像に設定し直すと、着信音はお買い上げ時の設定に戻ります。メロディは変更できます。
- 動画／ｉモーションによっては、電話着信設定、テレビ電話着信設定のイメージ表示に設定できない場合があります。また、音声のある動画／ｉモーションは設定できません。
- バイブレータ（バイブレータ設定）、イルミネーション（着信イルミネーション設定）を「メロディ連動」に設定しても、メロディによっては連動しない場合があります。

# 電話やメール・メッセージの着信音を変える

【お買い上げ時】［電話着信音］電話：メロディ／着信音１ ［テレビ電話着信音］テレビ電話：メロディ／ハープ ［プッシュトーク着信音］プッシュトーク：メロディ／着信音３ ［メール着信音、メッセージＲ着信音、メッセージＦ着信音］メール、メッセージR、メッセージF：メロディ／着信音２ ［チャットメール着信音］チャットメール：メール連動

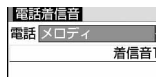
- 着信音に動画／ｉモーションを設定すると、着信時に映像や音が再生されます（着モーション）。
- 本機能の設定は、電話着信設定、テレビ電話着信設定、プッシュトーク着信設定、メール着信設定、チャットメール着信設定の着信音、メッセージR着信設定とメッセージF着信設定の着信音にもそれぞれ反映されます。
- お買い上げ時に登録されている着信音用メロディ→P493

〈例〉音声電話着信時の音を設定するとき

**1** MENU ▶ 8 1 1

**2** 1 ▶ 1

テレビ電話、プッシュトーク着信時の音を設定する：1 ▶ 2 または 3

メール、チャットメール、メッセージの着信音を設定する：2 ▶ 1 ～ 4

**3** 電話欄を選択 ▶ 1 ～ 5

- 「メロディ」「着モーション」または「ミュージック」を選択した場合は、着信音を選択します。「着モーション」に音声と映像のある動画／ｉモーションを設定すると、表示される画像は動画／ｉモーションの映像になります。
  ミュージックの設定→P121
- 「きせかえツールに従う」が設定されていると、きせかえツールの着信音が鳴ります。
- テレビ電話着信音、プッシュトーク着信音、メール着信音、メッセージR着信音、メッセージF着信音の場合は、それぞれテレビ電話欄、プッシュトーク欄、メール欄、メッセージR欄、メッセージF欄を選択します。

チャットメール着信音画面で設定する：**チャットメール欄を選択** ▶ 1 ～ 6
- 「メール連動」に設定するとメール着信音の設定に従います。

**4** [📖]［登録］を押す

## ❖メロディや動画／ｉモーションを再生するには

- メロディにカーソルを合わせて[📖]を押すと再生できます。メロディ再生中は次の操作ができます。
  [左右]／サイドキー［▲▼］：音量調整
  [上]／サイドキー［▲］（1秒以上）：前のメロディ再生
  [下]／サイドキー［▼］（1秒以上）：次のメロディ再生
  [chクリア]：停止
  ※ 再生中に[●]を押すと、再生中のメロディが着信音に設定されます。
- 動画／ｉモーションにカーソルを合わせて[📖]を押すと再生できます。動画／ｉモーション再生中は次の操作ができます。
  [●]：一時停止／再生
  [上下]／サイドキー［▲▼］：音量調整
  [左]：巻き戻し再生
  [右]：早送り再生
  [📖]：停止

### ❖ミュージックを設定するには

各着信音にミュージック（着うたフル®）を設定するには、ミュージック全体を設定する「まるごと着信音設定」と、あらかじめ決められている部分を選択して設定する「オススメ着信音設定」の2種類の方法があります。

- 詳細情報（→P413）のまるごと着信音設定やオススメ着信音設定がそれぞれ「可」になっているミュージックのみ着信音に設定できます。ミュージックによっては、着信音に設定できない場合があります。

〈例〉まるごと着信音を設定するとき

## 1 各設定で「ミュージック」を選択▶フォルダを選択

## 2 設定するミュージックを選択

- microSDメモリーカードのミュージックを選択すると確認画面が表示されます。「はい」を選択するとミュージックが本体に移動され、着信音に設定されます。

ミュージックを再生する：**再生するミュージックにカーソルを合わせて[i]**

- 再生中は次の操作ができます。
  [●]：一時停止／再生
  [↕]／サイドキー［▲▼］：音量調整
  [←]（1秒以上）／[→]（1秒以上）：巻き戻し再生／早送り再生
- 再生時の音量は、ミュージックプレイヤーの音量に従います。音量を調整するとミュージックプレイヤーの設定にも反映されます。

オススメ着信音を設定する：**設定するミュージックにカーソルを合わせて[✉]▶項目を選択**

- 項目にカーソルを合わせて[i]を押すと再生できます。
- microSDメモリーカード内の会員制以外の着うたフル®を選択した場合、ｉモーションとして切り出し、ｉモーションフォルダに保存するかどうかの確認画面が表示されます。「はい」を選択して、表示名を入力し、[i]を押します。切り出されたミュージックはコンテンツ移行対応のｉモーションとして、ｉモーションの「ｉモード」フォルダに保存されます。

---

**✔お知らせ**

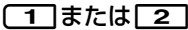
- すでに「きせかえツールに従う」が設定されている場合に他の項目（「OFF」や「メール連動」以外）を選択すると、きせかえツールを解除するかどうかの確認画面が表示されます。「はい」を選択すると、「きせかえツールに従う」は選択できなくなります。
- 映像のみの動画／ｉモーションは着信音に設定できません。
- 電話着信音やテレビ電話着信音の設定では、次のような場合、着信時の画像が標準画像になります。ただし、電話着信設定やテレビ電話着信設定で画像を変更できます。
  - 着信音を映像のある動画／ｉモーションからミュージック、音声のみの動画／ｉモーション（歌手の歌声など映像のないｉモーション）またはメロディに変更した場合
  - 着信時の画像に映像のみの動画／ｉモーションまたはFlash画像を設定しているときに、着信音に音声のみの動画／ｉモーション（歌手の歌声など映像のないｉモーション）を設定した場合
- 詳細情報（→P384、P413）の着信音設定が「不可」になっている動画／ｉモーションやミュージックは着信音に設定できません。
- 着信音に音声のみの動画／ｉモーション（歌手の歌声など映像のないｉモーション）を設定し、着信画像にアニメーション（標準画像を除く）を設定している場合は、アニメーションは動作せず、着信画面にはアニメーションの最初のコマが表示されます。
- 会員制以外の着うたフル®をｉモーションに切り出して保存する際、保存領域の空きが足りないときや最大保存件数を超えるときは、削除するかどうかの確認画面が表示されます。保存する場合は、画面の指示に従って保存されているファイルを削除してください。

### ❖着信音の優先順位について

複数の機能で着信音が設定されている場合は、次の優先順位で着信音が鳴ります。

① マルチナンバーの着信設定
② FOMA端末電話帳の電話帳別着信設定
③ FOMA端末電話帳のグループ別発着信設定
④ 電話着信音／テレビ電話着信音／メール着信音／電話着信設定／テレビ電話着信設定／メール着信設定／Bナンバー着信設定

- 相手が発信者番号を通知してこなかった場合、音声電話の着信音は発番号なし動作設定に従います。テレビ電話の着信音はテレビ電話着信音／テレビ電話着信設定の設定に従います。
- 発番号なし動作設定で設定した音や画像のデータが削除されると、自動的に設定内容が変更されます。その場合は、実際に鳴る音や表示される画像が設定内容と異なることがあります。
- 電話帳に画像または動画／ｉモーションを設定していても、着信音の「着モーション」に音声と映像のある動画／ｉモーションを設定しているときは、着信音と着信画像は「着モーション」の設定が優先されます。
- 着信音にミュージックまたは音声のみの動画／ｉモーション（歌手の歌声など映像のないｉモーション）を設定し、電話帳に画像を設定していると、着信時には設定したミュージックまたは音声のみの動画／ｉモーションが鳴り、電話帳に設定した画像が表示されます。

ステレオ効果設定

## ステレオ・3Dやサラウンドの効果を設定する

【お買い上げ時】［動画（ｉモーション）、ミュージックプレイヤー］OFF　［メロディ］ON

**動画／ｉモーションやメロディの再生、ミュージックプレイヤーで音楽を再生する際に、ステレオ・3Dサウンドやサラウンドを有効にするかどうかを設定します。**

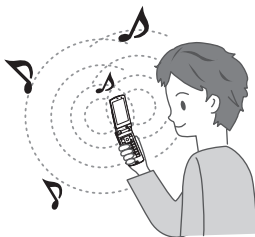
- 本機能の設定は、動画／ｉモーションの動作設定のサラウンド、メロディの動作設定のステレオ・3Dサウンド、ミュージックプレイヤーの動作設定のサラウンドにもそれぞれ反映されます。

**1** MENU▶8 1 6▶1～3

**2** 1または2

### 3Dサウンドとは

3Dサウンド機能とは、ステレオスピーカー（またはステレオイヤホンセット）を使用して、3次元で立体的に広がりのある音や空間的に移動する音を作り出す機能です。3Dサウンド機能によって、臨場感あふれるｉアプリのゲームや着信音、ｉモーションなどをお楽しみいただけます。
3Dサウンド機能は、FOMA端末を約20～30cm（個人差があります）離し、スピーカーを自分に向けて聞いた場合に最も効果が現れます。正面から左右にずらした位置で聞いたり、近すぎたり遠すぎたりすると、効果が薄れてしまいます。

- 3Dサウンドの感じかたには個人差があります。

アラーム音

# 目覚まし音とスケジュール音を設定する

【お買い上げ時】［目覚まし音］目覚まし音：メロディ／目覚まし時計 ［スケジュール音］アラーム：メロディ／時間になりました 予告アラーム：メロディ／もうすぐ予定の時間です

**目覚ましの音設定画面の目覚まし音と、スケジュールのアラーム設定のアラーム音や予告アラーム音を「端末設定に従う」に設定したときに鳴る音を設定します。**

〈例〉目覚まし音を設定するとき

**1** MENU ▶ 8 1 1 4

**2** 1 ▶ 目覚まし音欄を選択 ▶ 1 ～ 4

- 「メロディ」「ｉモーション」または「ミュージック」を選択した場合は、アラーム音を選択します。「ｉモーション」に音声と映像のある動画／ｉモーションを設定すると、表示される画像は動画／ｉモーションの映像になります。
  ミュージックの設定→P121
- すでに「きせかえツールに従う」が設定されている場合に他の項目を選択すると、きせかえツールを解除するかどうかの確認画面が表示されます。「はい」を選択すると、「きせかえツールに従う」は選択できなくなります。

スケジュール音を設定する：2 ▶ アラーム欄または予告アラーム欄を選択 ▶ 1 ～ 3

**3** 📖［登録］を押す

音量設定

# 着信音やアラーム音などの各種の音量を設定する

【お買い上げ時】［電話着信音量、メール・メッセージ着信音量、GPS測位鳴動音量、受話音量、目覚まし音量、スケジュール音量、ｉアプリ音量、トルカ取得音量、キー／開閉回転操作音量、メロディ音量］Level4

- 各設定で変更できる音量は次のとおりです。
  **電話着信音量**：音声電話、テレビ電話、プッシュトークの着信音の音量を設定します。通話料金の上限通知のアラームは、この設定に従います。
  **メール・メッセージ着信音量**：メール、チャットメール、メッセージR/Fの着信音の音量を設定します。
  **GPS測位鳴動音量**：GPS測位（現在地確認、現在地通知、位置提供での測位）鳴動音の音量を設定します。
  **受話音量**：音声電話、テレビ電話、プッシュトークの受話音量を設定します。伝言メモ、音声メモの再生音、画像へのスタンプ貼り付けとテキスト貼り付けの効果音の音量は、この設定に従います。
  **目覚まし音量**：目覚ましの音設定画面で音量を「端末設定に従う」に設定したときの音量を設定します。お知らせタイマーの音量は、この設定に従います。
  **スケジュール音量**：ワンセグの視聴予約のアラーム音、スケジュールのアラーム音や予告アラーム音の音量を設定します。
  **ｉアプリ音量**：ｉアプリから鳴る音の音量を設定します。
  **トルカ取得音量**：トルカの取得が完了したときに鳴る音の音量を設定します。この設定は、トルカ取得確認設定のトルカ取得音量にも反映されます。
  **キー／開閉回転操作音量**：ディスプレイの回転操作音、キー操作音、端末の開閉操作音の音量を設定します。
  **メロディ音量**：メロディの音量を設定します。この設定は、メロディの動作設定の音量にも反映されます。メールやメッセージR/Fに添付されたメロディ再生時の音量は、この設定に従います。

**1** MENU ▶ 8 1 2 ▶ 1 ～ 9

- アラーム音量を選択した場合は、さらに 1 または 2 を選択します。

**2** サイドキー［▲▼］または ✥ ▶ ●［選択］

- 受話音量は「Silent」と「Steptone」を設定できません。ｉアプリ音量、トルカ取得音量、キー／開閉回転操作音量、メロディ音量は、「Steptone」を設定できません。
- 電話着信音量を「Silent」に設定すると、待受画面に S が表示されます。また、同時に電話着信時のバイブレータを設定しているときは SV が表示されます。

# 着信やアラームを振動で知らせる

【お買い上げ時】［電話着信時、テレビ電話着信時、プッシュトーク着信時、メール着信時、メッセージR着信時、メッセージF着信時、現在地確認時、目覚まし鳴動時、スケジュール鳴動時］OFF ［現在地通知時］パターンB ［位置提供／許可時、位置提供／毎回確認時］パターンC ［チャットメール着信時］－ ［ｉアプリ利用時］ON

**音声電話やテレビ電話、プッシュトーク着信時、メールやチャットメール、メッセージR/F受信時、GPS測位時、ｉアプリ利用時、目覚ましやスケジュールで指定した日時になったときに振動でお知らせします。**

- お知らせタイマーで設定した時間になったときのバイブレータの動作は、目覚まし鳴動時の設定に従います。
- 本機能の設定は、電話着信設定、テレビ電話着信設定、プッシュトーク着信設定、メール着信設定、チャットメール着信設定、メッセージR着信設定、メッセージF着信設定、測位動作設定、ｉアプリ設定のバイブレータにもそれぞれ反映されます。
- バイブレータを設定したまま机の上などに放置しないでください。バイブレータが動作したときに振動で落下するおそれがあります。

〈例〉音声電話、テレビ電話、プッシュトーク着信時のバイブレータを設定するとき

**1** MENU ▶ 8 1 3

**2** 1 ▶ 1～3

メール、チャットメール、メッセージR/F着信時のバイブレータを設定する：2 ▶ 1～4
- チャットメール着信設定の着信動作設定を「メール着信動作に従う」に設定している場合は、チャットメール着信時の設定ができない旨のメッセージが表示されます。

GPS測位時のバイブレータを設定する：3 ▶ 1～4

目覚まし、スケジュールのアラーム鳴動時のバイブレータを設定する：4 ▶ 1または2

ｉアプリ利用時のバイブレータを設定する：5を押す

**3** 1～5

バイブレータが設定され、着信時やアラーム通知時にFOMA端末が振動します。
- 「パターンA」に設定すると0.5秒振動→0.5秒停止→0.5秒振動→1.5秒停止の繰り返しで振動します。
- 「パターンB」に設定すると1秒振動→2秒停止の繰り返しで振動します。
- 「パターンC」に設定すると0.25秒振動→0.25秒停止の繰り返しで振動します。
- 「メロディ連動」に設定すると着信音に設定したメロディに合わせて振動します。メロディによっては連動しない場合があります。
- 🔍を押すとカーソル位置のパターンで振動します。ただし、「メロディ連動」の場合は振動しません。
- ｉアプリのバイブレータを設定するときは、「ON」または「OFF」を設定します。
- 電話着信時のバイブレータを設定したときは、待受画面にVが表示されます。また、同時に電話着信音量を「Silent」に設定しているときはSVが表示されます。

## ❖バイブレータの優先順位について

複数の機能でバイブレータが設定されている場合は、次の優先順位でFOMA端末が振動します。
①FOMA端末電話帳の電話帳別着信設定
②FOMA端末電話帳のグループ別発着信設定
③バイブレータ設定／電話着信設定／テレビ電話着信設定／メール着信設定

### ✔お知らせ

- 通話中に着信があった場合は振動しません。
- バイブレータ設定を「OFF」にしていても、一部のFlash画像が動作しているときに振動する場合があります。

GPS測位鳴動音

## GPS利用時の音を設定する

【お買い上げ時】［現在地確認］鳴動音選択：OFF ［現在地通知］鳴動音選択：メロディ／着信音５ ［位置提供／許可、位置提供／毎回確認］鳴動音選択：メロディ／着信音６

**GPS利用時の現在地確認、現在地通知、位置提供／許可、位置提供／毎回確認で鳴らす音を設定します。**

- 本機能の設定は、現在地確認設定の測位動作設定、現在地通知の測位動作設定、位置提供設定の測位動作設定にもそれぞれ反映されます。

**1** MENU ▶ 8 1 1 3 ▶ 1 ～ 4

**2** 鳴動音選択欄を選択 ▶ 1 または 2

- 「メロディ」を選択した場合は、メロディを選択します。

**3** ［登録］を押す

キー／開閉操作音

## キー／開閉操作音を設定する

【お買い上げ時】エレクトロニック

**キーを押したとき（サイドキー［▲▼］、、を除く）やFOMA端末を開閉したときに鳴る音を変更します。音が鳴らないように設定することもできます。**

- 設定した音の種類によって、キー操作音、端末の開閉操作音はそれぞれ異なる音の組み合わせで鳴ります。
- キー／開閉操作音を変更すると、電池レベル表示時の確認音（キー操作音と同じ音）も変更されます。
- 音を鳴らさないように設定した場合は、次の音も鳴らなくなります。
  - 電池レベル表示時の確認音
  - 赤外線通信、iC通信やデータ送受信時の通信終了音（終了音が鳴る設定になっている場合）

**1** MENU ▶ 8 1 1 5 1 ▶ 1 ～ 4

- を押すとカーソル位置のキー操作音が鳴ります。

**✔お知らせ**

- キー／開閉操作音を鳴るように設定しても、ｉアプリを起動している場合は鳴りません（MULTIを除く）。

静止画撮影シャッター音／動画撮影シャッター音

## シャッター音を設定する

【お買い上げ時】［静止画撮影シャッター音、動画撮影シャッター音］標準

**静止画撮影時や動画撮影時（サウンドレコーダー録音時も含む）のシャッター音を設定します。**

- 本機能の設定は、静止画詳細設定のシャッター音、動画／録音詳細設定のシャッター音にもそれぞれ反映されます。

**1** MENU ▶ 8 1 1 5 ▶ 2 または 3 ▶ 1 ～ 5

- を押すとカーソル位置のシャッター音が鳴ります。

ディスプレイ回転操作音

## ディスプレイを回転させたときに鳴る音を設定する

【お買い上げ時】 回転音：メロディ／回転音１

ディスプレイを回転させたときに鳴る音を変更します。音を鳴らないように設定することもできます。

1 MENU ▶ 8 1 1 5 4

2 回転音欄を選択 ▶ 1 または 2

• 「メロディ」を選択した場合は、メロディを選択します。

3 [登録] を押す

充電確認音

## 充電時の確認音を設定する

【お買い上げ時】 ON

充電の開始時と完了時に確認音を鳴らすかどうかを設定します。

1 MENU ▶ 8 1 1 6 ▶ 1 または 2

✔お知らせ

• 「ON」に設定しても、次の場合は充電確認音は鳴りません。
  - マナーモード中、公共モード（ドライブモード）中、音声電話中、テレビ電話中、プッシュトーク通信中、64Kデータ通信中、ｉモード中、パケット通信中

通話保留音

## 通話保留音を設定する

【お買い上げ時】 ENTERTAINER

• 音声電話、テレビ電話とも、通話保留中はここで設定したメロディが流れます。

1 MENU ▶ 8 1 1 7 2 ▶ 1 ～ 3

通話品質アラーム音

## 通話が切れそうなときにアラームで知らせる

【お買い上げ時】 アラーム高音

音声電話の通話状態が悪く、途中で通話が途切れてしまう可能性のある場合、直前にアラームを鳴らして知らせるかどうかを設定します。

• 急に通話状態が悪くなった場合は、アラームが鳴らずに通話が切れてしまうことがあります。

1 MENU ▶ 8 1 1 7 3 ▶ 1 ～ 3

✔お知らせ

• 音声電話中に設定する場合は、MENUを押し「通話品質アラーム音」を選択します。

再接続アラーム音

## 途切れた通話を再接続するときのアラームを設定する

【お買い上げ時】 アラーム高音

**トンネルやビルの陰などで電波状態が悪くて途切れた音声電話やテレビ電話、プッシュトークを、電波状態がよくなったときに再接続する際のアラームを設定します。**

- 電波が途切れている間は、相手は無音状態となります。
- 利用状態や電波状態により、再接続されるまでの時間は異なります。目安は最長10秒間です。
- 再接続されるまでの時間（最長10秒間）も通話料金がかかります。
- 利用状態や電波状態により、アラームが鳴らずに通話が切れてしまう場合があります。

1 

**✔お知らせ**

- 音声電話中またはプッシュトーク通信中に設定する場合は、MENUを押し「再接続アラーム音」を選択します。

電池アラーム音

## 電池アラーム音を設定する

【お買い上げ時】 ON

**待受中に電池が切れそうになったときに、電池アラームを鳴らすかどうかを設定します。**

1 

**✔お知らせ**

- 通話中に電池が切れそうになると、「OFF」に設定していても受話口から電池アラームが鳴ります。

マナーモード

## 電話から鳴る音を消す

**周囲の迷惑にならないように、着信を振動で知らせたり、キーを押したときの確認音を消したりして、FOMA端末からの音を鳴らさないように設定します。**

### ◆マナーモードを起動する

1 #（1秒以上）

マナーモード選択で指定したマナーモードが起動し、待受画面に（通常マナーモード中）または（オリジナルマナーモード中）が表示されます。

- お買い上げ時は、FOMA端末を折り畳んだ状態でサイドキー［▲］を1秒以上押しても、マナーモードを起動／解除できます。起動するとランプが赤色で1回点灯し、バイブレータが1回振動します。解除するとランプが青色で2回点滅し、バイブレータが2回振動します。

解除する：#（1秒以上）

**■ FOMA端末を折り畳んでいるとき**

背面ディスプレイに（通常マナーモード中）または（オリジナルマナーモード中）が表示されます。

- 背面ディスプレイのメニューを利用して、マナーモードを起動／解除できます。→P36

### ❖通常マナーモードを起動すると

着信音、キー操作音、端末の開閉操作音、ディスプレイの回転操作音、アラームなどFOMA端末から出る音を消し、着信をバイブレータ（振動）でお知らせします。また、マイクの感度が上がるため、小さな声でも通話できます。

- 電話着信時やメール受信時、お知らせタイマーなどのバイブレータの動作は、バイブレータ設定の設定に関わらず、「パターンA」になります。
- GPS測位中のバイブレータは、バイブレータ設定に従って動作します。
- 目覚ましで指定した日時になると、イルミネーションパターンとバイブレータは、目覚ましに従って動作します。
- スケジュールで指定した日時になると、着信イルミネーションの電話着信の設定に従って動作し、バイブレータはバイブレータ設定の設定に関わらず、「パターンA」になります。
- 添付ファイル自動再生設定を「自動再生する」に設定して送受信メールやメッセージR/Fを表示しても、メロディは自動再生されません。
- 音声のある動画／ｉモーションの再生時には、音声を再生するかどうかの確認画面が表示されます。「はい」を選択すると音声と映像が再生されます。映像がある動画／ｉモーションの場合は「いいえ」を選択すると映像のみが再生されます。
- ワンセグ視聴起動時には、音声を出力するかどうかの確認画面が表示されます。「はい」を選択すると、音声と映像を視聴できます。「いいえ」を選択すると、音声は出力されません。ただし、視聴予約で目覚まし利用を「する」に設定してワンセグ視聴を起動した場合は、確認画面は表示されず音声と映像を視聴できます。
- ミュージックやメロディの再生時には、再生するかどうかの確認画面が表示されます。「はい」を選択すると再生されます。

### ❖オリジナルマナーモードを起動すると

マナーモード選択のオリジナルマナーモードで設定した、バイブレータの動作、キー／開閉操作音、ディスプレイ回転操作音、電話着信音量、メール着信音量、メロディ音量、トルカ取得音量、GPS測位動作音量、電池アラーム音、目覚まし音、スケジュール音、ｉアプリ音、マイク感度UPの設定に従って動作します。

**✔お知らせ**

- マナーモード中でも、キャラ電撮影を除く次の音は鳴ります。
  - 静止画および動画撮影時の撮影確認音（シャッター音）
  - サウンドレコーダー録音時の録音確認音（シャッター音）
- マナーモード中は、通話料金上限通知の設定を「ON」にし、アラームを設定している場合でも、メッセージのみが表示されます。オリジナルマナーモード中は、オリジナルマナーモードの電話着信音量の設定に従ってアラームが鳴ります。

## ◆マナーモードを変更する〈マナーモード選択〉

【お買い上げ時】 通常マナーモード

通常マナーモードとオリジナルマナーモードのどちらのマナーモードを使用するかを選択します。オリジナルマナーモードでは、バイブレータ、キー／開閉操作音、着信音量などを変更できます。

• マナーモード中でもマナーモードを変更できます。

〈例〉オリジナルマナーモードを選択するとき

**1** MENU ▶ 8 1 4 ▶ 2

通常マナーモードを設定する： 1 を押す

**2** 下記の各項目を選択して設定 ▶ 📖［登録］

**バイブレータ**：電話の着信中やメール受信中のバイブレータを動作させるかどうかを設定します。

• 「ON」に設定すると、着信や受信をバイブレータ設定に従って振動で知らせます。ただし、バイブレータ設定が「OFF」の場合は、「パターンA」で振動します。

**キー／開閉操作音**：キー操作音、端末の開閉操作音を設定します。

**ディスプレイ回転操作音**：ディスプレイを回転させたときの音を鳴らすかどうかを設定します。

**電話着信音量**：電話の着信があったときの着信音の音量を設定します。

**メール着信音量**：メールを受信したときの着信音の音量を設定します。

**メロディ音量**：メロディの音量を設定します。

• メールやメッセージR/Fに添付されたメロディ再生時の音量にも反映されます。

**トルカ取得音量**：読み取り機からトルカを取得したときの確認音の音量を設定します。

**GPS測位動作音量**：GPS測位鳴動音の音量を設定します。

**電池アラーム音**：電池が切れそうなとき、アラームを鳴らすかどうかを設定します。

**目覚まし音**：お知らせタイマーの音や目覚まし音を鳴らすかどうかを設定します。

• 「ON」に設定すると、目覚まし音は目覚ましの設定に従って鳴ります。

**スケジュール音**：スケジュールアラームの音を鳴らすかどうかを設定します。

• 「ON」に設定すると、スケジュールアラームの設定とスケジュール音量の設定に従って鳴ります。

**ｉアプリ音**：ｉアプリの音を鳴らすかどうかを設定します。

• 「ON」に設定すると、ｉアプリ音量の設定に従って鳴ります。

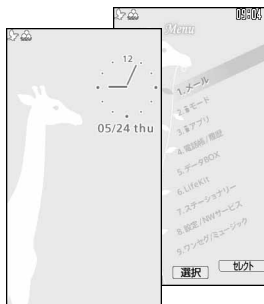
**マイク感度UP**：マイクの感度を上げるかどうかを設定します。

# FOMA端末の画面をコーディネイトする

【お買い上げ時】 FOMA端末のカラー名と同じ

**ディスプレイの待受画面やメニューアイコン、時計デザイン、電池アイコン、アンテナアイコン、背面ディスプレイパターンなどの画面のデザインは、FOMA端末のカラーに合わせてコーディネイトされています。他のカラーに対応したコーディネイトにも変更できます。また、照明を明るくし、メール本文やサイトなどの文字を大きくして見やすくした「アドバンストモード」にも変更できます。**

- コーディネイトには、あらかじめ登録されている次の5種類と、オリジナルで作成できる3種類があります。さらに、きせかえツールも利用できます。

ブランシェ　ノアール　ボルドー

シャンパーニュ　アドバンストモード

## ◆コーディネイトを設定する

**1** [MENU] ▶ [8] [3] [1]

**2** [1]～[9]

- 文字サイズ設定の一括設定が「最大」に設定されていないときに「アドバンストモード」を選択した場合は、文字サイズを変更するかどうかの確認画面が表示されます。
- [Q]を押すとカーソル位置のコーディネイトを確認できます。

きせかえツールを設定する：[6] ▶ **フォルダを選択 ▶ 設定するきせかえツールにカーソルを合わせて [田] ▶ 「はい」を選択**

- きせかえツール内のデータが一括で設定されます。
きせかえツールの利用→P143

### ❖コーディネイトの設定項目

あらかじめ登録されている5種類のコーディネイトを選択すると、次の項目が一括で設定されます。

| 項　目 | | 設定内容 | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | ブランシェ | ノアール | ボルドー | シャンパーニュ | アドバンストモード |
| スクリーン設定→P141 | | ブランシェ | ノアール | ボルドー | シャンパーニュ | アドバンストモード |
| 待受画面設定→P133 | 縦画面 | ブランシェ 1 | ノアール1 | ボルドー 1 | シャンパーニュ1 | アドバンストモード1 |
| | 横画面 | ブランシェ 2 | ノアール2 | ボルドー 2 | シャンパーニュ2 | アドバンストモード2 |
| 時計表示設定→P148 | デザイン | デジタル3 | デジタル2 | デジタル2 | アナログ | デジタル4 |
| | 形式 | 24時間表示 | 24時間表示 | 24時間表示 | 24時間表示 | 24時間表示 |
| | 表示位置 | 上 | 上 | 上 | 上 | 上 |
| | 曜日 | 英語 | 英語 | 英語 | 英語 | 日本語 |
| メニュー設定（アニメーションデザイン）→P141 | | ブランシェ | ノアール | ボルドー | シャンパーニュ | アドバンストモード |
| 電池アイコン／アンテナアイコン→P145 | | ブランシェ | ノアール | ボルドー | シャンパーニュ | アドバンストモード |
| 文字サイズ設定（一括）→P148 | | 中（標準） | 中（標準） | 中（標準） | 中（標準） | 最大※ |
| フォント選択→P147 | | ゴシック | ゴシック | ゴシック | ゴシック | リュウミン |
| 照明設定の明るさ調整→P141 | | 自動調整 | 自動調整 | 自動調整 | 自動調整 | 明るさ5 |
| 背面画像設定→P140 | 時計パターン | デジタル1 | デジタル2 | デジタル2 | デジタル1 | デジタル1 |
| | 着信画像 | パターン1 | パターン2 | パターン2 | パターン1 | パターン1 |
| | メール受信画像 | パターン1 | パターン2 | パターン2 | パターン1 | パターン1 |
| 背面照明色設定→P140 | | サファイア | クリアー | ローズ | シャンパン | クリアー |

※ 文字サイズを変更するかどうかの確認画面で、「はい」を選択したときの文字サイズです。

## ◆オリジナルのコーディネイトを作成する

各設定項目をカスタマイズして、3種類のオリジナルのコーディネイトを作成できます。

**1** MENU▶8 3 1

**2** 7～9のいずれかのタイトル名にカーソルを合わせて[m]▶下記の各項目を選択して設定▶[m]［登録］

**タイトル**：コーディネイトのタイトルを入力します。

- 全角で最大10文字、半角で最大20文字入力できます。

**スクリーン設定**：ディスプレイの表示色の配色を設定します。

**待受画像設定**：待受画面（縦画面）に表示する画像を設定します。静止画、GIFアニメーション、Flash画像を設定できます。

**待受時計／形式／表示位置／曜日**：待受画面に時計を表示するかどうか、表示する時計のデザイン、形式、表示位置、曜日の表示の種類を設定します。
時計表示設定の項目→P149「時計の表示を設定する」操作1

**電池アイコン**：電池アイコンの種類を設定します。
**メニューデザイン**：ノーマルメニュー使用時のアイコンのデザインを設定します。
- 待受画面で MENU を押したときに表示される1階層目のメニューと次の2階層目のメニューのデザインが設定されます。

**アンテナアイコン**：アンテナアイコンの種類を設定します。
**背面照明色設定**：背面ディスプレイの照明色を設定します。
**背面ディスプレイ時計パターン**：背面ディスプレイの時計パターンを選択します。
**背面ディスプレイ音声着信画像**：電話着信中の背面ディスプレイの画像パターンを選択します。
**背面ディスプレイメール受信中画像**：メール受信中の背面ディスプレイの画像パターンを選択します。

**✔お知らせ**
- 2in1がONのときは、Aモードの待受画面のみが変更されます。

ライフスタイル設定

# ライフスタイルに応じて待受画面などを切り替える

MENU ▶ 8 7 2 6

**指定した時間に待受画面を切り替えたり、マナーモードやプライバシーモードを起動したりするように設定します。1回のみ行うか、毎日繰り返し行うか、毎週同じ曜日に行うかを選択できます。**
- 最大18件登録できます。

## 1 MENU ▶ 8 3 2 ▶ タイトルを選択

設定中のライフスタイル設定には、タイトルの左に（アイコン）が表示されます。

ライフスタイル設定を設定／解除する：**タイトルにカーソルを合わせて MENU**
- 押すたびに設定／解除されます。

## 2 下記の各項目を選択して設定 ▶ （アドレス帳キー）［登録］

**時刻**：切り替えを行う時刻を入力します。
- 24時間制で入力します。

**繰り返し**：切り替えの繰り返しの動作を設定します。
- 「曜日指定」を選択した場合は、「曜日選択」を選択し、切り替えを行う曜日を選択して（アドレス帳キー）を押します。

**タイトル**：ライフスタイル設定のタイトルを入力します。
- 全角で最大10文字、半角で最大20文字入力できます。

**トータルコーディネイト**：コーディネイトを変更するかどうかを設定します。
- 「変更する」を選択した場合は、コーディネイトを選択します。きせかえツールは選択できません。

**マナーモード**：マナーモードを起動するかどうかを設定します。
- 「ON」に設定すると、マナーモード選択で設定したマナーモードが起動します。

**プライバシー**：プライバシーモードを起動するかどうかを設定します。
- 「ON」に設定すると、プライバシーモード設定で設定したプライバシーモードが起動します。

**✔お知らせ**
- トータルコーディネイトを「変更する」に設定している場合は、本機能で指定した時刻になると、待受画面に設定している画像、動画／iモーション、キャラ電、ランダムイメージ設定は解除されます。ただし、iチャネルのテロップ表示は解除されません。
- iアプリ待受画面を設定している間は、本機能は動作しません。
- 「変更しない」に設定している内容は前に動作した内容を引き継ぎます。
- ライフスタイル設定とアラームを同じ時刻に設定した場合は、アラームが動作した後にライフスタイル設定が動作します。
- 指定した時刻に電源が入っていない場合は、電源を入れたときに、まだ動作していないライフスタイル設定が順に動作します。
- 2in1がONのときは、Aモードの待受画面のみが変更されます。

# 待受画面の表示を変更する

【お買い上げ時】［縦画面設定、横画面設定］コーディネイト／きせかえの設定に従う

**待受画面に、画像や動画／ｉモーション、キャラ電、ｉアプリを設定したり、フォルダ内の画像をランダムに表示するように設定したりできます。また、新着情報やカレンダー、スケジュールなどを表示するように画面をカスタマイズできます。時計の表示（→P148）、電池アイコンやアンテナアイコンの表示（→P145）、ｉチャネルのテロップ表示（→P230）も設定できます。**

- 画像や動画／ｉモーション、キャラ電、ｉアプリによっては、ダウンロード時と同じFOMAカードを挿入していないと待受画面設定が無効になります（FOMAカード動作制限機能）。
- オールロック中やパーソナルデータロック中は、設定した待受画面が解除され、一時的にお買い上げ時の画像が表示されます。ロックを解除すると設定した待受画面が再び表示されます。ただし、「プリインストール」フォルダ内のデータを設定している場合は、パーソナルデータロック中でも設定した待受画面が表示されます。

## ◆画像／動画／ｉモーション／キャラ電を待受画面に設定する

ｉモードのサイトやメールから取得した画像、動画／ｉモーション、キャラ電、FOMA端末で撮影した静止画や動画などを待受画面に設定します。また、アニメーション、パラパラマンガなども設定できます。
- 横画面設定では静止画、アニメーション、パラパラマンガが設定できます。

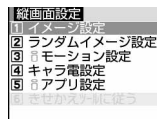
**1** MENU▶8 2 1 1

**2** 1 を押す

横画面の待受画面を設定する：2▶操作4に進む

**3** 1 または 3 ～ 4

- すでに「きせかえツールに従う」が設定されている場合は、きせかえツールを解除するかどうかの確認画面で「はい」を選択します。

縦画面設定
1 イメージ設定
2 ランダムイメージ設定
3 ｉモーション設定
4 キャラ電設定
5 ｉアプリ設定
6 きせかえツールに従う

**4** フォルダを選択▶画像、動画／ｉモーション、キャラ電を選択

- microSDメモリーカードに保存されている画像や動画／ｉモーションは選択できません。FOMA端末に移動またはコピーしてから選択してください。
- 2in1がONでデュアルモードまたはBモードのときは、選択したデータがAモード用の待受画面になることの確認画面が表示されます。

キャラ電のアクションを設定する：
①キャラ電一覧画面でキャラ電にカーソルを合わせて MENU
②待受アクション設定画面で各項目を選択して設定▶ 📖
各設定項目→P361「キャラ電を待受画面に設定する」操作①

**5** 「はい」を選択

- 動画／ｉモーションを待受画面に設定すると、最初のコマが表示されます。
- 選択した画像、動画／ｉモーション、キャラ電が拡大表示できる場合は、等倍表示するか拡大表示するかの確認画面が表示されます。「はい（等倍表示）」を選択すると画像サイズのまま、「はい（拡大表示）」を選択すると画面サイズに合わせて画像が拡大されて待受画面に表示されます。
- ｉアプリ待受画面が設定されているときは、続けてｉアプリ待受画面を解除するかどうかの確認画面が表示されます。「はい」を選択すると、ｉアプリ待受画面が解除されます。
- テロップ表示設定のテロップ表示を「表示する」に設定している場合に、動画／ｉモーションまたはキャラ電を選択すると、テロップ表示が解除されます。
- ｉアプリ待受画面が設定されていない場合で、待受画面の動画／ｉモーションやキャラ電を解除すると、テロップ表示設定は「表示する」に設定されます。

### ❖待受画面に設定した動画／ｉモーションやアニメーション、キャラ電を再生するには

- 動画／ｉモーションの場合は次の操作ができます。
  [■]／FOMA端末を開く：再生
  [chクリア]／[■]：停止
  サイドキー［▲▼］：音量調整
- GIFアニメーション、パラパラマンガ、Flash画像の場合は次の操作ができます。
  FOMA端末を開く／ディスプレイを回転させる／待受画面に戻る／電源を入れる：再生
  [■]：一時停止／再生
- キャラ電の場合は次の操作ができます。
  [chクリア]／FOMA端末を開く：再生
  [chクリア]／[■]：停止

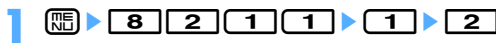
**✔お知らせ**

- 動画／ｉモーションによっては待受画面に設定できない場合があります。音声のみの動画／ｉモーション（歌手の歌声など映像のないｉモーション）は設定できません。
- 待受画面を表示すると、Flash画像やGIFアニメーションは、一定時間再生した後に停止します。
- GIFアニメーションを拡大表示で設定した場合、表示が乱れることがあります。
- 再生回数や再生期限などの制限が設定されているコンテンツは、待受画面に設定できません。
- テロップ中にリンクのある動画／ｉモーションを待受画面に設定しても、待受画面からはPhone To（AV Phone To）、Mail To、Web To、Media To機能を利用できません。
- 2in1がONのときは、Aモードの待受画面のみが設定されます。

## ◆画像をランダムに表示する〈ランダムイメージ設定〉

マイピクチャ内のフォルダに保存されている複数の静止画を、指定したタイミングでランダムに切り替えて待受画面（縦画面）に表示します。

- 表示できる画像はJPEG形式、GIF形式（GIFアニメーションを除く）の画像です。

**1** [MENU]▶[8][2][1][1]▶[1]▶[2]

- すでに「きせかえツールに従う」が設定されている場合は、きせかえツールを解除するかどうかの確認画面で「はい」を選択します。

**2** **下記の各項目を選択して設定**

**フォルダ**：画像が保存されているフォルダを選択します。
- 表示できる画像が保存されていないフォルダは選択できません。

**切替設定**：画像を切り替えるタイミングを設定します。
- 「30分ごと」を選択したときは、毎時0分と30分に画像が切り替わります。
- 「60分ごと」を選択したときは、毎時0分に画像が切り替わります。
- 「開閉ごと」を選択したときは、FOMA端末を開いたときに画像が切り替わります。

**3** [📖]▶**「はい」を選択**

- ｉアプリ待受画面が設定されているときは、続けてｉアプリ待受画面を解除するかどうかの確認画面が表示されます。「はい」を選択すると、ｉアプリ待受画面が解除されます。
- 2in1がONでデュアルモードまたはBモードのときは、選択したデータがAモード用の待受画面になることの確認画面が表示されます。

**✔お知らせ**

- パラパラマンガ、GIFアニメーション、Flash画像は表示できません。
- 選択したフォルダを削除したり、フォルダ内の静止画を移動または削除したり、パラパラマンガを作成したりして表示できる静止画がないときは、お買い上げ時の画像が待受画面に表示され、ランダムイメージの設定はお買い上げ時の設定に戻ります。ただし、待受画面に表示されている静止画を移動したりパラパラマンガとして作成した直後は、次に画像が切り替わるまでその画像が一時的に表示されます。
- 2in1がONのときは、Aモードの待受画面のみが設定されます。

## ◆ｉアプリ待受画面を設定する

ｉアプリ待受画面に対応しているｉアプリを待受画面に設定します。
- 他の待受画面設定よりも、ｉアプリ待受画面が優先して表示されます。
- ｉアプリ待受画面表示中にchクリアを押すと、ｉアプリ待受画面に設定しているｉアプリが起動し、ｉアプリの操作や設定ができます。ｉアプリ待受画面の解除もできます。→P293

**1** MENU▶8 2 1 1▶1▶5

ｉアプリ待受画面に対応したｉアプリが一覧表示されます。

**2** ｉアプリを選択

- 2in1がONでデュアルモードまたはBモードのときは、選択したデータがAモード用の待受画面になることの確認画面が表示されます。

**3**「はい」を選択

ｉアプリ待受画面が設定され、待受画面にまたはが表示されます。
- テロップ表示設定を「表示する」に設定している場合は、テロップ表示が解除されます。

**✔お知らせ**
- パーソナルデータロック中はｉアプリ待受画面は表示されず、お買い上げ時の標準画像、または「プリインストール」フォルダ内の画像が表示されます。
- 待受画面に動画／ｉモーションやキャラ電が設定されていない場合で、ｉアプリ待受画面を解除すると、テロップ表示設定は「表示する」に設定されます。
- 2in1がONのときは、Aモードの待受画面のみが設定されます。

## ◆待受画面の表示をカスタマイズする〈カレンダー／待受カスタマイズ〉

待受画面をいくつかのエリア（領域）に分割し、それぞれのエリアに未読メールや不在着信などの新着情報、スケジュール、カレンダー、メモ一覧、メモ内容を表示するように設定します。
- 設定した情報は、待受画面に画像が設定されている場合、画像に重ねて表示されます。待受画面にｉモーションやキャラ電、ｉアプリ待受画面が設定されている場合は表示されません。
- エリアの分けかたは次の7種類から選択できます。

| パターン1 | パターン2 | パターン3 | パターン4 | パターン5 | パターン6 | パターン7 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| エリア1設定 | エリア1設定 | エリア1設定 | エリア1設定 | エリア1設定 | エリア1設定 | エリア1設定 |
| | エリア2設定 | エリア2設定 | エリア2設定 | エリア2設定 | エリア2設定 | エリア2設定 |
| | | エリア3設定 | エリア3設定 | エリア3設定 | エリア3設定 | エリア3設定 |
| | | | | エリア4設定 | エリア4設定 | エリア4設定 |
| | | | | | エリア5設定 | エリア5設定 |

**1** MENU▶8 2 1 5

**2** 1を押す

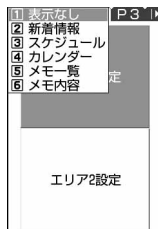
カレンダー／待受カスタマイズを解除する：2を押す

## 3 [十字キー]でパターンを切り替え▶エリアを選択▶[1]～[6]

- 複数のエリアがある場合は、エリアを選択して[1]～[6]を押す操作を繰り返します。
- 画面の半分より小さいエリア（パターン3のエリア1設定など）には、カレンダーは設定できません。
- [MENU]を押して「はい」を選択すると、すべてのエリアの設定を解除できます。

新着情報を設定する：[2]▶情報を選択▶[本]

メモ内容を設定する：[6]▶メモを選択

- メモにカーソルを合わせて[本]を押すとメモの内容が表示されます。[ch クリア]を押すとメモ一覧に戻ります。

## 4 [本]▶「はい」を選択

### ❖待受画面で情報を確認する

## 1 [●]を押す

エリアが赤い枠で囲まれます。

- 待受画面に情報が表示されていないときは、[▭]を繰り返し押して表示させてから[●]を押します。

## 2 [十字キー]でカーソル枠を移動させ、エリアを選択

**✔お知らせ**

- 待受画面で[▭]を押すたびに、情報の表示と非表示を切り替えることができます。
- 待受画面選択のイメージ設定でGIFアニメーション、パラパラマンガ、Flash画像を設定していた場合、再生が停止または一時停止した後に[▭]を押すと情報が表示されます。

### ❖各情報の表示内容について

カレンダー／待受カスタマイズで設定した各情報は次のように表示されます。

- 表示される情報の件数や行数は、エリアのサイズによって異なります。
- 各情報の日時には、当日の場合は時刻が、当日以外の場合は日付が表示されます。

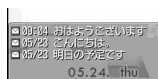
#### ■ 新着情報

新着情報で設定している項目が新しい順に一覧表示されます。エリアを選択すると、先頭の項目の一覧画面が表示されます。

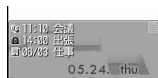
**未読メール一覧**：受信日時と題名の先頭部分が表示されます。先頭に表示されているときにエリアを選択すると、受信メールのフォルダー一覧が表示されます。

**R メッセージR／F メッセージF**：受信日時とタイトルの先頭部分が表示されます。先頭に表示されているときにエリアを選択すると、メッセージRまたはメッセージFの一覧が表示されます。

**不在着信一覧**：着信日時と相手の電話番号（電話帳に登録されているときは名前）が表示されます。先頭に表示されているときにエリアを選択すると、着信履歴一覧が表示されます。

**伝言メモ一覧**：録音または録画日時と相手の電話番号（電話帳に登録されているときは名前）が表示されます。先頭に表示されているときにエリアを選択すると、伝言メモ一覧が表示されます。

#### ■ スケジュール

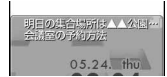
スケジュールやワンセグの視聴予約が日時の順に表示されます。エリアを選択すると先頭のスケジュールの詳細、視聴予約の詳細が表示されます。

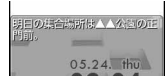
- スケジュールはアイコン、日時、内容の先頭部分が表示されます。
- 長期間スケジュールの場合は、登録されているアイコンの代わりに「[長期アイコン]」が表示されます。アイコンの後ろには開始の日付または時刻（当日で開始時刻前の場合）が表示されます。長期間スケジュールは、終了日時が経過するまで表示されます。
- 終日に設定したスケジュールが当日の場合は、開始日時の代わりに「終日」と表示されます。
- 視聴予約はアイコン、日時、番組名が表示されます。

■ カレンダー

当月のカレンダーが表示されます。エリアを選択すると、スケジュール帳のカレンダーが表示されます。

- 当日は黄、休日と祝日は赤、土曜日は青で表示されます。休日と祝日は、スケジュール帳の設定に従います。ただし、スケジュール帳の休日設定で休日にした日は、パーソナルデータロック中は赤で表示されず、お買い上げ時の表示に戻ります。
- スケジュールが設定されているときは、日付の右上に赤いマークが表示されます。パーソナルデータロック中は表示されません。

■ メモ一覧

メモ帳に登録されているメモの一覧が表示されます。エリアを選択するとメモ一覧が表示されます。

■ メモ内容

メモ内容に設定したメモの先頭部分が表示されます。エリアを選択するとメモの詳細が表示されます。

✔お知らせ

- 同じ日に当日スケジュールと長期間スケジュールが登録されている場合、長期間スケジュールが表示されます。ただし、当日スケジュールが終日に設定されている場合や、当日スケジュールの開始時刻になっていない場合は、両方のスケジュールが表示されます。
- パーソナルデータロック中は、新着情報はパーソナルデータロックの設定に従って表示されます。スケジュール、メモ一覧、メモ内容はパーソナルデータロック中であることが表示され、選択できません。

# 音声電話やテレビ電話の発信時の画像を変更する

## ◆音声電話の発信時の画像を変更する〈電話発信設定〉

MENU ▶ 8 5 1 1

【お買い上げ時】 イメージ表示：標準画像

**1** MENU ▶ 8 2 3 2 1 ▶ イメージ表示欄を選択 ▶ 1 ～ 3

- 「標準画像」を設定するとお買い上げ時の画像が表示されます。
- 「イメージ」を選択した場合は、イメージ一覧欄を選択して画像を選択します。
- 「きせかえツールに従う」が設定されていると、きせかえツールの画像が表示されます。

**2** 📖［登録］を押す

## ◆テレビ電話の発信時の画像を変更する〈テレビ電話発信設定〉

MENU ▶ 8 6 1 1

【お買い上げ時】 イメージ表示：標準画像

**1** MENU ▶ 8 2 3 2 3 ▶ イメージ表示欄を選択 ▶ 1 ～ 3

- 「標準画像」を設定するとお買い上げ時の画像が表示されます。
- 「イメージ」を選択した場合は、イメージ一覧欄を選択して画像を選択します。
- 「きせかえツールに従う」が設定されていると、きせかえツールの画像が表示されます。

**2** 📖［登録］を押す

✔お知らせ

- すでに「きせかえツールに従う」が設定されている場合に他の項目を選択すると、きせかえツールを解除するかどうかの確認画面が表示されます。「はい」を選択すると、「きせかえツールに従う」は選択できなくなります。
- 「イメージ」にパラパラマンガを設定すると、最初のコマが表示されます。

### ❖発信画像の優先順位について

複数の機能で発信画像が設定されている場合は、次の優先順位で画像が表示されます。
①FOMA端末電話帳に登録した画像※
②FOMA端末電話帳のグループ別発着信設定
③電話発信設定／テレビ電話発信設定
※ 人物画像表示設定が「ON」のときに有効です。

# 音声電話やテレビ電話の着信時の画像を変更する

## ◆音声電話の着信時の画像を変更する〈電話着信設定〉

【お買い上げ時】 イメージ表示：標準画像

- 本機能の設定は、発着信・通話機能の電話着信設定にも反映されます。

**1** MENU▶8 2 3 2 2▶イメージ表示欄を選択▶1～5

- 「標準画像」を設定するとお買い上げ時の画像が表示されます。
- 「イメージ」を選択した場合は、イメージ一覧欄を選択し、画像を選択します。
- 「ｉモーション」を選択した場合は、動画一覧から動画／ｉモーションを選択します。
- 「きせかえツールに従う」が設定されていると、きせかえツールの画像が表示されます。
- 電話着信音に音声と映像のある動画／ｉモーションが設定されていると「着信音連動」になります。

**2** 📖［登録］を押す

## ◆テレビ電話の着信時の画像を変更する〈テレビ電話着信設定〉

【お買い上げ時】 イメージ表示：標準画像

- 本機能の設定は、テレビ電話のテレビ電話着信設定にも反映されます。

**1** MENU▶8 2 3 2 4▶イメージ表示欄を選択▶1～5

- 「標準画像」を設定するとお買い上げ時の画像が表示されます。
- 「イメージ」を選択した場合は、イメージ一覧欄を選択し、画像を選択します。
- 「ｉモーション」を選択した場合は、動画一覧から動画／ｉモーションを選択します。
- 「きせかえツールに従う」が設定されていると、きせかえツールの画像が表示されます。
- テレビ電話着信音に音声と映像のある動画／ｉモーションが設定されていると「着信音連動」になります。

**2** 📖［登録］を押す

✔お知らせ

- すでに「きせかえツールに従う」が設定されている場合に他の項目を選択すると、きせかえツールを解除するかどうかの確認画面が表示されます。「はい」を選択すると、「きせかえツールに従う」は選択できなくなります。
- 「イメージ」にパラパラマンガを設定すると、最初のコマが表示されます。
- 音声のみの動画／ｉモーション（歌手の歌声など映像のないｉモーション）を着信音に設定しているとき、イメージ表示を映像のみの動画／ｉモーション、Flash画像に設定し直すと、着信音は「着信音1（音声電話）」または「ハープ（テレビ電話）」になります。メロディは変更できます。
- 動画／ｉモーションによってはイメージ表示に設定できない場合があります。また、音声のある動画／ｉモーションは設定できません。

### ❖着信画像の優先順位について

複数の機能で着信画像が設定されている場合は、次の優先順位で画像が表示されます。
①マルチナンバーの着信設定
②FOMA端末電話帳に登録した画像※1
③FOMA端末電話帳のグループ別発着信設定
④電話着信音※2／テレビ電話着信音※2／電話着信設定／テレビ電話着信設定／Bナンバー着信設定
※1 人物画像表示設定が「ON」のときに有効です。
※2「着モーション」に音声と映像のある動画／iモーションを設定したときに有効です。電話帳や電話帳のグループに画像または動画／iモーションを設定していても、着信音の「着モーション」に音声と映像のある動画／iモーションを設定しているときは、着信音とイメージ表示は「着モーション」の設定が優先されます。

- 相手が発信者番号を通知してこなかった場合、音声電話の着信画像は発番号なし動作設定に従います。テレビ電話の着信画像はテレビ電話着信設定に従います。
- 発番号なし動作設定で設定した音や画像のデータが削除されると、自動的に設定内容が変更されます。その場合は、実際に鳴る音や表示される画像が設定内容と異なることがあります。

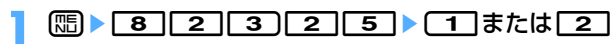
人物画像表示設定

## 発着信時の電話帳の人物表示を設定する

【お買い上げ時】 ON

**音声電話やテレビ電話の発着信時に、FOMA端末電話帳に登録されている画像を表示するかどうかを設定します。**

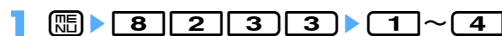
- 電話帳に登録されている画像は、相手が電話番号を通知してきた場合に表示されます。

**1** MENU ▶ 8 2 3 2 5 ▶ 1 または 2

メール送信画像設定／メール受信画像設定／メール着信結果画像設定／問合せ画像設定

## メール送受信時や問合せ時の画面を変更する

【お買い上げ時】［メール送信画像設定、メール受信画像設定、メール着信結果画像設定、問合せ画像設定］ イメージ表示：標準画像

**メールの送受信時やiモード問合せ時に表示される画像、メールの着信結果の画像を設定します。**

**1** MENU ▶ 8 2 3 3 ▶ 1 ～ 4

- iモードメール、SMSの送信時の画像を設定するときは 1 を押します。
- iモードメール、SMS、メッセージR/Fの受信時の画像を設定するときは 2 を押します。
- iモードメール、SMS、メッセージR/Fの着信結果の画面を設定するときは 3 を押します。
- iモード問合せ時の画像を設定するときは 4 を押します。

**2** イメージ表示欄を選択 ▶ 1 ～ 3

- 「標準画像」を設定するとお買い上げ時の画像が表示されます。
- 「イメージ」を選択した場合は、イメージ一覧を選択し、画像を選択します。
- 「きせかえツールに従う」が設定されていると、きせかえツールの画像が表示されます。

メール着信結果画像を設定するとき：**イメージ表示欄を選択 ▶ 1 ～ 5**

- 「iモーション」を選択した場合は、動画一覧から動画／iモーションを選択します。
- メール着信音に音声と映像のある動画／iモーションが設定されていると「着信音連動」になります。

**3** 📖［登録］を押す

### ✔お知らせ

- すでに「きせかえツールに従う」が設定されている場合に他の項目を選択すると、きせかえツールを解除するかどうかの確認画面が表示されます。「はい」を選択すると、「きせかえツールに従う」は選択できなくなります。

# 背面ディスプレイの表示を設定する

## ◆背面ディスプレイに表示する画像を設定する〈背面画像設定〉

【お買い上げ時】 コーディネイト／きせかえの設定に従う

電話の着信時やメールの受信時などに背面ディスプレイに表示する画像を設定します。また、時計のパターンも設定できます。

• お買い上げ時に登録されている時計パターン（背面ディスプレイ用）→P495

**1** MENU ▶ 8 2 8 2 ▶ 下記の各項目を選択して設定 ▶ 📖［登録］

**時計パターン**：時計のパターンを設定します。
**着信画像**：音声電話およびテレビ電話の着信時に背面ディスプレイに表示する画像を設定します。
**メール受信画像**：メール受信時に背面ディスプレイに表示する画像を設定します。

## ◆電話やメールの着信時に電話番号やメールアドレスなどを表示する〈背面相手表示設定〉

【お買い上げ時】 相手情報表示あり

• 情報の表示方法は、着信／受信時動作設定に従います。

**1** MENU ▶ 8 2 8 1 ▶ 1 または 2

✔**お知らせ**

•「相手情報表示なし」に設定すると、ディスプレイのタスク表示領域や背面ディスプレイには着信中などの状態のみ表示されます。また、表示される画像は標準画像になります。

## ◆背面ディスプレイの照明を設定する〈背面照明色設定〉

【お買い上げ時】 コーディネイト／きせかえの設定に従う

電話の着信時やメールの受信時、背面ディスプレイの表示切り替え、カメラ／ビデオカメラ／サウンドレコーダーの動作中、トルカ取得、FOMA端末を折り畳んだときなどに点灯する背面ディスプレイの照明色を設定します。

**1** MENU ▶ 8 2 8 3

**2** 1 ～ 7

• ⓒを押すとカーソルの位置の色で背面ディスプレイの照明が点灯します。

✔**お知らせ**

• 本設定に関わらず、充電中は赤色で点灯します。



# ディスプレイとキーの照明を設定する

## ◆照明時間を設定する〈点灯時間設定〉

【お買い上げ時】 通常時：10秒　ACアダプタ接続時、ｉアプリ：端末設定に従う　ｉモード中、静止画撮影中、動画撮影中、ｉモーション：常灯

ディスプレイの照明の点灯時間を設定します。照明を点灯すると、ディスプレイがより明るくなり、キー部分が点灯します。

• 通常時のほかにACアダプタ接続時（DCアダプタ接続時も含む）、ｉモード中、静止画や動画の撮影中、ｉモーション再生中、ｉアプリ動作中の点灯時間も設定できます。

〈例〉通常時の点灯時間を設定するとき

**1** MENU ▶ 8 2 4 1

**2** 1 ▶ 1 〜 7

- 「常時」に設定した場合、省電力の状態になりません。

ACアダプタ接続時、ｉモード中、静止画撮影中、動画撮影中、ｉモーション、ｉアプリの点灯時間を設定する：2 〜 7 ▶ 1 または 2

- 「端末設定に従う」に設定すると、通常時で設定した点灯時間に従って照明が点灯します。
- 「常灯」に設定すると、明るさ調整で設定した明るさで常に照明が点灯し、省電力の状態になりません。ただし、ACアダプタ接続時は、明るさ調整の設定に関わらず、「明るさ5」で点灯します。
- ｉアプリの場合は「ソフトに従う」に設定すると、ｉアプリの設定に従って点灯します。常に照明を点灯するｉアプリの場合は省電力の状態になりません。
- 本機能の設定は、ｉモード設定、静止画詳細設定、動画／録音詳細設定、ｉモーションの動作設定、ｉアプリ設定の照明設定にもそれぞれ反映されます。

### ◆照明設定範囲を設定する〈照明設定範囲〉

【お買い上げ時】 ディスプレイ＋キー

**1** MENU ▶ 8 2 4 2 ▶ 1 または 2

### ◆照明の明るさを設定する〈明るさ調整〉

【お買い上げ時】 コーディネイト／きせかえの設定に従う

**1** MENU ▶ 8 2 4 3 ▶ 1 〜 6

- 「自動調整」に設定すると、ディスプレイやキーの照明が周囲の明るさによって自動的に変更されます。周囲が明るい場所ではキーの照明が点灯しないことがあります。

スクリーン設定

## 画面のカラー配色を変更する

【お買い上げ時】 コーディネイト／きせかえの設定に従う

ディスプレイに表示される配色を24種類から選択できます。

**1** MENU ▶ 8 2 3 1 ▶ 配色を選択

- ●を押すとカーソル位置の配色で画面が表示されます。

メニュー設定

## メニューのデザインを変更する

MENU ▶ 8 2 2 1

【お買い上げ時】 ノーマル：アニメーション　セレクト：タイルアイコン　アニメーションデザイン：コーディネイト／きせかえの設定に従う　アイコン拡大表示：OFF　起動メニュー：ノーマル　セレクトメニューショートカット：セレクト

メニューの表示形式やアイコンのデザインを変更したり、オリジナルのメニューを作成したりできます。

- 設定項目のノーマルを「シンプル」に設定すると、バイリンガルの設定は利用できなくなります。また、本書の操作の説明と項目番号が異なりますのでご注意ください。
「シンプル」に設定した場合の項目番号→P493

**1** MENU ▶ [機能] ▶ 下記の各項目を選択して設定 ▶ [📖]［登録］

**ノーマル**：ノーマルメニュー使用時の表示形式を設定します。

- 「きせかえツールに従う」が設定されていると、きせかえツールのメニューが表示されます。

- すでに「きせかえツールに従う」が設定されている場合に他の項目を選択して[本]を押すと、きせかえツールを解除するかどうかの確認画面が表示されます。「はい」を選択すると、「きせかえツールに従う」は選択できなくなります。
- バイリンガルの設定が英語のときは、「シンプル」は設定できません。

**セレクト**：セレクトメニュー使用時の表示形式を設定します。

**アイコンデザイン**：ノーマルメニューの表示形式で「タイルアイコン」を選択したときのデザインを設定します。

- アイコンデザインで設定するのは、待受画面で[MENU]を押したとき最初に表示される1階層目のメニューのデザインです。
- 「カスタム1」「カスタム2」は、メニューアイコンを変更してオリジナルメニューを作成するときに設定します。

**アニメーションデザイン**：ノーマルメニューの表示形式で「アニメーション」を選択したときのデザインを設定します。

**アイコン拡大表示**：アイコン選択時にアイコンを拡大表示するかどうかを設定します。

**起動メニュー**：待受画面で[MENU]を押したときにノーマルメニューとセレクトメニューのどちらを表示させるかを設定します。

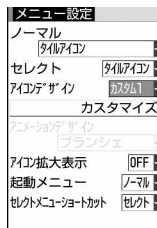
**セレクトメニューショートカット**：セレクトメニュー使用時のショートカット操作を設定します。

- 「ノーマル」に設定すると、起動メニューを「セレクト」にした場合でもノーマルメニューの項目番号でショートカット操作ができます。→P33

## ◆オリジナルメニューを作成する

ノーマルメニュー使用時のメニュー画面のアイコンや背景画像を変更して、2種類のオリジナルメニューを作成できます。

- アイコンは96×96、背景画像は240×240より大きい画像は縮小して表示されます。

### 1 [MENU]▶[i]▶ノーマル欄を選択▶[2]▶アイコンデザイン欄を選択▶[2]または[3]

### 2 カスタマイズを選択▶機能を選択▶画像フォルダ一覧で画像を選択

他の機能のメニューアイコンも同様に設定します。

- メニューアイコンを解除するときは、解除するアイコンにカーソルを合わせて[MENU][1]を押し、「はい」を選択します。
- メニューアイコンを全件解除するときは[MENU][2]を押し、「はい」を選択します。

### 3 [✉]▶画像フォルダ一覧でメニュー画面の背景画像を選択

背景を解除する：[MENU]▶[4]▶「はい」を選択

### 4 [本]▶[本]［登録］

**✔お知らせ**

- パラパラマンガ、Flash画像、「アイテム」フォルダ内の画像は選択できません。また、GIFアニメーションを選択すると最初のコマが表示されます。
- パーソナルデータロック中は、アイコンデザインの「カスタム1」「カスタム2」の設定内容を変更できません。

# きせかえツールを利用する

**ｉモードサイトからダウンロードした「きせかえツール」を利用すると、待受画像、メニューアイコン、発着信画像、着信音などを一括で設定できます。**

- きせかえツールでは、次の項目が設定できます。きせかえツールによって、設定できる項目の組み合わせの内容は異なります。
  - 待受画面、アニメーションメニュー※1、メニューアイコン、メニューアイコン（背景）、音声電話発信画面、音声電話着信画面、テレビ電話発信画面、テレビ電話着信画面、メール送信画面、メール受信中画面、メール着信結果画面、センター問合せ画面、電池アイコン、アンテナアイコン、音声電話着信音、テレビ電話着信音、プッシュトーク着信音、メール着信音、チャットメール着信音、メッセージR着信音、メッセージF着信音、目覚まし音、カラーテーマ※2

  ※1 きせかえツールによっては、待受画面で[i]や[✉]を押したときの動作が通常と異なる場合や、ショートカット操作ができない場合があります。

  ※2 スクリーン設定の配色のいずれかが設定されます。
- 2in1がONのときは、デュアルモードとBモードの待受画面、およびBナンバーの電話着信音とテレビ電話着信音には、きせかえツールの項目は設定されません。

## ◆きせかえツールを設定する

**1** [MENU]▶[5][7]

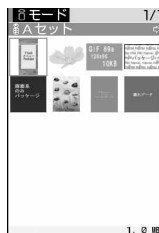
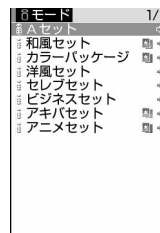
きせかえツールの各フォルダには次のようなきせかえツールが保存されています。

**ｉモード**：サイトからダウンロードしたきせかえツール

**マイフォルダ**：他のフォルダから移動したきせかえツール

- フォルダを作成すると表示されます。→P382

**2** **フォルダを選択▶設定するきせかえツールにカーソルを合わせる**

ファイルの表示名と詳細を示すマークが表示されます。

サムネイル画面

リスト画面

- 画面の見かたは次のとおりです。

  ①**取得元**

  ：ｉモード

  ②**ファイルの種類**

  FOMAカード動作制限で利用できない場合でも、アイコンは表示されます。

  （グレー）：現在設定されているきせかえツール

  （赤）：最後に設定されたきせかえツール

  表示なし：設定されていないきせかえツール

  ：部分的に保存されているきせかえツール

  ③**ファイル制限**

  ：ファイル制限あり

  ④**サムネイル画像**

  きせかえツールのプレビュー画像が表示されます。プレビュー画像が表示できない場合には次のアイコンが表示されます。

  ：プレビュー画像なし

  ：FOMAカード動作制限機能が設定されているきせかえツール

  ：部分的にダウンロードしたきせかえツール

- サムネイル表示の場合は、カーソル位置のきせかえツールのファイルサイズ（実メモリサイズ）が表示されます。
- [i]を押すたびにサムネイル表示とリスト表示が切り替わります。

一覧画面の動作設定をする：[MENU]▶[7]▶[1]または[2]
- サムネイル表示画像一覧で画像表示をするかどうかを設定します。「あり」にするとサムネイル表示に、「なし」にするとリスト表示になります。
- フォルダ画面から操作する場合は[MENU]を押し、「動作設定」を選択します。

## 3 [m]▶「はい」を選択

きせかえツール内のデータが一括で設定されます。
- きせかえツールが設定された各項目は、「きせかえツールに従う」に自動的に変更されます。
- 複数のきせかえツールを設定した場合で重複する項目があるときは、最後に設定したきせかえツールの項目のデータが設定されます。
- 部分的にダウンロードしたきせかえツールにカーソルを合わせて、[●]、[m]、[✉]を押した場合は、残りのデータをダウンロードするかどうかの確認画面が表示されます。「はい」を選択するとダウンロードが開始されます。

設定をリセットする：フォルダー覧画面で[MENU]▶[5]▶認証操作▶「すべてリセット」または「メニュー画面のみ」を選択
- 「すべてリセット」を選択すると、そのきせかえツールのすべての項目の設定がお買い上げ時の設定に戻ります。
- 「メニュー画面のみ」を選択すると、「アニメーションメニュー」「メニューアイコン」「メニューアイコン（背景）」の項目の設定だけが、お買い上げ時の設定に戻ります。

設定を解除する：きせかえツール一覧画面で解除するきせかえツールにカーソルを合わせて[MENU]▶[3]▶「はい」を選択

## ◆きせかえツールの内容を確認する

## 1 [MENU]▶[5][7]

## 2 フォルダを選択▶設定するきせかえツールにカーソルを合わせて[✉]

きせかえツールに登録されている項目の一覧が表示されます。
- 画面の見かたは次のとおりです。

①項目
項目のアイコンと項目名が表示されます。

②ファイル形式
JPG：画像ファイル（拡張子：JPG、JPEG）
GIF：画像ファイル（拡張子：GIF）
[Flash]：Flash コンテンツファイル（拡張子：SWF）
MP4：動画ファイル（拡張子：3GP）
MFi：メロディファイル（拡張子：MLD）
SMF：メロディファイル（拡張子：MID）
表示なし：ファイルなし、または「カラーテーマ」

- [MENU]を押し、「内容表示」を選択しても内容を確認できます。
- [m]を押すと、きせかえツールを設定できます。

きせかえツールのプレビューイメージを表示する：きせかえツールにカーソルを合わせて[●]
- プレビュー画面で[m]を押してもきせかえツールを設定できます。

## 3 確認する項目を選択

選択した項目のデータが表示または再生されます。
- カラーテーマにカーソルを合わせると、その配色で画面が表示されます。

✔お知らせ
- きせかえツール内に表示・再生できないデータがあるときは、きせかえツールを設定しても、そのデータのみ設定されません。

# 電池やアンテナのアイコンを変更する

【お買い上げ時】［電池アイコン設定、アンテナアイコン設定］コーディネイト／きせかえの設定に従う

**1** MENU ▶ 8 2 1 ▶ 3 または 4

1：ブランシェ
2：ノアール
3：ボルドー
4：シャンパーニュ
5：アドバンストモード
6：きせかえツールに従う

電池アイコン設定

アンテナアイコン設定

**2** 1 ～ 6

- 「きせかえツールに従う」が設定されていると、きせかえツールのアイコンが表示されます。
- すでに「きせかえツールに従う」が設定されている場合に他の項目を選択すると、きせかえツールを解除するかどうかの確認画面が表示されます。「はい」を選択すると、「きせかえツールに従う」は選択できなくなります。

不在着信お知らせ

# 不在着信や未読メールなどの新着情報をランプで知らせる

【お買い上げ時】 ON

**FOMA端末を折り畳んでいるときに未確認の不在着信（音声電話／テレビ電話）や未読情報（メール／チャットメール／SMS）があるときにランプを点滅させて知らせるかどうかを設定します。**

**1** MENU ▶ 8 2 6 ▶ 1 または 2

- 「ON」に設定した場合、未確認の不在着信があるときは、着信イルミネーションの電話着信のイルミネーションカラーに従って約6秒間隔で点滅します。未読情報があるときは、着信イルミネーションのメール着信のイルミネーションカラーに従って約6秒間隔で点滅します。新着情報を確認すると点滅は停止します。

### ✔お知らせ

- 新着情報に複数の項目がある場合は、次の優先順位に従ってランプが点滅します。
  ① 不在着信（音声電話／テレビ電話）
  ② 未読情報（メール／チャットメール／SMS）
- 「ON」に設定した場合、最後の新着情報から（2in1がONで、切り替え先のモードに新着情報がある場合は切り替えてから）約6時間経過したときや、待受画面の 2 2（数字は件数）を消去したときは、情報を確認していなくてもランプの点滅は停止します。

イルミネーション設定

# 着信時や通話中などの点灯パターンと点灯色を設定する

**音声電話やテレビ電話、プッシュトーク着信時およびメール・チャットメール・メッセージR/F受信時のランプの点灯パターンと点灯色を設定します。また、音声電話中やテレビ電話中、トルカ取得やICカードアクセス中、GPS利用中のランプの点灯と点灯色、端末の開閉時やディスプレイの回転時のランプの点灯も設定できます。**

- 本機能の設定は、電話着信設定、テレビ電話着信設定、プッシュトーク着信設定、メール着信設定、チャットメール着信設定、メッセージR着信設定、メッセージF着信設定、トルカ取得確認設定のイルミネーション設定にもそれぞれ反映されます。

## ◆電話／メールの着信やトルカ取得の点灯パターンと点灯色を設定する〈着信イルミネーション〉

【お買い上げ時】 電話、メール、メッセージR/F、テレビ電話、プッシュトーク着信のイルミネーションパターン：点滅　電話、テレビ電話、プッシュトーク着信のイルミネーションカラー：ライム　メール、メッセージR/F着信、トルカ取得のイルミネーションカラー：アクア　チャットメール着信イルミネーションパターン、イルミネーションカラー：メール連動　トルカ取得イルミネーション：ON

**1** MENU ▶ 8 2 5 1

**2** 着信の項目のイルミネーションパターン欄を選択 ▶ 1 ～ 7

- ⓞを押すとカーソル位置のパターンでランプが点灯または点滅します。
- 「メロディ連動」に設定すると着信音に合わせて点滅します。このとき、イルミネーションカラーはイルミネーションカラーの設定に関わらず、ランプが「ソーダ」で点灯し、背面ディスプレイの照明がレインボーで点滅します。
- 「メロディ連動」に設定しても不在着信お知らせを「ON」に設定している場合で、新着情報があるときのイルミネーションカラーは、電話着信のイルミネーションカラーおよびメール着信のイルミネーションカラーに従います。

**3** 着信の項目のイルミネーションカラー欄を選択 ▶ イルミネーションカラーを選択

- ⓞを押すとカーソル位置の色でランプが点灯または点滅します。
- 他の項目の点灯パターンと点灯色を設定する場合は、操作2～3を繰り返します。

**4** トルカ取得のイルミネーション欄を選択 ▶ 1 または 2

- 「ON」に設定すると、トルカ取得のイルミネーションカラーを設定できます。

**5** 📖［登録］を押す

### ❖着信イルミネーションの優先順位について

複数の機能で着信イルミネーションのイルミネーションパターン、イルミネーションカラーが設定されている場合は、次の優先順位でランプが点灯します。
①FOMA端末電話帳の電話帳別着信設定
②FOMA端末電話帳のグループ別発着信設定
③着信イルミネーション／電話着信設定／テレビ電話着信設定／メール着信設定

## ◆電話中／ICカードアクセス中の点灯と点灯色を設定する〈通話中イルミネーション／ICカードアクセスイルミネーション〉

【お買い上げ時】［通話中イルミネーション］通話中イルミネーション：ON　イルミネーションカラー：レインボー　［ICカードアクセスイルミネーション］ICカードイルミネーション：ON　イルミネーションカラー：レモン

**1** MENU ▶ 8 2 5 ▶ 2 または 4

**2** イルミネーション欄を選択 ▶ 1 または 2

- 「ON」に設定するとイルミネーションカラーを設定できます。

**3** イルミネーションカラー欄を選択 ▶ イルミネーションカラーを選択

- ⓞを押すとカーソル位置の色でランプが点灯または点滅します。

**4** 📖［登録］を押す

## ◆GPSの点灯パターンと点灯色を設定する〈GPS測位イルミネーション〉

【お買い上げ時】 すべてのイルミネーションパターン：点灯　現在地確認イルミネーションカラー：ライム　現在地通知イルミネーションカラー：アメジスト　位置提供／許可、位置提供／毎回確認のイルミネーションカラー：グレープ

**1** MENU ▶ 8 2 5 3

**2** 各項目のイルミネーションパターン欄を選択 ▶ 1 ～ 7

- を押すとカーソル位置のパターンでランプが点灯または点滅します。
- 「メロディ連動」は選択できません。位置提供／許可、位置提供／毎回確認では「OFF」を選択できません。

**3** 各項目のイルミネーションカラー欄を選択 ▶ イルミネーションカラーを選択

- を押すとカーソル位置の色でランプが点灯または点滅します。

**4** ［登録］を押す

## ◆開閉・回転時の点灯を設定する〈開閉回転イルミネーション〉

【お買い上げ時】 ON

**1** MENU ▶ 8 2 5 5 ▶ 1 または 2

### ✔お知らせ

- チャットメール着信設定の着信動作設定を「メール着信動作に従う」に設定している場合は、チャットメール着信は設定できない旨のメッセージが表示されます。
- メロディによっては、イルミネーションパターンを「メロディ連動」に設定しても連動しない場合があります。
- ランプの点灯時は、次の現象が起きることがあります。これはランプに用いているLEDやFOMA端末の特性によるものであり、FOMA端末の故障ではありません。あらかじめご了承ください。
  - FOMA端末ごとに、あるいはランプによって点灯色や明るさに差異があります。
  - FOMA端末の塗装色により、ランプの色が点灯色名とは異なる色に見えることがあります。
- お知らせタイマーで設定した時間になったときのイルミネーションの動作は、着信イルミネーションの電話着信の設定に従います。

フォント選択

# フォントを変える

【お買い上げ時】 漢字／英数字：コーディネイト／きせかえの設定に従う　ひらがな／カタカナ：漢字／英数字と同じ

**メニュー画面やｉモードサイト、フルブラウザ、文字入力画面などに表示される文字の種類をゴシックやリュウミンに変更できます。また、ひらがな／カタカナを組み合わせて表示することもできます。**

- ひらがな／カタカナはお買い上げ時に登録されている「プリティー桃」のほかに、ダウンロードしたフォントを利用できます。

**1** MENU ▶ 8 2 7 2

**2** 漢字／英数字欄を選択 ▶ 1 または 2

**3** ひらがな／カタカナ欄を選択 ▶ フォントを選択

ダウンロードしたフォントを削除する：ひらがな／カタカナ欄を選択 ▶ 削除するフォントにカーソルを合わせて MENU ▶「はい」を選択

- お買い上げ時に登録されているフォントや、現在利用中のフォントは削除できません。

**4** ［登録］を押す

### ✔お知らせ

- ひらがな／カタカナを選択した場合は、ひらがな、カタカナのみ選択したフォントで表示されます。
- カメラ、ｉアプリ、ｉモーションなど、一部の機能には本機能の設定は反映されません。

文字サイズ設定

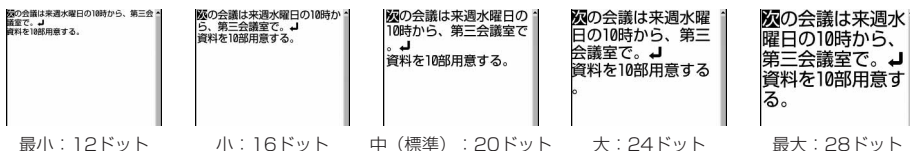
## 文字の大きさを変更する

MENU ▶ 8 7 4

【お買い上げ時】 コーディネイト／きせかえの設定に従う

**メモ帳、メール本文入力などの全画面入力や画面メモ、ｉモードサイト、フルブラウザ、メールを表示したりするときの、文字サイズを変更できます。**

- 文字サイズは次の5種類から選択できます。

最小：12ドット　小：16ドット　中（標準）：20ドット　大：24ドット　最大：28ドット

**1** MENU ▶ 8 2 7 1

一括して設定する：1 ▶ 1〜5

ｉモード／フルブラウザ、メール閲覧を個別に設定する：2 または 3 ▶ 1〜3

メール編集／文字入力を個別に設定する：4 ▶ 1〜5

- を押すとカーソル位置の文字サイズの例が表示されます。

### ✔お知らせ

- 「一括」で設定を行った場合は、電話帳一覧、電話帳検索、電話帳検索結果を表示するときの文字サイズにも反映されます。
- 「一括」で設定を行った場合は、ｉモード／フルブラウザ、メール閲覧、メール編集／文字入力がすべて同じ設定になります。ただし、「最大」「最小」に設定したときには、ｉモード／フルブラウザ、メール閲覧の設定はそれぞれ「大」「小」になります。
- メールの表示中でも文字サイズを変更できます。メールの表示中に変更した文字サイズは本設定のメール閲覧にも反映されます。
- インライン入力時の文字サイズは変更されません。

時計表示設定

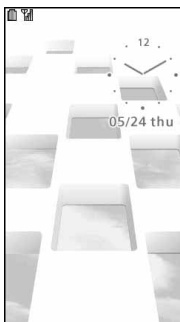
## 時計の表示を設定する

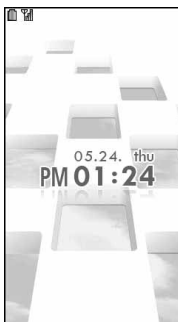
MENU ▶ 8 2 1 2

【お買い上げ時】 デザイン：ON（コーディネイト／きせかえの設定に従う）　形式、表示位置、曜日：コーディネイト／きせかえの設定に従う

**待受画面の時計表示の有無や、時計のデザイン、表示位置を設定できます。また、曜日の表示言語や時刻の表示形式（24時間、12時間）も設定できます。**

- お買い上げ時に登録されている時計デザイン→P495
- 背面ディスプレイには反映されません。

〈時計表示設定の例〉

アナログを上段に表示

デジタル2の時計を上段に表示

デジタル3の時計を中段に12時間表示で表示

世界時計を下段に表示

**1** MENU ▶ 8 7 2 4 ▶ **下記の各項目を選択して設定** ▶ 📖 **［登録］**

**デザイン**：時計を表示するかどうかを設定します。「ON」に設定した場合は時計のデザインを「アナログ」「デジタル1～4」「世界時計」から選択します。
- 「世界時計」に設定すると、左側に日本国内の時刻を、右側に設定したタイムゾーンの時刻と名称を表示します。

**形式**：時計の表示形式を「24時間表示」と「12時間表示」のどちらかに設定します。
**表示位置**：時計を表示する位置を設定します。
**曜日**：曜日の表示を日本語と英語のどちらで表示するかを設定します。
- 「バイリンガルに従う」に設定すると、バイリンガルの設定に従って表示します。

**世界時計**：デザインで「世界時計」を選択したときに、表示するタイムゾーンの設定やサマータイムを有効にするかどうかを設定します。また、タイムゾーンの名称を設定します。
- サマータイムを「ON」に設定すると、設定したタイムゾーンの時刻を1時間進めて表示します。

**✔お知らせ**

- 待受画面以外の画面では、ディスプレイ右上に時刻が表示されます。この表示は、形式で設定した時計の表示形式に従って「24時間表示」または「12時間表示」に変更されます。
- 次の場合は、デザインや表示位置の設定に関わらず、「デジタル1」の時計が表示位置「上」で表示されます。
  - 待受画面に動画／ｉモーション、キャラ電が表示されている場合
  - ｉアプリ待受画面が表示されている場合
- オールロック中、おまかせロック中は、本機能の設定に関わらず時計の表示位置は「上」になります。
- 海外で利用中は、デュアル時計設定に従います。→P479

バイリンガル

## 画面を英語表示に切り替える

【お買い上げ時】 Japanese

**画面表示を日本語か英語のどちらかに切り替えることができます。**

**1**
**✔お知らせ**

- 英語表示に切り替えると、文字入力モードは「半角英字」→「半角数字」→「漢字」→「半角カタカナ」の順に切り替わります。
- バイリンガルの設定は、FOMAカードにも保存されます。FOMAカードを差し替えると、差し替えたFOMAカードに保存されている設定に切り替わります。

# あんしん設定

## 暗証番号について



## 携帯電話の操作や機能を制限する



## 発着信や送受信を制限する



## その他の「あんしん設定」について

# FOMA端末で利用する暗証番号について

**FOMA端末を便利にお使いいただくための各種機能には、暗証番号が必要な場合があります。暗証番号には、各種端末操作用の端末暗証番号の他、ネットワークサービスでお使いになるネットワーク暗証番号、ｉモードパスワードなどがあります。用途ごとに上手に使い分けて、FOMA端末を活用してください。**

- 入力した端末暗証番号やネットワーク暗証番号、ｉモードパスワードなどは「*」で表示されます。

**各種暗証番号に関するご注意**

- 設定する暗証番号は「生年月日」「電話番号の一部」「所在地番号や部屋番号」「1111」「1234」などの他人にわかりやすい番号はお避けください。また、設定した暗証番号はメモを取るなどしてお忘れにならないようお気をつけください。
- 暗証番号は、他人に知られないように十分ご注意ください。万一暗証番号が他人に知られ悪用された場合、その損害については、当社は一切の責任を負いかねます。
- ドコモからお客様の暗証番号をうかがうことは一切ございません。
- 各種暗証番号を忘れてしまった場合や、指紋のみ認証設定を「ON」に設定したときに登録したいずれの指による認証もできない場合は、ご契約者本人であることが確認できる書類（運転免許証など）やFOMA端末、FOMAカードをドコモショップ窓口までご持参いただく必要があります。
  詳細は取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」までご相談ください。

## ❖端末暗証番号

FOMA端末には、設定や解除の際に端末暗証番号の入力が必要な機能があります。お買い上げ時の端末暗証番号は「0000」に設定されていますが、お客様ご自身で番号を変更できます。→P153

- 端末暗証番号入力画面で誤った端末暗証番号を連続5回入力すると、電源が自動的に切れます。誤った端末暗証番号を入力した累積回数は、正しい端末暗証番号を入力したり、新たに端末暗証番号入力画面を表示したりするとクリアされます。
- 指紋設定で登録した指紋を利用するように設定している場合は、端末暗証番号を入力する代わりに指紋認証画面が表示されます。[MENU]を押すと端末暗証番号入力画面に切り替わります。ただし、指紋のみ認証設定を「ON」に設定した場合は、端末暗証番号での認証操作ができなくなります。

## ❖ネットワーク暗証番号

ドコモeサイトでの各種手続き時や各種ネットワークサービスご利用時にお使いいただく数字4桁の番号で、ご契約時に任意の番号を設定いただきますが、お客様ご自身で番号を変更できます。
パソコン向け総合サポートサイト「My DoCoMo」の「DoCoMo ID／パスワード」をお持ちの方は、パソコンから新しいネットワーク暗証番号への変更手続きができます。
なお、ｉモードからは、ドコモeサイト内の「各種手続き」からお客様ご自身で変更ができます。

- 「My DoCoMo」「ドコモeサイト」については、取扱説明書裏面をご覧ください。

## ❖ｉモードパスワード

マイメニューの登録／削除、メッセージサービス、ｉモード有料サービスのお申し込み／解約などを行う際には、4桁の「ｉモードパスワード」が必要です。ご契約時は「0000」に設定されていますが、お客様ご自身で番号を変更できます。→P208
この他にも各IP（情報サービス提供者）が独自にパスワードを設定している場合があります。

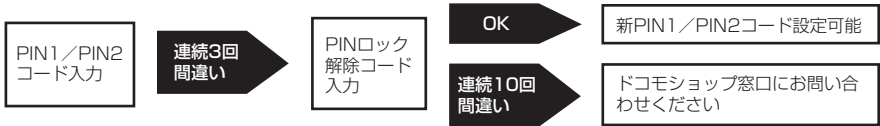
## ❖PIN1コード／PIN2コード

FOMAカードには、PIN1コード、PIN2コードという2つの暗証番号を設定できます。ご契約時はどちらも「0000」に設定されていますが、お客様ご自身で番号を変更できます。→P154
PIN1コードは、第三者によるFOMA端末の無断使用を防ぐため、FOMAカードを取り付けるたび、またはFOMA端末の電源を入れるたびに使用者を確認するために入力する番号（コード）です。PIN1コードを入力することにより、発着信および端末操作ができます。
PIN2コードは、ユーザ証明書利用時や発行申請、積算通話料金リセットを行うとき、通話料金自動リセット設定を変更するときなどに使用する暗証番号です。

- 別のFOMA端末で利用していたFOMAカードを差し替えてお使いになる場合は、以前に設定されたPIN1／PIN2コードをご利用ください。設定を変更されていない場合は、「0000」となります。

## ❖PINロック解除コード

PINロック解除コードは、PIN1コード、PIN2コードがロックされた状態を解除するための数字8桁の番号です。お客様ご自身では変更することができません。

- PINロック解除コードの入力を連続10回間違えると、FOMAカードがロックされます。

### ✔お知らせ

- 指紋認証機能と端末暗証番号を併用する状態でパスワードマネージャーをご利用になる場合は、端末暗証番号を必ず変更してください。変更する端末暗証番号も、電話番号の下4桁などのわかりやすい番号の使用は避け、他人に知られないよう十分ご注意ください。また、設定した暗証番号はメモを取るなどしてお忘れにならないようご注意ください。
  ※ 万一、第三者の不正な使用による不利益があっても、当社は何らの義務を負わないものとし、一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

端末暗証番号変更

# 端末暗証番号を変更する

【お買い上げ時】 0000

**1** MENU ▶ 8 4 6 1 ▶ 認証操作

**2** 新しい端末暗証番号を入力

**3** 新しい暗証番号（確認）の入力欄に操作2で入力した端末暗証番号を入力 ▶ [登録]

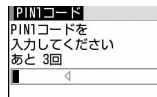
# PINコードを設定する

## ◆電源を入れたときにPIN1コードを入力するかどうかを設定する〈PIN1コードON／OFF〉

【ご契約時】OFF

**1** MENU▶8 4 5 3▶1または2

**2** PIN1コードを入力

- PIN1コードを連続3回間違えると、PIN1コードがロックされます。●を押してPINロック解除コードを入力してください。
- 現在の設定を変更する場合のみPIN1コード入力画面が表示されます。

### ❖PIN1コードON／OFFを「ON」に設定すると

FOMA端末の電源を入れるとPIN1コード入力画面が表示されます。正しいPIN1コードを入力すると、待受画面が表示されますが、正しいPIN1コードを入力しないと、すべての操作ができません。

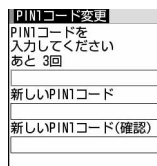
**✔お知らせ**

- アラーム自動電源ON設定を「ON」に設定している場合、目覚ましやスケジュールで指定した日時になると電源がONになり、PIN1コード入力画面が表示される前にアラームが鳴ります。☎を押してアラームを停止させるとPIN1コード入力画面が表示されます。このとき、アラームにダウンロードしたメロディやｉモーション、ミュージックを設定していても、お買い上げ時の設定で動作します。

## ◆PIN1／PIN2コードを変更する

【ご契約時】PIN1／PIN2コード：0000

- PIN1コードを変更するときは、PIN1コードON／OFFを「ON」に設定する必要があります。

**1** MENU▶8 4 5▶1または2▶認証操作▶現在のPIN1／PIN2コードを入力

PIN1コード変更の場合

**2** 新しいPIN1／PIN2コードの入力欄に新しいPIN1／PIN2コードを入力

**3** 新しいPIN1／PIN2コード（確認）の入力欄に操作2で入力したPIN1／PIN2コードを入力▶📖［登録］

- PIN1／PIN2コードを間違えると、認証に失敗した旨のメッセージが表示されます。●を押して正しいPIN1／PIN2コードを入力してください。連続3回間違えると、PINコードがロックされます。●を押してPINロック解除コードを入力してください。

✔お知らせ

- PIN2コードを連続3回間違えてFOMA端末がロックされた場合でも電話やプッシュトークの発着信やメールの送受信などはできますが、PIN1コードを連続3回間違えてFOMA端末がロックされた場合はそれらの操作はできなくなります。

## PINロックを解除する

**PINコード入力画面でPIN1コード、PIN2コードを連続3回間違えると、PINコードがロックされます。その場合は、ロックを解除してから新しいPINコードを設定します。**

- PINロック解除コードはメモに控えるなどしてお忘れにならないようご注意ください。PINロック解除コードを忘れた場合や完全にロックされた場合は、ご契約者本人であることが確認できる書類（運転免許証など）やFOMA端末、FOMAカードをドコモショップ窓口までご持参いただく必要があります。

**1** PINコードロックの確認画面で「OK」を選択▶8桁のPINロック解除コードを入力

PIN1コードのロックを解除する場合

**2** 新しいPIN1／PIN2コードの入力欄に新しいPIN1／PIN2コードを入力

**3** 新しいPIN1／PIN2コード（確認）の入力欄に操作2で入力したPIN1／PIN2コードを入力▶[📖]［登録］

## 指紋認証機能を利用する

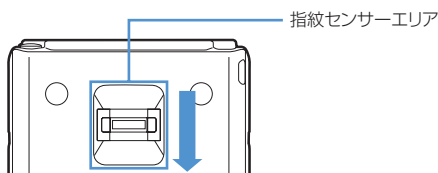
**指紋認証機能を利用すると、指紋センサー上で指をスライドさせるだけで認証を行い、ダイヤルキーで端末暗証番号を入力する操作を省略できます。**

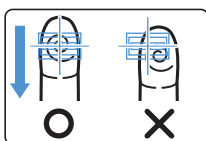
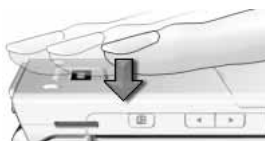
- 指紋認証を設定しても、指紋認証画面で[MENU]を押すと端末暗証番号入力画面に切り替わり、端末暗証番号を入力して認証操作ができます。ただし、指紋のみ認証設定を「ON」に設定した場合は、端末暗証番号での認証操作ができなくなります。
- 指紋認証機能と端末暗証番号を併用してパスワードマネージャーをご利用になる場合は、必ず端末暗証番号を変更してください。
  パスワードマネージャー利用時の注意→P153「FOMA端末で利用する暗証番号について」のお知らせ

## ◆指紋認証機能利用時の留意事項

- 本機能は指紋画像の特徴情報を認証に利用するものです。このため、指紋の特徴情報が少ないお客様の場合は、指紋認証機能が利用できないことがあります。
- 指紋の登録には同じ指で3回の読み取りが必要です。異なる指で登録を行わないでください。
- 認証性能（正しく指をスライドさせた際に指紋が認証される性能）はお客様の使用状況により異なります。指の状態が次のような場合は、指紋の登録が困難になったり、認証性能が低下したりすることがあります。なお、手を洗う、手を拭く、認証する指を変える、手荒れや乾いている場合はクリームを塗るなど、お客様の指の状態に合わせて対処することで、認証性能が改善されることがあります。
  - お風呂上がりなどで指がふやけている
  - 指に汗や脂が多く、指紋の間が埋まっている
  - 手が荒れたり、指に損傷（切傷やただれなど）を負ったりしている
  - 手が極端に乾燥している、乾燥肌である
  - 指が泥や油などで汚れている
  - 太ったりやせたりして指紋が変化した
  - 磨耗して指紋が薄い
  - 登録時に比べ、認証時の指の表面状態が極端に異なる
  - 濡れたり、汗をかいたりしている

図A

図B

- 指紋の登録・認証を行う際には、図Aのように第1関節をセンサー中央に合わせ、指をスライドさせながら指紋センサーに指を接触させ、指紋センサーが見えるまで下の方向へスライドさせてください。また、指は端末と同じ方向に置いてスライドしてください。指を斜めに置いてスライドすると、登録時と認証時の指の位置の違いによる認証失敗の可能性が高くなります。
- スライドが速すぎたり遅すぎたりした場合、正常に認識できないことがあります。表示されるメッセージに従い、スライドの速さを調節してください。
- 指紋センサーエリア（図Bの枠で囲まれている部分）を通過するまで指を動かしてください。

図C

図D

- 親指などでは指紋の渦の中心が大きくずれたりゆがんだりすることがあります。その場合は、登録が困難になったり、認証性能が低下したりすることがあるため、図Cのように指紋の渦の中心を確認し、渦の中心が指紋センサーの中心を通過するように指紋センサー上をスライドさせてください。
- 指紋センサーに指をスライドさせる際には、指を指紋センサーに突き立てるのではなく、図Dのように、指を指紋センサーと平行になるように押し当てながらスライドさせてください。
- 指ごとに指紋が異なるため、必ず利用設定した指で認証操作を行ってください。
- 指紋が正常に読み取れなかったときは、警告メッセージが表示されます。一定時間内に認証されなかったときは、確認メッセージが表示され1つ前の画面に戻ります。
- 指紋センサーに指を置いたまま指紋の登録・認証を開始すると、起動できない旨のメッセージが表示される場合があります。指を離して操作をやり直してください。
- FOMA端末をデスクトップパソコンなどアースを必要とする機器にUSBケーブルで接続するときは、必ず機器のアースが接続されていることを確認してください。アースが接続されていない状態で接続している間は、指紋認証できない場合があります。その場合は、接続する機器の金属部分（筐体や外部接続用コネクタなど）に触れながら指紋認証を行うか、FOMA端末を機器から取り外して指紋認証を行ってください。

- 指紋認証技術は完全な本人認証・照合を保障するものではありません。当社では本製品を使用されたこと、または使用できなかったことによって生じるいかなる損害に関しても、一切責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

## ◆指紋センサーについて

- 次のような場合は、故障および破損の原因となることがあります。
  - 指紋センサー表面をぶつけたり、強い衝撃を与えたりする
  - 指紋センサー表面をひっかいたり、先のとがったものでつついたりする
  - 指紋センサー表面に爪やストラップの金具など硬いものを押し付け、指紋センサー表面にキズが入る
  - 泥などで汚れた手で指紋センサーに触れ、細かい異物などで指紋センサー表面にキズが入る、表面が汚れる
  - 指紋センサーの表面にシールを貼ったり、インクなどで塗りつぶしたりする
- 次のような場合は、指紋の読み取りが困難になったり、認証性能が低下したりすることがあります。指紋センサー表面は時々清掃してください。
  - 指紋センサー表面がほこりや皮脂などで汚れている
  - 指紋センサー表面に汗などの水分が付着している
  - 指紋センサー表面が結露している
- 次のような現象が起きる場合は、指紋センサー表面を清掃してください。現象が改善されることがあります。
  - 「センサー表面の汚れを取り除いてください」というメッセージが表示される
  - 指紋の登録失敗や認証失敗が頻発する
- 指紋センサーを清掃する際には、静電気の起きにくい乾いた柔らかい布で表面の汚れを取り除いてください。長期間の使用によりゴミがたまることがありますが、その場合でも先のとがったもので取り除かないでください。
- 静電気が故障の原因となる場合があります。指紋センサーに指を置く前に金属に手を触れるなどして、静電気を取り除いてください。冬期など乾燥する時期は、特にご注意ください。

## ◆認証に利用する指紋を登録する〈指紋登録〉

- 指紋は最大10件登録できます。

**1** MENU▶8 4 6 2▶認証操作

**2** 📖▶「OK」を選択▶メッセージに従って指紋センサーに指を押し当ててスライド

- 指紋の読み取り中に電話やプッシュトークがかかってきたり、目覚ましやスケジュールで指定した日時になったりした場合、その時点で登録は中止されます。

**3** 登録名を入力▶📖［登録］

- 登録名は、全角で最大10文字、半角で最大20文字入力できます。
- 登録すると認証に利用する指紋データに設定され、登録名の左にが表示されます。

## ◆認証操作を指紋認証のみで行うかどうかを設定する〈指紋のみ認証設定〉

【お買い上げ時】 OFF

- 指紋のみ認証設定を「ON」に設定する場合は、認証に利用する異なる指での指紋データが2件以上必要です。
- 指紋のみ認証設定を「ON」に設定すると、端末暗証番号での認証操作ができなくなります。お客様の使用状況や指の状態、指紋センサーの故障などにより、登録したいずれの指による認証もできない場合は、ご契約者本人であることが確認できる書類（運転免許証など）やFOMA端末、FOMAカードをドコモショップ窓口までご持参いただく必要があります。
- 取り扱いについては、「指紋認証機能利用時の留意事項（→P156）」、「指紋センサーについて（→P157）」をご覧ください。

〈例〉「ON」に設定するとき

**1** MENU ▶ 8 4 6 3 ▶ 認証操作

**2** 1 を押す

解除する：2 を押す

**3** 「OK」を選択 ▶ ✉ ［設定完了］

- 指紋データの登録および利用設定が2件以上されていない場合は、設定完了できません。
指紋登録→P157「認証に利用する指紋を登録する」操作2
利用設定→P158「指紋データを管理する」操作2の「利用設定／解除する」

## ◆指紋認証を行う

**1** 指紋認証画面が表示されたら、指紋センサー上で指をスライド

指紋認証の場合

指紋のみ認証の場合

- 指紋認証を行うときは、利用設定した指で認証操作を行ってください。
- 正しく認証されなかった場合は、指を指紋センサーから離し、もう一度認証操作を行ってください。認証性能が低いときは、指紋を登録し直してください。
- MENU またはダイヤルキーを押すと、端末暗証番号入力画面に切り替わりますが、指紋のみ認証設定を「ON」に設定した場合は表示されません。

**✔お知らせ**

- 指紋認証を連続5回失敗すると、端末暗証番号入力画面が表示されます。指紋のみ認証設定を「ON」に設定しているときに連続5回認証に失敗すると、電源が自動的に切れます。誤った認証操作の累積回数は、正しい認証操作を行ったり、新たに指紋認証画面を表示したりするとクリアされます。

## ◆指紋データを管理する

認証に利用する指紋データの削除や、登録名の変更などを行います。
- 認証に利用する指紋データをすべて利用解除または削除すると、指紋認証機能は利用できなくなります。
- 利用設定されている指紋データは、利用解除してから削除してください。
- 指紋のみ認証設定を「ON」に設定し、認証に利用する指紋データの登録件数が2件以下の場合は、認証に利用する指紋データの利用解除や削除はできません。

〈例〉指紋データを1件削除する

**1** MENU ▶ 8 4 6 2 ▶ 認証操作

**2** 削除する指紋データにカーソルを合わせて MENU ▶ 3 1

- i を押すと、登録した指紋データが確認できます。

利用設定／解除する：利用設定／解除する指紋データを選択
利用設定すると、指紋データには登録名の左に が表示されます。

複数削除する：MENU ▶ 3 2 ▶ 削除する指紋データを選択 ▶ 📖

全件削除する：MENU ▶ 3 3

登録名を編集する：MENU ▶ 4 ▶ 登録名の編集 ▶ 📖

順番を変更する：順番を変更する指紋データにカーソルを合わせて MENU ▶ 5 または 6

## 3 「はい」を選択

# 各種ロック機能について

**FOMA端末を他人に不正に使用されたり、個人情報や電話帳データを見られたりしないように、さまざまなロック機能があります。目的に合わせてご利用ください。**

| ロック機能 | 説　明 | 参照先 |
|---|---|---|
| **オールロック** | 各種メニュー機能の操作などをできないようにして、他人が不正に使用するのを防ぎます。 | P159 |
| **おまかせロック** | 紛失した場合などに第三者に不正に使用されないようロックをかけます。 | P160 |
| **セルフモード設定** | 電話やプッシュトーク、ｉモード、メール、赤外線通信などの通信を必要とするすべての機能を利用できないようにします。 | P161 |
| **パーソナルデータロック** | ｉモードやメール、個人情報などの利用を一時的に制限します。 | P161 |
| **ダイヤル発信制限** | ダイヤルキーを押して電話やプッシュトークをかけられないようにします。 | P162 |
| **プライバシーモード** | 個人情報を利用・表示するときの動作を設定します。 | P163 |
| **着信／受信時動作設定** | 電話帳やプッシュトーク電話帳に登録している相手からの着信時に、名前などを表示するかどうかを設定します。 | P167 |
| **HOLD** | FOMA端末を折り畳んでいるときの[サイドキー]、[サイドキー]、サイドキー［▲▼］の操作を無効にし、誤動作を防ぎます。 | P168 |
| **開閉ロック** | FOMA端末を折り畳むたびに[サイドキー]、[サイドキー]、サイドキー［▲▼］以外のキー操作を無効にし、他人が不正に使用するのを防ぎます。 | P168 |
| **ICカードロック** | ICカード機能を利用できないようにします。 | P308 |
| **電源OFF時ICロック設定** | FOMA端末の電源を切ったときに、すべてのICカード機能を利用できないようにします。 | P309 |

- 複数のロック機能を同時に設定できます。
- おまかせロック以外のロック機能を設定していても、緊急通報（110番、119番、118番）はできます。

オールロック

# 他の人が使用できないようにする

**オールロックを起動すると、各種メニュー機能の操作などができなくなり、他人が不正にFOMA端末を使用するのを防げます。**

**オールロック中に緊急通報（110番、119番、118番）を行うには、待受画面で緊急通報番号を入力して[発信]を押します。**

※ 端末暗証番号入力画面で入力した緊急通報番号は「*」で表示されます。

**■ 指紋認証を設定しているとき**

待受画面で[MENU]を押し、指紋認証画面で緊急通報番号を入力して[発信]を押します。

**■ 指紋のみ認証設定を「ON」に設定しているとき**

待受画面で[MENU][発信]を押し、緊急通報番号を入力して[発信]を押します。

- ICカードロックとオールロックの両方を起動するには、ICカードロック→オールロックの順に起動してください。→P308
- microSDメモリーカードやFOMAカードにはロックはかかりません。

## 1 [MENU]▶[8][4][1][2]▶認証操作

待受画面に「オールロック中」と表示されます。

解除する：**待受画面で端末暗証番号を入力**

- 指紋認証を設定している場合は、[MENU]を押してから認証操作を行います。

✔**お知らせ**

- オールロック中は、プッシュトークの着信が拒否され相手には話中音が流れます。オールロックを解除すると、着信履歴に表示されます。
- オールロック中は、待受画面を設定していてもお買い上げ時の画像が表示されます。
- オールロック中は、開閉ロックを「ON」に設定していても、オールロックが優先されます。
- オールロック中は、指定した日時になっても目覚ましやスケジュールアラームは動作しません。また、ワンセグの視聴予約による起動もしません。
- オールロック中でも次の機能は利用できます。
  - 音声電話やテレビ電話を受ける操作※1
  - 電話帳お預かりサービスの自動更新
  - ｉモードメールやメッセージR/F、SMSの受信※2
  - おまかせロックの起動
  - 読み取り機からのトルカの取得
  - GPSの位置提供の要求を受けたときの操作※3

  ※1　電話帳に登録している相手の名前や画像は表示されず、電話番号のみ表示されます。また、着信時の着信画像や着信音などはお買い上げ時の状態に戻り、テレビ電話の代替画像は標準画像（カメラオフ）になります。着もじは受信できますが着信画面には表示されません。オールロックを解除すると、着信履歴に表示されます。
  ※2　着信時や受信時の動作はしません。
  ※3　位置提供の要求者IDが電話帳データと一致しても、要求者名は表示されません。

おまかせロック

# おまかせロックを利用する

**FOMA端末を紛失した場合などに、ドコモにご連絡いただくか、またはMy DoCoMoからの操作により遠隔操作でFOMA端末にロックをかけるサービスです。お客様の大切なプライバシーとおサイフケータイを、不正に使用されないように守ります。お客様からのお申し出などによりロックを解除することができます。**

※ おまかせロックは有料サービスです。ただし、ご利用の一時中断と同時、もしくは一時中断中に申し込まれた場合は無料になります。

おまかせロックの設定／解除
**0120-524-360　受付時間　24時間**
※ パソコンなどでMy DoCoMoのサイトからも設定／解除ができます。

- おまかせロックのご利用方法／料金などの詳細については『ご利用ガイドブック（手続き・アフターサービス編）』をご覧いただくか、取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。

## ❖おまかせロックを起動すると

待受画面に「おまかせロック中です」と表示されます。

- 電源を入れる／切る操作や、音声電話やテレビ電話を受ける操作、GPSの位置提供の要求を受けたときの操作以外のキー操作ができなくなるほか、ICカード機能も使用することができなくなります。ただし、microSDメモリーカードやFOMAカードにはロックはかかりません。

✔**お知らせ**

- 音声電話やテレビ電話の着信はしますが、電話帳に登録している相手の名前や画像は表示されず、電話番号が表示されます。また、着信時の着信画像や着信音などはお買い上げ時の状態に戻り、テレビ電話の代替画像は標準画像（カメラオフ）になります。おまかせロックを解除すると設定は元の状態に戻ります。
- おまかせロック中にプッシュトークがかかってきたときは、着信が拒否され、相手に話中音が流れますが、着信履歴には不在着信として記録されます。
- おまかせロック中は、着もじは受信できますが着信画面には表示されません。おまかせロックを解除すると、着信履歴に表示されます。
- GPSの位置提供の要求者IDが電話帳データと一致しても、要求者名は表示されません。
- おまかせロック中に受信したメールは、メールセンターに保存されます。
- 他の機能が起動中におまかせロックを起動した場合は、起動中の各機能を終了します（編集中のデータがあるときには、編集中のデータを保存せずに、終了する場合があります）。
- 各種ロック機能を設定中でも、おまかせロックが優先されます。

- FOMA端末を紛失したときに電源が入っていない場合や圏外、セルフモード中は、おまかせロックがかかりません。
- デュアルネットワークサービスをご契約のお客様が、movaサービスをご利用中の場合はおまかせロックがかかりません。
- おまかせロックはFOMA端末に挿入されているFOMAカードのご契約者本人からのお申し出によりロックをかけるサービスのため、ご契約者本人とFOMA端末を所持しているお客様が異なる場合でも、ご契約者本人からのお申し出がある場合は、おまかせロックがかかります。
- おまかせロックは、お客様がご契約中のFOMAカードが挿入されているFOMA端末に対してロックをかけるサービスです。
- おまかせロックの解除は、おまかせロックをかけたときと同じ電話番号のFOMAカードをFOMA端末に挿入している場合のみ行うことができます。万一解除できない場合は、取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。

セルフモード設定

## 発信や着信ができないようにする

MENU ▶ 8 5 8

【お買い上げ時】 OFF

**電話やプッシュトーク、ｉモード、メール、赤外線通信などの通信を必要とするすべての機能を利用できないようにします。**

### 1 chクリア（1秒以上）▶「はい」を選択

待受画面にselfが表示されます。FOMA端末を折り畳んでいるときは、背面ディスプレイにselfが表示されます。

解除する：chクリア（1秒以上）▶「はい」を選択

✔お知らせ

- セルフモード中は、次の機能が利用できません。
  - 電話やプッシュトークの発着信
  - ｉモード、メールの送受信
  - 読み取り機からのトルカ取得
  - GPS（現在地通知一覧への通知先の登録や編集、削除含む）
  - 赤外線通信／iC通信や赤外線リモコン
  - パソコンと接続したデータ送受信
- セルフモード中に電話がかかってきたときは、相手には電波が届かないか電源が入っていない旨のガイダンスが流れます。留守番電話サービス、転送でんわサービスは利用できます。
- セルフモード中にプッシュトークがかかってきたときは、着信が拒否され、相手に話中音が流れます。
- セルフモード中に受信したｉモードメールやメッセージR/FはｉモードセンターにSMSはSMSセンターに保管されます。受信する場合は、セルフモードを解除してからｉモード問合せ、SMS問合せを行ってください。
- セルフモード中に緊急通報（110番、119番、118番）を行うと、セルフモードは解除されます。

パーソナルデータロック

## 個人情報などを利用できないようにする

【お買い上げ時】 OFF

**ｉモードやメール、個人情報などの利用を一時的に制限します。**

- メモリ登録外着信拒否を「ON」に設定しているときは、本機能は起動できません。
- パーソナルデータロック中の発着信は記録されます。リダイヤルや着信履歴からの発信はできます。

### 1 MENU ▶ 8 4 1 3 ▶ 認証操作 ▶ 1 または 2

「ON」に設定すると待受画面にが表示されます。

### ❖パーソナルデータロックを起動すると

次の操作（すべて、または一部の設定）が利用できなくなります。ただし、microSDメモリーカードやFOMAカードにはロックはかかりません。

- メール※1、チャットメール※1、SMS※1
- ｉモード※1、ｉモード問合せ※1、メッセージR/F※1、ｉチャネル、フルブラウザ
- ｉアプリ
- 電話帳、プッシュトーク電話帳、伝言メモ／音声メモ（動画メモ）、メール送受信履歴※2
- マイピクチャ、ミュージック、ｉモーション、メロディ、マイドキュメント、キャラ電、きせかえツール、その他（Word、Excel、PowerPointファイル）
- バーコードリーダー、赤外線・iC・PC連携※3、トルカ、ICカード一覧、microSD、カメラ、サウンドレコーダー、電話帳お預かりサービス、GPS※4
- スケジュール帳、メモ帳、目覚まし
- コーディネイト／きせかえ、スキャン機能、電話発着信設定、発番号なし動作設定、イヤホンスイッチ設定（イヤホンスイッチ発信）、メモリ着信拒否／許可、テレビ電話発信設定、テレビ電話着信設定、テレビ電話画像選択、プッシュトーク着信設定、ソフトウェア更新、通話料金上限通知、各種設定リセット、データ一括削除、2in1設定、着もじ※5
- ワンセグ、ミュージックプレイヤー
- プロフィール情報

※1 自動受信はできますが、受信中および受信結果の画面表示や着信音の鳴動などの受信時の動作はしません。また、メール送受信履歴からのメール作成はできません。
※2 電話帳に登録している相手の名前や画像は表示されず、メールアドレスのみ表示されます。
※3 赤外線通信／iC通信、USB接続によるデータの送受信はできません。
※4 位置提供の要求を受けたときの操作はできます。
※5 受信できますが、着信画面には表示されません。パーソナルデータロックを解除すると、着信履歴に表示されます。

#### ✔お知らせ

- 電話帳やプッシュトーク電話帳に登録している相手の電話発着信時は、相手の名前や画像は表示されず、電話番号のみ表示されます。
- 伝言メモ起動中でも、待受画面に[icon]は表示されず、未再生の伝言メモのマークも表示されません。
- パーソナルデータロックの対象となっているデータを待受画面や着信音などに設定していると、パーソナルデータロック中はお買い上げ時の状態に戻ります（メニュー設定のノーマルが「きせかえツールに従う」に設定されている場合は、タイルアイコンになります）。パーソナルデータロックを解除すると、設定は元の状態に戻ります。ただし、「プリインストール」フォルダ内のデータを設定している場合は、パーソナルデータロック中でも設定は変更されません。
- パーソナルデータロック中のテレビ電話の代替画像は標準画像（カメラオフ）になります。
- GPSの位置提供の要求者IDが電話帳データと一致しても、要求者名は表示されません。
- セレクトメニューでは、起動が制限されている機能や人物のアイコンが[icon]に変わり、人物名は「＊＊＊」で表示されます。

ダイヤル発信制限

## ダイヤル発信を禁止する

【お買い上げ時】 OFF

**電話帳を利用する以外の方法では、電話やプッシュトークを発信できないように設定します。**

**1** MENU ▶ 8 4 1 5 ▶ 認証操作 ▶ 1 または 2

「ON」に設定すると待受画面に[icon]が表示されます。

### ❖ダイヤル発信制限を起動すると

次の操作ができなくなります。
- リダイヤルや着信履歴からの発信※1
- 電話帳とプッシュトーク電話帳の修正、登録、削除、グループ設定
- プロフィール情報の修正、リセット
- Phone To（AV Phone To）、Mail To機能
- 外部機器との電話帳データやプロフィール情報の送受信
- メールやチャットメール※1、SMSの送信※1、メール送受信履歴からの送信※1、テンプレート読込み
- GPSの現在地通知※2
- ダイヤル入力操作によるネットワークサービスの利用
- パソコンとつないだパケット通信

※1 電話帳に登録している相手への発信や送信はできます。
※2 登録した通知先への通知はできますが、通知先一覧への通知先の登録や編集、削除はできません。

プライバシーモード

# 個人情報を利用・表示するときの動作を設定する

**電話帳などの個人情報を利用するたびに認証操作が必要になるように設定したり、シークレット属性を設定した電話帳やスケジュール、シークレット属性を設定した相手からの着信や送受信メールなどを表示しないように設定したりできます。**

- プライバシーモードの項目と設定内容は次のとおりです。

○：設定あり　－：設定なし

| 項目 | 設定内容 | | |
|---|---|---|---|
| | 表示する | 認証後に表示 | 指定電話帳非表示・指定フォルダを非表示・指定スケジュール非表示 |
| 電話帳・履歴 | ○ | ○ | ○※ |
| メール・履歴 | ○ | ○ | ○※ |
| マイピクチャ | ○ | ○ | － |
| ｉモーション | ○ | ○ | － |
| スケジュール | ○ | ○ | ○※ |
| ｉアプリ | ○ | ○ | － |
| 位置履歴（GPS） | ○ | ○ | － |

※ シークレット属性の設定が必要です。電話帳→P113、メール→P257、スケジュール→P427

- プライバシーモードの設定を有効にするには、プライバシーモードを起動する必要があります。自動的に起動するようにも設定できます。
- 電話帳データのシークレット属性の変更や電話帳データを編集した後にシークレット反映をしなかった場合、プライバシーモードを起動しても、変更や編集した電話帳データのメールやSMSは非表示になりません。非表示にするにはシークレット反映を実行してください。→P167

## ◆プライバシーモードの動作を設定する

【お買い上げ時】 電話帳・履歴：指定電話帳非表示　メール・履歴、マイピクチャ、ｉモーション、ｉアプリ、位置履歴（GPS）：表示する　スケジュール：指定スケジュール非表示　プライバシー新着通知、自動起動：OFF

**1** MENU ▶ 8 4 2 1 ▶ 認証操作 ▶ 下記の各項目を選択して設定 ▶ 📖 ▶「OK」を選択

**電話帳・履歴**：電話帳、プッシュトーク電話帳などを利用するとき、認証操作を行うかどうかを設定します。
- 「指定電話帳非表示」に設定すると、シークレット属性を設定した電話帳データやグループ（グループ内の電話帳データを含む）、シークレット属性を設定した相手が対象のリダイヤル、着信履歴、メールやSMSなどの表示をしません。また、シークレット属性を設定した相手からのメールやSMSの受信はしますが、画面や着信音でのお知らせをしません。プライバシー新着通知を設定すると、電池アイコンで新着情報があることを確認できます。

**メール・履歴**：メールやメール送受信履歴などを利用するとき、認証操作を行うかどうかを設定します。
- 「指定フォルダを非表示」に設定すると、シークレット属性を設定したフォルダを表示しません。また、シークレット属性を設定したフォルダに振り分けされるように設定した相手からのメールを受信した場合、画面や着信音でのお知らせをしません。プライバシー新着通知を設定すると、電池アイコンで新着情報があることを確認できます。

**ｉモーション**：ｉモーションを利用するとき、認証操作を行うかどうかを設定します。

**マイピクチャ**：マイピクチャを利用するとき、認証操作を行うかどうかを設定します。

**スケジュール**：スケジュールやワンセグの視聴予約を利用するとき、認証操作を行うかどうかを設定します。
- 「指定スケジュール非表示」に設定すると、シークレット属性を設定したスケジュールを表示しません。

**ｉアプリ**：ｉアプリを利用するとき、認証操作を行うかどうかを設定します。

**位置履歴（GPS）**：GPSの位置履歴を利用するとき、認証操作を行うかどうかを設定します。

**プライバシー新着通知**：シークレット属性を設定した電話帳の相手から電話がかかってきたり、メールを受信したりした場合、シークレット属性を設定したフォルダに振り分けされるように設定した相手からのメールを受信した場合に電池アイコンの種類を変えて新着情報があることをお知らせするかどうかを設定します。表示させる電池アイコンを選択するか、「OFF」を選択します。

**自動起動**：待受画面表示中に何も操作しなかった場合、プライバシーモードが自動起動するまでの時間を設定します。「OFF」「操作なし5分後」「操作なし15分後」「操作なし30分後」から選択します。

## ◆プライバシーモードを起動する

### 1 （1秒以上）

解除する：（1秒以上）▶**認証操作**
- プライバシーモード設定で自動起動を「OFF」以外に設定したときは、待受画面表示中に設定した時間が経過すると自動的にプライバシーモードが起動します。

### ❖プライバシーモードを起動すると

プライバシーモードを設定すると、個人情報を利用するたびに認証操作を必要としたり、シークレット属性を設定したデータを非表示にしたりするだけでなく、項目によって設定した内容により次のような制限があります。

〈ｉアプリ以外：「認証後に表示」〉
- 利用できないｉアプリ（メール・履歴を「認証後に表示」に設定した場合を除く）またはｉアプリDXがあります。

〈電話帳・履歴またはメール・履歴：「表示する」以外〉
- メールグループの表示やメール振り分け、チャットメールの起動をするには、認証操作が必要です。

〈電話帳・履歴：「認証後に表示」〉
- リダイヤル、着信履歴、伝言メモ、音声メモを利用するには、認証操作が必要です。
- 発着信時に電話帳やプッシュトーク電話帳に登録している名前や画像は表示されず、電話番号またはメールアドレスのみ表示されます。電話帳に設定している着信音やバイブレータ、テレビ電話代替画像なども動作せず、FOMA端末の設定に従って動作します。また、電話帳に登録している相手からの着信でも、呼出動作開始時間設定が動作します。
- 待受カスタマイズの新着情報エリアに、不在着信一覧、伝言メモ一覧は表示されません。
- メールやメール送受信履歴などでは、電話帳に登録している名前は表示されず、メールアドレスが表示されます。
- ワンショットメールで、通話相手のメールアドレスを電話帳に登録していても、相手のメールアドレスは宛先に入力されません。
- GPSの位置提供の要求者IDが電話帳データと一致しても、要求者名は表示されません。また、測位した履歴は位置履歴に表示されますが、位置履歴詳細画面に要求者名は表示されません。
- スケジュール帳のメンバーリスト一覧で、メンバーの名前が表示されません。
- セレクトメニューで人物を登録している場合は、人物の選択ができません。アイコンがに変わり、人物名は「＊＊＊」で表示されます。
- イヤホンスイッチ設定の電話帳メモリ番号を設定していても、イヤホンスイッチ発信はできません。

〈電話帳・履歴：「指定電話帳非表示」〉
- シークレット属性を設定した相手が対象の新着情報は表示しません。また、リダイヤル※1や着信履歴※1、2、伝言メモ、通話中音声メモ、受信／送信／未送信BOX一覧、メール送受信履歴での表示をしません。
- 待受カスタマイズの新着情報エリアに、シークレット属性を設定した相手が対象の未読メール一覧、不在着信一覧、伝言メモ一覧は表示されません。
- シークレット属性を設定した電話帳データに登録した画像または動画／ｉモーション、バイブレータなどの着信時の動作は、端末設定に従います。また、着信画面には名前は表示されず、電話番号が表示されます。
- GPSの位置提供の要求者IDがシークレット属性を設定した電話帳データと一致した場合は、要求者名は表示されません。また、測位した履歴が位置履歴に表示されません。
- スケジュール帳のメンバーリスト一覧で、シークレット属性を設定した電話帳データのメンバーの名前が表示されません。
- セレクトメニューで、シークレット属性を設定した電話帳データの人物が表示されません。
- イヤホンスイッチ設定の電話帳メモリ番号に、シークレット属性を設定した電話帳データを設定している場合、イヤホンスイッチ発信はできません。

※1 プッシュトークのグループ発着信の場合、シークレット属性を設定したメンバーは表示されません。
※2 プッシュトークのグループ着信の場合、シークレット属性を設定した相手からの着信履歴は表示されません。

〈メール・履歴：「認証後に表示」〉
- 待受カスタマイズの新着情報エリアに、未読メール一覧は表示されません。
- 電話帳やスケジュール帳からメールを検索したり、メール送受信履歴の表示やメール連動型ｉアプリのダウンロードやバージョンアップ、削除をしたりする場合は、認証操作が必要です。

〈メール・履歴：「指定フォルダを非表示」〉
- シークレット属性を設定したフォルダに振り分けされるように設定した相手からのメールを送受信した場合、新着情報やメール送受信履歴での表示をしません。
- 待受カスタマイズの新着情報エリアに、シークレット属性を設定したフォルダに振り分けされるように設定した相手からのメールを未読メール一覧に表示しません。
- メール連動型ｉアプリをダウンロードし、メール連動型ｉアプリに対応した受信メールがシークレット属性を設定したフォルダに保存されていた場合は、自動的に作成されたフォルダに受信メールを振り分けられません。

〈マイピクチャまたはｉモーション：「認証後に表示」〉
- 着信音や発着信画像に「プリインストール」フォルダ以外の音や画像を設定している場合は、お買い上げ時の設定で動作します。ただし、「プリインストール」フォルダの音や画像を設定している機能がある場合は、着信音や発着信画像の優先順位に従って動作します。
- 待受画面に「プリインストール」フォルダ以外の画像を設定している場合は、プライバシーモード中でも設定した画像や動画／ｉモーションが表示されます。画像をランダムに表示するように設定している場合も同様です。
- 各機能の設定でマイピクチャまたはｉモーションのデータを利用する場合は、認証操作が必要です。また、機能によっては非表示に設定している項目は、プライバシーモード解除後に反映される旨のメッセージが表示されます。

〈マイピクチャ：「認証後に表示」〉
- スケジュールに「プリインストール」フォルダ以外の画像を設定している場合は、お買い上げ時の設定で動作します。
- 静止画撮影や動画撮影でフレームを重ねて撮影できません。
- メール作成中のデコメピクチャ一覧やデコメ絵文字一覧に「デコメピクチャ」「デコメ絵文字」フォルダ以外の画像は表示されません。
- FOMA端末電話帳のデータをmicroSDメモリーカードにコピー、バックアップした場合、FOMA端末電話帳に設定された静止画はコピー、バックアップされません。

〈ｉモーション：「認証後に表示」〉
- 目覚ましやスケジュールに「プリインストール」フォルダ以外の動画／ｉモーションを設定している場合は、アラーム音の目覚まし音やスケジュール音の設定で動作します。これらの設定でも「プリインストール」フォルダ以外の動画／ｉモーションを設定している場合は、お買い上げ時の設定で動作します。

〈スケジュール：「表示する」以外〉
- 待受カスタマイズのカレンダーで、スケジュールが設定されていることを示す日付の右上の赤いマークは表示されません。

〈スケジュール：「認証後に表示」〉
- 待受カスタマイズのスケジュールエリアは表示されません。

- 待受カスタマイズのカレンダーで、スケジュールの休日設定で休日にした日は赤で表示されず、お買い上げ時の表示に戻ります。
- 設定した日時になってもスケジュールアラーム（ワンセグの開始通知含む）は鳴りません。

〈スケジュール：「指定スケジュール非表示」〉
- 設定した日時になっても、シークレット属性のスケジュールのアラームは鳴りません。
- 待受カスタマイズのスケジュールエリアに、シークレット属性のスケジュールは表示されません。

〈ｉアプリ：「認証後に表示」〉
- メール連動型ｉアプリ用のメールフォルダを選択したり、ｉアプリをダウンロードしたりする場合は、認証操作が必要です。
- 待受画面設定でｉアプリを待受画面に設定する場合は、認証操作が必要です。また、非表示に設定している項目はプライバシーモード解除後に反映される旨のメッセージが表示されます。

**✔お知らせ**
- プライバシー新着通知と自動起動以外のすべての項目を「表示する」に設定した場合、プライバシーモードは起動しません。すでにプライバシーモードを起動していた場合には、自動的に解除されます。
- プライバシーモード中にデータ一括削除や各種データの全件削除などを行った場合は、非表示のデータも削除されます。
- プライバシーモード中に、プライバシーモード設定の電話帳・履歴を「表示する」または「認証後に表示」から、「指定電話帳非表示」に変更した場合、メールへのプライバシーを反映するために、シークレット反映を行うよううながす旨のメッセージが表示されます。
- プライバシーモードの設定によっては、プライバシーモード中にｉアプリからメールやスケジュール（ワンセグの視聴予約含む）を利用したり、マイピクチャにデータを保存したりすると、指定された機能が実行できない旨のメッセージが表示される場合があります。
- プライバシーモード中、「認証後に表示」に設定した機能を利用するときは、一度認証操作を行うと待受画面に戻るまで認証操作は不要です。「認証後に表示」に設定した複数の機能を利用する場合も同様です。
〈例〉プライバシーモード中（電話帳・履歴、マイピクチャを「認証後に表示」に設定した場合）にマイピクチャに保存している画像をメールで送信する場合、マイピクチャを表示するときに認証操作を行うため、メール作成画面で電話帳を表示するときは、認証操作は不要です。

## ◆プライバシーモードを一時解除する

プライバシーモード中に、一時的にプライバシー状態を解除して非表示のデータを表示できます。待受画面に戻るまで一時解除は有効です。

### 1 一時解除する画面で[ch クリア]（1秒以上）▶認証操作

- 一時的に解除できる画面は次のとおりです。

| 項目：設定内容 | 一時解除できる画面 |
|---|---|
| 電話帳・履歴：<br>「表示する」以外 | • 受信／送信／未送信フォルダ一覧画面、受信／送信／未送信メール一覧画面、移動先フォルダ選択画面、メール送受信履歴一覧画面、メール送受信履歴の複数削除画面<br>• GPSの位置履歴一覧画面、位置履歴複数削除画面 |
| 電話帳・履歴：<br>「指定電話帳非表示」 | • リダイヤルや着信履歴一覧画面<br>• 電話帳のグループ検索、検索結果画面、メモリ番号入替え先選択画面、データバックアップの電話帳データやグループの選択画面、他の機能から電話帳を参照した画面、音声メモ一覧画面、伝言メモ一覧画面、電話帳2in1設定の電話帳選択画面<br>• プッシュトーク電話帳のメンバー一覧画面、グループ一覧画面、グループメンバー一覧画面、グループメンバー編集画面、他の機能からプッシュトーク電話帳を参照した画面<br>• スケジュールのメンバーリスト一覧画面、メンバーリスト選択画面<br>• セレクトメニュー画面 |
| メール・履歴：<br>「指定フォルダを非表示」 | • 受信／送信／未送信フォルダ一覧画面、受信／送信／未送信メール一覧画面、移動先フォルダ選択画面、メール送受信履歴一覧画面、メール送受信履歴の複数削除画面 |
| マイピクチャ：<br>「認証後に表示」 | • メール作成中の絵文字D一覧画面とデコメピクチャ一覧画面 |

| 項目：設定内容 | 一時解除できる画面 |
| --- | --- |
| スケジュール：「指定スケジュール非表示」 | • カレンダー画面、デイリービュー画面、登録件数確認画面 |

### ◆宛先、発信元がシークレット属性の電話帳データのメールを非表示にする〈シークレット反映〉

電話帳データのシークレット属性を変更したときや、データ通信などで本FOMA端末にメールを保存した場合などにシークレット反映を実行すると、シークレット属性が設定された電話帳データの電話番号またはメールアドレスと、宛先または発信元が一致したメールやSMSに、シークレット属性が設定できます。
- シークレット属性を設定したメールやSMSは、プライバシーモード中（電話帳・履歴を「指定電話帳非表示」に設定した場合）に非表示となります。

**1** MENU▶8 4 2 2▶認証操作▶「はい」を選択

✔お知らせ
- 電話帳データのシークレット属性の変更や電話帳データを編集した後にシークレット反映をしなかった場合、プライバシーモードを起動しても、変更や編集した電話帳データのメールやSMSは非表示になりません。
- シークレット属性に設定されるメールやSMSは次のとおりです。
  - 宛先（TO、CC、BCC）に登録されている電話帳データにシークレット属性が設定されている送信済メールやSMS
  - 宛先（TO、CC、BCC）に登録されている電話帳データにシークレット属性が設定されている未送信メールやSMS
  - シークレット属性が設定されている電話帳データが発信元である受信メールやSMS
- シークレット反映中はディスプレイ上部に が表示され、データ転送モード中（圏外と同じ状態）になるため、通話、ｉモード、データ通信などはできません。また、MULTIを押して他の機能に切り替えることもできません。
- シークレット属性が設定されている電話帳データを外部から取り込んだり、電話帳データにシークレット属性を設定したりした場合に待受画面に戻ると、電話帳のシークレット属性をメールに反映するかどうかの確認画面が表示されます。「はい」を選択するとシークレット反映を実行します。プライバシーモードを起動していない場合は、プライバシーモードの設定をうながす旨のメッセージが表示されます。
- 2in1がONのときは、2in1のモードや電話帳2in1設定に関わらず、シークレット属性が設定されます。
- 次の場合にシークレット反映を実行すると、これらのデータが対象のメールやSMSに設定されていたシークレット属性は解除されます。
  - 電話帳データのシークレット属性の解除をしたとき
  - シークレット属性を設定した電話帳データを変更したとき（変更前の電話番号またはメールアドレスが対象）
  - シークレット属性を設定した電話帳データを削除したとき（電話帳データの電話番号またはメールアドレスの削除含む）

着信／受信時動作設定

## 電話やメールの着信時に名前などを表示しないようにする

【お買い上げ時】 電話着信時動作、メール受信時動作：プライバシーモードに従う

**電話帳やプッシュトーク電話帳に登録している相手からの着信時に、名前などを表示するかどうかを設定します。**
- パーソナルデータロックの設定よりも本機能の設定が優先されます。
- 「プライバシーモードに従う」以外に設定した場合、プライバシーモード中（電話帳・履歴を「指定電話帳非表示」に設定した場合）の着信時や受信時の動作は、本機能の設定が優先されます。
- 電話着信時動作を「名前のみ」、「名前＋電話番号」に設定した場合、プライバシーモード中（電話帳・履歴を「認証後に表示」または「指定電話帳非表示」に設定した場合）の着信時の着信音、バイブレータ、ランプ、電話帳に登録されている画像の動作は電話帳の登録に従います。

**1** MENU▶8 4 4▶認証操作▶下記の各項目を選択して設定▶📖［登録］

**電話着信時動作**：音声電話やテレビ電話着信時、プッシュトーク着信時（通信中含む）に名前と電話番号を表示するかどうかを設定します。
- 「プライバシーモードに従う」に設定すると、プライバシーモード中（電話帳・履歴が「認証後に表示」または「指定電話帳非表示」に設定した場合）に名前は表示されません。
- 「名前＋電話番号」に設定すると、音声電話やテレビ電話の着信時は、電話番号と名前を表示します。ただし、プッシュトーク着信時（通信中含む）は、名前のみ表示されます。

**メール受信時動作**：メール受信時の受信結果の表示方法を設定します。
- 「プライバシーモードに従う」に設定すると、プライバシーモード中（電話帳・履歴が「認証後に表示」または「指定電話帳非表示」に設定した場合）に名前は表示されません。また、プライバシーモード中（メール・履歴を「認証後に表示」に設定した場合）は受信結果テロップにはメールを受信した旨のメッセージのみ表示されます。
- 「受信通知のみ」に設定すると、受信結果テロップにはメールを受信した旨のメッセージのみ表示されます。
- 「テロップなし」に設定すると、受信結果テロップは表示されません。

HOLD

## サイドキーの誤動作を防止する

**FOMA端末を折り畳んでいるときの、、サイドキー［▲▼］の操作を無効にし、かばんなどに入れて持ち歩く際の誤動作を防ぎます。**

### 1 MENU（1秒以上）

待受画面にが表示されます。

解除する：MENU（1秒以上）

**✔お知らせ**

- HOLD中でも、背面ディスプレイの表示、クイック伝言メモの起動、着信音の停止、着信中のバイブレータの停止はできます。

開閉ロック

## FOMA端末を折り畳むたびにキーをロックする

**開閉ロックを「ON」に設定しておくと、FOMA端末を折り畳むたびに、、サイドキー［▲▼］以外のキーがロックされます。解除しても開くたびに認証操作が必要なので、他人が不正にFOMA端末を使用するのを防げます。**

**開閉ロック中に緊急通報（110番、119番、118番）を行うには、端末暗証番号入力画面または待受画面、開閉ロック中画面で緊急通報番号を入力してを押します。**

※ 端末暗証番号入力画面で入力した緊急通報番号は「*」で表示されます。

**■ 指紋認証を設定しているとき**

指紋認証画面で緊急通報番号を入力してを押します。待受画面または開閉ロック中画面が表示されたときは、MENUまたはMULTIを押すと緊急通報ができます。

**■ 指紋のみ認証設定を「ON」に設定しているとき**

指紋認証画面でを押し、緊急通報番号を入力してを押します。待受画面または開閉ロック中画面が表示されたときは、MENUまたはMULTIを押すと緊急通報ができます。

- FOMA端末が次の状態の場合は、開閉ロックがかかりません。
  - 通話中やプッシュトーク通信中※
  - メロディ再生中※
  - GPSで位置提供中※
  - 赤外線通信／iC通信中
  - スケジュールアラーム、目覚まし、お知らせタイマー鳴動中（スヌーズ中、停止中、カウントダウン中を含む）
  - ソフトウェア更新中
  - ワンセグ視聴中※、ミュージックプレイヤー起動中※

  ※ FOMA端末を折り畳んでいる状態で動作が終了した場合は、開閉ロックがかかります。

## ◆開閉ロックを「ON」に設定する

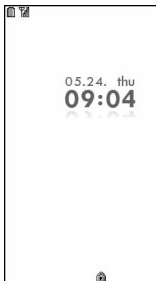
【お買い上げ時】 開閉ロック：OFF

**1** MENU▶8 4 1 1▶認証操作▶下記の各項目を選択して設定▶📖［登録］

**開閉ロック**：開閉ロックを自動起動するかどうかを設定します。
**ロック起動時間**：FOMA端末を折り畳んでから自動起動するまでの時間を、「閉じた直後」「閉じてから5秒後」「閉じてから15秒後」「閉じてから1分後」のいずれかに設定します。

### ❖開閉ロックが起動すると

FOMA端末を折り畳むたびに、ロック起動時間で設定した時間に従って開閉ロックが起動し、、、サイドキー［▲▼］以外のキーがロックされます。ただし、サイドキー［▲］を押しても伝言メモ、音声メモ、動画メモは動作しません。

- 解除するときは、FOMA端末を開いて認証操作を行います。次の画面が表示されたときは、端末暗証番号を直接入力するか、MENUまたはMULTIを押して認証操作を行います。

待受画面で開閉ロックを起動した場合の待受画面

待受画面以外で開閉ロックを起動した場合の開閉ロック中画面

### ✔お知らせ

- 開閉ロック中でも、平型スイッチ付イヤホンマイク（別売）のスイッチを押して電話をかけられます。
- 開閉ロックを「ON」に設定しているときに電源を入れ直すと、開閉ロックが起動します。また、おまかせロックが起動したときは、おまかせロックを解除した後に開閉ロックが起動します。
- 開閉ロック中でも次の機能は利用できます。
  - 電源を入れる／切る操作
  - 音声電話やテレビ電話、プッシュトークを受ける操作
  - 電話帳お預かりサービスの自動更新
  - 待受カスタマイズの表示と非表示の切り替え操作
  - ｉモードメールやメッセージR/F、SMSの受信※
  - おまかせロックの起動
  - 読み取り機からのトルカの取得
  - GPSの位置提供の要求を受けたときの操作

  ※ 受信中および受信結果の画面表示や着信音の鳴動などの受信時の動作はしません。

## ◆開閉ロックの起動をランプで知らせる〈セキュリティランプ設定〉

【お買い上げ時】 ON

開閉ロックの状態を、ランプでお知らせするかどうかを設定します。

**1** MENU▶8 4 3▶認証操作▶1または2

### ❖セキュリティランプを設定すると

FOMA端末を折り畳むと、ランプが青色で約3秒間点滅します。また、ランプが赤色で約3秒間点滅したときは、開閉ロックが起動しなかったことを示します。

- 開閉ロックのロック起動時間で「閉じてから5秒後」「閉じてから15秒後」「閉じてから1分後」のいずれかに設定している場合、FOMA端末を折り畳むとランプが赤色で約3秒間点滅し、設定した時間になるとランプが青色で約3秒間点滅して、開閉ロックが起動したことをお知らせします。

# 指定した電話番号からの着信を許可／拒否する

**FOMA端末電話帳に登録されている電話番号ごとに、着信の許可／拒否を設定します。**

- 本機能を利用するには、電話番号ごとの着信許可／拒否の設定と、メモリ別着信拒否／許可の設定をする必要があります。設定項目と着信の許可／拒否の動作は次のとおりです。

| 設　定 | | 電話番号ごとの着信許可／拒否設定 | | |
|---|---|---|---|---|
| | | 着信許可 | 着信拒否 | 設定なし |
| メモリ別着信拒否／許可設定 | 設定解除 | 着信する | 着信する | 着信する |
| | 拒否設定 | 着信する | 着信を拒否する※ | 着信する |
| | 許可設定 | 着信する | 着信を拒否する※ | 着信を拒否する※ |

※ 設定した電話番号から電話やプッシュトークがかかってきても、着信音が鳴らずに電話が切れ、相手には話中音が流れます。

- 本機能は相手が電話番号を通知してきた場合のみ有効です。
- 着信を拒否しても、着信履歴には不在着信として記録されます。
- 留守番電話サービス、転送でんわサービスの呼出時間を「0秒」に設定していた場合は、留守番電話サービス、転送でんわサービスが動作し、着信履歴には記録されません。
- 番号通知お願いサービス、および発番号なし動作設定を併用することをおすすめします。

## ◆着信を許可／拒否する電話番号を指定する〈着信許可／拒否設定〉

【お買い上げ時】 設定なし

FOMA端末電話帳に登録されている電話番号に対して、着信許可／拒否を設定します。

**1** [電話帳]▶電話帳を検索▶設定する電話帳データにカーソルを合わせて [MENU]▶[3][5][3]

**2** 認証操作▶電話番号を選択▶[1]～[3]

- 着信許可／拒否を設定した電話帳データの詳細画面上部に[!]が表示されます。
- 指定した電話番号からの着信許可／拒否をするには、続けてメモリ別着信拒否／許可の設定を有効にしてください。

**✔お知らせ**

- 着信許可／拒否を設定している電話番号を変更または削除すると、本機能の設定は解除されます。その場合は、変更または登録後の電話番号に対して着信許可／拒否を設定してください。

## ◆着信許可／拒否設定を有効にする〈メモリ別着信拒否／許可〉

【お買い上げ時】 設定解除

- 本機能の設定は着信許可／拒否を設定したすべての電話番号が対象になります。
- 拒否設定と許可設定を同時に有効にはできません。

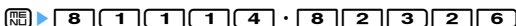
**1** [MENU]▶[8][5][5][1]▶認証操作▶[1]～[3]

✔お知らせ

- 着信拒否を設定した相手が発信者番号を通知してこなかった場合は、本機能の設定に関わらず、発番号なし動作設定に従った動作となります。
- 着信許可を設定した電話帳データがない場合に許可設定を選択すると、すべての着信を拒否する旨のメッセージが表示されます。「はい」を選択すると、すべての着信を拒否するように設定されます。
- ｉモードメールやSMSは、本機能の設定に関わらず受信します。

発番号なし動作設定

## 電話番号が通知されない着信があったときの動作を設定する

MENU ▶ 8 1 1 1 4 ・ 8 2 3 2 6

【お買い上げ時】［非通知設定、公衆電話、通知不可能］設定解除

**電話番号が通知されない着信があった場合、通知されない理由（発信者番号非通知理由）ごとに着信動作を設定します。**

- 電話番号が通知されない音声電話の着信があったときの着信音と着信画像は、電話着信設定よりも本機能の設定が優先されます。

**1** MENU ▶ 8 5 2 ▶ 認証操作

**2** 1 ～ 3 ▶ 下記の各項目を選択して設定 ▶ 📖［登録］

- 通知されない理由ごとに操作2を繰り返します。

**〈着信動作〉**：発信者番号が通知されない電話やプッシュトークの着信があったときの動作を設定します。

- 「設定解除」に設定すると、それぞれの着信音の設定に従って着信音が鳴ります。
- 「着信拒否」に設定すると、相手からの着信を拒否します。
- 「着信音OFF」に設定すると、着信音は鳴りません。「イメージ表示」で画像を設定します。
- 「メロディ」に設定したときは、メロディを選択し、「イメージ表示」で画像を設定します。
- 「着モーション」に設定したときは、動画／ｉモーションを選択します。
- 「ミュージック」を設定したときは、音楽データを選択し、「イメージ表示」で画像を設定します。ミュージックの設定→P121

**イメージ表示**：発信者番号が通知されない電話がかかってきたときに表示する画像を設定します。

- 「ｉモーション」を選択したときは、動画一覧から動画／ｉモーションを選択します。

**イメージ一覧**：イメージ表示で「イメージ」を選択したときは、イメージ一覧欄を選択して画像を設定します。

✔お知らせ

- 「着信拒否」に設定した場合、拒否された着信は着信履歴に不在着信として記録されます。
- 電話番号が通知されないテレビ電話やプッシュトークの着信があった場合は、「着信拒否」に設定しているときのみ動作します。それ以外に設定した場合の着信音や着信画像は、それぞれの着信音や着信画像の設定に従って動作します。
- 着信動作の「着モーション」に音声のみの動画／ｉモーション（歌手の歌声など映像のないｉモーション）を設定した場合、「標準画像」に設定されますが、イメージ表示欄で「イメージ」を選択して画像（Flash画像を除く）を変更できます。

呼出動作開始時間設定

## 電話帳に登録していない相手からの着信をすぐに受けないようにする

【お買い上げ時】 着信呼出動作：OFF

- 「ワン切り」などの迷惑電話に効果的です。
- メモリ登録外着信拒否を「ON」に設定していると、本機能は設定できません。

**1** [MENU] ▶ [8][1][5] ▶ 下記の各項目を選択して設定 ▶ [📖]［登録］

**着信呼出動作**：着信呼出動作を有効にするかどうかを設定します。
**呼出開始時間（秒）**：着信してから呼出動作を開始するまでの時間を1～99秒の範囲で設定します。
**時間内不在着信表示**：呼出開始時間で設定した時間に満たなかった不在着信を、着信履歴に表示するかどうかを設定します。

### ❖着信呼出動作を設定すると

電話帳に登録していない相手や電話番号を通知してこない相手から音声電話やテレビ電話、プッシュトークがかかってきたときは、設定した時間内は画面表示のみで着信をお知らせします。設定した時間が経過すると、通常の呼出動作を開始します。

- 設定した時間が経過する前でも、電話に出たり伝言メモで応答したりできます。
- パーソナルデータロック中やプライバシーモード中（電話帳・履歴を「認証後に表示」に設定した場合）は、電話帳に登録している相手からの着信でも本機能が動作します。
- プライバシーモード中（電話帳・履歴を「指定電話帳非表示」に設定した場合）に、電話帳にシークレット属性を設定している相手から電話がかかってきたときも、本機能が動作します。

### ✔お知らせ

- 本機能の設定に関わらず、次の機能やサービスが設定されている場合は、それらの動作が優先されます。
  - 公共モード
  - 伝言メモ
  - 留守番電話サービス
  - 転送でんわサービス
- メモリ別着信拒否／許可や発番号なし動作設定で着信拒否の対象に設定している相手から電話やプッシュトークがかかってきた場合は、本機能よりそれらの動作が優先されます。
- 呼出開始時間を、留守番電話サービス、転送でんわサービスの設定時間と同じ秒数に設定している場合、着信音が鳴ることがあります。

メモリ登録外着信拒否

## 電話帳に登録していない番号からの着信を拒否する

【お買い上げ時】 OFF

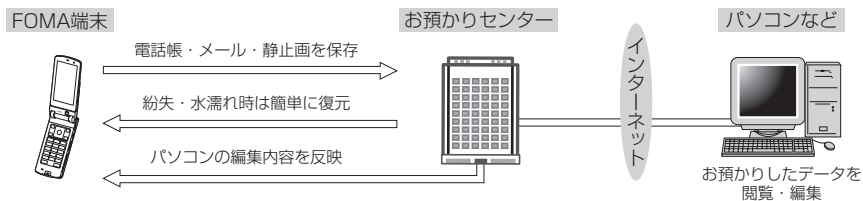
- 番号通知お願いサービスを併用することをおすすめします。
- パーソナルデータロック中や呼出動作開始時間設定の着信呼出動作を「ON」に設定しているときは、本機能は設定できません。

**1** [MENU] ▶ [8][5][5][2] ▶ 認証操作 ▶ [1]または[2]

### ❖メモリ登録外着信拒否を設定すると

電話帳に登録していない相手から電話やテレビ電話、プッシュトークがかかってきたとき、着信音は鳴らずに電話が切れ、相手には話中音が流れます。
- 着信を拒否しても、着信履歴には不在着信として記録されます。
- 電話帳に登録している相手でも発信者番号を通知しないで電話をかけてきたとき、またはプライバシーモード中（電話帳・履歴を「指定電話帳非表示」に設定した場合）に、電話帳にシークレット属性を設定している相手から着信があったときも、着信を拒否します。また、公衆電話や発信者番号を通知しないで発信した電話からの着信があった場合の動作は、発番号なし動作設定よりも本機能の設定が優先されます。
- ｉモードメールやSMSは、本機能の設定に関わらず受信します。

# 電話帳お預かりサービスとは

**FOMA端末に保存している電話帳やメール、静止画（以降、保存データ）を、ドコモのお預かりセンターに預けることができるサービスです。万一紛失や水濡れなどでFOMA端末に保存したデータが消失しても、ｉモードで操作することにより、お預かりセンターに預けている保存データを新しいFOMA端末に復元できます。さらに、お預かりセンターに預けている保存データを簡単にパソコンからMy DoCoMoのサイトで編集したり、編集した保存データをFOMA端末に保存したりできます。**
- 電話帳お預かりサービスのご利用方法の詳細は、『ご利用ガイドブック（ｉモード〈FOMA〉編）』をご覧ください。

※ 電話帳お預かりサービスはお申し込みが必要な有料サービスです（お申し込みにはｉモード契約が必要です）。
- 電話帳・メール・静止画をお預かりセンターに保存／復元する操作方法については、各ページを参照してください。
電話帳→P112、P115　メール→P256　静止画→P351

## その他の「あんしん設定」について

**本章でご紹介した以外にも、次のようなあんしん設定に関する機能・サービスがありますのでご活用ください。**

| 目　的 | 機能・サービス名称 | 参照先 |
|---|---|---|
| ICカード機能を利用できないようにします。 | ICカードロック | P308 |
| いたずら電話や繰り返しかかってくる間違い電話などの「迷惑電話」を受けません。 | 迷惑電話ストップサービス | P459 |
| 発信者番号を通知してこない電話を受けません。 | 番号通知お願いサービス | P459 |
| 電子認証サービスを利用して、安全で信頼性の高いデータ通信を行います（FirstPass対応サイトに限ります）。 | FirstPass | P205<br>P224 |
| パケット通信を使ってFOMA端末のソフトウェアを最新の状態にします。 | ソフトウェア更新 | P533 |
| 障害を引き起こす可能性のあるデータを削除したり、アプリケーションの起動を中止したりして、FOMA端末をウイルスから守ります。 | スキャン機能 | P538 |
| 大量に届くメールの中から、必要なメールのみを受信します。 | メール選択受信 | P266 |
| 災害時にｉモードを利用して、安否情報を登録／確認します。 | 「ｉモード災害用伝言板」サービス | 『ご利用ガイドブック（ｉモード〈FOMA〉編）』をご覧ください。 |
| メールアドレスを変更／確認します。 | アドレス変更／確認 | |
| URLが記載されたメールを受信しません。 | 迷惑メール対策<br>（URL付きメール拒否設定） | |
| 指定したドメインからのメールのみを受信／拒否します。 | 迷惑メール対策<br>（受信／拒否設定） | |
| ｉモードどうしのメールのみ受信／拒否します。 | | |
| 指定したアドレスからのメールを受信／拒否します。 | | |
| すべてのSMSまたはSMSの種類を指定して受信を拒否します。 | 迷惑メール対策<br>（SMS拒否設定） | |
| 1日に1台のｉモード端末（mova端末含む）から送信される200通目以降のｉモードメールを拒否します。 | ｉモードメール大量送信者からのメール受信制限 | |
| 一方的に送られてくる広告メールを受信しません。 | 未承諾広告※メール拒否 | |
| 受信するメールサイズを制限します。 | メールサイズ制限 | |
| メール機能の設定状況を確認します。 | 設定状況確認 | |
| メール機能を一時的に停止します。 | メール機能停止 | |
| 紛失した携帯電話のおおよその位置を確認します。 | ケータイお探しサービス | |

**✔お知らせ**

- 見知らぬ着信履歴には、おかけ直ししないようご注意ください。とくに、相手にお客様の電話番号を通知する設定にしてのおかけ直しは、無用なトラブルの原因となります。
- 迷惑電話を防止する機能を同時に設定した場合の優先順位は次のとおりです。
  ① 迷惑電話ストップサービス
  ② メモリ登録外着信拒否または呼出動作開始時間設定、発番号なし動作設定、メモリ別着信拒否／許可

# カメラ

## カメラをご使用になる前に

### ◆カメラのご使用について

- カメラは非常に精密度の高い技術で作られていますが、常時明るく見えたり暗く見えたりする画素や線もあります。また、特に光量が少ない場所での撮影では、白い線などのノイズが増えますが、故障ではありませんのであらかじめご了承ください。
- 暖かい場所や直射日光が当たる場所に長時間FOMA端末を放置したりすると、撮影する静止画や動画が劣化することがあります。
- 太陽やランプなどの強い光源を直接撮影しようとすると、画質が暗くなったり静止画や動画が乱れたりする場合があります。
- レンズの特性により、静止画や動画がゆがんで見える場合があります。
- 蛍光灯、水銀灯、ナトリウム灯などの高速で点滅している照明下で撮影すると、画面がちらついたり縞模様が現れたりするフリッカー現象が起きる場合があり、撮影のタイミングによっては静止画や動画の色合いが異なることがあります。撮影時の明るさを調整することで、ちらつきや縞模様を軽減できる場合があります。
- カメラで撮影した静止画や動画は、実際の被写体と色味や明るさが異なる場合があります。

### ◆撮影時の留意事項

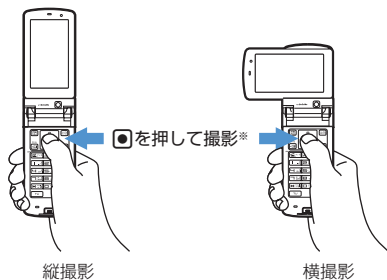
- レンズに指紋や油脂などが付くと、きれいに撮影できません。撮影前に柔らかい布で拭いてください。
- 撮影の際、レンズ部分を指などで覆わないでください。
- ナイトモードによる撮影でも、環境によっては撮影画像に若干のノイズが発生することがあります。
- 手ぶれにご注意ください。FOMA端末は手ぶれ補正を行えますが、撮影環境や被写体によっては効果が薄くなる場合があります。FOMA端末が動かないようにしっかり持って撮影するか、FOMA端末を安定した場所に置き、セルフタイマー機能を利用して撮影することをおすすめします。セルフタイマー機能は、静止画撮影時のみ利用できます。
- ⦿またはサイドキー［▲］を押してから実際に撮影されるまでに、多少の時間差があります。⦿またはサイドキー［▲］を押してから少しの間、FOMA端末を動かさないでください。また、速く動いている被写体を撮影すると、⦿またはサイドキー［▲］を押したときにディスプレイに表示されていた位置とは少しずれて撮影されることがあります。
- 動きの激しいものを動画撮影すると、映像が乱れる場合があります。
- インカメラで自分の映像を表示すると鏡像表示されますが、撮影した静止画や動画は正像になります。ただし、静止画の場合、自動保存を「しない」に設定しておくと、鏡像でも保存できます。
- ｉアプリからカメラ撮影を実行した場合、撮影した静止画や動画はマイピクチャやｉモーション内のフォルダには保存されず、ｉアプリ内（ｉアプリによっては、「ｉモード」フォルダや「デコメピクチャ」フォルダ）に保存されます。また、撮影した静止画や動画は、自動的にサーバへ送られる場合があります。
- 保存先をmicroSDメモリーカードに設定している場合は、カメラ使用中にmicroSDメモリーカードを抜かないでください。FOMA端末の故障の原因になります。
- 撮影した静止画や動画を保存する前に電池残量がなくなると、保存できません。
- カメラは電力の消費が非常に早いため、カメラを長時間起動したり、撮影後に保存せず長時間放置したりしないでください。
- 設定によっては、カメラを起動してから撮影画面に映像が表示されるまでに時間がかかる場合があります。

### ◆著作権・肖像権について

FOMA端末を利用して撮影または録音したもの、およびサイト（番組）やインターネットホームページ上の著作物を権利者に無断で複製、改変、編集などする行為は、個人で楽しむなどの場合を除き、著作権法上禁止されていますのでお控えください。また、他人の肖像や氏名を無断で使用、改変などすると、肖像権の侵害となる場合がありますのでお控えください。撮影または録音などされたものをインターネットホームページなどで公開する場合も、著作権や肖像権に十分ご注意ください。なお、実演や興行、展示物などでは、個人として楽しむなどの目的であっても、撮影または録音などが禁止されている場合がありますのでご注意ください。

**カメラ付き携帯電話を利用して撮影や画像送信を行う際は、プライバシーなどにご配慮ください。**

## ◆撮影方法について

FOMA端末は、次のようなスタイルで撮影できます。

※ サイドキー［▲］でも撮影できます。

- よりピントの合った静止画を撮影するには、オートフォーカスでの撮影をおすすめします。→P183
- 手ぶれのない画像を撮影するには手ぶれ補正機能を利用しての撮影をおすすめします。→P194
- 撮影中にディスプレイを回転させると、画像サイズによっては画像サイズの縦横が切り替わります。→P192

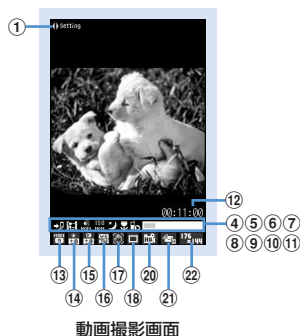
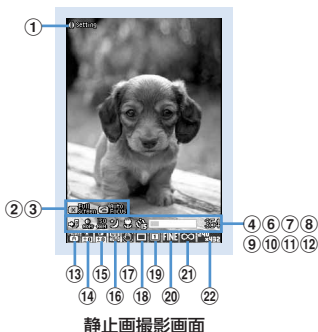
## ◆撮影画面とファイルについて

FOMA端末では、さまざまなサイズで静止画や動画を撮影したり、撮影前に撮影モードを設定して撮影したりできます。撮影した静止画や動画は、FOMA端末だけでなく、microSDメモリーカードに保存したり、ｉモードメールに添付して送信したりできます。

### ❖静止画撮影画面／動画撮影画面

撮影画面の見かたは次のとおりです。

静止画撮影画面

動画撮影画面

**①撮影時設定操作ガイド**
を押して撮影時の設定ができることを示します。

**②全画面表示／標準画面表示操作ガイド**
を押して全画面表示と標準画面表示を切り替えられることを示します。

**③オートフォーカス**
オートフォーカスの起動状態を示します（静止画撮影時のみ）。
：撮影待機中
(オレンジ)：オートフォーカス起動時
(緑)：ピントが合ったとき
(赤)：ピントが合わないとき

**④保存先**
保存先を示します。→P189

**⑤撮影種別**
撮影する動画の種類を示します。→P189

**⑥シャープネス**
撮影する静止画や動画のシャープネスを示します。
：ノーマル　：シャープ　：ソフト

**⑦カメラ感度**
カメラの感度を示します。
：ノーマル　：高感度　：低感度

**⑧ナイトモード**
ナイトモードのON／OFFを示します。→P192

**⑨接写撮影**
接写撮影のON／OFFを示します。→P191

**⑩セルフタイマー**
セルフタイマーのON／OFFとシャッターが切れるまでの時間を示します。→P191

**共通再生モード**
共通再生モードのON／OFFを示します。→P192

**⑪インジケータ（撮影待機中）**
保存先の使用領域を示します。セルフタイマー使用時（カウントダウン中）はシャッターが切れるまでの残り時間を示します。

- microSDメモリーカードの使用領域は、静止画や動画を撮影していなくても0にならない場合があります。

**インジケータ（動画撮影時／一時停止中）**
サイズ制限で設定しているファイルサイズに対して、現在撮影している割合を示します。

⑫ **カウンタ（静止画撮影時）**
現時点でFOMA端末またはmicroSDメモリーカードに撮影できる静止画の最大枚数（目安）を示します。セルフタイマー使用時（カウントダウン中）はシャッターが切れるまでの残り時間を示します。手動連写中（最大で9）、4コマ撮影手動中、連続パノラマ撮影中（最大で8）は現在の撮影枚数と総撮影枚数を示します。
**カウンタ（動画撮影時）**
撮影待機中は、現時点でFOMA端末またはmicroSDメモリーカードに撮影できる動画の最大時間（目安）を示します。撮影中は経過時間と残り時間（撮影停止するまでの時間）（目安）を表示します。
⑬ **撮影モード**
撮影モードを示します。→P193
⑭ **明るさ**
撮影する静止画や動画の明るさを示します。→P194
⑮ **色の濃さ**
撮影する静止画や動画の色の濃さを示します。→P194
⑯ **ホワイトバランス**
ホワイトバランスの設定状態を示します。→P194
⑰ **手ぶれ補正**
手ぶれ補正の設定状態を示します。→P194
⑱ **フレーム**
フレームの設定状態を示します。→P195
⑲ **連続撮影**
連続撮影の設定状態を示します。→P184、P186
⑳ **画質**
静止画の画質を示します。→P195
**品質**
動画の品質を示します。→P195
㉑ **サイズ制限**
保存するファイルサイズの制限値を示します。→P195
㉒ **画像サイズ**
撮影する静止画や動画の画像サイズを示します。→P196

## ❖静止画ファイル／動画ファイルについて

| | | |
|---|---|---|
| **ファイル形式** | **静止画ファイル** | JPEG<br>（Exif形式、PRINT Image Matching Ⅲ対応） |
| | **動画ファイル** | MP4<br>（MobileMP4）、ASF※ |
| **符号化方式** | **静止画ファイル** | — |
| | **動画ファイル** | 映像：MPEG4<br>音声：AMR（MP4の場合）<br>G.726（ASFの場合） |
| **拡張子** | **静止画ファイル** | jpg |
| | **動画ファイル** | 3gp、asf |
| **表示名／タイトル／ファイル名** | 撮影した日時が自動的に付けられます。<br>〈例〉2007年5月24日9時4分00秒に撮影したとき<br>→20070524090400<br>• FOMA端末では表示されませんが、ファイル名には拡張子が付けられます。<br>• 撮影後、ファイル名を変更できます。→P384 | |
| **メール添付・出力** | メールに添付して送信したり、microSDメモリーカードやデータリンクソフトを利用してパソコンや他の端末に送ったりできます。 | |

※ 品質がXQのときのみ、ASF形式で保存されます。

## ❖静止画の保存枚数について

F904iおよびmicroSDメモリーカードに保存できる静止画の枚数は、画質やサイズ制限、画像サイズの設定、撮影状況によって変わります。
• 画質、サイズ制限、画像サイズは静止画詳細設定で設定します。

### ■ F904iに保存できる静止画の枚数（目安）

| 画像サイズ | 画　質 | 枚　数 |
|---|---|---|
| 電話帳用（96×72） | エコノミー | 約600 |
| | スタンダード | 約600 |
| | ファイン | 約600 |
| Sub-QCIF（128×96） | エコノミー | 約600 |
| | スタンダード | 約600 |
| | ファイン | 約600 |
| QCIF（176×144） | エコノミー | 約600 |
| | スタンダード | 約600 |
| | ファイン | 約600 |
| 横長QVGA（320×240） | エコノミー | 約600 |
| | スタンダード | 約455 |
| | ファイン | 約284 |
| 縦長QVGA（240×320） | エコノミー | 約600 |
| | スタンダード | 約455 |
| | ファイン | 約284 |

| 画像サイズ | 画　質 | 枚　数 |
|---|---|---|
| 横待受用<br>(432×240) | エコノミー | 約594 |
| | スタンダード | 約427 |
| | ファイン | 約258 |
| 縦待受用<br>(240×432) | エコノミー | 約594 |
| | スタンダード | 約427 |
| | ファイン | 約258 |
| CIF<br>(インカメラのみ)<br>(352×288) | エコノミー | 約600 |
| | スタンダード | 約471 |
| | ファイン | 約297 |
| 横長VGA<br>(640×480) | エコノミー | 約248 |
| | スタンダード | 約189 |
| | ファイン | 約104 |
| 縦長VGA<br>(480×640) | エコノミー | 約248 |
| | スタンダード | 約189 |
| | ファイン | 約104 |
| 横長WXGA<br>(1280×768) | エコノミー | 約96 |
| | スタンダード | 約72 |
| | ファイン | 約39 |
| 縦長WXGA<br>(768×1280) | エコノミー | 約96 |
| | スタンダード | 約72 |
| | ファイン | 約39 |
| 横長1M<br>(ワイド)<br>(1500×832) | エコノミー | 約86 |
| | スタンダード | 約65 |
| | ファイン | 約34 |
| 縦長1M<br>(ワイド)<br>(832×1500) | エコノミー | 約86 |
| | スタンダード | 約65 |
| | ファイン | 約34 |
| UXGA<br>(1200×1600) | エコノミー | 約54 |
| | スタンダード | 約40 |
| | ファイン | 約21 |
| 3M<br>(1500×2000) | エコノミー | 約39 |
| | スタンダード | 約28 |
| | ファイン | 約14 |

※ 保存枚数には、お買い上げ時の状態で静止画撮影画面のカウンタに表示される枚数（目安）を記載しています。

■ microSDメモリーカードに保存できる静止画の枚数（容量が64MBの場合の目安）

| 画像サイズ | 画　質 | 枚　数 |
|---|---|---|
| 電話帳用<br>(96×72) | エコノミー | 約3818 |
| | スタンダード | 約3818 |
| | ファイン | 約3818 |
| Sub-QCIF<br>(128×96) | エコノミー | 約3818 |
| | スタンダード | 約3818 |
| | ファイン | 約3818 |
| QCIF<br>(176×144) | エコノミー | 約3818 |
| | スタンダード | 約3818 |
| | ファイン | 約1909 |
| 横長QVGA<br>(320×240) | エコノミー | 約1909 |
| | スタンダード | 約1909 |
| | ファイン | 約1272 |
| 縦長QVGA<br>(240×320) | エコノミー | 約1909 |
| | スタンダード | 約1909 |
| | ファイン | 約1272 |
| 横待受用<br>(432×240) | エコノミー | 約1909 |
| | スタンダード | 約1909 |
| | ファイン | 約954 |
| 縦待受用<br>(240×432) | エコノミー | 約1909 |
| | スタンダード | 約1909 |
| | ファイン | 約954 |
| CIF<br>(インカメラのみ)<br>(352×288) | エコノミー | 約1909 |
| | スタンダード | 約1909 |
| | ファイン | 約1272 |
| 横長VGA<br>(640×480) | エコノミー | 約954 |
| | スタンダード | 約763 |
| | ファイン | 約424 |
| 縦長VGA<br>(480×640) | エコノミー | 約954 |
| | スタンダード | 約763 |
| | ファイン | 約424 |
| 横長WXGA<br>(1280×768) | エコノミー | 約424 |
| | スタンダード | 約318 |
| | ファイン | 約173 |
| 縦長WXGA<br>(768×1280) | エコノミー | 約424 |
| | スタンダード | 約318 |
| | ファイン | 約173 |
| 横長1M<br>(ワイド)<br>(1500×832) | エコノミー | 約381 |
| | スタンダード | 約272 |
| | ファイン | 約152 |
| 縦長1M<br>(ワイド)<br>(832×1500) | エコノミー | 約381 |
| | スタンダード | 約272 |
| | ファイン | 約152 |
| UXGA<br>(1200×1600) | エコノミー | 約238 |
| | スタンダード | 約181 |
| | ファイン | 約95 |
| 3M<br>(1500×2000) | エコノミー | 約173 |
| | スタンダード | 約123 |
| | ファイン | 約64 |

## ❖動画の撮影時間について

動画の撮影時間は品質、撮影種別、画像サイズ、サイズ制限の設定や、撮影状況によって変わります。

- 品質、撮影種別、画像サイズ、サイズ制限は動画／録音詳細設定で設定します。

### ■F904iに保存できる動画の撮影時間（目安）

#### 1回あたりの撮影時間

サイズ制限：メール添付用（小）

| 画像サイズ | 撮影種別 | 品質 | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | | LP | STD | HQ | XQ |
| Sub-QCIF（128×96） | 画像＋音声 | 約83秒 | 約52秒 | 約37秒 | 約17秒 |
| | 画像のみ | 約100秒 | 約63秒 | 約42秒 | 約20秒 |
| QCIF（176×144） | 画像＋音声 | 約56秒 | 約29秒 | 約20秒 | 約9秒 |
| | 画像のみ | 約63秒 | 約32秒 | 約21秒 | 約10秒 |
| QVGA（320×240） | 画像＋音声 | 約30秒 | 約15秒 | 約10秒 | 約4秒 |
| | 画像のみ | 約32秒 | 約16秒 | 約11秒 | 約4秒 |

サイズ制限：メール添付用（大）

| 画像サイズ | 撮影種別 | 品質 | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | | LP | STD | HQ | XQ |
| Sub-QCIF（128×96） | 画像＋音声 | 約340秒 | 約214秒 | 約152秒 | 約72秒 |
| | 画像のみ | 約411秒 | 約257秒 | 約172秒 | 約84秒 |
| QCIF（176×144） | 画像＋音声 | 約228秒 | 約118秒 | 約81秒 | 約39秒 |
| | 画像のみ | 約258秒 | 約129秒 | 約86秒 | 約42秒 |
| QVGA（320×240） | 画像＋音声 | 約121秒 | 約62秒 | 約42秒 | 約16秒 |
| | 画像のみ | 約129秒 | 約65秒 | 約43秒 | 約16秒 |

サイズ制限：制限なし

| 画像サイズ | 撮影種別 | 品質 | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | | LP | STD | HQ | XQ |
| Sub-QCIF（128×96） | 画像＋音声 | 約56分 | 約35分 | 約25分 | 約11分 |
| | 画像のみ | 約68分 | 約42分 | 約28分 | 約14分 |
| QCIF（176×144） | 画像＋音声 | 約38分 | 約19分 | 約13分 | 約391秒 |
| | 画像のみ | 約43分 | 約21分 | 約14分 | 約426秒 |
| QVGA（320×240） | 画像＋音声 | 約20分 | 約10分 | 約418秒 | 約159秒 |
| | 画像のみ | 約21分 | 約10分 | 約433秒 | 約165秒 |

#### F904iの最大撮影時間

サイズ制限：メール添付用（小）

| 画像サイズ | 撮影種別 | 品質 | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | | LP | STD | HQ | XQ |
| Sub-QCIF（128×96） | 画像＋音声 | 約56分 | 約35分 | 約25分 | 約11分 |
| | 画像のみ | 約68分 | 約43分 | 約28分 | 約13分 |
| QCIF（176×144） | 画像＋音声 | 約38分 | 約19分 | 約13分 | 約368秒 |
| | 画像のみ | 約43分 | 約21分 | 約14分 | 約409秒 |
| QVGA（320×240） | 画像＋音声 | 約20分 | 約10分 | 約409秒 | 約163秒 |
| | 画像のみ | 約21分 | 約10分 | 約450秒 | 約163秒 |

サイズ制限：メール添付用（大）

| 画像サイズ | 撮影種別 | 品質 | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | | LP | STD | HQ | XQ |
| Sub-QCIF（128×96） | 画像＋音声 | 約56分 | 約35分 | 約25分 | 約12分 |
| | 画像のみ | 約68分 | 約42分 | 約28分 | 約14分 |
| QCIF（176×144） | 画像＋音声 | 約38分 | 約19分 | 約13分 | 約390秒 |
| | 画像のみ | 約43分 | 約21分 | 約14分 | 約420秒 |
| QVGA（320×240） | 画像＋音声 | 約20分 | 約10分 | 約420秒 | 約160秒 |
| | 画像のみ | 約21分 | 約10分 | 約430秒 | 約160秒 |

サイズ制限：制限なし

| 画像サイズ | 撮影種別 | 品質 | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | | LP | STD | HQ | XQ |
| Sub-QCIF（128×96） | 画像＋音声 | 約56分 | 約35分 | 約25分 | 約11分 |
| | 画像のみ | 約68分 | 約42分 | 約28分 | 約14分 |
| QCIF（176×144） | 画像＋音声 | 約38分 | 約19分 | 約13分 | 約391秒 |
| | 画像のみ | 約43分 | 約21分 | 約14分 | 約426秒 |
| QVGA（320×240） | 画像＋音声 | 約20分 | 約10分 | 約418秒 | 約159秒 |
| | 画像のみ | 約21分 | 約10分 | 約433秒 | 約165秒 |

- メール添付用（大／小）の制限サイズ→P195

※ 撮影時間には、お買い上げ時の状態で動画撮影画面のカウンタに表示される時間（目安）を記載しています。

■ microSDメモリーカードに保存できる動画の合計撮影時間（容量が64MBの場合の目安）

サイズ制限：メール添付用（小）※1

| 画像サイズ | 撮影種別 | 品質 | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | | LP | STD | HQ | XQ |
| Sub-QCIF（128×96） | 画像＋音声 | 約169分 | 約105分 | 約75分 | 約34分 |
| | 画像のみ | 約203分 | 約128分 | 約85分 | 約40分 |
| QCIF（176×144） | 画像＋音声 | 約114分 | 約59分 | 約40分 | 約18分 |
| | 画像のみ | 約128分 | 約65分 | 約42分 | 約20分 |
| QVGA（320×240） | 画像＋音声 | 約61分 | 約30分 | 約20分 | 約488秒 |
| | 画像のみ | 約65分 | 約32分 | 約22分 | 約488秒 |

サイズ制限：メール添付用（大）※1

| 画像サイズ | 撮影種別 | 品質 | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | | LP | STD | HQ | XQ |
| Sub-QCIF（128×96） | 画像＋音声 | 約169分 | 約106分 | 約75分 | 約35分 |
| | 画像のみ | 約204分 | 約127分 | 約85分 | 約41分 |
| QCIF（176×144） | 画像＋音声 | 約113分 | 約58分 | 約40分 | 約19分 |
| | 画像のみ | 約128分 | 約64分 | 約42分 | 約20分 |
| QVGA（320×240） | 画像＋音声 | 約60分 | 約30分 | 約20分 | 約477秒 |
| | 画像のみ | 約64分 | 約32分 | 約21分 | 約477秒 |

サイズ制限：制限なし※2

| 画像サイズ | 撮影種別 | 品質 | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | | LP | STD | HQ | XQ |
| Sub-QCIF（128×96） | 画像＋音声 | 約169分 | 約106分 | 約75分 | 約35分 |
| | 画像のみ | 約204分 | 約127分 | 約85分 | 約41分 |
| QCIF（176×144） | 画像＋音声 | 約113分 | 約58分 | 約40分 | 約19分 |
| | 画像のみ | 約128分 | 約64分 | 約42分 | 約21分 |
| QVGA（320×240） | 画像＋音声 | 約60分 | 約30分 | 約20分 | 約475秒 |
| | 画像のみ | 約64分 | 約32分 | 約21分 | 約491秒 |

※1 1回あたりの撮影時間は「1回あたりの撮影時間（F904i本体）」と同じです。
※2 1回で合計撮影時間まで撮影できます。

静止画撮影

## カメラで静止画を撮影する

MENU ▶ 6 6 1

**自動でピントを合わせるオートフォーカス機能の他、連続撮影やフレーム撮影など、さまざまな方法で静止画を撮影します。**

- 撮影前に撮影方法を選択できます。→P190
- 撮影時の設定を変更できます。→P193
- オートフォーカスを利用できます。→P183
- 各種の音量設定を「Silent」に設定した場合やマナーモード中、公共モード中でも、シャッター音は鳴ります。
- 最大保存件数→P541

### 1 [カメラ]を押す

静止画撮影が起動して撮影待機状態になり、ランプが青色で点滅します。

静止画撮影画面

### 2 被写体にカメラを向けて[●]またはサイドキー［▲］

シャッター音が鳴り、ランプが赤色で点灯して静止画が撮影されます。

- 静止画詳細設定の自動保存を「する」に設定している場合は、確認画面は表示されず自動的に保存されます。このとき、操作3以降の操作は不要です。

### 3 撮影した静止画を確認

すぐに保存する：**操作4に進む**

保存しないで撮影し直す：**[chクリア]を押す**

**撮影した静止画をメールに添付して送信する：［メール］を押す**
保存するかどうかの確認画面が表示されます。「はい」を選択すると、静止画がFOMA端末に保存され、メール作成画面が表示されます。
- 撮影した静止画の画像サイズやファイルサイズによっては、QVGAサイズに変換するかどうかの確認画面が表示されます。→P241
- 保存先をmicroSDメモリーカードに設定していても、FOMA端末に保存されます。
- 画像サイズとサイズ制限の設定によっては、静止画のファイルサイズを調整するかどうかの確認画面が表示されます。「制限なし」を選択するとそのままのファイルサイズで、「メール添付用（小）」を選択すると90Kバイトより小さいファイルサイズでFOMA端末に保存されます。
- 静止画のファイルサイズが90Kバイトより小さい場合は、本文へ貼り付けるかどうかの確認画面が表示されます。「はい」を選択するとメール本文へ貼り付けられます。

**待受画面に設定する：［MENU］▶［2］［1］▶「縦画面」または「横画面」を選択▶「はい」を選択**
画像サイズが電話帳用（96×72）、Sub-QCIF（128×96）、QCIF（176×144）のいずれかのときは、「はい（等倍表示）」または「はい（拡大表示）」を選択します。
静止画がFOMA端末に保存され、等倍表示または拡大表示で待受画面に設定されます。
- ｉアプリ待受画面が設定されているときは、続けてｉアプリ待受画面を解除するかどうかの確認画面が表示されます。「はい」を選択すると、ｉアプリ待受画面が解除されます。
- 保存先をmicroSDメモリーカードに設定している場合は、待受画面に設定できません。

**電話帳の画像に登録する（画像サイズが電話帳用（96×72）の場合のみ）：**
①［MENU］▶［2］▶［2］または［3］
②「はい」を選択
静止画がFOMA端末に保存され、電話帳の登録画面が表示されます。
- 保存先をmicroSDメモリーカードに設定している場合は、電話帳の画像に登録できません。

**タイトルを変更する：［MENU］▶［3］［1］▶タイトルを変更して［i］**
- 全角・半角を問わず最大31文字入力できます（連続撮影した画像は最大30文字）。

**明るさや色のバランスを補正する：［i］を押す**
編集画面が表示されます。→P351
- ［MENU］［3］［2］を押しても編集画面を表示できます。
- 次の場合は補正できません。
  - 画像サイズが横長VGA（640×480）以上の場合
  - 4コマ撮影でフレームを設定している場合
  - 連続パノラマ撮影の場合
  - 撮影モードを「モノクロスケッチ」「カラースケッチ」に設定している場合

**正像表示／鏡像表示を切り替える（インカメラ撮影時のみ）：［MENU］▶［4］［2］**

**鏡像で保存する（インカメラ撮影時のみ）：［MENU］▶［5］［3］**
- 撮影した静止画にフレームが設定されている場合は、鏡像で保存できません。

**等倍表示に切り替える：［☰］を押す**
- ［MENU］［6］を押しても等倍表示に切り替わります。
- ［✤］を押すと、画面をスクロールして確認できます。
- 解除するときは［CLR］、［MENU］、［☰］、［i］、［メール］のいずれかを押します。
- 画像サイズがCIF（352×288）より小さい場合は、等倍で表示されています。［☰］での表示切り替えはできません。
- CIF（352×288）は等倍表示できません。

**保存先をFOMA端末／microSDメモリーカードに切り替える：［MENU］▶［8］**

**保存されている画像を一覧表示する：［MENU］▶［9］▶［1］または［2］**

## 4 ［●］［保存］またはサイドキー［▲］

撮影した静止画がマイピクチャ内の「カメラ」フォルダに保存されます。

**保存した静止画を確認する：［i］▶確認する静止画を選択**
画像の表示方法→P344「画像を表示する」操作2〜3
- 確認後、［CLR］を2回押すと静止画撮影画面に戻ります。
- 電話帳、メール作成画面、ｉアプリから静止画撮影を起動したときは確認できません。

## ✔お知らせ

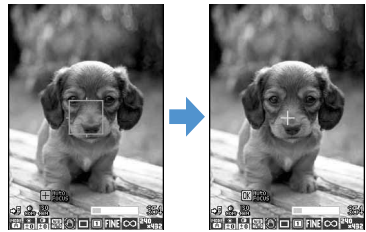
- 保存先をmicroSDメモリーカードに設定している場合は、microSDメモリーカード内の「マイピクチャ」フォルダに保存されます。
- 画像サイズ、画質、保存先によっては、撮影した静止画の保存に時間がかかる場合があります。
- 画像サイズが横長VGA（640×480）、縦長VGA（480×640）以上の場合に手ぶれ補正オートで撮影すると、次の操作を行えるまでに時間がかかります。
  - [i]を押しての等倍表示
  - [✉]を押してのメール作成
  - [MENU]を押してから操作できる機能（[MENU][3][1]によるタイトル編集と[MENU][9]による保存先一覧表示を除く）
- 保存領域の空きが足りないときや最大保存件数を超えるときは、画面の指示に従って不要な画像を削除したり、画像サイズや画質を低い値に変更したりしてから撮影してください。
- 音声電話中に静止画を撮影すると、通話が途切れる場合があります。
- 静止画撮影待機中、電話がかかってきた場合は、着信画面に切り替わります。シャッター音が鳴り、すでに静止画を撮影していた場合は、通話終了後に撮影後の保存確認画面に戻ります。自動保存を「する」に設定している場合は、撮影した静止画が自動で保存されます。ただし、タイミングによっては撮影した画像が破棄される場合があります。プッシュトークがかかってきたときは、カメラが終了します。
- 電話帳およびメール作成画面から静止画撮影を起動した場合の保存確認画面で、[MENU]を押してから操作できる機能には次のものがあります。
  - 編集→タイトル編集
  - 表示切替→正像表示／鏡像表示
  - 保存形式→鏡像保存
- 2in1がONでBモードのときは、メールに関する操作はできません。
- microSDメモリーカードが取り付けられていないときやmicroSDメモリーカードが他の機能で使用されているとき、microSDモード中は、保存確認画面で利用できない機能があります。
- 撮影日時を「日付」「日付＋時刻」に設定して撮影した場合、保存確認画面の画像には日付、日付＋時刻は表示されません。ただし、保存確認画面の等倍表示では表示されます。

## ◆オートフォーカスで撮影する〈オートフォーカス〉

カメラから30cm以上離れた被写体にピントを合わせて撮影できます。

- 接写撮影モードを併用すると、約8～40cm離れた被写体にピントを合わせられます。
- インカメラの使用中、および撮影モードを「夜景」に設定しているときは、オートフォーカスを使用できません。

### 1 [カメラ]▶被写体にカメラを向けて[AF]

オートフォーカスが起動し、オレンジのフォーカス枠と[+][Auto Focus]（オレンジ）が表示されます。ピントが合うと確認音が鳴り、フォーカス枠が緑の「+」に、[+][Auto Focus]が[OK][Auto Focus]（緑）に変わります。

- 解除するときは、もう一度[AF]を押します。
- ピントが合わないときは、フォーカス枠が赤の「+」に変わり、[NG][Auto Focus]（赤）が表示される場合があります。
- ピントを画面の中央以外に合わせたいときは、一度ピントを合わせた後、そのまま撮影したい位置にカメラを向けます。

### 2 [●]またはサイドキー［▲］

シャッター音が鳴り、ランプが赤色で点灯して静止画が撮影されます。

### 3 [●]［保存］またはサイドキー［▲］

撮影した静止画がマイピクチャ内の「カメラ」フォルダに保存されます。

- 確認画面で操作できる機能や、撮影した静止画を保存するときの動作は通常の撮影時と同じです。→P181

✔お知らせ

- 次のような場合は、オートフォーカスでピントが合わないことがあります。
  - 色の濃淡がない被写体を撮影する場合
  - 動いている被写体を撮影する場合
  - 暗い場所で撮影する場合
  - FOMA端末を動かしながら撮影する場合
  - 撮影範囲内にライトなどがある場合
- オートフォーカス機能の使用中に操作が有効なキーは●、✉、chクリア、☎、☎、MULTI、サイドキー［▲］のみです。撮影機能の設定は変更できません。
- 保存先をmicroSDメモリーカードに設定している場合は、microSDメモリーカード内の「マイピクチャ」フォルダに保存されます。

## ◆連続撮影する〈連続撮影〉

静止画を連続で撮影できます。連続撮影には次の4種類があります。

**連続撮影自動**：設定した枚数分（最大9枚）を自動で連写

**連続撮影手動**：設定した枚数分（最大9枚）を手動で連写

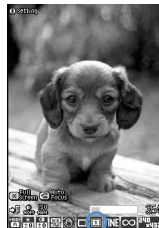
**4コマ撮影自動**：4コマを自動で連写して1枚の静止画にする

**4コマ撮影手動**：4コマを手動で連写して1枚の静止画にする

- 連続撮影自動と4コマ撮影自動では、約0.4秒間隔で撮影されます。
- 静止画詳細設定の連続撮影枚数で連続撮影する枚数を設定できます。
- 連続撮影自動、連続撮影手動ができるのは、画像サイズが次の場合のみです。
  - Sub-QCIF（128×96）
  - QCIF（176×144）
  - 縦長QVGA（240×320）
  - 横長QVGA（320×240）
  - 縦待受用（240×432）
  - 横待受用（432×240）
  - CIF（352×288）
- 4コマ撮影自動、4コマ撮影手動ができるのは、画像サイズが次の場合のみです。
  - 縦長QVGA（240×320）
  - 横長QVGA（320×240）
  - 縦待受用（240×432）
  - 横待受用（432×240）
- 電話帳、メール作成画面、ｉアプリから静止画撮影を起動したときは、連続撮影できません。ただし、ｉアプリの種類によっては連続撮影できる場合もあります。

### 1 📷▶🔘で連続撮影のマークにカーソルを合わせる

- 撮影待機中に 7 を押してもマークを選択できます。

### 2 🔘で連続撮影の種類を切り替えて●

連続撮影のマーク

- A：連続撮影自動
- M：連続撮影手動
- ：4コマ撮影自動
- ：4コマ撮影手動
- 1：連続撮影解除（1枚撮影）

- 撮影待機中に MENU 6 を押し、🔘で連続撮影の種類を選択してから、●を押しても設定できます。

### 3 被写体にカメラを向けて●またはサイドキー［▲］

**連続撮影自動、4コマ撮影自動のとき**

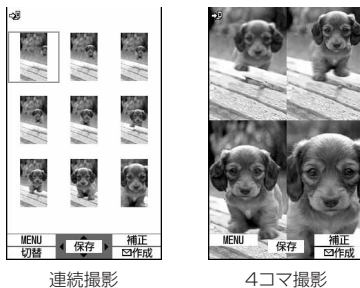
シャッター音が鳴り、静止画が連続で撮影されます。連続撮影自動で9枚撮影中、ランプは赤、黄、緑、青、紫、オレンジ、赤、黄、緑の順に点滅します。4コマ撮影自動で撮影中、ランプは赤、黄、緑、青の順に点滅します。

- 自動保存を「する」に設定している場合は、撮影した静止画は設定した保存先へ自動的に保存されます。このとき操作4以降の操作は不要です。
- ●またはサイドキー［▲］を押すと、FOMA端末を折り畳んでも、撮影は中断されません。

**連続撮影手動、4コマ撮影手動のとき**

●またはサイドキー［▲］を押すたびに、静止画が撮影されます。連続撮影手動で9枚撮影した場合、ランプは赤、黄、緑、青、紫、オレンジ、赤、黄、緑の順に点滅します。4コマ撮影手動で撮影を行った場合、ランプは赤、黄、緑、青の順に点滅します。

- 撮影中にFOMA端末を折り畳んだり📖を押したりすると、撮影は中断されます。4コマ撮影手動の場合は撮影待機中の画面に戻り、それまで撮影した静止画は破棄されます。連続撮影手動で自動保存を「する」に設定している場合は、保存確認画面は表示されずに保存されます。
- 自動保存を「する」に設定している場合は、撮影した静止画は設定した保存先へ自動的に保存されます。このとき操作4以降の操作は不要です。

## 4 連続撮影した静止画を確認

連続撮影

4コマ撮影

連続撮影自動、連続撮影手動のとき

- [i]を押すたびに1枚表示とサムネイル表示が切り替わります。
- 1枚表示時に[◎]を押すと、前後の静止画に切り替わります。
- 連続撮影手動で1枚だけ撮影した場合は、サムネイル表示されません。

## 5 [●]［保存］またはサイドキー［▲］

連続撮影や4コマ撮影した画像がマイピクチャ内の「カメラ」フォルダに1つの画像データとして保存されます。なお、連続撮影した画像はパラパラマンガの形式で保存されます。

静止画の確認画面での操作や静止画を保存するときの動作→P181「カメラで静止画を撮影する」操作3～4

表示されている静止画1枚だけを保存する（連続撮影自動、連続撮影手動でアウトカメラ撮影時）：[●]（1秒以上）▶「はい」を選択

- サムネイル表示のときはカーソル位置の静止画が保存されます。

表示されている静止画1枚だけを正像／鏡像を切り替えて保存する（連続撮影自動、連続撮影手動でインカメラ撮影時）：[●]（1秒以上）▶「正像保存」または「鏡像保存」を選択

- サムネイル表示のときはカーソル位置の静止画が正像または鏡像で保存されます。

連続撮影した静止画の中から複数選択して保存する（連続撮影自動、連続撮影手動でサムネイル表示時）：

① [MENU]▶[5][2]▶保存する静止画を選択

- [✉]を押すとカーソル位置の静止画が1枚表示されます。[●]または[CLR]を押すとサムネイル表示に戻ります。

② [📖]▶「はい」を選択

選択した静止画だけが保存されます。

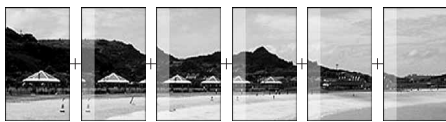
- インカメラ撮影時は、正像保存するか鏡像保存するかの確認画面が表示されます。「正像保存」または「鏡像保存」を選択してください。

連続撮影した静止画をすべて鏡像で保存する（連続撮影自動、連続撮影手動でインカメラ撮影時）：[MENU]▶[5][3]

### ✔お知らせ

- 連続撮影した静止画を1枚または複数選択で保存すると、選択しなかった画像は破棄されます。
- 保存先をmicroSDメモリーカードに設定している場合は、microSDメモリーカード内の「マイピクチャ」フォルダに保存されますが、連続撮影した画像の場合は、それぞれの静止画が保存されます。
- 連続撮影自動、連続撮影手動で撮影した画像は、パラパラマンガの解除機能で1枚ずつの静止画にできます。このとき、静止画のファイル名の末尾にそれぞれ「-1」～「-9」の番号が付きます。
  静止画のファイル名→P178
- 連続撮影自動中、連続撮影手動中、4コマ撮影自動中に電話やプッシュトークがかかってきたり、目覚ましやスケジュールで指定した日時になったり、ディスプレイを回転させたりすると、次のように動作します。
  - 手動連写時は撮影が中止され、確認画面が表示されます。
  - 自動連写時は撮影が続行され、通話やアラームの終了後に確認画面が表示されます。
  - 自動保存を「する」に設定していると、撮影した静止画は自動的に保存されます。
  - 着信音およびアラームはシャッター音が鳴り終わるまで鳴りません。
- 4コマ撮影手動中に電話やプッシュトークがかかってきたり、目覚ましやスケジュールで指定した日時になったり、ディスプレイを回転させたりすると、撮影が中断され、それまで撮影した静止画は破棄されます。
- インカメラでの連続撮影自動時には、ナイトモードONに設定できません。
- セルフタイマーの秒数を設定しているときには、連続撮影手動、4コマ撮影手動、連続パノラマ撮影はできません。
- 連続撮影の設定はインカメラ／アウトカメラで個別の設定となります。

## ◆連続パノラマ撮影する〈連続パノラマ撮影〉

被写体に合わせてFOMA端末の向きを変えて連続撮影した2～8枚の静止画を、1枚の静止画につなぎ合わせることができます。

1つ前の撮影画像の約5分の1が撮影画面の左または上に透過表示されます。

画像サイズ、最大画像サイズ、最大撮影枚数は次のとおりです。

| 画像サイズ | 最大画像サイズ | | 最大撮影枚数 |
|---|---|---|---|
| 横長QVGA (320×240) | ➡»⇣ | 2112×240 | 8 |
| | ⇢«⬇ | 1584×320 | |
| 縦長QVGA (240×320) | ➡»⇣ | 1584×320 | |
| | ⇢«⬇ | 2112×240 | |
| 横待受用 (432×240) | ➡»⇣ | 2160×240 | 6 |
| | ⇢«⬇ | 1200×432 | |
| 縦待受用 (240×432) | ➡»⇣ | 1200×432 | |
| | ⇢«⬇ | 2160×240 | |
| 横長VGA (640×480) | ➡»⇣ | 2176×480 | 4 |
| | ⇢«⬇ | 1632×640 | |
| 縦長VGA (480×640) | ➡»⇣ | 1632×640 | |
| | ⇢«⬇ | 2176×480 | |

※ ➡»⇣、⇢«⬇は画面左下に表示されます。
緑色の矢印は次に静止画を撮影する方向を示します。

- 次の場合は連続パノラマ撮影できません。
  - 電話帳、メール作成画面、ｉアプリから静止画撮影を起動した場合
  - インカメラ撮影時
  - フレーム使用中
  - ｉアプリ動作中
  - サイズ制限を「メール添付用（小）」または「メール添付用（大）」に設定している場合
  - セルフタイマーの秒数を設定している場合
  - 撮影モードを「モノクロスケッチ」「カラースケッチ」に設定している場合

**1** [カメラ]▶[MENU]▶[6][5]

連続撮影のマークが[1]から[P]に変わります。

解除する：[MENU]▶[6][6]

- 撮影待機中に[7]を押し、[↕]で「パノラマ」を選択してから[●]を押しても設定できます。
- [i]を押して連続パノラマ撮影する方向を切り替えられます。

**2** 被写体にカメラを向けて[●]またはサイドキー［▲］

シャッター音が鳴り、静止画が撮影されます。FOMA端末を右にずらし、撮影を行います。[●]またはサイドキー［▲］を押すたびに、ランプは赤、黄、緑、青、紫、オレンジの順に点滅します。

- 撮影を開始してから[□]または[CLR]を押したり、ディスプレイを回転させたりすると、連続パノラマ撮影が中断されます。2～7枚撮影して[□]を押したり、ディスプレイを回転させたりした場合は、静止画が合成され、操作3に進みます。
- 連続パノラマ撮影中は、結合部分側に1つ前の撮影画像の約5分の1が透過表示されます。透過部分を重ね合わせるようにして次の撮影を行います。
- ガイドラインを表示している場合、2枚目から7枚目の撮影時にガイドラインにより、次の撮影時の透過部分を確認できます。
  ガイドラインを表示する→P193
- 自動保存を「する」に設定している場合は、撮影した静止画は設定した保存先へ自動的に保存されます。このとき操作3以降の操作は不要です。
- 自動保存を「する」に設定している場合は、2～7枚撮影後に[□]を押すと自動的に保存されます。

**3** 連続パノラマ撮影した静止画を確認

- [i]を押すと等倍表示になり、[✥]で画面をスクロールして確認できます。解除するときは[CLR]、[MENU]、[i]、[□]、[✉]のいずれかを押します。
- [□]を押すと自動的に画面をスクロールして確認できます。

## 4 ●［保存］またはサイドキー［▲］

連続パノラマ撮影した静止画が1枚に合成され、マイピクチャ内の「カメラ」フォルダに保存されます。

✔お知らせ

- 被写体や撮影のしかたによっては、きれいに合成されない場合があります。
- 保存先をmicroSDメモリーカードに設定している場合は、microSDメモリーカード内の「マイピクチャ」フォルダに保存されます。
- 連続パノラマ撮影中に電話やプッシュトークがかかってきたり、目覚ましやスケジュールで指定した日時になると、撮影が中断され、それまで撮影した静止画は破棄されます。

動画撮影

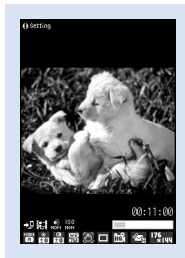
# カメラで動画を撮影する

MENU ▶ 6 6 2

**音声付きの動画を撮影します。**

- 撮影前に撮影方法を選択できます。→P190
- 撮影時の設定を変更できます。→P193
- 各種の音量設定を「Silent」に設定した場合やマナーモード中、公共モード中でもシャッター音は鳴ります。
- 最大保存件数→P541

## 1 ◎（1秒以上）

動画撮影が起動して撮影待機状態になり、ランプが青色で点滅します。

動画撮影画面

## 2 被写体にカメラを向けて●またはサイドキー［▲］

シャッター音が鳴り、ディスプレイに●が表示され、動画の撮影が始まります。ランプが赤色で点滅します。

- 一時停止するときは●を押します。一時停止中はランプが緑色に点灯し、●が▮▮に切り替わります。もう一度●を押すと、撮影を再開します。
- 音声のみ（サウンドレコーダー）の場合は、背面ディスプレイにもインジケータが表示されます。

## 3 □またはサイドキー［▲］

シャッター音が鳴り、動画の撮影が終了します。

- 動画の撮影中にファイルサイズが制限値に達すると、撮影が自動的に終了します。
- 一時停止中に□を押すと、撮影が終了します。
- 動画／録音詳細設定の自動保存を「する」に設定している場合は、確認画面は表示されず自動的に保存され、撮影画面に戻ります。このとき、操作4以降の操作は不要です。

## 4 撮影した動画を確認

- □を押すと撮影した動画が再生されます。

すぐに保存する：**操作5に進む**

保存しないで撮影し直す：**chクリアを押す**

撮影した動画をメールに添付する：**✉を押す**

保存するかどうかの確認画面が表示されます。「はい」を選択すると、撮影した動画がFOMA端末に保存され、メール作成画面が表示されます。

- 保存先をmicroSDメモリーカードに設定している場合も、FOMA端末に保存されます。
- 次の場合はメールに添付できません。
  - 撮影した動画のファイルサイズが2Mバイトより大きい場合
  - 品質を「XQ（最高品質）」に設定している場合

待受画面（待受iモーション）に設定する：

MENU ▶ 2 1 ▶ **「はい」を選択**

撮影した動画がFOMA端末に保存され、待受画面に設定されます。

- 撮影した動画が拡大表示できる場合は、「はい（等倍表示）」を選択すると画像サイズのままで、「はい（拡大表示）」を選択すると画面サイズに合わせて動画を拡大して待受画面に表示されます。
- iアプリ待受画面が設定されているときは、続けてiアプリ待受画面を解除するかどうかの確認画面が表示されます。「はい」を選択すると、iアプリ待受画面が解除されます。
- 次の場合は待受画面に設定できません。
  - 品質を「XQ（最高品質）」に設定している場合
  - 保存先をmicroSDメモリーカードに設定している場合

電話帳の画像に登録する：
① MENU ▶ 2 ▶ 2 または 3
②「はい」を選択
撮影した動画がFOMA端末に保存され、電話帳の登録画面が表示されます。
- 撮影種別を「画像のみ」に設定しているときのみ電話帳の画像に登録できます。
- 次の場合は電話帳の画像に登録できません。
  - 保存先をmicroSDメモリーカードに設定している場合
  - 品質を「XQ（最高品質）」に設定している場合

タイトルを変更する：MENU ▶ 3 ▶ **タイトルを変更して** 📖
- 全角・半角を問わず最大31文字入力できます。
- 品質を「XQ（最高品質）」に設定している場合は、タイトルを変更できません。

保存先をFOMA端末／microSDメモリーカードに切り替える：MENU ▶ 5
- 次の場合は保存先を切り替えられません。
  - 撮影した動画のファイルサイズが2Mバイトより大きい場合
  - 品質を「XQ（最高品質）」に設定している場合

保存されている動画を一覧表示する：
MENU ▶ 6 ▶ 1 または 2

## 5 ● ［保存］またはサイドキー［▲］

撮影した動画がｉモーション内の「カメラ」フォルダに保存されます。

保存した動画を確認する：📖 ▶ **確認する動画を選択**
動画の表示方法→P352「動画／ｉモーションを再生する」操作2～3
- 確認後 ch/クリア を2回押すと、動画撮影画面に戻ります。
- 電話帳、メール作成画面、ｉアプリから動画撮影を起動したときは確認できません。

### ✔お知らせ

- 撮影中にFOMA端末を折り畳むと、撮影が停止します。もう一度FOMA端末を開くと保存確認画面が表示されます。ただし、自動保存を「する」に設定している場合は、確認画面は表示されずに保存されます。
- 撮影中や録音中にキーを押したり充電を開始したりすると、操作音が録音される場合があります。
- 撮影や録音するデータによっては、設定しているサイズ制限の上限まで撮影できない場合があります。
- サイズ制限を「制限なし」に設定している場合、撮影中や録音中に電池残量がなくなるとデータが保存されないことがあります。
- 保存領域の空きが足りないときや最大保存件数を超えるときは、画面の指示に従って不要な動画や音声を削除したり、サイズ制限の設定を変更したりしてから撮影してください。
- 保存先をmicroSDメモリーカードに設定している場合は、動画はmicroSDメモリーカード内の「動画」フォルダに保存されます。録音した音声は「その他の動画」フォルダに保存されます。
- 撮影中に電話やプッシュトークがかかってきたり、目覚ましやスケジュールで指定した日時になったり、ディスプレイを回転させたりした場合は、その時点で撮影が中止され、確認画面が表示されます。また、録音中に電話やプッシュトークがかかってきたり、目覚ましやスケジュールで指定した日時になったりした場合は、その時点で録音が中止され、確認画面が表示されます。自動保存を「する」に設定している場合は、中止されるまでに撮影や録音したデータが自動で保存されます。
- 撮影中や録音中に電池が切れそうになると、電池残量がない旨のメッセージが表示され、撮影や録音は中止されます。自動保存を「する」に設定していると、中止された時点で撮影または録音されたデータが保存され、●を押すと撮影または音声録音画面に戻ります。自動保存を「しない」に設定していると、●を押した後に保存するかどうかの確認画面が表示されます。撮影画面や音声録音画面に戻って撮影しようとすると、電池残量がないために撮影ができない旨のメッセージが表示されます。
- 撮影中や録音中にアラームや電池アラームが鳴り、撮影や録音が中止された場合、保存した動画の最後にアラームや電池アラームなどが録音されることがあります。
- 電話帳およびメール作成画面から動画撮影を起動した場合の保存確認画面では、MENUを押した後、次の機能が利用できません。
  - メールの作成
  - 待受画面の設定
  - 電話帳の画像登録
  - 保存先の切り替え
  - 動画の一覧表示
- 2in1がONでBモードのときは、メールに関する操作はできません。
- microSDメモリーカードが取り付けられていないときや他の機能で使用されているとき、microSDモード中は、保存確認画面で利用できない機能があります。

静止画詳細設定・動画／録音詳細設定

## 静止画／動画のサイズや保存方法などを設定する

【お買い上げ時】
- 静止画詳細設定
  画像サイズ（アウトカメラ）：待受用（240×432） サイズ制限（アウトカメラ）：制限なし 画像サイズ（インカメラ）：QCIF（176×144） サイズ制限（インカメラ）：制限なし 画質：ファイン 撮影日時：なし 連続撮影枚数：9枚 自動保存：しない 保存先：本体 自動終了時間：1分後 シャッター音：標準 キーカスタマイズ：カメラ切替 照明設定：常灯
- 動画／録音詳細設定
  サイズ制限：メール添付用（大） 品質（動画撮影）：HQ（高品質） 品質（サウンドレコーダー）：HQ（高品質） 画像サイズ（アウトカメラ）：QCIF（176×144） 画像サイズ（インカメラ）：QCIF（176×144） 撮影種別：画像＋音声 自動保存：しない 保存先：本体 自動終了時間：1分後 シャッター音：標準 キーカスタマイズ：カメラ切替 照明設定：常灯

**画像サイズ、画質、品質、撮影種別、サイズ制限、保存先など、撮影時の条件を設定できます。**

- 電話帳、メール作成画面、ｉアプリから静止画撮影や動画撮影を起動したときは、設定の変更はできません。
  その場合、自動終了時間が自動的に「1分後」になります。

〈例〉静止画詳細設定を変更するとき

**1** ▶ ▶ 9

動画／録音詳細設定を変更する：（1秒以上）▶ ▶ 8

**2** 各項目を選択して設定▶ ［登録］

各設定項目→P189「設定項目について」

### ◆設定項目について

○：設定可　×：設定不可

| 項　目 | 詳細設定 | |
|---|---|---|
| | 静止画 | 動画／録音 |
| 画像サイズ | ○ | ○ |
| | 撮影する静止画や動画の画像サイズを設定します。<br>インカメラ・アウトカメラで個別に設定できます。→P196 | |
| サイズ制限 | ○ | ○ |
| | 保存するファイルのサイズ制限値を設定します。<br>静止画撮影ではインカメラ・アウトカメラで個別に設定できます。<br>撮影中の静止画や動画のファイルサイズ、録音中の音声のファイルサイズが制限値より大きくなると、静止画は自動的に画質を落とすか画像サイズを小さくして保存し、動画や音声は自動的に撮影を終了します。<br>• 撮影または録音したファイルをｉモードメールに添付して送信する場合は、「制限なし」以外に設定してください。 | |
| 画質 | ○ | × |
| | 保存する静止画ファイルの画質を設定します。画質がよくなるほど、ファイルサイズは大きくなります。→P195 | |
| 品質 | × | ○ |
| | 保存する動画ファイルや音声ファイルの品質を設定します。<br>• 動画、サウンドレコーダーごとに個別に設定できます。 | |
| 撮影日時 | ○ | × |
| | 静止画の右下に撮影日時を入れるかどうかを設定します。 | |
| 撮影種別 | × | ○ |
| | 撮影する動画の種類を設定します。<br>：画像＋音声　：画像のみ<br>：音声のみ（サウンドレコーダー） | |
| 連続撮影枚数 | ○ | × |
| | 連続撮影する枚数を2～9枚の範囲で設定します。 | |
| 自動保存 | ○ | ○ |
| | 撮影した静止画や動画、録音した音声を自動で保存するかどうかを設定します。 | |
| 保存先 | ○ | ○ |
| | 撮影した静止画や動画、録音した音声の保存先を設定します。<br>：FOMA端末<br>：microSDメモリーカード | |
| 自動終了時間 | ○ | ○ |
| | 何も操作していないときに静止画撮影、動画撮影、サウンドレコーダーを終了するまでの時間を設定します。 | |

| 項　目 | 詳細設定 | |
|---|---|---|
| | 静止画 | 動画／録音 |
| シャッター音 | ○ | ○ |
| | 5種類のシャッター音から選択します。<br>• シャッター音にカーソルを合わせると音が鳴ります。 | |
| キーカスタマイズ | ○ | ○ |
| | に割り当てる機能を設定します。カメラ切替、静止画撮影／動画撮影の切替、シャープネスの設定、カメラ感度の設定の4種類から選択できます。静止画撮影／動画撮影を選択すると、を1秒以上押したときの機能はカメラ切替に変更されます。<br>• 音声のみの動画（サウンドレコーダー）では設定できません。 | |
| 照明設定 | ○ | ○ |
| | 撮影中や録音中のディスプレイやキーの照明を設定します。<br>•「端末設定に従う」に設定するとディスプレイの照明設定に従い、「常灯」に設定すると常に点灯します。 | |

### ✔お知らせ

- 静止画詳細設定画面でを押すと、撮影可能枚数が表示されます。「画像サイズ（インカメラ）」または「サイズ制限（インカメラ）」にカーソルを合わせているときはインカメラでの撮影可能枚数が表示され、それ以外にカーソルを合わせているときはアウトカメラでの撮影可能枚数が表示されます。ここで表示される撮影可能枚数は目安です。
- 動画／録音詳細設定画面でを押すと、撮影／録音可能時間が表示されます。ここで表示される撮影／録音時間は目安です。
- 静止画の画像サイズを電話帳用（96×72）に設定すると、撮影日時は設定できません。
- 静止画の画像サイズのWXGA（768×1280）、1M（ワイド）（832×1500）、UXGA（1200×1600）、3M（1500×2000）とサイズ制限の「メール添付用（小）」は同時に設定できません。
- 「連続パノラマ撮影」の場合は、撮影日時を「日付」または「日付＋時刻」に設定しても、撮影日時は記録されません。
- シャッター音の設定は、操作確認音の静止画撮影シャッター音、動画撮影シャッター音の設定にも反映されます。→P125
- キーカスタマイズの設定は、電話帳、メール、ｉアプリからカメラを起動したとき、無効になり、「カメラ切替」になります。
- 照明設定を「常灯」に設定して、FOMA端末のディスプレイの明るさ調整（→P141）を「自動調整」に設定していると、静止画、動画の撮影画面、撮影確認画面は最も明るくなります。

## 撮影前に撮影方法を設定する

**ズーム機能やセルフタイマー撮影、接写撮影、ナイトモードなどを使用して、さまざまな方法で撮影できます。**

- 設定後の撮影→P181「カメラで静止画を撮影する」、P187「カメラで動画を撮影する」

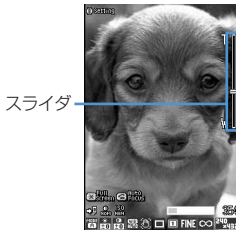
### ◆ズームする

撮影倍率を変更し、被写体を拡大して撮影します。

- 各画像サイズで変更できる表示倍率は次のとおりです。

| カメラの種類 | 画像サイズ | 最大倍率表示 | |
|---|---|---|---|
| | | 静止画撮影時 | 動画撮影時 |
| アウトカメラ | 電話帳用（96×72） | 約25.6倍（65段階） | － |
| | Sub-QCIF（128×96） | | 約20倍（9段階） |
| | QCIF（176×144） | 約16倍（65段階） | 約16倍（8段階） |
| | 横長QVGA（320×240） | 約4倍（65段階） | － |
| | 縦長QVGA（240×320） | 約8倍（65段階） | － |
| | QVGA（320×240） | － | 約4倍（3段階） |
| | 横待受用（432×240） | 約4倍（65段階） | － |
| | 縦待受用（240×432） | 約8倍（65段階） | － |
| | 横長VGA（640×480） | 約3倍（65段階） | － |
| | 縦長VGA（480×640） | 約4倍（65段階） | － |
| | 横長WXGA（1280×768） | 約3倍（6段階） | － |
| | 縦長WXGA（768×1280） | 約4倍（6段階） | － |
| | 横長1M（ワイド）（1500×832） | 約2倍（6段階） | － |
| | 縦長1M（ワイド）（832×1500） | 約3倍（6段階） | － |
| | UXGA（1200×1600） | 約2倍（6段階） | － |
| | 3M（1500×2000） | | － |

| カメラの種類 | 画像サイズ | 最大倍率表示 | |
|---|---|---|---|
| | | 静止画撮影時 | 動画撮影時 |
| インカメラ | 電話帳用(96×72) | 約2倍(2段階) | – |
| | Sub-QCIF(128×96) | | 約2倍(2段階) |
| | QCIF(176×144) | | |
| | CIF(352×288) | | – |

**1** 静止画撮影画面または動画撮影画面で[カメラ切替]

押すたびにスライダの目盛が移動し、表示倍率が変わります。

静止画撮影のとき
W(標準)からT(最大ズーム)まで変更できます。

動画撮影のとき
1倍(標準)、2倍、4倍、6倍、8倍、10倍、12倍、16倍、20倍に変更できます。

## ◆セルフタイマーを使う〈セルフタイマー〉

セルフタイマーを使って静止画を撮影します。設定した秒数になると自動でシャッターが切れるため、撮影者自身が被写体になったり、手ぶれを防いだりできます。

**1** 静止画撮影画面で[MENU]▶[5]▶[1]～[4]

シャッターが切れるまでの秒数に応じて[マーク]～[マーク]が表示されます。

解除する：[MENU]▶[5][5]

**2** 被写体にカメラを向けて[●]［撮影］またはサイドキー［▲］

カウントダウン音が鳴り、ランプが緑色で点滅します。インジケータとカウンタには撮影までの残り時間の目安と残り秒数が表示されます。
残り秒数が少なくなると、カウントダウン音とランプの点滅が速くなります。
カウントが0になると、シャッター音が鳴ります。静止画が撮影されると、ランプが赤色で点灯します。

- 途中で中止するときは[CLR]を押します。

✔お知らせ

- 次の場合はカウントダウンが中止されます。
  - FOMA端末を折り畳んだとき
  - 電話やプッシュトークがかかってきたとき
  - 目覚ましやスケジュールで指定した日時になったとき
  - [MULTI]を押したとき
  - ディスプレイを回転させたとき
- 次の場合にはセルフタイマーを使用できません。
  - 連続撮影手動のとき
  - 4コマ撮影手動のとき
  - 連続パノラマ撮影のとき
- セルフタイマーを設定して[カメラ]を押すと、ピントが合ったあとカウントダウンが始まります。

## ◆近くのものを撮影する〈接写撮影〉

カメラから約8～10cm離れた被写体にピントを合わせられます。

- オートフォーカスを併用すると、約8～40cm離れた被写体にピントを合わせられます。
- インカメラ撮影時は接写撮影を使用できません。

**1** 静止画撮影画面または動画撮影画面で[#]

接写撮影に切り替わり、[マーク]が表示されます。

- [#]を押すたびに、接写撮影ON／OFFが切り替わります。

## ◆ナイトモードに切り替える

カメラの感度を上げて暗い場所でもはっきり写るようにします。

**1 静止画撮影画面または動画撮影画面で[✉][ナイトON]**

ナイトモードに切り替わり、[ナイトアイコン]が表示され、ランプが白色で点灯します。

- [✉]を押すたびに、ナイトモードON／OFFが切り替わります。

### ✔お知らせ

- 次の場合はナイトモードを使用できません。
  - インカメラで静止画撮影中に、連続撮影を「連続撮影自動」に設定しているとき
  - 動画撮影中にインカメラを使用しているとき
  - 撮影モードを「夜景」「ペット」「スポーツ」に設定しているとき
  - カメラ感度を「高感度」「低感度」に設定しているとき

## ◆共通再生モードに切り替える

F904i以外の携帯電話でも再生できる動画を撮影できます。

**1 動画撮影画面で[MENU]▶[7]**

共通再生モードに切り替わり、[共通再生アイコン]が表示されます。

### ✔お知らせ

- 共通再生モードをONに設定すると、各設定は次のように変更されます。
  - サイズ制限：「メール添付用（小）」
  - 品質が「XQ（最高品質）」の場合：「HQ（高品質）」
  - 画像サイズが「縦長QVGA（320×240）」の場合：「QCIF（176×144）」
- ｉアプリからカメラを起動したときは、共通再生モードをONに設定できません。

## ◆全画面モードと標準画面モードを切り替える

全画面モードにすると設定アイコンやガイド表示領域が消え、被写体を確認しやすくなります。

**1 静止画撮影画面または動画撮影画面で[✂]**

### ✔お知らせ

- 電話帳、メール作成画面、ｉアプリから起動したときには、全画面モードと標準画面モードの切り替えはできません。
- 動画の縦撮影時には、全画面モードと標準画面モードの切り替えはできません。

## ◆縦撮影と横撮影を切り替える

- 撮影待機中のみ切り替えられます。

**1 ディスプレイを回転させる**

- 静止画撮影でアウトカメラ撮影時、画像サイズが次の場合は、縦撮影にすると縦長のサイズに、横撮影にすると横長のサイズになります。
  - QVGA
  - 待受用
  - VGA
  - WXGA
  - 1M（ワイド）

### ✔お知らせ

- ｉアプリから起動したときは、縦撮影と横撮影を切り替えても画像サイズは切り替わりません。

## ◆インカメラとアウトカメラを切り替える

**1 静止画撮影画面または動画撮影画面で[📷]**

- カメラを切り替えても、撮影モードなどの設定は保持されます。
- 動画撮影の一時停止中でもインカメラとアウトカメラの画像サイズが同じであれば切り替えられます。

### ✔お知らせ

- [📷]キーカスタマイズ（→P190）をカメラ切替以外に設定していると、[📷]で切り替えられません。
- 静止画撮影画面で[MENU][8][1]、動画撮影画面で[MENU][6][1]を押しても切り替えられます。

## ◆静止画撮影と動画撮影を切り替える

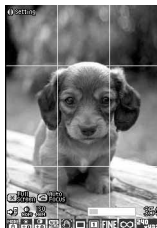
**1 静止画撮影画面または動画撮影画面で[📷]（1秒以上）**

### ✔お知らせ

- [📷]キーカスタマイズ（→P190）を動画撮影／静止画撮影に設定していると、[📷]（1秒以上）では切り替えられず、[📷]で切り替えます。
- 静止画撮影画面で[MENU][0][1]、動画撮影画面で[MENU][9][1]を押しても切り替えられます。

### ◆ガイドラインを表示する

**1** **静止画撮影画面でサイドキー［▼］**

ガイドラインが表示されます。
- サイドキー［▼］を押すたびに、ガイドラインの表示／非表示が切り替わります。
- フレームを設定しているときは、ガイドラインは表示できません。

ガイドライン表示

## 撮影時の設定を変更する

【お買い上げ時】
- 静止画撮影時
  撮影モード：オート　明るさ：±0　色の濃さ：±0　ホワイトバランス：オート　手ぶれ補正：オート　フレーム：なし　画質：ファイン　サイズ制限（アウトカメラ）：制限なし　サイズ制限（インカメラ）：制限なし　画像サイズ（アウトカメラ）：待受用（240×432）　画像サイズ（インカメラ）：QCIF（176×144）　シャープネス：ノーマル　カメラ感度：ノーマル　ちらつき調整：自動
- 動画撮影時
  撮影モード：オート　明るさ：±0　色の濃さ：±0　ホワイトバランス：オート　手ぶれ補正：オート　フレーム：なし　品質（動画撮影）：HQ（高品質）　品質（サウンドレコーダー）：HQ（高品質）　サイズ制限：メール添付用（大）　画像サイズ（アウトカメラ）：QCIF（176×144）　画像サイズ（インカメラ）：QCIF（176×144）　シャープネス：ノーマル　カメラ感度：ノーマル　ちらつき調整：自動

**撮影モード、明るさ、色の濃さ、ホワイトバランス、手ぶれ補正、フレーム、画質、品質、サイズ制限、画像サイズ、シャープネス、カメラ感度、ちらつき調整の設定を変更できます。**
- 動画撮影で、撮影種別が「音声のみ」のときに設定できるのは、品質、サイズ制限のみです。

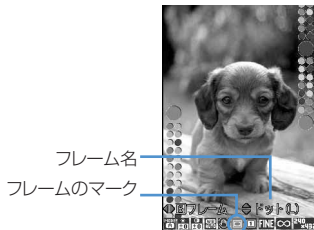
### ◆画面のマークを使って設定する

撮影画面の下に表示されているマークにカーソルを合わせて、撮影時の設定を変更できます。

〈例〉フレーム設定をするとき

**1** **静止画撮影画面または動画撮影画面で**
**▶フレームのマークにカーソルを合わせる**

- 撮影待機中に 6 を押してもフレームのマークを選択できます。

**2** **でフレームを切り替える**

- 6 を押してもフレームが切り替わります。

解除する： 6 （1秒以上）

**3** **［決定］を押す**

### ❖撮影モードを設定する

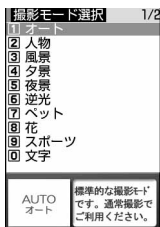
撮影状況や好みに合わせて、撮影モードを設定します。

**オート**：標準的な撮影モードです。
**人物**※1：肌の色がきれいに見え、ソフトな感じになります。
**風景**：晴れた野外での撮影に適しています。
**夕景**：夕焼けなどの撮影に適しています。
**夜景**※1：夜景の撮影に適しています。シャッター速度が遅くなるため、手ぶれに注意してください。
**逆光**：中央にある被写体が明るく見えるように撮影します。
**ペット**：動きの速いペットなどの撮影に適しています。
**花**※1：明るく、鮮やかな感じになります。
**スポーツ**：動きのある被写体の撮影に適しています。
**文字**※1：時刻表などの文字をくっきり見えるように撮影します。
**海・雪**：強い照り返しでの撮影に適しています。
**銀塩カメラ調**※1：コントラストの高いくっきりとした感じになります。
**味わい**※1：柔らかく温かみのある感じになります。
**モノトーン**：モノトーン調で撮影します。
**セピア**：セピア調で撮影します。
**モノクロスケッチ**※1、2：えんぴつでスケッチしたような感じになります。
**カラースケッチ**※1、2：えんぴつでスケッチして水彩絵の具で色をつけた感じになります。
**マニュアルモード**：ホワイトバランス、色の濃さ、明るさなどを手動で設定できます。

※1　動画撮影時は設定できません。
※2　iアプリから起動した場合には設定できません。

- 撮影待機中に 1 を押しても撮影モードが切り替わります。

✔お知らせ

- 撮影待機中に[MENU]1を押すと、撮影モードを一覧から設定できます。

撮影モードの一覧の下には、現在のカーソル位置の撮影モードの説明が表示されます。
撮影モードの一覧画面で[MENU]を押すとカメラの設定を調整することができます。→P197
- 「マニュアルモード」の次の設定は、静止画撮影または動画撮影を終了しても保持されます。
  - 明るさ
  - 色の濃さ
  - ホワイトバランス
  - シャープネス
  - カメラ感度
- 自動連写（連続撮影自動、4コマ撮影自動）と「夜景」は同時に設定できません。
- 連続撮影と「モノクロスケッチ」「カラースケッチ」は同時に設定できません。
- ナイトモードと「夜景」「ペット」「スポーツ」は同時に設定できません。
- 静止画の画像サイズが次の場合は「モノクロスケッチ」「カラースケッチ」を設定できません。
  - 横長VGA（640×480）
  - 縦長VGA（480×640）
  - 横長WXGA（1280×768）
  - 縦長WXGA（768×1280）
  - 横長1M（ワイド）（1500×832）
  - 縦長1M（ワイド）（832×1500）
  - UXGA（1200×1600）
  - 3M（1500×2000）
- 「オート」「マニュアルモード」以外の撮影モードを使用しているときは、「明るさ」のみ調整でき、「オート」「マニュアルモード」に変更されるまで設定は保持されます。

## ❖明るさを調整する

撮影する静止画や動画の明るさを－2～＋2の5段階で調整します。

- 撮影待機中に2[ナビ]を押しても明るさを調整できます。

✔お知らせ

- 撮影する静止画や動画によっては、明るさを調整しても表示があまり変化しない場合があります。

## ❖色の濃さを調整する

撮影する静止画や動画の色の濃さを－2～＋2の5段階で調整します。

- 撮影待機中に3[ナビ]を押しても色の濃さを調整できます。

✔お知らせ

- 撮影する静止画や動画によっては、色の濃さを調整しても表示があまり変化しない場合があります。
- 撮影モードが「オート」または「マニュアルモード」の場合のみ設定できます。

## ❖ホワイトバランスを調整する

自然光や照明光のある場所で撮影するとき、場に適した色合いに調整できます。

**オート**：ホワイトバランスを自動的に調整します。
**太陽光**：晴天時の屋外で撮影するときに適した色合いです。
**くもり**：曇天や日陰、夕刻などに撮影するときに適した色合いです。
**蛍光灯**：蛍光灯などの照明の下で撮影するときに適した色合いです。
**電球**：電球などの照明の下で撮影するときに適した色合いです。

- 撮影待機中に4[ナビ]を押してもホワイトバランスが切り替わります。

✔お知らせ

- 撮影モードが「オート」または「マニュアルモード」の場合のみ設定できます。

## ❖手ぶれを補正する

手ぶれなどの振動による画像の乱れを補正します。

[手ぶれ補正オートアイコン]: 手ぶれ補正オート　[手ぶれ補正OFFアイコン]: 手ぶれ補正OFF

- 撮影待機中に5[ナビ]を押しても手ぶれ補正のオート／OFFが切り替わります。

✔お知らせ

- 連続撮影、4コマ撮影、連続パノラマ撮影時は手ぶれ補正を設定できません。
- インカメラ撮影時は、手ぶれ補正を設定できません。
- 手ぶれ補正機能を使っても、完全に手ぶれを補正できるわけではありません。効果は被写体や撮影状況により異なります。手ぶれが大きかったり、被写体の動きが激しかったりする場合は効果が薄くなることがあります。
- 動画撮影時に手ぶれ補正を使用した場合、周辺画素を使用するため、手ぶれ補正を使用しない場合に比べて、撮影時に写る範囲が少し狭くなります。

## ❖フレームを重ねて撮影する

FOMA端末に保存されているフレームや、サイトからダウンロードしたフレームを重ねて撮影できます。

：フレーム　：フレーム解除

- お買い上げ時にFOMA端末に保存されているフレームは、QCIF（176×144）、縦長QVGA（240×320）、横長QVGA（320×240）、横待受用（432×240）、縦待受用（240×432）の画像サイズに対応しています。
- 静止画の画像サイズが次の場合はフレームを設定できません。
  - 電話帳用（96×72）
  - 横長VGA（640×480）
  - 縦長VGA（480×640）
  - 横長WXGA（1280×768）
  - 縦長WXGA（768×1280）
  - 横長1M（ワイド）（1500×832）
  - 縦長1M（ワイド）（832×1500）
  - UXGA（1200×1600）
  - 3M（1500×2000）
- 動画の撮影サイズをQVGA（320×240）に設定しているときは、フレームを設定できません。
- 電話帳、メール作成画面、ｉアプリからカメラを起動したときは、フレームを設定できません。
- お買い上げ時に登録されているフレーム→P496

✔お知らせ

- 撮影待機中に[MENU][3][1]を押すと、フレームの一覧からフレームを設定できます。
- 選択したフレームのサイズが表示画像サイズと縦横反対のとき、フレームは右に90度回転して表示されます。その後、[MENU][3][3]を押すと、フレームは180度回転します。
- 静止画撮影中にダウンロードして保存したフレームは、撮影待機画面に戻って[MENU][3][4]を押して更新しないと、使用できない場合があります。

## ❖静止画の画質／動画の品質を設定する

### 静止画撮影のとき

**ファイン**：最も高い画質です。
**スタンダード**：標準的な画質です。
**エコノミー**：最も低い画質です。

- 撮影待機中に[8]を押しても画質が切り替わります。

### 動画撮影のとき

**XQ（最高品質）**：最も高い品質です。撮影可能な時間は最も短くなります。
**HQ（高品質）**：画像の動きがなめらかです。
**STD（標準）**：標準的な品質です。
**LP（長時間）**：最も低い品質です。撮影可能な時間は最も長くなります。

- 撮影待機中に[8]を押しても品質が切り替わります。

## ❖ファイルサイズを制限する

### 静止画撮影のとき

**制限なし**：ファイルサイズを制限しません。
**メール添付用（大）**：ファイルサイズを2Mバイトに制限します。ファイルサイズを変更せずに、ｉモードメールに添付できます。
**メール添付用（小）**：ファイルサイズを90Kバイトに制限します。ｉモードメールに添付するのに適したファイルサイズです。

- 撮影待機中に[9]を押してもサイズ制限が切り替わります。

### 動画撮影のとき

**制限なし**：ファイルサイズを制限しません。
**メール添付用（大）**：ファイルサイズを2Mバイトに制限します。大容量メールに対応している機種に送信できるファイルサイズです。
**メール添付用（小）**：ファイルサイズを500Kバイトに制限します。ｉモードメールに添付して大容量メールに対応していない機種に送信できるファイルサイズです。

- 撮影待機中に[9]を押してもサイズ制限が切り替わります。

✔お知らせ

- 静止画の画像サイズの設定によっては、サイズ制限の設定が自動的に変更される場合があります。

### ❖画像のサイズを設定する

設定できる画像サイズは次のとおりです。

#### 静止画撮影の場合

| 画像サイズ | マーク | メール送信の可否 |
|---|---|---|
| 電話帳用 | 96×72 | ｉモードメールに添付して送信できます。また、デコメールに貼り付けるのに適したサイズです。 |
| Sub-QCIF | 128×96 | |
| QCIF | 176×144 | |
| 横長QVGA※1、5 | 320×240 | |
| 縦長QVGA※1、5 | 240×320 | |
| 横待受用※1、5 | 432×240 | ｉモードメールに添付して送信できます。ファイル添付時にQVGAサイズに変換するかどうかの確認画面が表示されます。 |
| 縦待受用※1、5 | 240×432 | |
| CIF※2 | 352×288 | |
| 横長VGA※1、4、5 | 640×480 | |
| 縦長VGA※1、4、5 | 480×640 | |
| 横長WXGA※1、4、5 | 1280×768 | |
| 縦長WXGA※1、4、5 | 768×1280 | |
| 横長1M（ワイド）※1、4、5 | 1500×832 | |
| 縦長1M（ワイド）※1、4、5 | 832×1500 | |
| UXGA※1、3、4 | 1200×1600 | |
| 3M※1、3、4 | 1500×2000 | |

#### 動画撮影の場合

| 画像サイズ | マーク | メール送信の可否 |
|---|---|---|
| Sub-QCIF | 128×96 | ｉモードメールに添付して送信できます。 |
| QCIF | 176×144 | |
| QVGA※1 | 320×240 | |

※1 アウトカメラ撮影時のみ有効な画像サイズです。
※2 インカメラ撮影時のみ有効な画像サイズです。
※3 ｉアプリ動作中の場合は選択できません。
※4 撮影モードが「モノクロスケッチ」「カラースケッチ」に設定されている場合は選択できません。
※5 ディスプレイを回転させると、画像の縦横サイズが逆になります。

- ｉモード端末に最大2Mバイトの画像を送信できます。
- 撮影待機中に[0]を押しても画像サイズが切り替わります。

#### ✔お知らせ

- 静止画の画像サイズの設定によっては、サイズ制限の設定が自動的に変更される場合があります。
- 静止画撮影画面で[MENU][9]を押して静止画詳細設定画面から設定を行う場合、画像サイズの選択画面で次のアイコンが表示されます。それぞれのアイコンはカーソルを合わせた画像サイズで利用できる機能を示します。

画像サイズ設定画面で表示されるアイコン

① 手ぶれ補正
　：設定可能　：設定不可
② 連続撮影
　：設定可能　：設定不可
③ 連続パノラマ撮影
　：設定可能　：設定不可
④ フレーム
　：設定可能　：設定不可
⑤ アウトカメラ／インカメラ
　：アウトカメラ、インカメラで撮影可能
　：アウトカメラでのみ撮影可能
　：インカメラでのみ撮影可能

- 画像サイズの選択画面で[MENU]を押すと、撮影可能枚数が表示されます。ここで表示される撮影可能枚数は目安です。
- は、ディスプレイを回転させると、画像の縦横サイズが逆になることを示します。

### ◆その他の撮影時の設定

撮影する静止画や動画のシャープネス、カメラ感度、ちらつきを調整します。ちらつき調整をすると、蛍光灯などの照明下で画面にちらつきや縞模様が現れるフリッカー現象を抑えることができます。

**1 静止画撮影画面または動画撮影画面で[MENU]▶[2]**

シャープネスを調整する：[4]▶[1]〜[3]
**ノーマル**：標準的な設定です。
**シャープ**：よりくっきりした感じになります。
**ソフト**：柔らかな感じになります。

カメラ感度を調整する：[5]▶[1]〜[3]
**ノーマル**：標準的な設定です。
**高感度**：シャッター速度が速くなり、手ぶれしにくくなります。
**低感度**：シャッター速度が遅くなり、手ぶれしやすくなりますが、ノイズの少ない静止画や動画が撮影できます。

ちらつきを調整する：6▶1～3

**自動**：ちらつきを消すように自動的に調整します。通常はこちらに設定してください。

**50Hz（東日本）**：東日本の電源周波数に合わせて調整します。

**60Hz（西日本）**：西日本の電源周波数に合わせて調整します。

- 「自動」に設定してもちらつきが消えないときは、お使いの地域に合わせて「50Hz（東日本）」または「60Hz（西日本）」に設定してください。
- カメラを終了しても、設定は保持されます。

**✔お知らせ**

- シャープネスとカメラ感度は□キーカスタマイズ（→P190）で□を押して切り替えるように設定できます。
- シャープネスとカメラ感度は、撮影モードが「オート」または「マニュアルモード」の場合のみ設定できます。
- 撮影する静止画や動画によっては、シャープネスを調整しても状態があまり変化しない場合があります。
- 撮影する静止画や動画によっては、カメラ感度を調整してもシャッター速度が変化しない場合があります。
- シャープネスを「シャープ」、またはカメラ感度を「高感度」に設定すると、ノイズが多くなる場合があります。
- カメラ感度を「低感度」に設定すると、画像が暗くなる場合があります。
- カメラ感度の調整は、アウトカメラのみ効果があります。
- ちらつき調整を設定すると、テレビ電話とバーコードリーダーのちらつき調整も同様に設定されます。
- ちらつき調整を「自動」以外に設定していても、蛍光灯などの光が強く当たっている場所ではちらつきが消えない場合があります。
- ちらつき調整が「自動」に設定されているときに手ぶれ補正機能を使うと、ちらつき調整が十分にできないことがあります。お使いになっている地域に合わせてちらつき調整を設定することをおすすめします。

### ◆撮影時の設定を一括して調整する

明るさ、色の濃さ、ホワイトバランス、シャープネス、カメラ感度、ナイトモード、ちらつき調整が設定できます。撮影モードによって設定可能な項目が変わります。

**1 静止画撮影画面または動画撮影画面で MENU▶2 7**

**2 各項目を選択して設定▶□［登録］**

- 各項目をお買い上げ時の設定に戻すには、□を押して「はい」を選択します。

### ◆撮影時の設定を初期値に戻す

- 初期値に戻るのは次の設定です。
  - 撮影モード
  - 明るさ
  - 色の濃さ
  - ホワイトバランス
  - シャープネス
  - カメラ感度
  - ちらつき調整

**1 静止画撮影画面または動画撮影画面で MENU▶2 8▶「はい」を選択**

ワンショットメール

## 通話中に撮影した静止画を送信する

**音声電話中に撮影した静止画をｉモードメールに添付して、通話相手に送信します。**

- 本機能を使用すると、静止画詳細設定で保存先を「microSD」に設定しても、画像はFOMA端末に保存されます。
- 静止画詳細設定で保存先を「microSD」に設定したときは、自動保存を「しない」に設定してください。自動保存が「する」に設定されている場合、通話中に撮影した静止画を送ることができません。

**1 通話中に□▶静止画を撮影**

撮影のしかた→P181「カメラで静止画を撮影する」

- 連続撮影した場合は、撮影した静止画がサムネイル表示されます。□を押し、送信する静止画にカーソルを合わせてください。
- 静止画詳細設定で自動保存を「する」に設定している場合、撮影した画像をメールに添付するかどうかの確認画面が表示されます。「はい」を選択すると、撮影した静止画を確認できます。

**2 □▶「はい」を選択**

撮影した静止画がFOMA端末に保存され、メール作成画面が表示されます。

- 撮影した静止画の画像サイズやファイルサイズによっては、QVGAサイズに変換するかどうかの確認画面が表示されます。→P241
- 画像サイズとサイズ制限の設定によっては、撮影した静止画のファイルサイズを調整するかどうかの確認画面が表示されます。「制限なし」を選択するとそのままのファイルサイズで保存されます。「メール添付用（小）」を選択すると90Kバイトより小さいファイルサイズでFOMA端末に保存されます。
- メール添付の際は、保存先をmicroSDメモリーカードに設定していても、撮影した静止画はFOMA端末に保存されます。

- 撮影や保存した静止画のファイルサイズが90Kバイトより小さい場合は、本文へ貼り付けるかどうかの確認画面が表示されます。「はい」を選択するとメール本文へ貼り付けられます。
- 通話相手のメールアドレスが電話帳に登録されている場合、自動的に相手のメールアドレスが宛先に入力されます。
- ｉモードメールを作成せずに撮影画面に戻るときはch/クリアを押します。そのまま撮影を中止するときは、撮影画面でch/クリアを押します。

**3** **ｉモードメールを編集▶[送信]**

ｉモードメールを送信すると、撮影待機中の画面に戻ります。ch/クリアまたは[メニュー]を押すと撮影を終了し、通話中の画面に戻ります。

**✔お知らせ**

- 2in1がONでBモードのときは、メールに関する操作はできません。

バーコードリーダー

## バーコードリーダーを利用する

**カメラを使ってJANコード、QRコード、NW7コード、CODE39コードに含まれている文字や数字などの情報を読み取ります。読み取った情報は電話帳やブックマークに登録したり、Phone To（AV Phone To）、Mail To、Web Toに利用したりできます。**

- 読み取った情報は最大5件保存できます。
- バーコードリーダーはアウトカメラのみ利用できます。
- QRコードのバージョン（種類やサイズ）によっては読み取れない場合があります。
- NW7コード、CODE39コードは横幅が長いため、全体を画面に写そうとするとピントがぼけて認識できない場合があります。オートフォーカスを使用するか、コードの中心に向かってピントが合う程度までFOMA端末を近づけると、認識しやすくなります。
- 傷、汚れ、破損、印刷の品質、光の反射などにより読み取れない場合があります。
- 文字入力画面からバーコードリーダーを起動して、読み取った情報をそのまま入力できます。→P449

### ❖JANコードとは

幅の異なる縦の線（バー）で数字を表現しているバーコードです。8桁（JAN8）または13桁（JAN13）のバーコードを読み取れます。
上のJANコードでは、「4942857315721」という文字情報を読み取れます。

### ❖QRコードとは

縦横方向の模様で英数字、漢字、ひらがな、カタカナ、絵文字、メロディ、画像などのデータを表現している2次元コードです。
上のQRコードでは、「株式会社NTTドコモ」という文字情報を読み取れます。

### ❖NW7コードとは

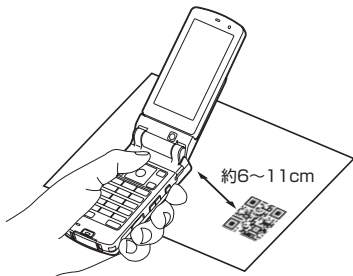
幅の異なる縦の線（バー）で英数字を表現しているバーコードです。20桁までのデータと2桁の開始記号、停止記号を含むバーコードを読み取れます。
上のNW7コードでは「A123456789012A」という文字情報を読み取れます。

### ❖CODE39コードとは

幅の異なる縦の線（バー）で英数字と記号を表現しているバーコードです。20桁までのデータと2桁の開始記号、停止記号を含むバーコードを読み取れます。
上のCODE39コードでは「*123456ABC*」という文字情報を読み取れます。

## ◆コードを読み取る

**1** MENU ▶ 6 1

バーコードリーダーが起動して、自動的に接写撮影に切り替わります。ランプが白色で点灯します。ズームが自動的にONになり、バーコード読み取り中を示す が表示されます。
アウトカメラをコードから約6〜11cm離して読み取ってください。

- コード読み取り待機中は次の操作ができます。
  ：ズームON　：ズームOFF
  ＃：接写撮影OFF（表示なし）と接写撮影ON（ ）の切り替え
  ：オートフォーカスを切り替えます。状態によって次のようにアイコンが変化します。
  表示なし：オートフォーカスOFF
  AF（黒）：オートフォーカス起動時
  AF（緑）：ピントが合ったとき
  AF（赤）：ピントが合わないとき
- サイズの大きいコードを読み取るときは接写撮影OFFに切り替えてください。また、ズームをOFFにするとコードを認識しやすくなる場合があります。

**通常の静止画撮影または動画撮影に切り替える：** MENU ▶ 3 ▶ 1 **または** 2

- カメラや待受画面以外からバーコードリーダーを起動した場合は切り替えられません。

**ちらつきを調整する：** MENU ▶ 2 ▶ 1〜3

お使いの地域の電源周波数を選択してください。「自動」を選択すると電源周波数は自動的に調整されます。

- カメラを終了しても、設定は保持されます。

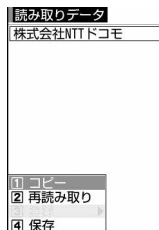
**2** コードを読み取る

アウトカメラをコードに合わせると自動的に読み取ります。コードの読み取りが完了すると確認音が鳴り、読み取ったデータが表示されます。

- 読み取ったデータが半角で11000文字、全角で5500文字を超える場合、超過した文字は表示されませんが保存はできます。

**コードを読み取り直す：** **を押す**

- MENU 2 を押しても、読み取り直しができます。

**3** MENU ▶ 4

読み取ったデータが保存されます。

- すでにデータを5件保存しているときやデータの保存領域の空きが足りないときは、保存されているデータを削除するかどうかの確認画面が表示されます。「はい」を選択して、保存されているデータを削除してください。

**読み取ったデータの文字情報をコピーする：**

①MENU ▶ 1 ▶ **開始位置を選択**

- MENU を押すと、すべての文字情報をまとめて選択できます。

②**終了位置を選択**

選択した範囲の文字情報がコピーされます。

### ✔お知らせ

- バーコードリーダーのちらつきを調整すると、テレビ電話とカメラのちらつきも同時に調整されます。
- コードが読み取りにくい場合は、コードとアウトカメラの距離、角度、方向などを調節することにより、読み取れることがあります。
- 音量設定の電話着信音量とメール・メッセージ着信音量を「Silent」に設定している場合やマナーモード中、公共モード中は、コードを読み取ったときに確認音が鳴りません。

### ❖分割されたQRコードを読み取るとき

複数（最大16個）のQRコードに分割されているデータを、画面に表示されるメッセージに従って次々に読み取ってください。

読み取りが必要な残りのQRコード数とQRコードの総数が表示されます。

QRコードの総数分のマスが表示されます。読み取りが完了したマスは青、まだ読み取っていないマスはグレー、最後に読み取られたマスは緑で表示されます。

- 分割されたQRコードの読み取りを中止するには、[CLR]を押して「はい」を選択します。

## ◆保存した読み取りデータを利用する

〈例〉情報をFOMA端末またはFOMAカードの電話帳に登録するとき

**1** **[MENU]▶[6][1]▶[📖]▶利用する読み取りデータを選択**

**読み取りデータを削除する：削除する読み取りデータにカーソルを合わせて[MENU]▶[3][1]▶「はい」を選択**

- すべての読み取りデータを削除するときは、[MENU][3][2]を押して認証操作を行い、「はい」を選択します。

**2** **電話帳に登録する情報にカーソルを合わせて[MENU]▶[3]▶[1]または[2]▶[1]または[2]**

選択した情報が入力されている電話帳登録画面が表示されます。

**情報を電話帳に一括登録する：「電話帳登録」を選択▶[1]または[2]**

名前、フリガナ、電話番号、メールアドレス、誕生日、テキストメモ、郵便番号／住所、URLが入力されている電話帳登録画面が表示されます。

**ｉモードメールを送信する：メールアドレスまたは「メール作成」を選択**

宛先が入力されているメール作成画面が表示されます。

- 「メール作成」を選択した場合は、宛先、題名、本文が入力されています。

**サイトまたはインターネットホームページに接続する：URLを選択▶「はい」を選択**

- URLを選択して[i]を押すとフルブラウザで接続します。

**URLをブックマークに登録する：**

**①URLにカーソルを合わせて[MENU]▶[3][3]**

- 「ブックマーク登録」を選択しても登録できます。

**②登録先フォルダを選択**

以降の操作→P210「ブックマークに登録する」操作2

- 「ブックマーク登録」を選択した場合は、サイト名がタイトルとして入力されています。

**ｉアプリを起動する：「ｉアプリ起動」を選択**

**音声電話、テレビ電話、プッシュトークをかける：電話番号を選択▶発信条件を設定▶[MENU]▶「はい」を選択**

条件を設定して電話をかける→P62

**静止画ファイルを保存する：**

**①静止画ファイルを選択▶「保存」を選択**

- 「表示」を選択すると、静止画ファイルが表示されます。

**②各項目を選択して設定▶[📖]▶静止画の保存先を選択**

各設定項目→P384

**メロディデータを保存する：**

**①メロディデータを選択▶「保存」を選択**

- 「再生」を選択すると、メロディデータが再生されます。

**②表示名を入力▶[📖]**

メロディデータがメロディ内の「データ交換」フォルダに保存されます。

- [i]を押すたびに保存先を本体またはmicroSDメモリーカードに切り替えられます。
- microSDメモリーカードに保存すると「メロディ」フォルダに保存されます。

**トルカを保存する：トルカを選択▶「保存」を選択**

保存したトルカはトルカ一覧の「トルカフォルダ」に保存されます。

- 「表示」を選択すると、トルカが表示されます。

✔お知らせ

- カメラ起動中や、バーコードリーダーに対応しているｉアプリ起動中、バーコードリーダーを起動できます。ｉアプリから起動した場合、読み取ったデータはｉアプリで保存、利用されます。
- 読み取ったデータのファイル名は、読み取り日時＋ファイル項番＋拡張子になります。拡張子はJANコードの場合「jan」、QRコードの場合「qr」、NW7コードの場合「nw7」、CODE39コードの場合「c39」になります。たとえば、2007年5月24日9時4分にJANコードを読み取った場合は「20070524090400.jan」になります。すでに同じ日時で保存したデータがある場合は、ファイル項番が+1されます。ファイル名は変更できません。
- 2in1がONでBモードのときは、メールに関する操作はできません。

# ｉモード／ｉモーション／ｉチャネル

## ｉモードとは

**ｉモードでは、ｉモード対応FOMA端末（以下、ｉモード端末）のディスプレイを利用して、サイト（番組）接続、インターネット接続、ｉモードメールなどのオンラインサービスを利用できます。**

- ｉモードはお申し込みが必要な有料サービスです。お申し込みに関するお問い合わせは、取扱説明書裏面をご覧ください。
- ｉモードサービスの詳細については、最新の『ご利用ガイドブック（ｉモード〈FOMA〉編）』をご覧ください。

### ｉモードのご使用にあたって

- サイト（番組）やインターネット上のホームページの内容は、一般に著作権法で保護されています。これらサイト（番組）やホームページからｉモード端末に取り込んだ文章や画像などのデータを、個人として楽しむ以外に、著作権者の許可なく一部あるいは全部をそのまま、または改変して販売、再配布することはできません。
- ｉモード端末に保存されている内容（メール、メッセージR/F、画面メモ、ｉアプリ、ｉモーション）やブックマークなどの登録内容は、ｉモード端末の故障、修理やその他の取り扱いによって消失する場合がありますので、重要なデータは控えをとっておくことをおすすめします。万一、保存されている内容や登録した内容が消失した場合、当社としては責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 異なるFOMAカードに差し替えたり、FOMAカードを未挿入のまま電源を入れたりした場合、機種によってサイトから取り込んだ静止画、ｉモーション、メロディやメールで送受信した添付ファイル（静止画、動画、メロディなど）、画面メモおよびメッセージR/Fなどは表示、再生できません。
- FOMAカード動作制限機能が設定されているデータを待受画面や着信音などに設定している場合、異なるFOMAカードに差し替えたり、FOMAカードを未挿入のまま電源を入れたりすると、設定内容はお買い上げ時の状態に戻ります。データをダウンロードしたときに使用したFOMAカードを差し込むと、設定は元の状態に戻ります。

**✔お知らせ**

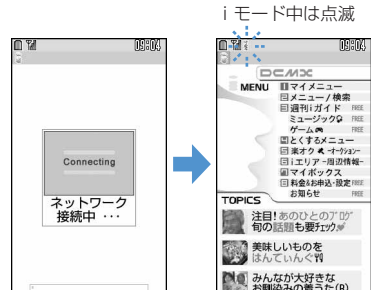
- パソコンをお持ちの場合は、データリンクソフトとFOMA USB接続ケーブル（別売）を利用して、メール、ブックマークなどの内容をパソコンに保管できます。また電話帳お預かりサービスをご契約の場合は、メールをお預かりセンターへ保存できます。
- microSDメモリーカードにメール、ブックマークなどの内容を保存できます。

## サイトを表示する

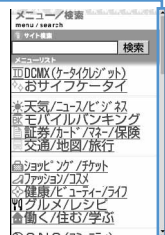
[MENU]▶[2][1]

**ｉモードに接続して、さまざまなサイトを表示します。**

**1** [ｉ]▶[1]

ｉモード中は点滅

- 接続中画面で[●]を押すと、接続を中止します。
- [1]、[2]などの番号付きの項目は、項目に対応するダイヤルキーを押して選択します（ダイレクトキー機能）。ただし、サイトによっては選択できない場合があります。

**2** **「メニュー／検索」を選択**

スクロールバー
・ページ読み込み中や画面スクロール時などに、すべての行が表示されていない場合は全体に対する現在の位置が一時的に表示されます。

- ページ読み込み中に[ⓜ]を押すと、ページの読み込みを中止します。

## 3 表示する項目を選択

サイトに接続されます。以降同様にして目的のページを表示します。

## 4 サイトを見終わったら[(終話)]▶「はい」を選択

サイトの表示が終了します。

### ✔お知らせ

- サイト表示中に i Menuに戻る場合は、[MENU]を押し「i Menu」を選択します。
- サイトから、お客様の携帯電話／FOMAカード（UIM）の製造番号が要求されたときは、送信するかどうかの確認画面が表示されます。「はい」を選択すると、お客様の携帯電話／FOMAカード（UIM）の製造番号が送信されます。送信される携帯電話／FOMAカード（UIM）の製造番号は、IP（情報サービス提供者）がお客様を識別し、お客様にカスタマイズした情報を提供したり、IP（情報サービス提供者）の提供するコンテンツが、お客様の携帯電話で使用できるかどうかを判定したりするために使われます。
  送信するお客様の携帯電話／FOMAカード（UIM）の製造番号は、インターネットを経由してIP（情報サービス提供者）に送信されるため、場合によっては第三者に知得される可能性があります。なお、この操作によりご使用の電話番号、お客様の住所や年齢、性別が、IP（情報サービス提供者）などに通知されることはありません。
- サイトからユーザ名、パスワードの入力を要求されたときはユーザ名、パスワードの入力画面が表示されます。サイトのユーザ名、パスワードを入力し、「OK」を選択します。
- 画像を含むサイトを表示したとき、画像の代わりに次のマークが表示される場合があります。
  [画像]: 表示・効果設定で画像を「表示しない」に設定しているとき
  [×]: 画像のデータが不正なときや画像が見つからないとき、受信中に圏外になるなどで画像を受信できなかったとき
  [画像]: 画像のURLの誤りなどで画像を表示できないとき

## ◆SSLページに接続する

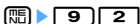
通常のサイトの表示と同様の操作で、SSLに対応したサイト（SSLページ）を表示できます。

- 日付・時刻が設定されていない場合、SSLページによっては接続できないことがあります。
- SSL通信を行うには、接続サイトとFOMA端末に同じ認証機関が発行した「証明書」という電子情報が必要な場合があります。→P223
- FirstPass対応ページに接続するには、ユーザ証明書をFirstPassセンターからダウンロードし、FOMAカードに保存する必要があります。

### ❖SSLページに接続する

SSLページに接続する場合はSSL通信を開始する旨のメッセージが表示されます。

- SSLページが表示されるとディスプレイ上部に[SSL]が表示されます。

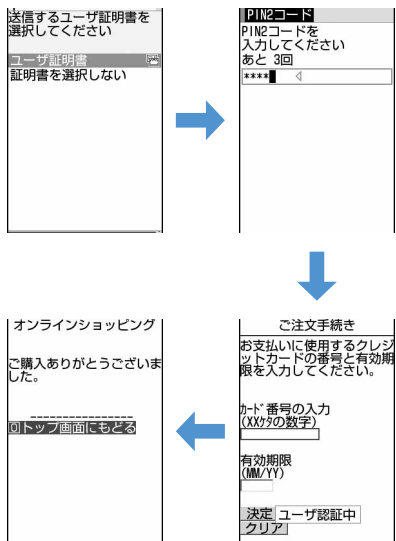
SSLページ表示中に証明書を表示する：
[MENU]▶[9][2]

証明書の内容→P223

### ❖SSLページから通常ページに進む

SSLページから通常ページに進む場合は、確認画面が表示されます。

- 「はい」を選択すると通常ページが表示され、ディスプレイ上部の[SSL]が消えます。

### ❖FirstPass対応ページに接続する

FirstPass対応ページに接続する場合は、次の画面が表示されます。

## 1 送信するユーザ証明書を選択▶PIN2コードを入力

ユーザ証明書が送信され、FirstPass対応ページが表示されます。

- 60秒以内に正しいPIN2コードを入力しないとSSL通信は切断されます。

✔お知らせ

- SSLページに接続したときに、証明書を選択する画面が表示される場合があります。そのときは、送信する証明書を選択します。
- FirstPass対応ページに接続した際のパケット通信料は、パケ・ホーダイの対象となります。ただし、パソコンと接続してデータ通信を行う場合は、パケ・ホーダイの対象外となります。

### ◆最後に表示したページに再接続する〈ラストURL〉

m▶2 3 3

以前に表示したサイトやホームページのURLはFOMA端末に記録されています。ラストURLを利用すると、以前に表示したページに簡単に再接続できます。

- ラストURLはｉモードとフルブラウザでそれぞれ最大10件記録されます。10件を超えると、古いものから順に消去されます。

**1** i▶3 3

**2** 表示するURLを選択

ラストURLを削除する：**削除するURLにカーソルを合わせてm▶4 1▶「はい」を選択**

- 複数のURLを削除するときはm 4 2を押し、URLを選択してⓘを押し、「はい」を選択します。
- すべてのURLを削除するときはm 4 3を押し、認証操作を行い、「はい」を選択します。

✔お知らせ

- サイトやホームページ表示中に操作する場合は、mを押し「Internet」→「ラストURL」を選択します。
- URLによっては、表示できない場合や、異なるページを表示する場合があります。

## サイトの見かたと操作

**サイト表示中の基本的な操作方法について説明します。**

### ◆Flash画像の表示について

FOMA端末ではFlash画像を表示できます。Flash画像によって、サイトの表現力がより豊かになります。

- 表示・効果設定の画像を「表示しない」に設定した場合は、Flash画像は表示されません。
- Flash画像が表示されているときは、表示動作が通常のサイト表示と異なる場合があります。
- Flash画像によってはガイド表示領域に✥が表示されていない場合でも、Flash画像の操作ができる場合があります。
- Flash画像によっては、画面メモや画像保存をしても画像の一部が保存されないなど、サイトでの見えかたが異なる場合があります。
- Flash画像が表示されていても、正しく動作しない場合があります。また、正しく動作しないFlash画像は保存できない場合があります。
- 再生中にエラーが発生したFlash画像は保存できません。
- Flash画像によっては効果音が鳴る場合があります。音量は音量設定のメロディ音量に従います。効果音を鳴らさない場合はm 9 3を押し、効果音設定を「OFF」に設定してください。
- バイブレータ設定を「OFF」以外に設定しているときに、Flash画像の効果音が鳴っても振動しません。
- Flash画像によっては、バイブレータ設定を「OFF」に設定しても、再生中にFOMA端末を振動させる場合がありますのでご注意ください。
- 再生中に30秒以上操作しなかった場合は、一時停止します。再生を再開するには0～9、*、#、c、i、Ⓜ、ⓘ、i、a、a、サイドキー［▲▼］のいずれかのキーを押してください。
- Flash画像を最初から再生する場合は、m 9 7を押してください。
- Flash画像によっては、端末情報データを利用するものがあります。端末情報データを利用するかどうかは、表示・効果設定の端末情報データ利用設定で設定できます。なお、利用する登録データには次のものがあります。
  - 電池残量
  - 受信レベル
  - 時刻情報
  - 音量設定のメロディ音量
  - バイリンガル
  - 機種情報
- 待受画面や着信画面に設定されたFlash画像の効果音は鳴りません。

## ◆リンク先や項目を選択する

iモード中、サイトによっては次のような操作ができます。

■ リンク先を表示する

① ▶項目を選択

■ 文字を入力する

① ▶文字入力欄を選択▶文字を入力

- 入力できる文字種と文字数は、入力欄により異なります。
- 電話帳データやプロフィール情報の登録内容、バーコードリーダーで読み取ったデータの文字列情報を引用して入力できます。→P448

■ ラジオボタンを選択する

① ▶ラジオボタンを選択

■ チェックボックスを選択する

① ▶チェックボックスを選択

■ プルダウンメニューを選択する

① ▶プルダウンメニューを選択▶ ▶メニュー項目を選択

- サイトによっては、1つのプルダウンメニュー選択画面で を押して項目を選択する操作を繰り返して複数の項目が選択できます。選択後に を押すと、選択項目がすべて反映された画面に戻ります。

■ ボタンを選択する

① ▶ボタンにカーソルを合わせて（実線枠で囲まれます）

### ✔お知らせ

- ラジオボタン、チェックボックス、プルダウンメニュー、文字入力欄のそれぞれに入力した内容は、登録したブックマークや画面メモなどには反映されません。

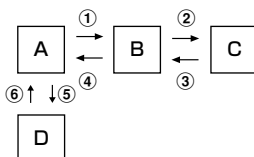
## ◆前のページに戻る／進む

FOMA端末は、ページの履歴を最大20件記録しています。ページの履歴を一時的に記録する端末内の場所のことを「キャッシュ」といい、 を押すことで、通信を行わずにキャッシュに記録されたページを表示できます。

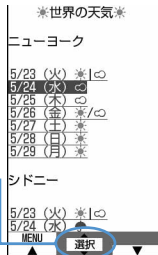
- 端末のキャッシュサイズをオーバーしていたり、サイトによって必ず最新情報を読み込むように設定されたページを表示したりするときは通信を行います。
- FirstPassセンター接続中（→P224）は本機能を利用できません。

すでに表示した前のページに戻れることを示します。

すでに表示した次のページに進めることを示します。

### ✔お知らせ

- ページA→B→Cの順に表示（①、②）した後でページAに戻り（③、④）、ページDに進む（⑤）と、ページA→B→Cの表示履歴は消去されます。ページDからページAには戻れますが（⑥）、さらにページBには戻れません（①）。
- サイトの表示履歴が満杯になると、キャッシュに記録されている履歴が消去される場合があります。
- 入力した文字や設定などの情報はキャッシュに記録されません。
- iモードを終了すると、キャッシュに記録された履歴はすべて消去されます。
- Flash画像が表示されている場合は、ページの操作方法が異なる場合があります。

### ◆画面をスクロールする

サイトやホームページ、受信メールやメッセージR/Fなどの内容を表示中に、画面を上下にスクロールします。

すべての行が表示されていないとき、またはリンク項目に移動できるときはガイド表示領域に▲や▼が表示されます。

- [Q]を押してスクロールします。押し続けると連続スクロールできます。
- [i][✉]を押すと画面単位でスクロールします。押し続けると画面単位で連続スクロールできます。

### ◆情報を再読み込みする

ページの情報が正常に受信できなかった場合に、再読み込みを行ってページの情報を受信し直します。

**1** サイト表示中に[MENU]▶[5]

ページの情報が受信され、ページが再表示されます。

### ◆URLを表示する

表示中のサイトのURLを表示します。

**1** サイト表示中に[MENU]▶[9][1]

**✔お知らせ**

- ラストURL一覧、URL履歴一覧、ブックマーク一覧、ツータッチサイト一覧、画面メモ一覧から操作する場合は[📖]を押します。

マイメニュー

## マイメニューを使う

**よく利用するサイトをマイメニューに登録することによって、次回からそのサイトに簡単にアクセスできます。**

- マイメニューには最大45件登録できます。登録にはｉモードパスワードが必要です。
- 有料サイトに申し込むと自動的にマイメニューに登録されます。
- マイメニューに登録できるのはｉモードのサイトだけです。ただし、マイメニューに登録できないサイトもあります。登録できないサイトやホームページを登録する場合はブックマークに登録してください。

### ◆マイメニューに登録する

**1** マイメニューに登録するサイトを表示▶「マイメニュー登録」を選択

- 各サイトによりページ構成が異なります。項目に対応するダイヤルキーを押すか、該当する項目を選択してください。

**2** ｉモードパスワードの入力欄を選択▶ｉモードパスワードを入力▶「決定」を選択

- ご契約時のｉモードパスワードは「0000」に設定されています。

### ◆マイメニューからサイトを表示する

**1** [Q]▶[1]▶「マイメニュー」を選択▶表示するサイトを選択

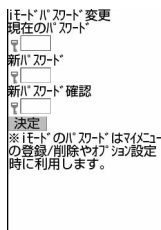
ｉモードパスワード変更

## ｉモードパスワードを変更する

**マイメニューの登録または削除、メッセージサービスやｉモード有料サイトの申し込みまたは解約、メール設定を行うときはｉモードパスワードが必要です。ｉモードパスワードはｉモードご契約時には「0000」に設定されていますが、安全のためお客様独自の4桁のｉモードパスワードに変更してください。なお、ｉモードパスワードは他人に知られないように十分にご注意ください。**

- ｉモードパスワードをお忘れの場合は、ご契約者本人であることを確認できるもの（運転免許証など）をドコモショップ窓口で確認させていただいた上で、ｉモードパスワードを「0000」にリセットさせていただきます。

**1** [Q]▶[1]▶「料金＆お申込・設定」を選択▶「オプション設定」を選択▶「ｉモードパスワード変更」を選択

**2** 現在のパスワードの入力欄を選択▶現在のｉモードパスワードを入力

**3** 新パスワードの入力欄を選択▶新しいｉモードパスワードを入力

**4** 新パスワード確認の入力欄を選択▶操作3で入力したｉモードパスワードを入力

**5** 「決定」を選択

ｉモードパスワードが変更されます。
- 入力した内容に誤りや抜けがあったときは、エラー画面が表示されます。「再入力」を選択してｉモードパスワードの設定画面に戻り、操作2から操作し直します。

インターネット接続

## ホームページを表示する

[MENU]▶[2][3][1]

**インターネットに接続して、ｉモード対応のホームページにアクセスします。接続する際は、ホームページのアドレス（URL）で指定します。**

**1** [i]▶[3][1]

- 2回目からは前回入力して接続したURLが表示されます。

**2** URLを入力▶[□]［接続］

- 半角で最大256文字入力できます。
- 半角英字入力モード時に[1]を繰り返し押すと「.」「/」「-」などを、[✕]を繰り返し押すと「.com」「.ne.jp」「.co.jp」「http://www.」「.html」などを入力できます。

**✔お知らせ**
- サイトやホームページ表示中に操作する場合は、[MENU]を押し「Internet」→「URL入力」を選択します。
- ホームページ表示中の操作方法は、ｉモードのサイトと同じです。
- 受信データが1ページの最大サイズを超えたときは、メッセージが表示されます。[●]を押すとメッセージが消え、受信できた分のデータが表示されます。
- ホームページ表示中に[MENU][3][3]を押し、「はい」を選択すると、フルブラウザで表示できます。ホームページによっては、フルブラウザに切り替えても正常に表示できない場合があります。

### ◆URL履歴を使って表示する〈URL履歴〉

[MENU]▶[2][3][2]

URLを入力して接続したホームページのURLは、FOMA端末に記録されています。この履歴からホームページに接続できます。
- URL履歴はｉモードとフルブラウザでそれぞれ最大20件記録されます。20件を超えると、古いものから順に消去されます。

**1** [i]▶[3][2]

**2** 表示するホームページのURLを選択

URL履歴を削除する：削除するURLにカーソルを合わせて[MENU]▶[4][1]▶「はい」を選択
- 複数のURLを削除するときは[MENU][4][2]を押し、URLを選択して[□]を押し、「はい」を選択します。
- すべてのURLを削除するときはURL履歴一覧で[MENU][4][3]を押し、認証操作を行い、「はい」を選択します。

**✔お知らせ**
- サイトやホームページ表示中に操作する場合は、[MENU]を押し「Internet」→「URL履歴」を選択します。

### ◆文字を正しく表示する〈文字コード〉

FOMA端末でサイトやホームページを表示する際に、文字を正しく表示させるためには、文字コードが一致している必要があります。サイトやホームページの文字が正しく表示されないときは、文字コードを変更すると正しく表示できる場合があります。文字コードとは、文字をコンピュータで利用できるようにするために作られた文字の番号体系のことです。

**1** サイトやホームページ表示中に[MENU]▶[9][6][1]

- [MENU][9][6][1]を押すたびに文字コードが、自動選択→SJIS→EUC→JIS→UTF8の順に切り替わります。[MENU][9][6][2]を押すと、「自動選択」に切り替わります。
- サイトやホームページを表示した時点では「自動選択」に設定されています。

ブックマーク

## ホームページやサイトを登録してすばやく表示する

**よく見るサイトやホームページをブックマークに登録しておくと、ブックマークを選択するだけですばやく表示できます。**
- 最大登録件数→P541
- ブックマークに登録できるURLの文字数はいずれも半角で、ｉモードの場合は最大256文字、フルブラウザの場合は最大512文字です。ただし、ホームページやサイトによってはブックマークに登録できない場合があります。

## ◆ブックマークに登録する

**1** ブックマークに登録するサイトやホームページを表示▶[MENU]▶[2][1]▶登録先フォルダを選択

**2** タイトル名を入力▶[登録]

- 全角で最大12文字、半角で最大24文字入力できます。
- タイトルを入力しないで登録すると、ブックマーク一覧にはURLが表示されます。

**✔お知らせ**

- 画面メモ一覧、画面メモ表示画面、ラストURL一覧、URL履歴一覧から操作する場合は、[MENU]を押し「Bookmark登録」を選択します。
- 最大登録件数を超えるときは、上書きするかどうかの確認画面が表示されます。登録する場合は、画面の指示に従って上書きするブックマークを選択してください。

## ◆ブックマークからサイトやホームページを表示する

[MENU]▶[2][2]

**1** [i]▶[2]▶フォルダを選択

- マークの意味は次のとおりです。
  ：ブックマークなし
  ：ブックマークあり

**2** 表示するブックマークを選択

マークの意味→P210「少ないキー操作でサイトやホームページに接続する」操作3

**✔お知らせ**

- サイトやホームページ表示中に操作する場合は、[MENU]を押し「Bookmark」→「表示」を選択します。

## ◆フォルダを作成／削除する

### ❖フォルダを作成する

- フォルダはｉモードとフルブラウザでそれぞれ最大20個作成できます。

**1** [i]▶[2]

**2** [MENU]▶[1]

フォルダ名を変更する：変更するフォルダにカーソルを合わせて[MENU]▶[3]

フォルダの並び順を変更する：変更するフォルダにカーソルを合わせて[MENU]▶[7]または[8]

**3** フォルダ名を入力▶[登録]

- 全角で最大8文字、半角で最大16文字入力できます。

### ❖フォルダを削除する

- フォルダが1個のときは削除できません。

**1** [i]▶[2]

**2** 削除するフォルダにカーソルを合わせて[MENU]▶[2]▶認証操作▶「はい」を選択

## ◆ブックマークのタイトルを変更する

**1** [i]▶[2]▶フォルダを選択

**2** タイトルを変更するブックマークにカーソルを合わせて[i]

以降の操作→P210「ブックマークに登録する」操作2

## ◆少ないキー操作でサイトやホームページに接続する〈ツータッチサイト登録〉

ブックマークをツータッチサイト登録すると、待受画面からすばやくサイトやホームページを表示できます。

- 1つのダイヤルキーにつき1件、ｉモードとフルブラウザを合わせて10件登録できます。

**1** [i]▶[2]▶フォルダを選択

**2** 登録するブックマークにカーソルを合わせて[✉]

ツータッチサイトを解除する：解除するブックマークにカーソルを合わせて[MENU]▶[2]

**3** 登録先を選択

アイコンの番号（～）は、ツータッチサイト表示に使用するダイヤルキー（[0]～[9]）に対応しています。

- ブックマーク一覧で、登録されたブックマークのマークがから～に変わります。
- 登録済みの登録先を選択すると上書きするかどうかの確認画面が表示されます。「はい」を選択すると上書きされます。

### ❖ツータッチでサイトやホームページを表示する〈ツータッチサイト表示〉

**1** [0]～[9]▶[i]

ダイヤルキーに対応するサイトやホームページが表示されます。

### ❖ツータッチサイト一覧から操作する

〈例〉ツータッチサイト一覧からツータッチ登録するとき

**1** [i]▶[8][1]

**2** 未登録にカーソルを合わせて[MENU]▶[1]

サイトを表示する：表示するブックマークを選択

ツータッチ登録を解除する：解除するブックマークにカーソルを合わせて[MENU]▶[2]▶「はい」を選択

**3** [1]または[2]▶フォルダを選択▶登録するブックマークを選択

フルブラウザのブックマークを登録すると、ツータッチサイト一覧で[FB]が表示されます。

✔お知らせ

- フルブラウザのブックマークをツータッチサイト表示、またはツータッチサイト一覧から接続すると、フルブラウザを利用して表示されます。

## ◆ブックマークを削除する

**1** [i]▶[2]

**2** フォルダを選択

ブックマークを全件削除する：[MENU]▶[4]▶認証操作▶操作4に進む

**3** 削除するブックマークにカーソルを合わせて[MENU]▶[3][1]

ブックマークを複数削除する：[MENU]▶[3][2]▶ブックマークを選択▶[本]

フォルダ内のブックマークを全件削除する：[MENU]▶[3][3]▶認証操作

**4** 「はい」を選択

✔お知らせ

- ツータッチサイト登録されているブックマークを削除すると、ツータッチサイト登録も解除されます。

## ◆ブックマークを移動する

保存されているブックマークを別のフォルダに移動できます。

- ブックマークをmicroSDメモリーカードへコピーできます。→P372

**1** [i]▶[2]▶フォルダを選択

**2** 移動するブックマークにカーソルを合わせて[MENU]▶[5][1]

複数移動する：[MENU]▶[5][2]▶ブックマークを選択▶[本]

**3** 移動先のフォルダを選択

## ◆ブックマークを並べ替える〈ソート〉

ブックマーク一覧の並び順を一時的に並べ替えます。表示を終了すると、並び順は「アクセス日付順」に戻ります。

- 並べ替えはすべてのフォルダが対象です。

**1** [i]▶[2]▶フォルダを選択▶[MENU]▶[6]▶[1]～[4]

✔お知らせ

- タイトルに、全角や半角、英字、漢字、URL表示のものが混在していると、「タイトル名順」の並べ替えの結果が50音順にならない場合があります。

## ◆ｉモードメールにブックマークデータを添付する

**1** [i]▶[2]▶フォルダを選択

**2** 添付するブックマークにカーソルを合わせて[MENU]▶[9]

以降の操作→P234

画面メモ

## サイトの内容を保存する

**表示中のサイトの内容を画面メモとして保存します。**

- 最大保存件数→P541

### ◆画面メモを保存する

- 保存できる画面メモのファイルサイズは、画面内の画像などを含め1件あたり最大100Kバイトです。

**1 画面メモとして保存するサイトを表示▶MENU▶4 1**

**2 タイトル名を入力▶［登録］**

- 全角で最大12文字、半角で最大24文字入力できます。
- タイトルを入力しないで登録すると、画面メモ一覧には「無題」と表示されます。

**✔お知らせ**

- 保存領域の空きが足りないときや最大保存件数を超えるときは、上書きするかどうかの確認画面が表示されます。保存する場合は、画面の指示に従って上書きする画面メモを選択してください。保護されている画面メモは上書きできません。

### ◆画面メモを表示する

MENU▶2 4

**1 ▶4▶表示する画面メモを選択**

- マークの意味は次のとおりです。
  ：通常の画面メモ
  ：保護されている画面メモ
- 画面メモ表示画面の操作方法は、一部を除きサイト表示中と同じです。

**✔お知らせ**

- サイト表示中に操作する場合は、MENUを押し「画面メモ」→「表示」を選択します。このとき、文字コードを変更していた場合、サイト表示に戻ると文字コードは「自動選択」に戻ります。
- 画面メモ表示画面でもう一度Flash画像を動作させるときは、MENUを押し「表示」→「リトライ」を選択します。

### ◆画面メモのタイトルを変更する

**1 ▶4▶タイトルを変更する画面メモにカーソルを合わせて**

以降の操作→P212「画面メモを保存する」操作2

**✔お知らせ**

- 画面メモ表示画面から操作する場合は、MENUを押し「タイトル変更」を選択します。

### ◆画面メモを保護する

画面メモを保護すると、誤って削除したり、保存領域が足りずに上書きされたりすることを防げます。

- 最大保護件数→P541

**〈例〉画面メモを1件保護するとき**

**1 ▶4**

**2 保護する画面メモにカーソルを合わせてMENU▶1 1**

- 画面メモ一覧で、保護された画面メモのマークがからに変わります。

複数保護する：MENU▶1 2▶**画面メモを選択▶**

保護を1件解除する：**保護を解除する画面メモにカーソルを合わせてMENU▶1 3**

保護を複数解除する：MENU▶1 4▶**画面メモを選択▶**

保護を全件解除する：MENU▶1 5

**✔お知らせ**

- 画面メモ表示画面から操作する場合は、MENUを押し「保護」または「保護解除」を選択します。

### ◆画面メモを削除する

**〈例〉画面メモを1件削除するとき**

**1 ▶4**

**2 削除する画面メモにカーソルを合わせてMENU▶2 1**

複数削除する：MENU▶2 2▶**画面メモを選択▶**

全件削除する：MENU▶2 3▶**認証操作**

**3 「はい」を選択**

**✔お知らせ**

- 画面メモ表示画面から操作する場合は、MENUを押し「削除」を選択します。

## ◆画面メモを並べ替える〈ソート〉

画面メモ一覧の並び順を一時的に並べ替えます。表示を終了すると、並び順は「日付順」に戻ります。

**1** [i]▶[4]▶[MENU]▶[8]▶[1]または[2]

✔お知らせ

・タイトルに、全角や半角、英字、漢字、URL表示のものが混在していると、「タイトル順」の並べ替えの結果が50音順にならない場合があります。

# サイトから各種データ（ファイル）をダウンロードする

**サイトからデータ（ファイル）をダウンロードして、FOMA端末に保存します。**

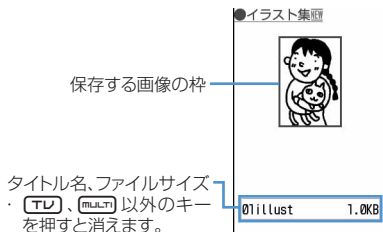
- データ（ファイル）によってはmicroSDメモリーカードに保存できるものもあります。

## ◆画像をダウンロードする〈画像保存〉

保存した画像はマイピクチャ内のフォルダなどから表示したり、待受画面などに設定したりできます。また、デコメ絵文字はメール作成時や署名編集時に使用できます。

- 保存できる画像のファイルサイズは1件あたり最大100Kバイトです。
- GIF形式、JPEG形式、SWF形式の画像を保存できます。
- 最大保存件数→P541

〈例〉サイトからダウンロードするとき

**1** **画像のあるサイトを表示▶[MENU]▶[6][1]▶保存する画像を選択**

サイトの背景画像を保存する：**背景画像のあるサイトを表示▶[MENU]▶[6][2]**

**2** **下記の各項目を選択して設定**

- メール添付やFOMA端末外への出力が禁止されている画像（ファイル制限に「あり」と表示）は、表示名以外は変更できません。

**表示名**：全角・半角を問わず最大36文字入力できます。

**ファイル名**：半角英数字と「.」「-」「_」で最大36文字入力できます。ファイル名の先頭に「.」は使用できません。

**コメント**：全角・半角を問わず最大100文字入力できます。

**フレーム候補**：画像をフレーム画像として貼り付け可能にするかどうかを設定します。
- 横縦（または縦横）のサイズが352×288または240×432より大きい画像はフレーム候補にできません。

**スタンプ候補**：画像をスタンプ画像として貼り付け可能にするかどうかを設定します。
- 横縦（または縦横）のサイズが240×432以上の画像はスタンプ候補にできません。

**ファイル制限**：メール添付やデータ転送によって他の携帯電話に画像を送信したとき、受信した相手の携帯電話からさらに他の携帯電話に画像を送信することを制限するかどうかを設定します。
- サイトからダウンロードした画像ファイルは、ファイル制限を変更できません。

**3** **[□]▶保存先を選択**

- ガイド表示領域の左下に「[アイコン]」が表示された場合には、[i]を押して保存先を切り替えられます。「[SD]保存」が表示されているときに[□]を押すと、microSDメモリーカード内の「マイピクチャ」「その他の画像」「デコメ絵文字」フォルダのいずれかに保存されます。→P367
- 次の条件をすべて満たす画像は、「デコメ絵文字」フォルダに保存されます。
  - サイズが20×20で90Kバイト以内
  - メール添付やFOMA端末外への出力可
  - JPEG形式またはGIF形式
- ガイド表示領域の左上に「設定」が表示されているときに[MENU]を押すと、画像の利用先一覧が表示され、待受画面などに設定できます。→P345

**✔お知らせ**

- 画像によっては正しく表示できない場合があります。
- 画像入りのサイトを表示する際、画像の横幅がディスプレイより大きいときは縮小して表示されます。
- 画像ファイルによっては選択できない項目があります。
- 横縦（または縦横）のサイズが、GIF形式で640×480、JPEG形式で1728×2304より大きい画像はFOMA端末には保存できません。また、JPEGの種類によっては保存できない場合もあります。
- 保存領域の空きが足りないときや最大保存件数を超えるときは、削除するかどうかの確認画面が表示されます。保存する場合は、画面の指示に従って保存されている画像を削除してください。

## ◆メロディをダウンロードする〈ｉメロディ〉

保存したメロディはメロディ内のフォルダなどから再生したり、着信音に設定したりできます。

- 保存できるメロディのサイズは1件あたり最大100Kバイトです。
- SMF形式、MFi形式のメロディを保存できます。
- 最大保存件数→P541

**1 メロディのあるサイトを表示▶ダウンロードするメロディを選択**

- ダウンロード中に[📖]を押すと、ダウンロードを中止します。

**2 「保存」を選択**

再生する：**「再生」を選択**

保存を中止する：**「戻る」を選択▶「いいえ」を選択**

**3 表示名を入力▶[📖]［保存］**

ダウンロードしたメロディは、メロディ内の「ｉモード」フォルダに保存されます。

- 表示名は全角で最大25文字、半角で最大50文字入力できます。
- ガイド表示領域の左下に「 」が表示された場合には、[i]を押して保存先を切り替えられます。「SD保存」が表示されているときに[📖]を押すと、microSDメモリーカード内の「メロディ」フォルダに保存されます。

**✔お知らせ**

- メロディによっては正しく再生できない場合があります。
- 保存領域の空きが足りないときや最大保存件数を超えるときは、メロディを削除するかどうかの確認画面が表示されます。保存する場合は、画面の指示に従って保存されているメロディを削除してください。

## ◆PDFデータをダウンロードする

保存したPDFはマイドキュメント内のフォルダなどから表示します。

- 保存できるPDFデータのサイズは1件あたり最大2Mバイトです。
- 最大保存件数→P541

**1 PDFデータのあるサイトを表示▶ダウンロードするPDFデータを選択**

PDFデータがダウンロードされ、表示されます。

PDFデータ表示中の操作方法→P396「PDFデータを表示する」操作3

- ダウンロード中に[●]を押すと、ダウンロードを中止します。ただし、PDFデータによっては途中までダウンロードしたデータを保存するかどうかの確認画面が表示されます。
- 部分的にダウンロードしたPDFデータの残りをダウンロードする場合は、[MENU][8]を押します。

PDFデータにパスワードが設定されているとき：**パスワードの入力画面でパスワードを入力▶[📖]**

**2 [MENU]▶[2]**

**3 表示名を入力▶[📖]**

ダウンロードしたPDFデータは、マイドキュメント内の「ｉモード」フォルダに保存されます。

- 表示名は全角・半角を問わず最大36文字入力できます。
- ガイド表示領域の左下に「 」が表示された場合には、[i]を押して保存先を切り替えられます。「SD保存」が表示されているときに[📖]を押すと、microSDメモリーカード内の「マイドキュメント」フォルダに保存されます。
- すべてのページをダウンロードしていなくても、ダウンロードした部分まで保存され、保存先の一覧画面に で表示されます。残りのPDFデータをダウンロードすることができます。→P396「PDFデータを表示する」操作3

**4 [ch クリア]▶「はい」を選択**

サイト画面に戻ります。

✔お知らせ

- 500Kバイトより大きいPDFデータをダウンロードしようとすると、ダウンロードするかどうかの確認画面が表示されます。ダウンロードする場合は「はい」を選択します。
- ｉモードしおりやマークの合計サイズが100Kバイトより大きいPDFデータやサイズの不明なPDFデータ、本FOMA端末に対応していないPDFデータはダウンロードできません。
- 同じPDFデータをもう一度ダウンロードした場合、ｉモードしおりやマークの内容が異なるときは、異なるｉモードしおりやマークが追加で保存されます。ただし、ｉモードしおりやマークの合計がそれぞれ10件を超えると、最大登録件数を超えている旨のメッセージが表示されます。画面の指示に従って登録可能件数になるまでｉモードしおりやマークを削除してください。
- 保存領域の空きが足りないときや最大保存件数を超えるときは、不要なPDFデータを削除するかどうかの確認画面が表示されます。保存する場合は、画面の指示に従って保存されているPDFデータを削除してください。
- 圏外などでダウンロードが中断されて、途中までダウンロードしたデータを保存すると、保存先の一覧画面にで表示されます。残りのPDFデータをダウンロードすることができます。→P396「PDFデータを表示する」操作3

## ◆辞書をダウンロードする

保存した辞書はFOMA端末で文字を入力するときに利用できます。

- 保存できる辞書のサイズは1件あたり32Kバイトです。
- 最大保存件数→P541
- ダウンロードした辞書を使用するには設定が必要です。→P452

**1 辞書のあるサイトを表示▶ダウンロードする辞書を選択**

- ダウンロード中に[m]を押すと、ダウンロードを中止します。

**2 「保存」を選択▶[●]［保存］**

ダウンロードした辞書は、文字入力設定内の「ダウンロード辞書」に保存されます。

保存を中止する：「戻る」を選択▶「いいえ」を選択

✔お知らせ

- 保存領域の空きが足りないときや最大保存件数を超えるときは、保存できません。画面の指示に従って保存されている辞書を削除してください。

## ◆キャラ電をダウンロードする

保存したキャラ電はテレビ電話で自分の映像の代わりに送信したり、待受画面に設定したりできます。

- 保存できるキャラ電のサイズは1件あたり最大100Kバイトです。
- 最大保存件数→P541

**1 キャラ電のあるサイトを表示▶ダウンロードするキャラ電を選択**

- ダウンロード中に[m]を押すと、ダウンロードを中止します。

**2 「保存」を選択**

表示する：「表示」を選択

保存を中止する：「戻る」を選択▶「いいえ」を選択

**3 下記の各項目を選択して設定▶[m]［保存］**

ダウンロードしたキャラ電は、キャラ電内の「ｉモード」フォルダに保存されます。

**表示名**：全角・半角を問わず最大36文字入力できます。

**コメント**：全角・半角を問わず最大100文字入力できます。

✔お知らせ

- 保存領域の空きが足りないときや最大保存件数を超えるときは、キャラ電を削除するかどうかの確認画面が表示されます。保存する場合は、画面の指示に従って保存されているキャラ電を削除してください。

## ◆トルカをダウンロードする

保存したトルカは、チラシやレストランカード、クーポン券などの用途で利用できます。

- 保存できるトルカのサイズは1件あたり最大1Kバイトです。トルカ（詳細）は1件あたり最大100Kバイトです。
- 最大保存件数→P541

**1 トルカのあるサイトを表示▶ダウンロードするトルカを選択**

- ダウンロード中に[m]を押すと、ダウンロードを中止します。

**2 「保存」を選択**

ダウンロードしたトルカは、トルカ一覧の「トルカフォルダ」に保存されます。

表示する：「プレビュー」を選択

保存を中止する：「戻る」を選択▶「いいえ」を選択

✔お知らせ

- 保存領域の空きが足りないときや最大保存件数を超えるときは、トルカを削除するかどうかの確認画面が表示されます。保存する場合は、画面の指示に従って保存されているトルカを削除してください。

### ◆きせかえツールをダウンロードする

保存したきせかえツールは待受画像、メニューアイコン、発着信画像、着信音などに設定できます。

- 保存できるきせかえツールのサイズは1件あたり最大2Mバイトです。
- 最大保存件数→P541
- ダウンロードしたきせかえツールを利用するには設定が必要です。→P143

**1 きせかえツールがあるサイトを表示▶ダウンロードするきせかえツールを選択**

- ダウンロード中に[📖]を押すと、ダウンロードを中止します。ただし、きせかえツールによっては再開するかどうかの確認画面が表示されます。

**2 「保存」を選択**

表示する：「プレビュー」を選択

保存を中止する：「戻る」を選択▶「いいえ」を選択

**3 表示名を入力▶[📖]［保存］**

ダウンロードしたきせかえツールは、きせかえツール内の「ｉモード」フォルダに保存されます。

- 表示名は全角・半角を問わず、最大36文字入力できます。
- [MENU]を押すと、きせかえツールを設定するかどうかの確認画面が表示されます。「はい」を選択すると設定されます。

✔お知らせ

- 保存領域の空きが足りないときや最大保存件数を超えるときは、データを削除するかどうかの確認画面が表示されます。保存する場合は、画面の指示に従って保存されているきせかえツールを削除してください。
- 圏外などでダウンロードが中断されたときは、再開するかどうかの確認画面が表示されます。「はい」を選択するとダウンロードが再開されます。「いいえ」を選択すると、部分保存できる場合は部分保存するかどうかの確認画面が表示されます。部分保存できない場合はそれまでダウンロードしたデータは削除されます。部分保存したきせかえツールの残りのデータは、きせかえツールの一覧からダウンロードできます。→P144「きせかえツールを設定する」操作3
- ダウンロードしたきせかえツールによっては、表示・設定できないものもあります。

### ◆フォントをダウンロードする

保存したフォントは、メニュー画面やｉモードサイト、文字入力画面などに表示される文字に利用できます。

- 保存できるフォントのサイズは1件あたり最大100Kバイトです。
- 最大保存件数→P541
- ダウンロードしたフォントを利用するには設定が必要です。→P147

**1 フォントのあるサイトを表示▶ダウンロードするフォントを選択**

- ダウンロード中に[📖]を押すと、ダウンロードを中止します。

**2 「保存」を選択▶[●]［保存］**

保存したフォントは文字表示設定内の「フォント選択」に保存されます。

保存を中止する：「戻る」を選択▶「いいえ」を選択

✔お知らせ

- 保存領域の空きが足りないときや最大保存件数を超えるときは、保存できません。保存する場合は、画面の指示に従って保存されているフォントを削除してください。

## ｉモードの便利な機能

**表示中の画面に情報（電話番号、メールアドレス、URL、ワンセグ視聴情報）があるとき、これらを利用して音声電話やテレビ電話、プッシュトークの発信（Phone To／AV Phone To）、ｉモードメールの作成（Mail To）、サイトやホームページへ接続（Web To）、ワンセグ視聴や視聴予約（Media To）ができます。**

- サイトやホームページによっては利用できない機能があります。
- 2in1がONでBモードのときは、Mail To機能を利用できません。

## ◆Phone To（AV Phone To）・Mail To・Web To・Media To機能を使う

**1 サイトやホームページを表示▶電話番号、メールアドレス、URL、ワンセグ視聴情報にカーソルを合わせる**

- カーソルを合わせられる情報のみ選択できます。

**2 ●［選択］を押す**

Phone To（AV Phone To）：**発信条件を設定▶MENU▶「はい」を選択**

条件を設定して電話をかける→P62

Mail To：**iモードメールを作成して送信**

選択したメールアドレスを宛先としてiモードメールを作成し、送信できます。

iモードメールの作成・送信方法→P234

Web To：

サイトやホームページに接続されます。

- メール本文中などのURLを選択した場合はサイトに接続するかどうかの確認画面が表示され、「はい」を選択すると接続されます。また、そのURLがフルブラウザ対応の場合は、確認画面のガイド表示領域に「フルブラウザ」が表示され、iを押すとフルブラウザを利用して接続されます。

Media To：

ワンセグの起動や視聴予約ができます。

**✔お知らせ**

- 複数のメールアドレスが続けて表示されている場合、Mail To機能を利用できないことがあります。

## ◆URLをコピーする

表示中のサイトやホームページ、画面メモのURLをコピーします。コピーした文字は、メール作成画面や電話帳の登録画面などの入力欄に貼り付けられます。

- コピーした文字は電源を切るまでFOMA端末に記録され、別の場所に何度でも貼り付けられます。ただし、記録できるのは1件のみで、新たにコピーすると前にコピーした文字は上書きされます。

**〈例〉サイトのURLをコピーするとき**

**1 サイトのURLを表示▶MENU▶1**

URLを表示する→P208

**2 コピーする範囲を選択**

コピー方法→P450「文字をコピー／切り取りする」操作2以降

**3 貼り付け先の文字入力画面を表示▶文字を貼り付ける**

貼り付け方法→P450

**✔お知らせ**

- ラストURL一覧、URL履歴一覧、ツータッチサイト一覧、画面メモ一覧から操作する場合は、MENUを押し「URLコピー」を選択します。ブックマーク一覧から操作する場合は、MENUを押し「URL表示／入力／コピー」→「URLコピー」を選択します。これらの画面から操作する場合はURL全体がコピーされます。

## ◆iモードメールにURLを貼り付ける

表示中のサイトやホームページのURLをiモードメールに貼り付けて送信できます。

**1 サイトを表示▶MENU▶7**

以降の操作→P234

## ◆電話番号やメールアドレスを電話帳に登録する〈電話帳登録〉

表示中の画面（サイト、画面メモ、メッセージR/F）の電話番号やメールアドレスを電話帳に登録できます。

- サイトによっては、画面に表示されている項目以外の情報も登録できる場合があります。

**〈例〉サイト画面に表示されている電話番号を新規登録するとき**

**1 電話番号のあるサイトを表示**

**2 登録する電話番号にカーソルを合わせてMENU▶81▶1または2**

- カーソルを合わせられる電話番号、メールアドレスのみ登録できます。

登録済みの電話帳データに追加する：

①**登録する電話番号にカーソルを合わせてMENU▶82▶1または2**

②**更新する電話帳データを選択**

**3 名前やメールアドレスなどを登録**

電話帳登録→P101、P103

**✔お知らせ**

- 画面メモ表示画面から操作する場合は、MENUを押し「電話帳」→「新規登録」または「更新登録」を、メッセージR/F詳細画面から操作する場合は、MENUを押し「登録」→「電話帳新規」または「電話帳更新」を選択します。

## ◆URLを電話帳に登録する

ブックマーク一覧や画面メモ一覧からURLを電話帳に登録できます。

〈例〉ブックマーク一覧から新規登録するとき

1 [i]▶[2]▶フォルダを選択

2 登録するブックマークにカーソルを合わせて[MENU]▶[7][1]

登録済みの電話帳データに追加する：登録するブックマークにカーソルを合わせて[MENU]▶[7][2]▶更新する電話帳データを選択

3 名前やメールアドレスなどを登録

電話帳登録→P101

✔お知らせ

- ラストURLのURL表示画面から操作する場合は、[MENU]を押し、「電話帳新規登録」または「電話帳更新登録」を選択します。
- 画面メモ一覧から操作する場合は、[MENU]を押し「電話帳」→「新規登録」または「更新登録」を選択します。

## ◆位置情報を利用する

表示中の画面（サイト、画面メモ、メッセージR/F）の位置情報のリンク項目を選択して、地図の表示やGPS対応ｉアプリの起動、位置情報をURLに変換してメールに貼り付けができます。

- 位置情報送信用のリンク項目を選択して位置情報を送信することもできます。→P313「■GPS以外の機能から位置情報を利用するとき」

〈例〉サイト画面の位置情報のリンク項目から地図を表示するとき

1 位置情報のリンク項目があるサイトを表示▶位置情報を選択

2 「地図を見る」を選択▶「OK」を選択

GPS対応ｉアプリを起動する：「対応ｉアプリを利用」を選択▶「OK」を選択▶ｉアプリを選択

位置情報をメールに貼り付ける：「メール貼り付け」を選択▶「OK」を選択
以降の操作→P234

ｉモード設定

# ｉモードの設定を行う

**ｉモード接続に関する各種機能を設定します。**

- 次の設定はフルブラウザでも有効です。
  - 接続待ち時間設定
  - 接続先設定
  - 照明設定
  - 証明書管理
  - 暗証番号入力省略設定

## ◆接続待ち時間を設定する〈接続待ち時間設定〉

[MENU]▶[2][8][2]

【お買い上げ時】 60秒間

ｉモードセンターに接続するまでの最大待ち時間を設定します。接続が正常に行われないときなどに、設定した時間で自動的に接続が中断されます。

1 [i]▶[8][2]▶[1]～[3]

✔お知らせ

- 「無制限（設定なし）」に設定していても、電波状況などによりｉモードセンターとの接続が中断される場合があります。
- 本機能の設定はデータ放送設定の接続待ち時間設定にも反映されます。

## ◆ｉモードから接続先を変更する（ISP接続通信）〈接続先設定〉

[MENU]▶[2][8][8]

【お買い上げ時】 ｉモード（FOMAカード）

※ ドコモのｉモードサービスをご利用の場合は、設定を変更する必要はありません。

**ISP接続通信とは**

ドコモのｉモード端末の接続先を切り替えることで、各種プロバイダ（ISP）への接続ができます。プロバイダに接続した際にパケット通信料がかかります。

- ISP接続を行った際のパケット通信料は、パケ・ホーダイの対象とはなりません。あらかじめご了承ください。
- 通信中は接続先を設定、変更できません。

※ ドコモへの新たなお申し込みは不要です。

**プロバイダ契約について**

- ISP接続通信をご利用いただくには、別途プロバイダへのお申し込みが必要です。各プロバイダのサービス内容（サイト接続、インターネット接続、メール機能など）、お申し込み方法については各プロバイダにお問い合わせください。
- プロバイダが提供するサービス内容によっては、別途情報料などがかかる場合がありますが、ドコモからご請求することはありません。
- お客様が閲覧されるサイトによっては、お客様の電話番号がサイトを提供するプロバイダに通知される場合があります。
- 登録できる接続先は最大10件です。

**1** **[i]▶[8][8]▶編集するユーザ設定にカーソルを合わせて[MENU]**

- ｉモード契約時の接続先は、ご契約いただいた地域により異なります。

ｉモードを利用する設定に戻す：**「ｉモード(FOMAカード)」を選択▶操作4に進む**

以前に設定した接続先に変更する：**接続先を選択▶操作4に進む**

**2** **認証操作▶下記の各項目を選択して設定▶[□]**

- [MENU]を押すと、すでに入力した項目の内容を一括削除できます。

**接続先名称**：全角で最大8文字、半角で最大16文字入力できます。

**接続先番号**：半角英数字で最大99文字入力できます。

**接続先アドレス**：半角英数字で最大30文字入力できます。

**接続先アドレス2**：半角英数字で最大30文字入力できます。

- 接続先アドレス2はｉチャネルの接続先です。

**3** **編集した接続先を選択**

**4** **[□]［登録］を押す**

**✔お知らせ**

- 接続先を変更すると、ｉチャネルの情報が初期化され、待受画面にｉチャネルのテロップは表示されなくなります。待受画面で[ch]を押してｉチャネル一覧を表示すると、最新の情報を受信し、テロップも表示されます。
- 接続先番号または接続先アドレスを変更すると、圏内自動送信の設定は解除されます。
- 2in1を利用しているときに接続先を変更すると、各モードのテロップ表示設定のテロップ表示がお買い上げ時の状態に戻ります。

## ◆照明を設定する

[MENU]▶[2][8][3]

【お買い上げ時】常灯

サイトや画面メモ、メッセージR/F、ｉチャネルの内容を表示したときの照明を設定します。

**1** **[i]▶[8][3]▶[1]または[2]**

- 「端末設定に従う」に設定すると、ディスプレイの照明設定に従います。

**✔お知らせ**

- サイトやホームページ、画面メモ表示画面から操作する場合は、[MENU]を押し「表示」→「照明設定」を選択します。
- 本機能の設定はディスプレイの照明設定（点灯時間設定のｉモード中）にも反映されます。

## ◆画像表示／効果音を設定する〈表示・効果設定〉

[MENU]▶[2][8][6]・[9][1][6][3][2]

【お買い上げ時】画像、アニメーション：表示する　端末情報データ利用設定：利用する　効果音設定：ON

サイトや画面メモ、メッセージR/F、ワンセグのデータ放送サイトなどの内容を表示したときの画像やFlash画像の効果音、ワンセグのデータ放送やデータ放送サイトの効果音を設定します。

**1** **[i]▶[8][6]▶下記の各項目を選択して設定▶[□]［登録］**

**画像**：画像を表示するかどうかを設定します。

- 「表示しない」に設定すると、画像やFlash画像、アニメーションの代わりに[■]が表示されます。
- 「表示する」に設定すると、アニメーション、端末情報データ利用設定を設定できます。

**アニメーション**：アニメーションを表示するかどうかを設定します。

- 「表示しない」に設定すると、アニメーションの最初のコマが表示されます。

**端末情報データ利用設定**：Flash画像を表示するときにFOMA端末内の登録データを利用するかどうかを設定します。

- ワンセグの表示・効果設定から端末情報データ利用設定の設定はできません。

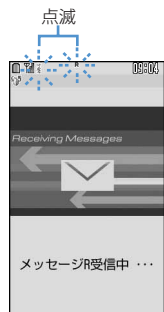
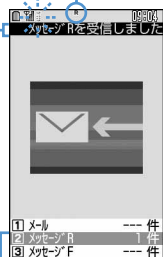
**効果音設定**：Flash画像やデータ放送、データ放送サイトの効果音を再生するかどうかを設定します。

**✔お知らせ**

- サイトや画面メモ表示画面から操作する場合は、[MENU]を押し「表示」→「表示・効果設定」を選択します。
- データ放送を表示している画面から操作する場合は、[MENU]を押し「データ放送」→「表示・効果設定」を選択します。
- ｉチャネル一覧表示中にFlash画像の効果音を設定する場合は、[MENU]を押し「効果音設定」を選択します。
- 画像を「表示しない」に設定すると、ｉモードメールにWeb To機能を使用して添付されてきた画像の保存や表示もできなくなります。
- アニメーションを「表示しない」に設定してもFlash画像は再生されます。
- 画像の設定は、添付ファイルとして添付されている画像やメッセージR/Fの本文中の画像、データ放送には反映されません。
- 効果音設定は、メッセージR/Fには反映されません。
- 端末情報データ利用設定を「利用する」に設定すると、電池残量、受信レベル、時刻情報、音量設定のメロディ音量、バイリンガル、機種情報がインターネットを経由してIP（情報サービス提供者）に送信される場合があるため、第三者に知得される可能性があります。

メッセージR/F受信

## メッセージR/Fを受信したときは

- 最大保存件数→P541

### 1 メッセージR/Fを受信

メッセージRを受信中のときは[アイコン]と[R]（青）が、メッセージFを受信中のときは[アイコン]と[F]（緑）が点滅し、「メッセージR受信中…」または「メッセージF受信中…」と表示されます。
メッセージR/F着信音が鳴り、ランプが点灯または点滅して受信結果画面が表示されます。
受信したメッセージR/FはFOMA端末に保存されます。

- メッセージ受信中画面で[●]を押すと受信を中止します。
- FOMA端末を折り畳んでいるときは、背面ディスプレイに受信状態が表示されます。
- メッセージ自動表示で設定したメッセージを受信した場合は、受信結果画面が表示されてから何も操作しないでいると、受信前の画面に戻る前に、未読メッセージR/Fの内容が表示されます。メッセージ自動表示で設定されていないメッセージや「表示しない」に設定してメッセージを受信した場合は、受信結果画面が表示されてから約15秒間、メール着信設定で鳴動時間を15秒以上に設定したときは着信音が鳴り終わるまでの間、何も操作しないでいると自動的に受信前の画面に戻ります。それより前に受信前の画面に戻すときは[CLR]を押します。

**受信に失敗したとき：**
受信結果画面の「メッセージR」「メッセージF」の後ろに「×」が表示されます。受信し直すには、ｉモード問合せを行ってください。

**✔お知らせ**

- 受信・自動送信表示設定の設定内容によっては、受信中画面や受信結果画面は表示されません。
複数のメール、メッセージR/Fを同時に受信したときは、最後に受信したメール、メッセージR/Fに設定した条件に従って動作します。
- ワンセグ視聴中にメッセージR/Fを受信したときは、受信結果テロップに受信通知のメッセージのみ表示されます。
- FOMA端末でメッセージR/Fを受信すると、ｉモードセンターに保管されているメッセージR/Fは削除されます。
- 次のような場合に送られてきたメッセージR/Fはｉモードセンターに保管されます。
  - 電源が入っていないとき
  - テレビ電話中
  - お預かりセンター接続中
  - プッシュトーク通信中
  - セルフモード中
  - おまかせロック中
  - FirstPassセンター接続中
  - 受信に失敗したとき
  - ｉモード圏外のとき
  - SMS受信中
  - 赤外線通信／iC通信中
  - 未読メッセージR/Fと保護されているメッセージR/Fで保存領域が満杯のとき

- 保存領域の空きが足りないときや最大保存件数を超えるときは、未読以外の古いメッセージR/Fから順に上書きされます。残しておきたいメッセージR/Fは保護してください。
- 未読メッセージR/Fと保護されているメッセージR/Fで保存領域が満杯で上書きできないときは、メッセージR/Fの受信は中止され、画面にはR（赤）やF（赤）が表示されます。受信する場合は、未読メッセージR/Fの内容表示（→P221）、不要メッセージR/Fの削除（→P223）、保護解除（→P222）などを行う必要があります。
- iモードセンターにメッセージR/Fが残っているときはや が表示されます。ただし、メッセージR/Fがあっても表示されない場合があります。また、iモードセンターの保管件数が満杯になったときは、マークがやに変わります。

## ◆新着メッセージR/Fを表示する

**1 受信結果画面で2または3**

- 1を選択するとiモードメールが表示されます。
- 受信したメッセージRは「メッセージR」フォルダ、メッセージFは「メッセージF」フォルダに保存されます。

**2 メッセージR/Fを選択**

- メロディが添付されている場合は、自動的に再生されます。自動再生しないように設定することもできます。→P268

メッセージR/Fの見かた→P221

## ◆メッセージR/Fを自動的に表示する〈メッセージ自動表示〉

メニュー▶2 6 3 1

【お買い上げ時】 メッセージR優先

メッセージR/Fを受信し、受信結果画面から受信前の画面に戻るときに、内容を自動的に表示（約15秒間）するかどうかを設定します。メッセージR/Fのどちらか一方のみ、またはメッセージR/Fのどちらかを優先して表示するようにも設定できます。

**1 i▶6 3 1▶1～5**

### ✔お知らせ

- 自動表示中にキー操作をしなかった場合は、メッセージR/Fは未読の状態で保存されます。
- 待受画面表示中の場合のみ自動表示できます。受信結果画面からメールやメッセージR/Fの表示操作をした場合は、自動表示されません。

メッセージR／メッセージF

# 保存されているメッセージR/Fを表示する

メニュー▶2 6 1/2 6 2

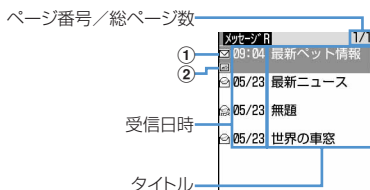
FOMA端末に保存されているメッセージR/Fを表示します。

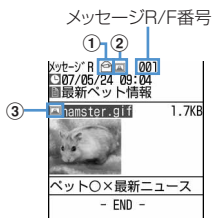
**1 i▶6▶1または2**

**2 表示するメッセージR/Fを選択**

## ◆メッセージ一覧画面／詳細画面の見かた

メッセージRとメッセージFの画面の見かたは同様です。

### ❖メッセージ一覧画面の見かた

- マークの意味は次のとおりです。
  ①状態マーク
  ：未読　：既読　：保護
  ②添付ファイルマーク
  ：画像　：メロディ　：トルカ
  ：画像、メロディ、トルカのいずれか2つ以上
- 受信日時には、受信した日付が当日の場合は時刻、当日以外の場合は日付で表示されます。

### ❖メッセージ詳細画面の見かた

- マークの意味は次のとおりです。
  ：受信日時　：タイトル
  ①状態マーク
  →P221「メッセージ一覧画面の見かた」
  ②添付ファイルマーク
  →P221「メッセージ一覧画面の見かた」

③添付ファイルマーク（詳細）
- ：画像（メール添付やFOMA端末外への出力可）
- ：画像（メール添付やFOMA端末外への出力不可）
- ：画像（データ異常）
- ：メロディ（メール添付やFOMA端末外への出力可）
- ：メロディ（メール添付やFOMA端末外への出力不可）
- ：メロディ（データ異常）
- ：トルカ（メール添付やFOMA端末外への出力可）
- ：トルカ（データ異常）

- を押すと前後のメッセージR/Fを表示できます。

## ◆添付されているファイルを表示・保存する

メッセージR/Fに添付されている画像やトルカを表示・保存したり、メロディを再生・保存したりします。

**1 メッセージR/F一覧を表示**

マークの意味→P221「メッセージ一覧画面の見かた」

**2 ファイルが添付されているメッセージR/Fを選択**

**3 保存する添付ファイルのファイル名にカーソルを合わせて▶5 2**

画像の場合の以降の操作→P213「画像をダウンロードする」操作2以降
メロディの場合の以降の操作→P214「メロディをダウンロードする」操作3

- トルカの場合は、保存先の選択画面が表示されます。1を押すとトルカ一覧の「トルカフォルダ」に保存され、2を押すとmicroSDメモリーカード内の「トルカ」フォルダに保存されます。ただし、トルカによっては、どちらか一方の保存先しか選択できない場合があります。
- 1024バイトを超えるトルカはmicroSDメモリーカードにのみ保存できます。

表示・再生する：**表示・再生するファイル名を選択**

- 添付ファイルが画像の場合は、画像の表示／非表示が切り替わります。
- 1024バイトを超えるトルカは表示できません。

タイトルを表示する：**確認するファイルにカーソルを合わせて▶5 3**

- 画像の添付ファイルは操作できません。

**✔お知らせ**

- 本文中の画像または背景画像を保存する場合は、を押し「画像保存」→「画像選択」または「背景画像保存」を選択し、保存する画像を選択します。
- トルカによっては、一度しか保存できない場合があります。

## ◆メッセージR/Fを保護する〈メッセージ保護〉

メッセージR/Fを保護すると、誤って削除したり、保存領域が足りずに上書きされたりすることを防げます。

- 最大保護件数→P541
- 未読のメッセージR/Fは保護できません。

〈例〉メッセージR/Fを1件保護するとき

**1 メッセージR/F一覧を表示**

**2 保護するメッセージR/Fにカーソルを合わせて▶2 1**

メッセージR/Fが保護され、状態マークがからに変わります。

複数保護する：**▶2 2▶メッセージR/Fを選択▶**

保護を1件解除する：**保護を解除するメッセージR/Fにカーソルを合わせて▶2 3**

保護を複数解除する：**▶2 4▶メッセージR/Fを選択▶**

保護を全件解除する：**▶2 5**

**✔お知らせ**

- メッセージR/F詳細画面から操作する場合は、を押し「保護」または「保護解除」を選択します。

## ◆メッセージR/Fを削除する〈メッセージ削除〉

〈例〉1件削除するとき

1 メッセージR/F一覧を表示

2 削除するメッセージR/Fにカーソルを合わせて MENU ▶ 1 1

既読のメッセージR/Fのみを削除する：MENU ▶ 1 2

複数削除する：MENU ▶ 1 3 ▶メッセージR/Fを選択 ▶ 📖

全件削除する：MENU ▶ 1 4 ▶認証操作

3 「はい」を選択

✔お知らせ

- メッセージR/F詳細画面から操作する場合は、MENU を押し「削除」を選択します。

## ◆表示するメッセージR/Fの種別を選ぶ〈表示種別〉

メッセージR/F一覧に、指定した種別のメッセージR/Fだけを一時的に表示します。表示を終了すると、「すべて表示」に戻ります。

1 メッセージR/F一覧を表示 ▶ MENU ▶ 3 ▶ 1 ～ 4

選択した表示種別のメッセージR/Fが表示されます。

- 「既読のみ表示」を選択すると、保護されているメッセージR/Fは表示されません。

## ◆メッセージR/Fを並べ替える〈ソート〉

メッセージR/F一覧の並び順を一時的に並べ替えます。表示を終了すると、並び順は「日付順」に戻ります。

1 メッセージR/F一覧を表示 ▶ MENU ▶ 4 ▶ 1 または 2

✔お知らせ

- タイトルに、全角や半角、英字、漢字、URL表示のものが混在していると、「タイトル順」の並べ替えの結果が50音順にならない場合があります。

# 証明書を操作する

SSL通信時に必要な証明書の操作を行います。

## ◆証明書を表示して有効／無効を設定する〈証明書管理〉

MENU ▶ 2 8 5 1

【お買い上げ時】 すべて有効

### ❖証明書を表示する

- SSLページに接続するには、次の証明書が必要です。
  **CA証明書**：認証会社が発行した証明書で、お買い上げ時の端末内に保存されています。
  **ドコモ証明書**：FirstPassセンターやFirstPass対応サイトに接続するために必要な証明書で、あらかじめFOMAカード内に保存されています。
  **ユーザ証明書**：FirstPass対応サイトへ接続するために必要な証明書です。FirstPassセンターで発行申請を行い、ダウンロードするとFOMAカード内に保存されます。
  **オリジナル証明書**：各企業・自治体等から発行される証明書で、ダウンロードすると端末内に保存されます。ダウンロードした証明書に対応しているサイトで利用できます。
- 青色のFOMAカードを差し込んでいる場合は、CA証明書以外は表示されません。

1 i ▶ 8 5 1 ▶表示する証明書を選択

- マークの意味は次のとおりです。
  CA：CA証明書
  ：ドコモ証明書／ユーザ証明書
  ：オリジナル証明書
  ：有効に設定されている証明書

✔お知らせ

- 証明書の表示内容
  所有者
  CN=：（Common Name）サーバの名前、管理者名、または識別番号
  O=：（Organization）会社名など
  C=：（Country）国名
  発行者
  CN=：（Common Name）サーバの名前、管理者名、または識別番号
  OU=：（Organization Unit）会社の部署など
  O=：（Organization）会社名など
  有効期限
  シリアル番号
- 証明書の所有者、発行者、有効期限について記述がない場合、項目名のみ表示されます。

### ❖証明書の有効／無効を設定する

**1** [i]▶[8][5][1]▶[ ]▶設定する証明書を選択▶[ ]［登録］

有効に設定した証明書には[ ]が表示されます。

**✔お知らせ**

- ドコモ証明書2は設定できません。

### ❖証明書の管理名を変更する

ダウンロードしたオリジナル証明書の管理名称を変更します。

**1** [i]▶[8][5][1]▶管理名を変更する証明書にカーソルを合わせて[ ]

**2** 名称を入力▶[ ]［登録］

- 全角で最大9文字、半角で最大18文字入力できます。

ダウンロードしたときの管理名称に変更する：
[ ]を押す

### ❖証明書を削除する

ダウンロードしたオリジナル証明書を削除します。

**1** [i]▶[8][5][1]▶削除する証明書にカーソルを合わせて[ ]▶「はい」を選択▶認証操作

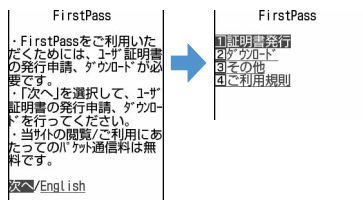
## ◆FirstPassを設定する〈ユーザ証明書操作〉

[MENU]▶[2][8][5][2]

FirstPassセンターに接続し、ユーザ証明書の発行申請をし、ダウンロードを行います。

- FirstPassセンター接続時の画面や操作方法は、変更される場合があります。
- FirstPassセンターに接続中は、メールの送受信やメッセージR/Fの受信はできません。
- 海外では本機能を利用できません。

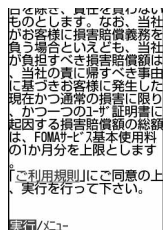
### ❖ユーザ証明書の発行申請・ダウンロードする

**1** [i]▶[8][5][2]▶「次へ」を選択▶「[1]証明書発行」を選択

発行されたユーザ証明書を失効させる：

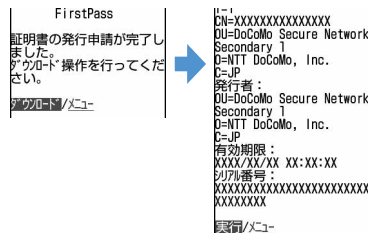
①「[3]その他」を選択▶「[1]証明書失効」を選択▶送信するユーザ証明書を選択

②PIN2コードを入力▶「実行」を選択▶「次へ」を選択▶「実行」を選択

**2** 「実行」を選択▶PIN2コードを入力

完了画面が表示され、ユーザ証明書の発行申請が完了します。

- 60秒以内にPIN2コードを入力しないと発行申請はキャンセルされます。

**3** 「ダウンロード」を選択▶「実行」を選択

完了画面が表示され、ユーザ証明書がダウンロードされます。

- ダウンロードしたユーザ証明書は、「証明書管理」で確認できます。→P223

✔お知らせ

- FirstPassセンターに接続した際のパケット通信料は無料です。
- ユーザ証明書は、お客様がFOMA契約されていることを証明するものです。ダウンロードしたユーザ証明書はFOMAカードに保存され、FirstPassに対応しているサイトで利用できます。
- フルブラウザでも、FirstPassを利用できます。
- 付属のCD-ROMからFirstPass PCソフトをパソコンにインストールすると、FOMA端末をパソコンに接続して、FirstPassを使った通信ができます。詳細はCD-ROM内の「FirstPassManual」をご覧ください。「FirstPassManual」(PDF形式)をご覧になるには、Adobe Reader(バージョン6.0以上を推奨)が必要です。お使いのパソコンにインストールされていない場合は、付属のCD-ROM内のAdobe Readerをインストールしてご覧ください。ご使用方法などの詳細は、「Adobe Reader ヘルプ」をご覧ください。

### FirstPassのご使用にあたって

- FirstPassとはドコモの電子認証サービスです。FirstPassを利用することにより、サイト側とFOMA端末側がお互いの証明書を送付し合い、受け取った相手の証明書を検証してお互いの認証を行うクライアント認証ができます。
- FirstPassはFOMA端末からのインターネット通信と、FOMA端末をパソコンに接続した状態でのインターネット通信でお使いいただけます。パソコンでご利用いただくためには、付属のCD-ROM内のFirstPass PCソフトが必要です。
- ユーザ証明書の発行申請をする際は、画面に表示される「FirstPassご利用規則」をよくお読みになり、同意の上、申請してください。
- ユーザ証明書のご利用にはPIN2コードの入力が必要です。
- PIN2コード入力後になされたすべての行為はお客様によるものとみなされますので、FOMAカードまたはPIN2コードが他人に不正に使用されないよう十分ご注意ください。
- FOMAカードの紛失、盗難にあった場合などは、取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」でユーザ証明書の失効を行えます。
- FirstPass対応サイトによって提供されるサイトや情報については、ドコモは、何らの義務もないものとし、一切の責任を負いません。お客様とFirstPass対応サイトとの間で解決をお願いいたします。
- FirstPassおよびSSLのご利用にあたり、ドコモおよび認証会社は安全性などに関して保証するものではありませんので、お客様ご自身の判断と責任においてご利用ください。

## ❖オリジナル証明書をダウンロードする

- オリジナル証明書は最大5件、ルート証明書と中間証明書は合わせて最大10件、合計35Kバイトまで保存できます。

**1** 証明書のあるサイトを表示▶ダウンロードする証明書を選択

- ダウンロード中に[MENU]を押すと、ダウンロードを中止します。

**2** 「保存」を選択

- ダウンロードした証明書は、「証明書管理」で確認できます。→P223
- パスワードの入力を要求されたときは、パスワードの入力欄にパスワードを入力し、「OK」を選択します。

✔お知らせ

- オリジナル証明書は各企業・自治体等から発行されます。ダウンロードした証明書は、その証明書に対応しているサイトで利用できます。
- フルブラウザでも、オリジナル証明書を利用できます。
- オリジナル証明書をダウンロードする際のパケット通信料は有料です。
- 保存領域の空きが足りないときや最大保存件数を超えるときは、保存できません。画面の指示に従って保存されている証明書を削除してください。
- 青色のFOMAカードを差し込んでいる場合、オリジナル証明書はダウンロードできません。

## ◆証明書発行接続先を変更する〈証明書発行接続先設定〉

[MENU]▶[2][8][5][3]

【お買い上げ時】 接続先：ドコモ

FirstPass以外のサービスを受けるときに、証明書発行の接続先を設定します。設定を変更するとFirstPassセンターに接続できなくなります。

**通常は設定を変更する必要はありません。**

**1** [i]▶[8][5][3]

**2** 接続先欄を選択▶[2]

- FirstPassに接続する設定に戻すときは[1]を押し、操作5に進みます。

**3** ユーザ設定接続先の入力欄に接続先を入力

- 半角英数字で最大99文字入力できます。

## 4 ユーザ設定初期画面URLの入力欄にURLを入力

- 半角英数字で最大100文字入力できます。

## 5 [📖]［登録］を押す

### ◆端末暗証番号を省略するかどうかを設定する〈暗証番号入力省略設定〉

MENU▶2 8 5 4

【お買い上げ時】 省略する

オリジナル証明書を利用するときは、端末暗証番号を入力することで認証を行います。認証が完了したオリジナル証明書を再び利用するときに、端末暗証番号入力を省略するかどうかを設定します。

**1** [i]▶8 5 4▶1または2

## ｉモーションとは

**サイトやホームページから映像や音を取得し、再生したり、保存したりします。**
**保存した映像や音はｉモーションとして再生したり、着モーションに設定できます。メロディだけではなく歌手の歌声なども着信音として利用できます（一部の対応していないｉモーションは着モーションに設定できません）。**

- ｉモーションには大きく分けて次の2種類があります。取得時にデータの種類を変更したり、選択したりできません。

| 種類 | | 説明 |
|---|---|---|
| タイプ | 再生動作 | |
| 標準タイプ（保存可※） | データを取得しながら再生（最大10Mバイト） | ｉモーションのデータを取得しながら再生します。取得完了後は、データを取得後に再生するｉモーションと同様に操作できます。 |
| | データを取得後に再生（最大10Mバイト） | ｉモーションのデータをすべて取得後に再生します。 |
| ストリーミングタイプ（保存不可） | データを取得しながら再生（最大10Mバイト） | ｉモーションのデータを取得しながら再生します。再生が終わったｉモーションのデータは消去され、FOMA端末に保存できません。 |

※ 保存できないｉモーションもあります。

## サイトからｉモーションを取得する

**サイトからｉモーションを取得し、再生したり保存したりします。**

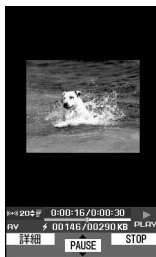
- 最大保存件数→P541

**1** ｉモーションのあるサイトを表示▶ｉモーションを選択

受信済みのデータ量／全体のデータ量

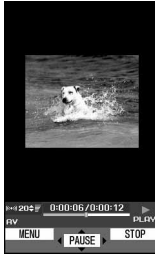
ｉモーションの取得が始まり、完了するとその旨のメッセージが表示されます。

- 取得中に[📖]を押して「はい」を選択すると、取得を中止します。
  ファイルサイズが500K～10Mバイトで部分保存できるｉモーションの場合は、再開するかどうかの確認画面が表示されます。「はい」を選択すると取得が再開され、「いいえ」を選択すると確認画面が表示されます。「部分保存」を選択して部分保存した場合、残りのデータはｉモーション内の「ｉモード」フォルダから再取得できます。→P353「動画／ｉモーションを再生する」操作3
- ストリーミングタイプのｉモーションを選択した場合は、再生するかどうかの確認画面が表示されます。「はい」を選択すると、ｉモーションを取得しながら再生します。

**データを取得しながら再生するｉモーション：**

標準タイプ

ｉモーションを取得しながら再生します。

- 再生中は次の操作ができます。再生終了後は、データを取得後に再生するｉモーションと同様に操作できます。
  ● ：標準タイプは一時停止／再生
  ◎／サイドキー［▲▼］：音量調整
  📖 ：ストリーミングタイプは確認画面で「はい」を選択すると中断
  標準タイプは停止（停止中に●を押すと先頭から再生）
  MENU ：詳細情報の表示
- 再生を一時停止または停止しても、データの取得は継続します。

**データを取得後に再生するｉモーション：**

標準タイプ

取得が完了すると、ｉモーションが自動的に再生されます。

- 動画／ｉモーションを再生したときのキー操作（ch クリア を除く）→P353「動画／ｉモーションを再生する」操作3

## 2 「保存」を選択

- ストリーミングタイプのｉモーションは保存できません。

**もう一度再生する：**「再生」を選択

**詳細情報を表示する：**「情報表示」を選択

**保存を中止する：**

①「戻る」を選択
- ストリーミングタイプのｉモーションの場合はサイト画面に戻ります。

②「いいえ」を選択
サイト画面に戻ります。

## 3 表示名を入力▶📖［保存］

取得したｉモーションは、ｉモーション内の「ｉモード」フォルダに保存されます。

- 表示名は全角・半角を問わず最大36文字入力できます。
- ガイド表示領域の左下に「📞→SD」が表示された場合には、☎を押して保存先を切り替えられます。ファイル制限ありの場合は、「SD保存」が表示されているときに📖を押して、microSDメモリーカード内の保存先のフォルダにカーソルを合わせて📖を押すと、選択したフォルダに保存されます。ファイル制限なしの場合は、「SD保存」が表示されているときに📖を押すと、microSDメモリーカード内の「動画」フォルダに保存されます。
- ガイド表示領域の左上に「設定」が表示されているときにMENUを押すと、ｉモーションの利用先一覧が表示され、待受画面などに設定できます。→P356

**取得したｉモーションのテロップにリンクが設定されているとき：**

テロップ中に電話番号（Phone To、AV Phone To）やメールアドレス（Mail To）、サイト（Web To）などのリンクが設定されているときは、再生を終了するか中断すると、確認画面が表示されます。「はい」を選択すると、リンク先に接続します。

以降の操作→P217「Phone To（AV Phone To）・Mail To・Web To・Media To機能を使う」操作2

- ｉモーションが保存されていない場合は、リンク先に接続する前に保存するかどうかの確認画面が表示されます。
- Phone To（AV Phone To）の場合は、📖を押すと電話番号を電話帳に登録できます。Mail Toの場合は、「電話帳登録」を選択するとメールアドレスを電話帳に登録できます。
- 複数のリンク項目があるときは、1つのみ有効です。有効になるリンク項目は、ｉモーションによって異なります。

**✔お知らせ**

- 取得、再生できるｉモーションはMP4（Mobile MP4）形式のみです。ASF形式のｉモーションの取得、再生はできません。
- ｉモーションには、再生回数や再生期限などの再生制限が設定されている場合があります。
- ｉモーションを取得しながら再生しているときにデータの受信待ちになり、再生が一時停止する場合があります。データを受信し始めると自動的に再生を再開します。
- ｉモーションを取得しながら再生しているときに、電波状況などにより再生ができなくなったり、画像が乱れたりする場合があります。その場合でも、データが正常に受信されていると取得後に再生できます。ただし、ｉモーションによってはデータを取得できても、正しく再生できない場合があります。

・データを取得しながら再生するｉモーションでも、接続するサイトの状況などによりデータ取得中は再生できない場合があります。
・ｉモーションのデータが不正だった場合、ｉモーションの受信が中止されることがあります。
・ｉアプリからｉモーションを利用して、保存する前に詳細情報を表示したときに着信音設定および着信画面設定が「可」と表示されても、保存できない場合があります。その場合には、着信音および着信画像に設定できません。
・ストリーミングタイプのｉモーションを取得しながら再生しているときにFOMA端末を折り畳んだり、電話がかかってきたり、目覚ましやスケジュールで指定した日時になった場合は、取得が中断され、再生が中止されます。標準タイプのｉモーションを取得しながら再生しているときにFOMA端末を折り畳むと、取得は継続されたまま再生が停止します。
・保存領域の空きが足りないときや最大保存件数を超えるときは、不要な動画を削除するかどうかの確認画面が表示されます。保存する場合は、画面の指示に従って保存されている動画／ｉモーションを削除してください。

ｉモーション設定

## ｉモーションの自動再生を設定する

MENU ▶ 2 8 7

【お買い上げ時】 自動再生設定：自動再生する

**ｉモーションを取得中、または取得後に自動的に再生するかどうかを設定します。**

**1** ▶ 8 7 ▶ 自動再生設定欄を選択 ▶ 1 または 2 ▶ ［登録］

**✔お知らせ**

・サイト画面から操作する場合は、MENUを押し「表示」→「ｉモーション設定」を選択します。
・「自動再生しない」に設定しても、取得の完了画面で「再生」を選択すると再生できます。
・ストリーミングタイプのｉモーションは自動再生設定の設定に関わらず、再生するかどうかの確認画面が表示されます。

## ｉチャネルとは

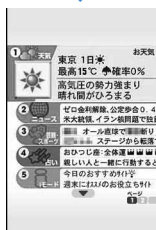
**ニュースや天気などをグラフィカルな情報としてドコモまたはIP（情報サービス提供者）がｉチャネル対応端末に配信するサービスです。**
**定期的に情報を受信し、最新の情報が待受画面にテロップとして流れたり、chクリアを押すことでチャネル一覧に表示されます。さらにチャネル一覧でお好きなチャネルを選択することにより、リッチな詳細情報を取得できます。**

・ｉチャネルのご利用にあたっての注意事項およびご利用方法の詳細については、『ご利用ガイドブック（ｉモード〈FOMA〉編）』をご覧ください。

未契約

ｉチャネルをご契約いただいていない場合

契約後

ｉチャネルをご契約いただいた後、情報を受信したタイミング、もしくはチャネル一覧を表示したタイミングで、待受画面に自動的にテロップが流れます。

chクリアを押すとチャネル一覧が表示されます。各チャネルごとにテロップで流れていた情報などを一覧で見ることができます。

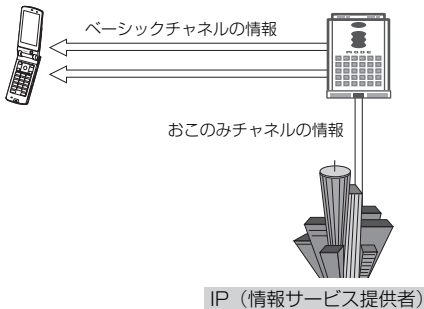
接続

各チャネルを選択すると、それぞれの詳細情報画面が閲覧できます。

※ 各画面はイメージです。実際の画面とは異なります。

チャネルには「ベーシックチャネル」と「おこのみチャネル」の2種類があります。
「ベーシックチャネル」はドコモが提供するチャネルであり、あらかじめ登録されていますので、ｉチャネルの利用開始時からすぐに利用することができます。「ベーシックチャネル」に関して配信される情報の自動更新にかかるパケット通信料は、ｉチャネルのサービス利用料に含まれます。
「おこのみチャネル」はドコモ以外のIP（情報サービス提供者）が提供するチャネルで、お客様ご自身がお好きなチャネルを登録して利用できます。「おこのみチャネル」に関して配信される情報の自動更新にかかるパケット通信料などは、ｉチャネルのサービス利用料には含まれません。
なお、「ベーシックチャネル」「おこのみチャネル」の情報はともに、待受画面にテロップとして流すことができます。

- 「おこのみチャネル」には、ご利用にあたり情報料がかかるものや、チャネルを提供するIP（情報サービス提供者）に対し別途お申し込みが必要になるものがあります。
- 「ベーシックチャネル」も「おこのみチャネル」も、チャネル一覧から詳細情報を閲覧する際は、ｉチャネルのサービス利用料とは別にパケット通信料がかかります。
- 国際ローミング中の「ベーシックチャネル」に関して配信される情報の自動更新にかかるパケット通信料は、ｉチャネルのサービス利用料に含まれません。

ｉモード端末　ｉモードセンター
ベーシックチャネルの情報
おこのみチャネルの情報
IP（情報サービス提供者）

ｉチャネルはお申し込みが必要な有料サービスです（お申し込みにはｉモード契約が必要です）。
- 操作方法→P229

## ❖おためしサービス

ｉモードをご契約の上ｉチャネル対応端末を利用しているお客様で、ｉチャネル対応端末を利用している契約者回線についてｉチャネルを申し込んだことがない場合、一定期間、サービス利用料無料で「ベーシックチャネル」を利用できます。なお、チャネル一覧から詳細情報を閲覧される際にかかるパケット通信料は、お客様のご負担となります。
- おためしサービスのご利用にあたっての注意事項およびご利用方法の詳細については、『ご利用ガイドブック（ｉモード〈FOMA〉編）』をご覧ください。

おためしサービスは、原則としてFOMAカードを挿入してｉチャネル対応端末の利用を開始した際、一定時間経過後に自動的に開始されます。自動的に開始しない場合は、[chクリア]を押すことで開始できます。
おためしサービスを利用できるのは、1つのご契約者回線につき1回のみです。
おためしサービスは開始後一定期間経過すると、自動的に終了します。また、途中で終了したい場合の操作方法については、『ご利用ガイドブック（ｉモード〈FOMA〉編）』をご覧ください。

# ｉチャネルを表示する

[MENU]▶[2][7][1]

**ｉチャネルを表示すると、テロップで流れている情報の詳細を見ることができます。**

## 1 ｉチャネル情報を受信

テロップ

- 情報受信中は[アイコン]が点滅します。
- FOMA端末の電源が入っていないときや圏外などで情報を受信できなかったときは、待受画面で[chクリア]を押してｉチャネル一覧を表示すると、最新の情報が受信され、待受画面にテロップが表示されるようになります。

## 2 [chクリア]を押す

- 待受画面に動画／ｉモーション、キャラ電、ｉアプリを設定しているときは、[Q][7][1]を押します。

## 3 表示する情報を選択

サイトに接続され、詳細情報が表示されます。

✔お知らせ

- 情報を受信しても、着信音、バイブレータ、ランプは動作しません。
- 待受画面に設定したアニメーションが再生中のときは、テロップは表示されません。ただし、アニメーションが自動的に再生しているときは、約5秒後に停止してテロップが表示されます。
- 他のｉチャネル対応端末にFOMAカードを差し替えたとき、接続先を変更したとき（→P218）は、[chクリア]を押してｉチャネル一覧を表示すると、最新の情報が受信され、テロップが表示されるようになります。
- ｉチャネルサービスまたはｉモードサービスを解約するとテロップは表示されなくなり、[chクリア]を押すと未契約時の画面が表示されます。ただし、解約の手続きが完了するまではテロップが表示され、[chクリア]を押すと最後に受信した情報がｉチャネル一覧に表示される場合があります。
- ｉチャネル一覧を表示中にもう一度Flash画像を動作させる場合は、[MENU]を押し「リトライ」を選択します。
- ｉチャネル一覧を表示中に表示・効果設定の効果音設定を変更する場合は、[MENU]を押し「効果音設定」を選択します。
- 使用状況によりｉチャネル一覧を表示したときに情報を受信する場合があります。

テロップ表示設定

## ｉチャネルのテロップを設定する

[MENU]▶[2][7][2]・[8][2][1][6]

【お買い上げ時】 テロップ表示：表示する　テロップ速度：普通

**1** [i]▶[7][2]▶下記の各項目を選択して設定▶[📖]［登録］

**テロップ表示**：テロップを表示するかどうかを設定します。

**テロップ速度**：テロップの表示速度を選択します。

✔お知らせ

- 待受画面に動画／ｉモーション、キャラ電、ｉアプリを設定している場合は、本機能のテロップ表示を「表示する」に設定しようとすると、待受画面が解除される旨の確認画面が表示されます。「はい」を選択すると、設定していた待受画面が解除されます。
- ｉチャネルサービス解約前にｉモードサービス解約を行った場合、本機能のテロップ表示は「表示する」に設定されたままになっています。
- 2in1がONのときは、モードごとに設定できます。
- 異なるFOMAカードに差し替えると、テロップ表示はお買い上げ時の状態に戻ります。また、2in1を利用しているときも、各モードのテロップ表示がお買い上げ時の状態に戻ります。

ｉチャネル初期化

## ｉチャネルを初期化する

[MENU]▶[2][7][3]

**ｉチャネルをお買い上げ時の状態に戻します。**

- テロップ表示設定のテロップ速度の設定は保持されます。

**1** [i]▶[7][3]▶「はい」を選択

✔お知らせ

- ｉチャネル初期化を行うと、待受画面のテロップは表示されなくなります。待受画面で[chクリア]を押してｉチャネル一覧を表示すると、最新の情報が受信され、待受画面にテロップが表示されるようになります。
- 2in1がONのときは、モードごとにテロップ表示設定のテロップ表示がお買い上げ時の状態に戻ります。

# メール

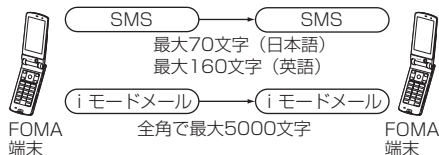
## FOMA端末のメール機能について

**FOMA端末では、ｉモードメール、SMSの2種類のメール機能を利用できます。**

- ｉモードメールをご利用いただくには、ｉモードのご契約が必要です。
- SMSは、ｉモードをご契約されていなくてもご利用いただけます。

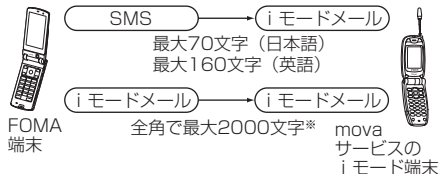
### ◆ メールの送受信について

**■ FOMA端末→FOMA端末**

ｉモードメール、SMSのどちらも利用できます。

**■ FOMA端末→movaサービスのｉモード端末**

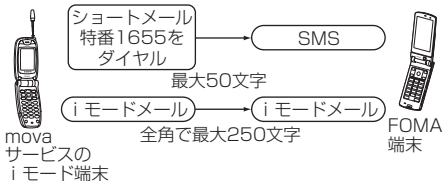
ｉモードメール、SMSのどちらも利用できます。

※ FOMA端末から送信したSMSは、movaサービスのｉモード端末ではｉモードメールとして受信されます。

※ SMS設定で送達通知を「要求する」に設定しているとき（→P275）は、movaサービスのｉモード端末にSMSを送信できません。

※ movaサービスのｉモード端末の設定により異なります。

**■ movaサービスのｉモード端末→FOMA端末**

movaサービスのｉモード端末から送られたｉモードメールとショートメールを受信できます。

※ movaサービスのｉモード端末から送信したショートメールは、FOMA端末ではSMSとして受信します。

※ ショートメールとは、movaサービスの携帯電話間で文字メッセージをやりとりできるサービスです。

### ◆ ｉモードメールについて

ｉモードを契約すると、ｉモード端末（mova端末含む）間はもちろん、インターネットを経由してe-mailとのメールのやりとりができます。
テキスト本文に加えて、合計2Mバイト以内で10個までファイル（画像、トルカ、PDFなど）を添付することができます。また、デコメールにも対応しており、メール本文の文字の色や大きさ、背景色を変えられるほか、絵文字のように挿入可能なデコメ絵文字もたくさんプリインストールされているため、簡単に表現力豊かなメールを作成し、送信できます。

- ｉモードご契約時のメールアドレスは次のとおりです。

**新規にｉモードをご契約の場合**

@マークより前がランダムな英数字の組み合わせになっています。ｉモード契約後にお客様のメールアドレスをご確認ください。

（例）abc1234～789xyz@docomo.ne.jp

- **お客様のメールアドレスの確認方法**
  ｉMenu → 料金＆お申込･設定 → メール設定 → アドレス確認

- ｉモード端末（mova端末含む）間でメールをやりとりする場合は、@マークより前の部分のみのアドレスで送信できます。
- パソコンなどからFOMA端末にメールを送信する場合は、@docomo.ne.jpも含めたアドレス全体を使用します。
- メールの送信方法→P234
- メールの受信方法→P244
- サービスの詳細は『ご利用ガイドブック（ｉモード〈FOMA〉編）』をご覧ください。

**■ メール選択受信**

ｉモードセンターに保管されているｉモードメールの題名などを確認し、受信するｉモードメールを選択したり、受信せずにｉモードセンターでｉモードメールを削除したりできます。→P245

## ❖メール設定を行う

次の各種設定ができます。

**設定方法**
i Menu → 料金＆お申込･設定 → メール設定 →【各設定】

- 詳細は『ご利用ガイドブック（i モード〈FOMA〉編）』をご覧ください。

**■ メールアドレス変更【メールアドレス設定（アドレス変更）】**

たとえば「docomo.△△_ab1234yz@docomo.ne.jp」のように、メールアドレスの@マークより前の部分を、お好みのアドレスに変更できます。

**■ メールアドレス確認【メールアドレス設定（アドレス確認）】**

現在設定されているメールアドレスを確認できます。

**■ シークレットコード登録【メールアドレス設定（その他設定）▶シークレットコード登録】**

「携帯電話番号@docomo.ne.jp」のメールアドレス利用時に、メールアドレスに加えて4桁のシークレットコードを登録できます。シークレットコードが付いたメール以外は受信されなくなるため、不要なメールの受信を避けられます。

**■ メールアドレスリセット【メールアドレス設定（その他設定）▶アドレスリセット】**

メールアドレスを「携帯電話番号@docomo.ne.jp」にできます。

**■ 迷惑メール対策**

次のいずれかの方法でメールの受信／拒否設定を行うと、メールの受信を制限できます。

**①URL付きメール拒否設定【メール受信設定（迷惑メール対策）▶URL付きメール拒否設定】**
- i モードメールのうち出会い･アダルト･不法･セキュリティなどのカテゴリに該当するとネットスター株式会社が判断したサイトのURLが記載されているメールを受信しないように設定できます。

**②受信／拒否設定【メール受信設定（迷惑メール対策）▶受信／拒否設定】**
- ドコモ、au、ソフトバンク、ツーカー、ウィルコムのうち、メールを受信したい会社を指定することができます。
  また、指定するドメインまたはメールアドレスからのメールのみ受信することもできます。受信設定した会社やドメインであっても、個別に拒否したいメールアドレスを指定して拒否することもできます。なお、上記の会社以外（インターネット）からのメールのうち、携帯･PHSドメインになりすましたメールのみを拒否することもできます。

**③SMS拒否【メール受信設定（迷惑メール対策）▶SMS拒否設定】**
- 受信するSMSを制限することができ、「SMS一括拒否」「非通知SMS拒否」「国際SMS拒否」「非通知SMS及び国際SMS拒否」の4つの中からいずれか1つを選択できます。また、設定の状況を確認できます。

**④ i モードメール大量送信者からのメール受信制限【メール受信設定（その他設定）▶ i モードメール大量送信者からのメール受信制限】**
- 1日に1台の i モード端末（mova端末含む）から送信される200通目以降の i モードメールを拒否します。初期設定では「拒否する」に設定されていますので、大量送信者からのメールを拒否したい場合は設定する必要はありません。

**⑤未承諾広告※メール拒否【メール受信設定（その他設定）▶未承諾広告※メール拒否】**
- 受信者の同意なしに一方的に広告、宣伝を行うために送信される、メール件名欄の最前部に「未承諾広告※」と記載されているメールを受信拒否します。初期設定では「拒否する」に設定されていますので、未承諾広告※メールを拒否したい場合は設定する必要はありません（送信者はメール件名欄の最前部に未承諾広告※（全角6文字）と記載することが法律で義務づけられています）。

**■ メールサイズ制限【メール受信設定（メールサイズ制限）】**

あらかじめ指定したサイズによって、受信する i モードメールを制限できます。

**■ 設定状況確認【メール受信設定（設定状況確認）】**

現在設定されているメール受信／拒否などの設定状況を確認できます。

**■ メール機能停止【メール機能停止】**

メール機能を利用しない場合、 i モードセンターでのメール機能停止ができます。

## ❖メールを受信できないとき

i モードセンターに届いた i モードメールは、すぐにお客様の i モード端末に送信されます。ただし、お客様の i モード端末の電源が入っていない場合や i モード圏外などで受信できないときは、 i モードセンターに720時間保存されます。 i モードセンターに保存されている間は、受信できるまで再送されます。ただし、受信できない条件により再送条件が変わります。また、メール選択受信設定が「ON」に設定されているときは、 i モードセンターに保管されている i モードメールを選択して受信できます。

### ❖こんなこともできます

**■ ファイル送受信**

ｉモードメール（2Mバイト対応）では、添付可能なファイル種別に制限はありません。最大10個、合計2Mバイトまでのファイルをメールに添付し、送信することができます。ｉモードメール（2Mバイト対応）として受信する場合は、すべてのファイルを受け取ることが可能で、100Kバイトまで自動受信し（自動受信添付ファイル）、100Kバイトを超えた2Mバイトまでの添付ファイルは必要なものを選択して受信することができます（選択受信添付ファイル）。また、100Kバイト以内の添付ファイルでも、メール受信添付ファイル設定により、サイズによらず選択して受信することもできます。その他の機種で受信する場合は、その端末のメール受信容量内で対応ファイル種別のみを受信します。

**■ デコメール**

ｉモードメール編集時に文字の大きさや背景の色などを変えたり、画像を本文中に貼り付けることによって、自分のオリジナルメールを作成して送信したり、装飾された楽しいメールを受信できます。また、絵文字のように挿入可能なデコメ絵文字もたくさんプリインストールされているため、簡単に表現力豊かなメールを作成し、送信できます（パソコンから装飾したメールを受信する場合、ｉモード端末では非対応の装飾があるため、パソコン上と同じ動作にならない場合もあります）。
デコメールを非対応端末および10000バイトまでのデコメール対応端末へ送信した場合は、URLが記載されたメールとして受信される場合があります。その場合、受信者は表示されているURLを選択し、デコメールを閲覧できます。
編集・送信方法→P236、P447

- 対応機種･･･デコメール対応機種でご利用いただけます。詳細は、『ご利用ガイドブック（ｉモード〈FOMA〉編）』をご覧ください。

## ◆SMS（ショートメッセージ）について

携帯電話番号のみで文字メッセージをやりとりできます。
送信方法→P273　受信方法→P274
問い合わせ方法→P275

- サービスの詳細は『ご利用ガイドブック（ネットワークサービス編）』をご覧ください。

### ❖SMS（ショートメッセージ）を受信できないとき

お客様のｉモード端末に送られてきたSMSは、SMSセンターで受信し、すぐにお客様のｉモード端末に送信します。ただし、お客様のｉモード端末の電源が入っていないときや圏外などで受信できないときは、SMSセンターに保管されます。

### ❖こんなこともできます

**■ 送達通知**

送信したSMSが相手に届いたかどうかを知らせる送達通知を受け取れます。→P275

**■ FOMAカードへの保存**

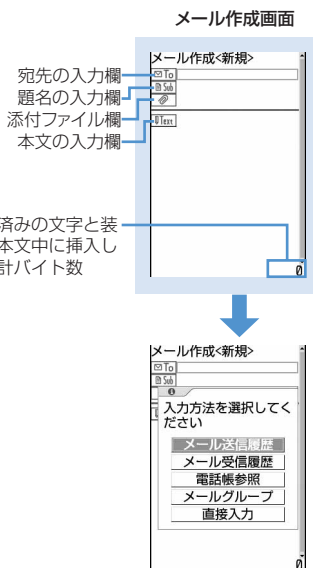
受信したSMSや送信したSMSを、FOMAカードに保存できます。→P276

新規メール

## ｉモードメールを作成して送信する

[✉][2]・[MENU]▶[1][2]

〈例〉宛先を直接入力してｉモードメールを作成・送信するとき

**1** [✉]（1秒以上）▶宛先の入力欄を選択

## 2 「直接入力」を選択▶宛先を入力

- 半角で最大50文字入力できます。
- ｉモード端末にメールを送信する場合は、メールアドレスの「@docomo.ne.jp」は省略できます。
- かな入力方式の場合、半角英字入力モード時に[1]を繰り返し押すと「.」「@」「-」などの記号を、[✱]を繰り返し押すと「.com」「.ne.jp」「.co.jp」などを入力できます。
- 相手がシークレットコードを登録している場合は、相手のｉモード端末の電話番号に続けて4桁のシークレットコードの入力が必要です。

**メール送受信履歴から入力する：「メール送信履歴」または「メール受信履歴」を選択▶メールを送信するメール送受信履歴を選択**

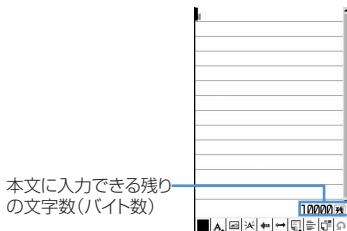
**電話帳を検索して入力する：「電話帳参照」を選択▶電話帳を検索▶メールを送信する電話帳データを選択**

**メールグループから入力する：「メールグループ」を選択▶一覧からメールグループを選択**

- メールグループにあらかじめメールアドレスを登録しておく必要があります。
- すでに入力されている宛先との合計が5件を超えるメールグループは追加できません。

## 3 題名の入力欄を選択▶題名を入力

- 全角で最大15文字、半角で最大30文字入力できます。

## 4 本文の入力欄を選択▶本文を入力

- 全角で最大5000文字、半角で最大10000文字入力できます。
- [#]を押すと改行できます（全角／半角数字入力モード時を除く）。

**位置情報のURLを貼り付ける：**
[MENU]▶[5][6]
以降の操作→P313「■GPS以外の機能から位置情報を利用するとき」

- 位置情報を貼り付けると、本文に位置情報URLが入力され、URLの前に が付加されます。なお、入力されたURLやマークは本文の文字数に含まれます。

**署名を挿入する：[MENU]▶[5][7]**

- 署名はあらかじめ登録しておく必要があります。

## 5 [i]［送信］を押す

- 接続中画面で[●]を、送信中画面で[i]を押すと送信を中止します。ただし、操作のタイミングによっては送信される場合があります。そのとき送信されたメールは、未送信メール内の「未送信BOX」フォルダに保存されます。
- 圏外で圏内自動送信メールが5件未満の場合、圏内自動送信に設定するかどうかの確認画面が表示されます。「はい」を選択すると圏内自動送信メールとして未送信メール内の「未送信BOX」フォルダに保存されます。

### ✔お知らせ

- 送信が正常に終了したときは、ｉモードメールは送信メール内のフォルダに保存されます。保存領域の空きが足りないときや最大保存件数を超えるときは、古い送信メールから順に消去されます。残しておきたい送信メールは保護してください。
- デコメ絵文字（絵文字D）を使用すると、デコメールとして送信されます。
- 絵文字を入力したｉモードメールを他社携帯電話（au／ソフトバンク／ツーカー）に送信すると、受信側の類似絵文字に自動的に変換されます。ただし、受信側の携帯電話の機種や機能によって正しく表示されないことや、該当する絵文字がない場合に文字または〓に変換されることがあります。
- 電波状況により、相手に文字が正しく表示されない場合があります。
- ｉモードメールを正常に送信できていても、電波状況によっては「送信できませんでした」というエラーメッセージが表示される場合があります。
- 送信に失敗したときはエラーメッセージが表示され、ｉモードメールが未送信メール内の「未送信BOX」フォルダに保存されます。未送信メール内の「未送信BOX」フォルダからｉモードメールを編集、送信できます。
- ドコモ以外のアドレスにメール送信を行った場合、宛先不明などのエラーメッセージを受信できないことがあります。
- 保存領域の空きが足りないときや最大保存件数を超えるときは、ｉモードメールは作成または送信できません。未送信メール内のフォルダから不要なｉモードメール、SMSを削除してください。
- 2in1を利用しているときは、Bアドレスではｉモードメールは送信できません。→P245
- 10000バイトより大きいメールが、他の機能が起動したりして自動保存された場合は、作成中のメールが一部保存されないことがあります。

## ◆宛先を追加する〈宛先追加〉

ｉモードメールは宛先の種別に関わらず複数の宛先に同時に送信（同報送信）できます。

- 最大5件送信できます。なお、同じ宛先は設定できません。
- 宛先の種別には[To](TO)、[Cc](CC)、[Bcc](BCC）の3種類があります。
  [To]：直接の送信相手
  [Cc]：直接の送信相手以外にメールの内容を知らせたい相手
  [Bcc]：他の送信相手に知らせたくない相手
- [To]の宛先が1件も入力されていないときは、メールを送信できません。
- [Bcc]に入力したメールアドレスは、他の送信相手には表示されません。

**1 メール作成画面で宛先の入力欄にカーソルを合わせて[✉]**

**2 入力方法を選択**

**3 宛先種別を選択▶宛先を入力**

以降の操作→P235「ｉモードメールを作成して送信する」操作2以降

宛先の種別（TO、CC、BCC）を変更する：**メール作成画面で種別を変更する宛先の入力欄にカーソルを合わせて[MENU]▶[9]▶宛先種別を選択**

追加した宛先を削除する：**メール作成画面で削除する宛先にカーソルを合わせて[MENU]▶[8]▶「はい」を選択**

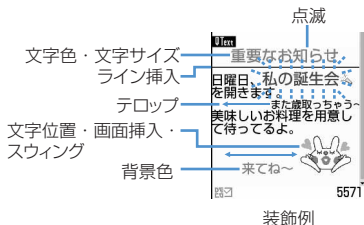
**✔お知らせ**

・「TO」の入力欄と「CC」の入力欄に入力したメールアドレスは、受信側に表示されます。ただし、受信側の端末や機器、メールソフトなどによっては、表示されない場合があります。

デコメール

# デコメールを作成して送信する

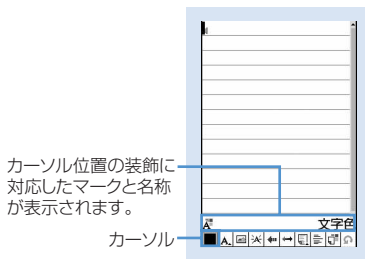
**ｉモードメール本文の文字サイズや背景色の変更、撮影した静止画やお買い上げ時に登録されているデコメピクチャ、デコメ絵文字の挿入などの装飾（デコレーション）をして、送信できます（デコメール）。**

装飾例

- デコメールの装飾方法は、装飾方法を選択してから文字を入力する方法と文字を入力した後に装飾方法を選択する方法があります。
- 送信できるデコメールのサイズは100Kバイト以内です。100Kバイトのうち本文中に挿入できる画像は最大20個で90Kバイト以内です。ただし、ファイルのサイズによっては、添付可能な件数が少なくなったり、同じ画像の場合は20個以上挿入できたりします。
- 下記機種※以外のデコメール対応のｉモード端末に、10000バイトを超えるデコメールを送信した場合は、受信側では閲覧用URLが記載されたメールを受信します。
  ※ 903iシリーズ、904iシリーズ、703iシリーズ（P703iμ除く）
- デコメール非対応のｉモード端末にデコメールを送信した場合は、受信側では閲覧用URLが記載されたメールを受信します。ただし、非対応機種によってはデコメールのサイズが10000バイトを超えるときは本文のみ受信し、閲覧用URLを受信できない場合があります。

## ◆装飾を指定してから文字を入力する

**1 メール作成画面で本文の入力欄を選択▶[✉]**

**2 装飾を選択▶文字を入力**

装飾の操作方法→P237「デコメール装飾選択画面の操作手順」

装飾選択画面

- 装飾選択画面で装飾のマークを選択すると、その装飾が選択状態になります。

複数の装飾を設定する：**設定する装飾にカーソルを合わせて[MENU]▶文字を入力**

- テロップ、スウィング、文字位置は同時に設定できません。

選択状態の装飾を解除して文字を入力する：**入力位置にカーソルを合わせて[✉]▶[i]▶文字を入力**

- 解除される装飾は文字色、文字サイズ、点滅、テロップ、スウィング、文字位置です。

すでに設定した装飾を別の装飾に変更する：
[MENU]▶[1][8]▶開始位置を選択
以降の操作→P238「文字を入力してから装飾を指定する」操作2以降

本文中の装飾をすべて解除する：
[MENU]▶[1][9]

**3** [MENU]▶[0]▶装飾を確認

設定した装飾と、画面の右下に入力できる残りのデータ量の正確なバイト数を確認できます。

**4** [●]▶[●]▶[📖]［送信］

✔**お知らせ**

- メール本文の入力画面で[MENU]を押し、「デコレーション」を選択しても装飾を選択できます。

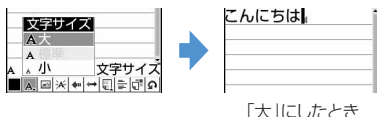
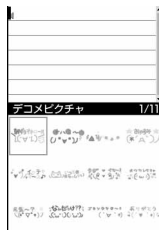
## ❖デコメール装飾選択画面の操作手順

文字色を変更する：■を選択▶文字色を選択▶文字を入力

- 標準の20色、または「その他の色」の64色から選択できます。
- 絵文字（デコメ絵文字（絵文字D）を除く）の文字色も変更できます。
- 範囲を指定して元の色に戻せます。→P238

文字のサイズを変更する：A を選択▶文字サイズを選択▶文字を入力

- すでに設定されている文字サイズは選択できません。[ch クリア]を押すと、装飾選択画面に戻ります。
- デコメ絵文字（絵文字D）は変更できません。

「大」にしたとき

デコメピクチャを挿入する：[✉]▶デコメピクチャを選択

他の画像を挿入する：

① 🖼を選択▶挿入元を選択

- お買い上げ時は、「デコメピクチャ」「デコメ絵文字」フォルダに画像が保存されています。→P497、P503
- 「デコメ絵文字」を挿入する場合は、絵文字を入力する手順でも挿入できます。→P447
- microSDメモリーカードを取り付けている場合のみ「microSD」を選択できます。
- 「静止画を撮影」を選択すると、静止画を撮影して挿入できます。
  撮影する静止画のサイズは電話帳用（96×72）に自動的に設定されます。

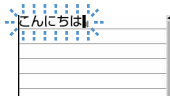
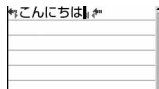
② フォルダを選択▶画像を選択

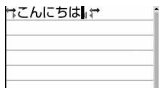
カーソル位置に画像が挿入されます。

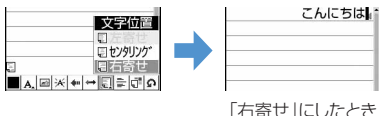
- 挿入できる画像の数やサイズを超えたときは、添付できない旨のメッセージが表示されます。

文字を点滅させる：✳を選択▶文字を入力

- デコメ絵文字（絵文字D）は設定できません。

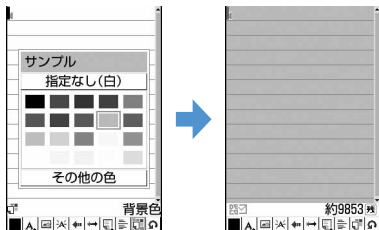
こんにちは

文字をテロップにして右から左へ動かす：⇐を選択▶文字を入力

- ⇐と⇐の間に文字を入力します。

文字を左右にスウィングさせて動かす：⟷を選択
▶文字を入力

- ⇆と⇆の間に文字を入力します。

文字の位置を変更する：を選択▶文字の位置を選択▶文字を入力
- すでに設定されている文字位置は選択できません。[ch クリア]を押すと、装飾選択画面に戻ります。
- カーソル位置に文字が入力されている場合は、改行されて表示位置が設定されます。

「右寄せ」にしたとき

ライン（罫線）を挿入する：を選択

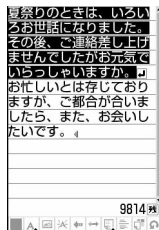
■（文字色）で指定されている色でライン（罫線）が挿入されます。

本文の背景色を変更する：を選択▶背景色を選択
- 標準の20色、または「その他の色」の64色から選択できます。

1つ前の状態に戻す：を選択
直前に設定した装飾が解除または文字入力が取り消されます。

## ◆文字を入力してから装飾を指定する

メール本文に入力されている文字や、すでに装飾されている文字は、範囲を指定して操作します。
- 「ライン挿入」「画像挿入」「背景色」は操作できません。装飾を指定してから操作してください。→P236

**1 メール作成画面で本文の入力欄を選択▶入力されている文字の装飾する範囲の開始位置にカーソルを合わせて[i]**

**2 装飾する範囲の終了位置を選択**

- 開始位置から文頭までを選択する場合は、[]●を押します。
- 開始位置から文末までを選択する場合は、[]●を押します。
- 全文を選択するときは[✉]を押します。

**3 装飾方法を選択**

文字色を変更する：[1]▶文字色を選択
- ライン（罫線）の色も変更されます。
- 元の色に戻すときは「指定なし」を選択してください。

文字のサイズを変更する：[2]▶[1]～[3]

文字を点滅させる：[3]▶[1]
- 解除するときは[2]を押します。

文字をテロップにして右から左へ動かす：[4]▶[1]
- 解除するときは[2]を押します。

文字を左右にスウィングさせて動かす：[5]▶[1]
- 解除するときは[2]を押します。

文字の表示位置を変更する：[6]▶[1]～[3]
- 画像の表示位置も変更されます。

選択範囲の装飾をすべて取り消す：[7]を押す

文字をコピーする：[8]を押す

文字を切り取る：[9]を押す

1つ前の状態に戻す：[0]を押す
- 直前に設定した装飾が解除または文字入力が取り消されます。

続けて文字を装飾する：[MENU]▶操作3を繰り返す
装飾の確認や解除方法→P236「装飾を指定してから文字を入力する」操作2～3

**4** [●]で範囲指定を解除▶[●]▶[i]［送信］

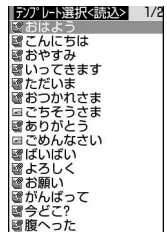
✔お知らせ
- メール本文の入力画面で[MENU]を押し、「デコレーション」→「デコレーション変更」を選択しても同様に操作できます。
- 装飾した文字を削除しても、装飾データのみが残り、入力可能な文字数が少なくなる場合があります。装飾を解除してから文字を削除してください。なお、[CLR]を1秒以上押すと、装飾データも含めて文字を削除できます。
- 点滅、テロップ、スウィング、アニメーションなどは、メール作成画面やプレビュー画面では一定時間が経過すると自動的に停止します。
- パソコンなど、デコメール対応FOMA端末以外とメールを送受信すると、装飾が正しく表示されない場合があります。

## メールテンプレートを利用する

**メールテンプレートは、ｉモードメールの雛形です。この雛形に変更を加えるだけで、簡単にｉモードメールが作成できます。**
**お買い上げ時に登録されているテンプレートのほか、自分で作成したデコメールテンプレートやサイトからダウンロードしたテンプレートを利用できます。**
- お買い上げ時は、30件のテンプレートが登録されています。→P498

### ◆メール作成時にテンプレートを使う〈テンプレート読込〉

**1** メール作成画面で[MENU]▶[6][1]▶読み込むテンプレートを選択

テンプレ―ト選択<読込> 1/2
おはよう
こんにちは
おやすみ
いってきます
ただいま
おつかれさま
ごちそうさま
ありがとう
ごめんなさい
ばいばい
よろしく
お願い
がんばって
今どこ?
腹へった

テンプレートの内容がメール作成画面に設定されます。
マークの意味→P254「受信BOX一覧画面の見かた」

**2** メールを編集▶[i]［送信］

✔お知らせ
- すでに入力済みの項目があるメール作成画面からテンプレートの読み込みを行うと、入力済みの内容を削除して読み込むかどうかの確認画面が表示されます。「本文のみ読込み」を選択してテンプレートを選択すると、入力済みのメール本文が消え、「すべて読込み」を選択してテンプレートを選択すると、入力済みの項目がすべて消え、テンプレートが読み込まれます。
読み込みを中止するときは[CLR]を押してください。
- ダイヤル発信制限中は、テンプレートを読み込めません。
- 1件のメールに複数のテンプレートは読み込めません。

### ◆テンプレートを表示してメールを作成する

[MENU]▶[1][8]

**1** [✉]▶[8]▶テンプレートを選択
- [◀▶]を押すと前後のテンプレートを表示できます。

**2** [i]を押す

テンプレートの内容がメール作成画面に設定されます。

**3** メールを編集▶[i]［送信］

✔お知らせ
- ダイヤル発信制限中は、テンプレートを読み込めません。ただし、電話帳に登録されているアドレスが宛先に入力されているテンプレートは読み込めます。

## ◆テンプレートを作成して登録する〈テンプレート登録〉

作成または送受信したｉモードメールをテンプレートとして登録できます。

- 次の場合は、テンプレートに登録できません。
  - 本文と装飾で10000バイトを超えている場合
  - 本文と本文中に貼付している画像、添付ファイルの合計サイズが100Kバイトを超える場合
  - 本文がない送受信したｉモードメールの場合
- 送受信したｉモードメールをテンプレートに登録した場合は、宛先と題名は登録されません。
- 最大保存件数→P541

**1 メール作成画面で[MENU]▶[6][2]▶「はい」を選択**

送受信したｉモードメールを登録する：メール詳細画面で[MENU]▶[4][5]

**2 下記の各項目を選択して設定**

**表示名**：全角で最大10文字、半角で最大20文字入力できます。

**ファイル名**：半角英数字と「.」「-」「_」で最大36文字入力できます。ファイル名の先頭に「.」は使用できません。

**3 [i][新規保存]を押す**

保存したテンプレートは、テンプレート読込み内に保存されます。

- 登録済みのテンプレートに上書きするときは[✉]を押し、上書きするテンプレートを選択し、「はい」を選択します。ただし、お買い上げ時に登録されているテンプレートには上書き保存できません。

✔お知らせ

- メール送信できない画像が含まれたテンプレートを登録しようとすると、画像が削除される場合があります。
- 登録したテンプレートの表示名とファイル名を変更する場合は、テンプレート一覧画面で[MENU][4][2]を押し、変更後に[i]を押します。
- 保存領域の空きが足りないときや最大保存件数を超えるときは、削除するかどうかの確認画面が表示されます。登録する場合は、画面の指示に従って保存されているテンプレートを削除してください。

## ◆テンプレートをダウンロードする

- 保存できるメールテンプレートのサイズは1件あたり最大200Kバイトです。
- 最大保存件数→P541

**1 サイトを表示▶ダウンロードするメールテンプレートを選択**

ダウンロードを開始します。

- ダウンロード中に[i]を押すと、ダウンロードを中止します。

**2 「保存」を選択**

以降の操作→P240「テンプレートを作成して登録する」操作2以降

表示する：「プレビュー」を選択

保存を中止する：「戻る」を選択▶「いいえ」を選択

✔お知らせ

- ダウンロードしたテンプレートに利用できないファイルが添付されている場合は、添付ファイルを削除して保存するかどうかの確認画面が表示されます。「はい」を選択すると、利用できない添付ファイルが削除されて保存されます。
- 保存領域の空きが足りないときや最大保存件数を超えるときは、削除するかどうかの確認画面が表示されます。登録する場合は、画面の指示に従って保存されているテンプレートを削除してください。

## ◆テンプレートを削除する

- お買い上げ時に登録されているテンプレートは削除できません。

〈例〉1件削除するとき

**1 [✉]▶[8]**

**2 削除するテンプレートにカーソルを合わせて[MENU]▶[2][1]**

複数削除する：[MENU]▶[2][2]▶テンプレートを選択▶[i]

全件削除する：[MENU]▶[2][3]▶認証操作

**3 「はい」を選択**

添付ファイル（送信）

## ファイルを添付する

**ｉモードメールにファイルを添付して送信できます。**

- 最大10件で合計2Mバイトまで添付できます。
- メール添付やFOMA端末外への出力が禁止されているファイル（自端末でファイル制限を「あり」に設定した画像やメロディ、取得元がｉモード以外のPDFデータを除く）、FOMAカード動作制限機能が設定されているファイルは添付できません。
- 添付できるファイルの種類は次のとおりです。

| ファイルの種類 | 添付の条件 |
|---|---|
| 画像※1 | • JPEG形式、GIF形式の画像のみ添付可（パラパラマンガは添付不可） |
| 動画／ｉモーション、音声※2 | • 再生制限が設定されている動画／ｉモーションは添付不可※3<br>• 部分的に取得した動画／ｉモーションは添付不可 |
| メロディ※4 | • SMF形式、MFi形式のメロディのみ添付可 |
| トルカ※5 | •「利用済みトルカ」フォルダ内のトルカは添付不可<br>• IP（情報サービス提供者）の設定によっては添付不可 |
| PDFデータ | • 部分的にダウンロードしたり、ダウンロードに失敗したPDFデータは添付不可 |
| 電話帳データ | － |
| スケジュールデータ | － |
| ブックマークデータ | － |
| その他 | • Word、Excel、PowerPointのファイルなどが添付可 |

※1 受信側の端末によっては画像を正しく受信や表示できなかったり、粗く表示されたりする場合があります。
movaサービスのｉモード端末へはJPEG形式の画像を1枚のみ送信できます。なお、受信側の端末には画像閲覧用URLが付与され、そのURLを選択することで画像を取得できます。

※2 映像のある動画／ｉモーションは、受信側の端末や機器によっては正しく受信や表示がされなかったり、動画が粗くなったり、連続静止画に変換されて表示されたりする場合があります。2Mバイトのｉモードメール対応の下記機種※以外のｉモード端末に送信する場合は、サイズ制限：メール添付用（小）、画像サイズ：QCIF（176×144）、品質：HQ（高品質）の設定で撮影した動画をおすすめします。
受信側が下記機種※以外のｉモード端末の場合、動画／ｉモーションはｉモーションメールセンターに保存され、ｉモーション閲覧用URLが記載されたｉモードメールを受信します。
サウンドレコーダーやボイス録音で録音した音声は、音声のみの動画／ｉモーションとして添付されます。なお、movaサービスのｉモード端末では受信できません。
※ 903iシリーズ、904iシリーズ、703iシリーズ（P703iμ除く）

※3 再生制限が設定されていないファイルでも添付できない場合があります。

※4 受信側がFOMA F904i、F903iX HIGH-SPEED、F703i、F903i、F882iES以外の端末やパソコンでは、受信したメロディを正しく再生できない場合があります。
お買い上げ時は、「メール添付メロディ」フォルダにメロディが保存されています。→P494

※5 下記機種※以外のトルカ対応機種ではトルカ（詳細）を受信できません。ただし、機種によっては、受信できる場合があります。
※ 903iシリーズ、904iシリーズ、703iシリーズ（D703i、P703iμ、N703iμ除く）

### 1 メール作成画面で添付ファイル欄を選択 ▶添付するファイルを選択

- 添付するファイルは、「イメージ」「ｉモーション」「メロディ」「トルカ」「PDF」「スケジュール」「Bookmark」「電話帳」「ボイス録音」「その他」から選択できます。
- microSDメモリーカードを取り付けている場合は、添付元を「本体」「microSD」から選択する画面が表示されます。添付するファイルが「イメージ」または「ｉモーション」の場合には、「カメラ撮影」も選択できます。

画像（「1イメージ」）を選択したとき：

- 画像サイズが240×320より大きいJPEG形式の画像の場合は、QVGAサイズ（320×240）に変換するかどうかの確認画面が表示されます。
- ファイルサイズが2Mバイトより大きいJPEG 形式の画像は、メールに添付可能なサイズに変換されます。
- 添付元で「カメラ撮影」を選択したときには、静止画を撮影して添付できます。

動画／ｉモーション（「2 ｉモーション」）を選択したとき：
- 添付元で「カメラ撮影」を選択したときには、動画を撮影して添付できます。

「4 トルカ」を選択したとき：
- トルカ（詳細）を添付できる場合は、詳細を含めてメールに貼り付けるかどうかの確認画面が表示されます。
- トルカ（詳細）を添付できない場合は、詳細は含まれないがメールに貼り付けるかどうかの確認画面が表示されます。「はい」を選択すると詳細は切り取られますが、サイトに詳細情報がある場合は、受信側でダウンロードできます。

ブックマークデータ（「7 Bookmark」）を選択したとき：
- 添付元で「本体」を選択したときは、ブックマークのフォルダ一覧で[m]を押すたびに、ｉモードとフルブラウザのブックマークのフォルダ一覧が切り替わります。

「9 ボイス録音」を選択したとき：
- 音声を録音して添付できます。
  音声の録音方法→P394「音声を録音する」操作2～5

メール作成画面の添付欄に選択したファイルが表示されます。

**2** [m]［送信］を押す

**✔お知らせ**
- 受信側の端末が対応していない場合は、ファイルは削除されます。
- 添付ファイルのサイズによっては、送信するまでに時間がかかる場合があります。
- 10000バイトより大きいJPEG形式の画像を添付したｉモードメールを2Mバイトのｉモードメール非対応のｉモード端末に送信した場合は、ｉショットセンターで受信する端末に適したサイズに変換されます。

## ◆添付ファイルを変更／解除する

〈例〉添付ファイルを解除するとき

**1** メール作成画面で解除する添付欄にカーソルを合わせて[✉]

添付ファイルを変更する：変更する添付欄にカーソルを合わせて[i]▶ファイルの添付をやり直す→P241

**2** 「はい」を選択

ｉモードメール保存

# ｉモードメールを保存しておき、あとで送信する

## ◆ｉモードメールを保存する

作成中のｉモードメールを、送信せずに保存します。
- 最大保存件数→P541
- 宛先、題名、添付ファイル、本文のいずれかを入力、設定すると保存できます。

**1** メール作成画面で[MENU]▶[3]

ｉモードメールが未送信メール内の「未送信BOX」フォルダに保存されます。

**✔お知らせ**
- 保存領域の空きが足りないときは、保存できない旨のメッセージが表示されます。保存する場合は、未送信メールから不要なメールを削除してから保存してください。

## ◆電波の届く所になったらメールを自動送信する〈圏内自動送信〉

圏外にいるとき作成したｉモードメールを、電波の届く所になったら自動的に送信するように設定できます。
- 最大5件設定できます。

**1** メール作成画面で[MENU]▶[2]

- ディスプレイ上部に[AUTO]が表示されます。
  FOMA端末を折り畳んでいるときは、背面ディスプレイに[AUTO]が表示されます。
- 圏内自動送信を設定したｉモードメールは未送信メール内の「未送信BOX」フォルダに保存されます。

### ❖電波の届く所になると

電波の届く所になると送信されます。自動送信中は[AUTO]が点滅します。FOMA端末を折り畳んでいるときは、背面ディスプレイの[AUTO]が点滅します。送信が正常に終了したときは、ｉモードメールは送信メール内のフォルダに保存されます。
- 自動送信を中断したときや失敗したときは[AUTO]が[AUTO]に変わって点滅します。FOMA端末を折り畳んでいるときは、背面ディスプレイの[AUTO]が[AUTO]に変わって点滅します。ｉモードメールは未送信メール内の「未送信BOX」フォルダに保存されます。
  未送信メール一覧で自動送信に失敗したｉモードメールにカーソルを合わせて[MENU][5][2]を押すと、未送信理由が表示されます。
- 「未送信BOX」フォルダに保存されたすべての圏内自動送信失敗メールが編集、解除、削除、メール連動型ｉアプリ用のフォルダに移動、FOMAカードの差し替えなどによってなくなると、[AUTO]は消えます。

✔お知らせ

- 最大2回再送されます。
- 電波の届く所になってもメール作成中や署名編集中は自動送信されません。

### ❖圏内自動送信の設定を解除する

**1** ✉▶4▶フォルダを選択▶解除する iモードメールにカーソルを合わせて📖▶「はい」を選択

✔お知らせ

- 次の場合でも圏内自動送信の設定は解除されます。
  - 「未送信BOX」フォルダに保存された圏内自動送信メールを選択して、メール作成画面になった場合
  - 「未送信BOX」フォルダに保存された圏内自動送信メールをメール連動型iアプリ用のフォルダに移動した場合
  - FOMAカードを差し替えた場合
  - 接続先設定で接続先番号または接続先アドレスを変更した場合
  - 2in1をONにしてBモードに設定した場合

## ◆送信・保存したiモードメールを編集・送信する

送信済みのiモードメールやSMS、送信せずに保存したり送信に失敗したりしたiモードメールやSMSを編集、送信できます。

〈例〉未送信メールを編集するとき

**1** ✉▶4▶フォルダを選択

- SMSは✉が表示されます。
- 送信メールのときは✉5を押し、フォルダを選択します。

**2** 編集するメールを選択

- 送信済みのメールを再編集するときは、編集するメールにカーソルを合わせて📖を押します。

**3** メールを編集▶📖［送信］

✔お知らせ

- 圏内自動送信を設定した未送信メールを選択すると、圏内自動送信の設定は解除されます。

クイックメール

## すばやくメールを作成する

**FOMA端末電話帳のメモリ番号が0～99の相手には、簡単な操作でiモードメールやSMSを送信できます。**

- iモードメールは1件目のメールアドレス、SMSは1件目の電話番号が宛先になります。

〈例〉メモリ番号23のメールアドレスにiモードメールを送信するとき

**1** メモリ番号（この場合は2 3）▶✉［✉作成］

メールアドレス
- 電話帳に登録した名前が表示されます。

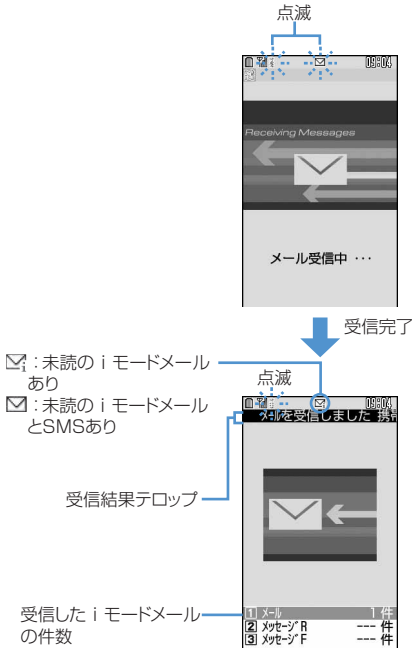
iモードメールの作成・送信方法→P234

SMSを作成する：メモリ番号▶✉（1秒以上）

- 入力したメモリ番号の電話帳データに登録されている電話番号を宛先にしたSMSの作成画面が表示されます。

SMSの作成・送信方法→P273

# ｉモードメールを受信したときは

- 最大保存件数→P541

## 1 ｉモードメールを受信

と が点滅し、「メール受信中…」と表示されます。
メール着信音が鳴り、ランプが点灯または点滅して受信結果画面が表示されます。
受信したｉモードメールは受信メール内のフォルダに保存されます。

- メール受信中に を押すと受信を中止できますが、受信時の状況によってはメールを受信する場合があります。
- FOMA端末を折り畳んでいるときは、背面ディスプレイに受信状態が表示されます。
- 受信結果画面が表示されてから約15秒間、メール着信設定で鳴動時間を15秒以上に設定したときは着信音が鳴り終わるまでの間、何も操作しないと自動的に受信前の画面に戻ります。それより前に受信前の画面に戻すときは を押します。

**受信に失敗したとき：**
受信結果画面の「メール」の後ろに「×」が表示されます。受信し直すには、ｉモード問合せを行ってください。

### ✔お知らせ

- ｉモードメールを受信したときは、ｉモードメール受信時の動作に設定した着信音、バイブレータ、着信イルミネーション、着信イルミネーションカラーそれぞれの優先順位に従って動作します。複数のメール、メッセージR/Fを同時に受信したときは、最後に受信したメール、メッセージR/Fに設定した条件に従って動作します。
- 受信・自動送信表示設定の設定内容によっては、受信中画面や受信結果画面は表示されません。
- 着信／受信時動作設定の設定内容によって、受信結果テロップの内容が異なったり、表示されなかったりします。
- ｉモードメールを受信するとｉモードセンターに保管されていたｉモードメールは削除されます。
- ｉモードセンターで保管しているｉモードメールやメッセージR/Fは、新しいｉモードメールが届くと合わせて受信します。
- ｉモードメール1件につき、添付ファイルも含めて最大100Kバイトまで自動受信できます。100Kバイトを超える添付ファイルは、ｉモードセンターから手動で取得できます。→P248
- 極端に容量の大きいｉモードメールは、ｉモードセンターで受け付けずにエラーメッセージとともに発信元に返信される場合があります。
- ｉモードメールに添付されたファイルが受信可能なデータ量（添付可能なデータ量→P241）より大きい場合は、ｉモードセンターで削除され、受信できません。添付ファイルが削除された場合は、題名の下に［添付ファイル削除］のメッセージが表示されます。
- 保存領域の空きが足りないときや最大保存件数を超えるときは、未読以外の古い受信メールから順に消去されます。このとき、受信したメールのサイズによっては大量に消去される場合があります。残しておきたい受信メールは保護してください。
- 次のような場合に送られてきたｉモードメールは、ｉモードセンターに保管されます。
  - 電源が入っていないとき
  - テレビ電話中
  - お預かりセンター接続中
  - プッシュトーク通信中
  - セルフモード中
  - おまかせロック中
  - FirstPassセンター接続中
  - 受信に失敗したとき
  - ｉモード圏外のとき
  - SMS受信中
  - メール選択受信設定が「ON」に設定されているとき
  - 赤外線通信／iC通信中
  - 未読メールと保護されているメールで保存領域が満杯のとき
- 未読メールと保護されているメールで保存領域が満杯で上書きできないときは、ｉモードメールの受信は中止され、画面には や が表示されます。受信する場合は、未読メールの既読への変更（→P259）、未読メールの内容表示（→P253）、不要メールの削除（→P260）、保護解除（→P259）などを行う必要があります。

- ｉモードセンターにｉモードメールが残っているときは、や が表示されます。ただし、ｉモードメールがあっても表示されない場合があります。また、ｉモードセンターの保管件数が満杯になったときは、マークがやに変わります。
- ｉモードメールの送信直後は自動受信できない場合があります。ｉモード問合せを行ってください。
- メール選択受信設定を「ON」に設定すると、メールを自動的に受信せずに、必要なメールだけを選択して受信できます。
- あらかじめ受信するｉモードメールのサイズを制限できます。→P233

## ◆新着ｉモードメールを表示する

**1 受信結果画面で 1**

1 メール 1 件
2 メッセージR --- 件
3 メッセージF --- 件

- 2 や 3 を押すとメッセージごとに表示できます。
- 受信したｉモードメールは「受信BOX」内に保存されます。ただし、メール振り分け設定で設定した条件と合致した場合は、指定フォルダに保存されます。

**2 フォルダを選択▶メールを選択**

- メロディが添付されている場合は、自動的に再生されます。自動再生しないように設定することもできます。→P268

受信メール詳細画面の見かた→P255

## ◆WEBメールを操作する

2in1を利用しているときは、WEBメールサイトに接続してBアドレス宛の受信メールを表示したり、Bアドレスでメールを送信したりします。

- 2in1はお申し込みが必要な有料サービスです。
- 本機能は2in1がONでBモードまたはデュアルモードのときに利用できます。

**1 ✉▶ 6 5 ▶ｉモードパスワードの入力欄を選択▶ｉモードパスワードを入力▶「決定」を選択**

WEBメールサイトに接続されます。

- WEBメールサイト内の操作方法は『ご利用ガイドブック（2in1編）』をご覧ください。

メール選択受信

# ｉモードメールを選択して受信する

**ｉモードセンターに保管されているｉモードメールの題名などを確認し、受信するｉモードメールを選択したり、受信前にｉモードセンターでｉモードメールを削除したりできます。**

- メール選択受信を利用するには、あらかじめメール選択受信設定を「ON」に設定しておく必要があります。なお、「ON」に設定した場合は、自動的にｉモードメールを受信できません。

### ❖ｉモードセンターにメールが届いたときは

メール選択受信設定を「ON」に設定しているときに、ｉモードセンターにｉモードメールが保管されると、次のメッセージが表示されます。

- ｉモードメールがｉモードセンターに保管されても着信音やバイブレータなどは動作しません。
- TV、MULTI 以外のキーを押すとメッセージが消えます。

### ✔お知らせ

- オールロック中、おまかせロック中、パーソナルデータロック中、開閉ロック中はメッセージが表示されません。
- メール選択受信設定を「ON」に設定した場合でも、ｉモード問合せを行うとすべてのメールを受信します。メールを受信したくない場合には、ｉモード問合せ設定で問合せの項目から「メール」のチェックを外してください。
- メール選択受信設定を「ON」に設定しても、SMS、メッセージR/Fは自動受信します。

## ◆メールを選択受信する

[MENU]▶[1][6][3]

**1** [✉]▶[6][3]

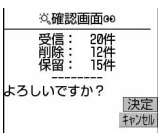
iモードセンターに接続され、保管されているiモードメールが一覧表示されます。

✉メール選択受信✉
(1/5ページ)
選択受信説明
[1]保留
07/05/24 09:04
明日の会議
docomo.taro.ΔΔ@docomo.ne.jp
サイズ:1115バイト
[2]保留
07/05/23 21:04
ごあいさつ
docomo.taro.ΔΔ@docomo.ne.jp

- メール末尾のマークの意味は次のとおりです。
  📷：画像の添付あり
  ♪：メロディの添付あり
  🎥：iモーションの添付あり
  ▦：トルカの添付あり
  📄：上記以外のファイルの添付あり

**2** **メールごとに「保留」を選択▶「受信」「削除」「保留」のいずれかを選択**

- 「保留」を選択した場合は、そのままiモードセンターに保管されます。iモード問合せなどで受信できます。
- iモードセンターに保管されているすべてのメールを削除するときは、「iモードセンターから全てのメールを」の「削除」を選択します。
- ページが複数ある場合には、メール一覧の最後に表示される「前ページ」「次ページ」を選択すると前後のページを表示できます。

**3** **「受信／削除」を選択▶「決定」を選択**

iモード問合せ

## iモードメールがあるかどうかを問い合わせる

[MENU]▶[1][6][1]・[2][5]

**圏外にいた間や電源を切っていた間などに、iモードメールが届いていないかを問い合わせます。**
**iモード問合せ設定でメッセージR/Fも問い合わせするように設定している場合は、同時にメッセージR/Fもあるかどうかを問い合わせます。**

- 電波状態によってはiモード問合せができない場合があります。
- メールを受信できないとき→P233

**1** **サイドキー［▼］（1秒以上）**

iモード問合せを開始します。iモードセンターにiモードメールが保管されていると受信します。

- iモード問合せ中はランプがレインボーで点灯します。iモード問合せ後、新着のiモードメールがないときは、ランプが赤色で点滅します。iモード問合せに失敗したときは、ランプが黄色で点滅します。
- 受信結果画面の操作は自動受信時と同じです。→P244

**✔お知らせ**

- お買い上げ時はFOMA端末を折り畳んだ状態でサイドキー［▼］を1秒以上押しても、iモード問合せができます。
- 背面ディスプレイのメニューを利用しても、iモード問合せができます。→P36

iモードメール返信

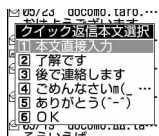
## iモードメールに返信する

**受信したiモードメールやSMSに返信します。iモードメールではあらかじめ登録されている本文を選択するだけの簡単な操作で返信することもできます（クイック返信）。**

- 受信メールによっては返信できない場合があります。
- 発信元に「非通知設定」「公衆電話」「通知不可能」が表示される受信SMSには返信できません。

**1** [✉]▶[1]▶**フォルダを選択**

**2** **返信するメールにカーソルを合わせて[📖]**

クイック返信本文選択画面が表示されます。

- 次の場合は、クイック返信本文選択画面は表示されません。操作4に進みます。
  - クイック返信設定を「OFF」に設定している場合
  - クイック返信本文が1件も登録されていない場合
  - SMSに返信する場合

**複数の宛先に送られた受信メールのすべての宛先に返信する：返信するメールにカーソルを合わせて[MENU]▶[1]▶[3]または[4]**

- 自分以外のすべての宛先と発信元に返信できます。

## 3 [1]を押す

宛先の入力欄には受信メールの発信元のメールアドレスまたは電話番号、題名の入力欄には先頭に「RE:」の付いた受信メールの題名（ｉモードメールのみ）、本文の入力欄には「>」の付いた受信メール本文が入力されます。

- 返信する際に本文を引用するかどうかと、引用した本文の先頭に付ける引用文字を設定できます。→P267

**クイック返信を使用する：[2]〜[6]**

- 選択したクイック返信本文は、引用した本文の前に挿入されます。

## 4 メールを編集▶[□]［送信］

- 返信した後に受信メール一覧を表示すると、受信メールの状態マークが✉から↩、または✉から↩に変わります。

**✔お知らせ**

- メール返信引用設定の設定に関わらず、受信メールの一覧画面および詳細画面で[MENU]を押し「返信／転送」を選択すると、「返信」（受信メール本文の引用なし）または「引用返信」（受信メール本文の引用あり）を選択できます。また、microSDメモリーカード内の受信メール詳細画面からも同様に操作できます。
- 複数の宛先に送られた受信メール詳細画面で[□]を押すと、自分以外のすべての宛先と発信元のメールアドレスが宛先の入力欄に表示されます。
- 受信メールの添付ファイルは、返信メールには添付されません。
- 受信メール本文中の添付データ（ｉアプリが起動できるリンク項目、本文中に表示されるメロディ）は返信メールには設定されず、また文字としても引用されません。
- 受信したデコメールを引用した場合、装飾と挿入されている画像は引用された状態で本文が表示されます。ただし、画像にファイル制限が設定されている場合は、返信メールに引用されません。また、引用したときに本文中の画像が最大20個で合計90Kバイトを超える場合は、上限を超えた画像を削除した旨のメッセージが表示されます。[●]を押すと、超えた分の画像が削除されてメール作成画面が表示されます。

ｉモードメール転送

# ｉモードメールを他の宛先に転送する

**受信したｉモードメールやSMSを他の宛先に転送します。**

- ｉモードメールはｉモードメールとして、SMSはSMSとして転送されます。

## 1 [✉]▶[1]▶フォルダを選択▶転送するメールにカーソルを合わせて[✉]

題名の入力欄には先頭に「FW:」の付いた受信メールの題名（ｉモードメールのみ）、本文の入力欄には受信メールの本文が入力されます。

- 添付ファイルがある受信メールを転送する場合は、添付ファイルも設定されます。ただし、未取得、取得途中の選択受信添付ファイルは設定されません。

## 2 メールを編集▶[□]［送信］

- 転送した後に受信メール一覧を表示すると、受信メールの状態マークが✉から⇒、または✉から⇒に変わります。

**✔お知らせ**

- 受信メール詳細画面から操作する場合は、[MENU]を押し「返信／転送」→「転送」を選択します。また、microSDメモリーカード内の受信メール詳細画面からも同様に操作できます。
- 受信メール本文中の添付データ（ｉアプリが起動できるリンク項目、本文中に表示されるメロディ）は転送メールには設定されず、また文字としても引用されません。
- 受信メールの添付ファイル（画像、メロディ、トルカ）のうち、メール添付やFOMA端末外への出力が禁止されているファイルは転送メールに添付されません。また、microSDメモリーカード内の受信メール詳細画面から転送した場合は、すべての添付ファイルが解除され、添付されません。
- 受信したデコメールを転送した場合、装飾と挿入されている画像は引用された状態で本文が表示されます。
- 本文中に画像がある受信メールを転送するときに、本文中の画像の合計サイズが90Kバイトを超える場合は、上限を超えた画像を削除した旨のメッセージが表示されます。[●]を押すと、超えた分の画像が削除されてメール作成画面が表示されます。
- 2in1がONでデュアルモードのときにFOMA端末に保存したBアドレスまたはBナンバー宛ての受信メールを転送すると、発信元がAアドレスまたはAナンバーのメールとして送信されます。

## 選択受信添付ファイルを取得する

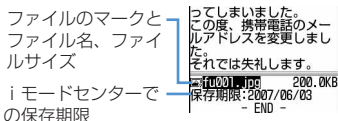
iモードセンターに保存されている未取得または取得途中の選択受信添付ファイルをダウンロードして、表示したり保存したりします。

- メール受信添付ファイル設定で受信をしない設定にしたファイルを受信した場合や、本文と添付ファイルの合計サイズが100Kバイトを超えた場合に、添付ファイルの一部またはすべてを選択受信添付ファイルとして受信します。
- ダウンロードできるサイズは1件あたり最大2Mバイトです。

**1** **✉▶1▶フォルダを選択▶未取得のファイルが添付されたiモードメールを選択**

ファイルのマークとファイル名、ファイルサイズ

iモードセンターでの保存期限

ってしまいました。
この度、携帯電話のメールアドレスを変更しました。
それでは失礼します。
fu001.jpg 200.0KB
保存期限:2007/06/03
- END -

マークの意味→P255「受信メール詳細画面の見かた」

**2** **ファイル名を選択**

- ダウンロード中に📖を押し「いいえ」を選択すると、ダウンロードを中止します。なお、中止した部分まで自動的に保存されます。
- ダウンロード後のファイルの操作は自動受信した添付ファイルの操作と同様です。→P248

**✔お知らせ**

- 選択受信添付ファイルをダウンロードしようとしたときに、FOMA端末の保存領域の空きが足りないときはダウンロードできません。受信済みのiモードメールの添付ファイル削除（→P253）、未読メールの内容表示（→P253）、未読メールの既読への変更（→P259）、保護解除（→P259）、不要メールの削除（→P260）などを行ってからダウンロードし直してください。
- ファイルのサイズによっては、選択受信添付ファイルをダウンロードする際に既読メールが削除される場合があります。
- 圏外などでダウンロードが中断したときは、ダウンロードを再開するかどうかの確認画面が表示されます。「はい」を選択すると、ダウンロードが再開します。なお、「いいえ」を選択したときは、中断した部分まで自動で保存され、添付ファイルマークに✚が表示されます。

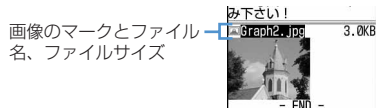
添付ファイル（受信）

## iモードメールに添付された自動受信添付ファイルを操作する

### ◆画像を表示・保存する〈画像表示・保存〉

- 最大保存件数→P541

**1** **✉▶1▶フォルダを選択▶画像が添付されているiモードメールを選択**

画像のマークとファイル名、ファイルサイズ

マークの意味→P255「受信メール詳細画面の見かた」

**2** **保存する画像のファイル名にカーソルを合わせて MENU ▶ 6 3**

以降の操作→P213「画像をダウンロードする」操作2以降

**デコメール内に表示されている画像を保存する：MENU ▶ 4 4 ▶保存する画像を選択**

**画像の表示／非表示を切り替える：ファイル名を選択**

- 送信メール詳細画面、メールテンプレート詳細画面、microSDメモリーカード内のメール詳細画面に添付されている画像からも、同様の操作で画像の表示と非表示を切り替えられます。

**画像のタイトルを表示する：タイトルを表示する画像のファイル名にカーソルを合わせて MENU ▶ 6 2**

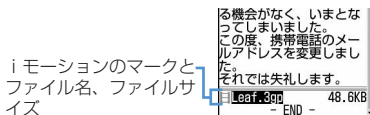
**✔お知らせ**

- 送信メール詳細画面、メールテンプレート詳細画面、microSDメモリーカード内のメール詳細画面から添付画像のタイトルを確認する場合は、画像のファイル名にカーソルを合わせてMENUを押し「添付ファイル」→「タイトル確認」を選択します。
- 画像が添付されている受信メールを表示したときは、添付された画像は自動的に表示されます。ただし、受信メールがデコメールの場合は、メールを表示すると、メール本文中に挿入されている画像は自動的に表示されますが、添付された画像は自動的に表示されません。画像を表示するときは画像のファイル名を選択します。
- 本文中に表示される画像の場合、ファイル名や表示名などは表示されません。
- 画像の横幅が画面より大きいときは、縮小して表示されます。
- データが壊れている場合や保存した画像によっては、本FOMA端末で表示できない場合があります。
- 送信メールに添付した画像も同様の操作で保存できます。

- 横縦（または縦横）のサイズがGIF形式で640×480、JPEG形式で1728×2304より大きい画像はFOMA端末には保存できません。また、JPEGの種類によっては保存できない画像もあります。
- 保存領域の空きが足りないときや最大保存件数を超えるときは、削除するかどうかの確認画面が表示されます。保存する場合は、画面の指示に従って保存されている画像を削除してください。

## ◆ｉモーションを再生・保存する〈ｉモーションメール〉

- 最大保存件数→P541

**1** **✉▶1▶フォルダを選択▶ｉモーションが添付されているｉモードメールを選択**

マークの意味→P255「受信メール詳細画面の見かた」

**2** **保存するｉモーションにカーソルを合わせて MENU ▶6 3**

以降の操作→P227「サイトからｉモーションを取得する」操作3

**ｉモーションを再生する：再生するｉモーションにカーソルを合わせて MENU ▶6 1**

**ｉモーションのタイトルを確認する：タイトルを確認するｉモーションにカーソルを合わせて MENU ▶6 2**

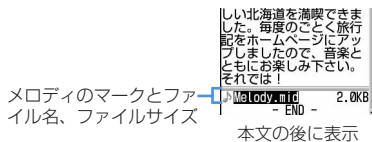
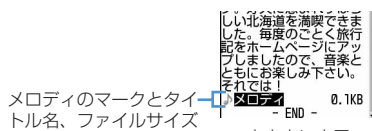
### ✔お知らせ

- 保存領域の空きが足りないときや最大保存件数を超えるときは、削除するかどうかの確認画面が表示されます。保存する場合は、画面の指示に従って保存されている動画／ｉモーションを削除してください。
- データが壊れている場合や保存したｉモーションによっては、本FOMA端末で再生できない場合があります。
- 送信メールに添付した動画／ｉモーションも同様に操作できます。
- メールに添付されたｉモーションをパソコンで再生するには、対応ソフトが必要です。詳細は、ドコモのホームページをご覧ください。

## ◆メロディを再生・保存する〈メロディ再生・保存〉

- FOMA F904i、F903iX HIGH-SPEED、F703i、F903i、F882iES以外の端末やパソコンから送られてきたメロディは正しく再生できない場合があります。
- 最大保存件数→P541

**1** **✉▶1▶フォルダを選択▶メロディが添付されているｉモードメールを選択**

- 添付メロディの表示形式には2種類あります。

本文の後に表示

本文中に表示

マークの意味→P255「受信メール詳細画面の見かた」

**2** **保存するメロディにカーソルを合わせて MENU ▶6 2**

- 100Kバイトを超えるメロディはmicroSDメモリーカードにのみ保存できます。

以降の操作→P214「メロディをダウンロードする」操作3以降

**メロディを再生する：再生するメロディにカーソルを合わせて MENU ▶6 1**

- 100Kバイトを超えるメロディは再生できません。

**メロディのタイトルを確認する：タイトルを確認するメロディにカーソルを合わせて MENU ▶6 5**

- 本文中に表示されているメロディのタイトルを確認するときはメロディにカーソルを合わせて MENU 6 4 を押します。

**本文中に表示されているメロディのデータを文字として表示する（データ表示）：データ表示するメロディを選択▶ MENU ▶6 5**

- タイトル表示に戻すには、データ表示されているメロディの先頭行を選択し、MENU 6 5 を押します。
- 本文の後に表示されるメロディはこの機能を利用できません。

✔お知らせ

- データ表示時にメロディを再生、保存するにはメロディの先頭行にカーソルを合わせて MENU を押し「添付ファイル」→「再生」または「保存」を選択します。
- 送信メール詳細画面から操作する場合は、メロディにカーソルを合わせて MENU を押し「添付ファイル」→「保存」を選択します。
- 送信メール詳細画面、メールテンプレート詳細画面、microSDメモリーカード内のメール詳細画面の添付メロディも同様にして再生できます。
- 保存領域の空きが足りないときや最大保存件数を超えるときは、削除するかどうかの確認画面が表示されます。保存する場合は、画面の指示に従って保存されているメロディを削除してください。

## ◆トルカを表示・保存する

- 最大保存件数→P541

**1** ✉▶1▶フォルダを選択▶トルカが添付されている i モードメールを選択

のを食べました。しかもいいお店も見つけたので、早速そのお店情報を紹介します。
かに寿司.trc 0.2KB
- END -

トルカのマークとファイル名、ファイルサイズ

マークの意味→P255「受信メール詳細画面の見かた」

**2** 保存するトルカにカーソルを合わせて MENU ▶6 3

トルカを表示する：**表示するトルカにカーソルを合わせて MENU ▶6 1**

- 1024バイトを超えるトルカや100Kバイトを超えるトルカ（詳細）は表示できません。

トルカのタイトルを確認する：**タイトルを確認するトルカにカーソルを合わせて MENU ▶6 2**

トルカの詳細情報をダウンロードする：**→P303「トルカを表示する」操作2**

**3** 1 または 2

FOMA端末内のトルカ一覧の「トルカフォルダ」、またはmicroSDメモリーカード内の「トルカ」フォルダに保存されます。

- トルカによっては、どちらか一方の保存先しか選択できない場合があります。
- 1024バイトを超えるトルカや100Kバイトを超えるトルカ（詳細）はmicroSDメモリーカードにのみ保存できます。

✔お知らせ

- トルカによっては、一度しか保存できない場合があります。
- 保存領域の空きが足りないときや最大保存件数を超えるときは、保存できない旨のメッセージが表示されます。保存する場合は、画面の指示に従ってFOMA端末から不要なトルカを削除するか、microSDメモリーカードから不要なトルカを削除してから保存してください。
- 送信メールに添付したトルカも同様に操作できます。

## ◆PDFデータを表示・保存する

- 最大保存件数→P541

**1** ✉▶1▶フォルダを選択▶PDFデータが添付されている i モードメールを選択

PDFデータのマークとファイル名、ファイルサイズ

マークの意味→P255「受信メール詳細画面の見かた」

**2** 保存するPDFデータにカーソルを合わせて MENU ▶6 3

以降の操作→P214「PDFデータをダウンロードする」操作3

PDFデータを表示する：**表示するPDFデータにカーソルを合わせて MENU ▶6 1**

PDFデータのタイトルを確認する：**タイトルを確認するPDFデータにカーソルを合わせて MENU ▶6 2**

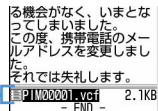
✔お知らせ

- 保存領域の空きが足りないときや最大保存件数を超えるときは、削除するかどうかの確認画面が表示されます。保存する場合は、画面の指示に従って保存されているPDFデータを削除してください。
- 送信メールに添付したPDFデータも同様に操作できます。

## ◆電話帳データを表示・保存する

- 最大保存件数→P100

**1** [✉]▶[1]▶フォルダを選択▶電話帳データが添付されているｉモードメールを選択

電話帳データのマークと、ファイル名、ファイルサイズ

マークの意味→P255「受信メール詳細画面の見かた」

**2** 保存する電話帳データを選択

電話帳データを表示する：表示する電話帳データにカーソルを合わせて[MENU]▶[6][1]
- 複数件の電話帳データは表示できません。

電話帳データのファイル名を確認する：ファイル名を確認する電話帳データにカーソルを合わせて[MENU]▶[6][2]

**3** [📖]［保存］を押す

保存した電話帳データは、FOMA端末電話帳に保存されます。
- microSDメモリーカードを取り付けている場合は、[i]を押すとmicroSDメモリーカード内の「電話帳」フォルダに保存されます。
- 複数件の電話帳データは、microSDメモリーカードにのみ保存できます。

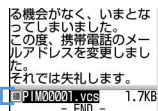
### ✔お知らせ

- 保存領域の空きが足りないときや最大保存件数を超えるときは保存できません。保存する場合は、FOMA端末から不要な電話帳データを削除するか、microSDメモリーカードから不要なPIMデータを削除してから保存し直してください。
- 送信メールに添付した電話帳データも同様に操作できます。

## ◆スケジュールデータを表示・保存する

- 最大保存件数→P541

**1** [✉]▶[1]▶フォルダを選択▶スケジュールデータが添付されているｉモードメールを選択

スケジュールデータのマークとファイル名、ファイルサイズ

マークの意味→P255「受信メール詳細画面の見かた」

**2** 保存するスケジュールデータを選択

スケジュールデータを表示する：表示するスケジュールデータにカーソルを合わせて[MENU]▶[6][1]
- 複数件のスケジュールデータは表示できません。

スケジュールデータのファイル名を確認する：ファイル名を確認するスケジュールデータにカーソルを合わせて[MENU]▶[6][2]

**3** [📖]［保存］を押す

保存したスケジュールデータは、スケジュール帳に保存されます。
- microSDメモリーカードを取り付けている場合は、[i]を押すとmicroSDメモリーカード内の「スケジュール」フォルダに保存されます。
- 複数件のスケジュールデータは、microSDメモリーカードにのみ保存できます。

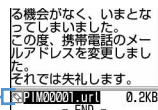
### ✔お知らせ

- 保存領域の空きが足りないときや最大保存件数を超えるときは保存できません。保存する場合は、FOMA端末から不要なスケジュールデータを削除するか、microSDメモリーカードから不要なPIMデータを削除してから保存し直してください。
- 送信メールに添付したスケジュールデータも同様に操作できます。

## ◆ブックマークデータを表示・保存する

- 最大保存件数→P541

**1** [✉]▶[1]▶フォルダを選択▶ブックマークデータが添付されているｉモードメールを選択

ブックマークデータのマークとファイル名、ファイルサイズ

マークの意味→P255「受信メール詳細画面の見かた」

**2** 保存するブックマークデータを選択

ブックマークデータを表示する：表示するブックマークデータにカーソルを合わせて[MENU]▶[6][1]
- 複数件のブックマークデータは表示できません。

ブックマークデータのファイル名を確認する：ファイル名を確認するブックマークデータにカーソルを合わせて[MENU]▶[6][2]

## 3 タイトル名を入力▶［📖］［保存］

保存したブックマークデータが、ｉモードの場合にはBookmark内の先頭行のフォルダに、フルブラウザの場合にはフルブラウザ内のBookmark内の先頭行のフォルダに保存されます。

- タイトル名は全角で最大12文字、半角で最大24文字入力できます。
- タイトルを入力しないで登録すると、ブックマーク一覧にはURLが表示されます。
- microSDメモリーカードを取り付けている場合は、［i］を押すとmicroSDメモリーカード内の「Bookmark」フォルダに保存されます。
- 複数件のブックマークデータは、microSDメモリーカードにのみ保存できます。

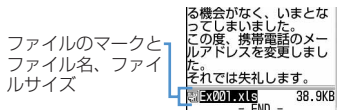
**✔お知らせ**

- 最大登録件数を超えるときは保存できません。保存する場合は、FOMA端末から不要なブックマークデータを削除するか、microSDメモリーカードから不要なPIMデータを削除してから保存し直してください。
- 送信メールに添付したブックマークデータも同様に操作できます。

## ◆Word、Excel、PowerPointファイルを表示・保存する

- 最大保存件数→P541

## 1 ［✉］▶［1］▶フォルダを選択▶ファイルが添付されているｉモードメールを選択

ファイルのマークとファイル名、ファイルサイズ

マークの意味→P255「受信メール詳細画面の見かた」

## 2 保存するファイルにカーソルを合わせて［MENU］▶［6］［3］

**ファイルを表示する：表示するファイルにカーソルを合わせて［MENU］▶［6］［1］**

**ファイルのファイル名を確認する：ファイル名を確認するファイルにカーソルを合わせて［MENU］▶［6］［2］**

## 3 表示名を入力▶［📖］［保存］

保存したファイルは、その他内のフォルダに保存されます。
その他内にフォルダが複数ある場合は、保存先のフォルダを選択する画面が表示されます。保存先のフォルダを選択すると保存されます。

- 表示名は全角・半角問わず最大36文字入力できます。
- ガイド表示領域の左下に「［保存先切替］」が表示された場合には、［i］を押して保存先を切り替えられます。「［SD］保存」が表示されているときに［📖］を押すと、microSDメモリーカード内の「その他」フォルダに保存されます。

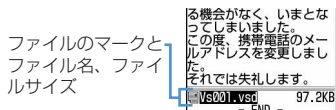
**✔お知らせ**

- 保存領域の空きが足りないときや最大保存件数を超えるときは、削除するかどうかの確認画面が表示されます。保存する場合は、画面の指示に従って保存されているファイルを削除してください。
- 送信メールに添付したファイルも同様に操作できます。

## ◆さまざまなファイルを保存する

ｉモードメールに添付されている本FOMA端末で表示できないファイルをmicroSDメモリーカードに保存します。

- FOMA端末内への保存や表示はできません。

## 1 ［✉］▶［1］▶フォルダを選択▶ファイルが添付されているｉモードメールを選択

マークの意味→P255「受信メール詳細画面の見かた」

## 2 保存するファイルにカーソルを合わせて［MENU］▶［6］［3］

**ファイルのファイル名を確認する：ファイル名を確認するファイルにカーソルを合わせて［MENU］▶［6］［2］**

## 3 「はい」を選択

microSDメモリーカード内の「その他」フォルダに保存されます。

✔お知らせ

- 保存領域の空きが足りないときや最大保存件数を超えるときは、削除するかどうかの確認画面が表示されます。保存する場合は、画面の指示に従って保存されているファイルを削除してください。
- 本FOMA端末で識別できないファイルは、microSDメモリーカードへ保存する際に、ファイル名が書き換えられる場合があります。
- 送信メールに添付したデータも同様に操作できます。

添付ファイル削除

## 添付ファイルを削除する

受信メールに添付されているファイルを削除します。

- 本文中に表示されるメロディや画像、ｉアプリが起動できるリンク項目は削除できません。

**1** [メール]▶[1]▶フォルダを選択▶ファイルが添付されているｉモードメールを選択

**2** 削除するファイルのファイル名にカーソルを合わせて[MENU]▶[6][4]

- 複数添付されている場合に一括削除するときは、ファイル名にカーソルを合わせて[MENU][6][5]を押します。

添付されているメロディまたは選択受信添付ファイルを削除する：削除するメロディまたは選択受信添付ファイルのファイル名にカーソルを合わせて[MENU]▶[6][3]

- 複数添付されている場合に一括削除するときは、メロディまたは選択受信添付ファイルのファイル名にカーソルを合わせて[MENU][6][4]を押します。

**3** 「はい」を選択

- 削除した添付ファイルはファイル名が薄く表示されて選択できなくなります。

✔お知らせ

- 送信メール詳細画面から操作する場合は、ファイル名にカーソルを合わせて[MENU]を押し「添付ファイル」→「削除」または「一括削除」を選択します。

受信メールBOX／送信メールBOX

## 受信／送信メールBOXのメールを表示する

[MENU]▶[1][1]/[1][4]/[1][5]

受信、送信、未送信のｉモードメールやSMSを確認できます。

- 最大保存件数→P541

〈例〉受信メールを表示するとき

**1** [メール]▶[1]

送信メールフォルダ一覧を表示する：
[メール]▶[5]

未送信メールフォルダ一覧を表示する：
[メール]▶[4]

**2** フォルダを選択

受信メールの一覧が表示されます。

- メール連動型ｉアプリ用のフォルダを選択すると、それに対応するｉアプリが起動します。ｉアプリを起動せずに表示するときは、メール連動型ｉアプリ用のフォルダにカーソルを合わせて[MENU][1]を押します。

**3** 表示するメールを選択

- メールの便利な機能→P262

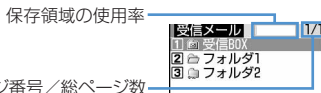
✔お知らせ

- 表示できない文字は空白などに置き換わります。
- 本文が受信できる文字数を超えた場合、本文の最後に「/」または「//」が挿入され、超えた分が自動的に削除されます。
- 題名が受信可能な文字数を超えた場合、超えた文字は削除されます。
- パソコンで装飾された受信メールは、パソコン上と同じ表示や動作にならない場合があります。
- メール本文の添付データ（本文中に表示されるメロディ、ｉアプリが起動できるリンク項目）が複数添付されていると、添付データは無効になります。このとき添付マークには[?]が表示されます。
- デコメールを表示した場合、デコメールの背景色によっては、本文中の文字色やリンク項目と重なって、文字やリンク項目が見えない場合があります。

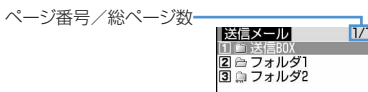
## ◆フォルダー覧画面の見かた

### ❖受信メールフォルダ一覧画面の見かた

保存領域の使用率
ページ番号／総ページ数

受信メール 1/1
1 受信BOX
2 フォルダ1
3 フォルダ2

- マークの意味は次のとおりです。
  - ：メールなし
  - ：未読メールなし
  - ：未読メールなし、メールなし（シークレット属性ON）
  - ：未読メールなし、メールなし（メール連動型ｉアプリで利用）
  - ：未読メールあり
  - ：未読メールあり（シークレット属性ON）
  - ：未読メールあり（メール連動型ｉアプリで利用）

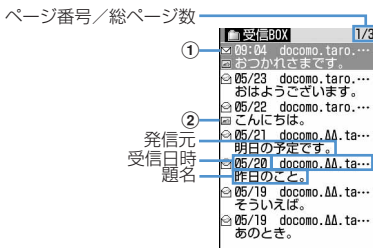
### ❖送信／未送信メールフォルダ一覧画面の見かた

ページ番号／総ページ数

- マークの意味は次のとおりです。
  - ：メールなし
  - ：メールあり
  - ：シークレット属性ON
  - ：メール連動型ｉアプリ

## ◆受信／送信／未送信BOXの一覧画面／詳細画面の見かた

### ❖受信BOX一覧画面の見かた

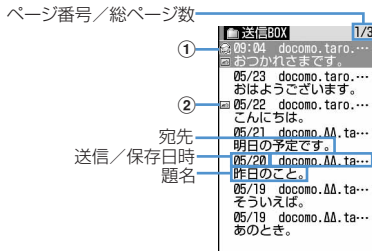
ページ番号／総ページ数
①
②
発信元
受信日時
題名

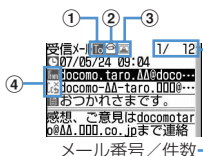
受信BOX 1/3
09:04 docomo.taro.…
おつかれさまです。
05/23 docomo.taro.…
おはようございます。
05/22 docomo.taro.…
こんにちは。
05/21 docomo.ΔΔ.ta…
明日の予定です。
05/20 docomo.ΔΔ.ta…
昨日のこと。
05/19 docomo.ΔΔ.ta…
そういえば。
05/19 docomo.ΔΔ.ta…
あのとき。

- マークの意味は次のとおりです。

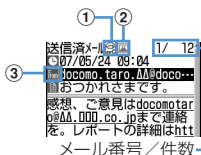
①状態マーク
  - ：未読　：未読（返信不可）
  - ：既読　：既読（返信不可）
  - ：既読（返信済み）　：既読（転送済み）
  - ：保護　：保護（返信不可）
  - ：保護（返信済み）　：保護（転送済み）
  - ※ 返信済み、転送済みは後から行った操作のマークが優先表示されます。

②添付ファイル／SMS／通知／メール連動型ｉアプリマーク
  - ：画像　：ｉモーション
  - ：メロディ　：トルカ
  - ：PDFデータ　：電話帳データ
  - ：スケジュールデータ
  - ：ブックマークデータ
  - ：Wordファイル
  - ：Excelファイル
  - ：PowerPointファイル
  - ：本FOMA端末で表示できないファイル
  - ：複数添付あり（上記の添付ファイルのいずれか2つ以上）
  - ：SMS
  - ：送達通知、着信通知、伝言通知
  - ：メール連動型ｉアプリで利用されるメール
  - ：ｉアプリToあり
  - ※ メール一覧表示設定を「1行表示」に設定しているときは、添付ファイルがあるとが表示されます。

- 発信元が電話帳に登録されているときは名前が表示されます。
- 海外から送られてきたSMSでは発信元の先頭に「+」が表示されます。
- 受信日時には、当日の場合は時刻が、当日以外の場合は日付が表示されます。
- 受信したｉモードメールによっては、題名が表示されない場合があります。また、SMSの場合、題名には本文の先頭が表示されます。
- 海外滞在時（GMT+09:00を除く）に受信したｉモードメール、SMSは受信日時の後ろにが表示される場合があります。
- 2in1がONでデュアルモードのときは、BアドレスまたはBナンバー宛のｉモードメール、SMSはが表示されます。

## ❖送信／未送信BOX一覧画面の見かた

- マークの意味は次のとおりです。
  - ①**状態マーク**
    - 表示なし：未保護
    - ：保護
    - ：圏内自動送信設定中
    - ：圏内自動送信失敗
    - ：保護＋圏内自動送信設定中
    - ：保護＋圏内自動送信失敗
  - ②**添付ファイル／SMS／メール連動型ｉアプリマーク**
    - →P254「受信BOX一覧画面の見かた」
    - ※ 送信メール一覧の場合、メール一覧表示設定を「1行表示」に設定しているときは、添付ファイルがあるとが表示されます。
- 送信／保存日時には、当日の場合は時刻が、当日以外の場合は日付が表示されます。
- 宛先が電話帳に登録されているときは名前が表示されます。SMSの場合、題名には本文の先頭が表示されます。
- 海外滞在時（GMT+09:00を除く）にｉモードメール、SMSを作成して保存、送信すると、日時の後ろにが表示される場合があります。

## ❖受信メール詳細画面の見かた

- マークの意味は次のとおりです。
  - ：受信日時　：題名
  - ①**宛先種別マーク**
    - ：宛先（、はｉモードメールのみ）
  - ②**状態／通知マーク**
    - →P254「受信BOX一覧画面の見かた」
  - ③**添付ファイルの種類／SMSマーク**
    - **添付ファイルの種類**
      - ：画像　：ｉモーション
      - ：メロディ　：トルカ
      - ：PDFデータ
      - ：電話帳データ
      - ：スケジュールデータ
      - ：ブックマークデータ
      - ：Wordファイル
      - ：Excelファイル
      - ：PowerPointファイル
      - ：本FOMA端末で表示できないファイル
      - ：上記の添付ファイルのいずれか2つ以上
      - ：ｉアプリ（ｉアプリTo）
      - ：貼り付けデータ不正
      - ※ 添付ファイルの状態によって、上記マークとともに次のマークが表示されます。
        - ：著作権あり（メール添付やFOMA端末外への出力不可）
        - ／：データ異常／データ超過
        - ：選択受信添付ファイル未取得
        - ：選択受信添付ファイル取得途中
        - ：選択受信添付ファイル取得不可
    - **SMSマーク**
      - ：SMS
  - ④**発信元／同報アドレスの宛先種別**
    - ：発信元　：発信元（返信不可）
    - ：宛先（ｉモードメールのみ）
    - ：宛先（返信不可）（ｉモードメールのみ）
- ｉモードメールでは発信元からどの宛先種別（TO、CC、BCC）で送られてきたのかを、宛先種別マークで確認できます。
- 海外滞在時（GMT+09:00を除く）に受信したｉモードメール、SMSは受信日時の後ろにが表示される場合があります。
- 2in1がONでデュアルモードのときは、BアドレスまたはBナンバー宛のｉモードメール、SMSはが表示されます。

## ❖送信メール詳細画面の見かた

- マークの意味は次のとおりです。
  ：送信日時　：題名
  ①**状態マーク**
  →P255「送信／未送信BOX一覧画面の見かた」
  ②**添付ファイル／SMSマーク**
  →P254「受信BOX一覧画面の見かた」
  ③**宛先種別マーク**
  To Cc Bcc：宛先（Cc、Bccはｉモードメールのみ）
- 海外滞在時（GMT+09:00を除く）にｉモードメール、SMSを送信すると、送信日時の後ろにが表示される場合があります。

### ✔お知らせ

- ｉモードメールでは、発信元または宛先のメールアドレスが電話帳データのメールアドレスの入力欄と照合されます。SMSでは、発信元または宛先の電話番号が電話帳データの電話番号欄と照合されます。
  電話帳との照合→P100「名前の表示について」
- 受信したSMSおよび送達通知、着信通知、伝言通知の題名、発信元は次のように表示されます。

| 項　目 | 題　名 | 発信元 |
|---|---|---|
| SMS | 受信SMS | 電話番号 |
| 送達通知 | SMS送達通知 | SMS Center |
| 着信通知 | 留守番　着信通知 | DoCoMo SMS |
| 伝言通知 | 留守番　テレビ電話 | DoCoMo MSG |

なお、送信したSMSの題名には「送信SMS」と表示されます。
※ 電話番号が電話帳に登録されているときは、名前が発信元に表示されます。
※ 発信者番号が通知されなかったときは、次の文字が発信元に表示されます。
「非通知設定」（非通知に設定して送られてきた場合）
「公衆電話」（公衆電話から送られてきた場合）
「通知不可能」（発信者番号を通知できない方法で送られてきた場合）

## ◆メールをお預かりセンターに保存する〈電話帳お預かりサービス〉

電話帳お預かりサービスを利用して、ｉモードメールやSMSをネットワーク上のお預かりセンターに保存します。

- 電話帳お預かりサービスについて→P173
- 本サービスはお申し込みが必要な有料サービスです。サービス未契約の場合は、お預かりセンターに接続しようとすると、その旨をお知らせする画面が表示されます。
- 1回の操作で最大10件保存できます。
- ｉモードメールにファイルが添付されている場合は、保存するときに削除されます。ただし、本文中の画像やメロディ（メール添付やFOMA端末外への出力が禁止されたファイルを除く）は削除されません。
- SMS送達通知は保存できません。
- 復元操作の詳細は『ご利用ガイドブック（ｉモード〈FOMA〉編）』をご覧ください。なお、復元したメールは保護されます。ただし、次の場合は保護されません。
  - お預かりセンターに保存されている受信メール、受信SMSが未読だった場合
  - 保存されているメールの保護が最大保護件数に達している場合
- お預かりセンターに保存した履歴を確認できます。→P115

〈例〉受信メールをお預かりセンターに保存するとき

**1** ▶1▶**フォルダを選択**

送信／未送信メール一覧の表示方法→P253

**2** ▶45▶**保存するメールを選択**

未送信メールを保存する：▶43▶**保存するメールを選択**

**3** ▶**「はい」を選択**▶**認証操作**

お預かりセンターに接続され、保存が始まります。

- 保存を中止するときはを押します。

**4** **通信結果を確認する**

- 通信結果の表示は約5秒後に自動的に消えます。を押しても表示を消すことができます。

## ◆フォルダを作成・削除する

新しくフォルダを作成したり、削除したりします。作成したフォルダにはシークレット属性を設定できます。プライバシーモード中（メール・履歴を「指定フォルダを非表示」に設定した場合）は、シークレット属性を「ON」に設定したメールフォルダは表示されません。

- プライバシーモード中は、シークレット属性を設定したり、シークレット属性を設定しているフォルダを操作したりできません。
- プライバシーモード設定→P163

### ❖フォルダを作成する

- 受信メール内には、「受信BOX」フォルダとメール連動型ｉアプリ用のフォルダ以外に最大40個作成できます。
- 送信メール、未送信メール内には、「送信BOX」「未送信BOX」フォルダとメール連動型ｉアプリ用のフォルダ以外にそれぞれ最大20個作成できます。
- 「受信BOX」「送信BOX」「未送信BOX」フォルダとメール連動型ｉアプリ用のフォルダは、フォルダ設定を変更できません。

**〈例〉受信メールのフォルダを作成するとき**

**1** [✉]▶[1]

送信／未送信メールフォルダ一覧の表示方法→P253

**2** [MENU]▶[1]

フォルダ設定を変更する：**変更するフォルダにカーソルを合わせて[MENU]▶[3]**

フォルダの並び順を変更する：**変更するフォルダにカーソルを合わせて[MENU]▶[7]または[8]**

**3 下記の各項目を選択して設定▶[📖]［登録］**

**フォルダ名**：メールのフォルダ名称を設定します。
- 全角で最大8文字、半角で最大16文字入力できます。

**シークレット属性**：プライバシーモード中（メール・履歴を「指定フォルダを非表示」に設定した場合）に、フォルダを表示するかどうかを設定します。

### ❖フォルダを削除する

- お買い上げ時に登録されている「受信BOX」「送信BOX」「未送信BOX」フォルダは削除できません。
- 保護されているメールがあるフォルダは削除できません。保護解除してからフォルダを削除してください。
- メール連動型ｉアプリ用のフォルダは、そのフォルダに対応するｉアプリがあるときは削除できません。

**〈例〉受信メールのフォルダを削除するとき**

**1** [✉]▶[1]

送信／未送信メールフォルダ一覧の表示方法→P253

**2 削除するフォルダにカーソルを合わせて[MENU]▶[2]▶認証操作▶「はい」を選択**

## ◆メールの件数を確認する〈フォルダ内メール件数〉

受信メール、送信メール、未送信メールの未読、既読、保護の保存件数をフォルダごとに確認します。

**〈例〉受信メールのフォルダ内の件数を確認するとき**

**1** [✉]▶[1]

送信／未送信メールフォルダ一覧の表示方法→P253

**2 件数を確認するフォルダにカーソルを合わせて[MENU]▶[5]**

**✔お知らせ**

- メール一覧から操作する場合は、[MENU]を押し「表示」→「メール件数確認」を選択します。

## ◆メールアドレスを確認する〈アドレス表示〉

メールアドレスが途中までしか表示されない場合や、電話帳に登録されている名前が表示される場合に、発信元や宛先のメールアドレスを表示します。ただし、未送信メール詳細画面からは確認できません。

〈例〉受信メールの発信元を確認するとき

**1** ✉▶1▶フォルダを選択▶確認するメールを選択

送信メール詳細画面の表示方法→P253
メールテンプレート詳細画面の表示方法→P239

**2** メールアドレスを確認する発信元または宛先を選択

### ✔お知らせ

- 宛先が複数あるときにメールアドレスをまとめて確認する場合は、メール詳細画面でMENUを押し「表示」→「アドレス表示」を選択します。
- 受信メール、送信メール、未送信メール一覧から操作する場合は、アドレスを表示するメールにカーソルを合わせてMENUを押し「表示」→「アドレス表示」を選択します。送信メール、未送信メールの場合、宛先が複数あるときは全宛先のメールアドレスが、受信メールの場合は自分以外の宛先（「TO：」「CC：」）が表示されます。

## ◆受信／送信メールをフォルダに移動する〈メール移動〉

- メールをmicroSDメモリーカードへコピーできます。→P372

〈例〉1件の受信メールを他のフォルダに移動するとき

**1** ✉▶1▶フォルダを選択

送信／未送信メール一覧の表示方法→P253

**2** 移動するメールにカーソルを合わせてMENU▶4 1 1

**複数移動する：**MENU▶4 1 2▶メールを選択▶📖

**フォルダ内のメールを全件移動する：**MENU▶4 1 3

**3** ●▶移動先フォルダを選択▶「はい」を選択

### ✔お知らせ

- 圏内自動送信を設定したｉモードメールをメール連動型ｉアプリ用のフォルダに移動すると、圏内自動送信の設定は解除されます。

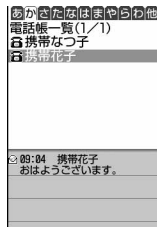
## ◆メールを検索する

電話帳に登録している受信メールの発信元や送信メールの宛先、送受信した日でメールを検索できます。

〈例〉受信メールを発信元で検索するとき

**1** ✉▶1

送信メールフォルダ一覧表示方法→P253

**2** MENU▶9 1▶電話帳を検索

- 電話帳データや日付にカーソルを合わせると、該当するメールが表示されます。
- 送信メールを宛先で検索する場合、複数の宛先に送信した同報メールも検索の対象となります（画面には1件目の宛先が表示されます）。

**送受信日で検索する：**MENU▶9 2▶日付を検索

**3** メール検索する電話帳データを選択

全メールから検索されたメールが一覧で表示されます。

- 検索結果画面からはメール一覧と同様の操作ができます。

**送受信日で検索する：**メール検索する日付を選択

- 📖を押して日付を入力しても検索できます。

### ✔お知らせ

- 受信メール、送信メールの一覧から操作する場合は、MENUを押し「メール検索」→「電話帳でメール検索」または「カレンダーでメール検索」を選択します。このとき、フォルダ内で検索されたメールが一覧で表示されます。

## ◆受信／送信メールを並べ替える〈ソート〉

受信メールと送信メールのメール一覧の並び順を一時的に並べ替えます。表示を終了すると、並び順は「日付順」に戻ります。

- 未送信メールとFOMAカード内のSMSの並び順は変更できません。

〈例〉受信メール一覧を並べ替えるとき

**1** [メール]▶[1]▶フォルダを選択

送信メール一覧の表示方法→P253

**2** [MENU]▶[7][4]

送信メールを並べ替える：[MENU]▶[5]

**3** [1]～[4]

メールが一時的に並び替わります。

**✔お知らせ**

- 「送信者順」または「宛先順」の場合、メールアドレスが電話帳に登録されていても電話帳の名前ではなくメールアドレスの順に並び替わります。
- 全角や半角の文字が混在していると、「タイトル順」の並べ替えの結果が50音順と一致しない場合があります。
- 同じフォルダ内にSMSが含まれていると、一覧画面ではSMSはメッセージの本文の先頭が表示されるため、「タイトル順」で並べ替えた場合、50音順と一致しません。

## ◆受信メールの既読／未読を変更する

- 保護されている受信メールの既読／未読は変更できません。

〈例〉未読の受信メールを1件既読にするとき

**1** [メール]▶[1]▶フォルダを選択

**2** 変更する受信メールにカーソルを合わせて[MENU]▶[5][1]

既読の受信メールを1件未読にする：未読にする受信メールにカーソルを合わせて[MENU]▶[5][2]

複数の未読の受信メールを既読にする：[MENU]▶[5][3]▶メールを選択▶[決定]▶「はい」を選択

複数の既読の受信メールを未読にする：[MENU]▶[5][4]▶メールを選択▶[決定]▶「はい」を選択

フォルダ内の受信メールを全件既読にする：[MENU]▶[5][5]▶「はい」を選択

フォルダ内の受信メールを全件未読にする：[MENU]▶[5][6]▶「はい」を選択

## ◆受信／送信メールを保護する〈メール保護〉

受信メール、送信メール、未送信メールを保護すると、誤って削除したり、保存領域が足りずに上書きされたりすることを防げます。

- 最大保護件数→P541
- 未読メールは保護できません。

〈例〉受信メールを1件保護するとき

**1** [メール]▶[1]▶フォルダを選択

送信／未送信メール一覧の表示方法→P253

**2** 保護するメールにカーソルを合わせて[MENU]▶[3][1]

- 状態マークが次のいずれかに変わります。
  受信メール：(既読)、(返信不可)、(返信済み)、(転送済み)
  送信メール：
  未送信メール：

複数保護する：[MENU]▶[3][2]▶メールを選択▶[決定]

- 保護されていない受信メールが最大保護件数を超えて保存されている場合は全選択できません。

フォルダ内の受信メールを全件保護する：[MENU]▶[3][3]

保護を1件解除する：保護を解除するメールにカーソルを合わせて[MENU]▶[3][4]

保護を複数解除する：[MENU]▶[3][5]▶メールを選択▶[決定]

保護を全件解除する：[MENU]▶[3][6]

**✔お知らせ**

- メール詳細画面から操作する場合は、[MENU]を押し「保護」または「保護解除」を選択します。
- 「全件保護」を選択すると、日時が新しいメールから順に、最大保護件数に達するまで保護されます。

## ◆受信／送信メールを削除する〈メール削除〉

受信メール、送信メール、未送信メールから不要なメールを削除します。

### ❖受信メールを削除する

次の方法で削除できます。

○：実行可　×：実行不可

| 削除方法 | 実行する画面 | | |
|---|---|---|---|
| | フォルダ一覧 | メール一覧 | 詳細表示 |
| メール全件 | ○ | × | × |
| | • 全メール（未読を含む）を削除 | | |
| フォルダ内-既読 | ○ | ○ | × |
| | • フォルダ内の既読メールを削除 | | |
| フォルダ内-全件 | ○ | ○ | × |
| | • フォルダ内の全メール（未読を含む）を削除 | | |
| フォルダ内-7日経過-14日経過-30日経過 | ○ | ○ | × |
| | • フォルダ内の受信後指定日数経過したメール（未読を含む）を削除 | | |
| 1件削除 | × | ○ | ○ |
| | • 選択したメール1件を削除 | | |
| 複数削除 | × | ○ | × |
| | • 選択した複数メールを削除 | | |

**1** [✉]▶[1]

- メール全件を削除するときは、[MENU][4][6]を押し、認証操作を行い、操作4に進みます。

**2** フォルダを選択▶[MENU]▶[2]

- 受信メールを1件だけ削除するときは、削除する受信メールにカーソルを合わせて[MENU][2]を押します。

**3** [1]～[7]

複数削除する：[2]▶メールを選択▶[📖]

フォルダ内の受信メールを全件削除する：[4]▶認証操作

**4** 「はい」を選択

### ❖送信／未送信メールを削除する

次の方法で削除できます。

○：実行可　×：実行不可

| 削除方法 | 実行する画面 | | |
|---|---|---|---|
| | フォルダ一覧 | メール一覧 | 詳細表示 |
| メール全件 | ○ | × | × |
| | • 全メールを削除 | | |
| フォルダ内-全件／全件削除 | ○ | ○ | × |
| | • フォルダ内の全メールを削除 | | |
| 1件削除 | × | ○ | ○※ |
| | • 選択したメール1件を削除 | | |
| 複数削除 | × | ○ | × |
| | • 選択した複数メールを削除 | | |

※ 送信メールのみ削除できます。

〈例〉送信メールを1件削除するとき

**1** [✉]▶[5]

未送信メールフォルダ一覧の表示方法→P253

- メール全件を削除するときは、[MENU][4][2]を押して認証操作を行い、操作3に進みます。

**2** フォルダを選択▶削除するメールにカーソルを合わせて[MENU]▶[2][1]

複数削除する：フォルダを選択▶[MENU]▶[2][2]▶メールを選択▶[📖]

フォルダ内の送信メールを全件削除する：フォルダを選択▶[MENU]▶[2][3]▶認証操作

**3** 「はい」を選択

**✔お知らせ**

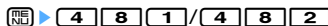
- フォルダ一覧から操作する場合は、[MENU]を押し「メール削除」を選択します。
- メール詳細画面から操作する場合は、[MENU]を押し「削除」を選択します。
- プライバシーモード中（電話帳・履歴を「指定電話帳非表示」に設定した場合）に「1件削除」と「複数削除」以外を選択した場合、非表示のメールも削除されます。
- プライバシーモード中（メール・履歴を「指定フォルダを非表示」に設定した場合）に「メール全件」を選択した場合、シークレット属性を「ON」に設定した非表示のフォルダ内のメールも削除されます。

# メールの履歴を利用する

**送受信したメールの宛先や発信元をメールの履歴として記録しておく機能です。これらの履歴を利用してメールを作成したり、履歴の宛先や発信元を電話帳に登録したりできます。**

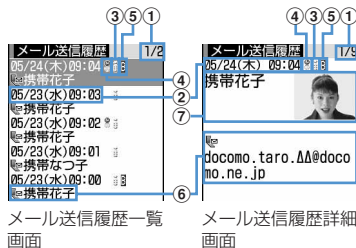
- 送信履歴と受信履歴はそれぞれ最大30件記録されます。30件を超えると、古い履歴から消去されます。
- 2in1がONのときは、受信履歴はAアドレス／Aナンバー最大30件、Bアドレス／Bナンバー最大30件の合計60件まで記録されます。AモードのときはAアドレス／Aナンバーの履歴のみ、BモードのときはBアドレス／Bナンバーの履歴のみ表示されます。デュアルモードのときはすべての送受信履歴が表示されます。
- 同じ宛先にメールを送信した場合は、メール送信履歴には最新の1件のみが記録されます。
- 返信不可のｉモードメールやSMSの受信履歴は記録されません。

## ◆メール送受信履歴を表示する

[MENU]▶[4][8][1]/[4][8][2]

〈例〉メール送信履歴を表示するとき

**1** [Ⓞ]▶[📖]［✉送履歴］

- 表示する相手を選択すると詳細画面が表示されます。
- 画面の見かたは次のとおりです。

メール送信履歴一覧画面　　メール送信履歴詳細画面

①**ページ番号／総ページ数（一覧画面）、履歴番号／件数（詳細画面）**

②**送受信日時（海外滞在時は滞在地の送信日時）**

③**履歴の種別**

　ｉ：ｉモードメール

　SMS：SMS

④**海外滞在時（GMT+09:00を除く）の送信履歴**

　送信履歴の画面のみ表示されます。
- 送信日時が記録されていないときなど、表示されない場合があります。

⑤**Bアドレスまたは Bナンバーの受信履歴（2in1がONでデュアルモードの場合）**

　受信履歴の画面のみ表示されます。

⑥**電話帳のメールアドレスアイコン（ｉモードメール）／電話番号アイコン（SMS）（電話帳に登録している場合）、メールアドレス（ｉモードメール）／電話番号（SMS）**
- メール送受信履歴一覧画面の場合は、メールアドレスや電話番号を電話帳に登録していると、電話帳に登録している名前が表示されます。

⑦**名前、画像**
- メールアドレスや電話番号を電話帳に登録していると、電話帳に登録している名前や画像が表示されます。

メール受信履歴を表示する：[Ⓞ]▶[📖]

## ❖メール送受信履歴を利用する

ｉモードメールを作成する：**宛先にする履歴にカーソルを合わせて[✉]**

以降の操作→P235「ｉモードメールを作成して送信する」操作3以降
- SMSの履歴の場合は、電話帳にメールアドレスが登録されていないと電話番号を宛先にしたメール作成画面が、電話帳にメールアドレスが登録されていると登録されているメールアドレスを宛先にしたメール作成画面が表示されます。

SMSを作成する：**宛先にする履歴にカーソルを合わせて[✉]（1秒以上）**

以降の操作→P273「SMS（ショートメッセージ）を作成して送信する」操作3以降
- ｉモードメールの履歴の場合は、電話帳に電話番号が登録されていないとSMSは作成できません。

電話帳に登録する：

①**電話帳に登録する履歴にカーソルを合わせて[MENU]▶[4]**
- 登録済みの電話帳データに追加するときは、[MENU][5]を押します。

②**[1]または[2]**

③**名前やメールアドレスなどを登録**

電話帳登録→P101、P103

音声電話をかける：**[📞]を押す**

テレビ電話をかける：**[📺]を押す**

プッシュトーク発信する：**[P]を押す**

リダイヤル／着信履歴を表示する：**[📖]を押す**

### ❖メール送受信履歴詳細画面の表示を切り替える〈画像／名前表示切替〉

【お買い上げ時】 画像登録時のみ表示

**1** **メール送受信履歴詳細画面で**
**MENU▶9▶1～3**

各設定項目→P109「詳細画面の表示を切り替える」

## ◆メール送受信履歴を削除する

〈例〉1件削除するとき

**1** **メール送受信履歴一覧で削除する履歴にカーソルを合わせてMENU▶6 1**

複数削除する：メール送受信履歴一覧でMENU▶6 2▶メール送受信履歴を選択▶📖

全件削除する：メール送受信履歴一覧でMENU▶6 3▶認証操作

**2** **「はい」を選択**

✔お知らせ

- プライバシーモード中（電話帳・履歴を「指定電話帳非表示」またはメール・履歴を「指定フォルダを非表示」に設定した場合）に「全件削除」を選択した場合、非表示のメール送受信履歴も削除されます。

# メールの便利な機能

## ◆Phone To（AV Phone To）・Mail To・Web To ・Media To機能を使う

**1** **メールを表示▶電話番号、メールアドレス、URL、ワンセグ視聴情報にカーソルを合わせる**

- カーソルを合わせられる情報のみ選択できます。

以降の操作→P217「Phone To（AV Phone To）・Mail To・Web To・Media To機能を使う」操作2

✔お知らせ

- パソコンなどから受信したメールは、本機能を利用できない場合があります。
- お預かりセンターに保存しているメールは、本機能を利用できません。
- 2in1がONでBモードのときは、Mail To機能を利用できません。

## ◆本文などをコピーする

iモードメール、SMS中の文字をコピーできます。コピーした文字は、メール作成画面や電話帳の登録画面などの入力欄に貼り付けられます。

- FOMAカード内のSMSの場合、本文、宛先、発信元をコピーできます。
- デコメールの場合、装飾情報はコピーされず、テキストのみコピーされます。
- コピーした文字は電源を切るまで記録され、別の場所に何度でも貼り付けられます。ただし、記録できるのは1件のみで、新たにコピーすると前にコピーした文字に上書きされます。

〈例〉受信メール詳細画面からコピーするとき

**1** **✉▶1▶フォルダを選択▶コピーするメールを選択**

送信メール詳細画面の表示方法→P253
メールテンプレート詳細画面の表示方法→P239
FOMAカード内のSMS詳細画面の表示方法→P276

**2** **MENU▶2**

- 選択項目コピーをする場合は、コピーする項目にカーソルを合わせてMENU 2を押します。
- テンプレートを表示しているときはMENU 3を押します。

**3** **コピー方法を選択**

**本文コピー**：本文中の指定した範囲の文字をコピーします。
コピー方法→P450「文字をコピー／切り取りする」操作2以降
**題名コピー**：題名をコピーします。
**選択項目コピー**：項目（メールアドレス、電話番号など）を選択してコピーします。

**4** **貼り付け先の文字入力画面を表示▶文字を貼り付ける**

貼り付け方法→P450

✔お知らせ

- Date To形式の本文は、いったんメモ帳に貼り付けるとスケジュール登録できます。→P438

## ◆受信／送信メールから電話をかける〈電話発信〉

受信メールの発信元や送信メールの宛先に電話をかけられます。

- 電話番号とメールアドレスを電話帳に登録しておく必要があります。相手のメールアドレスが「携帯電話番号@docomo.ne.jp」の場合は電話番号のみの登録で電話をかけられます。

〈例〉受信メールから電話をかけるとき

**1** [メール]▶[1]▶フォルダを選択

送信メール一覧の表示方法→P253

**2** 電話をかけるメールにカーソルを合わせて[MENU]▶[6]

- 宛先が複数ある場合は、電話をかける相手のメールアドレスを選択します。
- 受信メールまたは送信メールの詳細画面から操作する場合は[MENU][7]を押します。

**3** 発信条件を設定▶[MENU]［発信］

条件を設定して電話をかける→P62

## ◆電話番号やメールアドレス、URLを電話帳に登録する

ｉモードメール、SMS中の電話番号、メールアドレス、URLを電話帳に登録できます。

〈例〉受信メールに表示されている電話番号を新規登録するとき

**1** [メール]▶[1]▶フォルダを選択▶登録するメールを選択

送信メール詳細画面の表示方法→P253
FOMAカード内のSMS詳細画面の表示方法→P276

**2** 登録する電話番号にカーソルを合わせて[MENU]▶[4][1]▶[1]または[2]

- カーソルを合わせられる電話番号、メールアドレス、URLのみ登録できます。

登録済みの電話帳データに追加する：
①登録する電話番号にカーソルを合わせて[MENU]▶[4][2]▶[1]または[2]
②更新登録する電話帳データを選択

**3** 名前やメールアドレスなどを登録

電話帳登録→P101、P103

---

**✔お知らせ**

- microSDメモリーカード内のメール詳細画面から操作する場合は、[MENU]を押し「登録」を選択します。
- デコメールからは登録できない場合があります。
- メール本文などに複数のメールアドレスが列記されている場合は、登録できないことがあります。

---

## ◆URLをブックマークに登録する

ｉモードメール、SMSの本文中にURLがあるとき、メール詳細画面から直接、URLをブックマークに登録できます。

〈例〉受信メールに表示されているURLを登録するとき

**1** [メール]▶[1]▶フォルダを選択▶登録するメールを選択

送信メール詳細画面の表示方法→P253
FOMAカード内のSMS詳細画面の表示方法→P276

**2** URLにカーソルを合わせて[MENU]▶[4][3]▶登録先フォルダを選択

以降の操作→P210「ブックマークに登録する」操作2

---

**✔お知らせ**

- デコメールからは登録できない場合があります。

---

メール設定

# FOMA端末のメール機能を設定する

## ◆メールを自動的にフォルダに振り分ける〈メール振り分け設定〉

[MENU]▶[1][9][3]

振り分け条件を設定し、受信または送信したｉモードメールやSMSを自動的にフォルダに振り分けます。

- 受信メール、送信メールの振り分け条件は、それぞれ30件登録できます。
- 通常のメールをメール連動型ｉアプリ用のフォルダに振り分けることもできます。その場合、メール連動型ｉアプリの振り分け条件が優先されます。

### ❖振り分け条件を設定する

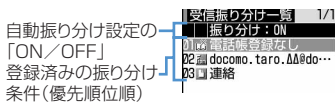
- 振り分け条件を設定したり実行したりするには、自動振り分け設定を「ON」に設定する必要があります。→P265
- 条件設定後に受信または送信するメールに対して有効です。受信済みまたは送信済みのメールは振り分けられません。

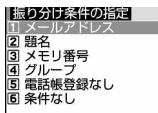
〈例〉受信メールの振り分け条件を設定するとき

**1** [メール]▶[9][3]

**2** [1]を押す

受信振り分け一覧 1/1
振り分け：ON
01 電話帳登録なし
02 docomo.taro.ΔΔ@do…
03 連絡

自動振り分け設定の「ON／OFF」
登録済みの振り分け条件（優先順位順）

- マークの意味は次のとおりです。
  To：送信メールアドレス
  Fm：受信メールアドレス
  No.：メモリ番号　電話帳登録なし
  題名　Gr：グループ
  条件なし
- 送信メールの振り分け条件を設定するときは[2]を押します。

**3** [MENU]▶[1]▶振り分け条件を設定

**メールアドレスを指定する：**
指定したメールアドレスのメールを振り分けます。メールアドレスは@以降の文字も含めてアドレス全体を指定します（半角で最大50文字）。アドレスの一部の文字では振り分けられません。電話番号を指定すると、SMSも振り分けられます。

- メール送受信履歴から選択する場合
  ①[1][1]または[1][2]▶指定するメール送受信履歴を選択
- 電話帳から選択する場合
  ①[1][3]▶指定する電話帳データを選択
- 直接入力する場合
  ①[1][4]▶メールアドレスを入力▶[電話帳]

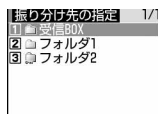
**題名を指定する：**
指定した文字を含む題名のメールを振り分けます（全角で最大15文字、半角で最大30文字）。SMSは題名では振り分けられません。
①[2]▶題名を入力▶[電話帳]

**メモリ番号を指定する：**
指定したFOMA端末電話帳のメモリ番号に登録されているメールアドレスまたは電話番号のメールを振り分けます。ｉモードメールでは電話帳のメールアドレス、SMSでは電話帳の電話番号と照合されます。
①[3]▶メモリ番号を入力▶[電話帳]▶[●]

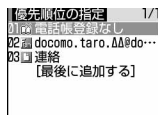
**グループを指定する：**
指定した電話帳のグループに登録されているメールアドレスまたは電話番号のメールを振り分けます。
①[4]▶[1]または[2]
②指定するグループを選択

**電話帳登録なしを指定する：**
電話帳に登録されていないメールアドレスまたは電話番号のメールを振り分けます。
①[5]を押す

**条件なしを指定する：**
条件を設定せずにすべてのメールを操作4で指定するフォルダに振り分けます。
①[6]を押す

**4** 振り分け先フォルダを選択

- メール連動型ｉアプリ用のフォルダを選択したときは、選択したフォルダのメールがｉアプリで利用される旨のメッセージが表示されます。振り分け先として設定するときは「はい」を選択します。

**5** 優先順位を選択

選択した行の上に新しい振り分け条件が追加されます。

- 1件目の振り分け条件を登録する場合は、「最後に追加する」を選択します。
- 最後に追加するときは「最後に追加する」を選択します。
- 優先順位の高い条件から順に並びます。
- 登録済みの条件を変更したときは「最後に追加する」は、「最後に移動する」と表示されます。

✔お知らせ

- 条件は優先順位に従って判定されます。たとえば、条件を2件設定した場合、次のように振り分けられます。
  ① 優先順位1の条件に該当するかどうかが判定され、条件に合えば指定のフォルダに保存されます。条件に合わなかったときは②に進みます。
  ② 優先順位2の条件に該当するかどうかが判定され、条件に合えば指定のフォルダに保存されます。条件に合わなかったときは「受信BOX」または「送信BOX」フォルダに保存されます。
- 発信元がｉモード端末で、メールアドレスが携帯電話番号の場合、受信するアドレスは携帯電話番号のみになるので、振り分け条件には携帯電話番号のみを登録してください。「携帯電話番号@docomo.ne.jp」と登録した場合は振り分けられません。
- FOMA端末電話帳とFOMAカード電話帳に同じメールアドレスが登録されている場合、FOMA端末電話帳のメールアドレスを優先して振り分けるため、振り分けの優先度と一致しない場合があります。

### ❖振り分け条件を確認・変更する

〈例〉振り分け条件を確認するとき

**1** [メール]▶[9][3]▶[1]または[2]

**2** 確認する振り分け条件を選択

登録済みの振り分け条件を変更する：

①変更する振り分け条件にカーソルを合わせて[MENU]▶[2]

振り分け条件の指定の操作→P264「振り分け条件を設定する」操作3～5

②「変更する」を選択

優先順位を変更する：

①変更する振り分け条件にカーソルを合わせて[MENU]▶[5]

②移動する位置を選択

- 一覧の最後に移動するときは、「最後に移動する」を選択します。

条件を削除する：

①削除する振り分け条件にカーソルを合わせて[MENU]▶[3]

- 条件をすべて削除するときは[MENU][4]を押し、認証操作を行います。

②「はい」を選択

### ❖自動的に振り分けるかどうかを設定する

【お買い上げ時】［受信振り分け設定、送信振り分け設定］振り分け：ON

- 振り分けを開始するには、「ON」に設定する他に、振り分け条件を設定する必要があります。

**1** [メール]▶[9][3]▶[1]または[2]

**2** [MENU]▶[6]▶[1]または[2]

## ◆メールの署名を設定する〈署名設定〉

[MENU]▶[1][9][4]

### ❖署名を自動挿入するかどうかを設定する

【お買い上げ時】する

新規、返信、転送メール作成時に署名を自動挿入するかどうかを設定します。

**1** [メール]▶[9][4][1]▶[1]または[2]

### ❖署名を登録する

**1** [メール]▶[9][4][2]▶[●]

**2** 署名を入力

- 全角で最大5000文字、半角で最大10000文字入力できます。
- 署名もｉモードメールと同様に装飾（デコレーション）ができます。→P236

**3** [i]［登録］を押す

✔お知らせ

- 署名を登録している場合には、メール本文の入力画面で[MENU]を押し「定型文·パスワード引用」→「署名挿入」を選択すると、「自動挿入」の設定に関わらず署名を挿入できます。ただし、すでにメール本文に装飾や文字などが入力されている場合は、署名に設定した背景色は反映されません。
- ｉモードメールに受信メール本文を引用して返信、転送する場合、署名に設定した背景色は反映されません。
- 署名で登録した文字や画像もメール本文の文字数、添付ファイル数に含まれます。署名とメール本文の文字数、添付ファイル数の合計が送信できるサイズを超えるときは、署名を挿入できません。→P241
- デコメ絵文字（絵文字D）を使用すると、デコメールとして送信されます。
- 次の場合は、SMSに署名を挿入できません。
  - SMS設定で送信文字種を「英語」に設定した場合
  - 送信文字種が「英語」に設定されたSMSに返信、転送する場合
  - 装飾（デコレーション）した署名の場合
  - メール本文に入力済みの文字数と署名の文字数を合わせて、全角・半角を問わず70文字を超える場合

## ◆ｉモード問合せの内容を設定する〈ｉモード問合せ設定〉

MENU▶1 6 4・2 6 3 2

【お買い上げ時】 すべて選択

ｉモード問合せをする際に、ｉモードメール、メッセージR/Fの中から受信する項目を設定します。

**1** ✉▶6 4▶問合せ項目を選択▶📖［登録］

- 全解除のまま登録できません。いずれかを選択してください。

## ◆メールを選択して受信できるようにする〈メール選択受信設定〉

MENU▶1 9 7 2

【お買い上げ時】 OFF

ｉモードメールを自動的に受信せずに、必要なメールだけを選択して受信するように設定します。

**1** ✉▶9 7 2▶1または2

- 「ON」に設定したときは、メールを自動的に受信できない旨のメッセージが表示されます。●を押してください。

**✔お知らせ**

- メール選択受信設定を「ON」に設定している場合、チャットメールは利用できません。

## ◆宛先をメールグループに登録する〈メールグループ〉

MENU▶1 9 6

複数のメールアドレスをメールグループに登録すると、ｉモードメールを簡単な操作で複数の宛先に送信できます。

- メールグループは最大20件登録できます。1つのメールグループには、最大5件のメールアドレスを登録できます。

**1** ✉▶9 6

**2** 📖を押す

メールグループ名を編集する：編集するメールグループにカーソルを合わせてMENU▶2

メールグループをコピーする：コピーするメールグループにカーソルを合わせてMENU▶3

メールグループを1件削除する：削除するメールグループにカーソルを合わせてMENU▶4 1▶「はい」を選択

メールグループを全件削除する：MENU▶4 2▶認証操作▶「はい」を選択

メールグループ内の登録済みのメールアドレスを操作する：メールグループを選択▶操作5に進む

**3** メールグループ名を入力▶📖

- 全角で最大8文字、半角で最大16文字入力できます。
- 続けて別のメールグループを登録する場合は、📖を押します。

**4** メールアドレスを登録するメールグループを選択

**5** ✉▶下記の各項目を選択して設定

**宛先種別**：「TO」「CC」「BCC」を設定します。

**アドレス**：登録するメールアドレスを入力します。

- 半角で最大50文字入力できます。
- メール送受信履歴、電話帳から入力するときはMENUを押して1～3を押し、宛先を選択します。

登録済みのメールアドレスを編集する：編集するメールアドレス（または名前）にカーソルを合わせてMENU▶1▶編集

登録済みのメールアドレスを1件削除する：削除するメールアドレス（または名前）にカーソルを合わせてMENU▶2▶「はい」を選択▶操作7に進む

登録済みのメールアドレスの詳細を表示する：

①MENU▶3

②メールアドレスの確認が終わったら●▶操作7に進む

**6** 📖を押す

- 他のメールアドレスを追加する場合は、操作5から繰り返します。

**7** 📖［登録］を押す

**✔お知らせ**

- 宛先種別にTOがないと、メールを送信できません。
- メールグループから宛先を入力する→P234

## ◆返信時に本文を引用するかどうかを設定する〈メール返信引用設定〉

MENU▶1 9 5 1

【お買い上げ時】 引用：する 引用文字：>

ｉモードメールやSMSに返信する際に、受信メールの本文を引用するかどうかを設定します。また、引用する本文に付ける引用文字を設定します。

**1** ✉▶9 5 1▶下記の各項目を選択して設定▶📖［登録］

**引用**：メール返信時に本文を引用するかどうかを設定します。

**引用文字**：引用文字を入力します。

- 全角で1文字、半角で最大2文字入力できます。
- 引用文字も本文の文字数に含まれます。
- 送信できない文字が設定された場合、お買い上げ時の引用文字が使用されます。

### ✔お知らせ

- メール返信引用設定の設定に関わらず、受信メールの一覧画面および詳細画面でMENUを押し「返信／転送」を選択すると、「返信」（受信メール本文の引用なし）または「引用返信」（受信メール本文の引用あり）を選択できます。

## ◆クイック返信を設定する〈クイック返信設定〉

MENU▶1 9 5 2

【お買い上げ時】 ON

ｉモードメールに返信する際にクイック返信を使用するかどうかを設定します。

**1** 

✉▶9 5 2▶1または2

## ◆クイック返信の本文を登録する〈クイック返信本文登録〉

MENU▶1 9 5 3

【お買い上げ時】 了解です 後で連絡します ごめんなさい m(_ _)m ありがとう(^-^) ＯＫ

- 最大5件登録できます。
- お買い上げ時は、登録されている本文に上書きするか、不要な本文を削除してください。

**1** ✉▶9 5 3

**2** 本文を選択▶本文を入力▶📖▶「はい」を選択

- 全角で最大20文字、半角で最大40文字入力できます。

登録されている本文を確認する：**確認する本文にカーソルを合わせて📖**

登録されている本文を削除する：**削除する本文にカーソルを合わせてMENU▶1▶「はい」を選択**

登録されている本文を全件リセットする：**MENU▶2▶認証操作▶「はい」を選択**

新たに本文を登録する：**「〈新しい返信本文〉」を選択▶本文を入力▶📖**

## ◆メール一覧の表示形式を設定する〈メール一覧表示設定〉

MENU▶1 9 7 5

【お買い上げ時】 2行表示

受信メール、送信メールのメール一覧の表示形式を1行表示または2行表示に設定します。

1行表示

2行表示

- 1行表示に設定すると、受信メールの場合にはカーソル位置のメールの発信元が、送信メールの場合にはカーソル位置のメールの宛先（1件目）が、画面下部に表示されます。
- 未送信メール、FOMAカード内のSMS一覧の表示形式は、本設定に関わらず2行表示です。

**1** ✉▶9 7 5▶1または2

## ◆添付ファイルを受信するかどうかを設定する〈メール受信添付ファイル設定〉

MENU▶1 9 7 3

【お買い上げ時】 すべて選択

ｉモードメールに添付されたファイルを同時に受信するかどうかを、ファイルの種類ごとにあらかじめ設定します。

- 受信しないように設定したファイルは、選択受信添付ファイルとして受信します。→P248

**1** ✉▶9 7 3▶受信するファイルの項目を選択▶📖［登録］

- 「ツールデータ」とは、電話帳データ、ブックマークデータ、スケジュールデータです。
- 「その他」とは、WordやExcel、PowerPoint、その他のファイルです。

**✔お知らせ**

- メール本文中に挿入された画像や貼付されたメロディは、本設定に関わらず受信します。

## ◆メロディを自動再生するかどうかを設定する〈添付ファイル自動再生設定〉

MENU▶1 9 7 4・2 6 3 3

【お買い上げ時】 自動再生する

メロディが添付されているｉモードメールやメッセージR/Fを表示したときに、メロディを自動的に再生するかどうかを設定します。

**1** ✉▶9 7 4▶1 または 2

**✔お知らせ**

- 「自動再生する」に設定した場合、メロディが添付されている受信メール、送信メール、メールテンプレート、メッセージR/Fを表示すると、音量設定のメロディ音量で設定されている音量でメロディが1回再生されます。複数のメロディが添付されているときは順番にメロディが再生されます。再生を途中で止めるときは ch クリア を押します。
- 「自動再生する」に設定しても、メロディの添付されたメッセージR/Fが自動表示されたときは、メロディは自動再生されません。

## ◆表示するメールの種別を選ぶ〈表示種別〉

受信／送信メール一覧に、指定した種別のメールだけを一時的に表示します。表示を終了すると、「すべて表示」に戻ります。

- 未送信メール、FOMAカード内のSMSの表示種別は選択できません。

〈例〉受信メールの表示種別を選択するとき

**1** ✉▶1▶フォルダを選択

送信メール一覧の表示方法→P253

**2** MENU▶7 2▶1〜4

選択した表示種別のメールが表示されます。

- 受信メールの場合、「既読のみ表示」を選択すると、保護されている受信メールは表示されません。
- 送信メールの場合、「すべて表示」「保護のみ表示」が選択できます。

## ◆メールの文字の大きさを変更する〈文字サイズ〉

【お買い上げ時】 コーディネイト／きせかえの設定に従う

受信メールや送信メール、メールテンプレートなどの内容を表示するときの文字サイズを変更します。

- 本機能の設定は受信メール、送信メール、メールテンプレート、microSDメモリーカード内のメールすべてに反映されます。ただし、デコメ絵文字（絵文字D）のサイズは変更されません。
- メール作成時および編集時の文字サイズは変更されません。

大：24ドット

中（標準）：20ドット

小：16ドット

〈例〉受信メール詳細画面で文字サイズを変更するとき

**1** [メール]▶[1]▶フォルダを選択▶メールを選択

送信メール詳細画面の表示方法→P253
メールテンプレート詳細画面の表示方法→P239
FOMAカード内のSMS詳細画面の表示方法→P276

**2** [MENU]▶[3][1]

- メールテンプレートを表示しているときは[MENU][4][1]を押します。

**3** [1]～[3]

✔お知らせ

- microSDメモリーカード内の受信メールや送信メール、未送信メールの詳細画面から操作する場合は、[MENU]を押し「文字サイズ」を選択します。
- 文字サイズの変更は、次に設定を変更するまで保持されます。
- 本機能の設定は文字サイズ設定のメール閲覧にも反映されます。

## ◆操作中のメール受信通知を設定する〈受信・自動送信表示設定〉

[MENU]▶[1][9][7][1]

【お買い上げ時】 通知優先

FOMA端末の操作中にｉモードメールやSMS、メッセージR/Fを受信したときに受信中画面および受信結果画面や圏内自動送信中の画面を優先的に表示するかどうかを設定します。

**1** [メール]▶[9][7][1]▶[1]～[3]

**操作優先**：受信中画面および受信結果画面、送信中画面を表示しません。
**通知優先**：受信中画面および受信結果画面、送信中画面を表示します。
**開：操作/閉：通知 優先**：FOMA端末を開いているときは操作優先、折り畳んでいるときは通知優先になります。

✔お知らせ

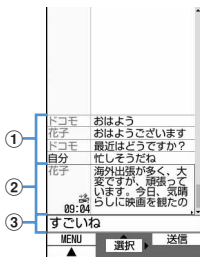
- 「通知優先」に設定して、音声電話中やカメラ起動中、ストリーミングタイプのｉモーション再生中、ｉアプリ動作中、アラーム鳴動中などにｉモードメールやSMS、メッセージR/Fを受信しても、受信中画面および受信結果画面は表示されず、着信音とランプも動作しません。また、送信中画面も表示されません。
- 「操作優先」に設定していても、メニューを表示しているときは、受信中画面や受信結果画面が表示され、着信音とランプも動作します。また、送信中画面も表示されます。
- 次の場合は、本機能の設定に関わらず、受信中画面や受信結果画面が表示されず、着信音とランプも動作しません。また、送信中画面も表示されません。
  - 開閉ロック中（FOMA端末を開いているとき）
  - オールロック中
  - 公共モード中
  - パーソナルデータロック中

チャットメール作成・送信

# チャットメールを作成して送信する

[MENU]▶[1][3]

**複数の相手と会話をするような感覚でメールをやりとりします。メールのやりとりは1つの画面で確認できます。**

- チャットメールを使用するには、あらかじめ相手のメールアドレスをチャットメンバーに登録しておく必要があります。
- メール選択受信設定を「ON」に設定している場合、またはメールの保存領域に空きがない場合はチャットメールを利用できません。
- チャットメール非対応端末にチャットメールを送信した場合、受信側の端末は題名に「チャットメール」と記載されたメールを受信します。また、チャットメンバーに登録しているチャットメール非対応端末から、題名に「チャットメール」が含まれたメールを受信した場合、チャットメールとして受信できます。
- 複数の相手とチャットメールをやりとりした場合の通信料は、メール同報送信の場合と同じです。

### ❖チャットメール画面の見かた

チャットメール画面

①送受信履歴

最新の履歴から最大100件表示されます。

- ガイド表示領域に▲や▼が表示されているときは、[ナビ]を押すとスクロールできます。[i]や[メール]を押すと、画面単位でスクロールできます。また、[MENU][5][1]を押すと先頭行に移動し、[MENU][5][2]を押すと最終行に移動して表示されます。
- 左側に発信者のニックネームが表示されます。

②詳細表示欄

最新のチャットメールの詳細を表示します。[ナビ]を押すと、送受信履歴のチャットメールの詳細を表示できます。チャットメールの表示可能文字数は全角で最大250文字、半角で最大500文字です。

- 詳細表示欄に表示しきれない場合は、欄下の左右に◀▶が表示されます。[ナビ]を押すと、欄内のページが切り替わります。
- 左側に発信者のニックネームと送受信した日時（当日の場合は時刻、当日以外の場合は日付）が表示されます。チャットメンバーに未登録の同報アドレスが含まれるメールの場合は、[アイコン]が表示されます。海外滞在時（GMT+09:00を除く）に送受信した場合は[アイコン]が表示される場合があります。

③本文の入力欄

## ◆チャットメンバーを登録する〈チャットメンバー設定〉

- チャットメンバーに登録できるのは、最大5件です。同じメールアドレスは複数登録できません。

**1** [メール]▶[3]

メンバーを登録するかどうかの確認画面が表示されます。

- メンバーがすでに登録されている場合は、チャットメール画面が表示されます。メンバーを追加登録するときは、[MENU][7]を押して操作3に進みます。

**2** 「はい」を選択

**3** [メール]を押す

**4** 下記の各項目を選択して設定▶[帳]

**アドレス**：メールアドレスを入力します。

- 半角で最大50文字入力できます。
- メンバーに登録する相手がシークレットコードを登録している場合は、電話帳に相手のメールアドレスまたは電話番号を登録し、シークレットコードを設定します。その後、電話帳からの検索、または相手の携帯電話番号のみを直接入力してメンバーに登録します。
- メール送受信履歴、電話帳から入力するときは[MENU]を押して[1]～[3]を押し、宛先を選択します。

**ニックネーム**：チャットメール画面で表示するニックネームを入力します。

- 全角で最大4文字、半角で最大8文字入力できます。
- アドレス入力欄のメールアドレスと電話帳に登録したメールアドレスが一致すると、電話帳に登録した名前（先頭から全角4文字、半角8文字まで）が表示されます。
- 入力しなかった場合、チャットメール画面では、メールアドレスの@マークより前の部分の先頭から8文字が表示されます。

**文字色**：ニックネームの色を選択します。

**5** [帳]［登録］を押す

- メンバーを追加登録する場合は[メール]を押し、操作4を繰り返します。

## ◆チャットメールを作成して送信する

- チャットメール送信時は、登録したメンバー全員に送信する設定になっています。送信画面でメンバーを選択することもできますが、チャットメールを終了したり、メンバーの登録内容を変更したりすると、メンバー全員が選択された状態になります。
- 送信したチャットメールは、送信メール内のフォルダに保存されます。

**1** [メール]▶[3]

- メンバーを登録するかどうかの確認画面が表示された場合は「はい」を選択してメンバー登録をしてください。

**2** **本文の入力欄を選択▶本文を入力**

- 全角で最大250文字、半角で最大500文字入力できます。

チャットメール画面の履歴から本文をコピーして貼り付ける：

①**コピーするチャットメールにカーソルを合わせて**MENU▶6

文字のコピー方法→P450

②**本文の入力欄を選択▶貼り付ける位置にカーソルを合わせて**MENU▶3

文字の貼り付け方法→P450

送信するメンバーを選択する：

①MENU▶3▶**メンバーを選択**

②📖**を押す**

宛先が設定されます。

**3** 📖**［送信］を押す**

- 正常に送信されると、送信されたチャットメールがチャットメール画面に表示されます。

受信したメールの同報アドレス全員に返信する：MENU▶2 2

**✔お知らせ**

- 送信に失敗したり、チャットメール終了時に未送信だったチャットメールは未送信メール内の「未送信BOX」フォルダに保存されます。「未送信BOX」フォルダにはチャットメールは1件のみ保存できます。別のチャットメールの送信に失敗すると、「未送信BOX」フォルダに保存されているチャットメールは上書きされます。また、「未送信BOX」フォルダに保存されているチャットメールは、チャットメール起動時に本文の入力欄に表示されます。再送信するときは、チャットメール画面から送信してください。

## ◆チャットメールを受信する〈チャットメール受信〉

### ❖チャットメールを起動していないとき

チャットメールまたは題名に「チャットメール」が含まれたメールを受信したときは、受信メール内のフォルダに保存されます。チャットメンバーに登録している相手から受信した場合、チャットメールを起動すると、自動的にチャットメール画面に読み込まれます。チャットメンバーに登録していない相手から受信した場合、チャットメール画面に読み込むには、次の操作に従ってチャットメンバーに登録し、チャットメール画面に読み込んでください。題名に「チャットメール」が含まれたメールのみ、チャットメール画面に読み込めます。

**〈例〉チャットメンバーに登録していない相手からチャットメールを受信したとき**

**1** ✉▶1▶**フォルダを選択▶読み込む受信メールにカーソルを合わせて**MENU▶7 5

**2** **「はい」を選択**

**3** **登録するメンバーを選択▶編集**

チャットメンバー設定方法→P270「チャットメンバーを登録する」操作4～5

**4** **「はい」を選択**

**✔お知らせ**

- 受信メール詳細画面から操作する場合は、MENUを押し「表示」→「チャットメール表示」を選択します。また、題名に「チャットメール」が含まれた送信メールも同様に操作できます。
- デコメールやパソコンなどから受信したHTMLメールは、チャットメール画面に読み込めません。

### ❖チャットメールを起動しているとき

チャットメンバーに登録している相手からチャットメール、または題名に「チャットメール」が含まれたメールを受信したときは、履歴を更新する旨のメッセージが表示され、チャットメール画面に読み込まれます。チャットメール起動中にFOMA端末を開いているときは、チャットメールやメール、メッセージR/Fを受信しても、着信音やバイブレータなどは動作しません。チャットメンバーに登録していない相手から、題名に「チャットメール」が含まれたメールを受信したときは、受信メール内のフォルダに保存されます。
「チャットメールを起動していないとき」の操作に従って、チャットメール画面に読み込んでください。
→P271

### ❖ｉモードセンターに保管されているチャットメールを受信するとき

圏外にいた間や電源を切っていた間などにチャットメールが届いていないかを問い合わせます。このとき、ｉモードセンターにｉモードメールが保管されていると、同時に受信します。

**1 チャットメール画面で[MENU]▶[1]**

チャットメールがある場合は、履歴を更新する旨のメッセージが表示され、受信したチャットメールがチャットメール画面に追加されます。

### ❖同報アドレスを表示する

受信したチャットメールに同報がある場合は、同報アドレスを表示して確認できます。

**1 チャットメール画面で、同報アドレスを確認するチャットメールにカーソルを合わせて[MENU]▶[4]**

- メンバー登録されていない同報者はニックネームの代わりに「未登録」と表示されますが、メールアドレスが電話帳に登録されている場合は、電話帳に登録された名前が表示されます。[●]を押すとメールアドレスを確認できます。

未登録の同報者をチャットメンバーとして登録する：**同報アドレス一覧画面で登録する同報アドレスにカーソルを合わせて[📖]**
以降の操作→P270「チャットメンバーを登録する」操作4～5

同報アドレスをコピーする：**同報アドレス一覧画面でコピーする同報アドレスにカーソルを合わせて[MENU]▶[2]**

### ❖チャットメールの履歴をすべて削除する

- 受信メール、送信メールのフォルダ内に保存されているチャットメールも削除されますが、保護されているメールは削除されません。

**1 チャットメール画面で[MENU]▶[9]▶「はい」を選択**

✔お知らせ

- チャットメールにｉモードメールとして返信するときは、ｉモードメールと同じ操作で返信します。
- チャットメール画面では、本文中に情報（電話番号、メールアドレス、URLなど）が含まれていても、Phone To（AV Phone To）、Mail To、Web Toなどは使用できずｉアプリToの機能も使用できません。また、添付ファイルも表示されません。チャットメールを削除せずに終了し、受信メール内のフォルダからチャットメールを表示すると、これらの機能が使用できます。
- 受信メール内のフォルダからチャットメールを削除した場合は、チャットメール画面のニックネームが「--------」、日付または時刻が「--/--」、本文が「削除されました」と表示されます。
- チャットメール画面で受信したチャットメールは、受信メール内のフォルダでは既読になります。
- メール連動型ｉアプリからメールを送受信した場合、題名に「チャットメール」が含まれたメールはチャットメール画面に表示できます。

## ◆チャットメンバーを編集する

チャットメンバーの登録内容の変更や、メンバーの追加、削除を行います。
メンバー全員の登録内容の詳細を確認したり、メンバーを入れ替えたりすることもできます。

**1 チャットメール画面で[MENU]▶[7]**

**2 編集するメンバーを選択▶編集**

チャットメンバー設定方法→P270「チャットメンバーを登録する」操作4

チャットメンバーを1件削除する：**削除するメンバーにカーソルを合わせて[MENU]▶[2]▶「はい」を選択**

チャットメンバーの詳細を表示する：
①[MENU]▶[3]
②**詳細の確認が終わったら[●]**

チャットメンバーを追加する：**[✉]を押す**
チャットメンバー設定方法→P270「チャットメンバーを登録する」操作4

チャットメールのメンバー全件をメールグループと入れ替える：
①[MENU]▶[5]
②**入れ替えるメールグループを選択▶「はい」を選択**
チャットメールのメンバーが、選択したメールグループに登録されているメンバーと入れ替わります。

**3 [📖]［登録］を押す**

## ◆個人情報を設定する

チャットメール画面に表示する自分のニックネームとその文字色を設定します。

**1 チャットメール画面で[MENU]▶[8]▶下記の各項目を選択して設定▶[📖]［登録］**

**ニックネーム**：チャットメール画面で表示するニックネームを入力します。
- 全角で最大4文字、半角で最大8文字入力できます。
- 入力しなかった場合、チャットメール画面では「自分」と表示されます。

**文字色**：ニックネームの色を選択します。

## ◆チャットメールを終了する

**1 チャットメール画面で[📺]または[ch クリア]▶「はい」または「いいえ」を選択**

- 「はい」を選択すると、チャットメールがすべて削除されます。その場合、受信メール、送信メールのフォルダ内に保存されているチャットメールも削除されますが、保護されているメールは削除されません。
- 「いいえ」を選択すると、次回のチャットメール起動時に前回のチャットメールが表示されます。

SMS作成・送信

# SMS（ショートメッセージ）を作成して送信する

[MENU]▶[1][7][1]

**SMSを作成して送信します。送信せずに保存することもできます。**

- ドコモ以外の海外通信事業者をご利用のお客様との間でも、送受信できます。ご利用可能な国・海外通信事業者については、ドコモのホームページをご覧ください。
- 最大保存件数→P541
- 受信、送信、未送信のSMS一覧／詳細画面の見かた→P254

**〈例〉宛先を直接入力してSMSを作成・送信するとき**

**1 [✉]▶[7][1]▶宛先の入力欄を選択**

**2 「直接入力」を選択▶宛先を入力**

半角数字で20文字まで入力して送信できます。
- 宛先がドコモ以外の海外通信事業者の場合は、「+」を含めた21文字まで入力して送信できます。
- 宛先がドコモ以外の海外通信事業者の場合は、「+」（[0]を1秒以上押す）「国番号」「相手の携帯電話番号」の順で入力するか、または「010」「国番号」「相手の携帯電話番号」の順で入力します（受信した海外からのSMSに返信する場合も、「+」または「010」を入力します）。携帯電話番号が「0」で始まる場合は「0」を除いて入力します。

メール送受信履歴から入力する：**「メール送信履歴」または「メール受信履歴」を選択▶SMSを送信するメール送受信履歴を選択**

電話帳を検索して入力する：**「電話帳参照」を選択▶電話帳を検索▶SMSを送信する電話帳データを選択**

**3 本文の入力欄を選択▶本文を入力**

- SMS設定で送信文字種を「日本語」に設定した場合は、全角・半角を問わず最大70文字入力できます。「英語」に設定した場合は、半角の英数字と記号で最大160文字入力できます（｀。「」、・゛゜を除く）。
- [#]を押すと改行できます（全角／半角数字入力モード時を除く）。改行も本文の文字数に含まれます。ただし、相手の端末によっては空白に置き換わります。

署名を挿入する：[MENU]▶[4][6]
- 署名はあらかじめ登録しておく必要があります。なお、登録した署名の内容などによっては挿入できません。→P265「メールの署名を設定する」お知らせ

**4 [📖]［送信］を押す**

- 送信せずに保存する場合は、[MENU][2]を押すと未送信メール内の「未送信BOX」フォルダに保存されます。

**✔お知らせ**

- 電波状況や送信する文字の種類、相手の端末によっては、相手に文字が正しく表示されない場合があります。
- 送信する文字種や送達通知を受け取るかどうかは、あらかじめSMS設定で設定します。また、送達通知、有効期間の設定はSMSの作成開始後に変更することもできます。
- 送信文字種が英語の場合は、記号（| ^ { } [ ] ~ ¥）を入力すると送信できる文字数が少なくなります。また、記号（ ` ）は入力できますが、送信すると受信側で空白に置き換わって表示されます。
- 送信に失敗したときはエラーメッセージが表示され、SMSが未送信メール内の「未送信BOX」フォルダに保存されます。未送信メール内の「未送信BOX」フォルダからSMSを編集、送信できます。→P243
- 送信が正常に終了したときは、SMSが送信メール内のフォルダに保存されます。保存領域の空きが足りないときや最大保存件数を超えるときは、古い送信メールから順に消去されます。残しておきたい送信メールは保護してください。
- 送達通知を「要求する」に設定して送信した場合は、SMSが相手のFOMA端末に届いたことを知らせる送達通知が送られてきます。送達通知は受信メール内のフォルダに保存されます。
- 発信者番号通知設定を「通知しない」に設定していても、SMS送信時は送信相手に発信者番号が通知されます。
- 保存領域の空きが足りないときや最大保存件数を超えるときは、SMSを作成できません。未送信メール内のフォルダから不要なｉモードメール、SMSを削除してください。
- 2in1を利用しているときは、BナンバーではSMSは送信できません。

### ❖送信・保存したSMS（ショートメッセージ）を編集・送信する

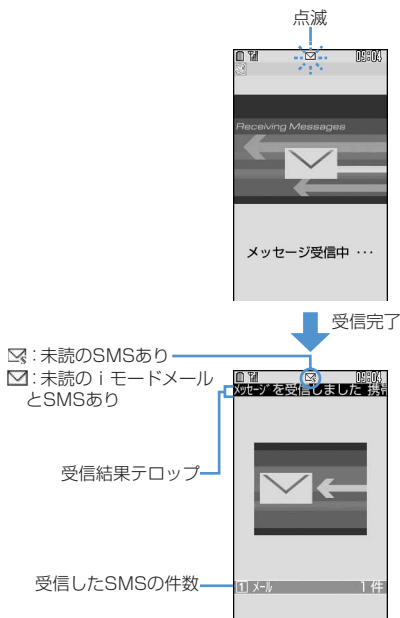
送信済みのSMSや、送信せずに保存したり送信に失敗したりしたSMSを編集、送信できます。→P243

SMS受信

## SMS（ショートメッセージ）を受信したときは

- 最大保存件数→P541

### 1 SMSを受信

受信完了

が点滅し、「メッセージ受信中…」と表示されます。
メール着信音が鳴り、ランプが点灯または点滅して受信結果画面が表示されます。
受信したSMSは受信メール内のフォルダに保存されます。

- SMS受信中に［電源終了キー］を押すと受信を中止します。
- FOMA端末を折り畳んでいるときは、背面ディスプレイに受信状態が表示されます。
- 受信結果画面が表示されてから約15秒間、メール着信設定で鳴動時間を15秒以上に設定したときは着信音が鳴り終わるまでの間、何も操作しないと自動的に受信前の画面に戻ります。それより前に受信前の画面に戻すときは［ch クリア］を押します。

受信したSMSをすぐに読む：
① 受信結果画面で●または1
② フォルダを選択▶表示するSMSを選択
- 受信したSMSに返信したり、転送したりできます。→P246、P247

受信に失敗したとき：
受信結果画面の「メール」の後ろに「×」が表示されます。受信し直すには、SMS問合せを行ってください。

**✔お知らせ**
- SMSを受信したときは、ｉモードメール受信時の動作に設定した着信音、バイブレータ、着信イルミネーション、着信イルミネーションカラーそれぞれの優先順位に従って動作します。複数のメール、メッセージR/Fを同時に受信したときは、最後に受信したメール、メッセージR/Fに設定した条件に従って動作します。
- 受信・自動送信表示設定の設定内容によっては、受信中画面や受信結果画面は表示されません。
- 着信／受信時動作設定の設定内容によって、受信結果テロップの内容が異なったり、表示されなかったりします。
- 保存領域の空きが足りないときや最大保存件数を超えるときは、未読以外の古い受信メールから順に消去されます。残しておきたい受信メールは保護してください。
- ｉモードメール、メッセージR/F受信中はSMSを自動受信しません。SMS問合せを行ってください。
- ドコモ以外の海外通信事業者からSMSを受信した場合は、発信元のアドレスに自動的に「+」が付きます。電話帳に「+」を付けて登録していると、電話帳で登録している名前が表示されます。
- スキャン機能設定のメッセージスキャンを「有効」に設定しているときに、電話番号やURLの記載が含まれているSMSを表示しようとすると、注意する旨のメッセージが表示されます。
- 未読メールと保護されているメールで保存領域が満杯で上書きできないときは、SMSの受信は中止され、画面にはや（アイコン）が表示されます。受信する場合は、未読メールの既読への変更（→P259）、未読メールの内容表示（→P253）、不要メールの削除（→P260）、保護解除（→P259）などを行う必要があります。
- FOMAカードにSMSが最大件数（20件）保存されているときは、受信メール内のフォルダに空きがあっても、SMSを受信できない場合があります。このとき、画面にはや（アイコン）が表示されます。FOMA端末に移動するか（→P277）、FOMAカード内のSMSを削除してください。→P277
- FOMAカードへの保存を指定されているSMSを受信すると、直接FOMAカードに保存されます。ただし、FOMAカード内に保存されているSMSが20件に達している場合は、SMSを受信できません。不要なSMSを削除してから、もう一度SMS問合せを行ってください。

SMS問合せ

## SMS（ショートメッセージ）があるかどうかを問い合わせる

MENU▶1 6 2

**圏外にいた間や電源を切っていた間などに、SMSが届いていないかを問い合わせます。**
- 電波状態によってはSMS問合せができない場合があります。

**1** ✉▶6 2

SMSセンターにSMSが保管されていると受信します。

**✔お知らせ**
- 受信するまでに時間がかかる場合があります。
- 「＊143＃」をダイヤルしてもSMS問合せができます。

SMS設定

## SMS（ショートメッセージ）の設定を行う

MENU▶1 7 4

【お買い上げ時】 送信文字種：日本語　送達通知：要求しない　有効期間：3日　SMSC：ドコモ　アドレス：81903101652　Type of Number：international

**SMSを利用する際の各種条件を設定します。**

**SMSC、アドレス、Type of Numberの設定は、通常変更する必要はありません。**

**1** ✉▶7 4▶下記の各項目を選択して設定▶📖［登録］

**送信文字種**：送信するメッセージを日本語にするか、英語にするかを選択します。文字種により送信できる文字数が異なります。
**送達通知**：SMSを送信する際に、送達通知の配信を要求するかどうかを設定します。
**有効期間**：送信したSMSを相手が受け取れないときに、SMSセンターで保管する期間を選択します。
- 「0日」を設定すると一定時間再送された後、削除されます。

**SMSC**：ドコモ以外のSMSサービスを受ける場合に設定します。
- 「その他」に設定したときは、アドレスの入力欄にメールアドレスを入力します。半角で最大20文字入力できます。

Type of Number：「international」「unknown」のどちらかを設定します。
SMSCに「その他」を選択し、かつメールアドレスに数字のみ、あるいは「＊」「＃」を含んだ番号を設定した場合は、Type of Numberを「unknown」に設定する必要があります。

✔お知らせ

- SMSの作成画面から操作する場合は、(機能)を押し「SMS設定」を選択します。その場合には、送達通知、有効期間のみ設定できます。また、作成中のSMSにだけ有効です。
- 送信文字種、有効期間、SMSC、Type of Numberの設定は、FOMAカードに保存されます。

FOMAカード保存SMS

# SMS（ショートメッセージ）をFOMAカードに保存する

## ◆SMS（ショートメッセージ）をFOMAカードに移動／コピーする

- 未送信SMSは、FOMAカードに保存できません。
- 送達通知のある送信SMSを移動またはコピーすると、対応する送達通知が同時に移動またはコピーされます。送信SMSだけ、または送達通知だけを移動またはコピーできません。
- 最大保存件数→P541

〈例〉受信SMSをFOMAカードに1件移動するとき

**1** (メール)▶1▶フォルダを選択

送信SMS一覧の表示方法→P253

**2** 移動するSMSにカーソルを合わせて(機能)▶4 2 1

複数移動する：(機能)▶4 2 2▶移動するSMSを選択▶(m)

1件コピーする：コピーするSMSにカーソルを合わせて(機能)▶4 3 1

複数コピーする：(機能)▶4 3 2▶コピーするSMSを選択▶(m)

**3**「はい」を選択

✔お知らせ

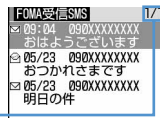
- 受信メール詳細画面、送信メール詳細画面から操作する場合は、(機能)を押し「移動／コピー」→「FOMAカードへ移動」または「FOMAカードへコピー」を選択します。
- FOMAカードにSMSが20件保存されているときは、移動またはコピーできません。FOMAカードから不要なSMSを削除してください。
- 保護したSMSをFOMAカード内に移動／コピーすると、移動／コピー先で保護は解除されます。

## ◆FOMAカード内のSMS（ショートメッセージ）を表示する

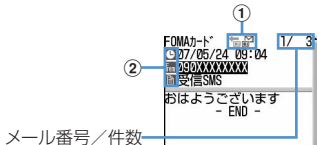
(機能)▶1 7 2／1 7 3

〈例〉受信SMSを表示するとき

**1** (メール)▶7 2

FOMA受信SMS一覧画面では、SMSは2行で表示されます。1行目には受信日時と発信元または宛先が表示され、2行目には本文の先頭または「SMS送達通知」「留守番　着信通知」「留守番　テレビ電話」が表示されます。

ページ番号／総ページ数

- マークの意味は次のとおりです。
  - ：未読（返信可）　：未読（返信不可）
  - ：既読（返信可）　：既読（返信不可）
  - ：送達通知、着信通知、伝言通知
  - ：SMS違反
- 一覧の既読、未読のマークは、FOMAカード内のSMSを表示したかどうかを示します。移動またはコピー前の未読、既読の状態も引き継がれます。
- 海外から送られてきたSMSでは発信元の先頭に「＋」が表示されます。
- 送信SMSを表示するときは(メール)7 3を押します。
- データ異常のSMSにはやが表示されます。が表示されたSMSは、受信日時は「--/--」（受信当日のみ）になり、発信元は表示されません。が表示されたSMSは、詳細表示が不可能なSMSです。
- 海外滞在時（GMT+09:00を除く）に受信したSMSには、受信した日時の後ろにが表示される場合があります。

## 2 表示するSMSを選択

- マークの意味は次のとおりです。
  - ①マーク
    - ：受信（返信可）　：受信（返信不可）
    - ：送信
    - ：送達通知、着信通知、伝言通知
    - ：FOMAカード内のSMS
  - ②マーク
    - ：日時　：宛先
    - ：発信元　：発信元（返信不可）
    - ：題名「受信SMS」「送信SMS」「SMS送達通知」「留守番　着信通知」「留守番　テレビ電話」
- 送達通知の場合は「SMS Center」、着信通知の場合は「DoCoMo SMS」、伝言通知の場合は「DoCoMo MSG」と発信元に表示されます。
- 送信SMSをFOMAカードに移動またはコピーした場合、FOMAカード内の送信SMSから送信日時のデータが消去されます。ただし、送達通知のある送信SMSの場合は、送信日時が表示されます。
- データ異常のSMSにはの代わりにが表示され、以外は表示されません。
- 海外滞在時（GMT+09:00を除く）に受信したSMSには、受信した日時の後ろにが表示される場合があります。

**✔お知らせ**

- FOMAカード内のSMSからも、受信SMSの返信や転送、送信SMSの再送信、文字サイズの変更、電話帳登録などの操作ができます。操作方法は受信SMS、送信SMSと同じです。
- FOMAカード内のSMSから返信や転送、再送信などを行った場合の送信済みのSMSは、FOMA端末の送信メール内のフォルダに保存されます。

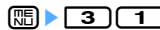
## ◆FOMAカード内のSMS（ショートメッセージ）をFOMA端末に移動／コピーする

- 送達通知のある送信SMSを移動またはコピーすると、対応する送達通知が同時に受信メール内のフォルダに移動またはコピーされます。送信SMSだけ、または送達通知だけを移動またはコピーできません。

〈例〉受信SMSをFOMA端末に1件移動するとき

**1** [✉]▶[7][2]

FOMAカード内の送信SMS一覧の表示方法→P276

**2** 移動するSMSにカーソルを合わせて[MENU]▶[3][1]

複数移動する：[MENU]▶[3][2]▶移動するSMSを選択▶[📖]

1件コピーする：コピーするSMSにカーソルを合わせて[MENU]▶[3][3]

複数コピーする：[MENU]▶[3][4]▶コピーするSMSを選択▶[📖]

**3** [●]▶移動先フォルダを選択▶「はい」を選択

**✔お知らせ**

- FOMAカード内のSMS詳細画面から操作する場合は、[MENU]を押し「移動／コピー」→「本体へ移動」または「本体へコピー」を選択します。
- 保存領域の空きが足りないときや最大保存件数を超えるときは、移動またはコピーできません。保護されていないｉモードメールやSMSがあっても上書きされません。受信メール、送信メール内のフォルダから不要なｉモードメール、SMSを削除してください。

## ◆FOMAカード内のSMS（ショートメッセージ）を削除する

- 送信SMSを削除した場合、対応する送達通知がFOMAカード内にある場合は、同時に削除されます。

〈例〉受信SMSを1件削除するとき

**1** [✉]▶[7][2]

FOMAカード内の送信SMS一覧の表示方法→P276

**2** 削除するSMSにカーソルを合わせて [MENU]▶[2][1]

複数削除する：[MENU]▶[2][2]▶削除するSMSを選択▶[□]

全件削除する：[MENU]▶[2][3]▶認証操作

送達通知を全件削除する：[MENU]▶[2][4]▶認証操作

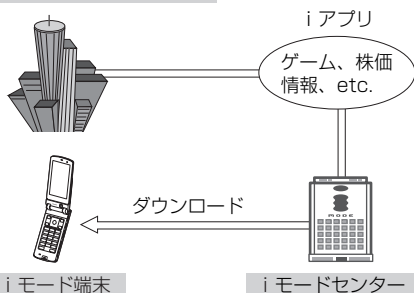
**3** 「はい」を選択

**✔お知らせ**

- FOMAカード内のSMS詳細画面から操作する場合は、[MENU]を押し「削除」を選択します。

# ｉアプリ

## ｉアプリとは

ｉアプリをサイトからダウンロードすることにより、ｉモード対応FOMA端末（以下、ｉモード端末）がさらに便利になります。たとえば、ｉモード端末にさまざまなゲームをダウンロードして楽しんだり、株価情報のｉアプリをダウンロードすることにより、株価を定期的に自動チェックしたりできます。さらに、地図のｉアプリでは、必要なデータだけをダウンロードするため、スムーズにスクロールできます。また、ｉアプリから電話帳やスケジュールに直接登録できるものや、画像保存、画像取得などデータBOXと連動できるｉアプリもあります。

ｉアプリをダウンロードする→P282
ｉアプリを起動する→P283
ｉアプリを自動起動する→P292

### ✔お知らせ

- ｉアプリによってはｉモード端末の携帯電話／FOMAカード（UIM）の製造番号を利用する場合があります。
- ｉアプリによっては実行時に通信を行うものがあります。通信を行わないように設定することもできます。→P285

### ❖登録データを利用する

ｉアプリには、お客様のｉモード端末の登録データ（電話帳、ブックマーク、スケジュール、画像、動画、トルカ、アイコン情報）を参照、登録、操作できるものがあります。登録データを利用してできることは次のとおりです。

- 電話帳登録
- アイコン情報利用
- ブックマーク登録
- スケジュール登録
- データBOXからの画像取得
- データBOXへの画像、動画保存
- トルカ一覧からのトルカ参照、取得
- トルカ一覧へのトルカ保存
- microSDメモリーカードの利用

### ✔お知らせ

- ｉアプリにより画像、動画が保存される場合は、それぞれマイピクチャ内の「ｉモード」「デコメピクチャ」「デコメ絵文字」フォルダ、ｉモーション内の「ｉモード」フォルダ、またはｉアプリ内に保存されます。トルカが保存される場合は、トルカ一覧の「トルカフォルダ」に保存されます。

## ◆ｉアプリDXとは

ｉアプリDXは、ｉモード端末の情報（メールや発着信履歴、電話帳データなど）と連動することにより、お好みのキャラクタ画面でメールを作成したり、着信時にキャラクタのコメントで誰からの着信かを知らせたり、メールと連動して株価などの情報やゲームの進行をよりリアルタイムに更新したりするなど、ｉアプリをより便利に楽しく利用できます。

### ❖登録データを利用する

ｉアプリDXには、通常のｉアプリで利用できる登録データ（電話帳、ブックマーク、スケジュール、画像、動画、トルカ、アイコン情報）だけでなく、メール、リダイヤル、着信履歴、着信音などの登録データを参照・登録・操作できるものがあります。
登録データを利用してできることは次のとおりです。

- 電話帳登録
- 電話帳参照
- アイコン情報利用
- ブックマーク登録
- スケジュール登録
- メールメニューの利用
- メール作成画面利用
- 最新のリダイヤル参照
- 最新の着信履歴参照
- 最新の未読メール参照
- 着信音変更（電話、メール、メッセージR/F）
- データBOXからの画像取得
- データBOXへの画像、動画、着信音保存
- トルカ一覧からのトルカ参照、取得
- トルカ一覧へのトルカ保存
- 画像設定の変更（待受画面、電話の発着信、テレビ電話の着信、メール送受信、メッセージR/F受信）
- microSDメモリーカードの利用
- 位置情報の利用

✔お知らせ

- ｉアプリDXでは、ｉアプリの有効性を確認するため、ｉアプリの通信設定に関わらず通信する場合があります。通信回数やタイミングはｉアプリによって異なります。
- ｉアプリDXにより画像、動画、着信音が保存される場合は、それぞれマイピクチャ内の「ｉモード」「デコメピクチャ」「デコメ絵文字」フォルダ、ｉモーション、メロディ内の各「ｉモード」フォルダ、またはｉアプリ内に保存されます。トルカが保存される場合は、トルカ一覧の「トルカフォルダ」に保存されます。

## ◆メール連動型ｉアプリとは

メール連動型ｉアプリはｉアプリDXの一種で、ｉモードメールで情報をやりとりすることにより、株価などの情報やゲームの進行がリアルタイムに更新されるなど、ｉアプリをより便利に楽しく利用できます。

- メール連動型ｉアプリで利用されるメールは、正しく表示できない場合があります。

## ◆おサイフケータイ対応ｉアプリとは

おサイフケータイ対応ｉアプリを使ってICカード内のデータの読み書きを行い、電子マネーや乗車券をダウンロードしたり、その残高や利用履歴を確認するなど、便利な機能がご利用いただけます。

- おサイフケータイ対応ｉアプリを利用すると、ご契約しているサービスのIP（情報サービス提供者）などにICカード内の情報が送信されます。

おサイフケータイとは→P300

## ◆GPS対応ｉアプリとは

GPS対応ｉアプリでは、GPS機能を利用することにより、現在地のタウン情報などがより簡単に探せたり、地図上に自分の現在地を表示させ目的地までのナビゲーションができるなど、便利な機能がご利用いただけます。

- GPS対応ｉアプリを利用すると、利用するｉアプリの情報提供者に位置情報が送信されます。
- GPS対応ｉアプリでGPS機能を利用する場合、利用するｉアプリの位置情報利用設定を「利用する」に設定する必要があります。

## ◆こんなこともできます

### ■ｉアプリ待受画面

ｉアプリを待受画面として利用でき、そのままメールを受信したり、電話をかけることもできます。ニュースや天気の最新情報を待受画面に表示させたり、お好みのキャラクタにメール受信やアラームを知らせてもらったり、より便利な待受画面にできます。→P135、P285、P293

- ｉアプリ待受画面に対応したｉアプリで利用できる機能です。

### ■ｉアプリの自動起動

時刻や日付、曜日などを指定して、ｉアプリを自動起動できます。あらかじめｉアプリに設定されている時間間隔で自動起動できるｉアプリもあります。→P292

### ■カメラ撮影

ｉアプリからｉモード端末のカメラを使って撮影できます。→P296

- カメラ撮影機能に対応したｉアプリで利用できる機能です。

### ■赤外線通信

ｉアプリから赤外線通信機能が搭載された機器※と通信できます。→P297

- 赤外線通信機能に対応したｉアプリで利用できる機能です。

※ 相手の機器によっては、赤外線通信機能が搭載されていても通信できないデータがあります。

### ■赤外線リモコン

ｉアプリから赤外線リモコンに対応した家電機器など、各種機器を操作できます。→P392
たとえば、お買い上げ時に登録されている「Gガイド番組表リモコン」では、テレビ番組表と連動したAVリモコンとして利用できます。→P289

- 赤外線リモコン機能に対応したｉアプリで利用できる機能です。相手の機器に対応したｉアプリが必要です。

## ｉアプリをダウンロードする

**サイトからｉアプリをダウンロードしてFOMA端末に保存します。**

- 電波状況などによりｉアプリのダウンロードに失敗した場合、そのｉアプリはFOMA端末に保存されません。
- 保存できるｉアプリのサイズは1件あたり最大1Mバイトです。
- 最大保存件数→P541

### 1 ｉアプリのあるサイトを表示▶ｉアプリを選択

選択したｉアプリがダウンロードされます。

- ダウンロード中に◉を押し、終了するかどうかの確認画面で「はい」を選択するとダウンロードを中止します。ただし、ｉアプリによっては再開するかどうかの画面が表示されます。

**ICカード内にFOMAカード情報が保存されていない場合におサイフケータイ対応ｉアプリをダウンロードするとき**

FOMAカード情報とICカードの対応付けを行う旨のメッセージが表示されます。「OK」を選択するとダウンロードされます。

**ソフト情報表示設定を「表示する」に設定しているとき**

ｉアプリの情報が表示されます。「はい」を選択すると、ｉアプリがダウンロードされます。

- 📖を押すと、ダウンロードするｉアプリの詳細情報を表示できます。

**登録データや携帯電話／FOMAカード（UIM）の製造番号、ICカードの製造番号、microSDメモリーカードを利用するｉアプリをダウンロードするとき**

ダウンロードするかどうかの確認画面が表示されます。「はい」を選択すると、ｉアプリがダウンロードされます。

- ガイド表示領域に「ガイド」と表示された場合に📖を押すと、そのｉアプリが利用するデータの詳細を確認できます。

**選択したｉアプリがすでにダウンロードされているとき**

「ダウンロード済みです」というメッセージが表示されます。ｉアプリのバージョンが更新されているときは、バージョンアップするかどうかの確認画面が表示されます。「はい」を選択すると、ｉアプリがダウンロード（バージョンアップ）されます。

**選択したｉアプリがすでに異なるFOMAカードでダウンロードされているとき**

上書きするかどうかの確認画面が表示されます。「はい」を選択すると、ダウンロードしたｉアプリが上書きされます。

### 2 保存先を選択

- ｉアプリによっては待受画面（ｉアプリ待受画面）、通信設定、位置情報（位置情報利用設定）、番組表ボタン設定の設定画面が表示されます。各項目を選択して設定してください。各設定項目→P285「ｉアプリの動作条件を設定する」操作1

### 3 「はい」を選択

ダウンロードしたｉアプリが起動します。

- 「いいえ」を選択すると、サイト画面に戻ります。
- 待受画面を「設定する」に設定した場合は待受画面に設定するかどうかの確認画面が表示されます。「はい」を選択すると待受画面に設定され、テロップ表示設定を「表示する」に設定している場合はテロップ表示が解除されます。
- 2in1がONでBモードのときにメール機能を利用するｉアプリをダウンロードし、設定画面が表示されているときは📖を押してください。設定画面が表示されていないときはサイト画面に戻ります。

**✔お知らせ**

- 保存領域の空きが足りないときや最大保存件数を超えるときは、画面の指示に従って、保存されているｉアプリを削除してください。ただし、ダウンロードに失敗した場合でも、削除したｉアプリや同時に削除したmicroSDメモリーカード内のデータは元に戻りません。
- ｉアプリの保存領域に空きがあってもICカード内の保存領域の空きが足りないときや、保存されているおサイフケータイ対応ｉアプリと同じサービスを利用するおサイフケータイ対応ｉアプリは、ダウンロードできない場合があります。その場合は画面の指示に従ってｉアプリを削除してください。ただし、ｉアプリの種類によっては、削除対象として表示されないｉアプリがあります。また、ｉアプリによっては、ｉアプリを起動または再ダウンロードしてICカード内のデータを削除する必要があります。
- ダウンロードを中止したり、通信が中断されたりしたときは、再開するかどうかの確認画面が表示される場合があります。「はい」を選択すると、ダウンロードを再開し、「いいえ」を選択すると、部分保存できる場合は部分保存するかどうかの確認画面が表示されます。部分保存できない場合は、それまでダウンロードしたデータは削除されます。部分保存したｉアプリの残りのデータは、ソフト一覧からダウンロードできます。→P283「ｉアプリを起動する」操作3

## ◆メール連動型ｉアプリのダウンロードについて

メール連動型ｉアプリをダウンロードすると、送信メール、受信メール、未送信メールのフォルダ一覧にメール連動型ｉアプリ用のフォルダが自動的に作成されます。フォルダ名はダウンロードしたメール連動型ｉアプリ名に設定され、変更できません。

- メール連動型ｉアプリは最大5件（ｉアプリの最大保存件数100件に含む）保存できます。最大保存件数を超えるときは、画面の指示に従ってメール連動型ｉアプリ用のフォルダを削除してください。
- 同じメールフォルダを利用するメール連動型ｉアプリが、すでにFOMA端末に保存されている場合は、ダウンロードできません。

### ✔お知らせ

- メール連動型ｉアプリ用のフォルダのみが残っているときに、そのフォルダを利用するメール連動型ｉアプリを再ダウンロードしようとすると、すでにあるメールフォルダを利用するかどうかの確認画面が表示されます。「はい」を選択すると、メール連動型ｉアプリがダウンロードされます。メールフォルダを利用しない場合は、メールフォルダを削除してからメール連動型ｉアプリをダウンロードしてください。
- ダウンロードするメール連動型ｉアプリに対応した受信メールがすでにFOMA端末に保存されている場合、ダウンロード時に自動的に作成されたフォルダに受信メールを移動するかどうかの確認画面が表示されます。「はい」を選択すると、受信メールが振り分けられます。

## ◆ダウンロード時にｉアプリの情報を見る〈ソフト情報表示設定〉

【お買い上げ時】 表示しない

ｉアプリをダウンロードするときに、ｉアプリの情報を表示するかどうかを設定します。

**1** MENU ▶ 3 2 3 ▶ 1 または 2

# ｉアプリを起動する

MENU ▶ 3 1

**1** ◙（1秒以上）

おサイフケータイ対応ｉアプリのみ表示する：MENU ▶ 6 4 1

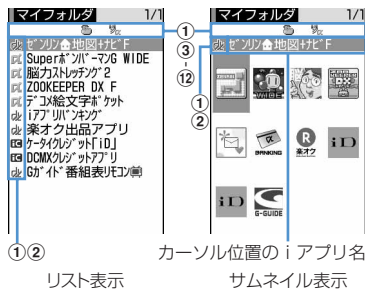
ICカード一覧が表示されます。操作3に進みます。

GPS対応ｉアプリのみ表示する：→P314

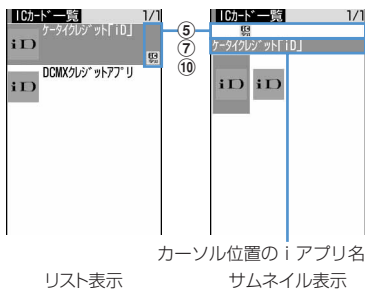
**2** フォルダを選択

- マークの意味は次のとおりです。
  - ：ｉアプリなし
  - ：ｉアプリあり

**3** 起動するｉアプリを選択

〈ソフト一覧〉

カーソル位置のｉアプリ名

リスト表示　サムネイル表示

〈ICカード一覧〉

カーソル位置のｉアプリ名

リスト表示　サムネイル表示

- マークの意味は次のとおりです。
  - ①：おサイフケータイ対応ｉアプリ
  - ②：メール連動型ｉアプリ
  - ：ｉアプリDX
  - （オレンジ）：ｉアプリ
  - ③（背景色なし）：ｉアプリ待受画面に設定可
  - （背景色緑）：ｉアプリ待受画面に設定中
  - ④：自動起動設定中
  - ⑤（上半分グレー、下半分オレンジ）：部分保存したｉアプリ
  - ：FOMAカード動作制限機能により使用不可
  - ：IP（情報サービス提供者）によって停止状態
  - ⑥ SSL：SSLページからダウンロードしたｉアプリ
  - ⑦：2in1がONでBモードのため起動不可
  - ⑧：メール連動型ｉアプリ
  - ⑨：ワンタッチｉアプリ登録中
  - 0～9：ツータッチｉアプリ登録中
  - ⑩：個別ICカードロックに指定中
  - ⑪：GPS対応ｉアプリ
  - ⑫：番組表ボタン設定に設定可
  - ：番組表ボタン設定に設定中

- を押すたびにサムネイル表示とリスト表示が切り替わります。
- サムネイル画像を取得できない場合は、、、、、※のいずれかが表示されます。
  ※ iCお引っこしサービスにより移し替えたICカードデータ
- 起動するｉアプリの通信設定を「起動ごとに確認」に設定している場合は、通信するかどうかの確認画面が表示されます。
- 部分保存したｉアプリを選択すると、残りをダウンロードするかどうかの確認画面が表示されます。残りをダウンロードすると起動できますが、ダウンロードできないときは、部分保存したｉアプリは削除される場合があります。
- iCお引っこしサービスにより移し替えたICカードデータを選択すると、ダウンロードするかどうか、またはサイトに接続するかどうかの確認画面が表示されます。対応するおサイフケータイ対応ｉアプリをダウンロードすると、起動できます。
- ICカード内にFOMAカード情報が保存されていない場合におサイフケータイ対応ｉアプリを起動するときは、対応付けを行う旨のメッセージが表示されます。
- ｉアプリを終了するには、ｉアプリごとに設定されている方法で操作を行ってください。を押し「はい」を選択しても終了できます。

**✔お知らせ**

- ｉアプリによって、表示領域が異なったり、ディスプレイを回転させても縦横の画面表示が切り替わらない場合があります。
- 縦または横が432ドットで表示される全画面やワイド画面では、サイドキー［▲］を押すたびに電池アイコンの表示／非表示が切り替えられます。
- ｉアプリ動作中に鳴る音の音量は調整できます。ただし、ｉアプリによっては音が鳴らないものがあります。→P123
- ｉアプリで利用する画像やお客様が入力したデータなどが、自動的にインターネットを経由して、サーバに送信される可能性があります。ｉアプリで利用する画像とは、実行中のｉアプリからカメラを起動して撮影した画像や、ｉアプリの赤外線通信／iC通信機能を利用して取得した画像などです。
- 部分保存したｉアプリは、ソフト詳細情報の表示、削除、フォルダ移動のみできます。
- iCお引っこしサービスにより移し替えたICカードデータは、削除のみできます。
- microSDメモリーカードを利用するｉアプリは、ｉアプリからmicroSDメモリーカードにデータを保存できます。microSDメモリーカードに保存したデータは、他機種で利用できない場合があります。microSDメモリーカードを利用するｉアプリは、「ｉアプリのデータ」で確認できます。→P378
- 次のような場合、ｉアプリは中断されます。動作中の機能が終了するとｉアプリは再開しますが、を押して「ｉアプリ」を選択すると動作中の機能を継続したままｉアプリを再開できます（※の場合を除く）。ｉアプリによっては、中断したときの状態に戻らない場合があります。
  - 音声電話がかかってきたとき（留守番電話サービスおよび転送でんわサービスの呼出時間を「0秒」に設定している場合を除く）
  - テレビ電話がかかってきたとき（留守番電話サービスおよび転送でんわサービスの呼出時間を「0秒」に設定している場合を除く）※
  - プッシュトークが着信したとき（ｉモード中プッシュトーク着信で「ｉモード優先」に設定し、通信している場合を除く）※
  - 開閉ロックが起動したとき※
  - お知らせタイマー、目覚まし、スケジュールで指定した時刻や日時になったとき
  - 他の機能に切り替えたとき
- 圏外にいる場合や登録データが使用できない場合、ｉアプリによっては起動しないことや、正常に動作しないことがあります。
- ｉアプリによっては、IP（情報サービス提供者）が携帯電話に保存されたｉアプリにアクセスし、直接使用停止状態にしたりすることがあります。その場合はそのｉアプリの起動、待受画面設定、バージョンアップなどができなくなり、削除およびソフト詳細情報の表示のみできます。もう一度ご利用いただくにはｉアプリ停止解除の通信を受ける必要があるため、IP（情報サービス提供者）にお問い合わせください。
- ｉアプリによっては、IP（情報サービス提供者）が携帯電話に保存されたｉアプリにデータを送信する場合があります。
- IP（情報サービス提供者）がｉアプリに対し、停止・再開要求を行ったり、データを送信した場合、FOMA端末は通信を行い、が点滅します。その場合、通信料はかかりません。
- ｉアプリ作成者の方へ
  ｉアプリを作成中、正常に動作しないときはトレース情報が参考になる場合があります。トレース情報は、待受画面で3 3 4を押すと表示されます。ただし、トレース情報を記録するｉアプリが保存されていないときは、表示できません。
  トレース情報を削除するときはを押して「はい」を選択します。

## ◆登録データを利用できずに終了したときの履歴を表示する〈セキュリティエラー履歴〉

ｉアプリが、登録データを利用できないなどの理由でエラーが発生して終了したときは、ｉアプリ名、日時、セキュリティエラー理由が記録されます。

- セキュリティエラー履歴は最大20件記録されます。20件を超えると、古いものから順に消去されます。

**1** [MENU]▶[3][3][3]

- 履歴を削除するときは[📖]を押して「はい」を選択します。

## ◆ｉアプリの詳細情報を表示する〈ソフト詳細情報〉

ｉアプリの名前やバージョンなど、ｉアプリの詳細情報を表示します。

**1** **[ｉ]（1秒以上）▶フォルダを選択▶詳細情報を表示するｉアプリにカーソルを合わせて[📖]［詳細］**

- 表示される項目はｉアプリによって異なります。
- SSLページからダウンロードしたｉアプリの場合、ソフト詳細情報画面で[📖]を押すと、サイトの証明書を確認できます。

## ◆ｉアプリの動作条件を設定する〈ソフト動作設定〉

ｉアプリごとに動作条件を設定します。

**1** **[ｉ]（1秒以上）▶フォルダを選択▶設定するｉアプリにカーソルを合わせて[MENU]▶[6]▶下記の各項目を選択して設定▶[📖]［登録］**

- ｉアプリが対応していない項目は選択できません。
- 2in1がONでデュアルモードまたはBモードのときは、「ｉアプリ待受画面」と「ｉアプリ待受画面通信設定」は選択できません。

**ｉアプリ待受画面**：待受画面に設定するかどうかを設定します。
- 設定できるｉアプリは1件のみです。

**ｉアプリ待受画面通信設定**：ｉアプリ待受画面動作中に自動的に通信するかどうかを設定します。

**通信設定**：ｉアプリ動作中に自動的に通信するかどうかを設定します。

**アイコン情報**：ｉアプリがメール、メッセージR/F、電池、マナーモード、アンテナの各種アイコン情報を利用するかどうかを設定します。

**ブラウザからの起動**：サイトからの起動（ｉアプリTo）を許可するかどうかを設定します。

**トルカからの起動**：トルカからの起動（ｉアプリTo）を許可するかどうかを設定します。

**メールからの起動**：メールからの起動（ｉアプリTo）を許可するかどうかを設定します。

**住所リンク機能での起動**：サイトやメッセージR/F、トルカの位置情報のリンク項目からの起動（ｉアプリTo）を許可するかどうかを設定します。

**外部機器からの起動**：外部機器からの起動（ｉアプリTo）を許可するかどうかを設定します。

**データ放送サイトからの起動**：ワンセグのデータ放送サイトからの起動を許可するかどうかを設定します。

**ソフトからの着信音／画像変更を**※：ｉアプリが着信音や待受画面などの画像の設定を自動的に変更することを許可するかどうかを設定します。

**変更ごとに確認画面を**※：ｉアプリが着信音や画像の設定を変更するごとに確認画面を表示するかどうかを設定します。

**ソフトからの電話帳／履歴参照を**※：ｉアプリが電話帳やリダイヤル、着信履歴を自動的に参照することを許可するかどうかを設定します。
- FOMA端末に保存したトルカも対象となります。

**位置情報利用設定**※：GPS対応ｉアプリが位置情報を自動的に利用するかどうかを設定します。

**番組表ボタン設定**※：ワンセグから起動する番組表ｉアプリに設定するかどうかを設定します。
- 設定できるｉアプリは1件のみです。

※ ｉアプリDXのみ設定できます。

✔お知らせ

- ｉアプリ待受画面を「設定する」に設定したときは、待受画面に設定するかどうかの確認画面が表示されます。「はい」を選択すると待受画面に設定され、テロップ表示設定を「表示する」に設定している場合はテロップ表示が解除されます。ただし、すでにそのｉアプリを待受画面に設定している場合は、確認画面は表示されません。
- 通信設定を「通信しない」に設定すると、ｉアプリが起動できない場合や、株価情報やお天気情報などのｉアプリによるタイムリーな情報提供ができない場合があります。
- アイコン情報を「利用する」に設定すると、未読メール、未読メッセージR/F、電池残量、マナーモード、圏内／圏外のアイコンの有無がインターネットを経由してIP（情報サービス提供者）に送信される場合があるため、第三者に知得される可能性があります。アイコン情報が必要なｉアプリの場合、「利用しない」に設定すると、動作しないｉアプリがあります。
- 番組表ボタン設定で「設定しない」を選択すると、解除するかどうかの確認画面が表示されます。「はい」を選択すると、番組表ボタン設定は「Gガイド番組表リモコン」に変更されます。

## ◆ｉアプリ動作中の各種動作を設定する

### ❖照明を設定する

【お買い上げ時】 端末設定に従う

**1** MENU ▶ 3 2 4 ▶ 1 または 2

**端末設定に従う**：ディスプレイの照明設定に従って照明が点灯します。

**ソフトに従う**：ｉアプリに従って照明が点灯します。

✔お知らせ

- ｉアプリ待受画面の照明はディスプレイの照明設定に従います。
- 公共モード中は、「ソフトに従う」に設定してもｉアプリ動作中の照明は点灯しません。
- 本機能の設定はディスプレイの照明設定（点灯時間設定のｉアプリ）にも反映されます。

### ❖バイブレータを設定する

【お買い上げ時】 使用する

ｉアプリ動作中に、ｉアプリによるバイブレータを動作させるかどうかを設定します。

**1** MENU ▶ 3 2 5 ▶ 1 または 2

✔お知らせ

- 本機能の設定は音／バイブのバイブレータ設定（ｉアプリ利用時）にも反映されます。

## ◆ｉアプリから他のｉアプリを起動する

ｉアプリによっては指定されたｉアプリを起動でき、ソフト一覧に戻ることなくｉアプリを楽しむことができます。

**1** ｉアプリを操作して他のｉアプリを起動

✔お知らせ

- 起動するｉアプリが指定されていない場合は、ｉアプリを選択します。
- 起動するｉアプリが指定されていても、ソフト一覧にない場合はダウンロードする必要があります。

## ◆プリインストールｉアプリを使う

- お買い上げ時は、次のｉアプリが登録されています。
  - ケータイ脳力ストレッチング2
  - SuperボンバーマンG WIDE
  - ZOOKEEPER DX F
  - ゼンリン地図＋ナビ F
  - デコメ絵文字ポケット
  - Gガイド番組表リモコン
  - ｉアプリバンキング
  - 楽オク出品アプリ
  - ケータイクレジット「iD（アイディ）」
  - 「DCMX」クレジットアプリ
- お買い上げ時に登録されているｉアプリを削除した場合は、「@Fケータイ応援団」のサイトからダウンロードできます。

  **アクセス方法**（2007年6月現在）

  ｉMenu → メニュー／検索 → ケータイ電話メーカー → @Fケータイ応援団

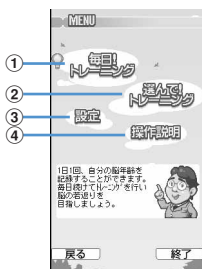
サイトアクセス用QRコード

※ アクセス方法は予告なしに変更される場合があります。

## ❖ケータイ脳力ストレッチング2（東北大学川島隆太教授監修）

さまざまな問題を解いて、脳年齢をはかり、脳をトレーニングしていくゲームです。

■ MENU画面について

タイトル画面で●を押すと、MENU画面が表示されます。

**①プレイヤーの脳年齢に応じた問題でトレーニングを開始したり、過去の記録を表示したりします。**
**②問題を選んでトレーニングを開始したり、過去の記録を表示したりします。**
**③カレンダーの表示、サウンドやバイブレーションの設定、データクリアをします。**
**④操作説明を表示します。**

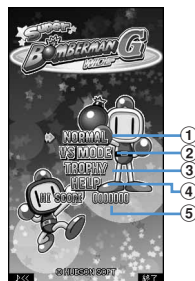
■：カーソルを上下に移動
●：項目の決定
MENU：タイトル画面に戻る
□：ｉアプリの終了
✱：音量調整
#：バイブレーションのON／OFF切り替え

■ 遊びかた

「毎日！トレーニング」を選択すると、その日の問題が3つ連続で出題されます。「選んで！トレーニング」を選択すると、問題を選んでトレーニングできます。開始する前に☒を押して解説を確認してから問題を解いてください。それぞれのトレーニング状況によっては、新しい問題が出現します。

## ❖SuperボンバーマンG WIDE

爆弾を使って敵を倒していくアクションゲームです。全30ステージを勝ち抜く「NORMAL」と、コンピュータ4人と対戦する「VS MODE」で楽しめます。

■ タイトル画面について

**①ROUND1からゲームをします。**
- 途中まで進めたセーブデータがある場合は「CONTINUE」が表示され、「CONTINUE」を選択すると続きから再開できます。

**②勝利数を☒で選択し、対戦モードでゲームをします。**
**③トロフィーの取得条件／状況を確認します。**
**④アイテムや操作方法などを確認します。**
**⑤NORMALでのハイスコアを表示します。**

MENU：音量調整
□：ｉアプリの終了
☒：カーソルを上下に移動
●：項目の決定

■ 遊びかた

プレイヤーは白ボンを操作して、ソフトブロックを破壊したり敵を倒したりしながら先に進んでいきます。敵や爆風に触れるか、制限時間が0になると1ミスとなり、白ボンの残数が0になるとゲームオーバーです。

- ゲーム中のキー操作やアイテムなどの詳細は「HELP」をご覧ください。

©HUDSON SOFT

## ❖ZOOKEEPER DX F

動物を入れ替えて、同じ動物をタテヨコ3匹以上並べて捕まえていきます。制限時間付きのハラハラ、ドキドキのアクションパズルゲームです。

### ■ タイトル画面について

**① ●を押すとゲームがスタートします。**

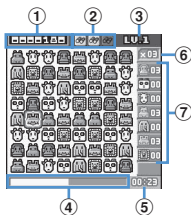
**② ✠を押して「HOW to PLAY」「STORY」「HI SCORE」「CREDIT」「OPTION」を選択します。**

- 「HOW to PLAY」を選択すると、基本ルールを確認できます。
- 「OPTION」で「Ultimate」に設定すると、動物が消えている間に他の動物を入れ替えられます。

MENU／✉：サウンドのON／OFF切り替え

📖／#：ｉアプリの終了（ゲーム中はゲームの休止／戻る）

### ■ 遊びかた

交換したい動物を選んで●（または5）を押し、入れ替えたい動物の方向に合わせて✠（または2 4 6 8）を押すと、動物が入れ替わります。タテかヨコに同じ動物を3匹以上並べ、動物が消えると得点になります。ノルマをクリアしていくと、レベルが最大12までアップしていきます。レベルがアップするに従って残りタイムの減少速度はどんどん速くなっていきますが、動物を消すことでタイムは回復します。

**①得点を表示します。**

**②双眼鏡の残り使用回数を表示します。**

**③現在のゲームレベルを表示します。**

**④残りタイムを表示します。**

**⑤経過時間を表示します。**

**⑥捕まえなければならない各動物のノルマを表示します。**

**⑦捕まえた各動物の数を表示します。**

✠：カーソルを上下左右に移動

●：動かす動物の決定／キャンセル

1：双眼鏡を選択

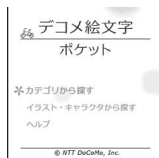
- 消せる動物が拡大表示されます。

©Buddiez, inc.

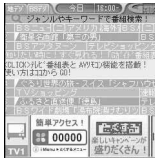
## ❖ゼンリン地図＋ナビ F

GPS機能を利用するｉアプリです。→P314

©2007 ZENRIN DataCom CO.,LTD.

## ❖デコメ絵文字ポケット

「デコメ絵文字ポケット」とは、ｉモードメール上で絵文字のように使えるデコメ絵文字を、簡単に検索、保存ができるデコメ絵文字専用のｉアプリです。IP（情報サービス提供者）から提供されるデコメ絵文字を、「カテゴリ」や「イラスト・キャラクタ」などのテーマから探すことができ、簡単に携帯電話機に保存することができます。また、複数のデコメ絵文字を一括して保存することもできます。お気に入りのデコメ絵文字を見つけたら、その画像を提供するサイトの紹介文をご覧いただけ、サイトへアクセスすることもできます。

- 「デコメ絵文字ポケット」の月額情報料は無料です。IP（情報サービス提供者）が提供するサイトをご覧になる場合には、別途ｉモード情報料がかかる場合があります。
- ご利用には別途パケット通信料がかかります。
- 詳細は『ご利用ガイドブック（ｉモード〈FOMA〉編）』をご覧ください。

## ❖Gガイド番組表リモコン

※ 画面はイメージです。実際の画面とは異なります。お住まいの地域に応じた番組表が表示されます。

テレビ番組表とAVリモコン機能が1つになった月額使用料が無料の便利アプリです。

いつでもどこでも知りたい時間の地上デジタル、もしくはBSデジタルのテレビ番組情報を簡単に取得できます。テレビ番組タイトル・番組内容・開始／終了時間などを知ることができます。また、番組表からワンセグ、ワンセグから番組表を起動することができます。気になる番組があったら、インターネットを通じて番組をDVDハードディスクレコーダーに録画予約をすることができます（リモート録画予約機能に対応しているDVDハードディスクレコーダーが必要になります。ご利用の際には本アプリの初期設定が必要です）。さらにテレビのジャンルや好きなタレントなどのキーワードで番組情報の検索ができます。また、テレビ、ビデオ、DVDプレイヤーのリモコン操作（→P392）ができます（一部対応していない機種もあります）。

- 初めて利用するときは、初期設定を行って利用規約に同意する必要があります。
- ご利用には別途パケット通信料がかかります。
- 2in1がONでBモードのときは、利用できません。
- 海外でのご利用時は、FOMA端末の日付時刻設定を日本時間に合わせてください。
- 詳細は『ご利用ガイドブック（iモード〈FOMA〉編）』をご覧ください。

### ■ 視聴予約機能について

本アプリの番組表で視聴したい番組を選択し、ワンセグの視聴予約をすることができます。

**視聴予約の方法：**

本アプリを立ち上げ、視聴予約したい番組を選択し、メニューの「視聴予約」から「予約実行」を選択すると予約スケジューラが起動されますので、画面の指示に従って視聴予約を行ってください。

### ■ リモート録画予約機能について

リモート録画予約に対応しているDVDハードディスクレコーダーをお持ちの場合には、インターネットを通じて、外出先などから本アプリの番組表より録画予約をすることができます。

リモート録画予約には本アプリにおいて初期設定が必要です。

**初期設定方法：**

① DVDハードディスクレコーダーにインターネット接続の設定をしてください（ご利用のDVDハードディスクレコーダーの取扱説明書をご確認ください）。

② 本アプリを立ち上げ、メニューの「リモート録画予約」を選択するとガイダンスが表示されますので、ガイダンスに沿って初期設定を進めてください。

**番組予約の方法：**

初期設定が完了した後、お好きな番組を指定してメニューから「リモート録画予約」を選択すると、インターネット経由で本アプリに設定したDVDハードディスクレコーダーと接続し、録画予約をすることができます。

## ❖ iアプリバンキング

※ 画面はイメージです。実際の画面とは異なることがあります。

モバイルバンキングを便利にご利用いただくためのiアプリです。モバイルバンキングとは、携帯電話からお客様ご自身の口座の残高照会や入出金明細の確認、振込・振替などをいつでもどこでも利用できるサービスです。iアプリを立ち上げる際に、お客様ご自身で設定したパスワードを入力するだけで、最大2つまでの金融機関のモバイルバンキングをご利用いただけます。

- iアプリバンキングでモバイルバンキングを利用するには、対応金融機関の口座と、各金融機関へのモバイルバンキングサービスの利用申し込みが必要です。
- ご利用には別途パケット通信料がかかります。
- 詳細は『ご利用ガイドブック（iモード〈FOMA〉編）』をご覧ください。
- iアプリバンキングに関する情報については、iモードサイトをご覧ください。

## ❖楽オク出品アプリ

※ 画面はイメージです。実際の画面とは異なることがあります。

「楽オク出品アプリ」は、楽オクにいつでもどこでもカンタンに出品できる便利なアプリです。
ガイド表示付きで、初めて出品する方にもわかりやすく使えます。また写真撮影や編集、履歴の保存など便利な機能もあり、サイトからの出品よりも短時間で出品することができます。

- 「楽オク出品アプリ」を初めてご利用される際には、「利用規約」に同意する必要があります。
- ご利用には別途パケット通信料がかかります。
- 詳細は『ご利用ガイドブック（ｉモード〈FOMA〉編）』をご覧ください。
- 楽オクで出品をするには楽天会員登録と出品者登録が必要になります。
- 楽オクに関する情報については、ｉモードサイトおよびホームページをご覧ください。
  ｉモードサイト：ｉMenu→楽オク-オークション-
  ホームページ：http://a.rakuten.co.jp/

サイトアクセス用QRコード

## ❖ケータイクレジット「iD（アイディ）」

※ 画面はイメージです。実際の画面とは異なることがあります。

ケータイクレジット「iD（アイディ）」とは、おサイフケータイをかざすだけで買い物やキャッシングのできるクレジットサービスです。今までのようにカードを財布から出したり、サインしたりすることなく、カンタン便利にショッピングができます。

- iDのご利用には、iDに対応した各カード発行会社へのお申し込みとiDアプリ、各カード発行会社提供のカードアプリが必要になります。
- iDアプリを初めて起動される際は、「ご利用上の注意」に同意し、ご利用の準備を行った後、カードアプリのダウンロードを行う必要があります。
- iD対応のクレジットサービスのご利用にかかる費用（年会費など）は、各カード発行会社により異なります。
- iDアプリおよび各カード発行会社のカードアプリをダウンロードするにはパケット通信料がかかります。
- iDに関する情報については、iDのｉモードサイトおよびホームページをご覧ください。
  ｉモードサイト：ｉMenu → メニュー／検索 → ケータイクレジット「iD」
  ホームページ：http://id-credit.com

サイトアクセス用QRコード

## ❖「DCMX」クレジットアプリ

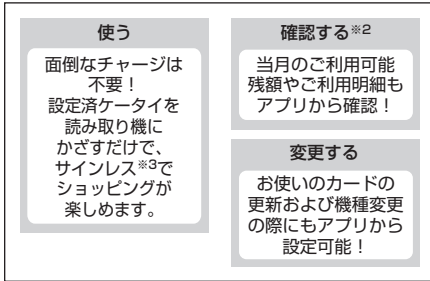
※ 画面はイメージです。実際の画面とは異なることがあります。

「DCMX」とは、「iD（アイディ）」に対応した、エヌ・ティ・ティ・ドコモグループが提供するクレジットサービスです。

DCMXには、月々1万円まで利用できるDCMX miniと、DCMX miniよりたくさん使えてドコモポイントもたまるDCMXの各サービスがあります。
DCMX miniなら、本アプリからの簡単なお申し込みで今すぐケータイクレジットがご利用いただけます。

入会申し込み・審査※1

カード情報設定

| 使う | 確認する※2 |
| --- | --- |
| 面倒なチャージは不要！設定済ケータイを読み取り機にかざすだけで、サインレス※3でショッピングが楽しめます。 | 当月のご利用可能残額やご利用明細もアプリから確認！ |
| | **変更する**<br>お使いのカードの更新および機種変更の際にもアプリから設定可能！ |

※1　DCMX miniはお申し込み時にオンラインで入会審査をさせていただきます。また、DCMX mini以外のお申し込みについては、ｉモードのお申し込みページに接続します。
※2　ご利用状況などの確認機能は、DCMX miniのみ可能です。
※3　一定の条件で暗証番号の入力が必要な場合があります。

- サービス内容やお申し込み方法の詳細についてはDCMXのホームページをご覧ください。
  ｉモードから：ｉMenu→DCMX
  パソコンなどから：http://dcmx.jp/

サイトアクセス用QRコード

- 本サービスについては、取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。

**✔お知らせ**

- 本アプリを初めて起動される際には、「ご利用上の注意」に同意の上、ご利用ください。
- 各種設定、操作時にはパケット通信料がかかります。

**おサイフケータイ対応ｉアプリに関するご注意**

- ICカードに設定された情報につきましては、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

## ｉアプリをすばやく起動する

**待受画面から簡単な操作でｉアプリを起動できます。**

### ◆ワンタッチｉアプリ・ツータッチｉアプリを登録する

- ワンタッチｉアプリは1件登録できます。
- ツータッチｉアプリは1つのダイヤルキーにつき1件、合計10件まで登録できます。

〈例〉ツータッチｉアプリを登録するとき

**1** [ｉ]（1秒以上）▶フォルダを選択

**2** 登録するｉアプリにカーソルを合わせて[MENU]▶[8][2]

- 解除する場合の操作も同様です。

ワンタッチｉアプリを登録する：登録するｉアプリにカーソルを合わせて[MENU]▶[8][1]

- 解除する場合の操作も同様です。

**3** 登録先を選択

- アイコンの番号（0～9）が、ツータッチｉアプリを起動するときに使用するダイヤルキー（[0]～[9]）に対応します。
- 登録済みの登録先を選択すると上書きするかどうかの確認画面が表示されます。「はい」を選択すると上書きされます。

### ◆ワンタッチ・ツータッチで起動する

〈例〉ツータッチでｉアプリを起動するとき

**1** [0]～[9]▶[ｉ]（1秒以上）

ダイヤルキーに対応するｉアプリが起動します。

ワンタッチでｉアプリを起動する：[●]（1秒以上）

**✔お知らせ**

- ソフト情報表示で、どのｉアプリがワンタッチｉアプリに登録されているかを確認できます。
- 待受画面で[MENU][3][2][6]を押すと、ツータッチｉアプリに登録しているｉアプリの一覧を表示できます。

# ｉアプリを自動起動する

## ◆自動起動するかどうかを設定する〈自動起動設定〉

【お買い上げ時】 自動起動する

自動起動情報登録のユーザ設定を「ON」に設定したすべてのｉアプリの自動起動を一括して設定します。

**1** MENU▶3 2 2▶1または2

## ◆自動起動の日時を設定する〈自動起動情報登録〉

ｉアプリごとに自動起動のON／OFFや起動日時を設定したり、あらかじめ設定されている内容を表示したりします。

- 設定できる条件は、ｉアプリによって異なります。
- 自動起動できないｉアプリもあります。
- 自動起動設定を「自動起動しない」に設定しているときは、自動起動情報を登録できません。

**1** **（1秒以上）▶フォルダを選択▶設定するｉアプリにカーソルを合わせて MENU▶5▶下記の各項目を選択して設定▶［登録］**

**ユーザ設定**：次の設定する条件で自動起動するかどうかを選択します。
**時刻**：自動起動する時刻を入力します。
**繰り返し**：自動起動を繰り返し行うときの条件を設定します。
**毎週**：繰り返しを「毎週」に設定したとき、自動起動する曜日を設定します。
**日付**：繰り返しを「1回のみ」に設定したとき、自動起動する日付を設定します。
**ソフト設定**：ｉアプリにあらかじめ設定されている時間間隔で自動起動させるかどうかを設定します。
**ｉアプリ設定1〜4**：ｉアプリDXによっては、動作中に自動起動の条件を最大4件設定できます。それらの設定を有効にするかどうかを設定します。

**✔お知らせ**

- 自動起動を設定しても、次のときは起動せず、待受画面に が表示され、ｉアプリ名、日時、起動失敗理由が自動起動失敗履歴に記録されます。
  - 待受画面以外が表示されているとき
  - FOMAカード動作制限中（プリインストールｉアプリを除く）
  - FOMAカードを認識できないとき
  - 自動起動の間隔が短すぎたとき
  - オールロック中、おまかせロック中、パーソナルデータロック中、プライバシーモード中（ｉアプリを「認証後に表示」に設定した場合）
  - 2in1がONでBモードのとき（メール機能を利用するｉアプリのみ）
  - IP（情報サービス提供者）によってｉアプリの使用を停止されているとき
- 複数のｉアプリを同時刻に自動起動するように設定しても、設定時刻に起動するのはいずれか1つです。起動できなかったｉアプリの情報は自動起動失敗履歴に記録されますが、待受画面に は表示されません。

## ◆自動起動できなかったときの履歴を表示する〈自動起動失敗履歴〉

ｉアプリの自動起動に失敗したときに、待受画面に が表示され、ｉアプリ名、日時、起動失敗理由が記録されます。

- 自動起動失敗履歴は最大20件記録されます。20件を超えると、古いものから順に消去されます。
- 自動起動失敗履歴を表示するか、次の自動起動が成功すると、待受画面の が消えます。

**1** MENU▶3 3 1

- 履歴を削除するときは を押し、「はい」を選択します。

iアプリTo

## サイトやメール、トルカからｉアプリを起動する

**サイトやｉモードメール、トルカのｉアプリを起動できるリンク項目を選択してｉアプリを起動します（ｉアプリTo）。**

### 1 サイトやｉモードメール、トルカのｉアプリを起動できるリンク項目を選択▶「はい」を選択

ｉアプリが起動します。

**✔お知らせ**

- ｉアプリToで起動するｉアプリがFOMA端末に保存されていない場合は、起動できません。ただし、ｉアプリによっては、サイトからダウンロード後、保存されていなくてもすぐに起動するものがあります。
- メールからｉアプリToで起動する場合、部分保存したｉアプリは起動できません。
- サイトからダウンロード後すぐに起動するｉアプリは、起動中に通信するかどうかの確認画面が表示される場合があります。
- サイトからダウンロード後すぐに起動したｉアプリを終了するときは、保存するかどうかの確認画面が表示されます。
- FOMA端末に保存できないｉアプリもあります。
- ｉアプリToでｉアプリを起動しないように設定している場合は起動できません。→P285

ｉアプリ待受画面

## ｉアプリ待受画面を操作する

**ｉアプリを待受画面に設定し、待受画面からｉアプリを起動して操作します。ｉアプリ待受画面を表示しているときは、ディスプレイ上部に（αがグレー）または（dxがグレー）が表示されます。**

- ｉアプリ待受画面を利用するには、あらかじめｉアプリを待受画面に設定しておく必要があります。→P135、P285

### ◆ ｉアプリ待受画面のｉアプリを起動する

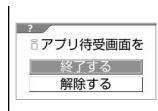
### 1 ｉアプリ待受画面で[chクリア]▶ｉアプリを操作

ｉアプリの画面に切り替わり、ディスプレイ上部の（αがオレンジ）または（dx がオレンジ）が点滅します。

**✔お知らせ**

- ｉアプリ待受画面を設定中にFOMA端末の電源を入れると、ｉアプリ待受画面を起動するかどうかの確認画面が表示されます。「はい」を選択するか、約5秒間何も操作しないと起動します。「いいえ」を選択するとｉアプリ待受画面を解除します。
  自動電源ON設定によって電源が入った場合は確認画面は表示されず、自動的にｉアプリ待受画面が起動します。
- 通信を行うｉアプリをｉアプリ待受画面に設定した場合、電波状況などにより正しく動作しないことがあります。
- オールロック中、おまかせロック中、パーソナルデータロック中、プライバシーモード（ｉアプリを「認証後に表示」に設定した場合）中、2in1がONでデュアルモードまたはBモードのときは、ｉアプリ待受画面は一時的に解除されます。オールロックなどを解除するとｉアプリ待受画面が再起動します。
- ｉアプリ待受画面に設定されているｉアプリがIP（情報サービス提供者）によって使用を停止されると、ｉアプリ待受画面が解除されます。
- ｉアプリ待受画面が解除されるようなエラーが発生すると、ｉアプリ待受画面を解除するかどうかの確認画面が表示されます。「はい」を選択すると、解除されます。このとき、ｉアプリ名と日時が異常終了履歴に記録されます。

### ◆ ｉアプリを終了してｉアプリ待受画面に戻る

### 1 ｉアプリ動作中に[■]▶「終了する」を選択

ｉアプリが終了してｉアプリ待受画面が起動します。ディスプレイ上部のマークがから、またはからに変わります。
ｉアプリを終了してｉアプリ待受画面に戻る方法は、ｉアプリによって異なります。[chクリア]を押すと、ｉアプリ待受画面に戻るｉアプリもあります。

- 「終了する」を選択してもｉアプリ待受画面は解除されません。解除するときは「解除する」を選択します。ディスプレイ上部のまたはが消えます。

**✔お知らせ**

- ソフト一覧から解除をする場合は、ｉアプリ待受画面に設定しているｉアプリにカーソルを合わせて[MENU]を押し「ｉアプリ待受画面」→「解除する」を選択します。

### ◆ ｉアプリ待受画面の終了履歴を表示する〈異常終了履歴〉

ｉアプリ待受画面が解除されるようなエラーが発生したときに、ｉアプリ名と日時が記録されます。

- 異常終了履歴は最大20件記録されます。20件を超えると、古いものから順に消去されます。

**1** [MENU]▶[3][3][2]

- 履歴を削除するときは[📖]を押して「はい」を選択します。

## ｉアプリを管理する

**ｉアプリのバージョンアップやフォルダの作成、不要なｉアプリの削除など、ｉアプリをより使いやすくするためのさまざまな機能があります。**

### ◆ ｉアプリをバージョンアップする〈バージョンアップ〉

新しいバージョンのｉアプリがサイトにあるかどうかをチェックし、ある場合はｉアプリをバージョンアップします。

- IP（情報サービス提供者）によって使用を停止されているｉアプリはバージョンアップできません。

**1** **[ｉ]（1秒以上）▶フォルダを選択▶バージョンアップするｉアプリにカーソルを合わせて[MENU]▶[4]▶「はい」を選択**

バージョンアップを開始します。

**✔お知らせ**

- バージョンアップによって、ｉアプリが記録しているゲームスコアなどのデータが消去される場合があります。
- ｉアプリによっては、使用期間と使用回数によりドコモのサーバへ継続して使用できるかどうかを問い合わせる場合があります。このとき、サーバからｉアプリが更新されていると通知された場合は、バージョンアップするかどうかを確認した上でバージョンアップできます。
- ｉアプリによっては、自動的にバージョンアップするものがあります。

### ◆ フォルダを作成／削除する

#### ❖フォルダを作成する

- フォルダは最大20個作成できます。

**1** **[ｉ]（1秒以上）**

**2** **[MENU]▶[4]**

フォルダ名を変更する：**変更するフォルダにカーソルを合わせて[MENU]▶[1]**

フォルダの並び順を変更する：**変更するフォルダにカーソルを合わせて[MENU]▶[5]または[6]**

**3** **フォルダ名を入力▶[📖]［登録］**

- 全角で最大8文字、半角で最大16文字入力できます。

#### ❖フォルダを削除する

- フォルダが1個のときは削除できません。
- 削除するフォルダ内に「Gガイド番組表リモコン」が保存されているときは削除できません。

**1** **[ｉ]（1秒以上）▶削除するフォルダにカーソルを合わせて[MENU]▶[2][1]**

- フォルダ内にｉアプリが保存されたままの場合は、認証操作を行います。

**2** **「はい」を選択**

- 削除するフォルダ内にメール連動型ｉアプリが含まれる場合は、メールフォルダも削除するかどうかの確認画面が表示されます。
  - 「はい」：メールフォルダとフォルダ内のすべてのメールも削除
  - 「いいえ」：ｉアプリのみ削除

  ただし、「はい」を選択した場合でも、メールフォルダ内に保護されているメールがある場合は、ｉアプリやメールフォルダは削除できません。
- 削除するフォルダ内にICカード内のデータを削除しておく必要があるおサイフケータイ対応ｉアプリが含まれる場合は、それ以外のｉアプリを削除するかどうかの確認画面が表示されます。
- 削除するフォルダ内に番組表ボタン設定で設定されたｉアプリが含まれる場合は、削除するかどうかの確認画面が表示されます。
  - 「はい」：フォルダとフォルダ内のすべてのｉアプリを削除し、番組表ボタン設定は「Gガイド番組表リモコン」に変更
  - 「いいえ」：削除しない

- 削除するフォルダ内にmicroSDメモリーカード内のデータを使用するｉアプリが含まれる場合は、microSDメモリーカード内のデータも削除するかどうかの確認画面が表示されることがあります。
  -「はい」：microSDメモリーカード内のデータも削除
  -「いいえ」：ｉアプリのみ削除

✔お知らせ

- ｉアプリのみ削除し、メール連動型ｉアプリで使用していたメールフォルダを残した場合は、メールフォルダ一覧のサブメニューからメールを表示できます。→P253
- 削除対象のメール連動型ｉアプリ用のフォルダが使用中（一覧表示中など）の場合、ｉアプリを削除できないことがあります。

## ◆ ｉアプリを他のフォルダに移動する

〈例〉1件のｉアプリを他のフォルダに移動するとき

**1** [ｉ]（1秒以上）▶フォルダを選択

**2** 移動するｉアプリにカーソルを合わせて[MENU]▶[3][1]

複数移動する：[MENU]▶[3][2]▶移動するｉアプリを選択▶[ｉ]

フォルダ内のｉアプリを全件移動する：[MENU]▶[3][3]

**3** 移動先のフォルダを選択▶「はい」を選択

## ◆ ｉアプリを削除する

- お買い上げ時に登録されている「Gガイド番組表リモコン」は削除できません。
- ｉアプリによっては、ICカード内のデータも削除されます。
- ｉアプリによっては、削除する前にｉアプリを起動してICカード内のデータを削除しておく必要があります。
- おサイフケータイ対応ｉアプリによっては、削除できない場合があります。

〈例〉ｉアプリを1件削除するとき

**1** [ｉ]（1秒以上）▶フォルダを選択

**2** 削除するｉアプリにカーソルを合わせて[MENU]▶[2][1]

複数削除する：[MENU]▶[2][2]▶削除するｉアプリを選択▶[ｉ]

フォルダ内のｉアプリを全件削除する：[MENU]▶[2][3]▶認証操作

**3** 「はい」を選択

- メール連動型ｉアプリを削除する場合は、メールフォルダも削除するかどうかの確認画面が表示されます。
  -「はい」：メールフォルダとフォルダ内のすべてのメールも削除
  -「いいえ」：ｉアプリのみ削除
  
  ただし、「はい」を選択した場合でも、メールフォルダ内に保護されているメールがある場合は、ｉアプリやメールフォルダは削除できません。
- 「複数削除」または「全件削除」するｉアプリに、ICカード内のデータを削除しておく必要があるおサイフケータイ対応ｉアプリが含まれる場合は、それ以外のｉアプリを削除するかどうかの確認画面が表示されます。
- 番組表ボタン設定で設定されたｉアプリを削除する場合は、削除するかどうかの確認画面が表示されます。
  -「はい」：ｉアプリを削除し、番組表ボタン設定は「Gガイド番組表リモコン」に変更
  -「いいえ」：削除しない
- microSDメモリーカード内のデータを使用するｉアプリを削除する場合は、microSDメモリーカード内のデータも削除するかどうかの確認画面が表示されることがあります。
  -「はい」：microSDメモリーカード内のデータも削除
  -「いいえ」：ｉアプリのみ削除

✔お知らせ

- ｉアプリフォルダ一覧からフォルダ内のｉアプリをすべて削除する場合は、フォルダにカーソルを合わせて[MENU]を押し「削除」→「ソフト削除」を選択します。
- ｉアプリのみ削除し、メール連動型ｉアプリで使用していたメールフォルダを残した場合は、メールフォルダ一覧のサブメニューからメールを表示できます。→P253
- 削除対象のメール連動型ｉアプリ用フォルダが使用中（一覧表示中など）の場合、ｉアプリを削除できないことがあります。

### ◆ｉアプリを並べ替える〈ソフトの並べ替え〉

【お買い上げ時】 使用日時順

**1** MENU▶3 2 1▶1～5

✔お知らせ

- ソフト一覧から操作する場合は、MENUを押し「ソート」を選択します。
- ダウンロード日時および使用日時は、日付・時刻で設定されている日時で記録されます。
- 使用日時にはダウンロードした日時も含まれます。
- ｉアプリ名に全角や半角、英字が混在していると、「名前順」の並べ替えの結果が、50音順と一致しない場合があります。
- 使用回数はｉアプリをバージョンアップしても引き継がれます。
- 使用回数にはｉアプリ待受画面として起動した回数は含みません。
- 「ソフトのサイズ順」を選択すると、ｉアプリのソフトサイズと使用データ記録領域の合計が大きい順に並べ替えられます。

### ◆フォルダ内のｉアプリの件数を確認する〈フォルダ内ソフト件数〉

フォルダ内に保存されているｉアプリの件数を、ｉアプリの種類ごとに確認します。

**1** **(1秒以上)▶ｉアプリの件数を確認するフォルダにカーソルを合わせて [情報]**

マークの意味→P283「ｉアプリを起動する」操作3

### ◆ｉアプリの設定状況を確認する〈ソフト情報表示〉

ｉアプリの保存領域や保存件数、ｉアプリ待受画面などの設定状況を確認します。

**1** **(1秒以上)▶ [情報]**

**ソフト保存領域**：保存されているｉアプリの総容量がバーと数値で表示されます。

**ソフト保存件数**：保存されているｉアプリの総件数が表示されます。

**ｉアプリ待受画面**：ｉアプリ待受画面に設定しているｉアプリの名前と保存先のフォルダが表示されます。

**ワンタッチｉアプリ**：ワンタッチｉアプリに設定しているｉアプリの名前と保存先のフォルダが表示されます。

**自動起動**：次回の自動起動に設定しているｉアプリの名前や保存先のフォルダ、起動日時が表示されます。

## ｉアプリからさまざまな機能を利用する

- それぞれの機能に対応したｉアプリをあらかじめダウンロードしておく必要があります。
- ｉアプリによっては、操作方法が異なったり、利用できない場合があります。

### ◆ｉアプリから電話をかける

**1** **電話番号を選択▶発信条件を設定▶MENU▶「はい」を選択**

設定した内容で電話がかかります。電話をかけるとｉアプリは中断されます。

条件を設定して電話をかける→P62

### ◆ｉアプリからサイトに接続する

**1** **サイトに接続するかどうかの確認画面が表示されたら、「はい」を選択**

サイトが表示されます。

### ◆ｉアプリからカメラ機能を利用する

**1** **ｉアプリを操作してカメラ撮影を行う**

✔お知らせ

- ｉアプリからカメラを起動した場合、撮影した静止画または動画は、それぞれマイピクチャ内の「ｉモード」「デコメピクチャ」フォルダ、ｉモーション内の「ｉモード」フォルダ、またはｉアプリ内に保存されます。また、撮影した静止画または動画は自動的にサーバへ送られる場合があります。
- ｉアプリから静止画撮影や動画撮影を起動した場合は、サイズ制限の変更、フレームの設定、画像サイズの変更、画質／品質の設定はできません。さらに、静止画の場合はインジケータやカウンタが表示されず、連続撮影や手ぶれ補正を使った撮影もできません。

### ◆ｉアプリからバーコードリーダーを利用する

**1** **ｉアプリを操作してコードを読み取る**

- 読み取ったデータはｉアプリで利用、保存される旨のメッセージが表示されます。

## ◆ｉアプリから赤外線通信を利用する

- 相手の機器によっては、赤外線通信機能が搭載されていても通信できない場合があります。

**1** **赤外線通信するかどうかの確認画面が表示されたら、「はい」を選択**

赤外線通信中になります。
- 赤外線通信によってｉアプリ起動データを受信し、ｉアプリを起動することもできます。
- 赤外線通信を実行するときに、サイトに接続していたりメールを送受信していたりした場合、サイト接続やメールの送受信は中止されます。

## ◆ｉアプリからiC通信を利用する

**1** **iC送信するかどうかの確認画面が表示されたら、「はい」を選択**

**2** **送信先にFeliCaマークをかざす**

## ◆ｉアプリからトルカを利用する

### ❖ｉアプリからトルカを保存する

**1** **トルカを保存するかどうかの確認画面が表示されたら、「はい（新規）」を選択**

トルカはトルカ一覧の「トルカフォルダ」に保存されます。

上書き保存する：**「はい（上書き）」を選択▶フォルダを選択▶上書きするトルカを選択**

表示する：**「プレビュー」を選択**

**✔お知らせ**
- 保存領域の空きが足りないときや最大保存件数を超えるときは、保存できない旨のメッセージが表示されます。保存する場合は、画面の指示に従って保存されているトルカを削除してください。

### ❖ｉアプリからトルカを使用する

**1** **トルカを選択する旨のメッセージが表示されたら●▶フォルダを選択▶トルカを選択**

### ❖ｉアプリからトルカを検索する

**1** **トルカを読み込むかどうかの確認画面が表示されたら、「はい」を選択**

- 「一覧から選択」を選択した場合は、トルカ一覧からトルカを選択してください。

# おサイフケータイ／トルカ

## おサイフケータイとは

**ｉモード端末のICカード機能を使ったｉモードの便利な機能（ｉモードFeliCa）やICカードを搭載したｉモード端末を「おサイフケータイ」と呼びます。**
**FeliCaとは、かざすだけでデータの読み書きができる非接触ICカードの技術方式の1つです。**
**おサイフケータイを対応店舗の読み取り機にかざすだけで電子マネーを使って支払いができたり、飛行機のチケットやポイントカードとして利用できるなど、携帯電話がますます便利な道具になります。**
**また従来のFeliCaに対応した非接触ICカードと比べ、通信を利用しておサイフケータイ内のICカードに電子マネーを入金したり、残高や利用履歴を確認できたりと、より便利に利用できます。**

※ おサイフケータイ対応サービスをご利用いただくには、ICカード機能に対応したｉアプリ（ICアプリ）により設定を行う必要があります。詳細はIP（情報サービス提供者）にご確認ください。
※ ご利用にあたっての注意事項については『ご利用ガイドブック（ｉモード〈FOMA〉編）』をご覧ください。

- おサイフケータイの故障により、ICカード内のデータが消失、変化してしまう場合があります（修理時など、おサイフケータイをお預かりする場合は、データが残った状態でお預かりすることができませんので、原則データをお客様自身で消去していただきます）。データの再発行や復元、一時的なお預かりや移し替えなどのサポートは、iCお引っこしサービスによる移し替えを除き、IP（情報サービス提供者）のバックアップサービスをご利用いただきます。バックアップサービスの有無やご利用条件（必要な事前手続きや料金など）、iCお引っこしサービスへの対応の有無はサービスごとに異なりますので、事前にIP（情報サービス提供者）にご確認ください。重要なデータについては必ずバックアップサービスのあるサービスをご利用ください。
- 故障、機種変更など、いかなる場合であっても、ICカード内のデータの消失、変化、その他おサイフケータイ対応サービスに関して生じた損害について、当社としては責任を負いかねます。
- おサイフケータイの盗難、紛失時は、すぐにご利用のおサイフケータイ対応サービスの提供者に対応方法をお問い合わせください。なお、本FOMA端末では、おまかせロック、ICカードロックを利用できます。

### ❖iCお引っこしサービスとは

iCお引っこしサービス※1は、機種変更や故障修理時など、おサイフケータイお取り替え時に、ICカード内のデータを一括※2でお取り替え先のおサイフケータイ※3に移すサービスです。ICカード内データを移し替えた後は、おサイフケータイ対応ｉアプリをダウンロードするだけで、簡単におサイフケータイ対応サービスがご利用になれます。
iCお引っこしサービスは、お近くのドコモショップなど窓口にてご利用いただけます。詳しくは、『ご利用ガイドブック（ｉモード〈FOMA〉編）』をご覧ください。

※1 iCお引っこしサービスご利用には手数料がかかります（一部手数料がかからない場合もあります）。また、ICアプリのダウンロード、各種設定にはパケット通信料がかかります。
※2 おサイフケータイ対応サービスによっては、一部対象外のサービスがあります。対象外サービスはiCお引っこしサービスご利用時に消去されますので、事前に各おサイフケータイ対応サービスのバックアップサービスのご利用や削除などを行ってください。
※3 iCお引っこしサービスは、お取り替え先のおサイフケータイがiCお引っこしサービス対応の機種である場合にご利用いただけます。

### ◆おサイフケータイの利用方法

ステップ 1

**おサイフケータイ対応ｉアプリをダウンロードする→P282**

お買い上げ時にはおサイフケータイ対応ｉアプリとしてケータイクレジット「iD（アイディ）」、「DCMX」クレジットアプリが登録されています。

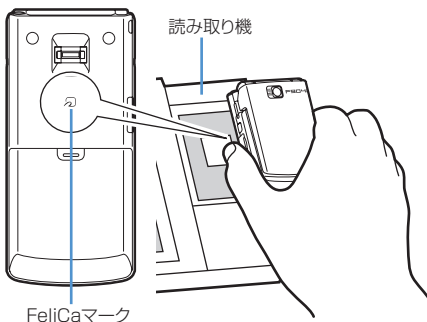
ステップ 2

**おサイフケータイ対応ｉアプリを起動してICカード内のデータの読み書きを行う→P301**

おサイフケータイ対応ｉアプリで電子マネーや乗車券にお金をチャージ（入金）したり、残高や利用履歴をｉモード端末で確認したりできます。

ステップ 3

**FeliCaマークを読み取り機にかざす**

FOMA端末のFeliCaマークを読み取り機にかざして、電子マネーとして支払いに利用したり、乗車券の代わりとして利用したりできます。この機能は、おサイフケータイ対応ｉアプリを起動せずに利用できます。

**✔お知らせ**

- ICカードアクセスイルミネーションを「ON」に設定している場合は、FeliCaマークを読み取り機の読み取り可能な範囲にかざすと、イルミネーションカラーの設定に従ってランプが点滅します。
- FOMA端末のFeliCaマークを読み取り機にかざしてもICカードが認識されない場合は、前後左右にずらしてかざしてください。
- 通話中やｉモード中でもFeliCaマークを読み取り機にかざしてICカードを利用できますが、ｉモード中におサイフケータイ対応ｉアプリを起動できません。
- 電源が入っていない状態でもFeliCaマークを読み取り機にかざしてICカードを利用できますが、電池パックを装着していない場合は利用できません。ICカード機能を利用するときは、電池パックを装着してください。また、電池パックを装着していても、電池パックを長期間利用しなかったり、電池アラームが鳴った後で充電しなかった場合は、利用できなくなることがあります。その場合は電池パックを充電してください。
- 電源が入っていない状態では、おサイフケータイ対応ｉアプリを起動してICカード内のデータを読み書きしたり、トルカを取得したりできません。
- FeliCaマークを読み取り機にかざしたとき、ｉアプリが起動する場合があります。ただし、起動対象のｉアプリがあらかじめ保存されていない場合や、ｉアプリToで起動しないように設定されている場合は起動しません。
- FeliCaマークを読み取り機にかざすときに、FOMA端末に強い衝撃を与えないでください。

## おサイフケータイ対応ｉアプリを起動する

- おサイフケータイ対応ｉアプリを初めて起動またはダウンロードすると、「FOMAカード情報とICカードの対応付けを行います」と表示されます。「OK」を選択すると、それ以降は対応付けされたFOMAカードを挿入していないとICカード機能を利用できません。なお、別のFOMAカードに差し替えて利用する場合は、対応付けされたFOMAカードを挿入しておサイフケータイ対応ｉアプリをすべて削除しないとICカード機能を利用できません。

**1** **MENU▶6 4 1▶起動するおサイフケータイ対応ｉアプリを選択**

ICカード一覧→P283

- おサイフケータイ対応ｉアプリを終了するには、それぞれのｉアプリごとに設定されている方法で操作を行ってください。

✔**お知らせ**

- おサイフケータイ対応ｉアプリ起動中は、FeliCaマークを読み取り機にかざしてもおサイフケータイを利用できない場合があります。
- 次の場合は、動作中のおサイフケータイ対応ｉアプリは中断され、ICカードへのデータの読み書きも中断されます。その場合、読み書きしていたデータが破棄されることがあります。
  - 電話がかかってきたとき（留守番電話サービスおよび転送でんわサービスの呼出時間を「0秒」に設定している場合を除く）
  - プッシュトークが着信したとき（ｉモード中プッシュトーク着信で「ｉモード優先」に設定し、通信している場合を除く）
  - 開閉ロックが起動したとき
  - お知らせタイマー、目覚まし、スケジュールで指定した時刻や日時になったとき
  - 他の機能に切り替えたとき
- 圏外で通信できない場合や、FOMA端末内の登録データが使用できない場合は、おサイフケータイ対応ｉアプリによっては起動しないことや、正常に動作しないことがあります。

トルカ

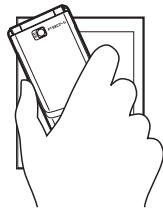
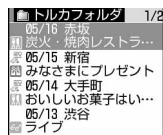
# トルカとは

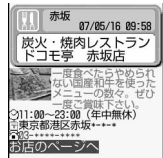
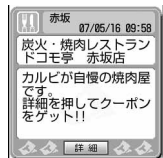
**トルカとは、おサイフケータイで取得できる電子カードで、チラシやレストランカード、クーポン券などの用途で便利にご利用いただけます。**
**トルカは読み取り機やサイトなどから取得が可能で、メール、赤外線通信／iC通信、microSDメモリーカードを使って簡単に交換できます。**

- 対応機種：トルカ対応機種でご利用いただけます。詳細は『ご利用ガイドブック（ｉモード〈FOMA〉編）』をご覧ください。

## ❖トルカ利用の流れ

おサイフケータイを読み取り機にかざしてトルカを取得

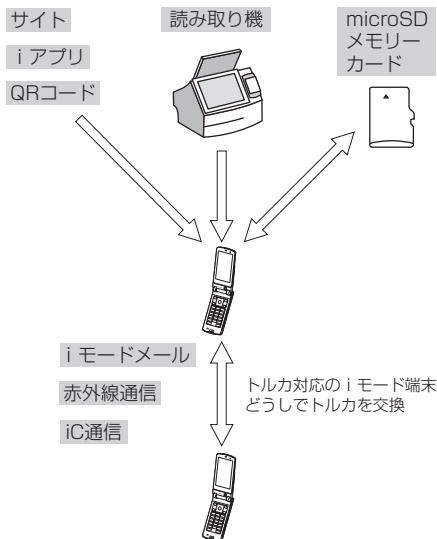
- LifeKitのトルカに保存されます。

トルカ一覧から取得したトルカを選択

「詳細」ボタンでより詳しい情報を見ることができます。

- ｉモード通信で詳細情報をダウンロードするときは、パケット通信料がかかります。

トルカ（詳細）

トルカ取得

## トルカを取得する

- 保存できるトルカのサイズは1件あたり最大1Kバイトです。トルカ（詳細）は1件あたり最大100Kバイトです。
- 最大保存件数→P541

### ❖トルカの取得手段

- 読み取り機からの取得方法は、「おサイフケータイの利用方法」のステップ3と同じです。→P301
- その他の取得・交換方法
  QRコード読み取り→P198
  サイトからダウンロード→P215
  iモードメール添付・保存→P241、P250
  iアプリから保存→P297
  microSDメモリーカード移動／コピー→P372
  赤外線通信／iC通信→P388、P390

### ✔お知らせ

- 読み取り機からトルカを取得したときは、トルカ取得設定、トルカ取得確認設定、自動読取機能設定、着信イルミネーションのトルカ取得の設定、音量設定のトルカ取得音量の設定に従って動作します。
- 取得、ダウンロードしたトルカは「トルカフォルダ」に保存されます。ただし、トルカ振り分け設定を設定している場合は、読み取り機からトルカを取得したとき、振り分け条件に従って指定したフォルダに保存されます。
- トルカ取得設定の自動表示設定を「ON」に設定しているとき、読み取り機からトルカを取得すると、詳細をダウンロードするためにサイト接続するかどうかの確認画面が表示される場合があります。「はい」を選択すると、サイトから詳細情報をダウンロードできます。
- 保存したトルカから詳細情報をダウンロードした場合は、別のファイルとして保存されず、元のトルカに詳細情報が追加されます。
- 保存領域の空きが足りないときや最大保存件数を超えるときは、保存できない旨のメッセージが表示されます。保存する場合は、画面の指示に従って不要なトルカを削除してください。
- トルカ（詳細）はメール添付、赤外線送信／iC送信、microSDメモリーカードへ移動／コピーをすると、詳細は含まれない、または保存されない旨のメッセージが表示される場合があります。
- IP（情報サービス提供者）の設定によっては、トルカの更新や移動／コピー、メールや赤外線などの送信ができない場合があります。

トルカ一覧

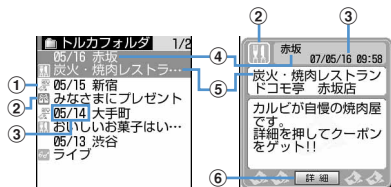
## トルカを表示する

**取得したトルカを表示したり、サイトから詳細情報をダウンロードしたりします。**

**1** MENU ▶ 6 3 ▶ フォルダを選択

保存領域の使用率

：トルカなし
：未読トルカなし
：未読トルカあり
：利用済みトルカなし
：利用済みトルカあり

**2** 表示するトルカを選択

**①状態マーク**
：未読 表示なし：既読
**②カテゴリマーク**
トルカの種類をカテゴリマークで表示します。
**③取得日時**
**④インデックス**
**⑤タイトル**

⑥「詳細」ボタン

トルカに詳細情報がある場合に表示されます。「詳細」を選択し、「はい」を選択すると、サイトから詳細情報をダウンロードできます。

**トルカをメールに添付する：送信するトルカにカーソルを合わせて✉**

トルカが添付されているメール作成画面が表示されます。

メールに添付できるサイズ→P241

- トルカ（詳細）を添付できる場合は、詳細を含めてメールに貼り付けるかどうかの確認画面が表示されます。
- トルカ（詳細）を添付できない場合は、詳細は含まれないがメールに貼り付けるかどうかの確認画面が表示されます。「はい」を選択すると詳細は切り取られますが、サイトに詳細情報がある場合は、受信側でダウンロードできます。
- トルカ表示中にメールに添付する場合はMENU 2を押します。

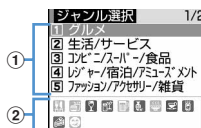
**✔お知らせ**

- 次の方法で取得したトルカは既読のトルカとして保存されます。
  - QRコード読み取り
  - サイトからダウンロード
  - ｉモードメール受信
  - 既読のトルカを赤外線通信またはiC通信で受信
- トルカによっては有効期限が設定されている場合があります。期限が過ぎると、トルカ一覧画面のトルカの背景色が異なる色で表示されます。
- トルカ一覧画面とトルカ（詳細）に、トルカ発行者独自のカテゴリマークが表示される場合があります。トルカ発行者独自のカテゴリマークは、検索やトルカ振り分け設定の条件「ジャンル」の中のカテゴリマークに含まれません。
- トルカ（詳細）を更新する場合は、MENUを押し「更新」→「はい」を選択します。
- トルカ（詳細）を表示中にもう一度アニメーションを動作させる場合は、MENUを押し「リトライ」を選択します。
- 「利用済みトルカ」フォルダ内のトルカは表示できません。
- 2in1がONでBモードのときは、メールに関する操作はできません。
- 下記機種※以外のトルカ対応機種では、メールに添付されたトルカ（詳細）を受信できません。ただし、機種によっては受信できる場合があります。
  ※ 903iシリーズ、904iシリーズ、703iシリーズ（D703i、P703iμ、N703iμ除く）

## ◆ トルカを検索する

〈例〉ジャンルで検索するとき

**1** MENU ▶ 6 3 ▶ MENU ▶ 1 ▶ 検索条件欄を選択

**2** 1 ▶ ジャンル欄を選択 ▶ 1～5

ジャンル選択画面

①ジャンル

②カーソル位置のジャンルに含まれるカテゴリマーク

- カテゴリマークが含まれるジャンル別に検索します。

**タイトルで検索する：2 ▶ 検索文字列の入力欄にタイトルの一部を入力**

- 全角で最大10文字、半角で最大21文字入力できます。

**インデックスで検索する：3 ▶ 検索文字列の入力欄にインデックスの一部を入力**

- 全角で最大7文字、半角で最大15文字入力できます。

**3** 📖［検索］を押す

**✔お知らせ**

- 表示中のフォルダ内のトルカを検索する場合は、MENUを押し「フォルダ内検索」を選択します。
- 「利用済みトルカ」フォルダ内のトルカは検索できません。

## トルカを管理する

**フォルダの作成やトルカの削除など、トルカをより便利に使うためのさまざまな機能があります。**

### ◆フォルダを作成／削除する

#### ❖フォルダを作成する

- フォルダは「トルカフォルダ」と「利用済みトルカ」フォルダ以外に最大20個作成できます。

**1** MENU▶6 3

**2** MENU▶2

フォルダ名を変更する：変更するフォルダにカーソルを合わせてMENU▶4

フォルダの並び順を変更する：変更するフォルダにカーソルを合わせてMENU▶8または9

**3** フォルダ名を入力▶📖［登録］

- 全角で最大8文字、半角で最大16文字入力できます。

#### ❖フォルダを削除する

**1** MENU▶6 3▶削除するフォルダにカーソルを合わせてMENU▶3▶認証操作▶「はい」を選択

✔お知らせ
- 「トルカフォルダ」と「利用済みトルカ」フォルダは、フォルダ名や並び順の変更、削除ができません。

### ◆トルカを削除する

〈例〉トルカを1件削除するとき

**1** MENU▶6 3▶フォルダを選択

**2** 削除するトルカにカーソルを合わせてMENU▶3 1

複数削除する：MENU▶3 2▶削除するトルカを選択▶📖

フォルダ内のトルカを全件削除する：MENU▶3 3▶認証操作

**3** 「はい」を選択

✔お知らせ
- 表示中のトルカを削除する場合は、MENUを押し「削除」を選択します。
- 「利用済みトルカ」フォルダ内のトルカを削除する場合は、削除するトルカにカーソルを合わせて●を押し「はい」を選択します。

### ◆トルカを他のフォルダに移動／コピーする

- トルカをmicroSDメモリーカードへ移動／コピーすることもできます。→P372

〈例〉トルカを他のフォルダに1件移動／コピーするとき

**1** MENU▶6 3▶フォルダを選択

**2** 移動／コピーするトルカにカーソルを合わせてMENU▶4▶1または2▶1

複数移動／コピーする：MENU▶4▶1または2▶2▶移動／コピーするトルカを選択▶📖

フォルダ内のトルカを全件移動／コピーする：MENU▶4▶1または2▶3

**3** 移動またはコピー先のフォルダを選択▶「はい」を選択

✔お知らせ
- 表示中のトルカを移動またはコピーする場合は、MENUを押し「移動／コピー」→「フォルダ移動」または「フォルダ間コピー」を選択します。
- 「利用済みトルカ」フォルダには移動／コピーできません。

### ◆トルカを並べ替える〈ソート〉

トルカの並び順を一時的に並べ替えます。表示を終了すると、並び順は元の「日付順」に戻ります。

**1** MENU▶6 3▶フォルダを選択▶MENU▶5 2▶1～5

✔お知らせ
- 全角や半角の文字が混在していると、「タイトル順」「インデックス順」の並べ替えの結果が50音順と一致しない場合があります。
- 「ジャンル順」を選択すると、ジャンル選択画面のジャンル順に並べ替えます。
- 「かな順」を選択すると、トルカがデータとして保有するID順に並べ替えます（IDは表示できません）。

### ◆ トルカの件数や領域使用状況を確認する〈保存内容確認〉

未読、既読のトルカの保存件数と、保存領域の使用状況を確認します。

**1** [MENU]▶[6][3]▶[MENU]▶[5]

**✔お知らせ**

- 表示中のフォルダ内の保存件数を確認する場合は、[MENU]を押し「表示」→「トルカ件数確認」を選択します。
- 「利用済みトルカ」フォルダ内のトルカは、保存件数に含まれません。また、保存領域の使用状況に影響しません。

## トルカの情報を利用する

**電話番号やメールアドレス、URLを電話帳やブックマークに登録したり、画像を保存したりできます。**

- 電話番号、メールアドレス、URLからPhone To(AV Phone To)、Mail To、Web To機能を利用できます。

**1** [MENU]▶[6][3]▶フォルダを選択▶トルカ（詳細）を選択

**2** 目的に応じた操作を行う

電話番号やメールアドレスを電話帳に登録する：

① 登録する電話番号やメールアドレスにカーソルを合わせて[MENU]▶[4]▶[1]または[2]

② [1]または[2]

- 登録済みの電話帳データに追加するときは、登録先の電話帳データを選択します。

③ 電話番号やメールアドレスなどを登録

電話帳登録→P101、P103

URLをブックマークに登録する：登録するURLにカーソルを合わせて[MENU]▶[4][3]▶登録先フォルダを選択

以降の操作→P210「ブックマークに登録する」操作2

画像を保存する：[MENU]▶[4][4]▶保存する画像を選択

- 背景画像を保存する場合は[MENU][4][5]を押します。

以降の操作→P213「画像をダウンロードする」操作2以降

位置情報を利用する：位置情報を選択

以降の操作→P218「位置情報を利用する」操作2

## トルカの機能を設定する

### ◆ トルカ取得の動作を設定する 〈トルカ取得設定〉

【お買い上げ時】 トルカ取得設定、重複チェック設定：ON
自動振り分け設定、自動表示設定：OFF

読み取り機からトルカを取得するかどうかや、読み取り機からトルカを取得したときの動作を設定します。

**1** [MENU]▶[8][6][2][2]▶下記の各項目を選択して設定▶[📖]［登録］

**トルカ取得設定**：読み取り機からトルカを取得するかどうかを設定します。

**重複チェック設定**：トルカを取得するとき、保存しているトルカとの重複をチェックするかどうかを設定します。

- 「ON」に設定すると、トルカが重複している場合は新たにトルカを取得しません。

**自動振り分け設定**：取得したトルカを、トルカ振り分け設定に従って振り分けるかどうかを設定します。

**自動表示設定**：取得したトルカを、約15秒間自動的に表示するかどうかを設定します。

- 「ON」に設定すると、待受画面表示中の場合のみ自動表示されます。

**✔お知らせ**

- 「利用済みトルカ」フォルダ内のトルカや有効期限の切れたトルカは、重複チェックの対象外となります。
- 自動表示中にキー操作をしなかった場合は、トルカは未読の状態で保存されます。

### ◆ トルカ取得完了の確認動作を設定する〈トルカ取得確認設定〉

【お買い上げ時】 イルミネーション設定：ON イルミネーションカラー：アクア トルカ取得音量：レベル4

読み取り機からトルカを取得したときの、取得完了をお知らせするランプや音量の設定を行います。

**1** [MENU]▶[8][6][2][1]▶下記の各項目を選択して設定▶[📖]［登録］

**イルミネーション設定**：取得が完了したときにランプを点滅、背面ディスプレイを点灯させるかどうかを選択します。

**イルミネーションカラー**：ランプの点灯色を設定します。

**トルカ取得音量**：取得が完了したときに鳴る音の音量を設定します。

**✔お知らせ**

- 背面ディスプレイの点灯色は、背面照明色設定の設定に従います。

## ◆自動読取機能を利用する〈自動読取機能設定〉

【お買い上げ時】 ON

読み取り機にFOMA端末をかざしてトルカを利用する際、利用可能なトルカを自動的に読み取りさせるかどうかを設定します。「ON」に設定すると、利用可能なトルカが自動的に認識され、「利用済みトルカ」フォルダに移動されます。

- 本機能を「ON」に設定しないと、トルカによっては利用できない場合があります。
- 「利用済みトルカ」フォルダには、トルカが最大20件保存されます。20件を超えると、古いものから順に消去されます。

**1** 

**✔お知らせ**

- 本機能を「OFF」に設定しているときに読み取り機にFOMA端末をかざすと、自動読取機能を利用するかどうかの確認画面や自動読取機能が無効である旨のメッセージが表示される場合があります。トルカを利用する場合は「はい」を選択するか、操作中の機能や表示を終了して、本機能を「ON」に設定してください。

## ◆トルカを振り分ける条件を設定する〈トルカ振り分け設定〉

読み取り機から取得したトルカを、指定したフォルダに振り分ける条件を設定します。

- 最大20件登録できます。
- 振り分け条件を実行するには、トルカ取得設定の自動振り分け設定を「ON」に設定する必要があります。
- 本機能を設定前に取得したトルカは振り分けられません。

〈例〉ジャンルで振り分けるとき

**1** MENU ▶ 8 6 2 4

登録済みの振り分け条件（優先順位順）

トルカ振り分け一覧 1/1
01 クーポン
02 赤坂
03 ｺﾝﾋﾞﾆ/ｽｰﾊﾟｰ/食品
04 条件なし

：ジャンル　：タイトル
：インデックス　表示なし：条件なし

**2** ▶ 振り分け条件欄を選択

**3** 1 ▶ ジャンル欄を選択 ▶ 1 〜 5

ジャンル選択画面→P304

タイトルで振り分ける：2 ▶ **振り分け条件文字列の入力欄にタイトルの一部を入力**

- 全角で最大10文字、半角で最大21文字入力できます。

インデックスで振り分ける：3 ▶ **振り分け条件文字列の入力欄にインデックスの一部を入力**

- 全角で最大7文字、半角で最大15文字入力できます。

条件なしで振り分ける：4 **を押す**

**4** 振り分け先フォルダ欄を選択 ▶ 振り分け先フォルダを選択 ▶

**5** 優先順位を選択

選択した行の上に振り分け条件が追加されます。

- 1件目の振り分け条件を登録する場合や、最後に追加する場合は「最後に追加する」を選択します（登録済みの条件を変更したときは「最後に移動する」と表示されます）。
- 優先順位の高い条件から順に並びます。

**✔お知らせ**

- 条件は優先順位に従って振り分けられます。優先順位の判定はメール振り分け設定と同じです。→P265「メールを自動的にフォルダに振り分ける」お知らせ
- 振り分け条件を「条件なし」に設定した場合は、取得したトルカを操作4で指定したフォルダに振り分けます。
- 「利用済みトルカ」フォルダは振り分け先フォルダに指定できません。

### ❖振り分け条件を確認・変更する

〈例〉振り分け条件を確認するとき

**1** MENU ▶ 8 6 2 4

**2** **確認する振り分け条件を選択**

振り分け条件詳細画面が表示されます。

振り分け条件を変更する：**変更する振り分け条件にカーソルを合わせて MENU ▶ 2 ▶ 振り分け条件欄を選択**

- 振り分け条件詳細画面から操作する場合は MENU 1 を押し、振り分け条件欄を選択します。
  以降の操作→P307「トルカを振り分ける条件を設定する」操作3以降

優先順位を変更する：**変更する振り分け条件にカーソルを合わせて MENU ▶ 5**

以降の操作→P307「トルカを振り分ける条件を設定する」操作5

振り分け条件を削除する：**削除する振り分け条件にカーソルを合わせて MENU ▶ 3 または 4 ▶「はい」を選択**

- 「全件削除」を選択した場合は、認証操作を行います。
- 振り分け条件詳細画面から操作する場合は MENU 2 を押します。

ICカードロック

## ICカード機能を使用できないようにする

MENU ▶ 6 4 2・8 4 1 4 1

【お買い上げ時】 OFF

**ICカードロックを起動すると、次の機能が利用できなくなります。**

- ICカードの利用
- 読み取り機からのトルカ取得
- おサイフケータイ対応ｉアプリのダウンロードや利用
- iC通信

- オールロック中は起動できません。ICカードロックとオールロックの両方を起動するには、先にICカードロックを起動してから、オールロックを起動してください。

**1** **Ⓒ（1秒以上）▶「はい」を選択**

ICカードロックを起動すると、待受画面に またはが（個別ICカードロックのとき）が表示されます。

解除する：**Ⓒ（1秒以上）▶ 認証操作**

### ❖FOMA端末を折り畳んでいるとき

FOMA端末を折り畳んだ状態で、ICカードロックを起動／解除できます。

- FOMA端末を折り畳んだままICカードロックを解除するときは、指紋認証を利用します。

**1** **背面ディスプレイの照明が点灯中に ▶ サイドキー［▲▼］で「ICカードロック設定」にカーソルを合わせて**

ICカードロックを起動すると、ランプが青色で約3秒間点灯し、背面ディスプレイにが表示されます。

解除する：**背面ディスプレイの照明が点灯中に ▶ サイドキー［▲▼］で「ICカードロック解除」にカーソルを合わせて ▶ 認証操作**

ICカードロックを解除すると、ランプが青色で約3秒間点滅します。

- 認証操作待ちのときはランプが赤色で点灯します。点灯中に約15秒間何も操作しないか、サイドキー［▲▼］、、を押すと、ICカードロック解除が無効となり、ランプが消灯します。
- 認証操作が失敗すると、ランプが赤色で約1.5秒間点滅します。

### ✔お知らせ

- 電池パックを取り外したり、おまかせロックを起動したりすると、ICカードロックの設定に関わらずICカード機能が利用できなくなります。
- ICカードロック中に電源を切ったり、電池残量がなくなって電源が切れたりしても、ロックは解除されません。
- FOMA端末を折り畳んだ状態でサイドキー［▲▼］を1秒以上押すことによってICカードロック起動／解除できるように設定できます。→P430
- ICカードロック中は、おサイフケータイ対応ｉアプリによっては削除できない場合があります。

### ◆指定したICカード機能のみロックする〈ICカードロック時動作設定〉

MENU▶8 4 1 4 5

【お買い上げ時】 ICカード機能停止

ICカードロックを起動したとき、あらかじめ指定したおサイフケータイ対応ｉアプリのICカード機能だけをロックするように設定できます（個別ICカードロック）。

- ICカードロックを「ON」に設定していると、本機能は設定できません。

**1** MENU▶6 4 3

**2** 2▶ロックするおサイフケータイ対応ｉアプリを選択▶[登録]

- すべてのICカード機能をロックする場合は 1 を押します。

**✔お知らせ**

- 選択したおサイフケータイ対応ｉアプリは、ICカード一覧でが表示されます。→P283

### ◆ICカードロックを自動起動する〈ICカードオートロック設定〉

MENU▶8 4 1 4 2

【お買い上げ時】 オートロック：OFF

指定した時間が経過すると、ICカードロックが自動的に起動するように設定します。

**1** MENU▶6 4 4▶下記の各項目を選択して設定▶[登録]

**オートロック**：ICカードロックを自動起動するかどうかを設定します。

**ロックまでの時間**：自動起動するまでの時間を設定します。

**✔お知らせ**

- 本機能を「ON」に設定しているときに電源を切ったり、電池残量がなくなって電源が切れたりしたときは、指定した時間を待たずにICカードロックが起動します。
- おサイフケータイ対応ｉアプリの起動中にロックするまでの時間が経過した場合は、ICカードロックは起動せず、おサイフケータイ対応ｉアプリの終了後に起動します。
- 本機能を「ON」に設定しているときにICカードロックを解除すると、設定した時間が経過した後、再び自動的にICカードロックが起動します。

### ◆指定した時刻に自動的にICカードロックを解除する〈ICカードロック解除予約〉

MENU▶8 4 1 4 3

ICカードロック中、指定した時間帯のみICカードが使えるように設定します。

- 最大7件登録できます。
- 電源が入っている場合のみ動作します。

**1** MENU▶6 4 5▶認証操作▶1～7

- 設定中のICカードロック解除予約は、タイトルの左にが表示されます。

ICカードロック解除予約を設定／解除する：**タイトルにカーソルを合わせてMENU**

- 押すたびに設定／解除されます。

**2** 下記の各項目を選択して設定▶[登録]

**時刻**：ICカードロックを解除する開始時刻と終了時刻を入力します。

- 終了時刻は24時を超えて翌日に設定できます。

**繰り返し**：ICカードロック解除予約の繰り返しの動作を設定します。

- 「曜日指定」を選択したときは、「曜日選択」を選択し、ICカードロックを解除する曜日を選択してを押します。

**タイトル**：ICカードロック解除予約のタイトルを入力します。

- 全角で最大9文字、半角で最大18文字入力できます。

**✔お知らせ**

- おサイフケータイ対応ｉアプリの起動中にICカードロック解除の終了時刻になった場合は、ICカードロックは起動せず、おサイフケータイ対応ｉアプリの終了後に起動します。
- IC カードロック解除の時間帯はICカードロックを起動できますが、ICカードオートロック設定の自動起動はできません。

### ◆電源を切ったときICカード機能をロックする〈電源OFF時ICロック設定〉

MENU▶8 4 1 4 4

【お買い上げ時】 直前のロック状態を継続

電源を切ったとき、すべてのICカード機能をロックするように設定できます。

**1** MENU▶6 4 6▶認証操作

**2** 2を押す

- 電源を切る前のICカードロックの状態を継続する場合は 1 を押します。

# GPS機能

## GPSとは

**GPS（Global Positioning System：全地球測位システム）は、米国国防総省が開発・運営しているシステムで、地球の周回軌道を回る衛星から放射される位置測位用の電波を利用して現在の位置（緯度・経度など）を知ることができるシステムです。**

- GPS衛星から放射される位置測位用の電波を利用して、FOMA端末（お客様）の位置情報（緯度・経度）を取得します。取得した位置情報を利用して、次のようなさまざまなサービスが利用できます。
  - 今いる場所の地図や周りの情報を見る、探す（現在地確認）
    現在地の位置情報を送信して地図を表示したり、周辺情報を検索したりできます。
  - GPS機能対応のｉアプリを使う（GPS対応ｉアプリを利用）
    位置情報を利用した便利なｉアプリを使うことができます。位置情報を利用して、目的地まで歩いていくときや車で行くときのナビゲーション、乗り換え案内などが利用できます。お買い上げ時に登録されている「ゼンリン地図＋ナビ F」でも、徒歩や車のナビゲーションが利用できます。
  - 相手からの要求に応えて位置情報を提供する（位置提供）
    位置提供機能に対応したサービス（ドコモのイマドコサーチなど）であらかじめ検索対象になっていると、現在どこにいるかの要求があったときに位置情報を提供します。イマドコサーチとは、検索者がｉモード対応のFOMA端末をお持ちの方のおおよその場所を、携帯電話やパソコンから地図情報で確認できるサービスです。また、ケータイお探しサービスを利用すると、紛失したFOMA端末のおおよその場所を、パソコンから地図情報で確認できます。イマドコサーチやケータイお探しサービスについての詳細は、ドコモのホームページをご覧ください。
  - 今いる場所の位置情報を通知する（現在地通知）
    現在地の位置情報を他の人（現在地通知機能に対応したサービス提供者）に通知します。
  - メールで自分の場所やお気に入りの場所の位置情報を送る
    位置情報をメール本文に貼り付けられます。受信者は位置情報URL（測位した情報を付加した位置サイトのURL）を利用して周辺地図を見ることができます。
  - 位置情報を電話帳に登録する
    取得した位置情報を電話帳に登録して利用できます。
- 圏外または海外では、現在地確認を除きGPS機能をご利用いただけません。

## GPSのご利用について

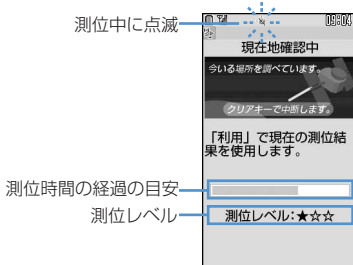
### ❖GPS利用時の留意事項

- 航空機、車両、人などの航法装置や、高精度の測量用GPSとしての使用はできません。これらの目的で使用したり、これらの目的以外でも、FOMA端末の故障や誤動作、不具合、停電などの外部要因（電池切れを含む）によって測位結果の確認や通信などの機会を逸したりしたために生じた損害などの純粋経済損害につきましては、当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- GPSは米国国防総省により運営されているため、米国の国防上の都合によりGPSの電波の状態がコントロール（精度の劣化や電波の停止など）される場合があります。また、同じ場所・環境で測位した場合でも、人工衛星の位置によって電波の状況が異なるため、同じ結果が得られないことがあります。
- GPSは人工衛星からの電波を利用しているため、次の環境下では電波を受信できない、または受信しにくいため位置情報の誤差が300m以上になる場合がありますのでご注意ください。
  - 密集した樹木の中や下、ビル街、住宅密集地
  - 建物の中や直下
  - 地下やトンネル、地中、水中
  - 高圧線の近く
  - 自動車や電車などの室内
  - 大雨や雪などの悪天候
  - 手などで覆っていたり、かばんなどに入れていたりする
  - FOMA端末を折り畳んでいる
  - 周囲に障害物（人や物）がある
- 位置提供や現在地通知のご利用にあたっては、GPSサービス提供者やドコモのホームページなどでのお知らせをご確認ください。また、これらの機能の利用は有料となる場合があります。

現在地確認

## 自分のいる場所を測位する

- 現在地確認をした際のパケット通信料は無料です。ただし、位置情報を利用して地図を表示した場合などは、別途パケット通信料がかかります。
- 位置提供または現在地通知での測位中は測位できません。
- 圏外や海外でも、見晴らしのよい場所であれば測位できる場合がありますが、時間がかかるなど通常とは動作が異なったり、周囲の状況によっては測位できなかったりすることがあります。

**1** [MENU]▶[6][9][1]

測位を行います。測位中はランプが点灯します。測位が終了すると、測位レベルと位置情報メニューが表示されます。

- 測位レベルのマークの意味は次のとおりです。
  ★★★：ほぼ正確な位置情報（誤差がおおむね50m未満）
  ★★☆：比較的正確な位置情報（誤差がおおむね300m未満）
  ★☆☆：おおよその位置情報（誤差がおおむね300m以上）
  ※ 測位レベルはあくまで目安です。周囲の電波状況などにより実際とは異なる場合があります。
- 測位中に[CLR]または[終話]を押すと、測位を中断します。
- タスク表示領域に「利用」が表示されているときに[□]を押すと、その時点での測位情報を利用できます。

**✔お知らせ**

- 測位に時間がかかる旨のメッセージが表示される場合があります。「はい」を選択すると測位を続けますが、測位には時間がかかります。「リトライ」を選択すると、測位モードの設定に関わらず品質重視モードでもう一度測位します。ただし、海外では「リトライ」は表示されません。

## ◆位置情報を利用する〈位置情報メニュー〉

### ■位置情報を利用するとき

現在地確認
今いる場所の確認が終了しました。
測位レベル:★☆☆
1 地図を見る
2 対応iアプリを利用
3 メール貼り付け
4 電話帳新規登録
5 電話帳更新登録
6 位置情報表示

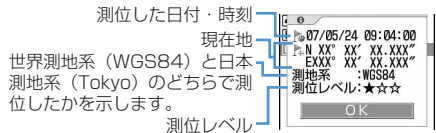
[1]：「OK」を選択すると地図サイトに接続し、位置情報を利用して地図を表示します。地図を表示した後、iエリアを使って周辺情報を調べることができます。iエリアについての詳細は、ドコモのホームページをご覧ください。

[2]：GPS対応iアプリの一覧を表示します。

[3]：メール本文の入力欄に位置情報URLが入力されたメール作成画面を表示します。現在地確認や位置履歴からメニューを表示したときは、題名の入力欄に「位置メール」と入力されます。
- 2in1がONでBモードのときは、利用できません。
- 送付する位置情報は、iモード対応端末でのみ表示されます。

[4]：位置情報が設定された電話帳の新規登録画面を表示します。

[5]：FOMA端末電話帳一覧を表示します。電話帳データを選択すると、登録済みの電話帳に位置情報が追加できます。

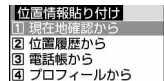
[6]：次の画面を表示します。

- 現在地は度（°）、分（′）、秒（″）で表示されます。「N」は北緯、「S」は南緯、「E」は東経、「W」は西経を示します。

### ■GPS以外の機能から位置情報を利用するとき

次のような方法でメニューを表示して、利用する位置情報を選択します。

- メール本文や署名編集の入力中に[MENU]を押し「定型文・パスワード引用」→「位置情報貼り付け」を選択すると、位置情報貼り付けメニューが表示されます。
- iモードやトルカなどで位置情報送信用のリンク項目を選択すると、位置情報送信メニューが表示されます。
- FOMA端末電話帳の新規登録画面や編集画面、プロフィール編集画面で「位置情報」を選択すると、位置情報付加メニューが表示されます。

**〈例〉「位置情報貼り付け」を選択したとき**

位置情報貼り付け
1 現在地確認から
2 位置履歴から
3 電話帳から
4 プロフィールから

[1]：現在地確認を行い、測位した位置情報を貼り付け／送信／付加します。

[2]：位置履歴から位置情報を貼り付け／送信／付加します。

[3]：位置情報が登録されたFOMA端末電話帳一覧から、電話帳データを選択し、位置情報を貼り付け／送信／付加します。

[4]：位置情報が登録されたプロフィール情報から、位置情報を貼り付け／送信／付加します。

### ◆現在地確認をした後に行う動作を設定する

【お買い上げ時】 地図を見る

待受画面で[8]を1秒以上押して測位した後に行う動作を設定します。

- セレクトメニューの設定がお買い上げ時の状態のとき、待受画面で[8]を1秒以上押すと現在地確認が起動します。セレクトメニューの設定を変更し、別のダイヤルキー（1階層目）に現在地確認を登録した場合にも有効です。

**1** [MENU]▶[6][9][4][1]▶[1]～[5]

**地図を見る**：地図サイトに接続し、測位した位置情報を利用して地図を表示します。
**対応ｉアプリを利用**：GPS対応ｉアプリの一覧を表示します。
**メール貼り付け**：題名の入力欄に「位置メール」、メール本文の入力欄に位置情報URLが入力されたメール作成画面を表示します。
**電話帳登録**：「電話帳新規登録」または「電話帳更新登録」を選択する画面を表示します。位置情報が設定された電話帳の新規登録か、登録済みの電話帳への位置情報の追加ができます。
**測位ごとに確認**：測位レベルと位置情報メニューを表示します。→P313

## GPS対応ｉアプリを利用する

- GPS対応ｉアプリを利用すると、利用するｉアプリの情報提供者に位置情報が送信されます。
- GPS対応ｉアプリでGPS機能を利用する場合、利用するｉアプリの「位置情報利用設定」を「利用する」に設定する必要があります。
- お買い上げ時には、GPS対応ｉアプリとして「ゼンリン地図＋ナビ F」が登録されています。

**1** [MENU]▶[6][9][2]▶**起動するGPS対応ｉアプリを選択**

- GPS対応ｉアプリを終了するには、それぞれのｉアプリごとに設定されている方法で操作を行ってください。

### ◆ゼンリン地図＋ナビ Fを利用する

GPS機能と、お買い上げ時に登録されている「ゼンリン地図＋ナビ F」を利用して、現在地の位置情報を調べたり、住所や電話番号などの情報から地図を検索したり、現在地から目的地までのナビゲーションを利用したりできます。
また、位置情報URLから「ゼンリン地図＋ナビ F」を利用して、地図の表示や周辺のスポット検索ができます。

- ご利用には別途パケット通信料がかかります。
- 「ゼンリン地図＋ナビ F」を削除した場合は、「@Fケータイ応援団」のサイトからダウンロードできます。
  **アクセス方法**（2007年6月現在）
  ｉMenu → メニュー／検索 → ケータイ電話メーカー → @Fケータイ応援団

サイトアクセス用QRコード

※ アクセス方法は予告なしに変更される場合があります。

#### ❖無料で利用できる機能について

最初に起動したときから90日間、期間限定ですべてのサービスを無料でご利用いただけます。すべての機能を継続してご利用いただくには、会員登録（有料）が必要です。また、会員登録を行うと、車のルート検索でVICSの情報※が利用できるようになります。
※ 財団法人道路交通情報通信システムセンターが渋滞や交通規制などの道路交通情報を、日本全国からVICSセンターに集め、カーナビゲーション用にリアルタイムで配信している情報です。

| メニュー | 内容 | 90日を過ぎたときの制限 |
|---|---|---|
| 現在地（GPS） | GPS機能を利用して現在地を確認します。 | 地図の縮尺に制限があります。 |
| 周辺検索 | 表示中の場所を中心にポイント情報を検索します。 | 地図の縮尺に制限があります。また、登録・履歴機能は利用できません。 |
| 地図を探す | 地名や電話番号などから地図を検索します。 | 地図の縮尺に制限があります。また、登録・履歴機能は利用できません。 |
| ナビをする | 徒歩や公共交通機関、車を利用してルート検索し、ナビを行います。 | 地図の縮尺に制限があります。また、時刻表の表示、時刻表を考慮した乗り換え案内、車を利用したルート探索はできません。 |
| 周辺情報 | 表示中の場所の天気情報を確認したり、場所を登録したりします。 | 位置情報の登録ができません。 |
| 登録／履歴 | 自宅など特定の場所の登録や緊急通報、天気情報の表示などを行います。 | すべての機能が利用できなくなります。 |
| 設定／ヘルプ | 設定変更やサイト上のヘルプの参照などを行います。 | － |

## ❖画面とキー操作について

**1** **[メニュー]▶[6][9][2]▶ゼンリン地図＋ナビ Fを選択**

- 初めて利用するときは、利用規約への同意と初期設定を行う必要があります。ここでは初期設定のモード選択で「標準モード」に設定した場合の操作方法で説明します。
- サイトやトルカなどの位置情報のリンク項目から起動できます。→P218

地図画面

※ 位置情報URLから表示したときは、その位置を中心に表示します。

- 地図の表示中は次の操作ができます。
  - [メニュー]：メニューの表示
  - [□]：拡大縮小バーの表示　[△]で広域地図、[▽]で詳細地図が表示されます。
  - [●]：[方向キー]での操作が可能なクイックアクセスメニューの表示
  - [方向キー]：地図を上下左右にスクロール
  - [*]：地図を左回転
  - [0]：北を上にして地図を表示
  - [#]：地図を右回転

## ❖地図を探す

フリーワードや電話番号、住所などから地図を表示します。

**1** **地図画面で[メニュー]▶[3]▶[1]～[6]**

## ❖ナビをする

出発地と目的地を設定してルートを検索し、音声と画面で目的地までナビゲーションします。

**1** **地図画面で[メニュー]▶[4]**

**2** **下記の各項目を選択して設定**

**出発地**：現在表示されている地図の中心、電話番号や住所の検索結果、履歴などから指定できます。「現在地（GPS）」を選択すると、現在地を確認して指定できます。

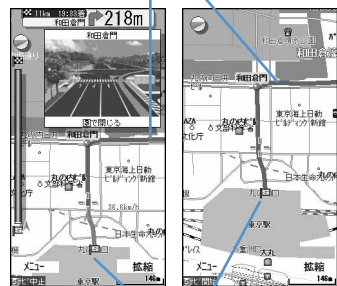
**目的地**：出発地と同様にして指定します（「現在地（GPS）」を除く）。

**時間指定**：現在の時刻で調べるか、出発または到着時間を指定して検索するかどうかを設定します。終電を利用するルートの検索も指定できます。

**条件設定**：乗り換えや徒歩のルートで優先する基準などを指定できます。

**3** **「ルートを探す」を選択**

検索したルートが表示されます。

- マークの意味は次のとおりです。
  - [徒歩マーク]：徒歩
  - [公共交通機関マーク]：公共交通機関
  - - 楽：乗り換えが楽
  - - 早：早く着く
  - - 安：料金が安い
  - - オススメ：楽／早／安のすべての条件を満たしている
  - ※ 2つの条件を満たしている場合は、「楽早」のように2つのマークが表示されます。
  - [車マーク]：車
  - - 有料：有料道路を利用
  - - 一般：一般道を利用
- ルートにカーソルを合わせると情報が確認できます。ルートを選択し、「ナビ」→「はい」を選択するとナビゲーションを開始します。「ルート確認」→「はい」を選択すると地図上でルートが確認できます。[□]を押すと終了できます。

ナビゲーション画面　　ルート画面

## ❖表示やナビの設定をする

**1** **地図画面で[メニュー]▶[7][2]▶[1]または[2]**

### ✔お知らせ

- ご利用方法の詳細については、地図画面で[メニュー]を押し「設定／ヘルプ」→「ご利用案内」をご覧ください。
- 2in1がONでBモードのときは、ゼンリン地図＋ナビ Fは利用できません。

©2007 ZENRIN DataCom CO.,LTD.

位置提供

## 要求に応えて現在の位置情報を提供する

【お買い上げ時】 位置提供 OFF

**位置提供可否設定で位置提供を行うかどうかを設定します。指定した期間だけ位置提供を許可するようにも設定できます。**

- 位置提供を利用するには、本設定を「位置提供 ON」に設定する必要があります。
- 本設定の内容は、初期設定を行うときに設定できます（→P45）。ただし、このときに許可期間設定は設定できません。
- 位置提供を利用するには位置提供機能に対応したサービス提供者へのお申し込みや、サービスごとの利用設定が必要となる場合があります。また、サービスの利用は有料となる場合があります。
- ｉモードの、ｉMenu→「料金＆お申込・設定」→「オプション設定」→「位置情報利用設定」（イマドコサーチ設定）の設定を行う必要がある場合があります。
- 位置提供は利用料がかかりません。
- 現在地確認または現在地通知での測位中や圏外にいるとき、セルフモード中、ｉアプリでｉモード中、赤外線通信／iC通信中は位置提供できません。また、測位中に電池が切れたり、おまかせロックがかかったりしたときは、測位は中断されます。

**1** **MENU ▶ 6 9 6 1 ▶ 認証操作 ▶ 1～3**

- 「位置提供 ON」に設定すると、操作を行わなくても位置情報が送信され、検索者に通知される場合があります。
- 「位置提供 ON」に設定するか、許可期間設定を行うと、待受画面にGPSが表示されます。FOMA端末を折り畳んでいるときは、背面ディスプレイにが表示されます。

**許可期間を設定する：3 ▶ 下記の各項目を選択して設定 ▶ 🄼**

**開始時間**：「位置提供 ON」にする時間を設定します。

**終了時間**：「位置提供 OFF」にする時間を設定します。

- 24時を超えて翌日に設定できます。

**繰り返し**：設定時間の繰り返しの動作を設定します。

- 「曜日指定」を選択したときは、「曜日選択」を選択し、位置提供を行う曜日を選択して🄼を押します。

**有効期間**：位置提供を行う期間を設定します。「開始日指定」または「開始／終了日指定」に設定すると、次の項目を設定できます。

**開始日**：「位置提供 ON」にする日を設定します。

**終了日**：「位置提供 OFF」にする日を設定します。

### ❖許可期間設定を設定したときの位置提供の動作について

位置提供可否設定の許可期間設定を設定したときの、「位置提供 ON」になる期間は次のようになります。

※「位置提供 ON」の期間欄には、2007年6月3日の9時00分に許可期間設定を行った場合に「位置提供 ON」になる期間を、西暦を省略して記載しています。

※ 繰り返しを「曜日指定」にした場合は、「位置提供ON」の期間欄に記載された期間のうち、指定した曜日のみ動作します。

**■ 開始時間を現在時刻より後の時間に設定したとき**

**〈例〉開始時間「10：00」、終了時間「18：00」**

| 繰り返し | 有効期間 | 「位置提供 ON」の期間 |
|---|---|---|
| なし | ― | 06/03<br>10：00-18：00 |
| 毎日または曜日指定 | なし | 06/03以降<br>10：00-18：00 |
| | 開始日指定<br>開始日：2007/06/01 | 06/03以降<br>10：00-18：00 |
| | 開始日指定<br>開始日：2007/07/01 | 07/01以降<br>10：00-18：00 |
| | 開始／終了日指定<br>開始日：2007/06/01<br>終了日：2007/06/30 | 06/03-06/30<br>10：00-18：00 |
| | 開始／終了日指定<br>開始日：2007/07/01<br>終了日：2007/07/31 | 07/01-07/31<br>10：00-18：00 |

**■ 開始時間を現在時刻より前の時間に設定したとき**

**〈例〉開始時間「08：00」、終了時間「18：00」**

| 繰り返し | 有効期間 | 「位置提供 ON」の期間 |
|---|---|---|
| なし | ― | 06/03<br>09：00-18：00 |
| 毎日または曜日指定 | なし | 06/03<br>09：00-18：00<br>06/04以降<br>08：00-18：00 |
| | 開始日指定<br>開始日：2007/06/01 | 06/03<br>09：00-18：00<br>06/04以降<br>08：00-18：00 |
| | 開始日指定<br>開始日：2007/07/01 | 07/01以降<br>08：00-18：00 |
| | 開始／終了日指定<br>開始日：2007/06/01<br>終了日：2007/06/30 | 06/03<br>09：00-18：00<br>06/04-06/30<br>08：00-18：00 |
| | 開始／終了日指定<br>開始日：2007/07/01<br>終了日：2007/07/31 | 07/01-07/31<br>08：00-18：00 |

■ 開始時間を現在時刻より後、終了時間を24時を超えて翌日に設定したとき

〈例〉開始時間「10：00」、終了時間「02：00」

| 繰り返し | 有効期間 | 「位置提供 ON」の期間 |
|---|---|---|
| なし | ― | 06/03 10：00<br>-06/04 02：00 |
| 毎日または曜日指定 | なし | 06/03以降<br>10：00-翌日02：00 |
| | 開始日指定<br>開始日：2007/06/01 | 06/03以降<br>10：00-翌日02：00 |
| | 開始日指定<br>開始日：2007/07/01 | 07/01以降<br>10：00-翌日02：00 |
| | 開始／終了日指定<br>開始日：2007/06/01<br>終了日：2007/06/30 | 06/03-06/30<br>10：00-翌日02：00<br>(07/01 02：00まで) |
| | 開始／終了日指定<br>開始日：2007/07/01<br>終了日：2007/07/31 | 07/01-07/31<br>10：00-翌日02：00<br>(08/01 02：00まで) |

■ 開始時間を現在時刻より前、終了時間を24時を超えて翌日に設定したとき

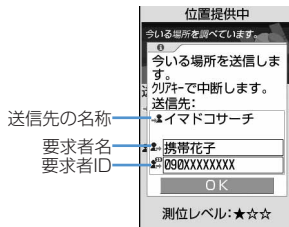
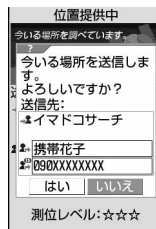
〈例〉開始時間「08：00」、終了時間「02：00」

| 繰り返し | 有効期間 | 「位置提供 ON」の期間 |
|---|---|---|
| なし | ― | 06/03 09:00<br>-06/04 02：00 |
| 毎日または曜日指定 | なし | 06/03 09:00<br>-06/04 02：00<br>06/04以降<br>08：00-翌日02：00 |
| | 開始日指定<br>開始日：2007/06/01 | 06/03 09:00<br>-06/04 02：00<br>06/04以降<br>08：00-翌日02：00 |
| | 開始日指定<br>開始日：2007/07/01 | 07/01以降<br>08：00-翌日02：00 |
| | 開始／終了日指定<br>開始日：2007/06/01<br>終了日：2007/06/30 | 06/03 09:00<br>-06/04 02：00<br>06/04-06/30<br>08：00-翌日02：00<br>(07/01 02：00まで) |
| | 開始／終了日指定<br>開始日：2007/07/01<br>終了日：2007/07/31 | 07/01-07/31<br>08：00-翌日02：00<br>(08/01 02：00まで) |

## ❖位置提供の要求があると

〈例〉サービスごとの利用設定を「許可」に設定しているとき

測位を行い、位置情報を送信します。が点滅し、測位鳴動音が鳴り、ランプが点灯し、バイブレータが振動します。

- 位置提供を中止する場合はchクリアまたはを押します。ただし、タイミングによっては位置情報が送信される場合があります。

- 要求者名は、要求者IDが電話帳に登録した電話番号またはメールアドレスと一致したときに、電話帳に登録した名前が表示されます。ただし、オールロック中やおまかせロック中、プライバシーモード中、2in1がONの場合など、FOMA端末の状態によっては表示されない場合があります。
- 要求者IDは表示されない場合があります。
- サービスごとの利用設定を「毎回確認」に設定しているときは、次の確認画面が表示されます。「はい」を選択すると測位を開始します。

### ✔お知らせ

- 位置提供を行っても、電波の状況により相手に情報が届いていない場合があります。
- 公共モード（ドライブモード）中に位置提供の要求があったとき、サービスごとの利用設定を「毎回確認」に設定している場合は位置情報を送信しません。「許可」に設定している場合は、画面が表示され位置情報を送信しますが、測位鳴動音は鳴らず、ランプやバイブレータも動作しません。
- 2in1がONのときは、2in1のモードに関わらずAナンバーに対する位置提供の要求があったときに利用できます。Bナンバーに対する位置提供の要求があっても位置提供は行われず、相手には「検索失敗」が通知されます。

現在地通知

## 現在の位置情報を通知する

**現在地の位置情報を他の人（現在地通知機能に対応したサービス提供者）に通知します。**

- 現在地通知を利用するには現在地通知機能に対応したサービス提供者へのお申し込みが必要となる場合があります。また、サービスの利用は有料となる場合があります。
- 現在地通知は利用料がかかります。
- 現在地確認または位置提供での測位中や圏外にいるとき、セルフモード中は、現在地通知はできません。また、ダイヤル発信制限中は通知先を入力しての通知はできません。

〈例〉通知先を入力して通知するとき

**1** MENU ▶ 6 9 5 1

**2** 2 ▶ 通知先IDの入力欄に通知先IDを入力 ▶ ●

半角で最大12文字入力できます。
測位中は が点滅し、ランプが点灯します。測位が完了すると測位鳴動音が鳴り、バイブレータが振動します。

- 場所と電話番号を送信する旨のメッセージ表示中に を押すか、測位中に ch(クリア) または を押すと通知を中断します。

登録した通知先に通知する：1 ▶ 1～5 ▶ ●

**3** 送信結果を確認 ▶ ●［選択］

### ❖現在地の通知先一覧に通知先を登録する

通知先を登録すると、現在地通知を行うときに一覧から選択して通知できます。特定の相手に音声電話またはテレビ電話を発信すると、登録した通知先IDに現在地の通知を行うようにも設定できます。

- 通知先は最大5件登録できます。
- FOMAカードを差し込んでいない場合やセルフモード中、ダイヤル発信制限中は、通知先の登録や削除はできません。

**1** MENU ▶ 6 9 5 2 1 ▶「〈新しい通知先〉」を選択

- 登録済みの通知先を確認するときは、確認する通知先を選択し、📖を押すと編集できます。
- 登録済みの通知先を削除するときは、MENUを押し「削除」を選択します。同様に、サブメニューから電話帳登録や赤外線送信、iC送信、microSDメモリーカードへのコピー／バックアップなどができます。

**2** 下記の各項目を選択して設定 ▶ 📖［登録］

- サブメニューから「電話帳引用」を選択すると、電話帳から通知先名と電話番号を引用できます。

**通知先名**：相手の名前を入力します。
- 全角で最大16文字、半角で最大32文字入力できます。

**通知先ID**：契約したサービス提供者から付与される番号を入力します。
- 半角で最大12文字入力できます。数字、「#」「*」を登録できます。

**電話番号**：相手の電話番号を入力します。入力すると、発信時通知設定が設定できます。
- 半角で最大26文字入力できます。数字、「P」「T」「+」「#」「*」を登録できます。

**発信時通知設定**：登録した相手に音声電話またはテレビ電話を発信するときに、登録した通知先IDに現在地を通知するかどうかを設定します。
- 「する」に設定すると、発信時に現在地を通知します。
- 「発信時確認」に設定すると、発信時に現在地を通知するかどうかの確認画面が表示されます。

**✔お知らせ**

- 電波の状況により相手に情報が届いていない場合があります。
- 現在地通知先一覧で現在地を通知するように設定しても、次の場合は通知できません。
  - 発信者番号を通知しないで発信したとき
  - 相手が話し中や圏外などのため通話できないとき
- 2in1がONのときは、2in1のモードに関わらずAナンバーで通知します。

位置履歴

## 測位の履歴を表示する

**現在地確認、位置提供、現在地通知のいずれかの機能で測位した履歴を表示します。履歴の位置情報を利用して、位置情報を電話帳に登録したり、位置情報URLが入力されたメールを作成したりできます。**

- 位置履歴は最大50件記録されます。50件を超えると、古いものから順に消去されます。

**1** MENU ▶ 6 9 3

- マークの意味は次のとおりです。
  ：現在地確認
  ／ （グレー）：位置提供／測位失敗
  ／ （グレー）：現在地通知／測位失敗

**2** 表示する履歴を選択

位置情報を利用する：利用する履歴にカーソルを合わせて[MENU]▶[1]▶位置情報メニューから利用する機能を選択

1件削除する：削除する履歴にカーソルを合わせて[MENU]▶[2][1]▶「はい」を選択

複数削除する：[MENU]▶[2][2]▶削除する履歴を選択▶[□]▶「はい」を選択

全件削除する：[MENU]▶[2][3]▶認証操作▶「はい」を選択

### ❖位置履歴詳細画面の見かた

ページ番号／総ページ数

位置履歴詳細 1/2
07/05/24 09:04:00
現在地確認
N XX° XX′ XX.XXX″
EXXX° XX′ XX.XXX″
測地系 :WGS84
測位レベル:★☆☆

現在地確認の位置履歴詳細画面

- マークの意味は次のとおりです。
  - ：測位した日時と機能
  - ：位置提供の送信先の名称／現在地通知の通知先名
  - ：現在地通知の通知先ID
  - ：位置情報
  - ：位置提供の要求者名
  - ：位置提供の要求者ID
- サブメニューから、位置情報メニューを表示して位置情報を利用したり、履歴を削除したりできます。位置提供の履歴に要求者IDの電話番号またはメールアドレスの情報があるときは、電話帳登録ができます。

**✔お知らせ**

- 現在地確認で測位を中断したり失敗したりしたときは、履歴に保存されません。また、位置提供や現在地通知で測位に失敗したときの履歴から、位置情報の利用はできません。
- ｉアプリなど他の機能から位置履歴の一覧を表示したときは、サブメニューからの位置情報の利用や削除はできません。また、位置提供や現在地通知で測位に失敗したときの履歴は表示されません。
- 位置提供や現在地通知の履歴に位置情報が登録されていても、電波状況によりサービス提供者に送信されていない場合があります。
- 位置提供の要求者名は、要求者IDが電話帳に登録した電話番号またはメールアドレスと一致したときに、電話帳に登録した名前が表示されます。プライバシーモード中や2in1がONの場合など、FOMA端末の状態により表示されない場合があります。

## GPSの設定をする

### ◆測位モードを設定する

【お買い上げ時】 標準モード

短い時間で測位することを優先する「標準モード」にするか、精度を高くするために時間をかけて測位を行う「品質重視モード」にするかを設定します。

〈例〉現在地確認の測位モードを設定するとき

**1** [MENU]▶[6][9][4][2]

現在地通知の測位モードを設定する：
[MENU]▶[6][9][5][2][2]

位置提供の測位モードを設定する：
[MENU]▶[6][9][6][2]

**2** [1]または[2]

- 「品質重視モード」に設定すると測位に時間がかかりますが、精度が高くなる場合があります。

### ◆測位中の動作を設定する 〈測位動作設定〉

【お買い上げ時】［現在地確認の測位動作設定］ 鳴動音選択、バイブレータ設定：OFF 鳴動時間（秒）：10 イルミネーション設定：点灯／ライム ［現在地通知の測位動作設定］ 鳴動音選択：メロディ／着信音5 バイブレータ設定：パターンB 鳴動時間（秒）：10 イルミネーション設定：点灯／アメジスト ［位置提供／許可、位置提供／毎回確認の測位動作設定］ 鳴動音選択：メロディ／着信音6 バイブレータ設定：パターンC 鳴動時間（秒）：10 イルミネーション設定：点灯／グレープ

〈例〉現在地確認の動作を設定するとき

**1** [MENU]▶[6][9][4][3]

現在地通知の動作を設定する：
[MENU]▶[6][9][5][2][3]

位置提供／許可の動作を設定する：
[MENU]▶[6][9][6][5][1]

位置提供／毎回確認の動作を設定する：
[MENU]▶[6][9][6][5][2]

**2** 下記の各項目を選択して設定▶［📖］［登録］

**鳴動音選択**：メロディを鳴らすかどうかを設定します。
- 「メロディ」に設定したときは、メロディを選択します。

**バイブレータ設定**：バイブレータの動作パターンを設定します。

**鳴動時間（秒）**：0～30秒の範囲で設定します。
- 位置提供／毎回確認の測位動作設定は0～20秒の範囲で設定します。

**イルミネーション設定**：ランプの点灯または点滅パターンと色を設定します。
- 「メロディ連動」は選択できません。また、位置提供／許可、位置提供／毎回確認で「OFF」を選択できません。

**✔お知らせ**
- 現在地確認で、電波の状態などにより測位し直したり、リトライしたりしたときには、ランプの点灯／点滅のみ動作します。

## ◆サービスを利用するための設定をする〈サービス利用設定〉

**1** [MENU]▶[6][9][6][3]
- 以降の操作については、各サービス提供者にお問い合わせください。

## ◆サービス利用設定サイトの接続先を変更する〈サービス利用／接続設定〉

【お買い上げ時】 接続先：ドコモ

**通常は設定を変更する必要はありません。**

**1** [MENU]▶[6][9][6][4]

**2** 下記の各項目を選択して設定▶［📖］［登録］

**接続先**：接続先を選択します。
- 「ユーザ設定」を選択すると、次の項目を設定できます。

**ユーザ設定接続先**：接続先を入力します。
- 半角で最大99文字入力できます。

**ユーザ設定初期画面URL**：表示するURLを入力します。
- 半角で最大100文字入力できます。

# テレビを見る

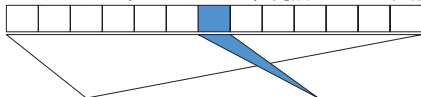
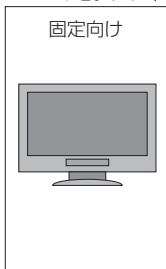
## テレビについて

### ◆ワンセグとは

ワンセグは、移動体向け地上デジタルテレビ放送です。1チャンネル（6MHz）の帯域を13セグメントに分割し、そのうちの1セグメントを移動体向けに利用していることからワンセグと呼ばれています。
ワンセグでは映像音声と共にデータ放送が放送されますが、より詳細な情報は通信（データ放送サイトやｉモードサイトなど）にて提供されるため、放送を通信で補完することが前提となる放送サービスです。なお、通信を使用する際には、パケット通信料がかかります。
また、携帯電話の通信機能を利用して、テレビ放送事業者（放送局）などと双方向に情報のやりとりができるようになります。これを利用してクイズ番組へ参加したり、テレビショッピングなどを気軽に楽しめます。

地上デジタルテレビ放送（UHF帯）

1チャンネル（13セグメント）内訳：6MHz帯域

### ◆ワンセグのご利用について

- ワンセグは、テレビ放送事業者（放送局）などにより提供されるサービスです。
- 放送波で放送されるワンセグの映像・音声・データ放送の受信はお申し込みが不要な無料のサービスです。
- データ放送領域に表示される情報には、「データ放送」「データ放送サイト」の2種類があります。「データ放送」は映像・音声と共に放送波で放送され、「データ放送サイト」はデータ放送の情報から、テレビ放送事業者（放送局）などが用意した通信サイトに接続し表示します。また、「ｉモードサイト」などへ接続する場合もあります。なお、サイトへ接続する場合は、別途ｉモードなどのご契約が必要です。
- 「データ放送サイト」「ｉモードサイト」などを閲覧する際は、パケット通信料がかかります。サイトによっては、ご利用になるために情報料が必要なもの（ｉモード有料サイト）があります。
- 「ワンセグ」サービスの詳細については、下記ホームページなどでご確認ください。
  社団法人デジタル放送推進協会
  http://www.dpa.or.jp/
- ワンセグは放送波を受信して表示されるため、FOMAサービスの圏外／圏内に関わらず、放送波が届かない場所や時間帯（放送圏外／放送休止中）では受信できません。

### ◆放送用保存領域とは

放送用保存領域とは、ARIB※1の放送技術仕様で規定されているワンセグ専用の端末内保存領域です。
放送用保存領域には、視聴中の番組内のデータ放送の指示に従いお客様が入力された情報が、テレビ放送事業者（放送局）の設定に基づき保存されます。保存される情報には、クイズの回答結果や、会員番号、性別、年齢、職業など個人情報が含まれる場合があります。
保存された情報は、お客様が再度入力することなく、データ放送サイトの閲覧時に表示されたり、テレビ放送事業者（放送局）へ送信される場合があります。
放送用保存領域には、各放送局個別領域と、系列局※2共通領域があります。
放送局個別領域に保存された情報は、同一放送局の番組視聴中にのみ利用することが可能です。また、系列局共通領域に保存された情報は、同一の放送局と系列内の他の放送局の番組視聴中のみ利用することが可能です。
- 放送用保存領域を消去する→P333

異なるFOMAカードに差し替えたときは、放送用保存領域を初期化するかどうかの確認画面が表示されます。「はい」を選択し、放送用保存領域の初期化を行ってください。「いいえ」を選択すると、放送用保存領域を使用したサービスが利用できません。

※1 ARIB：社団法人電波産業会

※2 系列局：（例）フジテレビ、東海テレビ、関西テレビなど同一系列のテレビ局

■ 放送用保存領域がいっぱいになった場合の画面表示

放送用保存領域内の放送局個別領域がすでに8つ使用されているときに、新たな放送局が放送局個別領域に書き込みを行おうとした場合、保存されている項目を上書きして保存するかどうかの確認画面が表示されます。「はい」を選択すると、削除する項目を選択する画面が表示されます。項目を選択すると新しい項目を保存できます。

■ 放送用保存領域の読み出し時の画面表示

ある番組を視聴中に放送用保存領域を利用する場合、「放送用保存領域の情報を利用しますか？同一系列放送局で利用した情報を含む場合があります」と表示されます。「はい」を選択すると、以後は同一番組の視聴中に行われる保存情報の読み出しについては、画面表示による確認は行われません。「はい（以後非表示）」を選択すると、以後は番組が変わっても確認は行われません。

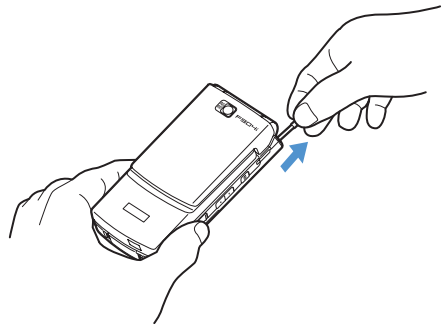
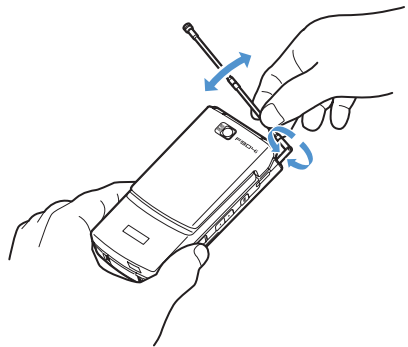
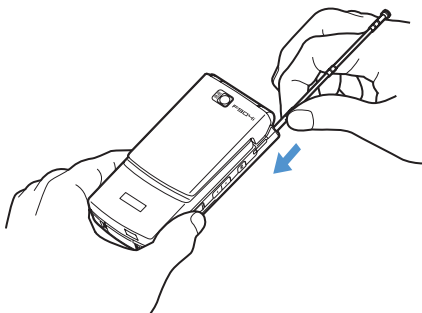
### ❖こんなこともできます

- データ放送の表示と利用→P330
- 番組表ｉアプリの利用→P328
- 視聴予約→P329
- テレビリンクの利用→P331
- リモコン番号によるワンタッチ選局→P327
- ディスプレイを回転させてワンセグ起動→P326
- マルチウインドウ（テレビを見ながらメール作成、など）→P332

## テレビをご利用になる前に

■ TVアンテナについて

ワンセグ視聴をするときは、TVアンテナがワンセグの電波を受信します。TVアンテナは十分伸ばして視聴してください。

- テレビの映りが悪いときは、FOMA端末を体と離したり近づけたり、または場所を移動したりすると映りがよくなることがあります。また、TVアンテナの方向を変えると映りがよくなることがあります。
- TVアンテナの方向を変えるときは、無理に力を加えないでください。
- TVアンテナを引き出すときはTVアンテナ上部のミゾに指をかけて静かに行います。

- TVアンテナの方向を変えるにはTVアンテナの根元近くを持って行います。

- TVアンテナをしまうにはTVアンテナの根元を持って止まるまで引っ込めます。TVアンテナの先端を持って引っ込めないでください。

■ ワンセグ視聴中に着信やアラームの起動があったときは

次の場合はテレビの音声が中断します。

- 音声電話
- iモードメール、SMS、メッセージR/F受信（受信・自動送信設定が「通知優先」に設定されている場合）
- 読み取り機からのトルカ取得
- アラーム（目覚まし、スケジュール、お知らせタイマー）

- 縦画面の場合は、起動した機能の画面が表示されて、音が鳴ります。機能を終了するか、TVを押すと視聴が再開されます。横画面の場合はワンセグと起動した機能が2画面で表示されます（→P332）。機能を終了すると、ワンセグ視聴の横標準画面または横全画面に戻ります。
  テレビ電話や「着モーション」または「ミュージック」を設定している着信などがあったときは、ワンセグ視聴は中断します。

**✔お知らせ**

- FOMAカードが挿入されていない場合、ドコモとのご契約を解約されている場合、またはFOMAサービスのご利用を休止されている場合はワンセグ視聴はできません。
- ドコモとご契約中のFOMAカードを挿入していても、通信ができない状態でワンセグ視聴を繰り返すと、ワンセグを起動できなくなる場合があります。その場合は、FOMAサービスエリア内に移動するなど、通信ができる状態で再度ワンセグを起動してください。
- ミュージックプレイヤーまたはデータBOXのメロディが起動すると、ワンセグ視聴は中断します。
- 次の機能が起動すると、ワンセグ視聴は中断します。
  - テレビ電話、プッシュトーク
  - iアプリ

**お願い**

- FOMA端末の故障・修理やその他の取り扱いによって、保存内容が消失・変化しても、当社としては責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
  なお、FOMA端末を機種変更や故障修理する際に、端末内に保存した情報（テレビリンク、放送用保存領域に保存された情報等）は移し変えできませんので、万一に備え、別にメモを取るなどして保管することをおすすめします。

## チャンネル設定

**ワンセグ視聴を利用するには、チャンネル設定が必要です。地域別にプリセットされているチャンネルか、ワンセグ視聴する場所で受信可能なチャンネルをチャンネルリストに登録します。**

- 最大登録件数→P541

### ◆チャンネルリストを作成する

**1** MENU▶9 1 5▶(本)

- チャンネルリストが1件もない場合には、作成するかどうかの確認画面が表示されます。「はい」を選択して作成します。

**2** **「プリセットから設定」を選択**

自動検索して作成する：

①**「自動チャンネル設定」を選択**

②**「はい」を選択▶地域を選択**

自動チャンネル設定中の画面が表示されます。

- 選択した地域のチャンネルが優先的に検索されます。

③**「はい」を選択**

操作4に進みます。

**3** **地域を選択▶都道府県を選択▶市町村を選択▶「はい」を選択**

選択した地域で受信可能な放送局のチャンネルリストが作成されます。

- 市町村を選択する必要がない都道府県もあります。

**4** **チャンネルリスト名を入力▶(本)［登録］**

- チャンネルリスト名は全角で最大10文字、半角で最大20文字入力できます。

✔お知らせ

- ワンセグ視聴中の画面から設定する場合は、MENUを押し「動作設定」→「チャンネルリスト」を選択します。
- 自動チャンネル設定でチャンネルを検索するには約60秒かかります。放送局の数や放送電波の状態によってはさらに時間がかかる場合があります。
- パソコンや他の液晶テレビなどノイズの多い機器の近くで自動チャンネル設定を行うと、時間がかかる場合があります。
- プリセットから設定しても、視聴する場所によっては設定したチャンネルが視聴できないことがあります。その場合は、自動チャンネル設定を行います。
- 自動チャンネル設定中は、操作確認音が鳴りません。

## ◆使用するチャンネルリストを設定する

**1** MENU▶9 1 5▶チャンネルリストにカーソルを合わせて✉［✔登録］

- 使用するチャンネルリストに設定されると✔が表示されます。

✔お知らせ

- チャンネルリストが1件しか登録されていない場合は、自動的に使用するチャンネルリストに設定されます。

## ◆チャンネルリストを操作する

### ❖チャンネルリストを更新する

チャンネルリストを更新すると、受信できなくなった局などを再び視聴できる場合があります。

**1** MENU▶9 1 5▶更新するチャンネルリストにカーソルを合わせて MENU▶4

以降の操作→P324「チャンネルリストを作成する」操作2

✔お知らせ

- ワンセグ視聴中は現在使用中のチャンネルリストの更新ができません。

### ❖チャンネルリストを削除する

〈例〉チャンネルリストを1件削除する

**1** MENU▶9 1 5▶削除するチャンネルリストにカーソルを合わせて MENU▶5 1

- 使用しているチャンネルリストが削除された場合は、登録した日付がいちばん古いチャンネルリストが設定されます。

チャンネルリストを全件削除する：
MENU▶5 2▶認証操作

**2** 「はい」を選択

✔お知らせ

- ワンセグ視聴中は現在使用中のチャンネルリストの削除ができません。

### ❖チャンネルリスト名を変更する

**1** MENU▶9 1 5▶変更するチャンネルリストにカーソルを合わせて MENU▶2

**2** チャンネルリスト名を入力▶📖［登録］

- チャンネルリスト名は全角で最大10文字、半角で最大20文字入力できます。

## ◆チャンネルリストの内容を操作する

### ❖視聴中のチャンネルを登録する

- チャンネルは最大62件登録できます。

**1** ワンセグ視聴画面で MENU▶7

現在使用しているチャンネル一覧画面が表示されます。

**2** 登録するチャンネルにカーソルを合わせて●［選択］

- すでに登録されているチャンネルを選択した場合は、上書きするかどうかの確認画面が表示されます。「はい」を選択すると、上書きします。

### ❖リモコン番号を入れ替える

**1** MENU▶9 1 5▶チャンネルリストを選択

**2** チャンネルにカーソルを合わせて MENU▶1

**3** 入れ替え先のチャンネルを選択

✔お知らせ

- ワンセグ視聴中は現在使用中のチャンネルリストでリモコン番号の入れ替えはできません。

### ❖チャンネルを削除する

**1** MENU▶9 1 5▶チャンネルリストを選択

**2** 削除するチャンネルにカーソルを合わせてMENU▶2▶「はい」を選択

- チャンネルが1件だけ登録されているチャンネルリストからはチャンネルを削除できません。
- ワンセグ視聴中は現在使用中のチャンネルリストからチャンネルの削除ができません。

ワンセグ視聴

## テレビを見る

MENU▶9 1 1

**1** TVを押す

前回視聴したチャンネルが表示されます。
- チャンネルリストが未設定のときは、チャンネル設定を行う旨の画面が表示されます。「OK」を選択し、チャンネルリストを作成してください。→P324

**初めて起動するとき**

① TVを押す
ワンセグ利用上の条件が表示されます。

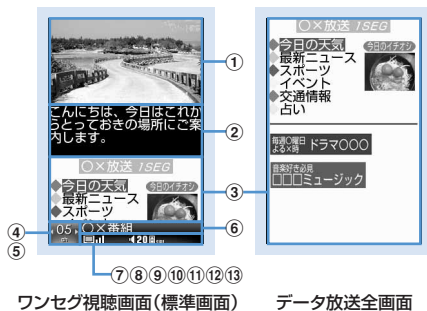
②「OK」を選択
放送用保存領域の確認が表示されます。

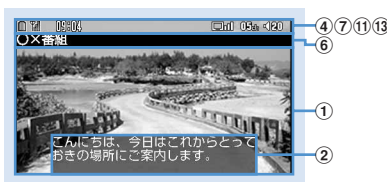
③「OK」を選択
チャンネル設定を行う旨の画面が表示されます。

④「OK」を選択
以降の操作→P324「チャンネルリストを作成する」操作2

### ✔お知らせ

- 次の方法でもワンセグ視聴を起動できます。
  - チャンネルリストのチャンネル一覧画面でチャンネルを選択する
  - 番組表 i アプリ、メール、メッセージR/F、 i チャネル、サイトやホームページなどに表示されているチャンネル情報などを選択する
  - お買い上げ時はディスプレイを右へ回転させる
- 初めてワンセグ視聴を利用する場合は、FOMAサービスエリア内で起動してください。

### ◆画面の見かたと操作

ワンセグ視聴画面（標準画面）　データ放送全画面

ワンセグ視聴画面（横標準画面）

ワンセグ視聴画面（横全画面）

**①映像**

**②字幕**
番組に字幕情報がある場合に表示できます。画面設定で字幕表示を「表示あり」に設定しても、字幕情報がない場合は、字幕領域は確保されません。ワンセグ視聴画面（横標準画面）で字幕を表示させると、④～⑬の代わりに字幕が表示されます。

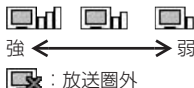
**③データ放送**
番組のデータ放送またはデータ放送サイトが表示されます。

**④リモコン番号**
現在選局されているリモコン番号が表示されます。

**⑤UP/DOWN選局**
で選局できることを、リモコン番号の横の▶、◀で示します。

**⑥放送局名／番組名**
選局中は放送局名が表示されます。選局が終了すると番組名が表示されます。
視聴中に番組が放送休止になった場合は、「放送休止中」と表示されます。

**⑦ワンセグ受信の状態**

強 ←→ 弱

：放送圏外

⑧ **音声の状態**
S: ステレオ　M: モノラル
主: 主音声　副: 副音声
主・副: 主音声／副音声

⑨ **ブラウザ機能の状態**
データ放送またはデータ放送サイトで1～9、*、0、#で項目が選択可能な場合にDATAが表示されます。このとき、ワンタッチ選局はできません。

⑩ **オフタイマー**
オフタイマーが設定されている場合、残り時間または(番組終了まで）が表示されます。
- 視聴予約で「終了日時」を設定している場合は残り時間が表示されます。
- 残り時間が99分を超える場合はOFFのみ表示されます。

⑪ **音量**
: 音量に関わらず音声出力をしない場合に表示されます。
SIDE: サイドキー［▲▼］で音量調整ができることを示します。ワンセグ視聴画面（横全画面）では表示されません。

⑫ **キーガイダンス**
TV: ワンセグ視聴とその他の機能を同時に実行中にTVで機能の切り替えができることを示します。

⑬ **複数番組放送**
: 1つのチャンネルで複数の番組が放送されているときに表示されます。番組を切り替えて視聴できます。→P328

**✔お知らせ**
- 選局中に放送圏外になった場合などは放送を受信できない旨のメッセージが表示された後、映像、データ放送ともに黒い画面が表示されます。

## ❖視聴中の操作

サイドキー［▲▼］：音量調整
（データ放送全画面を除く）：チャンネル一覧の前後のチャンネルを選択
（データ放送全画面を除き1秒以上）：受信可能な前後の周波数をサーチ※1
（データ放送全画面）：前後のページへ移動※2
（データ放送表示領域あり）：データ放送をスクロール
（データ放送表示領域ありで1秒以上）：データ放送を高速スクロール
（データ放送表示領域なし）：音量調整
（データ放送表示領域なしで1秒以上）／サイドキー［▲］（1秒以上）：連続して音量大
（データ放送表示領域なしで1秒以上）／サイドキー［▼］（1秒以上）：消音
1～9、*、0、#：チャンネル一覧からワンタッチ選局※3
（縦画面）：標準画面／データ放送全画面の切り替え
（横画面）：横標準画面／横全画面（アイコンなし）／横全画面（アイコンあり）の切り替え
（データ放送全画面を除く）：字幕の表示／非表示の切り替え
：番組表 i アプリ起動
：ワンセグ視聴終了
終了確認画面で「はい」を選択すると、ワンセグ視聴が終了します。

※1 場所を移動したときなどにチャンネルサーチを行うと、登録されていない放送局が受信できる場合があります。受信できないときは、その旨のメッセージが表示された後、視聴中のチャンネルに戻ります。受信できた放送局は、チャンネルに追加登録できます（→P325）。なお、チャンネルサーチは周波数順に検索するため、リモコン番号の順番通りに検索されるとは限りません。
※2 前後のページがキャッシュに保存されているときに操作できます。
※3 *は10ch、0は11ch、#は12ch、13ch以降はチャンネル一覧から選択できます。

**✔お知らせ**
- クローズ動作設定を「継続」に設定している場合、ワンセグ視聴中にFOMA端末を折り畳んでも音声は継続されます。
- 地形などが放送電波の状態に影響するために、場所によって受信できないチャンネルがあります。チャンネルリストを更新したり、自動チャンネル設定を行うと、他のチャンネルが受信できることがあります。→P324、P325
- 放送電波の状態などにより、次のことが起きる場合があります。
  - 音声が途切れる
  - データ放送が操作できない
  - 映像にブロック状のノイズが入る、または停止する
- ワンセグ視聴の起動時やチャンネルを切り替えたときは、視聴できるまでに少し時間がかかります。

## ◆チャンネル一覧を確認する

現在使用しているチャンネルリストのチャンネル一覧が確認できます。

**1** **ワンセグ視聴画面でMENU▶1**
- チャンネルにカーソルを合わせて●を押すか、またはリモコン番号を押すと、チャンネルを切り替えられます。

### ◆番組情報を確認する

**1 ワンセグ視聴画面で[MENU]▶[2]**

- 次の番組情報が確認できます。
  - 番組情報（開始時刻〜終了時刻※1、番組名）
  - 番組説明
  - 放送局名
  - 音声／字幕情報※2（第一音声・第一音声／第二音声・音声なし、第一言語・第一言語／第二言語・字幕なし）

  ※1 開始時刻や終了時刻が設定されていない、または読み込めなかった場合は、表示されません。

  ※2 字幕があっても、言語の数が不明なときには表示されません。

### ◆オフタイマーを設定する

30分後、60分後、90分後、または視聴中の番組が終了したときにワンセグ視聴を終了するように設定します。

**1 ワンセグ視聴画面で[MENU]▶[4]▶[1]〜[4]**

- 終了時間になると視聴を終了するかどうかの確認画面が表示されます。「はい」を選択すると、ワンセグ視聴が終了します。「いいえ」を選択すると、続けて視聴できます。また、確認画面が表示されてから30秒間操作しないと、自動的にワンセグ視聴が終了します。
- 視聴予約、サイト、メールなどに表示されているワンセグ視聴情報や番組表からワンセグ視聴を起動したときに、起動元の情報に終了日時が指定されていると、自動的にオフタイマーを設定します。その後、視聴中にオフタイマーを再設定できます。

**オフタイマーを解除する：ワンセグ視聴画面で[MENU]▶[4][5]**

**✔お知らせ**

- オフタイマーを「番組終了まで」に設定しているときに別のチャンネルを選択すると、オフタイマーの終了時間は新たに選択したチャンネルで放送されている番組の終了時間に変更されます。ただし、情報がない場合は変更されません。

### ◆サービスを切り替える

同じチャンネルで複数の番組（サービス）が提供されている場合は、切り替えて視聴できます。

**1 ワンセグ視聴中に[MENU]▶[8][5]▶[1]〜[3]**

### ◆メールを作成する

視聴中の番組情報が入力されたメールを作成します。

- 受信側がMedia To機能に対応しているときは入力された番組の情報を使って、番組の視聴などができます。

**1 ワンセグ視聴画面で[MENU]▶[6]**

メール作成画面が表示されます。視聴している番組の情報が本文の入力欄に入力されています。

- 縦画面では、映像の表示が中止されます。横画面では、マルチウインドウが開始されます。→P332

**✔お知らせ**

- 2in1がONでBモードのときは、メールに関する操作はできません。→P462

## 番組表ｉアプリを利用する

**番組表ｉアプリを利用して、番組を選択してワンセグ視聴を起動したり、視聴予約をしたりできます。**

- お買い上げ時には番組表ｉアプリとして「Gガイド番組表リモコン」が登録されています。「Gガイド番組表リモコン」は「番組表ボタン設定」に設定されています。

**1 [MENU]▶[9][1][2]**

ｉアプリのソフト動作設定の「番組表ボタン設定」で設定されている番組表ｉアプリが起動します。

※ 画面はイメージです。実際の画面とは異なります。お住まいの地域に応じた番組表が表示されます。

- ワンセグ視聴画面から操作する場合は、[TV]を押すか、[MENU]を押し「番組表」を選択します。
- 番組表ｉアプリ画面で[MENU]を押すと、選択しているチャンネルで現在放送している番組を視聴できます。
- 番組表ｉアプリを終了するには、[終話]を押し「はい」を選択します。
- 詳細は『ご利用ガイドブック（ｉモード〈FOMA〉編）』をご覧ください。

✔お知らせ

- 初めて番組表ｉアプリを利用するときは、初期設定が必要です。
- 番組表ｉアプリは、ｉアプリのソフト動作設定の「番組表ボタン設定」で設定できます。番組表ｉアプリをダウンロードして番組表ボタン設定を行うと、ダウンロードした番組表ｉアプリが起動します。→P285

視聴予約

## テレビの視聴を予約する

**ワンセグの視聴予約を行います。予約した日時になると、自動的にワンセグ視聴が起動したり、アラームで番組の開始をお知らせしたりします。**

### ◆視聴予約を登録する

日時、チャンネル、番組名などを設定して視聴予約を登録します。視聴予約は最大50件登録できます。

- 最大登録件数はスケジュール帳の登録件数により変わります。→P541
- 番組表ｉアプリや、サイトやメールなどに表示されているチャンネルなどの情報を使って視聴予約を登録することもできます。その場合、開始日時、終了日時、チャンネル、番組名があらかじめ入力された状態で視聴予約登録の画面が表示されることがあります。

**1** MENU ▶ 9 1 3 ▶ 📖

**2** 下記の各項目を選択して設定

**開始日時**：視聴を開始する日時を入力します。
**終了日時**：視聴を終了する日時を設定するときは「あり」を選択し、視聴を終了する日時を入力します。
**チャンネル**：視聴するチャンネルをチャンネル一覧から選択します。
**番組**：視聴する番組名を入力します。全角で最大100文字、半角で最大200文字入力できます。
**目覚まし利用**：「する」を選択すると、開始通知後にワンセグ視聴が起動します。

**3** ⊠で開始通知機能設定画面に切り替え ▶ 下記の各項目を選択して設定

**開始通知**：「あり」を選択すると、ワンセグ視聴が起動する前に開始通知が表示されます。ただし、目覚まし利用で「する」を選択すると、開始通知は「あり」に設定されます。「なし」を選択すると、ワンセグ視聴が起動する前に開始通知が表示されません。
**事前通知時間設定**：開始通知を表示させる時間を選択します。
**アラーム設定**：「あり」を選択すると、開始通知が1分間表示されアラーム音が鳴ります。アラーム音は選択できます。
- 「メロディを選択」を選択した場合はアラーム音を選択します。
- 「端末設定に従う」を選択すると、音設定のスケジュール音に従います。→P123「目覚まし音とスケジュール音を設定する」

**連動起動**：「する」を選択すると、目覚まし利用の設定により次のように動作します。

| 目覚まし利用 | 動作 |
| --- | --- |
| する | 開始通知を表示した後、自動的にワンセグ視聴が起動します。 |
| しない | 開始通知を表示した後、ワンセグ起動確認画面が表示されます。「はい」を選択すると、ワンセグ視聴が起動します。 |

連動起動で「しない」を選択すると、開始通知が約1分間表示された後に自動的に消去されます。

**4** ⊠でその他の設定画面に切り替え ▶ 下記の各項目を選択して設定

**繰り返し**：視聴予約の繰り返しの動作を選択します。「曜日指定」を選択したときは、「曜日選択」で曜日を選択します。

**5** 📖 ▶「はい」を選択

- 視聴予約を設定すると、待受画面に📖が表示されます。

✔お知らせ

- 視聴予約を登録すると、自動的にスケジュール帳の予定にも登録されます。ただし、スケジュール帳からは視聴予約詳細の確認や編集、削除はできません。
- 開始日時は、視聴開始の事前通知が現在時刻と同じ、または現在時刻より前には設定できません。
- アラームが鳴っている間に ⊡ またはサイドキー［▼］以外のキーを押すと、起動確認画面を表示させたり、ワンセグ視聴を起動させたりできます。

- アラーム設定で「あり」を選択した場合、開始通知の表示から1分間アラームが鳴ります。アラームが鳴っている間はワンセグ視聴が起動しません。開始日時にあわせてワンセグ視聴を起動させたいときは、事前通知時間設定を「1分前」に設定してください。
- 保存領域の空きが足りない場合や最大保存件数を超える場合は、保存できない旨のメッセージが表示されます。保存するときは、不要な視聴予約を削除してください。
- チャンネルリストが設定されていない場合は、視聴予約はできません。

### ❖予約した日時になると

ディスプレイに登録した予約内容が表示されます。アラーム設定で「あり」を選択した場合の音量、バイブレータ、イルミネーションの動作はスケジュールアラームと同じです。

- アラームが鳴っているときに[]を押すと、アラームが終了し、鳴る前の画面に戻ります。

**✔お知らせ**

- 予約内容の表示動作はスケジュールアラームと同じです。
- 同じ日時に複数の視聴予約やスケジュールを登録すると、登録した日時が最も後のスケジュール、または視聴予約が有効になります。登録順によってはワンセグ視聴が連動起動されません。起動されなかったスケジュールや視聴予約はアラーム停止後に[]を押すと確認できます。
- 通話中やプッシュトーク通信中に指定した日時になると、アラームではなく警告音が鳴り開始通知画面が表示されます。このとき、目覚まし利用を「する」、または連動起動を「する」に設定していると、ワンセグ視聴は自動起動されません。開始通知画面で[●]を押すと起動確認画面を表示させたり、ワンセグ視聴を起動させたりできます。
- アラームが鳴っている間に[MULTI]を押したときや、音声着信などがあったときは、ワンセグ視聴は自動的に起動されません。開始通知画面で[●]を押すと起動確認画面を表示させたり、ワンセグ視聴を起動させたりできます。

## ◆視聴予約を操作する

### ❖視聴予約を編集する

**1** [MENU]▶[9][1][3]

**2** 編集する視聴予約を選択▶[]

**3** 視聴予約を編集▶[]▶「はい」を選択

**✔お知らせ**

- 視聴予約一覧画面から編集するには、[MENU][2]を押します。

### ❖視聴予約を削除する

〈例〉視聴予約を詳細画面から1件削除するとき

**1** [MENU]▶[9][1][3]▶削除する視聴予約を選択

**2** [MENU]▶[3]▶「はい」を選択

視聴予約一覧画面から削除する：
[MENU]▶[3]▶[1]～[3]▶「はい」を選択
- 「過去データ一括削除」を選択した場合は、過去の日時の視聴予約がすべて削除されます。
- 「全件削除」を選択した場合は、認証操作を行います。

### ❖視聴予約を並べ替える

**1** [MENU]▶[9][1][3]

**2** [MENU]▶[4]▶[1]▶[1]または[2]

**昇順**：開始日時の早いものから並べます。
**降順**：開始日時の遅いものから並べます。

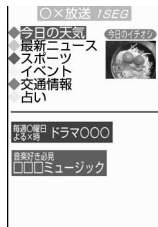
**✔お知らせ**

- 開始日時が過ぎた予約は、開始日時が過ぎていない予約の後に表示されます。

データ放送

## データ放送を利用する

**ワンセグでは、映像・音声に加えてデータ放送を利用できます。番組と連動したサイトなど、静止画や動画を含むさまざまな情報を利用できます。**

**1** ワンセグ視聴画面（標準画面）またはデータ放送全画面で[]▶各項目を選択

データ放送からサイト表示などに移ります。

- データ放送とデータ放送サイトについて→P322
- [i]を押すたびに標準画面とデータ放送全画面が切り替わります。
- データ放送中もテレビの音声は流れます。
- 選択した項目によっては、ｉモードサイトに接続する、ダウンロードを開始する、他の機能を起動するなどの確認画面が表示されます。機能を利用するには「はい」を選択します。「はい（以後非表示）」を選択すると、次回から同じ機能を利用するときに確認画面が表示されず、データ放送・データ放送サイトの情報は自動的に更新される場合があります。このとき、パケット通信料がかかる場合がありますのでご注意ください。
- 次の操作ができます。
  [✉]／[▣]：ガイド表示領域の右下に「戻る」が表示されているときは、前のページに戻ります。
  [📖]：番組表ｉアプリを起動します。
  [○]（1秒以上）：画面を高速でスクロールします。
  サイドキー［▲▼］：音量調整
  サイドキー［▲］（1秒以上）：連続して音量大
  サイドキー［▼］（1秒以上）：消音
- データ放送サイト表示中に[MENU][9][1]を押すと次のページへ進みます。また、[MENU][9][2]を押すと前のページに戻ります。
- データ放送サイト表示中に[MENU][9][3]を押すと現在のページをもう一度読み込みます。
- データ放送サイト表示中に[MENU][9][6]を押すと、データ放送に戻ります。
- リンク先や項目の選択の操作はｉモードと同じです。→P207
- データ放送サイトの画像の表示／非表示や、データ放送、データ放送サイトの効果音のON／OFFを設定するには[MENU][9][5]を押してください（→P219）。

**✔お知らせ**

- 放送用保存領域の空きが足りないときは、上書きするかどうかの確認画面が表示されます。上書きする場合は、画面の指示に従って上書きを行ってください。→P323
- 横画面ではデータ放送を表示できません。
- データ放送サイトの画像や、データ放送、データ放送サイトの効果音は待受画面で[MENU][9][1][6][3][2]を押しても設定できます。
- データ放送、データ放送サイトはクローズ動作設定を「継続」または「ミュート」にしておくと、FOMA端末を折り畳んでいるときでも、情報が更新され、パケット通信料がかかる場合があります。
- データ放送サイト表示中は、操作確認音が鳴りません。

テレビリンク

# テレビリンクを使う

**データ放送、データ放送サイトによっては、サイトやメモ情報をテレビリンクに登録できます。テレビリンクに登録しておくと、直接目的のサイトやメモ情報を表示できます。**

- 登録した内容はワンセグからの操作でのみ利用できます。ｉモードやフルブラウザでは利用できません。

## ◆テレビリンクに登録する

テレビリンク登録可能な項目を選択すると、テレビリンクに登録するかどうかの確認画面が表示されます。

- 最大登録件数→P541

**1 テレビリンク登録可能な項目を選択▶「はい」を選択▶フォルダを選択**

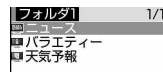
- 同じURLやメモ情報を登録しようとすると、上書きするかどうかの確認画面が表示されます。「はい」を選択すると、上書きします。

**✔お知らせ**

- 保存領域の空きが足りないときや最大保存件数を超える場合は、上書きするかどうかの確認画面が表示されます。保存するときは、画面の指示に従ってテレビリンクを上書きしてください。

## ◆テレビリンクからサイトやメモ情報を表示する

**1 [MENU]▶[9][1][4]▶フォルダを選択▶表示したいテレビリンクを選択**

メモ情報を選択した場合は、メモ画面が表示されます。

テレビリンク一覧画面

- マークの意味は次のとおりです。
  [📁]：フォルダ（テレビリンクなし）
  [📁]：フォルダ（テレビリンクあり）
  [DATA]：データ放送サイトへのリンク
  [i]：ｉモードサイトへのリンク
  [📝]：メモ情報
- 次の方法でもテレビリンクの一覧を表示できます。
  - ワンセグ視聴中の画面で[MENU][5]を押す。
  - テレビリンク一覧からデータ放送サイトを表示したときに[MENU][2]を押す。
  - データ放送、データ放送サイトでテレビリンク一覧を表示させるリンクを選択する。

**2** 「はい」を選択

詳細画面を表示する：[本]を押す

✔お知らせ

• データ放送、データ放送サイトによっては、サイトを表示したときに自動的にテレビリンクリストを表示するかどうかの確認画面が表示されます。「はい」を選択すると、テレビリンク一覧画面が表示されます。

### ❖テレビリンクを削除する

**1** テレビリンク一覧画面で[MENU]▶[2][1]

複数のテレビリンクを削除する：
[MENU]▶[2][2]▶テレビリンクを選択▶[本]

フォルダ内のテレビリンクをすべて削除する：
[MENU]▶[2][3]▶認証操作

**2** 「はい」を選択

### ❖テレビリンクを全件削除する

**1** [MENU]▶[9][1][4]

**2** [MENU]▶[4]▶認証操作▶「はい」を選択

### ❖テレビリンクを移動する

**1** テレビリンク一覧画面で[MENU]▶[3][1]▶フォルダを選択

複数のテレビリンクを移動する：
[MENU]▶[3][2]▶テレビリンクを選択▶[本]

### ❖フォルダを作成／削除する

フォルダを作成してテレビリンクを整理します。また、フォルダ名を変更や、不要なフォルダの削除もできます。

• フォルダは最大20個作成できます。

**1** [MENU]▶[9][1][4]

**2** [MENU]▶[1]▶フォルダ名を入力▶[本]［登録］

フォルダ名は全角で最大8文字、半角で最大16文字入力できます。

フォルダ名を変更する：[MENU]▶[3]

フォルダを削除する：[MENU]▶[2]▶認証操作▶「はい」を選択

### ❖フォルダの並び順を変更する

**1** [MENU]▶[9][1][4]

**2** 変更するフォルダにカーソルを合わせて[MENU]▶[5]または[6]

## マルチウインドウでワンセグを視聴する

**横画面でワンセグ視聴中、他の機能が利用できます。**

### ❖ワンセグ視聴中に音声電話の着信があった場合

**1** 電話がかかってくる

• 自動的にマルチウインドウの画面に切り替わります。音声電話の着信時は、テレビの音が消え、着信音が鳴ります。

**2** [通話]を押す

ワンセグ視聴しながら通話できます。

• お買い上げ時はディスプレイを横から縦に回転しても通話できます。→P430
• 通話中に[通話]を押すとスピーカーホンに切り替えられます。→P53
• [TV]を押すと、映像が全画面で表示され、テレビを見ながら通話できます。再び通話中画面に戻すときは[TV]を押します。[MULTI]を押してワンセグ視聴画面と通話中画面を切り替えることもできます。

### ❖ワンセグ視聴中にメール、メッセージR/F、SMSを受信した場合

• ワンセグ視聴中にメール、メッセージR/F、SMSを受信すると、受信・自動送信表示設定が「通知優先」のときは、自動的にマルチウインドウの画面に切り替わります。受信画面の表示が終了すると、マルチウインドウが終了し、ワンセグ視聴画面に戻ります。

### ❖ワンセグ視聴中に他の機能を利用する

ワンセグ視聴と次の機能を同時に使用すると、マルチウインドウが表示されます。

- 音声電話
- メール表示※1、2、メール作成、チャットメール、iモード問合せ
- 電話帳、プッシュトーク電話帳、リダイヤル、着信履歴、伝言メモ、音声メモ、メール送受信履歴、プロフィール情報
- 動画／iモーション一覧・詳細情報
- スケジュール帳、メモ帳、目覚まし、電卓、辞典、お知らせタイマー
- microSDメモリーカード※3、4、電話帳お預かりサービス※3、GPS※5

※1 メールに添付されたメロディは再生できません。
※2 電話帳登録されていない相手からの受信メールやSMSの詳細表示はできません。
※3 microSDメモリーカード内のメールや電話帳お預かりサービスでお預かりセンターに預けているメールをFOMA端末に保存する場合、マルチウインドウを表示することはできません。
※4 microSDメモリーカード内のメールを表示するときはマルチウインドウで表示できません。
※5 GPSで測位や通信を行うとマルチウインドウは終了します。

**1** **ワンセグ視聴中に[MULTI]▶機能を選択**

ワンセグ視聴中にメールを作成するとき

- マルチウインドウを表示しているとき、機能を切り替えるには[TV]を押します。

**✔お知らせ**

- 縦画面でワンセグ視聴中にマルチウインドウで表示できる機能を実行しているとき、ディスプレイを回転させるとマルチウインドウになります。
- 他の機能を選択して2画面表示になっても、テレビの映像が表示されなかったり、他の機能の表示中にテレビの音声が継続して聞こえたりする場合があります。

ワンセグ設定

## ワンセグ視聴に関する各種設定をする

### ◆画面を設定する

【お買い上げ時】 照明設定：自動調整　字幕表示：通話中・マナー時表示　字幕サイズ：中（標準）　字幕言語切替：第一言語　メール受信時テロップ表示：表示しない

**1** **[MENU]▶[9][1][6][1]▶下記の各項目を選択して設定▶[□]［登録］**

- ワンセグ視聴中に設定する場合は、[MENU][8][2]を押します。

**照明設定**：ワンセグ視聴中の照明を設定します。
**字幕表示**：字幕の表示／非表示を設定します。
- 「通話中・マナー時表示」は、通話中またはマナーモード中にワンセグ視聴を起動した場合の音声再生確認画面で「いいえ」を選択したときに、字幕を表示します。

**字幕サイズ**：字幕のサイズを設定します。
- 横標準画面ではサイズが変わりません。

**字幕言語切替**：字幕の言語を切り替えます。
**メール受信時テロップ表示**：メール受信時のテロップ表示を着信／受信時動作設定のメール受信時動作設定に従うか、表示しないかを設定します。

### ◆音声を設定する

【お買い上げ時】 音声切替：第一音声　主・副音声切替：主音声

**1** **[MENU]▶[9][1][6][2]▶下記の各項目を選択して設定▶[□]［登録］**

**音声切替**：音声を切り替えます。
**主・副音声切替**：主音声、副音声に切り替えます。
- ワンセグ視聴中に設定する場合は、[MENU][8][3]を押します。

### ◆端末を折り畳んだときの動作を設定する〈クローズ動作設定〉

【お買い上げ時】 継続

**1** **[MENU]▶[9][1][6][4]▶[1]～[3]**

- ワンセグ視聴中に設定する場合は、[MENU][8][4]を押します。
- 「ミュート」を選択すると、ワンセグ視聴は継続したまま、音声のみ消音になります。
- データ放送、データ放送サイトはクローズ動作設定を「継続」または「ミュート」にしておくと、FOMA端末を折り畳んでいるときでも、情報が更新され、パケット通信料がかかる場合があります。

### ◆データ放送設定

#### ❖接続待ち時間設定

【お買い上げ時】 60秒間

データ放送からサイトへ接続するまでの最大待ち時間を設定します。
- ここでの設定はｉモードの接続待ち時間設定にも反映されます。

**1** **[MENU]▶[9][1][6][3][1]▶[1]～[3]**

#### ❖放送用保存領域を消去する

〈例〉1件削除するとき

**1** **[MENU]▶[9][1][6][3][3]**

- 個別事業者の保存領域がある場合は、系列放送局を選択します。

**2** **削除する系列放送局を選択▶[MENU]▶[1]▶「はい」を選択**

全件削除する：[MENU]▶[2]▶認証操作▶「はい」を選択

### ❖確認表示設定リセット

データ放送からサイトを表示する際の確認メッセージ画面をお買い上げ時の状態に戻します。

**1** MENU▶9 1 6 3 4▶認証操作▶「はい」を選択

マイク付リモコン

## マイク付リモコンを使う

**マイク付リモコンのスイッチでワンセグ視聴の操作ができます。**

▶/II（1秒以上）：ワンセグ視聴終了
＋ −：音量調整
＋ −（1秒以上）：チャンネル一覧の前後のチャンネルを選択

**✔お知らせ**

- テレビ電話中、プッシュトーク中は、ワンセグ視聴の操作はできません。
- ✉/☎はワンセグ視聴では使用しません。
- 操作キーが1つだけのスイッチ付イヤホンマイクやステレオイヤホンセットは、ワンセグ視聴では使用できません。

# フルブラウザ

フルブラウザ

## パソコン向けのホームページを表示する

[MENU] ▶ [2] [9] [3] [1]

**インターネットに接続して、パソコン向けに作成されたホームページを閲覧します。**
**フレームやCSS、SSL／TLS対応のホームページも表示できます。**

- 画像を多く含むホームページの閲覧、データのダウンロードなどのデータ量の多い通信を行うと、通信料金が高額になりますので、ご注意ください。パケット通信料および料金プランの詳細については、『ご利用ガイドブック（ｉモード〈FOMA〉編）』をご覧ください。
- フルブラウザは次の機能や方式に対応しています。
  **フレーム**：ホームページを分割する枠、またはこれにより構成されたホームページ。フレームの構成によってはすべての内容が表示できない場合があります。
  **Cookie**：ホームページを表示した日時や回数など、ホームページが指定した情報をFOMA端末に保存しておく機能。これらの情報を基に、ホームページ上の各種機能が簡単に利用できるようになります。
  **CSS**：ホームページのレイアウトを定義する規格。
  **JavaScript**：ホームページ作成用の言語の一種。
  **Referer**：ホームページ上のリンクを選択して別のホームページに移動する場合の、元のホームページのURL情報。
  **SSL／TLS**：認証技術／暗号技術を使用して安全にデータ通信を行うための方式。SSL／TLS対応のホームページは、URLがhttps://から始まります。また、ホームページの一部に利用されている場合もあります。

**〈例〉ホームページのアドレス（URL）を指定して接続するとき**

### 1 [i] ▶ [9] [3] [1] ▶ URLを入力 ▶ [m]

- 半角で最大512文字入力できます。
- 半角英字入力モード時に [1] を繰り返し押すと「.」「/」「-」などを、[*] を繰り返し押すと「.com」「.ne.jp」「.co.jp」「http://www.」「.html」などを入力できます。
- お買い上げ時など、アクセス設定が「利用しない」に設定されている場合は、アクセス設定の画面が表示されます。→P341
- 2回目からは前回接続したURLが表示されます。
- 接続を中断するときは [ch/クリア] または [MENU] [9] を、複数のウィンドウの接続を中断するときは [MENU] [8] を押します。

**ホームに接続する：** [i] ▶ [9] [1]
ホーム接続時のURL登録→P340

**ブックマークから表示する：** [i] ▶ [9] [2] ▶ フォルダを選択 ▶ 表示するブックマークを選択

- ブックマークの登録先フォルダを作成または削除するには、[i] [9] [2] を押します。
  ブックマークをワンタッチサイトに登録するには、[i] [9] [2] を押してフォルダを選択します。以降の操作はｉモードのブックマークと同じです。→P210

**URL履歴から接続する：**
[i] ▶ [9] [3] [2] ▶ 表示するホームページのURLを選択

- URL履歴一覧からの操作方法は、ｉモードと同じです。→P209

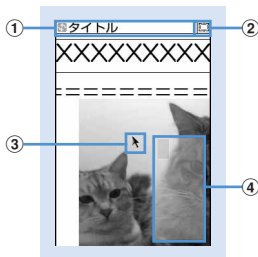
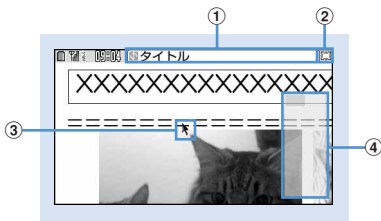
**ラストURLに接続する：**
[i] ▶ [9] [3] [3] ▶ URLを選択 ▶ [●]［接続］

- ラストURL一覧からの操作方法は、ｉモードと同じです。→P206

### 2 ホームページを見終わったら [―] ▶「はい」を選択

**✔お知らせ**

- 次の機能には対応していません。
  - Flash画像の表示
  - 音の再生
  - プラグイン
  - 画面メモの保存
  - Phone To（AV Phone To）、Media To
- ホームページによっては表示に時間がかかる場合や、正常に表示されない場合があります。
- 画像を含むサイトを表示したとき、画像の代わりに次のマークが表示される場合があります。
  [画像]：画像表示設定で画像を「表示しない」に設定しているとき
  [×]：画像のデータが不正なときや画像が見つからないとき、受信中に圏外になるなどで画像を受信できなかったとき
  [／]：画像のURLの誤りなどで画像を表示できないとき
- メールアドレスからMail To機能、URLからWeb To機能を利用できます。ただし、2in1がONでBモードのときは、Mail To機能を利用できません。

## ◆フルブラウザの画面表示について

フルブラウザ画面（縦画面）

フルブラウザ画面（横画面）

**①状態表示／タイトルまたはURL**

（水色、回転）：取得中
：フレームのサムネイル表示中→P338
：フレーム拡大表示中→P338
（紺、回転）：フレーム拡大表示中の他フレーム取得中
：PDFデータ、Word、Excel、PowerPointファイルをダウンロード中

**②／：表示モード（PCモード／ケータイモード）→P341**

：ウィンドウオープンガード中→P340

**③ポインター→P338**

**④ビューポジション**

接続時や画面スクロール時などに、全体に対する現在の位置が一時的に表示されます（サムネイル表示中を除く）。PCモード中のビューポジションの大きさは、ページ取得中に変化したり、ホームページによって異なったりします。

## ❖フルブラウザ画面でのキー操作について

フルブラウザ画面では次の操作ができます。

、1～4、6～9：スクロール
- 表示モードにより、スクロールが有効なキーは異なります。→P341

、：前のページに戻る／進む
- ポインター非表示の場合はPCモード中のみ有効です。

5：縮小／等倍表示切り替え
- フルブラウザを終了しても縮小／等倍表示切り替えの設定は保持されます。

0：検索→P339
#：ポインターの表示／非表示切り替え→P338
＊：横画面時のガイド表示領域の表示／非表示切り替え
- 画面表示設定を「全画面表示」に設定しているときは、縦画面でも＊を押してガイド表示領域を切り替えられます。→P342

**表示モードを切り替える：▶4**
表示モード設定→P341

**ヘルプを見る：▶8**

**ホームに接続する：▶1**

**表示中のホームページをブックマークに登録する：▶21▶登録先フォルダを選択**
ブックマークの登録→P210

**ブックマークから表示する：▶22▶フォルダを選択**
ブックマークから表示する→P210

**URLを指定して接続する：▶31▶URLを入力▶**

**URL履歴から接続する：▶32▶表示するホームページのURLを選択**

**ラストURLに接続する：▶33▶URLを選択▶［接続］**

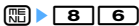
**情報を再読み込みする：▶4**

**表示中のホームページのURLをメール本文に貼り付けたメールを作成する：▶6**

**情報を確認する：▶8▶1～3**
証明書の内容→P223

**画像表示を設定する：▶84**
画像表示設定→P341

**文字コードを切り替える：▶851**
- 851を押すたびに、文字コードがSJIS→EUC→JIS→UTF8の順に切り替わります。852を押すと、「自動選択」に切り替わります。

アニメーションを先頭から再生する：
MENU ▶ 8 6

自動オープンガードを有効／無効にする：
MENU ▶ 8 7 ▶「はい」を選択

Script設定→P340

ビューポジションを確認する：MENU ▶ 8 8

ビューポジションの表示や色を設定する：
MENU ▶ 8 9 ▶ 1 〜 4

✔お知らせ

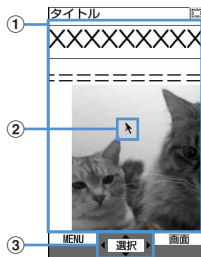
・リンク先や項目の選択の操作はｉモードと同じです。→P207

## ◆ポインターの表示を切り替える

ポインター表示中は、でポインターを操作して画面内の移動ができます。押し続けると速く移動できます。

- フルブラウザを終了してもポインター表示／非表示の設定は保持されます。

### 1 フルブラウザ画面で #

- 押すたびにポインターの表示／非表示が切り替わります。
- 画面の見かたは次のとおりです。

①移動範囲
この範囲で移動できます。フレームによっては、移動範囲が限定される場合があります。

②ポインター
ウィンドウのはし付近ではしの方向にを押すと画面がスクロールします。

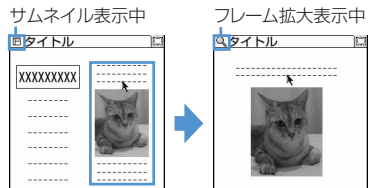
③ポインターで選択可能な場合に表示

## ◆フレーム対応のホームページを表示する

フレームを含むホームページを表示すると、全体の構成が確認できるサムネイル画面で表示されます。個別のフレームの内容を拡大表示して確認できます。

- サムネイル表示中は、次の操作や設定はできません。
  - 画面のスクロール
  - 検索
  - 画像、PDFデータ、Word、Excel、PowerPointファイルの保存
  - リンク先の表示
  - ビューポジションの確認・設定

### 1 フレームを含むフルブラウザ画面で拡大表示するフレームを選択

- で枠を移動します。PCモード中はでも移動できます。
- ポインター表示中は、ポインターをで操作し拡大表示するフレームを選択します。

- ch クリア を押すとサムネイル画面に戻ります。

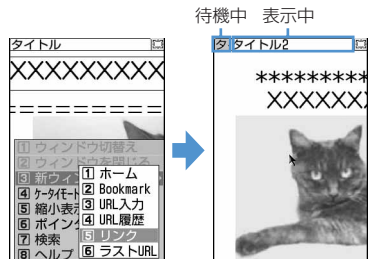
✔お知らせ

・認証が必要なフレームは黄色、スキャン機能で問題要素が検出されたフレームは赤色の枠で表示されます。

## ◆複数のホームページを表示する〈マルチウィンドウ〉

最大5つのホームページを切り替えながら閲覧できます。

〈例〉ホームページのリンクを新たなウィンドウで表示するとき

### 1 フルブラウザ画面でリンクにカーソルを合わせて 📖 ▶ 3 5

- ウィンドウを切り替えるときは、サイドキー［▲▼］を押します。サイドキー［▲▼］を1秒以上押すか、[□][1]を押すと、ウィンドウの一覧表示から切り替えるウィンドウを選択できます。
- 現在表示しているウィンドウを閉じるときは、[□][2]を押して「はい」を選択します。

## ◆ホームページに表示されている文字列を検索する

**1 フルブラウザ画面で[0]▶検索欄に文字を入力▶[●]［確定］**

文字を確定すると検索が実行され、入力した文字列と一致した語が反転表示されます。

- 全角で最大20文字、半角で最大40文字入力できます。
- [□]で前の候補、[□]で次の候補（一致した語）へ移動します。
- 検索を終了するには[□]を押します。

検索方法を設定する：**フルブラウザ画面で[0]▶[□]▶下記の各項目を選択して設定▶[□]**

**検索方法**：検索方法を「部分一致」「完全一致」のどちらにするか選択します。

**大文字と小文字を区別**：検索時に大文字と小文字を区別するかどうかを選択します。

**✔お知らせ**

- ホームページによっては検索できない場合があります。
- 検索結果と検索欄が重なることがあります。その場合は[□]を押して確認してください。

## ◆画像をアップロードする

FOMA端末に保存したGIF形式、JPEG形式の画像をホームページにアップロードします。

- アップロードできる画像のファイルサイズは1件あたり最大80Kバイト、複数の画像や文字列を含む場合は合計で最大100Kバイトです。

**1 フルブラウザ画面で「参照」ボタンを選択**

- 「参照」ボタンは、画像がアップロードできる場合に表示されます。同じホームページをパソコンなどで閲覧すると、異なったアイコンで表示されます。

**2 フォルダを選択▶アップロードする画像を選択**

- microSDメモリーカードを取り付けている場合は、「本体」または「microSD」を選択します。
- 選択した画像を変更または解除するには、もう一度「参照」ボタンを選択し、「変更」または「解除」を選択します。

**✔お知らせ**

- アップロードの操作方法はホームページによって異なります。
- FOMA端末外への出力が禁止されている画像や、画像と文字列以外のデータは、アップロードできません。

## ◆画像をダウンロードする

ホームページのGIF形式、JPEG形式、PNG形式、BMP形式の画像を保存します。

- 保存できる画像のファイルサイズは1件あたり最大500Kバイトです。
- PNG形式とBMP形式の画像は、microSDメモリーカードにのみ保存できますが、表示することはできません。
- 最大保存件数→P541

**1 フルブラウザ画面で[□]▶[5]▶保存する画像を選択**

以降の操作→P213「画像をダウンロードする」操作2以降

- 画像を選択すると、タイトル名、ファイルサイズが表示されます。
- PNG形式とBMP形式の画像は、microSDメモリーカード内の「その他」フォルダに保存されます。

**✔お知らせ**

- 背景画像はダウンロードできません。
- 横縦（または縦横）のサイズが、GIF形式で640×480、JPEG形式で1728×2304より大きい画像はFOMA端末には保存できません。また、JPEGの種類によっては保存できない場合もあります。
- 保存できるファイル形式やサイズでも、ホームページによっては保存できない場合があります。
- 保存領域の空きが足りないときや最大保存件数を超えるときは、削除するかどうかの確認画面が表示されます。保存する場合は、画面の指示に従って保存されている画像を削除してください。

## ◆PDFデータ、Word、Excel、PowerPointファイルをダウンロードする

ホームページ上のPDFデータ、Word、Excel、PowerPointファイルを保存します。

- 保存できるデータのファイルサイズは1件あたり最大500Kバイトです。
- Word、Excel、PowerPointファイルは、microSDメモリーカードを挿入しているときのみダウンロードできます。
- Word 2007、Excel 2007、PowerPoint 2007のファイルはダウンロードできません。

## 1 フルブラウザ画面でダウンロードするデータを選択

- ダウンロード中に[ch クリア]または[MENU][9]を押し「はい」を選択すると、ダウンロードを中断します。複数のウィンドウでデータをダウンロードしているときは[MENU][8]を押すと、すべてのダウンロードを中断します。

## 2 「保存」を選択

表示する：「プレビュー」を選択

保存を中止する：「戻る」を選択▶「いいえ」を選択

## 3 表示名を入力▶[📖]［保存］

- 表示名は全角・半角を問わず最大36文字入力できます。
- ガイド表示領域の左下に「」が表示された場合には、[i]を押して保存先を切り替えられます。
- PDFデータは、本体のマイドキュメント内の「iモード」フォルダ、またはmicroSDメモリーカード内の「マイドキュメント」フォルダに保存されます。
- Word、Excel、PowerPointファイルは、本体のその他内のフォルダ、またはmicroSDメモリーカード内の「その他」フォルダに保存されます。本体のその他内にフォルダが複数ある場合は、保存先のフォルダを選択する画面が表示されます。保存先のフォルダを選択すると保存されます。

**✔お知らせ**

- ダウンロード中にデータサイズが500Kバイトを超えた場合は、ダウンロードは中止されます。
- 保存領域の空きが足りないときや最大保存件数を超えるときは、データを削除するかどうかの確認画面が表示されます。画面の指示に従ってデータを削除してください。

# フルブラウザの設定をする

フルブラウザに関する各種機能を設定します。

## ◆ホーム接続時のURLを登録する〈ホーム設定〉

[MENU]▶[2][9][4][1]

## 1 [i]▶[9][4][1]

## 2 URLを入力▶[📖]［登録］

- 半角で最大512文字入力できます。

**✔お知らせ**

- フルブラウザ画面で表示中のホームページを登録する場合は、[MENU]を押し「ホーム登録」→「はい」を選択します。

## ◆Cookieについて設定する〈Cookie設定／削除〉

[MENU]▶[2][9][4][2]

【お買い上げ時】 Cookie：有効（確認なし）

Cookieを有効に設定すると、以前に利用したホームページの機能が簡単に使えます。

- ホームページやコンテンツサービスによっては、Cookieを有効に設定しないと、正常に表示したり利用したりできない場合があります。
- Cookieを有効に設定すると、ホームページを表示した日時や回数などの情報が送信されます。これにより、お客様の情報が第三者に知得されても、当社としては責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。

## 1 [i]▶[9][4][2]

## 2 Cookie欄を選択▶[1]～[3]

- 「有効（毎回確認）」を選択したときは、確認欄を選択し、情報が送受信されたことをどのタイミングで知らせるかを「送信時確認」「受信時確認」「送受信時確認」から選択します。

Cookie情報を全件削除する：[MENU]▶認証操作▶「はい」を選択

## 3 [📖]［登録］を押す

**✔お知らせ**

- 異なるFOMAカードに差し替えると、Cookieは「無効」に設定されます。このとき、「有効（確認なし）」または「有効（毎回確認）」に設定すると、認証操作の後、FOMA端末にCookie情報が保存されている場合はCookieを削除するかどうかの確認画面が表示されます。

## ◆Scriptについて設定する〈Script設定〉

[MENU]▶[2][9][4][3]

【お買い上げ時】 Script実行：有効　ウィンドウオープンガード：無効

JavaScriptが含まれるホームページの動作を有効にするかどうかを設定します。

- ホームページによってはScript実行を「有効」に設定しないと、正常に表示できない場合があります。

## 1 [i]▶[9][4][3]

**2** Script実行欄を選択▶1または2

- 「有効」を選択したときは、ウィンドウオープンガード欄を選択し、「有効」または「無効」を選択します。
  ウィンドウオープンガードを「無効」に設定すると、JavaScriptから新しいウィンドウを開く指示を受けたときに、ウィンドウを開くかどうかを確認する旨のメッセージが表示されます。「有効」に設定すると、JavaScriptの指示があっても新しいウィンドウは開きません。

**3** [登録]を押す

## ◆表示方法を切り替える〈表示モード設定〉

MENU▶2944

【お買い上げ時】 PCモード

パソコン用の画面サイズで表示する（PCモード）か、FOMA端末のディスプレイの横幅に合わせて表示する（ケータイモード）かを設定します。

**1** ▶944▶1または2

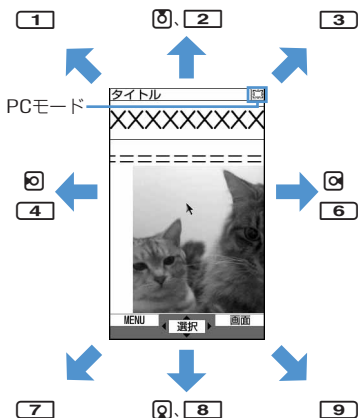
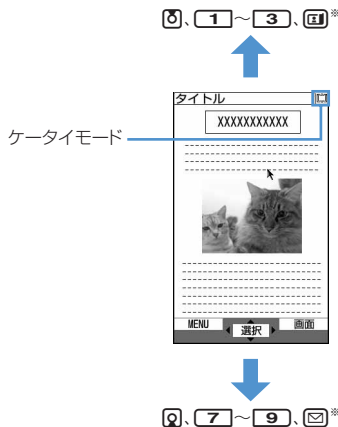
**✔お知らせ**

- マルチウィンドウで複数のホームページを表示しているときは、すべてのホームページの表示モードが切り替わります。
- ケータイモード中で、ポインター非表示の場合は、を押して前のページに戻る／次のページに進む操作を行います。

### ❖画面をスクロールする

表示モードごとのスクロールの操作方法は、次のとおりです。

- 以外のキーを押すと画面単位でスクロールします。
- キーを押し続けると連続スクロールできます。

■PCモード

■ケータイモード

※ ポインター非表示中のみ

## ◆画像やアニメーションを表示するかどうかを設定する〈画像表示設定〉

MENU▶2945

【お買い上げ時】 画像、アニメーション：表示する

**1** ▶945▶下記の各項目を選択して設定▶[登録]

**画像**：画像を表示するかどうかを設定します。
- 「表示しない」に設定すると、画像やアニメーションの代わりにが表示されます。

**アニメーション**：アニメーションを表示するかどうかを設定します。
- 「表示しない」に設定すると、アニメーションの最初のコマが表示されます。

## ◆フルブラウザを利用するかどうかを設定する〈アクセス設定〉

MENU▶2946

【お買い上げ時】 利用しますか。：利用しない

- 「利用する」に設定する場合は、必ず注意事項をご確認ください。圏外などでは、注意事項の詳細が確認できません。

**1** ▶946

- 「利用する」に設定する場合は「表示」ボタンを選択し、詳細を確認後にMENUを押します。

**2** 利用しますか。欄を選択▶1または2▶「登録」ボタンを選択

**✔お知らせ**

- 異なるFOMAカードに差し替えると、アクセス設定は「利用しない」に設定されます。

## ◆Refererを送信するかどうかを設定する〈Referer設定〉

MENU▶2947

【お買い上げ時】 送信する

- Refererを送信することにより、お客様の情報が第三者に知得されても、当社としては責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。

**1** ▶947▶1～3

## ◆全画面表示するかどうかを設定する〈画面表示設定〉

MENU▶2948

【お買い上げ時】 標準画面表示

- 縦画面時のみ有効です。

**1** 
▶948▶1または2

標準画面表示

全画面表示

# データ表示／編集／管理

## 画像を表示する

- FOMA端末では、JPEG形式やGIF形式の画像、Flash画像を表示できます。

**1** MENU ▶ 5 1 ▶ フォルダを選択

マイピクチャの各フォルダには次のような画像が保存されています。

**カメラ**：カメラやキャラ電で撮影した画像、動画／ｉモーションやPDFデータから切り出した画像

**ｉモード**：サイトやｉモードメール、ｉアプリから取得した画像、ミュージックプレイヤーで保存した画像

**デコメピクチャ**：お買い上げ時に登録されている画像（→P497）、サイトやｉモードメールから取得した画像、バーコードリーダーで読み取った画像

**デコメ絵文字**：お買い上げ時に登録されている画像（→P503）、サイトやｉモードメールから取得した、画像サイズが20×20、ファイルサイズが90Kバイト以内でメールに添付可能な画像

**アイテム**：お買い上げ時に登録されている画像（→P496）、サイトからダウンロードしたフレームまたはスタンプ用の画像

**プリインストール**：お買い上げ時に登録されている画像→P494

**データ交換**：バーコードリーダーで読み取った画像、microSDメモリーカードから移動またはコピーした画像、データ通信で受信した画像

**マイアルバム**：他のフォルダから移動した画像

- アルバムを作成すると表示されます。→P382

**microSDメモリーカードの画像一覧に切り替える：マイピクチャのフォルダ一覧で** i

microSDメモリーカードの操作方法→P375

**2** 表示する画像にカーソルを合わせる

カーソル位置のファイルの表示名と画像の詳細を示すマークが表示されます。

- 画面の見かたは次のとおりです。

サムネイル表示　　リスト表示

① **取得元**
　：プリインストール
　：ｉモード　　：カメラ
　：フレーム、スタンプ
　：データ交換　　：キャラ電

② **画像の種類**
　表示なし：静止画
　：パラパラマンガ
　：GIFアニメーション／Flash画像

③ **ファイル形式**
　表示なし：パラパラマンガ
　GIF：GIF形式の画像／GIFアニメーション
　JPG：JPEG形式の画像
　：SWF（Flash画像）

④ **ファイル制限**
　（青）：ファイル制限なし
　（グレー）：ファイル制限あり

- サムネイル表示の場合は、カーソル位置の画像の画像サイズとファイルサイズ（実メモリサイズ）が表示されます。
- FOMAカード動作制限機能が設定されている画像は、サムネイル表示ではで表示されます。
- i を押すたびにサムネイル表示とリスト表示が切り替わります。

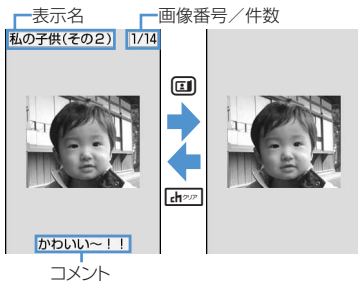
**メールに添付する：画像にカーソルを合わせて** ✉

選択した画像が添付されているメール作成画面が表示されます。

メールに添付できる画像→P241

- 選択した静止画のファイルサイズが90Kバイトより小さい場合は、本文へ貼り付けるかどうかの確認画面が表示されます。「はい」を選択するとメール本文へ貼り付けられます。
- 選択した静止画の画像サイズやファイルサイズによっては、QVGAサイズへの変換の確認画面が表示されます。→P241

## 3 ● ［選択］を押す

縦画面の画像表示画面では、画像の表示名とコメントが表示されます。

- ［全画面］を押すと全画面表示に切り替わります。元の表示に戻すときは［chクリア］、［MENU］、［全画面］、［本］、［メール］のいずれかを押します。
- 横画面のときは、必ず全画面表示になります。
- ［左右］を押すと、前後の画像に切り替わります。

GIFアニメーション、パラパラマンガ、Flash画像を表示する：**自動的に再生されます**

- 再生中は次の操作ができます。
  ● ：一時停止／再生
  ［本］：スロー再生（パラパラマンガの一時停止中のみ）
  ［MENU］［7］：リトライ（先頭から再生）
  ［全画面］：全画面表示

### ✔お知らせ

- 縦画面では、横が241ドット以上、または縦が433ドット以上の画像サイズのとき、横画面では、横が433ドット以上、または縦が241ドット以上の画像サイズのときは、画像一覧で表示する画像にカーソルを合わせて［MENU］［0］を押すと等倍表示され、［上下左右］で画像をスクロールできます。縦画面のときは、画像表示画面で●を押しても等倍表示されます。元の表示に戻すときは［chクリア］、［MENU］、［全画面］、［本］、［メール］のいずれかを押します。
- 縦画面では横240×縦432に収まらない画像を、横画面では横432×縦240に収まらない画像を全画面表示すると、横サイズと縦サイズの比率によって、横や縦に自動的にスクロールしながら表示されます。●を押してスクロールの一時停止／再開を切り替えられます。

## ◆スライドショーを表示する〈スライドショー〉

フォルダ内にある画像を全画面表示で順番に表示します。

- 表示する順番や速度は変更できます。→P351

### 1 ［MENU］▶［5］［1］▶フォルダにカーソルを合わせて［MENU］▶［5］

スライドショーが始まります。

- すべての画像の表示が終わるとフォルダ一覧に戻ります。
- 途中で終了するときは［chクリア］、［MENU］、［全画面］、［本］、［メール］のいずれかを押します。

### ✔お知らせ

- 動作設定の効果音再生を「あり」に設定していても、スライドショーでは効果音は再生されません。

## ◆画像を待受画面や電話帳などに設定する

〈例〉待受画面に設定するとき

### 1 ［MENU］▶［5］［1］▶フォルダを選択▶設定する画像にカーソルを合わせて［MENU］▶［2］

### 2 ［1］▶「縦画面」または「横画面」を選択▶「はい」を選択

- 画像サイズが240×432より小さくて、拡大表示できる画像の場合は、等倍表示または拡大表示に設定できます。
- ｉアプリ待受画面が設定されている場合は、続けてｉアプリ待受画面を解除するかどうかの確認画面が表示されます。「はい」を選択すると、ｉアプリ待受画面が解除されます。

電話帳に新規登録する：**［2］を押す**
電話帳登録→P101

電話帳に更新登録する：**［3］▶更新する電話帳データを選択**

電話発着信画像に設定する：**［4］▶［1］または［2］**

テレビ電話の発着信画像や代替画像、保留画像などに設定する：**［5］▶［1］～［7］**

- 画像サイズが176×144より大きい画像、およびFOMA端末外に出力不可の画像は、発信画像と着信画像のみ設定できます。

メール送受信画像、メール着信結果画像、問合せ画像に設定する：**［6］▶［1］～［4］**

- メール送受信画像に設定した画像は、メッセージR/F、SMSを送受信したときにも表示されます。

メニューアイコンに設定する：7または8▶1～0

選択した画像がアイコンデザインの「カスタム1」または「カスタム2」のメニューアイコンに設定されます。

- パラパラマンガ、Flash画像、アイテム画像はメニューアイコンに設定できません。

✔お知らせ

- 待受画面や電話帳に設定している画像を削除すると、それぞれの画像はお買い上げ時の設定に戻ります。

### ◆パラパラマンガを作成する

同じフォルダ内の静止画を複数選択してパラパラマンガを作成します。

- 最大9枚の静止画を設定できます。
- カメラで連続撮影した画像も、パラパラマンガの形式で保存されます。→P184
- GIFアニメーション、パラパラマンガ、Flash画像、および画像サイズが640×480より大きい静止画は、パラパラマンガに登録できません。
- パラパラマンガに登録した静止画は、個別に表示したり編集したりできなくなります。

**1** MENU▶51▶フォルダを選択

**2** MENU▶41

パラパラマンガを解除する：解除するパラパラマンガにカーソルを合わせてMENU▶42

選択したパラパラマンガが1枚ずつの静止画に戻ります。

**3** パラパラマンガに登録する画像を選択

選択した順に画像の上に1～9の番号が表示されます。

- を押すたびにサムネイル表示とリスト表示が切り替わります。

すべての選択を解除する：MENUを押す

**4** ▶表示名を入力▶［登録］

画像一覧にパラパラマンガの最初のコマが表示され、と表示名が表示されます。

- 表示名は全角・半角を問わず最大36文字入力できます。

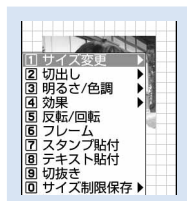
## 静止画を編集する

- 編集項目と編集可能な最大画像サイズは次のとおりです。

| 編集項目 | 編集可能な最大画像サイズ（ドット） |
|---|---|
| サイズ変更 | 1728×2304<br>（拡大／縮小は432×432） |
| 切出し | 1728×2304<br>（範囲指定の場合は1224×1632） |
| 明るさ／色調 | 480×640 |
| 効果 | 480×640 |
| 反転／回転 | 480×640 |
| フレーム | 352×288または240×432 |
| スタンプ貼付 | 352×288または240×432 |
| テキスト貼付 | 352×288または240×432 |
| 切抜き | 240×432 |
| サイズ制限保存 | 1728×2304<br>（メール添付用（小）は480×640） |
| 補正 | 352×288または240×432 |

- 次の画像は編集できません。
  - GIFアニメーション、パラパラマンガ、Flash画像、「アイテム」「プリインストール」フォルダ内の画像
  - メール添付やFOMA端末外への出力が禁止されている静止画（自端末でファイル制限を「あり」に設定した静止画を除く）
  - 縦横のどちらかのサイズが8ドットより小さい静止画
  - microSDメモリーカードに保存されている静止画
- 編集した静止画をパソコンなどで表示した場合、FOMA端末で透過表示されていた部分は白く表示されます。

**1** MENU▶51▶フォルダを選択▶編集する静止画にカーソルを合わせて▶MENU

**2** 編集項目を選択▶静止画を編集

編集メニュー画面

1～0の操作→P347～P350

## 3 編集が終わったら● ▶「保存」を選択

編集した静止画が同じフォルダ内に新しい静止画として保存されます。

- 編集した静止画の画像サイズが20×20でファイルサイズまたはメール添付サイズが90Kバイト以内の場合は、「デコメ絵文字」フォルダに保存されます。
- フレームまたはスタンプ用の画像として保存するときは、「フレーム・スタンプ用」を選択します。

**✔お知らせ**

- 画像サイズが編集時の表示領域より大きい場合は縮小表示されます。ただしスタンプ貼付、テキスト貼付、拡大または縮小の場合は等倍で表示されます。
- 編集後、静止画のファイルサイズが大きくなる場合があります。
- 保存領域の空きが足りないときや最大保存件数を超えるときは、削除するかどうかの確認画面が表示されます。保存する場合は、画面の指示に従って保存されている画像を削除してください。

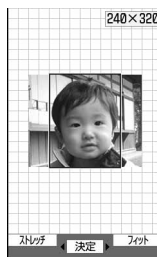
## ◆サイズを変更する

静止画を拡大または縮小したり、特定のサイズに変更したりします。

- 静止画のサイズを変更すると、画質が劣化する場合があります。

〈例〉静止画を指定したサイズに変更するとき

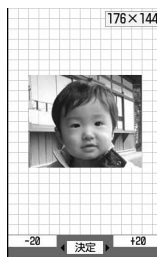
## 1 編集メニュー画面で 1

## 2 1 ～ 9

サイズが変更され、静止画編集画面に戻ります。

- 指定したサイズと静止画の縦横比が異なる場合は、サイズ枠が表示されます。◎を押してサイズ枠の位置を調整し、●を押すと、サイズ枠で囲まれた部分が指定したサイズに変更されます。
- 縦横比を無視して静止画を指定したサイズに収める場合は、✉を押します。
- 縦横比を保持したまま静止画を指定したサイズに収める場合は、📖を押します。

**静止画のサイズを拡大／縮小する：**

**① 0 ▶ ◎でサイズを拡大または縮小**

縦横比を保持したまま、5%ずつ拡大または縮小します。画面の右上には拡大または縮小後の画像サイズと、拡大または縮小率が表示されます。

- ✉を押すと20%ずつ縮小、📖を押すと20%ずつ拡大します。
- 縦横のどちらかのサイズが432ドットになるまで拡大できます。
- 縦横のどちらかのサイズが8ドットになるまで縮小できます。

**② ●を押す**

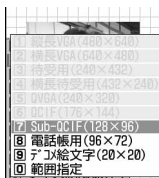
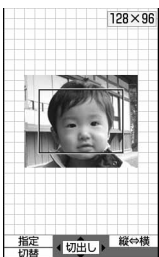
静止画が拡大または縮小され、静止画編集画面に戻ります。

## ◆任意のサイズに切り出す

静止画を特定のサイズ、または任意のサイズに切り出します。

- 16×16より小さい画像は切り出しできません。

〈例〉特定のサイズに静止画を切り出すとき

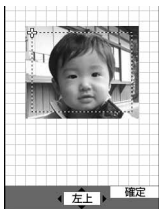
**1** 編集メニュー画面で[2]

**2** [1]～[9]▶で切り出し枠の位置を調整

- を押すたびに切り出し枠の縦横が切り替わります。
- を押すたびに切り出しサイズが切り替わります。
- 切り出す範囲を指定するには、を押します。

範囲を指定して静止画を切り出す：

① [0]を押す

範囲指定枠が点線で表示され、範囲指定枠の左上にが表示されます。

② で始点を決めて

範囲指定枠の左上の位置が設定され、範囲指定枠の右下にが表示されます。

③ で終点を決めて

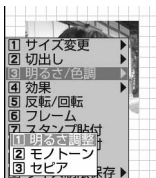
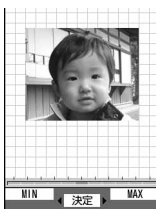
切り取り範囲が決定され、範囲指定枠が実線で表示されます。この状態でを押し、範囲指定枠を移動できます。

**3** ［切出し］を押す

選択したサイズまたは指定した範囲で静止画が切り出され、静止画編集画面に戻ります。

## ◆明るさと色調を変更する

〈例〉明るさを調整するとき

**1** 編集メニュー画面で[3]

**2** [1]▶で明るさを調整

一段階ずつ明るさが増減します。

- 明るさを最大にするにはを押します。
- 明るさを最小にするにはを押します。

色調をモノトーンまたはセピアにする：[2]または[3]

色調が変更され、静止画編集画面に戻ります。

**3** ［決定］を押す

明るさが変更され、静止画編集画面に戻ります。

## ◆特殊な効果をかける

次のような特殊効果をかけます。

**ぼかし**：画像をぼかします。

**球面**：中心から球面状に盛り上がっているような効果をかけます。

**エンボス**：鉛色にし、凸凹を強調します。

**うずまき**：中心から渦状に回転させたような効果をかけます。

**きらきら**：きらきら光っているようなマークを入れます。

**モザイク**：モザイクをかけます。

**スケッチ（モノクロ）**：えんぴつでスケッチしたような効果をかけます。

**スケッチ（カラー）**：えんぴつでスケッチして水彩絵の具で色をつけたような効果をかけます。

**1** **編集メニュー画面で[4]**

**2** **[1]～[6]**

静止画に特殊な効果がかかり、静止画編集画面に戻ります。

**スケッチ（モノクロ）またはスケッチ（カラー）の効果をかける：[7]または[8]▶で効果を調節▶**

- 効果を調整範囲いっぱいにするにはまたはを押します。線の太さを切り替えるにはを押します。

## ◆反転／回転させる

**1** **編集メニュー画面で[5]▶で静止画を反転または回転させる**

- 左回りまたは右回りに90度回転させるには、またはを押します。

**2** **［決定］を押す**

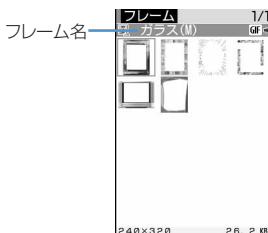
反転または回転され、静止画編集画面に戻ります。

## ◆フレームを重ねる

お買い上げ時に登録されているフレームや、サイトからダウンロードしたフレームを静止画に重ねます。

- お買い上げ時に登録されているフレーム以外にも、他の静止画をフレーム候補に設定することもできます。→P384「データの詳細情報を変更する」、P385「表示項目と変更可否一覧」の「フレーム候補」
- お買い上げ時に登録されているフレーム→P496

**1** **編集メニュー画面で[6]**

編集している静止画と同じサイズのフレームが表示されます。

- 詳細情報変更でフレーム候補として設定した画像は、編集している静止画のサイズと異なっていても表示されます。→P384

**2** **フレームを選択**

**3** **フレームを重ねた画像を確認して［選択］**

重ねたフレームと静止画が合成され、静止画編集画面に戻ります。

- フレームを切り替えるにはを押します。
- フレームを180度回転させるにはを押します。

## ◆スタンプを貼り付ける

お買い上げ時に登録されているスタンプや、サイトからダウンロードしたスタンプを静止画に貼り付けます。

- お買い上げ時に登録されているスタンプ以外にも、他の静止画をスタンプ候補に設定することもできます。→P384「データの詳細情報を変更する」、P385「表示項目と変更可否一覧」の「スタンプ候補」
- お買い上げ時に登録されているスタンプ→P498

**1** **編集メニュー画面で[7]**

編集している静止画より小さいサイズのスタンプが表示されます。

- 詳細情報変更でスタンプ候補として設定した画像と、お買い上げ時に登録されているスタンプは、編集している静止画のサイズより大きくても表示されます。→P384

**2** **スタンプを選択**

選択したスタンプが画面の中央に表示されます。

## 3 ✥でスタンプを貼り付ける位置を調整して●

効果音が鳴り、スタンプが貼り付けられます。
- 続けて別の位置にスタンプを貼り付けられます。
- 貼り付けたスタンプをすべて消去するには(機能)を押します。

## 4 (m)［登録］を押す

貼り付けたスタンプと静止画が合成され、静止画編集画面に戻ります。

### ◆テキストを貼り付ける

## 1 編集メニュー画面で 8 ▶下記の各項目を選択して設定

**テキスト**：貼り付けるテキストを入力します。
- 全角で最大20文字、半角で最大40文字入力できます。

**文字の種類**：テキストの種類を設定します。
**文字のサイズ**：テキストのサイズを設定します。
**文字色**：テキストの色を設定します。
**文字縁取り色**：テキストの縁取りの色を設定します。
**背景色**：テキストの背景色を設定します。
**貼り方**：テキストの貼り付けかたを設定します。

## 2 (m)を押す

設定したテキストが画面の中央に表示されます。
- 貼り方を「一字ごと」に設定した場合は、最初の文字が画面の中央に表示されます。

## 3 ✥で文字を貼り付ける位置を調整して●

効果音が鳴り、テキストが貼り付けられます。
- 続けて別の位置にテキストを貼り付けられます。
- 貼り付けたテキストをすべて消去するには(機能)を押します。
- 貼り方を「一字ごと」に設定した場合は、●を押すたびに1文字ずつ貼り付けられます。最後の文字を貼り付けると、最初の文字がもう一度表示されます。

## 4 (m)［登録］を押す

貼り付けたテキストと静止画が合成され、静止画編集画面に戻ります。

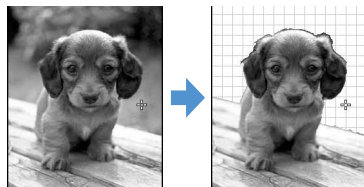
### ◆任意の部分を切り抜く

選択した色と近似している部分を切り抜きます。

## 1 編集メニュー画面で 9

画面の中央に切り抜く色を指定する✜が表示されます。

## 2 ✥で切り抜く色に✜を合わせて●

✜の位置の色と近似している部分が切り抜かれます。

- 続けて別の部分の切り抜きができます。

## 3 (m)［登録］を押す

部分が切り抜かれ、静止画編集画面に戻ります。

### ◆ファイルサイズを制限して保存する

## 1 編集メニュー画面で 0 ▶ 1 または 2

メール添付用（小）は90Kバイト以内、メール添付用（大）は2Mバイト以内で、同じフォルダに新しい静止画として保存されます。
- サイズが480×640より大きい静止画は、「メール添付用（小）」に設定できません。
- ファイルサイズが2Mバイト以下の場合は、「メール添付（大）」に設定できません。

## ◆明るさや色のバランスを補正する

**1** [MENU]▶[5][1]▶フォルダを選択▶補正する静止画にカーソルを合わせて[m]▶[m]

静止画補正モードになり、画面の右上に現在の補正モードが表示されます。

**2** [十字キー]で補正モードを選択

**静物**：静物や植物などの静止画を適切に補正します。
**背景**：背景を適切に補正します。
**風景**：風景画像に明るさや色のメリハリを出します。
**美肌**：人物画像の肌を白くなめらかに表現します。
**日焼け**：人物画像の肌を小麦色に表現します。
**青ざめ**：人物画像の肌を青ざめたように表現します。
**酔っ払い**：人物画像の肌を赤らめたように表現します。

- 補正効果を調整するには[十字キー]を押します。
- 補正効果を調整範囲いっぱいにするには[i]または[✉]を押します。
- [MENU]を押して[1]～[7]を押しても、補正モードを選択できます。

**3** [●]［決定］を押す

選択したモードで補正され、静止画編集画面に戻ります。

✔**お知らせ**

- 静止画によっては、明るさや色のバランスを補正しても状態があまり変化しない場合があります。

## ◆静止画をお預かりセンターに保存する〈電話帳お預かりサービス〉

電話帳お預かりサービスを利用して、データBOXのマイピクチャに保存してある静止画をネットワーク上のお預かりセンターに保存します。

- 電話帳お預かりサービスについて→P173
- 本サービスはお申し込みが必要な有料サービスです。サービス未契約の場合は、お預かりセンターに接続しようとすると、その旨をお知らせする画面が表示されます。
- 1件あたりのサイズが100Kバイトを超える静止画は保存／復元できません。
- 1回の操作で最大10件保存できます。
- 復元操作の詳細は『ご利用ガイドブック（iモード〈FOMA〉編）』をご覧ください。
- お預かりセンターに保存した履歴を確認できます。→P115

**1** [MENU]▶[5][1]▶フォルダを選択

**2** [MENU]▶[5][6]▶保存する静止画を選択

**3** [m]▶「はい」を選択▶認証操作

お預かりセンターに接続され、保存が始まります。

- 保存を中止するときは[●]を押します。

**4** 通信結果を確認する

- 通信結果の表示は約5秒後に自動的に消えます。[●]を押しても表示を消すことができます。

✔**お知らせ**

- マイピクチャの「アイテム」「プリインストール」フォルダ内のデータは選択できません。

動作設定

## 画像の動作条件を設定する

【お買い上げ時】 一覧の画像表示：あり　タイトル表示：あり　番号表示：あり　コメント表示：あり　小さい画像の拡大：なし　大きい画像の縮小：あり　効果音再生：あり　全画面時の自動スクロール：あり　スライドショーの切替え速度：普通　スライドショーのランダム表示：なし

**1** [MENU]▶[5][1]▶[MENU]▶[4]▶下記の各項目を選択して設定▶[m]［登録］

**一覧の画像表示**：画像一覧で画像表示をするかどうかを設定します。「あり」にするとサムネイル表示に、「なし」にするとリスト表示になります。
**タイトル表示**：画像表示画面で表示名を表示するかどうかを設定します。
**番号表示**：画像表示画面でフォルダ内またはアルバム内での件数と総件数を表示するかどうかを設定します。
**コメント表示**：画像表示画面でコメントを表示するかどうかを設定します。
**小さい画像の拡大**：表示領域より小さい画像を表示したとき、画像の縦横比を保持したまま表示領域いっぱいに拡大表示するかどうかを設定します。ただし、全画面表示では拡大表示されません。
**大きい画像の縮小**：表示領域より大きい画像を表示したとき、画像の縦横比を保持したまま表示領域に合わせて縮小表示するかどうかを設定します。「なし」に設定しても、全画面表示では縮小表示されます。
**効果音再生**：画像を表示したとき、画像に設定されている効果音を再生するかどうかを設定します。

**全画面時の自動スクロール**：全画面表示したときに画像が画面に表示しきれない大きさの場合、自動的にスクロールするかどうかを設定します。
**スライドショーの切替え速度**：スライドショーの表示速度を設定します。
**スライドショーのランダム表示**：スライドショーの表示順をランダムにするかどうかを設定します。

**✔お知らせ**

- 画像一覧、画像表示画面から操作する場合は、MENUを押し「動作設定」を選択します。

## 動画／ｉモーションを再生する

- FOMA端末では、次の形式の動画／ｉモーションを再生できます。

| ファイル形式（拡張子） | 符号化形式 | |
|---|---|---|
| MP4（MP4、3GP） | 映像 | MPEG4、H.263、H.264 |
| | 音声 | AMR、AAC、HE-AAC、Enhanced aacPlus |
| ASF（ASF） | 映像 | MPEG4 |
| | 音声 | G.726 |

- 画像サイズが48×48～320×240の動画／ｉモーションを再生できます。

**1** MENU▶5 3▶フォルダを選択

- ｉモーションの各フォルダの内容は次のとおりです。

**プレイリスト**：動画／ｉモーションのプレイリスト
プレイリストの作成・再生→P354
**カメラ**：カメラやキャラ電で撮影した動画、動画から切り出した動画、動画メモ、サウンドレコーダーで録音した音声
**ｉモード**：サイトやｉモーションメールから取得したｉモーション、ｉモーションから切り出したｉモーション、音楽データから切り出したｉモーション、microSDメモリーカードから移動したコンテンツ移行対応のｉモーション
**プリインストール**：お買い上げ時に登録されている動画→P495
**データ交換**：microSDメモリーカードから移動／コピーした動画／ｉモーション（コンテンツ移行対応のｉモーション以外）、データ通信で受信した動画／ｉモーション
**マイアルバム**：他のフォルダから移動した動画／ｉモーション
- アルバムを作成すると表示されます。→P382

**microSDメモリーカードのフォルダを選択する：ｉモーションのフォルダ一覧で[ｉアプリ]**
microSDメモリーカードの操作方法→P375

**2** 再生する動画／ｉモーションにカーソルを合わせる

ファイルの表示名と詳細を示すマークが表示されます。

- 画面の見かたは次のとおりです。

サムネイル表示　　リスト表示

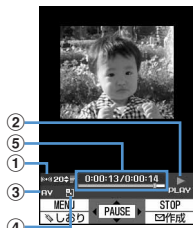
①取得元
：プリインストール　：ｉモード
：カメラ　：データ交換
：キャラ電　：テレビ電話
②再生制限
：再生制限なし　：回数制限あり
：期限制限あり　：期間制限あり
③ファイルの種類
(白)：MP4
(青)：しおり付きMP4
：部分的に保存したMP4
(白)：ASF
(青)：しおり付きASF
④ファイル制限
(青)：ファイル制限なし
(グレー)：ファイル制限あり

- サムネイル表示の場合は、カーソル位置の動画／ｉモーションの画像サイズとファイルサイズ（実メモリサイズ）が表示されます。
- [ｉアプリ]を押すたびにサムネイル表示とリスト表示が切り替わります。
- サウンドレコーダーで録音した音声、音声のみの動画／ｉモーション（歌手の歌声など映像のないｉモーション）や部分的に取得したｉモーションは、サムネイル表示ではで表示されます。
- FOMAカード動作制限機能が設定されている動画／ｉモーションは、サムネイル表示ではで表示されます。

**メールに添付する：動画／ｉモーションにカーソルを合わせて✉**
選択した動画／ｉモーションが添付されているメール作成画面が表示されます。
メールに添付できる動画／ｉモーション→P241

## 3 ●［選択］を押す

再生中の動画／ｉモーションの下に再生状態や動画／ｉモーションの種類などを示すマークが表示されます。

- 画面の見かたは次のとおりです。

①**再生音量**
現在の音量を示します。
②**再生状態**
PLAY：再生中　STOP：停止中
PAUSE：一時停止中
③**ファイルの種類**
A：音声のみ　AV：音声＋映像
T：テキストのみ
VT：映像＋テキスト
V：映像のみ
AVT：音声＋映像＋テキスト
AT：音声＋テキスト
④**拡大／縮小表示**
：拡大表示中　：縮小表示中
⑤**再生時間**
現在の再生時間と総再生時間を数字とバーで示します。

- しおりを設定した動画／ｉモーションの場合は、しおりの位置から再生するかどうかの確認画面が表示されます。「はい」を選択すると、しおりの位置から再生され、「いいえ」を選択すると、先頭または再生停止位置から再生されます。
- 映像のある動画／ｉモーションの場合、横画面では全画面表示で再生されます。
- ダウンロードに失敗、またはダウンロードを中断して、部分的に取得したｉモーションは再生できません。選択すると、残りのデータをダウンロードするかどうかの確認画面が表示されます。「はい」を選択するとダウンロードが開始されます。ただし、ダウンロードしても再取得できなかったときは、部分的に保存されていたデータを削除した旨のメッセージが表示されます。
また、部分的に取得したｉモーションの再生期間や再生期限が過ぎている場合は再取得ができません。このとき、削除するかどうかの確認画面が表示され、部分的に保存したｉモーションを削除できます。
- 動画／ｉモーションの再生中は次の操作ができます。
●：一時停止／再生／先頭から再生（停止中）
：早送り再生
3：30秒早送り（再生終了まで30秒未満の場合は再生終了1秒前から再生）
6：次のチャプターの先頭から再生
：巻き戻し再生
1：10秒巻き戻し（再生開始から10秒未満の場合は先頭から再生）
4：前のチャプターの先頭から再生
／サイドキー［▲▼］：音量調整
：停止
chクリア：一覧画面に戻る
- チャプター情報を持つ動画／ｉモーションは、再生中にを押し「チャプター選択」でチャプターを選択すると選択したチャプターから再生されます。
- 動画／ｉモーションの一時停止中にを押すと、再生位置インジケータ上に位置指定つまみが表示されます。再度を押して位置指定つまみを移動し●を押すと、指定した位置から再生されます。
位置指定つまみは、次のように操作します。
：1分単位で移動
（2秒以上）：5分単位で移動
- chクリアやを押したり、他の機能の影響によって再生が中断したときは、再生停止位置が保存され、次回再生時にその停止位置から再生されます。再生停止位置の情報はFOMA端末本体およびmicroSDメモリーカードでそれぞれ、最大5つの動画／ｉモーションについて保存されます。新しい情報が登録されると古い情報は順に削除されます。データを取得しながら再生しているときやプレビュー再生では、再生停止位置は保存されません。

しおりを設定する：再生中にしおりを設定する場面で[i]▶「はい」を選択

- 解除するときは、再生を停止させてから[i]を押します。
- しおりは、データBOX内のｉモーションから再生したとき、microSDメモリーカードから再生したとき、動画撮影画面で[m]（一覧）を押して再生したときに設定できます。ただし、再生制限が設定されているｉモーションには設定できません。

横画面で画面表示を切り替える：再生中に[#]

- [#]を押すたびに、全画面表示と通常の再生画面が切り替わります。QVGA（320×240）サイズの動画／ｉモーションを再生している場合は、全画面表示→ワイド画面→通常の再生画面の順に切り替わります。
- 全画面表示またはワイド画面で[*]を押すと、ガイド表示領域の表示／非表示が切り替えられます。

**✔お知らせ**

- 他のアプリケーションの影響により、動画／ｉモーションの保存時にサムネイル画像を取得できない場合があります。そのような動画／ｉモーションは、サムネイル表示では[×]で表示されます。
- ｉモーションによっては、再生画面の総再生時間が「-：--：--」と表示される場合があります。このとき、次の操作は利用できません。
  - 早送り再生、30秒早送り、巻き戻し再生、10秒巻き戻し
  - しおりや再生停止位置からの再生
  - 指定位置つまみを使った再生
  - 次のチャプターの先頭からの再生、前のチャプターの先頭からの再生、チャプター選択による再生
- 動画メモは、しおりや再生停止位置からの再生はできません。

### ❖ｉモーションに再生制限が設定されているとき

ｉモーションに再生制限が設定されている場合は、再生を開始する前に確認画面が表示されます。再生制限の種類と確認する内容は次のとおりです。

**回数制限**

| 状　態 | 確認内容 |
|---|---|
| 再生回数残あり | 「あと×回（×／総再生回数）再生可能です。再生しますか？」と表示されます。 |
| 規定回数再生済み | 「再生可能回数が終了しました。削除しますか？」と表示されます。 |

**期限制限**

| 状　態 | 確認内容 |
|---|---|
| 期限内 | 「年/月/日 時:分まで再生可能です。再生しますか？」と表示されます。 |
| 期限後 | 「再生可能期限が切れました。削除しますか？」と表示されます。 |

**期間制限**

| 状　態 | 確認内容 |
|---|---|
| 期間内 | 「年/月/日 時:分〜年/月/日 時:分まで再生可能です。再生しますか？」と表示されます。 |
| 期間前 | 「再生可能日前です。再生できません」と表示されます。[●]を押すと、動画／ｉモーション一覧に戻ります。 |
| 期間後 | 「再生可能期限が切れました。削除しますか？」と表示されます。 |

- 残り再生回数、再生期限、再生期間は詳細情報参照で確認できます。
- 日付・時刻を変更しても、再生制限の期限や期間は変更できません。

## ◆プレイリストを作成／再生する

プレイリストとは、動画／ｉモーションのタイトルをひとまとめにして再生順などを管理するものです。

- 最大登録件数→P541
- 1つのプレイリストに最大100件のタイトルを登録できます。
- FOMA端末本体の動画／ｉモーションのタイトルのみ登録ができます。

### ❖プレイリストを作成する

**1** [MENU]▶[5][3]

**2** プレイリストフォルダを選択して[MENU]▶[1]

- プレイリストが1件も作成されていないときは、プレイリストフォルダを選択し、確認画面で「はい」を選択します。

**3** プレイリストの名前を入力▶[m]

- プレイリストの名前にはあらかじめ「プレイリストYYYYMMDD」（YYYYMMDDはプレイリストを作成する年月日）が入力されています。
- プレイリストの名前は全角で最大10文字、半角で最大20文字入力できます。

**4** フォルダを選択▶登録する動画／ｉモーションを選択▶[m]

**5** 「はい」を選択

**✔お知らせ**

- 最大保存件数を超えるときは、削除するかどうかの確認画面が表示されます。保存する場合は、画面の指示に従って保存されているプレイリストを削除してください。

### ❖プレイリストに動画／iモーションのタイトルを追加する

- FOMAカード動作制限機能や再生制限（期限内および期間内の場合を除く）が設定されていたり、部分的に保存した動画／iモーションのタイトルは登録できません。

〈例〉動画／iモーションのタイトルを1件追加するとき

**1** MENU▶5 3▶プレイリストフォルダを選択▶プレイリストを選択▶MENU▶3 1

**2** 1▶フォルダを選択▶追加する動画／iモーションを選択

複数または全件追加する：2または3▶フォルダを選択▶追加する動画／iモーションを選択▶📖

- 「全件登録」を選択して動画／iモーションのデータがあるフォルダを選択すると、フォルダ内のすべての動画／iモーションのタイトルが選択されています。

**3** 「はい」を選択

✔**お知らせ**

- 最大登録件数を超えるときは、解除するかどうかの確認画面が表示されます。登録する場合は、画面の指示に従って登録されているタイトルを解除してください。

### ❖プレイリストから動画／iモーションのタイトルを解除する

- プレイリストから動画／iモーションのタイトルを解除しても、動画／iモーションデータ自体は削除されません。

〈例〉動画／iモーションのタイトルを1件解除するとき

**1** MENU▶5 3▶プレイリストフォルダを選択▶プレイリストを選択▶解除するタイトルにカーソルを合わせてMENU▶3 2

**2** 1を押す

複数解除する：2▶解除するタイトルを選択して📖

全件解除する：3▶認証操作

**3** 「はい」を選択

✔**お知らせ**

- プレイリストに登録した動画／iモーションを削除したり、microSDメモリーカードに移動した場合は、プレイリストから解除されます。

### ❖プレイリストを再生する

プレイリストを使うと、選択したタイトル以降の動画／iモーションをまとめて再生できます。

- 再生中は、しおりの位置や再生停止位置からの再生、チャプター情報を利用した再生、早送り／巻き戻しや位置指定つまみの操作はできません。

**1** MENU▶5 3▶プレイリストフォルダを選択

**2** プレイリストを選択▶最初に再生したい動画／iモーションを選択

選択した動画／iモーションから順に連続して再生されます。

- 再生中の画面には通常表示されるアイコンのほかに、次のアイコンが表示されます。
  - ON：リピート再生あり
  - OFF：リピート再生なし
- 再生中は次の操作ができます。
  - ●：一時停止／再生
  - ◎／サイドキー［▲▼］：音量調整
  - ✉／サイドキー［▼］（1秒以上）：次のデータを再生
  - i／サイドキー［▲］（1秒以上）：データの先頭から再生※
  - 📖：停止
  - ※ 再生から3秒以内に押すと前のデータを再生できます。
- 再生中にFOMA端末を折り畳んでも、再生は中断しません。その場合、サイドキーで操作できます。

## ◆プレイリストを削除する

〈例〉プレイリストを1件削除するとき

**1** MENU▶5 3▶プレイリストフォルダを選択

**2** 削除するプレイリストにカーソルを合わせてMENU▶3 1

複数削除する：MENU▶3 2▶削除するプレイリストを選択して📖

全件削除する：MENU▶3 3▶認証操作

**3** 「はい」を選択

### ◆プレイリストの名前を変更する

**1** MENU▶5 3▶プレイリストフォルダを選択▶名前を変更するプレイリストにカーソルを合わせてMENU▶2

**2** プレイリストの名前を入力▶ ［登録］

- プレイリストの名前は全角で最大10文字、半角で最大20文字入力できます。

### ◆プレイリスト内の再生順を自由に並べ替える

**1** MENU▶5 3▶プレイリストフォルダを選択▶プレイリストを選択▶MENU▶3 3

**2** 並べ替えするタイトルにカーソルを合わせてまたは

**3** ［確定］を押す

### ◆動画／ｉモーションを待受画面や電話帳などに設定する

- 音声のみの動画／ｉモーション（歌手の歌声など映像のないｉモーション）、再生制限が設定されているｉモーション、画像サイズが320×240より大きいｉモーションは待受画面に設定できません。
- 着信画像と電話帳に設定できるのは映像のみの動画／ｉモーションです。
- 着信音および着信画像に設定できるのは、詳細情報の着信音設定および着信画面設定が「可」になっている動画／ｉモーションのみです。ただし、次の動画／ｉモーションは設定できません。
  - 赤外線通信／iC通信やデータリンクソフトなどを使用してパソコンや他のFOMA端末に転送してから、もう一度FOMA端末本体に戻したもの
  - コンテンツ移行対応のｉモーション以外で、microSDメモリーカードから、FOMA端末本体に移動またはコピーしたもの（FOMA端末本体からmicroSDメモリーカードに移動またはコピーしてから、もう一度FOMA端末本体に移動またはコピーしたものを含む）

〈例〉待受画面に設定するとき

**1** MENU▶5 3▶フォルダを選択

**2** 設定する動画／ｉモーションにカーソルを合わせてMENU▶2

**3** 1▶「はい」を選択

- 拡大表示できる動画／ｉモーションの場合は、等倍表示または拡大表示に設定できます。
  動画／ｉモーションを待受画面に設定したときの動作→P133

電話帳に新規登録する：2を押す
電話帳登録→P101

電話帳に更新登録する：3▶更新する電話帳データを選択

着信音に設定する：4▶1～7

メモリ指定着信音（電話、メール）に設定する：
① 4▶8または9
② 設定する電話帳データを選択▶内容を確認して

着信画像（音声電話、テレビ電話）／メール着信結果画像に設定する：5▶1～3

**✔お知らせ**

- プレイリストのタイトル一覧から操作する場合は、MENUを押し「動画の利用」を選択します。

## 動画／ｉモーションを編集する

**静止画の切り出しや任意の範囲の切り出しなど、ｉモーションに保存されている動画／ｉモーションを編集します。**

- 編集できる動画／ｉモーションは次のとおりです。
  - 自端末で撮影した動画
  - 自端末で撮影した動画以外の動画／ｉモーションで、ファイル制限がないもの
- 再生制限付きのｉモーション、お買い上げ時に登録されている動画／ｉモーション、ASF形式の動画は編集できません。また、ダウンロードしたｉモーションの符号化形式によっては編集できないことがあります。
- 編集中に動画／ｉモーションを再生したときの画面の見かたとキー操作→P353「動画／ｉモーションを再生する」操作3

### ◆静止画を切り出す（キャプチャ）

動画／ｉモーションの再生中に任意の位置を指定し、静止画として切り出し（キャプチャ）します。

- 切り出した静止画の画像サイズは、動画／ｉモーションの再生サイズになります。
- テロップはキャプチャした静止画に表示されません。

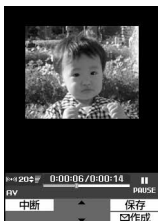
**1** MENU ▶ 5 3 ▶ フォルダを選択 ▶ キャプチャする動画／ｉモーションを選択

選択した動画／ｉモーションが再生されます。

**2** 再生中の任意の位置で MENU ▶ 3

- 切り出しの操作をやり直すときは、CLR または MENU を押します。

**3** 画像を確認して 📖［保存］

キャプチャした静止画が、マイピクチャ内の「カメラ」フォルダに保存されます。

- 続けてキャプチャするには、● を押して再生を再開してから、操作2〜3を繰り返します。

**キャプチャした静止画をメールに添付する：✉ を押す**

キャプチャした静止画がマイピクチャ内の「カメラ」フォルダに保存され、キャプチャした静止画が添付されているメール作成画面が表示されます。

- キャプチャした静止画のファイルサイズが90Kバイト以内の場合は、本文へ貼り付けるかどうかの確認画面が表示されます。「はい」を選択するとメール本文へ貼り付けられます。

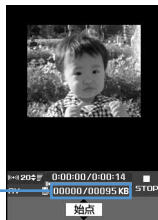
## ◆動画／ｉモーションを切り出す

動画／ｉモーションを先頭から任意の位置まで切り出します。

**1** MENU ▶ 5 3 ▶ フォルダを選択 ▶ 切り出す動画／ｉモーションにカーソルを合わせて MENU ▶ 4 1

選択切り出しモードになり、再生時間の下に が表示されます。

- 切り出す動画／ｉモーションにテロップが挿入されている場合、テロップが削除される可能性がある旨のメッセージが表示されます。「はい」を選択すると、選択切り出しモードになります。このとき、切り出す位置によっては、テロップが消去される場合があります。

**2** ● ▶ 切り出す位置で ●

現在のファイルサイズ／最大ファイルサイズ

- 切り出しの操作をやり直すときは CLR を押します。
- 動画の再生中に切り出しを中断するときは MENU を押します。
- 動画／ｉモーションを ● を押さずに最後まで切り出したときは、自動的に切り出しを終了し、終点がファイルの最大サイズより約1000バイト小さい位置に設定されます。

**切り出しサイズの上限を設定する：● を押す前に MENU ▶「メール添付用（小）」（500Kバイト）、「メール添付用（大）」（2038Kバイト）、「設定なし」（切り出し元の動画のファイルサイズ）を選択**

- 切り出し元のファイルサイズが500Kバイトより大きいときのみ設定できます。
- 切り出し中のファイルサイズが設定した切り出しサイズの上限に達したときは、自動的に切り出しを終了します。
- 切り出し元のファイルサイズが2038Kバイトより大きい場合は、「設定なし」に設定できません。また、切り出ししようとした場合は、上限の設定に関わらず2038Kバイトで自動的に切り出しを終了します。

**3** 表示名を入力 ▶ 📖［保存］

切り出した動画／ｉモーションは、新しいデータとして元の動画／ｉモーションと同じフォルダに保存されます。

- 表示名は全角・半角を問わず最大36文字入力できます。

**切り出した動画／ｉモーションを再生する：i を押す**

**切り出した動画／ｉモーションをメールに添付する：✉ を押す**

元の動画／ｉモーションと同じフォルダに保存され、切り出した動画／ｉモーションが添付されているメール作成画面が表示されます。

### ◆ファイルサイズを指定して切り出す

動画／ｉモーションを先頭から指定したファイルサイズまで切り出します。

- 指定できるファイルサイズは10K～2038Kバイトです。
- 指定できるファイルサイズの上限は、切り出す動画／ｉモーションにより異なります。

**1** **MENU▶5 3▶フォルダを選択▶切り出す動画／ｉモーションにカーソルを合わせてMENU▶4 2**

- 切り出す動画／ｉモーションにテロップが挿入されている場合、テロップが削除される可能性がある旨のメッセージが表示されます。「はい」を選択すると、サイズ切り出しモードになります。このとき、切り出す位置によっては、テロップが消去される場合があります。

**2** **切り出すサイズを入力**

指定したファイルサイズで動画／ｉモーションが切り出されます。

メール添付のサイズで切り出しサイズを設定する：**サイズ切り出しの画面でMENU▶「メール添付用（小）」（500Kバイト）、「メール添付用（大）」（2038Kバイト）を選択**

- 切り出し元のファイルサイズが500Kバイトより大きいときのみ設定できます。
- 「メール添付用（小）」に設定すると「500」が、「メール添付用（大）」に設定すると「2038」が、切り出しサイズに自動的に設定されます。

**3** **表示名を入力▶📖［保存］**

切り出した動画／ｉモーションは、新しいデータとして元の動画／ｉモーションと同じフォルダに保存されます。

- 表示名は全角・半角を問わず最大36文字入力できます。

切り出した動画／ｉモーションを再生する：**iαを押す**

切り出した動画／ｉモーションをメールに添付する：**✉を押す**

元の動画／ｉモーションと同じフォルダに保存され、切り出した動画／ｉモーションが添付されているメール作成画面が表示されます。

### ◆テロップを挿入する

動画／ｉモーションには文字情報（テロップ）を挿入できます。

- テロップは最大10個挿入できます。ただし、テロップを挿入する動画／ｉモーションによっては10個より少なくなる場合があります。
- テロップを挿入すると、着モーションに設定できなくなります。

**1** **MENU▶5 3▶フォルダを選択▶テロップを挿入する動画／ｉモーションにカーソルを合わせてMENU▶4 3 1**

- すでにテロップが挿入されている場合は、削除して新しいテロップを作成するかどうかの確認画面が表示されます。「はい」を選択すると、すでに挿入されているすべてのテロップが削除されます。

テロップを削除する：**MENU▶4 3 2▶「はい」を選択**

挿入されているすべてのテロップが削除されます。

**2** **下記の各項目を選択して設定▶📖**

**表示間隔**：テロップの配置のしかたを設定します。

- 「ユーザ指定」に設定すると、テロップを設定する位置を任意に指定できます。
- 「等間隔」に設定すると、テロップ数を設定できます。動画／ｉモーションの再生時間内に、指定した数のテロップが等間隔で挿入されます。

**テロップ数**：1～10の範囲で入力します。

- 表示間隔を「ユーザ指定」に設定したときは確認メッセージが表示され、再生画面の下に📝が表示されます。
- 表示間隔を「等間隔」に設定したときは、操作5に進みます。

**3** **●で再生を開始▶テロップの設定位置で●**

再生は中断しません。●を押すたびにテロップの位置が設定されます。

- 再生を開始すると先頭に1個目のテロップの位置が設定されます。
- テロップの位置の設定を終了するには[辞書キー]を押します。
  テロップの位置を9箇所設定するか、動画／iモーションの再生が終了すると、自動的にテロップの位置の設定を終了します。

**4** 「はい」を選択

**5** テロップの入力欄を選択▶テロップに表示する文字を入力

- 全角で最大20文字、半角で最大40文字入力できます。

テロップを修飾する：修飾するテロップにカーソルを合わせて[メールキー]▶下記の各項目を選択して設定▶[辞書キー]

**テロップ1〜10**：テロップ編集画面で入力した文字が表示されます。選択すると、文字を入力できます。

**文字色**：文字の色を設定します。
- 「指定なし」に設定すると、文字色は白になります。
- 絵文字には反映されません。

**背景色**：テロップの背景色を設定します。
- 「指定なし」に設定すると、背景色は黒になります。

**スクロール動作**：文字のスクロール動作を設定します。
- 「スクロール・イン」に設定すると、文字が移動しながら徐々に表示されます。
- 「スクロール・アウト」に設定すると、文字が移動しながら徐々に表示されなくなります。
- 「スクロール・イン&アウト」に設定すると、文字が移動しながら徐々に表示され、その後徐々に表示されなくなります。

**スクロール方向**：スクロール動作を「なし」以外に設定したときの文字のスクロール方向を設定します。

**文字位置**：文字の表示位置を設定します。

**文字サイズ**：文字の大きさを設定します。

**下線**：文字に下線を付けるように設定します。

**点滅**：文字が点滅するように設定します。

**6** [辞書キー]を押す

- テロップを挿入する前の動画／iモーションのファイルサイズが500Kバイト以内で、テロップを挿入した結果が500Kバイトより大きくなった場合、メール添付用（小）サイズを超える旨のメッセージが表示されます。そのままテロップを挿入する場合は[決定キー]を押します。

**7** 表示名を入力▶[辞書キー]［保存］

テロップを挿入した動画／iモーションが、新しいデータとして元の動画／iモーションと同じフォルダに保存されます。
- 表示名は全角・半角を問わず最大36文字入力できます。

テロップを挿入した動画／iモーションを再生する：[iアプリキー]を押す

テロップを挿入した動画／iモーションをメールに添付する：[メールキー]を押す

元の動画／iモーションと同じフォルダに保存され、テロップを挿入した動画／iモーションが添付されているメール作成画面が表示されます。

動作設定

## 動画／iモーションの動作条件を設定する

【お買い上げ時】 一覧の画像表示：あり　表示画像の拡縮：なし　リピート再生：ON　照明設定：常灯　音量：レベル20　サラウンド：OFF

**動画／iモーションの再生時の照明や音量などの条件を設定します。**

**1** [MENU]▶[5][3]▶[MENU]▶[4]▶下記の各項目を選択して設定▶[辞書キー]［登録］

**一覧の画像表示**：動画／iモーション一覧で画像表示をするかどうかを設定します。「あり」にするとサムネイル表示に、「なし」にするとリスト表示になります。

**表示画像の拡縮**：表示領域（横画面時：320×240、縦画面時：240×200）と再生する動画／iモーションのサイズが合わないときに、拡大または縮小表示をするかどうかを設定します。
- 「なし」に設定すると、拡大または縮小表示しません。ただし、表示領域より大きいサイズの動画／iモーションを再生したときは、縦横比を保持したまま、表示領域に合わせて動画／iモーションを縮小表示します。
- 「あり」に設定すると、縦横比を保持したまま表示領域に合わせて動画／iモーションを拡大または縮小表示します。

**リピート再生**：プレイリスト再生時にリピート再生するかどうかを設定します。

**照明設定**：再生中の照明の動作を設定します。
- 「端末設定に従う」に設定すると、ディスプレイの照明設定に従って照明が点灯します。
- ディスプレイの照明設定（点灯時間設定）にも反映されます。

**音量**：再生時の音量を設定します。
**サラウンド**：再生時にサラウンド効果を有効にするかどうかを設定します。
- ステレオ効果設定の動画（iモーション）にも反映されます。

**✔お知らせ**
- 動画／iモーション一覧から操作する場合は、[MENU]を押し「動作設定」を選択します。

コンテンツ移行対応

## 動画／iモーションをmicroSDメモリーカードに移動する

### ◆FOMA端末のコンテンツ移行対応のデータをmicroSDメモリーカードに移動する

サイトから取得した著作権のあるiモーションを、microSDメモリーカードに移動します。コピーはできません。
- 音楽データをオススメ着信音に設定してFOMA端末に保存したiモーションも、著作権のあるiモーションになります。
- コンテンツ移行対応のiモーションは、詳細情報（→P384）の「microSDへの移動」が「可」または「可（同一機種間）」になっている場合だけ、microSDメモリーカードに移動できます。

**1** **[MENU]▶[5][3]▶iモードフォルダを選択▶コンテンツ移行対応のiモーションにカーソルを合わせて[MENU]▶[5][4]**

**2** **[1]～[3]**

複数移動する：**[2]▶移動するiモーションを選択▶[📖]**

**3** **移動先のフォルダにカーソルを合わせて[📖]▶「はい」を選択**

- 複数移動または全件移動の場合は、続けて移動の確認画面が表示されます。「はい」を選択すると移動されます。
- 移動先の選択画面で[✉]を押すとホームフォルダに移動できます。
- 移動を中止するときは[●]を押します。

**✔お知らせ**
- 新しいフォルダを作成し（→P377）、iモーションを移動した場合、他のFOMA端末で確認できないことがあります。
- データの移動中にmicroSDメモリーカードを取り外したり、電源を切ったりしないでください。microSDメモリーカード内のすべてのコンテンツ移行対応データが利用できなくなる場合があります。
- 「複数移動」や「全件移動」を選択して、コンテンツ移行対応以外のiモーションも一緒にmicroSDメモリーカードに移動した場合、コンテンツ移行対応以外のiモーションは、microSDメモリーカードの「動画」または「その他の動画」フォルダに保存されます。

### ❖コンテンツ移行対応のデータをFOMA端末またはフォルダに移動する

microSDメモリーカードに保存した著作権のあるiモーションを、FOMA端末またはmicroSDメモリーカード内の他のフォルダ（→P377）に移動します。

**1** **[MENU]▶[6][5][1][5]▶フォルダを選択▶移動するデータにカーソルを合わせて[MENU]▶[3]▶[1]または[2]**

**2** **[1]～[3]**

複数移動する：**[2]▶移動するデータを選択▶[📖]**

**3** **「はい」を選択**

本体へ移動したデータは、iモーションの「iモード」フォルダに保存されます。

本体に全件移動する：**認証操作▶「はい」を選択**

フォルダに移動する：**移動先のフォルダにカーソルを合わせて[📖]▶「はい」を選択**
- 移動先の選択画面で[✉]を押すとホームフォルダに移動できます。

**✔お知らせ**
- microSDメモリーカード内のコンテンツ移行対応のiモーションは、サイトからダウンロードしたり、FOMA端末からmicroSDメモリーカードに移動したときと同じFOMAカードを挿入しているとき（iモーションによっては、さらに同一機種であるとき）のみ移動できます。

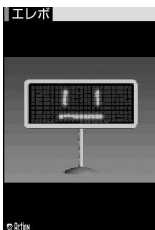
## キャラ電とは

**テレビ電話利用時に、自分の映像の代わりに画面に表示させるキャラクタのことです。テレビ電話中にダイヤルキーを押すことでキャラクタを動かし、そのときの気持ちを手軽に表現できます。また、キャラ電を待受画面に設定して、待受時や不在着信があるときに特定のアクションを動作させたり、表示中のキャラ電の静止画や動画を撮影して保存したりもできます。**

- テレビ電話中にキャラ電を利用する→P79
- キャラ電によっては、送話口からの音声に反応して口を動かすものもあります。
- キャラ電のアクションには、キャラクタの全体が動く「全体アクション」と部分的に動く「パーツアクション」があります。キャラ電によっては、アクションがないものや、全体アクションまたはパーツアクションのどちらかのみのものもあります。

## キャラ電を表示する

- お買い上げ時は、次のキャラ電が「プリインストール」フォルダに保存されています。

Dimo

エレボ

- お買い上げ時に保存されているキャラ電を削除した場合は、「@Fケータイ応援団」のサイトからダウンロードできます。→P499

**1** **[MENU] ▶ [5] [6] ▶ フォルダを選択**

キャラ電の各フォルダには次のようなキャラ電が保存されます。

**iモード**：サイトからダウンロードしたキャラ電

**プリインストール**：お買い上げ時にFOMA端末に登録されているキャラ電

**マイフォルダ**：他のフォルダから移動したキャラ電

- フォルダを作成すると表示されます。→P382

**2** **表示するキャラ電を選択**

キャラ電一覧画面では、各キャラ電の表示名とその詳細を示すマークが表示されます。

- 画面の見かたは次のとおりです。

① **取得元**

：iモード　：プリインストール

② **ファイル制限**

：ファイル制限あり

**キャラ電を利用してテレビ電話をかける：**

**①利用するキャラ電にカーソルを合わせて[i]**

**②電話番号入力欄を選択 ▶ 電話番号を入力 ▶ [i]**

- [電話帳]を押して電話帳から電話番号の入力もできます。→P105
- [MENU]を押して条件を設定して電話をかけられます。→P62

**キャラ電をテレビ電話の代替画像に設定する：**

**代替画像に設定するキャラ電にカーソルを合わせて[メール]**

- キャラ電表示画面で[i]を1秒以上押しても設定できます。

**キャラ電を待受画面に設定する：**

**①設定するキャラ電にカーソルを合わせて[MENU] ▶ [4] ▶ 待受アクション設定画面で、各項目を選択して設定 ▶ [電話帳]**

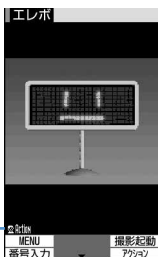
通常、不在着信、未読メールのアクションとアクション間隔を設定します。

- 「全体アクション」「パーツアクション」を設定した場合は、アクション一覧からアクションを選択します。
- 「直接入力」を設定した場合は、アクションに対応したダイヤルキーを押してください。
- 「OFF」に設定すると、あらかじめ設定されている動作になり、アクションは設定できません。
- アクション間隔ではアクションを繰り返す間隔（1～5秒）を選択します。「OFF」を設定すると選択したアクションが1回だけ動作します。

**②「はい」を選択**

- キャラ電は、等倍表示または拡大表示に設定できます。
- すでにiアプリ待受画面が設定されている場合は、続けてiアプリ待受画面を解除するかどうかの確認画面が表示されます。「はい」を選択すると、iアプリ待受画面が解除されます。

## 3 キャラ電を操作

1～9、#を押すと、その数字に応じたアクションをします。

- アクションを中止するには0を押します。
- を押すと表示領域に合わせて拡大表示されます。を押すと等倍表示されます。

**キャラ電を切り替える：▶91▶フォルダを選択▶表示するキャラ電を選択**

**アクション一覧を表示する：を押す**

- アクションを選択すると、キャラ電が動きます。
- を押すと、アクションの詳細を確認できます。

**全体アクションとパーツアクションを切り替える：（1秒以上）**

1秒以上押すたびに全体アクションActionとパーツアクションPartsが切り替わります。

- キャラ電表示中に、アクションの番号と同じダイヤルキーを押すと、該当するアクションをします。

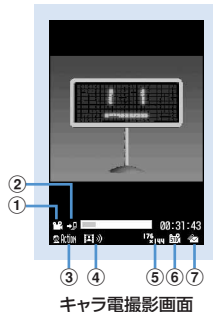
### ✔お知らせ

- キャラ電の待受アクション設定画面で複数の項目にアクションを設定している場合は、次の優先順位に従ってキャラ電はアクションします。
  ①不在着信、未読メール
  ②通常
  ①で不在着信と未読メールの両方が設定されている場合、不在着信と未読メールの両方が存在するときは、それぞれに設定されているアクションを交互に繰り返します。ただし、アクション間隔に「OFF」を設定している場合は、不在着信のアクションが1回だけ動作します。①と②が同時に設定されている場合、不在着信と未読メールの両方が存在しないときは、通常のアクションが動作します。

キャラ電撮影

## キャラ電を撮影する

**キャラ電の静止画や動画を撮影します。**

- 撮影した静止画や動画は、カメラで撮影した静止画や動画と同様のファイル形式で保存されます。
  画像ファイルの保存形式→P178
- 画面の見かたは次のとおりです。

**キャラ電撮影画面**

**①撮影方法**
　：静止画　：動画

**②保存先**※
　：FOMA端末
　：microSDメモリーカード

**③アクション種別**
　Action：全体アクション
　Parts：パーツアクション

**④撮影種別**
　**動画＋音声：**
　キャラ電と送話口からの音声を動画撮影します。送話口からの音声に反応するキャラ電の場合は、音声に合わせて口を動かします。
　**動画のみ（マイクあり）：**
　キャラ電のみを動画撮影します。マイクは送話口からの音声に反応するキャラ電のみ有効となり、送話口からの音声に反応してキャラ電が口を動かします。音声は録音されません。
　**動画のみ（マイクなし）：**
　キャラ電のみを動画撮影します。マイクは無効となります。
　**静止画：**
　キャラ電を静止画撮影します。

**⑤画像サイズ**
　176×144：（静止画、動画ともに固定）

**⑥画質／品質**※
　**静止画撮影時**
　ECO：エコノミー　ST：スタンダード
　FINE：ファイン
　**動画撮影時**
　：LP（長時間）　：STD（標準）
　：HQ（高品質）

⑦サイズ制限
**静止画撮影時**
∞：制限なし
**動画撮影時**※
：メール添付用（小）（500Kバイト）
：メール添付用（大）（2Mバイト）
※ 静止画設定または動画設定で設定を変更できます。

## ◆静止画／動画を撮影する

**1** **MENU ▶ 5 6 ▶ フォルダを選択 ▶ 撮影するキャラ電にカーソルを合わせて ⊡**

キャラ電撮影画面に切り替わります。

**2** **⊡を押す**

- ⊡を押すたびに撮影種別が切り替わります。

**3** **1～9または#**

キャラ電の操作方法→P362「キャラ電を表示する」操作3

キャラ電を切り替える：MENU ▶ 1 1 ▶ フォルダを選択 ▶ 撮影するキャラ電を選択

**4** **●［撮影］を押す**

撮影確認音（シャッター音）が鳴り、保存されます。動画撮影の場合には、撮影中の状態で⊡を押すと、その時点で撮影が終了し保存されます。動画撮影中もキャラ電を操作できます。
- 保存先をmicroSDメモリーカードに設定している場合は、microSDメモリーカード内の「マイピクチャ」または「動画」フォルダに保存されます。→P367
- 動画の撮影中にファイルサイズが制限値に達すると、撮影が自動的に終了し、その時点までに撮影した動画が保存されます。

静止画設定または動画設定で自動保存を「しない」に設定している：
確認画面が表示されます。
- 確認画面では次の操作ができます。
  ●：静止画／動画の保存
  MENU：保存先の切り替え
  ⊡：取消
  ✉：メール作成
  ⊡：動画の再生

保存した静止画や動画をすぐに確認する：⊡ ▶ 確認する静止画または動画を選択
- 確認後 CLR を2回押すと、キャラ電撮影画面に戻ります。

**✔お知らせ**

- キャラ電を撮影する場合の注意事項
  →P183「カメラで静止画を撮影する」のお知らせ
  →P188「カメラで動画を撮影する」のお知らせ
- キャラ電の静止画撮影待機中や動画撮影待機中に電話をかけたり受けたりすると、通話終了後はキャラ電撮影画面に戻ります。
- 送話口からの音声に反応するキャラ電は、送話口からの音声の大きさによっては正しく動作しない場合があります。
- 保存領域の空きが足りないときや最大保存件数を超えるときは、画面の指示に従って、不要な画像／動画を削除してから撮影してください。

## ◆静止画／動画の撮影動作を設定する〈静止画設定／動画設定〉

【お買い上げ時】
- 静止画設定
  画質：スタンダード　撮影確認音：標準　撮影後ファイル制限：なし　自動保存：する　保存先：本体　表示サイズ：拡大　照明設定：端末設定に従う
- 動画設定
  品質：STD（標準）　サイズ制限：メール添付用（小）　撮影確認音：標準　撮影後ファイル制限：なし　自動保存：する　保存先：本体　表示サイズ：拡大　照明設定：端末設定に従う

キャラ電の静止画または動画を撮影するときの画質、品質や表示サイズなどを設定します。

**1** **キャラ電撮影画面でMENU ▶ 4 ▶ 下記の各項目を選択して設定 ▶ ⊡［登録］**

### ❖設定項目について

静止画のみ

| 項　目 | 説　明 |
| --- | --- |
| 画質 | 保存する静止画ファイルの画質を設定します。画質がよくなるほど、静止画のファイルサイズは大きくなります。 |

動画のみ

| 項　目 | 説　明 |
| --- | --- |
| 品質 | 撮影する動画の品質を設定します。品質がよくなるほど、動画のファイルサイズは大きくなります。 |
| サイズ制限 | 保存する動画ファイルのサイズ制限値を設定します。撮影中の動画ファイルサイズが制限値に達すると、自動的に撮影を終了します。 |

静止画／動画

| 項　目 | 説　明 |
| --- | --- |
| 撮影確認音 | 撮影開始と終了時の撮影確認音（シャッター音）を設定します。<br>• 撮影確認音（シャッター音）にカーソルを合わせると音が鳴ります。 |
| 撮影後ファイル制限 | メール添付やデータ転送によって他の携帯電話に静止画、動画を送信したとき、受信した相手の携帯電話からさらに他の携帯電話に静止画、動画を送信することを制限するかどうかを設定します。<br>• ダウンロードしたキャラ電で最初から「あり」に設定されている場合は、「なし」に変更できません。<br>•「あり」に設定されているキャラ電で撮影した静止画や動画（自端末で、撮影後ファイル制限を「あり」に設定した場合を除く）は編集、転送、メール添付ができません。 |
| 自動保存 | 撮影した静止画や動画を自動で保存するかどうかを設定します。<br>•「する」に設定すると、設定されている保存先に自動的に保存されます。<br>•「しない」に設定すると、最後に確認画面が表示され、保存先の切り替えやメール作成などの操作ができます。 |
| 保存先 | 保存先を設定します。 |
| 表示サイズ | 撮影中のキャラ電を表示領域に合わせて拡大表示するか、画面中央に等倍表示するかを設定します。<br>• 撮影画面を表示したときから有効になります。 |
| 照明設定 | 撮影中の照明の動作を設定します。<br>•「端末設定に従う」に設定すると、ディスプレイの照明設定に従って照明が点灯します。 |

動作設定

## キャラ電の動作条件を設定する

【お買い上げ時】 表示サイズ：拡大　照明設定：端末設定に従う

**キャラ電再生時の表示サイズと照明の条件を設定します。**

**1** **[MENU]▶[5][6]▶[MENU]▶[4]▶下記の各項目を選択して設定▶[📖]［登録］**

**表示サイズ**：キャラ電を再生するとき表示領域に合わせて拡大表示するか、画面中央に等倍表示するかを設定します。

**照明設定**：キャラ電再生中の照明の動作を設定します。

•「端末設定に従う」に設定すると、ディスプレイの照明設定に従って照明が点灯します。

## メロディを再生する

• FOMA端末では、SMF形式やMFi形式のメロディを再生できます。

**1** **[MENU]▶[5][4]▶フォルダを選択**

メロディの各フォルダには次のようなメロディが保存されます。

**ｉモード**：サイトやｉモードメールから取得したメロディ

**プリインストール**：お買い上げ時に登録されている着信音用メロディ→P493

**メール添付メロディ**：お買い上げ時に登録されているメール添付用メロディ→P494

**データ交換**：バーコードリーダーで読み取ったメロディやmicroSDメモリーカードから移動またはコピーしたメロディ、データ通信で受信したメロディ

**マイアルバム**：他のフォルダから移動したメロディ

• アルバムを作成すると表示されます。→P382

microSDメモリーカードのメロディ一覧に切り替える：**メロディのフォルダ一覧で[i]**

## 2 再生するメロディにカーソルを合わせる

メロディ一覧画面では、各メロディの表示名とその詳細を示すマークが表示されます。

- 画面の見かたは次のとおりです。

①取得元
- ：ｉモード
- ：ｉモード＋3Dサウンド対応
- ：データ交換
- ：データ交換＋3Dサウンド対応
- ：プリインストール／メール添付メロディ
- ：プリインストール＋3Dサウンド対応

②ファイルの種類
MFi：MFi　SMF：SMF

③ファイル制限
- （青）：ファイル制限なし
- （グレー）：ファイル制限あり

メールに添付する：**メロディにカーソルを合わせて**

- 1 を押しても同様に操作できます。

## 3 ●［選択］を押す

メロディ再生画面では、再生しているメロディの表示名と再生位置や音量を示すマークが表示されます。

- 画面の見かたは次のとおりです。

①**メロディ番号／件数**：再生中のメロディ番号と件数を表示します。
②**再生バー**：現在の再生位置を示します。
③**再生音量**：現在の音量を示します。

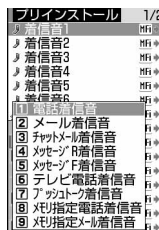
- メロディの再生中は次の操作ができます。
  ／サイドキー［▲▼］：音量調整
  ／サイドキー［▲▼］（1秒以上）：前後のメロディ再生
  ／●：停止

## ◆メロディを着信音に設定する

- 「メール添付メロディ」フォルダのメロディは着信音に設定できません。

〈例〉音声電話着信音に設定するとき

## 1 ▶ 5 4 ▶フォルダを選択▶設定するメロディにカーソルを合わせて ▶ 2

## 2 1 を押す

メール、チャットメール、メッセージR/F、テレビ電話、プッシュトークの着信音に設定する：2 ～ 7

メモリ指定着信音（電話、メール）に設定する：

① 8 または 9
② **メモリ指定着信音を設定する電話帳データを選択▶**

動作設定

## メロディの動作条件を設定する

【お買い上げ時】 音量：レベル４　イルミネーションパターン：点滅　イルミネーションカラー：ライム　バイブレータ：OFF　再生位置：フルコーラス再生　再生画面背景：標準　ステレオ・3Dサウンド：ON

**メロディの再生時の音量やイルミネーションパターンなどの条件を設定します。**

**1** **[MENU]▶[5][4]▶[MENU]▶[5]▶下記の各項目を選択して設定▶[📖]［登録］**

**音量**：音量を設定します。

**イルミネーションパターン**：ランプの点灯パターンを設定します。
- 「メロディ連動」に設定すると、イルミネーションカラーは設定できません。

メロディ連動→P146「電話／メールの着信やトルカ取得の点灯パターンと点灯色を設定する」操作2

**イルミネーションカラー**：ランプの点灯色を設定します。

**バイブレータ**：振動パターンを設定します。

**再生位置**：全体を再生（フルコーラス再生）するか一部分を再生（ポイント再生）するかを設定します。

**再生画面背景**：背景に表示する画像を設定します。「選択」に設定すると、画像フォルダに保存されている画像が選択できます。

**ステレオ・3Dサウンド**：「ON」に設定すると、広がりや奥行きのある立体音響でメロディを再生します。「OFF」に設定すると、立体音響のないモノラル再生となります。
- ステレオ効果設定のメロディにも反映されます。

### ✔お知らせ

- メロディ一覧およびメロディ再生画面から操作する場合は、[MENU]を押し「動作設定」を選択します。
- メロディによっては、イルミネーションパターンやバイブレータを「メロディ連動」に設定しても連動しない場合があります。
- メロディによっては、再生位置を「ポイント再生」に設定しても、ポイント再生しない場合があります。

## microSDメモリーカードについて

**FOMA端末では、撮影した静止画や動画、メロディなどのデータをmicroSDメモリーカードに保存したり、電話帳やスケジュールなどのデータをバックアップしたりできます。また、パソコンなどの外部機器で作成した動画をmicroSDメモリーカードに保存してFOMA端末で再生したり（→P521）、FOMA端末内のmicroSDメモリーカードをドライブとして認識させ、パソコンからmicroSDメモリーカードのデータを操作したりできます（→P380、P520）。**

**microSDメモリーカードアダプタと組み合わせると、SDメモリーカード対応のパソコンやプリンタなどでも利用できます。**

- microSDメモリーカードをご利用になるには、別途microSDメモリーカードが必要です。
  microSDメモリーカードをお持ちでない場合は、家電量販店などでお買い求めいただけます。
- 初期化されていないmicroSDメモリーカードは、FOMA端末で初期化してから使用してください。
  なお、初期化を中断したmicroSDメモリーカードの動作は保証できません。→P379
- microSDメモリーカードは、SDメモリーカード規格に準拠したフォーマット（FAT12／FAT16）でお使いください。FAT32のフォーマットで初期化した場合は正常に動作しないことがあります。
  FAT以外のフォーマットで初期化されたmicroSDメモリーカードは、FOMA端末で利用できません。
- microSDメモリーカード内の画像、動画／ｉモーション、メロディは、待受画面、着信音、着信画像などには設定できません。FOMA端末に移動またはコピーしてから設定してください。
- F904iでは市販の2GバイトまでのmicroSDメモリーカードに対応しています（2007年6月現在）。
  microSDメモリーカードの製造メーカや容量など、最新の動作確認情報については下記のサイトをご覧ください。また、掲載されているmicroSDメモリーカード以外については、動作しない場合がありますのでご注意ください。
  - ｉモードから
    「@Fケータイ応援団」（2007年6月現在）
    ｉMenu → メニュー／検索→ ケータイ電話メーカー → @Fケータイ応援団

サイトアクセス用QRコード

- パソコンから
  http://www.fmworld.net/product/phone/microsd/
  なお、掲載されている情報は動作確認の結果であり、すべての動作を保証するものではありませんので、あらかじめご了承ください。
- FOMA端末とパソコンを接続するには、FOMA USB接続ケーブル（別売）が必要です。

## ◆microSDメモリーカード使用時の留意事項

- データの保存中や削除中、使用状況確認中、初期化中は、microSDメモリーカードを取り外したり、電源を切ったり、衝撃を与えたりしないでください。データが壊れる場合があります。
- microSDメモリーカードを取り付けているFOMA端末に落下などの強い衝撃を与えないでください。microSDメモリーカードが飛び出す場合があります。
- microSDメモリーカードにラベルやシールを貼らないでください。
- データのコピー中、移動中、削除中やmicroSDメモリーカードの初期化中、情報更新中はディスプレイ上部に [icon] が表示され、データ転送モード（圏外と同じ状態）になるため、通話、ｉモード、データ通信などはできません。また、MULTIを押して他の機能に切り替えることもできません。
- オールロック中、パーソナルデータロック中はmicroSDメモリーカードを使用できません。
- パソコンなど他の機器で書き込み保護されたmicroSDメモリーカードは、データの保存、削除、初期化などができません。
- パソコンなど他の機器からmicroSDメモリーカードに保存したデータは、FOMA端末で表示、再生できない場合があります。また、FOMA端末からmicroSDメモリーカードに保存したデータは、他の機器で表示、再生できない場合があります。
- ご利用になるmicroSDメモリーカードによっては、保存した動画に乱れが発生する場合があります。
- microSDメモリーカードに保存されたデータは、バックアップを取るなどして別に保管してくださるようお願いします。万一、保存されたデータが消失または変化しても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

## ◆microSDメモリーカードのフォルダ構成

### ■FOMA端末で表示したとき

microSDメモリーカードのフォルダ構成は次のとおりです。データの種類によって保存先が分かれています。

| | フォルダ | 保存されるデータ | 最大保存件数※2 |
|---|---|---|---|
| マルチメディア | マイピクチャ | カメラで撮影した静止画、DCF※1規格のJPEG、GIF | 9999件 |
| | その他の画像 | DCF※1規格外のJPEG、GIFアニメーション | 9999件 |
| | デコメ絵文字 | 画像サイズが20×20、ファイルサイズが2.6Mバイト以内のJPEG、GIF（GIFアニメーションを含む） | 9999件 |
| | 動画 | 動画／ｉモーション | 4095件 |
| | 動画[icon] | コンテンツ移行対応のｉモーション | 1000件 |
| | その他の動画 | 音声のみの動画／ｉモーション | 9999件 |
| | メロディ | メロディ | 9999件 |
| | ミュージック | 着うたフル® | 1000件 |
| | | WMAファイル | 500件 |
| PIM | 電話帳 | 電話帳データ、電話帳のバックアップデータ | 合計9999件 |
| | スケジュール | スケジュールデータ、スケジュールのバックアップデータ | |
| | 受信メール | 受信メールデータ、受信メールのバックアップデータ | |
| | 未送信メール | 未送信メールデータ、未送信メールのバックアップデータ | |
| | 送信メール | 送信メールデータ、送信メールのバックアップデータ | |
| | メモ | メモデータ、メモのバックアップデータ | |
| | Bookmark | ブックマークデータ、ブックマークのバックアップデータ | |
| マイドキュメント | | PDFデータ | 999件 |
| トルカ | | トルカ | 999件 |
| ｉアプリのデータ | | ｉアプリデータの詳細情報 | 1200件 |
| 現在地通知先 | | 現在地通知先データ、現在地通知先のバックアップデータ | 999件 |
| その他 | | Word、Excel、PowerPointファイルとそれ以外のデータ | 999件 |

※1 DCFはDesign rule for Camera File systemの略でファイルシステムの規格です。
※2 実際に保存できる件数は、microSDメモリーカードの容量やデータサイズにより少なくなる場合があります。

✔お知らせ

- 横縦（または縦横）のサイズが1728×2304より大きい静止画をmicroSDメモリーカードに保存しても、FOMA端末では表示できません。

## ■パソコンなどに挿入して表示したとき

FOMA端末からmicroSDメモリーカードにデータを移動またはコピーしたときや、カメラで撮影した静止画や動画を直接microSDメモリーカードに保存したときなどは、そのファイルに対応したフォルダがmicroSDメモリーカードに自動的に作成されます。パソコンなどを使うとmicroSDメモリーカードの内容を表示できます。microSDメモリーカードのフォルダとファイルの構成は次のとおりです。
パソコンなどからmicroSDメモリーカードにデータを保存するときは、次のファイル形式、ファイル名で決められたフォルダに保存してください。保存先フォルダを間違えたり、異なるファイル形式のデータを保存したりすると、FOMA端末では認識できません。

**フォルダ構成**

```
DCIM[マイピクチャ]
(撮影画像、静止画[ファイル形式：JPEG〈DCF規格〉、GIF])
└ xxxF904I
   └---- yyyyxxxx.JPG/yyyyxxxx.GIF
SD_VIDEO[動画]
(動画／iモーション[音楽データ含む])
└ PRLzzz
   └---- MOLzzz.3GP※1/MOLzzz.MP4※1/
         MOLzzz.ASF
PRIVATE
└ DOCOMO
   ├ STILL[その他の画像]
   │ (GIFアニメーション、静止画[ファイル形式：JPEG〈DCF規格外〉])
   │ ├---- STILxxxx.JPG／STILxxxx.GIF
   │ └ SUDxxx
   │    ├---- STILxxxx.JPG
   │    └---- STILxxxx.GIF
   ├ RINGER[メロディ]
   │ (メロディ[ファイル形式：MFI、SMF])
   │ ├---- RINGxxxx.MLD
   │ ├---- RINGxxxx.MID
   │ ├---- RINGxxxx.SMF
   │ └ RUDxxx
   │    ├---- RINGxxxx.MLD
   │    ├---- RINGxxxx.MID
   │    └---- RINGxxxx.SMF
   ├ DOCUMENT
   │ [マイドキュメント（PDFデータ）]
   │ └ PUDxxx
   │    ├---- PDFDCxxx.PDF※2
   │    ├---- PDFDCxxx.$DF※2、3
   │    ├---- PDFDCxxx.DDF※2、4
   │    └---- PDFDCxxx.JPG※2、5
   └ TABLE※6
      └ RINGER      DOCUMENT
        STILL       TORUCA
        DCIM        MMFILE
        SD_VIDEO    LCSCLIENT
        DECOIMG     OTHER
```

PRIVATE
└ DOCOMO
　├ TORUCA[トルカ]
　│ ----TORUCxxx.TRC
　│ └ TRCxxx
　│ 　----TORUCxxx.TRC
　├ MMFILE
　│ [その他の動画]
　│ （音声のみの動画／ｉモーション）
　│ ----MMFxxxx.3GP
　│ 　--MMFxxxx.MP4
　│ 　--MMFxxxx.ASF
　│ ├ MUDxxx[その他の動画]
　│ │ （音声のみの動画／ｉモーション）
　│ │ ----MMFxxxx.3GP
　│ │ ----MMFxxxx.MP4
　│ │ ----MMFxxxx.ASF
　│ ├ WM※6
　│ │ （ミュージックプレイヤー用の
　│ │ WMAファイル）
　│ │ ----xxxx.WMA
　│ └ WM_SYSTEM※6、7
　├ LCSCLIENT[現在地通知先]
　│ ----LSCDCxxx.LSC
　│ └ LSCxxx
　│ 　----LSCDCxxx.LSC
　├ DECOIMG[デコメ絵文字]
　│ ----DIMGxxxx.JPG／DIMGxxxx.GIF
　│ └ DUDxxx
　│ 　----DIMGxxxx.JPG
　│ 　----DIMGxxxx.GIF
　└ OTHER[その他]
　　----OTHERxxx.yyy／xxxxxxxx.yyy
　　└ OUDxxx
　　　----OTHERxxx.yyy
　　　----xxxxxxxx.yyy

SD_PIM[PIM]
（電話帳、スケジュール、受信メール、未送信メール、送信メール、メモ、ブックマーク）
----PIMxxxxx.VCF/PIMxxxxx.VCS/
PIMxxxxx.VMG/PIMxxxxx.VNT/
PIMxxxxx.VBM

SD_BIND※6、8
（コンテンツ移行対応のデータ）
├ SVCxxxxx[動画]
│ ├ FFMP4DEF
│ │ ----xxxxxxxx.SB1
│ └ xxxxxxxx
│ 　----xxxxxxxx.SB1
├ SVCxxxxx[ｉアプリのデータ]
│ └ xxxxxxxx
│ 　----xxxxxxxx.xxx
└ SVCxxxxx[着うたフル®のデータ]
　└ FFFMUDEF
　　----xxxxxxxx.SB2

※1 拡張子が「3GP」「MP4」のファイルは、MP4形式として扱われます。

※2 拡張子を含めて半角64文字までのロングファイルネーム形式にも対応しています。FOMA端末からの移動／コピーの際、ファイル名の重複などがあった場合には、管理のためこれらのファイル名に変更されることがあります。

※3 ダウンロードに失敗したPDFデータです。残りのデータをダウンロードして保存すると、ファイル名が「PDFDCxxx.PDF」に変更されます。

※4 PDFデータのｉモードしおり情報やマーク情報などを管理するファイルです。ファイル名は対応するPDFデータと同じです。

※5 PDFデータをサムネイル表示するファイルです。ファイル名は対応するPDFデータと同じです。

※6 このフォルダにあるファイルは、削除したりファイル名を変えたりしないでください。FOMA端末でデータを正しく表示、再生できなくなります。

※7 このフォルダは隠しフォルダです。パソコンの設定によっては表示されません。

※8 コンテンツ移行対応のｉモーション、ｉアプリのデータ、着うたフル®のデータは、パソコンでは表示、再生できません。

- フォルダ名とファイル名の規則は次のとおりです。使用する文字はすべて半角です。
  - 「xxxF904I」のxxxは100～999
  - 「yyyyxxxx」のyyyyはA～Z（大文字）、0～9、_（アンダーバー）、xxxxは0001～9999
  - 「SUDxxx」「RUDxxx」「PUDxxx」「PDFDCxxx」「TRCxxx」「TORUCxxx」「MUDxxx」「LSCxxx」「LSCDCxxx」「DUDxxx」「OTHERxxx」「OUDxxx」のxxxは001～999
  - 「STILxxxx」「RINGxxxx」「MMFxxxx」「DIMGxxxx」のxxxxは0001～9999
  - 「PRLzzz」「MOLzzz」のzzzは001～FFFまでの16進数（16進数では1つの桁を0～9とA～Fの16種類の文字で表します）
  - 「PIMxxxxx」「SVCxxxxx」のxxxxxは00001～65535
  - 「xxxxxxxx.SB1」「xxxxxxxx.SB2」「xxxxxxxx.xxx」「xxxxxxxx」のxxxxxxxxとxxxはA～Z（大文字）、0～9、_（アンダーバー）

**✔お知らせ**

- マイピクチャ、その他の画像、デコメ絵文字、動画（コンテンツ移行対応のデータを除く）、その他の動画、メロディ、PIM、マイドキュメント、トルカ、現在地通知先、その他のデータを、パソコンなどからmicroSDメモリーカードにコピーしてFOMA端末で利用するには、FOMA端末でmicroSDメモリーカードの情報更新をする必要があります。
- パソコンなどでmicroSDメモリーカード内のフォルダ名を変更したり削除したりすると、FOMA端末でデータを正しく表示できなくなります。

## ■ microSDメモリーカードで利用できるデータ

ファイル形式ごとのデータサイズの上限値やデータ利用の可否は次のとおりです。

メール添付の詳細→P241「ファイルを添付する」

### 画像、動画／ｉモーション

上段：ファイルサイズ　下段：画像サイズ

| 形式（拡張子） | 操作 | |
|---|---|---|
| | microSDメモリーカードへ移動／コピー | FOMA端末へ移動／コピー |
| JPEG形式の画像（JPG） | 無制限 | 2.6Mバイト |
| | 無制限 | 1728×2304 |
| GIF形式の画像（GIF） | 無制限 | 2.6Mバイト |
| | 無制限 | 480×640 |
| JPEG形式のデコメ絵文字（JPG） | 90Kバイト | 90Kバイト |
| | 20×20 | 20×20 |
| GIF形式のデコメ絵文字（GIF） | 90Kバイト | 90Kバイト |
| | 20×20 | 20×20 |
| MP4形式の動画／ｉモーション（MP4、3GP） | 無制限 | 無制限 |
| | 無制限 | 無制限 |
| ASF形式の動画／ｉモーション（ASF） | 無制限 | 無制限 |
| | 無制限 | 無制限 |

上段：ファイルサイズ　下段：画像サイズ

| 形式（拡張子） | 操作 | |
|---|---|---|
| | メール添付 | 内容表示 |
| JPEG形式の画像（JPG） | 2Mバイト | 2.6Mバイト |
| | 無制限 | 1728×2304 |
| GIF形式の画像（GIF） | 2Mバイト | 2.6Mバイト |
| | 無制限 | 480×640 |
| JPEG形式のデコメ絵文字（JPG） | 2Mバイト | 2.6Mバイト |
| | 20×20 | 20×20 |
| GIF形式のデコメ絵文字（GIF） | 2Mバイト | 2.6Mバイト |
| | 20×20 | 20×20 |
| MP4形式の動画／ｉモーション（MP4、3GP） | 2Mバイト | 無制限 |
| | 無制限 | 48×48～320×240※ |
| ASF形式の動画／ｉモーション（ASF） | 不可 | 無制限 |
| | 不可 | 176×144、320×240 |

※ 再生可能な画像サイズより大きい動画／ｉモーションでも、再生可能な音声形式であったり、表示可能なテロップがデータ内に存在する場合は、音声やテロップの再生を行います。

### その他のデータ（ファイルサイズ）

| 形式（拡張子） | 操作 | |
|---|---|---|
| | microSDメモリーカードへ移動／コピー | FOMA端末へ移動／コピー |
| MP4形式のミュージック（3GP） | 無制限 | 5Mバイト |
| MFi形式のメロディ（MLD） | 無制限 | 100Kバイト |
| SMF形式のメロディ（MID、SMF） | 無制限 | 100Kバイト |
| PDFデータ（PDF） | 無制限 | 2Mバイト※ |
| トルカ（TRC） | 1024バイト | 1024バイト |
| トルカ（詳細）（TRC） | 100Kバイト | 100Kバイト |
| 現在地通知先（LSC） | 無制限 | 無制限 |
| Word（DOC）、Excel（XLS）、PowerPoint（PPT） | 無制限 | 2Mバイト |
| その他 | 不可 | 不可 |

※ 詳細情報で表示される実メモリサイズが2Mバイトを超えていても、ｉモードしおりやマーク情報を除いたPDFデータのファイルサイズが2Mバイト以内であれば、移動／コピーできます。

| 形式（拡張子） | 操作 | |
|---|---|---|
| | メール添付 | 内容表示 |
| MP4形式のミュージック（3GP） | 不可 | 無制限※ |
| MFi形式のメロディ（MLD） | 2Mバイト | 100Kバイト |
| SMF形式のメロディ（MID、SMF） | 2Mバイト | 100Kバイト |
| PDFデータ（PDF） | 2Mバイト | 無制限 |
| トルカ（TRC） | 2Mバイト | 1024バイト |
| トルカ（詳細）（TRC） | 2Mバイト | 100Kバイト |
| 現在地通知先（LSC） | 不可 | 無制限 |
| Word（DOC）、Excel（XLS）、PowerPoint（PPT） | 2Mバイト | 無制限 |
| その他 | 2Mバイト | 不可 |

※ ミュージックの再生→P408

PIMデータ

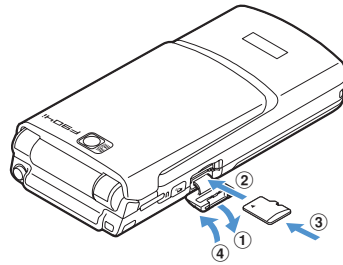
| 形式（拡張子） | 操作 | |
|---|---|---|
| | microSDメモリーカードへコピー／バックアップ | FOMA端末へコピー／復元 |
| 電話帳（VCF） | 無制限 | 無制限 |
| スケジュール（VCS） | 無制限 | 無制限 |
| メール（受信／未送信／送信）（VMG） | 無制限 | 無制限 |
| メモ（VNT） | 無制限 | 無制限 |
| ブックマーク（VBM） | 無制限 | 無制限 |

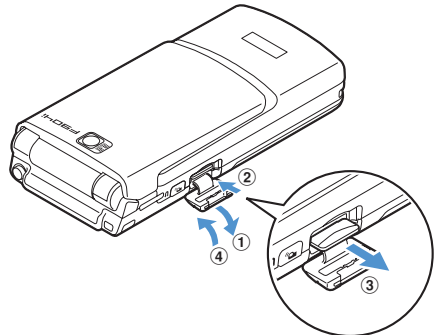
| 形式（拡張子） | 操作 | |
|---|---|---|
| | メール添付 | 内容表示 |
| 電話帳（VCF） | 2Mバイト | 無制限 |
| スケジュール（VCS） | 2Mバイト | 無制限 |
| メール（受信／未送信／送信）（VMG） | 不可 | 無制限 |
| メモ（VNT） | 不可 | 無制限 |
| ブックマーク（VBM） | 2Mバイト | 無制限 |

## microSDメモリーカードの取り付けかた／取り外しかた

microSDメモリーカードは、FOMA端末のmicroSDメモリーカードスロットに取り付けて使用します。

- microSDメモリーカードの取り付け／取り外しは、必ず電源を切った状態で行ってください。
- microSDメモリーカードスロットには、microSDメモリーカード以外は挿入しないでください。
- microSDメモリーカードの取り付け／取り外しを行うときは、金属端子部分に触れないようにご注意ください。
- microSDメモリーカードは正しく取り付けてください。microSDメモリーカードを正しく取り付けていない状態では、データのコピーやバックアップなどの操作ができません。
- microSDメモリーカードの取り付け／取り外しを行うときに、microSDメモリーカードが飛び出す場合がありますのでご注意ください。
- 表面に傷、ゴミなどが付着しているmicroSDメモリーカードや、変形しているmicroSDメモリーカードはFOMA端末に取り付けないでください。故障の原因となる場合があります。

### ❖microSDメモリーカードの取り付けかた

①microSDメモリーカードスロットのカバーを下方向に開く
②印字面を上にして、microSDメモリーカードをスロットにゆっくり差し込む
③「カチッ」と音がするまで、さらにmicroSDメモリーカードを差し込む
④microSDメモリーカードスロットのカバーを閉じる

### ❖microSDメモリーカードの取り外しかた

①microSDメモリーカードスロットのカバーを下方向に開く
②microSDメモリーカードの中央付近を軽く押し込み、手を離す
microSDメモリーカードが少し飛び出します。
③microSDメモリーカードをゆっくりと取り出す
まっすぐに取り出してください。
④microSDメモリーカードスロットのカバーを閉じる

## FOMA端末とmicroSDメモリーカードの間でデータをやりとりする

FOMA端末とmicroSDメモリーカードの間でデータを移動またはコピーしたり、FOMA端末のデータをmicroSDメモリーカードにバックアップしたりします。
やりとりできるデータの種類と操作内容は次のとおりです。

マルチメディア

| データの種類 | 操作内容 |
|---|---|
| 画像、デコメ絵文字 | 1件コピー、複数コピー、全件コピー、1件移動、複数移動、全件移動 |
| 動画／iモーション※1 | |
| メロディ | |
| ミュージック※2 | 1件移動、複数移動、全件移動 |

※1 コンテンツ移行対応の動画／iモーションは、コピーできません。
※2 ミュージックデータの操作→P410

PIM／現在地通知先

| データの種類 | 操作内容 |
|---|---|
| 電話帳（プッシュトーク電話帳※1を含む） | 1件コピー、バックアップ、復元 |
| スケジュール※2 | |
| メール（受信、未送信、送信） | |
| メモ | |
| ブックマーク | |
| 現在地通知先 | |

※1 1件コピーの操作では、コピーされません。
※2 ワンセグの視聴予約は、コピーやバックアップができません。

マイドキュメント／トルカ／その他

| データの種類 | 操作内容 |
|---|---|
| マイドキュメント（PDFデータ） | 1件コピー、複数コピー、全件コピー、1件移動、複数移動、全件移動 |
| トルカ、トルカ（詳細） | |
| その他（Word、Excel、PowerPointファイル） | |

### ◆microSDメモリーカードの保存容量を確認する

microSDメモリーカードの最大保存容量や空き容量などを表示します。microSDメモリーカードの空き容量を確認してから、データのコピーやバックアップなどを行ってください。

**1** MENU▶6 5▶MENU［使用状況］

使用状況
使用領域： 1,536 KB
空き領域： 121,376 KB
全容量 ： 122,912 KB

**使用状況**：全容量に対する使用領域の割合をバーで示します。
**使用領域**：現在使用している容量を数値で示します。
**空き領域**：現在の空き容量を数値で示します。
**全容量**：FOMA端末に取り付けているmicroSDメモリーカードの全容量を数値で示します。

**✔お知らせ**

- データが1件も保存されていなくても、FOMA端末で認識できないデータがあると使用領域が「0KB」にならない場合があります。初期化することで「0KB」になります。
- 実際に使用できるmicroSDメモリーカードの容量は、microSDメモリーカードに記載されている容量より少なくなります。
- microSDメモリーカードの空き容量が少ない場合、データを保存できないことがあります。不要なデータを削除するか、空き容量が十分なmicroSDメモリーカードを取り付けてからデータを保存してください。

### ◆FOMA端末のデータをmicroSDメモリーカードに移動／コピーする

- パラパラマンガ、FOMA端末外への出力が禁止されているデータは移動またはコピーできません。ただし、FOMA端末でファイル制限を「あり」に設定したデータ、「データ交換」フォルダ内のデータ、コンテンツ移行対応のデータは除きます。
- PIMデータは移動できません。
- 電話帳に登録されている動画はコピーされません。
- スケジュールに登録されているメンバーリストやイメージ（画像）はコピーされません。
- ミュージックデータをmicroSDメモリーカードに移動する操作→P410

〈例〉画像をmicroSDメモリーカードへ移動／コピーするとき

**1** MENU▶5 1▶フォルダを選択▶コピーまたは移動する画像にカーソルを合わせてMENU▶5▶4または5

**2** [1]～[3]

複数移動／複数コピーする：
① [2]
② **移動またはコピーする画像を選択▶[本]**

**3 「はい」を選択**

選択した画像、またはフォルダ内に保存されているすべての画像が、microSDメモリーカードに移動またはコピーされます。画像の種類によって保存先のフォルダが異なります。
- 移動またはコピーを中止するときは[●]を押します。

**✔お知らせ**

- 動画／ｉモーション一覧、メロディ一覧、マイドキュメント一覧（PDFデータ）、その他一覧（Word、Excel、PowerPointファイル）、トルカ一覧から操作する場合は、[MENU]を押し「移動／コピー」→「microSDへ移動」または「microSDへコピー」→「1件移動」「複数移動」「全件移動」「1件コピー」「複数コピー」「全件コピー」を選択します。
- 部分的にデータをダウンロードしたPDFデータは、microSDメモリーカードに移動／コピーができません。
- 電話帳一覧から操作する場合は、[MENU]を押し「データバックアップ」→「microSDへコピー」または「microSDへバックアップ」を選択します。
- スケジュールのデイリービュー画面から操作する場合は、[MENU]を押し「赤外線／iC／microSD」→「microSDへコピー」または「microSDへバックアップ」を選択します。
- 受信メール一覧、送信メール一覧、未送信メール一覧から操作する場合は、[MENU]を押し「移動／コピー」→「microSDへコピー」→「1件コピー」または「バックアップ」を選択します。
- 保護したｉモードメールをmicroSDメモリーカードにコピーしたりバックアップしたりすると、保護は解除されます。
- 添付ファイルを含めたメールサイズが100Kバイトを超える場合は、microSDメモリーカードにはメール本文のみコピーされます。また、添付ファイルが複数ある場合は、100Kバイトを超えた分のファイルはコピーされません。
- ブックマーク一覧から操作する場合は、[MENU]を押し「移動／microSD」→「microSDへコピー」→「1件コピー」または「バックアップ」を選択します。
- メモ一覧から操作する場合は、[MENU]を押し「赤外線／iC／microSD」→「microSDへコピー」または「microSDへバックアップ」を選択します。メモ帳参照から操作する場合は、[MENU]を押し「赤外線／iC／microSD」→「microSDへコピー」を選択します。
- 現在地通知先一覧から操作する場合は、[MENU]を押し「microSD」→「microSDへコピー」または「microSDへバックアップ」を選択します。
- FOMA端末内のデータをmicroSDメモリーカードへ移動／コピーすると、マイピクチャ、ｉモーション、メロディ内のデータの場合は、ファイル名が自動的に管理用の名称に変更されます。マイドキュメント内のデータの場合、データによってはファイル名が管理用の名称に変更されることがあります。→P368
- 静止画をFOMA端末本体からmicroSDメモリーカードに移動またはコピーすると、microSDメモリーカード側で表示される実メモリサイズがFOMA端末で表示される実メモリサイズより大きくなることがあります。この場合、microSDメモリーカード側で表示される実メモリサイズが実際のサイズになります。
- FOMA端末電話帳のデータをmicroSDメモリーカードにコピー、バックアップした場合、静止画はmicroSDメモリーカードにコピー、バックアップされますが、表示はできません。ただし、本体にその電話帳データを戻すと表示されます。

## ◆microSDメモリーカードのデータをFOMA端末に移動／コピーする

- 最大保存件数→P541
- ｉアプリのデータは、FOMA端末に移動／コピーできません。
- ミュージックデータをFOMA端末に移動する操作→P410

### ❖マルチメディアデータをFOMA端末に移動／コピーする

**1 [MENU]▶[6][5][1]▶[1]～[4]、[6]または[7]▶フォルダを選択▶移動またはコピーするデータにカーソルを合わせて[MENU]▶[3]**

**2** [1]～[6]

複数移動／複数コピーする：
① [2]または[5]
② **移動またはコピーするデータを選択▶[本]**

**3 「はい」を選択**

選択したデータ、またはフォルダ内に保存されているすべてのデータがマイピクチャ、iモーション、メロディ内の各「データ交換」フォルダに移動またはコピーされます。

- 移動またはコピーを中止するときは●を押します。

### ❖PIMや現在地通知先のデータをFOMA端末にコピーする

- バックアップデータ（アイコンが付いているデータ）はFOMA端末に復元することでコピーできますが（→P375）、バックアップデータ自体はFOMA端末にコピーできません。

〈例〉PIMデータをFOMA端末にコピーするとき

**1 MENU▶6 5 2▶1～7**

現在地通知先データをFOMA端末にコピーする：MENU▶6 5 6▶フォルダを選択

**2 コピーするデータにカーソルを合わせてMENU▶1 1▶「はい」を選択**

選択したデータがFOMA端末へコピーされます。

### ❖マイドキュメントデータをFOMA端末に移動／コピーする

**1 MENU▶6 5 3▶フォルダを選択▶移動またはコピーするデータにカーソルを合わせてMENU▶3**

**2 1～6**

複数移動／複数コピーする：
①2または5
②移動またはコピーするデータを選択▶📖

**3 「はい」を選択**

選択したデータ、またはフォルダ内に保存されているすべてのデータがマイドキュメント内の「データ交換」フォルダに移動またはコピーされます。

### ❖トルカをFOMA端末に移動／コピーする

**1 MENU▶6 5 4▶フォルダを選択▶移動またはコピーするデータにカーソルを合わせてMENU▶2**

**2 1～6**

複数移動／複数コピーする：
①2または5
②移動またはコピーするデータを選択▶📖

**3 「はい」を選択**

選択したデータ、またはフォルダ内に保存されているすべてのデータがトルカ一覧の「トルカフォルダ」に移動またはコピーされます。

### ❖その他のデータをFOMA端末にコピー／移動する

- 「その他」フォルダに保存されていても、Word、Excel、PowerPointファイル以外はFOMA端末に移動またはコピーできません。

**1 MENU▶6 5 7▶フォルダを選択▶移動またはコピーするデータにカーソルを合わせてMENU▶3**

**2 1～6**

複数移動／複数コピーする：
①2または5
②移動またはコピーするデータを選択▶📖

**3 「はい」を選択**

選択したデータ、またはフォルダ内に保存されているすべてのデータがデータBOXの「その他」内のいちばん上のフォルダに移動またはコピーされます。

## ◆FOMA端末のデータをmicroSDメモリーカードにバックアップする

FOMA端末の各PIMや現在地通知先データを、一括してmicroSDメモリーカードにバックアップします。

〈例〉PIMデータをバックアップするとき

**1 MENU▶6 5 2▶1～7**

現在地通知先データをバックアップする：
MENU▶6 5 6▶フォルダを選択
- microSDメモリーカードに、1件以上コピーまたはバックアップデータが保存されているときのみ操作できます。

**2 MENU▶1 4▶認証操作▶「はい」を選択**

選択したデータが1つにまとめられてmicroSDメモリーカードにバックアップされます。

- 電話帳データをバックアップすると、プッシュトーク電話帳のデータ（グループデータを含む）もバックアップされます。
- ブックマークデータをバックアップすると、iモードとフルブラウザの両方のブックマークがバックアップされます。
- バックアップを中止するときは●を押します。中止すると、途中までバックアップしたデータは破棄されます。

✔お知らせ

- シークレット属性を設定した電話帳グループのデータをバックアップすると、グループのシークレット属性が解除され、グループ内の各電話帳データにシークレット属性が設定されます。
- FOMA端末の各データ一覧から操作することもできます。→P373「FOMA端末のデータをmicroSDメモリーカードに移動／コピーする」のお知らせ

## ◆microSDメモリーカードのバックアップデータを復元する

microSDメモリーカードにバックアップされている各PIMや現在地通知先データを、FOMA端末に復元します。

- 復元の方法には追加復元と上書き復元があります。上書き復元の場合、FOMA端末の各PIMや現在地通知先データは上書きされ、元のデータは消去されますのでご注意ください。
- スケジュールのバックアップデータを上書き復元すると、ワンセグの視聴予約が消去されますのでご注意ください。
- 電話帳のバックアップデータを復元すると、プッシュトーク電話帳データも復元されます。
- 電話帳のグループの並び順は、復元してもバックアップしたときの並び順に戻らない場合があります。

〈例〉PIMデータを復元するとき

**1** MENU▶6 5 2▶1～7

現在地通知先データを復元する：MENU▶6 5 6▶フォルダを選択

**2** バックアップデータにカーソルを合わせてMENU▶1▶2または3

追加復元すると、現在FOMA端末に保存されているデータとは別のデータとして保存されます。上書き復元すると、現在FOMA端末に保存されているデータを上書きします。

- 現在地通知先データの場合、同じ電話番号のデータは復元されません。また、復元途中で5件を超過した場合、超過分は復元されません。
- バックアップデータのマークの意味は次のとおりです。

　：電話帳　　：スケジュール
　：受信メール、未送信メール、送信メール
　：メモ　　：ブックマーク
　：現在地通知先

**3** 認証操作▶「はい」を選択

- 復元を中止するときは●を押します。中止する前に処理されたバックアップデータはFOMA端末に復元されます。

# microSDメモリーカード内のデータを表示する

- パソコンなどでmicroSDメモリーカード内のデータを変更したり削除したりすると、FOMA端末でmicroSDメモリーカードのデータを正しく表示できなくなります。その場合は、microSDメモリーカードの情報を更新してください。

## ◆マルチメディアデータを表示する

- ミュージックデータの表示→P408

**1** MENU▶6 5 1▶1～4、6または7▶フォルダを選択

FOMA端末のフォルダ一覧に切り替える：フォルダ一覧で i

- 「マイピクチャ」「その他の画像」「デコメ絵文字」内のフォルダ一覧を表示しているときは、FOMA端末のマイピクチャ内のフォルダ一覧画面に切り替わります。
- 「動画」「その他の動画」内のフォルダ一覧を表示しているときは、FOMA端末のｉモーション内のフォルダ一覧画面に切り替わります。
- 「メロディ」内のフォルダ一覧を表示しているときは、FOMA端末のメロディ内のフォルダ一覧画面に切り替わります。

**2** 表示するデータにカーソルを合わせる

- i を押すたびにサムネイル表示とリスト表示が切り替わります（メロディデータを除く）。

メールに添付する：添付するデータにカーソルを合わせて✉

詳細情報を表示する：詳細情報を表示するデータにカーソルを合わせてMENU▶2

1件削除する：削除するデータにカーソルを合わせてMENU▶4 1▶「はい」を選択

複数削除する：
①MENU▶4 2▶削除するデータを選択
②📖▶「はい」を選択

全件削除する：MENU▶4 3▶認証操作▶「はい」を選択

指定したページにジャンプする：📖▶ジャンプするページ番号を入力

- ページ番号を入力しないときは1ページ目が表示されます。

microSDメモリーカード内のデータを検索する：MENU▶5▶日付を入力▶📖

- 検索を中止するときは●を押します。

連続再生する（動画／ｉモーションのみ）：
MENU▶6
- 連続再生中は次の操作ができます。
  ／／サイドキー［▲▼］（1秒以上）：前後の動画再生
  ：一時停止／再生
  ／サイドキー［▲▼］：音量調整
  ：連続再生停止
- 連続再生中にFOMA端末を折り畳むと再生中の動画／ｉモーションのタイトルが背面ディスプレイに表示され、再生は継続されます。

**3** ［選択］を押す

画像表示中の操作→P345 操作3
動画／ｉモーション再生中の操作→P353 操作3
メロディ再生中の操作→P365 操作3

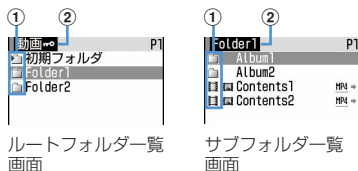
「マイピクチャ」「その他の画像」「デコメ絵文字」フォルダ内の画像のファイル名を非表示に切り替える：を押す
- を押すたびに非表示と表示が切り替わります。

## ◆コンテンツ移行対応のｉモーションを表示する

microSDメモリーカードに保存した著作権のあるｉモーションを表示します。

**1** MENU▶6 5 1 5▶フォルダを選択

- 画面の見かたは次のとおりです。

ルートフォルダ一覧画面　サブフォルダ一覧画面

①フォルダとデータ
（ピンク）：初期フォルダ
：ホームフォルダ
（水色）：通常フォルダ
：microSDメモリーカード内のデータ
- 初期フォルダは、初めて「動画」フォルダを表示したときに作成されます。フォルダ名は変更できます。

②フォルダ名
- 「動画」はルートフォルダです。

ホームフォルダに設定する：フォルダにカーソルを合わせて▶「はい」を選択

本体のｉモーションのフォルダ一覧に切り替える：ルートフォルダでMENU▶4

ホームフォルダに移動する：ルートフォルダ一覧またはサブフォルダ一覧で

**2** 表示するデータにカーソルを合わせる

待受画面に設定する：設定するデータにカーソルを合わせてMENU▶1 1▶「はい」を選択

着信音に設定する：設定するデータにカーソルを合わせてMENU▶1 2▶1～7▶「はい」を選択

メモリ指定着信音（電話、メール）に設定する：
①設定するデータにカーソルを合わせてMENU▶1 2▶8または9
②設定する電話帳データを選択▶「はい」を選択

着信画像に設定する：設定するデータにカーソルを合わせてMENU▶1 3▶1～3▶「はい」を選択

詳細情報を表示する：詳細情報を表示するデータにカーソルを合わせてMENU▶2 1

詳細情報を変更する：詳細情報を変更するデータにカーソルを合わせてMENU▶2 2

1件削除する：削除するデータにカーソルを合わせてMENU▶4 1▶「はい」を選択

複数削除する：MENU▶4 2▶削除するデータを選択▶▶「はい」を選択

全件削除する：MENU▶4 3▶認証操作▶「はい」を選択

**3** ［選択］を押す

✔お知らせ
- 通話中、ｉモード接続中、データ通信中などでデータ転送モードに移行できない場合は、再生、移動、削除、動画の利用などの操作はできません。
- microSDメモリーカードを利用するｉアプリを待受画面に設定している場合、microSDメモリーカードに保存したコンテンツ移行対応のｉモーションの再生や移動ができないことがあります。
- microSDメモリーカード内のコンテンツ移行対応のｉモーションは、サイトからダウンロードしたり、FOMA端末からmicroSDメモリーカードに移動したときと同じFOMAカードを挿入しているとき（ｉモーションによっては、さらに同一機種であるとき）のみ再生できます。

## ❖フォルダを作成する

• フォルダは最大1000個作成できます。

〈例〉ルートフォルダに作成する場合

**1** [MENU]▶[6][5][1][5]

**2** [MENU]▶[1]

フォルダ名を変更する：変更するフォルダにカーソルを合わせて[MENU]▶[2]

フォルダを削除する：削除するフォルダにカーソルを合わせて[MENU]▶[3]▶「はい」を選択

**3** フォルダ名を入力▶[□]［登録］

• 全角で最大10文字、半角で最大20文字入力できます。

### ✔お知らせ

• サブフォルダの一覧から操作する場合は、[MENU]を押し「フォルダ作成」を選択します。
• 初期フォルダを削除すると、初期フォルダの下のサブフォルダとデータだけが削除されます。
• ホームフォルダに設定されているフォルダを削除すると、初期フォルダがホームフォルダに設定されます。
• 削除しようとしたフォルダ内に、コンテンツ移行対応のｉモーション以外の無効なファイル（一覧画面に表示されないファイル）が存在すると、フォルダ内のコンテンツ移行対応のｉモーションは削除されますが、フォルダは削除されません。この場合、microSDメモリーカードをパソコンなどから操作して、無効なファイルが格納されていない状態にしてから、もう一度フォルダを削除してください。

## ◆PIMデータを表示する

**1** [MENU]▶[6][5][2]▶[1]～[7]▶表示するデータにカーソルを合わせる

1件削除する：削除するデータにカーソルを合わせて[MENU]▶[2][1]▶「はい」を選択

複数削除する：
①[MENU]▶[2][2]▶削除するデータを選択
②[□]▶「はい」を選択

全件削除する：[MENU]▶[2][3]▶認証操作▶「はい」を選択

指定したページにジャンプする：[□]▶ジャンプするページ番号を入力

• ページ番号を入力しないときは1ページ目が表示されます。

microSDメモリーカード内のデータを検索する：[MENU]▶[3]▶日付を入力▶[□]

• 検索を中止するときは[●]を押します。

**2** [●]［選択］を押す

• 詳細画面については、それぞれのPIMデータのページを参照してください。
電話帳→P108　スケジュール→P425
メール→P255　メモ→P436
ブックマーク→P210
• 1件のPIMデータを選択したときは、選択したデータの詳細が表示されます。
• バックアップデータを選択したときは、バックアップデータに含まれているすべてのデータがタイトルで一覧表示されます。[CLR]を押すと一覧画面に戻ります。

## ❖PIMデータの一覧のマークについて

一覧で表示されるマークの意味は次のとおりです。

□／□：電話帳1件／バックアップデータ
□／□：スケジュール1件／バックアップデータ
□／□：メール1件／バックアップデータ
□／□：メモ1件／バックアップデータ
□／□／□：ブックマーク（ｉモード）1件／ブックマーク（フルブラウザ）1件／バックアップデータ

### ✔お知らせ

• microSDメモリーカードに保存されているスケジュールは、設定した日時になってもアラームは鳴りません。
• メールの詳細画面のサブメニューから、文字サイズの変更、メールアドレスの電話帳新規登録や更新登録、添付データの表示／非表示やタイトル確認ができます。また、受信メールの場合は、返信や転送もできます。
• 電話帳の詳細画面のサブメニューから、画像／名前表示切替や基本情報の確認ができます。
• ブックマークの詳細画面のサブメニューから、URLのコピー、電話帳新規登録や更新登録ができます。
• 電話帳のバックアップデータにプッシュトーク電話帳のデータが含まれていても表示できません。ただし、FOMA端末にバックアップデータを復元すると表示されます。
• FOMA端末電話帳の電話帳データをmicroSDメモリーカードにコピー、バックアップした場合、静止画はmicroSDメモリーカードにコピー、バックアップされますが、表示はできません。ただし、本体にその電話帳データを戻すと表示されます。

### ◆マイドキュメントデータを表示する

**1** [MENU]▶[6][5][3]▶フォルダを選択

FOMA端末のフォルダ一覧に切り替える：フォルダ一覧で[i]

**2** 表示するデータにカーソルを合わせる

- [i]を押すたびにサムネイル表示とリスト表示が切り替わります。

メールに添付する：添付するデータにカーソルを合わせて[✉]

詳細情報を表示する：詳細情報を表示するデータにカーソルを合わせて[MENU]▶[2]

1件削除する：削除するデータにカーソルを合わせて[MENU]▶[4][1]▶「はい」を選択

複数削除する：
①[MENU]▶[4][2]▶削除するデータを選択
②[📖]▶「はい」を選択

全件削除する：[MENU]▶[4][3]▶認証操作▶「はい」を選択

指定したページにジャンプする：[📖]▶ジャンプするページ番号を入力
- ページ番号を入力しないときは1ページ目が表示されます。

microSDメモリーカード内のデータを検索する：[MENU]▶[5]▶日付を入力▶[📖]
- 検索を中止するときは[●]を押します。

**3** [●]［選択］を押す

PDFデータ表示中の操作→P395

### ◆トルカを表示する

**1** [MENU]▶[6][5][4]▶フォルダを選択

FOMA端末のフォルダ一覧に切り替える：フォルダ一覧で[i]

**2** 表示するトルカにカーソルを合わせる

メールに添付する：添付するデータにカーソルを合わせて[✉]

1件削除する：削除するデータにカーソルを合わせて[MENU]▶[3][1]▶「はい」を選択

複数削除する：
①[MENU]▶[3][2]▶削除するデータを選択
②[📖]▶「はい」を選択

全件削除する：[MENU]▶[3][3]▶認証操作▶「はい」を選択

指定したページにジャンプする：[📖]▶ジャンプするページ番号を入力
- ページ番号を入力しないときは1ページ目が表示されます。

**3** [●]［選択］を押す

- microSDメモリーカードに保存されているトルカから詳細情報はダウンロードできません。

### ◆ｉアプリのデータを表示する

**1** [MENU]▶[6][5][5]

**2** 表示するｉアプリのデータにカーソルを合わせる

1件削除する：削除するデータにカーソルを合わせて[MENU]▶[1]▶「はい」を選択

複数削除する：
①[MENU]▶[2]▶削除するデータを選択
②[📖]▶「はい」を選択

全件削除する：[MENU]▶[3]▶認証操作▶「はい」を選択

**3** [●]［選択］を押す

詳細画面には、利用の可否、利用できない理由、プロバイダ（特定のプロバイダが提供する複数のｉアプリから利用できる場合）、ソフト（データを利用するｉアプリがFOMA端末に保存されている場合）の各項目が表示されます。データによっては表示されない項目があります。
- 利用できない理由は次のとおりです。
  - ソフト動作制限　あり：データを利用するｉアプリが存在しません。該当するｉアプリをもう一度ダウンロードすることで利用できることがあります。ただし、「FOMAカード（UIM）動作制限」「機種制限」「シリーズ制限」のいずれかが「あり」と表示されているときは、ｉアプリをダウンロードしても利用できないことがあります。
  - FOMAカード（UIM）動作制限　あり：データは他のFOMAカード（UIM）で利用されている可能性があります。
  - 機種制限　あり：データは他の機種によって利用されている可能性があります。
  - シリーズ制限　あり：データは下記機種※以外のシリーズで利用されている可能性があります。

  ※ 904iシリーズ

### ◆現在地通知先を表示する

**1** MENU▶ 6 5 6 ▶フォルダを選択

**2** 表示するデータにカーソルを合わせる

1件削除する：削除するデータにカーソルを合わせてMENU▶ 2 1 ▶「はい」を選択

複数削除する：
① MENU▶ 2 2 ▶削除するデータを選択
② 📖▶「はい」を選択

全件削除する：MENU▶ 2 3 ▶認証操作▶「はい」を選択

指定したページにジャンプする：📖▶ジャンプするページ番号を入力
- ページ番号を入力しないときは1ページ目が表示されます。

**3** ● ［選択］を押す

- 複数件データの場合は、さらにデータを選択します。

### ◆その他のデータを表示する

**1** MENU▶ 6 5 7 ▶フォルダを選択

FOMA端末のフォルダ一覧に切り替える：フォルダ一覧で i

**2** 表示するデータにカーソルを合わせる

メールに添付する：添付するデータにカーソルを合わせて✉

詳細情報を表示する：詳細情報を表示するデータにカーソルを合わせてMENU▶ 2

1件削除する：削除するデータにカーソルを合わせてMENU▶ 4 1 ▶「はい」を選択

複数削除する：
① MENU▶ 4 2 ▶削除するデータを選択
② 📖▶「はい」を選択

全件削除する：MENU▶ 4 3 ▶認証操作▶「はい」を選択

指定したページにジャンプする：📖▶ジャンプするページ番号を入力
- ページ番号を入力しないときは1ページ目が表示されます。

**3** ● ［選択］を押す

- Word、Excel、PowerPointファイル以外は表示できません。
  Word、Excel、PowerPointファイル表示中の操作→P400

## microSDメモリーカードを管理する

microSDメモリーカードをFOMA端末で正しく使用できるように、microSDメモリーカードを初期化したり、情報更新したりします。

### ◆microSDメモリーカードを初期化する〈初期化〉

microSDメモリーカードに保存してあるデータをすべて削除するときや、新たに購入したmicroSDメモリーカードをFOMA端末で使用するときに初期化します。

**1** MENU▶ 6 5 ▶📖▶「簡易初期化」または「完全初期化」を選択

**簡易初期化**：microSDメモリーカード内のデータ管理領域のみを初期化します。必要最小限の処理を行うことで、初期化の時間を短縮する方法です。保存されているデータはすべて消去されます。microSDメモリーカードが一度初期化済みで、microSDメモリーカードに問題がない場合のみ実行してください。

**完全初期化**：microSDメモリーカード内のデータ管理領域と、データ領域の両方を初期化します。新しく購入したmicroSDメモリーカードを初期化するときなどに実行してください。

**2** 認証操作▶「はい」を選択

初期化が始まります。
- 初期化を中断するときは●を押します。

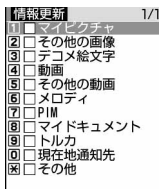
**✔お知らせ**
- microSDメモリーカードの状態によっては、初期化できない場合があります。

### ◆microSDメモリーカードの情報を更新する〈情報更新〉

他の機器でmicroSDメモリーカード内のデータを変更、追加、削除したことによってFOMA端末でデータを正しく表示できなくなったときに、microSDメモリーカードの情報を更新します。データの種類ごとに情報を更新するかどうかを設定できます。
- 情報更新を行うとデータの表示名が次のように変更されます。
  - 「マイピクチャ」「その他の画像」「デコメ絵文字」内のデータの場合は、ファイル名と同じ名称に変更されます。

-「メロディ」「動画」「その他の動画」「マイドキュメント」内のデータの場合は、タイトル名と同じ名称に変更されます。ただし、タイトル名が存在しないときはファイル名と同じ名称に変更されます。
-「トルカ」内のデータの場合は、タイトル名と同じ名称に変更されます。ただし、タイトル名が存在しないときは「無題」に変更されます。
-「現在地通知先」内の1件データの場合は、通知先名と同じ名称に変更されます。ただし、通知先名が存在しないときは表示されません。
-「その他」内のデータの場合は、ファイル名（拡張子を含む）と同じ名称に変更されます。

- 「動画」フォルダ内に音声のみの動画／ｉモーションが保存されている場合に情報更新を行うと、音声のみの動画／ｉモーションは一覧に表示されなくなります。情報更新を行う前に「動画」内の音声のみの動画／ｉモーションをFOMA端末本体に移動するか、またはパソコンなどでmicroSDメモリーカード内のPRIVATE￥DOCOMO￥MMFILE￥MUDxxx（「その他の動画」）フォルダ（→P368）にファイル名を変更して保存しておくことをおすすめします。

**1** MENU▶6 5▶📇▶情報を更新する項目を選択

**2** 📖▶「はい」を選択

選択した項目の情報が更新されます。
- 情報更新を中断するときは●を押します。

**✔お知らせ**

- 「動画🔑」「ミュージック」「ｉアプリのデータ」内のデータは情報更新できません。
- microSDメモリーカードに保存されているデータが多い場合は、情報更新に時間がかかります。
- 他の機器でmicroSDメモリーカードにデータを保存した場合、FOMA端末で管理情報を作成するために必要な空き容量が不足し、microSDメモリーカードに保存したデータがFOMA端末で正しく表示できなくなることがあります。

### ◆microSDメモリーカードをチェックする〈カードチェック〉

microSDメモリーカードに保存されているデータをチェックして、問題があれば修復します。

**1** MENU▶6 5▶✉▶「はい」を選択

**✔お知らせ**

- microSDメモリーカードの状態によっては、データを修復できない場合があります。

## パソコンからFOMA端末のmicroSDメモリーカードのデータを操作する

**パソコンからFOMA端末に取り付けられているmicroSDメモリーカード内のデータを操作できます。**

- パソコンとFOMA端末は、電源が入っている状態で接続してください。

### ◆microSDモード／MTPモードに設定する〈USBモード設定〉

【お買い上げ時】 通信モード

USBモード設定では、次のモードを設定できます。

**microSDモード**：FOMA端末内のmicroSDメモリーカードをドライブとして認識させ、パソコンからmicroSDメモリーカード内のデータを操作するときに設定します。FOMA FシリーズデータリンクソフトのSDユーティリティを利用するときには、このモードを設定します。

**MTPモード**：Windows Media Playerから、FOMA端末のmicroSDメモリーカードに音楽データを転送するときに設定します。MTP（Media Transfer Protocol）に対応していない場合は、通信モードに設定したときと同じ動作になります。

**通信モード**：パソコンと接続したパケット通信や64Kデータ通信、データ転送をするときに設定します。

- 「通信モード」に設定してから、初めてパソコンに接続する場合は、あらかじめ通信設定ファイル（ドライバ）をインストールしてください。詳細は付属のCD-ROM内の「データ通信マニュアル」をご覧ください。
- 「通信モード」に設定して、パソコンと接続し、データリンクソフトなどを使ってデータ転送を行っている場合は、ディスプレイ上部に🔄が表示され、データ転送モード中（圏外と同じ状態）になるため、通話、ｉモード、データ通信などはできません。また、MULTIを押して他の機能に切り替えることもできません。

**1** MENU ▶ 6 2 6 ▶ 1 ～ 3

**2** 「はい」を選択

「microSDモード」「MTPモード」が設定されると、待受画面に次のアイコンが表示されます。
(青：microSDメモリーカードあり)／
(グレー：microSDメモリーカードなし)：
microSDモード
(青：microSDメモリーカードあり)／
(グレー：microSDメモリーカードなし)：
MTPモード

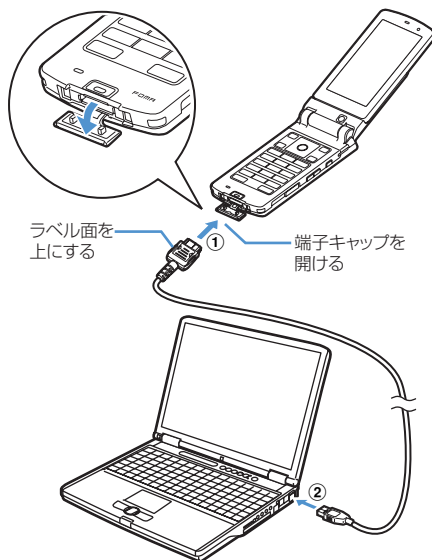
**✔お知らせ**

- FOMAカードが挿入されていないときは「MTPモード」に設定できません。
- パソコンとFOMA端末を接続中でも本機能の設定を変更できます。ただし、パソコン側で、FOMA端末を接続すると自動的にデータ通信を行うように設定している場合は、「microSDモード」「MTPモード」に設定できないことがあります。

## ◆FOMA USB接続ケーブルで接続する

- USBモード設定で「microSDモード」または「MTPモード」に設定した場合や、ミュージックプレイヤーでMTPモードに切り替えた場合で、FOMA USB接続ケーブル（別売）とパソコンを初めて接続するときは、OSが自動的にドライバをインストールします。あらかじめ通信設定ファイルをインストールする必要はありません。なお、microSDモードに対応しているOSはWindows 2000、Windows XP、Windows Vista、MTPモードに対応しているのはWindows XP Service Pack 2およびWindows Vistaです。

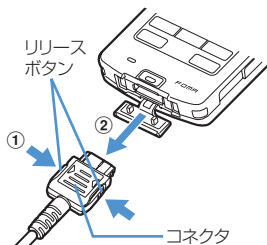
**1** **FOMA USB接続ケーブルのFOMA端末側をFOMA端末の外部接続端子に「カチッ」と音がするまで水平に差し込む（①）**

**2** **FOMA USB接続ケーブルのパソコン側をパソコンのUSBコネクタに水平に差し込む（②）**

- microSDモード中またはMTPモード中は、約6秒間隔でランプが青色で点滅します。
- パソコンとFOMA端末が接続されると、待受画面に が表示されます。●を押して を選択すると、USBモード設定の画面を表示できます。

**✔お知らせ**

- パソコンから操作したときのmicroSDメモリーカードのフォルダ構成→P368
- USBモード設定で「microSDモード」または「MTPモード」に設定して、FOMA USB接続ケーブルでパソコンとFOMA端末を接続しても、次の場合はパソコンがFOMA端末を認識しないことがあります。
  - 「LifeKit」メニューの「microSD」を起動しているとき
  - FOMA端末本体のデータをmicroSDメモリーカードに移動／コピーしているとき
  - 静止画撮影、動画撮影、サウンドレコーダー、キャラ電が動作しているとき
  - ダウンロードしたPDFデータ、ｉモーションなどを直接microSDメモリーカードに保存しているとき
  - ミュージックプレイヤーを起動しているとき

### ❖取り外しかた

**1** FOMA USB接続ケーブルのFOMA端末側のリリースボタンを押し（①）、FOMA端末から水平に引き抜く（②）

**2** パソコンからFOMA USB接続ケーブルを水平に引き抜く

**✔お知らせ**

- FOMA USB接続ケーブルを無理に引き抜こうとすると故障の原因となります。
- microSDモード中にパソコンからFOMA USB接続ケーブルを取り外すときは、パソコンの画面右下のタスクトレイのをクリックして、「USB大容量記憶装置デバイス－ドライブ（E:）※1を安全に取り外します※2」をクリックし、「'USB大容量記憶装置デバイス' は安全に取り外すことができます。」が表示されることを確認してください。
  - ※1 ドライブに割り当てられる文字はパソコンのシステムによって異なります。
  - ※2 Windows 2000の場合は「停止します」と表示されます。
- データ転送中にFOMA USB接続ケーブルを外さないでください。誤動作やデータ消失の原因となります。

## アルバムを利用する

**データBOXのマイピクチャ、ｉモーション、メロディ、マイドキュメント、キャラ電、きせかえツール、その他の各フォルダ一覧にアルバムを追加し、データの整理などに利用します。アルバム内のデータをまとめて再生することもできます。**

- キャラ電、マイドキュメント、きせかえツール、その他ではアルバムを「フォルダ」と表記しています。
- お買い上げ時に登録されている固定フォルダは、名前の変更や削除ができません。
- その他では、お買い上げ時に登録されているフォルダは名前を変更できます。ただし、フォルダが1つしかない場合はフォルダの削除はできません。

### ◆アルバムを追加する

- アルバムはマイピクチャで最大100個、ｉモーション、メロディ、キャラ電、マイドキュメント、きせかえツール、その他でそれぞれ最大10個追加できます。

〈例〉マイピクチャのアルバムを追加するとき

**1** MENU ▶ 5 1

**2** MENU ▶ 1

アルバム名を変更する：変更するアルバムにカーソルを合わせて MENU ▶ 3

アルバムを削除する：
① 削除するアルバムにカーソルを合わせて MENU ▶ 2
- 削除するアルバムにデータが保存されているときは、認証操作を行います。

②「はい」を選択

**3** アルバム名を入力 ▶ 📖［登録］

- 全角で最大10文字、半角で最大20文字入力できます。

**✔お知らせ**

- 動画／ｉモーション、メロディのフォルダ一覧から操作する場合は、MENUを押し「アルバム追加」を選択します。
- キャラ電、マイドキュメント（PDFデータ）、きせかえツール一覧、その他一覧（Word、Excel、PowerPointファイル）のフォルダ一覧から操作する場合は、MENUを押し「フォルダ追加」を選択します。

### ◆データをアルバムに移動／コピーする

#### ❖データをアルバムに移動する

固定フォルダのデータをアルバムに移動させたり、アルバム間でデータを移動したりします。

- マイピクチャのデータを移動する場合は、移動先として「デコメピクチャ」を選択することもできます。
- 「プリインストール」「デコメ絵文字」「メール添付メロディ」フォルダに保存されているデータは移動できません。

〈例〉マイピクチャのデータを移動するとき

**1** MENU ▶ 5 1 ▶ フォルダを選択

**2** 移動するデータにカーソルを合わせて MENU ▶ 5 1 1

データを複数移動する：

①MENU▶5 1 2▶移動するデータを選択

- iを押すたびにサムネイル表示とリスト表示が切り替わります。

②mを押す

フォルダ内のすべてのデータを移動する：

MENU▶5 1 3

**3** 移動先のアルバムを選択▶「はい」を選択

✔お知らせ

- 動画／ｉモーション一覧、メロディ一覧から操作する場合は、MENUを押し「移動／コピー」→「アルバムへ移動」→「1件移動」「複数移動」「全件移動」を選択します。
- 画像表示画面から操作する場合は、MENUを押し「移動／コピー」→「アルバムへ移動」を選択します。
- メロディ再生画面から操作する場合は、MENUを押し「移動／コピー」→「アルバムへ移動」→「1件移動」「全件移動」を選択します。
- キャラ電一覧から操作する場合は、MENUを押し「移動」→「1件移動」「複数移動」「全件移動」を選択します。
- キャラ電表示画面から操作する場合は、MENUを押し「移動」を選択します。
- マイドキュメント一覧（PDFデータ）、その他一覧（Word、Excel、PowerPointファイル）から操作する場合は、MENUを押し「移動／コピー」→「フォルダへ移動」→「1件移動」「複数移動」「全件移動」を選択します。
- きせかえツール一覧から操作する場合は、MENUを押し、「移動」→「フォルダへ移動」→「1件移動」「複数移動」「全件移動」を選択します。

## ❖アルバムのデータを元の固定フォルダに戻す

〈例〉マイピクチャのアルバムのデータを元の固定フォルダに戻すとき

**1** MENU▶5 1▶アルバムを選択

**2** 元に戻すデータにカーソルを合わせてMENU▶5 2 1

データを複数戻す：

①MENU▶5 2 2▶元に戻すデータを選択

- iを押すたびにサムネイル表示とリスト表示が切り替わります。

②mを押す

アルバム内のすべてのデータを戻す：

MENU▶5 2 3

**3** 「はい」を選択

✔お知らせ

- 動画／ｉモーション一覧、メロディ一覧、マイドキュメント一覧（PDFデータ）から操作する場合は、MENUを押し「移動／コピー」→「フォルダへ戻す」→「1件戻す」「複数戻す」「全件戻す」を選択します。
- 画像表示画面から操作する場合は、MENUを押し「移動／コピー」→「フォルダへ戻す」を選択します。
- メロディ再生画面から操作する場合は、MENUを押し「移動／コピー」→「フォルダへ戻す」→「1件戻す」「全件戻す」を選択します。
- きせかえツール一覧から操作する場合は、MENUを押し、「移動」→「フォルダへ戻す」→「1件戻す」「複数戻す」「全件戻す」を選択します。
- 「デコメピクチャ」フォルダで元の固定フォルダに戻す操作をすると、お買い上げ時に登録されている画像は「ｉモード」フォルダに移動します。
- キャラ電とその他では元の固定フォルダへ戻す操作はできません。

## ❖データをコピーする

マイピクチャ、ｉモーション、マイドキュメントでは、データを同じアルバムまたはフォルダにコピーできます。

- 次のデータはコピーできません。
  - 「プリインストール」フォルダ内のデータ
  - マイピクチャのパラパラマンガや「アイテム」フォルダ内の画像
  - 再生制限が設定されているｉモーション
  - ファイル制限が「あり」に設定されているデータ（自端末でファイル制限を「あり」に設定したデータを除く）

〈例〉マイピクチャのデータをコピーするとき

**1** MENU▶5 1▶フォルダを選択▶コピーするデータにカーソルを合わせてMENU▶5 3

コピーしたデータはコピー元のデータと同じフォルダ内に保存されます。

✔お知らせ

- 動画／ｉモーション一覧、マイドキュメント一覧（PDFデータ）から操作する場合は、MENUを押し「移動／コピー」→「コピー」を選択します。
- アルバム内でコピーしたデータを固定フォルダに戻すと、コピー元のデータが保存されていた固定フォルダに移動します。

## ◆アルバム再生する

指定したアルバム内のメロディのデータをまとめて再生できます。

**1** MENU▶5 4

## 2 再生するアルバムにカーソルを合わせて MENU ▶ 1

- アルバム再生時は次の操作ができます。
  - ◎／サイドキー［▲▼］（1秒以上）：前後のデータ再生
  - ◎／サイドキー［▲▼］：音量調整
  - ●／ch：停止
- アルバム再生中にFOMA端末を折り畳んでも、再生は中断しません。その場合、サイドキーでの操作は可能です。

詳細情報参照／変更

# データの詳細情報を表示／変更する

**表示名やファイルサイズなど、データの詳細情報を確認します。また、一部の情報は変更できます。**

- ミュージック（音楽データ）の詳細情報の表示方法、表示項目の内容と変更の可否→P413

## ◆データの詳細情報を表示する〈詳細情報参照〉

〈例〉画像の詳細情報を表示するとき

### 1 MENU ▶ 5 1 ▶ フォルダを選択 ▶ 詳細情報を確認する画像にカーソルを合わせて MENU ▶ 3 1

- 📖を押すと、詳細情報の一部を変更できます。

**✔お知らせ**

- 画像表示画面、動画／iモーション一覧、キャラ電一覧、キャラ電表示画面、メロディ一覧、メロディ再生画面、マイドキュメント一覧（PDFデータ）、きせかえツール一覧、その他一覧（Word、Excel、PowerPointファイル）から操作する場合は、MENUを押し「詳細情報」→「参照」を選択します。
- キャラ電撮影画面から操作する場合は、MENUを押し「詳細情報参照」を選択します。
- microSDメモリーカードに保存されているデータの詳細情報は、FOMA端末で表示する内容と異なる場合があります。
- 自端末で撮影種別を「画像+音声」または「音声のみ」で撮影した動画や、その動画から切り出した動画は、着信音設定が「可」になります。

## ◆データの詳細情報を変更する〈詳細情報変更〉

〈例〉画像の詳細情報を変更するとき

### 1 MENU ▶ 5 1 ▶ フォルダを選択 ▶ 詳細情報を変更する画像にカーソルを合わせて MENU ▶ 3 2 ▶ 各項目を選択して設定

### 2 📖［登録］を押す

**✔お知らせ**

- 画像表示画面、動画／iモーション一覧、キャラ電一覧、キャラ電表示画面、メロディ一覧、メロディ再生画面、マイドキュメント一覧（PDFデータ）、きせかえツール一覧、その他一覧（Word、Excel、PowerPointファイル）から操作する場合は、MENUを押し「詳細情報」→「変更」を選択します。

## ◆表示項目と変更可否一覧

詳細情報の表示項目の内容と変更の可否は次のとおりです。

- お買い上げ時に登録されているデータの種類やコンテンツによっては、表中で「変更可」となっていても変更できない場合があります。

●：表示および変更可
○：表示のみ　－：表示されない

| 表示項目 | 画像 | 動画／iモーション | キャラ電 | メロディ | PDFデータ その他※1 | きせかえツール |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 表示名 | ● | ● | ● | ● | ● | ● |
| | FOMA端末で表示するタイトル<br>• 変更する場合、メロディ以外では全角・半角を問わず最大36文字、メロディでは全角で最大25文字、半角で最大50文字入力できます。 | | | | | |
| タイトル | － | ○ | ○ | ○ | ○※2 | ○ |
| | データにあらかじめ設定されているオリジナルタイトル<br>• タイトルが設定されていない場合は、「---」と表示されます。 | | | | | |
| ファイル名 | ● | ● | ○ | ● | ○ | ○ |
| | データをメールに添付したときに表示されるファイル名<br>• 変更する場合、半角英数字と「.」「-」「_」で、最大36文字入力できます。「.」はファイル名の先頭に入力できません。 | | | | | |
| 作成者 | － | ● | － | － | － | － |
| | 作成者の名前など<br>• 自端末で撮影した動画では、自局番号に登録した名前が表示されます。自局番号に名前が登録されていない場合は「---」と表示されます。<br>• 変更する場合、全角・半角を問わず最大256文字入力できます。 | | | | | |
| コピーライト | － | ● | － | － | － | － |
| | 著作者名や著作物の公表年月日など<br>• 変更する場合、全角・半角を問わず最大256文字入力できます。 | | | | | |
| 種類 | ○ | － | － | － | － | － |
| | 画像の種類 | | | | | |

<table>
<tr><th>表示項目</th><th>画像</th><th>動画／iモーション</th><th>キャラ電</th><th>メロディ</th><th>PDFデータ</th><th>その他※1</th><th>きせかえツール</th></tr>
<tr><td rowspan="2">ファイル制限</td><td>●</td><td>●</td><td>○</td><td>●</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td></tr>
<tr><td colspan="7">メール添付によって他の携帯電話にデータを送信したとき、受信した相手の携帯電話からさらに他の携帯電話にデータを送信することを制限するかしないか<br>• サイトなどからダウンロードしたｉモーション、メロディでは変更できません。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">microSDへの移動（本体への移動）</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td></tr>
<tr><td colspan="7">FOMA端末本体からmicroSDメモリーカードへ、またはmicroSDメモリーカードからFOMA端末本体への移動の可否</td></tr>
<tr><td rowspan="2">撮影後ファイル制限</td><td>−</td><td>−</td><td>○</td><td>−</td><td>−</td><td>−</td><td>−</td></tr>
<tr><td colspan="7">キャラ電を撮影した静止画や動画にファイル制限が設定されるかどうか</td></tr>
<tr><td rowspan="2">説明</td><td>−</td><td>●</td><td>−</td><td>−</td><td>−</td><td>−</td><td>−</td></tr>
<tr><td colspan="7">動画／ｉモーションの説明<br>• 変更する場合、全角・半角を問わず最大256文字入力できます。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">ファイル種別</td><td>○</td><td>○</td><td>−</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>−</td></tr>
<tr><td colspan="7">ファイルの種別（Flash画像では「---」）</td></tr>
<tr><td rowspan="2">音</td><td>−</td><td>○</td><td>−</td><td>−</td><td>−</td><td>−</td><td>−</td></tr>
<tr><td colspan="7">音声データの種別</td></tr>
<tr><td rowspan="2">表示サイズ</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>−</td><td>−</td><td>−</td><td>−</td></tr>
<tr><td colspan="7">データの表示サイズ（Flash画像では表示されません）</td></tr>
<tr><td rowspan="2">実メモリサイズ（バイト）</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td></tr>
<tr><td colspan="7">データの実ファイルサイズ<br>• PDFデータの実メモリサイズは、ｉモードしおりやマーク情報を管理するファイルを合わせたサイズを表示します。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">消費メモリサイズ（バイト）</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td></tr>
<tr><td colspan="7">データの保存に利用するメモリサイズ<br>• PDFデータの消費メモリサイズは、ｉモードしおりやマーク情報を管理するファイルを合わせたサイズを表示します。<br>• 同じデータでもFOMA端末とmicroSDメモリーカードでは、消費メモリサイズが異なる場合があります。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">メール添付サイズ（バイト）</td><td>○</td><td>−</td><td>−</td><td>−</td><td>−</td><td>−</td><td>−</td></tr>
<tr><td colspan="7">メール添付するときのサイズ（メールに添付できないときは表示されません）</td></tr>
<tr><td rowspan="2">再生時間</td><td>−</td><td>−</td><td>−</td><td>○</td><td>−</td><td>−</td><td>−</td></tr>
<tr><td colspan="7">データの再生時間</td></tr>
<tr><td rowspan="2">保存日時</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td></tr>
<tr><td colspan="7">データを保存した日時</td></tr>
<tr><td rowspan="2">フレーム候補※3</td><td>●</td><td>−</td><td>−</td><td>−</td><td>−</td><td>−</td><td>−</td></tr>
<tr><td colspan="7">画像をフレームとして貼り付け可能にするかどうか<br>• サイズが352×288または240×432より大きい画像、およびアイテム画像と合成した画像は「する」に変更できません。<br>• 「する」に設定しても、画像は元のフォルダに保存され、「アイテム」フォルダには表示されません。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">スタンプ候補※3</td><td>●</td><td>−</td><td>−</td><td>−</td><td>−</td><td>−</td><td>−</td></tr>
<tr><td colspan="7">画像をスタンプ画像として貼り付け可能にするかどうか<br>• サイズが240×432以上の画像、およびアイテム画像と合成した画像は「する」に変更できません。<br>• 「する」に設定しても、画像は元のフォルダに保存され、「アイテム」フォルダには表示されません。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">コメント</td><td>●</td><td>−</td><td>●</td><td>−</td><td>−</td><td>−</td><td>−</td></tr>
<tr><td colspan="7">データの説明など<br>• 変更する場合、全角・半角を問わず最大100文字入力できます。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">着信音設定</td><td>−</td><td>○※4</td><td>−</td><td>−</td><td>−</td><td>−</td><td>−</td></tr>
<tr><td colspan="7">動画／ｉモーションを着信音に設定できるかどうか</td></tr>
<tr><td rowspan="2">着信画面設定</td><td>−</td><td>○※4</td><td>−</td><td>−</td><td>−</td><td>−</td><td>−</td></tr>
<tr><td colspan="7">動画／ｉモーションを着信画像に設定できるかどうか</td></tr>
<tr><td rowspan="2">再生制限</td><td>−</td><td>○</td><td>−</td><td>−</td><td>−</td><td>−</td><td>−</td></tr>
<tr><td colspan="7">動画／ｉモーションの再生制限</td></tr>
<tr><td rowspan="2">取得元</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td></tr>
<tr><td colspan="7">データの取得元</td></tr>
</table>

※1 Word、Excel、PowerPointのファイル

※2 microSDメモリーカードに保存されているPDFデータのみ表示されます。

※3 GIFアニメーション、パラパラマンガ、Flash画像は変更できません。

※4 コンテンツ移行対応のｉモーションの場合、microSDメモリーカード内に保存されているときは「不可」でも、本体へ移動すると「可」になることがあります。

## データを削除する

固定フォルダやアルバムに保存されているデータを削除します。

- 「プリインストール」（キャラ電を除く）や「メール添付メロディ」フォルダに保存されているデータは削除できません。

〈例〉マイピクチャのデータを削除するとき

**1** MENU ▶ 5 1 ▶ フォルダを選択

**2** 削除するデータにカーソルを合わせて MENU ▶ 6 1

データを複数削除する：

① MENU ▶ 6 2 ▶ 削除するデータを選択

- i を押すたびにサムネイル表示とリスト表示が切り替わります。

② 📖 を押す

フォルダ内のデータを全件削除する：

MENU ▶ 6 3 ▶ 認証操作

**3** 「はい」を選択

### ✔お知らせ

- 動画／ｉモーション一覧、メロディ一覧、キャラ電一覧、マイドキュメント一覧（PDFデータ）、きせかえツール一覧、その他一覧（Word、Excel、PowerPointファイル）から操作する場合は、MENU を押し「削除」→「1件削除」「複数削除」「全件削除」を選択します。
- 画像表示画面、キャラ電表示画面から操作する場合は、MENU を押し「削除」を選択します。
- メロディ再生画面から操作する場合は、MENU を押し「削除」→「1件削除」「全件削除」を選択します。
- 待受画面や着信音などに設定しているデータを削除すると、それぞれの設定はお買い上げ時の設定に戻ります。電話帳に設定されているデータを削除すると、着信音や発着信時の画面の設定に従って動作します。
- パラパラマンガを削除すると、パラパラマンガを構成している元の画像も削除されます。
- すでに設定されているきせかえツールを削除すると、そのきせかえツールが対応している項目の設定がお買い上げ時の状態に戻ります。
- お買い上げ時に登録されているデコメピクチャ、デコメ絵文字、アイテム、キャラ電を削除した場合は、「@Fケータイ応援団」のサイトからダウンロードできます。→P499

ソート

## データを並べ替える

【お買い上げ時】 対象：保存日時　順序：降順

一覧画面のデータの並び順を変更します。

〈例〉マイピクチャのデータを並べ替えるとき

**1** MENU ▶ 5 1 ▶ フォルダを選択

**2** MENU ▶ 7

**3** 下記の各項目を選択して設定 ▶ 📖［登録］

**対象**：並べ替えの方法を「表示名」「保存日時」「実メモリサイズ」「取得元」から選択します。

**順序**：データの並び順を「昇順」「降順」から選択します。

### ❖並び順について

| 対　象 | 昇順でソートした場合の並び順 |
| --- | --- |
| 表示名 | 半角数字→半角大文字英字→半角小文字英字→かな→全角カナ→漢字→絵文字→全角数字→全角大文字英字→全角小文字英字→半角カナ<br>• Unicode順でソートされます。半角記号、全角記号は種類によって並び順が異なります。 |
| 保存日時 | 日付・時刻の古い順 |
| 実メモリサイズ | 実メモリサイズの小さい順 |
| 格納順 | アルバムに移動した順 |
| ファイル種別 | Word、Excel、PowerPointファイルの順 |
| 取得元 | プリインストール→ｉモード→フレーム・スタンプ→カメラ→データ交換→キャラ電 |

※ 降順は上記と逆の順序になります。

### ✔お知らせ

- 動画／ｉモーション一覧、メロディ一覧、キャラ電一覧、マイドキュメント一覧（PDFデータ）、きせかえツール一覧、その他一覧（Word、Excel、PowerPointファイル）から操作する場合は、MENU を押し「ソート」を選択します。
- データによって、選択できる対象の種類が異なります。
- 動画／ｉモーションやメロディのアルバムに初めてデータを移動したときは、格納順でソートされて保存されます。
- 表示名に全角と半角の文字が混在していると、並べ替えが50音順と一致しない場合があります。

メモリ確認

## FOMA端末の保存容量を確認する

**データごとに、FOMA端末の保存容量や空き容量などを表示します。空き容量を確認してから、データのダウンロードやmicroSDメモリーカードからのコピー／移動を行ってください。**

**1** MENU ▶ 8 7 7 3

**2** 確認するデータにカーソルを合わせる

**使用状況**：保存領域に対する使用領域の割合をバーで示します。
**使用領域**：現在使用している容量を数値で示します。
**空き領域**：現在の空き容量を数値で示します。
**保存領域**：データの保存領域の容量を数値で示します。

✔**お知らせ**
- 空き容量が少ない場合、データを保存できないことがあります。不要なデータを削除してからデータを保存してください。

## 赤外線通信／iC通信について

### ❖赤外線通信

赤外線通信では、赤外線通信機能が搭載された他のFOMA端末や携帯電話、パソコンなどとデータの送受信ができます。また、赤外線通信に対応したｉアプリを利用することもできます。

### ❖iC通信

iC通信では、iC通信機能が搭載された他のFOMA端末とFeliCaマークを重ね合わせることで、他のFOMA端末とデータの送受信ができます。また、iC通信に対応したｉアプリを利用することもできます。送受信できるデータは赤外線通信と同様です。

### ❖赤外線通信／iC通信を利用するときの留意事項

- 赤外線通信やiC通信と、パソコンと接続したパケット通信、64Kデータ通信、データ転送は同時に使用できません。
- FOMA端末外への出力が禁止されているデータは送受信できません。ただし、FOMA端末でファイル制限を「あり」に設定したデータ、および「データ交換」フォルダ内のデータは除きます。
- 赤外線通信中、iC通信中やINBOX操作中は、ディスプレイ上部に が表示され、データ転送モード（圏外と同じ状態）になるため、通話、ｉモード、データ通信などはできません。また、MULTIを押して他の機能に切り替えることもできません。
- FOMA端末の赤外線通信機能はIrMC1.1に準拠しています。相手の端末がIrMC1.1に準拠していても、データの種類によっては送受信できない場合があります。
- 絵文字を入力したデータをｉモード端末以外に送信すると、正しく表示されない場合があります。また、受信側がｉモード端末であっても絵文字2の対応機種でない場合は、絵文字2を入力してデータを送信すると、正しく表示されないことがあります。

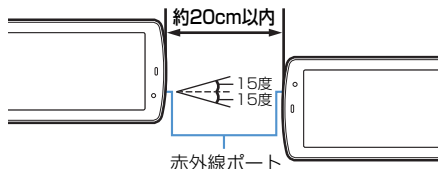
### ❖FOMA端末のデータを赤外線受信／iC受信するときの留意事項

- iC受信では、他の機能が起動しているとデータを受信できません。必ず待受画面で受信操作をしてください。
- F2102V、F2051のメールデータを赤外線通信で全件受信しても、相手の端末が設定したフォルダ名にはなりません。
- ブックマークデータを全件受信すると、相手の端末が作成したフォルダごとデータを受信します。
- FOMA Fシリーズ以外の端末からブックマークデータを受信した場合は、先頭のフォルダに保存されます。
- FOMA Fシリーズ以外の端末から画像、動画／ｉモーション、メロディを受信したとき、メモとして登録される場合があります。

### ❖F904iのデータをFOMA端末に赤外線送信／iC送信するときの留意事項

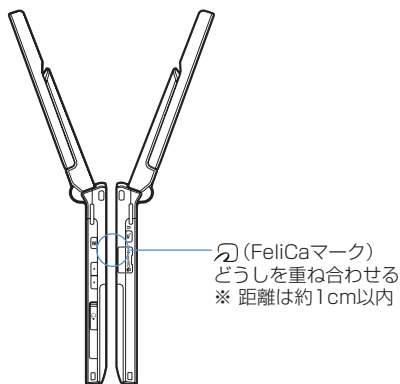
- ファイルのサイズ制限の違いにより、大きなサイズの画像、動画／ｉモーション、メロディは受信側で保存できない場合があります。

### ◆赤外線通信を行うには

- 赤外線通信の通信距離は約20cm以内にしてください。また、データの送受信が終わるまで、FOMA端末は相手側の赤外線ポート部分に向けたまま動かさないでください。
- 赤外線放射角度は中心から15度以内です。

**✔お知らせ**

- 直射日光が当たる場所や蛍光灯の真下などでは、赤外線通信を正常にできない場合があります。

### ◆iC通信を行うには

- iC通信時は、送信側と受信側のFeliCaマークを約1cm以内に重ね合わせてください。また、データの送受信が終わるまで重ねたまま動かさないでください。
- FeliCaマークどうしを重ね合わせても通信が開始されない場合は、重ねる位置を5～10mm程度ずらしてください。

**✔お知らせ**

- FeliCaマークを重ね合わせるときに、FOMA端末に強い衝撃を与えないでください。
- 相手側のFOMA端末によっては、データの送受信がしにくい場合があります。



## 赤外線通信／iC通信を使ってデータを送信する

**送信するデータを選択して1件ずつ送信する方法と、データの種類ごとに全件送信する方法があります。送信できるデータは次のとおりです。**

| データの種類 | 留意事項 |
|---|---|
| 電話帳※ | • 1件送信の場合、シークレット属性を設定している電話帳はプライバシーモード中（電話帳・履歴を「指定電話帳非表示」に設定した場合）は送信できません。<br>• 全件送信すると、プロフィール情報やプッシュトーク電話帳（グループデータを含む）も送信されます。<br>• 全件送信すると、シークレット属性を設定した電話帳グループは、グループのシークレット属性が解除され、グループ内の各電話帳データにシークレット属性が設定されて送信されます。<br>• グループデータの並び順は、相手側に反映されない場合があります。<br>• プッシュトーク電話帳は1件ずつ送信できません。<br>• ダイヤル発信制限中は送信できません。<br>• 全件送信で、データ送受信設定の電話帳の画像送信を「あり」に設定している場合は、電話帳データに登録されている静止画も一緒に送信されます。<br>• 相手の機種によっては、電話帳の画像が送信されない場合があります。 |
| スケジュール※ | • 1件送信の場合、シークレット属性を設定しているスケジュールはプライバシーモード中（スケジュールを「指定スケジュール非表示」に設定した場合）は送信できません。<br>• ワンセグの視聴予約は送信できません。 |
| 受信メール※ | • メール本文中の添付データ（ｉアプリが起動できるリンク項目）は削除されます。 |
| 送信メール※ | |
| 未送信メール※ | |
| メモ※ | － |
| ブックマーク（ｉモード／フルブラウザ）※ | • 相手の機種によっては、フォルダ分けの設定が反映されない場合があります。 |
| 画像 | • 表示名を全角で最大9文字、半角で最大18文字送信できます。最大文字数を超えた文字は削除されます。<br>• ファイルサイズが500Kバイトより大きいデータは送信できません。 |
| 動画／ｉモーション | |
| メロディ | • タイトルを全角で最大25文字、半角で最大50文字送信できます。 |
| プロフィール | • 相手の機種によっては、画像が送信されない場合があります。 |

| データの種類 | 留意事項 |
|---|---|
| PDFデータ | • ファイルサイズが512Kバイトまでのデータを送信できます。<br>• 詳細情報で表示される実メモリサイズが512Kバイトを超えていても、iモードしおりやマーク情報を除いたPDFデータのファイルサイズが512Kバイト以内であれば、送信できます。<br>• 部分的にダウンロードしたり、ダウンロードに失敗したPDFデータは送信できません。 |
| トルカ※ | • IP（情報サービス提供者）の設定によっては、送信できない場合があります。<br>• FOMA端末外への出力が禁止されているファイル、FOMAカード動作制限機能が設定されているファイルを含むトルカ（詳細）は送信できません。<br>• 相手の機種によっては、トルカ（詳細）は送信されない場合があります。 |
| 現在地通知先※ | – |

※ 全件送信できます。

• F904i以外のiモード端末や赤外線通信機器へデータを送信した場合、受信側で登録できない項目は破棄されます。

## ◆データを1件送信する

### ❖1件データを赤外線送信する

〈例〉1件の電話帳データを赤外線送信するとき

**1** 電話帳を検索▶送信する電話帳データにカーソルを合わせて[MENU]▶[8][1]

**2** 相手側の機器を受信待機状態にする▶「はい」を選択

• 送信を中断するときは[●]を押します。

### ❖1件データをiC送信する

〈例〉1件の電話帳データをiC送信する

**1** 電話帳を検索▶送信する電話帳データにカーソルを合わせて[MENU]▶[8][3]

**2** 「はい」を選択▶FeliCaマークを重ね合わせる

• 送信を中断するときは[●]を押します。

**✔お知らせ**

• ブックマーク一覧、送信メール一覧、未送信メール一覧、受信メール一覧、画像一覧、動画／iモーション一覧、メロディ一覧、メロディ再生中、マイドキュメント一覧（PDFデータ）から操作する場合は、[MENU]を押し「赤外線／iC送信」→「赤外線送信」または「iC送信」を選択します。
• トルカ一覧から操作する場合は、[MENU]を押し「赤外線送信」または「iC送信」を選択します。
• 現在地通知先一覧から操作する場合は、[MENU]を押し「赤外線送信」または「iC送信」→「送信」を選択します。
• メモ一覧、メモ帳参照、スケジュールのデイリービュー画面から操作する場合は、[MENU]を押し「赤外線／iC／microSD」→「赤外線送信」または「iC送信」を選択します。
• プロフィール情報の画面で赤外線送信するときは[MENU]を、iC送信するときは[i]を押します。
• プロフィール情報の詳細画面から操作する場合は、[MENU]を押し「プロフィール送信」→「赤外線送信」または「iC送信」を選択します。

## ◆データを全件送信する

電話帳、スケジュールなど、選択した機能のすべてのデータを送信します。

• 全件送信する場合は、送信側と受信側で同じ認証パスワードを入力する必要があります。あらかじめ4桁の数字（0000～9999）の認証パスワードを決めておいてください。

### ❖全件データを赤外線送信する

**1** [MENU]▶[6][2]▶[2]▶[1]～[9]

**2** 相手側の機器を受信待機状態にする▶認証操作▶4桁の認証パスワードを入力▶「はい」を選択

• 送信を中断するときは[●]を押します。

### ❖全件データをiC送信する

**1** [MENU]▶[6][2]▶[3]▶[1]～[9]

**2** 認証操作▶4桁の認証パスワードを入力▶「はい」を選択▶FeliCaマークを重ね合わせる

• 送信を中断するときは[●]を押します。

✔お知らせ

- ブックマーク一覧、送信メール一覧、未送信メール一覧、受信メール一覧、ブックマークのフォルダ一覧、送信メールのフォルダ一覧、未送信メールのフォルダ一覧、受信メールのフォルダ一覧、電話帳一覧から操作する場合は、[MENU]を押し「赤外線／iC送信」→「赤外線全件送信」または「iC全件送信」を選択します。
- トルカフォルダの一覧から操作する場合は、[MENU]を押し「赤外線全件送信」または「iC全件送信」を選択します。
- 現在地通知先一覧から操作する場合は、[MENU]を押し「赤外線送信」または「iC送信」→「全件送信」を選択します。
- メモ一覧、スケジュールのカレンダー画面、デイリービュー画面から操作する場合は、[MENU]を押し「赤外線／iC／microSD」→「赤外線全件送信」または「iC全件送信」を選択します。
- 全件送信した場合、受信側でデータの並び順が変わることがあります。

赤外線受信／iC受信

## 赤外線通信／iC通信を使ってデータを受信する

**電話帳やメールなどのデータを受信します。受信したデータは直接FOMA端末に保存したり、INBOXに一時的に保存して、受信したデータを確認してからFOMA端末に保存したりできます。**
**データを1件ずつ受信する方法と、種類ごとに全件受信する方法があります。**
**受信できるデータは次のとおりです。**

| データの種類 | 受信後の保存場所・保存順 |
|---|---|
| **電話帳**※ | 電話帳<br>• 電話帳データを全件受信して上書き保存した場合、自局番号以外のプロフィール情報が上書きされます。<br>• ダイヤル発信制限中は受信できません。<br>• 全件受信の受信データにプッシュトーク電話帳のデータが含まれている場合は、プッシュトーク電話帳に保存されます。<br>保存順：最も小さい空きメモリ番号 |
| **スケジュール**※ | スケジュール帳<br>保存順：日時順 |
| **受信メール**※ | 受信メール<br>保存順：受信日時順 |
| **送信メール**※ | 送信メール<br>保存順：送信日時順 |
| **未送信メール**※ | 未送信メール<br>保存順：保存日時順 |
| **メモ**※ | メモ帳<br>保存順：ソートの設定に従う |
| **ブックマーク（ｉモード／フルブラウザ）**※ | Bookmark<br>保存順：一覧の先頭 |
| **動画／ｉモーション** | ｉモーション内の「データ交換」フォルダ<br>保存順：一覧の先頭 |
| **メロディ** | メロディ内の「データ交換」フォルダ<br>保存順：一覧の先頭 |
| **画像** | マイピクチャ内の「データ交換」フォルダ<br>デコメ絵文字は「マイピクチャ」の「デコメ絵文字」フォルダ<br>保存順：一覧の先頭 |
| **プロフィール** | 電話帳<br>• ダイヤル発信制限中は受信できません。<br>保存順：最も小さい空きメモリ番号 |
| **PDFデータ** | マイドキュメント内の「データ交換」フォルダ<br>保存順：一覧の先頭 |
| **トルカ**※ | トルカ一覧の「トルカフォルダ」<br>保存順：一覧の先頭 |
| **現在地通知先**※ | 現在地通知先一覧<br>保存順：一覧の末尾 |

※ 全件送信されたデータを全件受信できます。

### ◆データを1件受信する

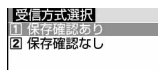
相手側の機器に保存されている1件のデータを受信します。

- 512Kバイトより大きいデータは受信できません。

#### ❖1件データを赤外線受信する

**1** [MENU]▶[6][2][1][1]

**2** [1]または[2]

受信方式選択
1 保存確認あり
2 保存確認なし

**保存確認あり**：受信したデータはINBOXに一時的に保存されます。受信完了後、INBOXのデータ一覧が表示されます。→P391
**保存確認なし**：受信したデータはFOMA端末に保存されます。受信完了後、INBOXは表示されず、受信方式選択画面に戻ります。

**3** 「はい」を選択

**4** 送信側でデータを1件送信

- 受信を中断するときは[●]を押します。
- 受信終了後は、操作2で「保存確認あり」を選択していると、INBOX画面が表示されます。「保存確認なし」を選択していると、操作2の画面に戻ります。

### ❖1件データをiC受信する

**1 送信側でデータを1件送信▶受信側を待受画面にしてFeliCaマークを重ね合わせる**

- 受信を中断するときは[●]を押します。
- 受信完了後、INBOXのデーター覧が表示されます。→P391

**2 保存するデータを選択▶「はい」を選択**

## ◆データを全件受信する

電話帳、スケジュールなど、機能ごとのすべてのデータを受信します。

- 全件受信する場合は、受信側と送信側で同じ認証パスワードを入力する必要があります。あらかじめ4桁の数字（0000～9999）の認証パスワードを決めておいてください。

### ❖全件データを赤外線受信する

**1 [MENU]▶[6][2][1][2]**

**2 [1]または[2]**

全件受信方式選択
1 上書き確認あり
2 上書き確認なし

**上書き確認あり**：受信したデータはINBOXに一時的に保存されます。受信完了後、INBOXのデーター覧が表示されます。→P391
**上書き確認なし**：受信したデータはFOMA端末に上書き保存されます。受信完了後、INBOXは表示されず、全件受信方式選択画面に戻ります。

- 上書き保存するとFOMA端末の元のデータはすべて消去され、新しいデータで上書きされますのでご注意ください。
- 「上書き確認あり」を選択したときは、4桁の認証パスワードを入力して操作4に進みます。

**3 「はい」を選択▶認証操作▶4桁の認証パスワードを入力**

**4 「はい」を選択▶送信側でデータを全件送信**

- 受信を中断するときは[●]を押します。
- 受信終了後は、操作2で「上書き確認あり」を選択していると、INBOX画面が表示されます。「上書き確認なし」を選択していると、操作2の画面に戻ります。

### ❖全件データをiC受信する

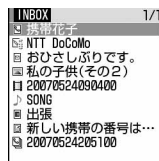
**1 送信側でデータを全件送信▶受信側を待受画面にしてFeliCaマークを重ね合わせる**

**2 4桁の認証パスワードを入力▶再度FeliCaマークを重ね合わせる**

- 受信を中断するときは[●]を押します。
- 受信完了後、INBOXのデーター覧が表示されます。→P391

**3 保存するデータを選択▶認証操作▶「追加」または「上書き」を選択**

- 上書き保存するとFOMA端末の元のデータはすべて消去され、新しいデータで上書きされますので、ご注意ください。

**✔お知らせ**

- スケジュールデータを上書き保存すると、ワンセグの視聴予約が消去されますのでご注意ください。
- FOMA端末ではToDo（用件を管理するリスト機能）データを保存できません。ToDoデータとスケジュールデータの両方を全件受信した場合、スケジュールデータのみが保存されます。ToDoデータのみを「上書き確認なし」で全件受信した場合、FOMA端末に登録されているスケジュールはすべて削除されますのでご注意ください。
- 受信するデータの種類や件数によって受信時間は異なります。データ容量が大きい場合や件数が多い場合は、受信に時間がかかることがあります。

## ◆受信したデータを保存する

INBOXに一時的に保存されている受信データをFOMA端末に保存します。

- 赤外線受信では1件受信時に「保存確認あり」、全件受信時に「上書き確認あり」を選択した場合、受信を終了すると自動的にINBOXの画面が表示されます。
- iC受信では、受信を終了すると自動的にINBOXの画面が表示されます。

**1 [MENU]▶[6][2][4]▶保存するデータを選択**

- マークの意味は次のとおりです。
  - ／：電話帳1件／複数件
  - ／／：ブックマーク（ｉモード）1件／ブックマーク（フルブラウザ）1件／複数件データ
  - ／：メール1件／複数件
  - ：画像データ
  - ：動画／ｉモーション
  - ♪：メロディ
  - ／：スケジュール1件／複数件データ
  - ／：メモ1件／複数件
  - ：PDFデータ
  - ／：トルカ1件／複数件データ
  - ／：現在地通知先1件／複数件データ

データを1件削除する：**削除するデータにカーソルを合わせて[MENU]▶[2]**

データを全件削除する：**[MENU]▶[3]▶認証操作**

**2** **「はい」を選択**

「複数件データ」を選択したとき：**認証操作▶「追加」または「上書き」を選択**

- 上書き保存するとFOMA端末の元のデータはすべて消去され、新しいデータで上書きされますのでご注意ください。

**✔お知らせ**

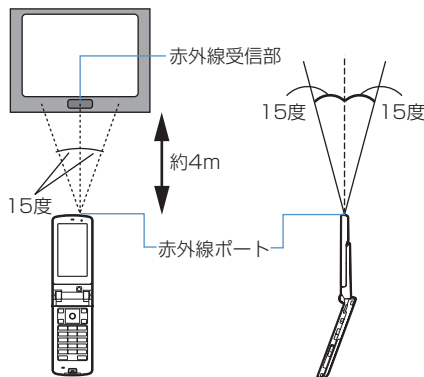
- スケジュールの複数件データを上書き保存すると、ワンセグの視聴予約が消去されますのでご注意ください。
- 保存するデータのサイズによっては、受信できる件数がFOMA端末の最大保存件数、登録件数より少なくなる場合があります。
- メールをフォルダごとに保存できる機器から受信したメールデータの場合、メール連動型ｉアプリ用のフォルダに保存されることがあります。保存したメールデータを確認するには、保存されているメール連動型ｉアプリ用のフォルダにカーソルを合わせて[MENU][1]を押してください。

## 赤外線リモコン機能を利用する

**赤外線リモコン用のｉアプリをダウンロードして、FOMA端末を赤外線リモコンとして使用します。**

- 各機器に対応したｉアプリをダウンロードしてください。操作はｉアプリによって異なります。
- お買い上げ時に登録されているｉアプリのGガイド番組表リモコンを起動すると、FOMA端末をテレビなどの赤外線リモコンとして利用できます。
- 対応機器や周囲の明るさによって、通信動作に影響を受ける場合があります。
- 赤外線リモコンに対応した機器でも操作できない場合があります。

### ❖リモコン操作について

FOMA端末の赤外線ポートを対応機器の赤外線受信部に向けてリモコン操作をしてください。リモコン操作ができる角度は中心から15度、距離は最大で約4mです。ただし、操作する機器や周囲の明るさなどによって、操作できる角度と距離は変わります。

データ送受信設定

## データ送受信時の動作を設定する

【お買い上げ時】 通信終了音：OFF　自動認証：なし　電話帳の画像送信：あり

**赤外線通信やiC通信、パソコンと接続したパケット通信、64Kデータ通信、データ転送によるデータ送受信時の動作を設定します。**

**1** **[MENU]▶[6][2][5]▶下記の各項目を選択して設定▶[ ]［登録］**

**通信終了音**：通信終了時に終了音を鳴らすかどうかを設定します。

**自動認証**：パソコンと接続したパケット通信、64Kデータ通信、データ転送時に、通信相手と認証コードを自動でやりとりするかどうかを設定します。

- 「あり」に設定するときは、認証操作を行い、4～8桁の携帯側認証コード（FOMA端末側）とパソコン側認証コード（相手側）を入力し、[ ]を押してください。

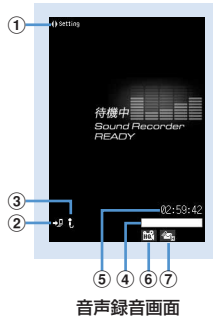
**電話帳の画像送信**：電話帳データの全件送信時に、電話帳に登録されている画像を一緒に送信するかどうかを設定します。

# サウンドレコーダーで音声を録音する

## ◆音声録音画面とファイルについて

サウンドレコーダーを使用して音声を録音できます。録音した音声はFOMA端末だけでなくmicroSDメモリーカードに保存したり、iモードメールに添付して送信したりできます。

### ❖音声録音画面

画面の見かたは次のとおりです。

音声録音画面

① **録音時設定操作ガイド**
　を押して録音時の設定ができることを示します。

② **保存先**
　保存先を示します。→P189

③ **撮影種別**
　撮影する動画の種類を示します。→P189

④ **インジケータ**
　**録音待機中**
　保存先の保存領域の使用率を示します。
　• microSDメモリーカードの保存領域の使用率は、音声が保存されていなくても0にならない場合があります。
　**録音時／一時停止中**
　サイズ制限で設定しているファイルサイズに対する、録音したサイズの割合を示します。

⑤ **カウンタ**
　**録音待機中**
　現時点でFOMA端末およびmicroSDメモリーカードに録音できる最大時間（目安）を示します。
　**録音時**
　経過時間と残り時間（録音停止するまでの時間）（目安）を示します。

⑥ **品質**
　保存する音声の品質を示します。→P394

⑦ **サイズ制限**
　保存するファイルのサイズ制限値を示します。→P395

### ❖音声ファイルについて

| | |
|---|---|
| ファイル形式 | MP4（MobileMP4） |
| 符号化方式 | AMR |
| 拡張子 | 3gp |
| タイトル | 録音した日時が自動的に付けられます。<br>〈例〉2007年5月24日9時4分00秒に録音したとき<br>→20070524090400<br>• 音声の録音後、ファイル名を変更できます。→P384 |
| メール添付・出力 | メールに添付して送信したり、microSDメモリーカードやデータリンクソフトを利用してパソコンや他の端末に送ったりできます。 |

### ❖音声の録音時間について

音声の録音時間は、品質やサイズ制限の設定によって変わります。

■ F904iに保存できる音声の録音時間（目安）

| 項　目 | 品質 | ファイルサイズ制限 | | |
|---|---|---|---|---|
| | | メール添付用（小）（500Kバイト） | メール添付用（大）（2Mバイト） | 制限なし |
| 1回あたりの録音時間 | STD | 約485秒 | 約33分 | 約323分 |
| | HQ | 約319秒 | 約21分 | 約212分 |
| FOMA端末本体の最大録音時間 | STD | 約323分 | 約323分 | 約323分 |
| | HQ | 約212分 | 約212分 | 約212分 |

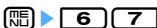
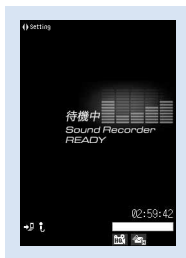
■ microSDメモリーカードに保存できる音声の合計録音時間（目安）

| 容量 | 品質 | ファイルサイズ制限 | | |
|---|---|---|---|---|
| | | メール添付用（小）（500Kバイト）※1 | メール添付用（大）（2Mバイト）※1 | 制限なし※2 |
| 64MB | STD | 約987分 | 約988分 | 約989分 |
| | HQ | 約649分 | 約649分 | 約649分 |

※1　1回あたりの録音時間は「1回あたりの録音時間（F904i本体）」と同じです。
※2　1回で合計録音時間まで撮影できます。

## ◆音声を録音する

- 音声は送話口から録音されます。
- 周囲の騒音が少ない、できるだけ静かな場所で録音してください。
- マナーモード中でも、録音確認音（シャッター音）は鳴ります。

**1** [MENU]▶[6][7]

サウンドレコーダーが起動して録音待機状態になります。

音声録音画面

- [i]を押すと静止画撮影画面に、[✉]を押すと動画撮影画面に切り替わります。

**2** [●]またはサイドキー［▲］

録音確認音（シャッター音）が鳴り、ディスプレイに●が表示され、録音が始まります。ランプが赤色で点滅します。

- 録音を一時停止するときは[●]を押します。一時停止中はランプが緑色に点灯し、●が▮▮に切り替わります。もう一度[●]を押すと、録音を開始します。

**3** [📖]またはサイドキー［▲］

録音確認音（シャッター音）が鳴り、録音が終了します。

- 録音中にファイルサイズが制限値に達すると、録音が自動的に終了し、その時点までに録音した音声が保存対象になります。
- 一時停止中に[📖]を押して録音を終了した場合は、その時点までに録音した音声が保存対象になります。
- 動画／録音詳細設定の自動保存を「する」に設定している場合は、確認画面は表示されず、自動的に保存されます。このとき、操作4以降の操作は不要です。

**4** 録音した音声を確認

- [📖]を押すと録音した音声が再生されます。

すぐに保存する：**操作5に進む**

保存しないで録音し直す：**[ch クリア]を押す**

録音した音声をメールに添付する：[✉]▶**「はい」を選択**

録音した音声がｉモーション内の「カメラ」フォルダに保存され、メール作成画面が表示されます。

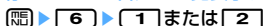
- 保存先をmicroSDメモリーカードに設定していても、録音した音声はFOMA端末に保存されます。
- 録音した音声のファイルサイズが2Mバイトより大きい場合は、メールに添付できません。

タイトルを変更する：[MENU]▶[3]

- 全角・半角を問わず最大31文字入力できます。

保存先をFOMA端末／microSDメモリーカードに切り替える：[MENU]▶[5]

- 録音した音声のファイルサイズが2Mバイトより大きい場合は、保存先を切り替えられません。

保存されている音声を一覧表示する：[MENU]▶[6]▶[1]**または**[2]

**5** [●]［保存］またはサイドキー［▲］

録音した音声がｉモーション内の「カメラ」フォルダに保存されます。→P352

保存した音声を確認する：[📖]▶**確認する音声を選択**

- 確認後[ch クリア]を2回押すと、音声録音画面に戻ります。

**✔お知らせ**

- 静止画撮影画面や動画撮影画面で[MENU]を押し「機能切替」→「サウンドレコーダー」を選択するか、または動画／録音詳細設定の撮影種別を「音声のみ」に設定した場合でも、サウンドレコーダーを起動できます。
- サウンドレコーダーを利用する際の注意事項→P188「カメラで動画を撮影する」のお知らせ
- 録音した音声の再生方法→P352「動画／ｉモーションを再生する」

# 録音時の設定を変更する

**品質やサイズ制限など、音声に関する設定を変更します。**

- 品質やサイズ制限は動画／録音詳細設定でも設定できます。→P189

## ◆音声の品質を設定する

**1** 音声録音画面で[◎]▶品質のマーク（[HQ][STD]）にカーソルを合わせる

- [8]を押しても品質のマークを選択できます。

**2** で品質を選択

設定した品質がマークで表示されます。

高品質：音質はよくなりますが、録音できる時間が短くなります。

標準：標準的な品質です。

### ◆ファイルサイズを制限する

**1** 音声録音画面で ▶ サイズ制限のマーク（ ）にカーソルを合わせる

- 9 を押してもサイズ制限のマークを選択できます。

**2** でサイズ制限を選択

設定したサイズ制限がマークで表示されます。
→P195

## PDFデータとは

**ｉモードのサイトやインターネットホームページなどからダウンロードしたPDFデータを表示できます。PDFデータの表示中は、拡大・縮小、文字検索、リンク表示、画面の切り出しなど、さまざまな操作ができます。**

- microSDメモリーカードに保存したPDFデータも表示できます。→P378「マイドキュメントデータを表示する」
- PDFデータの表示では、ページを移動するための機能として、「しおり」「ｉモードしおり」「マーク」を使用できます。

## PDFデータを表示する

**データBOXのマイドキュメントに保存されているPDFデータを表示します。**

**1** ▶ 5 5 ▶ フォルダを選択

マイドキュメントの各フォルダには次のPDFデータが保存されます。

**ｉモード**：サイトやｉモーションメールから取得したPDFデータ

**プリインストール**：お買い上げ時に登録されているPDFデータ→P498

**データ交換**：microSDメモリーカードから移動またはコピーしたPDFデータ、データ通信で受信したPDFデータ

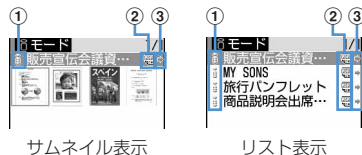
**マイフォルダ**：他のフォルダから移動またはコピーしたPDFデータ

- フォルダを作成すると表示されます。→P382

microSDメモリーカードのフォルダ一覧に切り替える：マイドキュメントのフォルダ一覧で

microSDメモリーカードの操作方法→P378「マイドキュメントデータを表示する」

**2** 表示するPDFデータにカーソルを合わせる

PDFデータ一覧画面では、カーソル位置のファイルの表示名とPDFデータの詳細を示すマークが表示されます。

- 画面の見かたは次のとおりです。

サムネイル表示　　リスト表示

**①取得元**

：プリインストール

：サイトやホームページからダウンロードしたデータ、メールに添付されていたデータ

：データ交換

※ データ交換で取得したメールに添付されていたPDFデータの取得元は、データ交換になります。

**②ファイルの種類**

：FOMAカード動作制限機能が設定されているPDFデータ

：すべてのデータをダウンロードしたPDFデータ

：部分的にデータをダウンロードしたPDFデータ

：データのダウンロードに失敗したPDFデータ

**③ファイル制限**

（青）：ファイル制限なし

（グレー）：ファイル制限あり

- サムネイル表示ではPDFデータのサムネイル画像が表示されます。サムネイル画像を表示できない場合は、次のアイコンが表示されます。

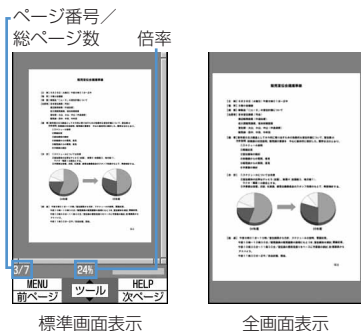
  ：FOMAカード動作制限機能が設定されているもの

  ：ダウンロードしてから一度も表示していないもの、サムネイル画像を取得できないもの

  ：部分的にデータをダウンロードしたもの

  ：データのダウンロードに失敗したもの
- サムネイル表示の場合はカーソルを合わせたPDFデータのファイルサイズ（実メモリサイズ）が表示されます。
- を押すたびにサムネイル表示とリスト表示が切り替わります。
- 詳細情報で表示名を変更できます。

**PDFデータをメールに添付する：PDFデータにカーソルを合わせて[メール]**
選択したPDFデータが添付されているメール作成画面が表示されます。
メールに添付できるPDFデータ→P241

## 3 [●]を押す

標準画面表示

全画面表示

横画面(ガイド表示領域なし)

横画面(ガイド表示領域あり)

PDFデータ表示中は次の操作ができます。
[マルチカーソル]：スクロール（押し続けると連続スクロール）
[i]／[メール]：前ページと次ページの切り替え
[辞書]：ヘルプ→P398
[1]：縮小
[2]：全体表示→P398
[3]：拡大
[4]：最初のページ
[5]：検索→P397
[6]：最後のページ
[7]：右90度回転→P398
[8]：リンク表示→P398
[9]：画面切り出し→P399
[0]：ドキュメント情報→P398
[*]：標準画面表示と全画面表示の切り替え
横画面ではガイド表示領域の表示切り替え
[#]：ツールバーの表示／非表示の切り替え
- 横画面時は無効です。

- マークが登録されているページには、[マーク]が表示されます。
- 部分的にダウンロードしたPDFデータの表示中に、ページ移動などで未取得のページを表示しようとすると、未取得のデータをダウンロードするかどうかの確認画面が表示されます。「はい」を選択するとページのダウンロードが開始されます。以降は未取得のページを表示しようとしても、確認画面は表示されずにページがダウンロードされます。
- データのダウンロードに失敗したPDFデータ[アイコン]を選択すると、残りのPDFデータをダウンロードするかどうかの確認画面が表示されます。「はい」を選択するとダウンロードが開始されます。
- 部分的にデータをダウンロードしたPDFデータ[アイコン]の残りのデータをダウンロードするときは、[MENU][8]を押します。

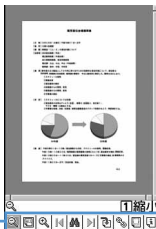
**PDFデータにパスワードが設定されているとき：パスワードの入力画面でパスワードを入力▶[辞書]**

## 4 操作が終わったら[CLR]▶「はい」を選択

PDFデータに変更を加えた場合は、保存するかどうかの確認画面が表示されます。保存するときは「はい」を選択します。
- 変更を加えたPDFデータを表示中に[MENU][2]を押しても保存できます。保存するかどうかの確認画面は表示されません。

**✔お知らせ**
- 画像データが多い場合など、PDFデータによっては表示に時間がかかる場合があります。
- PDF対応ビューアに対応していない形式や複雑なデザインなどを含むドキュメントの場合、正しく表示されないことがあります。

## ◆ツールバーで操作する

**1** PDFデータを表示▶[●]

- ツールバーの機能は次のとおりです。
  [縮小アイコン]：縮小　[全体表示アイコン]：全体表示→P398
  [拡大アイコン]：拡大　[最初のページアイコン]：最初のページ
  [検索アイコン]：検索→P397　[最後のページアイコン]：最後のページ
  [回転アイコン]：右90度回転→P398
  [リンクアイコン]：リンク表示→P398
  [切り出しアイコン]：画面切り出し→P399
  [情報アイコン]：ドキュメント情報→P398

**2** 機能を選択

- 標準画面表示では、[●]を押すとカーソル位置の機能名と数字が表示されます。数字と同じダイヤルキーを押しても機能を選択できます。
- ツールバーの操作を解除するには、[CLR]を押します。

## ◆ページを移動する

### ❖ページを指定して移動する

**1** PDFデータを表示▶[MENU]▶[1][3]▶ページ数を入力

最初のページに移動する：[MENU]▶[1][1]

最後のページに移動する：[MENU]▶[1][2]

1つ前のページに移動する：[MENU]▶[1][4]

次のページに移動する：[MENU]▶[1][5]

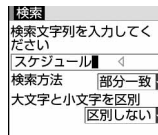
### ❖しおりを使って移動する

PDFデータに登録されているしおりを使って、ページを移動できます。

**1** PDFデータを表示▶[MENU]▶[4][1]▶しおりを選択

## ◆文字列を検索する

- 部分的にデータをダウンロードしたPDFデータの場合は、表示中のページのみ検索されます。

**1** PDFデータを表示▶[MENU]▶[5]▶検索文字列の入力欄に文字列を入力

- 全角で最大8文字、半角で最大16文字入力できます。

完全に一致する語を検索する：**検索方法の「完全一致」を選択**

英字の大文字と小文字を区別する：**大文字と小文字を区別の「区別する」を選択**

**2** [📖]［検索］を押す

検索が実行され、入力した文字列に一致した語は、緑色で強調表示されます。検索結果画面では次の操作ができます。

[MENU]：検索終了
[i]：1つ前の候補（一致した語）へ移動
[📖]：ヘルプ→P398
[✉]：次の候補（一致した語）へ移動
[1]：縮小
[3]：拡大
[✂]：横画面時にガイド表示領域ありとガイド表示領域なしの切り替え
- 標準画面時は無効です。

## ◆画面の表示設定を変更する

【お買い上げ時】 ステータス表示：あり　スクロールバー：あり

ページ番号、表示倍率、スクロールバーの表示と非表示を切り替えます。

- 切り替えた表示設定は表示を終了しても保存されます。

**1** PDFデータを表示▶[MENU]▶[7]▶下記の各項目を選択して設定▶[📖]［登録］

**ステータス表示**：ページ番号と総ページ数、倍率を表示するかしないかを設定します。
**スクロールバー**：スクロールバーを表示するかしないかを設定します。「なし」に設定してもスクロール操作はできます。

## ◆拡大／縮小して表示する

### ❖表示する大きさを選択する

表示する大きさを「全体表示」「実際の大きさ」「幅に合わせる」から選択します。

**1** PDFデータを表示 ▶ MENU ▶ 6 2 ▶ 1 ～ 3

### ❖倍率を指定する

**1** PDFデータを表示 ▶ MENU ▶ 6 3 ▶ 倍率を入力

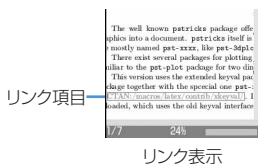
- 8～1000（%）の範囲で入力できます。

## ◆リンクを利用する

PDFデータのリンク項目を利用したいときは、リンク表示をONに切り替えます。

**1** リンク項目が設定されているページを表示 ▶ MENU ▶ 6 6

リンク表示に切り替わります。

- ページ内のカーソル位置のリンク項目は赤い枠で、その他のリンク項目は青い枠で囲まれます。

リンク表示

**2** リンク項目を選択

- リンク表示をOFFにするときは MENU を押します。

Phone To（AV Phone To）・Mail To・Web To機能を使う：
操作方法→P217

### ✔お知らせ

- リンク表示がONのときは、リンク項目の選択以外は操作できません。

## ◆ページのレイアウトを変更する

ページレイアウトを「単一ページ（1ページずつ表示）」「連続ページ（ページを続けて表示）」「見開きページ（2ページずつ表示）」から選択します。

**1** PDFデータを表示 ▶ MENU ▶ 6 5 ▶ 1 ～ 3

## ◆表示を回転する

表示を右90度、左90度、180度に回転します。

**1** PDFデータを表示 ▶ MENU ▶ 6 4 ▶ 1 ～ 3

## ◆PDFデータのドキュメント情報を表示する

PDFデータに登録されているタイトル、著作者、作成アプリケーション、作成日、更新日、ファイルサイズなどの情報を確認します。

**1** PDFデータを表示 ▶ MENU ▶ 9

## ◆ヘルプを表示する

PDFデータ表示中の操作、または検索結果画面の操作をヘルプ画面で確認します。

**1** PDFデータを表示 ▶ MENU ▶ 0 ▶ 1 または 2

- PDFデータ表示中や検索結果画面で 📖 を押してもヘルプを表示できます。

# iモードしおりやマークを登録して使う

**保存したPDFデータに、ページを移動するための項目として、iモードしおりやマークを登録できます。**

- iモードしおりとマークは、あらかじめ登録されているものを含めてそれぞれ最大10件登録できます。
- iモードしおりやマークが登録されているPDFデータをパソコンなどで表示した場合、ご使用のソフトウェアがiモードしおりやマークの表示に対応していないときは、iモードしおりやマークは表示されません。

## ◆iモードしおりを登録する

iモードしおりを登録すると、登録したページの現在の表示状態（倍率、回転方向、表示範囲）が記録されます。iモードしおりを登録したページは、登録したときの状態で表示されます。

**1** iモードしおりを登録するページを表示 ▶ MENU ▶ 4 2 2 ▶ iモードしおりの情報を入力 ▶ 📖［登録］

- 全角で最大64文字、半角で最大128文字入力できます。

### ◆ｉモードしおりからページを表示する

**1** PDFデータを表示 ▶ MENU ▶ 4 2 1

**2** 表示するｉモードしおりにカーソルを合わせて● ［選択］

ｉモードしおりの情報を変更する：変更するｉモードしおりにカーソルを合わせて MENU ▶ 1 ▶ ｉモードしおりの情報を入力 ▶ 📖

ｉモードしおりを１件削除する：削除するｉモードしおりにカーソルを合わせて MENU ▶ 2 1 ▶「はい」を選択

ｉモードしおりを複数削除する：MENU ▶ 2 2 ▶ 削除するｉモードしおりを選択 ▶ 📖 ▶「はい」を選択

ｉモードしおりを全件削除する：MENU ▶ 2 3 ▶ 認証操作 ▶「はい」を選択

**✔お知らせ**

- PDFデータ表示中に MENU を押し、「しおり・マーク」→「ｉモードしおり・マーク」→「ｉモードしおりの削除」を選択しても、ｉモードしおりを削除できます。

### ◆マークを登録する

**1** マークを登録するページを表示 ▶ MENU ▶ 4 2 5

### ◆マークからページを表示する

**1** PDFデータを表示 ▶ MENU ▶ 4 2 4

**2** 表示するマークにカーソルを合わせて● ［選択］

マークを１件削除する：削除するマークにカーソルを合わせて MENU ▶ 1 ▶「はい」を選択

マークを複数選択して削除する：MENU ▶ 2 ▶ 削除するマークを選択 ▶ 📖 ▶「はい」を選択

マークを全件削除する：MENU ▶ 3 ▶ 認証操作 ▶「はい」を選択

**✔お知らせ**

- PDFデータ表示中に MENU を押し、「しおり・マーク」→「ｉモードしおり・マーク」→「マークの削除」を選択しても、マークを削除できます。

## PDFデータの画面を切り出す

表示中のページをJPEG形式の画像ファイルにして保存します。切り出した画像ファイルはマイピクチャ内の「カメラ」フォルダに保存されます。

**1** 切り出すページを表示 ▶ MENU ▶ 3

**✔お知らせ**

- 切り出される画像サイズは、PDFデータが表示されている画面領域の大きさによって異なります。
- PDFデータのセキュリティ設定によっては、画面の切り出しができない場合があります。
- 切り出した画像ファイルのFOMA端末外出力可／不可については、切り出し元のPDFデータの設定に従います。

動作設定

## PDFデータの動作条件を設定する

【お買い上げ時】 一覧の画像表示：あり

PDFデータ一覧をサムネイル表示にするか、リスト表示にするかを設定します。

**1** MENU ▶ 5 5 ▶ MENU ▶ 4 ▶ 1 または 2

- 「あり」に設定するとサムネイル表示になり、「なし」に設定するとリスト表示になります。

**✔お知らせ**

- PDFデータ一覧から設定する場合は、MENU を押し「動作設定」を選択します。

## Word、Excel、PowerPointのファイルを表示する

データBOXのその他やmicroSDメモリーカードに保存されているWord、Excel、PowerPointのファイルを表示します。

- Word 2007、Excel 2007、PowerPoint 2007のファイルは表示できません。

**1** MENU ▶ 5 8 ▶ フォルダを選択

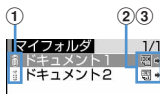
- その他内にあるフォルダは、📁で表示されます。お買い上げ時は「マイフォルダ」が1つだけ作成されています。

**microSDメモリーカードのフォルダ一覧に切り替える：その他のフォルダ一覧で** i

microSDメモリーカードの操作方法→P379

**2** 表示するデータにカーソルを合わせる

データ一覧画面では、カーソル位置の表示名とデータの詳細を示すマークが表示されます。

- 画面の見かたは次のとおりです。

①取得元
　：サイトやホームページからダウンロードしたデータ、メールに添付されていたデータ
　：データ交換
- データ交換で取得したメールに添付されていたファイルの取得元は、データ交換になります。

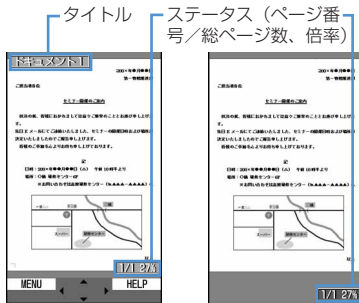
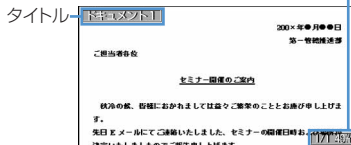
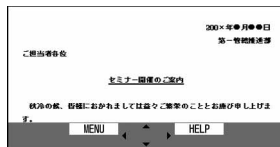
②ファイルの種類
　：Wordファイル
　：Excelファイル
　：PowerPointファイル
- FOMAカード動作制限機能が設定されているものはグレーで表示されます。

③ファイル制限
　：ファイル制限なし
- 詳細情報で表示名を変更できます。

**データをメールに添付する：データにカーソルを合わせて** ✉

選択したデータが添付されているメール作成画面が表示されます。

メールに添付できるデータ→P241

**3** ● ［選択］を押す

標準画面表示　　全画面表示

横画面（ガイド表示領域なし）

横画面（ガイド表示領域あり）

データ表示中は次の操作ができます。

✥：スクロール（押し続けると連続スクロール）
i／✉：前ページと次ページの切り替え
📖：ヘルプ→P401
1：縮小
2：全体表示
3：拡大
4：最初のページ
5：検索→P401
6：最後のページ
7：右へ90度回転→P401
8：幅に合わせて表示→P401
0：ステータスやタイトルの表示／非表示の切り替え→P401
✱：縦画面時には、標準画面表示と全画面表示の切り替え
横画面表示時には、ガイド表示領域ありとガイド表示領域なしの切り替え

**✔お知らせ**

- 画像が多い場合など、データによっては表示に時間がかかる場合があります。
- 対応していない形式や複雑なデザインなどを含むデータの場合、正しく表示されないことがあります。
- パスワード入力が必要なデータは表示できません。

## ◆ページを移動する

**1** **データを表示▶ MENU ▶ 1 3 ▶ページ数を入力**

最初のページに移動する：MENU ▶ 1 1

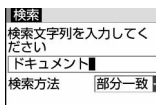
最後のページに移動する：MENU ▶ 1 2

1つ前のページに移動する：MENU ▶ 1 4

次のページに移動する：MENU ▶ 1 5

## ◆文字列を検索する

**1** **データを表示▶ MENU ▶ 2 ▶検索文字列の入力欄に文字列を入力**

検索
検索文字列を入力してください
ドキュメント
検索方法　部分一致

- 全角で最大16文字、半角で最大32文字入力できます。

完全に一致する語を検索する：**検索方法の「完全一致」を選択**

**2** **[検索]を押す**

検索が実行され、入力した文字列に一致した語は水色で強調表示されます。検索結果画面では次の操作ができます。

MENU：検索終了
：1つ前の候補（一致した語）へ移動
：ヘルプ→P401
：次の候補（一致した語）へ移動
：スクロール（押し続けると連続スクロール）
1：縮小
2：全体表示
3：拡大
8：幅に合わせて表示→P401
0：ステータスやタイトルの表示／非表示の切り替え→P401
：横画面表示時にガイド表示領域ありとガイド表示領域なしの切り替え
- 標準画面時は無効です。

## ◆拡大／縮小して表示する

幅に合わせて表示したり、全体表示したり、倍率を指定して表示したりします。

〈例〉幅に合わせて表示するとき

**1** **データを表示▶ MENU ▶ 3 1**

全体表示する：**データを表示▶ MENU ▶ 3 2**

倍率を指定して表示する：**データを表示▶ MENU ▶ 3 3 ▶倍率を入力**

- 10～1000（%）の範囲で入力できます。ただし、全体表示時の倍率より小さい倍率は指定できません。

## ◆表示を回転する

表示を右90度、左90度、180度に回転します。

**1** **データを表示▶ MENU ▶ 4 ▶ 1 ～ 3**

## ◆全画面表示／標準画面表示を切り替える

- 横画面では操作できません。

**1** **データを表示▶ MENU ▶ 5**

## ◆画面の表示設定を変更する

【お買い上げ時】［表示設定］ステータス表示、タイトル表示

ステータス（ページ番号、表示倍率）やタイトルの表示／非表示を切り替えます。

- 切り替えた表示設定は表示を終了しても保存されます。

**1** **データを表示▶ MENU ▶ 6 ▶ 1 または 2**

ステータスやタイトルの表示／非表示が切り替わります。

## ◆ヘルプを表示する

データ表示中の操作、または検索結果画面の操作をヘルプ画面で確認します。

**1** **データを表示▶ MENU ▶ 7 ▶ 1 または 2**

- データ表示中や検索結果画面でを押してもヘルプを表示できます。

# 音楽再生

## 音楽の再生方法について

- FOMA端末で音楽を再生する方法は次のとおりです。
  - ミュージックプレイヤーで再生
    サイトから取得した着うたフル®や、パソコンでインターネットホームページやCDから取り込んでmicroSDメモリーカードに転送した音楽データ（WMAファイル）を再生します。
  - ｉモーションとして再生
    ｉモードで取得してFOMA端末のデータBOXに保存した音声のみのｉモーションを再生します。microSDメモリーカードに保存すればmicroSDメモリーカードからも再生できます。
    データBOXからｉモーションを再生する→P352
    microSDメモリーカードからｉモーションを再生する→P375
- 音楽を聴きながらメールやｉモードサイトの表示などを利用することができます（バックグラウンド再生）。→P418、P516
- 音楽を聴いているときに着信などがあると、再生が一時停止する場合があります。→P408

## ミュージックプレイヤーについて

**サイトからダウンロードした着うたフル®や、音楽CDやインターネットなどからパソコンに取り込んだWindows Media® Audio（WMA）ファイルを、FOMA端末本体やmicroSDメモリーカードに保存し、ステレオサウンドで再生することができます。FOMA端末を折り畳んだままでも、開いた状態で他の機能を使いながらでも再生できます。プレイリストの再生やシャッフル再生、曲の確認に便利なイントロ再生など、さまざまな聴きかたを楽しめます。**

- ミュージックプレイヤーは着うたフル®およびWindows Media Audio（WMA）ファイルに対応しています。
- 着うたフル®の場合はｉモードから取得し、WMAファイルの場合はパソコンからWindows Media Playerを使用して、保存します。
- WMAファイルはFOMA端末本体に保存できません。
- ミュージックプレイヤーを使用すると電力の消費が早くなりますのでご注意ください。
- FOMA端末では、著作権保護技術で保護されたWMAファイルや着うたフル®を再生できます。
- インターネット上のホームページなどから音楽データをダウンロードする際には、あらかじめ利用条件（許諾、禁止行為など）をよくご確認の上、ご利用ください。
- 著作権保護技術で保護されたWMAファイルは、FOMA端末固有の情報を利用して再生しています。故障や修理、電話機の変更などでFOMA端末固有の情報が変更された場合は、既存のWMAファイルは再生できなくなることがあります。
- FOMA端末本体やmicroSDメモリーカード内に保存した音楽データは、個人使用の範囲内でのみ使用できます。ご利用にあたっては、著作権などの第三者の知的財産権その他の権利を侵害しないよう十分ご配慮ください。また、FOMA端末本体やmicroSDメモリーカードに保存した音楽データは、パソコンなどの他の媒体に移動またはコピーしないでください。
- CCCD（コピーコントロールCD）の取り扱いや、音楽データをWMAファイルに変換できない場合の対処については、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- microSDメモリーカードの取り扱いや使用時の注意事項→P366「microSDメモリーカードについて」

### ミュージックプレイヤーに関する詳細情報やお問い合わせ先について

**【FOMA端末への音楽データの転送・再生方法】**
パソコンなどから：
FMWORLD（http://www.fmworld.net/）→携帯電話→音楽データ再生方法
お問い合わせ先：富士通データリンクソフトサポートセンター
**0120-176-769**
※ 携帯電話、PHSからもご利用になれます。
受付時間　10：00～19：00（日・祝日・所定の休日を除く）
※ ダイヤルの電話番号をよくご確認の上、お間違いのないようにおかけください。
※ Windows Media Playerについては、お使いのパソコンの各パソコンメーカにお問い合わせください。

### ❖うた・ホーダイとは

音楽配信会社が提供する定額で再生期限付きのサービスです。
再生期限を過ぎたものや、サービスの登録を停止したものなどは再生できません。再生させるためには、ライセンス更新が必要です。

## 音楽データを保存する

### ◆着うたフル®をダウンロードする

- 保存できる着うたフル®のサイズは1件あたり最大5Mバイトです。
- 最大保存容量→P540

**1 着うたフル®があるサイトを表示▶ダウンロードする着うたフル®を選択**

選択した着うたフル®のダウンロードが開始されます。
うた・ホーダイの場合は、再生期限情報が取得され、続けてうた・ホーダイのダウンロードが開始されます。

ダウンロードを中断する：**[MENU]を押す**

途中までダウンロードした部分を保存する：**「部分保存」を選択**
- 保存する前に「情報表示」を選択してミュージックの情報を確認することもできます。
- 部分的に保存した着うたフル®の残りのデータをダウンロードできます。→P408「フォルダ内の音楽データを連続再生する」操作2

**2 「保存」を選択**

再生する：**「再生」を選択**

詳細情報を表示する：**「情報表示」を選択**→P413

保存を中止する：**「戻る」を選択▶「いいえ」を選択**

**3 表示名を入力▶[MENU]［保存］**

- 表示名にはあらかじめ着うたフル®の詳細情報の「タイトル名-アーティスト名」が入力されています。
- 表示名は全角・半角を問わず最大50文字入力できます。
- ガイド表示領域の左下に「」が表示された場合は、[i]を押すたびに、保存先を本体とmicroSDメモリーカードに切り替えられます。「SD保存」が表示されているときに[MENU]を押すと、microSDメモリーカードに保存されます。保存した後、ミュージックプレイヤーの音楽データ一覧画面のアイコンで保存先を確認することができます。→P407

**✔お知らせ**

- 保存領域の空きが足りないときや最大保存件数を超えるときは、ミュージックを削除するかどうかの確認画面が表示されます。保存する場合は、画面の指示に従って保存されている音楽データを削除してください。

### ◆WMAファイルを保存する

WMAファイルをmicroSDメモリーカードへ保存するには、Windows Media Playerを使用します。

- **パソコンのOSとWindows Media Playerは、次のバージョンの組み合わせで使用することをおすすめします。**
  - **パソコンのOSがWindows XP Service Pack 2以降の場合**
    **Windows Media Player 10**
    **（10.00.00.3802以降のバージョン）**
    **またはWindows Media Player 11**
    **（11.0.5721.5145以降のバージョン）**
  - **パソコンのOSがWindows Vistaの場合**
    **Windows Media Player 11**
    **（11.0.6000.6324以降のバージョン）**
- 操作方法については、Windows Media Player 10／11のヘルプをご覧ください。また、操作環境についての最新情報は、富士通のホームページをご覧ください。→P404
- パソコンとFOMA端末を接続する前に、Windows Media Playerのバージョンを必ず確認してください。
- Windows XP、Windows VistaやWindows Media Playerは常にアップデートして、最新の状態にしておくことをおすすめします。アップデートがされていないと、転送したWMAファイルの操作や表示が遅くなるなど十分な性能が得られないことがあります。
- microSDメモリーカードへ転送できるWMAファイルは最大500件です。
- パソコンからプレイリストを転送できます。ただし、転送できるプレイリスト内の音楽データは最大400件です。
- WMAファイルはFOMA端末本体に保存できません。
- 他のFOMA端末からmicroSDメモリーカードに保存したWMAファイルは本端末で表示・再生されない場合があります。

**1 Windows Media PlayerでパソコンにWMAファイルを準備する**

**2 FOMA端末のUSBモード設定を「MTPモード」に切り替える**

USBモード設定→P380
- すでにUSBモード設定が「MTPモード」に設定されている場合は、切り替えは不要です。
- microSDメモリーカードを取り付けてから、「MTPモード」に切り替えてください。

**3 Windows Media Playerを起動する**

**4 パソコンとFOMA端末をUSBケーブルで接続する**

パソコンとFOMA端末が、MTPモードで接続されます。
パソコンとFOMA端末の接続方法→P381

## 5 パソコンからWMAファイルを転送する

## 6 データ転送が終わったらFOMA端末のUSBモード設定を「通信モード」に切り替える

## 7 USBケーブルを取り外す

USBケーブルの取り外しかた→P382

### ❖ミュージックプレイヤー動作中にMTPモードを切り替える

## 1 ミュージックプレイヤーのプレイヤー画面以外でMENU▶「MTPモード」を選択▶「はい」を選択

MTPモードに設定され、ミュージックプレイヤーが終了します。

**ナップスター®アプリについて**

ナップスター®アプリを利用して音楽データを保存することもできます。

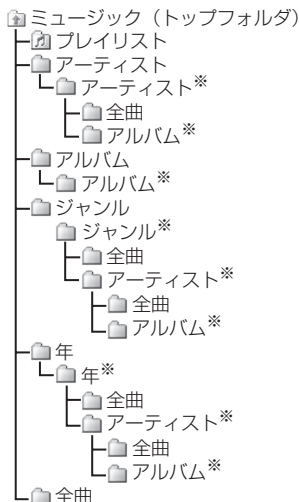
- ナップスター®アプリは下記のホームページからダウンロードできます。
  http://www.napster.jp/
- ナップスター®アプリについてご不明な点がございましたら下記のホームページをご覧ください。
  http://www.napster.jp/support/

**✔お知らせ**

- データ転送中にUSBケーブルを外さないでください。誤動作やデータ消失の原因となります。
- パソコンからFOMA端末内のmicroSDメモリーカードにアクセスしているときは、MTPモードから他のモードに切り替えられません。
- ミュージックプレイヤーの再生中はMTPモードに切り替えられません。
- FOMA端末内のmicroSDメモリーカードに保存されているWMAファイルは、パソコンとFOMA端末を接続中にWindows Media Playerから削除することもできます。
- FOMA端末本体でのWMAファイルの著作権管理情報の残り保存容量が少なくなると、ミュージックプレイヤーを起動したときに、WMAファイルをこれ以上追加できない可能性がある旨のメッセージが表示されます。さらにWMAファイルを追加したいときには、FOMA端末本体のWMA一括削除の操作を行ってから、必要なWMAファイルをパソコンから転送してください。
- パソコンから音楽データが転送できないときは、付属のCD-ROMに収録されているソフトウェア「ポータブルデバイス用パソコン環境診断」を使用すると、お使いのパソコンの環境での最適な対処方法を確認することができます。
- Windows Media Playerとナップスター®アプリをパソコンで同時に使用すると、パソコンの処理速度が落ちる場合があります。
- F902iS以前のFOMA Fシリーズのミュージックプレイヤーで再生できたAAC形式のファイルは、F904iのミュージックプレイヤーでは再生できませんが、microSDメモリーカードのマルチメディア内の「その他の動画」では再生できます。データをminiSDメモリーカードからmicroSDメモリーカードへコピーする際に、AAC形式のファイルのコピー先をmicroSDメモリーカード内のPRIVATE￥DOCOMO￥MMFILE￥MUDxxx（xxxは001～999）にしてください（→P368）。コピーした後にmicroSDメモリーカードの情報更新を行うと、コピーしたファイルが表示されます。
  ※ ファイル名が「MMFxxxx」（xxxxは0001～9999）以外のファイルや、拡張子が「.m4a」のファイルは、コピーしても表示・再生できません。
  ※ コピーの際は、FOMA Fシリーズデータリンクソフトのの SDユーティリティをご利用になることをおすすめします。SDユーティリティを利用するとファイル名が自動的に変換されます。

# ミュージックプレイヤーのフォルダと画面の見かた

### ◆ミュージックプレイヤーのフォルダ構成

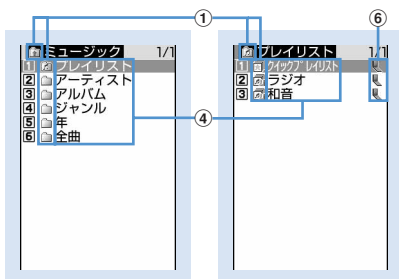
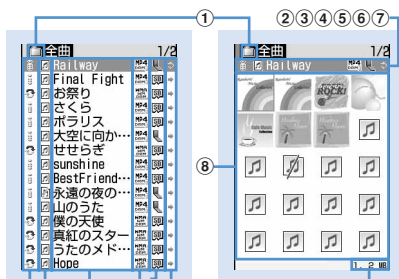
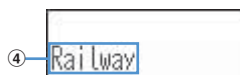
ミュージックプレイヤーのフォルダ構成は次のとおりです。

※ 音楽データの詳細情報から作成されます。名前は詳細情報により変わります。作成する詳細情報が存在しないときには、フォルダの名前として「不明なアーティスト」「不明なアルバム」「不明なジャンル」「不明な年」が表示されます。

フォルダの説明

| 固定フォルダ | 説　明 |
|---|---|
| ミュージック（トップフォルダ） | 初めてミュージックプレイヤーを起動したときは、次の各フォルダが表示されます。 |
| プレイリスト | すべてのプレイリストが保存されます。<br>お買い上げ時はクイックプレイリストが保存されています。 |
| アーティスト | このフォルダ内には、音楽データの詳細情報から取得したアーティスト名のフォルダが作成されます。<br>アーティスト名のフォルダ内には、そのアーティストのすべての曲が入った「全曲」フォルダや、アルバム別のフォルダが作成されます。 |
| アルバム | このフォルダ内には、音楽データの詳細情報から取得したアルバム名のフォルダが作成されます。 |
| ジャンル | このフォルダ内には、音楽データの詳細情報から取得したジャンル名のフォルダが作成されます。<br>ジャンル名のフォルダ内には、そのジャンルのすべての曲が入った「全曲」フォルダや、アーティスト名のフォルダが作成されます。<br>アーティスト名のフォルダは「アーティスト」フォルダ内のアーティスト名フォルダと同じ構成です。 |
| 年 | このフォルダ内には、音楽データの詳細情報から取得した年のフォルダが作成されます。<br>年のフォルダ内には、その年のすべての曲が入った「全曲」フォルダや、アーティスト名のフォルダが作成されます。<br>アーティスト名のフォルダは「アーティスト」フォルダ内のアーティスト名フォルダと同じ構成です。 |
| 全曲 | ミュージックプレイヤーで再生できるすべての曲を表示します。 |

- これらのフォルダ構成はミュージックプレイヤーだけで使用されます。FOMA端末本体やmicroSDメモリーカード内の実際のフォルダ構成とは一致しません。
- これらのフォルダは、音楽データの詳細情報などを基にした分類を示しています。同じ音楽データを詳細情報に応じて複数のフォルダに表示します。

## ◆画面の見かた

### ■フォルダ一覧画面・プレイリスト一覧画面・音楽データ一覧画面

フォルダ一覧表示　　プレイリスト一覧表示

音楽データ一覧画面（リスト表示）　　音楽データ一覧画面（ジャケット画像表示）

音楽データ一覧画面（背面ディスプレイ）

①フォルダ／プレイリストの種類
- ：トップフォルダ
- ：通常フォルダ
- ：プレイリストフォルダ
- ：クイックプレイリスト
- ：プレイリスト
- ：FOMA端末で作成したプレイリスト
- ：パソコンから転送したプレイリスト

※ 背面ディスプレイでは、フォルダやプレイリストの名前の最初にが表示されます。

②取得元

：ｉモード　：データ交換

③再生制限

：再生制限なし　：部分的に保存したデータ

※1：回数制限　※1：期限制限

※1：期間制限

※2：ライセンス期限内

※2：ライセンス期限切れ／再生禁止

※2：再生不可

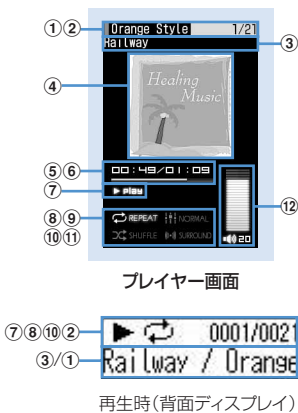
※1　着うたフル®のみ表示

※2　うた・ホーダイのみ表示

④フォルダ名／プレイリスト名／曲名
⑤ファイル形式と著作権管理
MP4 DRM：着うたフル®、DoCoMo
WMA WM DRM：WMAファイル、Windows Mediaデジタル著作権管理テクノロジ（WMDRM）
WMA：WMAファイル、著作権管理なし
⑥保存場所
：本体　SD：microSDメモリーカード
⑦ファイル制限の有無
（グレー）：ファイル制限あり
⑧ジャケット画像
音楽データに含まれたジャケット画像が表示されます。ジャケット画像が表示できない場合には次のアイコンが表示されます。
：ジャケット画像なし
：FOMAカード動作制限機能が設定されている音楽データ
：部分的に保存したデータ
⑨カーソルを合わせた音楽データのファイルサイズ（実メモリサイズ）
- 音楽データ一覧画面では を押すたびにジャケット画像表示とリスト表示が切り替わります。

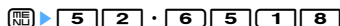
■ プレイヤー画面

プレイヤー画面

再生時（背面ディスプレイ）

①再生中の音楽データのアーティスト名
②曲番号／フォルダやプレイリスト内の曲数
③曲タイトル
④曲のジャケット画像
⑤再生時間／トータル時間
⑥再生位置インジケータ
⑦再生状態
play：通常再生　intro：イントロ再生
stop：一時停止中
⑧リピート再生
REPEAT：リピートなし　REPEAT：1曲リピート
REPEAT：全曲リピート
⑨イコライザ
NORMAL：ノーマル　BASS 1：バス1
BASS 2：バス2　ROCK：ロック
JAZZ：ジャズ　VOCAL：ボーカル
CLASSIC：クラシック　POP：ポップ
TRAIN：トレイン
⑩シャッフル再生
SHUFFLE：ON　SHUFFLE：OFF
⑪サラウンド
SURROUND：ON　SURROUND：OFF
⑫再生音量

✔お知らせ
- FOMA端末本体のプレイリストに登録されている曲の元の音楽データが削除されたり、保存されているmicroSDメモリーカードが取り外されたりして認識できなくなると、プレイリストで表示される曲名は「---」になり再生できなくなります。元の音楽データが削除されたときは、プレイリストの登録を解除してください。元の音楽データが保存されているmicroSDメモリーカードを取り外しているときは、microSDメモリーカードを取り付けると登録された曲名が表示されます。

## 音楽データを再生する

MENU ▶ 5 2・6 5 1 8

### ◆フォルダ内の音楽データを連続再生する

**1** MENU ▶ 9 2 ▶フォルダまたはプレイリストを選択

- 背面ディスプレイのメニューから、ミュージックプレイヤーを起動できます。→P36
- を1秒以上押すと、ミュージックプレイヤー起動と同時に音楽が再生されます。
- 再生中や一時停止中にミュージックプレイヤーを終了したときは、次に起動すると前回再生した曲が先頭から再生されます。
- FOMA端末の電源を入れ直したり、前回再生した曲の削除や詳細情報の変更を行ったりするなどして、前回再生した曲の情報がないときは、でミュージックプレイヤーを起動すると、トップフォルダ直下にある「全曲」フォルダ内の最初の曲から再生される場合があります。

**2** 音楽データを選択

再生が開始されます。プレイヤー画面では次の操作ができます。
／：再生／一時停止
／サイドキー［▲▼］：音量調整
（1秒以上）／（1秒以上）：巻き戻し／早送り
／サイドキー［▲］（1秒以上）：曲の先頭に移動※1
／サイドキー［▼］（1秒以上）：次の曲に移動
／（1秒以上）：再生を停止せずに音楽データ一覧画面を表示
ch クリア：再生を停止して音楽データ一覧画面を表示
（2回押す）：再生中または一時停止中の曲をクイックプレイリストに登録※2

（1秒以上）：ミュージックプレイヤー終了
※3：時計を表示
※1 曲の始まりから3秒以内に操作すると前の曲に移動します。
※2 確認音が鳴ります。
※3 FOMA端末を折り畳んでいるときのみ有効です。

- FOMA端末を折り畳むと背面ディスプレイに再生中の音楽データの情報が表示されます。
- FOMA端末を折り畳んで再生中に、背面ディスプレイに音楽データ一覧画面を表示させている場合にを押すとプレイヤー画面を表示します。
- FOMA端末を折り畳んでいるときに、音楽データ一覧画面やフォルダ一覧画面、プレイリスト一覧画面でを1秒以上押すと、上のフォルダに移動します。トップフォルダを表示中にを1秒以上押すと、ミュージックプレイヤーが終了します。
- 再生時にプレイヤー画面以外のフォルダ一覧、プレイリスト一覧、音楽データ一覧の各画面でを押すと、プレイヤー画面に戻ります。
- ミュージックプレイヤー操作中、ランプは次のように点灯、点滅します。
  ミュージックプレイヤー起動／再生：中央が水色で点灯したあと、全体が青色→水色に点灯
  停止：左右から中央へ点灯
  音量調整したとき：音量を上げると水色に点灯、音量を下げると青色に点灯
  次の曲へ移動したとき：右が1回点滅した後、左から右へ点灯
  前の曲へ移動したとき：左が1回点滅した後、右から左へ点灯
  早送り：左から右へ点灯
  巻き戻し：右から左へ点灯
  クイックプレイリスト登録時：左右が点滅したあと、中央が点滅
  ミュージックプレイヤー終了：点灯したあと、左右からゆっくり消灯
- ダウンロードに失敗、またはダウンロードを中断して、部分的に取得した着うたフル®は再生できません。選択すると、残りのデータをダウンロードするかどうかの確認画面が表示されます。「はい」を選択するとダウンロードが開始されます。ただし、ダウンロードして再取得できなかったときは、部分的に保存されていたデータを削除した旨のメッセージが表示されます。
  また、部分的に取得した着うたフル®の再生期間や再生期限が過ぎている場合は再びダウンロードできません。このとき、削除するかどうかの確認画面が表示され、部分的に保存した着うたフル®を削除できます。

### うた・ホーダイを選択したとき

選択したファイル、または他のファイルで再生期限を更新する必要がある場合は、サイトに接続して更新する旨のメッセージが表示されます。「はい」を選択し、更新が完了すると、うた・ホーダイが再生されます。

## ❖曲の先頭だけを連続再生する〈イントロ再生〉

フォルダ内の曲の最初の7秒だけを次々に再生します。

**1 音楽データ一覧画面で音楽データにカーソルを合わせて［イントロPLAY］**

- イントロ再生中にを押すとイントロ再生が解除され、再生が継続されます。

### ✔お知らせ

- 次の場合は再生が一時停止されます。動作終了後に自動的に再開されます。
  - 音声電話／テレビ電話／プッシュトークの着信があったとき
  - メールを受信したとき（受信・自動送信表示設定が「通知優先」の場合）
  - iモード問合せを行ったとき
  - 目覚ましやスケジュールで指定した日時になったとき
  - ミュージックプレイヤーと同時に使用できない機能が実行されたとき
    マルチタスクの組み合わせ→P516
- 同時に多くの機能を利用すると、再生中の曲が途切れる場合があります。
- 電池残量が2以下になると再生するかどうかの確認画面が表示されます。「はい」を選択すると再生できます。

## ❖音楽データに再生制限が設定されているとき

音楽データに再生制限が設定されている場合は、再生を開始する前に確認画面が表示されます。再生制限の種類と確認する内容は次のとおりです。

**回数制限**

| 状態 | 確認内容 |
|---|---|
| 再生回数残あり | 「あと×回（×／総再生回数）再生可能です。再生しますか？」と表示されます。 |
| 規定回数再生済み | 「再生可能回数が終了しました。削除しますか？」と表示されます。 |

**期限制限**

| 状態 | 確認内容 |
|---|---|
| 期限内 | 確認画面は表示されません。 |
| 期限後 | 「再生可能期限が切れました。削除しますか？」と表示されます。 |

**期間制限**

| 状態 | 確認内容 |
|---|---|
| 期間内 | 確認画面は表示されません。 |
| 期間前 | 「再生可能日前です。再生できません」と表示されます。を押すと、次の曲を再生します。次の曲がないときは、音楽データ一覧画面に戻ります。 |
| 期間後 | 「再生可能期限が切れました。削除しますか？」と表示されます。 |

再生期限（うた・ホーダイ）

| 状　態 | 確認内容 |
|---|---|
| 期限内 | 確認画面は表示されません。 |
| 期限後 | 「再生期限の更新が必要なデータがあります。携帯電話／FOMAカード（UIM）の製造番号を送信し、サイトに接続しますか？」または「再生するには再生期限の更新が必要です。携帯電話／FOMAカード（UIM）の製造番号を送信し、サイトに接続しますか？」と表示されます。[MENU]を押すとサイトに接続して再生期限を更新します。サイトに接続する際にはパケット通信料がかかります。 |

- 着うたフル®の残り再生回数、再生期限、再生期間は詳細情報で確認できます。
- 日付・時刻を変更しても、再生制限の期限や期間は変更できません。

✔お知らせ

- うた・ホーダイの再生期限には、再生期限が過ぎた後でも数日間の猶予期間が設定されている場合があります。この期間中は、再生期限情報を更新しなくても利用できます。猶予期間を過ぎたファイルを利用しようとすると、ライセンス更新の画面が表示されます。
- うた・ホーダイをダウンロードした際に使用していたFOMAカードと異なる電話番号のFOMAカードを挿入し再生期限の更新を行っても、うた・ホーダイは再生できません。
- うた・ホーダイをダウンロードした際に使用していたFOMAカードと異なる電話番号のFOMAカードを挿入して（FOMA端末譲渡の場合など）ミュージックプレイヤーを使用する場合は、データ一括削除を実施することをおすすめします。→P441
- 着信音やアラーム音に設定したうた・ホーダイが再生不可能になった場合は、デモ再生や着信時、アラーム鳴動時にお買い上げ時の音が鳴ります。
- 国際ローミング中の再生期限の更新にかかるパケット通信料はパケ・ホーダイまたはパケ・ホーダイフルの適用対象外です。
- 再生期限が切れるか確認できなくなったことにより再生できなくなったWMAファイルは、パソコンで再生期限内であることを確認し、FOMA端末をパソコンに接続して同期をとると再生できます。→P405
- 時差のある海外では、うた・ホーダイの再生期限は現地時間で表示されます。日本時間で再生期限が過ぎると、表示されている現地時間に関わらず再生できなくなりますのでご注意ください。

## フォルダ・プレイリスト・音楽データの管理

### ◆音楽データを移動する

FOMA端末本体とmicroSDメモリーカードの間で音楽データを移動します。

- 着うたフル®のみ移動できます。

〈例〉音楽データを1件移動する

**1 プレイリスト以外の音楽データ一覧画面で移動させたい音楽データにカーソルを合わせて[MENU]▶[4]▶[1]または[2]**

- microSDメモリーカードからFOMA端末本体へ移動させる場合は[1]を、FOMA端末本体からmicroSDメモリーカードへ移動させる場合は[2]を押します。

**2 [1]▶「はい」を選択**

音楽データが移動され、[本体]と[SD]が切り替わります。

フォルダ内の複数の音楽データを移動する：
[2]▶移動する音楽データを選択▶[□]▶「はい」を選択

フォルダ内のすべての音楽データを移動する：
[3]▶「はい」を選択

✔お知らせ

- 再生中は音楽データを移動できません。
- 着信音に設定されている音楽データをFOMA端末本体からmicroSDメモリーカードへ移動すると、着信音はお買い上げ時の設定に戻ります。
- 部分的に保存した着うたフル®は移動できません。

### ◆音楽データを削除する

〈例〉音楽データを1件削除するとき

**1 プレイリスト以外の音楽データ一覧画面で削除したい音楽データを選択▶[MENU]▶[5]**

**2 [1]▶「はい」を選択**

フォルダ内の複数の音楽データを削除する：
[2]▶削除する音楽データを選択▶[□]▶「はい」を選択

フォルダ内のすべての音楽データを削除する：
[3]▶認証操作▶「はい」を選択

✔お知らせ

- 再生中は音楽データを削除できません。
- フォルダ内にあるすべての音楽データを削除すると、そのフォルダも削除されます。ただし、トップフォルダ内の「プレイリスト」「アーティスト」「アルバム」「ジャンル」「年」「全曲」の各フォルダは削除されません。
- 着信音に設定されている音楽データを削除すると、着信音はお買い上げ時の設定に戻ります。

## ◆プレイリストを作成する

プレイリストとは音楽データをひとまとめにして演奏順などを管理するものです。

- プレイリストはFOMA端末本体に最大20件、microSDメモリーカードに最大100件保存できます。
- パソコン上でプレイリストを作成して音楽データとともに転送することもできます。→P405

**1** フォルダ一覧画面でプレイリストフォルダを選択▶MENU▶1

**2** プレイリストの名前を入力▶📖［登録］

音楽データが入っていないプレイリストが作成されます。

- プレイリストの名前にはあらかじめ「playlistYYYYMMDD」（YYYYMMDDはプレイリストを作成する年月日）が入力されています。
- 全角で最大8文字、半角で最大16文字まで入力できます。

**✔お知らせ**

- 最大件数を超えるときは、プレイリストを削除するかどうかの確認画面が表示されます。保存する場合は、画面の指示に従って保存されているプレイリストを削除してください。

## ◆登録する音楽データからプレイリストを作成する

〈例〉音楽データを1件登録したプレイリストを作成するとき

**1** プレイリスト以外の音楽データ一覧画面で登録する音楽データにカーソルを合わせてMENU▶3 1 1

複数の音楽データを登録する：音楽データ一覧画面でMENU▶3 1 2▶登録する音楽データを選択▶📖

フォルダ内のすべての音楽データを登録する：音楽データ一覧画面でMENU▶3 1 3

**2** プレイリストの名前を入力▶📖［登録］

- 全角で最大8文字、半角で最大16文字まで入力できます。

## ◆プレイリストに音楽データを登録する

- FOMA端末本体で作成したプレイリストは1つあたり100件、パソコンから転送したプレイリストには1つあたり400件の音楽データを登録できます。
- パソコンから転送したプレイリストにはFOMA端末本体の操作では音楽データの登録ができません。

### ❖登録するプレイリストから操作する

〈例〉音楽データを1件登録するとき

**1** 登録したいプレイリストを選択▶MENU▶3 1

**2** 1▶登録する音楽データがあるフォルダを選択▶登録する音楽データを選択

フォルダ内の複数またはすべての音楽データを登録する：2または3▶登録する音楽データがあるフォルダを選択▶登録する音楽データを選択▶📖

- 「全件登録」を選択して音楽データがあるフォルダを選択すると、フォルダ内のすべての音楽データが選択されています。

### ❖音楽データをプレイリストに追加する

〈例〉音楽データを1件追加登録するとき

**1** プレイリスト以外の音楽データ一覧画面で登録する音楽データにカーソルを合わせてMENU▶3 2 1

複数の音楽データを登録する：音楽データ一覧画面でMENU▶3 2 2▶登録する音楽データを選択▶📖

フォルダ内のすべての音楽データを登録する：音楽データ一覧画面でMENU▶3 2 3

**2** 音楽データを追加するプレイリストを選択

音楽データがプレイリストの最後の行に追加されます。

### ❖音楽データの登録されていないプレイリストに音楽データを登録する

**1** 音楽データの登録されていないプレイリストを選択▶「はい」を選択

**2** 登録する音楽データがあるフォルダを選択▶登録する音楽データを選択▶📖［登録］

## ◆プレイヤー画面で音楽データをクイックプレイリストに登録する

クイックプレイリストは、再生中または一時停止中の曲を簡単な操作で登録できる専用のプレイリストです。

- クイックプレイリストはお買い上げ時に登録されています。新規に作成することはできません。
- クイックプレイリストには最大100件登録できます。

**1 プレイヤー画面で[■]を2回押す**

登録されると確認音が鳴ります。

**✔お知らせ**

- クイックプレイリストの削除や名前の変更はできません。
- クイックプレイリスト内の音楽データの操作は他のプレイリストと同様に行えます。
- プレイリストから再生しているときは、[■]でクイックプレイリストに登録できません。

## ◆プレイリストから音楽データを解除する

- クイックプレイリストやプレイリストから音楽データを解除しても、音楽データ自体は削除されません。
- パソコンから転送したプレイリストからは音楽データの解除ができません。

〈例〉音楽データを1件解除するとき

**1 プレイリスト内の音楽データ一覧画面で解除する音楽データにカーソルを合わせて[MENU]▶[3][2][1]**

複数の音楽データを解除する：プレイリスト内の音楽データ一覧画面で[MENU]▶[3][2][2]▶解除する音楽データを選択▶[□]

すべての音楽データを解除する：プレイリスト内の音楽データ一覧画面で[MENU]▶[3][2][3]

**2 「はい」を選択**

## ◆プレイリストを削除する

- クイックプレイリストは削除できません。

**1 フォルダ一覧画面でプレイリストフォルダを選択▶削除するプレイリストにカーソルを合わせて[MENU]▶[3]▶「はい」を選択**

## ◆プレイリストの名前を変更する

- クイックプレイリストおよびパソコンから転送したプレイリストの名前は変更できません。

**1 フォルダ一覧画面でプレイリストフォルダを選択▶名前を変更するプレイリストにカーソルを合わせて[MENU]▶[4]**

**2 プレイリストの名前を入力▶[□]［登録］**

- 全角で最大8文字、半角で最大16文字まで入力できます。

## ◆プレイリストをコピーする

**1 フォルダ一覧画面でプレイリストフォルダを選択▶コピーするプレイリストにカーソルを合わせて[MENU]▶[2]**

- microSDメモリーカードのプレイリストをコピーするときは、[2]を押し「はい」を選択します。コピーされたプレイリストはFOMA端末で作成されたプレイリストとして本体に保存されます。

## ◆音楽データの表示順を変更する〈ソート〉

音楽データを指定した方法で並べ替えます。

**1 音楽データ一覧画面で[MENU]▶[6]**

**2 下記の各項目を選択して設定▶[□]［登録］**

**対象**：並べ替えの方法を「トラック番号」「表示名」「アーティスト」「アルバム」「ジャンル」「年」「保存日時」「実メモリサイズ」「取得元」「タイトル」から選択します。

**順序**：並び順を「昇順」「降順」から選択します。

**✔お知らせ**

- 再生中はソートできません。
- クイックプレイリストやプレイリスト内ではソートはできません。

## ◆プレイリスト内の曲順を自由に並べ替える

- クイックプレイリスト、またはFOMA端末本体で作成したプレイリストでのみ並べ替えができます。

**1 プレイリストの音楽データ一覧画面で[MENU]▶[3][3]**

**2 順番を移動する音楽データにカーソルを合わせて[■]または[✉]**

**3 [□]［登録］を押す**

## ◆音楽データを着信音に設定する

音楽データ全体を着信音にする「まるごと着信音」と、音楽データの一部分のみを着信音にする「オススメ着信音」があります。

- WMAファイルは着信音に設定できません。

〈例〉FOMA端末本体の音楽データをまるごと着信音に設定するとき

**1** 音楽データ一覧画面で設定する音楽データにカーソルを合わせて[MENU]▶[1]

**2** [1]～[9]▶[1]

- メモリ指定着信音（電話、メール）に設定するときは、メモリ指定着信音を設定する電話帳データを選択して、[📖]を押します。

**FOMA端末本体の音楽データをオススメ着信音に設定する：[1]～[9]▶[2]▶設定する部分を選択**

- [📖]を押すと、設定する部分が再生できます。

**microSDメモリーカードの音楽データをまるごと着信音に設定する：[1]～[9]▶[1]▶確認画面で「はい」を選択**

音楽データがFOMA端末本体に移動され、着信音に設定されます。

**microSDメモリーカードの音楽データをオススメ着信音に設定する：[1]～[9]▶[2]▶設定する部分を選択▶確認画面で「はい」を選択**

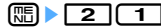
音楽データの選択した部分がコンテンツ移行対応のｉモーションとしてFOMA端末本体のｉモーションフォルダに保存され、着信音に設定されます。

- 「ミュージック（会員制）」の音楽データを設定すると、音楽データがFOMA端末本体に移動されます。

**✔お知らせ**

- 詳細情報（→P413）のまるごと着信音設定およびオススメ着信音設定が「不可」になっているミュージックは着信音に設定できません。
- 再生中は着信音を設定できません。

## ◆音楽データの詳細情報を表示する〈詳細情報表示〉

**1** 音楽データ一覧画面で詳細情報を確認する音楽データにカーソルを合わせて[MENU]▶[2][1]

**2** [✣]で確認する情報を選択

- 次の情報が確認できます。

**曲情報**

- 表示名※1
- タイトル※2
- アーティスト
- アルバム
- 年
- ジャンル
- コメント※9
- オリジナルタイトル※3、9
- トラック番号※4
- 再生時間

**権利情報**

- 作曲者※9
- 作詞者※9
- 権利者
- 権利情報※9
- 販売元
- レーベル※9

**ファイル情報**

- ファイル名※5
- 実メモリサイズ（バイト）
- 消費メモリサイズ（バイト）
- 保存日時
- ファイル種別※6
- 音※7
- 取得元※8
- URL情報※9

**可否情報**

ファイル制限※9：「あり」と表示します。

再生制限※9：制限の有無を表示します。制限に達したときにはその旨を表示します。

まるごと着信音設定※9：まるごと着信音への設定の可否を表示します。

オススメ着信音設定※9：オススメ着信音への設定の可否を表示します。

保存可能ジャケット画像※9：保存可能なジャケット画像の有無を表示します。

保存可能画像※9：保存可能な音楽データ中の画像の有無を表示します。

保存可能歌詞※9：保存可能な歌詞の有無を表示します。

本体／microSDへの移動※9：FOMA端末本体またはmicroSDメモリーカードへの移動の可否を表示します。
著作権管理：著作権管理の有無を「あり」「なし」で表示します。WMAファイルでのみ表示されます。
※1 音楽データ一覧画面で表示される名前を表示します。
※2 プレイヤー画面で表示されるタイトルを表示します。
※3 音楽データのオリジナルの名前を表示します。
※4 アルバム内の曲番号／アルバム内総曲数を表示します。
※5 拡張子は表示されません。
※6 ファイルの種別を「WMA」、「ミュージック」、「ミュージック（会員制）」で表示します。「WMA」はWMAファイル、「ミュージック」は着うたフル®、「ミュージック（会員制）」は毎月定額料金を払う会員制のサイトからダウンロードした着うたフル®（うた・ホーダイ）を示します。
※7 音楽データの形式とビットレートを表示します。WMAファイルではビットレートは表示されません。
※8 音楽データの取得元を「iモード」「データ交換」で表示します。「iモード」はiモードサイトからダウンロードした音楽データ、「データ交換」はMTPモードで転送した音楽データを示します。
※9 WMAファイルでは表示されません。

- 詳細情報のファイル情報を表示中に[メニュー]を押すと、URL情報に表示されているサイトに接続するかどうかの確認画面が表示されます。「はい」を選択するとサイトに接続します。

### 音楽データの詳細情報を変更する：

**① 音楽データ一覧画面で詳細情報を変更する音楽データにカーソルを合わせて**
**[メニュー]▶[2][2]**

- 詳細情報の表示中に[編集]を押しても、詳細情報を変更できます。→P413

**② 変更する項目を選択▶変更内容を入力**

- 変更できる項目と最大入力文字数は次のとおりです。

| 項　目 | 最大入力文字数 |
|---|---|
| 表示名 | 全角・半角を問わず最大50文字 |
| タイトル | 全角・半角を問わず最大128文字 |
| アーティスト | |
| アルバム | |
| 年 | 4桁※ |
| ジャンル | 全角・半角を問わず最大128文字 |
| コメント | |
| トラック番号 | 4桁※ |
| 総トラック数 | |

※ 半角数字のみ入力できます。

- 「表示名を自動作成」を選択すると表示名が「タイトル名-アーティスト名」に変更されます。
- 「オリジナルに戻す」を選択すると、ボタンの上の項目がダウンロード時の情報に戻ります。

**③ [編集]を押す**

### ✔お知らせ

- 一時停止している音楽データの詳細情報を変更すると、次にミュージックプレイヤーを起動したときに先頭からの再生が行われない場合があります。
- WMAファイルの詳細情報は変更できません。
- 再生中は詳細情報を変更できません。

## ◆音楽データに含まれた画像や歌詞を表示する

- JPEG形式、GIF形式の画像を表示できます。
- ジャケット画像は1枚、画像は2枚、歌詞は7枚まで表示できます。
- 画像や歌詞は保存することもできます。
- 歌詞は画像データとして保存されます。

**1** 音楽データ一覧画面で画像や歌詞を表示する音楽データにカーソルを合わせて MENU ▶ 2 3

- プレイヤー画面で再生中または一時停止中に操作するときは MENU 2 を押します。

**2** 1 ～ 3

全画面で表示する：i を押す

- 複数の画像や歌詞がある場合は、◎で前後の画像や歌詞を表示できます。
- 元の表示に戻すときは、ch/クリア、MENU、i、📖、✉のいずれかを押します。

保存する：画像や歌詞を表示中に📖

- 画像や歌詞はマイピクチャの「ｉモード」フォルダに保存されます。

### ✔お知らせ

- 画像や歌詞によっては保存できない場合があります。
- WMAファイルでは、データに埋め込まれたジャケット画像のみ表示できます。
- WMAファイルではジャケット画像の保存はできません。

## ◆WMAファイルを一括して削除する〈WMA一括削除〉

**1** トップフォルダ内のフォルダ一覧画面で MENU ▶ 1 ▶ 認証操作

**2** 「はい」を選択

microSDメモリーカードに保存されたWMAファイルとプレイリストが削除されます。

### ✔お知らせ

- WMA一括削除を行うと、microSDメモリーカードのWMフォルダ、WM_SYSTEMフォルダとフォルダ内に保存されているすべてのデータが削除されます。ミュージックプレイヤーで利用しないデータも削除されますのでご注意ください。
- 再生中はWMA一括削除はできません。

動作設定

## ミュージックプレイヤーの設定

【お買い上げ時】 一覧の画像表示：なし 音量：レベル20 リピート再生：全曲リピート シャッフル：OFF サラウンド：OFF イコライザ：ノーマル

**1** フォルダ一覧画面または音楽データ一覧画面で MENU ▶「動作設定」を選択

**2** 下記の各項目を選択して設定 ▶ 📖［登録］

**一覧の画像表示**：音楽データ一覧画面の表示を設定します。「あり」に設定するとジャケット画像表示になり、「なし」に設定するとリスト表示になります。

**音量**：◎またはサイドキー［▲▼］を押して再生音量を調整します。

**リピート再生**：フォルダ内の音楽データの繰り返し再生の方法を「OFF」「1曲リピート」「全曲リピート」から選択します。

**シャッフル**：フォルダ内の曲をシャッフルして再生するかどうかを設定します。

**サラウンド**：サラウンド再生にするかどうかを設定します。

**イコライザ**：再生時にかける効果を設定します。効果の種類は次のとおりです。

- ノーマル
- バス1※1
- バス2※2
- ロック
- ジャズ
- ボーカル
- クラシック
- ポップ
- トレイン※3

※1 低音を強調します。
※2 イヤホンで聴くときに不足しがちな重低音を補います。
※3 イヤホンなどで聴くときの音漏れを軽減します。

### ✔お知らせ

- この設定はミュージックプレイヤーを終了しても保持されます。

## マイク付リモコンを使う

**マイク付リモコンのスイッチでミュージックプレイヤーの操作ができます。**

[▶/II]（1秒以上）※1：起動※2／終了

[▶/II]：再生／一時停止

[▶/II]（プレイヤー画面で2回押す）※1：再生中または一時停止中の曲をクイックプレイリストに登録

[+][−]（プレイヤー画面）：音量調整

[+][−]（フォルダ一覧画面、プレイリスト一覧画面、音楽データ一覧画面）：カーソル移動

[+]（1秒以上）：次の曲に移動

[−]（1秒以上）※3：曲の先頭に移動

[◀HOLD]（▼方向へスライド）：[▶/II]、[+]、[−]のキー操作無効

（▼と逆側へスライド）：キー操作無効を解除

※1 クイックプレイリスト登録時またはミュージックプレイヤー終了時に確認音が鳴ります。

※2 FOMA端末を折り畳んでいるときのみ有効です。

※3 曲の始まりから3秒以内に操作すると前の曲に移動します。

**✔お知らせ**

- FOMA端末の電源を入れ直したり、前回再生した曲の削除や詳細情報の変更を行ったりするなどして前回再生した曲の情報がないときは、[▶/II]でミュージックプレイヤーを起動すると、ミュージックフォルダ直下にある「全曲」フォルダ内の最初の曲から再生されます。
- [☎/☎]はミュージックプレイヤーでは使用しません。
- 操作キーが1つだけのスイッチ付イヤホンマイクやステレオイヤホンセットは、ミュージックプレイヤーでは使用できません。

# その他の便利な機能

マルチアクセス

## マルチアクセスについて

**マルチアクセスとは、音声電話、パケット通信、SMSの3つの機能を同時に使用できる機能です。**

- タスク表示領域には、動作中の機能を示すアイコンが表示されます。
- 動作中の機能を切り替えながら操作できます。→P419
- 同時に使用できる機能は次のとおりです。
  - 音声電話：1通信
  - iモード、iアプリ、iモードメール、パソコンとつないだパケット通信：いずれか1通信
  - SMS：1通信
- マルチアクセスの組み合わせ→P514

### ◆マルチアクセスでできる主な操作

#### ❖通信中に音声電話を受ける

〈例〉iモード中に音声電話を受けるとき

**1 iモード中に電話がかかってくる**

- 音声電話がかかってきたときの画面は、優先通信モード設定によって異なります。

**2 [通話]を押す**

電話がつながります。

- サイト表示を終了するにはサイト画面で[終話]を押して「はい」を選択し、通話を終了するには通話中画面で[終話]を押します。

#### ❖通信中に他の通信を行う

接続中の通信を中断せずに、別の通信を同時に行えます。

〈例〉音声電話中にiモードに接続するとき

**1 音声電話中に[MULTI]▶[2][1]**

新規起動メニュー

- サイト画面を表示したまま通話できます。スピーカーホン機能を利用すると、画面を見ながら通話できます。
- サイト表示を終了するにはサイト画面で[終話]を押して「はい」を選択し、通話を終了するには通話中画面で[終話]を押します。

〈例〉音声電話中にiモードメールを送信するとき

**1 音声電話中に[MULTI]▶[1][2]**

- メール作成画面を表示したまま通話できます。スピーカーホン機能を利用すると、画面を見ながら通話できます。
- メール作成を終了するにはメール作成画面で、通話を終了するには通話中画面で、[終話]を押します。

**2 iモードメールを作成して送信**

iモードメールを送信すると通話中画面に戻ります。

**✔お知らせ**

- マルチアクセス中はそれぞれの通信について通信料金がかかります。

マルチタスク

## マルチタスクについて

**マルチタスクとは、複数の機能を同時に実行し、画面を切り替えながら操作できる機能です。**

- タスク表示領域には、動作中の機能を示すアイコンが表示されます。
- 動作中の機能を切り替えながら操作できます。→P419
- 同時に実行できる機能は2つまでです。ただし、ダイヤル発信、プロフィール情報、マナーモード設定／解除（通話中、お預かりセンターに接続中を除く）は、他の機能が2つ実行されていても起動できます。
- 機能によっては同時に起動できない場合や制限のある場合があります。
- マルチタスクの組み合わせ→P516

### ◆新しい機能を実行する

通話中や通信中などの機能を実行中に別の機能を実行できます。

〈例〉通話中にスケジュールを表示・登録するとき

**1 通話中に[MULTI]▶[7][1]**

- スケジュール画面を表示したまま通話できます。スピーカーホン機能を利用すると、画面を見ながら通話できます。

**2 スケジュールを表示して登録**

- スケジュールを終了するにはスケジュール画面で、通話を終了するには通話中画面で、[終話]を押します。

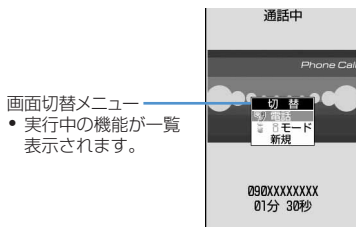
✔お知らせ

- 動画やアニメーションの再生中、カメラの操作中、ワンセグの視聴中、ミュージックプレイヤーの再生中などにメールを自動受信するなど、同時に多くの機能を実行すると、画面がスムーズに動作しない場合や、再生中の音声が途切れる場合があります。

## ◆操作する機能を切り替える

複数の機能を実行中に[MULTI]を押すと画面切替メニューが表示され、画面を切り替えながら操作できます。

〈例〉音声電話中画面からサイト画面へ切り替えるとき

**1** 音声電話中に[MULTI]▶「ｉモード」を選択

- 通話中画面に戻すには、もう一度[MULTI]を押し、画面切替メニューから「電話」を選択します。
- 画面切替メニュー表示中に[MENU]を押すと新規起動メニューが表示され、新しい機能を起動できます。もう一度[MENU]を押すと画面切替メニューに戻ります。

✔お知らせ

- 画面切替メニューは、メニュー項目に表示される名称と異なる場合があります。

## ◆実行中のすべての機能を終了する

マルチタスクを実行中の全機能を一度に終了します。

**1** マルチタスク中に[MULTI]▶[📖]▶「はい」を選択

自動電源ON／OFF設定

## 自動的に電源を入れる／切る

【お買い上げ時】［自動電源ON設定］自動電源ON：OFF
［自動電源OFF設定］自動電源OFF：OFF

指定した時刻にFOMA端末の電源を自動的に入れたり、切ったりします。

〈例〉自動電源ON設定を設定するとき

**1** [MENU]▶[8][7][2][2]

- 自動電源OFF設定を設定するときは[MENU][8][7][2][3]を押します。

**2** 下記の各項目を選択して設定▶[📖]［登録］

**自動電源ON**：自動電源ONを設定／解除します。
**時刻**：自動的に電源を入れる時刻を入力します。
**繰り返し**：自動電源ONの繰り返しの動作を設定します。

✔お知らせ

- 自動電源OFF設定を「ON」に設定しても、待受中以外のときに指定した時刻になった場合には、電源は切れません。動作中のそれぞれの機能を終了した後、電源が切れます。
- 病院、医療機関、航空機の中など携帯電話の使用を禁止された所では、電源を切るだけではなく、自動電源ON設定を「OFF」に設定してください。

お知らせタイマー

## 簡単な操作でタイマーを設定する

[MENU]▶[7][6]

【お買い上げ時】03分

タイマーでお知らせするまでの時間（分）を待受画面で入力して設定します。指定した時間が経過すると、音や画面表示などでお知らせします。

**1** タイマーでお知らせするまでの時間（分）を入力▶[✉]または[MENU][1]

お知らせタイマーのカウントダウン画面が表示され、カウントダウンが始まります。

- 時間は1～60分の範囲で入力します。
- カウントダウン中にFOMA端末を折り畳むと、背面ディスプレイにタイマーが鳴るまでの残り時間が表示され、カウントダウンを継続します。
- カウントダウン中に[CLR]または[■]を押すと、終了するかどうかの確認画面が表示されます。確認画面表示中もカウントダウンは継続します。

### ❖指定した時間が経過すると

ディスプレイに次の画面が表示され、音量設定の目覚まし音量で設定した音量で、お買い上げ時に登録されているメロディの「目覚まし時計」が鳴ります。また、バイブレータ設定の目覚まし鳴動時や着信イルミネーションの電話着信の動作を設定している場合は、その設定に従って動作します。
FOMA端末を折り畳んでいるときは、背面ディスプレイに It's Time! と「時間です」のメッセージが表示されます。

- タイマーが鳴っているときに[キー]を押すと、タイマーが終了します。
- 約1分間何も操作しないか、[キー]やサイドキー［▼］以外のキーを押すと、タイマーが停止します。
- FOMA端末を折り畳んでいるときに鳴動中のタイマーを停止するには、サイドキー［▲］、[キー]、[キー]のいずれかを押します。

### ✔お知らせ

- 通話中（通話保留中の場合は保留解除後）やプッシュトーク通信中に指定した時間になると、タイマーの音ではなく警告音が鳴り、タイマーが停止した画面が表示されます。
- 次の場合に指定した時間になると、操作や動作が終了した後、タイマーが鳴動したり、タイマーが停止した画面が表示されたりします。
  - 電話、プッシュトークの発着信中、呼出中、切断中
  - 64Kデータ通信の発着信中
  - データ転送モード中
  - 赤外線リモコン使用中

目覚まし

## 指定した時刻に目覚ましを鳴らす

**指定した時刻になったことを、目覚まし音などでお知らせします。**

- 最大9件登録できます。

**1** [MENU] ▶ [7][3] ▶ [1]～[9]

- 設定中の目覚ましは、タイトルの左に[アイコン]が表示されます。

目覚ましを設定／解除する：**タイトルにカーソルを合わせて[MENU]**

- 押すたびに設定／解除されます。

**2** **下記の各項目を選択して設定**

**時刻**：目覚ましを設定する時刻を入力します。
**繰り返し**：目覚ましの繰り返しの動作を設定します。
- 「曜日指定」を選択したときは、「曜日選択」を選択し、目覚ましを鳴らす曜日を選択して[キー]を押します。

**タイトル**：目覚ましのタイトルを入力します。
- 全角で最大7文字、半角で最大14文字入力できます。

**スヌーズ**：スヌーズ動作を設定します。
- 「あり」に設定すると、目覚ましを終了するまで、1分間鳴った後4分間停止する動作を30分間繰り返します。

**3** **[キー]で音設定画面に切り替え ▶ 下記の各項目を選択して設定**

**目覚まし音（アラーム）**：指定した時刻になったときの目覚まし音を設定します。
- 「iモーションを選択」、「メロディを選択」または「ミュージックを選択」を選択した場合は、目覚まし音を選択します。
- 「端末設定に従う」に設定すると、音設定の目覚まし音の設定に従います。

ミュージックの設定→P121

**音量**：目覚ましの音量を設定します。
- 「設定する」を選択した場合は、音量を調整します。
- 「端末設定に従う」に設定すると、音量設定の目覚まし音量の設定に従います。

**4** **[キー]でその他設定画面に切り替え ▶ 下記の各項目を選択して設定**

**バイブレータ**：指定した時刻になったときの振動を設定します。
- 「選択する」を選択した場合は、バイブレータの種類を選択します。
- 「端末設定に従う」に設定すると、バイブレータ設定の目覚まし鳴動時の設定に従います。

**イルミネーションパターン**：指定した時刻になったときのランプの点灯パターンを設定します。
- 「メロディ連動」に設定すると、イルミネーションカラーは設定できません。

メロディ連動→P146「電話／メールの着信やトルカ取得の点灯パターンと点灯色を設定する」操作2

**イルミネーションカラー**：ランプの点灯色を設定します。

**5** **[キー]［登録］を押す**

- 目覚ましを設定すると、待受画面に[アイコン]または[アイコン]（スケジュールアラームも設定しているとき）が表示されます。

### ❖指定した時刻になると

ディスプレイに次の画面（または設定した動画／iモーション）が表示され、設定に従って動作します。FOMA端末を折り畳んでいるときは、背面ディスプレイに［ （●） ］と時刻が表示されます。

- 目覚ましが鳴っているときに［■］を押すと目覚ましが終了し、鳴る前の画面に戻ります。
- 約1分間何も操作しないか、［■］やサイドキー［▼］以外のキーを押すと、目覚ましが停止します。スヌーズを「あり」に設定している場合はスヌーズ動作になります。
- スヌーズ動作で停止しているときは、ディスプレイに「スヌーズ中 Snooze」と表示（動画／iモーションを設定している場合は最初のコマが表示）され、ランプがゆっくり点滅します。
- 目覚まし停止中に［chクリア］または［■］を押すと、目覚ましは終了します。スヌーズ動作で停止しているときは［■］を押すと終了します。
- FOMA端末を折り畳んでいるときに目覚ましを停止するには、サイドキー［▲］、■、■のいずれかを押します。

#### ✔お知らせ

- 同時刻に複数の目覚ましを設定していると、目覚まし一覧の最も小さい項目番号に設定している目覚ましが動作します。
- 目覚ましとスケジュールアラームを同じ日時に設定していると、目覚ましが鳴った後すぐに停止またはスヌーズ動作となり、続けてスケジュールアラームが通知されます。［■］を押すとスケジュールアラームは終了しますが、目覚ましは停止またはスヌーズ動作になります。
- 通話中（通話保留中の場合は保留解除後）やプッシュトーク通信中に指定した時刻になると、目覚まし音ではなく警告音が鳴り、目覚ましの画面が表示されます。
- 次の場合に指定した時刻になると、操作や動作が終了した後、目覚ましが動作します。
  - 電話、プッシュトークの発着信中、呼出中、切断中
  - 64Kデータ通信の発着信中
  - データ転送モード中
  - 赤外線リモコン使用中
- キャラ電を表示しているときに指定した時刻になると、目覚ましが数秒遅れることがあります。
- 目覚まし音に設定したデータを削除した場合は、「端末設定に従う」に設定されます。

アラーム自動電源ON設定

## アラームが鳴る時刻に自動的に電源が入るように設定する

【お買い上げ時】OFF

**目覚ましやスケジュールで指定した日時に電源が入っていなかったとき、アラームが鳴るように電源を自動的に入れるかどうかを設定します。**

**1** ［MENU］▶［8］［7］［2］［5］▶［1］または［2］

#### ✔お知らせ

- 電池パックが外れてしまった場合など、電源を切る操作や自動電源OFF設定以外で電源が切れると、本機能は動作しません。
- 病院、医療機関、航空機の中など携帯電話の使用を禁止された所では、電源を切るだけではなく、本機能を「OFF」に設定してください。

スケジュール帳

## スケジュールを管理する

**仕事の予定などを登録します。指定した日時になると画面表示やアラームでお知らせします。**

### ◆カレンダーを表示する

［MENU］▶［7］［1］

**1** ［📖］（1秒以上）

- 画面の見かたは次のとおりです。

カレンダー画面

**①用件アイコン**
- 複数のスケジュールを登録した日付は、最も早い時刻に登録したスケジュールの用件アイコンが表示されます。
- ワンセグの視聴予約を登録している場合は■が表示されます。→P329

**②カーソル位置の日付に登録したスケジュール一覧**
- 一覧の見かたはデイリービュー画面（→P425）と同じです。

**③スケジュールを4件以上登録している場合**

- 当日はピンクやオレンジ、土曜日は青や水色、休日・祝日は赤などで表示されます。
- ✥を押して日付を移動します。●を押すとデイリービュー画面が表示されます。
- [i]を押して前月、[✉]を押して翌月に切り替えます。

特定の日を指定して表示する（日付移動）：**カレンダー画面で[MENU]▶[4][2]▶年月日を入力**
- 当日に戻すときは[MENU][4][1]を押します。
- デイリービュー画面から操作する場合は[MENU][5][2]を押します。当日に戻すときは[MENU][5][1]を押します。

**✔お知らせ**
- カレンダーは2000年1月1日から2060年12月31日まで表示できます。
- コーディネイト／きせかえの設定やスクリーン設定により、表示される色は異なる場合があります。
- カレンダー画面を横画面で表示すると、スケジュール一覧は表示されません。
- カレンダーの祝日設定は、「国民の祝日に関する法律の一部を改正する法律（平成17年5月20日・法律第43号）」に基づいています（2007年6月現在）。ただし、春分の日・秋分の日は、前年2月1日の官報で発表されるため、カレンダーの表示と異なる場合があります。また、上記法律は2007年1月から施行されていますが、2006年までの一部の祝日、振替休日については、改正前の日付で表示されないため、ご注意ください。

## ◆カレンダーの表示形式を設定する〈カレンダーモード設定〉

【お買い上げ時】 動作モード：マンスリーモード　表示モード：ノーマルモード

**1** **[📖]（1秒以上）▶[MENU]▶[6][1]▶下記の各項目を選択して設定▶[📖]［登録］**

**動作モード**：✥を押して日付を移動したときのカレンダーの表示方法を設定します。
- 「マンスリーモード」に設定すると、1か月ごとに画面が切り替わり、「スライドモード」に設定すると、1週間ごとに画面がスクロールします。

**表示モード**：1週間の始まり（左側に表示）の曜日を設定します。
- 「ノーマルモード」に設定すると日曜日、「ビジネスモード」に設定すると月曜日になります。

## ◆休日を設定する〈休日設定〉

会社や学校の休日を設定します。
- 最大30件設定できます。

〈例〉日付を指定して休日を設定するとき

**1** **[📖]（1秒以上）**

**2** **休日にする日付にカーソルを合わせて[MENU]▶[6][2][1]**

カレンダー画面の日付の色が変わります。
- 毎年繰り返して休日にするときは[MENU][6][2][2]を押します。

休日設定を解除する：**休日設定を解除する日付にカーソルを合わせて[MENU]▶[6][2][3]**
- すべての休日設定を解除するときは[MENU][6][2][4]を押します。

曜日を指定して休日を設定する：
**① [MENU]▶[6][3]▶休日に設定する曜日を選択**
- 日曜日以外の曜日を選択したり、日曜日の選択を解除したりすると、ガイド表示領域に「リセット」が表示されます。お買い上げ時の状態に戻すときは[MENU]を押します。

**② [📖]を押す**

## ◆祝日を設定する〈祝日設定〉

祝日を変更したり、新規に登録したりできます。
- 最大5件新規登録できます。

**1** **[📖]（1秒以上）▶[MENU]▶[6][4]**

**2** **[📖]を押す**

祝日を変更する：**変更する祝日を選択▶操作3に進む**

祝日を削除する：**削除する祝日にカーソルを合わせて[MENU]▶「はい」を選択**
- お買い上げ時に設定されている祝日は削除できません。

**3** **下記の各項目を選択して設定▶[📖]［登録］**

**祝日名**：祝日名を入力します。
- 全角で最大11文字、半角で最大22文字入力できます。
- お買い上げ時に設定されている祝日名は変更できません。

**表示**：祝日を表示するかどうかを選択します。
- 「ON」に設定すると、カレンダー画面では祝日に設定した日付の色が変わり、カーソルを合わせるとカレンダー画面上部に祝日名が表示されます。デイリービュー画面では㊗と祝日名が表示されます。

**日付**：祝日に設定する日付を入力します。
- お買い上げ時に設定されている祝日の日付を変更するときは、「カスタマイズ」を選択してから日付を入力します。

## ◆スケジュールを登録する

仕事や遊びの予定などを登録します。同じ日に複数のスケジュールを登録できます。

- 最大登録件数→P541

**1 [m]（1秒以上）▶スケジュールを登録する日付にカーソルを合わせて[m]**

- デイリービュー画面で[m]を押しても、スケジュールを登録できます。

**2 下記の各項目を選択して設定**

**(用件アイコン)**：用件アイコンを選択します。

**予定（内容入力欄）**：選択した用件アイコンに対応した予定の内容が表示されます。必要に応じて変更します。

- 内容変更後に用件アイコンを変更しても、内容は変更されません。
- 全角で最大100文字、半角で最大200文字入力できます。

**終日**：時間を指定せずに終日のスケジュールとして設定するときは「ON」を選択します。

**開始日時**：スケジュールの開始日時を入力します。

**終了日時**：スケジュールの終了日時を入力します。

- 開始日時よりも後の日付に設定すると、カレンダー画面には、設定した日付の右上に が表示されます。また、カレンダー画面のスケジュール一覧、デイリービュー画面、スケジュール詳細画面それぞれの用件アイコンの下に が表示されます（長期間スケジュール）。

**要約・メモ**：スケジュールの詳細などを入力します。

- 全角で最大300文字、半角で最大600文字入力できます。

**3 [o]でメンバーリスト選択画面に切り替え▶「〈メンバーリスト選択〉」を選択▶電話帳から登録するメンバーを選択**

- 最大5名登録できます。
- 電話帳の1件目に登録されている電話番号、メールアドレス、URLが登録されます。
- メンバーを削除するときは、削除するメンバーにカーソルを合わせて[CLR]を押します。

**4 [o]でアラーム設定画面に切り替え▶下記の各項目を選択して設定**

**アラーム（スケジュールアラーム）**：アラームを設定するときは「あり」を選択し、アラーム音を選択します。

- 「iモーションを選択」、「メロディを選択」または「ミュージックを選択」を選択した場合は、アラーム音を選択します。
- 「端末設定に従う」に設定すると、音設定のスケジュール音の設定に従います。

ミュージックの設定→P121

**予告アラーム**：スケジュールの開始日時より前に予告アラームを鳴らすときは「あり」を選択します。

- 予告アラーム音の選択方法はアラームと同じです。

**予告アラーム時間（分前）**：スケジュールの開始日時の何分前に予告アラームを鳴らすかを設定します。

**5 [o]でその他の設定画面に切り替え▶下記の各項目を選択して設定**

**繰り返し**：スケジュールの繰り返しの動作を設定します。

- スケジュールの開始年月日を「31日」やうるう年の「2月29日」などに設定し、繰り返し設定を「毎月」または「毎年」を選択した場合など該当する日が存在しない月や年には、その月、年の月末（「30日」や「2月28日」など）が繰り返し日となります。
- 「曜日指定」を選択したときは、「曜日選択」を選択し、アラームを鳴らす曜日を選択して[m]を押します。
- 繰り返しを設定すると、カレンダー画面には、設定した日付の右上に が表示されます。また、カレンダー画面のスケジュール一覧、デイリービュー画面、スケジュール詳細画面それぞれの用件アイコンの下に が表示されます（繰り返しスケジュール）。

**イメージ**：スケジュールアラーム画面にイメージを表示するときは、「あり」を選択して「画像選択」を選択し、画像を選択します。
- Flash画像は設定できません。
- 「なし」を設定したときは、お買い上げ時のイメージが表示されます。

## 6 [登録]を押す

- アラームや予告アラームを設定したスケジュールを登録すると、待受画面にまたは（目覚ましも設定しているとき）が表示されます。

### ❖待受画面からスケジュールを登録する

カレンダー画面を表示せず、待受画面から簡単なキー操作でスケジュールを登録できます。

## 1 スケジュールを登録する日時を8桁の数字で入力▶[スケジュール]

スケジュールの新規作成画面が表示されます。
- 5月24日9時4分の場合、0 5 2 4 0 9 0 4と入力します。
- 時間2桁、分2桁の4桁を入力すると、当日の新規作成画面が表示されます。ただし、現在の時刻より前の時刻を入力した場合は、翌日の日付の新規作成画面が表示されます。

以降の操作→P423「スケジュールを登録する」操作2以降

**✔お知らせ**
- スケジュール帳に登録した内容は、別にメモを取るなどして保管してください。パソコンをお持ちの場合は、データリンクソフトとFOMA USB接続ケーブル（別売）を利用して、パソコンに保管できます。
- スケジュールをmicroSDメモリーカードにバックアップできます。ただし、ワンセグの視聴予約はバックアップできません。
- スケジュールアラームと予告アラームに設定したデータを削除した場合は、「端末設定に従う」に設定されます。
- スケジュール帳からワンセグの視聴予約を登録できません。

### ❖指定した日時になると

ディスプレイに日時、スケジュールの内容、設定したイメージが表示され、音量設定のスケジュール音量で設定した音量でアラームが鳴ります。また、バイブレータ設定のスケジュール鳴動時や着信イルミネーションの電話着信の動作を設定している場合は、その設定に従って動作します。

FOMA端末を折り畳んでいるときは、背面ディスプレイにアラーム起動時刻とスケジュールの内容が表示されます。

- アラームが鳴っているときにを押すとアラームが終了し、鳴る前の画面に戻ります。
- 約1分間何も操作しないか、やサイドキー［▼］以外のキーを押すと、イメージを設定していた場合はディスプレイの表示はそのままで、動画／iモーションを設定していた場合は最初のコマが表示されてアラームなどが停止します。
- アラームが停止しているときに●を押すと、スケジュール詳細画面が表示されます。
- FOMA端末を折り畳んでいるときにアラームを停止するには、サイドキー［▲］、、のいずれかを押します。

**✔お知らせ**
- 終日を「ON」に設定して登録したスケジュールは、指定した日の0時にスケジュールアラームが動作します。
- イメージにパラパラマンガを設定している場合は、最初のコマが表示されます。
- 同じ日時に複数のスケジュールを設定している場合、アラームを停止してからを押すと、同じ日時に設定していた他のスケジュールの内容を確認できます。
- スケジュールアラームと目覚ましを同じ日時に設定していると、目覚ましが鳴った後に続けてスケジュールアラームが通知されます。
- 通話中（通話保留中の場合は保留解除後）やプッシュトーク通信中に指定した日時になると、アラームではなく警告音が鳴り、スケジュールアラーム画面が表示されます。
- 次の場合に指定した日時になると、操作や動作が終了した後、アラームが動作します。ただし、データ通信でスケジュールデータを受信した場合は動作しません。
  - 電話、プッシュトークの発着信中、呼出中、切断中
  - 64Kデータ通信の発着信中
  - データ転送モード中
  - 赤外線リモコン使用中
- キャラ電を表示しているときに指定した日時になると、アラームが数秒遅れることがあります。

## ◆スケジュールアラームの初期値を設定する〈アラーム初期値設定〉

【お買い上げ時】 通常登録時、待受画面から登録時：アラームあり

新規登録するスケジュールのスケジュールアラームの初期値を変更できます。

- 初期値を変更しても、登録済みのスケジュールの設定は変更されません。

**1** **[📖]（1秒以上）▶[MENU]▶[6][5]▶下記の各項目を選択して設定▶[📖]［登録］**

**通常登録時**：カレンダー画面からスケジュールを登録するときのスケジュールアラームの初期値を設定します。

**待受画面から登録時**：待受画面からスケジュールを登録するときのスケジュールアラームの初期値を設定します。

## ◆登録したスケジュールを確認する

スケジュールの追加や変更、削除を行います。

**1** **[📖]（1秒以上）▶確認するスケジュールの登録日を選択**

- 画面の見かたは次のとおりです。

デイリービュー画面

**①用件アイコン、開始時刻～終了時刻、予定**
**②視聴予約アイコン、開始時刻～終了時刻、チャンネル、番組名**

- デイリービュー画面で[◎]を押すと、日付が切り替わります。

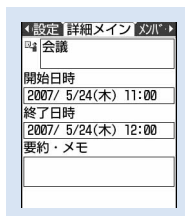
**用件の種類を指定してスケジュールを表示する（用件別表示モード）：**

**①デイリービュー画面で[MENU]▶[4][2]**

- 元の表示に戻す場合は[MENU][4][1]を押します。
- カレンダー画面から操作する場合は[MENU][3][2]を押します。元の表示に戻す場合は[MENU][3][1]を押します。

**②用件アイコンを選択**

カレンダー画面、デイリービュー画面の右上に選択した用件アイコンが表示され、その用件アイコンのスケジュールのみ表示されます。

**2** **確認するスケジュールを選択**

スケジュール詳細画面

**スケジュールを変更する：**

**①スケジュール詳細画面で[📖]**

- デイリービュー画面から操作する場合は、変更するスケジュールにカーソルを合わせて[MENU][2]を押します。

**②スケジュールの内容を変更▶[📖]▶「はい」を選択**

### ✔お知らせ

- 表示中のスケジュールの内容に電話番号、メールアドレス、URLが含まれている場合は、Phone To（AV Phone To）、Mail To、Web To機能を利用できます。
- ワンセグの視聴予約は、用件別表示モードで表示したり、詳細画面を表示したりできません。また、スケジュール帳からワンセグの視聴予約を変更できません。

## ❖スケジュールをコピーして貼り付ける

- 長期間スケジュールまたは繰り返しスケジュールをコピーして貼り付けた場合は、設定している日数分のスケジュールが貼り付けられます。
- コピーしたスケジュールはスケジュール帳を終了するまで記録され、別の日付に何度でも貼り付けられます。ただし、記録できるのは1件のみで、新たにコピーすると内容は上書きされます。

**1** **[📖]（1秒以上）▶コピーするスケジュールの登録日を選択▶コピーするスケジュールにカーソルを合わせて[MENU]▶[6][1]**

**2** **[chクリア]▶スケジュールを貼り付ける日付にカーソルを合わせて[MENU]▶[5]**

- デイリービュー画面から操作する場合は、[MENU][6][2]を押します。

**✔お知らせ**

- ワンセグの視聴予約はコピーできません。

## ◆スケジュールからｉモードメールの操作を行う

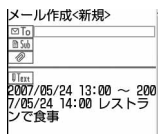
### ❖メールを作成する

メール本文に自動的にスケジュールを入力します。

- スケジュールはメール本文にDate To形式で入力されます。→P438

〈例〉デイリービュー画面から1件のスケジュールを入力してメール送信するとき

**1** **[本]（1秒以上）▶メール送信するスケジュールの登録日を選択**

**2** **メール送信するスケジュールにカーソルを合わせて[✉]［✉作成］**

- 選択した日付に登録されているすべてのスケジュールをメール送信するときは[MENU][7][1][2]を押します。
- 登録しているすべてのスケジュールをまとめてメール送信するときは[MENU][7][1][3]を押します。
- カレンダー画面から操作する場合は、[MENU][8][1]を押し、[1]または[2]を押します。
- スケジュール詳細画面から操作する場合は、[✉]を押します。

### ❖メールに添付する

スケジュールをメール本文に入力せず、1件のスケジュールデータとして添付します。

〈例〉デイリービュー画面から添付するとき

**1** **[本]（1秒以上）▶メール添付するスケジュールの登録日を選択**

**2** **メール添付するスケジュールにカーソルを合わせて[MENU]▶[7][1][4]**

- スケジュール詳細画面から操作する場合は[MENU][4][2]を押します。

### ❖メールを検索する

〈例〉カレンダー画面からメールを検索するとき

**1** **[本]（1秒以上）▶メール検索する日付にカーソルを合わせて[MENU]▶[8][2]▶[1]または[2]**

受信メールまたは送信メールの検索結果画面が表示されます。

- デイリービュー画面から操作する場合は[MENU][7][2]を押し、[1]または[2]を押します。

**✔お知らせ**

- メールを作成するとき、入力されるスケジュールがメール本文の最大文字数を超えた場合は、超過分が削除されます。
- 用件別表示モードに切り替え中は、表示されている用件だけがメール本文入力の対象になります。
- ワンセグの視聴予約は、メール本文に入力したり添付したりできません。
- 2in1がONでBモードのときは、受信メールの検索以外のメールに関する操作はできません。

## ◆スケジュールを削除する

〈例〉デイリービュー画面からスケジュールを削除するとき

**1** **[本]（1秒以上）▶削除するスケジュールの登録日を選択**

**2** **[MENU]▶[3]▶[1]～[4]**

- 「全件削除」を選択した場合は、認証操作を行います。
- カレンダー画面から操作する場合は、[MENU][2]を押し、[1]～[3]を押します。
- スケジュール詳細画面から操作する場合は、[MENU][3]を押します。

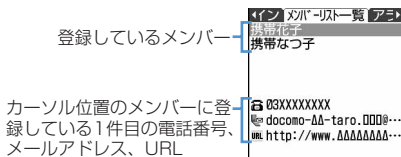
**3** **「はい」を選択**

**✔お知らせ**

- 長期間スケジュールまたは繰り返しスケジュールを削除すると、当日だけでなく長期間スケジュールまたは繰り返しスケジュールが含まれるすべての日から削除されます。
- 選択した日付を含む長期間スケジュールを登録している場合は、「1日削除」または「選択日前日まで削除」を選択すると、長期間スケジュールも削除するかどうかの確認画面が表示されます。
- 用件別表示モードに切り替え中は、表示されている用件だけが削除の対象となります。
- スケジュール帳からワンセグの視聴予約を削除できません。

## ◆メンバーリストを利用する

スケジュールに登録しているメンバーリストを選択して、電話をかけたり、メールを作成したりできます。

**1** [電話帳]（1秒以上）▶利用するスケジュールの登録日を選択▶利用するスケジュールを選択▶[Q]でメンバーリスト一覧画面を表示

**2** メンバーにカーソルを合わせて目的に応じた操作を行う

**音声電話をかける：**[発信]**を押す**

- テレビ電話をかけるときは[テレビ電話]を押します。
- [メニュー][4]を押すと、条件を設定して電話をかけられます。→P62

**ｉモードメールを作成する：**[メール]**を押す**

選択したメンバーのメールアドレスが宛先に設定され、スケジュールはDate To形式で本文に入力されます。

- メンバー全員にｉモードメールを送信するときは[メニュー][5][2]を押します。

**サイト表示する：**[メニュー]▶[6]▶「はい」**を選択**

- [6]を押した後に[テレビ電話]を押すと、フルブラウザで表示されます。

### ✔お知らせ

- 電話帳データに登録している2件目以降の電話番号やメールアドレスを利用するときは、メンバーリスト一覧画面からメンバーを選択して、電話帳の詳細画面から利用する電話番号またはメールアドレスを表示します。ここから、電話やプッシュトークをかけたり、ｉモードメールを作成したりできます。ただし、電話帳の詳細画面からｉモードメールを作成するとスケジュールは本文に入力されません。
- 2in1がONのときは、電話帳2in1設定に従って表示されます。
- 2in1がONでデュアルモードのときは、電話を発信すると発信番号選択画面が表示されます。「Aナンバー」または「Bナンバー」を選択します。
- 2in1がONでBモードのときは、メールに関する操作はできません。ただし、デュアルモードのときは、Aアドレスでメールを送信します。

## ◆他人に見られたくないスケジュールを守る〈シークレット属性〉

スケジュールにシークレット属性を設定します。プライバシーモード中（スケジュールを「指定スケジュール非表示」に設定した場合）は、シークレット属性を設定したスケジュールは表示されません。

- プライバシーモード中（スケジュールを「指定スケジュール非表示」に設定した場合）は、シークレット属性を設定したり、シークレット属性を設定しているスケジュールを修正したりできません。
- プライバシーモードの設定→P163

**1** [電話帳]（1秒以上）▶設定するスケジュールの登録日を選択▶設定するスケジュールにカーソルを合わせて[メニュー]▶[9]

- 解除するときは、スケジュールにカーソルを合わせて[メニュー][9]を押します。
- スケジュール詳細画面から操作する場合は、[メニュー][6]を押します。

### ✔お知らせ

- シークレット属性を設定したスケジュールは、プライバシーモード中（スケジュールを「指定スケジュール非表示」に設定した場合）は次のようになります。
  - スケジュールアラームは動作しません。
  - 登録件数確認で表示される件数に含まれません。
  - スケジュールの「全件削除」を行うと、非表示のスケジュールも削除されます。
- ワンセグの視聴予約はシークレット属性を設定できません。

## ◆スケジュールの登録件数を確認する〈登録件数確認〉

**1** [電話帳]（1秒以上）▶[メニュー]▶[7]

スケジュールデータと休日設定の件数が表示されます。

### ✔お知らせ

- スケジュールデータの件数に視聴予約は含まれません。

セレクトメニュー

## よく使う機能を登録する

[MENU] ▶ [8][2][2][2]

**お買い上げ時に[MENU]を押して表示されるノーマルメニューの他に、よく使う機能や電話帳データなどのメニュー項目を自由に登録して、自分だけのメニューを作れます（セレクトメニュー）。**

- セレクトメニューの1階層目に登録した機能は、待受画面で対応するダイヤルキー（[1]～[9]）を1秒以上押すことで起動できます。ただし、下の階層があるメニュー、人物、グループを登録した場合は、ダイヤルキーを1秒以上押しても起動できません。
- メニュー設定の起動メニューを「セレクト」に設定すると、待受画面で[MENU]を押したときセレクトメニューが表示されます。

### ❖テンプレートを読み込む

あらかじめ用意されている4種類のテンプレートのいずれかを読み込んで、セレクトメニューを設定します。

**1** [MENU] ▶ [📖]

**2** [MENU] ▶ [7][1] ▶ [1]～[4]

**スタンダード（お買い上げ時）**：ミュージックプレイヤー、スイング設定、指紋のみ認証設定、開閉ロック、プライバシーモード設定、2in1モード切替、ホーム、現在地確認

**セキュリティ**：開閉ロック、プライバシーモード設定、ICカードロック、ICカードロック時動作設定、ICカードオートロック設定、指紋登録、指紋のみ認証設定、パスワードマネージャー

**カスタマイズ**：コーディネイト／きせかえ、ライフスタイル設定、待受画面選択、ディスプレイ回転操作音、文字サイズ設定、フォント選択、ダウンロード辞書、クイック返信本文登録

**ユーザデータ**：Bookmark、画面メモ、スケジュール帳、メモ帳、目覚まし、単語登録、定型文、microSD

**3** **認証操作 ▶「はい」を選択**

- セレクトメニューのメニュー項目をすべて削除している場合は、認証操作の後、テンプレートが読み込まれます。

### ◆セレクトメニューを作成する

- セレクトメニューの1つの階層には最大9個のメニュー項目が登録できます。

**1** [MENU] ▶ [📖]

**2** **メニュー項目を登録**

人物を追加登録する：[MENU] ▶ [1][1] ▶ **電話帳から登録する人物を選択**

人物が登録されます。

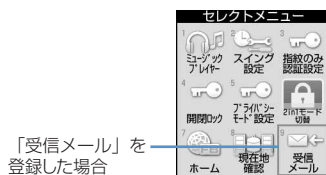
- 画像を設定していない電話帳データや、Flash画像、動画／iモーションを設定している電話帳データをセレクトメニューに登録すると、あらかじめ登録されている人物アイコンがメニュー画面に表示されます。

機能を追加登録する：

① [MENU] ▶ [1][2]

機能選択画面

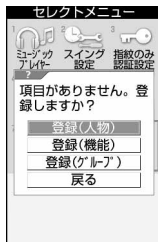
- 機能選択画面は、メニュー設定のノーマルの設定に従った表示形式で表示されます。ただし、ノーマルを「アニメーション」「シンプル」「きせかえツールに従う」に設定している場合は、機能選択画面が「タイルアイコン」で表示されます。

② **登録するメニュー項目にカーソルを合わせて[📖]**

メニュー項目が登録されます。

- 下の階層がないメニュー項目を登録するときは、項目番号に対応するダイヤルキーを押すか、メニュー項目を選択すると登録できます。

グループを追加登録する：
① [MENU] ▶ [1][3] ▶ グループ名を入力
- 全角で最大9文字、半角で最大18文字入力できます。

② [本] を押す

グループ内にメニュー項目を追加登録する：
セレクトメニューは3階層までです。2階層目のグループ内（3階層目）は、グループを登録できません。
① グループを選択
- グループ内にメニュー項目を登録していないときは項目選択画面が表示されます。

項目選択画面

② [MENU] ▶ [1] ▶ [1]～[3] ▶ 登録の操作を行う

登録済みのメニュー項目に上書き登録する：
① 上書きするメニュー項目にカーソルを合わせて [MENU] ▶ [2]
② [1]～[3] ▶ 登録の操作を行う
- グループに上書きするときは上書きするかどうかの確認画面が表示されます。「はい」を選択すると、グループ内に登録したメニュー項目はすべて削除されます。

## ◆セレクトメニューを利用する

セレクトメニューを利用して、機能を実行したり、人物に電話をかけたりします。
- セレクトメニュー使用中もショートカット操作ができます。セレクトメニュー使用時のショートカット操作は、メニュー設定のセレクトメニューショートカットの設定に従います。→P142

**1** [MENU] ▶ [本]

**2** メニュー項目を選択
- 機能を選択すると、設定した機能が起動します。下の階層がある場合は、メニュー項目が表示されます。
- 人物を選択すると、電話発信や詳細情報の確認などができます。→P429「人物を利用する」操作2
- グループを選択すると、グループ内に登録したメニュー項目が表示されます。

### ❖人物を利用する

**1** [MENU] ▶ [本]

**2** 人物にカーソルを合わせて目的に応じた操作を行う

音声電話をかける：[発信] を押す
- テレビ電話をかけるときは [テレビ電話] を押します。
- 電話番号を2件以上登録している場合は、電話帳の詳細画面から利用する電話番号を選択します。
- 人物を選択して [1] を押すと、条件を設定して電話をかけられます。→P62
電話番号を2件以上登録している場合は、人物を選択して [1] を押し、利用する電話番号を選択すると、同様に操作できます。

iモードメールを作成する：[✉] を押す
- メールアドレスを2件以上登録している場合は、電話帳の詳細画面から利用するメールアドレスを選択します。

SMSを作成する：[✉]（1秒以上）
- 電話番号を2件以上登録している場合は、電話帳の詳細画面から利用する電話番号を選択します。

サイトを表示する：人物を選択 ▶ [4] ▶「はい」を選択
- [4] を押した後に [テレビ電話] を押すと、フルブラウザで表示されます。

詳細情報を表示する：人物を選択 ▶ [5]

✔お知らせ
- メニュー項目に設定した人物とグループは、カーソルを合わせても機能説明は表示されません。
- 2in1がONのときは、メニュー項目に設定した人物は電話帳2in1設定に従って表示されます。
- 2in1がONでデュアルモードのときは、電話を発信すると発信番号選択画面が表示されます。「Aナンバー」または「Bナンバー」を選択します。
- 2in1がONでBモードのときは、メールに関する操作はできません。ただし、デュアルモードのときは、AアドレスでメールをAナンバーでSMSを送信します。

## ◆セレクトメニューを編集する

セレクトメニューに表示されるメニュー項目の表示順やアイコンの変更、グループ名の変更やメニュー項目の削除を行います。

**1** [MENU] ▶ [本]

**2** 編集するメニュー項目にカーソルを合わせて目的に応じた操作を行う

メニュー項目を入れ替える：[MENU] ▶ [4] ▶ 入れ替え先のメニュー項目を選択 ▶「はい」を選択

アイコンを変更する：[MENU]▶[5]▶アイコンを選択
- アイコンを元に戻すには[MENU][5][□]を押します。

グループ名を変更する：[MENU]▶[6]▶グループ名を変更▶[□]

メニュー項目を削除する：[MENU]▶[3]▶「はい」を選択
- グループを削除するとグループ内のメニュー項目も削除されます。

### ◆セレクトメニューをリセットする

セレクトメニューを新規に作成するときなどに行います。

**1** [MENU]▶[□]

**2** [MENU]▶[7][2]▶認証操作▶「はい」を選択

- 登録内容がすべて削除された後に[●]を押すと、項目選択画面が表示されます。

スイング設定

## ディスプレイを回転させて起動／操作する機能を設定する

【お買い上げ時】 待受画面表示中（右）：ワンセグ　待受画面表示中（左）：静止画撮影　メール本文・文字入力中（右）：顔文字　メール本文・文字入力中（左）：デコメピクチャ　音声電話着信中：縦で応答

**ディスプレイを左右に90度回転させると特定の機能を起動したり操作したりできるように、あらかじめ設定できます。**

**1** [MENU]▶[8][7][1]▶下記の各項目を選択して設定▶[□]［登録］

- 「設定なし」に設定すると、機能の起動や操作は行いません。

**待受画面表示中（右）／待受画面表示中（左）**：待受画面表示中に、縦画面の状態で右または左回転させると起動する機能を「新規メール」「受信メールフォルダ一覧」「フルブラウザ（ホーム）」「ワンタッチｉアプリ」「マイピクチャ」「ｉモーション」「マイドキュメント」「ミュージック」「その他」「静止画撮影」「動画撮影」「バーコードリーダー」「メモ帳」「電卓」「ワンセグ」から選択します。

**メール本文・文字入力中（右）／メール本文・文字入力中（左）**：文字入力中に、縦画面の状態で右または左回転させると呼び出される入力機能を「デコメピクチャ」「顔文字」「定型文」「パスワード引用」「絵文字」「記号」から選択します。

**音声電話着信中**：横画面の状態のとき、縦に回転させることで音声電話に出られるようにするかどうかを設定します。
- 横画面の状態から音声電話に出られるときは「(スイング)」と表示されます。ただし、伝言メモ動作中は「(スイング)」と表示されませんが、音声電話に出ることができます。

### ❖スイング設定の入力機能を利用する

**1 縦画面の状態で文字入力画面を表示する**

**2 ディスプレイを左または右に90度回転させる**

横画面になると、スイング設定で設定した入力機能が呼び出され、文字や記号の選択画面が表示されます。
- 文字の変換中は、入力機能を呼び出せません。

**3 文字や記号にカーソルを合わせてディスプレイを縦画面に戻す**

文字入力画面に戻り、カーソルを合わせた文字や記号が入力されます。
- 横画面のまま文字や記号を選択しても入力できます。

**✔お知らせ**
- 待受画面表示中（右）／待受画面表示中（左）に「その他」を設定すると、データBOXの「その他」が起動します。
- 音声電話着信中を「縦で応答」に設定して回転操作で電話に出た場合は、回転音は鳴りません。
- カメラの使用中やデータの編集中、保存中は回転操作で電話に出られない場合があります。
- 文字入力画面によっては、設定した入力機能を呼び出せない場合があります。

サイドキー長押し設定

## サイドキーを長押しして起動する機能を設定する

【お買い上げ時】 サイド上キー長押し：マナーモード設定／解除　サイド下キー長押し：ｉモード問合せ

**FOMA端末を折り畳んだ状態でサイドキー［▲▼］を1秒以上押したとき起動するように機能を設定します。**

**1** [MENU]▶[8][7][8]

**2 下記の各項目を選択して設定▶[登録]**

**サイド上キー長押し／サイド下キー長押し**：サイドキー［▲▼］を1秒以上押したときに起動する機能を、「ICカードロック設定／解除」「iモード問合せ」「マナーモード設定／解除」「簡易ライト」から設定します。

- 「設定なし」に設定すると、機能は起動しません。

**✔お知らせ**

- 設定した機能は、背面ディスプレイの時計表示中（目覚ましの時計表示を除く）に起動できます。

簡易ライト

## 小型ライトとして使う

**FOMA端末のランプを小型ライトとして利用できます。**

- FOMA端末を折り畳んだ状態で操作してください。

**1 背面ディスプレイの照明が点灯中に▶サイドキー［▲▼］で「簡易ライト」にカーソルを合わせて**

ランプが約30秒間点灯します。

- FOMA端末を開いたり、、、サイドキー［▲▼］のいずれかを押すと、ランプは消灯します。
- サイドキー長押し設定で「簡易ライト」を設定した場合は、ランプの点灯中に「簡易ライト」を設定したサイドキーを1秒以上押すと、点灯時間が約30秒間延長します。

プロフィール情報

## 自分の名前などを登録する

▶4 9

【お買い上げ時】 あなたの名前、メールアドレス：－　自局電話番号：ご契約電話番号

**お客様の電話番号、名前、メールアドレスなどを登録します。**

**1 ▶0**

- 自局電話番号にはご契約の電話番号が表示されます。

**2 ▶認証操作▶各項目を選択して設定▶[登録]**

- 各設定項目→P101「FOMA端末電話帳に登録する」操作3以降（メモリ番号とグループは設定できません）
- 1件目の電話番号には、自局電話番号が表示されます。変更はできません。

**✔お知らせ**

- 自局電話番号はFOMAカードに登録されています。それ以外の項目は、FOMA端末に登録されます。
- プロフィール情報のメールアドレスを変更しても、iモードのメールアドレスは変更されません。また、iモードのメールアドレスを変更しても、プロフィール情報のメールアドレスは変更されません。
- 2in1がONでデュアルモードのときは、操作1の後にを押してAナンバーとBナンバーのプロフィール情報を切り替えられます。

### ◆プロフィール情報の詳細を確認する

**1 ▶0▶▶認証操作**

詳細画面が表示されます。

- を押すたびに、詳細画面が切り替わります。
- 登録した電話番号に発番号設定を設定している場合は、タイトル表示「プロフィール情報」の右側にが表示されます。

プロフィール情報の詳細画面

基本情報を表示する：▶8 1
1件目に登録した電話番号やメールアドレスなどが表示されます。

詳細画面の表示を切り替える：
MENU▶8 2▶1～3
各設定項目→P109「詳細画面の表示を切り替える」

登録内容を編集する：MENU▶2▶プロフィール情報を編集して[保存]

登録内容をリセットする：MENU▶3▶「はい」を選択

✔お知らせ

- 2in1がONのときは、表示中のプロフィール情報のみリセットされます。

## ◆プロフィール情報の詳細を利用する

プロフィール情報の詳細画面から、電話をかけたりメールを作成したりできます。

**1** MENU▶0▶●▶認証操作

**2** 各詳細画面を表示して目的に応じた操作を行う

音声電話をかける：
①電話番号の詳細画面を表示
②[発信]または●
- テレビ電話をかけるときは[i]を押します。
- 自局電話番号には発信できません。
- MENU 4を押すと、条件を設定して電話をかけられます。→P62

発番号設定を設定する：
①電話番号の詳細画面を表示
②MENU▶7 1▶1～3

ｉモードメールを作成する：
①メールアドレスの詳細画面を表示
②[メール]または●
- メールアドレスを入れ替えるときは、MENU 7 2を押し、1件目にするメールアドレスを選択します。
- SMSを作成するときは、電話番号の詳細画面を表示して[メール]を押します。

サイトを表示する：URLの詳細画面を表示▶●▶「はい」を選択
- ●を押した後に[i]を押すと、フルブラウザで表示されます。

登録内容をコピーする：MENU▶5▶1～8
- 電話番号とメールアドレスは1件目に登録している内容がコピーされます。2件目の登録内容をコピーするときは、2件目の詳細画面を表示してMENU 5を押し、電話番号のときは2、メールアドレスのときは3を押します。

位置情報を利用する：位置情報の詳細画面を表示▶●
位置情報メニューが表示されます。→P313

✔お知らせ

- 2in1がONのときは、Aナンバーのプロフィール情報に登録した電話番号はAナンバーで、Bナンバーのプロフィール情報に登録した電話番号はBナンバーで発信します。
- 2in1がONでBモードのときは、メールに関する操作はできません。ただし、デュアルモードのときは、AアドレスでメールをAナンバーでSMSを送信します。

音声メモ／動画メモ

# 声や画像を録音／録画する

**通話中や待受中に声や画像を録音／録画できます。**

- 通話中音声メモと待受中音声メモは、それぞれ1件につき最大30秒、合わせて最大4件録音できます。
- 動画メモは、1件につき最大30秒録画できます。
- 圏外通知や番号変更案内などガイダンスによっては録音できない場合があります。

## ◆通話中に相手の声や画像を録音／録画する

- 音声電話中は通話相手の声のみ録音されます。テレビ電話中は相手の声と映像が録音／録画されます。

**1** 通話中にサイドキー［▲］（1秒以上）

録音または録画が開始されます。

音声電話中音声メモ　テレビ電話中動画メモ

- 動画メモ録画中は、テレビ電話画像選択の動画メモ画像の設定に従って、画像が相手に送信されます。
- 動画メモ録画中に●を押すと、録画時間の経過表示と通話時間表示が切り替わります。
- 残り約5秒になると、終了予告音（ピピッ）が鳴ります。終了時には「ピーッ」と音が鳴ります（開始時にこの音は鳴りません）。
- 録音または録画を途中で停止するときはサイドキー［▲］を1秒以上押します。
- 動画メモはｉモーションの「カメラ」フォルダに動画データとして保存されます。

✔お知らせ

- 電波の状態により、通話中音声メモや動画メモの録音内容が途切れたり、録画画像が乱れる場合があります。

## ◆待受中に自分の声を録音する

[MENU]▶[4][7][3]

- FOMA端末を開いている状態で操作してください。

**1** サイドキー［▲］（1秒以上）▶[3]

約3秒後に「ピーッ」と音が鳴り、録音が開始されます。

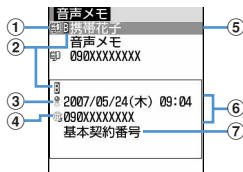
- 残り約5秒になると、終了予告音（ピピッ）が鳴ります。終了時には「ピーッ」と音が鳴ります。
- 録音を途中で停止するときは[●]、[CLR]、[スピーカー]のいずれかを押します。

## ◆音声メモを再生する

[MENU]▶[4][7][4]

- FOMA端末を開いている状態で操作してください。

**1** サイドキー［▲］（1秒以上）▶[4]

- 画面の見かたは次のとおりです。

①状態マーク
　[通話中マーク]：通話中音声メモ
　表示なし：待受中音声メモ
②Bナンバーの発着信（2in1がONでデュアルモードの場合）
③海外滞在時（GMT+09:00を除く）の音声メモマーク※1
④国際電話の通話中音声メモマーク
⑤電話番号※2／名前（電話帳に登録している場合）／発信者番号非通知理由／音声メモ（待受中音声メモの場合）
⑥カーソル位置の録音日時（海外滞在時は滞在地の日時）、電話番号※2／発信者番号非通知理由／音声メモ（待受中音声メモの場合）
⑦発着信したマルチナンバーの名称（マルチナンバーを利用している場合）

※1　録音日時が記録されていないときなど、表示されない場合があります。
※2　国際電話の場合は、電話番号の前に「+」が表示されます。

**2** 再生する音声メモを選択

音声メモが再生されます。

- 再生中は次の操作ができます。
  [Q]／サイドキー［▲▼］：音量調整
  [●]：停止
  [スピーカー]：スピーカーホン機能ON／OFFの切り替え

**音声メモを1件削除する：削除する音声メモにカーソルを合わせて[MENU]▶[2][1]▶「はい」を選択**

- 音声メモを全件削除するときは[MENU][2][2]を押し、認証操作を行い「はい」を選択します。

**音声電話をかける：通話中音声メモにカーソルを合わせて[発信]**

- テレビ電話をかけるときは[テレビ電話]を押します。
- [MENU][3]を押すと、条件を設定して電話をかけられます。ただし音声メモからプッシュトークはかけられません。→P62

**電話番号を電話帳に登録する：**

①**通話中音声メモにカーソルを合わせて[MENU]▶[4]または[5]**
②**[1]または[2]**
- 登録済みの電話帳データに追加するときは、登録先の電話帳データを選択します。

③**名前や電話番号などを登録**
　電話帳登録→P101、P103

**3** 「はい」または「いいえ」を選択

- 「はい」を選択すると、再生した音声メモが削除されます。

✔お知らせ

- 音声メモや動画メモの内容は、別にメモを取るなどして保管してください。FOMA端末の故障や修理、電話機の変更やその他の取り扱いによって、録音や録画の内容が消失してしまう場合があります。万一、録音や録画の内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- プライバシーモード中（電話帳・履歴を「指定電話帳非表示」に設定した場合）に「全件削除」を選択した場合、非表示の音声メモも削除されます。
- 2in1がONでAモードのときはAナンバーの通話で録音した通話中音声メモのみ、BモードのときはBナンバーの通話で録音した通話中音声メモのみが表示されます。デュアルモードのときは、すべての通話中音声メモが表示されます。
- 2in1がONのときは、待受中音声メモ、動画メモは2in1のモードに関わらず表示されます。
- 2in1がONでデュアルモードのときは、発着信時のナンバーに従って発信されます。

通話時間／通話料金

## 通話時間・料金を確認する

**音声電話、テレビ電話などの直前および積算の通話時間と通話料金を確認できます。**

- 通話時間は、音声電話通話時間、テレビ電話通話時間、64Kデータ通信時間に分けて表示され、かけた場合とかかってきた場合の両方がカウントされます。
- 通話料金はかけた場合のみカウントされます。ただし、フリーダイヤルなどの無料通話先や番号案内（104）などに通話した場合は、「0YEN」または「******YEN」と表示されます。
- 通話料金はFOMAカードに蓄積されるため、FOMAカードを差し替えてご利用になる場合、蓄積されている積算料金（2004年12月から積算）が表示されます。
  ※ 901iシリーズより前に発売されたFOMA端末でも通話料金はFOMAカードに蓄積されていますが、表示はできません。
- 表示される通話時間および通話料金はあくまで目安であり、実際の時間や料金とは異なる場合があります。
- 表示される通話料金に消費税は含まれていません。

### ◆通話時間を確認する

**1** MENU▶8 7 7 1

- 以前に通話時間を積算リセットした場合は、その時点からの積算時間が表示されます。

**直前通話時間**：直前に発着信した音声電話、テレビ電話、データ通信の通話時間または通信時間
**積算通話時間（音声）**：音声電話で通話した積算時間
**積算通話時間（テレビ電話）**：テレビ電話で通話した積算時間
**積算通話時間（データ）**：データ通信を行った積算時間
**前回リセット日時（音声）**：音声電話の積算時間を前回リセットした日時
**前回リセット日時（テレビ電話）**：テレビ電話の積算時間を前回リセットした日時
**前回リセット日時（データ）**：データ通信の積算時間を前回リセットした日時

積算通話時間をリセットする：**通話時間確認画面で**[m]**▶認証操作▶**1**〜**4**▶「はい」を選択**

- 通話時間確認画面に戻るときは[m]を押します。

### ◆通話料金を確認する

**1** MENU▶8 7 7 2 1

- 直前通話料金の情報がない場合は、「******YEN」と表示されます。
- 以前に通話料金を積算リセットした場合は、その時点からの積算料金が表示されます。

**直前通話料金（音声）**：直前に通話した音声電話の料金
**直前通話料金（テレビ電話）**：直前に通話したテレビ電話の料金
**直前通話料金（データ）**：直前に行ったデータ通信の料金
**積算通話料金**：音声電話、テレビ電話、データ通信の通話料金と通信料金の積算料金
**前回リセット日時**：積算通話料金を前回リセットした日時

積算通話料金をリセットする：**通話料金確認画面で**[m]**▶PIN2コードを入力▶「はい」を選択**

### ❖積算通話料金を自動的にリセットする〈通話料金自動リセット設定〉

【お買い上げ時】 OFF

積算通話料金を毎月1日0時に自動的にリセットするかどうかを設定します。

**1** **MENU ▶ 8 7 7 2 4 ▶ 認証操作 ▶ 1 または 2**

**2** **PIN2コードを入力**

#### ✔お知らせ

- 着信中や相手を呼び出している時間はカウントされません。
- 着もじの送信料金はカウントされません。
- プッシュトーク通信、iモード通信、パケット通信の通信時間や通信料金はカウントされません。iモード利用料などの確認方法については『ご利用ガイドブック（iモード〈FOMA〉編）』をご覧ください。
- WORLD CALL利用時の国際通話料はカウントされます。その他の国際電話サービス利用時はカウントされません。
- FOMA端末の電源を切ると、直前通話時間は保持されますが、直前通話料金は「******YEN」と表示されます。
- 直前および積算の音声電話通話時間やテレビ電話通話時間、データ通信時間が9999時間59分59秒を超えると、0秒に戻ってカウントされます。
- 通話中に音声電話とテレビ電話を切り替えた場合の直前通話料金には、音声電話、テレビ電話それぞれの合計額が表示されます。なお、切り替え中には、料金は加算されません。
- 2in1をご契約いただいている場合は、積算通話時間と積算通話料金にはAナンバーとBナンバーの合計が表示されます。
- 通話料金自動リセット設定を「ON」に設定しても、1日0時に電源が入っていないときや音声電話中、テレビ電話中の場合はリセットされません。それぞれ、電源が入った後、通話終了後にリセットされます。
- 通話料金自動リセット設定を「ON」に設定し、日付時刻設定で翌月以降の日時を設定したときは、その時点でリセットされます。
- 通話料金自動リセット設定を「ON」に設定すると、電源を入れるときにはPIN2コードの入力、日付時刻設定を行うときには認証操作が必要です。
- 通話料金自動リセット設定を「ON」に設定しても、設定時と異なるFOMAカードに差し替えて電源を入れると設定は解除されます。

## ◆通話料金の上限を通知する〈通話料金上限通知〉

【お買い上げ時】 通話料金上限通知：OFF

積算通話料金が設定した金額を超えたとき、アラームやアイコン表示などでお知らせします。

**1** **MENU ▶ 8 7 7 2 2 ▶ 認証操作 ▶ 下記の各項目を選択して設定 ▶ 📖［登録］**

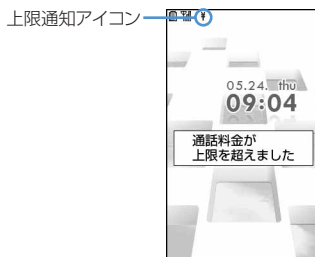
**通話料金上限通知**：上限金額を超えたとき通知するかどうかを設定します。

**料金上限（円）**：上限金額を10～100000円の範囲で、1円の位は省略して入力します。

**通知方法**：アラームとアイコンで通知するか、アイコンのみで通知するかを設定します。

**アラーム音**：通知に使うアラームをメロディから選択します。

**アラーム時間（秒）**：アラームが鳴る時間を1～60秒の範囲で設定します。

### ❖通話料金が上限を超えると

- 通話中または通信中に設定した料金の上限を超えると、ディスプレイ上部に¥が表示されます。
- 通知方法を「アラーム+アイコン表示」に設定した場合は、設定した料金の上限を超えた通話または通信を終了して待受画面に戻ると、設定したアラームが鳴り、ディスプレイに「通話料金が上限を超えました」と表示されます。ただし、FOMA端末を折り畳んで通話や通信を行っている場合や、FOMA端末を折り畳んで通話を終了した場合は、アラームは鳴りません。
- アラームは、音量設定の電話着信音量で設定した音量で鳴ります。

### ❖上限通知アイコンを消去する〈上限通知アイコン消去〉

**1** [MENU]▶[8][7][7][2][3]▶認証操作▶「はい」を選択

**✔お知らせ**

- 通知方法を「アラーム+アイコン表示」に設定していても、通話料金自動リセット設定を「ON」に設定しているときに、1日0時に通話料金の上限を超える通話を行った場合はアラームは鳴らず、メッセージも表示されません。
- 通話料金上限通知を「ON」に設定後に異なるFOMAカードに差し替えた場合でも、設定は保持されます。

電卓

## 電卓として使う

**FOMA端末で四則演算（+、−、×、÷）ができます。**

- 最大8桁入力できます。
- スケジュール帳やメモ帳の入力欄から電卓を利用し、その結果を元の画面の入力欄に貼り付けられます。→P449

**1** [MENU]▶[7][4]▶計算する

ダイヤルキー（[0]〜[9]）と[方向キー]（+、−、×、÷）を使って計算します。

電卓画面

- 入力した数字を1桁削除するときは[メール]を押します。
- 小数点を入力するときは[＊]を押します。
- 表示中の数字の+と−を切り替えるときは[#]を押します。
- 電卓画面には、FOMA端末のキーに割り当てられている操作が表示されます。

**2** [●]［=］を押す

計算結果が表示されます。

- [ch クリア]を押すと計算結果が削除されます。

計算結果をコピーする：[MENU]▶[1]

- コピーした数値を貼り付ける場合は[MENU][2]を押します。
- コピーした数値は電源を切るまで記録され、別の場所に何度でも貼り付けられます。ただし、記録できるのは1件のみで、新たにコピーすると数値は上書きされます。

**✔お知らせ**

- 計算結果の整数部分が8桁を超えたり、0で除算したりするとエラーとなり、「E」と表示されます。解除するには[ch クリア]を押します。小数点を含む数値が8桁を超える場合は、表示に収まらない小数部分が四捨五入されて表示されます。

メモ帳

## メモを作成する

**大切な情報や覚書などを、メモ帳に入力できます。**

- 最大登録件数→P541

**1** [MENU]▶[7][2]▶[本]

- メモ帳参照画面から操作する場合は、[MENU][1]を押します。

**2** 下記の各項目を選択して設定▶[本]［登録］

**種別アイコン**：種別アイコンを選択します。

- 選択したアイコンがメモ一覧やメモ帳参照画面に表示されます。

**メモ内容**：メモを入力します。

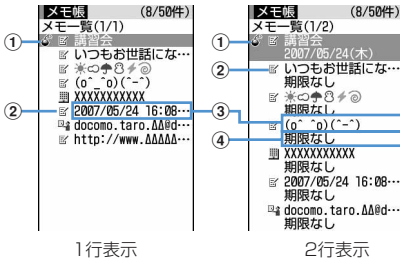
- 全角で最大1000文字、半角で最大2000文字入力できます。

**期限**：メモの期限を設定するときは「あり」を選択し、日付を入力します。

**✔お知らせ**

- メモ帳に登録した内容は、別にメモを取るなどして保管してください。パソコンをお持ちの場合は、データリンクソフトとFOMA USB接続ケーブル（別売）を利用して、パソコンに保管できます。
- メモ帳をmicroSDメモリーカードにバックアップできます。

## ◆メモを確認する

**1** [MENU]▶[7][2]

1行表示　　2行表示

① **状態マーク**
メモの期限の状態（完了／未完了）を表示します。
：未完了（期限の2日以上前）
：未完了（期限の1日前または当日）
：未完了（期限超過）
：完了
表示なし：期限なし
② **種別アイコン**
③ **メモ内容**
④ **期限**

1行表示／2行表示を切り替える：**メモ一覧で[i]**

種別アイコンを指定して表示する（アイコン別表示モード）：**メモ一覧で[MENU]▶[4][2]▶種別アイコンを選択**
メモ一覧の右上に選択した種別アイコンが表示され、その種別アイコンのメモのみ表示されます。
- 元の表示に戻す場合は[MENU][4][1]を押します。

完了／未完了を指定して表示する（完了状態別表示）：**メモ一覧で[MENU]▶[5]▶[2]または[3]**
完了メモ一覧または未完了メモ一覧が表示されます。
- 元の表示に戻す場合は[MENU][5][1]を押します。

完了／未完了を変更する：**メモ一覧で期限を設定しているメモにカーソルを合わせて[✉]**
- メモ帳参照画面から操作する場合は[MENU][4]を押します。

メモを並べ替える：**メモ一覧で[MENU]▶[6]▶下記の各項目を選択して設定▶[□]**
**対象**：並べ替えの方法を「作成日時」「更新日時」「期限」から選択します。
**順序**：メモの並び順を「昇順」「降順」から選択します。

iモードメールを作成する：**メモ一覧でメモにカーソルを合わせて[MENU]▶[7]**
- メモ帳参照画面から操作する場合は[MENU][5]を押します。

**2** **確認するメモを選択**

メモ帳参照画面

- メモ内容に電話番号、メールアドレス、URLが含まれる場合は、Phone To（AV Phone To）、Mail To、Web To機能を利用できます。

メモを変更する：**メモ帳参照画面で[□]**
- メモ一覧から操作する場合は、[MENU][2]を押します。

以降の操作→P436「メモを作成する」操作2

### ✔お知らせ

- 2in1がONでBモードのときは、メールに関する操作はできません。

## ◆メモからスケジュールを登録する

メモ帳の内容をスケジュール帳に登録するには、メモ帳のサブメニューから行う方法と、メモ内容に入力したDate To形式の記述を選択する方法があります。
- メモ内容は全角で300文字、半角で600文字スケジュール帳に反映されます。最大文字数を超えた場合、超過分は削除されます。

### ❖サブメニューからスケジュールに登録する

**1** **[MENU]▶[7][2]▶登録するメモにカーソルを合わせて[MENU]▶[8]**

スケジュール帳の要約・メモの入力欄にメモ内容が入力された画面が表示されます。開始日時と終了日時の日付は、メモの期限の設定によって異なります。
- メモ帳参照画面から操作する場合は、[MENU][6]を押します。

以降の操作→P423「スケジュールを登録する」操作2以降

### ❖Date To形式からスケジュールを登録する

Date To形式とは、次の形式の文字列で構成されます。項目はすべて必須です。

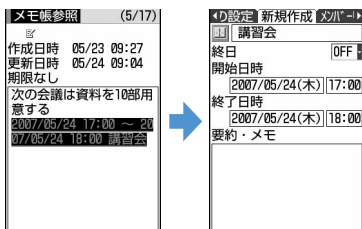
〈例〉 2007/05/24□17:00□～□2007/05/24□
開始年月日　開始時刻　終了年月日

18:00□ 講習会 ↵
終了時刻　内容　改行までが内容とみなされます。

※ □は半角空白を示します。画面には表示されません。

- 年月日と時刻はすべて半角文字で入力してください。
- 開始年月日、開始時刻、～（全角）、終了年月日、終了時刻、内容の間は半角空白で区切ります。
- 年は西暦、時刻は24時間制です。月、日、時、分が1桁のときは前に0を付ける必要はありません。
- 定型文を利用すると、簡単に現在日時のDate To形式の文をメモに入力できます。→P447

**1** **[MENU]▶[7][2]▶Date To形式で記述してあるメモを選択▶Date To形式の記述を選択**

スケジュールの新規作成画面が表示されます。

以降の操作→P423「スケジュールを登録する」操作2以降

### ◆メモを削除する

〈例〉メモを1件削除するとき

**1** **[MENU]▶[7][2]**

**2** **削除するメモにカーソルを合わせて[MENU]▶[3][1]**

- メモ帳参照画面から操作する場合は、[MENU][3]を押します。

複数削除する：**[MENU]▶[3][2]▶削除するメモを選択▶[メール]**

全件削除する：**[MENU]▶[3][3]▶認証操作**

完了したメモのみを全件削除する：**[MENU]▶[3][4]**

**3** **「はい」を選択**

✔**お知らせ**

- アイコン別表示モードや完了状態別表示に切り替え中は、表示されているメモだけが削除の対象となります。

辞典

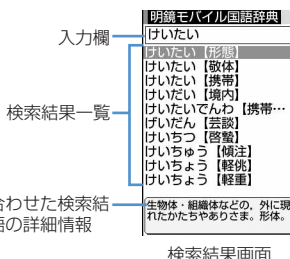
## 辞典を利用する

FOMA端末内の国語辞典、和英辞典、英和辞典を利用します。

〈例〉国語辞典で検索するとき

**1** **[MENU]▶[7][5]▶「明鏡モバイル国語辞典」を選択**

**2** **入力欄に検索する単語を入力**

[●]を押して文字入力画面から切り替わった時点で検索結果画面が表示されます。

検索結果画面

- 全角で最大20文字、半角で最大40文字入力できます。ただし、英和辞典はひらがな、カタカナ、漢字の単語を検索できません。
- 検索結果一覧にカーソルがあるとき、単語を入力するには[メール]を押します。

**3** **検索結果一覧から調べたい単語を選択**

詳細画面（単語の意味）が表示されます。

- 詳細画面で[MENU][1]を押すと、内容をコピーできます。
  コピー方法→P450「文字をコピー／切り取りする」操作2以降
- 検索結果画面または詳細画面で[MENU][2]を押し、「明鏡モバイル国語辞典」「Gモバイル和英辞典」「Gモバイル英和辞典」のいずれかを選択すると、検索した単語を別の辞典で検索できます。
- 単語によっては正しく検索できない場合があります。

### ◆検索履歴を利用する

〈例〉国語辞典から検索履歴を利用するとき

**1** [MENU]▶[7][5]▶「明鏡モバイル国語辞典」を選択

**2** [MENU]▶[1]

検索履歴が表示されます。
- 検索履歴は最大20件記録されます。20件を超えると、古いものから順に消去されます。

**3** 検索履歴から単語を選択

検索結果画面が表示されます。

検索履歴を1件削除する：削除する単語にカーソルを合わせて[MENU]▶[1]▶「はい」を選択

検索履歴を複数削除する：[MENU]▶[2]▶削除する単語を選択▶[📖]▶「はい」を選択

検索履歴を全件削除する：[MENU]▶[3]▶認証操作▶「はい」を選択

スイッチ付イヤホンマイク

## スイッチ付イヤホンマイクの使いかた

**イヤホンマイク端子に別売の平型スイッチ付イヤホンマイク（ステレオイヤホンセット含む）を接続すると、スイッチを押すだけで電話をかけたり、受けたりできます。**
- F904i付属のマイク付リモコン F01やイヤホンジャック変換アダプタ P001（別売）を使うと、市販のイヤホンマイクが使用できます。マイク付リモコン F01を使用する場合は[✉/📷]を押して操作します。
- スイッチを押してテレビ電話をかけたり、プッシュトークの操作をしたりできません。

### ◆スイッチ付イヤホンマイクを接続する

平型スイッチ付イヤホンマイクをFOMA端末に接続するには、イヤホンマイク端子のカバーを開け、平型スイッチ付イヤホンマイクの接続プラグを差し込んでください。→P25
- マナーモード中に平型スイッチ付イヤホンマイクを接続すると、イヤホン切替設定の設定に関わらずイヤホンから音が鳴ります（ただし、オリジナルマナーモード設定の各項目を「OFF」または「消音」に設定している場合は、音は鳴りません）。このとき、途中でイヤホンを抜くと、メロディは停止します。ｉアプリ、ワンセグ視聴、ミュージック、動画／ｉモーションなどは、消音で動作や再生を続けます。再度イヤホンを接続すると、イヤホンから音が鳴ります。

### ◆イヤホンマイクのスイッチ動作を設定する〈イヤホンスイッチ設定〉

【お買い上げ時】 イヤホンスイッチ設定：OFF

平型スイッチ付イヤホンマイクのスイッチで、音声電話を発信できるように設定します。
- イヤホンスイッチ発信→P439

**1** [MENU]▶[8][5][4][3]▶下記の各項目を選択して設定▶[📖]［登録］

**イヤホンスイッチ設定**：スイッチを音声電話の発信に使用するかどうかを設定します。

**電話帳メモリ番号**：イヤホンスイッチ発信で電話をかける相手をFOMA端末電話帳から検索して設定します。

### ◆スイッチを押して音声電話をかける〈イヤホンスイッチ発信〉

イヤホンスイッチ設定の電話帳メモリ番号に設定した相手には、平型スイッチ付イヤホンマイクのスイッチを押すだけで音声電話をかけられます。

**1** 「ピピッ」と音がするまで、スイッチを1秒以上押す

**2** 通話が終わったら、「ピッ」と音がするまでスイッチを1秒以上押す
- [終話]を押しても通話を終了できます。

**✔お知らせ**
- イヤホンスイッチ設定で設定した電話帳メモリ番号に複数の電話番号を登録している場合は、1件目に登録している電話番号に音声電話がかかります。
- イヤホンスイッチ設定で設定した電話帳メモリ番号の電話帳データを削除したり、メモリ番号の入れ替えや他の電話帳データで上書きしたりすると、イヤホンスイッチ設定は解除されます。
- 2in1がONのときは、電話帳2in1設定に従って発信されます。

### ◆スイッチを押して電話を受ける〈イヤホンスイッチ応答〉

**1** 電話がかかってきたら、「ピピッ」と音がするまでスイッチを1秒以上押す

**2** 通話が終わったら、「ピッ」と音がするまでスイッチを1秒以上押す
- [終話]を押しても通話を終了できます。

✔**お知らせ**

- テレビ電話を受けた場合、FOMA端末を開いているときはカメラ映像を送信し、FOMA端末を折り畳んでいるときはテレビ電話画像選択で設定した代替画像を送信します。
- 平型スイッチ付イヤホンマイクを接続して通話中にFOMA端末を折り畳んだ場合の動作は、次のとおりです。
  - 通話中クローズ設定の設定に関わらず通話を継続
  - テレビ電話中の場合は、相手にはテレビ電話画像選択で設定した代替画像を表示
  - カメラ映像にフレームを重ねて送信中の場合は、フレームは解除され、相手にはテレビ電話画像選択で設定した代替画像を表示
- キャッチホンをご契約でサービスを開始に設定している場合は、通話中にかかってきた音声電話に、スイッチを1秒以上押して出られます。キャッチホン中は、スイッチを1秒以上押すたびに通話相手を切り替えられます。

### ◆イヤホンをつないで自動で電話を受ける〈オート着信機能設定〉

【お買い上げ時】 自動着信機能：OFF

平型スイッチ付イヤホンマイクなどを接続しているときに着信があった場合、設定した呼出時間が経過すると自動的に応答するかどうかを設定します。
音声電話またはテレビ電話に自動的に応答すると、接続したイヤホンマイクなどから音声が聞こえます。

- 通話中の着信に対しては動作しません。
- 公共モード中は動作しません。

**1** **MENU▶8 5 4 2▶下記の各項目を選択して設定▶[辞書]［登録］**

**自動着信機能**：平型スイッチ付イヤホンマイクを接続しているときに自動的に応答するかどうかを設定します。
**自動着信機能時間（秒）**：自動的に応答するまでの時間を0～120秒の範囲で設定します。

✔**お知らせ**

- テレビ電話をオート着信で受けた場合、テレビ電話画像選択で設定した代替画像を送信し、自動的にテレビ電話を開始します。
- オート着信機能設定の自動着信機能時間と伝言メモの応答時間は、同じ時間に設定できません。
- 自動着信機能時間を呼出動作開始時間設定の時間以内に設定すると、電話帳に登録していない相手から電話がかかってきたとき、オート着信機能は動作しません。

### ◆イヤホンからのみ着信音を鳴らす〈イヤホン切替設定〉

【お買い上げ時】 イヤホン+スピーカー

平型スイッチ付イヤホンマイクなどを接続したときに、着信音をイヤホンとスピーカーの両方から鳴らすか、イヤホンからのみ鳴らすかを設定します。

**1** **MENU▶8 5 4 1▶1～3**

- 「イヤホン（20秒後通知有）」に設定すると、イヤホンからのみ着信音が鳴った後、約20秒経過するとスピーカーからも着信音が鳴ります。

✔**お知らせ**

- アラーム音などの通知音も本機能の設定に従って動作します。

クイック起動設定

## 電源を入れたときの起動時間を短縮する

【お買い上げ時】 ON

**FOMA端末の電源を入れたときの起動時間を短くするかどうかを設定します。**

**1** **MENU▶8 7 6▶1または2**

✔**お知らせ**

- 本機能を「ON」に設定していても、次の場合は通常起動となります。
  - 電池残量が2以下のとき
  - 電池パックを取り付け直したとき
  - 電源を切ってから24時間経過したとき

設定状況確認

## 各種機能の設定状況を確認する

FOMA端末の各種設定状況を確認します。

**1** MENU▶8 7 7 4

「音／バイブ」のメニュー項目の設定状況が表示されます。

**2** で各種機能の設定状況を確認

- を押すたびに、画面が「音／バイブ」→「ディスプレイ」→「セキュリティ／その他」→「時計」→「発着信機能」→「通話機能」→「テレビ電話」→「メール」→「ｉモード」→「フルブラウザ」→「ｉアプリ」→「トルカ」→「プッシュトーク」→「GPS」→「ワンセグ」の順に切り替わります。

**✔お知らせ**

- パーソナルデータロック中は、ロックされている項目の設定状況が「---」で表示されます。
- プライバシーモード中（マイピクチャまたはｉモーションを「認証後に表示」に設定した場合）は、認証操作が必要です。

各種設定リセット

## 各種機能の設定をリセットする

各種機能の設定をお買い上げ時の状態に戻します。

- 設定リセットを行ったときにお買い上げ時の状態に戻る機能については、「メニュー一覧」をご覧ください。→P482
- 「メニュー一覧」にお買い上げ時の状態が記載されていない機能やデータで、お買い上げ時の状態に戻るものは次のとおりです。
  - 基本設定：マナーモード、公共モード（ドライブモード）、メロディの動作設定の音量、上限通知アイコン、絵文字・記号・顔文字の入力履歴
  - フルブラウザ設定：Cookie情報、ポインター表示／非表示、縮小／等倍表示切り替え、ビューポジション設定、文字列検索の設定
  - 変換学習データ：入力予測機能で登録されたデータ

**1** MENU▶8 7 7 6▶認証操作▶リセットする項目を選択

各種設定リセット
☑基本設定
☑メール設定
☑ｉモード設定
☑フルブラウザ設定
☑ｉアプリ設定
☑ロック機能
☑変換学習データ
☑単語登録データ

**2** ▶「はい」を選択

**✔お知らせ**

- ｉモード設定をリセットすると、ｉチャネルのテロップが待受画面に表示されなくなります。待受画面でchクリアを押してｉチャネル一覧を表示すると、最新の情報が受信され、待受画面にテロップ表示されるようになります。

データ一括削除

## 登録データを一括して削除する

FOMA端末に保存、登録、設定したデータを一括して削除します。

- 保護したデータも削除されます。
- お買い上げ時に登録されている次のデータは削除されます。
  - ケータイクレジット「iD（アイディ）」、「DCMX」クレジットアプリ以外のｉアプリ
  - キャラ電
  - マイピクチャ内の「デコメピクチャ」「デコメ絵文字」「アイテム」フォルダ内の画像
- 各種設定リセットの対象となる機能は、お買い上げ時の状態に戻ります。
- 保存、登録、設定した次のデータや機能は、削除されたりお買い上げ時の状態に戻ります。
  - 日付時刻設定
  - リダイヤル
  - 着信履歴
  - 着もじメッセージ（送信メッセージ履歴含む）
  - 伝言メモ（録音した応答ガイダンス含む）
  - テレビ電話使用機器設定
  - 電話帳データ（プッシュトーク電話帳含む）
  - 電話帳から行う設定
  - ステレオ効果設定
  - 照明設定
  - メニュー設定
  - フォント
  - バイリンガル
  - 端末暗証番号
  - 指紋認証登録
  - プライバシーモード設定
  - プライバシーモード
  - 着信／受信時動作設定
  - セキュリティランプ設定
  - 電話帳お預かりサービスの電話帳通信履歴
  - 電話帳お預かりサービスの送信設定
  - 静止画撮影
  - 動画撮影
  - バーコードリーダーで読み取ったデータ
  - URL入力
  - URL履歴
  - ラストURL
  - オリジナル証明書
  - ブックマーク
  - ブックマークのワンタッチサイト登録
  - 画面メモ

- メッセージR/F
- ｉチャネル
- ｉモードメール
- メールテンプレート
- メール送受信履歴
- メール振り分け設定
- メールグループ
- チャットメール
- チャットメール画面から行う設定
- SMS
- ｉアプリ
- ｉアプリ一覧から行う設定
- ｉアプリの履歴表示
- トルカ
- トルカ振り分け設定
- ICカードロック解除予約
- 視聴予約
- テレビリンク
- チャンネルリスト
- 放送用保存領域
- GPSの現在地通知先一覧
- GPSの位置履歴
- マイピクチャ、ミュージック、ｉモーション、メロディ、マイドキュメント、キャラ電、きせかえツール、その他に保存したデータ
- マイピクチャ、ミュージック、ｉモーション、メロディ、マイドキュメント、キャラ電、きせかえツールから行う設定
- 作成したフォルダ、アルバム
- 変更したフォルダ名
- 赤外線通信／iC通信のINBOXのデータ
- データ送受信設定
- サウンドレコーダー
- 目覚まし
- スケジュール
- スケジュール帳から行う設定
- セレクトメニュー
- 通話料金自動リセット設定
- プロフィール情報（自局電話番号以外）
- 音声メモ
- 通話時間
- メモ帳
- 辞典の検索履歴
- USSD登録
- 追加サービスの応答メッセージ登録
- 電話帳2in1設定
- 定型文
- パスワードマネージャーで登録したパスワード
- ダウンロード辞書
- ソフトウェア更新（予約更新）

**1** **MENU▶8 7 7 7▶認証操作▶「はい」を選択**

再起動中にデーター括削除されます。

**✔お知らせ**

- 次のデータは削除されません。また、お買い上げ時の設定に戻せません。
  - 更新お知らせアイコン（消去していた場合は再び表示されます）
  - おサイフケータイ対応ｉアプリとその関連データ
  - FOMAカードやmicroSDメモリーカードに保存、登録、設定されているデータ
  - パソコンから設定したデータ通信の設定
- 削除されるデータが多い場合は、再起動に時間が約1分程度かかることがあります。途中で電源を切らないようご注意ください。
- お買い上げ時に登録されているデータ、ｉアプリを削除した場合は、「@Fケータイ応援団」のサイトからダウンロードできます。
  アクセス方法→P499
- 2in1がONのときは、2in1のモードに関わらずデータが削除されます。

# 文字入力



区点コード一覧について、詳細は付属のCD-ROM内の「PDF版「区点コード一覧」」をご覧ください。「PDF版「区点コード一覧」」をご覧になるには、Adobe Reader（バージョン6.0以上を推奨）が必要です。お使いのパソコンにインストールされていない場合は、付属のCD-ROM内のAdobe Readerをインストールしてご覧ください。ご使用方法などの詳細は、「Adobe Reader ヘルプ」をご覧ください。

## 文字入力について

**ここでは、電話帳やメールなどで文字を入力する方法を説明します。**

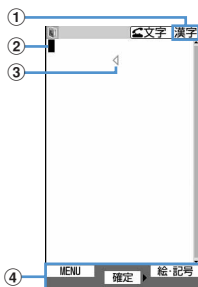
- 文字の入力方式には、かな入力方式とスロット入力方式があります。→P445、P452
- 入力できる文字の種類には、全角文字（ひらがな／漢字／カタカナ／英字／数字／記号／絵文字）、半角文字（カタカナ／英字／数字／記号）があります。全角の文字や空白、改行は、半角文字2文字分にカウントされます。半角文字では、濁点と半濁点も1文字分にカウントされます。
- 入力できる漢字はJIS第一水準漢字と第二水準漢字の6355文字です。
- 複雑な漢字は、変形または省略して表示されます。

### ◆文字入力画面の見かた

文字の入力方法には、全画面入力と、インライン入力の2種類があります。

- 入力欄によっては、どちらか一方の入力方法しか利用できない場合があります。
- 貼り付けや定型文入力などで入力可能な文字数を超えた場合、超過分は削除されます。
- 本書では文字入力の最後に●［確定］を押す操作も含めて「入力する」と表記しています。

#### ■全画面入力

入力欄を選択すると、入力エリアが全画面表示されます。

**①入力モード**

**②カーソル（点滅）**

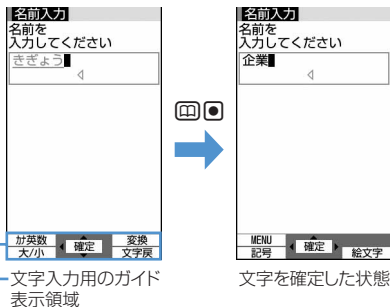
文字が入力または挿入される位置を示します。✣で移動できます。

**③入力可能な範囲**

これ以上入力できないことを示すマークです。

**④ガイド表示領域**

#### ■インライン入力

画面を切り替えずに入力欄にカーソルを合わせて、文字を直接入力します。

- 日付・時刻など数字を入力する入力欄によっては、入力欄を選択して0を押しても数字を入力できる場合があります。

### ❖文字入力画面でのサブメニューの操作

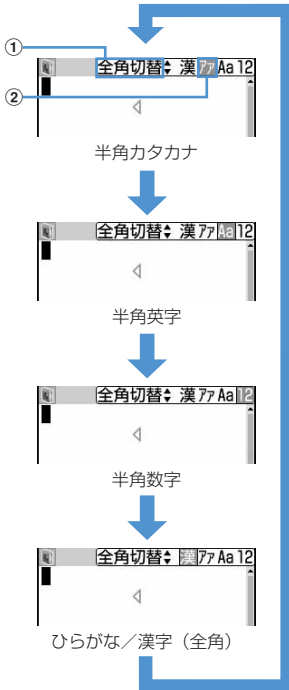
| 項　目 | 参照先 |
|---|---|
| 1コピー | P450 |
| 2切り取り | P450 |
| 3貼り付け | P450 |
| 4定型文・パスワード引用 | P447、P448、P450 |
| 5絵文字・記号・顔文字 | P447、P448 |
| 6単語・パスワード登録 | P449、P451 |
| 7入力設定 | P453 |
| 8編集終了※ | ― |

※ スロット入力方式で入力中にのみ表示されます。

- 文字を確定する前やデコメールの装飾選択画面では、サブメニューは表示されません。

## ◆入力モードを切り替える

**1 文字入力画面で[モード切替キー]**

- 押すたびに入力モードは次のように切り替わります。
- 画面の見かたは次のとおりです。

**①全角に切り替えられることを示します。**
**②カーソル位置の色が変わります。**

- [キー]を押しても、入力モードを切り替えられます。
- [キー]で全角と半角が切り替えられます。
- スロット入力方式では半角数字は表示されません。また、全角と半角の切り替えはできません。

**2 [●]［選択］を押す**

### ❖切り替え項目と入力モード

| 切り替え項目 | 入力モード | |
|---|---|---|
| 漢 | ひらがな／漢字 | 漢字 |
| ｱｧ | 半角カタカナ | 半ｶﾅ |
| Aa | 半角英字 | 半英 |
| 12※ | 半角数字 | 半数 |
| ア※ | 全角カタカナ | 全ｶﾅ |
| A※ | 全角英字 | 全英 |
| 1※ | 全角数字 | 全数 |

※ スロット入力方式では表示されません。

- 文字入力画面によって切り替えられる入力モードは異なります。
- 単語登録の読みを入力するときは全かなが表示されます。

かな入力方式

## かな入力方式で文字を入力する

**かな入力方式では、1つのキーに複数の文字が割り当ててあり、キーを押すたびに文字が替わります。**

文字の割り当て一覧→P499

- 文字を入力して約1秒経過すると、カーソルは右に移動します。移動するまでの秒数は入力設定で変更できます。→P453

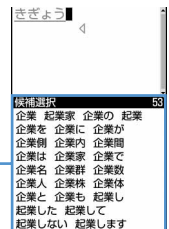
## ◆文字を入力する〈かな漢字変換〉

〈例〉電話帳の登録で「企業」と入力するとき

**1 名前の入力欄を選択**

漢字と表示されます。

**2 「きぎょう」と入力**

「き」：[2]を2回
「ぎ」：カーソルが右に移動したら[2]を2回
▶[※]
「ょ」：[8]を3回▶[大/小]
「う」：[1]を3回

候補選択リスト

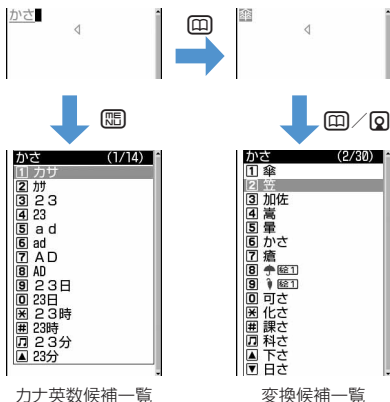
- 入力中は次の操作ができます。

[大/小]：大文字と小文字の切り替え
[✉]：1つ前の文字に戻す
（例：…→1→お→え→う→い→あ→1→…）
[CLR]：文字の取り消し
[※]：濁点、半濁点の付加
（例：…→ほ→ぼ→ぽ→ほ→…）

## 3 [辞書]を押す

- 候補選択リストが表示されていないときは、[下]を押しても、かな漢字変換されます。
- [CLR]を押すと、変換前の状態に戻ります。
- 変換しないときは、[辞書]を押さずに操作4に進みます。

**変換候補一覧を表示する：**
[辞書]を押しても目的の文字が表示されないときは、[下]を押すか、もう一度[辞書]を押すと変換候補一覧が表示されます。

**カナ英数候補一覧を表示する：**
ひらがなを入力中に[MENU]を押すと、カナ英数、日付、時刻などが一覧で表示されます。

カナ英数候補一覧

変換候補一覧

- 変換候補一覧またはカナ英数候補一覧が複数ページあるときは、[iα]または[メール]を押すとページが切り替わります。各候補に割り当てられているキーを押すか[下]を押して、変換候補またはカナ英数候補を選択します。

## 4 [決定]を押す

**文字を挿入する：**
[方向キー]を押して挿入する位置までカーソルを移動し、文字を入力します。入力した文字はカーソル位置に挿入されます。

**文字を削除する：**
- カーソルが入力文字の途中にある場合（例：ドコモ太郎）
  - [CLR]を押すと、カーソル位置の1文字が削除されます。
  - [CLR]を1秒以上押すと、カーソル位置の文字とそれ以降のすべての文字が削除されます。
- カーソルが入力文字の末尾にある場合（例：ドコモ太郎▮）
  - [CLR]を押すと、カーソルの左の1文字が削除されます。
  - [CLR]を1秒以上押すと、すべての入力文字が削除されます。

**改行する：**
改行する位置にカーソルを移動し、[#]を押します。
- 入力欄によっては改行できない場合があります。

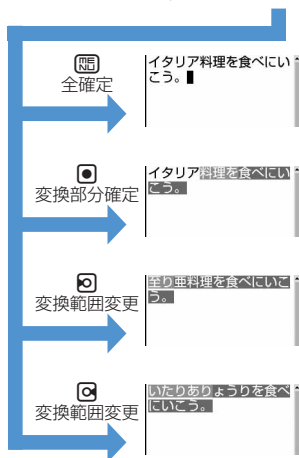
## 5 [決定]［確定］を押す

**✔お知らせ**

- 濁点、半濁点を入力してから[メール]を押しても、1つ前の文字には戻せません。
- 入力中に[右]を押してカーソルを右に移動した場合は、次の操作はできません。
  [iα]：大文字と小文字の切り替え（ひらがな、全角／半角カタカナ、全角／半角英字）
  [メール]：1つ前の文字に戻す
- ひらがなで読みを入力して、全角英字、ギリシャ文字などに変換できます。→P508

## ❖複数の文節を一括変換する

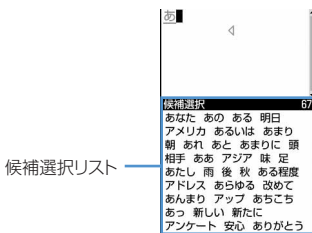
- 全角で最大24文字変換できます。

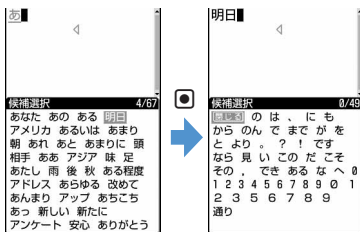
〈例〉「イタリア料理を食べにいこう。」と入力するとき

## ◆入力予測機能を使って文字を入力する

入力予測機能は、文字を入力したときに、読みの先頭部分が一致する単語の候補選択リストが表示される機能です。候補選択リストには、一度入力した単語が自動的に変換学習データとして登録されるため、次に同じ内容を入力するときには、先頭の文字を入力するだけですばやく入力できます。

- 標準搭載の単語の他に、次の単語や文字列が候補として表示されます。
  - かな漢字変換で入力した単語
  - 単語登録した文字列
  - ダウンロード辞書から選択した単語
- 入力予測機能は、ひらがな／漢字モードでのみ利用できます。ただし、次の場合は利用できません。
  - インライン入力
  - スロット入力

〈例〉候補選択リストから「明日」を選択して入力するとき

**1** 文字を入力

- 入力文字が増えるたびに候補が変わります。

**2** [Q]▶候補を選択

- 候補選択リストが複数ページあるときは、[i]または[✉]を押すとページが切り替わります。

**3** 「閉じる」を選択

## ◆変換学習リセットをする

候補選択リストに変換学習データとして登録されたデータを、リセットしてお買い上げ時の状態に戻します。

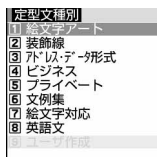
**1** [MENU]▶[8][7][3][3]▶認証操作▶「はい」を選択

# 便利な入力機能を使って文字を入力する

**便利な入力機能を使って、絵文字や記号、定型文などを入力したり、データを引用したりできます。**

## ◆定型文を入力する

- 定型文一覧→P500

**1** 文字入力画面で[MENU]▶[4][1]▶[1]～[8]

- 定型文を登録すると、[9]が選択できます。
- メール本文の入力画面では[MENU][5][1]を押します。

**2** 定型文を選択

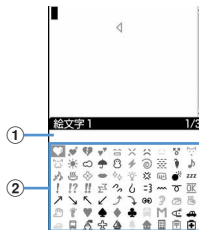
- 定型文の内容を確認するときは、定型文にカーソルを合わせて[□]を押します。[●]を押すと定型文が入力されます。

## ◆絵文字・記号を入力する

- 絵文字・記号一覧→P503
- 記号は入力可能なもののみ一覧表示されます。

〈例〉絵文字を入力するとき

**1** 文字入力画面で[□]

- 画面の見かたは次のとおりです。

①**入力履歴欄**
絵文字一覧の絵文字1と絵文字2、記号一覧の全角記号と半角記号の最初のページに表示されます。
②**絵文字・記号一覧**

- [本]を押すたびに、絵文字1と絵文字2が切り替わります。
- [記号]を押すと、記号が入力できます。押すたびに、全角記号と半角記号が切り替わります。
- 絵文字・記号一覧が複数ページあるときは、[i]または[メール]を押すとページが切り替わります。

デコメ絵文字（絵文字D）を入力する：
メール本文の入力画面または署名編集の入力画面では、[本]を押すたびに絵文字一覧が絵文字1→絵文字2→絵文字Dに切り替わります。絵文字Dの絵文字一覧には「デコメ絵文字」フォルダに保存されている画像が表示されます。選択するとデコメ絵文字が入力され、絵文字一覧が閉じます。
デコメ絵文字のダウンロード方法→P213

## 2 入力する絵文字を選択

[chクリア]を押して、絵文字一覧を閉じます。
- 入力履歴欄には、最近入力したものから順に、絵文字または記号が最大10文字表示（ワイド画面のときは13文字）され、文字を選択できます。ただし、絵文字Dは入力履歴欄の表示はされません。

### ✔お知らせ

- 絵文字や記号の読みを入力しても変換できます。→P504、P508
- 絵文字や記号は、赤外線通信などでデータ転送を行った際、正しく表示されない場合があります。
- 文字入力画面で[記号]を押し、「絵文字・記号・顔文字」→「絵文字」または「記号」を選択しても入力できます。このとき、[本]を押すと入力履歴欄の上に連続入力欄が表示され、絵文字は最大10文字、記号は全角で最大10文字、半角で最大20文字連続して選択できます。スロット入力方式の場合は、この方法で入力します。ただし、絵文字Dは連続入力欄の表示はされません。
- 「デコメ絵文字」フォルダに画像が保存されていない場合、メール本文の入力画面または署名編集の入力画面で[本]を押して切り替えても、絵文字Dは表示されません。また、サブメニューから絵文字Dを表示したときは、絵文字一覧が空白で表示されます。
- メール本文の入力画面または署名編集の入力画面で[記号]を押し、「デコレーション」→「画像挿入」を選択して「本体」またはmicroSDメモリーカードを取り付けている場合のみ「microSD」を選択しても、デコメ絵文字が挿入できます。
- 文字入力画面で[記号]を押し、「絵文字・記号・顔文字」→「記号」を選択したときは、左側のカッコ（例：｛）を選択すると、右側のカッコ（例：｝）も自動的に入力されます。
() [] {} 「」（ ）〔 〕［ ］｛ ｝〈 〉《 》「 」『 』【 】

## ◆顔文字を入力する

- 顔文字一覧→P510

## 1 文字入力画面で[記号]▶[5][3]▶[2]～[9]

- メール本文の入力画面では[記号][6][3]を押します。
- 顔文字種別一覧から入力した顔文字は、[1]を押すと最近入力したものから順に最大18件まで入力履歴一覧で表示されます。ここから顔文字を選択できます。

## 2 顔文字を選択

### ✔お知らせ

- 顔文字は「かお」または「かおもじ」と入力するか、読みを入力しても変換できます。→P510

## ◆データを引用して文字を入力する

パスワードマネージャーに登録済みのパスワード、電話帳データ、プロフィール情報の登録内容、電卓の計算結果、バーコードリーダーで読み取ったデータの文字列情報を引用して入力できます。
- 電卓の計算結果は、スケジュール帳とメモ帳に引用できます。バーコードリーダーの読み取りデータは、URL入力画面とｉモードまたはフルブラウザ中の文字入力画面で引用できます。それ以外のデータはすべての文字入力画面で引用できますが、文字入力画面と引用データが同じ機能のとき（電話帳の文字入力画面における電話帳データなど）には引用できません。

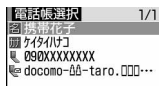
### ❖パスワードの内容を引用する

## 1 文字入力画面で[記号]▶[4][3]▶認証操作

- メール本文の入力画面では[記号][5][3]を押します。

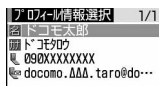
## 2 引用するパスワードデータを選択

### ❖電話帳データの内容を引用する

**1 文字入力画面で[MENU]▶[4][4]▶引用する電話帳データを選択**

- メール本文の入力画面では[MENU][5][4]を押します。

**2 引用する内容を選択**

### ❖プロフィール情報の内容を引用する

**1 文字入力画面で[MENU]▶[4][5]▶認証操作**

- メール本文の入力画面では[MENU][5][5]を押します。

**2 引用するプロフィール情報を選択**

### ❖電卓の計算結果を引用する

**1 文字入力画面で[MENU]▶[4][6]▶計算する**

**2 [●]［挿入］を押す**

### ❖バーコードリーダーの読み取りデータを引用する

**1 文字入力画面で[MENU]▶[4][6]**

起動時に接写撮影になります。

**2 コードを読み取る▶[●]［確定］**

定型文登録

## 定型文を登録する

- 最大50件登録できます。

**1 [MENU]▶[8][7][3][4][9]▶「〈新しい定型文〉」を選択**

- 登録済みの定型文を確認するときは、確認する定型文にカーソルを合わせて[□]を押します。[●]を押すと編集できます。
- 登録した定型文を削除するときは、削除する定型文にカーソルを合わせて[MENU]を押し、「はい」を選択します。

**2 定型文を入力**

- 全角で最大64文字、半角で最大128文字入力できます。

**3 [□]［登録］を押す**

定型文は「ユーザ作成」に登録されます。

- 登録済みの定型文を編集したときは確認画面が表示されます。上書き登録するときは「はい」を、登録を中止するときは「いいえ」を選択します。

### ❖文字入力中に登録する

入力済みの文字を選択して定型文に登録します。

**1 文字入力画面で[MENU]▶[6][2]**

- メール本文の入力画面では[MENU][7][2]を押します。

**2 開始位置を選択**

- 全文を選択する場合は、[MENU][●]を押します。操作4に進みます。
- メール本文の入力画面で全文を選択する場合は、[✉]を押します。操作4に進みます。

**3 終了位置を選択**

選択した範囲の文字が定型文編集画面に表示されます。

- 開始位置から文頭までを選択する場合は、[MENU][●]を押します。
- 開始位置から文末までを選択する場合は、[□][●]を押します。

**4 [□]［登録］を押す**

✔お知らせ

- 上記操作で選択した入力済みの文字列内に空白が含まれていた場合は、次の動作となります。
  空白のみ：定型文として登録不可
  文字列の前後に空白：文字列のみ有効
  文字と文字の間に空白：空白も有効
- 文字入力中に登録した場合に、定型文がすでに50件登録されていると定型文登録の一覧が表示されます。新たに登録するときは、一覧から登録データを削除するか、登録済みの定型文を編集してください。

## 文字をコピー／切り取りして貼り付ける

**文字入力画面から文字のコピーや切り取りを行い、別の場所に貼り付けます。別の文字入力画面に貼り付けることもできます。**

- コピーまたは切り取った文字は、新たにコピーまたは切り取りを行うか電源を切るまで記録され、何度でも貼り付けられます。

### ◆文字をコピー／切り取りする

入力済みの文字を選択してコピーしたり切り取ったりします。

〈例〉文字をコピーするとき

**1 文字入力画面で［MENU］▶［1］**

- 文字を切り取るときは［MENU］［2］を押します。
- メール本文の入力画面では［MENU］［2］を押すとコピーし、［MENU］［3］を押すと切り取りします。

**2 開始位置を選択**

- 全文を選択する場合は、［MENU］［●］を押します。
- メール本文の入力画面で全文を選択する場合は、［✉］を押します。

**3 終了位置を選択**

選択した範囲の文字がコピーされます。
- 開始位置から文頭までを選択する場合は、［MENU］［●］を押します。
- 開始位置から文末までを選択する場合は、［📖］［●］を押します。

### ◆文字を貼り付ける

- 貼り付けたとき、編集中の文章が入力可能な文字数を超える場合は、すべての文字を貼り付けることができない旨のメッセージが表示されます。「はい」を選択すると、入力可能な文字数以降が消去された文章が貼り付けられます。

**1 文字入力画面で貼り付ける位置にカーソルを合わせて［MENU］▶［3］**

文字がカーソル位置に挿入されます。
- メール本文の入力画面では［MENU］［4］を押します。

✔お知らせ

- コピーまたは切り取った文字種と、貼り付け先の文字種が適合しているときのみ、貼り付けられます。たとえば、メールアドレスの入力欄にひらがなや漢字などの文字は貼り付けられません。
- 改行が入力できない入力画面に改行を含んだ文字列を貼り付けた場合、改行は空白に置き換えられます。

区点コード入力

## 区点コードで入力する

**区点コード一覧表にある文字、数字、記号を4桁の区点コードを使って入力します。**

- 区点コード一覧について、詳細は付属のCD-ROM内の「PDF版「区点コード一覧」」をご覧ください。「PDF版「区点コード一覧」」をご覧になるには、Adobe Reader（バージョン6.0以上を推奨）が必要です。お使いのパソコンにインストールされていない場合は、付属のCD-ROM内のAdobe Readerをインストールしてご覧ください。ご使用方法などの詳細は、「Adobe Reader ヘルプ」をご覧ください。

〈例〉「携」（区点コード2340）を入力するとき

**1 文字入力画面で［MENU］▶［4］［2］▶4桁の区点コード（この場合は［2］［3］［4］［0］）を入力▶［●］［確定］**

- メール本文の入力画面では［MENU］［5］［2］を押します。

単語登録

## よく使う単語をあらかじめ登録する

**よく使う単語をあらかじめ登録しておくと、文字の変換のときに簡単に呼び出せます。**

- 最大200件登録できます。また、同じ読みの単語は最大5件登録できます。

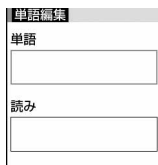
**1** **[MENU]▶[8][7][3][1]▶「〈新しい単語〉」を選択**

- 画面の見かたは次のとおりです。

**①単語を登録するときに選択**
**②行の先頭を示すマーク**
**③登録済みの単語**
読みの50音順に並びます。

- 登録済みの単語を確認するときは、単語にカーソルを合わせて[辞書]を押します。[●]を押すと編集できます。
- 単語を削除するときは、削除する単語にカーソルを合わせて[MENU]を押し、「削除」を選択します。登録した単語を全件削除するときは、「すべて削除」を選択します。

**2** **単語の入力欄に登録する単語を入力**

単語編集
単語
読み

- 全角で最大12文字、半角で最大24文字入力できます。
- 登録できる文字の種類は次のとおりです。
  - ひらがな／漢字
  - 全角／半角カタカナ
  - 全角／半角英字
  - 全角／半角数字
  - 全角／半角記号
  - 絵文字

**3** **読みの入力欄に読みを入力**

- ひらがなで最大8文字入力できます。
- 次の文字を先頭に入力すると、登録できません。
  - を、ん、ぁ、ぃ、ぅ、ぇ、ぉ、っ、ゃ、ゅ、ょ、ゎ、゛（濁点）、゜（半濁点）、ー（長音）
- 空白を入力すると、登録後に削除されます。

**4** **[辞書]［登録］を押す**

- 登録済みの単語を編集したときは確認画面が表示されます。元の単語に上書きするときは「上書き登録」を、元の単語を残して新規に登録するときは「新規登録」を選択します。

### ❖文字入力中に登録する

入力済みの文字を選択して単語登録できます。

**1** **文字入力画面で[MENU]▶[6][1]**

- メール本文の入力画面では[MENU][7][1]を押します。

**2** **開始位置を選択**

- 全文を選択する場合は、[MENU][●]を押します。操作4に進みます。
- メール本文の入力画面で全文を選択する場合は、[✉]を押します。操作4に進みます。

**3** **終了位置を選択**

選択した範囲の文字が単語入力欄に表示されます。

- 開始位置から文頭までを選択する場合は、[MENU][●]を押します。
- 開始位置から文末までを選択する場合は、[辞書][●]を押します。

**4** **読みを入力▶[辞書]［登録］**

**✔お知らせ**

- 文字入力中に登録した場合に、単語がすでに200件登録されていると単語登録の単語一覧画面が表示されます。新たに登録するときは、一覧から単語を削除するか、登録済みの単語を編集してください。
- 改行を含んだ文字列を選択した場合は、空白に置き換えられます。

パスワードマネージャー

## パスワードをあらかじめ登録する

**ユーザ名、パスワードなどの認証情報を登録しておくと、これらの入力が必要なサイトやホームページで、登録した内容を引用して入力できます。**

- パスワードマネージャーを使用するには、指紋認証を有効にする必要があります。→P155
- 登録したパスワードの引用方法→P448
- 最大50件登録できます。

**1** **[MENU]▶[8][4][8]▶認証操作**

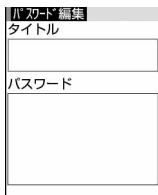
**2** **[辞書]を押す**

1件削除する：**削除するパスワードにカーソルを合わせて[MENU]▶[2]▶「はい」を選択**

複数削除する：MENU▶3▶削除するパスワードを選択▶📖▶「はい」を選択

全件削除する：MENU▶4▶「はい」を選択

順番を変更する：順番を変更するパスワードにカーソルを合わせてMENU▶5または6

**3** タイトルの入力欄にタイトルを入力

- 全角で最大12文字、半角で最大24文字入力できます。

**4** パスワードの入力欄にパスワードを入力

- 全角で最大64文字、半角で最大128文字入力できます。

**5** 📖［登録］を押す

### ❖文字入力中に登録する

入力済みの文字を選択してパスワード登録できます。

**1** 文字入力画面でMENU▶6 3

- メール本文の入力画面ではMENU▶7 3を押します。

**2** 開始位置を選択

- 全文を選択する場合は、MENU●を押して認証操作を行い、操作4に進みます。
- メール本文の入力画面で全文を選択する場合は、✉を押して認証操作を行い、操作4に進みます。

**3** 終了位置を選択▶認証操作

選択した範囲の文字がパスワードの入力欄に表示されます。
- 開始位置から文頭までを選択する場合は、MENU●を押します。
- 開始位置から文末までを選択する場合は、📖●を押します。

**4** タイトルを入力▶📖［登録］

### ✔お知らせ

・パスワードは登録した順に表示されます。

ダウンロード辞書

## ダウンロードした辞書を使用する

ダウンロードした日本語変換用の辞書に登録されている用語を、変換候補として表示されるようにします。
- 最大5件の辞書を同時に使用できます。
- 辞書のダウンロード方法→P215

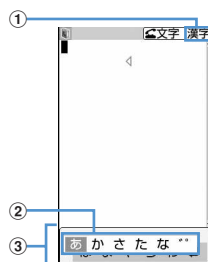
**1** MENU▶8 7 3 2▶使用する辞書を選択▶📖［確定］

辞書を使用するには☑、解除するには☐に切り替えます。
- 辞書の内容を確認するときは、辞書にカーソルを合わせて✉を押します。
- 辞書を削除するときは、削除する辞書にカーソルを合わせてCLRを押し、「はい」を選択します。

スロット入力方式

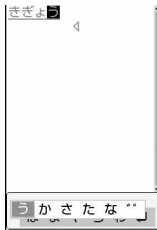
## スロット入力方式で文字を入力する

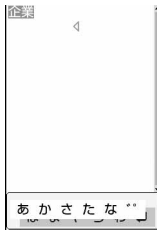
スロット入力ボード（上下2段の入力バー）に表示された文字から、✥を使って入力文字を指定します。
- スロット入力方式で入力するには、入力方式の設定が必要です。→P453
- 入力方式をスロット入力方式に設定していても、インライン入力ではかな入力方式になります。
- スロット入力方式では、全角文字のカタカナ、英字、数字の入力と、入力予測機能を利用しての入力はできません。
- 文字の割り当て一覧→P500

■ スロット入力

① 入力モード
② 入力バー
③ スロット入力ボード
- 上段と下段の入力バーを切り替えるときは、CLRを押します。
- スロット入力ボードで操作している場合に、入力エリアを操作（文字のコピーやカーソル移動など）するときは、✉を押します。スロット入力ボードの操作に戻すときはもう一度✉を押します。

〈例〉電話帳の登録で「企業」と入力するとき

**1 名前の入力欄を選択▶「きぎょう」と入力**

「き」：[右]を1回▶[上]を1回▶[●]
「ぎ」：[●]▶[右]を4回▶[●]
「ょ」：[i]▶[右]を2回▶[上]を5回▶[●]
「う」：[i]▶[左]を5回▶[上]を2回▶[●]

メール本文の入力画面では、[0]～[9]、[✱]を押すと、スロット入力ボードが表示されます。

**2 [m]を押す**

[m]を押しても目的の文字が表示されないときは、[下]を押すか、もう一度[m]を押すと変換候補が一覧表示されます。変換候補の一覧が複数ページあるときは、[メール]または[i]を押すとページが切り替わります。各候補に割り当てられているキーを押すか、[上下]を押して変換候補を選択します。ただし、[MENU]を押しても、カナ英数候補一覧は表示されません。

- 変換前の状態に戻して文字入力を続けるには[ch クリア]を押します。
- 変換しないで確定するときは[MENU]を押します。確定と同時にスロット入力ボードが有効になります。

**3 [●]を押す**

**4 [MENU]▶[8]**

- [メール][●]を押しても同様に操作できます。

入力設定

## 入力方法を設定する

【お買い上げ時】 入力方式：かな入力 入力予測：ON 自動カーソル：普通

**1 [MENU]▶[8][7][3][5]▶下記の各項目を選択して設定▶[m]［登録］**

**入力方式**：「かな入力」方式にするか「スロット入力」方式にするかを設定します。
- 「スロット入力」に設定した場合は、入力予測、自動カーソルを設定できません。

**入力予測**：候補選択リストを表示するかどうかを設定します。

**自動カーソル**：カーソルが右側に自動移動するまでの時間を設定します。
- 「OFF」に設定すると、カーソルは自動移動しません。
- 「遅い」に設定すると、約1.5秒経過するとカーソルが移動します。
- 「普通」に設定すると、約1秒経過するとカーソルが移動します。
- 「速い」に設定すると、約0.5秒経過するとカーソルが移動します。

### ❖文字入力中に設定を変更する

- 文字が確定される前やデコメール装飾選択画面では変更できません。
- インライン入力中は自動カーソルの変更しかできません。

**1 文字入力画面で[MENU]▶[7]▶[1]～[3]**

- メール本文の入力画面では[MENU][8]を押します。
- 「かな入力」と「スロット入力」を切り替えるときは[1]を押します。
- 入力予測のON／OFFを切り替えるときは[2]を押します。
- 自動カーソルの移動時間を選択するときは[3]を押し、[1]～[4]を押して設定します。

**✔お知らせ**

- 自動カーソルを「OFF」に設定した場合、同じキーに割り当てられている文字を続けて入力するときは、最初の文字を入力した後[右]を押してカーソルを右に移動させてから次の文字を入力します。たとえば、「あい」と入力するときは、[1][右][1][1]の順に押します。

# ネットワークサービス



本書では、各ネットワークサービスの概要を、FOMA端末のメニューを使って操作する方法で説明しています。詳細は『ご利用ガイドブック（ネットワークサービス編）』をご覧ください。

## 利用できるネットワークサービス

**FOMA端末では、次のようなドコモのネットワークサービスをご利用いただけます。**
**各サービスの概要や利用方法については、次の表の参照先をご覧ください。**

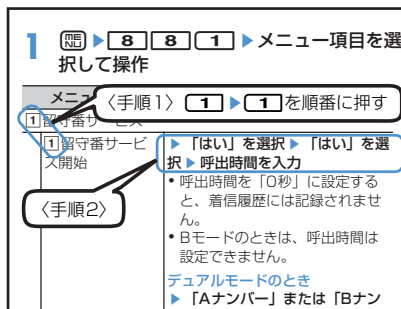
- サービスエリア外や電波の届かない所ではネットワークサービスはご利用できません。
- 詳細は『ご利用ガイドブック（ネットワークサービス編）』をご覧ください。
- お申し込み、お問い合わせについては取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。

| サービス名 | 申し込み | 月額使用料 | 参照先 |
|---|---|---|---|
| 留守番電話サービス | 必要 | 有料 | P456 |
| キャッチホン | 必要 | 有料 | P458 |
| 転送でんわサービス | 必要 | 無料 | P458 |
| 迷惑電話ストップサービス | 必要 | 無料 | P459 |
| 番号通知お願いサービス | 不要 | 無料 | P459 |
| デュアルネットワークサービス | 必要 | 有料 | P460 |
| 英語ガイダンス | 不要 | 無料 | P460 |
| マルチナンバー | 必要 | 有料 | P461 |
| 2in1 | 必要 | 有料 | P462 |
| OFFICEED | 必要 | 有料 | P465 |
| 公共モード（ドライブモード） | 不要 | 無料 | P73 |
| 公共モード（電源OFF） | 不要 | 無料 | P75 |

- 「OFFICEED」はお申し込みが必要なサービスです。ご不明な点はドコモの法人向けサイト（http://www.docomo.biz/d/212/）をご確認ください。
- ドコモから新しいネットワークサービスが追加提供されたときには、新しいサービスをメニューに登録できます。→P465

### ❖操作方法の見かた

操作手順に「▶メニュー項目を選択して操作」と記載がある場合は、続けて、表中の「メニュー項目」欄に記載されている数字（項目番号）を順番に押し、さらに、「機能と操作」欄の「▶」以降を操作します。

**〈例〉留守番電話サービスを開始する方法**
[MENU]▶[8]▶[8]▶[1]に続いて、手順1→手順2と操作します。

## 留守番電話サービス

**電波の届かない所にいるとき、電源が入っていないとき、設定した呼出時間内に応答しなかったときなどに、音声電話またはテレビ電話をかけてきた相手に応答メッセージでお答えし、お客様に代わって伝言メッセージをお預かりするサービスです。**

- 伝言メモを同時に設定しているとき、留守番電話サービスを優先させるためには、伝言メモの応答時間よりも留守番電話サービスの呼出時間を短く設定してください。
- 留守番電話サービスを開始に設定しているときに、かかってきた音声電話やテレビ電話に応答しなかった場合は、着信履歴に不在着信として記録され、伝言メッセージを預かった場合は、待受画面に[留守番 1]（数字は件数）が表示されます。
- 留守番電話のテレビ電話対応設定について変更するには、「1412」へ音声電話発信をしてください。
- テレビ電話で新しい伝言メッセージをお預かりしたときはSMSでお知らせします。

### ❖留守番電話サービスの基本的な流れ

ステップ1：サービスを開始に設定する
ステップ2：電話をかけてきた相手が伝言を録音する
ステップ3：伝言メッセージを再生する

**1 MENU▶8 8 1▶メニュー項目を選択して操作**

- 2in1がONのときは、留守番サービスの開始、停止、設定確認、メッセージ再生、留守番サービス設定はAナンバーとBナンバーそれぞれに設定できます。このとき、AモードではAナンバー、BモードではBナンバーについて設定し、デュアルモードではどちらかのナンバーを選択して設定します。それ以外の設定はAナンバー、Bナンバーともに共通です。

| メニュー項目 | 機能と操作 |
|---|---|
| 1留守番サービス | |
| 1留守番サービス開始 | **▶「はい」を選択▶「はい」を選択▶呼出時間を入力**<br>• 呼出時間を「0秒」に設定すると、着信履歴には記録されません。<br>• Bモードのときは、呼出時間は設定できません。<br>デュアルモードのとき<br>**▶「Aナンバー」または「Bナンバー」を選択▶「はい」を選択▶「はい」を選択▶呼出時間を入力**<br>•「Bナンバー」を選択した場合は、呼出時間は設定できません。 |
| 2留守番呼出時間設定 | **▶「はい」を選択▶呼出時間を入力**<br>• 呼出時間を「0秒」に設定すると、着信履歴には記録されません。 |
| 3留守番サービス停止 | **▶「はい」を選択**<br>デュアルモードのとき<br>**▶「Aナンバー」または「Bナンバー」を選択▶「はい」を選択** |
| 4留守番設定確認 | **▶「はい」を選択**<br>• 設定確認画面で、サブメニューから選択して設定を変更できます。<br>MENU 1：留守番サービス開始<br>MENU 2：留守番サービス停止<br>MENU 3：留守番呼出時間設定<br>デュアルモードまたはBモードのとき<br>**▶「Aナンバー」または「Bナンバー」を選択▶「はい」を選択**<br>• Bナンバーでは、開始／停止のみ確認できます。 |
| 5留守番メッセージ再生 | **▶「はい」を選択▶音声ガイダンスの指示に従って操作**<br>• ☎ 1で表示される件数は、新しい伝言メッセージを再生するときにガイダンスで案内する件数です。保存した伝言メッセージの件数は含まれません。<br>デュアルモードのとき<br>**▶「Aナンバー」または「Bナンバー」を選択▶「はい」を選択▶音声ガイダンスの指示に従って操作** |
| 6留守番サービス設定 | 音声ガイダンスを聞きながら留守番電話サービスを設定します。<br>**▶「はい」を選択▶音声ガイダンスの指示に従って操作**<br>デュアルモードのとき<br>**▶「Aナンバー」または「Bナンバー」を選択▶「はい」を選択▶音声ガイダンスの指示に従って操作** |
| 7メッセージ問合せ | **▶「はい」を選択**<br>• 件数増加鳴動設定を設定している場合、新しい伝言メッセージがあると通知音が鳴り、音声電話のバイブレータ設定に従って振動します。 |
| 2件数増加鳴動設定<br>【お買い上げ時】<br>件数通知音：ON<br>通知メロディ：着信音1 | 新しい伝言メッセージが増えたときやメッセージ問合せを行って新しい伝言メッセージがあると、通知音が鳴るように設定します。<br>**▶下記の各項目を選択して設定**<br>**▶［登録］**<br>**件数通知音：**<br>「ON」に設定すると、通知音が鳴り、音声電話のバイブレータ設定に従って振動します。<br>**通知メロディ：**<br>件数通知音を設定します。<br>• オールロック中、パーソナルデータロック中、開閉ロック中、公共モード中、アラーム鳴動中は通知音は鳴らず、バイブレータも振動しません。 |
| 3着信通知 | |
| 1着信通知開始 | FOMA端末の電源が入っていないときや圏外にいるときに着信があった場合、再び電源が入ったときや圏内になったときに、着信があったことをSMSで通知します。<br>• 1件のSMSで、最大5件の着信履歴が通知されます。<br>• SMS一括拒否を設定している場合でも通知されます。<br>• 設定、通知（SMS受信）にかかる料金は無料です。<br>**▶「はい」を選択▶「はい」または「いいえ」を選択**<br>•「はい」を選択すると、発信者番号通知の着信のみ通知します。<br>•「いいえ」を選択すると、すべての着信を通知します。 |

| メニュー項目 | 機能と操作 |
|---|---|
| 2着信通知停止 | ▶「はい」を選択 |
| 3着信通知開始設定確認 | ▶「はい」を選択 |
| 4表示消去 | 伝言メッセージのマークを消します。<br>▶「はい」を選択 |

## キャッチホン

**音声電話中に別の音声電話がかかってきたときに、通話中着信音でお知らせし、現在の音声電話を保留にして新しい音声電話に出ることができます。また、通話中の電話を保留にして、別の相手へ電話をかけることもできます。**

- テレビ電話中や音声電話中にテレビ電話がかかってくると、キャッチホンは動作しませんが、着信履歴には不在着信として記録されます。
- キャッチホンを利用する場合は、あらかじめ通話中着信動作選択を「通常着信」に設定してください。他の設定になっている場合は、キャッチホンを開始しても音声電話中にかかってきた音声電話に応答することはできません。
- キャッチホン中は、[✉]を押すたびに通話相手を切り替えられます。
- 音声電話中に別の相手に音声電話をかける場合は、[MENU]を押し「ダイヤル入力」を選択します。

**1 [MENU]▶[8][8][2][1]▶メニュー項目を選択して操作**

| メニュー項目 | 機能と操作 |
|---|---|
| 1キャッチホン開始 | ▶「はい」を選択 |
| 2キャッチホン停止 | ▶「はい」を選択 |
| 3キャッチホン設定確認 | ▶「はい」を選択 |

## 転送でんわサービス

**電波の届かない所にいるとき、電源が入っていないとき、設定した呼出時間内に応答しなかったときなどに、かかってきた音声電話またはテレビ電話を転送するサービスです。**

- 伝言メモを同時に設定しているとき、転送でんわサービスを優先させるためには、伝言メモの応答時間よりも転送でんわサービスの呼出時間を短く設定してください。
- 転送でんわサービスを開始に設定しているときに、かかってきた音声電話やテレビ電話に応答しなかった場合は、着信履歴に不在着信として記録され、待受画面に[不在着信 2]（数字は件数）が表示されます。

### ❖転送でんわサービスの基本的な流れ

**ステップ1**：転送でんわサービスを開始に設定する
**ステップ2**：転送先の電話番号を登録する
**ステップ3**：お客様のFOMA端末に電話がかかる
**ステップ4**：電話に出ないと指定した転送先に転送される

**1 [MENU]▶[8][8][2][2]▶メニュー項目を選択して操作**

- 2in1がONのときは、転送サービスの開始、停止、設定確認はAナンバーとBナンバーそれぞれに設定できます。このとき、AモードではAナンバー、BモードではBナンバーについて設定し、デュアルモードではどちらかのナンバーを選択して設定します。それ以外の設定はAナンバー、Bナンバーともに共通です。

| メニュー項目 | 機能と操作 |
|---|---|
| 1転送サービス開始 | ▶**「はい」を選択**▶**「はい」を選択**▶**電話番号を入力**▶[📖]▶**「はい」を選択**▶**呼出時間を入力**<br>• 電話番号入力欄を選択する前に、[MENU]を押すと電話帳から、[着信]を押すと着信履歴から、[✉]を押すとリダイヤルから、電話番号を入力できます。<br>• 呼出時間を「0秒」に設定すると、着信履歴には記録されません。<br>• Bモードのときは、転送先電話番号、呼出時間は設定できません。<br>デュアルモードのとき<br>▶**「Aナンバー」または「Bナンバー」を選択**▶**「はい」を選択**▶**「はい」を選択**▶**電話番号を入力**▶[📖]▶**「はい」を選択**▶**呼出時間を入力**<br>• 「Bナンバー」を選択した場合は、転送先電話番号、呼出時間は設定できません。 |

| メニュー項目 | 機能と操作 |
|---|---|
| 2転送サービス停止 | ▶「はい」を選択<br>デュアルモードのとき<br>▶「Aナンバー」または「Bナンバー」を選択▶「はい」を選択 |
| 3転送先変更 | 転送先を変更したり、転送先を変更して転送サービスを開始にしたりします。<br>▶電話番号を入力▶□▶1または2▶「はい」を選択<br>• 電話番号入力欄を選択する前に、□を押すと電話帳から、□を押すと着信履歴から、□を押すとリダイヤルから、電話番号を入力できます。<br>• 2in1がONでデュアルモードまたはBモードのとき、Bナンバーについては、転送先の変更のみできます。 |
| 4転送先通話中時設定 | 転送先の電話が通話中などで転送できないときに、留守番電話サービスで応答するように設定します。<br>▶「はい」を選択 |
| 5転送サービス設定確認 | ▶「はい」を選択<br>デュアルモードまたはBモードのとき<br>▶「Aナンバー」または「Bナンバー」を選択▶「はい」を選択<br>• Bナンバーでは、開始／停止のみ確認できます。 |

### ❖転送ガイダンスの有／無を設定する

**1** 1 4 2 9 ▶ □ ▶音声ガイダンスの指示に従って操作

• 詳細は『ご利用ガイドブック（ネットワークサービス編）』をご覧ください。

## 迷惑電話ストップサービス

**いたずら電話などの迷惑電話を着信しないように拒否するサービスです。着信拒否登録すると、以後の着信を自動的に拒否し、相手にはガイダンスで応答します。**

• 着信拒否登録した電話番号から電話がかかってきても、着信音は鳴りません。着信履歴にも記録されません。

**1** □▶ 8 8 8 3 ▶メニュー項目を選択して操作

| メニュー項目 | 機能と操作 |
|---|---|
| 1迷惑電話着信拒否登録 | 最後に着信応答した電話番号を着信拒否に登録します。<br>▶「はい」を選択<br>• 通話していない不在着信などは登録の対象になりません。 |
| 2電話番号指定拒否登録 | 指定した電話番号を着信拒否に登録します。<br>▶「はい」を選択▶電話番号を入力▶□▶「はい」を選択<br>• 電話番号入力欄を選択する前に、□を押すと電話帳から、□を押すと着信履歴から、□を押すとリダイヤルから、電話番号を入力できます。 |
| 3迷惑電話全登録削除 | ▶「はい」を選択 |
| 4迷惑電話1登録削除 | 最後に登録した電話番号を1件削除します。同様の操作を繰り返し行うことにより、最後に登録した順より1件ずつ削除することができます。<br>▶「はい」を選択 |
| 5拒否登録件数確認 | ▶「はい」を選択 |

## 番号通知お願いサービス

**電話番号を通知してこない音声電話またはテレビ電話に対して、番号通知のお願いをガイダンスで応答し、自動的に電話を切るサービスです。**

• 番号通知お願いサービスによって着信しなかった電話は、着信履歴に記録されず、待受画面に□2(数字は件数）は表示されません。

**1** □▶ 8 8 4 2 ▶メニュー項目を選択して操作

| メニュー項目 | 機能と操作 |
|---|---|
| 1番号通知開始 | ▶「はい」を選択 |
| 2番号通知停止 | ▶「はい」を選択 |
| 3番号通知設定確認 | ▶「はい」を選択 |

## デュアルネットワークサービス

お使いになっているFOMA端末の電話番号で、mova端末をご利用いただけるサービスです。FOMAとmovaのサービスエリアに応じた使い分けが可能です。

- FOMA端末とmova端末を同時には利用できません。
- デュアルネットワークサービスの切り替え操作は、利用不可状態の端末から行ってください。

**1** MENU▶8 8 8 5▶メニュー項目を選択して操作

| メニュー項目 | 機能と操作 |
|---|---|
| 1デュアルネットワーク切替 | mova端末に切り替えていたデュアルネットワークサービスを、FOMA端末に切り替えます。<br>▶「はい」を選択▶ネットワーク暗証番号を入力 |
| 2デュアルネットワーク状態確認 | ▶「はい」を選択 |

英語ガイダンス

## ガイダンスを日本語と英語で切り替える

留守番電話サービスなどの各種ネットワークサービス設定時のガイダンスや、圏外などの音声ガイダンスを英語に設定することができます。

**1** MENU▶8 8 8 4▶メニュー項目を選択して操作

| メニュー項目 | 機能と操作 |
|---|---|
| 1ガイダンス設定 | 発信時と着信時のガイダンスの言語を英語または日本語に切り替えます。<br>▶「はい」を選択▶1または2<br>日本語：<br>発信時に自分が聞くガイダンスを日本語に設定します。<br>英語：<br>発信時に自分が聞くガイダンスを英語に設定します。<br>▶「はい」を選択▶1～3<br>日本語：<br>着信時に相手が聞くガイダンスを日本語に設定します。<br>日本語＋英語：<br>着信時に相手が聞くガイダンスを、日本語→英語の順に設定します。<br>英語＋日本語：<br>着信時に相手が聞くガイダンスを、英語→日本語の順に設定します。 |
| 2ガイダンス設定確認 | ▶「はい」を選択 |

## サービスダイヤル

ドコモ総合案内・受付や故障の問い合わせ先へ電話をかけることができます。

- お使いのFOMAカードによっては、表示される項目が異なる場合や表示されない場合があります。→P39

**1** MENU▶8 8 8 6▶メニュー項目を選択して操作

| メニュー項目 | 機能と操作 |
|---|---|
| 1ドコモ故障問合せ | ドコモ指定の故障取扱窓口に電話をかけます。<br>▶「はい」を選択 |
| 2ドコモ総合案内・受付 | ドコモ総合案内・受付に電話をかけます。<br>▶「はい」を選択 |

## 通話中着信設定

通話中着信動作選択の設定を開始／停止したり、設定内容を確認したりします。

**1** MENU▶8 8 8 8▶メニュー項目を選択して操作

| メニュー項目 | 機能と操作 |
|---|---|
| 1通話中着信設定開始 | ▶「はい」を選択 |
| 2通話中着信設定停止 | ▶「はい」を選択 |
| 3通話中着信設定確認 | ▶「はい」を選択 |

通話中着信動作選択

## 通話中に電話がかかってきたときの対応方法を選択する

【お買い上げ時】 通常着信

**留守番電話サービス、転送でんわサービス、キャッチホンをご契約されているお客様の通話中にかかってきた音声電話、テレビ電話、または64Kデータ通信にどのように対応するかを設定できます。**

- 留守番電話サービス、転送でんわサービス、キャッチホンを契約されていない場合は、通話中にかかってきた着信に応答できません。
- 通話中着信動作選択を利用する場合は、あらかじめ通話中着信設定を開始に設定してください。

**1 MENU ▶ 8 8 8 9 ▶ メニュー項目を選択して操作**

| メニュー項目 | 機能と操作 |
|---|---|
| 1通常着信 | キャッチホンを開始に設定しているときは、キャッチホンが作動します。キャッチホンを停止に設定しているときは、音声電話または64Kデータ通信を終了し、かかってきた音声電話に応答できます。また、音声電話中にかかってきた音声電話の対応をサブメニューから選択できます。→P68 |
| 2留守番電話 | 通話中にかかってきた音声電話またはテレビ電話を、留守番電話サービスに接続します。 |
| 3転送でんわ | 通話中にかかってきた音声電話、テレビ電話、または64Kデータ通信を、あらかじめ登録している転送先に転送します。<br>• 64Kデータ通信中に64Kデータ通信を着信した場合は転送されません。 |
| 4着信拒否 | 通話中にかかってきた音声電話、テレビ電話、または64Kデータ通信の着信を拒否します。 |

- いずれの設定の場合でも、着信履歴に不在着信として記録されます。

遠隔操作設定

## 遠隔操作を設定する

**留守番電話サービスや転送でんわサービスなどを、プッシュ式の一般電話や公衆電話、ドコモの携帯電話などから操作できるようにします。**

- 海外で留守番電話サービスや転送でんわサービスを利用する場合は、あらかじめ遠隔操作設定を設定しておく必要があります。

**1 MENU ▶ 8 8 8 2 ▶ メニュー項目を選択して操作**

| メニュー項目 | 機能と操作 |
|---|---|
| 1遠隔操作開始 | ▶「はい」を選択 |
| 2遠隔操作停止 | ▶「はい」を選択 |
| 3遠隔操作設定確認 | ▶「はい」を選択 |

## マルチナンバー

**FOMA端末の電話番号として基本契約番号の他に、付加番号1と付加番号2の最大2つの番号を追加してご利用いただけるサービスです。**

- FOMAカードを取り外したり、差し替えたりした場合、FOMA端末に登録していたマルチナンバーの設定（名称、電話番号など）が消去されることがあります。このような場合は、再度登録を行ってください。
- 発着信中の画面に基本契約番号の名称または付加番号の名称が表示されます。
- リダイヤルまたは着信履歴から発信する場合は、以前発着信したマルチナンバーの名称が表示され、この番号で発信します。

**1 MENU ▶ 8 8 8 7 ▶ メニュー項目を選択して操作**

| メニュー項目 | | 機能と操作 |
|---|---|---|
| 1通常発信番号設定 | | |
| | 1基本契約番号 | 基本契約番号で電話をかけます。<br>▶「はい」を選択 |
| | 2付加番号1 | 付加番号1で電話をかけます。<br>▶「はい」を選択 |
| | 3付加番号2 | 付加番号2で電話をかけます。<br>▶「はい」を選択 |
| 2通常発信番号設定確認 | | ▶「はい」を選択 |

| メニュー項目 | 機能と操作 |
| --- | --- |
| 3電話番号設定<br>【お買い上げ時】<br>基本契約番号<br>名称：基本契約番号<br>電話番号：ご契約電話番号<br>付加番号1<br>名称：付加番号1<br>付加番号2<br>名称：付加番号2<br>付加番号1、2<br>電話番号：未登録<br>マルチナンバー発信：無効 | 基本契約番号の名称は、プロフィール情報の設定内容が表示されます。<br>▶下記の各項目を選択して設定▶[登録]<br>**付加番号1または2名称：**<br>付加番号の名称を入力します。この名称は、電話の着信画面やリダイヤル、着信履歴などに表示されます。<br>• 全角で最大10文字、半角で最大20文字入力できます。<br>**付加番号1または2電話番号：**<br>付加番号に登録する電話番号を入力します。<br>• 最大26桁入力できます。<br>**マルチナンバー発信：**<br>「有効」に設定すると、電話をかけるときにサブメニューからマルチナンバーの発信番号を選択できます。 |
| 4着信設定<br>【お買い上げ時】<br>[付加番号1、付加番号2]<br>個別設定：OFF | ▶1または2▶下記の各項目を選択して設定▶[登録]<br>**個別設定：**<br>付加番号ごとの着信時の動作を使用するかどうかを設定します。<br>「着信音」「イメージ表示」の設定操作→P118「音声電話着信時の動作を変更する」 |

## ◆電話番号を選択して電話をかける

• 電話番号設定のマルチナンバー発信を「無効」に設定すると、マルチナンバーを選択できません。

**1 電話番号を入力▶▶4▶1～3▶[発信]**

### ✔お知らせ

• リダイヤルまたは着信履歴から操作する場合は、を押し「マルチナンバー」を選択します。
• 伝言メモ一覧、音声メモ一覧、スケジュールのメンバーリスト一覧画面から操作する場合は、を押し「発信オプション」を選択します。
• FOMA端末電話帳またはFOMAカード電話帳の電話帳一覧から操作する場合は、を押し「発信オプション／メール」→「発信オプション」を選択し、電話番号の詳細画面から操作する場合は、を押し「着もじ／マルチナンバー」→「マルチナンバー」を選択します。



# 2in1

**1つの携帯電話で2つの電話番号・メールアドレスが使え、専用のモード機能を利用することで、あたかも2つの携帯電話を使い分けるようにご利用いただけるサービスです。**

• 2in1の詳細は『ご利用ガイドブック（2in1編）』をご覧ください。
• 2in1がONのとき、FOMAカードの差し替え（2in1契約者→2in1契約者）を行う場合は、正しいBナンバーを取得するために、2in1をOFFにしてから再度2in1をONにしてください。また、FOMAカードの差し替え（2in1契約者→2in1未契約者）を行う場合も、正しいプロフィール情報に更新するために、2in1をOFFにしてください。

## ❖各モードについて

**Aモード**：お客様電話番号（Aナンバー）での発信とｉモードメール（Aアドレス）での送受信、およびその関連データの閲覧ができます。
**Bモード**：2in1電話番号（Bナンバー）での発信とWEBメール（Bアドレス）が利用できるサイトへのアクセス、およびその関連データの閲覧ができます。
**デュアルモード**：A／Bの両方の機能を備えたモードです。
• 2in1のモードごとの動作→P464

## ❖注意事項

• Bアドレスは専用のWEBメールサイトでメールの送受信を行います。→P245
• ｉモードを契約している場合は、Bモードでもｉモードサービスを利用できます。

### ✔お知らせ

• 次の場合は、2in1のモードに関わらずすべてのデータが削除されます。
  - 伝言メモ、音声メモ、リダイヤル、着信履歴、電話帳データ、メール送受信履歴の全件削除
  - 受信／送信／未送信メールの「1件削除」または「複数削除」以外の削除操作
  - メールフォルダや電話帳のグループの削除
  - データ一括削除
• 外部機器と接続して発信・ATコマンド発信するとき、次の場合は、2in1のモードに関わらずAナンバーの発信になります。
  - ハンズフリー対応機器からの発信※1、2
  - 外部機器からのテレビ電話発信※2
  - 64Kデータ通信※2
  ※1 外部機器からFOMA端末電話帳のメモリ番号を指定して発信する場合は、電話帳2in1設定に従って表示されていない相手には発信できません。
  ※2 外部機器からリダイヤル発信する場合は、2in1のモードに関わらず最新のリダイヤルへAナンバーで発信されます。
• テロップ表示設定は、モードごとに設定できます。

### ❖2in1設定を設定する〈2in1設定〉

- 2in1設定を設定したり動作させたりするには、2in1をONにしてください。
- 2in1がONでセレクトメニューの設定がお買い上げ時の状態のとき、待受画面で[6]を1秒以上押すと2in1モード切替が起動します。

**1** **[MENU]▶[8][8][7]▶認証操作▶「はい」を選択▶メニュー項目を選択して操作**

- すでに2in1をONにしている場合は、認証操作を行うと2in1設定画面が表示されます。

| メニュー項目 | 機能と操作 |
|---|---|
| [1]2in1モード切替<br>【お買い上げ時】<br>デュアルモード | ▶[1]〜[3]<br>・現在設定しているモードは選択できません。 |
| [2]電話帳2in1設定 | Aモード、Bモード、A／B両モードで表示させるFOMA端末電話帳の電話帳データを設定します。<br>「共通」に設定した電話帳データは、A／B両方のモードで表示されます。<br>名前の表示について→P100<br>**▶モードを選択▶電話帳を検索▶電話帳データを選択▶[電話帳]▶「はい」を選択**<br>・電話帳選択画面では、名前の右側にA（Aモードの電話帳データ）、B（Bモードの電話帳データ）、またはAB（A／B両モードの電話帳データ）が表示されています。 |
| [3]モード別待受画面設定 | |
| [1]デュアルモード待受画面<br>【お買い上げ時】<br>［縦画面設定］<br>子犬1<br>［横画面設定］<br>子犬2 | ▶[1]または[2]<br>以降の操作→P133「画像／動画／iモーション／キャラ電を待受画面に設定する」操作4 |
| [2]Bモード待受画面<br>【お買い上げ時】<br>［縦画面設定］<br>気球1<br>［横画面設定］<br>気球2 | ▶[1]または[2]<br>以降の操作→P133「画像／動画／iモーション／キャラ電を待受画面に設定する」操作4 |
| [4]発着信番号設定 | |
| [1]Bナンバー着信設定<br>【お買い上げ時】<br>［電話着信音設定］<br>電話：メロディ／着信音4<br>［テレビ電話着信音設定］<br>テレビ電話：メロディ／Jam Ring | ▶[1]または[2]<br>以降の操作→P120「電話やメール・メッセージの着信音を変える」操作3 |
| [2]Bナンバー識別表示<br>【お買い上げ時】<br>ON | Bナンバーを利用するとき、発着信中や通話中画面などに表示される「発信中」などの状態表示を《発信中》などとカッコでくくるかどうかを設定します。<br>▶[1]または[2] |
| [5]2in1機能OFF | **▶「はい」を選択**<br>OFFにすると、AナンバーとAアドレスのみ利用できます。電話帳、受信メール、リダイヤル、着信履歴などのデータは、すべて表示されます。 |

**✔お知らせ**

- 初めて2in1を契約したときには、すでにFOMA端末電話帳に登録している電話帳データの電話帳2in1設定はすべて「A」に設定されます。再契約された場合は、以前に設定していた電話帳2in1設定を引き継ぎます。
- FOMAカード電話帳に登録やコピーした電話帳データには電話帳2in1設定は設定できません。ただし、電話帳2in1設定の「共通」と同様の動作をし、「AB」も表示されます。
- モード別待受画面設定では静止画、アニメーション、パラパラマンガが設定できます。

## ❖2in1のモードごとの機能

モードごとに動作の違いがある項目のみ記載しています（Aモードと同じ動作をするものは除いています）。

| サービス | | Aモード | Bモード | デュアルモード |
|---|---|---|---|---|
| 電話／テレビ電話 | 発信 | Aナンバー | Bナンバー | 発信時に選択※1 |
| | 着信 | すべて | | |
| 電話帳 | 表示※2、3 | 「A」「共通」 | 「B」「共通」 | すべて |
| | 名前変換※4 | 「A」「共通」 | 「B」「共通」 | すべて |
| | 新規登録時 | 「A」 | 「B」 | 「A」 |
| | 赤外線通信／iC通信からの全件受信 | 送信側の電話帳2in1設定に従います。※5 | | |
| | 赤外線通信／iC通信からの1件受信 | 「A」 | 「B」 | 「A」 |
| | microSDメモリーカードからの復元 | バックアップ時の電話帳2in1設定に従います。※6 | | |
| | microSDメモリーカードからの1件コピー | 「A」 | 「B」 | 「A」 |
| | FOMAカード電話帳へコピー | 電話帳2in1設定は設定されません。 | | |
| | FOMAカード電話帳からコピー | 「A」 | 「B」 | 「A」 |
| リダイヤル表示 | | Aナンバー発信 | Bナンバー発信 | すべての発信 |
| 着信履歴表示※7 | | Aナンバー着信 | Bナンバー着信 | すべての着信 |
| メール／SMS | 表示※3、8 | Aアドレス／Aナンバーで送受信したメール／SMS | Bアドレス※9／Bナンバーに受信したメール／SMS | すべて |
| | 送信 | Aアドレス／Aナンバー | 送信不可 | Aアドレス／Aナンバー※10 |
| | 受信※11 | すべて | | |
| | WEBメールサイト | 利用不可 | 利用可能 | 利用可能 |
| | 赤外線通信／iC通信からの全件受信 | 送信側の状態を引き継ぎます。※12 | | |
| | 赤外線通信／iC通信からの1件受信 | Aアドレス／Aナンバー | | |
| | microSDメモリーカードからの復元 | バックアップ時の状態を引き継ぎます。※13 | | |
| | microSDメモリーカードからの1件コピー | Aアドレス／Aナンバー | | |
| | FOMAカードへ移動／コピー（SMSのみ） | 自分のナンバーの情報を削除して移動／コピーします。 | | |
| | FOMAカードから移動／コピー（SMSのみ） | すべてAナンバーとして移動／コピーします。 | | |
| プッシュトーク | 発信 | Aナンバー | 利用不可 | Aナンバー※14 |
| | 着信 | Aナンバー | | |
| | プッシュトーク電話帳表示 | 「A」「共通」 | 利用不可 | 「A」「共通」 |
| iアプリ | | 利用可能 | 利用可能※15 | 利用可能※16 |
| プロフィール情報表示 | | Aナンバー／Aアドレス | Bナンバー／Bアドレス | すべて |

※1 電話帳から発信する場合は、電話帳2in1設定で「A」または「共通」に設定した相手にはAナンバーで、「B」に設定した相手にはBナンバーで発信されます。クイックダイヤル発信とイヤホンスイッチ発信も同様です。
伝言メモ、音声メモ、リダイヤル、着信履歴、メール送受信履歴から発信する場合は、発着信時のナンバーに従って発信されます。
プロフィール情報に登録した電話番号に発信する場合は、Aナンバーのプロフィール情報の電話番号にはAナンバーで、Bナンバーのプロフィール情報の電話番号にはBナンバーで発信されます。
ただし、発信オプションから発信する場合は、「Aナンバー」または「Bナンバー」を選択できます。
※2 シークレット属性を設定している場合は、プライバシーモードの動作が優先されます。
※3 microSDメモリーカード内の電話帳、メール、SMSは2in1のモードに関わらず、すべて表示されます。
※4 電話番号やメールアドレスを電話帳に登録している場合、発信中、呼出中、通話中、受信メールの発信元、送信／未送信メールの宛先、GPSの位置提供、位置履歴詳細画面の要求者名などに、電話帳に登録している名前が表示されます。
※5 送信側が2in1非対応機種の場合、電話帳2in1設定はすべて「A」に設定されます。
※6 バックアップ時が2in1非対応機種の場合、電話帳2in1設定はすべて「A」に設定されます。
※7 AモードのときにBナンバーへ着信した場合、またはBモードのときにAナンバーへ着信した場合は、不在着信などの新着情報は表示されません。
※8 AモードのときにBアドレス／Bナンバーへ受信した場合、またはBモードのときにAアドレス／Aナンバーへ受信した場合は、未読メールなどの新着情報は表示されません。
※9 WEBメールサイト上で端末に保存操作をしたメール、新着通知メール、アラーム通知メール
※10 電話帳2in1設定で「B」に設定した相手にもAアドレスでメールを、AナンバーでSMSを送信しますのでご注意ください。
メール受信履歴のBアドレス／Bナンバーの履歴を利用して送信できません。
※11 AモードのときにBアドレス／Bナンバーへ受信した場合、またはBモードのときにAアドレス／Aナンバーへ受信した場合は、メール着信音は鳴らず、ランプやバイブレータも動作しません。
※12 送信側のAアドレス／Aナンバーは受信側のAアドレス／Aナンバーとして、送信側のBアドレス／Bナンバーは受信側のBアドレス／Bナンバーとして保存されます。
※13 バックアップ時のAアドレス／Aナンバーは復元先のAアドレス／Aナンバーとして、バックアップ時のBアドレス／Bナンバーは復元先のBアドレス／Bナンバーとして保存されます。
※14 電話帳2in1設定で「B」に設定した相手にはプッシュトーク発信できません。
※15 メール機能を利用するiアプリ、iアプリ待受画面は利用できません。
※16 iアプリ待受画面は利用できません。

## OFFICEED

「OFFICEED」は指定されたIMCS（屋内基地局設備）で提供されるグループ内定額サービスです。ご利用には別途お申し込みが必要となります。
詳細はドコモの法人向けホームページ（http://www.docomo.biz/d/212/）をご確認ください。

**1** MENU▶8 8 6▶メニュー項目を選択して操作

| メニュー項目 | 機能と操作 |
|---|---|
| 1エリア表示設定<br>【お買い上げ時】<br>OFF | OFFICEEDエリア内にいるときに、待受画面にOFFICEEDを表示させるかどうかを設定します。<br>▶1または2 |
| 2圏外転送開始 | ▶「はい」を選択 |
| 3圏外転送停止 | ▶「はい」を選択 |
| 4圏外転送設定確認 | ▶「はい」を選択 |

追加サービス（USSD登録）

## 新しいネットワークサービスを登録する

ドコモから新しいネットワークサービスが追加されたときに、そのサービスをメニューに登録して利用します。

**1** MENU▶8 8 8 1▶メニュー項目を選択して操作

| メニュー項目 | 機能と操作 |
|---|---|
| 1USSD登録 | 登録・変更するとき<br>▶サービスを登録・変更する番号にカーソルを合わせて[m]▶下記の各項目を選択して設定▶[m]［登録］<br>USSDコード：<br>ドコモから通知されたサービスコードを入力します。<br>• サービスコードとはネットワークサービスの設定などを行うためのコードです。FOMA端末ではUSSDコードとして登録します。<br>名称：<br>名称（サービス名）を入力します。<br>• 全角で最大10文字、半角で最大20文字入力できます。<br>サービスを利用するとき<br>▶1～8<br>登録したサービスを削除するとき<br>▶削除するサービスにカーソルを合わせてMENU▶1▶「はい」を選択<br>• 全件削除するときはMENU 2を押します。 |
| 2応答メッセージ登録 | 追加したサービスを実行したときに、サービスセンターから返ってくるコードに対応したメッセージを登録します。登録したコードが応答として返ってきたときにこのメッセージが表示されます。<br>登録・変更するとき<br>▶1～8▶下記の各項目を選択して設定▶[m]［登録］<br>USSDコード：<br>ドコモから通知されたサービスコードを入力します。<br>応答メッセージ：<br>応答メッセージを入力します。<br>• 全角で最大10文字、半角で最大20文字入力できます。<br>登録した応答メッセージを削除するとき<br>▶削除する応答メッセージにカーソルを合わせてMENU▶1▶「はい」を選択<br>• 全件削除するときはMENU 2を押します。 |

# データ通信



データ通信について、詳細は付属のCD-ROM内の「PDF版「データ通信マニュアル」」をご覧ください。「PDF版「データ通信マニュアル」」をご覧になるには、Adobe Reader（バージョン6.0以上を推奨）が必要です。お使いのパソコンにインストールされていない場合は、付属のCD-ROM内のAdobe Readerをインストールしてご覧ください。ご使用方法などの詳細は、「Adobe Readerヘルプ」をご覧ください。

## データ通信について

**別売りのFOMA USB接続ケーブルを使ってパソコンとFOMA端末を接続し、データ通信が利用できます。**

### ◆利用できる通信形態

利用できる通信形態は、パケット通信、64Kデータ通信、データ転送の3つに分類されます。
- パソコンと接続してパケット通信や64Kデータ通信を行ったり、電話帳などのデータを編集したりするには、付属のCD-ROMからソフトのインストールや各種設定を行う必要があります。
- OSをアップグレードして使用されている場合の動作は保証いたしかねます。
- 海外ではパケット通信や64Kデータ通信の利用はできません。また、IP接続には対応しておりません。
- FOMA端末は、FAX通信やRemote Wakeupには対応しておりません。
- ドコモのPDA、museaやsigmarion Ⅱ、sigmarion Ⅲと接続してデータ通信が行えます。ただし、museaやsigmarion Ⅱをご利用の場合は、これらのアップデートが必要です。アップデートの方法などの詳細は、ドコモのホームページをご覧ください。

#### ❖パケット通信

送受信したデータ量に応じて課金されるため、メールの送受信など、比較的少ないデータ量を高速でやりとりする場合に適しています。ネットワークに接続していても、データの送受信を行っていないときには通信料がかからないため、ネットワークに接続したまま必要なときにデータを送受信するという使いかたができます。
ドコモのインターネット接続サービスmopera Uやmoperaなど、FOMAのパケット通信に対応したアクセスポイントを利用して、受信最大384kbps、送信最大64kbpsの高速パケット通信ができます。通信環境や混雑状況の影響により通信速度が変化するベストエフォートによる提供です。
画像を含むホームページの閲覧やデータのダウンロードなど、データ量の多い通信を行った場合には通信料が高額になりますのでご注意ください。

#### ❖64Kデータ通信

データ量に関係なく、ネットワークに接続している時間の長さに応じて課金されるため、マルチメディアコンテンツのダウンロードなど、比較的データ量の多い送受信を行う場合に適しています。
ドコモのインターネット接続サービスmopera Uやmoperaなど、FOMA 64Kデータ通信に対応したアクセスポイント、またはISDN同期64kbpsのアクセスポイントを利用して、64kbpsの安定した通信速度でデータを送受信できます。
長時間通信を行った場合には通信料が高額になりますのでご注意ください。

#### ❖データ転送

電話帳やメールなどのデータを送受信する、課金が発生しない通信形態です。
- 赤外線通信／iC通信を使っても、他のFOMA端末や携帯電話、パソコンなどとデータを送受信できます。

## ご利用になる前に

### ◆動作環境について

データ通信を利用するためのパソコンの動作環境は、次のとおりです。

| 項　目 | 必要環境 |
|---|---|
| パソコン本体 | USBポート（USB仕様1.1／2.0に準拠）を持つPC/AT互換機 |
| OS（各日本語版） | Windows 2000、Windows XP、Windows Vista |
| 必要メモリ※ | Windows 2000：64MB以上<br>Windows XP：128MB以上<br>Windows Vista：512MB以上 |
| ハードディスク容量※ | 5MB以上の空き容量 |

※ FOMA PC設定ソフトの動作環境です。パソコンのシステム構成によっては異なる場合があります。
- 動作環境によってはご使用になれない場合があります。
- 上記の動作環境以外でのご使用について、当社では責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

### ◆必要な機器について

FOMA端末とパソコン以外に、次の機器が必要です。
- 別売りのFOMA USB接続ケーブルまたはFOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01
- 付属のCD-ROM「FOMA® F904i用CD-ROM」

※ USBケーブルは専用のFOMA USB接続ケーブルまたはFOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01をお買い求めください。パソコン用のUSBケーブルはコネクタ部の形状が異なるため利用できません。
※ 本書では、FOMA USB接続ケーブルでの場合を例に説明しています。

### ◆ご利用時の留意事項

#### ❖インターネットサービスプロバイダの利用料について

パソコンでインターネットを利用する場合、通常ご利用になるインターネットサービスプロバイダ（以降プロバイダ）の利用料が必要です。この利用料は、FOMAサービスの利用料とは別に直接プロバイダにお支払いいただきます。利用料の詳細は、ご利用のプロバイダにお問い合わせください。

• ドコモのインターネット接続サービスmopera Uやmoperaがご利用いただけます。
mopera Uはお申し込みが必要な有料サービスです。使用した月だけ月額使用料がかかるプランもご利用いただけます。FOMA端末でのインターネット接続には、ブロードバンド接続オプションなどに対応したmopera Uのご利用をおすすめします。
moperaはお申し込みが不要で、月額使用料は無料です。今すぐインターネットに接続したい方に便利なサービスです。

### ❖接続先（プロバイダなど）について

パケット通信と64Kデータ通信では接続先が異なります。パケット通信を行うときはパケット通信対応の接続先、64Kデータ通信を行うときはFOMA64Kデータ通信、またはISDN同期64kbps対応の接続先をご利用ください。

• PIAFSなどのPHS64K／32Kデータ通信やDoPaのアクセスポイントには接続できません。

### ❖ユーザー認証について

接続先によっては、接続時にユーザー認証が必要な場合があります。その場合は、通信ソフトまたはダイヤルアップネットワークでIDとパスワードを入力してください。IDとパスワードはプロバイダまたは社内LANなど接続先のネットワーク管理者から付与されます。詳細はプロバイダまたはネットワーク管理者にお問い合わせください。

### ❖パソコンのブラウザを利用してのアクセス認証について

パソコンのブラウザを利用してのアクセス認証でFirstPass（ユーザ証明書）が必要な場合は、付属のCD-ROMからFirstPass PCソフトをインストールし、設定してください。詳細は付属のCD-ROM内の「FirstPassManual」をご覧ください。
「FirstPassManual」（PDF形式）をご覧になるには、Adobe Reader（バージョン6.0以上を推奨）が必要です。パソコンにインストールされていない場合は、付属のCD-ROMからインストールできます。

### ❖パケット通信および64Kデータ通信の条件

FOMA端末で通信を行うには、次の条件が必要です。
- FOMAサービスエリア内であること
- パケット通信の場合、アクセスポイントがFOMAのパケット通信に対応していること
- 64Kデータ通信の場合、接続先がFOMA64Kデータ通信、またはISDN同期64kbpsに対応していること

※ 上記の条件が整っていても、基地局が混雑していたり、電波状況が悪かったりするときは通信できない場合があります。

## データ通信の準備の流れ

**パケット通信および64Kデータ通信を利用する場合の準備について説明します。**

### ❖通信設定ファイル（ドライバ）について

パソコンに接続してパケット通信または64Kデータ通信を行うには、通信設定ファイルをインストールする必要があります。

### ❖FOMA PC設定ソフトについて

付属のCD-ROMからFOMA PC設定ソフトをパソコンにインストールすると、パケット通信または64Kデータ通信を行うために必要なさまざまな設定を、パソコンから簡単な操作で設定できます。

### ❖インストール／アンインストール前の注意点

- 操作を始める前に他のプログラムが稼動中でないことを確認し、稼動中のプログラムがある場合は終了してください。
- 通信設定ファイルやFOMA PC設定ソフトのインストール／アンインストールを行う場合は、必ずパソコンの管理者権限を持ったユーザーで行ってください。それ以外のユーザーで行うとエラーになる場合があります。Windows Vistaの場合、「ユーザーアカウント制御」画面が表示されたときは、「許可」または［続行］をクリックしてください。パソコンの管理者権限の設定操作については、各パソコンメーカやマイクロソフト社にお問い合わせください。
- パソコンの操作方法、管理者権限の設定などについては、パソコンの取扱説明書をご覧ください。

**データ通信の用語集**

**APN（Access Point Name）**
パケット通信で接続するプロバイダなどを識別する文字列。たとえば、mopera Uは「mopera.net」がAPNとなります。

**cid（Context Identifier）**
FOMA端末内に登録するパケット通信での接続先（APN）を管理する番号。FOMA端末では1から10までの10件が使えます。

**DNS（Domain Name System）**
ドメインネーム（例：nttdocomo.co.jp）を、コンピュータで使うIPアドレスに変換するシステムのことです。

**OBEX（Object Exchange）**
データ通信の国際規格の1つ。OBEXに対応している携帯電話、パソコン、デジタルカメラ、プリンタなどの間で、データの送受信ができます。

**QoS（Quality of Service）**
サービスの品質。通信時にユーザーの意図どおりに回線を利用するための技術。FOMA端末では、接続するときの通信速度などを設定できます。

**通信設定最適化**
FOMAネットワークでパケット通信を行う際に、TCP/IPの伝送能力を最大限に生かすためのTCPパラメータ。FOMA端末の通信性能を最大限に活用するには、この通信設定が必要です。

**管理者権限**
OSのシステムなどすべてにアクセスできる権限のこと。1台のパソコンに最低1人は、パソコンの管理者権限を持つユーザーが設定されています。通常、パソコンの管理者権限がないユーザーは、ドライバやソフトなどのインストール／アンインストールができません。

## ATコマンドについて

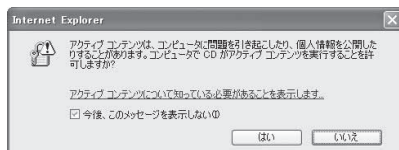
**ATコマンドとは、パソコンでFOMA端末の各機能を設定するためのコマンド（命令）です。FOMA端末はATコマンドに準拠し、さらに拡張コマンドの一部や独自のATコマンドをサポートしています。**
**ATコマンドの詳細は付属のCD-ROM内の「データ通信マニュアル」をご覧ください。**

## CD-ROMについて

**付属のCD-ROMには、FOMA端末でデータ通信をご利用になる際のソフトウェアや、PDF版「データ通信マニュアル」、PDF版「区点コード一覧」などが収録されています。詳細は、付属のCD-ROMをご覧ください。**

**■ 収録ソフト／PDF**

- F904i通信設定ファイル
- FOMA PC設定ソフト
- FOMAバイトカウンタ
- ドコモケータイdatalinkのご案内
- FirstPass PCソフト
- mopera Uのご案内（mopera Uかんたんスタート／U かんたん接続設定ソフト／U オリジナルデータ取得ソフト）
- PDF版「データ通信マニュアル」／「Manual for Data Communication」
- PDF版「区点コード一覧」／「Kuten Code List」
- FOMA Fシリーズデータリンクソフト Ver.3.00
- ポータブルデバイス用パソコン環境診断（音楽データ転送のためのパソコン環境を診断するソフトウェア）
- Adobe® Reader® 8.0
- ナップスター®のご案内

CD-ROMをパソコンにセットすると、次のような警告画面が表示される場合があります。この警告は、Internet Explorerのセキュリティの設定によって表示されますが、使用には問題ありません。［はい］をクリックしてください。
※ 画面はWindows XPを使用した場合の例です。お使いのパソコンの環境により異なる場合があります。

## ドコモケータイdatalinkの紹介

「ドコモケータイdatalink」は、お客様の携帯電話の電話帳やメールなどをパソコンにバックアップして、編集などを行うソフトです。ドコモのホームページにて提供しております。詳細およびダウンロードは下記サイトのページをご覧ください。また、付属のCD-ROMから下記サイトへのアクセスも可能です。
http://datalink.nttdocomo.co.jp/

ダウンロード方法、転送可能なデータ、対応OSなど動作環境、インストール方法、操作方法、制限事項などの詳細については上記ホームページをご覧ください。また、インストール後の操作方法については、ソフト内のヘルプをご覧ください。
なお、ドコモケータイdatalinkをご利用になるには、FOMA USB接続ケーブル（別売）が必要となります。

# 海外利用

## 国際ローミング（WORLD WING）の概要

**国際ローミング（WORLD WING）とは、FOMAネットワークのサービスエリア外の海外でも、提携する通信事業者のネットワークを利用して通話やｉモードなどが利用できるサービスです。**

- 2005年9月1日以降にFOMAサービスをご契約いただいたお客様はWORLD WINGのお申し込みは不要です。ただし、FOMAサービスご契約時に不要である旨お申し出いただいたお客様や途中でご解約されたお客様は、再度お申し込みが必要です。
- 2005年8月31日以前にFOMAサービスをご契約でWORLD WINGをお申し込みいただいていないお客様はお申し込みが必要です。
- 一部ご利用になれない料金プランがあります。
- WORLD WINGに対応しているFOMAカード（青以外）をFOMA端末に取り付けておく必要があります。
- 海外のドコモのローミングエリア※1のみで利用できます。エリアやご利用料金についての詳細は、ドコモの『国際サービスホームページ』をご覧ください。
- ドコモのローミングエリアは、世界標準規格である3GPP※2に準拠した第3世代移動通信ネットワークです。

※1 本FOMA端末は3Gサービスエリアのみ対応しています。GSM／GPRSサービスエリアでは利用できません。

※2 3GPP（3rd Generation Partnership Project）は、第3世代移動通信システム（IMT-2000）に関する共通技術仕様開発のために設置された地域標準化団体です。

- 国番号については、ドコモの『国際サービスホームページ』をご覧ください。

■ 主要国の国番号

国際電話を利用するときや国際ダイヤルアシスト設定などで利用する国番号は、次の番号を使用してください（2007年6月現在）。

| ご利用地域 | 国番号 | ご利用地域 | 国番号 |
|---|---|---|---|
| アメリカ合衆国 | 1 | ドイツ | 49 |
| イギリス | 44 | トルコ | 90 |
| イタリア | 39 | 日本 | 81 |
| インド | 91 | ニューカレドニア | 687 |
| インドネシア | 62 | ニュージーランド | 64 |
| エジプト | 20 | ノルウェー | 47 |
| オーストラリア | 61 | ハンガリー | 36 |
| オーストリア | 43 | フィジー | 679 |
| オランダ | 31 | フィリピン | 63 |
| カナダ | 1 | フィンランド | 358 |
| 韓国 | 82 | フランス | 33 |
| ギリシャ | 30 | ブラジル | 55 |
| シンガポール | 65 | ベトナム | 84 |
| スイス | 41 | ペルー | 51 |
| スウェーデン | 46 | ベルギー | 32 |
| スペイン | 34 | 香港 | 852 |
| タイ | 66 | マカオ | 853 |
| 台湾 | 886 | マレーシア | 60 |
| タヒチ（仏領ポリネシア） | 689 | モルディブ | 960 |
| チェコ | 420 | ロシア | 7 |
| 中国 | 86 | | |

## 海外で利用できるサービス

**日本国内と海外のネットワークでは、利用できる通信サービスが異なります。また、海外で利用する通信事業者によっても異なります。**

- サービスに対応している国・地域および通信事業者などの情報については、ドコモの『国際サービスホームページ』をご覧ください。
- パソコンなどと接続して行うデータ通信（パケット通信・64Kデータ通信）は利用できません。
- 滞在国のネットワークの状況などにより、通話時間、待受時間が通常の半分程度になることがあります。

### ◆通信サービス

- 音声電話※1
- テレビ電話※1、2
- ｉモードメール
- ｉモード（フルブラウザを含む）
- SMS
- ｉチャネル※3
- GPSの現在地確認※4

※1 2in1を利用しているときは、Bナンバーでの発信はできません。

※2 海外の特定3G通信事業者をご利用のお客様、またはFOMA端末をご利用のお客様と国際テレビ電話ができます。

※3 自動更新は、海外の通信事業者に接続されたとき自動的に一時停止されます。ｉチャネルの自動更新を再開するには、もう一度ｉチャネル設定を行う必要があります。なお、海外ではｉチャネル受信ごとにパケット通信料がかかります（国内の無料通話適用外）。
海外利用時には、ベーシックチャネルの自動更新についても通信料がかかります（日本国内では、月額サービス利用料に含まれます）。

※4 GPSの設定でサービス利用設定サイトに接続した場合、また海外で測位を行いドコモの地図を参照した場合は、エラー画面が表示されます。その場合パケット通信料がかかります。

■SMSについて

国際ローミング中でも、日本国内や海外でFOMA端末をご利用のお客様または海外通信事業者をご利用のお客様との間でSMSの送受信ができます。ご利用可能な国・海外通信事業者については、ドコモの『国際サービスホームページ』をご覧ください。

- 宛先がFOMA端末の場合は、国内と同様に相手の電話番号をそのまま入力します。
- 宛先がドコモ以外の海外通信事業者の場合は、相手の電話番号の前に「+」と「国番号」を入力します。または、「010」「国番号」「相手の携帯電話番号」の順で入力します（相手の電話番号が「0」で始まる場合は、「0」を除いた電話番号を入力します）。
- 海外の通信事業者を利用している相手に送信したSMSの本文中に相手側が対応していない文字が含まれる場合は、それらの文字が正しく表示されないことがあります。詳細は『ご利用ガイドブック（国際サービス編）』や『ご利用ガイドブック（ネットワークサービス編）』をご覧ください。

### ◆ネットワークサービス

ネットワークサービスをご契約いただいている場合、一部を除くネットワークサービスの設定／解除などの操作を、海外からも行えます。

- 設定／解除などの操作が可能なネットワークサービスでも、利用する海外の通信事業者によっては利用できない場合があります。
詳細は『ご利用ガイドブック（国際サービス編）』や『ご利用ガイドブック（ネットワークサービス編）』をご覧ください。

## 海外利用の準備と確認

- 本FOMA端末は3Gサービスエリアのみ対応しています。
- 海外で本FOMA端末の電源を入れると自動的に通信事業者を検索して滞在先の通信事業者に接続するように設定されています。→P478
- 海外でのご利用料金は毎月のご利用料金と合わせてご請求させていただきます。ただし、渡航先の通信事業者などの事情により、翌月以降の請求書にてお支払いいただく場合があります。また、同一課金対象期間のご利用であっても同一月に請求されない場合がありますので、あらかじめご了承ください。
- 国際ローミング中の日付・時刻→P45
- 国際ローミング中の待受画面の表示→P479

### ◆出発前の準備

#### ❖充電について

- ACアダプタの取扱上の注意について→P19
- ACアダプタの充電方法について→P41、P42

#### ❖ｉモードの利用

海外からｉモードでサイトを表示する場合は、ｉMenu→「料金＆お申込・設定」→「オプション設定」→「海外利用設定」→「ｉモード利用設定」で設定してください。詳細は『ご利用ガイドブック（ｉモード〈FOMA〉編）』をご覧ください。

### ❖ネットワークサービスの利用

海外でネットワークサービスを利用する前に、あらかじめ遠隔操作設定を開始に設定しておく必要があります。滞在先から設定することもできますが、出発前に日本国内で設定しておくことをおすすめします。

- 海外で留守番電話サービスまたは転送でんわサービスを利用するにはご契約が必要です。

### ❖お問い合わせについて

海外での紛失や盗難、精算、故障については、取扱説明書裏面の「海外での紛失、盗難、精算などについて」または「海外での故障に関して」をご覧ください。なお紛失、盗難された後に発生した通話料や通信料もお客様のご負担となりますので、ご注意ください。

- 国際電話アクセス番号、ユニバーサルナンバー用国際電話識別番号の最新情報については、ドコモの『国際サービスホームページ』をご覧ください。

#### ■ 主要国の国際電話アクセス番号（表1）

主要国の国際電話アクセス番号は次のとおりです（2007年6月現在）。

| ご利用地域 | アクセス番号 | ご利用地域 | アクセス番号 |
|---|---|---|---|
| アイルランド | 00 | デンマーク | 00 |
| アメリカ合衆国 | 011 | ドイツ | 00 |
| アラブ首長国連邦 | 00 | トルコ | 00 |
| イギリス | 00 | ニュージーランド | 00 |
| イタリア | 00 | ノルウェー | 00 |
| インド | 00 | ハンガリー | 00 |
| インドネシア | 001 | フィリピン | 00 |
| オーストラリア | 0011 | フィンランド | 00／990 |
| オランダ | 00 | フランス | 00 |
| カナダ | 011 | ブラジル | 0041／0021／0023 |
| 韓国 | 001 | ベトナム | 00 |
| ギリシャ | 00 | ベルギー | 00 |
| シンガポール | 001 | ポーランド | 00 |
| スイス | 00 | ポルトガル | 00 |
| スウェーデン | 00 | 香港 | 001 |
| スペイン | 00 | マカオ | 00 |
| タイ | 001 | マレーシア | 00 |
| 台湾 | 002 | モナコ | 00 |
| チェコ | 00 | ルクセンブルグ | 00 |
| 中国 | 00 | ロシア | 810 |

- ドコモの携帯電話でご利用の場合は、通話料は無料です。
- 一般電話でご利用の場合は、日本向け通話料がかかります。

#### ■ ユニバーサルナンバー用国際電話識別番号（表2）

各国のユニバーサルナンバー用国際電話識別番号は次のとおりです（2007年6月現在）。

| ご利用地域 | 国際識別番号 | ご利用地域 | 国際識別番号 |
|---|---|---|---|
| アイルランド | 00 | 台湾 | 00 |
| アメリカ合衆国 | 011 | 中国 | 00 |
| アルゼンチン | 00 | デンマーク | 00 |
| イギリス | 00 | ドイツ | 00 |
| イスラエル | 014 | ニュージーランド | 00 |
| イタリア | 00 | ノルウェー | 00 |
| オーストラリア | 0011 | ハンガリー | 00 |
| オーストリア | 00 | フィリピン | 00 |
| オランダ | 00 | フィンランド | 990 |
| カナダ | 011 | フランス | 00 |
| 韓国 | 001 | ブラジル | 0021 |
| コロンビア | 009 | ベルギー | 00 |
| シンガポール | 001 | ポルトガル | 00 |
| スイス | 00 | 香港 | 001 |
| スウェーデン | 00 | マレーシア | 00 |
| スペイン | 00 | 南アフリカ共和国 | 09 |
| タイ | 001 | ルクセンブルグ | 00 |

- 一部ご利用できない場合があります。
- ユニバーサルナンバーは、上記に記載のある国のみご利用可能です。
- 携帯電話でかけた場合、滞在国内通信料がかかります。
- ホテルから電話される場合、電話使用料を別途ホテルから請求される場合があります（お客様の負担となります）。ホテル側に確認してからご利用ください。
- 携帯電話、公衆電話、ホテルなどからは、ユニバーサルナンバーをご利用いただけない場合が多いためご注意ください。

### ◆帰国後の確認

日本に帰国してからFOMA端末の電源を入れると、ネットワークサーチ設定がお買い上げ時の状態の場合はFOMAネットワークに自動的に接続されます。ネットワークサーチ設定を「マニュアル」に設定している場合は、FOMAネットワーク（DoCoMo）を選択します。

## 滞在国で電話をかける

**国際ローミングサービスを利用して、海外から音声電話やテレビ電話をかけられます。**

- 接続可能な国および通信事業者などの情報についてはドコモの『国際サービスホームページ』をご覧ください。
- テレビ電話の場合、接続先の端末によりFOMA端末に表示される相手側の映像が乱れたり、接続できない場合があります。

- よくかける相手先の国名と国番号を国際ダイヤルアシスト設定で登録しておけば、ダイヤル操作が簡単にできます。

### ◆滞在国外（日本を含む）に電話をかける

**1** **[0]（1秒以上）▶国番号▶地域番号（市外局番）▶電話番号を入力▶[発信]▶「はい」を選択**

- [0]を1秒以上押すと「+」が入力されます。
- 地域番号（市外局番）が「0」で始まる場合には「0」を除いて入力してください。ただし、イタリアの一般電話などにおかけになる場合は「0」が必要です。
- テレビ電話をかけるときは、[発信]の代わりに[テレビ電話]を押し、「はい」を選択します。

#### ❖国番号を選択して滞在国外（日本を含む）に電話をかける

国際ダイヤルアシスト設定に登録している国番号を選択します。

**1** **地域番号（市外局番）▶電話番号を入力▶[MENU]▶[2]**

**2** **発信方法欄を選択▶[1]または[2]**

**3** **国際電話発信欄を選択▶[2]**

**4** **国番号欄を選択▶国番号を選択**

**5** **[MENU]▶「はい」を選択**

地域番号（市外局番）の先頭の「0」が「+」と選択した国番号に変換されます。

- 発信方法で「テレビ電話」を選択した場合には、[テレビ電話]を押すと通話中に表示するキャラ電を選択できます。

#### ❖電話帳を利用して滞在国外（日本を含む）に電話をかける

- 電話帳に登録している電話番号が「0」で始まる場合にのみ有効です。
- あらかじめ国際ダイヤルアシスト設定の国番号変換を「ON」に、国番号設定を電話をかける国に設定しておく必要があります。

**1** **[電話帳]▶電話帳を検索▶電話をかける相手にカーソルを合わせて[発信]**

地域番号（市外局番）の先頭の「0」が「+」と設定した国番号に変換されます。

- テレビ電話をかけるときは、[発信]の代わりに[テレビ電話]を押します。

**2** **「はい」を選択**

### ◆滞在国内に電話をかける

日本国内で電話をかけるのと同様の操作で、電話をかけられます。

- 電話帳を利用して滞在国内に電話をかける場合は、P477「電話帳を利用して滞在国外（日本を含む）に電話をかける」の操作2で「元の番号で発信」を選択してください。

**1** **電話番号を入力▶[発信]**

- テレビ電話をかけるときは、[発信]の代わりに[テレビ電話]を押します。

### ◆海外にいるWORLD WING利用者に電話をかける

同じ国に滞在している場合でも、「+」と日本の国番号「81」を入力して電話をかけてください。

**1** **[0]（1秒以上）▶81▶90-XXXX-XXXXまたは80-XXXX-XXXX▶[発信]▶「はい」を選択**

- テレビ電話をかけるときは、[発信]の代わりに[テレビ電話]を押し、「はい」を選択します。

## 滞在国で電話を受ける

**日本国内で電話を受けるのと同様の操作で、電話を受けられます。**

**■日本から電話をかけてもらうときは**

お客様が日本国内にいるときと同様に、お客様の電話番号を入力して電話をかけてもらいます。

**090-XXXX-XXXXまたは080-XXXX-XXXX**

**■日本以外から電話をかけてもらうときは**

滞在先に関わらず日本経由で電話をかけるため、日本への国際電話をかけるのと同様の操作で電話をかけてもらいます。

**国際アクセス番号▶81（日本の国番号）▶90-XXXX-XXXXまたは80-XXXX-XXXX**

**✔お知らせ**

- 国・地域によって、着信の場合であっても国際転送料を含んだ着信料がかかります。
- 相手が発信者番号を通知して電話をかけてきた場合でも、海外の通信事業者によっては、発信者番号が通知されない場合があります。また、相手が利用している通信事業者によっては、相手の発信者番号と異なる番号が通知される場合があります。
- 国際ローミング中に電話がかかってきた場合は、いずれの国からの電話であっても日本からの国際転送となります。発信者には日本までの通話料がかかり、着信者には国際転送料を含んだ着信料がかかります。

ネットワークサーチ設定

## 通信事業者の検索方法を設定する

【お買い上げ時】 オート

**国際ローミング開始時や利用中のネットワークが圏外になったとき、他の通信事業者を自動的に検索して接続し直すかどうかを設定します。**

- 電波の状態やネットワークの状況によって設定できない場合があります。
- 日本国内ではNTT DoCoMo以外の通信事業者は選択できません。

**1** [MENU]▶[8][9][1][1]▶[1]～[3]

**オート**：他の通信事業者に自動的に接続し直し、設定が終了します。

**マニュアル**：通信事業者を検索し直し、一覧が表示されます。

**ネットワーク再検索**：「オート」に設定しているときは、自動的に通信事業者が切り替わり、設定が終了します。「マニュアル」に設定しているときは、通信事業者を検索し直し、一覧が表示されます。

**2** **接続する通信事業者を選択**

- 通信事業者の一覧を再検索するときは[MENU]を押します。

**✔お知らせ**

- FOMAカードが挿入されていないときは設定できません。
- 通信事業者の一覧で、利用できない通信事業者のオペレータ名の左には✕が表示されます。
- 「マニュアル」に設定し、接続した通信事業者が圏外になった場合は、もう一度通信事業者を検索し直すか、「オート」に設定してください。

優先ネットワーク設定

## 優先的に接続する通信事業者を設定する

**ネットワークサーチ設定を「オート」に設定しているときに接続する通信事業者の優先順位を設定します。**

**1** [MENU]▶[8][9][1][3]

優先順位の高い通信事業者から順に表示されます。

- 接続優先順位、オペレータコード（MCC-MNC）、国名、オペレータ名が表示されます。

**2** **優先順位を変更する通信事業者にカーソルを合わせて[MENU]▶[2]**

**通信事業者の詳細情報を表示する：詳細情報を表示する通信事業者を選択**

オペレータコード（MCC-MNC）、国名、オペレータ名、通信事業者名が表示されます。

**通信事業者を1件削除する：削除する通信事業者にカーソルを合わせて[MENU]▶[3][1]▶「はい」を選択**

**通信事業者を複数削除する：[MENU]▶[3][2]▶削除する通信事業者を選択▶[m]▶「はい」を選択**

**通信事業者を全件削除する：[MENU]▶[3][3]▶認証操作▶「はい」を選択**

**3** **優先順位を選択▶[m]［登録］**

選択した優先順位の上に順位が変更されます。

- 優先順位を最後にする場合は、「〈最後に指定〉」を選択します。

### ◆優先ネットワークリストに通信事業者を追加登録する

- 最大20件登録できます。

〈例〉FOMA端末に登録されていない通信事業者を追加するとき

**1** [MENU]▶[8][9][1][3]

**2** **[MENU]▶[1][1]▶下記の各項目を選択して設定▶[m]**

**MCC**：国番号を3桁で入力します。

**MNC**：ネットワーク番号を2～3桁で入力します。

**FOMA端末に登録されている通信事業者の一覧から選択する：[MENU]▶[1][2]▶国名を選択▶追加する通信事業者にカーソルを合わせて[m]**

**現在利用できる通信事業者から選択する：[MENU]▶[1][3]▶登録する通信事業者にカーソルを合わせて[m]**

**3** **優先順位を選択▶[m]［登録］**

選択した優先順位の上に追加されます。

- 優先順位を最後にする場合は、「〈最後に指定〉」を選択します。

**✔お知らせ**

- 本機能の設定はFOMAカードに保存されます。
- FOMAカードが挿入されていないときは設定できません。

## 国際ローミング中の待受画面の表示について

### ◆オペレータ名を表示するかどうかを設定する〈オペレータ名表示設定〉

【お買い上げ時】 表示あり

ディスプレイ上部にオペレータ名を表示します。

**1** MENU▶8 9 1 2▶1 または 2

✔お知らせ

- 「表示あり」に設定していても、「DoCoMo」のネットワークを利用している場合は、オペレータ名は表示されません。
- 圏外にいるときは、本機能の設定に関わらずオペレータ名は表示されません。

### ◆デュアル時計を表示するかどうかを設定する〈デュアル時計設定〉

【お買い上げ時】 ON

滞在先の時刻と日本の時刻を表示します。

**1** MENU▶8 9 3▶1 または 2

✔お知らせ

- 自動時刻・時差補正を「ON」に設定していると、接続している滞在先の通信事業者のネットワークによる時差補正情報を受信したときに、デュアル時計が表示されます。
- デュアル時計では、右側に日本時間を表示します。右側に他の国の時刻を表示させる場合は、デュアル時計設定を「OFF」に設定し、時計表示設定のデザインを「世界時計」に設定してください。
- 次の場合は、デュアル時計は表示されません。
  - 待受画面に動画／iモーション、キャラ電を設定している場合
  - iアプリ待受画面を設定している場合

ローミングガイダンス設定

## ローミングガイダンスを開始する

国際ローミング中に音声電話やテレビ電話がかかってきたときに、相手に国際ローミング中であることを通知するガイダンスを流すように設定します。

- 日本国内で設定してください。

**1** MENU▶8 8 5

**2** 1 または 2▶「はい」を選択

- 設定内容を確認するときは 3 を押し、「はい」を選択します。

✔お知らせ

- ローミングガイダンス設定を停止に設定していても、通信事業者で設定している呼び出し音が流れます。
- ローミングガイダンス設定を開始に設定していても、通信事業者の事情により、外国語ガイダンスが流れる場合があります。

ローミング時着信規制

## 国際ローミング中は着信を受け付けないように設定する

すべての着信を規制したり、テレビ電話の着信を規制したりできます。

- 日本国内で設定してください。
- 海外では64Kデータ通信は利用できません。

**1** MENU▶8 9 1 9

**2** 1▶1 または 2▶「はい」を選択▶ネットワーク暗証番号を入力

ローミング時着信規制を停止する：2▶「はい」を選択▶ネットワーク暗証番号を入力

設定内容を確認する：3▶「はい」を選択

## 国際ローミング中にネットワークサービスを利用する

**海外から留守番電話サービスや転送でんわサービスなどの設定を操作します。**

- ネットワークサービスの詳細は『ご利用ガイドブック（国際サービス編）』や『ご利用ガイドブック（ネットワークサービス編）』をご覧ください。
- あらかじめ遠隔操作設定を開始に設定しておく必要があります。
- 海外から操作した場合は、ご利用いただいた国の国際通話料がかかります。

**1** **m▶8 9 1▶メニュー項目を選択して操作**

| メニュー項目 | 機能と操作 |
| --- | --- |
| 4留守番電話（海外） | 海外から留守番電話サービスを操作します。<br>1留守番サービス開始<br>2留守番サービス停止<br>3留守番メッセージ再生<br>4留守番サービス設定<br>5留守番呼出時間設定※ |
| 5転送でんわ（海外） | 海外から転送でんわサービスを操作します。<br>1転送サービス開始<br>2転送サービス停止<br>3転送サービス設定※ |
| 6遠隔操作設定（海外）※ | 海外から遠隔操作設定を操作します。 |
| 7番号通知お願い（海外）※ | 海外から番号通知お願いサービスを操作します。 |
| 8ローミングガイダンス（海外） | 海外からローミングガイダンス設定を操作します。 |

※ 2007年6月現在、本機能はご利用いただけません。

**2** **「はい」を選択▶音声ガイダンスの指示に従って操作**

# 付録／外部機器連携／困ったときには



## 外部機器との連携



## 困ったときには

# メニュー一覧

**待受画面（FOMA端末を開いた状態）からショートカット操作で選択できるメニューの一覧です。**

## ❖一覧表の見かた

- 青文字は、各種設定リセットを行うとお買い上げ時の状態に戻るメニューです。
- [MENU]を押してからメニューの左に記載されている数字（項目番号）を順番に押すと、メニューが選択できます。メニューの項目番号を選択する以外の方法がある場合には、（　）内に該当するキーを記載しています。

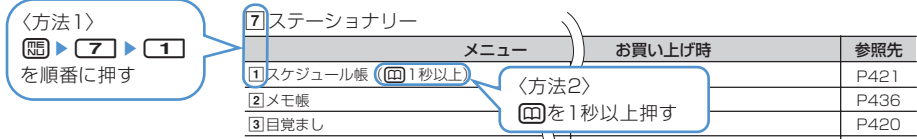
**〈例〉スケジュール帳のカレンダー画面を表示する方法**

次の2とおりがあります。

〈方法1〉
[MENU]▶[7]▶[1]
を順番に押す

7ステーショナリー

| メニュー | お買い上げ時 | 参照先 |
|---|---|---|
| 1スケジュール帳（[□]1秒以上） | | P421 |
| 2メモ帳 | | P436 |
| 3目覚まし | | P420 |

〈方法2〉
[□]を1秒以上押す

1メール（[✉]）

| メニュー | | | お買い上げ時 | 参照先 |
|---|---|---|---|---|
| 1受信メール | | | − | P253 |
| 2新規メール（[✉]1秒以上） | | | − | P234 |
| 3チャットメール | | | − | P269 |
| 4未送信メール | | | − | P253 |
| 5送信メール | | | − | P253 |
| 6問合せ・WEBメール | 1ｉモード問合せ（サイドキー［▼］1秒以上） | | − | P246 |
| | 2SMS問合せ | | − | P275 |
| | 3メール選択受信 | | − | P246 |
| | 4ｉモード問合せ設定 | | すべて選択 | P266 |
| | 5WEBメール | | − | P245 |
| 7SMS | 1SMS作成 | | − | P273 |
| | 2FOMAカード（UIM）受信SMS | | − | P276 |
| | 3FOMAカード（UIM）送信SMS | | − | P276 |
| | 4SMS設定 | | 送信文字種：日本語※1<br>送達通知：要求しない<br>有効期間：3日※1<br>SMSC：ドコモ※1<br>アドレス：81903101652※1<br>Type of Number：international※1 | P275 |
| 8テンプレート読込み | | | − | P239 |
| 9メール設定 | 1メール着信設定 | | 着信音選択：メロディ／着信音2<br>着信イルミネーション設定：点滅／アクア<br>バイブレータ設定：OFF<br>鳴動時間（秒）：10 | P119 |
| | 2チャットメール着信設定 | | 着信動作設定：メール着信動作に従う | P119 |
| | 3メール振り分け設定 | | ［受信振り分け設定、送信振り分け設定］<br>振り分け：ON | P263 |
| | 4署名設定 | | ［自動挿入］する<br>［署名編集］− | P265 |
| | 5メール返信設定 | 1メール返信引用設定 | 引用：する<br>引用文字：> | P267 |
| | | 2クイック返信設定 | ON | P267 |
| | | 3クイック返信本文登録 | 了解です<br>後で連絡します<br>ごめんなさいm(_ _)m<br>ありがとう(^-^)<br>OK | P267 |
| | 6メールグループ | | − | P266 |
| | 7受信・表示設定 | 1受信・自動送信表示 | 通知優先 | P269 |
| | | 2メール選択受信設定 | OFF | P266 |
| | | 3メール受信添付ファイル設定 | すべて選択 | P268 |

| メニュー | | | お買い上げ時 | 参照先 |
|---|---|---|---|---|
| | | 4添付ファイル自動再生設定 | 自動再生する | P268 |
| | | 5メール一覧表示設定 | 2行表示 | P267 |

2 i モード（）

| メニュー | | | お買い上げ時 | 参照先 |
|---|---|---|---|---|
| 1 i Menu | | | — | P204 |
| 2Bookmark | | | — | P210 |
| 3Internet | 1URL入力 | | — | P209 |
| | 2URL履歴 | | — | P209 |
| | 3ラストURL | | — | P206 |
| 4画面メモ | | | — | P212 |
| 5 i モード問合せ（サイドキー［▼］1秒以上） | | | — | P246 |
| 6メッセージR/F | 1メッセージR | | — | P221 |
| | 2メッセージF | | — | P221 |
| | 3メッセージ設定 | 1メッセージ自動表示 | メッセージR優先 | P221 |
| | | 2 i モード問合せ設定 | すべて選択 | P266 |
| | | 3添付ファイル自動再生設定 | 自動再生する | P268 |
| | | 4メッセージR着信設定 | 着信音選択：メロディ／着信音2<br>着信イルミネーション設定：点滅／アクア<br>バイブレータ設定：OFF<br>鳴動時間（秒）：10 | P119 |
| | | 5メッセージF着信設定 | 着信音選択：メロディ／着信音2<br>着信イルミネーション設定：点滅／アクア<br>バイブレータ設定：OFF<br>鳴動時間（秒）：10 | P119 |
| 7 i チャネル | 1 i チャネル一覧（chクリア） | | — | P229 |
| | 2テロップ表示設定 | | テロップ表示：表示する<br>テロップ速度：普通 | P230 |
| | 3 i チャネル初期化 | | — | P230 |
| 8 i モード設定 | 1ワンタッチサイト表示 | | — | P210 |
| | 2接続待ち時間設定 | | 60秒間 | P218 |
| | 3照明設定 | | 常灯 | P219 |
| | 4 i モード中プッシュトーク着信 | | プッシュトーク着信優先 | P97 |
| | 5証明書設定 | 1証明書管理※2 | すべて有効 | P223 |
| | | 2ユーザ証明書操作 | — | P224 |
| | | 3証明書発行接続先設定 | 接続先：ドコモ | P225 |
| | | 4暗証番号入力省略設定 | 省略する | P226 |
| | 6表示・効果設定 | | 画像、アニメーション：表示する<br>端末情報データ利用設定：利用する<br>効果音設定：ON | P219 |
| | 7 i モーション設定 | | 自動再生設定：自動再生する | P228 |
| | 8接続先設定 | | i モード（FOMAカード） | P218 |
| 9フルブラウザ | 1ホーム | | — | P336 |
| | 2Bookmark | | — | P336 |
| | 3Internet | 1URL入力 | — | P336 |
| | | 2URL履歴 | — | P336 |
| | | 3ラストURL | — | P336 |
| | 4フルブラウザ設定 | 1ホーム設定 | — | P340 |
| | | 2Cookie設定／削除 | Cookie：有効（確認なし） | P340 |
| | | 3Script設定 | Script実行：有効<br>ウィンドウオープンガード：無効 | P340 |
| | | 4表示モード設定 | PCモード | P341 |
| | | 5画像表示設定 | 画像、アニメーション：表示する | P341 |
| | | 6アクセス設定 | 利用しますか。：利用しない | P341 |
| | | 7Referer設定 | 送信する | P342 |
| | | 8画面表示設定 | 標準画面表示 | P342 |

3 i アプリ

| メニュー | | お買い上げ時 | 参照先 |
|---|---|---|---|
| 1ソフト一覧（1秒以上） | | − | P283 |
| 2 i アプリ設定 | 1ソフトの並べ替え | 使用日時順 | P296 |
| | 2自動起動設定 | 自動起動する | P292 |
| | 3ソフト情報表示設定 | 表示しない | P283 |
| | 4照明設定 | 端末設定に従う | P286 |
| | 5バイブレータ設定 | 使用する | P286 |
| | 6ツータッチ i アプリ表示 | − | P291 |
| 3履歴表示 | | ［自動起動失敗履歴、異常終了履歴、セキュリティエラー履歴］ − | P285<br>P292<br>P294 |

4電話帳／履歴

| メニュー | | お買い上げ時 | 参照先 |
|---|---|---|---|
| 1電話帳検索 | | 全件表示（50音） | P105 |
| 2電話帳登録 | | − | P101 |
| 3FOMAカード（UIM）登録 | | − | P103 |
| 4プッシュトーク電話帳（） | | − | P92 |
| 5着信履歴（） | | − | P55 |
| 6リダイヤル（） | | − | P55 |
| 7伝言メモ／音声メモ（サイドキー［▲］1秒以上） | 1伝言メモ設定 | 停止する | P76 |
| | 2伝言メモ一覧 | − | P78 |
| | 3音声メモ録音 | − | P433 |
| | 4音声メモ一覧 | − | P433 |
| 8メール送受信履歴 | 1メール送信履歴 | − | P261 |
| | 2メール受信履歴 | − | P261 |
| 9プロフィール情報 | | あなたの名前、メールアドレス：−<br>自局電話番号：ご契約電話番号※1 | P47<br>P431 |

5データBOX

| メニュー | お買い上げ時 | 参照先 |
|---|---|---|
| 1マイピクチャ | − | P344 |
| 2ミュージック | − | P408 |
| 3 i モーション | − | P352 |
| 4メロディ | − | P364 |
| 5マイドキュメント | − | P395 |
| 6キャラ電 | − | P361 |
| 7きせかえツール | − | P143 |
| 8その他 | − | P400 |

6LifeKit

| メニュー | | お買い上げ時 | 参照先 |
|---|---|---|---|
| 1バーコードリーダー | | − | P198 |
| 2赤外線・iC・PC連携 | 1赤外線受信 | − | P390 |
| | 2赤外線全件送信 | − | P389 |
| | 3iC全件送信 | − | P389 |
| | 4受信済みデータ保存 | − | P391 |
| | 5データ送受信設定 | 通信終了音：OFF<br>自動認証：なし<br>電話帳の画像送信：あり | P392 |
| | 6USBモード設定※3 | 通信モード | P380 |
| 3トルカ | | − | P303 |
| 4ICカード | 1ICカード一覧 | − | P301 |
| | 2ICカードロック（1秒以上） | OFF | P308 |
| | 3ICカードロック時動作設定 | ICカード機能停止 | P309 |
| | 4ICカードオートロック設定 | オートロック：OFF | P309 |
| | 5ICカードロック解除予約 | − | P309 |
| | 6電源OFF時ICロック設定 | 直前のロック状態を継続 | P309 |
| 5microSD | | − | P372 |
| 6カメラ | 1静止画撮影（） | − | P181 |
| | 2動画撮影（1秒以上） | − | P187 |

| メニュー | | | | お買い上げ時 | 参照先 |
|---|---|---|---|---|---|
| 7サウンドレコーダー | | | | − | P393 |
| 8電話帳お預かりサービス | 1お預かりセンターに接続 | | | − | P115 |
| | 2電話帳通信履歴表示 | | | − | P115 |
| | 3送信設定 | | | 電話帳内画像送信：なし | P115 |
| 9GPS | 1現在地確認 | | | − | P312 |
| | 2対応ｉアプリを利用 | | | − | P314 |
| | 3位置履歴 | | | − | P318 |
| | 4現在地確認設定 | 1現在地確認後動作設定 | | 地図を見る | P314 |
| | | 2測位モード設定 | | 標準モード | P319 |
| | | 3測位動作設定 | | 鳴動音選択、バイブレータ設定：OFF<br>鳴動時間（秒）：10<br>イルミネーション設定：点灯／ライム | P319 |
| | 5現在地通知 | 1現在地通知 | | − | P318 |
| | | 2現在地通知設定 | 1現在地通知先一覧 | − | P318 |
| | | | 2測位モード設定 | 標準モード | P319 |
| | | | 3測位動作設定 | 鳴動音選択：メロディ／着信音5<br>バイブレータ設定：パターンB<br>鳴動時間（秒）：10<br>イルミネーション設定：点灯／アメジスト | P319 |
| | 6位置提供設定 | 1位置提供可否設定 | | 位置提供 OFF | P316 |
| | | 2測位モード設定 | | 標準モード | P319 |
| | | 3サービス利用設定 | | − | P320 |
| | | 4サービス利用／接続設定 | | 接続先：ドコモ | P320 |
| | | 5測位動作設定 | 1位置提供／許可 | 鳴動音選択：メロディ／着信音6<br>バイブレータ設定：パターンC<br>鳴動時間（秒）：10<br>イルミネーション設定：点灯／グレープ | P319 |
| | | | 2位置提供／毎回確認 | 鳴動音選択：メロディ／着信音6<br>バイブレータ設定：パターンC<br>鳴動時間（秒）：10<br>イルミネーション設定：点灯／グレープ | P319 |

## 7ステーショナリー

| メニュー | お買い上げ時 | 参照先 |
|---|---|---|
| 1スケジュール帳（📖1秒以上） | − | P421 |
| 2メモ帳 | − | P436 |
| 3目覚まし | − | P420 |
| 4電卓 | − | P436 |
| 5辞典 | − | P438 |
| 6お知らせタイマー | 03分 | P419 |

## 8設定／NWサービス※4

| メニュー | | | | お買い上げ時 | 参照先 |
|---|---|---|---|---|---|
| 1音／バイブ | 1音設定 | 1電話着信音 | 1電話着信音 | 電話：メロディ／着信音1 | P120 |
| | | | 2テレビ電話着信音 | テレビ電話：メロディ／ハープ | P120 |
| | | | 3プッシュトーク着信音 | プッシュトーク：メロディ／着信音3 | P120 |
| | | | 4発番号なし動作設定 | ［非通知設定、公衆電話、通知不可能］設定解除 | P171 |
| | | 2メール・メッセージ着信音 | 1メール着信音 | メール：メロディ／着信音2 | P120 |
| | | | 2チャットメール着信音 | チャットメール：メール連動 | P120 |
| | | | 3メッセージR着信音 | メッセージR：メロディ／着信音2 | P120 |
| | | | 4メッセージF着信音 | メッセージF：メロディ／着信音2 | P120 |
| | | 3GPS測位鳴動音 | 1現在地確認 | 鳴動音選択：OFF | P125 |
| | | | 2現在地通知 | 鳴動音選択：メロディ／着信音5 | P125 |
| | | | 3位置提供／許可 | 鳴動音選択：メロディ／着信音6 | P125 |
| | | | 4位置提供／毎回確認 | 鳴動音選択：メロディ／着信音6 | P125 |
| | | 4アラーム音 | 1目覚まし音 | 目覚まし音：メロディ／目覚まし時計 | P123 |

| メニュー | | | | お買い上げ時 | 参照先 |
|---|---|---|---|---|---|
| | | | 2スケジュール音 | アラーム：メロディ／時間になりました<br>予告アラーム：メロディ／もうすぐ予定の時間です | P123 |
| | | 5操作確認音 | 1キー／開閉操作音 | エレクトロニック | P125 |
| | | | 2静止画撮影シャッター音 | 標準 | P125 |
| | | | 3動画撮影シャッター音 | 標準 | P125 |
| | | | 4ディスプレイ回転操作音 | 回転音：メロディ／回転音1 | P126 |
| | | 6充電確認音 | | ON | P126 |
| | | 7通話保留・警告音 | 1応答保留ガイダンス設定 | 保留音：内蔵音 | P72 |
| | | | 2通話保留音 | ENTERTAINER | P126 |
| | | | 3通話品質アラーム音 | アラーム高音 | P126 |
| | | | 4再接続アラーム音 | アラーム高音 | P127 |
| | | | 5電池アラーム音 | ON | P127 |
| | 2音量設定 | 1電話着信音量 | | Level4 | P123 |
| | | 2メール・メッセージ着信音量 | | Level4 | P123 |
| | | 3GPS測位鳴動音量 | | Level4 | P123 |
| | | 4受話音量 | | Level4 | P123 |
| | | 5アラーム音量 | 1目覚まし音量 | Level4 | P123 |
| | | | 2スケジュール音量 | Level4 | P123 |
| | | 6ｉアプリ音量 | | Level4 | P123 |
| | | 7トルカ取得音量 | | Level4 | P123 |
| | | 8キー／開閉回転操作音量 | | Level4 | P123 |
| | | 9メロディ音量 | | Level4 | P123 |
| | 3バイブレータ設定 | 1電話着信時 | 1電話着信時 | OFF | P124 |
| | | | 2テレビ電話着信時 | OFF | P124 |
| | | | 3プッシュトーク着信時 | OFF | P124 |
| | | 2メール・メッセージ着信時 | 1メール着信時 | OFF | P124 |
| | | | 2チャットメール着信時 | – | P124 |
| | | | 3メッセージR着信時 | OFF | P124 |
| | | | 4メッセージF着信時 | OFF | P124 |
| | | 3GPS測位時 | 1現在地確認時 | OFF | P124 |
| | | | 2現在地通知時 | パターンB | P124 |
| | | | 3位置提供／許可時 | パターンC | P124 |
| | | | 4位置提供／毎回確認時 | パターンC | P124 |
| | | 4アラーム鳴動時 | 1目覚まし鳴動時 | OFF | P124 |
| | | | 2スケジュール鳴動時 | OFF | P124 |
| | | 5ｉアプリ利用時 | | ON | P124 |
| | 4マナーモード選択 | | | 通常マナーモード | P129 |
| | 5呼出動作開始時間設定 | | | 着信呼出動作：OFF | P172 |
| | 6ステレオ効果設定 | 1動画（ｉモーション） | | OFF | P122 |
| | | 2メロディ | | ON | P122 |
| | | 3ミュージックプレイヤー | | OFF | P122 |
| 2ディスプレイ | 1待受画面設定 | 1待受画面選択 | | ［縦画面設定、横画面設定］<br>コーディネイト／きせかえの設定に従う | P133 |
| | | 2時計表示設定 | | コーディネイト／きせかえの設定に従う | P148 |
| | | 3電池アイコン設定 | | コーディネイト／きせかえの設定に従う | P145 |
| | | 4アンテナアイコン設定 | | コーディネイト／きせかえの設定に従う | P145 |
| | | 5カレンダー／待受カスタマイズ | | – | P135 |
| | | 6テロップ表示設定 | | テロップ表示：表示する<br>テロップ速度：普通 | P230 |

| メニュー | | | | お買い上げ時 | 参照先 |
|---|---|---|---|---|---|
| | 2メニュー設定 | 1メニュー設定※5 | | ノーマル：アニメーション<br>セレクト：タイルアイコン<br>アニメーションデザイン：コーディネイト／きせかえの設定に従う<br>アイコン拡大表示：OFF<br>起動メニュー：ノーマル<br>セレクトメニューショートカット：セレクト | P141 |
| | | 2セレクトメニュー登録 | | ミュージックプレイヤー、スイング設定、指紋のみ認証設定、開閉ロック、プライバシーモード設定、2in1モード切替、ホーム、現在地確認 | P428 |
| | 3各種画面設定 | 1スクリーン設定 | | コーディネイト／きせかえの設定に従う | P141 |
| | | 2電話発着信画像設定 | 1電話発信設定 | イメージ表示：標準画像 | P137 |
| | | | 2電話着信設定 | イメージ表示：標準画像 | P138 |
| | | | 3テレビ電話発信設定 | イメージ表示：標準画像 | P137 |
| | | | 4テレビ電話着信設定 | イメージ表示：標準画像 | P138 |
| | | | 5人物画像表示設定 | ON | P139 |
| | | | 6発番号なし動作設定 | ［非通知設定、公衆電話、通知不可能］設定解除 | P171 |
| | | 3メール送受信画像設定 | 1メール送信画像設定 | イメージ表示：標準画像 | P139 |
| | | | 2メール受信画像設定 | イメージ表示：標準画像 | P139 |
| | | | 3メール着信結果画像設定 | イメージ表示：標準画像 | P139 |
| | | | 4問合せ画像設定 | イメージ表示：標準画像 | P139 |
| | | 4テレビ電話画像選択 | | ［代替画像］<br>イメージ表示：標準キャラ電<br>［伝言メモ画像、応答保留画像、通話中保留画像、動画メモ画像］<br>イメージ表示：標準画像 | P84 |
| | 4照明設定 | | | ［点灯時間設定］<br>通常時：10秒<br>ACアダプタ接続時、iアプリ：端末設定に従う<br>iモード中、静止画撮影中、動画撮影中、iモーション：常灯<br>［照明設定範囲］<br>ディスプレイ＋キー<br>［明るさ調整］<br>コーディネイト／きせかえの設定に従う | P140 |
| | 5イルミネーション設定 | 1着信イルミネーション | | 電話、メール、メッセージR/F、テレビ電話、プッシュトーク着信のイルミネーションパターン：点滅<br>電話、テレビ電話、プッシュトーク着信のイルミネーションカラー：ライム<br>メール、メッセージR/F着信、トルカ取得のイルミネーションカラー：アクア<br>チャットメール着信イルミネーションパターン、イルミネーションカラー：メール連動<br>トルカ取得イルミネーション：ON | P146 |
| | | 2通話中イルミネーション | | 通話中イルミネーション：ON<br>イルミネーションカラー：レインボー | P146 |
| | | 3GPS測位イルミネーション | | すべてのイルミネーションパターン：点灯<br>現在地確認イルミネーションカラー：ライム<br>現在地通知イルミネーションカラー：アメジスト<br>位置提供／許可、位置提供／毎回確認のイルミネーションカラー：グレープ | P147 |
| | | 4ICカードアクセスイルミネーション | | ICカードイルミネーション：ON<br>イルミネーションカラー：レモン | P146 |
| | | 5開閉回転イルミネーション | | ON | P147 |
| | 6不在着信お知らせ | | | ON | P145 |
| | 7文字表示設定 | 1文字サイズ設定 | | コーディネイト／きせかえの設定に従う | P148 |
| | | 2フォント選択 | | 漢字／英数字：コーディネイト／きせかえの設定に従う<br>ひらがな／カタカナ：漢字／英数字と同じ | P147 |
| | | 3バイリンガル | | Japanese※1 | P149 |
| | 8背面ディスプレイ設定 | 1背面相手表示設定 | | 相手情報表示あり | P140 |
| | | 2背面画像設定 | | コーディネイト／きせかえの設定に従う | P140 |
| | | 3背面照明色設定 | | コーディネイト／きせかえの設定に従う | P140 |

| メニュー | | | | お買い上げ時 | 参照先 |
|---|---|---|---|---|---|
| 3コーディネイト／きせかえ | 1コーディネイト／きせかえ | | | FOMA端末のカラー名と同じ | P130 |
| | 2ライフスタイル設定 | | | － | P132 |
| 4セキュリティ／ロック | 1ロック | 1開閉ロック | | 開閉ロック：OFF | P168 |
| | | 2オールロック | | － | P159 |
| | | 3パーソナルデータロック | | OFF | P161 |
| | | 4ICカードロック | 1ICカードロック（1秒以上） | OFF | P308 |
| | | | 2ICカードオートロック設定 | オートロック：OFF | P309 |
| | | | 3ICカードロック解除予約 | － | P309 |
| | | | 4電源OFF時ICロック設定 | 直前のロック状態を継続 | P309 |
| | | | 5ICカードロック時動作設定 | ICカード機能停止 | P309 |
| | | 5ダイヤル発信制限 | | OFF | P162 |
| | 2プライバシーモード | 1プライバシーモード設定 | | 電話帳・履歴：指定電話帳非表示<br>メール・履歴、マイピクチャ、iモーション、iアプリ、位置履歴（GPS）：表示する<br>スケジュール：指定スケジュール非表示<br>プライバシー新着通知、自動起動：OFF | P163 |
| | | 2シークレット反映 | | － | P167 |
| | 3セキュリティランプ設定 | | | ON | P169 |
| | 4着信／受信時動作設定 | | | 電話着信時動作、メール受信時動作：プライバシーモードに従う | P167 |
| | 5FOMAカード（UIM） | | | PIN1／PIN2コード：0000※1<br>PIN1コードON/OFF：OFF※1 | P154 |
| | 6暗証番号／指紋設定 | 1暗証番号変更 | | 0000 | P153 |
| | | 2指紋登録 | | － | P157 |
| | | 3指紋のみ認証設定 | | OFF | P157 |
| | 7スキャン機能 | 1パターンデータ更新 | | － | P539 |
| | | 2自動更新設定 | | － | P539 |
| | | 3スキャン機能設定 | | スキャン機能、メッセージスキャン：有効 | P539 |
| | | 4バージョン表示 | | － | P540 |
| | 8パスワードマネージャー | | | － | P451 |
| 5発着信・通話機能 | 1電話発着信設定 | 1電話発信設定 | | イメージ表示：標準画像 | P137 |
| | | 2電話着信設定 | | 着信音：メロディ／着信音1<br>イメージ表示：標準画像<br>バイブレータ：OFF<br>イルミネーション：点滅／ライム | P118 |
| | 2発番号なし動作設定 | | | ［非通知設定、公衆電話、通知不可能］設定解除 | P171 |
| | 3エニーキーアンサー設定 | | | ON | P70 |
| | 4イヤホン機能設定 | 1イヤホン切替設定 | | イヤホン+スピーカー | P440 |
| | | 2オート着信機能設定 | | 自動着信機能：OFF | P440 |
| | | 3イヤホンスイッチ設定 | | イヤホンスイッチ設定：OFF | P439 |
| | 5メモリ着信拒否／許可 | 1メモリ別着信拒否／許可 | | 設定解除 | P170 |
| | | 2メモリ登録外着信拒否 | | OFF | P172 |
| | 6発着信詳細設定 | 1優先通信モード設定 | | 設定なし | P71 |
| | | 2プレフィックス設定 | | プレフィックス1：009130010 | P65 |
| | | 3サブアドレス設定 | | ON | P65 |
| | 7通話詳細設定 | 1ノイズキャンセラ設定 | | ON | P66 |
| | | 2通話中クローズ設定 | | 切断 | P70 |
| | 8セルフモード設定（chクリア1秒以上） | | | OFF | P161 |
| 6テレビ電話／トルカ／プッシュトーク | 1テレビ電話 | 1テレビ電話発信設定 | | イメージ表示：標準画像 | P137 |
| | | 2テレビ電話着信設定 | | 着信音：メロディ／ハープ<br>イメージ表示：標準画像<br>バイブレータ：OFF<br>イルミネーション：点滅／ライム | P118 |
| | | 3テレビ電話動作設定 | | 音声自動再発信：OFF<br>テレビ電話画面設定：両方<br>子画面表示：自画像<br>画面サイズ設定：大<br>受信画質設定：標準<br>照明設定：自動調整<br>スピーカーホン設定：ON | P83 |
| | | 4パケット通信中着信設定 | | テレビ電話優先 | P85 |

| メニュー | | | | お買い上げ時 | 参照先 |
|---|---|---|---|---|---|
| | | 5テレビ電話画像選択 | | ［代替画像］<br>イメージ表示：標準キャラ電<br>［伝言メモ画像、応答保留画像、通話中保留画像、動画メモ画像］<br>イメージ表示：標準画像 | P84 |
| | | 6テレビ電話使用機器設定 | | 本体 | P86 |
| | | 7テレビ電話切替機能通知 | 1切替機能通知開始 | － | P85 |
| | | | 2切替機能通知停止 | － | P85 |
| | | | 3切替機能通知設定確認 | － | P85 |
| | 2トルカ | 1トルカ取得確認設定 | | イルミネーション設定：ON<br>イルミネーションカラー：アクア<br>トルカ取得音量：レベル4 | P306 |
| | | 2トルカ取得設定 | | トルカ取得設定、重複チェック設定：ON<br>自動振り分け設定、自動表示設定：OFF | P306 |
| | | 3自動読取機能設定 | | ON | P307 |
| | | 4トルカ振り分け設定 | | － | P307 |
| | 3プッシュトーク | 1プッシュトーク着信設定 | | 着信音：メロディ／着信音3<br>バイブレータ：OFF<br>着信イルミネーション：点滅／ライム | P118 |
| | | 2プッシュトーク呼出時間設定 | | 呼出時間（秒）：30 | P95 |
| | | 3プッシュトーク番号通知設定 | | 通知しない | P95 |
| | | 4プッシュトーク自動応答設定 | | 自動応答なし | P96 |
| | | 5プッシュトーク中着信設定 | | 通常着信 | P96 |
| | | 6プッシュトーク中クローズ設定 | | スピーカー通話 | P96 |
| | | 7ｉモード中プッシュトーク着信 | | プッシュトーク着信優先 | P97 |
| | | 8プッシュトークスピーカーホン設定 | | ON | P97 |
| 7スイング／時計／入力／他 | 1スイング設定 | | | 待受画面表示中（右）：ワンセグ<br>待受画面表示中（左）：静止画撮影<br>メール本文・文字入力中（右）：顔文字<br>メール本文・文字入力中（左）：デコメピクチャ<br>音声電話着信中：縦で応答 | P430 |
| | 2時計 | 1日付時刻設定※6 | | 自動時刻・時差補正：ON<br>オフセット時間：＋／00時間00分 | P45 |
| | | 2自動電源ON設定 | | 自動電源ON：OFF | P419 |
| | | 3自動電源OFF設定 | | 自動電源OFF：OFF | P419 |
| | | 4時計表示設定 | | コーディネイト／きせかえの設定に従う | P148 |
| | | 5アラーム自動電源ON設定 | | OFF | P421 |
| | | 6ライフスタイル設定 | | － | P132 |
| | 3文字入力設定 | 1単語登録 | | － | P451 |
| | | 2ダウンロード辞書 | | － | P452 |
| | | 3変換学習リセット | | － | P447 |
| | | 4定型文 | | － | P449 |
| | | 5入力設定 | | 入力方式：かな入力<br>入力予測：ON<br>自動カーソル：普通 | P453 |
| | 4文字サイズ設定 | | | コーディネイト／きせかえの設定に従う | P148 |
| | 5ソフトウェア更新 | | | － | P533 |
| | 6クイック起動設定 | | | ON | P440 |
| | 7情報表示／リセット | 1通話時間 | | － | P434 |
| | | 2通話料金 | 1通話料金表示 | － | P434 |
| | | | 2通話料金上限通知 | 通話料金上限通知：OFF | P435 |
| | | | 3上限通知アイコン消去 | － | P436 |
| | | | 4通話料金自動リセット設定 | OFF | P435 |
| | | 3メモリ確認 | | － | P387 |
| | | 4設定状況確認 | | － | P441 |
| | | 5電池レベル表示 | | － | P44 |
| | | 6各種設定リセット | | － | P441 |
| | | 7データ一括削除 | | － | P441 |

| メニュー | | | | お買い上げ時 | 参照先 |
|---|---|---|---|---|---|
| | | 8初期設定 | | ［日付時刻設定］自動時刻・時差補正：ON<br>［暗証番号設定］0000<br>［指紋設定］OFF<br>［キー確認音設定］エレクトロニック<br>［プッシュトーク番号通知設定］通知しない<br>［位置提供可否設定］位置提供 OFF | P45 |
| | 8サイドキー長押し設定 | | | サイド上キー長押し：マナーモード設定／解除<br>サイド下キー長押し：ｉモード問合せ | P430 |
| 8NWサービス | 1留守番電話 | 1留守番サービス | 1留守番サービス開始 | – | P456 |
| | | | 2留守番呼出時間設定 | – | |
| | | | 3留守番サービス停止 | – | |
| | | | 4留守番設定確認 | – | |
| | | | 5留守番メッセージ再生 | – | |
| | | | 6留守番サービス設定 | – | |
| | | | 7メッセージ問合せ | – | |
| | | 2件数増加鳴動設定 | | 件数通知音：ON<br>通知メロディ：着信音1 | |
| | | 3着信通知 | 1着信通知開始 | – | |
| | | | 2着信通知停止 | – | |
| | | | 3着信通知開始設定確認 | – | |
| | | 4表示消去 | | – | |
| | 2キャッチホン／転送でんわ | 1キャッチホン | 1キャッチホン開始 | – | P458 |
| | | | 2キャッチホン停止 | – | |
| | | | 3キャッチホン設定確認 | – | |
| | | 2転送でんわ | 1転送サービス開始 | – | P458 |
| | | | 2転送サービス停止 | – | |
| | | | 3転送先変更 | – | |
| | | | 4転送先通話中時設定 | – | |
| | | | 5転送サービス設定確認 | – | |
| | 3着もじ | 1メッセージ作成 | | – | P58 |
| | | 2メッセージ表示設定 | | 番号通知ありのみ | P59 |
| | 4番号通知 | 1発信者番号通知 | 1発信者番号通知設定 | – | P46 |
| | | | 2発信者番号通知確認 | – | |
| | | 2番号通知お願いサービス | 1番号通知開始 | – | P459 |
| | | | 2番号通知停止 | – | |
| | | | 3番号通知設定確認 | – | |
| | 5ローミングガイダンス設定 | 1ローミングガイダンス開始 | | – | P479 |
| | | 2ローミングガイダンス停止 | | – | |
| | | 3ローミングガイダンス設定確認 | | – | |
| | 6OFFICEED | 1エリア表示設定 | | OFF | P465 |
| | | 2圏外転送開始 | | – | |
| | | 3圏外転送停止 | | – | |
| | | 4圏外転送設定確認 | | – | |

| メニュー | | | | お買い上げ時 | 参照先 |
|---|---|---|---|---|---|
| | 7 2in1設定※7 | 1 2in1モード切替 | | デュアルモード | P462 |
| | | 2 電話帳2in1設定 | | – | |
| | | 3 モード別待受画面設定 | 1 デュアルモード待受画面 | ［縦画面設定］子犬1<br>［横画面設定］子犬2 | |
| | | | 2 Bモード待受画面 | ［縦画面設定］気球1<br>［横画面設定］気球2 | |
| | | 4 発着信番号設定 | 1 Bナンバー着信設定 | ［電話着信音設定］電話：メロディ／着信音4<br>［テレビ電話着信音設定］テレビ電話：メロディ／Jam Ring | |
| | | | 2 Bナンバー識別表示 | ON | |
| | | 5 2in1機能OFF | | – | |
| | 8 その他のNWサービス | 1 追加サービス | 1 USSD登録 | – | P465 |
| | | | 2 応答メッセージ登録 | – | |
| | | 2 遠隔操作設定 | 1 遠隔操作開始 | – | P461 |
| | | | 2 遠隔操作停止 | – | |
| | | | 3 遠隔操作設定確認 | – | |
| | | 3 迷惑電話ストップ | 1 迷惑電話着信拒否登録 | – | P459 |
| | | | 2 電話番号指定拒否登録 | – | |
| | | | 3 迷惑電話全登録削除 | – | |
| | | | 4 迷惑電話1登録削除 | – | |
| | | | 5 拒否登録件数確認 | – | |
| | | 4 英語ガイダンス | 1 ガイダンス設定 | – | P460 |
| | | | 2 ガイダンス設定確認 | – | |
| | | 5 デュアルネットワーク | 1 デュアルネットワーク切替 | – | P460 |
| | | | 2 デュアルネットワーク状態確認 | – | |
| | | 6 サービスダイヤル | 1 ドコモ故障問合せ | – | P460 |
| | | | 2 ドコモ総合案内・受付 | – | |
| | | 7 マルチナンバー | 1 通常発信番号設定 | – | P461 |
| | | | 2 通常発信番号設定確認 | – | |
| | | | 3 電話番号設定 | 基本契約番号　名称：基本契約番号<br>電話番号：ご契約電話番号※1<br>付加番号1　名称：付加番号1<br>付加番号2　名称：付加番号2<br>付加番号1、2　電話番号：未登録<br>マルチナンバー発信：無効 | |
| | | | 4 着信設定 | ［付加番号1、付加番号2］<br>個別設定：OFF | |
| | | 8 通話中着信設定 | 1 通話中着信設定開始 | – | P460 |
| | | | 2 通話中着信設定停止 | – | |
| | | | 3 通話中着信設定確認 | – | |
| | | 9 通話中着信動作選択 | | 通常着信 | P461 |
| 9 国際ローミング／ダイヤルアシスト | 1 国際ローミング設定 | 1 ネットワークサーチ設定 | | オート | P478 |
| | | 2 オペレータ名表示設定 | | 表示あり | P479 |
| | | 3 優先ネットワーク設定 | | –※1 | P478 |

| メニュー | | | | お買い上げ時 | 参照先 |
|---|---|---|---|---|---|
| | | 4 留守番電話（海外） | 1 留守番サービス開始 | – | P480 |
| | | | 2 留守番サービス停止 | – | |
| | | | 3 留守番メッセージ再生 | – | |
| | | | 4 留守番サービス設定 | – | |
| | | | 5 留守番呼出時間設定 | – | |
| | | 5 転送でんわ（海外） | 1 転送サービス開始 | – | |
| | | | 2 転送サービス停止 | – | |
| | | | 3 転送サービス設定 | – | |
| | | 6 遠隔操作設定（海外） | | – | |
| | | 7 番号通知お願い（海外） | | – | |
| | | 8 ローミングガイダンス（海外） | | – | |
| | | 9 ローミング時着信規制 | 1 ローミング時着信規制開始 | – | P479 |
| | | | 2 ローミング時着信規制停止 | – | |
| | | | 3 ローミング時着信規制確認 | – | |
| | 2 国際ダイヤルアシスト設定 | 1 自動変換機能設定 | | 国番号変換：ON（国番号：81、国名称：日本）<br>国際プレフィックス変換：ON（名称：World Call、国際アクセス番号：009130010） | P64 |
| | | 2 国番号設定 | | – | P64 |
| | | 3 国際プレフィックス設定 | | – | P65 |
| | 3 デュアル時計設定 | | | ON | P479 |

## 9 ワンセグ／ミュージック

| メニュー | | | | お買い上げ時 | 参照先 |
|---|---|---|---|---|---|
| 1 ワンセグ | 1 ワンセグ視聴（TV） | | | – | P326 |
| | 2 番組表 | | | – | P328 |
| | 3 視聴予約リスト | | | – | P329 |
| | 4 テレビリンク | | | – | P331 |
| | 5 チャンネルリスト | | | – | P324 |
| | 6 ユーザ設定 | 1 画面設定 | | 照明設定：自動調整<br>字幕表示：通話中・マナー時表示<br>字幕サイズ：中（標準）<br>字幕言語切替：第一言語<br>メール受信時テロップ表示：表示しない | P333 |
| | | 2 音声設定 | | 音声切替：第一音声<br>主・副音声切替：主音声 | P333 |
| | | 3 データ放送設定 | 1 接続待ち時間設定 | 60秒間 | P333 |
| | | | 2 表示・効果設定 | 画像、アニメーション：表示する<br>効果音設定：ON | P219 |
| | | | 3 放送用保存領域消去 | – | P333 |
| | | | 4 確認表示設定リセット | – | P334 |
| | | 4 クローズ動作設定 | | 継続 | P333 |
| 2 ミュージックプレイヤー | | | | – | P408 |

## 0 プロフィール情報

| メニュー | お買い上げ時 | 参照先 |
|---|---|---|
| プロフィール情報 | あなたの名前、メールアドレス：–<br>自局電話番号：ご契約電話番号※1 | P47<br>P431 |

※1 FOMAカードに保存された内容が表示されるため、お使いのFOMAカードが新規ご契約のものでないときは、FOMAカードの設定によって異なる場合があります。
※2 各種設定リセットを行うと、FOMAカードの設定もすべて選択になります。
※3 FOMA USB接続ケーブル（別売）接続中は、各種設定リセットを行ってもお買い上げ時の設定には戻りません。
※4 ネットワークサービスについては『ご利用ガイドブック（ネットワークサービス編）』をご覧ください。
※5 各種設定リセットを行うと、ノーマル（アイコンデザイン、アニメーションデザイン含む）がお買い上げ時の設定に戻ります。
※6 各種設定リセットを行うと、自動時刻・時差補正（タイムゾーン、サマータイム含む）とオフセット時間がお買い上げ時の設定に戻ります。
※7 ご契約時はOFFに設定されています。

### メニュー設定でノーマルを「シンプル」に設定した場合

| | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1でんわ | 1電話帳検索 | 3カメラ | 1カメラ | 5ｉアプリ | 1ソフト一覧 | 7設定／ステーショナリー | 1音／バイブ |
| | 2電話帳登録 | | 2マイピクチャ | | 2待受画面設定 | | 2ディスプレイ |
| | 3リダイヤル | | 3待受画面設定 | | 3ｉアプリ設定 | | 3目覚まし |
| | 4着信履歴 | 4ｉモード | 1ｉMenu | 6データBOX | 1マイピクチャ | | 4電卓 |
| | 5伝言メモ一覧 | | 2Bookmark | | 2ｉモーション | | 5伝言メモ設定 |
| | 6プロフィール情報 | | 3ラストURL | | 3メロディ | | 6情報表示／リセット |
| 2メール | 1受信メール | | 4画面メモ | | 4マイドキュメント | | 7留守番電話 |
| | 2送信メール | | 5ｉチャネル一覧 | | 5キャラ電 | 0プロフィール情報 | |
| | 3未送信メール | | 6テロップ表示設定 | | | | |
| | 4新規メール | | | | | | |
| | 5ｉモード問合せ | | | | | | |

# お買い上げ時に登録されているデータ

## ◆着信音用メロディ

青文字のメロディは3Dサウンドに対応しています。

| 固定着信音 |
|---|
| 着信音1～6 |

| メロディ | |
|---|---|
| Turning off | Jam Ring |
| Satellite | Just Ride |
| Ignition | Healing |
| Cyber Luxe | SHORT SOUND1 |
| Clap Flip | SHORT SOUND2 |
| Metal Blue Beeps | SHORT SOUND3 |
| Joy Rhythm | SHORT SOUND4 |

| 効果音／ボイス | |
|---|---|
| 黒電話 | 回転音1※ |
| ハープ | 回転音2※ |
| 目覚まし時計 | 回転音3※ |
| もうすぐ予定の時間です | 無音 |
| 時間になりました | |

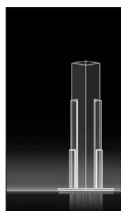
※ ディスプレイ回転操作音に利用するため、他のメロディより音量が小さく設定されています。

## ◆メール添付用メロディ

| メロディ | 作曲者 |
|---|---|
| ハッピーバースデー | － |
| ウィリアムテル序曲 | GIOACCHINO ANTONIO ROSSINI |
| 結婚行進曲 | BARTHOLDY FELIX J L MENDELSSOHN |
| 祝婚歌 | RICHARD WILHELM WAGNER |
| 運命 | VAN LUDWIG BEETHOVEN |
| ジングルベル | JAMES PIERPONT |
| タフワフワイ | ハワイ民謡 |
| さくら | 日本民謡 |
| 紅葉 | 岡野 貞一 |
| 雪 | 文部省唱歌 |
| おもちゃの兵隊のマーチ | LEON JESSEL |
| 登場 | － |
| 3･3･7拍子 | － |
| Are you sleeping? | フランス民謡 |
| トッカータとフーガ | JOHANN SEBASTIAN BACH |
| 子守唄 | FRANZ SCHUBERT |
| 蛍の光 | スコットランド民謡 |
| ハッピー　お出掛け　スキップ　メリーゴーランド　安らぎ　頑張れ　ヤッター　ファイト　焦燥　マラカス　忙しい　エレクトロ　ハーモニカ　迷宮　タンゴ　エキゾチック　アジアン　中華　南国　琴 | － |
| 草津節 | 日本民謡 |
| お祭り　悲哀　不安　がっくり　発見　チャイム　お知らせ | － |

## ◆待受用の画像／iモーション

### ■待受画像（縦画面用）

ブランシェ1[※1、2]

ノアール1[※1、3]

ボルドー1[※1、4]

シャンパーニュ1[※1、5]

アドバンスト
モード1[※1、6]

気球1

子犬1

エアポート1

スクエア1

## ■ 待受画像（横画面用）

ブランシェ2※1、2

ノアール2※1、7

ボルドー2※1、4

シャンパーニュ2※1、5

アドバンストモード2※1、6

気球2

子犬2

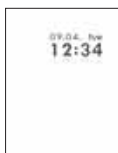
エアポート2

スクエア2

## ■ 時計デザイン

アナログ

デジタル1

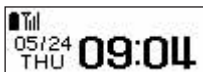
デジタル2

デジタル3

デジタル4

世界時計

## ■ ｉモーション

SouthOcean

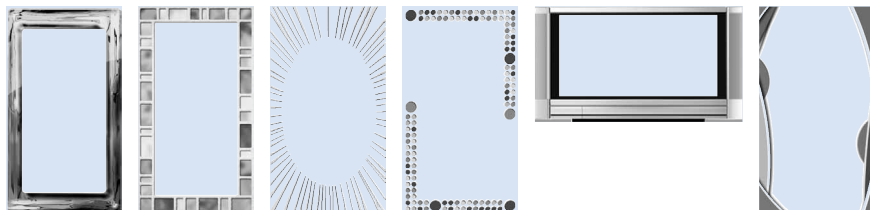
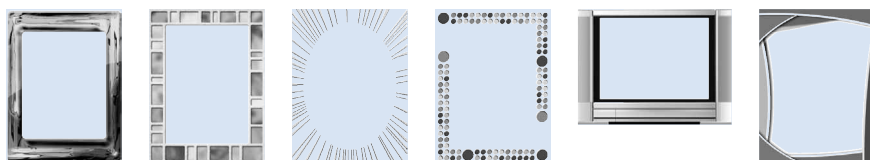
## ■ 時計パターン（背面ディスプレイ用）

デジタル1

デジタル2

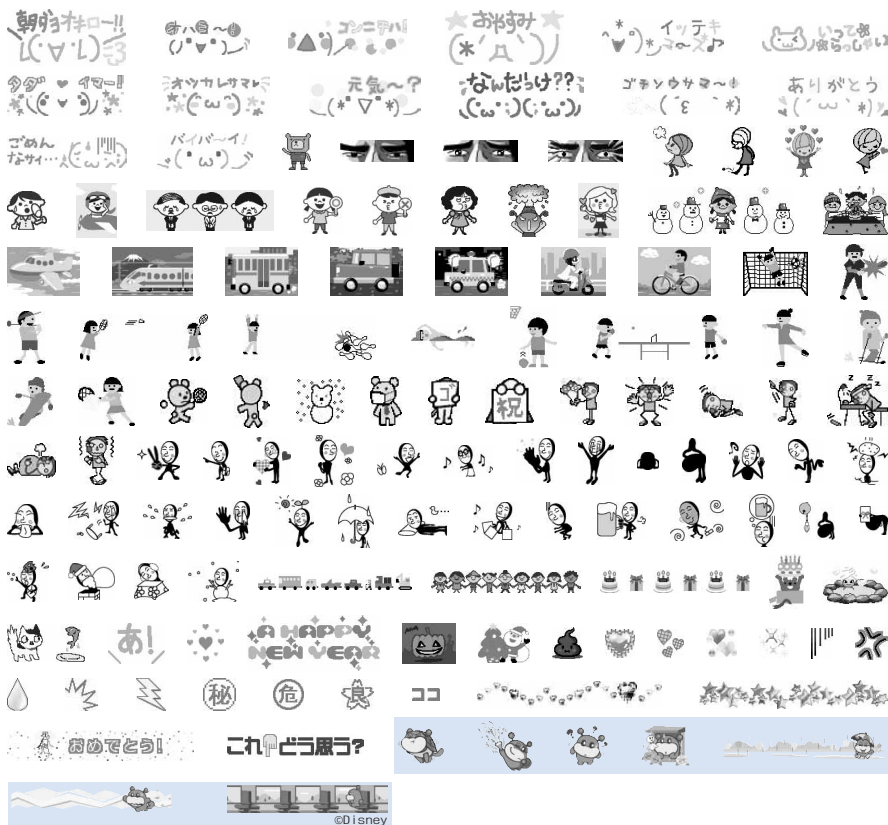
※1 画像はアニメーション（Flash画像）です。
※2 時間によって空の色が変化します。
※3 受信レベルによってビルの色が変化します。
※4 日付によって表示される数字が変化します。
※5 受信レベルによって飛ぶ鳥の数が変化します。
※6 季節と時間によって画像が変化します。
※7 受信レベルによって映り込んでいる橋の色が変化します。

## ◆フレーム

- 　　　の部分に映像が入ります。

### ■ 待受用（240×432）サイズ

### ■ QVGA（240×320）サイズ

### ■ QCIF（176×144）サイズ

- お買い上げ時に登録されているフレームを削除した場合は、「@Fケータイ応援団」のサイトからダウンロードできます。→P499

## ◆デコメピクチャ

- お買い上げ時に登録されているデコメピクチャを削除した場合は、「@Fケータイ応援団」のサイトからダウンロードできます。→P499

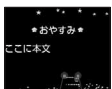
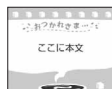
## ◆メールテンプレート

おはよう

こんにちは

おやすみ

いってきます

ただいま

おつかれさま

ごちそうさま

ありがとう

ごめんなさい

ばいばい

よろしく

お願い

がんばって

今どこ？

腹へった

飲みに行こう１

飲みに行こう２

なにしてるの？

喜び

怒り

ショック

びっくり

つかれた

お正月

花火

クリスマス

結婚式

誕生日１

誕生日２

好き

## ◆スタンプ

## ◆PDFデータ

年号早見表
（和暦・西暦・干支早見表）

ダイヤル一覧
（携帯電話から利用できるサービス）

単位換算表
（長さ換算表 重さ換算表）

@Fケータイ応援団へのアクセス方法（2007年6月現在）

ｉMenu → メニュー／検索 → ケータイ電話メーカー → @Fケータイ応援団
※ アクセス方法は予告なしに変更される場合があります。

サイトアクセス用QRコード

## ダイヤルキーの文字割り当て一覧（かな入力方式）

**かな入力方式では、ダイヤルキーには次のように文字が割り当てられています。入力モードに従って全角文字または半角文字が入力されます。**

| キー | ひらがな／漢字モード（全角）※1 | カナモード（全角または半角）※1 | 英字モード（全角または半角）※1 | 数字モード（全角または半角）※3 |
|---|---|---|---|---|
| 1 | あ い う え お 1 | ア イ ウ エ オ 1 | . ／ @ ￣※2 －<br>: ＿ [ ￥ ] ＾ ｀<br>{ ｜ } 1 | 1 |
| 2 | か き く け こ 2 | カ キ ク ケ コ 2 | a b c 2 | 2 |
| 3 | さ し す せ そ 3 | サ シ ス セ ソ 3 | d e f 3 | 3 |
| 4 | た ち つ て と 4 | タ チ ツ テ ト 4 | g h i 4 | 4 |
| 5 | な に ぬ ね の 5 | ナ ニ ヌ ネ ノ 5 | j k l 5 | 5 |
| 6 | は ひ ふ へ ほ 6 | ハ ヒ フ ヘ ホ 6 | m n o 6 | 6 |
| 7 | ま み む め も 7 | マ ミ ム メ モ 7 | p q r s 7 | 7 |
| 8 | や ゆ よ 8 | ヤ ユ ヨ 8 | t u v 8 | 8 |
| 9 | ら り る れ ろ 9 | ラ リ ル レ ロ 9 | w x y z 9 | 9 |
| 0 | わ を ん ー 、 。<br>・ ？ ！ 「 」 ■<br>0 | ワ※4 ヲ ン ー 、<br>。 ・ ？ ！ 「 」<br>■ 0 | ! ” # $ % &<br>’ ( ) * + , ;<br>< = > ? ■ 0 | 0 +※5 |
| * | ゛ ゜ | ゛ ゜ | ※半角の場合のみ、次の文字列が入力できます。<br>@docomo.ne.jp<br>.com .or.jp .go.jp<br>.ne.jp .co.jp .ac.jp<br>http://www. www.<br>.html .htm | * P※5 |
| # | 改行 | 改行 | 改行 | # T※5 |

■：空白を示します。
（網掛け）：文字入力後に（A／a）を押すたびに、大文字と小文字が切り替わります。
※1 全角文字の場合でも、数字は半角で入力されます。
※2 半角の英字モードは「～」と入力されます。
※3 数字モードの「*」「#」「P」「T」「+」は、これらの文字が有効な入力欄のみ入力できます。
※4 全角文字の場合のみ大文字と小文字が切り替わります。
※5 該当するキーを1秒以上押すと入力できます。

- **ビジネス（14件）**

| |
|---|
| いつもお世話になっております。○○の○○です。 |
| 本日はお忙しいところお時間をいただき、誠にありがとうございました。今後ともよろしくお願いいたします。 |
| 本日の会議は○○のため中止となりました。ご周知ください。 |
| 本日の会議は○○のため○○に延期となりました。ご確認ください。 |
| 只今会議中のため、電話に出ることができません。○○後に折り返しご連絡いたします。 |
| 只今移動中のため、電話に出ることができません。○○後に折り返しご連絡いたします。 |
| 今、○○です。これから帰社します。帰社予定時刻は○○頃です。 |
| 今、○○です。このまま帰宅します。 |
| これから出社します。○○頃になります。 |
| これからお伺いさせていただきます。本日の待ち合わせ時間は○○で変更ございませんでしょうか。 |
| 只今○○へ出張中です。会社に戻るのは○○の予定です。 |
| ○○の件につき、ＰＣにメールを入れておきました。ご確認の程、よろしくお願いいたします。 |
| ○○の件につき、至急確認したいことがございます。ご連絡ください。 |
| 本日、○○のため、欠勤させていただいております。 |

- **プライベート（14件）**

| |
|---|
| 今日は一日お疲れ様でした。明日もお互い頑張りましょう。 |
| 今日は一日ありがとう。とても楽しかったです。 |
| ○○で○○といういいお店を見つけました。今度一緒に行きませんか？ |
| 今日、○○という映画を観てきました。とても良かったです。今度是非観てみてください。 |
| 今日のデートはどこに行きたい？○○なんてどうかな？ |
| ○月○日にみんなで○○へ行く計画をしています。ご一緒にいかがですか？ |
| アドレスを変更しました。新アドレスは@docomo.ne.jp です。電話帳の登録変更をお願いいたします。 |
| ○○で○○時に待ち合わせしましょう。よろしくね。 |
| ○月○日、飲みに行きませんか？久しぶりにみんなと楽しく飲みたいです。 |
| ○月○日、○○へ遊びに行きませんか？久しぶりにみんなと会いたいです。 |
| ○月○日の予定はいかがですか？一緒に○○なんてどうかなと思って。 |
| 明日はいよいよ、待ちに待った○○です。今日はゆっくり休んで明日に備えましょう。 |
| 体調はどうですか？無理しないでゆっくり休んでくださいね。早く良くなりますように。 |
| 本日、○○時から○○チャンネルのテレビ番組の録画をお願いいたします。 |

- **文例集（16件）**
  先頭に表示される【xxx】は入力されません。

| |
|---|
| 【寒中見舞】寒さ厳しき折、お変わりございませんか。ご自愛なさいますようお祈り申し上げます。 |
| 【暑中見舞】暑中お見舞い申し上げます。時節柄、ご健康には十分ご留意のうえご活躍くださいますよう心から祈念いたしております。 |
| 【御礼】時下益々ご盛栄のこととお慶び申し上げます。この度はご丁寧なお心遣いをいただき、厚く御礼申し上げます。 |
| 【残暑見舞】残暑お見舞い申し上げます。残暑ことのほか厳しい折柄、皆様のご健康をお祈り申し上げます。 |
| 【結婚祝】時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。この度はご結婚おめでとうございます。お二人の門出を心より祝福申し上げます。 |
| 【出産祝】時下益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。この度はご出産おめでとうございます。お子様の壮健なご成長を祈念いたします。 |
| 【入学祝】ご入学おめでとうございます。充実した学生生活を送り、さらに大きく飛躍されることをお祈りいたします。 |
| 【卒業祝】ご卒業おめでとうございます。新しい人生の門出を心よりお祝い申し上げます。 |
| 【就職祝】ご就職おめでとうございます。ご健康に留意され、ご活躍を心よりお祈り申し上げます。 |
| 【病気見舞】お体の具合はいかがでしょうか。一日も早いご回復をお祈り申し上げます。 |
| 【転居案内】転居のご案内を申し上げます。住所、電話番号などは改めてお知らせいたします。取り急ぎご連絡まで。 |
| 【詫状】この度は多大なご迷惑をおかけし、誠に申し訳ございません。何卒ご寛容の上、引続きご愛顧賜りますようお願い申し上げます。 |
| 【誕生日祝】心から○○様のお誕生日をお祝いいたしますとともに、今後のご健康とご繁栄を祈念いたします。 |
| 【成功祝】ご成功の報に接し、心よりお祝い申し上げますとともに、今後益々のご活躍を祈念いたします。 |

| | |
|---|---|
| 【就任祝】この度のご就任、心からお喜び申し上げます。今後益々のご健勝とご隆盛をお祈りいたします。 | |
| 【人事異動通知】この度弊社の人事異動により○○へ異動となりました。今後ともご指導ご鞭撻の程、宜しくお願いいたします。 | |

- **絵文字対応（22件）**

| | |
|---|---|
| おはよう☀今日も一日頑張ろう‼ | おやすみ✧また明日ね(-_-)zzz… |
| おやすみ✧いい夢見てねzzz | ありがとう‼今日はとても楽しかったです✌また連絡してね📱 |
| m(__)mごめんなさい。遅れます🚃💦 | |
| ロ＼(__ )深く反省してます⤵ | もう少し待ってください💦 |
| 今、終わりました✌これから帰ります🏠 | さようなら✋〟また会える日を楽しみにしてます‼ |
| (o^_^o)はじめまして！ちゃんとメール届いてる✉？ | お久しぶりです！元気⁉ |
| 最近の調子はどう👀❓✋ | 今日の都合はどう⁉ |
| お腹すいたな。食事に行きませんか🍴？ | 旅行でも行きませんか🚗？ |
| 今日何時に終わる🕘？ | あとで連絡します📱✉ |
| 連絡ください➡📱☎ | 今日は外食します🍴 |
| 了解しました✌じゃあね(^o^)/~~ | あなたにお任せします💦 |
| すぐに戻ります👀💨 | |

- **英語文（46件）**

| | |
|---|---|
| Hello! How are you? | Hi! What's up? |
| Long time no talk. How are you doing? | Good morning. Have a nice day! |
| Good night. | Good-bye. Talk to you soon. |
| See you. Bye ;-) | I had fun today, thanks. |
| Thanks :-) | Thanks, but no thanks. |
| Please accept my apologies. | Get my message? |
| I'll contact you later. | I'll be late, but hope you'll wait for me. Thanks. |
| I'll be there soon, so please wait for me. Thanks. | Give me a call or send me a message. Thanks. |
| I'm leaving work. See you soon. | I'm getting back to my office. Any messages to me? |
| I'll eat out. | Let's go get a drink! |
| Let's go eat! | Sorry, but I'm busy. |
| When will you be off work today? | What's on for today? |
| I'll leave it to you. | Good for you! |
| Hope you do your best. | Are you OK? |
| Cheer up! You can make it. | I have some good news. |
| I have some bad news. | Really? No kidding! |
| I can't believe it! | Keep in touch! |
| Have a nice weekend! | All right. Okay. |
| Wonderful! Super! | It's my favorite. |
| I love you. I miss you. | I'm very happy. |
| I'm sad…. | I give up! |
| Welcome! | Happy birthday! |
| Happy New Year! | Happy holidays! |

- **ユーザ作成（最大50件）**
  登録した定型文が表示されます。

# 絵文字・記号一覧

## ■ 絵文字一覧

<table>
<tr><td>絵文字1</td><td></td></tr>
<tr><td>絵文字2</td><td></td></tr>
<tr><td>デコメ絵文字（絵文字D）</td><td>©Disney</td></tr>
</table>

・お買い上げ時に登録されているデコメ絵文字（絵文字D）を削除した場合は、「@Fケータイ応援団」のサイトからダウンロードできます。→P499

## ■ 記号一覧

<table>
<tr><td>半角</td><td>　! " # $ % & ' ( ) * + , - . / : ; < = > ? @ [ ¥ ] ^ _ ` { | } ~ ｡ ｢ ｣ ､ ･ ｰ ﾞ ﾟ</td></tr>
<tr><td>全角</td><td>　、。，．・：；？！゛゜´｀¨＾￣＿ヽヾゝゞ〃仝々〆〇ー―‐／＼～∥｜…‥‘’“”（）〔〕［］｛｝〈〉《》「」『』【】＋－±×÷＝≠＜＞≦≧∞∴♂♀°′″℃￥＄¢£％＃＆＊＠§☆★○●◎◇◆□■△▲▽▼※〒→←↑↓〓∈∋⊆⊇⊂⊃∪∩∧∨￢⇒⇔∀∃∠⊥⌒∂∇≡≒≪≫√∽∝∵∫∬Å‰♯♭♪†‡¶◯ΑΒΓΔΕΖΗΘΙΚΛΜΝΞΟΠΡΣΤΥΦΧΨΩαβγδεζηθικλμνξοπρστυφχψωАБВГДЕЁЖЗИЙКЛМНОПРСТУФХЦЧШЩЪЫЬЭЮЯабвгдеёжзийклмнопрстуфхцчшщъыьэюя─│┌┐┘└├┬┤┴┼━┃┏┓┛┗┣┳┫┻╋┠┯┨┷┿┝┰┥┸╂①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳ⅠⅡⅢⅣⅤⅥⅦⅧⅨⅩ㍉㌔㌢㍍㌘㌧㌃㌶㍑㍗㌍㌦㌣㌫㍊㌻㎜㎝㎞㎎㎏㏄㎡㍻〝〟№㏍℡㊤㊥㊦㊧㊨㈱㈲㈹㍾㍽㍼≒≡∫∮∑√⊥∠∟⊿∵∩∪</td></tr>
</table>

：空白を示します。

※ 記号一覧の表示には、実際の表示と見えかたが異なるものがあります。

### ✔お知らせ

・絵文字を入力したｉモードメールを他社携帯電話（au／ソフトバンク／ツーカー）に送信すると、受信側の類似絵文字に自動的に変換されます。ただし、受信側の携帯電話の機種や機能によって正しく表示されないことや、該当する絵文字がない場合に文字または〓に変換されることがあります。また、受信側がｉモード端末であっても絵文字2の対応機種でない場合は、正しく表示されないことがあります。

・SMSで半角カタカナを使うと、受信側に正しく表示されない場合があります。絵文字を使うと は に、 以外の絵文字は空白に置き換わって表示されます。

# 絵文字入力変換表

ひらがな／漢字モードで読みを入力して変換してください。→P445

| 絵文字 | 読　み |
|---|---|
|  | はーと、あい、こころ、すき、らぶ |
|  | はーと、あい、こころ、どきどき、すき、らぶ、ゆれるはーと |
|  | はーと、しつれん、ふられた、わかれた、しょっく |
|  | はーと、あい、こころ、すき、らぶ、はーとたち |
|  | かお、えがお、わらう、わらい、わーい、うれしい、にこにこ |
|  | かお、おこる、いかり、ぷん、ちっ |
|  | かお、かなしい、こまった、ごめん、がく |
|  | かお、かなしい、こまった、さいあく、もうやだ |
|  | かお、だめ、ふら |
|  | どうぶつ、いぬ |
|  | どうぶつ、ねこ |
|  | てんき、はれ、たいよう |
|  | てんき、くもり、くも |
|  | てんき、あめ、かさ |
|  | てんき、ゆき、ゆきだるま |
|  | てんき、かみなり、いかずち、いかづち、でんき |
|  | てんき、うずまき、たいふう、あらし、ぐるぐる、くるくる、めまい |
|  | てんき、きり、あめ |
|  | てんき、こさめ、あめ、かさ |
|  | おんぷ、おんがく、うた、るん |
|  | おんぷ、おんがく、うた、さんれんぷ、るん、むーど |
|  | おんせん、ふろ、おふろ、いいきぶん |
|  | はな、かわいい |
|  | きす、きっす、くちびる、くち、ちゅ、ちゅう、ちゅー、きすまーく |
|  | きらきら、ぴかぴか |
|  | でんきゅう、ぴか、あいであ、あいでぃあ、ひらめき |
|  | いかり、おこる、おこり、きれる、むかつく、むか |
|  | がんばる、がんばれ、ぱんち、ぐー、ぐう |
|  | ばくだん、ばくはつ |
| zzz | おやすみ、すいみん、ねる、ねむい、ぐー、ずー、ぐう、ずう |

| 絵文字 | 読　み |
|---|---|
| ! | びっくり、あっ、えくすくらめーしょん、えくすくらめいしょん |
| !? | びっくり、ほんと、えっ、えー、えくすくらめーしょん、えくすくらめいしょん |
| !! | びっくり、ちょー、えくすくらめーしょん、えくすくらめいしょん |
|  | しょっく、ぐらぐら、どん |
|  | あせ、あせる、ひやあせ |
|  | あせ、あせる、ひやあせ、なみだ、だらー、たらー |
|  | いそぐ、いそげ、だっしゅ、ためいき、ふぅ、ふう、ふー、はしる |
|  | のばす、ちょうおん、ちょーおん |
|  | のばす、くるり、ちょうおん、ちょーおん |
| OK | おっけー、おーけー、おーけい、おうけい、けってい |
| ↗ | やじるし、みぎうえ、あがる、あげる、あっぷ、みぎななめうえ |
| ↘ | やじるし、みぎした、さがる、さげる、だうん、みぎななめした |
| ↖ | やじるし、ひだりうえ、あがる、あげる、あっぷ、ひだりななめうえ |
| ↙ | やじるし、ひだりした、さがる、さげる、だうん、ひだりななめした |
| ⤴ | やじるし、ぐっど、あがる、あげる、ぐっと |
| ⤵ | やじるし、ばっど、さがる、さげる、ばっと |
|  | かお、め、からだ |
|  | かお、みみ、からだ |
|  | ぐー、ぐう、じゃんけん、て、こぶし、ぱんち、からだ |
|  | ちょき、じゃんけん、て、ぴーす |
|  | ぱー、ぱあ、じゃんけん、て、ばい、さんせい |
|  | あし、あしあと、あるく、とほ、からだ、きっく、けり、ける |
| ♥ | とらんぷ、はーと、あい、こころ |
| ♠ | とらんぷ、すぺーど |
| ♦ | とらんぷ、だいや |
| ♣ | とらんぷ、くらぶ |
|  | のりもの、こうつう、でんしゃ、れっしゃ、えき |

| 絵文字 | 読　み |
|---|---|
| | のりもの、こうつう、ちかてつ、えむ |
| | のりもの、こうつう、しんかんせん、のぞみ、ひかり、こだま |
| | のりもの、こうつう、じどうしゃ、くるま、たくしー、どらいぶ、せだん |
| | のりもの、こうつう、じどうしゃ、くるま、たくしー、どらいぶ、あーるぶい |
| | のりもの、こうつう、ばす |
| | のりもの、こうつう、ふね、ふぇりー、こうかい |
| | のりもの、こうつう、ひこうき、じぇっと、じぇっとき、ふらいと、くうこう |
| | のりもの、よっと、ふね、りぞーと |
| | つりー、くりすます、き |
| | いえ、うち、おうち、じたく |
| | びる、かいしゃ、しょくば、がっこう |
| | ゆうびん、ゆうびんきょく、ぽすと |
| | びょういん、びょうき、けが |
| | ぎんこう、ばんく |
| | えーてぃーえむ、えいてぃえむ、ぎんこう |
| | ほてる |
| | こんびに、こんびにえんす、こんびにえんすすとあ |
| | がそりんすたんど、がそりん、がすすた、すたんど |
| | ちゅうしゃじょう、ちゅうしゃ、ぱーきんぐ |
| | しんごう、しんごうき |
| | といれ、かっぷる、でーと、けっこん |
| | しょくじ、ごはん、れすとらん、ふぁみれす |
| | こーひー、どりんく、のみもの、かっぷ、こっぷ、きっさてん、さてん、おちゃ |
| | かくてる、おさけ、さけ、ばー |
| | びーる、おさけ、さけ、いざかや、のみかい、こんぱ、かんぱい |
| | はんばーがー、ばーがー、けいしょく、ふぁーすとふーど |
| | はいひーる、ひーる、くつ、あし |
| | はさみ、かっと、びよういん、びようしつ、さんぱつ、とこや |
| | まいく、からおけ、うた、うたう |
| | えいが、えいがかん、しねま、かめら、さつえい、びでお |
| | うま、けいば、もくば、めりーごーらんど、ゆうえんち |

| 絵文字 | 読　み |
|---|---|
| | おんがく、おと、きく、へっどほん、へっどふぉん |
| | え、あーと、げいじゅつ、びじゅつ、ぱれっと |
| | えんげき、ひと、しんし、ぼうし |
| | いべんと、はた |
| | ちけっと、きっぷ |
| | すぽーつ、うんどう、しゃつ、たんくとっぷ |
| | すぽーつ、うんどう、やきゅう、そふと、ぼーる、そふとぼーる |
| | すぽーつ、うんどう、ごるふ |
| | すぽーつ、うんどう、てにす、たっきゅう、らけっと |
| | すぽーつ、うんどう、さっかー、ぼーる |
| | すぽーつ、うんどう、すきー、すのーぼーど、ぼーど、すけーと、すのぼ、すべる |
| | すぽーつ、うんどう、ばすけっと、ばすけ、ばすけっとぼーる |
| | すぽーつ、うんどう、ごーる、はた、れーす、えふわん、もーたーすぽーつ |
| | ぽけべる、ぽけっとべる、ぺーじゃー |
| | たばこ、しがー、しがれっと、きつえん、いっぷく |
| | たばこ、しがー、しがれっと、きんえん |
| | かめら、しゃしん、さつえい、げきしゃ |
| | かばん、ばっぐ、てさげ、りょこう |
| | ほん、のーと、しょしんしゃ |
| | りぼん、ちょうねくたい、ねくたい、あめ |
| | ぷれぜんと、たんじょうび、おくりもの |
| | ろうそく、きゃんどる、たんじょうび、ばーすでい、ばーすでー |
| | でんわ、くろでん、てれふぉん、てれほん、てる、てれ |
| | けいたいでんわ、けいたい、けーたい、でんわ、ぴっち、ふぉーん、ふぉん |
| | めーる、てがみ |
| | めも、しょるい、れぽーと、しゅくだい、しけん |
| | てれび、がめん、ばんぐみ |
| | げーむ、こんとろーら |
| | しーでぃー、あるばむ、しんぐる、でぃすく |
| | くつ、しゅーず、すにーかー、あし |
| | めがね |
| | くるまいす |

| 絵文字 | 読　み |
|---|---|
| | せいざ、おひつじざ、おひつじ |
| | せいざ、おうしざ、おうし |
| | せいざ、ふたござ、ふたご、すなどけい |
| | せいざ、かにざ、かに |
| | せいざ、ししざ、しし |
| | せいざ、おとめざ、おとめ |
| | せいざ、てんびんざ、てんびん、おもち、もち |
| | せいざ、さそりざ、さそり |
| | せいざ、いてざ、いて、あがる、あっぷ |
| | せいざ、やぎざ、やぎ |
| | せいざ、みずがめざ、みずがめ、なみ |
| | せいざ、うおざ、うお、さかな |
| | つき、しんげつ、まる |
| | つき |
| | つき、はんげつ |
| | つき、みかづき |
| | つき、まんげつ、まる |
| | でんわ、けいたいでんわ、けいたい、けーたい、ふぉーん、ふぉん、ぴっち、ちゃくしん |
| | めーる、てがみ、じゅしん |
| FAX | ふぁっくす、ふぁくす、じゅしん |
| | あいもーど、あい、どこも |
| | あいもーど、あい、どこも |
| | どこもていきょう、でい、でー、でぃー |
| | どこもぽいんと、ぽいんと、でい、でー、でぃー |
| ¥ | えん、かね、きんがく、ねだん、りょうきん |
| FREE | ただ、むりょう、じゆう、ひま、ふりー |
| ID | あいでぃ、あいでぃー、あいでー |
| | かぎ、きー、ひみつ、ぱすわーど、ろっく |
| | かいぎょう、まがる、つづく、つづき |
| CL | さくじょ、しーえる、くりあ、くーる |
| | さがす、しらべる、むしめがね、さーち |
| NEW | にゅー、にゅう、あたらしい、しん |
| | はた、もくひょう、ごるふ、いちじょうほう、いち |
| | だいやる、だいある、ふりーだいやる、ふりーだいある |
| # | しゃーぷ |
| | もばきゅー、もばきゅう、しつもん、きゅう、きゅー |
| 1 | 1、いち、すうじ、ばんごう |
| 2 | 2、に、すうじ、ばんごう |

| 絵文字 | 読　み |
|---|---|
| 3 | 3、さん、すうじ、ばんごう |
| 4 | 4、よん、し、すうじ、ばんごう |
| 5 | 5、ご、すうじ、ばんごう |
| 6 | 6、ろく、すうじ、ばんごう |
| 7 | 7、しち、なな、すうじ、ばんごう |
| 8 | 8、はち、すうじ、ばんごう |
| 9 | 9、きゅう、く、きゅー、すうじ、ばんごう |
| 0 | 0、ぜろ、れい、すうじ、ばんごう |
| | かちんこ、さつえい、すたーと、はこ |
| | ふくろ、つぼ |
| | ぺんさき、ぺん |
| | はんこ、ひと、ひとかげ |
| | いす、ざせき、すわる |
| | よる、よなか、しんや、れいと |
| SOON | すぐ、もうすぐ、すーん |
| ON! | おん |
| end | おわり、えんど |
| | じかん、じこく、たいむ、とけい |
| | じてんしゃ、ちゃり、ちゃりんこ、のりもの |
| | れんち、すぱな、こうぐ、どうぐ |
| | ぱそこん、ぴーしー、こんぴゅーた、こんぴゅーたー |
| | えんぴつ、ぶんぼうぐ |
| | くりっぷ、ぶんぼうぐ、てんぷ |
| | やじるし、さゆう |
| | やじるし、じょうげ |
| | やじるし、りさいくる、かいてん、まわる |
| NG | えぬじー、だめ |
| 秘 | ひみつ、まるひ |
| 禁 | きんし、げんきん、だめ |
| 空 | くうしつ、くうせき、くうしゃ、あき、あく、から |
| 合 | ごうかく |
| 満 | まんしつ、まんせき、まんしゃ、いっぱい、まんたん、ふる |
| | けいこく、きけん、びっくり |
| © | こぴーらいと、しー、まるしー |
| TM | とれーどまーく、てぃーえむ |
| ® | れじすたーどとれーどまーく、とれーどまーく、あーる、まるあーる |
| | あいあぷり、あるふぁ、あぷり |
| | あいあぷり、あるふぁ、あぷり |
| | どるぶくろ、どる、かね、おかね |

| 絵文字 | 読　み |
|---|---|
| | うでどけい、とけい、うぉっち |
| | すなどけい、とけい |
| | おにぎり、おむすび、ごはん、おべんとう、べんとう |
| | けーき、しょーとけーき、でざーと、おかし、かし |
| | ぱん、ぶれっど |
| | どんぶり、らーめん、めん、うどん、そば |
| | ゆのみ、おゆのみ、おちゃ、ちゃ |
| | とっくり、おちょこ、おさけ、さけ、にほんしゅ |
| | わいんぐらす、わいん、おさけ、さけ |
| | ばなな、くだもの |
| | りんご、あっぷる、くだもの |
| | さくらんぼ、ちぇりー、くだもの |
| | くろーばー、よつば、はっぱ |
| | ちゅーりっぷ、はな |
| | わかば、ふたば、はっぱ |
| | もみじ、こうよう、はっぱ |
| | さくら、はな |
| | かたつむり、まいまい、でんでんむし、どうぶつ、むし |
| | ひよこ、とり、どうぶつ |
| | ぺんぎん、とり、どうぶつ |
| | さかな、おさかな、どうぶつ |
| | うま、どうぶつ |
| | ぶた、どうぶつ、ぶー |
| | しゃつ、てぃーしゃつ、ふく、ようふく、てぃしゃつ |
| | ずぼん、ぱんつ、じーぱん、じーんず、ふく、ようふく |
| | けしょう、くちべに、るーじゅ、りっぷ |
| | ゆびわ、あくせさりー、りんぐ |
| | おうかん、かんむり、おうさま |
| | べる、ちゃぺる、かね |
| | どあ、とびら、と |
| | がっこう、だいがく |
| | なみ、うみ、つなみ、おおなみ |
| | ふじさん、やま |
| | すぽーつ、うんどう、すのーぼーど、ぼーど、すのぼ、すべる |
| | すぽーつ、うんどう、はしる、にげる |
| | かお、こまる、うーむ、うーん、うむ、むすっ、かんがえる |
| | かお、ほっ |

| 絵文字 | 読　み |
|---|---|
| | かお、ひやあせ、たらー、だらー、あせ、あせる |
| | かお、ひやあせ、たらー、だらー、あせ、あせる |
| | かお、おこる、ぷー、ぶー |
| | かお、ぽけー、しらー、しらけ |
| | かお、はーと、らぶ、すき、わーい、うれしい |
| | かお、あっかんべー、べー、いたずら |
| | かお、うぃんく、ういんく、ぱちっ、ぱち |
| | かお、うれしい、わーい、きゃっ、きゃ |
| | かお、がまん |
| | かお、どうぶつ、ねこ |
| | かお、かなしい、なく、えーん、わーん、なきがお |
| | かお、なみだ、かなしい、ぽろり、なく、なきがお |
| | かお、おいしい、うまい、まんぞく |
| | かお、えがお、わらう、うっしっし、うしし、ししし |
| | かお、さけぶ、さけび、げっそり、ひゃー、むんく |
| | て、おっけー、おーけー、おーけい、おうけい、ぐっど、ゆび、おやゆび、ぐっと |
| | てがみ、めーる、らぶれたー、こいぶみ |
| | がまぐち、さいふ、おかね、かね |

# 特殊記号入力変換表

ひらがな／漢字モードで読みを入力して変換してください。→P445

| 読　み | 入力文字 |
|---|---|
| あーる | Rr ｱｰﾙ |
| あい | Ⅰｉ |
| あすたりすく | ＊ |
| あすてりすく | ＊ |
| あっとまーく | ＠ |
| あるふぁ | Αα |
| あるふぁー | Αα |
| あんだーばー | ＿ |
| あんど | ＆ |
| あんぱさんど | ＆ |
| いー | Ｅｅ |
| いーた | Ηη |
| いおた | Ιι |
| いこーる | ＝ |
| いち | ①Ⅰ |
| いぷしろん | Εε |
| うぷしろん | Υυ |
| えい | Ａａ |
| えいち | Ｈｈ |
| えー | Ａａ |
| えす | Ｓｓ |
| えっくす | Ｘｘ |
| えっち | Ｈｈ |
| えぬ | Ｎｎ |
| えふ | Ｆｆ |
| えむ | Ｍｍ |
| える | Ｌｌ |
| えん | ￥ |
| おう | Ｏｏ |
| おー | Ｏｏ |
| おーむ | Ωω |
| おす | ♂ |
| おなじ | 々〃 |
| おみくろん | Οο |
| おめが | Ωω |
| おんぐすとろーむ | Å |
| おんぷ | ♪ |
| かい | Χχ |
| かける | × |
| かっこ | 「」『』【】‘’<br>“”（）〔〕［］<br>｛｝〈〉《》 |
| かっぱ | Κκ |
| かぶ | ㈱ |
| かぶしきがいしゃ | ㈱ K.K. |

| 読　み | 入力文字 |
|---|---|
| から | ～ |
| かろりー | ｶﾛﾘｰ |
| がんま | Γγ |
| がんまー | Γγ |
| きー | Χχ |
| きごう | ＜＞＠／〃<br>±々×≠÷<br>≦≧∴§＼<br>∞∧∈∨￢<br>∋∀⊆⊇∃<br>∠⊂⊥⊃⌒<br>∪∩∂⊿∇<br>Σ≡≒∮≪<br>〟〝≫∟√<br>∽∝∵∫∬<br>Å‰†‡¶ |
| きゅー | Ｑｑ |
| きゅう | ⑨Ⅸ |
| きろ | ｷﾛ |
| きろぐらむ | ㎏ |
| きろめーとる | ㎞ |
| く | ⑨Ⅸ |
| くさい | Ξξ |
| ぐざい | Ξξ |
| くしー | Ξξ |
| ぐらむ | ｸﾞﾗﾑ |
| くろぼし | ★ |
| くろまる | ● |
| けい | Κｋ |
| けー | Κｋ |
| ご | ⑤Ⅴ |
| ごうどう | ≡ |
| こめ | ※ |
| こめじるし | ※ |
| ころん | ： |
| さん | ③Ⅲ |
| さんかく | △▲▽▼ |
| し | ④Ⅳ |
| しー | Ｃｃ |
| じー | Ｇｇ |
| しーしー | ㏄ |
| しーた | Θθ |
| じーた | Ζζ |
| じぇい | Ｊｊ |
| じぇー | Ｊｊ |
| しかく | □■◇◆ |

| 読　み | 入力文字 |
|---|---|
| しぐま | Σσ |
| しち | ⑦Ⅶ |
| しめ | 〆 |
| しゃーぷ | ＃ |
| しゃせん | ／＼ |
| じゅう | ⑩Ⅹ |
| じゅういち | ⑪ |
| じゅうきゅう | ⑲ |
| じゅうく | ⑲ |
| じゅうご | ⑮ |
| じゅうさん | ⑬ |
| じゅうし | ⑭ |
| じゅうしち | ⑰ |
| じゅうなな | ⑰ |
| じゅうに | ⑫ |
| じゅうはち | ⑱ |
| じゅうよん | ⑭ |
| じゅうろく | ⑯ |
| しょうなり | ＜ |
| しょうわ | ㍼ |
| しろぼし | ☆ |
| しろまる | ○ |
| ずけい | ☆★○●◎<br>◇◆□■△<br>▲▽▼ |
| すらっしゅ | ／＼ |
| ぜーた | Ζζ |
| せくしょん | § |
| せっし | ℃ |
| ぜっと | Ｚｚ |
| せみころん | ； |
| せんち | ㎝ ｾﾝﾁ |
| せんちめーとる | ㎝ |
| せんと | ￠ ｾﾝﾄ |
| だい | ㈹ |
| たいしょう | ㍽ |
| だいなり | ＞ |
| だいひょう | ㈹ |
| たう | Ττ |
| だがー | † |
| だくてん | ゛ |
| たす | ＋ |
| だぶりゅ | Ｗｗ |
| だぶりゅー | Ｗｗ |
| だぶるだがー | ‡ |

| 読　み | 入力文字 |
|---|---|
| たんい | ゜´″℃￥＄¢£％ |
| てぃー | Ｔｔ |
| でぃー | Ｄｄ |
| てー | Ｔｔ |
| でるた | Δδ |
| てん | 、，…‥．’”‘“ヽ゛゜¨ヽヾゝゞ`'"、 |
| てんてん | ‥… |
| でんわ | ℡ |
| ど | ℃° |
| どう | 々〃仝 |
| どしー | ℃ |
| どる | ＄㌦ |
| とん | ㌧ |
| ないし | 〜 |
| なぜならば | ∵ |
| なな | ⑦Ⅶ |
| なみ | 〜 |
| なんばー | № |
| に | ②Ⅱ |
| にじゅう | ⑳ |
| にじゅうまる | ◎ |
| にゅー | Ｎν |
| のま | 々 |
| ぱーせんと | ％㌫ |
| ぱーみる | ‰ |
| ぱい | Ππ |
| はいふん | ‐ |
| はち | ⑧Ⅷ |
| ばつ | × |
| はてな | ？ |
| はんだくてん | ゜ |
| びー | Ｂｂ |
| ぴー | Ｐｐ Ππ |
| ひく | − |
| ひしがた | ◇◆ |
| びっくり | ！ |
| びょう | ″ |
| ふぁい | Φφ |
| ぶい | Ｖｖ |
| ふぃー | Φφ |
| ぷさい | Ψψ |
| ぷしー | Ψψ |
| ふとうごう | ＜＞≦≧≠≪≫ |
| ぷらす | ＋ |
| ぷらすまいなす | ± |
| ふらっと | ♭ |
| ふん | ′ |
| へいせい | ㍻ |
| へいほうめーとる | ㎡ |
| ぺーじ | ㌻ |
| べーた | Ｂβ |
| べーたー | Ｂβ |
| へくたーる | ㌶ |
| ほし | ☆★※ |
| ぽんど | £ |
| まいなす | − |
| まる | ○●◎。．①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㊤㊥㊦㊧㊨ |
| みゅー | Ｍμ |
| みり | ㎜㍉ |
| みりぐらむ | ㎎ |
| みりばーる | ㍊ |
| みりめーとる | ㎜ |
| むげん | ∞ |
| むげんだい | ∞ |
| めいじ | ㍾ |
| めーとる | ㍍ |
| めす | ♀ |
| やじるし | →←↑↓⇒⇔ |
| ゆう | ㈲ |
| ゆー | Ｕｕ |
| ゆうげんがいしゃ | ㈲ |
| ゆうびん | 〒 |
| ゆうびんばんごう | 〒 |
| ゆえに | ∴ |
| ゆぷしろん | Υυ |
| よん | ④Ⅳ |
| らむだ | Λλ |
| りっとる | ㍑ |
| ろー | Ρρ |
| ろく | ⑥Ⅵ |
| わい | Ｙｙ |
| わっと | ㍗ |
| わる | ÷ |

※ 特殊記号の表示には、実際の表示と見えかたが異なるものがあります。

※ 入力文字の中には、全角文字しか存在しないもの、半角文字しか存在しないもの、全角文字と半角文字の両方が存在するものがあります。

# 顔文字一覧

**ひらがな／漢字モードで読みを入力して変換してください。→P445**

→P445

- 　　　は、「かお」または「かおもじ」と入力しても変換できます。
- **挨拶・返事（19件）**

| 顔文字 | 読み |
|---|---|
| (^-^)/˜˜ | あいさつ、ばい |
| ( ˆ ˆ )ﾉｼ | あいさつ、ばいばい |
| (^_^)/˜ | あいさつ、ばいばい |
| ヾ(^_^) byebye!! | あいさつ、ばいばい |
| (^^)/ | あいさつ、おーい、<br>じゃあ、どーも、よろしく |
| (^-^)/ | あいさつ、おーい、<br>じゃあ、どーも、よろしく |
| (^^)/˜˜˜ | あいさつ、ばいばい |
| (^_^)/ | あいさつ、おーい |
| (〃⌒ー⌒〃)ゞ | あいさつ、にこっ |
| ～('-'*) | あいさつ、やぁ |
| (*^-^)ﾉ | あいさつ、ちわっ |
| ヾ(´ω｀＝´ω｀)ﾉ | あいさつ、おはよう |
| (o^-')b | へんじ、ぐっ、ぐー |
| (≧ω≦)b | へんじ、ぐっ、ぐー |
| (・∀・∩) | へんじ、はい |
| ('-^*)ok | へんじ、おっけー |
| (｀_´)ゞ了解！ | へんじ、りょうかい |
| (｡･_･｡)ﾉ | あいさつ、やあ |
| (=ﾟωﾟ)ﾉ | あいさつ、やあ |

- **笑う・うれしい（34件）**

| 顔文字 | 読み |
|---|---|
| (^-^) | わらう、にこっ |
| (^-^)v | うれしい、にこっ |
| (^o^) | うれしい、うほほ、にこっ、<br>わーい |
| o(^o^)o | うれしい、うきうき |
| (o^_^o) | うれしい、にこっ |
| (*^_^*) | うれしい、にこっ |
| (･∀･) | わらう、きたー、にこっ |
| ヾ(^▽^)ﾉ | うれしい、わーい |
| ヽ(´ー｀)ノ | うれしい、わーい |
| (*⌒▽⌒*) | うれしい、にこっ |
| (☆▽☆ ) | うれしい、きらーん |
| (^^)v | うれしい、やったね、ぴー<br>す、にこっ、ぶい |
| (=⌒ー⌒=) | うれしい、にこっ |
| (　´∀｀) | うれしい、にこっ |
| (≧∀≦) | うれしい |
| :) | わらう、にこっ、すまいる |
| V(^0^) | うれしい、ぴーす |
| (^ з ^)/ﾁｭｯ | わらう、ちゅっ、にこっ |
| ((o(^-^)o)) | うれしい、わくわく |
| (^^) | わらう、にこっ |
| v(^o^) | うれしい、いえい、ぶい、<br>ぴーす |
| (^_^)v | うれしい、やったね、ぴー<br>す、にこっ、ぶい |
| (^･^) | わらう、にこっ |
| (^0^) | わらう、わーい |
| (^0^)/ | わらう、おーい、はーい |
| (^0^)v | わらう、やったね、ぴーす、<br>にこっ、ぶい |
| )^o^( | わらう、ほっぺがおちる |
| ＼(^o^)／ | わらう、わーい |
| :-) | わらう、にこっ、すまいる |
| ヽ(≧▽≦)/ | うれしい、きゃー |
| d=(^o^)=b | うれしい、ぐー |
| ε＝ヾ(*˜▽˜)ノ | うれしい、きゃー |
| (@^0^@) | うれしい |
| (´艸｀) | うれしい、むふふ |

- 照れる・怒る（18件）

| 顔文字 | 読み |
|---|---|
| (^^ゞ | てれる、ぽりぽり |
| f(^_^) | てれる、てへ |
| (#^.^#) | てれる、にこっ、ぽっ |
| (*^.^*) | てれる、えへっ |
| (〃▽〃) | てれる、てれ |
| (*'-') | てれる、てへっ |
| (=゜ω゜=) | てれる、てへっ |
| (*´д`*) | てれる、こまる、てれ |
| :p | てれる、てへっ |
| ('∇') | てれる、うふふ |

| 顔文字 | 読み |
|---|---|
| ヽ(*`Д´)ノ | おこる、こら、ごるあ、ごるぁ |
| o-_-)=○☆ | おこる、ぱんち |
| (ノ-"-)ノ~┻━┻ | おこる、ちゃぶだい |
| (-_-#) | おこる、こらっ |
| :-( | おこる、ふまん |
| Ψ(`◇´)Ψ | おこる、こら |
| (ノ`△´)ノ | おこる、こらっ |
| (●`ε´●) | おこる、ぷんぷん、むかっ |

- 泣く・悲しい（19件）

| 顔文字 | 読み |
|---|---|
| (>_<) | なく、あいた、いたい、いてー、ひぇー |
| (T^T) | なく、うるうる |
| (T_T) | なく、しくしく |
| (/_;) | なく、しくしく |
| (+_+) | かなしい、びくっ |
| (x_x;) | かなしい、がっくり |
| (/_・、) | なく、くすん |
| (つд`) | なく、ぐすん |
| ○｜￣｜＿ | かなしい、がっくし |

| 顔文字 | 読み |
|---|---|
| (´・ω・`) | かなしい、しょぼん |
| (;O;) | なく、しくしく |
| (>_<。) | なく |
| (;_;) | なく、しくしく |
| (T-T) | なく、なき、うるうる |
| (TOT) | なく、なき、うるうる |
| (ノ_・。) | なく、いたい |
| :< | なく、かなしい |
| (;´д⊂) | なく、なき、ぐすん |
| ゜・(ノД`)・゜・ | なく、えーん |

- 驚き（28件）

| 顔文字 | 読み |
|---|---|
| (*_*) | おどろき、びくっ |
| (・・? | おどろき、めがてん |
| (・・;) | おどろき、めがてん |
| (゜-゜) | おどろき、うーん |
| (@_@) | おどろき、びくっ |
| (--;) | おどろき、ぎくっ |
| (-_☆) | おどろき、きらーん |
| (￣□￣;)!! | おどろき、がーん |
| (゜o゜;) | おどろき、ぽかーん |
| Σ(￣□￣)! | おどろき、びっくり、がーん、ぎく |
| (￣◇￣;) | おどろき、えっ |
| ヽ(゜ロ゜;)ノ | おどろき、えっ |
| (;゜ロ゜) | おどろき、えっ |
| ((((゜д゜;)))) | おどろき、がくがく |

| 顔文字 | 読み |
|---|---|
| (=_=;) | おどろき、ぎくっ、てつや |
| (・.・;) | おどろき、めがてん |
| (゜o゜) | おどろき、ぎくっ、ぎょ |
| (゜o゜; | おどろき、ぎくっ、ぎょ |
| (@_@。 | おどろき、びくっ、ぎょっ |
| (゜Д゜) | おどろき、ぽかーん |
| (゜_゜) | おどろき、うーん |
| (・。・; | おどろき、めがてん |
| (・_・) | おどろき、めがてん |
| (・_・; | おどろき、めがてん |
| (・o・) | おどろき、めがてん |
| (゜o゜)/ | おどろき、おおー、びっくり |
| (゜o゜;; | おどろき、ぎくっ |
| Σ(゜□゜;) | おどろき、がーん |

- 疑問・焦り（21件）

| 顔文字 | 読み |
|---|---|
| (^^;) | あせり、ぎくっ、あせ |
| (?_?) | ぎもん、なぜ |
| (-_-;) | あせり、ぎくっ、あせ |
| w=(ﾟoﾟ)=w | ぎもん、ばたばた |
| σ(^_^；)？ | ぎもん、えっ |
| (;¬_¬)ｼﾞｰ | ぎもん、じー |
| O(><;)(;><)O | あせり、あたふた |
| (ﾟДﾟ；≡；ﾟДﾟ) | あせり、あたふた |
| ^^; | あせり、ぎくっ |
| (^^;; | あせり、ぎくっ、あせ |
| (^_^;) | あせり、ぎくっ、あせ |

| 顔文字 | 読み |
|---|---|
| (^-^; | あせり、ぎくっ、あせ |
| (~_~;) | あせり、ぎくっ、あせ |
| (¥_¥; | ぎもん、ぎくっ、あせ |
| (*_*; | あせり、びくっ |
| ^_^; | あせり、ぎくっ、あせ |
| (?_?; | ぎもん、ぎくっ、なぜ |
| ε=┌(・_・)┘ | あせり、にげる |
| (ﾟ∇ﾟ;) | あせり、ぎくっ、あせ、えっ |
| ((○(>_<)○)) | あせり、じたばた |
| (;ﾟOﾟ) | あせり、ぎくっ、あせ |

• その他（61件）

| 顔文字 | 読み |
|---|---|
| (˜▽˜@)♪♪♪ | うたう |
| ('◇')ゞ | りょうかい、おっけー、らじゃ |
| m(_ _)m | ぺこり |
| _(._.)_ | ぺこり |
| <(_ _)> | ありがと、おねがい、ごめん、ぺこり |
| ≡≡≡ヘ(*--)ノ | いそぐ、にげる |
| (^_^;))))))ｺｿｺｿ… | こそこそ |
| p(^-^)q | がんばれ、ふぁいと |
| ;) | ういんく |
| (^_-) | ういんく |
| (・∀・)イイ | いい |
| (^人^) | かんしゃ、ありがとう |
| !(^^)! | ぴんぽーん |
| ヽ(^^) | よしよし、おい |
| (*≧m≦*) | ぷっ |
| (σ・∀・)σ | げっつ |
| (￣ー￣) | にやり |
| ( ・∀・)つ | どうぞ |
| ( ^-^)_旦～ | どうぞ、おちゃ |
| (屮ﾟ□ﾟ)屮 | きて、かもん、おいで |
| ♪～(￣ε￣) | くちぶえ |
| (￣。￣)y-～～ | たばこ |
| (｀・ω・´) | しゃきーん |
| ⊂(・∀・)⊃ | せーふ |
| (-.-;)y-˜˜˜ | いっぷく |
| (-。-)y-ﾟﾟﾟ | いっぷく |
| (￣～￣) | うまい、たべる |
| (￣人￣) | おねがい |
| (^-^)人(^-^) | かんぱい、なかま、たっち |
| ( i_i)＼(^_^) | よしよし |
| ( ^▽^)σ)˜O˜) | つんつん |
| ～～(m´Д｀)m | たすけて |
| ～～(m｀∀´)m | いひひ |
| φ(. _. )ﾒﾓﾒﾓ | めもめも、かきかき |
| (ﾟ∇^)] ﾓｼﾓｼ | もしもし |
| (´□`) | あーん |
| ┐(￣∇￣;)┌ | やれやれ |
| (´ヘ`;) | はぁ、ためいき |
| ( ; -_-)=3 | ためいき |
| (-"-;) | うーん |
| (´ー`) | ふふん、じまん |
| (´¬`) | よだれ |
| (￣ー+￣)ﾌｯ | ふっ |
| (˜_˜) | ほへー |
| (˜o˜) | ほへー |
| (p_-) | むしめがね |
| (-_-) | じとっ |
| (-.-) | じとっ |
| (-.-")凸 | ちちち |
| (..) | どれどれ |
| [壁]_-) | ちらっ |
| (+。+) | いたい |
| (-_-)zzz | ねてる、ねる |
| (_ _).oO | ねむい |
| (´_ゝ`) | ふーん |
| (UoU) | ねむい |
| (^(I)^) | くま |
| U^I^U | いぬ |
| ﾎﾟｲｯ(-__-)ノ⌒ | ぽい |
| ヽ(ﾟ▽、ﾟ)ノ | よだれ |
| >ﾟ))))彡 | さかな |

※ 顔文字の表示には、実際の表示と見えかたが異なるものがあります。

# マルチアクセスの組み合わせ

**現在実行中の動作ごとに発生、実行する処理の動作可否を次に示します。**

- 外部機器と接続してテレビ電話を行う場合は、64Kデータ通信中の動作になります。
- ｉモード中（ｉモード接続）は、ｉチャネル（情報の受信を除く）、データ放送サイトでの通信を含みます。
- ｉモードメール受信は、メッセージR/F、ｉチャネルの情報の受信を含みます。
- データ転送は、赤外線通信とiC通信を含みます。

○：新たに通信を実行できます。
△：条件により新たに通信を実行できます。
×：新たに通信を実行できません。

| 現在の状態 | 発生・実行する処理 | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | 音声電話 | | テレビ電話 | | プッシュトーク | |
| | 発　信 | 着　信 | 発　信 | 着　信 | 発　信 | 着　信 |
| 音声電話中 | △※1 | △※1、2、4 | × | △※2、3、4 | × | ×※5 |
| テレビ電話中 | × | △※2、3、4 | × | △※2、3、4 | × | × |
| プッシュトーク中 | × | △※8 | × | ×※5 | △※9 | ×※5 |
| ｉモード中 | ○ | ○ | ○※10 | △※11 | ○※10 | △※12 |
| フルブラウザ中 | ○ | ○ | ○※13 | △※11 | ○※13 | △※12 |
| ｉモードメール送受信中 | ○ | ○ | ○※10 | △※11 | ○※10 | △※12 |
| SMS送受信中 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| ｉアプリ動作中 | ○※18 | ○※18 | ○※18 | ○※18 | ○※19 | △※20 |
| パソコンとつないだパケット通信中 | ○ | ○ | × | △※5、21 | × | × |
| 64Kデータ通信中 | × | △※2、4、22 | × | △※2、3、4 | × | × |
| お預かりセンターに接続中 | ○※23 | ○ | ○※24 | △※11、24 | ○※24 | △※12、24 |

| 現在の状態 | 発生・実行する処理 | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | ｉモード | フルブラウザ | ｉモードメール | | SMS | |
| | 接　続 | 接　続 | 送　信 | 受　信 | 送　信 | 受　信 |
| 音声電話中 | ○ | ○ | ○ | ○※6 | ○ | ○※6 |
| テレビ電話中 | × | × | × | × | × | ○※6 |
| プッシュトーク中 | × | × | × | × | × | ○※6 |
| ｉモード中 | × | ○※10 | ○ | ○ | ○ | ○ |
| フルブラウザ中 | × | × | ○※13 | ○※14 | ○ | ○ |
| ｉモードメール送受信中 | ○ | ○※15 | △※16 | △※16 | △※16 | △※16 |
| SMS送受信中 | ○ | ○ | △※16 | △※16 | △※16 | △※16 |
| ｉアプリ動作中 | × | × | ○ | ○※6 | ○ | ○※6 |
| パソコンとつないだパケット通信中 | × | × | × | × | ○ | ○ |
| 64Kデータ通信中 | × | × | × | × | × | ○※6 |
| お預かりセンターに接続中 | × | × | × | × | × | × |

| 現在の状態 | 発生・実行する処理 | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | パソコンとつないだパケット通信 | | 64Kデータ通信 | | データ転送 | |
| | 発　信 | 着　信 | 発　信 | 着　信 | 送　信 | 受　信 |
| 音声電話中 | ○ | ○ | × | △※4、7 | × | × |
| テレビ電話中 | × | × | × | △※4、7 | × | × |
| プッシュトーク中 | × | × | × | △※7 | × | × |
| ｉモード中 | × | × | × | △※7 | × | × |
| フルブラウザ中 | × | × | × | △※7 | × | × |
| ｉモードメール送受信中 | × | × | × | △※7 | × | × |
| SMS送受信中 | ○ | ○ | △※17 | ○ | × | × |
| ｉアプリ動作中 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × |
| パソコンとつないだパケット通信中 | × | × | × | △※7 | × | × |
| 64Kデータ通信中 | × | × | × | △※7 | × | × |
| お預かりセンターに接続中 | × | × | × | △※7 | × | × |

※1 キャッチホンをご利用の場合は、通話中に別の相手に電話をかけたり受けたりできます。
※2 留守番電話サービスまたは転送でんわサービスをご利用の場合は各サービスで対応できます。
※3 キャッチホンを開始に設定している場合、着信履歴に不在着信として記録されます。
※4 通話中着信設定を開始に設定している場合、通話中着信動作選択の設定に従います。
※5 着信履歴に不在着信として記録されます。
※6 着信音は鳴りません。
※7 キャッチホンを開始に設定している場合、または留守番電話サービスや転送でんわサービスをご利用の場合は、着信履歴に不在着信として記録されます。ただし、転送でんわサービスを開始に設定し、呼出時間を「0秒」に設定している場合は、転送でんわサービスで対応できます。
※8 プッシュトーク中着信設定の設定に従います。
※9 自分が発信者の場合のみメンバーを追加するための発信ができます。
※10 ｉモード中の場合は、ｉモードが切断されます。
※11 パケット通信中着信設定の設定に従います。
※12 ｉモード中プッシュトーク着信の設定に従います。
※13 フルブラウザ中の場合は、フルブラウザが切断されます。
※14 ｉモード問合せを行った場合のみフルブラウザが切断されます。
※15 ｉモードメール送受信が終わるまで接続を待ちます。
※16 送信どうし、または受信どうしは実行できません。また、送信と受信を同時にできない場合があります。
※17 SMS送信中のみ発信できない場合があります。
※18 ｉアプリのメロディは鳴らなくなります。また、ｉアプリでｉモード中の場合は、ｉモードが切断されます。
※19 ｉアプリでｉモード中の場合は、ｉモードが切断されます。
※20 ｉアプリでｉモード中の場合は、ｉモード中プッシュトーク着信の設定に従います。
※21 留守番電話サービスまたは転送でんわサービスを開始に設定し、呼出時間を「0秒」に設定している場合は各サービスで対応できます。
※22 キャッチホンを開始に設定している場合、現在の通信を終了して電話を受けるか、着信を拒否するかなどを選択できます。
※23 平型スイッチ付イヤホンマイク（別売）での発信はできません。
※24 お預かりセンターとの通信が切断されます。

# マルチタスクの組み合わせ

**現在実行中の機能ごとに、新規起動メニュー項目の選択可否を次に示します。**

- 選択可能な機能でも、FOMA端末の状態によって実施できない操作もあります。

○：選択可能　×：選択不可

| 実行中機能＼メニュー項目 | ダイヤル発信 | 1メール 1受信メール | 1メール 2新規メール | 1メール 3チャットメール | 1メール 4未送信メール | 1メール 5送信メール | 1メール 6問合せ・WEBメール 1iモード問合せ | 1メール 6問合せ・WEBメール 2SMS問合せ | 1メール 6問合せ・WEBメール 3メール選択受信 | 1メール 6問合せ・WEBメール 4WEBメール※ | 1メール 7SMS 1SMS作成 | 1メール 7SMS 2FOMAカード（UIM）受信SMS | 1メール 7SMS 3FOMAカード（UIM）送信SMS | 1メール 8テンプレート読込み | 2iモード 1iMenu | 2iモード 2Bookmark | 2iモード 3Internet 1URL入力 | 2iモード 3Internet 2URL履歴 | 2iモード 3Internet 3ラストURL | 2iモード 4画面メモ | 2iモード 5iモード問合せ | 2iモード 6メッセージR/F 1メッセージR | 2iモード 6メッセージR/F 2メッセージF | 2iモード 7iチャネル一覧 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| ダイヤル入力 | × | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 電話 | × | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| テレビ電話 | × | ○ | × | × | ○ | ○ | × | × | × | × | × | ○ | ○ | × | × | × | × | × | × | × | × | ○ | ○ | × |
| プッシュトーク | × | × | × | × | × | × | × | × | × | × | × | × | × | × | × | × | × | × | × | × | × | × | × | × |
| 64Kデータ通信 | × | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | ○ | × | × | ○ | ○ | ○ | ○ | × | × | × | × | × | ○ | × | ○ | ○ | × |
| PPPデータ通信 | ○ | × | × | × | × | × | × | × | × | × | ○ | × | × | × | × | × | × | × | × | × | × | × | × | × |
| 外部機器によるテレビ電話 | × | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | ○ | × | × | ○ | ○ | ○ | ○ | × | × | × | × | × | ○ | × | ○ | ○ | × |
| 受信／送信／未送信メール、FOMAカード受信／送信メール、テンプレート読込み | ○ | × | ○ | × | × | × | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | × | × | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| メール作成、SMS作成 | ○ | ○ | × | × | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| チャットメール | ○ | × | × | × | × | × | × | × | ○ | ○ | × | × | × | × | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | ○ | ○ | ○ |
| メッセージR/F | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | × | ○ |
| ｉモード問合せ | ○ | ○ | ○ | × | ○ | ○ | × | × | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | ○ | ○ | ○ |
| SMS問合せ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | × | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| ｉモードメール着信 | ○ | ○ | ○ | × | ○ | ○ | × | × | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | ○ | ○ | ○ |
| SMS受信 | ○ | ○ | ○ | × | ○ | ○ | × | × | × | × | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | ○ | ○ | ○ |
| ｉMenu、ｉチャネル、WEBメール※ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | × | ○ | ○ | ○ | ○ | × | × | × | × | × | × | ○ | × | × | × |
| フルブラウザ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | × | ○ | ○ | ○ | ○ | × | × | × | × | × | × | ○ | × | × | × |
| Bookmark、URL入力、URL履歴、ラストURL、画面メモ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | × | ○ | ○ | ○ | ○ | × | × | × | × | × | × | ○ | ○ | ○ | × |
| ｉアプリ／ｉアプリ一覧、ICカード一覧 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | × | ○ | ○ | ○ | ○ | × | × | × | × | × | × | ○ | × | × | × |
| ｉアプリダウンロード | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | × | ○ | ○ | ○ | ○ | × | × | × | × | × | × | ○ | × | × | × |
| マイピクチャ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| ｉモーション | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| メロディ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| キャラ電 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| マイドキュメント | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| きせかえツール | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| その他 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| トルカ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| ミュージックプレイヤー | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| バーコードリーダー | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 静止画撮影 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 動画撮影／サウンドレコーダー | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 現在地確認 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 現在地通知 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 位置履歴 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 伝言メモ、音声メモ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 電話帳 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| プッシュトーク電話帳 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| スケジュール帳（視聴予約） | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 目覚まし／スケジュールアラーム | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| お知らせタイマー | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| メモ帳 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 電卓 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 辞典 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 着信履歴、リダイヤル | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| メール受信履歴／メール送信履歴 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| プロフィール情報 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| microSD | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | × | ○ | ○ | ○ | ○ | × | × | × | × | × | × | × | × | × | × |
| お預かりセンターに接続 | ○ | × | × | × | × | × | × | × | × | × | × | × | × | × | × | × | × | × | × | × | × | × | × | × |
| 電話帳通信履歴表示 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| ワンセグ視聴 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| テレビリンク | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |

| メニュー項目／実行中機能 | 2 iモード 8フルブラウザ 1ホーム | 2 iモード 8フルブラウザ 2Bookmark | 2 iモード 8フルブラウザ 3URL入力 | 2 iモード 8フルブラウザ 4URL履歴 | 2 iモード 8フルブラウザ 5ラストURL | 3 iアプリ一覧 | 4電話帳・履歴 1電話帳 | 4電話帳・履歴 2プッシュトーク電話帳 | 4電話帳・履歴 3着信履歴 | 4電話帳・履歴 4リダイヤル | 4電話帳・履歴 5伝言メモ・音声メモ 1伝言メモ一覧 | 4電話帳・履歴 5伝言メモ・音声メモ 2音声メモ録音 | 4電話帳・履歴 5伝言メモ・音声メモ 3音声メモ一覧 | 4電話帳・履歴 6メール送受信履歴 1メール送信履歴 | 4電話帳・履歴 6メール送受信履歴 2メール受信履歴 | 4電話帳・履歴 7プロフィール情報 | 5データBOX 1マイピクチャ | 5データBOX 2ミュージック | 5データBOX 3iモーション | 5データBOX 4メロディ | 5データBOX 5マイドキュメント | 5データBOX 6キャラ電 | 5データBOX 7きせかえツール | 5データBOX 8その他 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| ダイヤル入力 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | ○ | ○ | ○ | ○ | × | ○ |
| 電話 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | ○ | ○ | ○ | ○ | × | ○ |
| テレビ電話 | × | × | × | × | × | × | ○ | ○ | × | × | × | × | × | × | × | ○ | × | × | × | × | × | × | × | × |
| プッシュトーク | × | × | × | × | × | × | ○ | ○ | ○ | ○ | × | × | × | ○ | ○ | ○ | × | × | × | × | × | × | × | × |
| 64Kデータ通信 | × | × | × | × | × | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | ○ | ○ | ○ | ○ | × | ○ |
| PPPデータ通信 | × | × | × | × | × | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | ○ | ○ | ○ | ○ | × | ○ |
| 外部機器によるテレビ電話 | × | × | × | × | × | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | ○ | ○ | ○ | ○ | × | ○ |
| 受信／送信／未送信メール、FOMAカード受信／送信メール、テンプレート読込み | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | ○ |
| メール作成、SMS作成 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | ○ |
| チャットメール | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | ○ |
| メッセージR/F | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | ○ |
| iモード問合せ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | ○ |
| SMS問合せ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | ○ |
| iモードメール着信 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | ○ |
| SMS受信 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | ○ |
| iMenu、iチャネル、WEBメール※ | × | × | × | × | × | × | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | ○ |
| フルブラウザ | × | × | × | × | × | × | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | ○ |
| Bookmark、URL入力、URL履歴、ラストURL、画面メモ | × | × | × | × | × | × | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | ○ |
| iアプリ／iアプリ一覧、ICカード一覧 | × | × | × | × | × | × | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | × | × | × | × | × | × | × |
| iアプリダウンロード | × | × | × | × | × | × | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | × | × | × | × | × | × | × |
| マイピクチャ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | ○ | ○ | ○ | ○ | × | × | ○ |
| iモーション | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | × | ○ | ○ | × | × | ○ |
| メロディ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | ○ | × | ○ | ○ | × | ○ |
| キャラ電 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | × | × | ○ | ○ | × | × | ○ |
| マイドキュメント | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | ○ | × | ○ |
| きせかえツール | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | ○ |
| その他 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | × |
| トルカ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | ○ | ○ | ○ | ○ | × | ○ |
| ミュージックプレイヤー | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | ○ | ○ | ○ | ○ | × | × | × | ○ | ○ | ○ | ○ | × | × | × | ○ | × | × | ○ |
| バーコードリーダー | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | × | × | ○ | ○ | × | × | ○ |
| 静止画撮影 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | × | × | ○ | ○ | × | × | ○ |
| 動画撮影／サウンドレコーダー | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | × | × | ○ | ○ | ○ | × | × | × | ○ | ○ | × | × | ○ |
| 現在地確認 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | ○ |
| 現在地通知 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | ○ |
| 位置履歴 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | ○ |
| 伝言メモ、音声メモ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | × | × | ○ | ○ | ○ | ○ | × | ○ | ○ | ○ | ○ | × | ○ |
| 電話帳 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | × | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | ○ |
| プッシュトーク電話帳 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | × | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | ○ |
| スケジュール帳（視聴予約） | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | ○ |
| 目覚まし／スケジュールアラーム | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | ○ | ○ | ○ | ○ | × | ○ |
| お知らせタイマー | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | ○ |
| メモ帳 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | ○ |
| 電卓 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | ○ |
| 辞典 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | ○ |
| 着信履歴、リダイヤル | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | × | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | ○ |
| メール受信履歴／メール送信履歴 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | × | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | ○ |
| プロフィール情報 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | ○ |
| microSD | × | × | × | × | × | × | ○ | ○ | ○ | ○ | × | × | × | ○ | ○ | ○ | × | × | × | × | × | × | × | × |
| お預かりセンターに接続 | × | × | × | × | × | × | × | × | × | × | × | × | × | × | × | × | × | × | × | × | × | × | × | × |
| 電話帳通信履歴表示 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | ○ |
| ワンセグ視聴 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | ○ | × | ○ | × | ○ | ○ |
| テレビリンク | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | ○ | × | ○ | ○ | ○ | ○ |

| メニュー項目 ＼ 実行中機能 | 6 LifeKit 1 バーコードリーダー | 2 トルカ | 3 ICカード一覧 | 4 静止画撮影 | 5 動画撮影 | 6 サウンドレコーダー | 7 GPS 1 現在地確認 | 2 現在地通知 | 3 位置履歴 | 7 ステーショナリー 1 スケジュール帳 | 2 メモ帳 | 3 電卓 | 4 辞典 | 5 お知らせタイマー | 8 音量設定 1 電話着信音量 | 2 メール・メッセージ着信音量 | 3 iアプリ音量 | 9 ワンセグ／ミュージック 1 ワンセグ 1 ワンセグ視聴 | 2 番組表 | 3 視聴予約リスト | 4 テレビリンク | 2 ミュージックプレイヤー | # マナーモード設定／解除 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| ダイヤル入力 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | ○ |
| 電話 | ○ | ○ | ○ | ○ | × | × | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | × |
| テレビ電話 | × | × | × | × | × | × | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | ○ | ○ | × | ○ | ○ | ○ | × | ○ | ○ | × | × |
| プッシュトーク | × | × | × | × | × | × | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | ○ | ○ | ○ | × | ○ | ○ | × | × |
| 64Kデータ通信 | ○ | ○ | ○ | ○ | × | × | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | × |
| PPPデータ通信 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | ○ |
| 外部機器によるテレビ電話 | ○ | ○ | ○ | ○ | × | × | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | × |
| 受信／送信／未送信メール、FOMAカード受信／送信メール、テンプレート読込み | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| メール作成、SMS作成 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| チャットメール | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| メッセージR/F | ○ | ○ | × | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | ○ | ○ | ○ | ○ |
| iモード問合せ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| SMS問合せ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| iモードメール着信 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| SMS受信 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| iMenu、iチャネル、WEBメール※ | ○ | ○ | × | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | ○ | ○ | ○ | ○ |
| フルブラウザ | ○ | ○ | × | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | ○ | ○ | ○ | ○ |
| Bookmark、URL入力、URL履歴、ラストURL、画面メモ | ○ | ○ | × | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | ○ | ○ | ○ | ○ |
| iアプリ／iアプリ一覧、ICカード一覧 | ○ | ○ | × | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | ○ | ○ | × | ○ |
| iアプリダウンロード | ○ | ○ | × | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | ○ | ○ | × | ○ |
| マイピクチャ | × | ○ | ○ | × | × | × | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| iモーション | × | ○ | ○ | × | × | × | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | ○ |
| メロディ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | ○ | ○ | × | × | ○ |
| キャラ電 | × | ○ | ○ | × | × | × | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | ○ | ○ | ○ | × | ○ |
| マイドキュメント | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| きせかえツール | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| その他 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| トルカ | ○ | × | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | ○ |
| ミュージックプレイヤー | × | × | × | × | × | × | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | × | ○ | × | × | ○ |
| バーコードリーダー | × | ○ | ○ | × | × | × | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | ○ | ○ | ○ | × | ○ |
| 静止画撮影 | × | ○ | ○ | × | × | × | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | ○ | ○ | ○ | × | ○ |
| 動画撮影／サウンドレコーダー | × | ○ | ○ | × | × | × | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | ○ | ○ | ○ | × | ○ |
| 現在地確認 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 現在地通知 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 位置履歴 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 伝言メモ、音声メモ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | × | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | ○ |
| 電話帳 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| プッシュトーク電話帳 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| スケジュール帳（視聴予約） | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | ○ | ○ | ○ |
| 目覚まし／スケジュールアラーム | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | ○ |
| お知らせタイマー | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| メモ帳 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 電卓 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 辞典 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 着信履歴、リダイヤル | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| メール受信履歴／メール送信履歴 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| プロフィール情報 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| microSD | ○ | ○ | × | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | ○ | ○ | × | ○ |
| お預かりセンターに接続 | × | × | × | × | × | × | × | × | × | × | × | × | × | × | × | × | × | × | × | × | × | × | × |
| 電話帳通信履歴表示 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| ワンセグ視聴 | × | ○ | ○ | × | × | × | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | ○ | ○ | × | × | ○ |
| テレビリンク | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | × | ○ |

※ 2in1がONでデュアルモードまたはBモードのときに利用できます。ここでは2in1がデュアルモードのときの選択可否を示します。

## FOMA端末から利用できるサービス

FOMA端末から利用できる主なサービスは次のとおりです。

| FOMA端末から利用できるサービス | 電話番号 |
|---|---|
| 番号案内サービス<br>（有料：案内料＋通話料）<br>（電話番号の案内を希望されないお客様については案内しておりません） | （局番なし）104 |
| 電報の発信（有料：電報料） | （局番なし）115 |
| 時報サービス（有料） | （局番なし）117 |
| 天気予報（有料） | 知りたい地域の市外局番＋177 |
| 警察への緊急通報 | （局番なし）110 |
| 消防・救急への緊急通報 | （局番なし）119 |
| 海上で事件・事故が起きたときの緊急通報 | （局番なし）118 |
| 災害用伝言ダイヤル（有料） | （局番なし）171 |
| コレクトコール<br>（有料：案内料＋通話料） | （局番なし）106 |

### ✔お知らせ

- コレクトコール（106）をご利用の際には、電話を受けた方に、通話料と1回の通話ごとの取扱手数料90円（税込94.5円）がかかります（2007年6月現在）。
- 番号案内（104）をご利用の際には、案内料100円（税込105円）に加えて通話料がかかります。また、目や上肢などの不自由な方には、無料でご案内をしております。詳細は一般電話から116番（NTT営業窓口）までお問い合わせください（2007年6月現在）。
- 本FOMA端末は、「緊急通報位置通知」に対応しております。
  110番、119番、118番などの緊急通報をおかけになった場合、発信場所の情報（位置情報）が自動的に警察機関などの緊急通報受理機関に通知されます。お客様の発信場所や電波の受信状況により、緊急通報受理機関が正確な位置を確認できないことがあります。
  位置情報を通知した場合には、待受画面に通報した緊急通報受理機関の名称が表示されます。
  なお、「184」を付加してダイヤルするなど、通話ごとに非通知とした場合は、位置情報と電話番号は通知されませんが、緊急通報受理機関が人命の保護等の事由から、必要であると判断した場合は、お客様の設定によらず、機関側が位置情報と電話番号を取得することがございます。
  また、「緊急通報位置通知」の導入地域／導入時期については、各緊急通報受理機関の準備状況により異なります。
- FOMA端末から110番、119番、118番通報の際は、警察、消防機関側から確認などの電話をする場合があるため、携帯電話からかけていることと、電話番号を伝えてから、明確に現在地を伝えてください。また、通報は途中で通話が切れないように移動せず通報し、通報後はすぐに電源を切らず10分程度は着信のできる状態にしておいてください。
- おかけになった地域により、管轄の消防署、警察署に接続されない場合があります。接続されない場合は、お近くの公衆電話または一般電話からおかけください。
- 一般電話の転送電話をご利用のお客様で、転送先を携帯電話に指定した場合、一般電話または携帯電話の設定によって携帯電話が通話中、サービスエリア外および電源を切っているときでも発信者には呼出音が聞こえることがあります。
- 116番（NTT営業窓口）、ダイヤルQ2、伝言ダイヤル、クレジット通話などのサービスはご利用できませんのでご注意ください。ただし、一般電話または公衆電話からFOMA端末へおかけになる際の自動クレジット通話は利用できます。

## オプション・関連機器のご紹介

FOMA端末にさまざまな別売りのオプション品を組み合わせることで、パーソナルからビジネスまでさらに幅広い用途に対応できます。なお、地域によってお取り扱いしていない商品もあります。
詳細は、ドコモショップなどの窓口へお問い合わせください。また、オプション品の詳細については各機器の取扱説明書などをご覧ください。

- FOMA DC アダプタ 01／02
- FOMA AC アダプタ 01／02
- FOMA 乾電池アダプタ 01
- 車載ハンズフリーキット 01※1
- FOMA 車載ハンズフリー接続ケーブル 01
- 電池パック F10
- 車内ホルダ 01
- 卓上ホルダ F17
- リアカバー F19
- キャリングケースL 01
- FOMA USB接続ケーブル※2
- FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01
- FOMA補助充電アダプタ 01
- 平型スイッチ付イヤホンマイク P01／P02
- 平型ステレオイヤホンセット P01
- イヤホンジャック変換アダプタ P001
- スイッチ付イヤホンマイク P001※3／P002※3
- ステレオイヤホンセット P001※3
- マイク付リモコン F01
- イヤホンターミナル P001※3
- FOMA 海外兼用ACアダプタ 01※4
- FOMA室内用補助アンテナ
- FOMA室内用補助アンテナ（スタンドタイプ）
- 骨伝導レシーバマイク 01

※1 F904iをUSB接続／充電するには、FOMA車載ハンズフリー接続ケーブル 01が必要です。
※2 F904i付属のUSBケーブルをお使いいただけます。
※3 F904iと接続するには、イヤホンジャック変換アダプタP001が必要です。
※4 海外で使用する場合は、渡航先に適合した変換プラグアダプタが必要です。

## FOMA Fシリーズデータリンクソフト

FOMA Fシリーズデータリンクソフト※には次の4つの機能があります。これらをまとめて「データリンクソフト」と呼びます。
※ 付属のCD-ROMに収録されている他、ホームページからダウンロードすることもできます。

| ソフト名 | 内　容 |
| --- | --- |
| データリンクソフト | 電話帳やメールなどのデータを、USB接続できるパソコンで編集したり、バックアップしたりできます。 |
| データシンクロソフト | Microsoft® Outlook®とデータの同期ができます。 |
| SDユーティリティ | microSDメモリーカードのデータをバックアップしたり、ファイルを管理したりできます。<br>FOMA端末でUSBモード設定を行う必要があります。 |
| Fアルバムソフト | アルバムを作成して画像などのデータを管理できます。 |

- データリンクソフトはWindows 2000、Windows XP、Windows Vistaに対応しています。
- データリンクソフトと通信設定ファイルのインストールについては、付属のCD-ROMのDataLinkフォルダ内の「DataLink.txt」をご覧ください。
- 転送可能データ、動作環境、操作方法、制限事項などの詳細は、付属のCD-ROM、データリンクソフトのヘルプ、ホームページをご覧ください。

### ✔お知らせ

- データシンクロソフトで一部同期させられないデータがあります。同期可能なデータについての詳細は、ソフトのヘルプをご覧ください。
- データリンクソフトでの各データの呼びかたと、FOMA端末内での呼びかたが異なる場合があります。
- データリンクソフトのカレンダー表示範囲は、FOMA端末のカレンダー画面の表示範囲と異なります。
- F904i以外で撮影された動画／ｉモーションは、転送できない場合があります。
- Microsoft® Exchange Serverなどを使用しているときは、Microsoft® Outlook®と同期できません。Microsoft® Exchange Serverなどとの共有を解除してからご使用ください。
- FOMA端末外への出力が禁止されている静止画や動画／ｉモーション、メロディは、パソコンへ転送できません。ただし、自端末でファイル制限を「あり」に設定したデータ、「データ交換」フォルダ内のデータは転送できます。
- SDユーティリティを使用して読み込み、書き込みを行う場合、データ量によっては転送に時間がかかります。

FOMA Fシリーズデータリンクソフト
Copyright© 2007 FUJITSU LIMITED

■データリンクソフトに関するホームページ
パソコンなどから：
FMWORLD(http://www.fmworld.net/)→携帯電話→データリンクソフト

■FOMA Fシリーズデータリンクソフトについてのお問い合わせ先
富士通データリンクソフトサポートセンター
0120-176-769
※ 携帯電話、PHSからもご利用になれます。
受付時間　10：00～19：00（日・祝日・所定の休日を除く）
※ ダイヤルの電話番号をよくご確認の上、お間違いのないようにおかけください。

- FOMA Fシリーズデータリンクソフトはフリーウェアとして無料配布を行っておりますが、著作権は富士通株式会社に帰属します。使用許諾契約書についてはインストール先のLicense.txtをご覧ください。
- 富士通株式会社は、本ソフトウェアの不稼働、稼働不良を含む法律上の瑕疵担保責任、その他の保証責任を負わないものとします。また、本ソフトウェアの商品性、またはお客様の特定の目的に対する適合性について、いかなる保証も行わないこととします。本ソフトウェアの使用または、本ソフトウェアを使用できないことにより生じた直接的損害、間接的損害、特別な事情から生じた損害、お客様のデータ喪失および逸失利益などについて、いかなる責任も負いかねます。

## 動画データを外部機器から取り込んでFOMA端末で再生する

**パソコンなどの外部機器で作成した動画（MP4形式）をmicroSDメモリーカードに保存することで、FOMA端末で再生できます。**

- microSDメモリーカード内のマルチメディアデータを再生する→P375
- 再生可能なMP4形式→P352

※ 対応外部機器については、次のホームページにアクセスしてご確認いただけます。
http://www.fmworld.net/product/phone/peri/

- microSDメモリーカード内の動画を再生するには、SDユーティリティなどを使って決められたフォルダに動画データを保存する必要があります。
microSDメモリーカードのフォルダ構成→P368
microSDメモリーカードの情報更新→P379

## FOMA端末で撮影した動画データをパソコンなどで再生する

**FOMA端末で撮影した動画（MP4形式）をmicroSDメモリーカードやメール添付などでデータ転送し、パソコンで再生できます。**

- FOMA端末で撮影した動画ファイル→P178

### ❖動画再生ソフトのご紹介

パソコンで動画（MP4形式）を再生するには、アップルコンピュータ株式会社のQuickTime Player（無料）ver.6.4以上（またはver.6.3＋3GPP）が必要です。
QuickTime Playerは次のホームページからダウンロードいただけます。
http://www.apple.com/jp/quicktime/download/

- ダウンロードするには、インターネットと接続した環境のパソコンが必要です。また、ダウンロードにあたっては別途通信料がかかります。
- 動作環境、ダウンロード方法、操作方法など詳細は、上記ホームページをご覧ください。

# 故障かな？と思ったら、まずチェック

**まず初めに、ソフトウェアを更新する必要があるかをチェックしていただき、必要な場合にはソフトウェアを更新してください。**

- ソフトウェアを更新する→P533

■ 電源・充電関連

**●FOMA端末の電源が入らない（FOMA端末が使えない）**

・電池パックが正しく取り付けられていますか。→P40
・電池切れになっていませんか。→P43
・デュアルネットワークサービスでmova端末が有効となっている場合、FOMA端末でのサービスの利用はできません。FOMA端末が有効になっているかご確認ください。詳細は『ご利用ガイドブック（ネットワークサービス編）』をご覧ください。

**●充電できない**

・電池パックが正しく取り付けられていますか。→P40
・充電端子が汚れていませんか。端子部分を乾いた綿棒などで清掃してください。
・ACアダプタのコネクタがFOMA端末の外部接続端子や卓上ホルダの接続端子にしっかりと差し込まれていますか。→P42
・卓上ホルダにFOMA端末が正しく取り付けられていますか。→P42

**●充電中に背面ディスプレイの照明が点滅する**

・通話中、通信中、プッシュトーク通信中の場合は、直ちに終了してください。FOMA端末からACアダプタ（卓上ホルダ）、DCアダプタを外してセットし直し、正しい方法でもう一度充電してください。→P42
・以上の操作をしても正常に充電できない場合は、ドコモショップなどの窓口にご連絡ください。

**●ディスプレイ上部のアイコンが点滅し、ピピピというアラームが鳴っている**

・電池が少なくなっています。充電してください。→P41、P43

■ 電話関連

**●ディスプレイに「しばらくお待ちください」と表示され、消えない**

・音声回線／パケット通信設備が故障、または音声回線ネットワーク／パケット通信ネットワークが非常に混み合っていますので、しばらくたってからおかけ直しください。ダイヤルキーを押すと、メッセージを消去できます。
・110番、119番、118番には電話をかけることができます。ただし、状況によりつながらない場合があります。

**●ダイヤルキーを押しても発信できない**

・オールロックを起動していませんか。→P159
・おまかせロックを起動していませんか。→P160
・セルフモードを起動していませんか。→P161
・ダイヤル発信制限を起動していませんか。→P162
・開閉ロックを設定していませんか。→P168

**●電話をかけたが話中音（プープー音）が出てつながらない**

・市外局番を忘れていませんか。
・発信音を聞かず、急いで電話番号を入力していませんか。
・「圏外」の表示が出ていませんか。→P44

**●着信音が鳴らない**

・音量設定の電話着信音量を「Silent」に設定していませんか。→P123
・次の機能を設定していませんか。
  - メモリ別着信拒否／許可→P170
  - 発番号なし動作設定→P171
  - 呼出動作開始時間設定→P172
  - メモリ登録外着信拒否→P172
・公共モードを起動していませんか。→P73
・マナーモードを起動していませんか。→P127
・セルフモードを起動していませんか。→P161
・留守番電話サービスや転送でんわサービスの呼出時間を「0秒」に設定している場合、着信音は鳴りません。詳細は『ご利用ガイドブック（ネットワークサービス編）』をご覧ください。
・伝言メモ応答時間設定を「0秒」に設定していませんか。→P77
・オート着信機能設定の自動着信機能時間を「0秒」に設定していませんか。→P440

**●通話中、相手の声が聞こえにくい、相手の声が大きすぎる**

・音量設定の受話音量の設定を変更していませんか。聞き取りやすい受話音量に調整してください。→P70、P123

**●電話がかかってきたとき、設定していない着信音が鳴る**

・複数の機能で電話着信音が設定されている場合は、優先順位に従って着信音が鳴ります。→P122「着信音の優先順位について」
・オールロックを起動していませんか。→P159
・おまかせロックを起動していませんか。→P160
・パーソナルデータロックを起動していませんか。→P161
・プライバシーモードを起動していませんか。→P163

**●電話がかかってきたとき、設定していないイメージが表示される**

・電話着信設定の着信音に音声と映像のある動画／iモーションが設定されている場合は、イメージは設定したiモーションになります。
・複数の機能で着信画像が設定されている場合は、優先順位に従ってイメージが表示されます。→P139「着信画像の優先順位について」
・オールロックを起動していませんか。→P159
・おまかせロックを起動していませんか。→P160
・パーソナルデータロックを起動していませんか。→P161
・プライバシーモードを起動していませんか。→P163

**●電話がかかってきたとき、設定していないイルミネーションパターンやイルミネーションカラーでランプが動作する**

・複数の機能でイルミネーションパターンやイルミネーションカラーが設定されている場合は、優先順位に従ってランプが動作します。→P146「着信イルミネーションの優先順位について」
・オールロックを起動していませんか。→P159
・おまかせロックを起動していませんか。→P160
・パーソナルデータロックを起動していませんか。→P161
・プライバシーモードを起動していませんか。→P163

**●電話がかかってきたとき、電話帳に登録されている名前や着信音などが動作しない**

・相手の電話番号と電話帳に登録されている電話番号が一致していません。正しい電話番号を電話帳に登録してください（名前の表示について→P100）。
・オールロックを起動していませんか。→P159
・おまかせロックを起動していませんか。→P160
・パーソナルデータロックを起動していませんか。→P161
・プライバシーモードを起動していませんか。→P163
・着信／受信時動作設定を設定していませんか。→P167

## ■設定・操作関連

**●メニューのアイコンが鍵のアイコンになり、選択できない**

・各種ロック機能やFOMAカード未挿入などの理由で機能が実行できない場合は、アイコンが で表示され、選択できません。→P37、P159

**●メモリ登録外着信拒否が選択できない**

・パーソナルデータロックを起動していませんか。→P161
・呼出動作開始時間設定の着信呼出動作を「ON」に設定している場合、メモリ登録外着信拒否は設定できません。→P172

**●呼出動作開始時間設定が選択できない**

・メモリ登録外着信拒否を「ON」に設定している場合、呼出動作開始時間設定は設定できません。→P172

**●パーソナルデータロック機能が選択できない**

・メモリ登録外着信拒否を「ON」に設定している場合、パーソナルデータロックは設定できません。→P161、P172

**●キー操作音が鳴らない**

・キー／開閉操作音を「OFF」に設定していませんか。→P125
・マナーモードを起動していませんか。→P127

**●FOMA端末の電源を入れると「FOMAカード（UIM）を挿入してください」とメッセージが表示される**

・FOMAカードが正しく取り付けられていないか、破損している可能性があります。FOMAカードが正しく取り付けられているかどうか確認してください。→P37

**●FOMA端末を開くたびに認証画面が表示される**

・開閉ロック中です。解除してください。→P168

**●ディスプレイに「オールロック中」と表示されている**

・オールロック中です。解除してください。→P159

**●ディスプレイに「おまかせロック中です」と表示され、操作できない**

・おまかせロック中です。解除してください。→P160

**●電話帳やメールのキー操作を行うと「暗証番号を入力してください」と表示される**

・プライバシーモードを起動しています。暗証番号を入力するか、プライバシーモードを解除してください。→P163

**●待受画面に が表示されている**

・HOLD中のため、 、 、サイドキー［▲▼］の操作が無効になっています。解除してください。→P168

**●待受画面に が表示され、操作できない**

・開閉ロック中です。解除してください。→P168

**●FOMA端末を折り畳んでいるときにサイドキーなどを押しても操作できない**

・HOLD中のため、 、 、サイドキー［▲▼］の操作が無効になっています。解除してください。→P168

**●日付・時刻が消去された**

・日付時刻設定の自動時刻・時差補正を「OFF」に設定したときは、電池パックを取り外したり、電池が切れたまま長い間充電しなかったりすると、日付・時刻が消去される場合があります。もう一度、日付・時刻の設定を行ってください。→P45

**●ディスプレイが暗い**

・省電力の状態になっていませんか。→P45
・照明設定の明るさ調整の設定を変更していませんか。→P141

**●ディスプレイ、ダイヤルキーの照明が点灯しない**

・照明設定の点灯時間設定で通常時を「0秒」に設定していませんか。→P140

**●自動電源ON設定を「ON」に設定しても、指定した時刻に電源が入らない**

・電池パックが外れてしまった場合など、電源を切る操作や自動電源OFF設定以外で電源が切れると、この機能は動作しません。

**●目覚ましやスケジュールアラームを設定しても、電源が切れているときに指定した日時に動作しない**

・電源を切っているときにこれらの機能を動作させるには、アラーム自動電源ON設定を「ON」に設定してください。→P421

**●通話料金が積算されなくなった**

・通話料金のFOMAカードへの積算が上限（約1677万円）に達した可能性があります。リセットすることにより0円に戻せます。→P434

## ■ メール・ｉアプリ・データ関連

**●カメラで撮影した静止画や動画がぼやける**

・手ぶれ補正オートに設定して撮影してください。→P194
・近くの被写体を撮影するときは、オートフォーカスを利用するか、接写撮影に切り替えてください。→P183、P191

**●メール受信時に、設定していない着信音が鳴る**

・複数の機能でメール着信音が設定されている場合は、優先順位に従って着信音が鳴ります。→P122「着信音の優先順位について」
・複数のメールを同時に受信したときは、最後に受信したメールに設定されている条件に従って動作します。
・プライバシーモードを起動していませんか。→P163

**●メール受信時に、電話帳に登録されている名前や着信音などが動作しない**

・相手の電話番号またはメールアドレスと電話帳に登録されている電話番号またはメールアドレスが一致していません。正しい電話番号とメールアドレスを電話帳に登録してください（名前の表示について→P100）。
・プライバシーモードを起動していませんか。→P163
・着信／受信時動作設定を設定していませんか。→P167

**●メール受信時に、設定していないイルミネーションパターンやイルミネーションカラーでランプが動作する**

・複数の機能でイルミネーションパターンやイルミネーションカラーが設定されている場合は、優先順位に従ってランプが動作します。→P146「着信イルミネーションの優先順位について」
・複数のメールを同時に受信したときは、最後に受信したメールに設定されている条件に従って動作します。
・プライバシーモードを起動していませんか。→P163

**●静止画や動画がや で表示される**

・データが壊れている場合は正しく表示できず、や で表示されます。

**●キーを押したときの画面の反応が遅い**

・FOMA端末とmicroSDメモリーカードの間で容量の大きいデータをやりとりしているときは、FOMA端末の画面の反応が遅くなる場合があります。

**●ｉアプリ／ｉアプリ待受画面が起動できない**

・FOMAカード動作制限機能により、FOMAカードを差し替えた場合やFOMA カードを差し込んでいない場合は、ｉアプリが起動できません。→P38
・ｉアプリが IP（情報サービス提供者）により停止状態になっていませんか。
・ｉアプリDXを起動するには日付・時刻の設定が必要です。→P45
・ｉアプリDXでは、ｉアプリの有効性を確認するため、ｉアプリの通信設定に関わらず通信する場合があります。また、有効性の確認が完了するまでｉアプリを起動できない場合があります。
・オールロック中、おまかせロック中、パーソナルデータロック中、プライバシーモード中（ｉアプリを「認証後に表示」に設定した場合）はｉアプリ待受画面を起動できません。→P159、P160、P161、P163

**●ｉアプリ動作中にディスプレイの照明が点灯しない**

・照明設定の点灯時間設定で通常時を「0秒」、ｉアプリの照明設定を「端末設定に従う」に設定している場合、ディスプレイの照明は点灯しません。→P140、P286
・公共モード中は、ｉアプリの照明設定を「ソフトに従う」に設定してもディスプレイの照明は点灯しません。

**●パソコンから音楽データが転送できない**

・付属のCD-ROMに収録されているソフトウェア「ポータブルデバイス用パソコン環境診断」をご使用ください。詳しくは付属のCD-ROMをご覧ください。

## ■ その他

**●おサイフケータイが使えない**

・ICカードロックを起動していませんか。→P308
・電池パックを取り外したり、おまかせロックを起動したりすると、ICカードロックの設定に関わらずICカード機能が利用できなくなります。→ P40、P160

**●指紋認証や登録の際、センサーに指を触れていないのに「操作が速すぎます」「操作が遅すぎます」のメッセージが表示される**

・センサー表面が濡れていたり、結露していたりすることが考えられます。柔らかい布で水分を取り除いてからご使用ください。

**●パソコンなどとFOMA端末を接続したときに指紋認証できない**

・FOMA端末をデスクトップパソコンなどアースを必要とする機器にUSBケーブルで接続するときは、必ず機器のアースが接続されていることを確認してください。アースが接続されていない状態で接続している間は、指紋認証できない場合があります。その場合は、接続する機器の金属部分（筐体や外部接続用コネクタなど）に触れながら指紋認証を行うか、FOMA端末を機器から取り外して指紋認証を行ってください。

●ディスプレイに残像が残る
・FOMA端末の電源を切らずに電池パックを取り外すと、しばらくの間、ディスプレイから残像が消えないことがあります。電池パックの取り外しは、電源を切ってから行ってください。
・FOMA端末を開いたまましばらく同じ画面を表示していると、何か操作して画面が切り替わったとき、前の画面表示の残像がディスプレイに残る場合があります。

●ディスプレイに常時点灯する／点灯しないドット（点）がある
・FOMA端末のディスプレイは非常に高度な技術を駆使して作られていますが、一部に常時点灯するドット（点）や点灯しないドット（点）が存在する場合があります。これは液晶ディスプレイの特性であり、FOMA端末の故障ではありません。あらかじめご了承ください。

●ランプの点灯色や明るさに差異がある
・次の現象はランプに用いているLEDやFOMA端末の特性によるものであり、FOMA端末の故障ではありません。あらかじめご了承ください。
- FOMA端末ごとに、あるいはランプによって点灯色や明るさに差異があります。
- FOMA端末の塗装色により、ランプの色が点灯色名とは異なる色に見えることがあります。
- ランプの点灯色名はLEDの主たる光源色を記載していますが、各機能によって光源の設定が微妙に異なるため、同じ点灯色名でも異なる色に見えることがあります。

・イルミネーション設定で「ガーネット」「ライム」「アクア」が点灯することを確認してください。いずれかの色が点灯しない場合は、ドコモショップなどの窓口にご連絡ください。→P145

●取扱説明書に記載されていない電池アイコンが表示されている／スクリーン設定で選択できる組み合わせの種類が増えている／メニュー設定のアニメーションデザインが増えている
・隠し機能が起動しています。隠し機能を起動または解除する場合は、セレクトメニューのグループ名に「タワー」と入力します。→P428

■ 海外利用時

●待受画面にオペレータ名が表示されない、または圏外が表示され、国際ローミングサービスが利用できない
・国際ローミングサービスのサービスエリア外か、電波の弱い所にいませんか。
・利用可能なサービスエリアまたは通信事業者かどうか、『ご利用ガイドブック（国際サービス編）』などの国際サービスガイドで確認してください。
・ネットワークサーチ設定でサービスに対応している通信事業者を検索してください。→P478
・日本国内から海外へ移動した後に初めて利用するときは、FOMA端末の電源を入れ直してください。

●音声電話やテレビ電話がかかってこない
・ローミング時着信規制を開始に設定していませんか。→P479

●相手の電話番号が通知されてこない／相手の電話番号とは違う番号が通知されてくる／電話帳の登録内容や発信者番号通知を利用する機能が動作しない
・相手が発信者番号を通知して電話をかけてきても、利用しているネットワークや通信事業者から発信者番号が通知されていない場合は、FOMA端末に発信者番号は表示されません。また、利用しているネットワークや通信事業者によっては、相手の電話番号とは違う番号が通知される場合があります。

# こんな表示が出たら

**FOMA端末に表示される主なエラーメッセージを50音順に示します。**

- エラーメッセージ内の「(数字)」または「(XXX)」は、iモードセンターから送信されたエラーを区別するためのコードです。

**●宛先をご確認ください**
SMSの送信に失敗しました。宛先が正しいかどうか確認してください。

**●アドレスをご確認ください**
メールグループに入力したメールアドレスに不正がある、または入力されていません。メールアドレスを確認してください。

**●以下の宛先にはメール送信できませんでした（561）Mails could not be sent to following address. (561)○○@△△△.ne.jp**
以下の宛先にiモードメールを送信できませんでした。
「OK」を選択すると送信に失敗した宛先が表示されます。宛先が正しいかどうかご確認の上、電波状態のよい所で送信し直してください。
メッセージ内に表示されるメールアドレスは送信先により異なります。

**●移動できませんでした**
移動できないデータがありました。

**●今いる場所の確認に失敗しました。リトライしますか？**
GPSによる現在地確認の測位に失敗しました。もう一度、測位し直す場合は「はい」を選択します。

**●遠隔操作可能なサービスは未契約です**
遠隔操作を行おうとした留守番電話サービスまたは転送でんわサービスが未契約です。留守番電話サービスまたは転送でんわサービスを利用するには別途ご契約が必要です。

**●応答がありませんでした（408）**
サイトやホームページから規定時間内に応答がなく、通信が切断されました。しばらくたってから操作し直してください。

**●同じサービスを利用するソフトがあるためダウンロード／バージョンアップできません　該当するサービスを削除しますか？**
同様のおサイフケータイ対応iアプリをダウンロードしている場合は、すでに登録しているおサイフケータイ対応iアプリを削除しないと、新しいおサイフケータイ対応iアプリのダウンロード、バージョンアップはできません。「はい」を選択すると削除対象となるおサイフケータイ対応iアプリが表示されますので、登録済みのおサイフケータイ対応iアプリを削除してください。

**●画像に誤りがあり正しく動作しません**
画像データに誤りがあるため、Flash画像を表示できません。

**●起動できませんでした**
起動や選局の処理でエラーが発生したため、ワンセグ視聴を起動できませんでした。

**●圏外です**
電波の届かない所かFOMAサービスエリア外にいるため実行できません。

**●更新できませんでした**
パターンデータの更新に失敗しました。他に起動している機能をすべて終了後、電波状態のよい所で更新し直してください。

**●このカードは認識できません**
FOMAカードが正しく取り付けられていないか、FOMAカードに異常があります。FOMAカードを確認してください。→P37

**●この画像は保存できません**
画像にエラーがあるため、保存できません。

**●この機能は利用できません**
2in1がONでBモードのときは、メール作成はできません。

**●このキャラ電は表示できません**
メモリなどが不足しているため、キャラ電を表示できません。

**●この形式のデータは実行できません**
FOMA端末で対応していないファイル形式のデータをmicroSDメモリーカードからFOMA端末に移動またはコピーしたり、検索したりできません。

**●このサイトとのSSL通信は無効です**
サイトの証明書が書き換えられています。接続できません。

**●このサイトとのSSL／TLS通信は無効です**
サイトの証明書が書き換えられています。接続できません。

**●このサイトの安全性が確認できません。接続しますか？**
サイトの証明書がFOMA端末で対応していない証明書です。接続するときは「はい」を選択します。

**●このサイトは安全でない可能性があります。接続しますか？**
サイトの証明書の有効期限前か期限が過ぎています。接続するときは「はい」を選択します（→P223）。また、日付・時刻を設定していない場合や、間違っている場合にも表示されることがあります。日付・時刻を正しく設定してから接続してください。→P45

**●この接続先の安全性が確認できません。接続しますか？**
CA証明書が有効期限切れの場合に表示されます。接続するときは「はい」を選択します（→P223）。また、日付・時刻を設定していない場合や、間違っている場合にも表示されることがあります。日付・時刻を正しく設定してから接続してください。→P45

**●この接続先は安全でない可能性があります。接続しますか？**
サイトの証明書のCN名（サーバ名）が実際のサーバ名と一致していません。接続するときは「はい」を選択します。→P223

**●このソフトは現在利用できません**
IP（情報サービス提供者）によってiアプリの使用が停止されています。

**●このチャンネルは受信できません**
・圏外のためチャンネルを受信できません。電波状態のよい所に移動して操作し直してください。
・有料放送または何らかの原因でチャンネルを受信できません。

**●このチャンネルは放送休止中です**
選局したチャンネルが放送休止中です。

●このデータは再生できない可能性があります
動画／iモーションがFOMA端末で対応していない形式です。再生できない場合があります。

●このデータは保存できません。取得しますか？
データを保存できませんが、取得するときは「はい」を選択します。

●サービス未契約です
・iモードの契約がされていないため実行できません。iモードを利用するには申し込みが必要です。
・iモードを途中から契約された場合は、FOMA端末の電源を入れ直してください。

●サービス未提供です
SMSが未提供です。

●再生可能日前です。再生できません
iモーションまたは音楽データに設定されている再生期間より前のため再生できません。再生可能日以降に再生してください。→P354、P409

●再生期限の更新が必要なデータがあります。携帯電話／FOMAカード（UIM）の製造番号を送信し、サイトに接続しますか？
ミュージックプレイヤーで音楽を再生しようとした際に再生期限切れのうた・ホーダイが存在すると表示されます。「はい」を選択すると、音楽データを更新します（データを更新する際のパケット通信料は有料です）。「いいえ」を選択すると、再生期限切れのうた・ホーダイは利用することができません。→P408

●再生制限データに誤りがあるため、取得できません
再生制限データが誤っているため取得できません。

●再生できません。更新が可能なデータは本体をPCに接続し転送元ソフトを起動して更新してください
再生しようとした音楽データの再生期限が切れているか、再生期限の確認ができない、またはFOMA端末の故障や修理、電話機の変更などによってFOMA端末固有の情報が変更されたため、再生できません。パソコンで再生期限内であることを確認し、FOMA端末をパソコンに接続して同期をとると、音楽データが再生できます。→P404、P405

●最大サイズを超えたので中断しました
・サイトやホームページのサイズが最大サイズを超えたため取得を中断しました。「OK」を選択すると正常に取得した部分までを表示します。
・ダウンロードしようとしたデータが最大サイズを超えたため取得を中断しました。

●最大サイズを超えています。受信できません（452）
サイトやホームページのサイズが最大サイズを超えているため、受信できません。

●最大文字数を超えたため引用できない部分がありました
SMSの本文が70文字を超える（送信種別が「英語」の場合は160文字）SMSに本文を引用して返信できません。

●最大文字数を超えました
iモードメールの本文が全角で5000文字、半角で10000文字を超えるメールに本文を引用して返信できません。

●サイトが移動しました（301）
サイトやホームページが自動的にURL転送を行っているか、URLが変更されています。

●サイトに接続できませんでした（403）
指定のサイトやホームページに接続を拒否されるなど、何らかの原因でサイトに接続できませんでした。

●削除しますか？ICカード内データも削除されます
削除するiアプリの中に、iアプリを削除するとICカード内のデータも削除されるおサイフケータイ対応iアプリが含まれます。iアプリおよびICカード内のデータを削除するときは「はい」を選択します。

●時刻がリセットされたため、このデータを取得／再生できません。日付時刻設定にて自動時刻・時差補正をONに設定し電源を入れ直してください
日付時刻設定の自動時刻・時差補正を「OFF」にして日付・時刻を設定したときは、電池パックを取り外したり、電池が切れたまま長い間充電しなかったりすると、日付・時刻が消去される場合があります。日付・時刻の設定を行い、もう一度データを取得／再生し直してください。→P45

●指定サイトがみつかりません（404）
サイトなどが見つかりませんでした。URLが正しいかどうか確認してください。

●指定サイトに表示データがありません（204）
指定のサイトにデータがありませんでした。

●指定先にジャンプできません
iモーションのテロップにサイト（Web To）などのリンクが設定されているとき、URLが規定の長さを超えている場合や取得を中断した場合は、リンク先を表示できません。

●指定されたソフトがありません
指定されたソフトがFOMA端末に保存されていません。

●指定されたソフトが起動できませんでした
iアプリにエラーが発生したため、iアプリを起動できません。iアプリToで起動するとき、ソフト動作設定や起動条件などに問題がある場合はiアプリを起動できません。

●指定したサイトへは接続できませんでした（504）
何らかの原因で、指定のサイトなどに接続できませんでした。もう一度、接続し直してください。

●しばらくお待ちください
音声回線／パケット通信設備が故障、または音声回線ネットワーク／パケット通信ネットワークが非常に混み合っています。しばらくたってから操作し直してください。

●しばらくお待ちください（パケット）
パケット通信設備が故障、またはパケット通信ネットワークが非常に混み合っています。しばらくたってから操作し直してください。

●受信が中断されました。受信できなかったメッセージがあります
受信中にエラーが発生したため、SMSをすべて受信できませんでした。電波状態のよい所に移動して、SMS問合せを行ってください。→P275

●受信メールがいっぱいです
受信メールの保存領域が不足しているため、iモードメールを受信できません。未読のiモードメールを読むか、保護を解除するか、削除してください。→P253、P259、P260

●受信／送信／未送信メールのデータが壊れています　お買い上げ時の状態に戻しますか？
チャットメールの受信／送信／未送信データにエラーがあります。「はい」を選択してお買い上げ時の状態に戻します。

●情報が正しくないため再生できませんでした
添付されたメロディや動画／iモーションなどのデータが不正なため再生できませんでした。

●既にメッセージをお預かりしています
すでにSMSは送信済みです。

●正常に接続できませんでした（400）
サイトやホームページのエラーにより接続できません。URLが正しいかどうか確認してください。

●赤外線／iC通信　FOMAカード（UIM）が挿入されていないため指定されたソフトが起動できませんでした
異なるFOMAカードを挿入しているか、FOMAカードが挿入されていないため、赤外線通信／iC通信で受信したデータにiアプリToが設定されていても、指定されているiアプリを起動できません。

●赤外線／iC通信　接続相手が見つかりません。続けますか？
赤外線通信／iC通信状態にしてから通信する相手が見つからないまま一定時間が経過しました。自分と相手のFOMA端末を正しく配置してから「はい」を選択してください。→P388

●赤外線／iC通信　中断されました
赤外線通信／iC通信中にエラーが発生しました。赤外線通信／iC通信中は、データの送受信が終了するまでFOMA端末を正しい位置から動かさないでください。→P388

●赤外線／iC通信　認証接続できませんでした
認証パスワードが正しくないため、データの全件送信ができませんでした。送信側と受信側で同じ認証パスワードを入力してください。→P389

●セキュリティエラーのため、iアプリ待受画面を解除しました
許可されていない操作やiアプリの動作があったため、iアプリ待受画面が終了しました。

●セキュリティエラーのため、終了しました
許可されていない操作やiアプリの動作があったため、iアプリが終了しました。セキュリティエラー履歴に記録されます。

●接続が中断されました
電波状態のよい所に移動して操作し直してください。それでも同じエラーになる場合は、しばらくたってから操作し直してください。

●接続できません
iモードセンターとの接続に失敗しました。電波状態のよい所に移動して操作し直してください。

●接続できませんでした（503）
サーバのメンテナンスや回線の混雑などのため接続に失敗しました。しばらくたってから操作し直してください。

●接続できませんでした（562）
iモードセンターとの接続に失敗しました。電波状態のよい所に移動して操作し直してください。

●設定時間内に接続できませんでした
iモードセンターが混み合っています。しばらくたってから操作し直してください。

●送信できません　宛先を確認してください（451）
iモードメールが送信できません。宛先が正しいかどうか確認してください。

●送信できませんでした
SMSの送信に失敗しました。電波状態のよい所で送信し直してください。

●送信できませんでした（552）
iモードセンターのエラーにより、iモードメールの送信に失敗しました。しばらくたってから送信し直してください。

●そのソフトは最新です
すでに最新のiアプリにバージョンアップされているため、バージョンアップできません。

●ソフトに誤りがあります
iアプリのデータに誤りがあるためダウンロードできません。

●ソフトを起動し、ICカード内データを削除後、ソフトを削除してください
ICカード内のデータを削除しておく必要があります。iアプリを起動し、ICカード内のデータを削除してから、iアプリを削除してください。→P295、P301

●対応機種ではありません
ダウンロードしようとしたiアプリが本FOMA端末に対応していないため、ダウンロードできません。

●対応していないコンテンツです
FOMA端末で対応していないコンテンツを読み取った場合は、コンテンツ選択による操作は行えません。

●ダイヤル発信制限中です
ダイヤル発信制限中は禁止されている操作ができません。→P162

●ダウンロードできませんでした
受信中に通信が中断されました。電波状態のよい所に移動し、しばらくたってから操作し直してください。

●ただいま利用制限中の為しばらくしてからご利用ください
iモードパケット定額サービスをご利用の場合に限り、一定時間内に著しく大量なデータ通信があったときに表示されます。一定時間接続できなくなることがありますので、しばらくたってからiモードをご利用ください。

●注意！電話番号やURLの記述があります。送信元に心当たりが無い場合はご注意ください。
- スキャン機能設定のメッセージスキャンを「有効」に設定しているとき、電話番号やURLの記載が含まれているSMSを受信して表示しようとした場合に表示されます。
- moperaメールや留守番電話の着信通知などをSMSで受信した場合には、メッセージは表示されません。

●通信エラーが発生しました
通信エラーが発生しました。「OK」を選択してGPS機能を終了します。

●次の宛先にはメール送信できませんでした（561）
次の宛先にiモードメールを送信できませんでした。
◉を押すと送信に失敗した宛先が表示されます。宛先が正しいかどうかご確認の上、電波状態のよい所で送信し直してください。

●データが壊れています。お買い上げ時の状態に戻しますか？
データにエラーがあります。「はい」を選択してお買い上げ時の状態に戻します。お買い上げ時の状態に戻さないと起動できません。

**●データが不正です**
ダウンロードしようとしたデータに不正があるためダウンロードできません。

**●データまたはmicroSDが壊れています**
microSDメモリーカードに保存しているデータまたはmicroSDメモリーカードに問題があるため、アクセスできません。microSDメモリーカードを初期化するか、新しいmicroSDメモリーカードを取り付けてください。→P371、P379

**●データまたはmicroSDが壊れています。保存先を本体に変更します**
静止画や動画の保存先を「microSD」に設定しているときにmicroSDメモリーカードにアクセスできない場合、保存先が自動的に「本体」に切り替わります。

**●電波が入りにくいため測位に時間がかかります。続けますか？**
電波が入りにくいため、GPSによる現在地確認の測位に時間がかかります。「はい」を選択すると、測位を続けます。もう一度測位し直す場合は「リトライ」を選択します。

**●電話帳のシークレット属性をメールに反映しますか？電話帳、メールの件数によっては、時間がかかる場合があります**
シークレット属性が設定されている電話帳データを外部から取り込んだり、電話帳データにシークレット属性を設定したりした場合に表示されます。「はい」を選択するとシークレット反映を実行します。→P167

**●問合せできませんでした**
電波状態のよい所に移動して操作し直してください。それでも同じエラーになる場合は、しばらくたってから操作し直してください。

**●同時に通話できる人数4人を超えています**
5人以上のメンバーを選んで発信した場合に表示されます。メンバーを4人以内に選択し直してから再度発信してください。

**●登録された指紋と一致しません**
指紋認証を行った際に登録している指紋と一致しませんでした。もう一度やり直すか、登録している別の指で指紋認証を行ってください。指紋認証できない場合は、端末暗証番号で認証操作を行ってください。ただし、指紋のみ認証設定を「ON」に設定している場合は、端末暗証番号での認証操作ができません。→P152、P157

**●登録中です。しばらくしてからご利用ください（554）**
ｉモードへのユーザ登録中です。しばらくたってから操作し直してください。

**●登録できるサービスがいっぱいです。上書きされたサービスの楽曲は再生できなくなります。上書きしますか？**
登録できるうた・ホーダイのサービスが上限値を超えています。「はい」を選択すると再生期限の最も古いサービスから上書きされます。また、上書きされたサービスからダウンロードした音楽データは再生できなくなります。

**●トルカがいっぱいのため保存できません。いずれかのトルカを削除してください**
トルカの保存領域が不足しているため、トルカを保存できません。トルカを削除してください。→P305

**●長すぎる項目がありました。入力が完全ではありません**
サイトなどに表示されている項目を選択して電話帳に登録するときに、文字数が規定の長さを超えています。「OK」を選択すると超過分は削除された状態で電話帳登録画面が表示されます。

**●入力データまたはURLが長すぎます**
サイトやホームページの入力欄に入力した文字数が多すぎて送信できません。文字数を減らしてから送信し直してください。

**●入力データをご確認ください（205）**
サイトやホームページの入力データに誤りがあります。入力データを確認してください。

**●認証タイプに未対応です（401）**
認証タイプに未対応のため、指定のサイトやホームページには接続できません。

**●認証を中止しました**
認証画面で[ch]を押して認証を中止したときに表示されます。

**●バージョン表示できませんでした**
パターンデータのバージョンを確認できません。もう一度パターンデータを更新してください。→P539

**●パスワードをご確認ください（401）**
サイトやホームページの認証画面に入力したユーザ名またはパスワードに誤りがあります。もう一度入力し直してください。

**●発信できません**
音声電話中、テレビ電話中、プッシュトークの発信時、プッシュトーク通信中、64Kデータ通信中に、音声電話、テレビ電話、プッシュトークの発信はできません。

**●日付時刻が設定されていません。起動できません**
日付・時刻を設定していない場合、起動できない機能があります。日付・時刻を正しく設定してから起動してください。→P45

**●不正なmicroSDです。著作権保護機能は利用できません**
何らかの原因でmicroSDメモリーカード内の認証領域にアクセスできません。エラーの発生したmicroSDメモリーカードには、コンテンツ移行対応のデータを保存することはできません。

**●不正なデータが含まれています**
バーコードリーダーで読み取ったデータからｉアプリを起動する場合、データに不正があるときはｉアプリを起動できません。

**●不正なデータのため保存できません**
ダウンロードしたキャラ電に不正があるため、キャラ電を保存できません。

**●他の機能が起動中のため起動できません**
パターンデータの更新を行う場合は、他の機能をすべて終了してください。

**●保存できないデータです**
赤外線通信／iC通信で受信したデータがFOMA端末で対応していないファイル形式のため保存できません。

**●保存領域がいっぱいです。不要な電話帳を削除してください**
FOMA端末電話帳の保存領域が不足しているため、プッシュトーク電話帳の登録、削除およびプッシュトークグループへのメンバー追加、編集、削除ができません。FOMA端末電話帳の不要なデータを削除してください。→P112

●保存領域がいっぱいで保存できません
FOMA端末の保存領域が不足しているため、SMSを保存できません。SMSをFOMAカードに移動するか、メールやSMSを削除してください。→P260、P276

●保存領域に誤りがあります。修復を行います
きせかえツールの保存領域に誤りがあります。「OK」を選択して保存領域の修復を行います。

●保存領域に誤りがあるため、パスワードマネージャーを使用できません。終了します
パスワードマネージャーの保存領域に誤りがあるため、パスワードの登録や引用ができません。

●保存領域に誤りがあるため、パスワードマネージャーを使用できません。お買い上げ時の状態に戻しますか？
パスワードマネージャーの保存領域に誤りがあります。「はい」を選択してお買い上げ時の状態に戻します。

●保存領域に誤りがあるためプッシュトーク電話帳が読み書きできません。終了します
FOMA端末電話帳およびプッシュトーク電話帳の保存領域に誤りがあるため、プッシュトーク電話帳の読み書きができません。FOMA端末電話帳を起動すると保存領域の修復が行われます。

●本体の保存件数がいっぱいです
FOMA端末の保存件数がいっぱいのため、microSDメモリーカードからデータの移動／コピー、復元ができません。不要なデータを削除してください。→P386

●未保存のデータを本体に保存するか削除してください
赤外線通信／iC通信のINBOXの保存件数がいっぱいです。INBOXのデータをFOMA端末に保存するか、削除してください。→P391

●無効なデータを受信しました（xxx）
- 指定のサイトやホームページに対応していません。
- URLが正しいかどうか確認してください。
- 受信データにエラーがあるため表示できません。
- 圏内自動送信メールの送信に失敗しました。

●メールデータを参照できませんでした
- メールまたはフォルダを他の処理で使用しているため、対象のメールデータを参照できません。しばらくたってから操作し直してください。
- チャットメールでメールデータを参照できません。しばらくたってから操作し直してください。

●メール／メッセージがいっぱいです。これ以上受信できません
FOMA端末またはFOMAカードの受信メールの保存領域が不足しているため、SMSを受信できません。未読のメールを読むか、保護を解除するか、削除してください。→P253、P259、P260、P277

●メール／メッセージがいっぱいです。受信できなかったメッセージがあります
FOMA端末またはFOMAカードの受信メールの保存領域が不足しているため、SMSをすべて受信できませんでした。未読のメールを読むか、保護を解除するか、削除してからSMS 問合せを行ってください。→P253、P259、P260、P275、P277

●メッセージがいっぱいです
保存領域が不足しているため、メッセージR/Fを受信できません。未読のメッセージR/Fを読むか、保護を解除するか、削除してください。→P221、P222、P223

●メモリ不足が発生したためアプリケーションを終了します
メモリ不足が発生したため処理を中断して、アプリケーションを終了します。

●メモリ不足です
メモリが不足したため処理を中断します。

●ユーザ証明書がありません。継続しますか？
ユーザ証明書がダウンロードされていません。接続を継続するときは「はい」を選択します。

●ユーザ証明書の有効期限が切れています。継続しますか？
ユーザ証明書の有効期限が切れています。接続を継続するときは「はい」を選択します。→P223

●読取機による携帯電話内トルカの自動読取機能を利用しますか？
自動読取機能設定が「OFF」に設定されています。「はい」を選択し、自動読取機能設定を「ON」に設定してください。

●料金情報の読込／リセットができませんでした
FOMAカードが正しく取り付けられていないか、FOMAカードに異常があります。→P37

●連続撮影はできません
マイピクチャ内の保存領域が不足しているため、連続撮影できません。自動的に連続撮影が解除されます。

●FOMAカード情報が一致しないためダウンロード／バージョンアップ／起動できません。
FOMAカードとICカードの対応付けを行った後に、異なるFOMAカードに差し替えておサイフケータイ対応ｉアプリをダウンロード、バージョンアップ、起動しようとした場合に表示されます。→P301

●FOMAカード（UIM）がいっぱいです
FOMAカードの保存領域が不足しているため、SMSを保存できません。FOMAカード内のSMSを削除するか、FOMA端末に移動してください。→P277

●FOMAカード（UIM）が異なるためご利用できません
FOMAカード動作制限機能により操作できません。データやファイルを保存したときと同じFOMAカードを挿入して利用してください。→P38

●FOMAカード（UIM）が異なるため指定されたソフトが起動できませんでした
FOMAカード動作制限機能により制限されているｉアプリを指定して起動しようとした場合に表示されます。ｉアプリのダウンロード時と同じFOMAカードを挿入して利用してください。→P38

●FOMAカード（UIM）が挿入されていないためご利用できません
FOMAカードが挿入されていません。FOMAカードを挿入して利用してください。→P37

●ｉアプリの通信回数が多くなっています。通信を継続しますか？
ｉアプリ利用時の通信回数が一定時間内に著しく多い場合に表示されます。ｉアプリを継続して利用するには「はい」、ｉアプリの通信を終了して継続するには「いいえ」、ｉアプリを終了するには「ｉアプリ終了」を選択します。

● i アプリ利用を継続し、通信を行いますか？
「 i アプリの通信回数が多くなっています。通信を継続しますか？」のメッセージが表示された後で、再び i アプリが通信しようとしました。 i アプリを継続して利用するには「はい」、 i アプリを終了するには「 i アプリ終了」を選択します。

● i モーション最大サイズを超えています
i モーションのデータ取得時にサイズが10Mバイトを超えたため、取得を中断しました。

● i モードセンターが混み合っています。しばらくお待ち下さい（555）
i モードセンターが混み合っています。しばらくたってから操作し直してください。

●ICカード内データがいっぱいのためダウンロード／バージョンアップ／起動できません　いずれかのサービスを削除しますか？
おサイフケータイ対応 i アプリをダウンロード、バージョンアップ、起動する際、ICカード内データの保存領域が不足している場合に表示されます。「はい」を選択し、画面の指示に従ってICカード内のデータを削除後、 i アプリを削除してください。→P295、P301

●ICカード内データが削除できないソフトが存在します。それ以外を削除しますか？
削除する i アプリの中に、ICカード内のデータを削除できないために削除できないおサイフケータイ対応 i アプリが含まれています。それ以外の i アプリを削除するときは「はい」を選択します。

●ICカード内データにエラーがあるため削除できません
ICカード内のデータに不正があるおサイフケータイ対応 i アプリは削除できません。

●microSDが挿入されていません
microSDメモリーカードをFOMA端末に取り付けていないときにmicroSDメモリーカードを選択したり、microSDメモリーカード内を表示中にmicroSDメモリーカードを取り外した場合に表示されます。

●microSDの保存件数がいっぱいです。保存先を本体に変更します
静止画撮影の静止画詳細設定または動画撮影の動画／録音詳細設定の保存先を「microSD」に設定しているときにmicroSDメモリーカードの保存件数がいっぱいになると、保存先が自動的に「本体」に切り替わります。

●microSDの保存領域がいっぱいです
microSDメモリーカードの保存領域が不足しているため、データの移動／コピー、バックアップ、情報更新ができません。不要なデータを削除してください。→P375

●microSDへの保存はできません。保存先を本体に変更します
ダウンロードしたキャラ電の撮影後ファイル制限が「あり」に設定されている場合、そのキャラ電を撮影した静止画や動画はmicroSDメモリーカードに保存できません。また、撮影後ファイル制限の設定は変更できません。

●PINロック解除コードがロックされています
ドコモショップ窓口にお問い合わせください。

●SMSセンター設定を確認してください
SMS設定（SMSC）が誤っています。設定を確認してください。→P275

●SSL通信が切断されました
SSL通信中にエラーが発生したか、サーバ側での認証エラーのためSSL通信が中断されました。

●SSL通信が無効です
SSL通信の認証処理で問題が検出されました。接続は中止されます。

●SSL通信が無効に設定されています
FOMA端末の証明書が無効に設定されています。接続するには設定を変更してください。→P223

●SSL／TLS通信が切断されました
SSL／TLS通信中にエラーが発生したか、サーバ側での認証エラーのためSSL／TLS通信が中断されました。

●SSL／TLS通信が無効です
SSL／TLS通信の認証処理で問題が検出されました。接続は中止されます。

●SSL／TLS通信が無効に設定されています
FOMA端末の証明書が無効に設定されています。接続するには設定を変更してください。→P223

●URLが長すぎて登録できません
URLが登録可能な文字数を超えているためブックマークに登録できません。

●“○○○.ne.jp”宛のメールが混み合っているため、送信することができません（555）Unable to send. “○○○.ne.jp” is not available temporarily.（555）
i モードセンターが混み合っています。しばらくたってから操作し直してください。
メッセージ内に表示されるドメイン名は送信先により異なります。

## 保証とアフターサービス

### ❖保証について

- FOMA端末をお買い上げいただくと、保証書がついていますので、必ずお受け取りください。記載内容および『販売店名・お買い上げ日』などの記載事項をお確かめの上、大切に保管してください。必要事項が記載されていない場合は、すぐにお買い上げいただいた販売店へお申しつけください。無償保証期間は、お買い上げ日から1年間です。
- この製品は付属品を含め、改良のため予告なく製品の全部または一部を変更することがありますので、あらかじめご了承ください。
- FOMA端末の故障、修理やその他取り扱いによって電話帳などに登録された内容が変化、消失する場合があります。万一に備え、電話帳などの内容はメモなどに控えをお取りくださるようお願いします。また、FOMA端末の修理などを行った場合、iモード、iアプリでダウンロードした情報は、一部を除き著作権法により修理済みのFOMA端末などに移行を行っておりません。
  - ※ 本FOMA端末は、電話帳などのデータをmicroSDメモリーカードに保存していただくことができます。
  - ※ 本FOMA端末は、iモーションなどをmicroSDメモリーカードに保存していただくことができます。
  - ※ 本FOMA端末は電話帳お預かりサービス（お申し込みが必要な有料サービス）をご利用いただくことにより、電話帳などのデータをお預かりセンターに保存していただくことができます。
  - ※ パソコンをお持ちの場合は、専用のデータリンクソフト（→P471、P520）と付属のUSBケーブルかFOMA USB接続ケーブル（別売）、またはFOMA 充電機能付USB接続ケーブル01（別売）をご利用いただくことにより、電話帳などに登録された内容をパソコンに転送・保管していただくことができます。

### ❖アフターサービスについて

**■ 調子が悪いときは**

修理を依頼される前に、この取扱説明書の「故障かな？と思ったら、まずチェック」をご覧になってお調べください。→P522
それでも調子がよくないときは、取扱説明書裏面の「故障お問い合わせ先」にご連絡の上、ご相談ください。

**■ お問い合わせの結果、修理が必要な場合**

ドコモ指定の故障取扱窓口にご持参いただきます。ただし、故障取扱窓口の営業時間内の受付となります。また、ご来店時には必ず保証書をご持参ください。

**■ 保証期間内は**

- 保証書の規定に基づき無償で修理を行います。
- 故障修理を実施の際は、必ず保証書をお持ちください。保証期間内であっても保証書の提示がないもの、お客様のお取り扱い不良による故障、損傷などは有償修理となります。
- ドコモの指定以外の機器および消耗品の使用に起因する故障は、保証期間内であっても有償修理となります。

**■ 次の場合は、修理できないことがあります。**

- 水濡れシールが反応している場合、試験の結果、水濡れ、結露、汗などによる腐食が発見された場合、および内部の基板が破損、変形している場合は修理できないことがありますのであらかじめご了承願います。なお、修理を実施できる場合でも保証対象外となりますので有償修理となります。

**■ 保証期間が過ぎた場合は**

- ご要望により有償修理いたします。

**■ 部品の保有期間は**

- FOMA端末の補修用性能部品（機能を維持するために必要な部品）の最低保有期間は、製造打ち切り後6年間を基本としております。ただし、故障箇所によっては修理部品の不足などにより修理ができない場合もございますので、あらかじめご了承ください。また、保有期間が経過した後も、故障箇所によっては修理可能なことがありますので、取扱説明書裏面の「故障お問い合わせ先」へお問い合わせください。

**■ お願い**

- FOMA端末および付属品の改造はおやめください。
  - 火災、けが、故障の原因となります。
  - FOMA端末、FOMAカードは、電波の混信やネットワークの故障を防ぐため、法律により技術基準が定められており、技術基準を満たさないFOMA端末、FOMAカードは使用できません。
  - 改造（部品の交換、改造、塗装など）が施されたFOMA端末の故障修理は、改造部分を元の状態（ドコモ純正品状態）に戻していただいた場合のみ、故障修理のお取り扱いをさせていただきます。ただし、改造の内容によっては、故障修理をお断りする場合があります。
  - 改造が原因による故障、損傷の場合は、保証期間内であっても有償修理となります。
- FOMA端末に貼付されている銘板シールは、はがさないでください。
  銘板シールには、技術基準を満たす証明書の役割があり、銘板シールが故意にはがされたり、貼り替えられた場合など、銘板シールの内容が確認できないときは、技術基準適合の判断ができないため、故障修理をお受けできない場合がありますので、ご注意願います。
- 各種機能の設定や積算通話時間などの情報は、FOMA端末の故障、修理やその他取り扱いによって、クリア（リセット）される場合があります。お手数をおかけしますが、その場合はもう一度設定してくださるようお願いします。

- FOMA端末の受話口部やスピーカーなどに磁気を発生する部品を使用しています。キャッシュカードなど、磁気の影響を受けやすいものを近づけるとカードが使えなくなることがありますので、ご注意ください。
- FOMA端末が濡れたり湿気を帯びてしまった場合は、すぐに電源を切って電池パックを外し、お早めに故障取扱窓口へご来店ください。ただし、FOMA端末の状態によっては修理できないことがあります。

**▲メモリダイヤル（電話帳機能）およびダウンロード情報などについて▼**

- お客様ご自身でFOMA端末などに登録された情報内容は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いいたします。情報内容の変化、消失に関し、当社は何らの義務を負わないものとし、一切の責任を負いかねます。
- FOMA端末を機種変更や故障修理する際に、お客様が作成されたデータまたは外部から取り込まれたデータあるいはダウンロードされたデータなどが変化、消失などする場合があります。これらについて当社は一切の責任を負いません。また、当社の都合によりお客様のFOMA端末を代替品と交換することにより修理に代えさせていただく場合があります。本FOMA端末はFOMA端末にダウンロードされた画像、着信メロディを含むデータおよびお客様が作成されたデータを故障修理時に限り移し替えを行います（一部移し替えできないデータもあります。また、故障の程度によっては移し替えできない場合があります）。
  ※ FOMA端末に保存されたデータの容量により、移し替えに時間がかかる場合、もしくは移し替えができない場合があります。

## ｉモード故障診断サイトについて

**ご利用中のFOMA端末において、メール送受信や画像・メロディのダウンロードなどが正常に動作しているかを、お客様ご自身でご確認いただけます。**

TOP画面

テストメニュー一覧画面

- 「ｉモード故障診断サイト」へのアクセス方法
  ｉMenu→お知らせ→サービス・機能→ｉモード→ｉモード故障診断

サイトアクセス用QRコード

※ アクセス方法は予告なしに変更される場合があります。
  - ｉモード故障診断を行う場合のパケット通信料は無料です。ただし、海外からアクセスする場合のパケット通信料は有料です。
  - FOMA端末の機種によりテスト項目は異なります。また、テスト項目は変更になることがあります。
  - 各テスト項目で動作を確認する際は、サイト内の注意事項をよくお読みになり、テストを行ってください。
  - ｉモード故障診断サイトへの接続およびメール送信テストを行う際に、お客様のFOMA端末固有の情報（機種名やメールアドレスなど）が自動的にサーバ（ｉモード故障診断サーバ）に送信されます。当社は送信された情報をｉモード故障診断以外の目的には利用いたしません。
  - ご確認の結果、故障と思われる場合は、取扱説明書裏面の「故障お問い合わせ先」までお問い合わせください。

ソフトウェア更新

## ソフトウェアを更新する

**FOMA端末のソフトウェアを更新する必要があるかどうかネットワークに接続してチェックし、必要な場合にはパケット通信※を使ってソフトウェアの一部をダウンロードし、ソフトウェアを更新する機能です。**

**ソフトウェア更新が必要な場合は、ドコモのホームページおよびｉMenuの「お知らせ」でご案内させていただきます。**

※ ソフトウェア更新を行う場合のパケット通信料は無料です。
- 更新お知らせ受信設定（→P534）を「有効」に設定しておくことで、ソフトウェア更新が必要な場合、更新のお知らせを受信することができます。
- ソフトウェア更新には、次の2種類の方法があります。
  即時更新：更新したいときすぐに更新を行います。
  予約更新：更新する日時を予約すると、予約した日時に自動的にソフトウェアが更新されます。

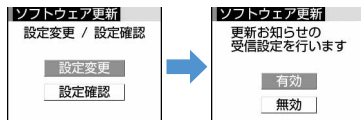
✔お知らせ

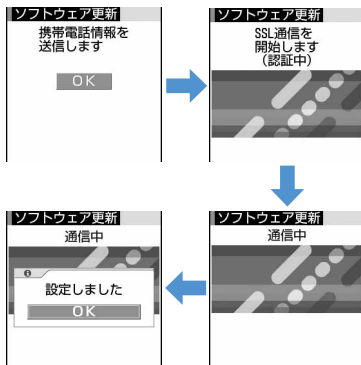
- ソフトウェア更新中は電池パックを絶対に外さないでください。更新に失敗します。
- ソフトウェア更新は、FOMA端末に登録された電話帳、カメラ画像、ダウンロードデータなどのデータを残したまま行えますが、お客様のFOMA端末の状態（故障、破損、水濡れなど）によってはデータの保護ができない場合がありますので、あらかじめご了承ください。必要なデータはバックアップを取っていただくことをおすすめします。ただし、ダウンロードデータなどバックアップが取れないデータがありますので、あらかじめご了承ください。
- 接続先設定を「i モード（FOMAカード）」以外に設定している場合でもソフトウェア更新ができます。
- ソフトウェア更新は、電池をフル充電して、電池残量が十分にある状態（→P43）で実行してください。
- 次の場合はソフトウェア更新を実行できません。
  - FOMAカードが挿入されていないとき
  - 電池がフル充電されていないとき
  - 電源が入っていないとき
  - 圏外が表示されているとき
  - 海外で利用しているとき
  - 日付・時刻を設定していないとき
  - 通話中
  - 他の機能を実行しているとき
  - PIN1コード入力中
  - PIN1コードロック中
  - オールロック中
  - おまかせロック中
  - セルフモード中
  - パーソナルデータロック中
  - パソコンとつないだパケット通信中
  - 64Kデータ通信中
- ソフトウェア更新（ダウンロード、書き換え）には時間がかかる場合があります。
- PIN1コードON／OFFを「ON」に設定中にソフトウェア更新を実行すると、ソフトウェア書き換え終了後の自動再起動時に、PIN1コード入力画面が表示されます。正しいPIN1コードを入力しないと、電話の発信、着信、各種通信機能の操作ができません。
- ソフトウェア更新中は、電話の発信、着信、各種通信機能およびその他の機能を利用できません。ただし、ダウンロード中は音声電話の着信のみ受けられます。
- ソフトウェア更新の際には、サーバ（当社のサイト）へSSL通信を行います。証明書管理でSSL証明書を有効に設定してください。お買い上げ時は、有効に設定されています。→P223
- ソフトウェア更新は、電波が強く、アンテナアイコンが3本表示されている状態（→P44）で、移動せずに実行することをおすすめします。
  ※ ソフトウェアダウンロード中に電波状態が悪くなったり、ダウンロードが中止された場合は、もう一度電波状態のよい所でソフトウェア更新を行ってください。
- すでにソフトウェア更新済みの場合は、ソフトウェア更新のチェックを行った際に「更新は必要ありません このままご利用ください」と表示されます。
- ソフトウェア更新後、表示されていた i モードセンター蓄積状態表示のアイコンは消えます。
  また、メール選択受信設定を「ON」に設定している場合、ソフトウェア更新中にメールが届くと、ソフトウェア更新後に i モードセンターにメールがあることを通知する画面が表示されない場合があります。→P245
- ソフトウェア更新の際、お客様の携帯電話端末固有の情報（機種や製造番号など）が、自動的にサーバ（当社が管理するソフトウェア更新用サーバ）に送信されます。当社は送信された情報を、ソフトウェア更新以外の目的には利用いたしません。
- ソフトウェア更新に失敗した場合、「書換え失敗しました」と表示され、一切の操作ができなくなります。その場合には、たいへんお手数ですがドコモ指定の故障取扱窓口までお越しいただきますようお願い申し上げます。
- ダウンロード中にテレビ電話の着信があっても電話は受けられません。着信履歴には不在着信として記録されます。

## ◆ソフトウェア更新のお知らせを受信する〈更新お知らせ受信設定〉

あらかじめ更新お知らせ受信設定を「有効」に設定しておくことで、ソフトウェア更新が必要な場合、待受画面に（更新お知らせアイコン）を表示します。

**1** MENU▶8 7 5▶認証操作▶「更新お知らせ受信設定」を選択

**2** 「設定変更」を選択▶「有効」を選択

- 「設定確認」を選択すると設定を確認できます。
- 更新お知らせ受信設定を利用しないときは「無効」を選択します。

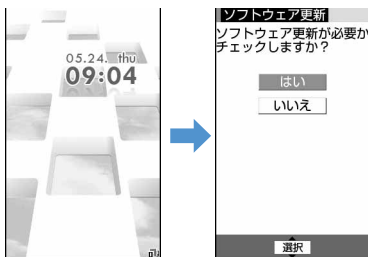
**3** ●▶● ［選択］

**✔お知らせ**

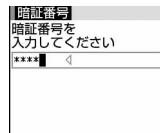
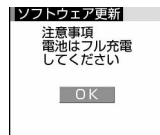
- （更新お知らせアイコン）は次の場合に表示されます。
  - ドコモから通知があった場合
  - 予約更新に失敗した場合
  - 予約更新を取り消した場合
  - データ一括削除を実行した場合
  - ソフトウェア更新画面を表示した場合
  - お買い上げ時（表示されていない場合もあります）

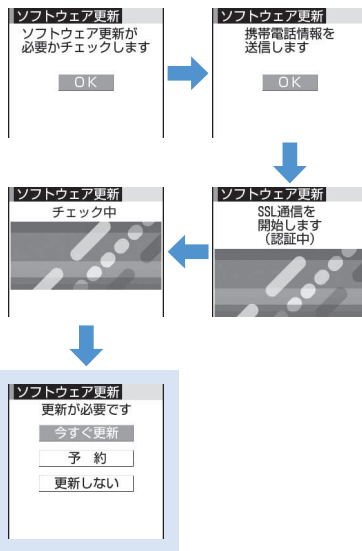
## ◆ソフトウェア更新を起動する

ソフトウェア更新を起動するには待受画面で（更新お知らせアイコン）を選択して行う方法とメニューの項目番号を選択する方法があります。

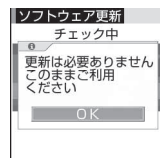
### ❖更新お知らせアイコンを選択してソフトウェア更新を起動する

**1** ●▶（更新お知らせアイコン）にカーソルを合わせて●▶「はい」を選択

- 「いいえ」を選択すると更新お知らせアイコンを消去するかどうかの確認画面が表示されます。

**2** 認証操作

**3** 注意事項を確認して●

**4** ●▶● ［選択］

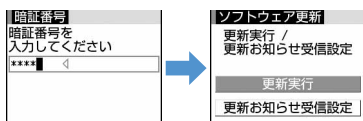
ソフトウェア更新が必要かどうかを確認します。

ソフトウェア更新画面

- 更新が必要な場合には「更新が必要です」と表示されます。「今すぐ更新（→P536）」または「予約（→P537）」を選択します。

**更新が必要ないとき：**
次の画面が表示されます。●を押してFOMA端末をそのままご利用ください。

更新お知らせ受信設定を無効に設定しているとき：
更新お知らせ受信設定を有効にするかどうかの確認画面が表示されます。
設定を有効にする場合は、「はい」を選択し、●を押します。設定を無効にする場合は、「いいえ」を選択します。

## ❖メニューからソフトウェア更新を起動する

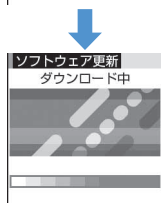
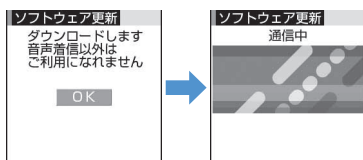
**1** MENU ▶ 8 7 5

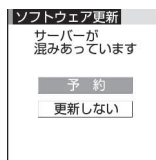
**2 認証操作 ▶「更新実行」を選択**

以降の操作→P535「更新お知らせアイコンを選択してソフトウェア更新を起動する」操作3以降

## ◆すぐにソフトウェアを更新する〈即時更新〉

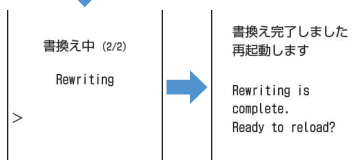
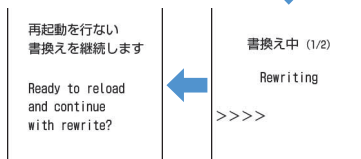
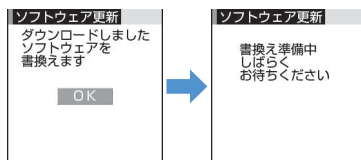
- サーバが混み合っていて、即時更新ができない場合があります。

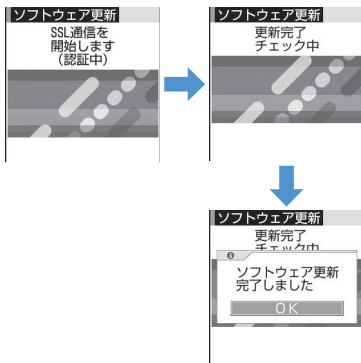
**1 ソフトウェア更新画面で「今すぐ更新」を選択 ▶ 約5秒後に自動的にダウンロードが開始される**

●を押すと、すぐにダウンロードを開始します。
ダウンロード中は、ランプが点滅します。

- ダウンロードを中止するときは●を押します。ダウンロードの途中で中止すると、それまでダウンロードされたデータは削除されます。

サーバが混み合っているとき：

- 「予約」を選択して更新日時を予約してください。→P537

**2 ダウンロード終了後、約5秒後に自動的に書き換えが開始される**

●を押すと、すぐに書き換えを開始します。
書き換え中はランプが点滅します。また、すべてのキー操作が無効となり、更新を中止することもできません。

## 3 書き換え終了後、自動的に再起動する

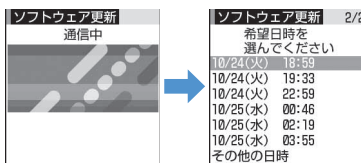
再起動すると再びサーバと通信を行いますので、しばらくお待ちください。

## 4 ● ［選択］を押す

更新が終了し、待受画面が表示されます。

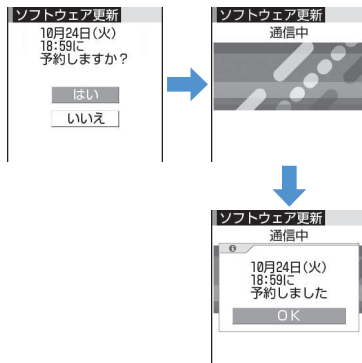
## ◆日時を予約してソフトウェアを更新する〈予約更新〉

ダウンロードに時間がかかる場合やサーバが混み合っている場合には、あらかじめソフトウェア更新を起動する日時をサーバと通信して設定しておきます。

## 1 ソフトウェア更新画面で「予約」を選択

サーバと通信を行い、予約時間候補を問い合わせます。

- 予約可能な日時がサーバの時刻で表示されます。

## 2 希望日時を選択

**表示されている予約候補から選択する：希望日時を選択▶「はい」を選択**

**表示されている予約候補以外から選択する：**

**①「その他の日時」を選択**

ソフトウェア更新 2/2
希望日時を
選んでください
10/24(火) 18:59
10/24(火) 19:33
10/24(火) 22:59
10/25(水) 00:46
10/25(水) 02:19
10/25(水) 03:55
その他の日時

**②希望日を選択**

各時間帯の予約の空き状況が表示されます。
○：空きあり　△：空きわずか

ソフトウェア更新 1/3
2.時間帯を
選んでください
△ 00:00～
○ 01:00～
○ 02:00～
○ 03:00～
○ 04:00～
△ 05:00～
△ 06:00～

**③希望時間帯を選択**

サーバに接続され、選択した希望日と時間帯に近い予約候補が表示されます。

- 📖を押すと、時間帯の左に表示されている記号の説明を表示できます。

**④希望日時を選択▶「はい」を選択**

## 3 ● ［選択］を押す

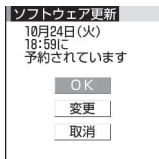
予約の設定が完了し、メニューが表示されます。

- 予約中は、待受画面に が表示されます。

### ❖予約を確認・変更・取り消しをする

〈例〉ソフトウェア更新の予約日時を確認するとき

**1** **MENU▶8 7 5▶「更新実行」を選択▶認証操作▶内容を確認**

ソフトウェア更新
10月24日(火)
18:59に
予約されています
OK
変更
取消

- 確認を終了するときは「OK」を選択します。

**予約を変更する：**

①**「変更」を選択**
携帯電話情報の送信確認画面が表示されます。

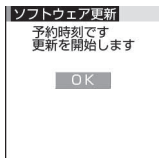
②**●を押す**
予約候補の選択画面が表示されます。
以降の操作→P537「表示されている予約候補以外から選択する」操作②以降

**予約を取り消す：**

①**「取消」を選択▶「はい」を選択**
携帯電話情報の送信確認画面が表示されます。

②**●▶●**
予約が取り消され、メニューが表示されます。

### ❖予約の日時になると

予約日時になると次の画面が表示され、約5秒後に自動的にソフトウェア更新を開始します（●を押すと、すぐにソフトウェア更新を開始します）。予約日時前には、電池がフル充電されていることをご確認の上、電波の十分届く所でFOMA端末を待受画面にしておいてください。ダウンロードが完了するとソフトウェアの書き換えが行われ、再起動します。

- ソフトウェア更新を中止する場合は[終話]を押し「はい」を選択します。

**✔お知らせ**

- 次の場合は、ソフトウェア更新の予約が解除されることがあります。
  - 電池パックを取り外した場合
  - 電池が切れたまま充電しなかった場合
  - データ一括削除を行った場合
  - おまかせロック中に予約日時になったとき
- 他の機能を使用していると予約時刻になっても起動しないことがあるのでご注意ください。通話中またはメール受信中に予約日時になったときは、通話終了後またはメール受信終了後にソフトウェア更新を開始します。
- 同じ日時にアラームなどが設定されていた場合には、アラームなどが優先され、ソフトウェア更新が起動しないことがあります。

スキャン機能

## 障害を引き起こすデータからFOMA端末を守る

**まず初めに、パターンデータの更新を行い、パターンデータを最新にしてください。**

**サイトからのダウンロードやｉモードメール、SMSなど外部からFOMA端末に取り込んだデータやプログラムについて、データを検知して、障害を引き起こす可能性を含むデータの削除やアプリケーションの起動を中止します。**

- チェックのために使用するパターンデータは、新たな問題が発見された場合に随時バージョンアップされます。自動更新設定を「有効」に設定すると、パターンデータがバージョンアップされたときに自動的にダウンロードと更新が行われます。
- スキャン機能は、ホームページの閲覧やメール受信などの際に携帯電話に何らかの障害を引き起こすデータが侵入することに対して、一定の防衛手段を提供する機能です。
  各障害に対応したパターンデータが携帯電話にダウンロードされていない場合、または各障害に対応したパターンデータが存在しない場合には、本機能によって障害などの発生を防げませんので、あらかじめご了承ください。
- パターンデータは携帯電話の機種ごとにデータの内容が異なります。また、当社の都合により端末発売開始後3年を経過した機種向けパターンデータの配信は停止する場合がありますので、あらかじめご了承ください。

### ◆パターンデータを更新する

パターンデータが更新されたときに、自動的にサーバとの間でやりとりを行い、最新のパターンデータをダウンロードして更新する機能を利用できます。

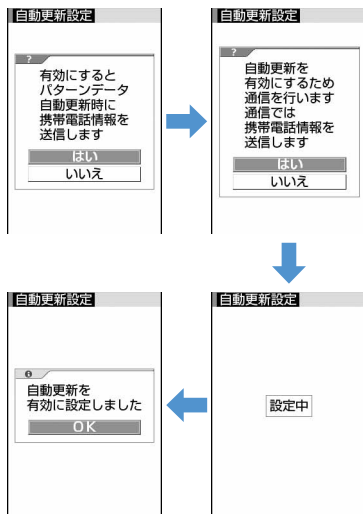
- 自動更新が完了すると、待受画面に[アイコン]が表示されます。アイコンを選択し、メッセージを確認した後、「OK」を選択してください。
- 自動更新が失敗したときは、待受画面に[アイコン]が表示されます。アイコンを選択し、メッセージを確認して「OK」を選択した後、手動でパターンデータを更新してください。

### ❖パターンデータの自動更新を設定する〈自動更新設定〉

パターンデータの更新が自動的に行われるように設定します。

**1** [MENU]▶[8][4][7][2]

**2** 「有効」を選択▶「はい」を選択▶「はい」を選択

- 自動更新を利用しないときは「無効」を選択します。

**3** [●]［選択］を押す

### ❖パターンデータを手動で更新する

自動更新設定を「無効」に設定しているときや、待受画面に(自動更新失敗)が表示された場合には、パターンデータを手動で更新してください。

**1** [MENU]▶[8][4][7][1]

**2** 「はい」を選択▶「はい」を選択

パターンデータのダウンロードと更新が開始されます。

**3** [●]［選択］を押す

パターンデータ更新が終了します。

#### ✔お知らせ

- パターンデータ更新の際、お客様の携帯電話端末固有の情報（機種や製造番号など）が自動的にサーバ（当社が管理するスキャン機能用サーバ）に送信されます。当社は送信された情報をスキャン機能以外の目的には利用いたしません。
- FOMA端末で正しい日付・時刻を設定していない場合は、パターンデータの更新はできません。
- パターンデータ更新中に音声電話の着信があった場合は、更新は中断されます。テレビ電話やプッシュトークの着信、外部機器や赤外線機能を利用してのデータ受信があった場合は、更新は中断されません。
- パターンデータ更新中に目覚ましやスケジュールで指定した日時になると、起動日時を知らせる画面が表示されてアラームが鳴りますが、パターンデータの更新は継続されています。

## ◆スキャン機能を設定する〈スキャン機能設定〉

【お買い上げ時】 スキャン機能、メッセージスキャン：有効

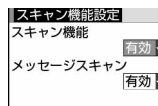
スキャン機能設定を「有効」に設定すると、データやプログラムを実行する際、自動的にチェックします。

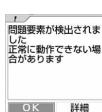
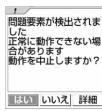
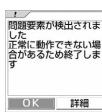
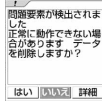
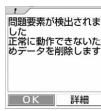
**1** [MENU]▶[8][4][7][3]

**2** 下記の各項目を選択して設定▶[📖]

**スキャン機能**：スキャン機能を有効にするかどうかを設定します。

**メッセージスキャン**：SMSを表示する際にスキャン機能を有効にするかどうかを設定します。

**3** 「はい」を選択

- スキャン機能設定を「有効」に設定すると、障害を引き起こすデータを検出した場合に、5段階の警告レベルで表示されます。→P540

## ◆スキャン結果の表示について

■スキャンされた問題要素の表示について

① 警告メッセージ表示中に「詳細」を選択

問題要素が6個以上検出された場合は、6個目以降の問題要素名は省略され、検出された問題要素の総数が表示されます。

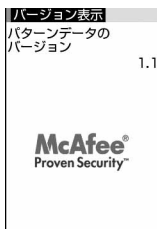
■スキャン結果の表示について

| 警告レベル／警告メッセージ | 対応方法 |
|---|---|
| 警告レベル0<br>問題要素が検出されました<br>正常に動作できない場合があります<br>OK 詳細 | 「OK」：起動中のアプリケーションの処理を続行します。<br>「詳細」：検出された問題要素の名前の一覧を表示します。 |
| 警告レベル1<br>問題要素が検出されました<br>正常に動作できない場合があります<br>動作を中止しますか？<br>はい いいえ 詳細 | 「はい」：障害を引き起こす可能性のあるアプリケーションの処理を中止します。<br>「いいえ」：起動中のアプリケーションの処理を続行します。<br>「詳細」：検出された問題要素の名前の一覧を表示します。 |
| 警告レベル2<br>問題要素が検出されました<br>正常に動作できない場合があるため終了します<br>OK 詳細 | 「OK」：障害を引き起こす可能性のあるアプリケーションの処理を中止します。<br>「詳細」：検出された問題要素の名前の一覧を表示します。 |
| 警告レベル3<br>問題要素が検出されました<br>正常に動作できない場合があります データを削除しますか？<br>はい いいえ 詳細 | 「はい」：障害を引き起こす可能性のあるデータを削除します。<br>「いいえ」：障害を引き起こす可能性のあるアプリケーションの処理を中止します。<br>「詳細」：検出された問題要素の名前の一覧を表示します。 |
| 警告レベル4<br>問題要素が検出されました<br>正常に動作できないためデータを削除します<br>OK 詳細 | 「OK」：障害を引き起こす可能性のあるデータを削除します。<br>「詳細」：検出された問題要素の名前の一覧を表示します。 |

✔お知らせ

- スキャン機能によってｉアプリ待受画面に設定しているｉアプリに問題要素が見つかり、起動を中止した場合は、ｉアプリ待受画面が解除されます。
- 問題要素によっては、「詳細」ボタンが表示されない場合があります。

## ◆パターンデータのバージョンを確認する〈バージョン表示〉

**1** MENU▶8 4 7 4

# 主な仕様

| 項目 | | 仕様 |
|---|---|---|
| 品名 | | FOMA F904i |
| サイズ | | 高さ108mm×幅50mm×厚さ22mm（折り畳み時） |
| 質量 | | 約138g（電池パック装着時） |
| 連続待受時間※1、2 | | 静止時：約550時間<br>移動時：約400時間 |
| 連続通話時間※2、3 | | 音声電話時：約190分<br>テレビ電話時：約100分 |
| ワンセグ視聴時間 | | 約300分 |
| 充電時間※4 | | ACアダプタ：約150分<br>DCアダプタ：約150分 |
| 液晶部 | 方式 | ディスプレイ：TFT262,144色<br>背面ディスプレイ：モノクロSTN2色 |
| | サイズ | ディスプレイ：約3.1inch<br>背面ディスプレイ：約0.65inch |
| | 画素数 | ディスプレイ：103,680画素（240×432）<br>背面ディスプレイ：2,880画素（96×30） |
| 撮像素子 | 種類 | インカメラ：CMOS<br>アウトカメラ：CMOS |
| | サイズ | インカメラ：1/7inch<br>アウトカメラ：1/2.8inch |
| | 有効画素数 | インカメラ：約11万画素<br>アウトカメラ：約320万画素 |
| カメラ部 | 記録画素数（最大時） | インカメラ：約10万画素<br>アウトカメラ：約300万画素 |
| | ズーム（デジタル） | インカメラ：最大約2倍<br>アウトカメラ：最大約25.6倍 |
| 記録部 | 静止画記録枚数※5 | 約600枚 |
| | 静止画連続撮影 | 2～9枚 |
| | 静止画ファイル形式 | JPEG |
| | 動画録画時間※6 | 最大約35分（本体保存時）<br>最大約106分（microSDメモリーカード64MB保存時） |
| | 動画ファイル形式 | MP4、ASF |
| 音楽再生 | 連続再生時間 | ｉモーション：約800分※8<br>着うたフル®：約1800分※7、8<br>WMAファイル：約1800分※7 |
| 保存容量 | 着うた® | 約26MB※9 |
| | 着うたフル® | |

※1 連続待受時間とは、電波を正常に受信できる状態での時間の目安です。なお、電池の充電状態、機能設定状況、気温などの使用環境、利用場所の電波状態（電波が届かないか弱い場合など）などにより、待受時間は約半分程度になる場合があります。静止時の連続待受時間とは、FOMA端末を折り畳み、電波を正常に受信できる静止状態での平均的な利用時間です。移動時の連続待受時間とは、FOMA端末を折り畳み、電波を正常に受信できるエリア内で「静止」「移動」と「圏外」を組み合わせた状態での平均的な利用時間です。

※2 ｉモード通信を行うと連続待受時間、連続通話（通信）時間は短くなります。通話やｉモード通信をしなくてもプッシュトーク通信をしたり、ｉモードメールを作成したり、ダウンロードしたｉアプリやｉアプリ待受画面設定、ミュージックプレイヤーでの曲の再生、ワンセグの視聴などを行うと連続待受時間、連続通話時間は短くなります。

※3 連続通話時間とは、電波を正常に送受信できる状態で通話に使用できる時間の目安です。

※4 充電時間は、FOMA端末の電源を切って、電池パックが空の状態から充電したときの目安です。FOMA端末の電源を入れて充電した場合、充電時間は長くなります。

※5 静止画記録枚数とは、画像サイズが「128×96」、画質が「スタンダード」、ファイルサイズが10Kバイトの場合です。

※6 動画録画時間とは、1件あたりの数値です。画像サイズ、品質、および撮影する映像によって異なります。

※7 バックグラウンド再生に対応しています。

※8 AAC形式のファイルです。

※9 着うた®専用に約10MB、着うたフル®専用に約6MBの保存領域を確保しています。

## F904iの保存・登録・保護件数

| 種　別 | | 保存・登録件数 | 保護件数 |
|---|---|---|---|
| 電話帳※1 | | 最大1000件 | － |
| きせかえツール※1 | | 最大36件 | － |
| ブックマーク（ｉモード） | | 最大100件 | － |
| ブックマーク（フルブラウザ） | | 最大100件 | － |
| 画面メモ※1 | | 最大100件 | 最大50件 |
| ダウンロード辞書 | | 最大10件 | － |
| ダウンロードしたフォント※2 | | 最大5件 | － |
| メッセージR※1 | | 最大100件 | 最大50件 |
| メッセージF※1 | | 最大50件 | 最大25件 |
| メール | 受信メール※1、3 | 最大1000件 | 最大500件 |
| | 送信メール※1、3 | 最大200件 | 最大100件 |
| | 未送信メール※1、3 | 最大200件 | 最大100件 |
| | メールテンプレート※1、4 | 最大100件 | － |
| FOMAカードのSMS※5 | | 最大20件 | － |
| ｉアプリ※1、6 | | 最大100件 | － |
| トルカ※1 | | 最大100件 | － |
| チャンネルリスト | | 最大10件 | － |
| テレビリンク | | 最大50件 | － |
| 画像※1、7 | | 最大1000件 | － |
| 動画／ｉモーション／サウンドレコーダーで録音した音声※1 | | 最大100件 | － |
| 動画／ｉモーションのプレイリスト | | 最大100件 | － |
| キャラ電※1、8 | | 最大50件 | － |
| メロディ※1 | | 最大500件 | － |
| PDFデータ※1 | | 最大100件 | － |
| Word、Excel、PowerPoint※1 | | 最大100件 | － |
| スケジュール帳※9 | | 最大300件 | － |
| メモ帳 | | 最大50件 | － |

※1 実際に保存・登録できる件数は、データサイズにより少なくなる場合があります。
※2 お買い上げ時に登録されているフォント（プリティー桃）の件数を含みます。
※3 iモードメールとSMSの合計件数です。
※4 お買い上げ時に登録されているメールテンプレートの件数を含みます。
※5 送信SMSと受信SMSの合計件数です。送達通知は保存件数に含まれません。
※6 お買い上げ時に登録されているiアプリの件数を含みます。また、メール連動型iアプリは最大5件（iアプリの最大保存件数100件に含む）保存できます。
※7 お買い上げ時に登録されている「デコメピクチャ」「デコメ絵文字」「アイテム」フォルダ内のデータの件数を含みます。
※8 お買い上げ時に登録されているキャラ電の件数を含みます。
※9 視聴予約は最大50件（スケジュール帳の最大登録件数300件に含む）登録できます。

**✔お知らせ**

- FOMA端末に保存されているデータは、FOMA端末の故障、修理やその他の取り扱いによっても消失する場合がありますので、重要なデータは控えをとっておくことをおすすめします。万一、保存されている内容や登録した内容が消失した場合、当社としては責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- FOMA端末に保存したデータはmicroSDメモリーカードに保存することをおすすめします。→P367
- 電話帳お預かりサービスをご契約の場合は、電話帳、メール、静止画をお預かりセンターへ保存できます。
- パソコンをお持ちの場合は、データリンクソフトをご利用いただくことにより、電話帳やメールなどのデータをパソコンに転送、保管できます。
- FOMA端末内のデータのファイルサイズの表示は、データを扱う機能によって多少の誤差が生じる場合があります。

## 携帯電話機の比吸収率などについて

### ◆携帯電話機の比吸収率（SAR）について

この機種FOMA F904iの携帯電話機は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準に適合しています。
この技術基準は、人体頭部のそばで使用する携帯電話機などの無線機器から送出される電波が人間の健康に影響を及ぼさないよう、科学的根拠に基づいて定められたものであり、人体側頭部に吸収される電波の平均エネルギー量を表す比吸収率（SAR：Specific Absorption Rate）について、これが2W/kg※の許容値を超えないこととしています。この許容値は、使用者の年齢や身体の大きさに関係なく十分な安全率を含んでおり、世界保健機関（WHO）と協力関係にある国際非電離放射線防護委員会（ICNIRP）が示した国際的なガイドラインと同じものとなっています。
すべての機種の携帯電話機は、発売開始前に、電波法に基づき国の技術基準に適合していることの確認を受ける必要があります。この携帯電話機FOMA F904iのSARの値は0.504W/kgです。この値は、財団法人テレコムエンジニアリングセンターによって取得されたものであり、国が定めた方法に従い、携帯電話機の送信電力を最大にして測定された最大の値です。個々の製品によってSARに多少の差異が生じることもありますが、いずれも許容値を満足しています。また、携帯電話機は、携帯電話基地局との通信に必要な最低限の送信電力になるよう設計されているため、実際に通話している状態では、通常SARはより小さい値となります。
SARについて、さらに詳しい情報をお知りになりたい方は、次のホームページをご覧ください。

総務省のホームページ
http://www.tele.soumu.go.jp/j/ele/index.htm
社団法人電波産業会のホームページ
http://www.arib-emf.org/index.html
ドコモのホームページ
http://www.nttdocomo.co.jp/product/
富士通のホームページ
http://www.fmworld.net/product/phone/sar/

※ 技術基準については、電波法関連省令（無線設備規則第14条の2）で規定されています。

## ◆Declaration of Conformity

The product "FOMA F904i" is declared to conform with the essential requirements of European Union Directive 1999/5/EC Radio and Telecommunications Terminal Equipment Directive 3.1(a), 3.1(b) and 3.2. The Declaration of Conformity can be found on http://www.fmworld.net/product/phone/doc/.

This mobile phone complies with the EU requirements for exposure to radio waves. Your mobile phone is a radio transceiver, designed and manufactured not to exceed the SAR* limits** for exposure to radio-frequency(RF) energy, which SAR* value, when tested for compliance against the standard was 1.48W/Kg. While there may be differences between the SAR* levels of various phones and at various positions, they all meet*** the EU requirements for RF exposure.

---

* The exposure standard for mobile phones employs a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate, or SAR.

** The SAR limit for mobile phones used by the public is 2.0 watts/kilogram (W/Kg) averaged over ten grams of tissue, recommended by The Council of the European Union. The limit incorporates a substantial margin of safety to give additional protection for the public and to account for any variations in measurements.

*** Tests for SAR have been conducted using standard operation positions with the phone transmitting at its highest certified power level in all tested frequency bands. Although the SAR is determined at the highest certified power level, the actual SAR level of the phone while operating can be well below the maximum value. This is because the phone is designed to operate at multiple power levels so as to use only the power required to reach the network. In general, the closer you are to a base station antenna, the lower the power output.

## 日本輸出管理規制／米国再輸出管理規制について

本製品および付属品は、日本輸出管理規制（「外国為替及び外国貿易法」およびその関連法令）並びに米国再輸出規制（Export Administration Regulation）の適用を受けます。本製品および付属品を輸出および再輸出する場合は、お客様の責任および費用負担において必要となる手続きをお取りください。詳しい手続きについては経済産業省または米国商務省へお問い合わせください。

# 索引／クイックマニュアル

# 索引

## 索引の使いかた

機能名やキーワードを列挙した索引には、「五十音目次」としての機能もあります。なお、「登録」「削除」などの操作については、まず第一階層（**太字**）の機能名やキーワードで検索したのち、第二階層の索引項目から探してください。

〈例〉キャラ電を撮影したいとき

**キャラ電**……79, 361
　アクション……362
　移動……382
　削除……386
　撮影……363
　詳細情報参照／変更……384

## ナ行



## ハ行



## マ行

## ヤ行



## ラ行



## ワ行



## 英数字・記号

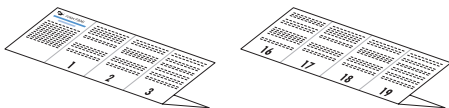
# クイックマニュアル

## ◆クイックマニュアルの使いかた

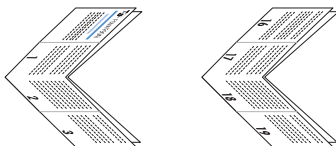
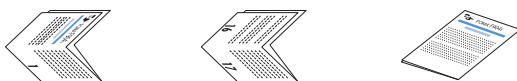
本書に綴じ込みされている「クイックマニュアル」は、FOMA端末の基本的な画面表示や操作方法について簡潔に説明しています。キリトリ線で切り取り、下記のように折ってご使用ください。また、外出時などには、2枚合わせて携帯してください。
「クイックマニュアル（海外利用編）」は、海外で国際ローミングサービス（WORLD WING）をご利用いただく際に携帯してください。

**1 キリトリ線から切り離す（2枚）**

切り離しの際にはけがなどにご注意ください。

**2 それぞれを縦半分に折る**

**3 それぞれを横半分に折る**

**4 それぞれをさらに横半分に折る**

NTT DoCoMo FOMA® F904i

# クイックマニュアル

## ❖総合お問い合わせ先〈DoCoMoインフォメーションセンター〉

取扱説明書に不明な点がございましたら、下記までお問い合わせください。

ドコモの携帯電話、PHSからの場合
（局番なし）151（無料）
※一般電話などからはご利用になれません。

一般電話などからの場合
0120-800-000
※携帯電話、PHSからもご利用になれます。

・ダイヤルの番号をよくご確認の上、お間違いのないようおかけください。

## ❖故障お問い合わせ先

故障、異常かなと思われたら、下記までお問い合わせください。

ドコモの携帯電話、PHSからの場合
（局番なし）113（無料）
※一般電話などからはご利用になれません。

一般電話などからの場合
0120-800-000
※携帯電話、PHSからもご利用になれます。

・ダイヤルの番号をよくご確認の上、お間違いのないようおかけください。

1

# 電話帳の登録

## ❖FOMA端末電話帳の登録

1 [MENU]▶[4][2]
2 名前を入力▶[電話帳]
3 各項目を選択して設定▶[電話帳]

## ❖FOMAカード電話帳の登録

1 [MENU]▶[4][3]
2 名前を入力▶[電話帳]
3 各項目を選択して設定▶[電話帳]

## ❖リダイヤルや着信履歴からの登録

1 [発信]
2 登録する相手にカーソルを合わせて[MENU]▶[4][1]
・登録済みの電話帳へ追加：[MENU]▶[4][2]
3 [1]（FOMA端末電話帳）または[2]（FOMAカード電話帳）
・登録済みの電話帳へ追加する場合は、追加する相手を選択
4 各項目を選択して設定▶[電話帳]

2

# 電話帳の修正

1 [電話帳]
・電話帳の切り替え：[電話帳]
2 修正する相手にカーソルを合わせて[MENU]▶[3][1]
・FOMAカード電話帳は、修正する相手にカーソルを合わせて[MENU]▶[3]
3 修正▶[電話帳]
・FOMA端末電話帳で登録済みのメモリ番号を指定したときは、上書き確認画面が表示される

# 電話帳の検索

1 [MENU]▶[4][1]
・電話帳の切り替え：[電話帳]
2 [1]〜[7]
・FOMAカード電話帳は[1]〜[4]

3

# 文字の入力

## ❖文字の入力・変換（かな方式）

〈例〉「企業」と入力するとき
1 ひらがな／漢字モードで文字を入力
「き」：[2]を2回
「ぎ」：カーソルが右に移動したら[2]を2回▶[*]
「ょ」：[8]を3回▶[#]
「う」：[1]を3回
・入力した文字の変換前にできる操作
[MENU]：カナ英数に変換
[#]：大文字／小文字の切り替え
[メール]：1つ前の文字に戻す
（例：…→1→お→え→う→い→あ→1→…）
[CLR]：文字の取り消し
[*]：濁点「゛」や半濁点「゜」の付加
（例：…→ほ→ぼ→ぽ→ほ→…）
・文字の挿入：カーソルを挿入位置に移動▶文字を入力

4

2 [電話帳]
・変換候補一覧の表示：[カメラ]／[電話帳]
・変換前の状態に戻す：[CLR]
3 [●]

## ❖入力モードの切り替え

文字入力画面で[文字]（複数回）▶[●]
・[カメラ]で全角と半角が切り替えられます。

## ❖文字の削除

**カーソルが文中にあるとき**
[CLR]：カーソル位置の文字の削除
・1秒以上押すと、カーソル位置の文字と、その右側にあるすべての文字を削除

**カーソルが文末にあるとき**
[CLR]：カーソル位置の左側にある文字の削除
・1秒以上押すと、すべての入力文字を削除

5

## ❖絵文字・記号・定型文の入力

**絵文字を入力する**
文字入力画面で[電話帳]▶絵文字を選択

**記号を入力する**
文字入力画面で[電話帳]▶[MENU]▶記号を選択

**定型文を入力する**
文字入力画面で[MENU]▶[4][1]（メール本文の入力画面では[5][1]）▶定型文種別を選択▶定型文を選択

# 文字のコピーと貼り付け

**文字をコピーする**
文字入力画面で[MENU]▶[1]（メール本文の入力画面では[2]）▶開始位置を選択▶終了位置を選択

**文字を貼り付ける**
文字入力画面で、貼り付ける位置にカーソルを合わせて[MENU]▶[3]（メール本文の入力画面では[4]）

6

# カメラ機能

**静止画を撮影する**
1 [カメラ]
2 被写体にカメラを向けて[●]▶[●]

**動画を撮影する**
1 [カメラ]（1秒以上）
2 被写体にカメラを向けて[●]▶[電話帳]▶[●]

**画像を表示する**
1 [MENU]▶[5][1]
2 「カメラ」フォルダを選択▶表示する画像を選択

**動画を再生する**
1 [MENU]▶[5][3]
2 「カメラ」フォルダを選択▶再生する動画を選択
・動画再生中にできる操作
[カメラ]／サイドキー［▲▼］：音量調整
[発信]：巻き戻し再生／早送り再生
[●]：一時停止／再生
[電話帳]：停止

7

キリトリ線

# テレビ電話

## ❖テレビ電話のかけかた

1　電話番号を入力
2　
3　通話する
　・通話中保留：
　・受話口／スピーカーの切り替え：
　・送信する画像の切り替え：
4　通話が終了したら

## ❖テレビ電話の受けかた

1　電話がかかってくる▶
　・応答保留：
　・通話中の操作は「テレビ電話のかけかた」の操作3と同様
2　通話が終了したら



# ｉモードメール

## ❖送受信できる文字数

| 項　目 | 全角文字 | 半角文字 |
|---|---|---|
| 題名 | 15文字 | 30文字 |
| メールアドレス | — | 50文字 |
| 本文 | 5000文字 | 10000文字 |

## ❖ｉモードメールの作成・送信

1　（1秒以上）



2　Toを選択▶入力方法を選択▶宛先を入力または選択



3　Subを選択▶題名を入力
4　Textを選択▶本文を入力
　・デコメールの作成：▶装飾方法を選択▶文字を入力
5　
　・メールの保存：▶3
　・圏内自動送信：▶2

## ❖ファイルの添付

1　メール作成画面でを選択
　メール作成画面の表示方法→P9
　・添付ファイルの解除：▶「はい」を選択
2　添付するファイルの種類を選択
3　添付元を選択▶フォルダを選択▶ファイルを選択



## ❖送信・保存したｉモードメールの編集・送信

〈例〉未送信メールを編集するとき
1　▶4
　・送信メールの編集：▶5
2　フォルダを選択
3　メールを選択
　・送信メールの編集：メールを選択▶
4　編集▶

## ❖ｉモード問合せ

1　サイドキー［▼］（1秒以上）



# ディスプレイの見かた

## ❖ディスプレイ上部



① ：電池アイコン
② ：アンテナアイコン
　圏外：圏外表示
　Self：セルフモード中
　：データ転送モード中
③ ／：ｉモード中（ｉモード接続中）／（パケット通信中）
④ ：赤外線通信中など
　¥：積算通話料金が上限を超過
⑤ ：ハンズフリー対応機器で通信中
　：スピーカーホン機能利用中
⑥ ：GPSで測位中



　GPS：GPSで位置提供設定中
⑦ ：電話帳データ、スケジュールデータがシークレット属性
⑧ ：未読メール、メッセージR/F状態表示
⑨ ：ネットワーク上の電話帳ページ取得中
　：プッシュトーク通信中
　：ｉモードセンター蓄積状態表示
⑩ SSL：SSLページ表示中など
　：圏内自動送信失敗メールあり
　：圏内自動送信メールあり
⑪ ／：ｉアプリ／ｉアプリDX動作中
　：ｉアプリ待受画面表示中など
　：ｉアプリDX待受画面表示中など
⑫ ：ｉアプリ自動起動失敗
⑬ OFFICEED：OFFICEEDエリア内



## ❖ディスプレイ下部



① 2：不在着信
② 1：伝言メモ
③ 1：留守番電話サービスの伝言メッセージ
④ 2：未読メール
⑤ 2：未読トルカ
⑥ ：マナーモード中
　：オリジナルマナーモード中
⑦ S：電話着信音量消音設定中
　V：音声電話着信のバイブレータ設定中
　SV：電話着信音量消音と音声電話着信のバイブレータ同時設定中
⑧ ：公共モード（ドライブモード）中



⑨ ／：伝言メモ設定中／満杯
⑩ ：ダイヤル発信制限中
　：HOLD中
⑪ ：パーソナルデータロック中
⑫ ：FOMAカード読み込み中
　：ICカードロック中など
⑬ ：有効マルチカーソルキー
　：開閉ロック中
⑭ ：目覚まし設定中
　：スケジュールアラーム設定中
　：目覚ましとスケジュールアラームを同時に設定中
⑮ SD：USBモード設定とmicroSDメモリーカードの状態表示
⑯ ：USBケーブルで外部機器と接続中
⑰ ／：ソフトウェア更新予約中／更新お知らせアイコン
　／：最新パターンデータの自動更新失敗／成功



キリトリ線

# メニュー一覧

・ メニューキーを押してから、各項目の番号を入力します。

〈例〉 メモ帳を起動するとき
メニュー ▶ 7 ▶ 2

## 1 メール

1 受信メール
2 新規メール
3 チャットメール
4 未送信メール
5 送信メール
6 問合せ・WEBメール
7 SMS
8 テンプレート読込み
9 メール設定

16

## 2 i モード

1 i Menu
2 Bookmark
3 Internet
4 画面メモ
5 i モード問合せ
6 メッセージR/F
7 i チャネル
8 i モード設定
9 フルブラウザ

## 3 i アプリ

1 ソフト一覧
2 i アプリ設定
3 履歴表示

17

## 4 電話帳／履歴

1 電話帳検索
2 電話帳登録
3 FOMAカード（UIM）登録
4 プッシュトーク電話帳
5 着信履歴
6 リダイヤル
7 伝言メモ／音声メモ
8 メール送受信履歴
9 プロフィール情報

## 5 データBOX

1 マイピクチャ
2 ミュージック
3 i モーション
4 メロディ

18

5 マイドキュメント
6 キャラ電
7 きせかえツール
8 その他

## 6 LifeKit

1 バーコードリーダー
2 赤外線・iC・PC連携
3 トルカ
4 ICカード
5 microSD
6 カメラ
7 サウンドレコーダー
8 電話帳お預かりサービス
9 GPS

19

## 7 ステーショナリー

1 スケジュール帳
2 メモ帳
3 目覚まし
4 電卓
5 辞典
6 お知らせタイマー

## 8 設定／NWサービス

| 項目 | 内容 |
|---|---|
| 1 音／バイブ | 音設定<br>音量設定<br>バイブレータ設定<br>マナーモード選択<br>呼出動作開始時間設定<br>ステレオ効果設定 |

20

| 項目 | 内容 |
|---|---|
| 2 ディスプレイ | 待受画面設定<br>メニュー設定<br>各種画面設定<br>照明設定<br>イルミネーション設定<br>不在着信お知らせ<br>文字表示設定<br>背面ディスプレイ設定 |
| 3 コーディネイト／きせかえ | |
| 4 セキュリティ／ロック | ロック<br>プライバシーモード<br>セキュリティランプ設定<br>着信／受信時動作設定<br>FOMAカード（UIM）<br>暗証番号／指紋設定<br>スキャン機能<br>パスワードマネージャー |

21

| 項目 | 内容 |
|---|---|
| 5 発着信・通話機能 | 電話発着信設定<br>発番号なし動作設定<br>エニーキーアンサー設定<br>イヤホン機能設定<br>メモリ着信拒否／許可<br>発着信詳細設定<br>通話詳細設定<br>セルフモード設定 |
| 6 テレビ電話／トルカ／プッシュトーク | |
| 7 スイング／時計／入力／他 | スイング設定<br>時計<br>文字入力設定<br>文字サイズ設定<br>ソフトウェア更新<br>クイック起動設定<br>情報表示／リセット<br>サイドキー長押し設定 |

22

| 項目 | 内容 |
|---|---|
| 8 NWサービス | 留守番電話<br>キャッチホン／転送でんわ<br>着もじ<br>番号通知<br>ローミングガイダンス設定<br>OFFICEED<br>2in1 設定<br>その他のNWサービス |
| 9 国際ローミング／ダイヤルアシスト | 国際ローミング設定<br>国際ダイヤルアシスト設定<br>デュアル時計設定 |

## 9 ワンセグ／ミュージック

1 ワンセグ
2 ミュージックプレイヤー

## 0 プロフィール情報

23

キリトリ線

## テレビ

[TV]：ワンセグ視聴起動
[終話]：ワンセグ視聴終了
サイドキー［▲▼］：音量調整
[◀▶]：チャンネル一覧の前後のチャンネルを選択
[◀▶]（1秒以上）：受信可能な前後の周波数をサーチ
[▲▼]（データ放送表示領域あり）：データ放送スクロール
[▲▼]（データ放送表示領域なし）：音量調整
[▲]（横画面で1秒以上）／サイドキー［▲］（1秒以上）：連続して音量大
[▼]（横画面で1秒以上）／サイドキー［▼］（1秒以上）：消音
[1]～[9]、[＊]、[0]、[#]：チャンネル一覧からワンタッチ選局（[＊]は10ch、[0]は11ch、[#]は12ch、13ch以降はチャンネル一覧から選択）
[i]（縦画面）：標準画面／データ放送全画面の切り替え
[i]（横画面）：横標準画面／横全画面（アイコンなし）／横全画面（アイコンあり）の切り替え
[✉]：字幕の表示／非表示の切り替え
[📖]：番組表 i アプリ起動



## ミュージックプレイヤー

[♪]（1秒以上）：ミュージックプレイヤー起動／終了
[●]／[♪]：再生／一時停止
[▲▼]／サイドキー［▲▼］：音量調整
[◀]（1秒以上）／[▶]（1秒以上）：巻き戻し／早送り
[◀]／サイドキー［▲］（1秒以上）：曲の先頭に移動※1
[▶]／サイドキー［▼］（1秒以上）：次の曲に移動
[✉]／[♪]（1秒以上）：再生を停止せずに音楽データ一覧画面を表示
[♪]（2回押す）：再生中または一時停止中の曲をクイックプレイリストに登録※2
※1 曲の始まりから3秒以内に操作すると前の曲に移動します。



※2 確認音が鳴ります。
・再生時にプレイヤー画面以外で[✉]を押すと、プレイヤー画面に戻ります。

## その他の主な操作

| 機　能 | 操作方法 |
|---|---|
| HOLDの起動／解除 | [MENU]（1秒以上） |
| i チャネル一覧の表示 | [ch/クリア] |
| セルフモードの起動／解除 | [ch/クリア]（1秒以上） |
| 公共モードの起動／解除 | [＊]（1秒以上） |
| i モードメニューの表示 | [▲] |
| i アプリフォルダ一覧の表示 | [▲]（1秒以上） |
| 着信履歴の表示 | [◀] |
| プライバシーモードの起動／解除 | [◀]（1秒以上）※ |
| リダイヤルの表示 | [▶] |
| ICカードロックの起動／解除 | [▶]（1秒以上）※ |
| スケジュール帳の表示 | [📖]（1秒以上） |
| 電源ON／OFF | [終話]（2秒以上） |
| マナーモードの起動／解除 | [#]（1秒以上） |
| 新規起動メニュー | [MULTI] |



| 機　能 | 操作方法 |
|---|---|
| プッシュトーク電話帳の表示 | FOMA端末を開いて[P] |
| 伝言メモ／音声メモメニューの表示 | FOMA端末を開いてサイドキー［▲］（1秒以上） |

※ 解除時は認証操作が必要です。

## 利用できるサービス

| FOMA端末から利用できるサービス | 電話番号 |
|---|---|
| 番号案内サービス（有料：案内料＋通話料）（電話番号の案内を希望されないお客様については案内しておりません） | （局番なし）104 |
| 電報の発信（有料：電報料） | （局番なし）115 |
| 時報サービス（有料） | （局番なし）117 |
| 天気予報（有料） | 知りたい地域の市外局番＋177 |
| 警察への緊急通報 | （局番なし）110 |
| 消防・救急への緊急通報 | （局番なし）119 |
| 海上で事件・事故が起きたときの緊急通報 | （局番なし）118 |
| 災害用伝言ダイヤル（有料） | （局番なし）171 |



| FOMA端末から利用できるサービス | 電話番号 |
|---|---|
| コレクトコール（有料：案内料＋通話料） | （局番なし）106 |

## ネットワークサービス

### ❖留守番電話サービス

申し込み：必要　月額使用料：有料

**サービスを開始する**

1 [MENU]▶[8][8][1][1][1]
2 「はい」を選択▶「はい」を選択
3 呼出時間を入力▶[●]

**サービスを停止する**

1 [MENU]▶[8][8][1][1][3]
2 「はい」を選択

**伝言メッセージを再生する**

1 [MENU]▶[8][8][1][1][5]
2 「はい」を選択
3 音声ガイダンスに従って操作する



### ❖キャッチホン

申し込み：必要　月額使用料：有料

**サービスを開始／停止する**

1 [MENU]▶[8][8][2][1]
2 [1]［開始］または[2]［停止］
3 「はい」を選択

**通話中にかかってきた電話を受ける**

通話中に[発信]
・通話相手の切り替え：[✉]

**通話中に電話をかける**

通話中に[MENU]▶[7]▶電話番号を入力▶[発信]
・通話相手の切り替え：[✉]

**通話を終了する**

一方の相手との通話が終了したら[終話]
・保留中相手との通話再開：[発信]



### ❖転送でんわサービス

申し込み：必要　月額使用料：無料

**サービスを開始する**

1 [MENU]▶[8][8][2][2][1]
2 「はい」を選択▶「はい」を選択
3 転送先電話番号を入力▶[●]
　・電話帳から転送先を入力：[MENU]
4 [📖]▶「はい」を選択
5 呼出時間を入力▶[●]

**サービスを停止する**

1 [MENU]▶[8][8][2][2][2]
2 「はい」を選択

### ❖番号通知お願いサービス

申し込み：不要　月額使用料：無料

**サービスの開始／停止**

1 [MENU]▶[8][8][4][2]
2 [1]［開始］または[2]［停止］
3 「はい」を選択



## 紛失時などの緊急連絡先

### ❖おまかせロック

※おまかせロックは有料サービスです。ご利用の一時中断と同時、もしくは一時中断中に申し込まれた場合、無料になります。

おまかせロックの設定／解除

0120-524-360
（24時間受付）

### ❖その他緊急連絡先

連絡先：

連絡先：

連絡先：

・ダイヤルの番号をよくご確認の上、お間違いのないようおかけください。



キリトリ線

DoCoMo FOMA® F904i

# クイックマニュアル（海外利用編）

## ❖海外での紛失、盗難、精算などについて

〈DoCoMo インフォメーションセンター〉
（24時間受付）

● ドコモの携帯電話の場合

滞在国の国際電話アクセス番号（表1）-81-3-5366-3114＊（無料）

＊一般電話などでかけた場合には、日本向け通話料がかかります。

※F904iからご利用の場合は、+81-3-5366-3114でつながります（「+」は 0 を1秒以上押します）。

● 一般電話などからの場合〈ユニバーサルナンバー〉

ユニバーサルナンバー用国際電話識別番号（表2）-800-0120-0151＊

＊滞在国内通話料などがかかる場合があります。

※主要国の国際電話アクセス番号（表1）／ユニバーサルナンバー用国際電話識別番号（表2）の最新情報については、ドコモの『国際サービスホームページ』をご覧ください。

## ❖海外での故障に関して

〈ネットワークテクニカルオペレーションセンター〉
（24時間受付）

● ドコモの携帯電話の場合

滞在国の国際電話アクセス番号（表1）-81-3-6718-1414＊（無料）

＊一般電話などでかけた場合には、日本向け通話料がかかります。

※F904iからご利用の場合は、+81-3-6718-1414でつながります（「+」は 0 を1秒以上押します）。



● 一般電話などからの場合〈ユニバーサルナンバー〉

ユニバーサルナンバー用国際電話識別番号（表2）-800-5931-8600＊

＊滞在国内通話料などがかかる場合があります。

※主要国の国際電話アクセス番号（表1）／ユニバーサルナンバー用国際電話識別番号（表2）の最新情報については、ドコモの『国際サービスホームページ』をご覧ください。

## 海外で利用するための準備

本FOMA端末は3Gサービスエリアのみ対応しています。

## ❖ｉモードの設定

ｉモードのサービス内容は変更する場合があります。詳細は『ご利用ガイドブック（ｉモード〈FOMA〉編）』をご覧ください。

1 ｉ▶ 1



2 「料金＆お申込・設定」▶「オプション設定」▶「海外利用設定」▶「ｉモード利用設定」▶「利用する」

3 ｉモードパスワードを入力

4 「決定」を選択

## ❖遠隔操作設定の開始

・日本国内で設定してください。

1 MENU▶ 8 8 8 2

2 1 ▶「はい」を選択

## ❖デュアル時計設定

1 MENU▶ 8 9 3

2 1 ［ON］または 2 ［OFF］



## 海外で利用できるサービス

本FOMA端末は3Gサービスエリアのみ対応しています。GSM／GPRSサービスエリアでは利用できません。

・パソコンなどと接続して行うデータ通信（パケット通信・64Kデータ通信）は利用できません。

| 通信サービス |
| --- |
| 音声電話 |
| テレビ電話 |
| ｉモードメール |
| ｉモード（フルブラウザを含む） |
| SMS |
| ｉチャネル |
| GPSの現在地確認 |



## ❖ネットワークサーチ設定

国際ローミング開始時や利用中のネットワークが圏外になったとき、他の通信事業者を自動的に検索して接続し直すかどうかを設定します。

1 MENU▶ 8 9 1 1

2 1 ～ 3

**オート**：他の通信事業者に自動的に接続し直し、設定が終了します。

**マニュアル**：通信事業者を検索し直し、一覧が表示されます。

**ネットワーク再検索**：「オート」に設定しているときは、自動的に通信事業者が切り替わり、設定が終了します。「マニュアル」に設定しているときは、通信事業者を検索し直し、一覧が表示されます。

3 接続する通信事業者を選択



## ❖優先ネットワーク設定

ネットワークサーチ設定を「オート」に設定しているときに接続する通信事業者の優先順位を設定します。

1 MENU▶ 8 9 1 3

優先順位の高い通信事業者から順に表示されます。

・接続優先順位、オペレータコード（MCC-MNC）、国名、オペレータ名が表示されます。

2 優先順位を変更する通信事業者にカーソルを合わせて MENU▶ 2

3 優先順位を選択▶ 📖



## ❖オペレータ名の表示について設定

ディスプレイ上部にオペレータ名を表示します。

1 MENU▶ 8 9 1 2

2 1 ［表示あり］または 2 ［表示なし］

## ❖帰国後の設定

日本に帰国してからFOMA端末の電源を入れると、ネットワークサーチ設定がお買い上げ時の状態の場合はFOMAネットワークに自動的に接続されます。

ネットワークサーチ設定を「マニュアル」に設定している場合は、FOMAネットワーク（DoCoMo）を選択します。→P5



キリトリ線

## 音声電話／テレビ電話のかけかた

### ❖滞在国外（日本を含む）への電話のかけかた

1 [0]（1秒以上）▶国番号▶地域番号（市外局番）▶電話番号を入力▶[発信]または[テレビ電話]▶「はい」を選択
- [0]を1秒以上押すと「+」が入力されます。
- 地域番号（市外局番）が「0」で始まる場合には「0」を除いて入力してください。ただし、イタリアの一般電話などにおかけになる場合は「0」が必要です。
- 海外にいるWORLD WING利用者へ電話をかけるときは、同じ国に滞在している場合でも、「+」と日本の国番号「81」を入力してください。

### ❖滞在国内への電話のかけかた

1 電話番号を入力▶[発信]または[テレビ電話]



## 音声電話／テレビ電話の受けかた

1 電話がかかってくる▶[発信]または[テレビ電話]

**日本から電話をかけてもらう**

1 お客様の電話番号を入力して発信

**日本以外から電話をかけてもらう**

1 国際アクセス番号▶81（日本の国番号）▶先頭の「0」を除いたお客様の電話番号を入力して発信



## ローミングガイダンス設定

- 日本国内で設定してください。

1 [MENU]▶[8][8][5]
2 [1]［開始］または[2]［停止］▶「はい」を選択

## 国際ローミング中の着信について設定

- 日本国内で設定してください。

1 [MENU]▶[8][9][1][9]
2 [1]▶[1]または[2]
 - ローミング時着信規制の停止：[2]
3 「はい」を選択▶ネットワーク暗証番号を入力



## ネットワークサービス

海外からネットワークサービスを設定します。

### ❖留守番電話サービス

1 [MENU]▶[8][9][1][4]
2 [1]［開始］または[2]［停止］▶「はい」を選択▶音声ガイダンスの指示に従って操作

### ❖転送でんわサービス

1 [MENU]▶[8][9][1][5]
2 [1]［開始］または[2]［停止］▶「はい」を選択▶音声ガイダンスの指示に従って操作

### ❖ローミングガイダンス設定

1 [MENU]▶[8][9][1][8]
2 「はい」を選択
3 音声ガイダンスの指示に従って操作



## 主要国の国番号

国際電話を利用するときや国際ダイヤルアシスト設定などで利用する国番号は、以下の番号を使用してください。

（2007年6月現在）

| ご利用地域 | 国番号 | ご利用地域 | 国番号 |
|---|---|---|---|
| アメリカ合衆国 | 1 | ドイツ | 49 |
| イギリス | 44 | トルコ | 90 |
| イタリア | 39 | 日本 | 81 |
| インド | 91 | ニューカレドニア | 687 |
| インドネシア | 62 | ニュージーランド | 64 |
| エジプト | 20 | ノルウェー | 47 |
| オーストラリア | 61 | ハンガリー | 36 |
| オーストリア | 43 | フィジー | 679 |
| オランダ | 31 | フィリピン | 63 |
| カナダ | 1 | フィンランド | 358 |
| 韓国 | 82 | フランス | 33 |
| ギリシャ | 30 | ブラジル | 55 |
| シンガポール | 65 | ベトナム | 84 |
| スイス | 41 | ペルー | 51 |
| スウェーデン | 46 | ベルギー | 32 |
| スペイン | 34 | 香港 | 852 |
| タイ | 66 | マカオ | 853 |
| 台湾 | 886 | マレーシア | 60 |
| タヒチ（仏領ポリネシア） | 689 | モルディブ | 960 |
| チェコ | 420 | ロシア | 7 |
| 中国 | 86 | | |



- この他の国番号および詳細については、ドコモの『国際サービスホームページ』をご覧ください。

## 主要国の国際電話アクセス番号（表1）

（2007年6月現在）

| ご利用地域 | アクセス番号 | ご利用地域 | アクセス番号 |
|---|---|---|---|
| アイルランド | 00 | デンマーク | 00 |
| アメリカ合衆国 | 011 | ドイツ | 00 |
| アラブ首長国連邦 | 00 | トルコ | 00 |
| イギリス | 00 | ニュージーランド | 00 |
| イタリア | 00 | ノルウェー | 00 |
| インド | 00 | ハンガリー | 00 |
| インドネシア | 001 | フィリピン | 00 |
| オーストラリア | 0011 | フィンランド | 00／990 |
| オランダ | 00 | フランス | 00 |
| カナダ | 011 | ブラジル | 0041／0021／0023 |
| 韓国 | 001 | ベトナム | 00 |
| ギリシャ | 00 | ベルギー | 00 |
| シンガポール | 001 | ポーランド | 00 |
| スイス | 00 | ポルトガル | 00 |
| スウェーデン | 00 | 香港 | 001 |
| スペイン | 00 | マカオ | 00 |
| タイ | 001 | マレーシア | 00 |
| 台湾 | 002 | モナコ | 00 |
| チェコ | 00 | ルクセンブルグ | 00 |
| 中国 | 00 | ロシア | 810 |



## ユニバーサルナンバー用国際電話識別番号（表2）

（2007年6月現在）

| ご利用地域 | 国際識別番号 | ご利用地域 | 国際識別番号 |
|---|---|---|---|
| アイルランド | 00 | 台湾 | 00 |
| アメリカ合衆国 | 011 | 中国 | 00 |
| アルゼンチン | 00 | デンマーク | 00 |
| イギリス | 00 | ドイツ | 00 |
| イスラエル | 014 | ニュージーランド | 00 |
| イタリア | 00 | ノルウェー | 00 |
| オーストラリア | 0011 | ハンガリー | 00 |
| オーストリア | 00 | フィリピン | 00 |
| オランダ | 00 | フィンランド | 990 |
| カナダ | 011 | フランス | 00 |
| 韓国 | 001 | ブラジル | 0021 |
| コロンビア | 009 | ベルギー | 00 |
| シンガポール | 001 | ポルトガル | 00 |
| スイス | 00 | 香港 | 001 |
| スウェーデン | 00 | マレーシア | 00 |
| スペイン | 00 | 南アフリカ共和国 | 09 |
| タイ | 001 | ルクセンブルグ | 00 |



## お問い合わせについて

海外での紛失や、盗難、精算、故障については、クイックマニュアル（海外利用編）表紙の「海外での紛失、盗難、精算などについて」、またはP1の「海外での故障に関して」までお問い合わせください。

- 各お問い合わせ番号の先頭には、滞在先に割り当てられている「国際電話アクセス番号（表1）」「ユニバーサル用国際電話識別番号（表2）」が必要になります。



キリトリ線

# マナーもいっしょに携帯しましょう

## こんな場合は必ず電源を切りましょう

■使用禁止の場所にいる場合

航空機内、病院内では、必ずFOMA端末の電源を切ってください。

※ 医用電気機器を使用している方がいるのは病棟内だけではありません。
ロビーや待合室などでも、必ず電源を切ってください。

■満員電車の中など、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器を装着した方が近くにいる可能性がある場合

植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器に悪影響を与えるおそれがあります。

## こんな場合は公共モードに設定しましょう

■運転中の場合

FOMA端末のご使用は、安全な走行の妨げとなり危険です。

※ 車を安全な所に停車させてからご使用になるか、公共モードをご利用ください。

■劇場・映画館・美術館など公共の場所にいる場合

静かにするべき公共の場所でFOMA端末を使用すると、周囲の方への迷惑になります。

## 使用する場所や声・着信音の大きさに注意しましょう

■レストランやホテルのロビーなどの静かな場所でFOMA端末をご使用になる場合は、声の大きさなどに気をつけましょう。

■街の中では、通行の妨げにならない場所で使用しましょう。

## プライバシーに配慮しましょう

**カメラ付き携帯電話を利用して撮影や画像送信を行う際は、プライバシーなどにご配慮ください。**

### こんな機能が公共のマナーを守ります

かかってきた電話に応答しない設定や、FOMA端末から鳴る音を消す設定など、便利な機能があります。

●公共モード（ドライブモード／電源OFF）

電話をかけてきた相手に運転中もしくは通話を控える必要のあるような所（電車、バス、映画館等）にいるため、電話に出られない旨のガイダンスが流れ、通話が切断されます。→P73

●伝言メモ

電話に出られない場合に、電話をかけてきた相手の用件を録音／録画します。→P76

●着信バイブレータ

電話がかかってきたことを、振動でお知らせします。→P124

●マナーモード／オリジナルマナーモード

キー操作音や着信音などFOMA端末から鳴る音をすべて消します（マナーモード）。→P127

マナーモードの動作を変更することもできます（オリジナルマナーモード）。→P128

この印刷物はリサイクルに配慮して製本されています。不要となった際、回収、リサイクルに出しましょう。

「ドコモｅサイト」では住所変更、料金プラン変更などの各種お手続き、資料請求を承っております。

**ｉモードから**　i Menu ⇒ 料金＆お申込・設定 ⇒ 各種手続き（ドコモeサイト）　パケット通信料無料

**パソコンから**　My DoCoMo（http://www.mydocomo.com/）⇒ 各種手続き（ドコモeサイト）

※ｉモードからご利用になる場合、「ネットワーク暗証番号」が必要となります。
※ｉモードからご利用になる場合のパケット通信料は無料です。海外からのアクセスの場合は有料となります。
※パソコンからご利用になる場合、「DoCoMo ID／パスワード」が必要となります。
※「ネットワーク暗証番号」および「DoCoMo ID／パスワード」をお持ちでない方・お忘れの方は、下記総合お問い合わせ先にご相談ください。
※ご契約内容によりご利用になれない場合があります。
※システムメンテナンスなどにより、ご利用になれない場合があります。

## 総合お問い合わせ先〈DoCoMo インフォメーションセンター〉

■ドコモの携帯電話、PHSからの場合

（局番なしの）**151**（無料）

※一般電話などからはご利用になれません。

■一般電話などからの場合

**0120-800-000**

※携帯電話、PHSからもご利用になれます。

●ダイヤルの番号をよくご確認の上、お間違いのないようにおかけください。

## 故障お問い合わせ先

■ドコモの携帯電話、PHSからの場合

（局番なしの）**113**（無料）

※一般電話などからはご利用になれません。

■一般電話などからの場合

**0120-800-000**

※携帯電話、PHSからもご利用になれます。

●ダイヤルの番号をよくご確認の上、お間違いのないようにおかけください。
●なお、詳しくはFOMA端末などに添付の「全国サービスステーション一覧」でご確認ください。

## 海外での紛失、盗難、精算などについて〈DoCoMo インフォメーションセンター〉（24時間受付）

●ドコモの携帯電話の場合

滞在国の国際電話アクセス番号（表1） **-81-3-5366-3114***（無料）

*一般電話などでかけた場合には、日本向け通話料がかかります。

※F904iからご利用の場合は、+81-3-5366-3114でつながります（「+」は「0」キーを1秒以上押します）。

●一般電話などからの場合〈ユニバーサルナンバー〉

ユニバーサルナンバー用国際電話識別番号（表2） **-800-0120-0151***

*滞在国内通話料などがかかる場合があります。

※主要国の国際電話アクセス番号（表1）／ユニバーサルナンバー用国際電話識別番号（表2）は、取扱説明書P476をご覧ください。

## 海外での故障に関して〈ネットワークテクニカルオペレーションセンター〉（24時間受付）

●ドコモの携帯電話の場合

滞在国の国際電話アクセス番号（表1） **-81-3-6718-1414***（無料）

*一般電話などでかけた場合には、日本向け通話料がかかります。

※F904iからご利用の場合は、+81-3-6718-1414でつながります（「+」は「0」キーを1秒以上押します）。

●一般電話などからの場合〈ユニバーサルナンバー〉

ユニバーサルナンバー用国際電話識別番号（表2） **-800-5931-8600***

*滞在国内通話料などがかかる場合があります。

※主要国の国際電話アクセス番号（表1）／ユニバーサルナンバー用国際電話識別番号（表2）は、取扱説明書P476をご覧ください。

**●紛失・盗難などにあわれたら、速やかに利用中断手続きをお取りください。**
**●お客様が購入されたFOMA端末に故障が発生した場合は、ご帰国後にドコモ指定の故障取扱窓口へご持参ください。**

**マナーもいっしょに携帯しましょう。**

○公共の場所で携帯電話をご利用の際は、周囲の方への心くばりを忘れずに。


販売元　NTT DoCoMo グループ

株式会社NTTドコモ北海道　株式会社NTTドコモ東北　株式会社NTTドコモ
株式会社NTTドコモ東海　株式会社NTTドコモ北陸　株式会社NTTドコモ関西
株式会社NTTドコモ中国　株式会社NTTドコモ四国　株式会社NTTドコモ九州

製造元 富士通株式会社


環境保全のため、不要になった電池はNTT DoCoMoまたは代理店、リサイクル協力店などにお持ちください。

植林材を80%利用しています。

'08.11（4.3版）
CA92002-5080

# FOMA® F904i
# データ通信マニュアル



■ データ通信マニュアルについて
本マニュアルでは、FOMA F904iでデータ通信をする際に必要な事項についての説明をはじめ、CD-ROM内の「F904i通信設定ファイル（ドライバ）」「FOMA PC設定ソフト」のインストール方法などを説明しています。

■ Windowsの操作について
本マニュアルは、Windows XP Service Pack 2 に対応した内容となっております。お使いの環境によっては操作手順や画面が一部異なる場合があります。

'07. 5（1版）
CA92002-5085

# データ通信について

**別売りのFOMA USB接続ケーブルを使ってパソコンとFOMA端末を接続し、データ通信が利用できます。**

## 利用できる通信形態

利用できる通信形態は、パケット通信、64Kデータ通信、データ転送の3つに分類されます。
- パソコンと接続してパケット通信や64Kデータ通信を行ったり、電話帳などのデータを編集したりするには、付属のCD-ROMからソフトのインストールや各種設定を行う必要があります。
- OSをアップグレードして使用されている場合の動作は保証いたしかねます。
- 海外ではパケット通信や64Kデータ通信の利用はできません。また、IP接続には対応しておりません。
- FOMA端末は、FAX通信やRemote Wakeupには対応しておりません。
- ドコモのPDA、museaやsigmarion Ⅱ、sigmarion Ⅲと接続してデータ通信が行えます。ただし、museaやsigmarion Ⅱをご利用の場合は、これらのアップデートが必要です。アップデートの方法などの詳細は、ドコモのホームページをご覧ください。

### パケット通信

送受信したデータ量に応じて課金されるため、メールの送受信など、比較的少ないデータ量を高速でやりとりする場合に適しています。ネットワークに接続していても、データの送受信を行っていないときには通信料がかからないため、ネットワークに接続したまま必要なときにデータを送受信するという使いかたができます。
ドコモのインターネット接続サービスmopera Uやmoperaなど、FOMAのパケット通信に対応したアクセスポイントを利用して、受信最大384kbps、送信最大64kbpsの高速パケット通信ができます。通信環境や混雑状況の影響により通信速度が変化するベストエフォートによる提供です。
画像を含むホームページの閲覧やデータのダウンロードなど、データ量の多い通信を行った場合には通信料が高額になりますのでご注意ください。

### 64Kデータ通信

データ量に関係なく、ネットワークに接続している時間の長さに応じて課金されるため、マルチメディアコンテンツのダウンロードなど、比較的データ量の多い送受信を行う場合に適しています。
ドコモのインターネット接続サービスmopera Uやmoperaなど、FOMA 64Kデータ通信に対応したアクセスポイント、またはISDN同期64kbpsのアクセスポイントを利用して、64kbpsの安定した通信速度でデータを送受信できます。
長時間通信を行った場合には通信料が高額になりますのでご注意ください。

### データ転送

電話帳やメールなどのデータを送受信する、課金が発生しない通信形態です。
- 赤外線通信／iC通信を使っても、他のFOMA端末や携帯電話、パソコンなどとデータを送受信できます。

# ご利用になる前に

## 動作環境について

データ通信を利用するためのパソコンの動作環境は、次のとおりです。

| 項　目 | 必要環境 |
|---|---|
| パソコン本体 | USBポート（USB仕様1.1／2.0に準拠）を持つPC/AT互換機 |
| OS（各日本語版） | Windows 2000、Windows XP、Windows Vista |
| 必要メモリ※ | Windows 2000：64MB以上　Windows XP：128MB以上<br>Windows Vista：512MB以上 |
| ハードディスク容量※ | 5MB以上の空き容量 |

※ FOMA PC設定ソフトの動作環境です。パソコンのシステム構成によっては異なる場合があります。
- 動作環境によってはご使用になれない場合があります。
- 上記の動作環境以外でのご使用について、当社では責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

CD-ROMをパソコンにセットすると、次のような警告画面が表示される場合があります。この警告は、Internet Explorerのセキュリティの設定によって表示されますが、使用には問題ありません。［はい］をクリックしてください。
※ 画面はWindows XPを使用した場合の例です。お使いのパソコンの環境により異なる場合があります。

## 必要な機器について

FOMA端末とパソコン以外に、次の機器が必要です。
- 別売りのFOMA USB接続ケーブルまたはFOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01
- 付属のCD-ROM「FOMA® F904i用CD-ROM」

※ USBケーブルは専用のFOMA USB接続ケーブルまたはFOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01をお買い求めください。パソコン用のUSBケーブルはコネクタ部の形状が異なるため利用できません。
※ 本マニュアルでは、FOMA USB接続ケーブルでの場合を例に説明しています。

## ご利用時の留意事項

### インターネットサービスプロバイダの利用料について

パソコンでインターネットを利用する場合、通常ご利用になるインターネットサービスプロバイダ（以降プロバイダ）の利用料が必要です。この利用料は、FOMAサービスの利用料とは別に直接プロバイダにお支払いいただきます。利用料の詳細は、ご利用のプロバイダにお問い合わせください。
- ドコモのインターネット接続サービスmopera Uやmoperaがご利用いただけます。
  mopera Uはお申し込みが必要な有料サービスです。使用した月だけ月額使用料がかかるプランもご利用いただけます。FOMA端末でのインターネット接続には、ブロードバンド接続オプションなどに対応したmopera Uのご利用をおすすめします。
  moperaはお申し込みが不要で、月額使用料は無料です。今すぐインターネットに接続したい方に便利なサービスです。

## 接続先（プロバイダなど）について

パケット通信と64Kデータ通信では接続先が異なります。パケット通信を行うときはパケット通信対応の接続先、64Kデータ通信を行うときはFOMA64Kデータ通信、またはISDN同期64kbps対応の接続先をご利用ください。

● PIAFSなどのPHS64K／32Kデータ通信やDoPaのアクセスポイントには接続できません。

## ユーザー認証について

接続先によっては、接続時にユーザー認証が必要な場合があります。その場合は、通信ソフトまたはダイヤルアップネットワークでIDとパスワードを入力してください。IDとパスワードはプロバイダまたは社内LANなど接続先のネットワーク管理者から付与されます。詳細はプロバイダまたはネットワーク管理者にお問い合わせください。

## パソコンのブラウザを利用してのアクセス認証について

パソコンのブラウザを利用してのアクセス認証でFirstPass（ユーザ証明書）が必要な場合は、付属のCD-ROMからFirstPass PCソフトをインストールし、設定してください。詳細は付属のCD-ROM内の「FirstPassManual」をご覧ください。

## パケット通信および64Kデータ通信の条件

FOMA端末で通信を行うには、次の条件が必要です。

- FOMAサービスエリア内であること
- パケット通信の場合、アクセスポイントがFOMAのパケット通信に対応していること
- 64Kデータ通信の場合、接続先がFOMA64Kデータ通信、またはISDN同期64kbpsに対応していること

※ 上記の条件が整っていても、基地局が混雑していたり、電波状況が悪かったりするときは通信できない場合があります。

# データ通信の準備の流れ

パケット通信および64Kデータ通信を利用する場合の準備について説明します。

## 通信設定ファイル（ドライバ）について

パソコンに接続してパケット通信または64Kデータ通信を行うには、通信設定ファイルをインストールする必要があります。

## FOMA PC設定ソフトについて

付属のCD-ROMからFOMA PC設定ソフトをパソコンにインストールすると、パケット通信または64Kデータ通信を行うために必要なさまざまな設定を、パソコンから簡単な操作で設定できます。

## インストール／アンインストール前の注意点

- 操作を始める前に他のプログラムが稼動中でないことを確認し、稼動中のプログラムがある場合は終了してください。
- 通信設定ファイルやFOMA PC設定ソフトのインストール／アンインストールを行う場合は、必ずパソコンの管理者権限を持ったユーザーで行ってください。それ以外のユーザーで行うとエラーになる場合があります。Windows Vistaの場合、「ユーザーアカウント制御」画面が表示されたときは、「許可」または［続行］をクリックしてください。パソコンの管理者権限の設定操作については、各パソコンメーカやマイクロソフト社にお問い合わせください。
- パソコンの操作方法、管理者権限の設定などについては、パソコンの取扱説明書をご覧ください。

### ■ データ通信の用語集

- **APN（Access Point Name）**
  パケット通信で接続するプロバイダなどを識別する文字列。たとえば、mopera Uは「mopera.net」がAPNとなります。
- **cid（Context Identifier）**
  FOMA端末内に登録するパケット通信での接続先（APN）を管理する番号。FOMA端末では1から10までの10件が使えます。
- **DNS（Domain Name System）**
  ドメインネーム（例：nttdocomo.co.jp）を、コンピュータで使うIPアドレスに変換するシステムのことです。
- **OBEX（Object Exchange）**
  データ通信の国際規格の1つ。OBEXに対応している携帯電話、パソコン、デジタルカメラ、プリンタなどの間で、データの送受信ができます。
- **QoS（Quality of Service）**
  サービスの品質。通信時にユーザーの意図どおりに回線を利用するための技術。FOMA端末では、接続するときの通信速度などを設定できます。
- **通信設定最適化（W-TCP）**
  FOMAネットワークでパケット通信を行う際に、TCP/IPの伝送能力を最大限に生かすためのTCPパラメータ。FOMA端末の通信性能を最大限に活用するには、この通信設定が必要です。
- **管理者権限**
  OSのシステムなどすべてにアクセスできる権限のこと。1台のパソコンに最低1人は、パソコンの管理者権限を持つユーザーが設定されています。通常、パソコンの管理者権限がないユーザーは、ドライバやソフトなどのインストール／アンインストールができません。

# パソコンとFOMA端末を接続する

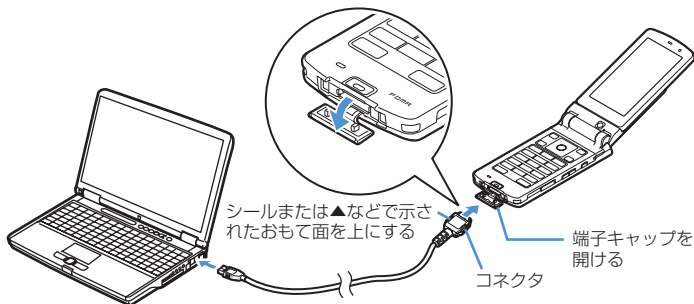
- パソコンとFOMA端末は、電源が入っている状態で接続してください。
- 初めてパソコンに接続する場合は、あらかじめ通信設定ファイル（ドライバ）をインストールしてください。→P7

## FOMA USB接続ケーブルで接続する

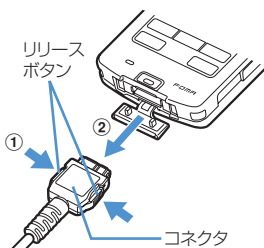
- FOMA USB接続ケーブルは別売りです。

**1** FOMA USB接続ケーブルのコネクタをFOMA端末の外部接続端子に差し込む

**2** FOMA USB接続ケーブルのパソコン側をパソコンのUSBポートに差し込む

- 通信設定ファイルのインストール前にパソコンに接続した場合は、FOMA USB接続ケーブルが差し込まれたことを自動的に認識してドライバが要求され、ウィザード画面が表示されます。その場合は、FOMA端末を取り外し、ウィザード画面で［キャンセル］をクリックして終了してください。

- パソコンとFOMA端末が接続されると、FOMA端末の待受画面にが表示されます。

### 取り外しかた

**1** FOMA USB接続ケーブルのコネクタのリリースボタンを押し（①）、FOMA端末から引き抜く（②）

**2** パソコンからFOMA USB接続ケーブルを引き抜く

**お知らせ**

- FOMA端末からFOMA USB接続ケーブルを抜き差しする際は、コネクタ部分に無理な力がかからないように注意してください。取り外すときは、必ずリリースボタンを押しながら水平に引き抜いてください。無理に引き抜こうとすると故障の原因となります。
- データ通信中にFOMA USB接続ケーブルを外さないでください。データ通信が切断され、誤動作やデータ消失の原因となります。

# 通信設定ファイル（ドライバ）をインストールする

FOMA端末をパソコンに接続してデータ通信を行うには、通信設定ファイルが必要です。使用するパソコンにFOMA端末を初めて接続する前に、インストールしておきます。

## 通信設定ファイル（ドライバ）をインストールする

- 操作の前に、必ず「インストール／アンインストール前の注意点」をご覧ください。→P5
- 操作4までFOMA端末を接続しないでください。

〈例〉Windows XPにインストールするとき

### 1 CD-ROMをパソコンにセット

- メニューが動作する推奨環境はMicrosoft Internet Explorer6.0以降です。お使いのパソコンが推奨環境を満たさないときや、CD-ROMをセットしてもメニューが表示されない場合は次の手順で操作してください。
  ① ［スタート］→「ファイル名を指定して実行」を順にクリック
  Windows Vistaのとき：（スタート）→「すべてのプログラム」→「アクセサリ」→「ファイル名を指定して実行」を順にクリック
  ②「名前」に<CD-ROMドライブ名>:¥USBDriver¥F904i_USB_Driver¥F904ist.exeと入力して[OK]をクリックし、操作3に進む。
  ※ CD-ROMドライブ名はお使いのパソコンによって異なります。

### 2 ［データリンクソフト・各種設定ソフト］→「FOMA通信設定ファイル(USBドライバ)」の［インストール］を順にクリックし、表示されるウィンドウから「F904ist.exe」アイコンをダブルクリック

### 3 ［インストール開始］をクリック

## 4 FOMA端末をパソコンに接続する旨のメッセージが表示されたら、FOMA端末をパソコンに接続

- FOMA端末は電源の入った状態で接続してください。

## 5 インストール中画面の表示後に、[OK] をクリック

**お知らせ**

- インストールには数分かかる場合があります。
- Windowsを再起動する旨のメッセージが表示された場合は、画面の指示に従い再起動してください。
- データ通信中にインストールを行わないでください。

## 通信設定ファイル（ドライバ）を確認する

● FOMA端末がパソコンに正しく認識されていない場合、設定および通信はできません。

〈例〉Windows XPで確認するとき

## 1 [スタート] →「コントロールパネル」→ [パフォーマンスとメンテナンス] アイコン→ [システム] アイコンを順にクリック

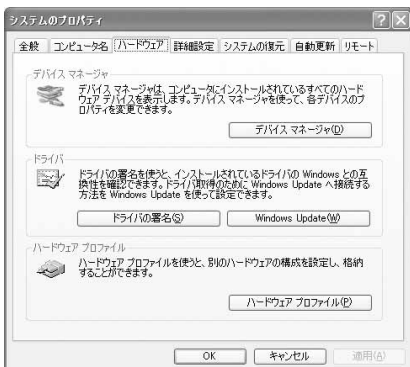
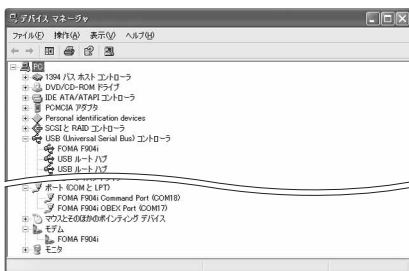
### ■ Windows 2000のとき

[スタート] をクリック→「設定」から「コントロールパネル」をクリック→ [システム] アイコンをダブルクリック

### ■ Windows Vistaのとき

(スタート) →「コントロールパネル」→「システムとメンテナンス」→「デバイスマネージャ」を順にクリック

操作3に進みます。

## 2 [ハードウェア] タブをクリック→ [デバイス マネージャ] をクリック

## 3 各デバイスの種類をダブルクリック→次のデバイス名が登録されていることを確認

- デバイスの種類とデバイス名は次のとおりです。表示される順番はOSにより異なります。
  - USB（Universal Serial Bus）またはユニバーサルシリアルバスコントローラ：FOMA F904i
  - ポート（COMとLPT）：
    FOMA F904i Command Port（COMx）※
    FOMA F904i OBEX Port（COMx）※
  - モデム：FOMA F904i

  ※ x はパソコンの環境により、異なった数字が表示されます。

## 通信設定ファイル（ドライバ）をアンインストールする

● 操作の前に、必ず「インストール／アンインストール前の注意点」をご覧ください。→P5
● 操作の前に、パソコンからFOMA端末を取り外してください。

〈例〉Windows XP でアンインストールするとき

## 1 ［スタート］→「コントロールパネル」→［プログラムの追加と削除］アイコンを順にクリック

■ Windows 2000のとき

［スタート］をクリック→「設定」から「コントロールパネル」をクリック→［アプリケーションの追加と削除］アイコンをダブルクリック

■ Windows Vistaのとき

（スタート）→「コントロールパネル」→「プログラムのアンインストール」を順にクリック

## 2 「プログラムの追加と削除」画面で「FOMA F904i USB」を選択して［変更と削除］をクリック

■ Windows 2000のとき

「アプリケーションの追加と削除」画面で「FOMA F904i USB」を選択して［変更と削除］をクリック

■ Windows Vistaのとき

「プログラムのアンインストールまたは変更」画面で「FOMA F904i USB」を選択して「アンインストールと変更」をクリック

## 3 「FOMA F904i Uninstaller」と表示されていることを確認して［はい］をクリック

ドライバのアンインストールを開始します。

## 4 ドライバのアンインストール中画面の表示後に［OK］をクリック

**お知らせ**

- 削除画面で「FOMA F904i USB」が表示されていないときは、再度「通信設定ファイル（ドライバ）をインストールする」の操作を行ったあとに、アンインストールを行ってください。→P7

# FOMA PC設定ソフトを利用して通信する

**FOMA PC設定ソフトを利用すると、簡単な操作で通信の設定が行えます。**

## FOMA PC設定ソフトについて

**かんたん設定**

ガイドに従い操作することで、FOMAデータ通信用ダイヤルアップの作成を行い、同時に通信設定最適化などを行います。

**通信設定最適化**

パケット通信を利用する前に、パソコン内の通信設定を最適化します。通信性能を最大限に活用するには、通信設定最適化が必要になります。

**接続先（APN）の設定**

パケット通信を行う際に必要な接続先（APN）の設定を行います。接続先には通常の電話番号は使用しません。あらかじめ接続先ごとに、FOMA端末にAPNと呼ばれる接続先名を設定し、その登録番号（cid）を接続先電話番号の入力欄に指定して接続します。お買い上げ時、cidの1にはmoperaに接続するためのAPN「mopera.ne.jp」が、3にはmopera Uに接続するためのAPN「mopera.net」が登録されていますが、その他のプロバイダや社内LANに接続する場合はAPN設定が必要です。

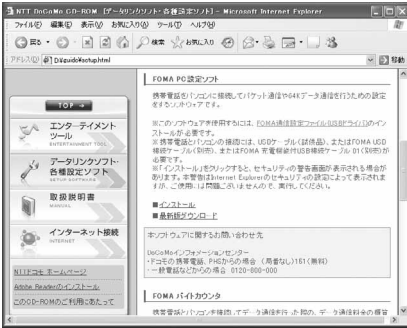
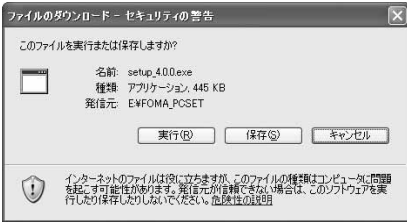
## FOMA PC設定ソフトをインストールする

- 旧W-TCP環境設定ソフト、旧FOMAデータ通信設定ソフト、バージョンが4.0.0より前のFOMA PC設定ソフトをインストールされている場合は、あらかじめそれらのソフトをアンインストールしてください。
FOMA PC設定ソフトのバージョンを確認するには、［スタート］をクリック→「すべてのプログラム」（Windows 2000の場合は「プログラム」）→「FOMA PC設定ソフト」を順に選択して「FOMA PC設定ソフト」をクリック→「メニュー」をクリック→「バージョン情報」をクリックします。
- 操作の前に、必ず「インストール／アンインストール前の注意点」をご覧ください。→P5

〈例〉Windows XPにインストールするとき

### 1 CD-ROMをパソコンにセット

- メニューが動作する推奨環境はMicrosoft Internet Explorer6.0以降です。お使いのパソコンが推奨環境を満たさないときや、CD-ROMをセットしてもメニューが表示されない場合は次の手順で操作してください。
  ①［スタート］→「ファイル名を指定して実行」を順にクリック
  Windows Vistaのとき：（スタート）→「すべてのプログラム」→「アクセサリ」→「ファイル名を指定して実行」を順にクリック
  ②「名前」に「<CD-ROMドライブ名>：¥FOMA_PCSET¥setup_4.0.0.exe」を入力して［OK］をクリックし、操作3に進む
  ※ CD-ROMドライブ名はお使いのパソコンによって異なります。

## 2 ［データリンクソフト・各種設定ソフト］→「FOMA PC設定ソフト」の［インストール］を順にクリック

- ［インストール］をクリックすると、次のような警告画面が表示される場合があります。この警告は、Internet Explorerのセキュリティの設定によって表示されますが、使用には問題ありません。［実行］または［実行する］をクリックしてください。
  ※ 画面はお使いのパソコンの環境により異なる場合があります。

## 3 「FOMA PC設定ソフト セットアップへようこそ」画面で［次へ］をクリック

## 4 「使用許諾契約」画面で内容を確認の上、契約内容に同意する場合は［はい］をクリック

- ［いいえ］をクリックすると、インストールを中止します。

■ Windows Vistaのとき

操作6に進みます。

## 5 「セットアップタイプ」画面で「タスクトレイに常駐する」を選択して［次へ］をクリック

セットアップ後、タスクトレイに「通信設定最適化」が常駐します。→P25

- インストール後に常駐の設定は変更できます。

## 6 「インストール先の選択」画面でインストール先を確認して［次へ］をクリック

- 変更する場合は［参照］をクリックし、任意のインストール先を指定して［OK］をクリックします。

## 7 「プログラム フォルダ」のフォルダ名を確認して［次へ］をクリック

- 変更する場合はフォルダ名を入力し、［次へ］をクリックします。

## 8 ［完了］をクリック

FOMA PC設定ソフトが起動します。このまま各種設定に進みます。

**お知らせ**

- 旧W-TCP環境設定ソフト、旧FOMAデータ通信設定ソフト、FOMA PC設定ソフトがインストールされている場合は、インストールを中断する旨のメッセージが表示されます。［OK］をクリックし、プログラムの追加と削除またはアプリケーションの追加と削除から、これらのソフトをアンインストールしてください。
- インストールの途中で［キャンセル］や［いいえ］をクリックした場合は、インストールを中断する確認画面が表示されます。インストールを継続する場合は［いいえ］をクリックしてください。中断する場合は［はい］をクリックし、［完了］をクリックしてください。

# かんたん設定でパケット通信を設定する

FOMA PC設定ソフトのかんたん設定では、表示される内容に従って選択や入力を進めていくと、簡単にFOMA用ダイヤルアップを作成できます。

● 操作の前に、必ずパソコンとFOMA端末が正しく接続されていることを確認してください。→P6
● Windows Vistaをお使いの場合は、一部画面が異なります。

## mopera U／moperaを利用する場合

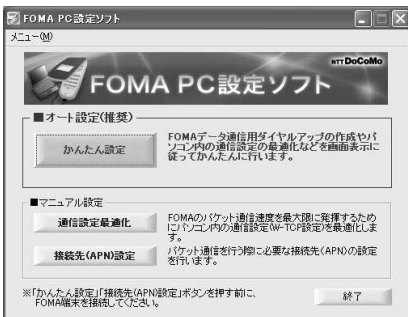
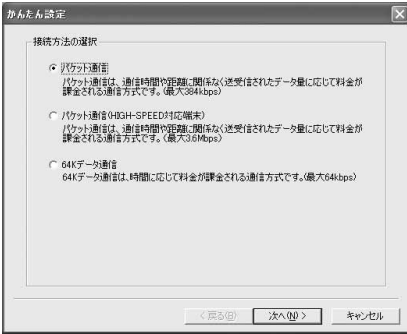
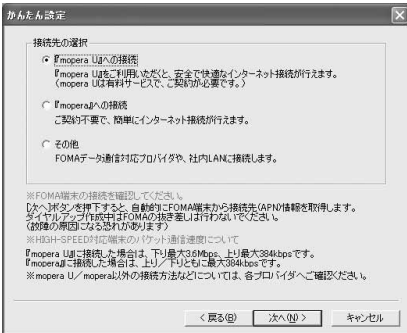
〈例〉Windows XPで設定するとき

## 1 ［スタート］をクリック→「すべてのプログラム」→「FOMA PC設定ソフト」を順に選択して「FOMA PC設定ソフト」をクリック→［かんたん設定］をクリック

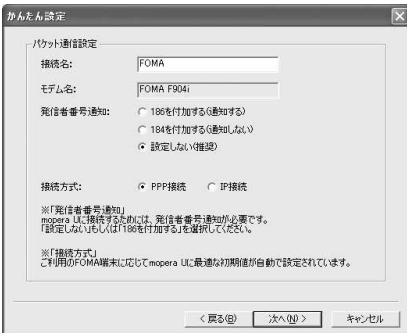
### ■ Windows 2000のとき

［スタート］をクリック→「プログラム」→「FOMA PC設定ソフト」を順に選択して「FOMA PC設定ソフト」をクリック→［かんたん設定］をクリック

### ■ Windows Vistaのとき

（スタート）→「すべてのプログラム」→「FOMA PC設定ソフト」→「FOMA PC設定ソフト」→［かんたん設定］を順にクリック

## 2 「パケット通信」を選択して［次へ］をクリック

## 3 「『mopera U』への接続」または「『mopera』への接続」を選択して［次へ］をクリック

- 「『mopera U』への接続」を選択して［次へ］をクリックすると、ご契約の確認メッセージが表示されます。ご契約がお済みの場合、［はい］をクリックします。

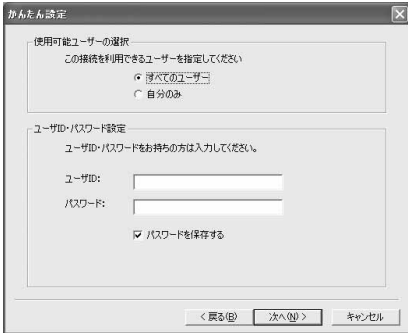
## 4 「FOMA端末設定取得」画面で［OK］をクリック

## 5 「接続名」に任意の接続名を入力→「設定しない（推奨）」または「186を付加する（通知する）」を選択→「PPP接続」を選択→［次へ］をクリック

- 「接続名」の先頭に．（半角文字）は使用できません。また、次の記号（半角文字）は使用できません。
  ￥/:＊?!<>｜”
- mopera UはPPP接続、IP接続ともに対応しております。moperaはPPP接続のみに対応しております。ただし、本FOMA端末は、IP接続には対応しておりません。

## 6 「使用可能ユーザーの選択」を設定して［次へ］をクリック

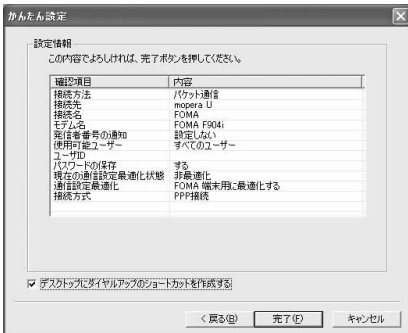
■ Windows Vistaのとき

［次へ］をクリック

操作8に進みます。

- 「ユーザID」「パスワード」は空欄でもかまいません。

## 7 「最適化を行う」が選択されていることを確認して［次へ］をクリック

- すでに最適化されている場合、この画面は表示されません。

## 8 「設定情報」を確認して［完了］をクリック

## 9 ［OK］をクリック

設定した内容によっては、パソコンを再起動する必要があります。再起動する旨のメッセージが表示された場合は［はい］をクリックしてください。

通信を実行する→P23

## その他のプロバイダを利用する場合

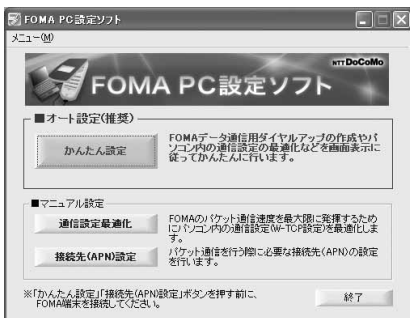
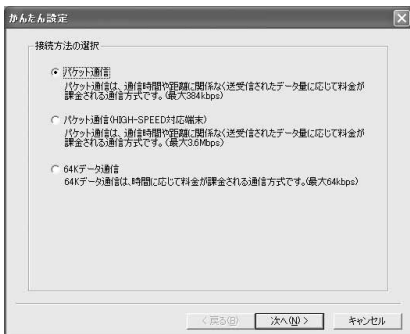
〈例〉Windows XPで設定するとき

**1** ［スタート］をクリック→「すべてのプログラム」→「FOMA PC設定ソフト」を順に選択して「FOMA PC設定ソフト」をクリック→［かんたん設定］をクリック

■ Windows 2000のとき

［スタート］をクリック→「プログラム」→「FOMA PC設定ソフト」を順に選択して「FOMA PC設定ソフト」をクリック→［かんたん設定］をクリック

■ Windows Vistaのとき

（スタート）→「すべてのプログラム」→「FOMA PC設定ソフト」→「FOMA PC設定ソフト」→［かんたん設定］を順にクリック

**2** 「パケット通信」を選択して［次へ］をクリック

## 3 「その他」を選択して「次へ」をクリック

## 4 「FOMA端末設定取得」画面で［OK］をクリック

## 5 「接続名」に任意の接続名を入力→［接続先（APN）設定］をクリック

- 発信者番号通知の設定については、プロバイダなどから提供された各種情報に従ってください。
- 「186を付加する（通知する）」を選択すると、通信実行時に発信者番号を通知します。
- 「接続名」の先頭に．（半角文字）は使用できません。また、次の記号（半角文字）は使用できません。
￥/:＊?!<>｜”
- プロバイダなどからIPおよびDNS情報の設定が指示されている場合は、［詳細情報の設定］をクリックし、各種情報を登録してください。

## 6 ［追加］をクリック

番号（cid）1にはmoperaに接続するためのAPN「mopera.ne.jp」が、3にはmopera Uに接続するためのAPN「mopera.net」が設定されています。番号（cid）2または4～10に接続先（APN）を設定してください。

## 7 「接続先（APN)」にプロバイダなどのFOMAパケット網に対応した接続先（APN）を正しく入力→「PPP接続」を選択→［OK］をクリック

- 「接続先（APN)」には半角文字で、英数字、ハイフン（ - )、ピリオド（ . ）のみ使用できます。
- 本FOMA端末は、IP接続には対応しておりません。

## 8 ［OK］をクリック

## 9 「接続先（APN）の選択」の接続先名を確認して［次へ］をクリック

「接続先（APN）の選択」には、操作7で設定した「接続先（APN)」と「接続方式」が表示されます。

## 10 「使用可能ユーザーの選択」を設定→「ユーザID」を入力→「パスワード」を入力→［次へ］をクリック

■ Windows Vistaのとき

「ユーザID」を入力→「パスワード」を入力→「次へ」をクリック

操作12に進みます。

- 「ユーザID」「パスワード」には、プロバイダなどから提供された各種情報を、大文字、小文字などに注意し、正しく入力してください。

## 11 「最適化を行う」が選択されていることを確認して［次へ］をクリック

- すでに最適化されている場合、この画面は表示されません。

## 12 「設定情報」を確認して［完了］をクリック

## 13 ［OK］をクリック

設定した内容によっては、パソコンを再起動する必要があります。再起動する旨のメッセージが表示された場合は［はい］をクリックしてください。

通信を実行する→P23

## かんたん設定で64Kデータ通信を設定する

### mopera U／moperaを利用する場合

〈例〉Windows XPで設定するとき

**1** ［スタート］をクリック→「すべてのプログラム」→「FOMA PC設定ソフト」を順に選択して「FOMA PC設定ソフト」をクリック→［かんたん設定］をクリック

■ Windows 2000のとき

［スタート］をクリック→「プログラム」→「FOMA PC設定ソフト」を順に選択して「FOMA PC設定ソフト」をクリック→［かんたん設定］をクリック

■ Windows Vistaのとき

（スタート）→「すべてのプログラム」→「FOMA PC設定ソフト」→「FOMA PC設定ソフト」→［かんたん設定］を順にクリック

**2** 「64Kデータ通信」を選択して「次へ」をクリック

## 3 「『mopera U』への接続」または「『mopera』への接続」を選択して［次へ］をクリック

- 「『mopera U』への接続」を選択して［次へ］をクリックすると、ご契約の確認メッセージが表示されます。ご契約がお済みの場合、［はい］をクリックします。

## 4 「接続名」に任意の接続名を入力→「モデムの選択」が「FOMA F904i」に設定されていることを確認→「設定しない」または「186を付加する（通知する）」を選択→［次へ］をクリック

- 「接続名」の先頭に．（半角文字）は使用できません。また、次の記号（半角文字）は使用できません。
￥/:＊?!<> | ”

## 5 「使用可能ユーザーの選択」を設定して［次へ］をクリック

### ■ Windows Vistaのとき

［次へ］をクリック

- 「ユーザID」「パスワード」は空欄でもかまいません。

## 6 「設定情報」を確認して［完了］をクリック

## 7 ［OK］をクリック

通信を実行する→P23

## その他のプロバイダを利用する場合

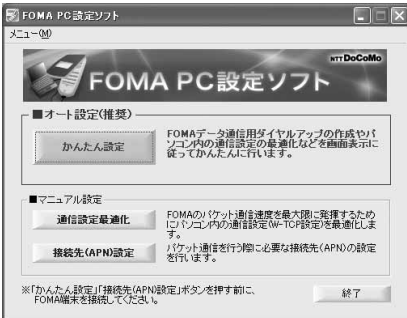
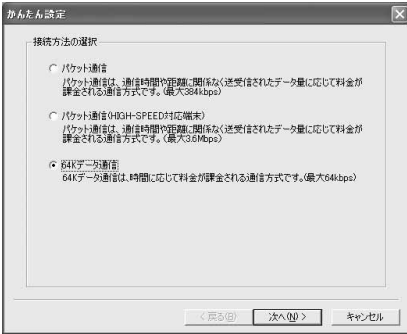
〈例〉Windows XPで設定するとき

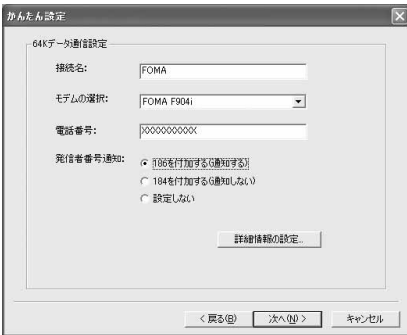
## 1 ［スタート］をクリック→「すべてのプログラム」→「FOMA PC設定ソフト」を順に選択して「FOMA PC設定ソフト」をクリック→［かんたん設定］をクリック

■ Windows 2000のとき

［スタート］をクリック→「プログラム」→「FOMA PC設定ソフト」を順に選択して「FOMA PC設定ソフト」をクリック→［かんたん設定］をクリック

■ Windows Vistaのとき

（スタート）→「すべてのプログラム」→「FOMA PC設定ソフト」→「FOMA PC設定ソフト」→［かんたん設定］を順にクリック

## 2 「64Kデータ通信」を選択して「次へ」をクリック

## 3 「その他」を選択して「次へ」をクリック

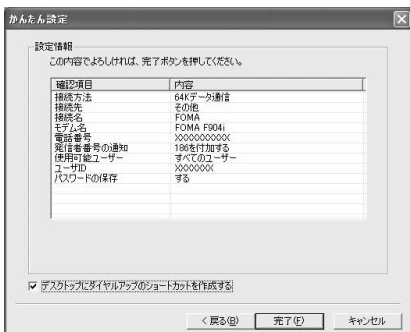
## 4 「接続名」に任意の接続名を入力→「モデムの選択」が「FOMA F904i」に設定されていることを確認→「電話番号」に接続先の電話番号を半角で入力→［次へ］をクリック

- 「接続名」の先頭に .（半角文字）は使用できません。また、次の記号（半角文字）は使用できません。
  ¥/:＊?!<>｜”
- 「電話番号」はプロバイダなどから提供された情報を基に正しく入力してください。次の文字（半角文字）と半角空白が使用できます。
  0123456789ABCDPTWabcdptw!@$-.( )+＊#,&
- 発信者番号通知の設定については、プロバイダなどから提供された各種情報に従ってください。
- 「186を付加する（通知する）」を選択すると、通信実行時に発信者番号を通知します。
- プロバイダなどからIPおよびDNS情報の設定が指示されている場合は、［詳細情報の設定］をクリックし、各種情報を登録してください。

## 5 「使用可能ユーザーの選択」を設定→「ユーザID」を入力→「パスワード」を入力→［次へ］をクリック

■ Windows Vistaのとき

「ユーザID」を入力→「パスワード」を入力→［次へ］をクリック

- 「ユーザID」「パスワード」には、プロバイダなどから提供された各種情報を、大文字、小文字などに注意し、正しく入力してください。

## 6 「設定情報」を確認して［完了］をクリック

## 7 ［OK］をクリック

通信を実行する→P23

## 通信を実行する

通信の実行や切断について説明します。

〈例〉Windows XPで実行するとき

## 1 パソコンとFOMA端末を接続

接続方法→P6

## 2 デスクトップの接続アイコンをダブルクリック（Windows Vistaの場合はクリック）

Windows XP

Windows 2000

Windows Vista

- 接続アイコンが表示されていない場合は、次のスタートメニューからの接続方法を利用してください。

■ Windows XPのスタートメニューから接続するとき

［スタート］をクリック→「すべてのプログラム」→「アクセサリ」→「通信」を順に選択して「ネットワーク接続」をクリック→接続アイコンをダブルクリック

■ Windows 2000のスタートメニューから接続するとき

［スタート］をクリック→「プログラム」→「アクセサリ」→「通信」を順に選択して「ネットワークとダイヤルアップ接続」をクリック→接続アイコンをダブルクリック

■ Windows Vistaのスタートメニューから接続するとき

（スタート）→「接続先」を順にクリック→接続先を選択して［接続］をクリック

## 3 「ユーザー名」を入力→「パスワード」を入力→［ダイヤル］をクリック

- mopera Uまたはmoperaを利用する場合、「ユーザー名」「パスワード」は空欄でもかまいません。
- 設定中に「ユーザー名」の入力や「パスワード」の保存をした場合、入力は不要です。
- 接続完了画面が表示された場合は［OK］をクリックしてください。

### お知らせ

- FOMA端末には、パケット通信を実行すると発信中画面が、64Kデータ通信を実行すると呼出中画面が表示され、接続すると次の画面が表示されます。

パケット通信のとき

64Kデータ通信のとき

- パソコンに表示される通信速度は、実際の通信速度とは異なる場合があります。
- 通信を実行する場合、アイコン作成時のFOMA端末を接続した場合のみ有効です。

## 通信を切断する

パソコンのブラウザを終了しただけでは切断されない場合があります。確実に切断するには、次の操作を行ってください。

〈例〉Windows XPで通信を切断するとき

### 1 タスクトレイの をクリック→［切断］をクリック

■ Windows Vistaのとき

タスクトレイの を右クリック→「切断」を選択して切断する接続先をクリック

# パケット通信の設定を最適化する<通信設定最適化>

通信設定最適化とは、Windows 2000、Windows XPをお使いの場合に、FOMAネットワークでパケット通信を行う際にTCP/IPの伝送能力を最適化するためのTCPパラメータ設定ツールです。FOMA端末の通信性能を最大限に活用するには、この設定が必要です。

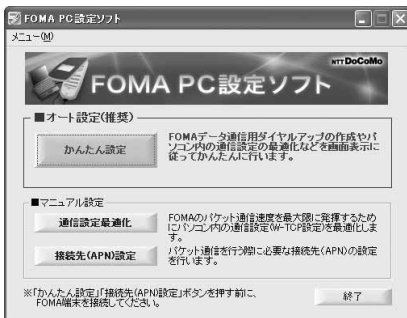
通信設定最適化を利用してパソコンのパケット通信の設定をFOMAネットワーク用に最適化する方法と、最適化を解除する方法について説明します。

## Windows XPでの最適化の設定と解除

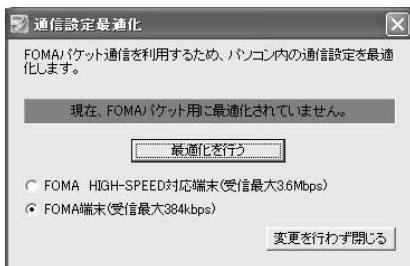
Windows XPの場合は、ダイヤルアップごとに最適化できます。

### 1 ［スタート］をクリック→「すべてのプログラム」→「FOMA PC設定ソフト」を順に選択して「FOMA PC設定ソフト」をクリック→［通信設定最適化］をクリック

■ タスクトレイから通信設定最適化を起動するとき

タスクトレイの をクリック

## 2 次の操作を行う

### ■ システム設定が最適化されていないとき

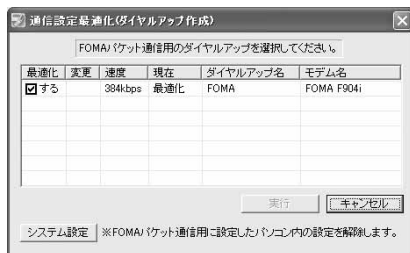
①「通信設定最適化」画面で［最適化を行う］をクリック

- 「FOMA端末（受信最大384kbps）」が選択されていることを確認します。

②最適化するダイヤルアップを選択して［実行］をクリック

③［OK］をクリック

システム設定、ダイヤルアップ設定それぞれの最適化が実行されます。

### ■ システム設定が最適化されているとき

内容を変更する場合は設定を行ってください。

### ■ 最適化を解除するとき

- 64Kデータ通信を行う場合や、FOMA端末以外で通信を行う場合に解除します。

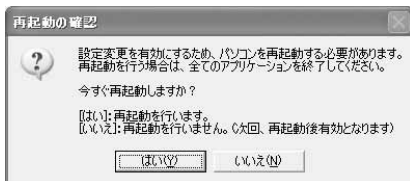
①「通信設定最適化（ダイヤルアップ作成）」画面で解除するダイヤルアップの「最適化」欄の ☑ をクリック

- 「最適化」欄の「する」が非選択（☐）になったことを確認します。

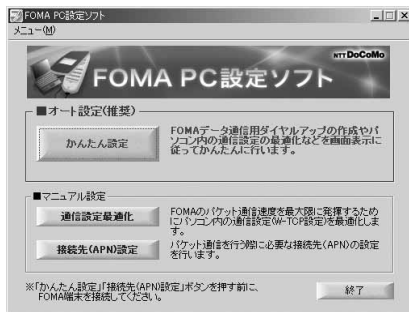
②［実行］をクリック

③［OK］をクリック

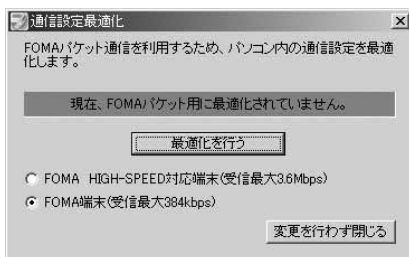
## 3 画面に従ってパソコンを再起動

## Windows 2000での最適化の設定と解除

**1** ［スタート］をクリック→「プログラム」→「FOMA PC設定ソフト」を順に選択して「FOMA PC設定ソフト」をクリック→［通信設定最適化］をクリック

■ タスクトレイから通信設定最適化を起動するとき

タスクトレイの をクリック

**2** 次の操作を行う

■ システム設定が最適化されていないとき

① ［最適化を行う］をクリック

- 「FOMA端末（受信最大384kbps）」が選択されていることを確認します。

② ［OK］をクリック

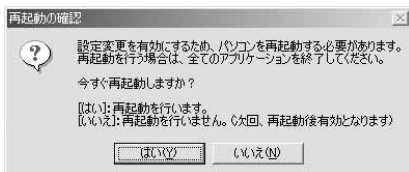
■ システム設定が最適化されているとき

- 64Kデータ通信を行う場合や、FOMA端末以外で通信を行う場合などに解除します。

① ［最適化を解除する］をクリック

- 「FOMA端末（受信最大384kbps）」が選択されていることを確認します。

② ［OK］をクリック

## 3 画面に従ってパソコンを再起動

# 接続先（APN）を設定する

パケット通信を行う場合の接続先（APN）を設定します。

- 操作の前に、必ずパソコンとFOMA端末が正しく接続されていることを確認してください。→P6
- 接続先（APN）は、FOMA端末の登録番号（cid）1～10に設定できます。お買い上げ時、cidの1にはmoperaに接続するためのAPN「mopera.ne.jp」が、3にはmopera Uに接続するためのAPN「mopera.net」が設定されています。その他のプロバイダや社内LANに接続する場合は、cid2または4～10にAPNを設定します。
- 接続先（APN）については、プロバイダまたはネットワーク管理者にお問い合わせください。

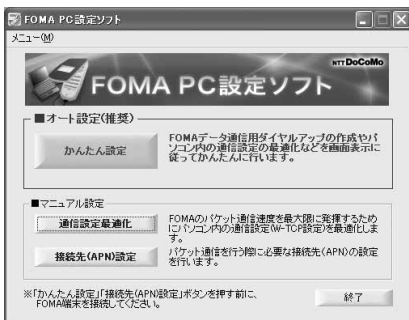
〈例〉Windows XPで設定するとき

## 1 ［スタート］をクリック→「すべてのプログラム」→「FOMA PC設定ソフト」を順に選択して「FOMA PC設定ソフト」をクリック→［接続先（APN）設定］をクリック

■ Windows 2000のとき

［スタート］をクリック→「プログラム」→「FOMA PC設定ソフト」を順に選択して「FOMA PC設定ソフト」をクリック→［接続先（APN）設定］をクリック

■ Windows Vistaのとき

（スタート）→「すべてのプログラム」→「FOMA PC設定ソフト」→「FOMA PC設定ソフト」→［接続先（APN）設定］を順にクリック

## 2 「FOMA端末設定取得」画面で［OK］をクリック

## 3 接続先（APN）の設定を行う

### ■ 接続先（APN）を追加するとき
**［追加］をクリック**

### ■ 登録済みの接続先（APN）を編集・修正するとき
**編集・修正する接続先（APN）を選択して［編集］をクリック**

### ■ 登録済みの接続先（APN）を削除するとき
**削除する接続先（APN）を選択して［削除］をクリック**
- 番号（cid）の1と3に登録されている接続先（APN）は削除できません。［削除］をクリックしてFOMA端末に設定を書き込んだ場合でも、実際には削除されず元の設定に戻ります。

### ■ ファイルへ保存するとき
**「ファイル」をクリック→「名前を付けて保存」または「上書き保存」をクリック**
- FOMA端末に登録された接続先（APN）設定のバックアップを取ったり、編集中の接続先（APN）設定を保存するときに利用します。

### ■ ファイルから読み込むとき
**「ファイル」をクリック→「開く」をクリック**
- パソコンに保存された接続先（APN）設定を再編集したり、FOMA端末に書き込みをしたりするときに利用します。

### ■ FOMA端末から接続先（APN）情報を読み込むとき
**「ファイル」をクリック→「FOMA端末から設定を取得」をクリック**
- FOMA端末に手動でアクセスし、登録された接続先（APN）設定を読み込みます。

### ■ FOMA端末に接続先（APN）情報を書き込むとき
**［FOMA端末へ設定を書き込む］をクリック→［はい］をクリック**
- 表示されている接続先（APN）設定がFOMA端末に書き込まれます。

### ■ ダイヤルアップを作成するとき
**①追加、編集した接続先（APN）を選択して［ダイヤルアップ作成］をクリック**
「FOMA端末設定書き込み」画面が表示されます。

**②［はい］をクリック→［OK］をクリック**
「パケット通信用ダイヤルアップの作成」画面が表示されます。

**③「接続名」に任意の接続名を入力→［ユーザID・パスワードの設定］をクリック**
- 「接続名」の先頭に.（半角文字）は使用できません。また、次の記号（半角文字）は使用できません。
  ￥/:＊?!<> | ”
- 発信者番号通知の設定については、プロバイダなどから提供された各種情報に従ってください。
- 「186を付加する（通知する）」を選択すると、通信実行時に発信者番号を通知します。
- mopera Uまたはmoperaを利用する場合、［ユーザID・パスワードの設定］はしなくてもかまいません。その場合は操作⑤に進みます。

**④「使用可能ユーザーの選択」を設定→「ユーザID」を入力→「パスワード」を入力→［OK］をクリック**
**Windows Vistaのとき：「ユーザID」を入力→「パスワード」を入力→「OK」をクリック**
- プロバイダなどからIPおよびDNS情報の設定が指示されている場合は、「パケット通信用ダイヤルアップの作成」画面で［詳細情報の設定］をクリックし、各種情報を登録後、［OK］をクリックしてください。

**⑤［OK］をクリック→［OK］をクリック**

## お知らせ
- 追加や編集をするときは「接続方式」を「PPP接続」に設定してください。「IP接続」を選択すると、FOMA端末へ設定を書き込めません。
- 接続先（APN）設定はFOMA端末に登録される情報のため、異なるFOMA端末（故障修理により交換された端末など）を接続する場合は、APNを登録し直してください。
- パソコンに登録されている接続先（APN）を継続利用する場合は、同じAPNの登録番号（cid）をFOMA端末に登録してください。

## FOMA PC設定ソフトをアンインストールする

● 操作の前に、必ず「インストール／アンインストール前の注意点」をご覧ください。→P5

### アンインストールを実行する前に

タスクトレイにが表示されている場合は、を右クリックし、「終了」をクリックして、通信設定最適化の常駐を解除してください。

### アンインストールする

〈例〉Windows XPでアンインストールするとき

**1** ［スタート］→「コントロールパネル」→［プログラムの追加と削除］アイコンを順にクリック

■ Windows 2000のとき
［スタート］をクリック→「設定」から「コントロールパネル」をクリック→［アプリケーションの追加と削除］アイコンをダブルクリック

■ Windows Vistaのとき
（スタート）→「コントロールパネル」→「プログラムのアンインストール」を順にクリック

**2** 「NTT DoCoMo FOMA PC設定ソフト」を選択して［削除］をクリック

■ Windows 2000のとき
「NTT DoCoMo FOMA PC設定ソフト」を選択して［変更と削除］をクリック

■ Windows Vistaのとき
「NTT DoCoMo FOMA PC設定ソフト」を選択して［アンインストール］をクリック

**3** 「FOMA PC設定ソフトセットアップ」と表示されていることを確認して［はい］をクリック

FOMA PC設定ソフトのアンインストールを開始します。

■ 最適化されている場合に解除するとき
解除するかどうかの確認画面で［はい］をクリック→「再起動の確認」画面で今すぐ再起動するかどうかを設定→［完了］をクリック
• 最適化の解除はパソコンの再起動後に行われます。

**4** ［完了］をクリック

# FOMA PC設定ソフトを利用しないで通信の設定をする

**FOMA PC設定ソフトを使わずに、ダイヤルアップ接続の設定を行う方法について説明します。**

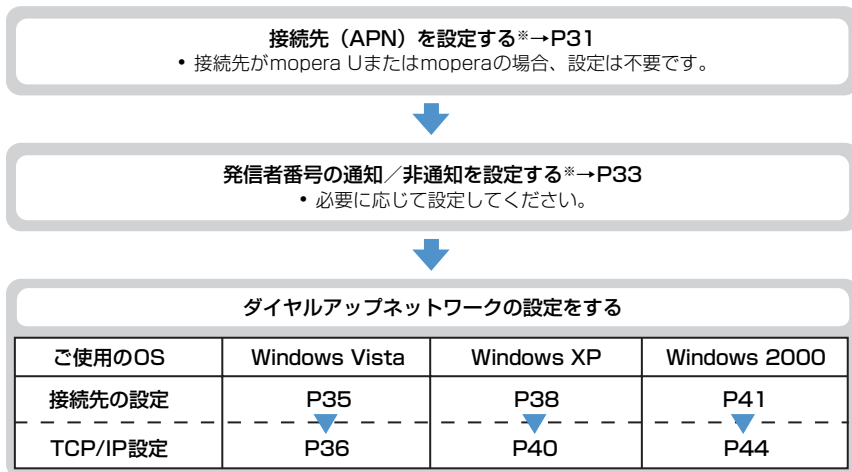
## ダイヤルアップネットワークの設定の流れ

データ通信の準備の流れ→P4

**接続先（APN）を設定する※→P31**
• 接続先がmopera Uまたはmoperaの場合、設定は不要です。

**発信者番号の通知／非通知を設定する※→P33**
• 必要に応じて設定してください。

**ダイヤルアップネットワークの設定をする**

| ご使用のOS | Windows Vista | Windows XP | Windows 2000 |
|---|---|---|---|
| 接続先の設定 | P35 | P38 | P41 |
| TCP/IP設定 | P36 | P40 | P44 |

※ パケット通信の場合に設定します。
設定するには、ATコマンドを入力するための通信ソフトが必要です。
ここではWindows 2000、Windows XPに添付されている「ハイパーターミナル」を使った設定方法を説明します。Windows Vistaは「ハイパーターミナル」に対応していません。Windows Vistaの場合は、Windows Vista対応のソフトを使って設定してください（ご使用になるソフトの設定方法に従ってください）。

## 接続先（APN）を設定する

### 接続先（APN）と登録番号（cid）について

パケット通信の接続先（APN）は、FOMA端末の登録番号（cid）1～10に設定できます。お買い上げ時、cidの1にはmoperaに接続するためのAPN「mopera.ne.jp」が、3にはmopera Uに接続するためのAPN「mopera.net」が登録されています。その他のプロバイダや社内LANに接続する場合は、cid2または4～10にAPNを登録します。

- 接続先（APN）については、プロバイダまたはネットワーク管理者にお問い合わせください。
- 接続先の設定は、パケット通信用の電話帳登録として考えられます。接続先の設定項目をFOMA端末の電話帳と比較すると、次のようになります。

| 接続先の設定項目 | FOMA端末の電話帳の登録項目 |
|---|---|
| 登録番号（cid） | 登録番号（メモリ番号） |
| APN | 相手の電話番号 |

- 登録したcidはダイヤルアップ接続設定での接続番号となります。

### 接続先（APN）を設定する

〈例〉Windows XPで設定するとき

**1** **パソコンとFOMA端末を接続**
接続方法→P6

## 2 ［スタート］をクリック→「すべてのプログラム」（Windows 2000の場合は「プログラム」）→「アクセサリ」→「通信」を順に選択して「ハイパーターミナル」をクリック

## 3 「名前」に接続先名など任意の名前を入力→［OK］をクリック

- 「接続名」に次の記号（半角文字）は使用できません。
  ¥/:＊?<>｜"

## 4 「電話番号」に実在しない電話番号（「0」など）を入力→「接続方法」が「FOMA F904i」に設定されていることを確認→［OK］をクリック

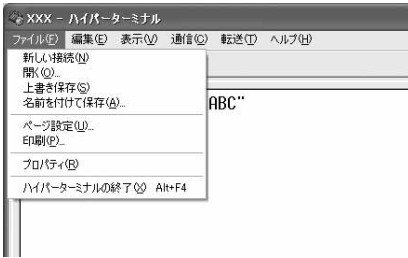
- 市外局番はパソコンの環境により異なります。接続先（APN）の設定とは関係ありませんので、変更不要です。

## 5 「接続」画面で［キャンセル］をクリック

## 6 接続先（APN）を「AT+CGDCONT=＜cid＞,"PPP","＜APN＞"」の形式で入力→⏎

＜cid＞ ：2または4～10の範囲で任意の番号
＜APN＞：接続先（APN）

- +CGDCONTコマンド→P53「ATコマンドの補足説明」
- コマンドを入力しても画面に表示されない場合は、ATE1と入力し、⏎を押します。

**7** 「OK」と表示されていることを確認して「ファイル」をクリック→「ハイパーターミナルの終了」をクリック

**8** 切断の確認で「はい」をクリック→保存の確認で「いいえ」をクリック

## 発信者番号の通知／非通知を設定する

パケット通信時の発信者番号の通知／非通知を一括して設定します。
発信者番号はお客様の大切な情報です。通知する際には十分にご注意ください。
● mopera Uまたはmoperaを利用する場合、「非通知」に設定すると接続できません。

〈例〉Windows XPで設定するとき

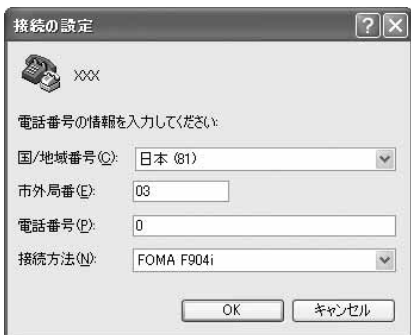
**1** パソコンとFOMA端末を接続

接続方法→P6

**2** ［スタート］をクリック→「すべてのプログラム」（Windows 2000の場合は「プログラム」）→「アクセサリ」→「通信」を順に選択して「ハイパーターミナル」をクリック

**3** 「名前」に接続先名など任意の名前を入力→［OK］をクリック

- 「接続名」に次の記号（半角文字）は使用できません。
  ￥/:＊?<>｜"

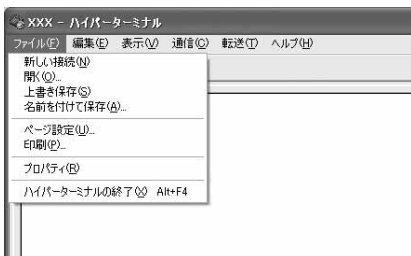
## 4 「電話番号」に実在しない電話番号（「0」など）を入力→「接続方法」が「FOMA F904i」に設定されていることを確認→［OK］をクリック

- 市外局番はパソコンの環境により異なります。接続先（APN）の設定とは関係ありませんので、変更不要です。

## 5 「接続」画面で［キャンセル］をクリック

## 6 発信者番号の通知／非通知を「AT＊DGPIR=<n>」の形式で入力→⏎

<n>：0～2
0　：そのまま接続（お買い上げ時）
1　：184を付けて接続（非通知）
2　：186を付けて接続（通知）

- コマンドを入力しても画面に表示されない場合は、ATE1と入力し、⏎を押します。

## 7 「OK」と表示されていることを確認して「ファイル」をクリック→「ハイパーターミナルの終了」をクリック

## 8 切断の確認で「はい」をクリック→保存の確認で「いいえ」をクリック

## ダイヤルアップネットワークでの通知／非通知設定について

ダイヤルアップネットワークの設定でも、接続先の番号に186（通知）／184（非通知）を付けられます。

● ＊DGPIRコマンド、ダイヤルアップネットワークの設定の両方で設定を行った場合の発信者番号の通知／非通知は次のとおりです。

| ＊DGPIRコマンドによる設定 ／ ダイヤルアップネットワークの設定（<cid>=3の場合） | 設定なし | 非通知 | 通知 |
|---|---|---|---|
| ＊99＊＊＊3# | 通知 | 非通知 | 通知 |
| 184＊99＊＊＊3# | 非通知 | | |
| 186＊99＊＊＊3# | 通知 | | |

# Windows Vistaでダイヤルアップネットワークを設定する

## 接続先を設定する

**1** パソコンとFOMA端末を接続

接続方法→P6

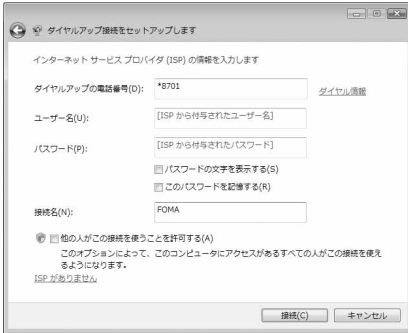
**2** （スタート）→「接続先」を順にクリック

**3** 「接続またはネットワークをセットアップします」をクリック

**4** 「ダイヤルアップ接続をセットアップします」を選択して「次へ」をクリック

■「どのモデムを使いますか？」画面が表示されたとき

「FOMA F904i」をクリック

## 5 「ダイヤルアップの電話番号」に接続先の電話番号（パケット通信の場合は「＊99＊＊＊<cid>#」）を半角で入力→「ユーザー名」を入力→「パスワード」を入力」→「接続名」を入力して［接続］をクリック

＜cid＞：P31「接続先（APN）を設定する」で登録したcid番号

- mopera Uまたはmoperaへ接続する場合は次のように入力します。

| 接続先 | パケット通信 | 64Kデータ通信 |
|---|---|---|
| mopera U | ＊99＊＊＊3# | ＊8701 |
| mopera | ＊99＊＊＊1# | ＊9601 |

- 接続先がmopera Uまたはmoperaの場合、「ユーザー名」「パスワード」は空欄でもかまいません。
- 「接続名」の先頭に．（半角文字）は使用できません。また、次の記号（半角文字）は使用できません。
  ￥/:＊?<>｜

## 6 接続中の画面で［スキップ］をクリック

- ここではすぐに接続せずに、設定だけを行います。

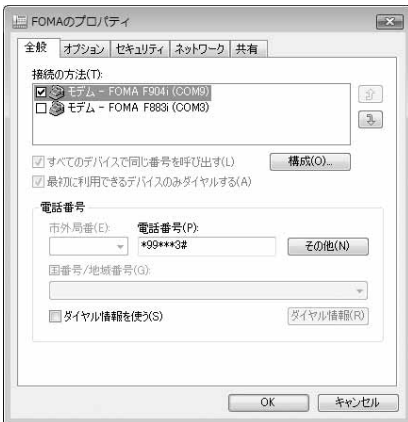
## 7 「インターネット接続テストに失敗しました」画面で「接続をセットアップします」をクリック

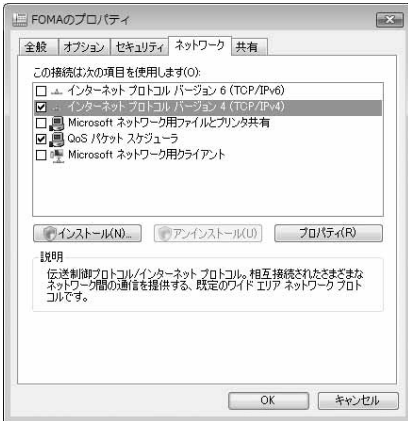
## 8 ［閉じる］をクリック

## TCP/IPプロトコルを設定する

## 1 （スタート）→「接続先」を順にクリック

## 2 作成した接続先を右クリックして「プロパティ」をクリック

## 3 ［全般］タブの各項目の設定を確認

- 複数のモデムがインストールされている場合は、「接続の方法」の「モデム－FOMA F904i（COMx）」のみを選択します（xはパソコンの環境により、異なった数字が表示されます）。
- 「ダイヤル情報を使う」を非選択（□）にします。

## 4 ［ネットワーク］タブをクリック→各項目を画面例のように設定

- 「インターネットプロトコルバージョン6（TCP/IPv6)」を非選択（□）にします。
- プロバイダなどからIPおよびDNS情報の設定が指示されている場合は、「インターネットプロトコルバージョン4（TCP/IPv4)」を選択し［プロパティ］をクリックして、各種情報を設定してください。
- プロバイダなどから「QoSパケットスケジューラ」および、その他の項目についての指示がある場合は、必要に応じて選択、非選択を設定してください。

## 5 ［オプション］タブをクリック→［PPP設定］をクリック

## 6 すべての項目を非選択（□）に設定→［OK］をクリック

## 7 ［OK］をクリック

通信を実行する→P23

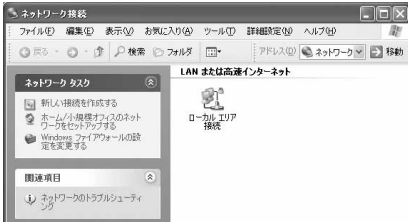
## Windows XPでダイヤルアップネットワークを設定する

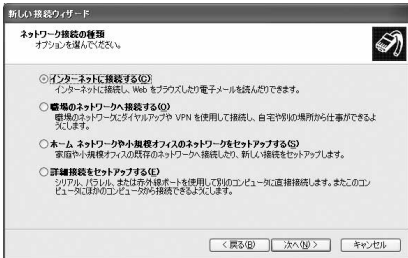
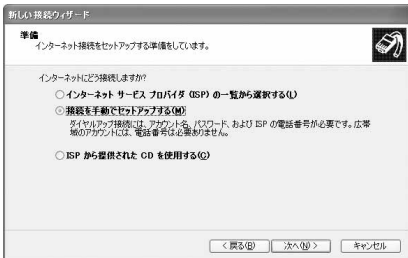
### 接続先を設定する

**1** パソコンとFOMA端末を接続

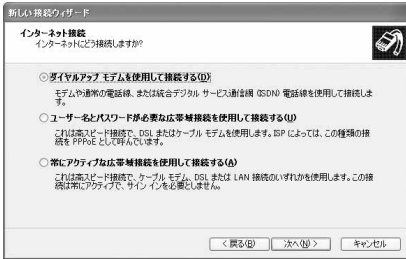
接続方法→P6

**2** ［スタート］をクリック→「すべてのプログラム」→「アクセサリ」→「通信」を順に選択して「ネットワーク接続」をクリック

**3** 「ネットワークタスク」の「新しい接続を作成する」をクリック

**4** 「新しい接続ウィザードの開始」画面で［次へ］をクリック

**5** 「インターネットに接続する」を選択して［次へ］をクリック

**6** 「接続を手動でセットアップする」を選択して［次へ］をクリック

# 7 「ダイヤルアップモデムを使用して接続する」を選択して［次へ］をクリック

■「デバイスの選択」画面が表示されたとき

「モデム-FOMA F904i（COMx）」のみを選択して［次へ］をクリック

- xはパソコンの環境により、異なった数字が表示されます。

# 8 「ISP名」に任意の接続名を入力→［次へ］をクリック

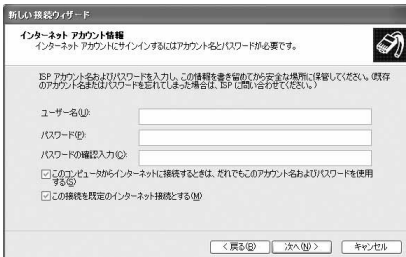
- 「接続名」の先頭に.（半角文字）は使用できません。また、次の記号（半角文字）は使用できません。
  ¥/:＊?<>｜"

# 9 「電話番号」に接続先の電話番号（パケット通信の場合は「＊99＊＊＊＜cid＞#」）を半角で入力→［次へ］をクリック

＜cid＞：P31「接続先（APN）を設定する」で登録したcid番号

- mopera Uまたはmoperaへ接続する場合は次のように入力します。

| 接続先 | パケット通信 | 64Kデータ通信 |
|---|---|---|
| mopera U | ＊99＊＊＊3# | ＊8701 |
| mopera | ＊99＊＊＊1# | ＊9601 |

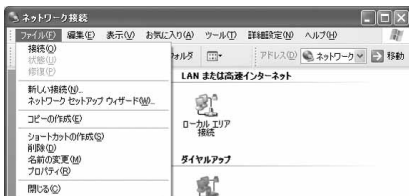
# 10 「ユーザー名」を入力→「パスワード」を入力→「パスワードの確認入力」を入力→各項目を画面例のようにすべて選択して［次へ］をクリック

- 接続先がmopera Uまたはmoperaの場合、「ユーザー名」「パスワード」「パスワードの確認入力」は空欄でもかまいません。

# 11 「新しい接続ウィザードの完了」画面で［完了］をクリック

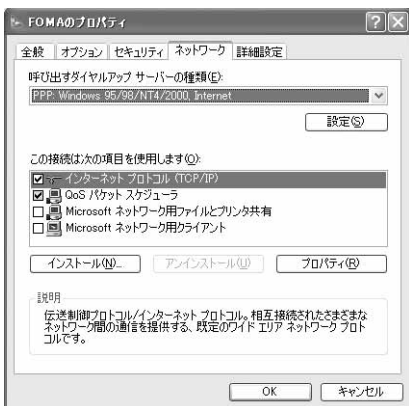
## 12 「FOMAへ接続」画面で設定内容を確認して［キャンセル］をクリック

- ここではすぐに接続せずに、設定の確認だけを行います。

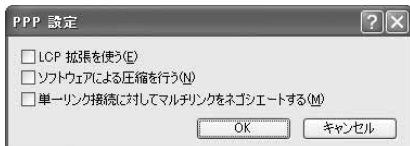
## TCP/IPプロトコルを設定する

## 1 作成した接続先アイコンを選択して「ファイル」をクリック→「プロパティ」をクリック

## 2 ［全般］タブの各項目の設定を確認

- 複数のモデムがインストールされている場合は、「接続方法」の「モデム－FOMA F904i (COMx)」のみを選択します（xはパソコンの環境により、異なった数字が表示されます）。
- 「ダイヤル情報を使う」を非選択（☐）にします。

## 3 ［ネットワーク］タブをクリック→各項目を画面例のように設定

- 「この接続は次の項目を使用します」欄の「QoSパケットスケジューラ」は設定を変更できませんので、そのままにしてください。
- プロバイダなどからIPおよびDNS情報の設定が指示されている場合は、「インターネットプロトコル（TCP/IP）」を選択し［プロパティ］をクリックして、各種情報を設定してください。

## 4 ［設定］をクリック

## 5 すべての項目を非選択（□）に設定→［OK］をクリック

## 6 ［OK］をクリック

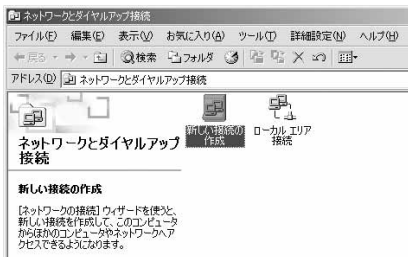
通信を実行する→P23

# Windows 2000でダイヤルアップネットワークを設定する

## 接続先を設定する

## 1 パソコンとFOMA端末を接続

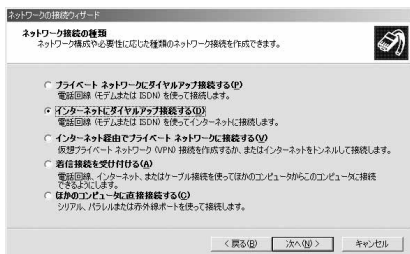
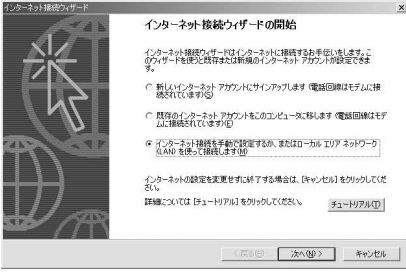
接続方法→P6

## 2 ［スタート］をクリック→「プログラム」→「アクセサリ」→「通信」を順に選択して「ネットワークとダイヤルアップ接続」をクリック→［新しい接続の作成］アイコンをダブルクリック

■「所在地情報」画面が表示されたとき

①「市外局番／エリアコード」に市外局番を入力→［OK］をクリック

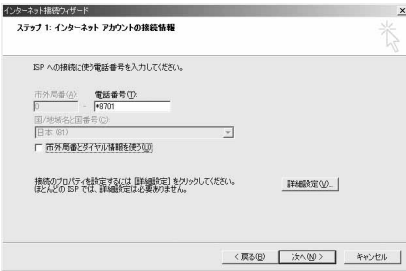
②「電話とモデムのオプション」画面で［OK］をクリック

## 3 「ネットワークの接続ウィザードの開始」画面で［次へ］をクリック

## 4 「インターネットにダイヤルアップ接続する」を選択して［次へ］をクリック

## 5 「インターネット接続を手動で設定するか、またはローカルエリアネットワーク（LAN）を使って接続します」を選択して［次へ］をクリック

## 6 「電話回線とモデムを使ってインターネットに接続します」を選択して［次へ］をクリック

■「モデムの選択」画面が表示されたとき

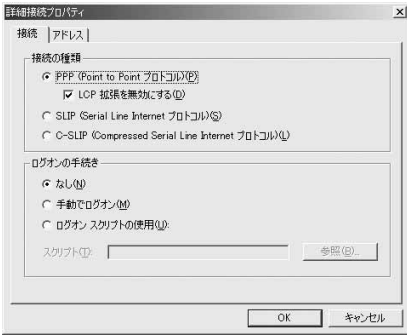
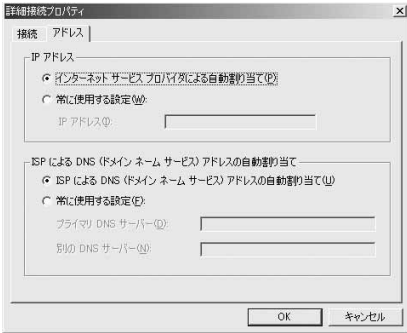
「FOMA F904i」を選択して［次へ］をクリック

## 7 「電話番号」に接続先の電話番号（パケット通信の場合は「＊99＊＊＊＜cid＞#」）を半角で入力→［詳細設定］をクリック

＜cid＞：P31「接続先（APN）を設定する」で登録したcid番号

- mopera Uまたはmoperaへ接続する場合は次のように入力します。

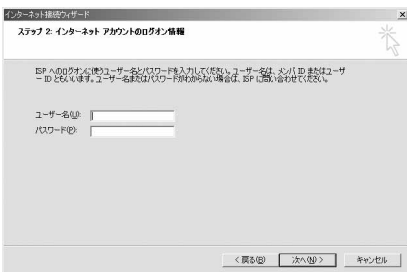
| 接続先 | パケット通信 | 64Kデータ通信 |
|---|---|---|
| mopera U | ＊99＊＊＊3# | ＊8701 |
| mopera | ＊99＊＊＊1# | ＊9601 |

- 「市外局番とダイヤル情報を使う」を非選択（□）にします。

## 8 ［接続］タブの各項目を画面例のように設定

## 9 ［アドレス］タブをクリック→各項目を設定

- プロバイダなどからIPおよびDNS情報の設定が指示されている場合は、各種情報を設定してください。
- 接続先がmopera Uまたはmoperaの場合は、設定を変更しなくてもかまいません。

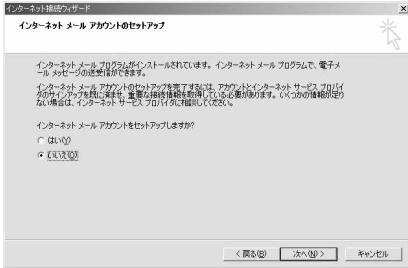
## 10 ［OK］をクリック

## 11 ［次へ］をクリック

## 12 「ユーザー名」を入力→「パスワード」を入力→［次へ］をクリック

- 接続先がmopera Uまたはmoperaの場合、「ユーザー名」「パスワード」は空欄でもかまいません。［次へ］をクリックし、入力されていないことを確認する画面が表示されたら、［はい］をクリックします。

## 13 「接続名」に任意の接続名を入力→［次へ］をクリック

- 「接続名」の先頭に.(半角文字)は使用できません。

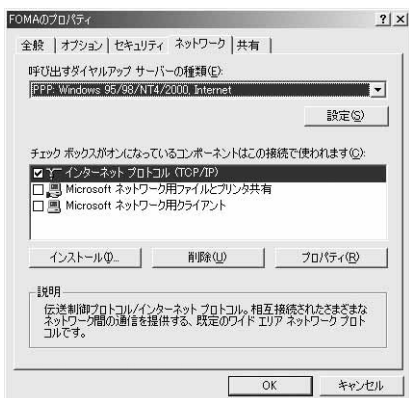
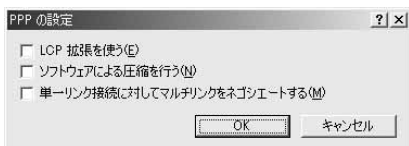
## 14 「いいえ」を選択して［次へ］をクリック

## 15 ［完了］をクリック

# TCP/IPプロトコルを設定する

## 1 作成した接続先アイコンを選択して「ファイル」をクリック→「プロパティ」をクリック

## 2 ［全般］タブの各項目の設定を確認

- 複数のモデムがインストールされている場合は、「接続の方法」の「モデム－FOMA F904i（COMx）」のみを選択します（xはパソコンの環境により、異なった数字が表示されます）。
- モデムを変更した場合は、「電話番号」の各項目が初期化されますので、もう一度接続先電話番号を入力してください。
- 「ダイヤル情報を使う」を非選択（□）にします。

## 3 ［ネットワーク］タブをクリック→各項目を画面例のように設定

## 4 ［設定］をクリック→すべての項目を非選択（□）に設定→［OK］をクリック

## 5 ［OK］をクリック

通信を実行する→P23

# ATコマンド

**ATコマンドとは、パソコンでFOMA端末の各機能を設定するためのコマンド（命令）です。FOMA端末はATコマンドに準拠し、さらに拡張コマンドの一部や独自のATコマンドをサポートしています。**

## ATコマンドについて

### ATコマンドの入力形式

ATコマンドは、コマンドの先頭に必ず「AT」を付けて、半角英数字で入力してください。

**〈例〉ATDコマンドでmopera Uに接続するとき**

ATコマンドは、コマンドに続くパラメータを含めて、必ず1行で入力します。1行とは最初の文字から↵を押した直前までの文字のことで、「AT」を含む最大160文字入力できます。

### ATコマンドの入力モード

ATコマンドでFOMA端末を操作する場合は、パソコンをターミナルモードにしてください。ターミナルモードとは、パソコンを1台の通信端末のように動作させるモードです。ターミナルモードにすると、キーボードから入力された文字がそのまま通信ポートに送られ、FOMA端末を操作できます。

● オフラインモード
FOMA端末が待受の状態です。通常ATコマンドでFOMA端末を操作する場合は、この状態で操作します。

● オンラインデータモード
FOMA端末が通信中の状態です。この状態のときにATコマンドを入力すると、送られてきた文字をそのまま通信先に送信して、通信先のモデムを誤動作させる場合がありますので、通信中はATコマンドを入力しないでください。

● オンラインコマンドモード
FOMA端末が通信中の状態でも、ATコマンドでFOMA端末を操作できる状態です。その場合、通信先との接続を維持したままATコマンドを実行し、終了すると再び通信を続けられます。

■ **オンラインデータモードとオンラインコマンドモードを切り替えるとき**

FOMA端末をオンラインデータモードからオンラインコマンドモードに切り替えるには、次の方法があります。

- +++コマンドまたはS2レジスタに設定したコードを入力します。
- 「AT&D1」に設定されているときに、RS-232C※のER信号をOFFにします。
  ※ USBインタフェースにより、RS-232Cの信号線がエミュレートされていますので、通信アプリケーションによるRS-232Cの信号線制御が有効になります。

また、オンラインコマンドモードからオンラインデータモードに切り替えるには、「ATO↵」と入力します。

**お知らせ**

- ATコマンドからの発信を行うと、2in1がONのときは2in1のモードに関わらず、Aナンバーで発信します。

## ATコマンド一覧

- FOMA F904i（モデム）で使用できるATコマンドです。
- パソコンや通信ソフトのフォント設定により、「¥」を入力しても「\」と表示される場合があります。
- FOMA端末の電源を切らずに電池パックを取り外した場合、設定値が記録されないことがあります。

| 上段：コマンド　下段：実行例 | 説　明 |
|---|---|
| A/ | 直前に実行したコマンドを再実行します。<br>直前の応答が「ERROR」の場合は「ERROR」を返します。 |
| A/<br>OK | |
| AT | A/、+++以外のコマンドの先頭に付けて、本一覧のコマンドを使用します。本コマンドのみで使用すると、FOMA端末がATコマンドを使用できる状態のときに「OK」を返します。 |
| AT ↵<br>OK | |
| ATA | パケット着信および64Kデータ通信の着信時に入力すると、着信処理を行います。<br>パケット着信中には次のコマンドが入力できます。<br>ATA184：発信者番号通知なし着信動作　　ATA186：発信者番号通知あり着信動作 |
| RING<br>ATA ↵<br>CONNECT | |
| ATD | ATD＊99＊＊＊<cid>#：パケット通信の発信処理を行います。<br><cid>または＊＊＊<cid>を省略すると<cid>=1になります。<br>ATD［パラメータ］［電話番号］：64Kデータ通信の発信処理を行います。<br>電話番号に次の文字以外を入力すると発信できません。<br>0～9、＊、#、A、a、B、b、C、c<br>また、次の文字と空白は入力できますが、ダイヤル時には認識されません。<br>,、!、-、@、D、d、P、p、T、t、W、w<br>ATDの後に186または184を挿入し、発信者番号の通知／非通知を指定できます。<br>ATDNまたはATDLでリダイヤル発信ができます。 |
| ATD＊99＊＊＊1# ↵<br>CONNECT 460800 | |
| ATE<n> ※1 | パソコンから送信されたコマンドに対して、FOMA端末がエコーを返すかどうかを設定します。<br>n=0：エコーバックなし　　n=1：エコーバックあり（お買い上げ時）<br>通常はn=1で使用します。パソコンにエコー機能がある場合、n=0に設定すると文字が二重に表示されなくなります。 |
| ATE1 ↵<br>OK | |
| ATH | 通信中に入力すると、回線を切断します。<br>オンラインコマンドモードで実行してください。→P46 |
| ATH ↵<br>NO CARRIER | |
| ATI<n> | 確認コードを表示します。<br>n=0：「NTT DoCoMo」　　n=1：FOMA端末の機種名を表示<br>n=2：FOMA端末のバージョンを表示　　n=3：ACMP信号の要素を表示<br>n=4：FOMA端末で通信可能な機能の詳細を数値で表示 |
| ATI0 ↵<br>NTT DoCoMo<br>OK | |
| ATO | 通信中にオンラインコマンドモードからオンラインデータモードに戻します。 |
| ATO ↵<br>CONNECT 460800 | |
| ATQ<n> ※1 | リザルトコードを表示するかどうかを設定します。<br>n=0：表示（お買い上げ時）　　n=1：表示しない<br>ATQ1を実行した場合は「OK」を返しません。 |
| ATQ0 ↵<br>OK | |
| ATS0=<n> ※1 | FOMA端末が自動着信するまでの呼出回数を設定します。<br>n=0：自動着信なし（お買い上げ時）　　n=1～255：指定したリング数で自動着信<br>ATS0?：現在の設定を表示 |
| ATS0=0 ↵<br>OK | |
| ATS2=<n> | エスケープキャラクタの設定を行います。<br>n=0～127（お買い上げ時n=43）　　n=127に設定するとエスケープは無効になります。<br>ATS2?：現在の設定を表示 |
| ATS2=43 ↵<br>OK | |
| ATS3=<n> | コマンド文字列の最後を認識する復帰（CR）キャラクタの設定を行います。エコーバックされたコマンド文字列とリザルトコードの最後に付きます。<br>n=13（固定値）<br>ATS3?：現在の設定を表示 |
| ATS3=13 ↵<br>OK | |
| ATS4=<n> | 改行（LF）キャラクタの設定を行います。英文字でリザルトコードを表示する場合、復帰（CR）キャラクタの後に付きます。<br>n=10（固定値）<br>ATS4?：現在の設定を表示 |
| ATS4=10 ↵<br>OK | |

| 上段：コマンド　下段：実行例 | 説　明 |
|---|---|
| ATS5=<n><br>ATS5=8 ↵<br>OK | バックスペース（BS）キャラクタの設定を行います。コマンド入力中にこのキャラクタを検出すると、入力バッファの最後のキャラクタを削除します。<br>n=8（固定値）<br>ATS5?：現在の設定を表示 |
| ATS6=<n><br>ATS6=5 ↵<br>OK | ダイヤルするまでのポーズ時間（秒）を設定できますが、動作しません。<br>n=：2～10（お買い上げ時n=5）<br>ATS6?：現在の設定を表示 |
| ATS8=<n><br>ATS8=3 ↵<br>OK | カンマダイヤルするまでのポーズ時間（秒）を設定できますが、動作しません。<br>n=0～255（固定値n=3）<br>ATS8?：現在の設定を表示 |
| ATS10=<n> ※1<br>ATS10=1 ↵<br>OK | 自動切断の遅延時間（1/10秒）を設定できますが、動作しません。<br>n=1～255（お買い上げ時n=1）<br>ATS10?：現在の設定を表示 |
| ATS30=<n><br>ATS30=0 ↵<br>OK | 64Kデータ通信時、データの送受信がない場合に切断するまでの時間（分）を設定します。<br>n=0～255：（お買い上げ時n=0、n=0は不活動タイマOFF）<br>ATS30?：現在の設定を表示 |
| ATS103=<n><br>ATS103=1 ↵<br>OK | 64Kデータ通信で、着サブアドレスを付けて発信する場合の区切りを設定します。<br>n=0：＊　　n=1：/（お買い上げ時）　　n=2：￥または\<br>ATS103?：現在の設定を表示 |
| ATS104=<n><br>ATS104=1 ↵<br>OK | 64Kデータ通信で、発サブアドレスを付けて発信する場合の区切りを設定します。<br>n=0：#　　n=1：%（お買い上げ時）　　n=2：&<br>ATS104?：現在の設定を表示 |
| ATV<n> ※1<br>ATV1 ↵<br>OK | リザルトコードの表示方法を設定します。<br>n=0：数字表示　　n=1：英文字表示（お買い上げ時）<br>ATV0を実行した場合は、同一行に「0」を返します。 |
| ATX<n> ※1<br>ATX4 ↵<br>OK | ビジートーン、ダイヤルトーンの検出を行うかどうかと、接続時の「CONNECT」に速度を表示するかどうかを設定します。<br>ビジートーン検出：接続先が通話中のとき「BUSY」応答を送出<br>ダイヤルトーン検出：FOMA端末に接続されているかどうかを判定<br>n=0：ビジートーン検出なし、ダイヤルトーン検出なし、速度表示なし<br>n=1：ビジートーン検出なし、ダイヤルトーン検出なし、速度表示あり<br>n=2：ビジートーン検出なし、ダイヤルトーン検出あり、速度表示あり<br>n=3：ビジートーン検出あり、ダイヤルトーン検出なし、速度表示あり<br>n=4：ビジートーン検出あり、ダイヤルトーン検出あり、速度表示あり（お買い上げ時）<br>n=0に設定すると、AT&EおよびAT￥Vコマンドが無効になります。 |
| ATZ ※3<br>ATZ ↵<br>OK（オフライン時） | FOMA端末のATコマンド設定を不揮発メモリの内容にリセットします。<br>通信中に実行すると、回線を切断（「NO CARRIER」を表示）してからリセットします。 |
| AT%V<br>AT%V ↵<br>Ver1.00<br>OK | FOMA端末のバージョンを表示します。 |
| AT&C<n> ※1<br>AT&C1 ↵<br>OK | DTEへの回路CD（DCD）信号の動作条件を設定します。<br>n=0：常にON　　n=1：回線接続状態に従い変化（お買い上げ時）<br>n=0に設定する場合は、接続完了時の「CONNECT」を送出する直前にCD信号をONにします。回路が切断され、「NO CARRIER」を送出する直前にCD信号をOFFにします。 |
| AT&D<n> ※1<br>AT&D2 ↵<br>OK | オンラインデータモードのときに、DTEから受け取る回路ER（DTR）信号がONからOFFに変わったときの動作を設定します。<br>n=0：状態を無視（常にONとみなす）<br>n=1：ONからOFFに変わるとオンラインコマンドモードに移行<br>n=2：ONからOFFに変わると回線を切断しオフラインモードに移行（お買い上げ時） |
| AT&E<n> ※1<br>AT&E1 ↵<br>OK | 接続時の速度表示仕様を設定します。<br>n=0：無線区間通信速度を表示<br>n=1：パソコンとFOMA端末間の通信速度を表示（お買い上げ時） |
| AT&F<br>AT&F ↵<br>OK（オフライン時） | FOMA端末のATコマンド設定をお買い上げ時の状態に戻します。<br>通信中に実行すると、回線を切断（「NO CARRIER」を表示）してから戻します。 |

| 上段：コマンド　下段：実行例 | 説　明 |
| --- | --- |
| AT&S<n>　※1<br>AT&S0 ↵<br>OK | DTEへ出力するデータセットレディ（DR）信号の制御を設定します。<br>n=0：常にON（お買い上げ時）　n=1：接続時にON |
| AT&W<br>AT&W ↵<br>OK | 現在の設定をFOMA端末に記録します。 |
| AT＊DANTE<br>AT＊DANTE ↵<br>＊DANTE：3<br>OK | FOMA端末の受信レベルを「＊DANTE：<n>」の形式で表示します。<br>n=0：圏外　n=1：FOMA端末の受信レベルのアンテナが0または1本<br>n=2：FOMA端末の受信レベルのアンテナが2本<br>n=3：FOMA端末の受信レベルのアンテナが3本<br>AT＊DANTE=?：表示可能な値のリストを表示 |
| AT＊DGANSM=<n>　※2<br>AT＊DGANSM=0 ↵<br>OK | パケット着信呼に対する着信拒否／許可を設定します。<br>n=0：着信拒否設定OFF、着信許可設定OFF（お買い上げ時）<br>n=1：着信拒否設定ON　n=2：着信許可設定ON<br>AT＊DGANSM?：現在の設定を表示　AT＊DGANSM=?：設定可能な値のリストを表示 |
| AT＊DGAPL=<n>[,<cid>]　※2<br>AT＊DGAPL=0,1 ↵<br>OK | パケット着信呼に対して着信を許可する接続先（APN）を設定します。APNは+CGDCONTコマンドで定義した<cid>を使用します。<br>n=0：着信許可リストに追加　n=1：着信許可リストから削除<br><cid>を+CGDCONTコマンドで定義していない場合でも、リストへ追加または削除します。<br><cid>を省略した場合は、すべての<cid>をリストに追加または削除します。<br>AT＊DGAPL?：現在の設定を表示　AT＊DGAPL=?：設定可能な値のリストを表示 |
| AT＊DGARL=<n>[,<cid>]　※2<br>AT＊DGARL=0,1 ↵<br>OK | パケット着信呼に対して着信を拒否する接続先（APN）を設定します。APNは+CGDCONTコマンドで定義した<cid>を使用します。<br>n=0：着信拒否リストに追加　n=1：着信拒否リストから削除<br><cid>を+CGDCONTコマンドで定義していない場合でも、リストへ追加または削除します。<br><cid>を省略した場合は、すべての<cid>をリストに追加または削除します。<br>AT＊DGARL?：現在の設定を表示　AT＊DGARL=?：設定可能な値のリストを表示 |
| AT＊DGPIR=<n>　※2<br>AT＊DGPIR=0 ↵<br>OK | パケット通信確立時に、発信者番号を通知するかどうかを設定します。発信時、着信時に有効です。<br>n=0：APNにそのまま接続（お買い上げ時）　n=1：APNに184を付けて接続<br>n=2：APNに186を付けて接続<br>ダイヤルアップネットワークでも通知／非通知を設定した場合→P35<br>AT＊DGPIR?：現在の設定を表示　AT＊DGPIR=?：設定可能な値のリストを表示 |
| AT＊DRPW<br>AT＊DRPW ↵<br>＊DRPW：0<br>OK | FOMA端末が受信する電波の受信電力指標を表示します。<br>AT＊DRPW=?：表示可能な値のリストを表示 |
| AT+CAOC<br>AT+CAOC ↵<br>+CAOC："000024"<br>OK | 直前通話料金を表示します。 |
| AT+CBC<br>AT+CBC ↵<br>+CBC：0,100<br>OK | FOMA端末の電池残量を「+CBC：<bcs>,<bcl>」の形式で表示します。<br>bcs=0：電池パックから電源の供給あり　bcs=1：電池パックから電源の供給なし<br>bcs=2：電池パックが取り外されている　bcs=3：電源供給エラー<br>bcl=0：電池残量なしまたは電池パックが取り外されている　bcl=1～100：電池残量あり<br>AT+CBC=?：表示可能な値のリストを表示 |
| AT+CBST=<n>,1,0　※1<br>AT+CBST=116,1,0 ↵<br>OK | 利用する回線を設定します（ベアラサービスの設定）。<br>n=116：64Kデータ通信（お買い上げ時）　n=134：64Kテレビ電話<br>AT+CBST?：現在の設定を表示　AT+CBST=?：設定可能な値のリストを表示 |
| AT+CEER<br>AT+CEER ↵<br>+CEER：36<br>OK | 直前の通信の切断理由を表示します。<br>切断理由一覧→P52 |
| AT+CGDCONT　※2<br>→P53 | パケット通信の接続先（APN）を設定します。→P53 |
| AT+CGEQMIN　※2<br>→P53 | パケット通信確立時にネットワーク側から通知されるQoS（サービス品質）を許容するかどうかの判定基準を設定します。→P53 |
| AT+CGEQREQ　※2<br>→P54 | パケット通信の発信時にネットワークへ要求するQoS（サービス品質）を設定します。→P54 |

| 上段：コマンド　下段：実行例 | 説　明 |
|---|---|
| AT+CGMR<br>AT+CGMR ↵<br>1234567890123456<br>OK | FOMA端末のバージョンを表示します。 |
| AT+CGREG=<n> ※1<br>AT+CGREG=0 ↵<br>OK | ネットワーク登録状態を通知するかどうかを設定します。通知される内容は圏内／圏外です。<br>n=0：通知なし（お買い上げ時）<br>n=1：圏内から圏外または圏外から圏内へ移動時「+CGREG：<stat>」の形式で通知<br>stat=0：圏外　　stat=1：圏内　　stat=4：不明　　stat=5：圏内（国際ローミング中）<br>AT+CGREG?：「+CGREG：<n>,<stat>」の形式で現在の設定と状態を表示<br>AT+CGREG=?：設定可能な値のリストを表示 |
| AT+CGSN<br>AT+CGSN ↵<br>123456789012345<br>OK | FOMA端末の製造番号を表示します。 |
| AT+CLIP=<n> ※1<br>AT+CLIP=0 ↵<br>OK | 64Kデータ通信の着信時に、相手の発信番号をパソコンに表示するかどうかを設定します。<br>n=0：リザルトを表示しない（お買い上げ時）　　n=1：リザルトを表示する<br>AT+CLIP?：「+CLIP：<n>,<m>」の形式で現在の設定と状態を表示<br>m=0：発信時に相手に番号を通知しないNW設定<br>m=1：発信時に相手に番号を通知するNW設定　　m=2：不明<br>AT+CLIP=?：設定可能な値のリストを表示 |
| AT+CLIR=<n> ※2<br>AT+CLIR=2 ↵<br>OK | 64Kデータ通信の発信時に、電話番号を相手に通知するかどうかを設定します。<br>n=0：サービスご契約の設定に従う　　n=1：通知しない<br>n=2：通知する（お買い上げ時）<br>AT+CLIR?：「+CLIR：<n>,<m>」の形式で現在の設定と状態を表示<br>m=0：CLIRは未起動（常時通知）　　m=1：CLIRは起動（常時非通知）<br>m=2：不明　　m=3：CLIRテンポラリーモード（非通知デフォルト）<br>m=4：CLIRテンポラリーモード（通知デフォルト）<br>AT+CLIR=?：設定可能な値のリストを表示 |
| AT+CMEE=<n> ※1<br>AT+CMEE=0 ↵<br>OK | FOMA端末のエラーレポートの有無を設定します。<br>n=0：リザルトコードを使用せずに「ERROR」を表示（お買い上げ時）<br>n=1：リザルトコードを使用し、数字で理由を表示<br>n=2：リザルトコードを使用し、英文字で理由を表示<br>n=1またはn=2に設定すると、「+CME ERROR：xxxx」の形式で理由を表示します（xxxxには、数字または英文字が表示されます）。➞P52「エラーレポート一覧」<br>AT+CMEE?：現在の設定を表示　　　AT+CMEE=?：設定可能な値のリストを表示 |
| AT+CNUM<br>AT+CNUM ↵<br>+CNUM：,"090XXXXXXXX",129<br>OK | FOMA端末の自局電話番号を「+CNUM：,"<number>",<type>」の形式で表示します。<br>number：自局電話番号<br>type=129：国際アクセスコード+を含まない<br>type=145：国際アクセスコード+を含む |
| AT+COPS=<n>,2,<oper> ※2<br>AT+COPS=0 ↵<br>OK | 接続する通信事業者の検索方法を設定します。<br>n=0：オート（お買い上げ時）　　n=1：マニュアル　　n=3：マッピングしない<br>n=1に設定した場合は、<oper>にPLMN Numberを16進数で設定します。<br>AT+COPS?：現在の設定を表示　　　AT+COPS=?：設定可能な値のリストを表示 |
| AT+CPAS<br>AT+CPAS ↵<br>+CPAS：0<br>OK | FOMA端末が外部機器にATコマンドを送受信できる状態かどうかを「+CPAS：<n>」の形式で表示します。<br>n=0：可能　　n=1：不可能　　n=2：状態不明　　n=3：可能かつ着信中<br>n=4：可能かつ通信中<br>AT+CPAS=?：表示可能な値のリストを表示 |
| AT+CPIN="<pin>","<newpin>"<br>AT+CPIN="0000" ↵<br>OK | PIN1／PIN2コードやPINロック解除コードの入力が必要な場合に、これらを入力します。PINロック解除コードの入力が必要な場合は、<newpin>に新しいPIN1／PIN2コードを入力します。PIN1／PIN2コードの入力が要求されているときに<newpin>を入力しても、PIN1／PIN2コードの変更はできません。<br>AT+CPIN?：現在の要求されているコードを「+CPIN：<n>」の形式で表示<br>n=READY：コード入力の要求なし　　n=SIM PIN：PIN1コード入力待ち<br>n=SIM PIN2：PIN2コード入力待ち<br>n=SIM PUK：PIN1ロック解除失敗によりPINロック解除コード入力待ち<br>n=SIM PUK2：PIN2ロック解除失敗によりPINロック解除コード入力待ち |

| 上段：コマンド　下段：実行例 | 説　明 |
|---|---|
| AT+CR=<n> ※1<br>AT+CR=0 ↵<br>OK | 接続時に「CONNECT」が表示される前に、通信の種別を表示するかどうかを設定します。<br>n=0：表示しない（お買い上げ時）　n=1：「+CR：<serv>」の形式で通信の種別を表示<br>serv=GPRS：パケット通信　serv=SYNC：64Kデータ通信<br>serv=AV64K：64Kテレビ電話<br>AT+CR?：現在の設定を表示　AT+CR=?：設定可能な値のリストを表示 |
| AT+CRC=<n> ※1<br>AT+CRC=0 ↵<br>OK | 着信時に+CRINGのリザルトコードを使用するかどうかを設定します。<br>n=0：使用しない（お買い上げ時）<br>n=1：「+CRING：<type>」のリザルトコードを使用する<br>type=GPRS "PPP",,,"<APN>"：パケット通信　type=SYNC：64Kデータ通信<br>type=AV64K：64Kテレビ電話<br>AT+CRC?：現在の設定を表示　AT+CRC=?：設定可能な値のリストを表示 |
| AT+CREG=<n> ※1<br>AT+CREG=0 ↵<br>OK | ネットワークの圏内／圏外情報を表示するかどうかを設定します。<br>n=0：通知なし（お買い上げ時）<br>n=1：圏内から圏外または圏外から圏内へ移動時「+CREG：<stat>」の形式で通知<br>stat=0：圏外　stat=1：圏内　stat=4：不明　stat=5：圏内（国際ローミング中）<br>AT+CREG?：「+CREG：<n>,<stat>」の形式で現在の設定と状態を表示<br>AT+CREG=?：設定可能な値のリストを表示 |
| AT+CUSD=<n>,"<str>" ※1<br>AT+CUSD=0,"012345678" ↵<br>OK | ネットワークサービスの追加サービス（USSD登録）の問い合わせや設定を行います。<str>には、ドコモから通知されたサービスコードを入力します。<br>n=0：中間リザルトを応答しない（お買い上げ時）<br>n=1：中間リザルトを「+CUSD：<m>, "<str>",0」の形式で応答する<br>m=0：情報の要求なし　m=1：情報の要求あり<br>AT+CUSD?：現在の設定を表示　AT+CUSD=?：設定可能な値のリストを表示 |
| AT+FCLASS=<n> ※1<br>AT+FCLASS=0 ↵<br>OK | FOMA端末がサポートする通信種別を設定します。<br>n=0：データのみサポート（お買い上げ時）<br>AT+FCLASS?：現在の設定を表示　AT+FCLASS=?：設定可能な値のリストを表示 |
| AT+GCAP<br>AT+GCAP ↵<br>+GCAP：+CGSM,+FCLASS,+W<br>OK | FOMA端末でサポートしているATコマンドの範囲を「+GCAP：<n>」の形式で表示します。<br>n=+CGSM：GSMコマンドをサポート（一部のみサポートの場合を含む）<br>n=+FCLASS：+FCLASSコマンドをサポート　n=+W：+Wコマンドをサポート |
| AT+GMI<br>AT+GMI ↵<br>FUJITSU<br>OK | FOMA端末のメーカ名を表示します。 |
| AT+GMM<br>AT+GMM ↵<br>FOMA F904i<br>OK | FOMA端末の機種名を表示します。 |
| AT+GMR<br>AT+GMR ↵<br>Ver1.00<br>OK | FOMA端末のバージョンを表示します。 |
| AT+IFC=<n,m> ※1<br>AT+IFC=2,2 ↵<br>OK | パソコンとFOMA端末間のローカルフロー制御方式を設定します。<br>n：DCE by DTE　m：DTE by DCE<br>0：フロー制御を行わない　1：XON/XOFFフロー制御を行う<br>2：RS/CS（RTS/CTS）フロー制御を行う（お買い上げ時）<br>AT+IFC?：現在の設定を表示　AT+IFC=?：設定可能な値のリストを表示 |
| AT+WS46=<n> ※1<br>AT+WS46=22 ↵<br>OK | 発信時に使用する無線ネットワークを設定します。発信に影響は与えません。<br>n=22：FOMAネットワーク（固定値）<br>AT+WS46?：現在の設定を表示　AT+WS46=?：設定可能な値のリストを表示 |
| AT¥S<br>AT¥S ↵<br>E1 Q0 V1 X4 &C1 &D2 &S0<br>・・・（中略）・・・S104=001<br>OK | 現在設定されている各コマンドとSレジスタの内容を表示します。 |
| AT¥V<n> ※1<br>AT¥V0 ↵<br>OK | 接続時の応答コード仕様を設定します。<br>n=0：拡張リザルトコードを使用しない（お買い上げ時）<br>n=1：拡張リザルトコードを使用する |

| 上段：コマンド　下段：実行例 | 説　明 |
|---|---|
| +++ | 通信中に入力すると、オンラインデータモードからオンラインコマンドモードに移行します。<br>エスケープガード区間は1秒の固定値です。 |
| +++(非表示)<br>OK | |

※1 &Wコマンドでfoma端末に記録されます。
※2 &FおよびZコマンドによるリセットは行われません。
※3 &Wコマンドを使用する前にZコマンドを実行すると、最後に記録した状態に戻り、それまでの変更内容は消去されます。

## 切断理由一覧

### ■ パケット通信

| 値 | 理　由 |
|---|---|
| 26 | APNが存在しないか、または正しくありません。 |
| 27 | |
| 30 | ネットワークによって切断されました。 |
| 33 | パケット通信の契約がされていません。 |
| 36 | 正常に切断されました。 |

### ■ 64Kデータ通信

| 値 | 理　由 |
|---|---|
| 1 | 指定した番号は存在しません。 |
| 16 | 正常に切断されました。 |
| 17 | 相手側が通信中のため、通信ができません。 |
| 18 | 発信しましたが、指定時間内に応答がありません。 |
| 19 | 相手側を呼出しましたが応答がありません。 |
| 21 | 相手側が着信を拒否しました。 |
| 63 | ネットワークのサービスおよびオプションが有効ではありません。 |
| 65 | 提供されていない処理速度を指定しました。 |
| 88 | 端末属性の異なる端末に発信したか、または着信を受けました。 |

## エラーレポート一覧

| 数字表示 | 文字表示 | 理　由 |
|---|---|---|
| 10 | SIM not inserted | FOMAカードがセットされていません。 |
| 15 | SIM wrong | ドコモ以外のSIM（FOMAカードに相当するICカード）が挿入されています。 |
| 16 | incorrect password | パスワードが間違っています。 |
| 100 | unknown | 不明なエラーです。 |

# ATコマンドの補足説明

## ■ コマンド名：+CGDCONT=［パラメータ］

- **概要**
  パケット通信の接続先（APN）を設定します。
- **書式**
  +CGDCONT=［＜cid＞［,"PPP"［,"＜APN＞"]]]
- **パラメータ説明**
  ＜cid＞　：1～10
  ＜APN＞：任意
  ※＜cid＞は、FOMA端末内に登録するパケット通信での接続先（APN）を管理する番号です。FOMA端末では「1～10」が登録できます。お買い上げ時、1にはmoperaに接続するためのAPN「mopera.ne.jp」が、3にはmopera Uに接続するためのAPN「mopera.net」が登録されています。
  ＜APN＞は接続先を示す接続ごとの任意の文字列です。
- **実行例**
  「abc」というAPN名を登録する場合のコマンド（＜cid＞=2の場合）
  AT+CGDCONT=2,"PPP","abc" ↵
  OK
- **パラメータを省略した場合の動作**
  AT+CGDCONT=：すべての＜cid＞をお買い上げ時の状態に戻します。
  AT+CGDCONT=＜cid＞：指定した＜cid＞をお買い上げ時の状態に戻します。
  AT+CGDCONT?：現在の設定を表示します。
  AT+CGDCONT=?：設定可能な値のリストを表示します。

## ■ コマンド名：+CGEQMIN=［パラメータ］

- **概要**
  パケット通信確立時にネットワーク側から通知されるQoS（サービス品質）を許容するかどうかの判定基準を設定します。
- **書式**
  AT+CGEQMIN=［＜cid＞［,,＜Maximum bitrate UL＞［,＜Maximum bitrate DL＞]]]
- **パラメータ説明**
  ＜cid＞：1～10
  ＜Maximum bitrate UL＞：なし（お買い上げ時）または64
  ＜Maximum bitrate DL＞：なし（お買い上げ時）または384
  ※＜cid＞は、FOMA端末内に登録するパケット通信での接続先（APN）を管理する番号です。FOMA端末では「1～10」が登録できます。お買い上げ時、1にはmoperaに接続するためのAPN「mopera.ne.jp」が、3にはmopera Uに接続するためのAPN「mopera.net」が登録されています。
  ＜Maximum bitrate UL＞および＜Maximum bitrate DL＞では、FOMA端末と基地局間の上りおよび下りの最低通信速度（kbps）を設定します。「なし（お買い上げ時）」に設定した場合は、すべての速度を許容しますが、「64」および「384」を設定した場合、これらの速度以下の接続は許容されないため、パケット通信が接続されない場合がありますのでご注意ください。
- **実行例**
  (1) 上りと下りですべての速度を許容する場合のコマンド（＜cid＞=2の場合）
  　AT+CGEQMIN=2 ↵
  　OK
  (2) 上り64kbps、下り384kbpsの速度のみ許容する場合のコマンド（＜cid＞=4の場合）
  　AT+CGEQMIN=4,,64,384 ↵
  　OK
  (3) 上り64kbps、下りすべての速度のみ許容する場合のコマンド（＜cid＞=5の場合）
  　AT+CGEQMIN=5,,64 ↵
  　OK
  (4) 上りすべての速度、下り384kbpsの速度のみ許容する場合のコマンド（＜cid＞=6の場合）
  　AT+CGEQMIN=6,,,384 ↵
  　OK

- **パラメータを省略した場合の動作**
  AT+CGEQMIN=：すべての＜cid＞をお買い上げ時の状態に戻します。
  AT+CGEQMIN=＜cid＞：指定した＜cid＞をお買い上げ時の状態に戻します。
  AT+CGEQMIN?：現在の設定を表示します。
  AT+CGEQMIN=?：設定可能な値のリストを表示します。

### ■ コマンド名：+CGEQREQ=［パラメータ］

- **概要**
  パケット通信の発信時にネットワークへ要求するQoS（サービス品質）を設定します。
- **書式**
  AT+CGEQREQ=［＜cid＞］
- **パラメータ説明**
  上り64kbps、下り384kbpsの速度で接続を要求するコマンドのみ設定できます。各＜cid＞にはその内容がお買い上げ時に設定されています。
  ＜cid＞：1～10
  ※＜cid＞は、FOMA端末内に登録するパケット通信での接続先（APN）を管理する番号です。FOMA端末では「1～10」が登録できます。お買い上げ時、1にはmoperaに接続するためのAPN「mopera.ne.jp」が、3にはmopera Uに接続するためのAPN「mopera.net」が登録されています。
- **実行例**
  （＜cid＞=3の場合）
  AT+CGEQREQ=3 ↵
  OK
- **パラメータを省略した場合の動作**
  AT+CGEQREQ=：すべての＜cid＞をお買い上げ時の状態に戻します。
  AT+CGEQREQ=＜cid＞：指定した＜cid＞をお買い上げ時の状態に戻します。
  AT+CGEQREQ?：現在の設定を表示します。
  AT+CGEQREQ=?：設定可能な値のリストを表示します。

## リザルトコード

● ATVコマンドがn=1（お買い上げ時）に設定されている場合は英文字、n=0の場合は数字でリザルトコードが表示されます。→P48

### ■ リザルトコード

| 数字表示 | 文字表示 | 意　味 |
|---|---|---|
| 0 | OK | 正常に実行しました。 |
| 1 | CONNECT | 相手と接続しました。 |
| 2 | RING | 着信が来ています。 |
| 3 | NO CARRIER | 回線が切断されました。 |
| 4 | ERROR | コマンドを受け付けられません。 |
| 6 | NO DIALTONE | ダイヤルトーンの検出ができません。 |
| 7 | BUSY | 話中音の検出中です。 |
| 8 | NO ANSWER | 接続完了タイムアウト。 |
| 100 | RESTRICTION | ネットワークが規制中です（通信ネットワークが混雑しています。しばらくたってから接続し直してください）。 |
| 101 | DELAYED | リダイヤル発信規制中です。 |

## ■ 拡張リザルトコード

| 数字表示 | 文字表示 | FOMA端末ーパソコン間の接続速度 |
|---|---|---|
| 5 | CONNECT 1200 | 1200bps |
| 10 | CONNECT 2400 | 2400bps |
| 11 | CONNECT 4800 | 4800bps |
| 13 | CONNECT 7200 | 7200bps |
| 12 | CONNECT 9600 | 9600bps |
| 15 | CONNECT 14400 | 14400bps |
| 16 | CONNECT 19200 | 19200bps |
| 17 | CONNECT 38400 | 38400bps |
| 18 | CONNECT 57600 | 57600bps |
| 19 | CONNECT 115200 | 115200bps |
| 20 | CONNECT 230400 | 230400bps |
| 21 | CONNECT 460800 | 460800bps |

※ 従来のRS-232Cで接続するモデムとの互換性を保つため通信速度を表示しますが、FOMA端末－パソコン間はUSBケーブルで接続されているため、実際の接続速度と異なります。

## ■ 通信プロトコルリザルトコード

| 数字表示 | 文字表示 | 意　味 |
|---|---|---|
| 1 | PPPoverUD | 64Kデータ通信で接続（BC=UDI、+CBST=116,1,0） |
| 3 | AV64K | 64Kテレビ電話で接続 |
| 5 | PACKET | パケット通信で接続 |

## ■ リザルトコード表示例

**ATX0が設定されているとき**

AT¥Vコマンドの設定に関わらず、接続完了の際に「CONNECT」のみの表示となります。

文字表示例 ：ATD＊99＊＊＊3#
　　　　　　CONNECT

数字表示例 ：ATD＊99＊＊＊3#
　　　　　　1

**ATX1が設定されているとき**

- ATX1、AT¥V0（お買い上げ時）が設定されている場合
  接続完了のときに、「CONNECT＜FOMA端末－パソコン間の速度＞」の書式で表示します。
  文字表示例 ：ATD＊99＊＊＊3#
  　　　　　　CONNECT 460800
  数字表示例 ：ATD＊99＊＊＊3#
  　　　　　　1 21
- ATX1、AT¥V1が設定されている場合※1
  接続完了のときに、次の書式で表示します。
  「CONNECT＜FOMA端末－パソコン間の速度＞＜通信プロトコル＞＜接続先APN＞/＜上り方向（FOMA端末→無線基地局間）の最高速度＞/＜下り方向（FOMA端末←無線基地局間）の最高速度＞」※2
  文字表示例 ：ATD＊99＊＊＊3#
  　　　　　　CONNECT 460800 PACKET mopera.net/64/384
  　　　　　　（mopera.netに、上り最大64kbps、下り最大384kbpsで接続したことを表します。）
  数字表示例 ：ATD＊99＊＊＊3#
  　　　　　　1 21 5

※1 ATX1、AT¥V1を同時に設定した場合、ダイヤルアップ接続が正しくできないことがあります。AT¥V0だけでのご利用をおすすめします。

※2 AT¥V1が設定されている場合、＜接続先APN＞以降はパケットで接続している場合のみ表示されます。

# FOMA® F904i
# 区点コード一覧

'07.5（1版）
CA92002-5087

# 区点コード一覧

※ 区点コード入力の操作については、取扱説明書「文字入力」章の「区点コードで入力する」をご覧ください。

※ 区点コード一覧の表示には、実際の表示と見えかたが異なるものがあります。

| 区点1～3桁 | 0 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 010 | | (スペース) | 、 | 。 | ， | ． | ・ | ： | ； | ？ |
| 011 | ！ | ゛ | ゜ | ´ | ｀ | ¨ | ＾ | ￣ | ＿ | ヽ |
| 012 | ヾ | ゝ | ゞ | 〃 | 仝 | 々 | 〆 | 〇 | ー | ― |
| 013 | ‐ | ／ | ＼ | ～ | ∥ | ｜ | … | ‥ | ‘ | ’ |
| 014 | “ | ” | （ | ） | 〔 | 〕 | ［ | ］ | ｛ | ｝ |
| 015 | 〈 | 〉 | 《 | 》 | 「 | 」 | 『 | 』 | 【 | 】 |
| 016 | ＋ | － | ± | × | ÷ | ＝ | ≠ | ＜ | ＞ | ≦ |
| 017 | ≧ | ∞ | ∴ | ♂ | ♀ | ° | ′ | ″ | ℃ | ￥ |
| 018 | ＄ | ¢ | £ | ％ | ＃ | ＆ | ＊ | ＠ | § | ☆ |
| 019 | ★ | ○ | ● | ◎ | ◇ | | | | | |
| 020 | | ◆ | □ | ■ | △ | ▲ | ▽ | ▼ | ※ | 〒 |
| 021 | → | ← | ↑ | ↓ | 〓 | | | | | |
| 022 | | | | | | | ∈ | ∋ | ⊆ | ⊇ |
| 023 | ⊂ | ⊃ | ∪ | ∩ | | | | | | |
| 024 | | | ∧ | ∨ | ￢ | ⇒ | ⇔ | ∀ | ∃ | |
| 026 | ∠ | ⊥ | ⌒ | ∂ | ∇ | ≡ | ≒ | ≪ | ≫ | √ |
| 027 | ∽ | ∝ | ∵ | ∫ | ∬ | | | | | |
| 028 | | | Å | ‰ | ♯ | ♭ | ♪ | † | ‡ | ¶ |
| 029 | | | | | ◯ | | | | | |
| 031 | | | | | | | ０ | １ | ２ | ３ |
| 032 | ４ | ５ | ６ | ７ | ８ | ９ | | | | |
| 033 | | | | Ａ | Ｂ | Ｃ | Ｄ | Ｅ | Ｆ | Ｇ |
| 034 | Ｈ | Ｉ | Ｊ | Ｋ | Ｌ | Ｍ | Ｎ | Ｏ | Ｐ | Ｑ |
| 035 | Ｒ | Ｓ | Ｔ | Ｕ | Ｖ | Ｗ | Ｘ | Ｙ | Ｚ | |
| 036 | | | | | | ａ | ｂ | ｃ | ｄ | ｅ |
| 037 | ｆ | ｇ | ｈ | ｉ | ｊ | ｋ | ｌ | ｍ | ｎ | ｏ |
| 038 | ｐ | ｑ | ｒ | ｓ | ｔ | ｕ | ｖ | ｗ | ｘ | ｙ |
| 039 | ｚ | | | | | | | | | |
| 040 | | ぁ | あ | ぃ | い | ぅ | う | ぇ | え | ぉ |
| 041 | お | か | が | き | ぎ | く | ぐ | け | げ | こ |
| 042 | ご | さ | ざ | し | じ | す | ず | せ | ぜ | そ |
| 043 | ぞ | た | だ | ち | ぢ | っ | つ | づ | て | で |
| 044 | と | ど | な | に | ぬ | ね | の | は | ば | ぱ |
| 045 | ひ | び | ぴ | ふ | ぶ | ぷ | へ | べ | ぺ | ほ |
| 046 | ぼ | ぽ | ま | み | む | め | も | ゃ | や | ゅ |
| 047 | ゆ | ょ | よ | ら | り | る | れ | ろ | ゎ | わ |
| 048 | ゐ | ゑ | を | ん | | | | | | |
| 050 | | ァ | ア | ィ | イ | ゥ | ウ | ェ | エ | ォ |
| 051 | オ | カ | ガ | キ | ギ | ク | グ | ケ | ゲ | コ |
| 052 | ゴ | サ | ザ | シ | ジ | ス | ズ | セ | ゼ | ソ |
| 053 | ゾ | タ | ダ | チ | ヂ | ッ | ツ | ヅ | テ | デ |
| 054 | ト | ド | ナ | ニ | ヌ | ネ | ノ | ハ | バ | パ |
| 055 | ヒ | ビ | ピ | フ | ブ | プ | ヘ | ベ | ペ | ホ |
| 056 | ボ | ポ | マ | ミ | ム | メ | モ | ャ | ヤ | ュ |
| 057 | ユ | ョ | ヨ | ラ | リ | ル | レ | ロ | ヮ | ワ |
| 058 | ヰ | ヱ | ヲ | ン | ヴ | ヵ | ヶ | | | |
| 060 | | Α | Β | Γ | Δ | Ε | Ζ | Η | Θ | Ι |
| 061 | Κ | Λ | Μ | Ν | Ξ | Ο | Π | Ρ | Σ | Τ |
| 062 | Υ | Φ | Χ | Ψ | Ω | | | | | |
| 063 | | | | α | β | γ | δ | ε | ζ | η |
| 064 | θ | ι | κ | λ | μ | ν | ξ | ο | π | ρ |
| 065 | σ | τ | υ | φ | χ | ψ | ω | | | |
| 070 | | А | Б | В | Г | Д | Е | Ё | Ж | З |
| 071 | И | Й | К | Л | М | Н | О | П | Р | С |
| 072 | Т | У | Ф | Х | Ц | Ч | Ш | Щ | Ъ | Ы |
| 073 | Ь | Э | Ю | Я | | | | | | |
| 074 | | | | | | | | | | а |
| 075 | б | в | г | д | е | ё | ж | з | и | й |
| 076 | к | л | м | н | о | п | р | с | т | у |
| 077 | ф | х | ц | ч | ш | щ | ъ | ы | ь | э |
| 078 | ю | я | | | | | | | | |
| 080 | | ─ | │ | ┌ | ┐ | ┘ | └ | ├ | ┬ | ┤ |
| 081 | ┴ | ┼ | ━ | ┃ | ┏ | ┓ | ┛ | ┗ | ┣ | ┳ |
| 082 | ┫ | ┻ | ╋ | ┠ | ┯ | ┨ | ┷ | ┿ | ┝ | ┰ |

| 区点1～3桁 | 0 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 083 | ┥ | ┸ | ╂ | | | | | | | |
| 130 | | ① | ② | ③ | ④ | ⑤ | ⑥ | ⑦ | ⑧ | ⑨ |
| 131 | ⑩ | ⑪ | ⑫ | ⑬ | ⑭ | ⑮ | ⑯ | ⑰ | ⑱ | ⑲ |
| 132 | ⑳ | Ⅰ | Ⅱ | Ⅲ | Ⅳ | Ⅴ | Ⅵ | Ⅶ | Ⅷ | Ⅸ |
| 133 | Ⅹ | | ㍉ | ㌔ | ㌢ | ㍍ | ㌘ | ㌧ | ㌃ | ㌶ |
| 134 | ㍑ | ㍗ | ㌍ | ㌦ | ㌣ | ㌫ | ㍊ | ㌻ | ㎜ | ㎝ |
| 135 | ㎞ | ㎎ | ㎏ | ㏄ | ㎡ | | | | | |
| 136 | | | | ㍻ | 〝 | 〟 | № | ㏍ | ℡ | ㊤ |
| 137 | ㊥ | ㊦ | ㊧ | ㊨ | ㈱ | ㈲ | ㈹ | ㍾ | ㍽ | ㍼ |
| 138 | ≒ | ≡ | ∫ | ∮ | ∑ | √ | ⊥ | ∠ | ∟ | ⊿ |
| 139 | ∵ | ∩ | ∪ | | | | | | | |
| | あ | | | | | | | | | |
| 160 | | 亜 | 唖 | 娃 | 阿 | 哀 | 愛 | 挨 | 姶 | 逢 |
| 161 | 葵 | 茜 | 穐 | 悪 | 握 | 渥 | 旭 | 葦 | 芦 | 鯵 |
| 162 | 梓 | 圧 | 斡 | 扱 | 宛 | 姐 | 虻 | 飴 | 絢 | 綾 |
| 163 | 鮎 | 或 | 粟 | 袷 | 安 | 庵 | 按 | 暗 | 案 | 闇 |
| 164 | 鞍 | 杏 | | | | | | | | |
| | い | | | | | | | | | |
| 164 | | | 以 | 伊 | 位 | 依 | 偉 | 囲 | 夷 | 委 |
| 165 | 威 | 尉 | 惟 | 意 | 慰 | 易 | 椅 | 為 | 畏 | 異 |
| 166 | 移 | 維 | 緯 | 胃 | 萎 | 衣 | 謂 | 違 | 遺 | 医 |
| 167 | 井 | 亥 | 域 | 育 | 郁 | 磯 | 一 | 壱 | 溢 | 逸 |
| 168 | 稲 | 茨 | 芋 | 鰯 | 允 | 印 | 咽 | 員 | 因 | 姻 |
| 169 | 引 | 飲 | 淫 | 胤 | 蔭 | | | | | |
| 170 | | 院 | 陰 | 隠 | 韻 | 吋 | | | | |
| | う | | | | | | | | | |
| 170 | | | | | | | 右 | 宇 | 烏 | 羽 |
| 171 | 迂 | 雨 | 卯 | 鵜 | 窺 | 丑 | 碓 | 臼 | 渦 | 嘘 |
| 172 | 唄 | 欝 | 蔚 | 鰻 | 姥 | 厩 | 浦 | 瓜 | 閏 | 噂 |
| 173 | 云 | 運 | 雲 | | | | | | | |
| | え | | | | | | | | | |
| 173 | | | | 荏 | 餌 | 叡 | 営 | 嬰 | 影 | 映 |
| 174 | 曳 | 栄 | 永 | 泳 | 洩 | 瑛 | 盈 | 穎 | 頴 | 英 |
| 175 | 衛 | 詠 | 鋭 | 液 | 疫 | 益 | 駅 | 悦 | 謁 | 越 |
| 176 | 閲 | 榎 | 厭 | 円 | 園 | 堰 | 奄 | 宴 | 延 | 怨 |
| 177 | 掩 | 援 | 沿 | 演 | 炎 | 焔 | 煙 | 燕 | 猿 | 縁 |
| 178 | 艶 | 苑 | 薗 | 遠 | 鉛 | 鴛 | 塩 | | | |
| | お | | | | | | | | | |
| 178 | | | | | | | | 於 | 汚 | 甥 |
| 179 | 凹 | 央 | 奥 | 往 | 応 | | | | | |
| 180 | | 押 | 旺 | 横 | 欧 | 殴 | 王 | 翁 | 襖 | 鴬 |
| 181 | 鴎 | 黄 | 岡 | 沖 | 荻 | 億 | 屋 | 憶 | 臆 | 桶 |
| 182 | 牡 | 乙 | 俺 | 卸 | 恩 | 温 | 穏 | 音 | | |
| | か | | | | | | | | | |
| 182 | | | | | | | | | 下 | 化 |
| 183 | 仮 | 何 | 伽 | 価 | 佳 | 加 | 可 | 嘉 | 夏 | 嫁 |
| 184 | 家 | 寡 | 科 | 暇 | 果 | 架 | 歌 | 河 | 火 | 珂 |
| 185 | 禍 | 禾 | 稼 | 箇 | 花 | 苛 | 茄 | 荷 | 華 | 菓 |
| 186 | 蝦 | 課 | 嘩 | 貨 | 迦 | 過 | 霞 | 蚊 | 俄 | 峨 |
| 187 | 我 | 牙 | 画 | 臥 | 芽 | 蛾 | 賀 | 雅 | 餓 | 駕 |
| 188 | 介 | 会 | 解 | 回 | 塊 | 壊 | 廻 | 快 | 怪 | 悔 |
| 189 | 恢 | 懐 | 戒 | 拐 | 改 | | | | | |
| 190 | | 魁 | 晦 | 械 | 海 | 灰 | 界 | 皆 | 絵 | 芥 |
| 191 | 蟹 | 開 | 階 | 貝 | 凱 | 劾 | 外 | 咳 | 害 | 崖 |
| 192 | 慨 | 概 | 涯 | 碍 | 蓋 | 街 | 該 | 鎧 | 骸 | 浬 |
| 193 | 馨 | 蛙 | 垣 | 柿 | 蛎 | 鈎 | 劃 | 嚇 | 各 | 廓 |
| 194 | 拡 | 撹 | 格 | 核 | 殻 | 獲 | 確 | 穫 | 覚 | 角 |
| 195 | 赫 | 較 | 郭 | 閣 | 隔 | 革 | 学 | 岳 | 楽 | 額 |
| 196 | 顎 | 掛 | 笠 | 樫 | 橿 | 梶 | 鰍 | 潟 | 割 | 喝 |
| 197 | 恰 | 括 | 活 | 渇 | 滑 | 葛 | 褐 | 轄 | 且 | 鰹 |
| 198 | 叶 | 椛 | 樺 | 鞄 | 株 | 兜 | 竃 | 蒲 | 釜 | 鎌 |
| 199 | 噛 | 鴨 | 栢 | 茅 | 萱 | | | | | |
| 200 | | 粥 | 刈 | 苅 | 瓦 | 乾 | 侃 | 冠 | 寒 | 刊 |
| 201 | 勘 | 勧 | 巻 | 喚 | 堪 | 姦 | 完 | 官 | 寛 | 干 |
| 202 | 幹 | 患 | 感 | 慣 | 憾 | 換 | 敢 | 柑 | 桓 | 棺 |
| 203 | 款 | 歓 | 汗 | 漢 | 澗 | 潅 | 環 | 甘 | 監 | 看 |
| 204 | 竿 | 管 | 簡 | 緩 | 缶 | 翰 | 肝 | 艦 | 莞 | 観 |
| 205 | 諌 | 貫 | 還 | 鑑 | 間 | 閑 | 関 | 陥 | 韓 | 館 |
| 206 | 舘 | 丸 | 含 | 岸 | 巌 | 玩 | 癌 | 眼 | 岩 | 翫 |

| 区点1～3桁 | 0 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 207 | 贋 | 雁 | 頑 | 顔 | 願 | | | | | |
| | き | | | | | | | | | |
| 207 | | | | | | 企 | 伎 | 危 | 喜 | 器 |
| 208 | 基 | 奇 | 嬉 | 寄 | 岐 | 希 | 幾 | 忌 | 揮 | 机 |
| 209 | 旗 | 既 | 期 | 棋 | 棄 | | | | | |
| 210 | | 機 | 帰 | 毅 | 気 | 汽 | 畿 | 祈 | 季 | 稀 |
| 211 | 紀 | 徽 | 規 | 記 | 貴 | 起 | 軌 | 輝 | 飢 | 騎 |
| 212 | 鬼 | 亀 | 偽 | 儀 | 妓 | 宜 | 戯 | 技 | 擬 | 欺 |
| 213 | 犠 | 疑 | 祇 | 義 | 蟻 | 誼 | 議 | 掬 | 菊 | 鞠 |
| 214 | 吉 | 吃 | 喫 | 桔 | 橘 | 詰 | 砧 | 杵 | 黍 | 却 |
| 215 | 客 | 脚 | 虐 | 逆 | 丘 | 久 | 仇 | 休 | 及 | 吸 |
| 216 | 宮 | 弓 | 急 | 救 | 朽 | 求 | 汲 | 泣 | 灸 | 球 |
| 217 | 究 | 窮 | 笈 | 級 | 糾 | 給 | 旧 | 牛 | 去 | 居 |
| 218 | 巨 | 拒 | 拠 | 挙 | 渠 | 虚 | 許 | 距 | 鋸 | 漁 |
| 219 | 禦 | 魚 | 亨 | 享 | 京 | | | | | |
| 220 | | 供 | 侠 | 僑 | 兇 | 競 | 共 | 凶 | 協 | 匡 |
| 221 | 卿 | 叫 | 喬 | 境 | 峡 | 強 | 彊 | 怯 | 恐 | 恭 |
| 222 | 挟 | 教 | 橋 | 況 | 狂 | 狭 | 矯 | 胸 | 脅 | 興 |
| 223 | 蕎 | 郷 | 鏡 | 響 | 饗 | 驚 | 仰 | 凝 | 尭 | 暁 |
| 224 | 業 | 局 | 曲 | 極 | 玉 | 桐 | 粁 | 僅 | 勤 | 均 |
| 225 | 巾 | 錦 | 斤 | 欣 | 欽 | 琴 | 禁 | 禽 | 筋 | 緊 |
| 226 | 芹 | 菌 | 衿 | 襟 | 謹 | 近 | 金 | 吟 | 銀 | |
| | く | | | | | | | | | |
| 226 | | | | | | | | | | 九 |
| 227 | 倶 | 句 | 区 | 狗 | 玖 | 矩 | 苦 | 躯 | 駆 | 駈 |
| 228 | 駒 | 具 | 愚 | 虞 | 喰 | 空 | 偶 | 寓 | 遇 | 隅 |
| 229 | 串 | 櫛 | 釧 | 屑 | 屈 | | | | | |
| 230 | | 掘 | 窟 | 沓 | 靴 | 轡 | 窪 | 熊 | 隈 | 粂 |
| 231 | 栗 | 繰 | 桑 | 鍬 | 勲 | 君 | 薫 | 訓 | 群 | 軍 |
| 232 | 郡 | | | | | | | | | |
| | け | | | | | | | | | |
| 232 | | 卦 | 袈 | 祁 | 係 | 傾 | 刑 | 兄 | 啓 | 圭 |
| 233 | 珪 | 型 | 契 | 形 | 径 | 恵 | 慶 | 慧 | 憩 | 掲 |
| 234 | 携 | 敬 | 景 | 桂 | 渓 | 畦 | 稽 | 系 | 経 | 継 |
| 235 | 繋 | 罫 | 茎 | 荊 | 蛍 | 計 | 詣 | 警 | 軽 | 頚 |
| 236 | 鶏 | 芸 | 迎 | 鯨 | 劇 | 戟 | 撃 | 激 | 隙 | 桁 |
| 237 | 傑 | 欠 | 決 | 潔 | 穴 | 結 | 血 | 訣 | 月 | 件 |
| 238 | 倹 | 倦 | 健 | 兼 | 券 | 剣 | 喧 | 圏 | 堅 | 嫌 |
| 239 | 建 | 憲 | 懸 | 拳 | 捲 | | | | | |
| 240 | | 検 | 権 | 牽 | 犬 | 献 | 研 | 硯 | 絹 | 県 |
| 241 | 肩 | 見 | 謙 | 賢 | 軒 | 遣 | 鍵 | 険 | 顕 | 験 |
| 242 | 鹸 | 元 | 原 | 厳 | 幻 | 弦 | 減 | 源 | 玄 | 現 |
| 243 | 絃 | 舷 | 言 | 諺 | 限 | | | | | |
| | こ | | | | | | | | | |
| 243 | | | | | | 乎 | 個 | 古 | 呼 | 固 |
| 244 | 姑 | 孤 | 己 | 庫 | 弧 | 戸 | 故 | 枯 | 湖 | 狐 |
| 245 | 糊 | 袴 | 股 | 胡 | 菰 | 虎 | 誇 | 跨 | 鈷 | 雇 |
| 246 | 顧 | 鼓 | 五 | 互 | 伍 | 午 | 呉 | 吾 | 娯 | 後 |
| 247 | 御 | 悟 | 梧 | 檎 | 瑚 | 碁 | 語 | 誤 | 護 | 醐 |
| 248 | 乞 | 鯉 | 交 | 佼 | 侯 | 候 | 倖 | 光 | 公 | 功 |
| 249 | 効 | 勾 | 厚 | 口 | 向 | | | | | |
| 250 | | 后 | 喉 | 坑 | 垢 | 好 | 孔 | 孝 | 宏 | 工 |
| 251 | 巧 | 巷 | 幸 | 広 | 庚 | 康 | 弘 | 恒 | 慌 | 抗 |
| 252 | 拘 | 控 | 攻 | 昂 | 晃 | 更 | 杭 | 校 | 梗 | 構 |
| 253 | 江 | 洪 | 浩 | 港 | 溝 | 甲 | 皇 | 硬 | 稿 | 糠 |
| 254 | 紅 | 紘 | 絞 | 綱 | 耕 | 考 | 肯 | 肱 | 腔 | 膏 |
| 255 | 航 | 荒 | 行 | 衡 | 講 | 貢 | 購 | 郊 | 酵 | 鉱 |
| 256 | 砿 | 鋼 | 閤 | 降 | 項 | 香 | 高 | 鴻 | 剛 | 劫 |
| 257 | 号 | 合 | 壕 | 拷 | 濠 | 豪 | 轟 | 麹 | 克 | 刻 |
| 258 | 告 | 国 | 穀 | 酷 | 鵠 | 黒 | 獄 | 漉 | 腰 | 甑 |
| 259 | 忽 | 惚 | 骨 | 狛 | 込 | | | | | |
| 260 | | 此 | 頃 | 今 | 困 | 坤 | 墾 | 婚 | 恨 | 懇 |
| 261 | 昏 | 昆 | 根 | 梱 | 混 | 痕 | 紺 | 艮 | 魂 | |
| | さ | | | | | | | | | |
| 261 | | | | | | | | | | 些 |
| 262 | 佐 | 叉 | 唆 | 嵯 | 左 | 差 | 査 | 沙 | 瑳 | 砂 |
| 263 | 詐 | 鎖 | 裟 | 坐 | 座 | 挫 | 債 | 催 | 再 | 最 |
| 264 | 哉 | 塞 | 妻 | 宰 | 彩 | 才 | 採 | 栽 | 歳 | 済 |
| 265 | 災 | 采 | 犀 | 砕 | 砦 | 祭 | 斎 | 細 | 菜 | 裁 |
| 266 | 載 | 際 | 剤 | 在 | 材 | 罪 | 財 | 冴 | 坂 | 阪 |

| 区点<br>1～3桁 | 0 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 267 | 堺 | 榊 | 肴 | 咲 | 崎 | 埼 | 碕 | 鷺 | 作 | 削 |
| 268 | 咋 | 搾 | 昨 | 朔 | 柵 | 窄 | 策 | 索 | 錯 | 桜 |
| 269 | 鮭 | 笹 | 匙 | 冊 | 刷 | | | | | |
| 270 | | 察 | 拶 | 撮 | 擦 | 札 | 殺 | 薩 | 雑 | 皐 |
| 271 | 鯖 | 捌 | 錆 | 鮫 | 皿 | 晒 | 三 | 傘 | 参 | 山 |
| 272 | 惨 | 撒 | 散 | 桟 | 燦 | 珊 | 産 | 算 | 纂 | 蚕 |
| 273 | 讃 | 賛 | 酸 | 餐 | 斬 | 暫 | 残 | | | |
| | し | | | | | | | | | |
| 273 | | | | | | | | 仕 | 仔 | 伺 |
| 274 | 使 | 刺 | 司 | 史 | 嗣 | 四 | 士 | 始 | 姉 | 姿 |
| 275 | 子 | 屍 | 市 | 師 | 志 | 思 | 指 | 支 | 孜 | 斯 |
| 276 | 施 | 旨 | 枝 | 止 | 死 | 氏 | 獅 | 祉 | 私 | 糸 |
| 277 | 紙 | 紫 | 肢 | 脂 | 至 | 視 | 詞 | 詩 | 試 | 誌 |
| 278 | 諮 | 資 | 賜 | 雌 | 飼 | 歯 | 事 | 似 | 侍 | 児 |
| 279 | 字 | 寺 | 慈 | 持 | 時 | | | | | |
| 280 | | 次 | 滋 | 治 | 爾 | 璽 | 痔 | 磁 | 示 | 而 |
| 281 | 耳 | 自 | 蒔 | 辞 | 汐 | 鹿 | 式 | 識 | 鴫 | 竺 |
| 282 | 軸 | 宍 | 雫 | 七 | 叱 | 執 | 失 | 嫉 | 室 | 悉 |
| 283 | 湿 | 漆 | 疾 | 質 | 実 | 蔀 | 篠 | 偲 | 柴 | 芝 |
| 284 | 屡 | 蕊 | 縞 | 舎 | 写 | 射 | 捨 | 赦 | 斜 | 煮 |
| 285 | 社 | 紗 | 者 | 謝 | 車 | 遮 | 蛇 | 邪 | 借 | 勺 |
| 286 | 尺 | 杓 | 灼 | 爵 | 酌 | 釈 | 錫 | 若 | 寂 | 弱 |
| 287 | 惹 | 主 | 取 | 守 | 手 | 朱 | 殊 | 狩 | 珠 | 種 |
| 288 | 腫 | 趣 | 酒 | 首 | 儒 | 受 | 呪 | 寿 | 授 | 樹 |
| 289 | 綬 | 需 | 囚 | 収 | 周 | | | | | |
| 290 | | 宗 | 就 | 州 | 修 | 愁 | 拾 | 洲 | 秀 | 秋 |
| 291 | 終 | 繍 | 習 | 臭 | 舟 | 蒐 | 衆 | 襲 | 讐 | 蹴 |
| 292 | 輯 | 週 | 酋 | 酬 | 集 | 醜 | 什 | 住 | 充 | 十 |
| 293 | 従 | 戎 | 柔 | 汁 | 渋 | 獣 | 縦 | 重 | 銃 | 叔 |
| 294 | 夙 | 宿 | 淑 | 祝 | 縮 | 粛 | 塾 | 熟 | 出 | 術 |
| 295 | 述 | 俊 | 峻 | 春 | 瞬 | 竣 | 舜 | 駿 | 准 | 循 |
| 296 | 旬 | 楯 | 殉 | 淳 | 準 | 潤 | 盾 | 純 | 巡 | 遵 |
| 297 | 醇 | 順 | 処 | 初 | 所 | 暑 | 曙 | 渚 | 庶 | 緒 |
| 298 | 署 | 書 | 薯 | 藷 | 諸 | 助 | 叙 | 女 | 序 | 徐 |
| 299 | 恕 | 鋤 | 除 | 傷 | 償 | | | | | |
| 300 | | 勝 | 匠 | 升 | 召 | 哨 | 商 | 唱 | 嘗 | 奨 |
| 301 | 妾 | 娼 | 宵 | 将 | 小 | 少 | 尚 | 庄 | 床 | 廠 |
| 302 | 彰 | 承 | 抄 | 招 | 掌 | 捷 | 昇 | 昌 | 昭 | 晶 |
| 303 | 松 | 梢 | 樟 | 樵 | 沼 | 消 | 渉 | 湘 | 焼 | 焦 |
| 304 | 照 | 症 | 省 | 硝 | 礁 | 祥 | 称 | 章 | 笑 | 粧 |
| 305 | 紹 | 肖 | 菖 | 蒋 | 蕉 | 衝 | 裳 | 訟 | 証 | 詔 |
| 306 | 詳 | 象 | 賞 | 醤 | 鉦 | 鍾 | 鐘 | 障 | 鞘 | 上 |
| 307 | 丈 | 丞 | 乗 | 冗 | 剰 | 城 | 場 | 壌 | 嬢 | 常 |
| 308 | 情 | 擾 | 条 | 杖 | 浄 | 状 | 畳 | 穣 | 蒸 | 譲 |
| 309 | 醸 | 錠 | 嘱 | 埴 | 飾 | | | | | |
| 310 | | 拭 | 植 | 殖 | 燭 | 織 | 職 | 色 | 触 | 食 |
| 311 | 蝕 | 辱 | 尻 | 伸 | 信 | 侵 | 唇 | 娠 | 寝 | 審 |
| 312 | 心 | 慎 | 振 | 新 | 晋 | 森 | 榛 | 浸 | 深 | 申 |
| 313 | 疹 | 真 | 神 | 秦 | 紳 | 臣 | 芯 | 薪 | 親 | 診 |
| 314 | 身 | 辛 | 進 | 針 | 震 | 人 | 仁 | 刃 | 塵 | 壬 |
| 315 | 尋 | 甚 | 尽 | 腎 | 訊 | 迅 | 陣 | 靭 | | |
| | す | | | | | | | | | |
| 315 | | | | | | | | | 笥 | 諏 |
| 316 | 須 | 酢 | 図 | 厨 | 逗 | 吹 | 垂 | 帥 | 推 | 水 |
| 317 | 炊 | 睡 | 粋 | 翠 | 衰 | 遂 | 酔 | 錐 | 錘 | 随 |
| 318 | 瑞 | 髄 | 崇 | 嵩 | 数 | 枢 | 趨 | 雛 | 据 | 杉 |
| 319 | 椙 | 菅 | 頗 | 雀 | 裾 | | | | | |
| 320 | | 澄 | 摺 | 寸 | | | | | | |
| | せ | | | | | | | | | |
| 320 | | | | | 世 | 瀬 | 畝 | 是 | 凄 | 制 |
| 321 | 勢 | 姓 | 征 | 性 | 成 | 政 | 整 | 星 | 晴 | 棲 |
| 322 | 栖 | 正 | 清 | 牲 | 生 | 盛 | 精 | 聖 | 声 | 製 |
| 323 | 西 | 誠 | 誓 | 請 | 逝 | 醒 | 青 | 静 | 斉 | 税 |
| 324 | 脆 | 隻 | 席 | 惜 | 戚 | 斥 | 昔 | 析 | 石 | 積 |
| 325 | 籍 | 績 | 脊 | 責 | 赤 | 跡 | 蹟 | 碩 | 切 | 拙 |
| 326 | 接 | 摂 | 折 | 設 | 窃 | 節 | 説 | 雪 | 絶 | 舌 |
| 327 | 蝉 | 仙 | 先 | 千 | 占 | 宣 | 専 | 尖 | 川 | 戦 |
| 328 | 扇 | 撰 | 栓 | 栴 | 泉 | 浅 | 洗 | 染 | 潜 | 煎 |
| 329 | 煽 | 旋 | 穿 | 箭 | 線 | | | | | |
| 330 | | 繊 | 羨 | 腺 | 舛 | 船 | 薦 | 詮 | 賎 | 践 |
| 331 | 選 | 遷 | 銭 | 銑 | 閃 | 鮮 | 前 | 善 | 漸 | 然 |
| 332 | 全 | 禅 | 繕 | 膳 | 糎 | | | | | |
| | そ | | | | | | | | | |
| 332 | | | | | | 噌 | 塑 | 岨 | 措 | 曾 |
| 333 | 曽 | 楚 | 狙 | 疏 | 疎 | 礎 | 祖 | 租 | 粗 | 素 |
| 334 | 組 | 蘇 | 訴 | 阻 | 遡 | 鼠 | 僧 | 創 | 双 | 叢 |
| 335 | 倉 | 喪 | 壮 | 奏 | 爽 | 宋 | 層 | 匝 | 惣 | 想 |

| 区点<br>1～3桁 | 0 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 336 | 捜 | 掃 | 挿 | 掻 | 操 | 早 | 曹 | 巣 | 槍 | 槽 |
| 337 | 漕 | 燥 | 争 | 痩 | 相 | 窓 | 糟 | 総 | 綜 | 聡 |
| 338 | 草 | 荘 | 葬 | 蒼 | 藻 | 装 | 走 | 送 | 遭 | 鎗 |
| 339 | 霜 | 騒 | 像 | 増 | 憎 | | | | | |
| 340 | | 臓 | 蔵 | 贈 | 造 | 促 | 側 | 則 | 即 | 息 |
| 341 | 捉 | 束 | 測 | 足 | 速 | 俗 | 属 | 賊 | 族 | 続 |
| 342 | 卒 | 袖 | 其 | 揃 | 存 | 孫 | 尊 | 損 | 村 | 遜 |
| | た | | | | | | | | | |
| 343 | 他 | 多 | 太 | 汰 | 詑 | 唾 | 堕 | 妥 | 惰 | 打 |
| 344 | 柁 | 舵 | 楕 | 陀 | 駄 | 騨 | 体 | 堆 | 対 | 耐 |
| 345 | 岱 | 帯 | 待 | 怠 | 態 | 戴 | 替 | 泰 | 滞 | 胎 |
| 346 | 腿 | 苔 | 袋 | 貸 | 退 | 逮 | 隊 | 黛 | 鯛 | 代 |
| 347 | 台 | 大 | 第 | 醍 | 題 | 鷹 | 滝 | 瀧 | 卓 | 啄 |
| 348 | 宅 | 托 | 択 | 拓 | 沢 | 濯 | 琢 | 託 | 鐸 | 濁 |
| 349 | 諾 | 茸 | 凧 | 蛸 | 只 | | | | | |
| 350 | | 叩 | 但 | 達 | 辰 | 奪 | 脱 | 巽 | 竪 | 辿 |
| 351 | 棚 | 谷 | 狸 | 鱈 | 樽 | 誰 | 丹 | 単 | 嘆 | 坦 |
| 352 | 担 | 探 | 旦 | 歎 | 淡 | 湛 | 炭 | 短 | 端 | 箪 |
| 353 | 綻 | 耽 | 胆 | 蛋 | 誕 | 鍛 | 団 | 壇 | 弾 | 断 |
| 354 | 暖 | 檀 | 段 | 男 | 談 | | | | | |
| | ち | | | | | | | | | |
| 354 | | | | | | 値 | 知 | 地 | 弛 | 恥 |
| 355 | 智 | 池 | 痴 | 稚 | 置 | 致 | 蜘 | 遅 | 馳 | 築 |
| 356 | 畜 | 竹 | 筑 | 蓄 | 逐 | 秩 | 窒 | 茶 | 嫡 | 着 |
| 357 | 中 | 仲 | 宙 | 忠 | 抽 | 昼 | 柱 | 注 | 虫 | 衷 |
| 358 | 註 | 酎 | 鋳 | 駐 | 樗 | 瀦 | 猪 | 苧 | 著 | 貯 |
| 359 | 丁 | 兆 | 凋 | 喋 | 寵 | | | | | |
| 360 | | 帖 | 帳 | 庁 | 弔 | 張 | 彫 | 徴 | 懲 | 挑 |
| 361 | 暢 | 朝 | 潮 | 牒 | 町 | 眺 | 聴 | 脹 | 腸 | 蝶 |
| 362 | 調 | 諜 | 超 | 跳 | 銚 | 長 | 頂 | 鳥 | 勅 | 捗 |
| 363 | 直 | 朕 | 沈 | 珍 | 賃 | 鎮 | 陳 | | | |
| | つ | | | | | | | | | |
| 363 | | | | | | | | 津 | 墜 | 椎 |
| 364 | 槌 | 追 | 鎚 | 痛 | 通 | 塚 | 栂 | 掴 | 槻 | 佃 |
| 365 | 漬 | 柘 | 辻 | 蔦 | 綴 | 鍔 | 椿 | 潰 | 坪 | 壷 |
| 366 | 嬬 | 紬 | 爪 | 吊 | 釣 | 鶴 | | | | |
| | て | | | | | | | | | |
| 366 | | | | | | | 亭 | 低 | 停 | 偵 |
| 367 | 剃 | 貞 | 呈 | 堤 | 定 | 帝 | 底 | 庭 | 廷 | 弟 |
| 368 | 悌 | 抵 | 挺 | 提 | 梯 | 汀 | 碇 | 禎 | 程 | 締 |
| 369 | 艇 | 訂 | 諦 | 蹄 | 逓 | | | | | |
| 370 | | 邸 | 鄭 | 釘 | 鼎 | 泥 | 摘 | 擢 | 敵 | 滴 |
| 371 | 的 | 笛 | 適 | 鏑 | 溺 | 哲 | 徹 | 撤 | 轍 | 迭 |
| 372 | 鉄 | 典 | 填 | 天 | 展 | 店 | 添 | 纏 | 甜 | 貼 |
| 373 | 転 | 顛 | 点 | 伝 | 殿 | 澱 | 田 | 電 | | |
| | と | | | | | | | | | |
| 373 | | | | | | | | | 兎 | 吐 |
| 374 | 堵 | 塗 | 妬 | 屠 | 徒 | 斗 | 杜 | 渡 | 登 | 菟 |
| 375 | 賭 | 途 | 都 | 鍍 | 砥 | 砺 | 努 | 度 | 土 | 奴 |
| 376 | 怒 | 倒 | 党 | 冬 | 凍 | 刀 | 唐 | 塔 | 塘 | 套 |
| 377 | 宕 | 島 | 嶋 | 悼 | 投 | 搭 | 東 | 桃 | 梼 | 棟 |
| 378 | 盗 | 淘 | 湯 | 涛 | 灯 | 燈 | 当 | 痘 | 祷 | 等 |
| 379 | 答 | 筒 | 糖 | 統 | 到 | | | | | |
| 380 | | 董 | 蕩 | 藤 | 討 | 謄 | 豆 | 踏 | 逃 | 透 |
| 381 | 鐙 | 陶 | 頭 | 騰 | 闘 | 働 | 動 | 同 | 堂 | 導 |
| 382 | 憧 | 撞 | 洞 | 瞳 | 童 | 胴 | 萄 | 道 | 銅 | 峠 |
| 383 | 鴇 | 匿 | 得 | 徳 | 涜 | 特 | 督 | 禿 | 篤 | 毒 |
| 384 | 独 | 読 | 栃 | 橡 | 凸 | 突 | 椴 | 届 | 鳶 | 苫 |
| 385 | 寅 | 酉 | 瀞 | 噸 | 屯 | 惇 | 敦 | 沌 | 豚 | 遁 |
| 386 | 頓 | 呑 | 曇 | 鈍 | | | | | | |
| | な | | | | | | | | | |
| 386 | | | | | 奈 | 那 | 内 | 乍 | 凪 | 薙 |
| 387 | 謎 | 灘 | 捺 | 鍋 | 楢 | 馴 | 縄 | 畷 | 南 | 楠 |
| 388 | 軟 | 難 | 汝 | | | | | | | |
| | に | | | | | | | | | |
| 388 | | | | 二 | 尼 | 弐 | 迩 | 匂 | 賑 | 肉 |
| 389 | 虹 | 廿 | 日 | 乳 | 入 | | | | | |
| 390 | | 如 | 尿 | 韮 | 任 | 妊 | 忍 | 認 | | |
| | ぬ | | | | | | | | | |
| 390 | | | | | | | | | 濡 | |
| | ね | | | | | | | | | |
| 390 | | | | | | | | | | 禰 |
| 391 | 祢 | 寧 | 葱 | 猫 | 熱 | 年 | 念 | 捻 | 撚 | 燃 |
| 392 | 粘 | | | | | | | | | |
| | の | | | | | | | | | |
| 392 | | 乃 | 廼 | 之 | 埜 | 嚢 | 悩 | 濃 | 納 | 能 |
| 393 | 脳 | 膿 | 農 | 覗 | 蚤 | | | | | |

| 区点<br>1～3桁 | 0 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | は | | | | | | | | | |
| 393 | | | | | | 巴 | 把 | 播 | 覇 | 杷 |
| 394 | 波 | 派 | 琶 | 破 | 婆 | 罵 | 芭 | 馬 | 俳 | 廃 |
| 395 | 拝 | 排 | 敗 | 杯 | 盃 | 牌 | 背 | 肺 | 輩 | 配 |
| 396 | 倍 | 培 | 媒 | 梅 | 楳 | 煤 | 狽 | 買 | 売 | 賠 |
| 397 | 陪 | 這 | 蝿 | 秤 | 矧 | 萩 | 伯 | 剥 | 博 | 拍 |
| 398 | 柏 | 泊 | 白 | 箔 | 粕 | 舶 | 薄 | 迫 | 曝 | 漠 |
| 399 | 爆 | 縛 | 莫 | 駁 | 麦 | | | | | |
| 400 | | 函 | 箱 | 硲 | 箸 | 肇 | 筈 | 櫨 | 幡 | 肌 |
| 401 | 畑 | 畠 | 八 | 鉢 | 溌 | 発 | 醗 | 髪 | 伐 | 罰 |
| 402 | 抜 | 筏 | 閥 | 鳩 | 噺 | 塙 | 蛤 | 隼 | 伴 | 判 |
| 403 | 半 | 反 | 叛 | 帆 | 搬 | 斑 | 板 | 氾 | 汎 | 版 |
| 404 | 犯 | 班 | 畔 | 繁 | 般 | 藩 | 販 | 範 | 釆 | 煩 |
| 405 | 頒 | 飯 | 挽 | 晩 | 番 | 盤 | 磐 | 蕃 | 蛮 | |
| | ひ | | | | | | | | | |
| 405 | | | | | | | | | | 匪 |
| 406 | 卑 | 否 | 妃 | 庇 | 彼 | 悲 | 扉 | 批 | 披 | 斐 |
| 407 | 比 | 泌 | 疲 | 皮 | 碑 | 秘 | 緋 | 罷 | 肥 | 被 |
| 408 | 誹 | 費 | 避 | 非 | 飛 | 樋 | 簸 | 備 | 尾 | 微 |
| 409 | 枇 | 毘 | 琵 | 眉 | 美 | | | | | |
| 410 | | 鼻 | 柊 | 稗 | 匹 | 疋 | 髭 | 彦 | 膝 | 菱 |
| 411 | 肘 | 弼 | 必 | 畢 | 筆 | 逼 | 桧 | 姫 | 媛 | 紐 |
| 412 | 百 | 謬 | 俵 | 彪 | 標 | 氷 | 漂 | 瓢 | 票 | 表 |
| 413 | 評 | 豹 | 廟 | 描 | 病 | 秒 | 苗 | 錨 | 鋲 | 蒜 |
| 414 | 蛭 | 鰭 | 品 | 彬 | 斌 | 浜 | 瀕 | 貧 | 賓 | 頻 |
| 415 | 敏 | 瓶 | | | | | | | | |
| | ふ | | | | | | | | | |
| 415 | | | 不 | 付 | 埠 | 夫 | 婦 | 富 | 冨 | 布 |
| 416 | 府 | 怖 | 扶 | 敷 | 斧 | 普 | 浮 | 父 | 符 | 腐 |
| 417 | 膚 | 芙 | 譜 | 負 | 賦 | 赴 | 阜 | 附 | 侮 | 撫 |
| 418 | 武 | 舞 | 葡 | 蕪 | 部 | 封 | 楓 | 風 | 葺 | 蕗 |
| 419 | 伏 | 副 | 復 | 幅 | 服 | | | | | |
| 420 | | 福 | 腹 | 複 | 覆 | 淵 | 弗 | 払 | 沸 | 仏 |
| 421 | 物 | 鮒 | 分 | 吻 | 噴 | 墳 | 憤 | 扮 | 焚 | 奮 |
| 422 | 粉 | 糞 | 紛 | 雰 | 文 | 聞 | | | | |
| | へ | | | | | | | | | |
| 422 | | | | | | | 丙 | 併 | 兵 | 塀 |
| 423 | 幣 | 平 | 弊 | 柄 | 並 | 蔽 | 閉 | 陛 | 米 | 頁 |
| 424 | 僻 | 壁 | 癖 | 碧 | 別 | 瞥 | 蔑 | 箆 | 偏 | 変 |
| 425 | 片 | 篇 | 編 | 辺 | 返 | 遍 | 便 | 勉 | 娩 | 弁 |
| 426 | 鞭 | | | | | | | | | |
| | ほ | | | | | | | | | |
| 426 | | 保 | 舗 | 鋪 | 圃 | 捕 | 歩 | 甫 | 補 | 輔 |
| 427 | 穂 | 募 | 墓 | 慕 | 戊 | 暮 | 母 | 簿 | 菩 | 倣 |
| 428 | 俸 | 包 | 呆 | 報 | 奉 | 宝 | 峰 | 峯 | 崩 | 庖 |
| 429 | 抱 | 捧 | 放 | 方 | 朋 | | | | | |
| 430 | | 法 | 泡 | 烹 | 砲 | 縫 | 胞 | 芳 | 萌 | 蓬 |
| 431 | 蜂 | 褒 | 訪 | 豊 | 邦 | 鋒 | 飽 | 鳳 | 鵬 | 乏 |
| 432 | 亡 | 傍 | 剖 | 坊 | 妨 | 帽 | 忘 | 忙 | 房 | 暴 |
| 433 | 望 | 某 | 棒 | 冒 | 紡 | 肪 | 膨 | 謀 | 貌 | 貿 |
| 434 | 鉾 | 防 | 吠 | 頬 | 北 | 僕 | 卜 | 墨 | 撲 | 朴 |
| 435 | 牧 | 睦 | 穆 | 釦 | 勃 | 没 | 殆 | 堀 | 幌 | 奔 |
| 436 | 本 | 翻 | 凡 | 盆 | | | | | | |
| | ま | | | | | | | | | |
| 436 | | | | | 摩 | 磨 | 魔 | 麻 | 埋 | 妹 |
| 437 | 昧 | 枚 | 毎 | 哩 | 槙 | 幕 | 膜 | 枕 | 鮪 | 柾 |
| 438 | 鱒 | 桝 | 亦 | 俣 | 又 | 抹 | 末 | 沫 | 迄 | 侭 |
| 439 | 繭 | 麿 | 万 | 慢 | 満 | | | | | |
| 440 | | 漫 | 蔓 | | | | | | | |
| | み | | | | | | | | | |
| 440 | | | | 味 | 未 | 魅 | 巳 | 箕 | 岬 | 密 |
| 441 | 蜜 | 湊 | 蓑 | 稔 | 脈 | 妙 | 粍 | 民 | 眠 | |
| | む | | | | | | | | | |
| 441 | | | | | | | | | | 務 |
| 442 | 夢 | 無 | 牟 | 矛 | 霧 | 鵡 | 椋 | 婿 | 娘 | |
| | め | | | | | | | | | |
| 442 | | | | | | | | | | 冥 |
| 443 | 名 | 命 | 明 | 盟 | 迷 | 銘 | 鳴 | 姪 | 牝 | 滅 |
| 444 | 免 | 棉 | 綿 | 緬 | 面 | 麺 | | | | |
| | も | | | | | | | | | |
| 444 | | | | | | | 摸 | 模 | 茂 | 妄 |
| 445 | 孟 | 毛 | 猛 | 盲 | 網 | 耗 | 蒙 | 儲 | 木 | 黙 |
| 446 | 目 | 杢 | 勿 | 餅 | 尤 | 戻 | 籾 | 貰 | 問 | 悶 |
| 447 | 紋 | 門 | 匁 | | | | | | | |
| | や | | | | | | | | | |
| 447 | | | | 也 | 冶 | 夜 | 爺 | 耶 | 野 | 弥 |
| 448 | 矢 | 厄 | 役 | 約 | 薬 | 訳 | 躍 | 靖 | 柳 | 薮 |

| 区点 1~3桁 | 0 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 449 | 鑓 | | | | | | | | | |
| | ゆ | | | | | | | | | |
| 449 | | 愉 | 愈 | 油 | 癒 | | | | | |
| 450 | | 諭 | 輸 | 唯 | 佑 | 優 | 勇 | 友 | 宥 | 幽 |
| 451 | 悠 | 憂 | 揖 | 有 | 柚 | 湧 | 涌 | 猶 | 猷 | 由 |
| 452 | 祐 | 裕 | 誘 | 遊 | 邑 | 郵 | 雄 | 融 | 夕 | |
| | よ | | | | | | | | | |
| 452 | | | | | | | | | | 予 |
| 453 | 余 | 与 | 誉 | 輿 | 預 | 傭 | 幼 | 妖 | 容 | 庸 |
| 454 | 揚 | 揺 | 擁 | 曜 | 楊 | 様 | 洋 | 溶 | 熔 | 用 |
| 455 | 窯 | 羊 | 耀 | 葉 | 蓉 | 要 | 謡 | 踊 | 遥 | 陽 |
| 456 | 養 | 慾 | 抑 | 欲 | 沃 | 浴 | 翌 | 翼 | 淀 | |
| | ら | | | | | | | | | |
| 456 | | | | | | | | | | 羅 |
| 457 | 螺 | 裸 | 来 | 莱 | 頼 | 雷 | 洛 | 絡 | 落 | 酪 |
| 458 | 乱 | 卵 | 嵐 | 欄 | 濫 | 藍 | 蘭 | 覧 | | |
| | り | | | | | | | | | |
| 458 | | | | | | | | | 利 | 吏 |
| 459 | 履 | 李 | 梨 | 理 | 璃 | | | | | |
| 460 | | 痢 | 裏 | 裡 | 里 | 離 | 陸 | 律 | 率 | 立 |
| 461 | 葎 | 掠 | 略 | 劉 | 流 | 溜 | 琉 | 留 | 硫 | 粒 |
| 462 | 隆 | 竜 | 龍 | 侶 | 慮 | 旅 | 虜 | 了 | 亮 | 僚 |
| 463 | 両 | 凌 | 寮 | 料 | 梁 | 涼 | 猟 | 療 | 瞭 | 稜 |
| 464 | 糧 | 良 | 諒 | 遼 | 量 | 陵 | 領 | 力 | 緑 | 倫 |
| 465 | 厘 | 林 | 淋 | 燐 | 琳 | 臨 | 輪 | 隣 | 鱗 | 麟 |
| | る | | | | | | | | | |
| 466 | 瑠 | 塁 | 涙 | 累 | 類 | | | | | |
| | れ | | | | | | | | | |
| 466 | | | | | | 令 | 伶 | 例 | 冷 | 励 |
| 467 | 嶺 | 怜 | 玲 | 礼 | 苓 | 鈴 | 隷 | 零 | 霊 | 麗 |
| 468 | 齢 | 暦 | 歴 | 列 | 劣 | 烈 | 裂 | 廉 | 恋 | 憐 |
| 469 | 漣 | 煉 | 簾 | 練 | 聯 | | | | | |
| 470 | | 蓮 | 連 | 錬 | | | | | | |
| | ろ | | | | | | | | | |
| 470 | | | | | 呂 | 魯 | 櫓 | 炉 | 賂 | 路 |
| 471 | 露 | 労 | 婁 | 廊 | 弄 | 朗 | 楼 | 榔 | 浪 | 漏 |
| 472 | 牢 | 狼 | 篭 | 老 | 聾 | 蝋 | 郎 | 六 | 麓 | 禄 |
| 473 | 肋 | 録 | 論 | | | | | | | |
| | わ | | | | | | | | | |
| 473 | | | | 倭 | 和 | 話 | 歪 | 賄 | 脇 | 惑 |
| 474 | 枠 | 鷲 | 亙 | 亘 | 鰐 | 詫 | 藁 | 蕨 | 椀 | 湾 |
| 475 | 碗 | 腕 | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | |
| 480 | | 弌 | 丐 | 丕 | 个 | 丱 | 丶 | 丼 | 丿 | 乂 |
| 481 | 乖 | 乘 | 亂 | 亅 | 豫 | 亊 | 舒 | 弍 | 于 | 亞 |
| 482 | 亟 | 亠 | 亢 | 亰 | 亳 | 亶 | 从 | 仍 | 仄 | 仆 |
| 483 | 仂 | 仗 | 仞 | 仭 | 仟 | 价 | 伉 | 佚 | 估 | 佛 |
| 484 | 佝 | 佗 | 佇 | 佶 | 侈 | 侏 | 侘 | 佻 | 佩 | 佰 |
| 485 | 侑 | 佯 | 來 | 侖 | 儘 | 俔 | 俟 | 俎 | 俘 | 俛 |
| 486 | 俑 | 俚 | 俐 | 俤 | 俥 | 倚 | 倨 | 倔 | 倪 | 倥 |
| 487 | 倅 | 伜 | 俶 | 倡 | 倩 | 倬 | 俾 | 俯 | 們 | 倆 |
| 488 | 偃 | 假 | 會 | 偕 | 偐 | 偈 | 做 | 偖 | 偬 | 偸 |
| 489 | 傀 | 傚 | 傅 | 傴 | 傲 | | | | | |
| 490 | | 僉 | 僊 | 傳 | 僂 | 僖 | 僞 | 僥 | 僭 | 僣 |
| 491 | 僮 | 價 | 僵 | 儉 | 儁 | 儂 | 儖 | 儕 | 儔 | 儚 |
| 492 | 儡 | 儺 | 儷 | 儼 | 儻 | 儿 | 兀 | 兒 | 兌 | 兔 |
| 493 | 兢 | 竸 | 兩 | 兪 | 兮 | 冀 | 冂 | 囘 | 册 | 冉 |
| 494 | 冏 | 冑 | 冓 | 冕 | 冖 | 冤 | 冦 | 冢 | 冩 | 冪 |
| 495 | 冫 | 决 | 冱 | 冲 | 冰 | 况 | 冽 | 凅 | 凉 | 凛 |
| 496 | 几 | 處 | 凩 | 凭 | 凰 | 凵 | 凾 | 刄 | 刋 | 刔 |
| 497 | 刎 | 刧 | 刪 | 刮 | 刳 | 刹 | 剏 | 剄 | 剋 | 剌 |
| 498 | 剞 | 剔 | 剪 | 剴 | 剩 | 剳 | 剿 | 剽 | 劍 | 劔 |
| 499 | 劒 | 剱 | 劈 | 劑 | 辨 | | | | | |
| 500 | | 辧 | 劬 | 劭 | 劼 | 劵 | 勁 | 勍 | 勗 | 勞 |
| 501 | 勣 | 勦 | 飭 | 勠 | 勳 | 勵 | 勸 | 勹 | 匆 | 匈 |
| 502 | 甸 | 匍 | 匐 | 匏 | 匕 | 匚 | 匣 | 匯 | 匱 | 匳 |
| 503 | 匸 | 區 | 卆 | 卅 | 丗 | 卉 | 卍 | 凖 | 卞 | 卩 |
| 504 | 卮 | 夘 | 卻 | 卷 | 厂 | 厖 | 厠 | 厦 | 厥 | 厮 |
| 505 | 厰 | 厶 | 參 | 簒 | 雙 | 叟 | 曼 | 燮 | 叮 | 叨 |
| 506 | 叭 | 叺 | 吁 | 吽 | 呀 | 听 | 吭 | 吼 | 吮 | 吶 |
| 507 | 吩 | 吝 | 呎 | 咏 | 呵 | 咎 | 呟 | 呱 | 呷 | 呰 |
| 508 | 咒 | 呻 | 咀 | 呶 | 咄 | 咐 | 咆 | 哇 | 咢 | 咸 |
| 509 | 咥 | 咬 | 哄 | 哈 | 咨 | | | | | |
| 510 | | 咫 | 哂 | 咤 | 咾 | 咼 | 哘 | 哥 | 哦 | 唏 |
| 511 | 唔 | 哽 | 哮 | 哭 | 哺 | 哢 | 唹 | 啀 | 啣 | 啌 |
| 512 | 售 | 啜 | 啅 | 啖 | 啗 | 唸 | 唳 | 啝 | 喙 | 喀 |

| 区点 1~3桁 | 0 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 513 | 咯 | 喊 | 喟 | 啻 | 啾 | 喘 | 喞 | 單 | 啼 | 喃 |
| 514 | 喩 | 喇 | 喨 | 嗚 | 嗅 | 嗟 | 嗄 | 嗜 | 嗤 | 嗔 |
| 515 | 嘔 | 嗷 | 嘖 | 嗾 | 嗽 | 嘛 | 嗹 | 噎 | 噐 | 營 |
| 516 | 嘴 | 嘶 | 嘲 | 嘸 | 噫 | 噤 | 嘯 | 噬 | 噪 | 嚆 |
| 517 | 嚀 | 嚊 | 嚠 | 嚔 | 嚏 | 嚥 | 嚮 | 嚶 | 嚴 | 囂 |
| 518 | 嚼 | 囁 | 囃 | 囀 | 囈 | 囎 | 囑 | 囓 | 囗 | 囮 |
| 519 | 囹 | 圀 | 囿 | 圄 | 圉 | | | | | |
| 520 | | 圈 | 國 | 圍 | 圓 | 團 | 圖 | 嗇 | 圜 | 圦 |
| 521 | 圷 | 圸 | 坎 | 圻 | 址 | 坏 | 坩 | 埀 | 垈 | 坡 |
| 522 | 坿 | 垉 | 垓 | 垠 | 垳 | 垤 | 垪 | 垰 | 埃 | 埆 |
| 523 | 埔 | 埒 | 埓 | 堊 | 埖 | 埣 | 堋 | 堙 | 堝 | 塲 |
| 524 | 堡 | 塢 | 塋 | 塰 | 毀 | 塒 | 堽 | 塹 | 墅 | 墹 |
| 525 | 墟 | 墫 | 墺 | 壞 | 墻 | 墸 | 墮 | 壅 | 壓 | 壑 |
| 526 | 壗 | 壙 | 壘 | 壥 | 壜 | 壤 | 壟 | 壯 | 壺 | 壹 |
| 527 | 壻 | 壼 | 壽 | 夂 | 夊 | 夐 | 夛 | 梦 | 夥 | 夬 |
| 528 | 夭 | 夲 | 夸 | 夾 | 竒 | 奕 | 奐 | 奎 | 奚 | 奘 |
| 529 | 奢 | 奠 | 奧 | 奬 | 奩 | | | | | |
| 530 | | 奸 | 妁 | 妝 | 佞 | 侫 | 妣 | 妲 | 姆 | 姨 |
| 531 | 姜 | 妍 | 姙 | 姚 | 娥 | 娟 | 娑 | 娜 | 娉 | 娚 |
| 532 | 婀 | 婬 | 婉 | 娵 | 娶 | 婢 | 婪 | 媚 | 媼 | 媾 |
| 533 | 嫋 | 嫂 | 媽 | 嫣 | 嫗 | 嫦 | 嫩 | 嫖 | 嫺 | 嫻 |
| 534 | 嬌 | 嬋 | 嬖 | 嬲 | 嫐 | 嬪 | 嬶 | 嬾 | 孃 | 孅 |
| 535 | 孀 | 孑 | 孕 | 孚 | 孛 | 孥 | 孩 | 孰 | 孳 | 孵 |
| 536 | 學 | 斈 | 孺 | 宀 | 它 | 宦 | 宸 | 寃 | 寇 | 寉 |
| 537 | 寔 | 寐 | 寤 | 實 | 寢 | 寞 | 寥 | 寫 | 寰 | 寶 |
| 538 | 寳 | 尅 | 將 | 專 | 對 | 尓 | 尠 | 尢 | 尨 | 尸 |
| 539 | 尹 | 屁 | 屆 | 屎 | 屓 | | | | | |
| 540 | | 屐 | 屏 | 孱 | 屬 | 屮 | 乢 | 屶 | 屹 | 岌 |
| 541 | 岑 | 岔 | 妛 | 岫 | 岻 | 岶 | 岼 | 岷 | 峅 | 岾 |
| 542 | 峇 | 峙 | 峩 | 峽 | 峺 | 峭 | 嶌 | 峪 | 崋 | 崕 |
| 543 | 崗 | 嵜 | 崟 | 崛 | 崑 | 崔 | 崢 | 崚 | 崙 | 崘 |
| 544 | 嵌 | 嵒 | 嵎 | 嵋 | 嵬 | 嵳 | 嵶 | 嶇 | 嶄 | 嶂 |
| 545 | 嶢 | 嶝 | 嶬 | 嶮 | 嶽 | 嶐 | 嶷 | 嶼 | 巉 | 巍 |
| 546 | 巓 | 巒 | 巖 | 巛 | 巫 | 已 | 巵 | 帋 | 帚 | 帙 |
| 547 | 帑 | 帛 | 帶 | 帷 | 幄 | 幃 | 幀 | 幎 | 幗 | 幔 |
| 548 | 幟 | 幢 | 幤 | 幇 | 幵 | 并 | 幺 | 麼 | 广 | 庠 |
| 549 | 廁 | 廂 | 廈 | 廐 | 廏 | | | | | |
| 550 | | 廖 | 廣 | 廝 | 廚 | 廛 | 廢 | 廡 | 廨 | 廩 |
| 551 | 廬 | 廱 | 廳 | 廰 | 廴 | 廸 | 廾 | 弃 | 弉 | 彝 |
| 552 | 彜 | 弋 | 弑 | 弖 | 弩 | 弭 | 弸 | 彁 | 彈 | 彌 |
| 553 | 彎 | 弯 | 彑 | 彖 | 彗 | 彙 | 彡 | 彭 | 彳 | 彷 |
| 554 | 徃 | 徂 | 彿 | 徊 | 很 | 徑 | 徇 | 從 | 徙 | 徘 |
| 555 | 徠 | 徨 | 徭 | 徼 | 忖 | 忻 | 忤 | 忸 | 忱 | 忝 |
| 556 | 悳 | 忿 | 怡 | 恠 | 怙 | 怐 | 怩 | 怎 | 怱 | 怛 |
| 557 | 怕 | 怫 | 怦 | 怏 | 怺 | 恚 | 恁 | 恪 | 恷 | 恟 |
| 558 | 恊 | 恆 | 恍 | 恣 | 恃 | 恤 | 恂 | 恬 | 恫 | 恙 |
| 559 | 悁 | 悍 | 惧 | 悃 | 悚 | | | | | |
| 560 | | 悄 | 悛 | 悖 | 悗 | 悒 | 悧 | 悋 | 惡 | 悸 |
| 561 | 惠 | 惓 | 悴 | 忰 | 悽 | 惆 | 悵 | 惘 | 慍 | 愕 |
| 562 | 愆 | 惶 | 惷 | 愀 | 惴 | 惺 | 愃 | 愡 | 惻 | 惱 |
| 563 | 愍 | 愎 | 慇 | 愾 | 愨 | 愧 | 慊 | 愿 | 愼 | 愬 |
| 564 | 愴 | 愽 | 慂 | 慄 | 慳 | 慷 | 慘 | 慙 | 慚 | 慫 |
| 565 | 慴 | 慯 | 慥 | 慱 | 慟 | 慝 | 慓 | 慵 | 憙 | 憖 |
| 566 | 憇 | 憬 | 憔 | 憚 | 憊 | 憑 | 憫 | 憮 | 懌 | 懊 |
| 567 | 應 | 懷 | 懈 | 懃 | 懆 | 憺 | 懋 | 罹 | 懍 | 懦 |
| 568 | 懣 | 懶 | 懺 | 懴 | 懿 | 懽 | 懼 | 懾 | 戀 | 戈 |
| 569 | 戉 | 戍 | 戌 | 戔 | 戛 | | | | | |
| 570 | | 戞 | 戡 | 截 | 戮 | 戰 | 戲 | 戳 | 扁 | 扎 |
| 571 | 扞 | 扣 | 扛 | 扠 | 扨 | 扼 | 抂 | 抉 | 找 | 抒 |
| 572 | 抓 | 抖 | 拔 | 抃 | 抔 | 拗 | 拑 | 抻 | 拏 | 拿 |
| 573 | 拆 | 擔 | 拈 | 拜 | 拌 | 拊 | 拂 | 拇 | 抛 | 拉 |
| 574 | 挌 | 拮 | 拱 | 挧 | 挂 | 挈 | 拯 | 拵 | 捐 | 挾 |
| 575 | 捍 | 搜 | 捏 | 掖 | 掎 | 掀 | 掫 | 捶 | 掣 | 掏 |
| 576 | 掉 | 掟 | 掵 | 捫 | 捩 | 掾 | 揩 | 揀 | 揆 | 揣 |
| 577 | 揉 | 插 | 揶 | 揄 | 搖 | 搴 | 搆 | 搓 | 搦 | 搶 |
| 578 | 攝 | 搗 | 搨 | 搏 | 摧 | 摯 | 摶 | 摎 | 攪 | 撕 |
| 579 | 撓 | 撥 | 撩 | 撈 | 撼 | | | | | |
| 580 | | 據 | 擒 | 擅 | 擇 | 撻 | 擘 | 擂 | 擱 | 擧 |
| 581 | 舉 | 擠 | 擡 | 抬 | 擣 | 擯 | 攬 | 擶 | 擴 | 擲 |
| 582 | 擺 | 攀 | 擽 | 攘 | 攜 | 攅 | 攤 | 攣 | 攫 | 攴 |
| 583 | 攵 | 攷 | 收 | 攸 | 畋 | 效 | 敖 | 敕 | 敍 | 敘 |
| 584 | 敞 | 敝 | 敲 | 數 | 斂 | 斃 | 變 | 斛 | 斟 | 斫 |
| 585 | 斷 | 旃 | 旆 | 旁 | 旄 | 旌 | 旒 | 旛 | 旙 | 无 |
| 586 | 旡 | 旱 | 杲 | 昊 | 昃 | 旻 | 杳 | 昵 | 昶 | 昴 |
| 587 | 昜 | 晏 | 晄 | 晉 | 晁 | 晞 | 晝 | 晤 | 晧 | 晨 |
| 588 | 晟 | 晢 | 晰 | 暃 | 暈 | 暎 | 暉 | 暄 | 暘 | 暝 |
| 589 | 曁 | 暹 | 曉 | 暾 | 暼 | | | | | |

| 区点 1~3桁 | 0 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 590 | | 曄 | 暸 | 曖 | 曚 | 曠 | 昿 | 曦 | 曩 | 曰 |
| 591 | 曵 | 曷 | 朏 | 朖 | 朞 | 朦 | 朧 | 霸 | 朮 | 朿 |
| 592 | 朶 | 杁 | 朸 | 朷 | 杆 | 杞 | 杠 | 杙 | 杣 | 杤 |
| 593 | 枉 | 杰 | 枩 | 杼 | 杪 | 枌 | 枋 | 枦 | 枡 | 枅 |
| 594 | 枷 | 柯 | 枴 | 柬 | 枳 | 柩 | 枸 | 柤 | 柞 | 柝 |
| 595 | 柢 | 柮 | 枹 | 柎 | 柆 | 柧 | 檜 | 栞 | 框 | 栩 |
| 596 | 桀 | 桍 | 栲 | 桎 | 梳 | 栫 | 桙 | 档 | 桷 | 桿 |
| 597 | 梟 | 梏 | 梭 | 梔 | 條 | 梛 | 梃 | 檮 | 梹 | 桴 |
| 598 | 梵 | 梠 | 梺 | 椏 | 梍 | 桾 | 椁 | 棊 | 椈 | 棘 |
| 599 | 椢 | 椦 | 棡 | 椌 | 棍 | | | | | |
| 600 | | 棔 | 棧 | 棕 | 椶 | 椒 | 椄 | 棗 | 棣 | 椥 |
| 601 | 棹 | 棠 | 棯 | 椨 | 椪 | 椚 | 椣 | 椡 | 棆 | 楹 |
| 602 | 楷 | 楜 | 楸 | 楫 | 楔 | 楾 | 楮 | 椹 | 楴 | 椽 |
| 603 | 楙 | 椰 | 楡 | 楞 | 楝 | 榁 | 楪 | 榲 | 榮 | 槐 |
| 604 | 榿 | 槁 | 槓 | 榾 | 槎 | 寨 | 槊 | 槝 | 榻 | 槃 |
| 605 | 榧 | 樮 | 榑 | 榠 | 榜 | 榕 | 榴 | 槞 | 槨 | 樂 |
| 606 | 樛 | 槿 | 權 | 槹 | 槲 | 槧 | 樅 | 榱 | 樞 | 槭 |
| 607 | 樔 | 槫 | 樊 | 樒 | 櫁 | 樣 | 樓 | 橄 | 樌 | 橲 |
| 608 | 樶 | 橸 | 橇 | 橢 | 橙 | 橦 | 橈 | 樸 | 樢 | 檐 |
| 609 | 檍 | 檠 | 檄 | 檢 | 檣 | | | | | |
| 610 | | 檗 | 蘗 | 檻 | 櫃 | 櫂 | 檸 | 檳 | 檬 | 櫞 |
| 611 | 櫑 | 櫟 | 檪 | 櫚 | 櫪 | 櫻 | 欅 | 蘖 | 櫺 | 欒 |
| 612 | 欖 | 鬱 | 欟 | 欸 | 欷 | 盜 | 欹 | 飮 | 歇 | 歃 |
| 613 | 歉 | 歐 | 歙 | 歔 | 歛 | 歟 | 歡 | 歸 | 歹 | 歿 |
| 614 | 殀 | 殄 | 殃 | 殍 | 殘 | 殕 | 殞 | 殤 | 殪 | 殫 |
| 615 | 殯 | 殲 | 殱 | 殳 | 殷 | 殼 | 毆 | 毋 | 毓 | 毟 |
| 616 | 毬 | 毫 | 毳 | 毯 | 麾 | 氈 | 氓 | 气 | 氛 | 氤 |
| 617 | 氣 | 汞 | 汕 | 汢 | 汪 | 沂 | 沍 | 沚 | 沁 | 沛 |
| 618 | 汾 | 汨 | 汳 | 沒 | 沐 | 泄 | 泱 | 泓 | 沽 | 泗 |
| 619 | 泅 | 泝 | 沮 | 沱 | 沾 | | | | | |
| 620 | | 沺 | 泛 | 泯 | 泙 | 泪 | 洟 | 衍 | 洶 | 洫 |
| 621 | 洽 | 洸 | 洙 | 洵 | 洳 | 洒 | 洌 | 浣 | 涓 | 浤 |
| 622 | 浚 | 浹 | 浙 | 涎 | 涕 | 濤 | 涅 | 淹 | 渕 | 渊 |
| 623 | 涵 | 淇 | 淦 | 涸 | 淆 | 淬 | 淞 | 淌 | 淨 | 淒 |
| 624 | 淅 | 淺 | 淙 | 淤 | 淕 | 淪 | 淮 | 渭 | 湮 | 渮 |
| 625 | 渙 | 湲 | 湟 | 渾 | 渣 | 湫 | 渫 | 湶 | 湍 | 渟 |
| 626 | 湃 | 渺 | 湎 | 渤 | 滿 | 渝 | 游 | 溂 | 溪 | 溘 |
| 627 | 滉 | 溷 | 滓 | 溽 | 溯 | 滄 | 溲 | 滔 | 滕 | 溏 |
| 628 | 溥 | 滂 | 溟 | 潁 | 漑 | 灌 | 滬 | 滸 | 滾 | 漿 |
| 629 | 滲 | 漱 | 滯 | 漲 | 滌 | | | | | |
| 630 | | 漾 | 漓 | 滷 | 澆 | 潺 | 潸 | 澁 | 澀 | 潯 |
| 631 | 潛 | 濳 | 潭 | 澂 | 潼 | 潘 | 澎 | 澑 | 濂 | 潦 |
| 632 | 澳 | 澣 | 澡 | 澤 | 澹 | 濆 | 澪 | 濟 | 濕 | 濬 |
| 633 | 濔 | 濘 | 濱 | 濮 | 濛 | 瀉 | 瀋 | 濺 | 瀑 | 瀁 |
| 634 | 瀏 | 濾 | 瀛 | 瀚 | 潴 | 瀝 | 瀘 | 瀟 | 瀰 | 瀾 |
| 635 | 瀲 | 灑 | 灣 | 炙 | 炒 | 炯 | 烱 | 炬 | 炸 | 炳 |
| 636 | 炮 | 烟 | 烋 | 烝 | 烙 | 焉 | 烽 | 焜 | 焙 | 煥 |
| 637 | 煕 | 熈 | 煦 | 煢 | 煌 | 煖 | 煬 | 熏 | 燻 | 熄 |
| 638 | 熕 | 熨 | 熬 | 燗 | 熹 | 熾 | 燒 | 燉 | 燔 | 燎 |
| 639 | 燠 | 燬 | 燧 | 燵 | 燼 | | | | | |
| 640 | | 燹 | 燿 | 爍 | 爐 | 爛 | 爨 | 爭 | 爬 | 爰 |
| 641 | 爲 | 爻 | 爼 | 爿 | 牀 | 牆 | 牋 | 牘 | 牴 | 牾 |
| 642 | 犂 | 犁 | 犇 | 犒 | 犖 | 犢 | 犧 | 犹 | 犲 | 狃 |
| 643 | 狆 | 狄 | 狎 | 狒 | 狢 | 狠 | 狡 | 狹 | 狷 | 倏 |
| 644 | 猗 | 猊 | 猜 | 猖 | 猝 | 猴 | 猯 | 猩 | 猥 | 猾 |
| 645 | 獎 | 獏 | 默 | 獗 | 獪 | 獨 | 獰 | 獸 | 獵 | 獻 |
| 646 | 獺 | 珈 | 玳 | 珎 | 玻 | 珀 | 珥 | 珮 | 珞 | 璢 |
| 647 | 琅 | 瑯 | 琥 | 珸 | 琲 | 琺 | 瑕 | 琿 | 瑟 | 瑙 |
| 648 | 瑁 | 瑜 | 瑩 | 瑰 | 瑣 | 瑪 | 瑶 | 瑾 | 璋 | 璞 |
| 649 | 璧 | 瓊 | 瓏 | 瓔 | 珱 | | | | | |
| 650 | | 瓠 | 瓣 | 瓧 | 瓩 | 瓮 | 瓲 | 瓰 | 瓱 | 瓸 |
| 651 | 瓷 | 甄 | 甃 | 甅 | 甌 | 甎 | 甍 | 甕 | 甓 | 甞 |
| 652 | 甦 | 甬 | 甼 | 畄 | 畍 | 畊 | 畉 | 畛 | 畆 | 畚 |
| 653 | 畩 | 畤 | 畧 | 畫 | 畭 | 畸 | 當 | 疆 | 疇 | 畴 |
| 654 | 疊 | 疉 | 疂 | 疔 | 疚 | 疝 | 疥 | 疣 | 痂 | 疳 |
| 655 | 痃 | 疵 | 疽 | 疸 | 疼 | 疱 | 痍 | 痊 | 痒 | 痙 |
| 656 | 痣 | 痞 | 痾 | 痿 | 痼 | 瘁 | 痰 | 痺 | 痲 | 痳 |
| 657 | 瘋 | 瘍 | 瘉 | 瘟 | 瘧 | 瘠 | 瘡 | 瘢 | 瘤 | 瘴 |
| 658 | 瘰 | 瘻 | 癇 | 癈 | 癆 | 癜 | 癘 | 癡 | 癢 | 癨 |
| 659 | 癩 | 癪 | 癧 | 癬 | 癰 | | | | | |
| 660 | | 癲 | 癶 | 癸 | 發 | 皀 | 皃 | 皈 | 皋 | 皎 |
| 661 | 皖 | 皓 | 皙 | 皚 | 皰 | 皴 | 皸 | 皹 | 皺 | 盂 |
| 662 | 盍 | 盖 | 盒 | 盞 | 盡 | 盥 | 盧 | 盪 | 蘯 | 盻 |
| 663 | 眈 | 眇 | 眄 | 眩 | 眤 | 眞 | 眥 | 眦 | 眛 | 眷 |
| 664 | 眸 | 睇 | 睚 | 睨 | 睫 | 睛 | 睥 | 睿 | 睾 | 睹 |
| 665 | 瞎 | 瞋 | 瞑 | 瞠 | 瞞 | 瞰 | 瞶 | 瞹 | 瞿 | 瞼 |
| 666 | 瞽 | 瞻 | 矇 | 矍 | 矗 | 矚 | 矜 | 矣 | 矮 | 矼 |

| 区点 1～3桁 | 0 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 667 | 砌 | 砒 | 礦 | 砠 | 礪 | 硅 | 碎 | 硴 | 碆 | 硼 |
| 668 | 碚 | 碌 | 碣 | 碵 | 碪 | 碯 | 磑 | 磆 | 磋 | 磔 |
| 669 | 碾 | 碼 | 磅 | 磊 | 磬 | | | | | |
| 670 | | 磧 | 磚 | 磽 | 磴 | 礇 | 礒 | 礑 | 礙 | 礬 |
| 671 | 礫 | 祀 | 祠 | 祗 | 祟 | 祚 | 祕 | 祓 | 祺 | 祿 |
| 672 | 禊 | 禝 | 禧 | 齋 | 禪 | 禮 | 禳 | 禹 | 禺 | 秉 |
| 673 | 秕 | 秧 | 秬 | 秡 | 秣 | 稈 | 稍 | 稘 | 稙 | 稠 |
| 674 | 稟 | 禀 | 稱 | 稻 | 稾 | 稷 | 穃 | 穗 | 穉 | 穡 |
| 675 | 穢 | 穩 | 龝 | 穰 | 穹 | 穽 | 窈 | 窗 | 窕 | 窘 |
| 676 | 窖 | 窩 | 竈 | 窰 | 窶 | 竅 | 竄 | 窿 | 邃 | 竇 |
| 677 | 竊 | 竍 | 竏 | 竕 | 竓 | 站 | 竚 | 竝 | 竡 | 竢 |
| 678 | 竦 | 竭 | 竰 | 笂 | 笏 | 笊 | 笆 | 笳 | 笘 | 笙 |
| 679 | 笞 | 笵 | 笨 | 笶 | 筐 | | | | | |
| 680 | | 筺 | 笄 | 筍 | 笋 | 筌 | 筅 | 筵 | 筥 | 筴 |
| 681 | 筧 | 筰 | 筱 | 筬 | 筮 | 箝 | 箘 | 箟 | 箍 | 箜 |
| 682 | 箚 | 箋 | 箒 | 箏 | 筝 | 箙 | 篋 | 篁 | 篌 | 篏 |
| 683 | 箴 | 篆 | 篝 | 篩 | 簑 | 簔 | 篦 | 篥 | 籠 | 簀 |
| 684 | 簇 | 簓 | 篳 | 篷 | 簗 | 簍 | 篶 | 簣 | 簧 | 簪 |
| 685 | 簟 | 簷 | 簫 | 簽 | 籌 | 籃 | 籔 | 籏 | 籀 | 籐 |
| 686 | 籘 | 籟 | 籤 | 籖 | 籥 | 籬 | 籵 | 粃 | 粐 | 粤 |
| 687 | 粭 | 粢 | 粫 | 粡 | 粨 | 粳 | 粲 | 粱 | 粮 | 粹 |
| 688 | 粽 | 糀 | 糅 | 糂 | 糘 | 糒 | 糜 | 糢 | 鬻 | 糯 |
| 689 | 糲 | 糴 | 糶 | 糺 | 紆 | | | | | |
| 690 | | 紂 | 紜 | 紕 | 紊 | 絅 | 絋 | 紮 | 紲 | 紿 |
| 691 | 紵 | 絆 | 絳 | 絖 | 絎 | 絲 | 絨 | 絮 | 絏 | 絣 |
| 692 | 經 | 綉 | 絛 | 綏 | 絽 | 綛 | 綺 | 綮 | 綣 | 綵 |
| 693 | 緇 | 綽 | 綫 | 總 | 綢 | 綯 | 緜 | 綸 | 綟 | 綰 |
| 694 | 緘 | 緝 | 緤 | 緞 | 緻 | 緲 | 緡 | 縅 | 縊 | 縣 |
| 695 | 縡 | 縒 | 縱 | 縟 | 縉 | 縋 | 縢 | 繆 | 繦 | 縻 |
| 696 | 縵 | 縹 | 繃 | 縷 | 縲 | 縺 | 繧 | 繝 | 繖 | 繞 |
| 697 | 繙 | 繚 | 繹 | 繪 | 繩 | 繼 | 繻 | 纃 | 緕 | 繽 |
| 698 | 辮 | 繿 | 纈 | 纉 | 續 | 纒 | 纐 | 纓 | 纔 | 纖 |
| 699 | 纎 | 纛 | 纜 | 缸 | 缺 | | | | | |
| 700 | | 罅 | 罌 | 罍 | 罎 | 罐 | 网 | 罕 | 罔 | 罘 |
| 701 | 罟 | 罠 | 罨 | 罩 | 罧 | 罸 | 羂 | 羆 | 羃 | 羈 |
| 702 | 羇 | 羌 | 羔 | 羞 | 羝 | 羚 | 羣 | 羯 | 羲 | 羹 |
| 703 | 羮 | 羶 | 羸 | 譱 | 翅 | 翆 | 翊 | 翕 | 翔 | 翡 |
| 704 | 翦 | 翩 | 翳 | 翹 | 飜 | 耆 | 耄 | 耋 | 耒 | 耘 |
| 705 | 耙 | 耜 | 耡 | 耨 | 耿 | 耻 | 聊 | 聆 | 聒 | 聘 |
| 706 | 聚 | 聟 | 聢 | 聨 | 聳 | 聲 | 聰 | 聶 | 聹 | 聽 |
| 707 | 聿 | 肄 | 肆 | 肅 | 肛 | 肓 | 肚 | 肭 | 冐 | 肬 |
| 708 | 胛 | 胥 | 胙 | 胝 | 胄 | 胚 | 胖 | 脉 | 胯 | 胱 |
| 709 | 脛 | 脩 | 脣 | 脯 | 腋 | | | | | |
| 710 | | 隋 | 腆 | 脾 | 腓 | 腑 | 胼 | 腱 | 腮 | 腥 |
| 711 | 腦 | 腴 | 膃 | 膈 | 膊 | 膀 | 膂 | 膠 | 膕 | 膤 |
| 712 | 膣 | 腟 | 膓 | 膩 | 膰 | 膵 | 膾 | 膸 | 膽 | 臀 |
| 713 | 臂 | 膺 | 臉 | 臍 | 臑 | 臙 | 臘 | 臈 | 臚 | 臟 |
| 714 | 臠 | 臧 | 臺 | 臻 | 臾 | 舁 | 舂 | 舅 | 與 | 舊 |
| 715 | 舍 | 舐 | 舖 | 舩 | 舫 | 舸 | 舳 | 艀 | 艙 | 艘 |
| 716 | 艝 | 艚 | 艟 | 艤 | 艢 | 艨 | 艪 | 艫 | 舮 | 艱 |
| 717 | 艷 | 艸 | 艾 | 芍 | 芒 | 芫 | 芟 | 芻 | 芬 | 苡 |
| 718 | 苣 | 苟 | 苒 | 苴 | 苳 | 苺 | 莓 | 范 | 苻 | 苹 |
| 719 | 苞 | 茆 | 苜 | 茉 | 苙 | | | | | |
| 720 | | 茵 | 茴 | 茖 | 茲 | 茱 | 荀 | 茹 | 荐 | 荅 |
| 721 | 茯 | 茫 | 茗 | 茘 | 莅 | 莚 | 莪 | 莟 | 莢 | 莖 |
| 722 | 茣 | 莎 | 莇 | 莊 | 荼 | 莵 | 荳 | 荵 | 莠 | 莉 |
| 723 | 莨 | 菴 | 萓 | 菫 | 菎 | 菽 | 萃 | 菘 | 萋 | 菁 |
| 724 | 菷 | 萇 | 菠 | 菲 | 萍 | 萢 | 萠 | 莽 | 萸 | 蔆 |
| 725 | 菻 | 葭 | 萪 | 萼 | 蕚 | 蒄 | 葷 | 葫 | 蒭 | 葮 |
| 726 | 蒂 | 葩 | 葆 | 萬 | 葯 | 葹 | 萵 | 蓊 | 葢 | 蒹 |
| 727 | 蒿 | 蒟 | 蓙 | 蓍 | 蒻 | 蓚 | 蓐 | 蓁 | 蓆 | 蓖 |
| 728 | 蒡 | 蔡 | 蓿 | 蓴 | 蔗 | 蔘 | 蔬 | 蔟 | 蔕 | 蔔 |
| 729 | 蓼 | 蕀 | 蕣 | 蕘 | 蕈 | | | | | |
| 730 | | 蕁 | 蘂 | 蕋 | 蕕 | 薀 | 薤 | 薈 | 薑 | 薊 |
| 731 | 薨 | 蕭 | 薔 | 薛 | 藪 | 薇 | 薜 | 蕷 | 蕾 | 薐 |
| 732 | 藉 | 薺 | 藏 | 薹 | 藐 | 藕 | 藝 | 藥 | 藜 | 藹 |
| 733 | 蘊 | 蘓 | 蘋 | 藾 | 藺 | 蘆 | 蘢 | 蘚 | 蘰 | 蘿 |
| 734 | 虍 | 乕 | 虔 | 號 | 虧 | 虱 | 蚓 | 蚣 | 蚩 | 蚪 |
| 735 | 蚋 | 蚌 | 蚶 | 蚯 | 蛄 | 蛆 | 蚰 | 蛉 | 蠣 | 蚫 |
| 736 | 蛔 | 蛞 | 蛩 | 蛬 | 蛟 | 蛛 | 蛯 | 蜒 | 蜆 | 蜈 |
| 737 | 蜀 | 蜃 | 蛻 | 蜑 | 蜉 | 蜍 | 蛹 | 蜊 | 蜴 | 蜿 |
| 738 | 蜷 | 蜻 | 蜥 | 蜩 | 蜚 | 蝠 | 蝟 | 蝸 | 蝌 | 蝎 |
| 739 | 蝴 | 蝗 | 蝨 | 蝮 | 蝙 | | | | | |
| 740 | | 蝓 | 蝣 | 蝪 | 蠅 | 螢 | 螟 | 螂 | 螯 | 蟋 |
| 741 | 螽 | 蟀 | 蟐 | 雖 | 螫 | 蟄 | 螳 | 蟇 | 蟆 | 螻 |
| 742 | 蟯 | 蟲 | 蟠 | 蠏 | 蠍 | 蟾 | 蟶 | 蟷 | 蠎 | 蟒 |
| 743 | 蠑 | 蠖 | 蠕 | 蠢 | 蠡 | 蠱 | 蠶 | 蠹 | 蠧 | 蠻 |

| 区点 1～3桁 | 0 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 744 | 衄 | 衂 | 衒 | 衙 | 衞 | 衢 | 衫 | 袁 | 衾 | 袞 |
| 745 | 衵 | 衽 | 袵 | 衲 | 袂 | 袗 | 袒 | 袮 | 袙 | 袢 |
| 746 | 袍 | 袤 | 袰 | 袿 | 袱 | 裃 | 裄 | 裔 | 裘 | 裙 |
| 747 | 裝 | 裹 | 褂 | 裼 | 裴 | 裨 | 裲 | 褄 | 褌 | 褊 |
| 748 | 褓 | 襃 | 褞 | 褥 | 褪 | 褫 | 襁 | 襄 | 褻 | 褶 |
| 749 | 褸 | 襌 | 褝 | 襠 | 襞 | | | | | |
| 750 | | 襦 | 襤 | 襭 | 襪 | 襯 | 襴 | 襷 | 襾 | 覃 |
| 751 | 覈 | 覊 | 覓 | 覘 | 覡 | 覩 | 覦 | 覬 | 覯 | 覲 |
| 752 | 覺 | 覽 | 覿 | 觀 | 觚 | 觜 | 觝 | 觧 | 觴 | 觸 |
| 753 | 訃 | 訖 | 訐 | 訌 | 訛 | 訝 | 訥 | 訶 | 詁 | 詛 |
| 754 | 詒 | 詆 | 詈 | 詼 | 詭 | 詬 | 詢 | 誅 | 誂 | 誄 |
| 755 | 誨 | 誡 | 誑 | 誥 | 誦 | 誚 | 誣 | 諄 | 諍 | 諂 |
| 756 | 諚 | 諫 | 諳 | 諧 | 諤 | 諱 | 謔 | 諠 | 諢 | 諷 |
| 757 | 諞 | 諛 | 謌 | 謇 | 謚 | 諡 | 謖 | 謐 | 謗 | 謠 |
| 758 | 謳 | 鞫 | 謦 | 謫 | 謾 | 謨 | 譁 | 譌 | 譏 | 譎 |
| 759 | 證 | 譖 | 譛 | 譚 | 譫 | | | | | |
| 760 | | 譟 | 譬 | 譯 | 譴 | 譽 | 讀 | 讌 | 讎 | 讒 |
| 761 | 讓 | 讖 | 讙 | 讚 | 谺 | 豁 | 谿 | 豈 | 豌 | 豎 |
| 762 | 豐 | 豕 | 豢 | 豬 | 豸 | 豺 | 貂 | 貉 | 貅 | 貊 |
| 763 | 貍 | 貎 | 貔 | 豼 | 貘 | 戝 | 貭 | 貪 | 貽 | 貲 |
| 764 | 貳 | 貮 | 貶 | 賈 | 賁 | 賤 | 賣 | 賚 | 賽 | 賺 |
| 765 | 賻 | 贄 | 贅 | 贊 | 贇 | 贏 | 贍 | 贐 | 齎 | 贓 |
| 766 | 賍 | 贔 | 贖 | 赧 | 赭 | 赱 | 赳 | 趁 | 趙 | 跂 |
| 767 | 趾 | 趺 | 跏 | 跚 | 跖 | 跌 | 跛 | 跋 | 跪 | 跫 |
| 768 | 跟 | 跣 | 跼 | 踈 | 踉 | 跿 | 踝 | 踞 | 踐 | 踟 |
| 769 | 蹂 | 踵 | 踰 | 踴 | 蹊 | | | | | |
| 770 | | 蹇 | 蹉 | 蹌 | 蹐 | 蹈 | 蹙 | 蹤 | 蹠 | 踪 |
| 771 | 蹣 | 蹕 | 蹶 | 蹲 | 蹼 | 躁 | 躇 | 躅 | 躄 | 躋 |
| 772 | 躊 | 躓 | 躑 | 躔 | 躙 | 躪 | 躡 | 躬 | 躰 | 軆 |
| 773 | 躱 | 躾 | 軅 | 軈 | 軋 | 軛 | 軣 | 軼 | 軻 | 軫 |
| 774 | 軾 | 輊 | 輅 | 輕 | 輒 | 輙 | 輓 | 輜 | 輟 | 輛 |
| 775 | 輌 | 輦 | 輳 | 輻 | 輹 | 轅 | 轂 | 輾 | 轌 | 轉 |
| 776 | 轆 | 轎 | 轗 | 轜 | 轢 | 轣 | 轤 | 辜 | 辟 | 辣 |
| 777 | 辭 | 辯 | 辷 | 迚 | 迥 | 迢 | 迪 | 迯 | 邇 | 迴 |
| 778 | 逅 | 迹 | 迺 | 逑 | 逕 | 逡 | 逍 | 逞 | 逖 | 逋 |
| 779 | 逧 | 逶 | 逵 | 逹 | 迸 | | | | | |
| 780 | | 遏 | 遐 | 遑 | 遒 | 逎 | 遉 | 逾 | 遖 | 遘 |
| 781 | 遞 | 遨 | 遯 | 遶 | 隨 | 遲 | 邂 | 遽 | 邁 | 邀 |
| 782 | 邊 | 邉 | 邏 | 邨 | 邯 | 邱 | 邵 | 郢 | 郤 | 扈 |
| 783 | 郛 | 鄂 | 鄒 | 鄙 | 鄲 | 鄰 | 酊 | 酖 | 酘 | 酣 |
| 784 | 酥 | 酩 | 酳 | 酲 | 醋 | 醉 | 醂 | 醢 | 醫 | 醯 |
| 785 | 醪 | 醵 | 醴 | 醺 | 釀 | 釁 | 釉 | 釋 | 釐 | 釖 |
| 786 | 釟 | 釡 | 釛 | 釼 | 釵 | 釶 | 鈞 | 釿 | 鈔 | 鈬 |
| 787 | 鈕 | 鈑 | 鉞 | 鉗 | 鉅 | 鉉 | 鉤 | 鉈 | 銕 | 鈿 |
| 788 | 鉋 | 鉐 | 銜 | 銖 | 銓 | 銛 | 鉚 | 鋏 | 銹 | 銷 |
| 789 | 鋩 | 錏 | 鋺 | 鍄 | 錮 | | | | | |
| 790 | | 錙 | 錢 | 錚 | 錣 | 錺 | 錵 | 錻 | 鍜 | 鍠 |
| 791 | 鍼 | 鍮 | 鍖 | 鎰 | 鎬 | 鎭 | 鎔 | 鎹 | 鏖 | 鏗 |
| 792 | 鏨 | 鏥 | 鏘 | 鏃 | 鏝 | 鏐 | 鏈 | 鏤 | 鐚 | 鐔 |
| 793 | 鐓 | 鐃 | 鐇 | 鐐 | 鐶 | 鐫 | 鐵 | 鐡 | 鐺 | 鑁 |
| 794 | 鑒 | 鑄 | 鑛 | 鑠 | 鑢 | 鑞 | 鑪 | 鈩 | 鑰 | 鑵 |
| 795 | 鑷 | 鑽 | 鑚 | 鑼 | 鑾 | 钁 | 鑿 | 閂 | 閇 | 閊 |
| 796 | 閔 | 閖 | 閘 | 閙 | 閠 | 閨 | 閧 | 閭 | 閼 | 閻 |
| 797 | 閹 | 閾 | 闊 | 濶 | 闃 | 闍 | 闌 | 闕 | 闔 | 闖 |
| 798 | 關 | 闡 | 闥 | 闢 | 阡 | 阨 | 阮 | 阯 | 陂 | 陌 |
| 799 | 陏 | 陋 | 陷 | 陜 | 陞 | | | | | |
| 800 | | 陝 | 陟 | 陦 | 陲 | 陬 | 隍 | 隘 | 隕 | 隗 |
| 801 | 險 | 隧 | 隱 | 隲 | 隰 | 隴 | 隶 | 隸 | 隹 | 雎 |
| 802 | 雋 | 雉 | 雍 | 襍 | 雜 | 霍 | 雕 | 雹 | 霄 | 霆 |
| 803 | 霈 | 霓 | 霎 | 霑 | 霏 | 霖 | 霙 | 霤 | 霪 | 霰 |
| 804 | 霹 | 霽 | 霾 | 靄 | 靆 | 靈 | 靂 | 靉 | 靜 | 靠 |
| 805 | 靤 | 靦 | 靨 | 勒 | 靫 | 靱 | 靹 | 鞅 | 靼 | 鞁 |
| 806 | 靺 | 鞆 | 鞋 | 鞏 | 鞐 | 鞜 | 鞨 | 鞦 | 鞣 | 鞳 |
| 807 | 鞴 | 韃 | 韆 | 韈 | 韋 | 韜 | 韭 | 齏 | 韲 | 竟 |
| 808 | 韶 | 韵 | 頏 | 頌 | 頸 | 頤 | 頡 | 頷 | 頽 | 顆 |
| 809 | 顏 | 顋 | 顫 | 顯 | 顰 | | | | | |
| 810 | | 顱 | 顴 | 顳 | 颪 | 颯 | 颱 | 颶 | 飄 | 飃 |
| 811 | 飆 | 飩 | 飫 | 餃 | 餉 | 餒 | 餔 | 餘 | 餡 | 餝 |
| 812 | 餞 | 餤 | 餠 | 餬 | 餮 | 餽 | 餾 | 饂 | 饉 | 饅 |
| 813 | 饐 | 饋 | 饑 | 饒 | 饌 | 饕 | 馗 | 馘 | 馥 | 馭 |
| 814 | 馮 | 馼 | 駟 | 駛 | 駝 | 駘 | 駑 | 駭 | 駮 | 駱 |
| 815 | 駲 | 駻 | 駸 | 騁 | 騏 | 騅 | 駢 | 騙 | 騫 | 騷 |
| 816 | 驅 | 驂 | 驀 | 驃 | 騾 | 驕 | 驍 | 驛 | 驗 | 驟 |
| 817 | 驢 | 驥 | 驤 | 驩 | 驫 | 驪 | 骭 | 骰 | 骼 | 髀 |
| 818 | 髏 | 髑 | 髓 | 體 | 髞 | 髟 | 髢 | 髣 | 髦 | 髯 |
| 819 | 髫 | 髮 | 髴 | 髱 | 髷 | | | | | |
| 820 | | 髻 | 鬆 | 鬘 | 鬚 | 鬟 | 鬢 | 鬣 | 鬥 | 鬧 |

| 区点 1～3桁 | 0 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 821 | 鬨 | 鬩 | 鬪 | 鬮 | 鬯 | 鬲 | 魄 | 魃 | 魏 | 魍 |
| 822 | 魎 | 魑 | 魘 | 魴 | 鮓 | 鮃 | 鮑 | 鮖 | 鮗 | 鮟 |
| 823 | 鮠 | 鮨 | 鮴 | 鯀 | 鯊 | 鮹 | 鯆 | 鯏 | 鯑 | 鯒 |
| 824 | 鯣 | 鯢 | 鯤 | 鯔 | 鯡 | 鰺 | 鯲 | 鯱 | 鯰 | 鰕 |
| 825 | 鰔 | 鰉 | 鰓 | 鰌 | 鰆 | 鰈 | 鰒 | 鰊 | 鰄 | 鰮 |
| 826 | 鰛 | 鰥 | 鰤 | 鰡 | 鰰 | 鱇 | 鰲 | 鱆 | 鰾 | 鱚 |
| 827 | 鱠 | 鱧 | 鱶 | 鱸 | 鳧 | 鳬 | 鳰 | 鴉 | 鴈 | 鳫 |
| 828 | 鴃 | 鴆 | 鴪 | 鴦 | 鶯 | 鴣 | 鴟 | 鵄 | 鴕 | 鴒 |
| 829 | 鵁 | 鴿 | 鴾 | 鵆 | 鵈 | | | | | |
| 830 | | 鵝 | 鵞 | 鵤 | 鵑 | 鵐 | 鵙 | 鵲 | 鶉 | 鶇 |
| 831 | 鶫 | 鵯 | 鵺 | 鶚 | 鶤 | 鶩 | 鶲 | 鷄 | 鷁 | 鶻 |
| 832 | 鶸 | 鶺 | 鷆 | 鷏 | 鷂 | 鷙 | 鷓 | 鷸 | 鷦 | 鷭 |
| 833 | 鷯 | 鷽 | 鸚 | 鸛 | 鸞 | 鹵 | 鹹 | 鹽 | 麁 | 麈 |
| 834 | 麋 | 麌 | 麒 | 麕 | 麑 | 麝 | 麥 | 麩 | 麸 | 麪 |
| 835 | 麭 | 靡 | 黌 | 黎 | 黏 | 黐 | 黔 | 黜 | 點 | 黝 |
| 836 | 黠 | 黥 | 黨 | 黯 | 黴 | 黶 | 黷 | 黹 | 黻 | 黼 |
| 837 | 黽 | 鼇 | 鼈 | 皷 | 鼕 | 鼡 | 鼬 | 鼾 | 齊 | 齒 |
| 838 | 齔 | 齣 | 齟 | 齠 | 齡 | 齦 | 齧 | 齬 | 齪 | 齷 |
| 839 | 齲 | 齶 | 龕 | 龜 | 龠 | | | | | |
| 840 | | 堯 | 槇 | 遙 | 瑤 | 凜 | 熙 | | | |